



東京医科歯科大学全学共通科目



内容

哲学Ⅰ	1
哲学Ⅱ	3
倫理学Ⅰ	5
倫理学Ⅱ	7
心理学Ⅰ	9
心理学Ⅱ	11
宗教学Ⅰ	13
宗教学Ⅱ	15
芸術Ⅰ	17
芸術Ⅱ	19
歴史学AⅠ	21
歴史学AⅡ	23
歴史学BⅠ	25
歴史学BⅡ	27
科学史Ⅰ	29
科学史Ⅱ	31
文学AⅠ	33
文学AⅡ	35
文学BⅠ	37
文学BⅡ	39
法学Ⅰ	41
法学Ⅰ(憲法)	43
法学Ⅱ	45
政治学Ⅰ	47
政治学Ⅱ	49
経済学Ⅰ	51
経済学Ⅱ	53
社会学AⅠ	55
社会学AⅡ	57
社会思想史Ⅰ	59
社会思想史Ⅱ	61
文化人類学Ⅰ	63
文化人類学Ⅱ	65
グローバル教養科目・Introduction to Japanese Folklore and Cultural Anthropology	67
グローバル教養科目・Japanese Festivals and Pilgrimages	69
グローバル教養科目・An Introduction to Japanese Traditional TheaterⅠ	71
グローバル教養科目・An Introduction to Japanese Traditional TheaterⅡ	73
グローバル教養科目・Insider and Outsider Perspectives on Contemporary Japan	75
グローバル教養科目・Intercultural Encounters: Migration, Diversity and Social Cohesion	77
Japanese Culture and SocietyⅠ	79
Japanese Culture and SocietyⅡ	81
人文社会科学特論(グローバル社会とバイリンガリズム)	83
人文社会科学特論(科学主義と「社会」)	85

人文社会科学特論(高齢者福祉論)	87
生物学入門.....	90
化学入門	92
物理学入門.....	94
統計学(α)	96
統計学(β)	98
化学 (一般化学) M.....	100
化学 (一般化学) D	103
化学 (一般化学) T.....	106
化学基礎(α).....	109
化学基礎(β).....	111
細胞生物学基礎	113
人体の生物学基礎.....	115
英語.....	117
英語 a.....	118
英語 a.....	120
英語 a.....	122
英語 a.....	124
英語 a.....	126
英語 a.....	128
英語 a.....	130
英語 a.....	132
英語 a.....	134
英語 a.....	136
英語 b.....	138
英語 a.....	140
英語 a.....	142
英語 b.....	144
英語 a.....	146
英語 b.....	148
英語 b.....	150
英語 b.....	152
英語 b.....	154
英語 b.....	156
英語 b.....	158
英語 b.....	160
英語 b.....	162
英語 b.....	164
英語 c.....	166
英語 c.....	168
英語 c.....	170
英語 c.....	172
英語 c.....	174
英語 c.....	176
英語 c.....	178

英語 c.....	180
英語 d.....	182
英語 c.....	184
英語 c.....	186
英語 c.....	188
英語 d.....	190
英語 d.....	192
英語 d.....	194
英語 c.....	196
英語 d.....	198
英語 d.....	200
英語 d.....	202
英語 d.....	204
英語 d.....	206
英語 d.....	208
英語 d.....	210
英語 d.....	212
英語 b.....	214
英語 b.....	216
英語 c.....	218
英語 d.....	220
日本語.....	222
日本語 a.....	223
日本語 b.....	225
日本語 c.....	227
日本語 d.....	229
ドイツ語.....	231
ドイツ語 a.....	232
ドイツ語 b.....	234
ドイツ語 b.....	236
ドイツ語 b.....	238
ドイツ語 a.....	240
ドイツ語 a.....	242
ドイツ語 b.....	244
ドイツ語 b.....	246
ドイツ語 a.....	248
ドイツ語 d.....	250
ドイツ語 c.....	252
ドイツ語 d.....	254
ドイツ語 c.....	256
ドイツ語 c.....	258
ドイツ語 d.....	260
ドイツ語 d.....	262
ドイツ語 c.....	264
ドイツ語 d.....	266

フランス語.....	268
フランス語 a.....	269
フランス語 a.....	271
フランス語 b.....	273
フランス語 b.....	275
フランス語 d.....	277
フランス語 d.....	279
フランス語 c.....	281
フランス語 c.....	283
中国語.....	285
中国語 b.....	286
中国語 b.....	289
中国語 a.....	292
中国語 a.....	295
中国語 d.....	298
中国語 d.....	301
中国語 c.....	304
中国語 c.....	307
中国語 a.....	310
中国語 b.....	313
中国語 c.....	316
中国語 d.....	319
スペイン語.....	321
スペイン語 a.....	322
スペイン語 b.....	324
スペイン語 c.....	326
スペイン語 d.....	328
スペイン語 a.....	330
スペイン語 b.....	332
スペイン語 c.....	334
スペイン語 d.....	336
物理学実験.....	338
化学実験.....	340
生物学実験.....	342
科学基礎実験 T.....	344
科学基礎実験 N・O・K.....	346
情報科学 N.....	348
情報科学 T.....	350
情報科学 O・K.....	352
情報処理(α).....	354
情報処理(β).....	356
スポーツ・健康科学.....	358
スポーツ・健康科学.....	360
物理学 I.....	362
物理学 I M.....	363

物理学 I D・T	365
物理学 II	367
物理学 II M.....	368
物理学 II D・T	370
生物学	372
生物学(細胞・遺伝子)M.....	373
生物学(構造・機能)M.....	375
生物学(細胞・遺伝子)DT.....	377
生物学(構造・機能)DT	379
数学 I	381
数学 I M	382
数学 I D.....	384
数学 I T.....	386
数学 II	388
数学 II (α)	389
数学 II (β)	391
数学 II (γ).....	393
サイエンス PBL 入門.....	395
グローバル教養総合講座.....	398
S・水の科学.....	404
S・一般化学演習.....	406
S・現代中国社会研究.....	408
S・糖の科学.....	410
S・計算機による数学.....	412
R・講義と実習によるバイオサイエンス 1.....	414
R・講義と実習によるバイオサイエンス 2.....	416
S・英語で学ぶ力学.....	418
S・彫刻(塑造).....	419
R・離散構造.....	420
S・分子分光学演習:基礎編.....	422
S・ウニの発生と海産生物の観察実習.....	424
S・現代パフォーマンスアート入門.....	426
S・Topics in the News	428
S・翻訳演習	430
S・Discussions on Human Behavior.....	432
S・イギリス文学講読.....	434
S・実用統計学.....	436
S・Essentials of Medical Language	438
S・タンパク質の科学.....	440
S・数学基礎.....	442
S・Essentials of Human Biology.....	444
S・Understanding Poetry from a Comparative Perspective.....	446
S・プログラミングで学ぶ幾何学デザイン.....	448
S・数理生物学入門.....	450
S・サイエンスフロンティア概論.....	452

S・化学熱力学演習	454
S・生命分子スペクトル解析学演習	456
S・市川文学散歩	458
S・Human Nature and the Mind.....	460
S・現代日本社会論	462
S・科学技術と政治——M.フーコーを読む——	464
S・科学と《人間》.....	466
S・科学技術と民主主義.....	468
S・数学基礎.....	470
S・計算機による数学.....	472
医療とAI・ビッグデータ入門.....	474
フィットネスマネージメント	478
フィットネスマネージメント(前期 木 A)	481
フィットネスマネージメント(前期 木 B)	484
フィットネスマネージメント(前期 金 A)	487
フィットネスマネージメント(前期 金 B)	490
フィットネスマネージメント(後期 木 A)	493
フィットネスマネージメント(後期 木 B)	496
フィットネスマネージメント(後期 金 A)	499
フィットネスマネージメント(後期 金 B)	502

時間割番号	000001			科目ID	LA-110100-Z																																																																						
科目名	哲学 I		科目ID	LA-110100-Z																																																																							
担当教員	大賀 祐樹[OOGA Yuuki]																																																																										
開講時期	2022 年度前期	対象年次	1	単位数	2																																																																						
実務経験のある教員による授業																																																																											
<p>曜日・時間: 月曜 1 限 対象学科: 全学科</p> <p>科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 別表 1-1) 言語を通じた人間の創造的営みを理解する 別表 1-3) 人間の歴史的営みを理解する 別表 1-5) 人間の思考の枠組みを知り、自らの思考を振り返る 別表 1-6) 人間の心への理解を深める 別表 1-10) 現代社会における科学の責任を意識できるようになる</p>																																																																											
<p>授業の目的、概要等</p> <p>人間はどのように生きるべきなのか？ 人間にとって幸せとは何か？ 「哲学」といえばそういった問題について考えるものだと思われるかもしれない。しかし、哲学には生き方の問題だけでなく、世界の「真理」を探究するというテーマもある。「真理」を知ることで人は正しく生き、幸せになれると、長い間考えられてきた。とはいえ、「真理」＝「絶対に正しくてこれ以上変えようがない唯一の答え」など、本当にあるのだろうか？ 現代の私たちの感覚からすると疑問に感じるかもしれない。一方で、「正しい」ことが何もないのかというと、それもまた疑問に感じるだろう。 この授業では、古代ギリシア哲学、近代哲学、現代哲学が「正しさ」をどのように探し求めてきたのかについて、西洋哲学の歴史の概要を講義形式で説明する。</p>																																																																											
<p>授業の到達目標</p> <p>「哲学」を初めて学ぶ者を対象とするため、できるだけ理解しやすいように PowerPoint のスライドを使用して図解を多く用い、日常的な出来事や、事例を用いて説明する。西洋哲学の基本的な知識を習得することを一つの目標とするが、哲学で大切なことは、答えを知ることよりも、当たり前前に感じていたことの中に潜む疑問を見つけて問いを立てることである。様々な哲学者がどのような問いを立て、答えを見つげるために試行錯誤したのか。その道筋を追うことによって、日常生活においても浮上する様々な問題に対して、自分なりの問いを立て、本質を見抜き、答えを出す力を養うことをより大きな目標とする。</p>																																																																											
<p>授業計画</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>講義室</th> <th>担当教員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td>4/18</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>大賀 祐樹, 木谷 真紀子, 藤井 達夫</td></tr> <tr><td>2</td><td>4/25</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>大賀 祐樹, 木谷 真紀子, 藤井 達夫</td></tr> <tr><td>3</td><td>5/2</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>大賀 祐樹, 木谷 真紀子, 藤井 達夫</td></tr> <tr><td>4</td><td>5/9</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>大賀 祐樹, 木谷 真紀子, 藤井 達夫</td></tr> <tr><td>5</td><td>5/16</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>大賀 祐樹, 木谷 真紀子, 藤井 達夫</td></tr> <tr><td>6</td><td>5/23</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>大賀 祐樹, 木谷 真紀子, 藤井 達夫</td></tr> <tr><td>7</td><td>5/30</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>大賀 祐樹, 木谷 真紀子, 藤井 達夫</td></tr> <tr><td>8</td><td>6/6</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>大賀 祐樹, 木谷 真紀子, 藤井 達夫</td></tr> <tr><td>9</td><td>6/13</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>大賀 祐樹, 木谷 真紀子, 藤井 達夫</td></tr> <tr><td>10</td><td>6/20</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>大賀 祐樹, 木谷 真紀子, 藤井 達夫</td></tr> <tr><td>11</td><td>6/27</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>大賀 祐樹, 木谷 真紀子, 藤井 達夫</td></tr> <tr><td>12</td><td>7/4</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>大賀 祐樹, 木谷 真紀子, 藤井 達夫</td></tr> <tr><td>13</td><td>7/11</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>大賀 祐樹, 木谷 真紀子, 藤井 達夫</td></tr> </tbody> </table>						回	日付	時刻	講義室	担当教員	1	4/18	10:50-12:20		大賀 祐樹, 木谷 真紀子, 藤井 達夫	2	4/25	10:50-12:20		大賀 祐樹, 木谷 真紀子, 藤井 達夫	3	5/2	10:50-12:20		大賀 祐樹, 木谷 真紀子, 藤井 達夫	4	5/9	10:50-12:20		大賀 祐樹, 木谷 真紀子, 藤井 達夫	5	5/16	10:50-12:20		大賀 祐樹, 木谷 真紀子, 藤井 達夫	6	5/23	10:50-12:20		大賀 祐樹, 木谷 真紀子, 藤井 達夫	7	5/30	10:50-12:20		大賀 祐樹, 木谷 真紀子, 藤井 達夫	8	6/6	10:50-12:20		大賀 祐樹, 木谷 真紀子, 藤井 達夫	9	6/13	10:50-12:20		大賀 祐樹, 木谷 真紀子, 藤井 達夫	10	6/20	10:50-12:20		大賀 祐樹, 木谷 真紀子, 藤井 達夫	11	6/27	10:50-12:20		大賀 祐樹, 木谷 真紀子, 藤井 達夫	12	7/4	10:50-12:20		大賀 祐樹, 木谷 真紀子, 藤井 達夫	13	7/11	10:50-12:20		大賀 祐樹, 木谷 真紀子, 藤井 達夫
回	日付	時刻	講義室	担当教員																																																																							
1	4/18	10:50-12:20		大賀 祐樹, 木谷 真紀子, 藤井 達夫																																																																							
2	4/25	10:50-12:20		大賀 祐樹, 木谷 真紀子, 藤井 達夫																																																																							
3	5/2	10:50-12:20		大賀 祐樹, 木谷 真紀子, 藤井 達夫																																																																							
4	5/9	10:50-12:20		大賀 祐樹, 木谷 真紀子, 藤井 達夫																																																																							
5	5/16	10:50-12:20		大賀 祐樹, 木谷 真紀子, 藤井 達夫																																																																							
6	5/23	10:50-12:20		大賀 祐樹, 木谷 真紀子, 藤井 達夫																																																																							
7	5/30	10:50-12:20		大賀 祐樹, 木谷 真紀子, 藤井 達夫																																																																							
8	6/6	10:50-12:20		大賀 祐樹, 木谷 真紀子, 藤井 達夫																																																																							
9	6/13	10:50-12:20		大賀 祐樹, 木谷 真紀子, 藤井 達夫																																																																							
10	6/20	10:50-12:20		大賀 祐樹, 木谷 真紀子, 藤井 達夫																																																																							
11	6/27	10:50-12:20		大賀 祐樹, 木谷 真紀子, 藤井 達夫																																																																							
12	7/4	10:50-12:20		大賀 祐樹, 木谷 真紀子, 藤井 達夫																																																																							
13	7/11	10:50-12:20		大賀 祐樹, 木谷 真紀子, 藤井 達夫																																																																							

14	7/18	10:50-12:20		大賀 祐樹, 木谷 真紀子, 藤井 達夫
15	7/25	10:50-12:20		大賀 祐樹, 木谷 真紀子, 藤井 達夫
授業方法				
講義形式で授業を行い、毎回授業終了時に、各自が新しく学んだことや疑問に思ったことを小レポートとして提出し、フィードバックを行う。				
授業内容				
1ガイダンス				
2哲学とは～哲学・科学・宗教				
3哲学のはじまり～自然哲学とソクラテス				
4プラトンのアイデア論				
5アリストテレスの哲学				
6合理主義と経験主義				
7カントの哲学				
8ヘーゲルと19世紀の哲学				
9ニヒリズムとポストモダン				
10言語哲学				
11分析哲学				
12科学哲学				
13プラグマティズム				
14哲学は「真理」を見つけたか				
15試験				
※内容、予定に変更があった場合にはその都度告知する。				
成績評価の方法				
評価：試験 60% ・ その他(授業への参加度) 40%				
再評価：有(レポート)				
成績評価の基準				
「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による				
準備学習等についての具体的な指示				
毎回配布する PowerPoint の資料を復習、紹介した参考文献の中から気になったものを読む、次回に取り上げる哲学者やキーワード、時代背景を事前に調べ予習するなど。				
教科書				
なし				
毎回配布する PowerPoint の資料を教科書代わりとする。				
参考書				
田中正人著、斎藤哲也責任編集、『哲学用語図鑑』、プレジデント社(2015)				
その他、毎回の授業で参考文献を多数紹介する。				
履修上の注意事項				
原則3分の2以上の出席が必要。				

時間割番号	000002			科目ID	LA-110200-Z																																																																																
科目名	哲学Ⅱ																																																																																				
担当教員	大賀 祐樹[OOGA Yuuki]																																																																																				
開講時期	2022 年度後期	対象年次	1	単位数	2																																																																																
実務経験のある教員による授業																																																																																					
<p>曜日・時間: 月曜 1 限 対象学科: 全学科</p> <p>科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 別表 1-1) 言語を通じた人間の創造的営みを理解する 別表 1-5) 人間の思考の枠組みを知り、自らの思考を振り返る 別表 1-6) 人間の心への理解を深める 別表 1-10) 現代社会における科学の責任を意識できるようになる 別表 2-3) 言語活動や社会現象を科学的に分析するための方法論を知る</p>																																																																																					
<p>授業の目的、概要等</p> <p>「哲学」とは真理を探究する学問の総称である。現代では真理を探究する際の主要な方法は「科学」に基づいている。では、哲学、科学における真理の探究はどのようにしてなされているのか。哲学的観点と科学的観点、それぞれの方法論を踏まえうえて、哲学的な正しさ、科学的な正しさがどのように根拠付けられるのかを説明する。特に、20 世紀以降の分析哲学の思想史を解説し、論理的、批判的な思考を理解し、身につけるための概論、入門編としての講義を行う。</p>																																																																																					
<p>授業の到達目標</p> <p>哲学を学ぶ中級者を対象として想定する。西洋哲学の大まかな全体像を理解したうえで、分析哲学、科学哲学をより詳細に学び、基本的な知識を習得することを一つの目的とする。ただし、前期「哲学Ⅰ」を未履修でも理解できるように、最初の何回かで、現代の分析哲学を理解するための前提知識を概説する。できるだけ理解しやすいよう、PowerPoint のスライドを使用して、図解を多く用い、日常的な出来事や事例に置き換えて説明する。分析哲学、科学哲学の論理的、批判的思考方法を見につけることで、自然科学、社会科学を含め、諸科学のための科学的思考法を身につけることをより大きな目標とする。</p>																																																																																					
<p>授業計画</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>講義室</th> <th>担当教員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td>10/3</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>大賀 祐樹, 木谷 真紀子, 藤井 達夫</td></tr> <tr><td>2</td><td>10/10</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>大賀 祐樹, 木谷 真紀子, 藤井 達夫</td></tr> <tr><td>3</td><td>10/17</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>大賀 祐樹, 木谷 真紀子, 藤井 達夫</td></tr> <tr><td>4</td><td>10/24</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>大賀 祐樹, 木谷 真紀子, 藤井 達夫</td></tr> <tr><td>5</td><td>10/31</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>大賀 祐樹, 木谷 真紀子, 藤井 達夫</td></tr> <tr><td>6</td><td>11/7</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>大賀 祐樹, 木谷 真紀子, 藤井 達夫</td></tr> <tr><td>7</td><td>11/14</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>大賀 祐樹, 木谷 真紀子, 藤井 達夫</td></tr> <tr><td>8</td><td>11/21</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>大賀 祐樹, 木谷 真紀子, 藤井 達夫</td></tr> <tr><td>9</td><td>11/28</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>大賀 祐樹, 木谷 真紀子, 藤井 達夫</td></tr> <tr><td>10</td><td>12/5</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>大賀 祐樹, 木谷 真紀子, 藤井 達夫</td></tr> <tr><td>11</td><td>12/12</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>大賀 祐樹, 木谷 真紀子, 藤井 達夫</td></tr> <tr><td>12</td><td>12/19</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>大賀 祐樹, 木谷 真紀子, 藤井 達夫</td></tr> <tr><td>13</td><td>1/16</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>大賀 祐樹, 木谷 真紀子, 藤井 達夫</td></tr> <tr><td>14</td><td>1/23</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>大賀 祐樹, 木谷 真紀子, 藤井 達夫</td></tr> <tr><td>15</td><td>1/30</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>大賀 祐樹, 木谷 真紀子, 藤井 達夫</td></tr> </tbody> </table>						回	日付	時刻	講義室	担当教員	1	10/3	10:50-12:20		大賀 祐樹, 木谷 真紀子, 藤井 達夫	2	10/10	10:50-12:20		大賀 祐樹, 木谷 真紀子, 藤井 達夫	3	10/17	10:50-12:20		大賀 祐樹, 木谷 真紀子, 藤井 達夫	4	10/24	10:50-12:20		大賀 祐樹, 木谷 真紀子, 藤井 達夫	5	10/31	10:50-12:20		大賀 祐樹, 木谷 真紀子, 藤井 達夫	6	11/7	10:50-12:20		大賀 祐樹, 木谷 真紀子, 藤井 達夫	7	11/14	10:50-12:20		大賀 祐樹, 木谷 真紀子, 藤井 達夫	8	11/21	10:50-12:20		大賀 祐樹, 木谷 真紀子, 藤井 達夫	9	11/28	10:50-12:20		大賀 祐樹, 木谷 真紀子, 藤井 達夫	10	12/5	10:50-12:20		大賀 祐樹, 木谷 真紀子, 藤井 達夫	11	12/12	10:50-12:20		大賀 祐樹, 木谷 真紀子, 藤井 達夫	12	12/19	10:50-12:20		大賀 祐樹, 木谷 真紀子, 藤井 達夫	13	1/16	10:50-12:20		大賀 祐樹, 木谷 真紀子, 藤井 達夫	14	1/23	10:50-12:20		大賀 祐樹, 木谷 真紀子, 藤井 達夫	15	1/30	10:50-12:20		大賀 祐樹, 木谷 真紀子, 藤井 達夫
回	日付	時刻	講義室	担当教員																																																																																	
1	10/3	10:50-12:20		大賀 祐樹, 木谷 真紀子, 藤井 達夫																																																																																	
2	10/10	10:50-12:20		大賀 祐樹, 木谷 真紀子, 藤井 達夫																																																																																	
3	10/17	10:50-12:20		大賀 祐樹, 木谷 真紀子, 藤井 達夫																																																																																	
4	10/24	10:50-12:20		大賀 祐樹, 木谷 真紀子, 藤井 達夫																																																																																	
5	10/31	10:50-12:20		大賀 祐樹, 木谷 真紀子, 藤井 達夫																																																																																	
6	11/7	10:50-12:20		大賀 祐樹, 木谷 真紀子, 藤井 達夫																																																																																	
7	11/14	10:50-12:20		大賀 祐樹, 木谷 真紀子, 藤井 達夫																																																																																	
8	11/21	10:50-12:20		大賀 祐樹, 木谷 真紀子, 藤井 達夫																																																																																	
9	11/28	10:50-12:20		大賀 祐樹, 木谷 真紀子, 藤井 達夫																																																																																	
10	12/5	10:50-12:20		大賀 祐樹, 木谷 真紀子, 藤井 達夫																																																																																	
11	12/12	10:50-12:20		大賀 祐樹, 木谷 真紀子, 藤井 達夫																																																																																	
12	12/19	10:50-12:20		大賀 祐樹, 木谷 真紀子, 藤井 達夫																																																																																	
13	1/16	10:50-12:20		大賀 祐樹, 木谷 真紀子, 藤井 達夫																																																																																	
14	1/23	10:50-12:20		大賀 祐樹, 木谷 真紀子, 藤井 達夫																																																																																	
15	1/30	10:50-12:20		大賀 祐樹, 木谷 真紀子, 藤井 達夫																																																																																	
<p>授業方法</p> <p>講義形式で授業を行い、毎回授業終了時に、各自が新しく学んだことや疑問に思ったことを小レポートとして提出し、フィードバックを行</p>																																																																																					

う。

授業内容

- 1 ガイダンス
- 2 哲学的探究法Ⅰ～形而上学的方法
- 3 哲学的探究法Ⅱ～演繹と帰納
- 4 哲学的探究法Ⅲ～論理実証主義
- 5 日常言語学派
- 6 心の哲学
- 7 可能世界意味論
- 8 科学哲学
- 9 分析哲学Ⅰ
- 10 分析哲学Ⅱ
- 11 ネオ・プラグマティズムⅠ
- 12 ネオ・プラグマティズムⅡ
- 13 批判的思考のいくつかの方法
- 14 授業全体のまとめと補足
- 15 試験

※内容、予定に変更があった場合にはその都度告知する。

成績評価の方法

評価：試験 60%・その他(授業への参加度) 40%

再評価：有(レポート)

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習等についての具体的な指示

毎回配布する PowerPoint の資料を復習、紹介した参考文献の中から気になったものを読む、次回に取り上げる哲学者やキーワード、時代背景を事前に調べ予習するなど。

教科書

なし

毎回配布する PowerPoint の資料を教科書代わりとする。

参考書

毎回の授業で参考文献を多数紹介する。

履修上の注意事項

原則 3 分の 2 以上の出席が必要。

時間割番号	000003			科目ID	LA-110300-Z																																																																																
科目名	倫理学 I																																																																																				
担当教員	大賀 祐樹[OOGA Yuuki]																																																																																				
開講時期	2022 年度前期	対象年次	1	単位数	2																																																																																
実務経験のある教員による授業																																																																																					
<p>曜日・時間: 金曜 2 限 対象学科: 全学科</p> <p>科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 別表)1-2 社会制度や仕組みについての基本を理解する 別表)1-5 人間の思考の枠組みを知り、自らの思考を振り返る 別表)1-7 人間の心への理解を深める 別表)1-9 市民としての倫理観を養う</p>																																																																																					
<p>授業の目的、概要等</p> <p>絶対に正しいことなど存在せず、価値観は人それぞれであるとされる現代において、「正義」や「善」の根拠とは何であるのかということ主張するのは難しいように思えるかもしれない。しかし、社会に倫理や道徳が存在しなければ、秩序は乱れ、人間は生きていくことさえ困難であろう。では何故、正しいことは正しく、善いことは善いとされるのか。なぜ、人は倫理を求めるのか。西洋の倫理学の歴史を順に理解することによって、その様々な根拠を知り、また現代において、いかにして倫理を論じることが可能になるのかということを理解できるようになるだろう。</p>																																																																																					
<p>授業の到達目標</p> <p>倫理学を初めて学ぶ者を対象とする。倫理学の成り立ちから、発展、様々な考え方の成立の経緯を、思想史の順を追って説明し、基本的な知識を習得することを一つの目標とする。できるだけ理解しやすいように、PowerPoint のスライドで図解を多用し、日常的な出来事や事例に置き換えて説明する。倫理学の議論において、様々な思想家がどのような問いを立て、答えを見つけるために試行錯誤したのか。その道筋を追うことによって、日常生活や、今後の社会生活においても直面するであろう様々な倫理的な問題に対して、自分なりに考えを整理し、答えを出せるようになるための思考力を養うことを大きな目標とする。</p>																																																																																					
<p>授業計画</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>講義室</th> <th>担当教員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td>4/15</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>大賀 祐樹, 木谷 真紀子, 藤井 達夫</td></tr> <tr><td>2</td><td>4/22</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>大賀 祐樹, 木谷 真紀子, 藤井 達夫</td></tr> <tr><td>3</td><td>5/6</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>大賀 祐樹, 木谷 真紀子, 藤井 達夫</td></tr> <tr><td>4</td><td>5/13</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>大賀 祐樹, 木谷 真紀子, 藤井 達夫</td></tr> <tr><td>5</td><td>5/20</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>大賀 祐樹, 木谷 真紀子, 藤井 達夫</td></tr> <tr><td>6</td><td>5/27</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>大賀 祐樹, 木谷 真紀子, 藤井 達夫</td></tr> <tr><td>7</td><td>6/3</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>大賀 祐樹, 木谷 真紀子, 藤井 達夫</td></tr> <tr><td>8</td><td>6/10</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>大賀 祐樹, 木谷 真紀子, 藤井 達夫</td></tr> <tr><td>9</td><td>6/17</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>大賀 祐樹, 木谷 真紀子, 藤井 達夫</td></tr> <tr><td>10</td><td>6/24</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>大賀 祐樹, 木谷 真紀子, 藤井 達夫</td></tr> <tr><td>11</td><td>7/1</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>大賀 祐樹, 木谷 真紀子, 藤井 達夫</td></tr> <tr><td>12</td><td>7/8</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>大賀 祐樹, 木谷 真紀子, 藤井 達夫</td></tr> <tr><td>13</td><td>7/15</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>大賀 祐樹, 木谷 真紀子, 藤井 達夫</td></tr> <tr><td>14</td><td>7/22</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>大賀 祐樹, 木谷 真紀子, 藤井 達夫</td></tr> <tr><td>15</td><td>7/29</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>大賀 祐樹, 木谷 真紀子, 藤井 達夫</td></tr> </tbody> </table>						回	日付	時刻	講義室	担当教員	1	4/15	10:50-12:20		大賀 祐樹, 木谷 真紀子, 藤井 達夫	2	4/22	10:50-12:20		大賀 祐樹, 木谷 真紀子, 藤井 達夫	3	5/6	10:50-12:20		大賀 祐樹, 木谷 真紀子, 藤井 達夫	4	5/13	10:50-12:20		大賀 祐樹, 木谷 真紀子, 藤井 達夫	5	5/20	10:50-12:20		大賀 祐樹, 木谷 真紀子, 藤井 達夫	6	5/27	10:50-12:20		大賀 祐樹, 木谷 真紀子, 藤井 達夫	7	6/3	10:50-12:20		大賀 祐樹, 木谷 真紀子, 藤井 達夫	8	6/10	10:50-12:20		大賀 祐樹, 木谷 真紀子, 藤井 達夫	9	6/17	10:50-12:20		大賀 祐樹, 木谷 真紀子, 藤井 達夫	10	6/24	10:50-12:20		大賀 祐樹, 木谷 真紀子, 藤井 達夫	11	7/1	10:50-12:20		大賀 祐樹, 木谷 真紀子, 藤井 達夫	12	7/8	10:50-12:20		大賀 祐樹, 木谷 真紀子, 藤井 達夫	13	7/15	10:50-12:20		大賀 祐樹, 木谷 真紀子, 藤井 達夫	14	7/22	10:50-12:20		大賀 祐樹, 木谷 真紀子, 藤井 達夫	15	7/29	10:50-12:20		大賀 祐樹, 木谷 真紀子, 藤井 達夫
回	日付	時刻	講義室	担当教員																																																																																	
1	4/15	10:50-12:20		大賀 祐樹, 木谷 真紀子, 藤井 達夫																																																																																	
2	4/22	10:50-12:20		大賀 祐樹, 木谷 真紀子, 藤井 達夫																																																																																	
3	5/6	10:50-12:20		大賀 祐樹, 木谷 真紀子, 藤井 達夫																																																																																	
4	5/13	10:50-12:20		大賀 祐樹, 木谷 真紀子, 藤井 達夫																																																																																	
5	5/20	10:50-12:20		大賀 祐樹, 木谷 真紀子, 藤井 達夫																																																																																	
6	5/27	10:50-12:20		大賀 祐樹, 木谷 真紀子, 藤井 達夫																																																																																	
7	6/3	10:50-12:20		大賀 祐樹, 木谷 真紀子, 藤井 達夫																																																																																	
8	6/10	10:50-12:20		大賀 祐樹, 木谷 真紀子, 藤井 達夫																																																																																	
9	6/17	10:50-12:20		大賀 祐樹, 木谷 真紀子, 藤井 達夫																																																																																	
10	6/24	10:50-12:20		大賀 祐樹, 木谷 真紀子, 藤井 達夫																																																																																	
11	7/1	10:50-12:20		大賀 祐樹, 木谷 真紀子, 藤井 達夫																																																																																	
12	7/8	10:50-12:20		大賀 祐樹, 木谷 真紀子, 藤井 達夫																																																																																	
13	7/15	10:50-12:20		大賀 祐樹, 木谷 真紀子, 藤井 達夫																																																																																	
14	7/22	10:50-12:20		大賀 祐樹, 木谷 真紀子, 藤井 達夫																																																																																	
15	7/29	10:50-12:20		大賀 祐樹, 木谷 真紀子, 藤井 達夫																																																																																	
<p>授業方法</p> <p>講義形式で授業を行い、毎回授業終了時に、各自が新しく学んだことや疑問に思ったことを小レポートとして提出し、フィードバックを行</p>																																																																																					

う。

授業内容

- 1 ガイダンス
- 2 正しい生き方、善い生き方と幸福な生き方
- 3 ソクラテスの裁判と死
- 4 プラトンの正義論
- 5 アリストテレスの倫理学
- 6 ストア派、快樂主義、懷疑主義、他
- 7 道徳と感情～ヒューム、スミス
- 8 人間の自由と道徳～カントの道徳哲学
- 9 倫理学としての功利主義(1)
- 10 倫理学としての功利主義(2)
- 11 ロールズの正義論
- 12 リバタリアニズム
- 13 正義と善～コミュニタリアニズム、徳倫理学
- 14 授業全体のまとめと補足
- 15 試験

※内容、予定の変更があった場合にはその都度告知する。

成績評価の方法

評価：試験 60%・その他(授業への参加度) 40%

再評価：有(レポート)

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習等についての具体的な指示

毎回配布する PowerPoint の資料を復習、紹介した参考文献の中から気になったものを読む、次回に取り上げる哲学者やキーワード、時代背景を事前に調べ予習するなど。

教科書

なし

毎回配布する PowerPoint の資料を教科書代わりとする。

参考書

赤林朗、児玉聡編『入門・倫理学』勁草書房(2018)他、毎回の授業で参考文献を多数紹介する。

履修上の注意事項

原則3分の2以上の出席が必要。

時間割番号	000004			科目ID	LA-110400-Z																																																																																
科目名	倫理学Ⅱ																																																																																				
担当教員	大賀 祐樹[OOGA Yuuki]																																																																																				
開講時期	2022 年度後期	対象年次	1	単位数	2																																																																																
実務経験のある教員による授業																																																																																					
<p>曜日・時間: 金曜 2 限 対象学科: 全学科</p> <p>科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 別表)1-2 社会制度や仕組みについての基本を理解する 別表)1-5 人間の思考の枠組みを知り、自らの思考を振り返る 別表)1-9 市民としての倫理観を養う 別表 1-10)現代社会における科学の責任を意識できるようになる</p>																																																																																					
<p>授業の目的、概要等</p> <p>倫理学とは、概念や理論を学ぶと同時に、自分の人生や社会において問題に直面したとき、どのように考え、答えを出すか、その実践的な方法を学ぶ学問でもある。この講義では、教科書、参考書として扱う書物に書かれている様々な事例をもとに、倫理的に考えるとはどのようなことか、問題を整理して、複数の観点の論理や対立構造を理解したうえで、自分自身で理由に基づいた議論を構築し、答えを出す、実践的な力を養う。</p>																																																																																					
<p>授業の到達目標</p> <p>倫理学の基本的な知識や理論、枠組みを理解していることを前提として、それらが実際にどのような場面で実践され得るのかということ、教科書として扱う書物の事例を元にして学ぶ。実際に起きた事例や、様々な思考実験を題材として、倫理学の様々な考え方を通すとどのように考えられ、答えられるのか、自らの道徳的直感だけでなく、理由と論理に基づいて考える力を養うことを目標とする。</p>																																																																																					
<p>授業計画</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>講義室</th> <th>担当教員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td>10/7</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>大賀 祐樹, 木谷 真紀子, 藤井 達夫</td></tr> <tr><td>2</td><td>10/14</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>大賀 祐樹, 木谷 真紀子, 藤井 達夫</td></tr> <tr><td>3</td><td>10/21</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>大賀 祐樹, 木谷 真紀子, 藤井 達夫</td></tr> <tr><td>4</td><td>10/28</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>大賀 祐樹, 木谷 真紀子, 藤井 達夫</td></tr> <tr><td>5</td><td>11/4</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>大賀 祐樹, 木谷 真紀子, 藤井 達夫</td></tr> <tr><td>6</td><td>11/11</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>大賀 祐樹, 木谷 真紀子, 藤井 達夫</td></tr> <tr><td>7</td><td>11/18</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>大賀 祐樹, 木谷 真紀子, 藤井 達夫</td></tr> <tr><td>8</td><td>11/25</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>大賀 祐樹, 木谷 真紀子, 藤井 達夫</td></tr> <tr><td>9</td><td>12/2</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>大賀 祐樹, 木谷 真紀子, 藤井 達夫</td></tr> <tr><td>10</td><td>12/9</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>大賀 祐樹, 木谷 真紀子, 藤井 達夫</td></tr> <tr><td>11</td><td>12/16</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>大賀 祐樹, 木谷 真紀子, 藤井 達夫</td></tr> <tr><td>12</td><td>1/6</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>大賀 祐樹, 木谷 真紀子, 藤井 達夫</td></tr> <tr><td>13</td><td>1/13</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>大賀 祐樹, 木谷 真紀子, 藤井 達夫</td></tr> <tr><td>14</td><td>1/20</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>大賀 祐樹, 木谷 真紀子, 藤井 達夫</td></tr> <tr><td>15</td><td>1/27</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>大賀 祐樹, 木谷 真紀子, 藤井 達夫</td></tr> </tbody> </table>						回	日付	時刻	講義室	担当教員	1	10/7	10:50-12:20		大賀 祐樹, 木谷 真紀子, 藤井 達夫	2	10/14	10:50-12:20		大賀 祐樹, 木谷 真紀子, 藤井 達夫	3	10/21	10:50-12:20		大賀 祐樹, 木谷 真紀子, 藤井 達夫	4	10/28	10:50-12:20		大賀 祐樹, 木谷 真紀子, 藤井 達夫	5	11/4	10:50-12:20		大賀 祐樹, 木谷 真紀子, 藤井 達夫	6	11/11	10:50-12:20		大賀 祐樹, 木谷 真紀子, 藤井 達夫	7	11/18	10:50-12:20		大賀 祐樹, 木谷 真紀子, 藤井 達夫	8	11/25	10:50-12:20		大賀 祐樹, 木谷 真紀子, 藤井 達夫	9	12/2	10:50-12:20		大賀 祐樹, 木谷 真紀子, 藤井 達夫	10	12/9	10:50-12:20		大賀 祐樹, 木谷 真紀子, 藤井 達夫	11	12/16	10:50-12:20		大賀 祐樹, 木谷 真紀子, 藤井 達夫	12	1/6	10:50-12:20		大賀 祐樹, 木谷 真紀子, 藤井 達夫	13	1/13	10:50-12:20		大賀 祐樹, 木谷 真紀子, 藤井 達夫	14	1/20	10:50-12:20		大賀 祐樹, 木谷 真紀子, 藤井 達夫	15	1/27	10:50-12:20		大賀 祐樹, 木谷 真紀子, 藤井 達夫
回	日付	時刻	講義室	担当教員																																																																																	
1	10/7	10:50-12:20		大賀 祐樹, 木谷 真紀子, 藤井 達夫																																																																																	
2	10/14	10:50-12:20		大賀 祐樹, 木谷 真紀子, 藤井 達夫																																																																																	
3	10/21	10:50-12:20		大賀 祐樹, 木谷 真紀子, 藤井 達夫																																																																																	
4	10/28	10:50-12:20		大賀 祐樹, 木谷 真紀子, 藤井 達夫																																																																																	
5	11/4	10:50-12:20		大賀 祐樹, 木谷 真紀子, 藤井 達夫																																																																																	
6	11/11	10:50-12:20		大賀 祐樹, 木谷 真紀子, 藤井 達夫																																																																																	
7	11/18	10:50-12:20		大賀 祐樹, 木谷 真紀子, 藤井 達夫																																																																																	
8	11/25	10:50-12:20		大賀 祐樹, 木谷 真紀子, 藤井 達夫																																																																																	
9	12/2	10:50-12:20		大賀 祐樹, 木谷 真紀子, 藤井 達夫																																																																																	
10	12/9	10:50-12:20		大賀 祐樹, 木谷 真紀子, 藤井 達夫																																																																																	
11	12/16	10:50-12:20		大賀 祐樹, 木谷 真紀子, 藤井 達夫																																																																																	
12	1/6	10:50-12:20		大賀 祐樹, 木谷 真紀子, 藤井 達夫																																																																																	
13	1/13	10:50-12:20		大賀 祐樹, 木谷 真紀子, 藤井 達夫																																																																																	
14	1/20	10:50-12:20		大賀 祐樹, 木谷 真紀子, 藤井 達夫																																																																																	
15	1/27	10:50-12:20		大賀 祐樹, 木谷 真紀子, 藤井 達夫																																																																																	
<p>授業方法</p> <p>教科書として指定する書籍を読み進め、受講者のコメント発表、ディスカッションなどを行う。</p>																																																																																					

<p>授業内容</p> <p>1ガイダンス</p> <p>2倫理学についての概説(善、正義、幸福など)</p> <p>3～14児玉聡『実践・倫理学』勁草書房(2020年)を教科書として読み進め、毎回数名の担当者を指名し、コメント発表、ディスカッションなどを行う。</p> <p>15授業全体のまとめと補足</p> <p>※内容、予定の変更があった場合にはその都度告知する</p>
<p>成績評価の方法</p> <p>評価：コメント発表への評価50%、授業内容の理解度50%</p> <p>再評価：有(レポート)</p>
<p>成績評価の基準</p> <p>「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による</p>
<p>準備学習等についての具体的な指示</p> <p>指定した教科書の該当章を各自で事前に読了しておくことが望ましい。</p>
<p>教科書</p> <p>児玉聡『実践・倫理学』勁草書房(2020年)</p>
<p>参考書</p> <p>赤林朗、児玉聡編『入門・倫理学』勁草書房(2018)他、必要に応じて授業内で紹介する。</p>
<p>履修上の注意事項</p> <p>原則3分の2以上の出席が必要。</p>

時間割番号	000005			科目ID	LA-110500-L
科目名	心理学 I				
担当教員	佐藤 舞[SATOU Mai]				
開講時期	2022 年度前期	対象年次	1	単位数	2
実務経験のある教員による授業					
曜日・時間:月曜 2 限 科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):1-7)人間の心への理解を深める					
授業の目的、概要等 心理学は実証科学的方法によって人の心を解き明かそうとする学問です。日常の心の動きをはじめとして、心がかかわるすべての領域が対象になります。このため、扱う領域は多岐にわたり、複数の分野に細分化されています。「心理学 I」では、それらのなかでも、より基礎的な内容を中心に取り上げます。これまでに集積されてきた知の体系に触れることで、人間理解を深めることを目的とします。					
授業の到達目標 心理学の基本的な原理を理解し、心にかかわるさまざまな問題を科学的に捉える考え方を身につけることを目標とします。					
授業計画					
回	日付	時刻	講義室	担当教員	
1	4/18	10:50-12:20		佐藤 舞, 木谷 真紀子, 藤井 達夫	
2	4/25	10:50-12:20		佐藤 舞, 木谷 真紀子, 藤井 達夫	
3	5/2	10:50-12:20		佐藤 舞, 木谷 真紀子, 藤井 達夫	
4	5/9	10:50-12:20		佐藤 舞, 木谷 真紀子, 藤井 達夫	
5	5/16	10:50-12:20		佐藤 舞, 木谷 真紀子, 藤井 達夫	
6	5/23	10:50-12:20		佐藤 舞, 木谷 真紀子, 藤井 達夫	
7	5/30	10:50-12:20		佐藤 舞, 木谷 真紀子, 藤井 達夫	
8	6/6	10:50-12:20		佐藤 舞, 木谷 真紀子, 藤井 達夫	
9	6/13	10:50-12:20		佐藤 舞, 木谷 真紀子, 藤井 達夫	
10	6/20	10:50-12:20		佐藤 舞, 木谷 真紀子, 藤井 達夫	
11	6/27	10:50-12:20		佐藤 舞, 木谷 真紀子, 藤井 達夫	
12	7/4	10:50-12:20		佐藤 舞, 木谷 真紀子, 藤井 達夫	
13	7/11	10:50-12:20		佐藤 舞, 木谷 真紀子, 藤井 達夫	
14	7/18	10:50-12:20		佐藤 舞, 木谷 真紀子, 藤井 達夫	
15	7/25	10:50-12:20		佐藤 舞, 木谷 真紀子, 藤井 達夫	
授業方法 講義形式ですが、アクティブ・ラーニングの形式を取り入れ、簡単な実験や小課題へのフィードバックを行うことがあります。					
授業内容 第 1 回:ガイダンス 第 2 回:感覚と知覚 第 3 回:記憶 第 4—6 回:学習 第 7 回:知能 第 8—9 回:動機づけ 第 10—11 回:感情 第 12—13 回:ストレスと健康 第 14 回:思考 第 15 回:まとめ					
成績評価の方法 評価 : 試験またはレポート 70% ・ その他(授業中の小課題) 30% 知識の確実な習得を重視します。 再評価: 有(レポート)					

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習等についての具体的な指示

予習は求めません。適宜必要に応じて復習してください。

教科書

特に指定しません。必要な資料は配布します。

参考書

講義の中で随時紹介します。

履修上の注意事項

・原則として、授業回数の 2/3 の出席を満たさなければ期末試験の受験資格を得られません。

時間割番号	000006			科目ID	LA-110600-L
科目名	心理学Ⅱ				
担当教員	佐藤 舞[SATOU Mai]				
開講時期	2022 年度後期	対象年次	1	単位数	2
実務経験のある教員による授業					
曜日・時間:月曜 2限 科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):1-7)人間の心への理解を深める					
授業の目的、概要等 心理学は実証科学的方法によって人の心を解き明かそうとする学問です。日常の心の動きをはじめとして、心がかかわるすべての領域が対象になります。このため、扱う領域は多岐にわたり、複数の分野に細分化されています。「心理学Ⅱ」では、それらのなかでも、より応用的な内容を中心に取り上げます。これまでに集積されてきた知の体系に触れることで、人間理解を深めることを目的とします。					
授業の到達目標 心理学の基本的な原理を理解し、心にかかわるさまざまな問題を科学的に捉える考え方を身につけることを目標とします。					
授業計画					
回	日付	時刻	講義室	担当教員	
1	10/3	10:50-12:20		佐藤 舞, 木谷 真紀子, 藤井 達夫	
2	10/10	10:50-12:20		佐藤 舞, 木谷 真紀子, 藤井 達夫	
3	10/17	10:50-12:20		佐藤 舞, 木谷 真紀子, 藤井 達夫	
4	10/24	10:50-12:20		佐藤 舞, 木谷 真紀子, 藤井 達夫	
5	10/31	10:50-12:20		佐藤 舞, 木谷 真紀子, 藤井 達夫	
6	11/7	10:50-12:20		佐藤 舞, 木谷 真紀子, 藤井 達夫	
7	11/14	10:50-12:20		佐藤 舞, 木谷 真紀子, 藤井 達夫	
8	11/21	10:50-12:20		佐藤 舞, 木谷 真紀子, 藤井 達夫	
9	11/28	10:50-12:20		佐藤 舞, 木谷 真紀子, 藤井 達夫	
10	12/5	10:50-12:20		佐藤 舞, 木谷 真紀子, 藤井 達夫	
11	12/12	10:50-12:20		佐藤 舞, 木谷 真紀子, 藤井 達夫	
12	12/19	10:50-12:20		佐藤 舞, 木谷 真紀子, 藤井 達夫	
13	1/16	10:50-12:20		佐藤 舞, 木谷 真紀子, 藤井 達夫	
14	1/23	10:50-12:20		佐藤 舞, 木谷 真紀子, 藤井 達夫	
15	1/30	10:50-12:20		佐藤 舞, 木谷 真紀子, 藤井 達夫	
授業方法 講義形式ですが、アクティブ・ラーニングの形式を取り入れ、簡単な実験や小課題へのフィードバックを行うときがあります。					
授業内容 第1回:ガイダンス 第2-3回:パーソナリティ 第4-6回:発達 第7-9回:臨床 第10-14回:社会 第15回:まとめ					
成績評価の方法 評価 : 試験またはレポート 70% ・ その他(授業中の小課題) 30% 知識の確実な習得を重視します。 再評価: 有(レポート)					
成績評価の基準					

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習等についての具体的な指示

予習は求めません。適宜必要に応じて復習してください。

教科書

特に指定しません。必要な資料は配布します。

参考書

講義の中で随時紹介します。

履修上の注意事項

・原則として、授業回数の 2/3 の出席を満たさなければ期末試験の受験資格を得られません。

時間割番号	000007			科目ID	LA-110700-Z																																																																																
科目名	宗教学 I																																																																																				
担当教員	宮田 義矢[MIYATA YOSHIYA]																																																																																				
開講時期	2022 年度前期	対象年次	1	単位数	2																																																																																
実務経験のある教員による授業																																																																																					
<p>曜日・時間:金曜2限 科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):1-3)、1-4)、1-5</p>																																																																																					
<p>授業の目的、概要等</p> <p>目的:諸宗教を題材に、異なる社会・異なる立場の人間の信念や思考のあり方を理解し、その中で自らの思考の位置を捉えなおすことを目指します。無宗教者人口が7~8割といわれる日本社会では、無宗教であることが「常識」です。しかし、一旦国外で、あるいは国内で宗教を信仰する人間と出会った時、その常識とはまた別の「常識」が力強く存在していることに驚くでしょう。諸宗教の教義や歴史について理解を深めていくことで、我々の常識がどのような立場にあるのか、あるいはどのように形成されてきたのかを考えていきましょう。</p> <p>概要:授業では世界宗教を事例に宗教学の様々なアプローチについて学んでいきます。</p>																																																																																					
<p>授業の到達目標</p> <p>宗教学的な考え方に基づき、宗教に関わる問題を分析的に記述できるようになること。</p>																																																																																					
<p>授業計画</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>講義室</th> <th>担当教員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td>4/15</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>宮田 義矢 木谷 真紀子 藤井 達夫</td></tr> <tr><td>2</td><td>4/22</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>宮田 義矢 木谷 真紀子 藤井 達夫</td></tr> <tr><td>3</td><td>5/6</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>宮田 義矢 木谷 真紀子 藤井 達夫</td></tr> <tr><td>4</td><td>5/13</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>宮田 義矢 木谷 真紀子 藤井 達夫</td></tr> <tr><td>5</td><td>5/20</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>宮田 義矢 木谷 真紀子 藤井 達夫</td></tr> <tr><td>6</td><td>5/27</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>宮田 義矢 木谷 真紀子 藤井 達夫</td></tr> <tr><td>7</td><td>6/3</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>宮田 義矢 木谷 真紀子 藤井 達夫</td></tr> <tr><td>8</td><td>6/10</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>宮田 義矢 木谷 真紀子 藤井 達夫</td></tr> <tr><td>9</td><td>6/17</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>宮田 義矢 木谷 真紀子 藤井 達夫</td></tr> <tr><td>10</td><td>6/24</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>宮田 義矢 木谷 真紀子 藤井 達夫</td></tr> <tr><td>11</td><td>7/1</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>宮田 義矢 木谷 真紀子 藤井 達夫</td></tr> <tr><td>12</td><td>7/8</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>宮田 義矢 木谷 真紀子 藤井 達夫</td></tr> <tr><td>13</td><td>7/15</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>宮田 義矢 木谷 真紀子 藤井 達夫</td></tr> <tr><td>14</td><td>7/22</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>宮田 義矢 木谷 真紀子 藤井 達夫</td></tr> <tr><td>15</td><td>7/29</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>宮田 義矢 木谷 真紀子 藤井 達夫</td></tr> </tbody> </table>						回	日付	時刻	講義室	担当教員	1	4/15	10:50-12:20		宮田 義矢 木谷 真紀子 藤井 達夫	2	4/22	10:50-12:20		宮田 義矢 木谷 真紀子 藤井 達夫	3	5/6	10:50-12:20		宮田 義矢 木谷 真紀子 藤井 達夫	4	5/13	10:50-12:20		宮田 義矢 木谷 真紀子 藤井 達夫	5	5/20	10:50-12:20		宮田 義矢 木谷 真紀子 藤井 達夫	6	5/27	10:50-12:20		宮田 義矢 木谷 真紀子 藤井 達夫	7	6/3	10:50-12:20		宮田 義矢 木谷 真紀子 藤井 達夫	8	6/10	10:50-12:20		宮田 義矢 木谷 真紀子 藤井 達夫	9	6/17	10:50-12:20		宮田 義矢 木谷 真紀子 藤井 達夫	10	6/24	10:50-12:20		宮田 義矢 木谷 真紀子 藤井 達夫	11	7/1	10:50-12:20		宮田 義矢 木谷 真紀子 藤井 達夫	12	7/8	10:50-12:20		宮田 義矢 木谷 真紀子 藤井 達夫	13	7/15	10:50-12:20		宮田 義矢 木谷 真紀子 藤井 達夫	14	7/22	10:50-12:20		宮田 義矢 木谷 真紀子 藤井 達夫	15	7/29	10:50-12:20		宮田 義矢 木谷 真紀子 藤井 達夫
回	日付	時刻	講義室	担当教員																																																																																	
1	4/15	10:50-12:20		宮田 義矢 木谷 真紀子 藤井 達夫																																																																																	
2	4/22	10:50-12:20		宮田 義矢 木谷 真紀子 藤井 達夫																																																																																	
3	5/6	10:50-12:20		宮田 義矢 木谷 真紀子 藤井 達夫																																																																																	
4	5/13	10:50-12:20		宮田 義矢 木谷 真紀子 藤井 達夫																																																																																	
5	5/20	10:50-12:20		宮田 義矢 木谷 真紀子 藤井 達夫																																																																																	
6	5/27	10:50-12:20		宮田 義矢 木谷 真紀子 藤井 達夫																																																																																	
7	6/3	10:50-12:20		宮田 義矢 木谷 真紀子 藤井 達夫																																																																																	
8	6/10	10:50-12:20		宮田 義矢 木谷 真紀子 藤井 達夫																																																																																	
9	6/17	10:50-12:20		宮田 義矢 木谷 真紀子 藤井 達夫																																																																																	
10	6/24	10:50-12:20		宮田 義矢 木谷 真紀子 藤井 達夫																																																																																	
11	7/1	10:50-12:20		宮田 義矢 木谷 真紀子 藤井 達夫																																																																																	
12	7/8	10:50-12:20		宮田 義矢 木谷 真紀子 藤井 達夫																																																																																	
13	7/15	10:50-12:20		宮田 義矢 木谷 真紀子 藤井 達夫																																																																																	
14	7/22	10:50-12:20		宮田 義矢 木谷 真紀子 藤井 達夫																																																																																	
15	7/29	10:50-12:20		宮田 義矢 木谷 真紀子 藤井 達夫																																																																																	
<p>授業方法</p> <p>パワーポイントを用いて講義を行います。アクティブラーニングの形式を取り入れ、授業テーマにまつわる問題を提起してリアクションペーパー等で各自の意見を求めますので、考える姿勢で臨んでください。</p>																																																																																					
<p>授業内容</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ガイダンス:宗教学のスタンス、講義内容、成績評価について 2. 「宗教」とは何か:地域・文化から宗教を見る 3. ユダヤ教①:「唯一の神」とは何者か 4. ユダヤ教②:「唯一の神」と「選びの民」の歴史 5. キリスト教①:「唯一の神」とイエスの教え 																																																																																					

6. キリスト教②:三位一体の「唯一の神」
7. キリスト教③:三大宗派の展開
8. イスラーム①:「唯一の神」対偶像
9. イスラーム②:「唯一の神」の世界化
10. イスラーム③:宗教を通じた異文化理解
11. 仏教①:「仏」の登場
12. 仏教②:「仏」の悟りとは何か
13. 仏教③:三大潮流の「仏」の位置づけ
14. 修行と戒律:比較による特徴の把握
15. 授業内試験:試験と授業のまとめ

成績評価の方法

評価 : 試験 50% ・ レポート % ・ その他(リアクション・ペーパー) 50%

再評価: 有(レポート)

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習等についての具体的な指示

予習:講義のまとめりごとに、テーマを発表しますので、関連する書籍・辞典等に目を通してください。

復習:各回の講義を、設定した問いにこの観点から要約し、宗教学的視点を養うようにしてください。

教科書

教科書は指定しません。毎回レジュメを配布します。また関連する文献も紹介しますので、意欲的に目を通すようにして下さい。

履修上の注意事項

リアクション・ペーパーの配分が大きいので、授業への出席状況が、成績評価に反映します。欠席・遅刻のないよう、心がけてください。出欠は、教員がとる出欠(リアクション・ペーパー、出席カード)を優先します。期末試験を受験するには、原則として、授業回数の2/3の出席が必要です。

時間割番号	000008			科目ID	LA-110800-Z
科目名	宗教学Ⅱ				
担当教員	宮田 義矢[MIYATA YOSHIYA]				
開講時期	2022 年度後期	対象年次	1	単位数	2
実務経験のある教員による授業					
曜日・時間:金曜2限 科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):1-3)、1-4)、1-5					
授業の目的、概要等					
目的:諸宗教を題材に、異なる社会・異なる立場の人間の信念や思考のあり方を理解し、その中で自らの思考の位置を捉えなおすことを目指します。無宗教者人口が7~8割といわれる日本社会では、無宗教であることが「常識」です。しかし、一旦国外で、あるいは国内で宗教を信仰する人間と出会った時、その常識とはまた別の「常識」が力強く存在していることに驚くでしょう。諸宗教の教義や歴史について理解を深めていくことで、我々の常識がどのような立場にあるのか、あるいはどのように形成されてきたのかを考えていきましょう。					
授業の到達目標					
宗教学的な考え方にに基づき、宗教に関わる問題を分析的に記述できるようになること。					
授業計画					
回	日付	時刻	講義室	担当教員	
1	10/7	10:50-12:20		宮田 義矢 木谷 真紀子, 藤井 達夫	
2	10/14	10:50-12:20		宮田 義矢 木谷 真紀子, 藤井 達夫	
3	10/21	10:50-12:20		宮田 義矢 木谷 真紀子, 藤井 達夫	
4	10/28	10:50-12:20		宮田 義矢 木谷 真紀子, 藤井 達夫	
5	11/4	10:50-12:20		宮田 義矢 木谷 真紀子, 藤井 達夫	
6	11/11	10:50-12:20		宮田 義矢 木谷 真紀子, 藤井 達夫	
7	11/18	10:50-12:20		宮田 義矢 木谷 真紀子, 藤井 達夫	
8	11/25	10:50-12:20		宮田 義矢 木谷 真紀子, 藤井 達夫	
9	12/2	10:50-12:20		宮田 義矢 木谷 真紀子, 藤井 達夫	
10	12/9	10:50-12:20		宮田 義矢 木谷 真紀子, 藤井 達夫	
11	12/16	10:50-12:20		宮田 義矢 木谷 真紀子, 藤井 達夫	
12	1/6	10:50-12:20		宮田 義矢 木谷 真紀子, 藤井 達夫	
13	1/13	10:50-12:20		宮田 義矢 木谷 真紀子, 藤井 達夫	
14	1/20	10:50-12:20		宮田 義矢 木谷 真紀子, 藤井 達夫	
15	1/27	10:50-12:20		宮田 義矢 木谷 真紀子, 藤井 達夫	
授業方法					
パワーポイントを用いて講義を行います。アクティブラーニングの形式を取り入れ、授業テーマにまつわる問題を提起してリアクションペーパー等で各自の意見を求めますので、考える姿勢で臨んでください。					
授業内容					
1. ガイダンス:宗教学のスタンス、講義内容、成績評価について 2. 「無宗教」の日本人:「無宗教」意識の来源 3. 日本の宗教①:神道と仏教 4. 日本の宗教②:スピリチュアル 5. 日本の宗教③:宗教事件と報道 6. 宗教学的な視点①:「カルト」の分析的理解					

7. 宗教学的な視点②:「神秘体験」の心理学
8. 宗教学的な視点③:シャーマニズムと近代
9. 宗教学的な視点④:ある精神科医の死生観
10. 宗教と現代①:聖典と現代アメリカ
11. 宗教と現代②:現代に息づく神話
12. 宗教と現代③:修行と現代中国
13. 宗教と現代④:社会制度化した修行
14. 聖地と巡礼:「宗教」を通じて見ることの意義
15. 授業内試験:試験と授業のまとめ

成績評価の方法

評価 : 試験 50%・その他(リアクション・ペーパー) 50%

再評価: 有(レポート)

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習等についての具体的な指示

予習:講義のまとめりに、テーマを発表しますので、関連する書籍・辞典等に目を通してください。

復習:各回の講義を、設定した問いこの観点から要約し、宗教学的視点を養うようにしてください。

教科書

教科書は指定しません。毎回レジュメを配布します。また関連する文献も紹介しますので、意欲的に目を通すようにして下さい。

履修上の注意事項

リアクション・ペーパーの配分が大きいので、授業への出席状況が、成績評価に反映します。欠席・遅刻のないよう、心がけてください。出欠は、教員がとる出欠(リアクション・ペーパー、出席カード)を優先します。期末試験を受験するには、原則として、授業回数の2/3の出席が必要です。

時間割番号	000009																																																																																				
科目名	芸術 I	科目 ID	LA-110900-Z																																																																																		
担当教員	木津 文哉, 三上 亮, 押元 一敏, 久保田 木都[KIZU FUMIYA, MIKAMI Ryou, OSHIMOTO Kazutoshi, KUBOTA Koto]																																																																																				
開講時期	2022 年度前期	対象年次	1	単位数	2																																																																																
実務経験のある教員による授業																																																																																					
<p>曜日・時間:金曜2限 対象学科:医学科・歯学科 募集人数:20人 科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):1-6</p>																																																																																					
<p>主な講義場所 第1～9回:10番教室 第10～15回: 番教室</p>																																																																																					
<p>授業の目的、概要等 絵画、彫刻、工芸、デザイン、映像メディア等の芸術における様々な分野の表現について講義と実習を通して学ぶ。芸術の視点から、人間、社会、歴史、分野、表現等について幅広く捉え、特に人間と美術の関わりについて探求する。</p>																																																																																					
<p>授業の到達目標 人間活動としての芸術とその歴史、表現について理解する。人間と美術の関わりについて理解する。特定分野の表現を実習で実現できる。</p>																																																																																					
<p>授業計画</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>講義室</th> <th>担当教員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td>4/15</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>木津 文哉 齋藤 典彦, 三上 亮, 押元 一敏, 久保田 木都, 木谷 真紀子, 藤井 達夫</td></tr> <tr><td>2</td><td>4/22</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>木津 文哉 齋藤 典彦, 三上 亮, 押元 一敏, 久保田 木都, 木谷 真紀子, 藤井 達夫</td></tr> <tr><td>3</td><td>5/6</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>木津 文哉 齋藤 典彦, 三上 亮, 押元 一敏, 久保田 木都, 木谷 真紀子, 藤井 達夫</td></tr> <tr><td>4</td><td>5/13</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>木津 文哉 齋藤 典彦, 三上 亮, 押元 一敏, 久保田 木都, 木谷 真紀子, 藤井 達夫</td></tr> <tr><td>5</td><td>5/20</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>木津 文哉 齋藤 典彦, 三上 亮, 押元 一敏, 久保田 木都, 木谷 真紀子, 藤井 達夫</td></tr> <tr><td>6</td><td>5/27</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>木津 文哉 齋藤 典彦, 三上 亮, 押元 一敏, 久保田 木都, 木谷 真紀子, 藤井 達夫</td></tr> <tr><td>7</td><td>6/3</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>木津 文哉 齋藤 典彦, 三上 亮, 押元 一敏, 久保田 木都, 木谷 真紀子, 藤井 達夫</td></tr> <tr><td>8</td><td>6/10</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>木津 文哉 齋藤 典彦, 三上 亮, 押元 一敏, 久保田 木都, 木谷 真紀子, 藤井 達夫</td></tr> <tr><td>9</td><td>6/17</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>木津 文哉 齋藤 典彦, 三上 亮, 押元 一敏, 久保田 木都, 木谷 真紀子, 藤井 達夫</td></tr> <tr><td>10</td><td>6/24</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>木津 文哉 齋藤 典彦, 三上 亮, 押元 一敏, 久保田 木都, 木谷 真紀子, 藤井 達夫</td></tr> <tr><td>11</td><td>7/1</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>木津 文哉 齋藤 典彦, 三上 亮, 押元 一敏, 久保田 木都, 木谷 真紀子, 藤井 達夫</td></tr> <tr><td>12</td><td>7/8</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>木津 文哉 齋藤 典彦, 三上 亮, 押元 一敏, 久保田 木都, 木谷 真紀子, 藤井 達夫</td></tr> <tr><td>13</td><td>7/15</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>木津 文哉 齋藤 典彦, 三上 亮, 押元 一敏, 久保田 木都, 木谷 真紀子, 藤井 達夫</td></tr> <tr><td>14</td><td>7/22</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>木津 文哉 齋藤 典彦, 三上 亮, 押元 一敏, 久保田 木都, 木谷 真紀子, 藤井 達夫</td></tr> <tr><td>15</td><td>7/29</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>木津 文哉 齋藤 典彦, 三上 亮, 押元 一敏, 久保田 木都, 木谷 真紀子, 藤井 達夫</td></tr> </tbody> </table>						回	日付	時刻	講義室	担当教員	1	4/15	10:50-12:20		木津 文哉 齋藤 典彦, 三上 亮, 押元 一敏, 久保田 木都, 木谷 真紀子, 藤井 達夫	2	4/22	10:50-12:20		木津 文哉 齋藤 典彦, 三上 亮, 押元 一敏, 久保田 木都, 木谷 真紀子, 藤井 達夫	3	5/6	10:50-12:20		木津 文哉 齋藤 典彦, 三上 亮, 押元 一敏, 久保田 木都, 木谷 真紀子, 藤井 達夫	4	5/13	10:50-12:20		木津 文哉 齋藤 典彦, 三上 亮, 押元 一敏, 久保田 木都, 木谷 真紀子, 藤井 達夫	5	5/20	10:50-12:20		木津 文哉 齋藤 典彦, 三上 亮, 押元 一敏, 久保田 木都, 木谷 真紀子, 藤井 達夫	6	5/27	10:50-12:20		木津 文哉 齋藤 典彦, 三上 亮, 押元 一敏, 久保田 木都, 木谷 真紀子, 藤井 達夫	7	6/3	10:50-12:20		木津 文哉 齋藤 典彦, 三上 亮, 押元 一敏, 久保田 木都, 木谷 真紀子, 藤井 達夫	8	6/10	10:50-12:20		木津 文哉 齋藤 典彦, 三上 亮, 押元 一敏, 久保田 木都, 木谷 真紀子, 藤井 達夫	9	6/17	10:50-12:20		木津 文哉 齋藤 典彦, 三上 亮, 押元 一敏, 久保田 木都, 木谷 真紀子, 藤井 達夫	10	6/24	10:50-12:20		木津 文哉 齋藤 典彦, 三上 亮, 押元 一敏, 久保田 木都, 木谷 真紀子, 藤井 達夫	11	7/1	10:50-12:20		木津 文哉 齋藤 典彦, 三上 亮, 押元 一敏, 久保田 木都, 木谷 真紀子, 藤井 達夫	12	7/8	10:50-12:20		木津 文哉 齋藤 典彦, 三上 亮, 押元 一敏, 久保田 木都, 木谷 真紀子, 藤井 達夫	13	7/15	10:50-12:20		木津 文哉 齋藤 典彦, 三上 亮, 押元 一敏, 久保田 木都, 木谷 真紀子, 藤井 達夫	14	7/22	10:50-12:20		木津 文哉 齋藤 典彦, 三上 亮, 押元 一敏, 久保田 木都, 木谷 真紀子, 藤井 達夫	15	7/29	10:50-12:20		木津 文哉 齋藤 典彦, 三上 亮, 押元 一敏, 久保田 木都, 木谷 真紀子, 藤井 達夫
回	日付	時刻	講義室	担当教員																																																																																	
1	4/15	10:50-12:20		木津 文哉 齋藤 典彦, 三上 亮, 押元 一敏, 久保田 木都, 木谷 真紀子, 藤井 達夫																																																																																	
2	4/22	10:50-12:20		木津 文哉 齋藤 典彦, 三上 亮, 押元 一敏, 久保田 木都, 木谷 真紀子, 藤井 達夫																																																																																	
3	5/6	10:50-12:20		木津 文哉 齋藤 典彦, 三上 亮, 押元 一敏, 久保田 木都, 木谷 真紀子, 藤井 達夫																																																																																	
4	5/13	10:50-12:20		木津 文哉 齋藤 典彦, 三上 亮, 押元 一敏, 久保田 木都, 木谷 真紀子, 藤井 達夫																																																																																	
5	5/20	10:50-12:20		木津 文哉 齋藤 典彦, 三上 亮, 押元 一敏, 久保田 木都, 木谷 真紀子, 藤井 達夫																																																																																	
6	5/27	10:50-12:20		木津 文哉 齋藤 典彦, 三上 亮, 押元 一敏, 久保田 木都, 木谷 真紀子, 藤井 達夫																																																																																	
7	6/3	10:50-12:20		木津 文哉 齋藤 典彦, 三上 亮, 押元 一敏, 久保田 木都, 木谷 真紀子, 藤井 達夫																																																																																	
8	6/10	10:50-12:20		木津 文哉 齋藤 典彦, 三上 亮, 押元 一敏, 久保田 木都, 木谷 真紀子, 藤井 達夫																																																																																	
9	6/17	10:50-12:20		木津 文哉 齋藤 典彦, 三上 亮, 押元 一敏, 久保田 木都, 木谷 真紀子, 藤井 達夫																																																																																	
10	6/24	10:50-12:20		木津 文哉 齋藤 典彦, 三上 亮, 押元 一敏, 久保田 木都, 木谷 真紀子, 藤井 達夫																																																																																	
11	7/1	10:50-12:20		木津 文哉 齋藤 典彦, 三上 亮, 押元 一敏, 久保田 木都, 木谷 真紀子, 藤井 達夫																																																																																	
12	7/8	10:50-12:20		木津 文哉 齋藤 典彦, 三上 亮, 押元 一敏, 久保田 木都, 木谷 真紀子, 藤井 達夫																																																																																	
13	7/15	10:50-12:20		木津 文哉 齋藤 典彦, 三上 亮, 押元 一敏, 久保田 木都, 木谷 真紀子, 藤井 達夫																																																																																	
14	7/22	10:50-12:20		木津 文哉 齋藤 典彦, 三上 亮, 押元 一敏, 久保田 木都, 木谷 真紀子, 藤井 達夫																																																																																	
15	7/29	10:50-12:20		木津 文哉 齋藤 典彦, 三上 亮, 押元 一敏, 久保田 木都, 木谷 真紀子, 藤井 達夫																																																																																	
<p>授業方法 初回にガイダンスを行う。全15回の授業うち、1-9回は各専門分野の講師による講義。10-15回はデッサン実習とする。</p>																																																																																					
<p>授業内容 第1回:ガイダンス、彫刻論</p>																																																																																					

第2・3回:デザイン論
第4・5回:工芸論
第6・7回:映像メディア論
第8・9回:絵画論
第10～15回:デッサン実習

成績評価の方法

評価 : 試験 % ・ レポート 60% ・ その他(デッサン実習) 40% オムニバス形式の授業であり、授業への参加度を重視する。

再評価: 無

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習等についての具体的な指示

各回、美術の専門分野をもった教員による講義となる。自主的に美術館や博物館等で興味のある美術・工芸に関わる作品を幅広く鑑賞しておく事が望ましい。

履修上の注意事項

レポート提出には3分の2以上の出席が必要

備考

キーワード:芸術

時間割番号	000034			科目ID	LA-111000-Z
科目名	芸術Ⅱ				
担当教員	室田 尚子[MUROTA NAOKO]				
開講時期	2022 年度後期	対象年次	1	単位数	2
実務経験のある教員による授業					
曜日・時間: 金曜2限 科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 1-4)、1-6)、1-7)、3-4)					
授業の目的、概要等					
目的: オペラの魅力と芸術的価値を知る。 概要: 現在でも欧米では、オペラに精通しているかどうかはその人の教養を測る一つの物差しとなるケースがある。それほど、西洋芸術音楽の中でも特別な位置を占めている。本講義では、オペラの作品の鑑賞を通して、そこに描かれた人間像に触れ、オペラの多角的な魅力を理解するとともに、「音楽」「美術」「文学」「演劇」が一つになった「総合芸術」であるオペラの芸術的価値について考察する。					
授業の到達目標					
1) オペラの成り立ちや歴史を知ること。 2) オペラ作品の中に登場する男女の姿を通して、人間の様々な感情や生き方を知ること。 3) 各作品における音楽的特徴を知り、歴史の中に位置付けることで、オペラの芸術的価値について学ぶこと。 4) 現代社会においてオペラがどのような位置付けにあるのかを知ること。 5) 作品鑑賞を通して感じたり考えたりしたことを、他者に的確に伝えられるように言語化すること。					
授業計画					
回	日付	時刻	講義室	担当教員	
1	10/7	10:50-12:20		室田 尚子, 木谷 真紀子, 藤井 達夫	
2	10/14	10:50-12:20		室田 尚子, 木谷 真紀子, 藤井 達夫	
3	10/21	10:50-12:20		室田 尚子, 木谷 真紀子, 藤井 達夫	
4	10/28	10:50-12:20		室田 尚子, 木谷 真紀子, 藤井 達夫	
5	11/4	10:50-12:20		室田 尚子, 木谷 真紀子, 藤井 達夫	
6	11/11	10:50-12:20		室田 尚子, 木谷 真紀子, 藤井 達夫	
7	11/18	10:50-12:20		室田 尚子, 木谷 真紀子, 藤井 達夫	
8	11/25	10:50-12:20		室田 尚子, 木谷 真紀子, 藤井 達夫	
9	12/2	10:50-12:20		室田 尚子, 木谷 真紀子, 藤井 達夫	
10	12/9	10:50-12:20		室田 尚子, 木谷 真紀子, 藤井 達夫	
11	12/16	10:50-12:20		室田 尚子, 木谷 真紀子, 藤井 達夫	
12	1/6	10:50-12:20		室田 尚子, 木谷 真紀子, 藤井 達夫	
13	1/13	10:50-12:20		室田 尚子, 木谷 真紀子, 藤井 達夫	
14	1/20	10:50-12:20		室田 尚子, 木谷 真紀子, 藤井 達夫	
15	1/27	10:50-12:20		室田 尚子, 木谷 真紀子, 藤井 達夫	
授業方法					
CD や DVD を鑑賞しながらの講義。適宜、作品の感想や考察を提出してもらう。					
授業内容					
1. 授業内容についてのガイダンス 2. オペラの発祥とその歴史 3. 愛に生きた女性～ヴェルディ『椿姫』 4. 悪女について～ビゼー『カルメン』					

<p>5. イケメン考～モーツァルト『ドン・ジョヴァンニ』</p> <p>6. 肉体の愛と精神の愛～ワーグナー『タンホイザー』</p> <p>7. 男の愛と生涯～オッフェンバック『ホフマン物語』</p> <p>8. 女の愛と生涯～リヒャルト・シュトラウス『ばらの騎士』</p> <p>9. 世紀末芸術とオペラ～リヒャルト・シュトラウス『サロメ』</p> <p>10. オペラにおけるリアル～レオンカヴァッロ『道化師』</p> <p>11. ジェンダー格差について考える～プッチーニ『蝶々夫人』</p> <p>12. オペレッタとミュージカル</p> <p>13. オペラの解体～ヴァイル『三文オペラ』</p> <p>14. 20世紀以降のオペラ</p> <p>15. 学期末試験</p>
<p>成績評価の方法</p> <p>評価：試験 70% ・ レポート % ・ その他(授業への参加度) 30%</p> <p>再評価： 有(レポート)</p>
<p>成績評価の基準</p> <p>「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による</p>
<p>準備学習等についての具体的な指示</p> <p>予習は特に必要なし。復習については、授業で鑑賞した作品を自分でもう一度鑑賞し直すことを勧める。授業内容について自筆でノートにまとめておくこと。</p>
<p>教科書</p> <p>特に指定しない</p>
<p>参考書</p> <p>『オペラの館がお待ちかね』室田尚子著(清流出版、2012年)</p> <p>『オペラワンダーランド(ぴあムック)』(2016年)</p> <p>『新国立劇場 名作オペラ 50 鑑賞入門』(世界文化社、2012年)</p>
<p>履修上の注意事項</p> <p>・出欠は教員が調査票によって取るものを優先させる。 ・鑑賞が中心の授業なので、きちんと出席し授業を受けることが何よりも重要である。 ・原則として授業開始 30 分を過ぎてからの遅刻は認めない。 ・授業はパワーポイントによって行う。印刷物を配布することはしないので各自ノートをとること。 ・授業中パワーポイントの画面を撮影することは禁止する。 ・出席日数が授業日数の 3 分の 2 に満たない場合は期末試験の受験を認めない。</p>
<p>備考</p> <p>キーワード: 音楽、クラシック、オペラ、オペレッタ、声楽、舞台</p>

時間割番号	000012			科目ID	LA-111100-Z																																																																																
科目名	歴史学A I																																																																																				
担当教員	太田 岳人																																																																																				
開講時期	2022 年度前期	対象年次	1	単位数	2																																																																																
実務経験のある教員による授業																																																																																					
<p>曜日・時間:月曜2限</p> <p>1-3) 人間の歴史的営みを理解する</p> <p>1-7) 人間の心への理解を深める</p> <p>3-4) 外国文化を理解する</p>																																																																																					
<p>授業の目的、概要等</p> <p>【両大戦間期の文化・芸術の歴史】</p> <p>1918 年 11 月に終結した第一次世界大戦は、ヨーロッパに対し甚大な惨禍をもたらすとともに、世界の政治状況を大きく変動させた。それから第二次世界大戦が勃発する 1939 年 9 月までの約 20 年間には、現代の生活の一部となっているメディアや文化的要素の多くが出揃っただけでなく、いわゆる「前衛芸術」の分野においても最も豊穡な成果が開花した。本講義では、この時期のドイツ、イタリア、ロシア(ソ連)、フランス、メキシコの 5 か国の動向を中心に、それぞれの国々で発生した目覚ましい文化・芸術の試みと、そうした試みに対する政治の側からの支援／統制政策の展開を比較しながら追うことで、近代における文化と社会の関係を歴史的に考察する。</p>																																																																																					
<p>授業の到達目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・両大戦間期を中心に、現代に通ずる近代史の流れを理解する。 ・各国で、またそれらを横断する形で表れた様々な文化・芸術潮流とともに、それらと同時代の政治との間に存在した複雑な諸問題について、自ら考えるための視座を得る。 																																																																																					
<p>授業計画</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>講義室</th> <th>担当教員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td>4/18</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>木谷 真紀子, 藤井 達夫</td></tr> <tr><td>2</td><td>4/25</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>木谷 真紀子, 藤井 達夫</td></tr> <tr><td>3</td><td>5/2</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>木谷 真紀子, 藤井 達夫</td></tr> <tr><td>4</td><td>5/9</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>木谷 真紀子, 藤井 達夫</td></tr> <tr><td>5</td><td>5/16</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>木谷 真紀子, 藤井 達夫</td></tr> <tr><td>6</td><td>5/23</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>木谷 真紀子, 藤井 達夫</td></tr> <tr><td>7</td><td>5/30</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>木谷 真紀子, 藤井 達夫</td></tr> <tr><td>8</td><td>6/6</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>木谷 真紀子, 藤井 達夫</td></tr> <tr><td>9</td><td>6/13</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>木谷 真紀子, 藤井 達夫</td></tr> <tr><td>10</td><td>6/20</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>木谷 真紀子, 藤井 達夫</td></tr> <tr><td>11</td><td>6/27</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>木谷 真紀子, 藤井 達夫</td></tr> <tr><td>12</td><td>7/4</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>木谷 真紀子, 藤井 達夫</td></tr> <tr><td>13</td><td>7/11</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>木谷 真紀子, 藤井 達夫</td></tr> <tr><td>14</td><td>7/18</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>木谷 真紀子, 藤井 達夫</td></tr> <tr><td>15</td><td>7/25</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>						回	日付	時刻	講義室	担当教員	1	4/18	10:50-12:20		木谷 真紀子, 藤井 達夫	2	4/25	10:50-12:20		木谷 真紀子, 藤井 達夫	3	5/2	10:50-12:20		木谷 真紀子, 藤井 達夫	4	5/9	10:50-12:20		木谷 真紀子, 藤井 達夫	5	5/16	10:50-12:20		木谷 真紀子, 藤井 達夫	6	5/23	10:50-12:20		木谷 真紀子, 藤井 達夫	7	5/30	10:50-12:20		木谷 真紀子, 藤井 達夫	8	6/6	10:50-12:20		木谷 真紀子, 藤井 達夫	9	6/13	10:50-12:20		木谷 真紀子, 藤井 達夫	10	6/20	10:50-12:20		木谷 真紀子, 藤井 達夫	11	6/27	10:50-12:20		木谷 真紀子, 藤井 達夫	12	7/4	10:50-12:20		木谷 真紀子, 藤井 達夫	13	7/11	10:50-12:20		木谷 真紀子, 藤井 達夫	14	7/18	10:50-12:20		木谷 真紀子, 藤井 達夫	15	7/25	10:50-12:20		
回	日付	時刻	講義室	担当教員																																																																																	
1	4/18	10:50-12:20		木谷 真紀子, 藤井 達夫																																																																																	
2	4/25	10:50-12:20		木谷 真紀子, 藤井 達夫																																																																																	
3	5/2	10:50-12:20		木谷 真紀子, 藤井 達夫																																																																																	
4	5/9	10:50-12:20		木谷 真紀子, 藤井 達夫																																																																																	
5	5/16	10:50-12:20		木谷 真紀子, 藤井 達夫																																																																																	
6	5/23	10:50-12:20		木谷 真紀子, 藤井 達夫																																																																																	
7	5/30	10:50-12:20		木谷 真紀子, 藤井 達夫																																																																																	
8	6/6	10:50-12:20		木谷 真紀子, 藤井 達夫																																																																																	
9	6/13	10:50-12:20		木谷 真紀子, 藤井 達夫																																																																																	
10	6/20	10:50-12:20		木谷 真紀子, 藤井 達夫																																																																																	
11	6/27	10:50-12:20		木谷 真紀子, 藤井 達夫																																																																																	
12	7/4	10:50-12:20		木谷 真紀子, 藤井 達夫																																																																																	
13	7/11	10:50-12:20		木谷 真紀子, 藤井 達夫																																																																																	
14	7/18	10:50-12:20		木谷 真紀子, 藤井 達夫																																																																																	
15	7/25	10:50-12:20																																																																																			
<p>授業方法</p> <p>パワーポイントを使った講義。ただし課題発表など、アクティヴ・ラーニングの方法を適宜取り入れる。</p>																																																																																					
<p>授業内容</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) ガイダンス 2) 第一次大戦直前までのヨーロッパ社会と芸術(1) 3) 第一次大戦直前までのヨーロッパ社会と芸術(2) 4) 第一次世界大戦と芸術家たち(1): 未来派 5) 第一次世界大戦と芸術家たち(2): ダダ 6) ドイツ(1): ワイマール時代の肖像とカリカチュア 																																																																																					

<p>7)ドイツ(2):ナチスと「頽廃芸術展」</p> <p>8)イタリア(1):イタリアに「頽廃芸術」は存在したか?</p> <p>9)イタリア(2):「ファシスト・モダニズム」?</p> <p>10)ロシア(1):ロシア革命と構成主義</p> <p>11)ロシア(2):社会主義リアリズムへの道</p> <p>12)フランス(1):ダダからシュルレアリスムへ</p> <p>13)フランス(2):シュルレアリスムと政治</p> <p>14)メキシコ:壁画運動</p> <p>15)その後の歴史の展開、リブライ</p>
<p>成績評価の方法</p> <p>評価 : 試験 0% ・ レポート 70% ・ その他(出欠・コメントシートなど授業参加度) 30%</p> <p>再評価:有(再評価方法:レポート)</p>
<p>成績評価の基準</p> <p>「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による</p>
<p>準備学習等についての具体的な指示</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業中の配布プリントに挙げる参考文献を読み、授業の理解を深めること。 ・講義の他にも、展覧会などを通じて芸術作品を積極的に見ることを推奨する。
<p>教科書</p> <p>特に指定しないが、各回のレジュメで参考文献などを適宜紹介する。</p>
<p>参考書</p> <p>『世界美術大全集 西洋編』(1992-1997年、小学館)など、公共図書館で閲覧できる美術全集や画集で、19-20世紀の美術作品について、随時目を通すとよい。</p>
<p>履修上の注意事項</p> <p>最終レポート提出には、3分の2以上の授業に出席している必要がある。</p>
<p>備考</p> <p>世界大戦、表象、文化と政治、前衛芸術、近代</p>

時間割番号	000013			科目ID	LA-111200-Z																																																																																
科目名	歴史学AⅡ																																																																																				
担当教員	太田 岳人																																																																																				
開講時期	2022 年度後期	対象年次	1	単位数	2																																																																																
実務経験のある教員による授業																																																																																					
<p>曜日・時間: 月曜2限</p> <p>1-3) 人間の歴史的営みを理解する</p> <p>3-4) 外国文化を理解する 3-5) 国際情勢を理解する</p>																																																																																					
<p>授業の目的、概要等</p> <p>【近現代イタリアの歴史——ファシズム期を中心に】「ファシズム」という政治運動・支配体制・イデオロギーは、歴史上では20世紀において初めて出現したものであり、現在の世界においてもその影響・復活などが(ときに不毛なレッテル的に)語られる現象である。本講義では、ベニート・ムッソリーニ(1883-1945)率いる国民ファシスト党のもとに確立された、イタリアのファシズム政権(1922-1943)について、いくつかのテーマ(高級/大衆文化、党幹部、人種主義など)を軸にしつつその歴史的展開について概観する。また、第二次世界大戦による政権の消滅後、ファシズム支配の「20年」がどのように表象されてきたか、その後の歴史的記憶の形成についても考察する。</p>																																																																																					
<p>授業の到達目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・イタリアを具体例とした西欧の近代史を学ぶことを通じて、現在の国際社会の形成過程を比較史的に把握する。 ・「ファシズム」の時代における社会・文化の諸相、それに対し知識人層から大衆層までが示した様々な反応の経験を理解することで、現代にも続く国内/国際政治の諸問題に対する、歴史感覚と考察力を身に着ける。 																																																																																					
<p>授業計画</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>講義室</th> <th>担当教員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td>10/3</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>木谷 真紀子, 藤井 達夫</td></tr> <tr><td>2</td><td>10/10</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>木谷 真紀子, 藤井 達夫</td></tr> <tr><td>3</td><td>10/17</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>木谷 真紀子, 藤井 達夫</td></tr> <tr><td>4</td><td>10/24</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>木谷 真紀子, 藤井 達夫</td></tr> <tr><td>5</td><td>10/31</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>木谷 真紀子, 藤井 達夫</td></tr> <tr><td>6</td><td>11/7</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>木谷 真紀子, 藤井 達夫</td></tr> <tr><td>7</td><td>11/14</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>木谷 真紀子, 藤井 達夫</td></tr> <tr><td>8</td><td>11/21</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>木谷 真紀子, 藤井 達夫</td></tr> <tr><td>9</td><td>11/28</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>木谷 真紀子, 藤井 達夫</td></tr> <tr><td>10</td><td>12/5</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>木谷 真紀子, 藤井 達夫</td></tr> <tr><td>11</td><td>12/12</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>木谷 真紀子, 藤井 達夫</td></tr> <tr><td>12</td><td>12/19</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>木谷 真紀子, 藤井 達夫</td></tr> <tr><td>13</td><td>1/16</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>木谷 真紀子, 藤井 達夫</td></tr> <tr><td>14</td><td>1/23</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>木谷 真紀子, 藤井 達夫</td></tr> <tr><td>15</td><td>1/30</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>木谷 真紀子, 藤井 達夫</td></tr> </tbody> </table>						回	日付	時刻	講義室	担当教員	1	10/3	10:50-12:20		木谷 真紀子, 藤井 達夫	2	10/10	10:50-12:20		木谷 真紀子, 藤井 達夫	3	10/17	10:50-12:20		木谷 真紀子, 藤井 達夫	4	10/24	10:50-12:20		木谷 真紀子, 藤井 達夫	5	10/31	10:50-12:20		木谷 真紀子, 藤井 達夫	6	11/7	10:50-12:20		木谷 真紀子, 藤井 達夫	7	11/14	10:50-12:20		木谷 真紀子, 藤井 達夫	8	11/21	10:50-12:20		木谷 真紀子, 藤井 達夫	9	11/28	10:50-12:20		木谷 真紀子, 藤井 達夫	10	12/5	10:50-12:20		木谷 真紀子, 藤井 達夫	11	12/12	10:50-12:20		木谷 真紀子, 藤井 達夫	12	12/19	10:50-12:20		木谷 真紀子, 藤井 達夫	13	1/16	10:50-12:20		木谷 真紀子, 藤井 達夫	14	1/23	10:50-12:20		木谷 真紀子, 藤井 達夫	15	1/30	10:50-12:20		木谷 真紀子, 藤井 達夫
回	日付	時刻	講義室	担当教員																																																																																	
1	10/3	10:50-12:20		木谷 真紀子, 藤井 達夫																																																																																	
2	10/10	10:50-12:20		木谷 真紀子, 藤井 達夫																																																																																	
3	10/17	10:50-12:20		木谷 真紀子, 藤井 達夫																																																																																	
4	10/24	10:50-12:20		木谷 真紀子, 藤井 達夫																																																																																	
5	10/31	10:50-12:20		木谷 真紀子, 藤井 達夫																																																																																	
6	11/7	10:50-12:20		木谷 真紀子, 藤井 達夫																																																																																	
7	11/14	10:50-12:20		木谷 真紀子, 藤井 達夫																																																																																	
8	11/21	10:50-12:20		木谷 真紀子, 藤井 達夫																																																																																	
9	11/28	10:50-12:20		木谷 真紀子, 藤井 達夫																																																																																	
10	12/5	10:50-12:20		木谷 真紀子, 藤井 達夫																																																																																	
11	12/12	10:50-12:20		木谷 真紀子, 藤井 達夫																																																																																	
12	12/19	10:50-12:20		木谷 真紀子, 藤井 達夫																																																																																	
13	1/16	10:50-12:20		木谷 真紀子, 藤井 達夫																																																																																	
14	1/23	10:50-12:20		木谷 真紀子, 藤井 達夫																																																																																	
15	1/30	10:50-12:20		木谷 真紀子, 藤井 達夫																																																																																	
<p>授業方法</p> <p>パワーポイントを使った講義。ただし課題発表など、アクティヴ・ラーニングの方法を適宜取り入れる。</p>																																																																																					
<p>授業内容</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) ガイダンス 2) 「ファシズム」についての定義 3) 近代のイタリア(1): イタリア王国の成立から第一次世界大戦へ 4) 近代のイタリア(2): ファシズム政権の「20年」 5) ファシズム政権下の文化(1): 「未来派」のファシズムへの協力 6) ファシズム政権下の文化(2): 学術界と美術界 7) ファシズム政権下の文化(3): 大衆雑誌と漫画 																																																																																					

<p>8)ファシスト党の人々(1):党幹部たち</p> <p>9)ファシスト党の人々(2):ムッソリーニのイメージ</p> <p>10)ファシズム期の人種主義(1):植民地戦争</p> <p>11)ファシズム期の人種主義(2):反ユダヤ主義</p> <p>12)ファシズム政権の記憶(1):レジスタンス運動と文学</p> <p>13)ファシズム政権の記憶(2):第二次世界大戦後の映画から</p> <p>14)ファシズム政権の記憶(3):「ムッソリーニはよいことしました」?</p> <p>15)総括、リプライ</p>
<p>成績評価の方法</p> <p>評価 : 試験 0% ・ レポート 70% ・ その他(出欠・コメントシートなど授業参加度) 30%</p> <p>再評価:有(再評価方法:レポート)</p>
<p>成績評価の基準</p> <p>「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による</p>
<p>準備学習等についての具体的な指示</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業中の配布プリントに挙げる参考文献を読み、授業の理解を深めること。 ・講義内容に関係する、小説、映画、芸術作品にも積極的に触れることを推奨する。
<p>教科書</p> <p>特に指定しないが、各回のレジュメで参考文献などを適宜紹介する。</p>
<p>参考書</p> <p>さしあたっては、以下のものをあげておく。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ファシズム研究会(編)『戦士の革命・生産者の国家』(太陽出版、1985年) ・田之倉稔『ファシストを演じた人びと』(青土社、1990年) ・田之倉稔『ファシズムと文化』(山川ブックス、2004年) ・北原敦(編)『イタリア史 世界各国史 15』(山川出版社、2008年) ・土肥秀行・山手昌樹(編)『教養のイタリア近現代史』(ミネルヴァ書房、2017年)
<p>履修上の注意事項</p> <p>最終レポート提出には、3分の2以上の授業に出席している必要がある。</p>
<p>備考</p> <p>イタリア、ファシズム、文化と政治、人種主義、近代</p>

時間割番号	000010			科目ID	LA-111300-Z																																																																																
科目名	歴史学B I																																																																																				
担当教員	後藤 敦子																																																																																				
開講時期	2022 年度前期	対象年次	1	単位数	2																																																																																
実務経験のある教員による授業																																																																																					
<p>金曜2限</p> <p>1-3) 人間の歴史的営みを理解する</p> <p>3-4) 外国文化を理解する</p> <p>3-5) 国際情勢を理解する</p>																																																																																					
<p>授業の目的、概要等</p> <p>イスラームは、キリスト教、ユダヤ教とならぶ世界三大宗教の一つであり、全世界人口の約四分の一を占める。日本はイスラームとは無縁なようにみえるが、歴史は長い。日本に最初に建立されたモスクは、戦間期の 1935 年に開堂した神戸モスクである。その当時の日本においては、大東亜共栄圏構想のもとでイスラーム(当時は回教と呼ばれた)について学ぶことも戦略として重要視されていた。現在、日本国内においては滞日ムスリム人口は約 20 万人、彼らが礼拝に訪れるモスク(イスラームの寺院)も年々増加している。</p> <p>本講義においては、まずイスラームの基本的知識について理解を深め、次にイスラームの生誕から時代順にイスラームの王朝と首都、支配のシステム、そこで発展した文化や科学についてとりあげる。イスラームの王朝が勃興し発展した地域においては、古代ギリシアやインドの知識をアラビア語に翻訳する活動が盛んであったために、イスラーム科学(医学、薬学、天文学)が栄え、それが西洋にもたらされた。アラビア半島に端を発したイスラームは、征服や交易をつうじて、徐々に中東地域からインド、中央アジア、南アジア、東南アジア、中国、アフリカへ拡大し、多様な地域で受容され、その土地の文化と融合した。</p> <p>多文化共生の観点から、イスラームの歴史と文化を世界史的な枠組の中で考察し、グローバル化する現代世界を正しく把握し、国際情勢を理解することを目的とする。</p>																																																																																					
<p>授業の到達目標</p> <p>1. イスラームの歴史を世界史の枠組に位置づけて考察できるようにする。</p> <p>2. 多文化が共生するイスラーム世界の歴史と文化をとらえて、グローバル化がすすむ現代国際社会における問題点を理解できるようにする。</p>																																																																																					
<p>授業計画</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>講義室</th> <th>担当教員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td>4/15</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>木谷 真紀子, 藤井 達夫</td></tr> <tr><td>2</td><td>4/22</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>木谷 真紀子, 藤井 達夫</td></tr> <tr><td>3</td><td>5/6</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>木谷 真紀子, 藤井 達夫</td></tr> <tr><td>4</td><td>5/13</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>木谷 真紀子, 藤井 達夫</td></tr> <tr><td>5</td><td>5/20</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>木谷 真紀子, 藤井 達夫</td></tr> <tr><td>6</td><td>5/27</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>木谷 真紀子, 藤井 達夫</td></tr> <tr><td>7</td><td>6/3</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>木谷 真紀子, 藤井 達夫</td></tr> <tr><td>8</td><td>6/10</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>木谷 真紀子, 藤井 達夫</td></tr> <tr><td>9</td><td>6/17</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>木谷 真紀子, 藤井 達夫</td></tr> <tr><td>10</td><td>6/24</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>木谷 真紀子, 藤井 達夫</td></tr> <tr><td>11</td><td>7/1</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>木谷 真紀子, 藤井 達夫</td></tr> <tr><td>12</td><td>7/8</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>木谷 真紀子, 藤井 達夫</td></tr> <tr><td>13</td><td>7/15</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>木谷 真紀子, 藤井 達夫</td></tr> <tr><td>14</td><td>7/22</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>木谷 真紀子, 藤井 達夫</td></tr> <tr><td>15</td><td>7/29</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>木谷 真紀子, 藤井 達夫</td></tr> </tbody> </table>						回	日付	時刻	講義室	担当教員	1	4/15	10:50-12:20		木谷 真紀子, 藤井 達夫	2	4/22	10:50-12:20		木谷 真紀子, 藤井 達夫	3	5/6	10:50-12:20		木谷 真紀子, 藤井 達夫	4	5/13	10:50-12:20		木谷 真紀子, 藤井 達夫	5	5/20	10:50-12:20		木谷 真紀子, 藤井 達夫	6	5/27	10:50-12:20		木谷 真紀子, 藤井 達夫	7	6/3	10:50-12:20		木谷 真紀子, 藤井 達夫	8	6/10	10:50-12:20		木谷 真紀子, 藤井 達夫	9	6/17	10:50-12:20		木谷 真紀子, 藤井 達夫	10	6/24	10:50-12:20		木谷 真紀子, 藤井 達夫	11	7/1	10:50-12:20		木谷 真紀子, 藤井 達夫	12	7/8	10:50-12:20		木谷 真紀子, 藤井 達夫	13	7/15	10:50-12:20		木谷 真紀子, 藤井 達夫	14	7/22	10:50-12:20		木谷 真紀子, 藤井 達夫	15	7/29	10:50-12:20		木谷 真紀子, 藤井 達夫
回	日付	時刻	講義室	担当教員																																																																																	
1	4/15	10:50-12:20		木谷 真紀子, 藤井 達夫																																																																																	
2	4/22	10:50-12:20		木谷 真紀子, 藤井 達夫																																																																																	
3	5/6	10:50-12:20		木谷 真紀子, 藤井 達夫																																																																																	
4	5/13	10:50-12:20		木谷 真紀子, 藤井 達夫																																																																																	
5	5/20	10:50-12:20		木谷 真紀子, 藤井 達夫																																																																																	
6	5/27	10:50-12:20		木谷 真紀子, 藤井 達夫																																																																																	
7	6/3	10:50-12:20		木谷 真紀子, 藤井 達夫																																																																																	
8	6/10	10:50-12:20		木谷 真紀子, 藤井 達夫																																																																																	
9	6/17	10:50-12:20		木谷 真紀子, 藤井 達夫																																																																																	
10	6/24	10:50-12:20		木谷 真紀子, 藤井 達夫																																																																																	
11	7/1	10:50-12:20		木谷 真紀子, 藤井 達夫																																																																																	
12	7/8	10:50-12:20		木谷 真紀子, 藤井 達夫																																																																																	
13	7/15	10:50-12:20		木谷 真紀子, 藤井 達夫																																																																																	
14	7/22	10:50-12:20		木谷 真紀子, 藤井 達夫																																																																																	
15	7/29	10:50-12:20		木谷 真紀子, 藤井 達夫																																																																																	
<p>授業方法</p> <p>講義、ただし課題発表などアクティブラーニングの方法を適宜取り入れます。毎回講義に対する質問・感想などをリアクションペーパーにまとめて提出する。</p>																																																																																					

<p>授業内容</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ガイダンス 2. イスラームの基礎知識(1) 3. イスラームの基礎知識(2) 4. 預言者ムハンマドとその時代、ウマイヤ朝 5. アッバース朝:カリフ宮廷とバグダード 6. イスラーム中世の科学(1) 7. ガズナ朝、ブワイフ朝 8. セルジューク朝(1) 9. セルジューク朝(2) 10. イスラーム中世の科学(2) 11. 神秘主義と宗派間の対立 12. 十字軍とその時代 13. イスラームの美術と建築 14. 15 回目の報告(参考文献から 1 冊とりあげて概要・意義・知りえたこと)の準備 15. 最終報告会とレポート提出
<p>成績評価の方法</p> <p>評価：レポート 50%・その他(毎授業でのリアクションペーパー 30%、講義内の発表など 20%)合計 50%・知識の確実な習得を重視する。</p> <p>再評価：有(再レポート)</p>
<p>成績評価の基準</p> <p>「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による</p>
<p>準備学習等についての具体的な指示</p> <p>本シラバスに「参考書」として挙げた文献、授業中に配布するプリントに挙げる参考文献などを読んで授業前後の理解を深めることが望ましい。</p>
<p>試験の受験資格</p> <p>3 分の 2 以上の授業に出席していること。</p> <p>20 分以内の遅刻、早退は、3 回で 1 回分の欠席としてカウントする。</p>
<p>教科書</p> <p>とくになし。授業当日にプリントを配布します。</p>
<p>参考書</p> <p>柴田大輔・中町信孝編著『イスラームは特殊か：西アジアの宗教と政治の系譜』(勁草書房, 2018)</p> <p>後藤明『イスラーム世界史』(角川ソフィア文庫, 2017)</p> <p>三浦徹編著『イスラーム世界の歴史的展開』(放送大学教材, 2011)</p> <p>小杉泰・江川ひかり編『イスラーム 社会生活・思想・歴史』(新曜社, 2006)</p> <p>小杉泰『イスラームとは何か:その宗教・社会・文化』(講談社現代新書, 1994)</p> <p>この他、参考書などは授業中に指示します。</p>
<p>履修上の注意事項</p> <p>出欠は毎回取るが、出欠管理システムより、教員自身が取れる出欠を優先させる。出欠そのものよりも、リアクションペーパーの内容を重要視する。</p>
<p>備考</p> <p>キーワード:イスラーム、中東、ムスリム、イスラーム文化・科学、宗教と国家、多文化共生</p>

時間割番号	000011			科目ID	LA-111400-Z																																																																																
科目名	歴史学B II																																																																																				
担当教員	後藤 敦子																																																																																				
開講時期	2022 年度後期	対象年次	1	単位数	2																																																																																
実務経験のある教員による授業																																																																																					
<p>曜日・時間:金曜2限</p> <p>1-3) 人間の歴史的営みを理解する</p> <p>3-4) 外国文化を理解する 3-5) 国際情勢を理解する</p>																																																																																					
<p>授業の目的、概要等</p> <p>イスラームは、キリスト教、ユダヤ教とならぶ世界三大宗教の一つであり、全世界人口の約四分の一を占める。日本はイスラームとは無縁のように見えるが、歴史は長い。日本に最初に建立されたモスクは、戦間期の 1935 年に開堂した神戸モスクである。その当時の日本においては、大東亜共栄圏構想のもとでイスラーム(当時は回教と呼ばれた)について学ぶことも戦略として重要視されていた。現在、日本国内においては滞日ムスリム人口は約 20 万人、彼らが礼拝に訪れるモスク(イスラームの寺院)も年々増加している。</p> <p>本講義においては、まずイスラームの基本的知識について理解を深め、次にイスラームの生誕から時代順にイスラームの王朝と首都、支配のシステム、そこで発展した文化や科学についてとりあげる。イスラームの王朝が勃興し発展した地域においては、古代ギリシアやインドの知識をアラビア語に翻訳する活動が盛んであったために、イスラーム科学(医学、薬学、天文学)が栄え、それが西洋にもたらされた。アラビア半島に端を発したイスラームは、征服や交易をつうじて、徐々に中東地域からインド、中央アジア、南アジア、東南アジア、中国、アフリカへ拡大し、多様な地域で受容され、その土地の文化と融合した。</p> <p>多文化共生の観点から、イスラームの歴史と文化を世界史的な枠組の中で考察し、グローバル化する現代世界を正しく把握し、国際情勢を理解することを目的とする。</p>																																																																																					
<p>授業の到達目標</p> <p>1. イスラームの歴史を世界史の枠組に位置づけて考察できるようにする。</p> <p>2. 多文化が共生するイスラーム世界の歴史と文化をとらえて、グローバル化がすすむ現代国際社会における問題点を理解できるようにする。</p>																																																																																					
<p>授業計画</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>講義室</th> <th>担当教員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td>10/7</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>木谷 真紀子, 藤井 達夫</td></tr> <tr><td>2</td><td>10/14</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>木谷 真紀子, 藤井 達夫</td></tr> <tr><td>3</td><td>10/21</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>木谷 真紀子, 藤井 達夫</td></tr> <tr><td>4</td><td>10/28</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>木谷 真紀子, 藤井 達夫</td></tr> <tr><td>5</td><td>11/4</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>木谷 真紀子, 藤井 達夫</td></tr> <tr><td>6</td><td>11/11</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>木谷 真紀子, 藤井 達夫</td></tr> <tr><td>7</td><td>11/18</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>木谷 真紀子, 藤井 達夫</td></tr> <tr><td>8</td><td>11/25</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>木谷 真紀子, 藤井 達夫</td></tr> <tr><td>9</td><td>12/2</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>木谷 真紀子, 藤井 達夫</td></tr> <tr><td>10</td><td>12/9</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>木谷 真紀子, 藤井 達夫</td></tr> <tr><td>11</td><td>12/16</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>木谷 真紀子, 藤井 達夫</td></tr> <tr><td>12</td><td>1/6</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>木谷 真紀子, 藤井 達夫</td></tr> <tr><td>13</td><td>1/13</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>木谷 真紀子, 藤井 達夫</td></tr> <tr><td>14</td><td>1/20</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>木谷 真紀子, 藤井 達夫</td></tr> <tr><td>15</td><td>1/27</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>木谷 真紀子, 藤井 達夫</td></tr> </tbody> </table>						回	日付	時刻	講義室	担当教員	1	10/7	10:50-12:20		木谷 真紀子, 藤井 達夫	2	10/14	10:50-12:20		木谷 真紀子, 藤井 達夫	3	10/21	10:50-12:20		木谷 真紀子, 藤井 達夫	4	10/28	10:50-12:20		木谷 真紀子, 藤井 達夫	5	11/4	10:50-12:20		木谷 真紀子, 藤井 達夫	6	11/11	10:50-12:20		木谷 真紀子, 藤井 達夫	7	11/18	10:50-12:20		木谷 真紀子, 藤井 達夫	8	11/25	10:50-12:20		木谷 真紀子, 藤井 達夫	9	12/2	10:50-12:20		木谷 真紀子, 藤井 達夫	10	12/9	10:50-12:20		木谷 真紀子, 藤井 達夫	11	12/16	10:50-12:20		木谷 真紀子, 藤井 達夫	12	1/6	10:50-12:20		木谷 真紀子, 藤井 達夫	13	1/13	10:50-12:20		木谷 真紀子, 藤井 達夫	14	1/20	10:50-12:20		木谷 真紀子, 藤井 達夫	15	1/27	10:50-12:20		木谷 真紀子, 藤井 達夫
回	日付	時刻	講義室	担当教員																																																																																	
1	10/7	10:50-12:20		木谷 真紀子, 藤井 達夫																																																																																	
2	10/14	10:50-12:20		木谷 真紀子, 藤井 達夫																																																																																	
3	10/21	10:50-12:20		木谷 真紀子, 藤井 達夫																																																																																	
4	10/28	10:50-12:20		木谷 真紀子, 藤井 達夫																																																																																	
5	11/4	10:50-12:20		木谷 真紀子, 藤井 達夫																																																																																	
6	11/11	10:50-12:20		木谷 真紀子, 藤井 達夫																																																																																	
7	11/18	10:50-12:20		木谷 真紀子, 藤井 達夫																																																																																	
8	11/25	10:50-12:20		木谷 真紀子, 藤井 達夫																																																																																	
9	12/2	10:50-12:20		木谷 真紀子, 藤井 達夫																																																																																	
10	12/9	10:50-12:20		木谷 真紀子, 藤井 達夫																																																																																	
11	12/16	10:50-12:20		木谷 真紀子, 藤井 達夫																																																																																	
12	1/6	10:50-12:20		木谷 真紀子, 藤井 達夫																																																																																	
13	1/13	10:50-12:20		木谷 真紀子, 藤井 達夫																																																																																	
14	1/20	10:50-12:20		木谷 真紀子, 藤井 達夫																																																																																	
15	1/27	10:50-12:20		木谷 真紀子, 藤井 達夫																																																																																	
<p>授業方法</p> <p>講義、ただし課題発表などアクティヴ・ラーニングの方法を適宜取り入れます。毎回講義に対する質問・感想などをリアクションペーパーにまとめて提出する。</p>																																																																																					
<p>授業内容</p>																																																																																					

<ol style="list-style-type: none"> 1. ガイダンス 2. イスラームの基礎知識のまとめ 3. モンゴル民族の到来 4. イスラームの近世(1):イルハン朝・ティムール朝 5. イスラームの近世(2):マムルーク朝 6. サファヴィー朝:イスファハーン 7. オスマン朝:イスタンブル 8. インドのイスラーム王朝 9. イスラーム近世の建築と美術 10. 世界拡大するイスラーム:中央アジア、南アジア、東南アジア、中国、アフリカ、移民・難民 11.イスラームと近代 12. 現代中東における国際政治:エルサレム 13. 日本におけるムスリムの生活 14. 15 回目の報告(参考文献から 1 冊とりあげて概要・意義・知りえたこと)準備 15. 最終報告(レポート提出)
<p>成績評価の方法</p> <p>評価：レポート 50% ・ その他(毎授業でのリアクションペーパー 30%、講義内の発表など 20%)合計 50%・ 知識の確実な習得を重視する。</p> <p>再評価：有(再レポート)</p>
<p>成績評価の基準</p> <p>「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による</p>
<p>準備学習等についての具体的な指示</p> <p>本シラバスに「参考書」として挙げた文献、授業中に配布するプリントに挙げる参考文献などを読んで授業前後の理解を深めることが望ましい。</p>
<p>試験の受験資格</p> <p>3 分の 2 以上の授業に出席していること。</p> <p>20 分以内の遅刻、早退は、3 回で 1 回分の欠席としてカウントする。</p>
<p>教科書</p> <p>とくになし。授業当日にプリントを配布します。</p>
<p>参考書</p> <p>柴田大輔・中町信孝編著『イスラームは特殊か：西アジアの宗教と政治の系譜』(勁草書房, 2018)</p> <p>後藤明『イスラーム世界史』(角川ソフィア文庫, 2017)</p> <p>三浦徹編著『イスラーム世界の歴史的展開』(放送大学教材, 2011)</p> <p>小杉泰・江川ひかり編『イスラーム 社会生活・思想・歴史』(新曜社, 2006)</p> <p>小杉泰『イスラームとは何か:その宗教・社会・文化』(講談社現代新書, 1994)</p> <p>この他、参考書などは授業中に指示します。</p>
<p>履修上の注意事項</p> <p>出欠は毎回取るが、出欠管理システムより、教員自身が取ると出欠を優先させる。出欠そのものよりも、リアクションペーパーの内容を重要視する。</p>
<p>備考</p> <p>キーワード:イスラーム、中東、ムスリム、イスラーム文化・科学、宗教と国家、多文化共生</p>

時間割番号	000014			科目ID	LA-111500-Z
科目名	科学史 I				
担当教員	田中 丹史[TANAKA Akashi]				
開講時期	2022 年度前期	対象年次	1	単位数	2
実務経験のある教員による授業					
曜日・時間: 金曜 2 限					
科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 1-3 人間の歴史的営みを理解する					
授業の目的、概要等					
現代社会において科学技術が重要な役割を担っているのは言うまでもない。本講義では、歴史学のアプローチから科学や技術が過去にどのような意義を持っていたのかを分析する。その上で現代社会における科学技術の特徴や科学技術と市民社会との関係を考察することを目標としている。					
授業の到達目標					
1. 科学史・技術史の基礎を理解する。 2. 現代社会における科学技術の意義を考察できる。 3. 医療の概史を知ることができる。					
授業計画					
回	日付	時刻	講義室	担当教員	
1	4/15	10:50-12:20		田中 丹史 木谷 真紀子 藤井 達夫	
2	4/22	10:50-12:20		田中 丹史 木谷 真紀子 藤井 達夫	
3	5/6	10:50-12:20		田中 丹史 木谷 真紀子 藤井 達夫	
4	5/13	10:50-12:20		田中 丹史 木谷 真紀子 藤井 達夫	
5	5/20	10:50-12:20		田中 丹史 木谷 真紀子 藤井 達夫	
6	5/27	10:50-12:20		田中 丹史 木谷 真紀子 藤井 達夫	
7	6/3	10:50-12:20		田中 丹史 木谷 真紀子 藤井 達夫	
8	6/10	10:50-12:20		田中 丹史 木谷 真紀子 藤井 達夫	
9	6/17	10:50-12:20		田中 丹史 木谷 真紀子 藤井 達夫	
10	6/24	10:50-12:20		田中 丹史 木谷 真紀子 藤井 達夫	
11	7/1	10:50-12:20		田中 丹史 木谷 真紀子 藤井 達夫	
12	7/8	10:50-12:20		田中 丹史 木谷 真紀子 藤井 達夫	
13	7/15	10:50-12:20		田中 丹史 木谷 真紀子 藤井 達夫	
14	7/22	10:50-12:20		田中 丹史 木谷 真紀子 藤井 達夫	
15	7/29	10:50-12:20		田中 丹史 木谷 真紀子 藤井 達夫	
授業方法					
板書を中心とする講義形式をとる。ただし適宜リアクションペーパーを配布し、アクティブラーニングも実施する。					
授業内容					
第1回: ガイダンス(本講義の目的)					
第2回: 古代ギリシャ・ローマと科学・技術					
第3回: 古代ギリシャ・ローマ医学史: ヒポクラテスとガレノス					
第4回: 病院と医学史					
第5回: 中世の産業革命と12世紀ルネサンス					
第6回: 疾病史: ペストとコレラ					
第7回: ルネサンスと科学・技術					
第8回: 科学革命					
第9回: 産業革命と科学・技術、19世紀以降のエンジニア					
第10回: 科学の職業化と専門化					
第11回: 20世紀以降の科学技術政策					

<p>第12回:医療政策の展開 第13回:日本の公害 第14回:日本の科学技術の歴史 第15回:日本の薬害</p>
<p>成績評価の方法 評価 : 試験 % ・ レポート 70% ・ その他(授業への参加度)30% 授業で得た知識を用いて発展的に思考することを求める。 再評価: 有(再評価方法 レポート)</p>
<p>成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による</p>
<p>準備学習等についての具体的な指示 授業中に指示した文献等を使い、各自で予習・復習してください。</p>
<p>教科書 なし</p>
<p>参考書 橋本毅彦『科学の発想をたずねて:自然哲学から現代科学まで』左右社, 2010. 中島秀人『社会の中の科学』放送大学教育振興会, 2008.</p>
<p>履修上の注意事項 出欠管理システムより教員自身が取ると出欠を優先します。</p>
<p>参照ホームページ なし</p>

時間割番号	000015			科目ID	LA-111600-Z
科目名	科学史Ⅱ				
担当教員	田中 丹史[TANAKA Akashi]				
開講時期	2022 年度後期	対象年次	1	単位数	2
実務経験のある教員による授業					
曜日・時間: 金曜 2 限 科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 1-3 人間の歴史的営みを理解する					
授業の目的、概要等 本講義では現代社会における先端科学技術をめぐる議論の中でもとくに重要な対象となっている環境問題をテーマとして取り上げる。分析視角としては社会的な決定手続きや倫理の観点を重視しつつ、豊富な事例分析に基づき議論を進めていく予定である。					
授業の到達目標 1. 現代の環境問題の基礎を理解する。 2. 環境問題に関する社会的な手続きについて理解する。 3. 環境倫理の基礎を理解する。					
授業計画					
回	日付	時刻	講義室	担当教員	
1	10/7	10:50-12:20		田中 丹史 木谷 真紀子 藤井 達夫	
2	10/14	10:50-12:20		田中 丹史 木谷 真紀子 藤井 達夫	
3	10/21	10:50-12:20		田中 丹史 木谷 真紀子 藤井 達夫	
4	10/28	10:50-12:20		田中 丹史 木谷 真紀子 藤井 達夫	
5	11/4	10:50-12:20		田中 丹史 木谷 真紀子 藤井 達夫	
6	11/11	10:50-12:20		田中 丹史 木谷 真紀子 藤井 達夫	
7	11/18	10:50-12:20		田中 丹史 木谷 真紀子 藤井 達夫	
8	11/25	10:50-12:20		田中 丹史 木谷 真紀子 藤井 達夫	
9	12/2	10:50-12:20		田中 丹史 木谷 真紀子 藤井 達夫	
10	12/9	10:50-12:20		田中 丹史 木谷 真紀子 藤井 達夫	
11	12/16	10:50-12:20		田中 丹史 木谷 真紀子 藤井 達夫	
12	1/6	10:50-12:20		田中 丹史 木谷 真紀子 藤井 達夫	
13	1/13	10:50-12:20		田中 丹史 木谷 真紀子 藤井 達夫	
14	1/20	10:50-12:20		田中 丹史 木谷 真紀子 藤井 達夫	
15	1/27	10:50-12:20		田中 丹史 木谷 真紀子 藤井 達夫	
授業方法 板書を中心とする講義形式をとる。ただし適宜リアクションペーパーを配布し、アクティブラーニングも実施する。					
授業内容 第1回: ガイダンス(本講義の目的) 第2回: 水俣病の歴史的考察 第3回: 水俣病の歴史的考察(2) 第4回: 水俣病とイタイイタイ病の比較検討 第5回: 地球温暖化論とコミュニケーション 第6回: 地球温暖化論と科学諮問・国際関係 第7回: 環境リスクマネジメントの概論 第8回: 生物多様性の基礎 第9回: 遺伝資源へのアクセスと利益配分 第10回: 生物多様性と外来生物 第11回: アメリカの自然の権利訴訟 第12回: 日本の自然の権利訴訟					

<p>第 13 回:動物の権利論の概説 第 14 回:動物の権利論と生命操作 第 15 回:環境倫理概論</p>
<p>成績評価の方法 評価 : 試験 70% ・その他(授業への参加度) 30% 授業で得た知識の理解度を確認する 再評価: 有(再評価方法 レポート)</p>
<p>成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による</p>
<p>準備学習等についての具体的な指示 授業中に指示した文献等を使い、各自で予習・復習してください。</p>
<p>教科書 なし</p>
<p>参考書 授業中に指示します。</p>
<p>履修上の注意事項 出欠管理システムより教員自身が取る出欠を優先します。</p>
<p>参照ホームページ なし</p>

時間割番号	000016			科目ID	LA-111700-Z
科目名	文学A I		科目ID	LA-111700-Z	
担当教員	木谷 真紀子[KITANI Makiko]				
開講時期	2022 年度前期	対象年次	1	単位数	2
実務経験のある教員による授業					
<p>別表 1-1) 言語を通じた人間の創造的営みを理解する</p> <p>別表 1-3) 人間の歴史的営みを理解する</p> <p>別表 1-5) 人間の思考の枠組みを知り、自らの思考を振り返る</p> <p>別表 1-6) 優れた芸術作品に触れて完成を高める</p> <p>別表 1-7) 人間の心への理解を高める</p> <p>別表 1-10) 現代社会における科学の責任を意識できるようになる</p> <p>別表 3-2) 自らの考えを的確に伝えるための基本的な文章表現能力を身につける</p>					
主な講義場所					
国府台キャンパスで対面で行う。					
授業の目的、概要等					
三島由紀夫の『豊饒の海』は、三島由紀夫文学を代表する傑作とされ、特に第一巻『春の雪』は数々のアダプテーション作品を生む大ベストセラーになった。本講義ではその『豊饒の海(一) 春の雪』の魅力を味わい、作品の理解を通して、明治からの日本の歩みを考察する。					
授業の到達目標					
<ol style="list-style-type: none"> 1) 日本文学を代表する傑作を味わう 2) 文学における「ラブストーリー」について考える 3) アダプテーション作品の鑑賞を通して、文学と映画の違いについて考察する 4) 作品に対する意見や感想を自らの言葉で表現する 					
授業計画					
回	日付	時刻	講義室	担当教員	
1	4/18	09:10-10:40		木谷 真紀子	
2	4/25	09:10-10:40		木谷 真紀子	
3	5/2	09:10-10:40		木谷 真紀子	
4	5/9	09:10-10:40		木谷 真紀子	
5	5/16	09:10-10:40		木谷 真紀子	
6	5/23	09:10-10:40		木谷 真紀子	
7	5/30	09:10-10:40		木谷 真紀子	
8	6/6	09:10-10:40		木谷 真紀子	
9	6/13	09:10-10:40		木谷 真紀子	
10	6/20	09:10-10:40		木谷 真紀子	
11	6/27	09:10-10:40		木谷 真紀子	
12	7/4	09:10-10:40		木谷 真紀子	
13	7/11	09:10-10:40		木谷 真紀子	
14	7/18	09:10-10:40		木谷 真紀子	
15	7/25	09:10-10:40		木谷 真紀子	
授業方法					
授業開始前に作品を精読し、コメントシートを提出する。授業はアクティブラーニングの形式を取り入れて行うので、担当者の講義を一方的に聞くだけでなく、ディスカッションなどを通して積極的に参加する。毎回リアクションペーパーを提出する。					

<p>授業内容</p> <p>1)ガイダンス 2)三島由紀夫について① 3)三島由紀夫について② 4)『豊饒の海』について 5)主人公について 6)聡子について 7)ラブストーリーとは 8)映画「春の雪」映画鑑賞① 9)映画「春の雪」映画鑑賞② 10)「春の雪」のアダプテーション作品、原作と映画の比較分析 11)夢日記について 12)『春の雪』の時代 13)『春の雪』の作品舞台 14)『春の雪』の再生 15)総括</p>
<p>成績評価の方法</p> <p>期末レポート 50% ・ その他(毎授業でのリアクションペーパー 15%、提出物 30%、講義内の発表など 5%)合計 50%</p> <p>再評価: 有(再レポート)</p>
<p>成績評価の基準</p> <p>「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による</p>
<p>準備学習等についての具体的な指示</p>
<p>試験の受験資格</p> <p>3分の2以上の授業に出席していること。 20分以内の遅刻、早退は、3回で1回分の欠席としてカウントする。</p>
<p>教科書</p> <p>春の雪／三島由紀夫:新潮社, 2020</p>
<p>参考書</p> <p>奔馬：豊饒の海 第2巻／三島由紀夫:新潮社, 1977 暁の寺／三島由紀夫:新潮社, 1989 天人五衰／三島由紀夫:新潮社, 1989</p>
<p>他科目との関連</p> <p>文学BⅡでは、この『春の雪』の後の『豊饒の海(二)奔馬』を読む</p>
<p>履修上の注意事項</p> <p>作品を読破したうえで授業に臨むこと。授業中に課した課題については、必ず翌週に提出すること。</p>
<p>備考</p> <p>出欠は毎回取り、出欠管理システムより、教員自身が取る出欠を優先させる。さらに、出欠そのものよりも、リアクションペーパーの内容を重要視する。</p>

時間割番号	000017			科目ID	LA-111800-Z																																																																																
科目名	文学A II		科目ID	LA-111800-Z																																																																																	
担当教員	木谷 真紀子[KITANI Makiko]																																																																																				
開講時期	2022 年度後期	対象年次	1	単位数	2																																																																																
実務経験のある教員による授業																																																																																					
<p>別表 1-1) 言語を通じた人間の創造的営みを理解する</p> <p>別表 1-3) 人間の歴史的営みを理解する</p> <p>別表 1-5) 人間の思考の枠組みを知り、自らの思考を振り返る</p> <p>別表 1-6) 優れた芸術作品に触れて完成を高める</p> <p>別表 1-7) 人間の心への理解を高める</p> <p>別表 1-10) 現代社会における科学の責任を意識できるようになる</p> <p>別表 3-2) 自らの考えを的確に伝えるための基本的な文章表現能力を身につける</p>																																																																																					
<p>授業の目的、概要等</p> <p>三島由紀夫の『豊饒の海』は、三島由紀夫文学を代表する傑作とされている。第一巻『春の雪』が、ラブストーリーとして名高いのに対し、『奔馬』は、明治の神風連に魅せられ、日本の改革を試みた大学生が主人公である。本講義ではその傑作としての『豊饒の海』(二)『奔馬』の魅力を味わい、作品の理解を通して、明治からの日本の歩みを考察する。</p>																																																																																					
<p>授業の到達目標</p> <p>1) 日本文学を代表する傑作を味わう</p> <p>2) 作品化された実際の事件を知る</p> <p>3) 明治という時代、戦前の時間を学ぶ</p> <p>4) 作品に対する意見や感想を自らの言葉で表現する</p>																																																																																					
<p>授業計画</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>講義室</th> <th>担当教員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td>10/3</td><td>09:10-10:40</td><td></td><td>木谷 真紀子</td></tr> <tr><td>2</td><td>10/10</td><td>09:10-10:40</td><td></td><td>木谷 真紀子</td></tr> <tr><td>3</td><td>10/17</td><td>09:10-10:40</td><td></td><td>木谷 真紀子</td></tr> <tr><td>4</td><td>10/24</td><td>09:10-10:40</td><td></td><td>木谷 真紀子</td></tr> <tr><td>5</td><td>10/31</td><td>09:10-10:40</td><td></td><td>木谷 真紀子</td></tr> <tr><td>6</td><td>11/7</td><td>09:10-10:40</td><td></td><td>木谷 真紀子</td></tr> <tr><td>7</td><td>11/14</td><td>09:10-10:40</td><td></td><td>木谷 真紀子</td></tr> <tr><td>8</td><td>11/21</td><td>09:10-10:40</td><td></td><td>木谷 真紀子</td></tr> <tr><td>9</td><td>11/28</td><td>09:10-10:40</td><td></td><td>木谷 真紀子</td></tr> <tr><td>10</td><td>12/5</td><td>09:10-10:40</td><td></td><td>木谷 真紀子</td></tr> <tr><td>11</td><td>12/12</td><td>09:10-10:40</td><td></td><td>木谷 真紀子</td></tr> <tr><td>12</td><td>12/19</td><td>09:10-10:40</td><td></td><td>木谷 真紀子</td></tr> <tr><td>13</td><td>1/16</td><td>09:10-10:40</td><td></td><td>木谷 真紀子</td></tr> <tr><td>14</td><td>1/23</td><td>09:10-10:40</td><td></td><td>木谷 真紀子</td></tr> <tr><td>15</td><td>1/30</td><td>09:10-10:40</td><td></td><td>木谷 真紀子</td></tr> </tbody> </table>						回	日付	時刻	講義室	担当教員	1	10/3	09:10-10:40		木谷 真紀子	2	10/10	09:10-10:40		木谷 真紀子	3	10/17	09:10-10:40		木谷 真紀子	4	10/24	09:10-10:40		木谷 真紀子	5	10/31	09:10-10:40		木谷 真紀子	6	11/7	09:10-10:40		木谷 真紀子	7	11/14	09:10-10:40		木谷 真紀子	8	11/21	09:10-10:40		木谷 真紀子	9	11/28	09:10-10:40		木谷 真紀子	10	12/5	09:10-10:40		木谷 真紀子	11	12/12	09:10-10:40		木谷 真紀子	12	12/19	09:10-10:40		木谷 真紀子	13	1/16	09:10-10:40		木谷 真紀子	14	1/23	09:10-10:40		木谷 真紀子	15	1/30	09:10-10:40		木谷 真紀子
回	日付	時刻	講義室	担当教員																																																																																	
1	10/3	09:10-10:40		木谷 真紀子																																																																																	
2	10/10	09:10-10:40		木谷 真紀子																																																																																	
3	10/17	09:10-10:40		木谷 真紀子																																																																																	
4	10/24	09:10-10:40		木谷 真紀子																																																																																	
5	10/31	09:10-10:40		木谷 真紀子																																																																																	
6	11/7	09:10-10:40		木谷 真紀子																																																																																	
7	11/14	09:10-10:40		木谷 真紀子																																																																																	
8	11/21	09:10-10:40		木谷 真紀子																																																																																	
9	11/28	09:10-10:40		木谷 真紀子																																																																																	
10	12/5	09:10-10:40		木谷 真紀子																																																																																	
11	12/12	09:10-10:40		木谷 真紀子																																																																																	
12	12/19	09:10-10:40		木谷 真紀子																																																																																	
13	1/16	09:10-10:40		木谷 真紀子																																																																																	
14	1/23	09:10-10:40		木谷 真紀子																																																																																	
15	1/30	09:10-10:40		木谷 真紀子																																																																																	
<p>授業方法</p> <p>授業開始前に作品を精読し、コメントシートを提出する。授業はアクティブラーニングの形式を取り入れて行うので、担当者の講義を一方的に聞くだけでなく、ディスカッションなどを通して積極的に参加する。毎回アクションペーパーを提出する。</p>																																																																																					
<p>成績評価の方法</p> <p>1) ガイダンス</p> <p>2) 三島由紀夫について①</p> <p>3) 三島由紀夫について②</p> <p>4) 『豊饒の海』について</p>																																																																																					

<p>5)作品内時間について</p> <p>6)勲について</p> <p>7)飯沼について</p> <p>8)昭和の初めの時代</p> <p>9)神風連について</p> <p>10)三島由紀夫『奔馬』1</p> <p>11)三島由紀夫『奔馬』2</p> <p>12)『奔馬』と奈良</p> <p>13)『奔馬』の熊本</p> <p>14)『奔馬』の東京</p> <p>15)総括</p>
<p>成績評価の基準</p> <p>期末レポート 50% ・</p> <p>その他(毎授業でのリアクションペーパー 15%、提出物 30%、講義内の発表など 5%)合計 50%</p> <p>再評価: 有(再レポート)</p>
<p>準備学習等についての具体的な指示</p>
<p>試験の受験資格</p> <p>3分の2以上の授業に出席していること。</p> <p>20分以内の遅刻、早退は、3回で1回分の欠席としてカウントする。</p>
<p>教科書</p> <p>奔馬：豊饒の海 第2巻／三島由紀夫:新潮社, 1977</p>
<p>参考書</p> <p>春の雪／三島由紀夫:新潮社, 2020</p> <p>暁の寺／三島 由紀夫:新潮社, 1989</p> <p>天人五衰／三島 由紀夫,三島 由紀夫.:新潮社, 1989</p> <p>授業内で指示する</p>
<p>他科目との関連</p> <p>文学A I では、この『奔馬』の前の『豊饒の海(一)春の雪』を読む。 文学A I を受講していない学生にも明確な授業を心がけるが、受講前に『春の雪』を読破して臨みたい。</p>
<p>履修上の注意事項</p> <p>作品を読破したうえで授業に臨むこと。授業中に課した課題については、必ず翌週に提出すること。</p>
<p>備考</p> <p>出欠は毎回取り、出欠管理システムより、教員自身が取る出欠を優先させる。さらに、出欠そのものよりも、リアクションペーパーの内容を重要視する。</p>

時間割番号	000018			科目ID	LA-111900-Z
科目名	文学B I				
担当教員	木谷 真紀子[KITANI Makiko]				
開講時期	2022 年度前期	対象年次	1	単位数	2
実務経験のある教員による授業					
<p>別表 1-1) 言語を通じた人間の創造的営みを理解する</p> <p>別表 1-3) 人間の歴史的営みを理解する</p> <p>別表 1-5) 人間の思考の枠組みを知り、自らの思考を振り返る</p> <p>別表 1-6) 優れた芸術作品に触れて完成を高める</p> <p>別表 1-7) 人間の心への理解を高める</p> <p>別表 1-10) 現代社会における科学の責任を意識できるようになる</p> <p>別表 3-2) 自らの考えを的確に伝えるための基本的な文章表現能力を身につける</p>					
主な講義場所					
国府台キャンパス					
授業の目的、概要等					
<p>この授業では、医療に関わる人物が登場する近代文学の精読を通し、「医学」がどのように文学に著されているかを学び、問いを立て、考え、その意見を自らの言葉で表現することを目的とする。</p> <p>授業で扱う作品には、実在の人物が登場する。作家が何故、その人物を描き、テーマを扱ったか、さらに作品内時間、発表時期を考察の対象とし、当時の社会背景から、医学と社会、医学と時代との関わりも分析したい。</p>					
授業の到達目標					
<p>①文学作品を生み出した社会状況を理解し、時代や社会と「医学」との関係について考える。</p> <p>②作品に関する意見交換やレポートを通し、「医学」について考え、自分の言葉で表現する。</p> <p>③東京医科歯科大学の一年生として、医学や歯学の社会での役割について検討し、医療従事者としての未来をデザインする。</p>					
授業計画					
回	日付	時刻	講義室	担当教員	
1	4/15	09:10-10:40		木谷 真紀子	
2	4/22	09:10-10:40		木谷 真紀子	
3	5/6	09:10-10:40		木谷 真紀子	
4	5/13	09:10-10:40		木谷 真紀子	
5	5/20	09:10-10:40		木谷 真紀子	
6	5/27	09:10-10:40		木谷 真紀子	
7	6/3	09:10-10:40		木谷 真紀子	
8	6/10	09:10-10:40		木谷 真紀子	
9	6/17	09:10-10:40		木谷 真紀子	
10	6/24	09:10-10:40		木谷 真紀子	
11	7/1	09:10-10:40		木谷 真紀子	
12	7/8	09:10-10:40		木谷 真紀子	
13	7/15	09:10-10:40		木谷 真紀子	
14	7/22	09:10-10:40		木谷 真紀子	
15	7/29	09:10-10:40		木谷 真紀子	
授業方法					
<p>授業方法</p> <p>授業開始前に作品を精読し、課題を提出する。授業は、アクティブラーニングの形式を取り入れて行うので、担当者の講義を一方的に聞くだけではなく、ディスカッションなどを通して積極的に参加すること。毎回アクションペーパーの提出を課す。</p>					

<p>授業内容</p> <p>業内容</p> <p>1)ガイダンス。医療を扱った様々な文学や、本授業で読む作品の紹介</p> <p>2)鲁迅「藤野先生」①登場人物</p> <p>3)鲁迅「藤野先生」②鲁迅の自伝との関係性</p> <p>4)鲁迅「藤野先生」③医学と文学</p> <p>5)太宰治について</p> <p>6)太宰治「惜別」①作品の背景と時代</p> <p>7)太宰治「惜別」②太宰治と戦争</p> <p>8)太宰治「惜別」③作品内時間の医学と文学</p> <p>9)太宰治「惜別」④「医学」を学ぶ主人公と同級生たち</p> <p>10)太宰治「惜別」⑤医学と文学、医学者と文学者</p> <p>11)さだまさし「風に立つライオン」①作品の構成と登場人物</p> <p>12)さだまさし「風に立つライオン」②医師の「役割」と医師への「願望」</p> <p>13)さだまさし「風に立つライオン」③メディアミックス作品としての「風に立つライオン」</p> <p>14)さだまさし「風に立つライオン」④曲と小説の時代</p> <p>15)総括 文学と医学、その時代</p>
<p>成績評価の方法</p> <p>評価：レポート 50%・その他(毎授業でのリアクションペーパー 15%、提出物 30%、講義内の発表など 5%) 合計 50%</p> <p>再評価：有(再レポート)</p>
<p>成績評価の基準</p> <p>「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による。</p>
<p>準備学習等についての具体的な指示</p> <p>授業内で扱う作品は、必ず読破し、テキストを用意したうえで講義に臨むこと。それらの作品に関する意見や作品解釈を書く課題も、作品ごとに提出を課す。</p>
<p>試験の受験資格</p> <p>3分の2以上の授業に出席していること。</p> <p>20分以内の遅刻、早退は、3回で1回分の欠席としてカウントする。</p>
<p>教科書</p> <p>惜別／太宰治：新潮社、2004</p> <p>風に立つライオン／さだまさし：幻冬舎</p> <p>シャンハイムーン／井上ひさし：集英社</p>
<p>参考書</p> <p>阿Q正伝・狂人日記他12篇／鲁迅：岩波書店、2000</p> <p>：集英社</p> <p>上記『阿Q正伝・狂人日記：他十二篇』には、本講義で直接扱う作品は収められていないが、作品理解のために読むことが望ましい。</p>
<p>履修上の注意事項</p> <p>作品を必ず読破したうえで授業に臨むこと。授業中に課した課題は、翌週に提出するものと</p>
<p>備考</p> <p>出欠は毎回取るが、出欠管理システムより、教員自身が取る出欠を優先させる。出欠そのものよりも、リアクションペーパーの内容を重要視する。</p>

時間割番号	000019			科目ID	LA-112000-Z
科目名	文学BⅡ			科目ID	LA-112000-Z
担当教員	木谷 真紀子[KITANI Makiko]				
開講時期	2022 年度後期	対象年次	1	単位数	2
実務経験のある教員による授業					
<p>別表 1-1) 言語を通じた人間の創造的営みを理解する</p> <p>別表 1-3) 人間の歴史的営みを理解する</p> <p>別表 1-5) 人間の思考の枠組みを知り、自らの思考を振り返る</p> <p>別表 1-6) 優れた芸術作品に触れて完成を高める</p> <p>別表 1-7) 人間の心への理解を高める</p> <p>別表 1-10) 現代社会における科学の責任を意識できるようになる</p> <p>別表 3-2) 自らの考えを的確に伝えるための基本的な文章表現能力を身につける</p>					
主な講義場所					
国府台キャンパス。					
授業の目的、概要等					
この授業では、「病と差別」をテーマに、ハンセン病患者、回復者が登場する作品を扱う。「病」、またその「病」に関する「差別」がどのように文学に著されているかを考察することを目的とする。また授業で扱う作品は、いずれも映画化されているので、文学作品とアダプテーション作品という観点も持ち、授業を進めたい。					
授業の到達目標					
<p>①ハンセン病の差別の歴史を知る</p> <p>②文学作品を通して、病、またその病に関する差別を理解する。</p> <p>③文学作品を生み出した社会状況を理解し、時代や社会と「医学」との関係について考える。</p> <p>④作品に関する意見交換やレポートを通し、「病と差別」について考え、自分の言葉で表現する。</p>					
授業計画					
回	日付	時刻	講義室	担当教員	
1	10/7	09:10-10:40		木谷 真紀子	
2	10/14	09:10-10:40		木谷 真紀子	
3	10/21	09:10-10:40		木谷 真紀子	
4	10/28	09:10-10:40		木谷 真紀子	
5	11/4	09:10-10:40		木谷 真紀子	
6	11/11	09:10-10:40		木谷 真紀子	
7	11/18	09:10-10:40		木谷 真紀子	
8	11/25	09:10-10:40		木谷 真紀子	
9	12/2	09:10-10:40		木谷 真紀子	
10	12/9	09:10-10:40		木谷 真紀子	
11	12/16	09:10-10:40		木谷 真紀子	
12	1/6	09:10-10:40		木谷 真紀子	
13	1/13	09:10-10:40		木谷 真紀子	
14	1/20	09:10-10:40		木谷 真紀子	
15	1/27	09:10-10:40		木谷 真紀子	
授業方法					
<p>授業開始前に作品を精読し、課題として提出する。授業にはアクティブラーニングの形式を取り入れるので、担当者の講義を一方的に聞くだけでなく、ディスカッションなどを通して積極的に参加する。毎回リアクションペーパーを提出する。</p> <p>また、国立ハンセン病資料館の見学、ハンセン病の回復者や研究者をゲストスピーカーとして招く予定である。</p>					
授業内容					

<p>1)ガイダンス 2)ハンセン病に関する法律、政策について 3)ハンセン病の療養所について、ハンセン病の現在 4)国立ハンセン病資料館の学芸員をゲストスピーカーとして招く特別講義 5)「砂の器」①主人公の造型 6)映画「砂の器」鑑賞 7)「砂の器」② 8)国立ハンセン病資料館見学(個人) 9)北条民雄「いのちの初夜」 10)作家と「病」 11)ドリアン助川「あん」① 12)ドリアン助川「あん」② 13)「あん」映画鑑賞 14)ハンセン病回復者をゲストスピーカーとして招く 15)総括</p>
<p>成績評価の方法 評価：レポート 50%・その他(提出物 45%、講義内の発表など 5%)合計 50% 再評価：有(再レポート)</p>
<p>成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による。</p>
<p>準備学習等についての具体的な指示</p>
<p>試験の受験資格 3分の2以上の授業に出席していること。 20分以内の遅刻、早退は、3回で1回分の欠席としてカウントする。</p>
<p>教科書 あん／ドリアン助川：ポプラ社、2013 北條民雄小説随筆書簡集／北條民雄：講談社、2015 砂の器(上)／松本清張：新潮社 砂の器(下)／松本清張：新潮社 「砂の器」は映画鑑賞を中心にする。</p>
<p>参考書 授業内で指示。</p>
<p>履修上の注意事項 毎回の講義、課題などへの取り組みを総合的に評価する。社会状況にもよるが、国立ハンセン病資料館の見学、多摩全生園の見学、ゲストスピーカーの特別講義など様々な内容で行う予定である。授業時間外に見学や特別講義を設定されることが想定されるので、それぞれの時間調整が望まれる。</p>
<p>備考 出欠は毎回取るが、出欠管理システムより、教員自身が取ると出欠を優先させる。出欠そのものよりも、リアクションペーパーの内容を重要視する。</p>

時間割番号	000020			科目ID	LA-112100-L																																																																																
科目名	法学 I																																																																																				
担当教員	飛田 綾子[TOBITA AYAKO]																																																																																				
開講時期	2022 年度前期	対象年次	1	単位数	2																																																																																
実務経験のある教員による授業																																																																																					
<p>曜日・時間: 金曜 2 限</p> <p>対象学科: 医学部医学科・医学部保健衛生学科検査技術学専攻・歯学部歯学科・歯学部口腔保健学科口腔保健工学専攻・歯学部口腔保健学科口腔保健衛生学専攻</p> <p>科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):</p> <p>1-2)社会制度や仕組みについての基本を理解する。</p> <p>1-5)人間の思考の枠組みを知り、自らの思考を振り返る。</p> <p>1-9)市民としての倫理観を養う</p>																																																																																					
<p>授業の目的、概要等</p> <p>社会に生きる限り、人は法と無関係ではられません。法によって自分の自由が制限されたり、反対に生命や自由が守られたりと様々です。新型コロナウイルスの感染拡大防止のための、移動の自粛要請や、飲食業への営業時間短縮要請はその最たる例だと言えます。また、SNS での時に過剰な言葉の応酬は、自由な世界の代償とも言えます。このように、憲法はあらゆる自由や権利が法的問題となる時に、元締めのように必ず関わってくる存在です。この授業では「法とは何か」という話から始め、日本国憲法の保障する人権の具体的内容や海外との相違点などトピックを、多くの裁判例を挙げながら説明します。「法学 I」のみの受講も歓迎しますが、できれば後期に開講される「法学 II」(国会等の統治機構や平和主義についての講義)も併せて履修すると理解が深まると思います。</p>																																																																																					
<p>授業の到達目標</p> <p>①日本国憲法の基本原則を理解し、人権に関する基本知識を身に着ける。</p> <p>②比較法的視点を織り込みながら、望ましい人権保障のあり方を考察し、自分の考えを説明できるようになる。</p>																																																																																					
<p>授業計画</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>講義室</th> <th>担当教員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td>4/15</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>飛田 綾子, 木谷 真紀子, 藤井 達夫</td></tr> <tr><td>2</td><td>4/22</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>飛田 綾子, 木谷 真紀子, 藤井 達夫</td></tr> <tr><td>3</td><td>5/6</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>飛田 綾子, 木谷 真紀子, 藤井 達夫</td></tr> <tr><td>4</td><td>5/13</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>飛田 綾子, 木谷 真紀子, 藤井 達夫</td></tr> <tr><td>5</td><td>5/20</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>飛田 綾子, 木谷 真紀子, 藤井 達夫</td></tr> <tr><td>6</td><td>5/27</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>飛田 綾子, 木谷 真紀子, 藤井 達夫</td></tr> <tr><td>7</td><td>6/3</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>飛田 綾子, 木谷 真紀子, 藤井 達夫</td></tr> <tr><td>8</td><td>6/10</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>飛田 綾子, 木谷 真紀子, 藤井 達夫</td></tr> <tr><td>9</td><td>6/17</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>飛田 綾子, 木谷 真紀子, 藤井 達夫</td></tr> <tr><td>10</td><td>6/24</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>飛田 綾子, 木谷 真紀子, 藤井 達夫</td></tr> <tr><td>11</td><td>7/1</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>飛田 綾子, 木谷 真紀子, 藤井 達夫</td></tr> <tr><td>12</td><td>7/8</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>飛田 綾子, 木谷 真紀子, 藤井 達夫</td></tr> <tr><td>13</td><td>7/15</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>飛田 綾子, 木谷 真紀子, 藤井 達夫</td></tr> <tr><td>14</td><td>7/22</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>飛田 綾子, 木谷 真紀子, 藤井 達夫</td></tr> <tr><td>15</td><td>7/29</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>飛田 綾子, 木谷 真紀子, 藤井 達夫</td></tr> </tbody> </table>						回	日付	時刻	講義室	担当教員	1	4/15	10:50-12:20		飛田 綾子, 木谷 真紀子, 藤井 達夫	2	4/22	10:50-12:20		飛田 綾子, 木谷 真紀子, 藤井 達夫	3	5/6	10:50-12:20		飛田 綾子, 木谷 真紀子, 藤井 達夫	4	5/13	10:50-12:20		飛田 綾子, 木谷 真紀子, 藤井 達夫	5	5/20	10:50-12:20		飛田 綾子, 木谷 真紀子, 藤井 達夫	6	5/27	10:50-12:20		飛田 綾子, 木谷 真紀子, 藤井 達夫	7	6/3	10:50-12:20		飛田 綾子, 木谷 真紀子, 藤井 達夫	8	6/10	10:50-12:20		飛田 綾子, 木谷 真紀子, 藤井 達夫	9	6/17	10:50-12:20		飛田 綾子, 木谷 真紀子, 藤井 達夫	10	6/24	10:50-12:20		飛田 綾子, 木谷 真紀子, 藤井 達夫	11	7/1	10:50-12:20		飛田 綾子, 木谷 真紀子, 藤井 達夫	12	7/8	10:50-12:20		飛田 綾子, 木谷 真紀子, 藤井 達夫	13	7/15	10:50-12:20		飛田 綾子, 木谷 真紀子, 藤井 達夫	14	7/22	10:50-12:20		飛田 綾子, 木谷 真紀子, 藤井 達夫	15	7/29	10:50-12:20		飛田 綾子, 木谷 真紀子, 藤井 達夫
回	日付	時刻	講義室	担当教員																																																																																	
1	4/15	10:50-12:20		飛田 綾子, 木谷 真紀子, 藤井 達夫																																																																																	
2	4/22	10:50-12:20		飛田 綾子, 木谷 真紀子, 藤井 達夫																																																																																	
3	5/6	10:50-12:20		飛田 綾子, 木谷 真紀子, 藤井 達夫																																																																																	
4	5/13	10:50-12:20		飛田 綾子, 木谷 真紀子, 藤井 達夫																																																																																	
5	5/20	10:50-12:20		飛田 綾子, 木谷 真紀子, 藤井 達夫																																																																																	
6	5/27	10:50-12:20		飛田 綾子, 木谷 真紀子, 藤井 達夫																																																																																	
7	6/3	10:50-12:20		飛田 綾子, 木谷 真紀子, 藤井 達夫																																																																																	
8	6/10	10:50-12:20		飛田 綾子, 木谷 真紀子, 藤井 達夫																																																																																	
9	6/17	10:50-12:20		飛田 綾子, 木谷 真紀子, 藤井 達夫																																																																																	
10	6/24	10:50-12:20		飛田 綾子, 木谷 真紀子, 藤井 達夫																																																																																	
11	7/1	10:50-12:20		飛田 綾子, 木谷 真紀子, 藤井 達夫																																																																																	
12	7/8	10:50-12:20		飛田 綾子, 木谷 真紀子, 藤井 達夫																																																																																	
13	7/15	10:50-12:20		飛田 綾子, 木谷 真紀子, 藤井 達夫																																																																																	
14	7/22	10:50-12:20		飛田 綾子, 木谷 真紀子, 藤井 達夫																																																																																	
15	7/29	10:50-12:20		飛田 綾子, 木谷 真紀子, 藤井 達夫																																																																																	
<p>授業方法</p> <p>教員が作成したレジュメをもとに、講義形式で行います。アクティブ・ラーニングとして、授業内容を踏まえたディスカッションを適宜行う</p>																																																																																					

<p>予定です。</p>
<p>授業内容</p> <p>第1回 ガイダンス 授業の目的・進め方 参考文献等の紹介</p> <p>第2回 法とは何か／法と道徳の違い／権利と義務／</p> <p>第3回 人身の自由(適正手続の内容など)移動の自由</p> <p>第4回 国務請求権(刑事補償請求権、国家賠償請求権など)</p> <p>第5回 経済的自由(職業選択の自由、財産権の保障)</p> <p>第6回 社会権(社会権、教育を受ける権利、労働権)</p> <p>第7回 思想・良心の自由(日の丸・君が代強制問題)</p> <p>第8回 信教の自由(学校教育と信教の自由・靖国神社公式参拝問題など)</p> <p>第9回 表現の自由(表現の自由の原則、名誉毀損・性表現の規制の是非、報道の自由など)</p> <p>第10回 集会・結社の自由／学問の自由(科学技術の発展と生命倫理の関係)包括的権利(プライバシーの権利、自己決定権など)</p> <p>第11回 法の下での平等(一票の較差、再婚禁止期間、夫婦別姓問題など)</p> <p>第12回 基本的人権のまとめ①(外国人の人権など)</p> <p>第13回 基本的人権のまとめ②(公共の福祉の解釈の変遷、私人間効力など)</p> <p>第14回 まとめ(個人の尊重とは何か)</p> <p>第15回 まとめ(理解度の確認、立憲主義とは何か、憲法の存在意義)</p>
<p>成績評価の方法</p> <p>評価：試験 0%・レポート 50%・その他(知識確認小テスト・小レポート) 50 %</p> <p>再評価：有(再評価方法:レポート)・無 知識の確実な修得、及び形式の整ったレポートで課題を説得力を持って論じているかを重視する。</p>
<p>成績評価の基準</p> <p>「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による</p>
<p>準備学習等についての具体的な指示</p> <p>予習・復習として、レジュメを読み直し、授業内容を確認してください。特に復習に重点をおくこと。一票の較差から、TV番組の演出への批判など、政治・社会問題も含めたあらゆるニュースに敏感になり、そうしたニュースと憲法や法律全般との関係を考える習慣を身につけて下さい。</p>
<p>教科書</p> <p>特に指定しません。</p>
<p>参考書</p> <p>安西文雄ほか『憲法学読本 第3版』(有斐閣、2018年)</p> <p>野中俊彦・江橋崇編著(洪谷秀樹補訂)『憲法判例集(第11版)』(有斐閣、2016年)</p> <p>棟居快行ほか編『基本的人権の事件簿(第6版)』(有斐閣、2019年)</p> <p>芦部信喜(高橋和之補訂)『憲法(第7版)』(岩波書店、2019年)</p> <p>洪谷秀樹・赤坂正浩『憲法1人権(第7版)』(有斐閣、2019年)</p> <p>長谷部恭男『憲法講話— 24の入門講義』(有斐閣、2020年)</p>
<p>履修上の注意事項</p> <p>履修上の注意事項 ①出欠管理システムの記録と教員の出欠調査を併用します。②教員の出欠調査は、確認小テスト等で行います。(小テスト等は適宜行います。実施する時は、出欠管理システムの記録とテストの2つが揃って出席と認めます。)③原則として出席回数が3分の2以上を満たさないと、レポート提出資格を得られません。④遅刻3回で欠席1回とカウントします。⑤授業中の教員の発言は積極的にメモを取ってください。</p>
<p>備考</p> <p>キーワード:立憲主義、民主主義、基本的人権、個人の尊重</p>

時間割番号	000026			科目ID	LA-112200-L																																																																																
科目名	法学 I (憲法)																																																																																				
担当教員	飛田 綾子[TOBITA AYAKO]																																																																																				
開講時期	2022 年度前期	対象年次	1	単位数	2																																																																																
実務経験のある教員による授業																																																																																					
<p>曜日・時間: 金 曜 1 限</p> <p>対象学科: 医学部保健衛生学科看護学専攻</p> <p>科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):</p> <p>1-2)社会制度や仕組みについての基本を理解する。</p> <p>1-5)人間の思考の枠組みを知り、自らの思考を振り返る。</p> <p>1-9)市民としての倫理観を養う。</p>																																																																																					
<p>授業の目的、概要等</p> <p>新型コロナウイルスの感染拡大防止のための自粛要請の是非から、日本の安全保障政策のあり方、芸能人のスキャンダルまで、ネットやテレビでは日々様々なニュースが伝えられています。こうした問題は皆さんと無関係ではありません。そして、憲法は全てに関わっています。したがって憲法を学ぶことは、自分自身のためになるのです。また、近年は特に、日本国憲法の改正の必要性が叫ばれています。憲法改正の問題を考えるには憲法の基本知識や議論の積み重ねを理解する必要があります。この授業では、生存権の保障や外国人の人権、地方自治などのテーマを、著名な裁判例を多く取り上げながら日本国憲法の全体像を示していきます。適宜、各国憲法や日本の戦後史についても言及したいと思います。</p>																																																																																					
<p>授業の到達目標</p> <p>①日本国憲法の保障する人権の内容や、国会、内閣、裁判所の統治機構についての基本知識を身につける。</p> <p>②表現の自由の規制の是非、成年後見人制度の問題点、立法・行政・司法の権力分立の課題、日本の平和主義のあり方などのテーマを、憲法の基礎知識を踏まえて考察し、説明できるようになる。</p>																																																																																					
<p>授業計画</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>講義室</th> <th>担当教員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td>4/15</td><td>09:10-10:40</td><td></td><td>飛田 綾子, 木谷 真紀子, 藤井 達夫</td></tr> <tr><td>2</td><td>4/22</td><td>09:10-10:40</td><td></td><td>飛田 綾子, 木谷 真紀子, 藤井 達夫</td></tr> <tr><td>3</td><td>5/6</td><td>09:10-10:40</td><td></td><td>飛田 綾子, 木谷 真紀子, 藤井 達夫</td></tr> <tr><td>4</td><td>5/13</td><td>09:10-10:40</td><td></td><td>飛田 綾子, 木谷 真紀子, 藤井 達夫</td></tr> <tr><td>5</td><td>5/20</td><td>09:10-10:40</td><td></td><td>飛田 綾子, 木谷 真紀子, 藤井 達夫</td></tr> <tr><td>6</td><td>5/27</td><td>09:10-10:40</td><td></td><td>飛田 綾子, 木谷 真紀子, 藤井 達夫</td></tr> <tr><td>7</td><td>6/3</td><td>09:10-10:40</td><td></td><td>飛田 綾子, 木谷 真紀子, 藤井 達夫</td></tr> <tr><td>8</td><td>6/10</td><td>09:10-10:40</td><td></td><td>飛田 綾子, 木谷 真紀子, 藤井 達夫</td></tr> <tr><td>9</td><td>6/17</td><td>09:10-10:40</td><td></td><td>飛田 綾子, 木谷 真紀子, 藤井 達夫</td></tr> <tr><td>10</td><td>6/24</td><td>09:10-10:40</td><td></td><td>飛田 綾子, 木谷 真紀子, 藤井 達夫</td></tr> <tr><td>11</td><td>7/1</td><td>09:10-10:40</td><td></td><td>飛田 綾子, 木谷 真紀子, 藤井 達夫</td></tr> <tr><td>12</td><td>7/8</td><td>09:10-10:40</td><td></td><td>飛田 綾子, 木谷 真紀子, 藤井 達夫</td></tr> <tr><td>13</td><td>7/15</td><td>09:10-10:40</td><td></td><td>飛田 綾子, 木谷 真紀子, 藤井 達夫</td></tr> <tr><td>14</td><td>7/22</td><td>09:10-10:40</td><td></td><td>飛田 綾子, 木谷 真紀子, 藤井 達夫</td></tr> <tr><td>15</td><td>7/29</td><td>09:10-10:40</td><td></td><td>飛田 綾子, 木谷 真紀子, 藤井 達夫</td></tr> </tbody> </table>						回	日付	時刻	講義室	担当教員	1	4/15	09:10-10:40		飛田 綾子, 木谷 真紀子, 藤井 達夫	2	4/22	09:10-10:40		飛田 綾子, 木谷 真紀子, 藤井 達夫	3	5/6	09:10-10:40		飛田 綾子, 木谷 真紀子, 藤井 達夫	4	5/13	09:10-10:40		飛田 綾子, 木谷 真紀子, 藤井 達夫	5	5/20	09:10-10:40		飛田 綾子, 木谷 真紀子, 藤井 達夫	6	5/27	09:10-10:40		飛田 綾子, 木谷 真紀子, 藤井 達夫	7	6/3	09:10-10:40		飛田 綾子, 木谷 真紀子, 藤井 達夫	8	6/10	09:10-10:40		飛田 綾子, 木谷 真紀子, 藤井 達夫	9	6/17	09:10-10:40		飛田 綾子, 木谷 真紀子, 藤井 達夫	10	6/24	09:10-10:40		飛田 綾子, 木谷 真紀子, 藤井 達夫	11	7/1	09:10-10:40		飛田 綾子, 木谷 真紀子, 藤井 達夫	12	7/8	09:10-10:40		飛田 綾子, 木谷 真紀子, 藤井 達夫	13	7/15	09:10-10:40		飛田 綾子, 木谷 真紀子, 藤井 達夫	14	7/22	09:10-10:40		飛田 綾子, 木谷 真紀子, 藤井 達夫	15	7/29	09:10-10:40		飛田 綾子, 木谷 真紀子, 藤井 達夫
回	日付	時刻	講義室	担当教員																																																																																	
1	4/15	09:10-10:40		飛田 綾子, 木谷 真紀子, 藤井 達夫																																																																																	
2	4/22	09:10-10:40		飛田 綾子, 木谷 真紀子, 藤井 達夫																																																																																	
3	5/6	09:10-10:40		飛田 綾子, 木谷 真紀子, 藤井 達夫																																																																																	
4	5/13	09:10-10:40		飛田 綾子, 木谷 真紀子, 藤井 達夫																																																																																	
5	5/20	09:10-10:40		飛田 綾子, 木谷 真紀子, 藤井 達夫																																																																																	
6	5/27	09:10-10:40		飛田 綾子, 木谷 真紀子, 藤井 達夫																																																																																	
7	6/3	09:10-10:40		飛田 綾子, 木谷 真紀子, 藤井 達夫																																																																																	
8	6/10	09:10-10:40		飛田 綾子, 木谷 真紀子, 藤井 達夫																																																																																	
9	6/17	09:10-10:40		飛田 綾子, 木谷 真紀子, 藤井 達夫																																																																																	
10	6/24	09:10-10:40		飛田 綾子, 木谷 真紀子, 藤井 達夫																																																																																	
11	7/1	09:10-10:40		飛田 綾子, 木谷 真紀子, 藤井 達夫																																																																																	
12	7/8	09:10-10:40		飛田 綾子, 木谷 真紀子, 藤井 達夫																																																																																	
13	7/15	09:10-10:40		飛田 綾子, 木谷 真紀子, 藤井 達夫																																																																																	
14	7/22	09:10-10:40		飛田 綾子, 木谷 真紀子, 藤井 達夫																																																																																	
15	7/29	09:10-10:40		飛田 綾子, 木谷 真紀子, 藤井 達夫																																																																																	
<p>授業方法</p> <p>教員が作成したレジュメをもとに、講義形式で行います。アクティブ・ラーニングの形式を取り入れ、授業内容を踏まえたディスカッション</p>																																																																																					

<p>ンを適宜行う予定です。</p>
<p>授業内容</p> <p>第1回 ガイダンス 授業の目的、進め方、参考文献の紹介／憲法の実在意義／人身の自由(適正手続について)／国務請求権①(刑事補償請求権など)</p> <p>第2回 国務請求権②(国家賠償請求権)／成年後見人制度について</p> <p>第3回 経済的自由(職業選択の自由、財産権)</p> <p>第4回 社会権(生存権・教育を受ける権利、労働基本権)</p> <p>第5回 思想・良心の自由(日の丸・君が代の強制問題など)／信教の自由(学校教育と信教の自由、靖国神社公式参拝問題について)</p> <p>第6回 表現の自由(大原則、報道の自由、名誉毀損的表現への規制の是非など)</p> <p>第7回 学問の自由(科学技術と生命倫理の関係など)／包括的権利(プライバシーの権利、自己決定権など)</p> <p>第8回 法の下での平等(夫婦別姓・再婚禁止期間の判例など)</p> <p>第9回 基本的人権のまとめ(外国人の人権、憲法の適用範囲の問題など)</p> <p>第10回 日本憲法史／天皇制</p> <p>第11回 平和主義(憲法9条の解釈・平和安全法制の概要など)</p> <p>第12回 統治機構 権力分立／国会(選挙の原則、一票の較差、衆参両院の役割分担など)</p> <p>第13回 内閣(内閣総理大臣の権限強化の是非など)</p> <p>第14回 裁判所(裁判員制度・司法の独立など)／違憲審査制度</p> <p>第15回 地方自治(道州制の是非など)／財政(公金支出の禁止など)</p>
<p>成績評価の方法</p> <p>評価：試験 0%・レポート 50%・その他(知識確認小テスト・小レポート) 50 %</p> <p>再評価：有(再評価方法:レポート)・無 知識の確実な修得、及び形式の整ったレポートで課題を説得力を持って論じているかを重視する。</p>
<p>成績評価の基準</p> <p>「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による</p>
<p>準備学習等についての具体的な指示</p> <p>予習・復習として、レジュメを読み直し、授業内容を確認してください。特に復習に重点をおくこと。ヘイトスピーチ規制から、国際貢献のありかたなど、政治・社会問題も含めたあらゆるニュースに敏感になり、そうしたニュースと憲法や法律全般との関係を考える習慣を身につけて下さい。</p>
<p>教科書</p> <p>特に指定しません。</p>
<p>参考書</p> <p>神野潔編著『教養としての憲法入門』(弘文堂、2016年)</p> <p>安西文雄ほか『憲法学読本 第3版』(有斐閣、2018年)</p> <p>野中俊彦・江橋崇編著(渋谷秀樹補訂)『憲法判例集(第11版)』(有斐閣、2016年)</p> <p>安念潤司・小山剛・青井美帆・尖戸常寿・山本龍彦『憲法を学ぶための基礎知識 論点 日本国憲法(第2版)』(東京法令出版、2014年)</p> <p>芦部信喜(高橋和之補訂)『憲法(第7版)』(岩波書店、2019年)</p> <p>長谷部恭男『憲法講話— 24の入門講義』(有斐閣、2020年)</p>
<p>履修上の注意事項</p> <p>履修上の注意事項 ①出欠管理システムの記録と教員の出欠調査を併用します。②教員の出欠調査は、確認小テスト等で行います。(小テスト等は適宜行います。実施する時は、出欠管理システムの記録とテストの2つが揃って出席と認めます。)③原則として出席回数が3分の2以上を満たさないと、レポート提出資格を得られません。④遅刻3回で欠席1回とカウントします。⑤授業中の教員の発言は積極的にメモを取ってください。</p>
<p>参照ホームページ</p> <p>キーワード:立憲主義、民主主義、基本的人権、政治制度</p>

時間割番号	000021			科目ID	LA-112300-L																																																																																
科目名	法学Ⅱ																																																																																				
担当教員	飛田 綾子[TOBITA AYAKO]																																																																																				
開講時期	2022 年度後期	対象年次	1	単位数	2																																																																																
実務経験のある教員による授業																																																																																					
<p>曜日・時間: 金曜 2 限</p> <p>科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):</p> <p>1-2)社会制度や仕組みについての基本を理解する。</p> <p>1-5)人間の思考の枠組みを知り、自らの思考を振り返る。</p> <p>1-9)市民としての倫理観を養う。</p>																																																																																					
<p>授業の目的、概要等</p> <p>現在、日本の安全保障体制のあり方や裁判員制度の下での判決が高等裁判所で変更されることの是非など、憲法に関する様々なニュースが日々伝えられています。そして、現憲法の改正の必要性が盛んに叫ばれています。こうしたニュースを深く理解し、改正の必要性を冷静に考察するためには、憲法に関する基礎知識が必要です。この授業では、国会、内閣、裁判所の持つ権限やお互いのチェック機能、平和主義に関する解釈や著名な裁判、地方自治において住民が持つ権利などを説明します。現実の政治との接点を持ちながら適宜、他国との比較も行いたいと思います。「法学Ⅱ」のみの履修も歓迎しますが、前期の「法学Ⅰ」(人権についての講義)と併せて履修するとより理解が深まると思います。</p>																																																																																					
<p>授業の到達目標</p> <p>①日本国憲法の、国会や内閣など統治機構分野に関する基本的知識を、他国との比較法的視点を持ちながら身につける。</p> <p>②憲法改正や平和主義などの論点について、憲法学の基本的知識を踏まえた上で自らの考えを持ち、説明できるようになる。</p>																																																																																					
<p>授業計画</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>講義室</th> <th>担当教員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td>10/7</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>飛田 綾子, 木谷 真紀子, 藤井 達夫</td></tr> <tr><td>2</td><td>10/14</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>飛田 綾子, 木谷 真紀子, 藤井 達夫</td></tr> <tr><td>3</td><td>10/21</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>飛田 綾子, 木谷 真紀子, 藤井 達夫</td></tr> <tr><td>4</td><td>10/28</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>飛田 綾子, 木谷 真紀子, 藤井 達夫</td></tr> <tr><td>5</td><td>11/4</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>飛田 綾子, 木谷 真紀子, 藤井 達夫</td></tr> <tr><td>6</td><td>11/11</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>飛田 綾子, 木谷 真紀子, 藤井 達夫</td></tr> <tr><td>7</td><td>11/18</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>飛田 綾子, 木谷 真紀子, 藤井 達夫</td></tr> <tr><td>8</td><td>11/25</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>飛田 綾子, 木谷 真紀子, 藤井 達夫</td></tr> <tr><td>9</td><td>12/2</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>飛田 綾子, 木谷 真紀子, 藤井 達夫</td></tr> <tr><td>10</td><td>12/9</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>飛田 綾子, 木谷 真紀子, 藤井 達夫</td></tr> <tr><td>11</td><td>12/16</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>飛田 綾子, 木谷 真紀子, 藤井 達夫</td></tr> <tr><td>12</td><td>1/6</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>飛田 綾子, 木谷 真紀子, 藤井 達夫</td></tr> <tr><td>13</td><td>1/13</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>飛田 綾子, 木谷 真紀子, 藤井 達夫</td></tr> <tr><td>14</td><td>1/20</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>飛田 綾子, 木谷 真紀子, 藤井 達夫</td></tr> <tr><td>15</td><td>1/27</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>飛田 綾子, 木谷 真紀子, 藤井 達夫</td></tr> </tbody> </table>						回	日付	時刻	講義室	担当教員	1	10/7	10:50-12:20		飛田 綾子, 木谷 真紀子, 藤井 達夫	2	10/14	10:50-12:20		飛田 綾子, 木谷 真紀子, 藤井 達夫	3	10/21	10:50-12:20		飛田 綾子, 木谷 真紀子, 藤井 達夫	4	10/28	10:50-12:20		飛田 綾子, 木谷 真紀子, 藤井 達夫	5	11/4	10:50-12:20		飛田 綾子, 木谷 真紀子, 藤井 達夫	6	11/11	10:50-12:20		飛田 綾子, 木谷 真紀子, 藤井 達夫	7	11/18	10:50-12:20		飛田 綾子, 木谷 真紀子, 藤井 達夫	8	11/25	10:50-12:20		飛田 綾子, 木谷 真紀子, 藤井 達夫	9	12/2	10:50-12:20		飛田 綾子, 木谷 真紀子, 藤井 達夫	10	12/9	10:50-12:20		飛田 綾子, 木谷 真紀子, 藤井 達夫	11	12/16	10:50-12:20		飛田 綾子, 木谷 真紀子, 藤井 達夫	12	1/6	10:50-12:20		飛田 綾子, 木谷 真紀子, 藤井 達夫	13	1/13	10:50-12:20		飛田 綾子, 木谷 真紀子, 藤井 達夫	14	1/20	10:50-12:20		飛田 綾子, 木谷 真紀子, 藤井 達夫	15	1/27	10:50-12:20		飛田 綾子, 木谷 真紀子, 藤井 達夫
回	日付	時刻	講義室	担当教員																																																																																	
1	10/7	10:50-12:20		飛田 綾子, 木谷 真紀子, 藤井 達夫																																																																																	
2	10/14	10:50-12:20		飛田 綾子, 木谷 真紀子, 藤井 達夫																																																																																	
3	10/21	10:50-12:20		飛田 綾子, 木谷 真紀子, 藤井 達夫																																																																																	
4	10/28	10:50-12:20		飛田 綾子, 木谷 真紀子, 藤井 達夫																																																																																	
5	11/4	10:50-12:20		飛田 綾子, 木谷 真紀子, 藤井 達夫																																																																																	
6	11/11	10:50-12:20		飛田 綾子, 木谷 真紀子, 藤井 達夫																																																																																	
7	11/18	10:50-12:20		飛田 綾子, 木谷 真紀子, 藤井 達夫																																																																																	
8	11/25	10:50-12:20		飛田 綾子, 木谷 真紀子, 藤井 達夫																																																																																	
9	12/2	10:50-12:20		飛田 綾子, 木谷 真紀子, 藤井 達夫																																																																																	
10	12/9	10:50-12:20		飛田 綾子, 木谷 真紀子, 藤井 達夫																																																																																	
11	12/16	10:50-12:20		飛田 綾子, 木谷 真紀子, 藤井 達夫																																																																																	
12	1/6	10:50-12:20		飛田 綾子, 木谷 真紀子, 藤井 達夫																																																																																	
13	1/13	10:50-12:20		飛田 綾子, 木谷 真紀子, 藤井 達夫																																																																																	
14	1/20	10:50-12:20		飛田 綾子, 木谷 真紀子, 藤井 達夫																																																																																	
15	1/27	10:50-12:20		飛田 綾子, 木谷 真紀子, 藤井 達夫																																																																																	
<p>授業方法</p> <p>教員が作成したレジュメをもとに、講義形式で行います。アクティブ・ラーニングの形式を取り入れ、授業内容を踏まえた課題に関するディスカッションを適宜行う予定です。</p>																																																																																					
<p>授業内容</p> <p>第1回 ガイダンス 授業の目的・概要／参考文献の紹介</p> <p>第2回 立憲主義とは何か／憲法とは何か(憲法の種類・区別の仕方等)</p>																																																																																					

<p>第3回 主権とは何か／国会①(国民の代表の意味、国会の地位など)</p> <p>第4回 国会②(国会・議院の権限)</p> <p>第5回 内閣(議院内閣制、内閣の組織と権能)</p> <p>第6回 裁判所(司法権の範囲と限界、裁判所の権限、司法権の独立など)</p> <p>英仏との比較)権力分立(各国との相違)</p> <p>第8回 平和主義①(9条の解釈、著名な裁判、日本の安全保障の変遷など)</p> <p>第9回 平和主義②(平和安全法制の概要、各国との比較など)</p> <p>第11回 日本憲法史／天皇制(戦前と戦後の相違点など)</p> <p>第12回 地方自治(地方自治体の権限、道州制の可否など)</p> <p>第13回 財政(政教分離との関連など)</p> <p>第14回 憲法の保障・憲法改正 憲法の存在意義(主にドイツとの比較)</p> <p>理解度の確認</p>	<p>第7回 違憲審査制度(米)</p> <p>第15回 全体のまとめ・</p>
<p>成績評価の方法</p> <p>評価：試験 0%・レポート 50%・その他(知識確認小テスト、小レポート)50%</p> <p>再評価：有(再評価方法:レポート)・無 知識の確実な修得、及び形式の整ったレポートで課題を説得力を持って論じているかを重視する。</p>	
<p>成績評価の基準</p> <p>「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による</p>	
<p>準備学習等についての具体的な指示</p> <p>予習・復習として、レジュメを読み直し、授業内容を確認してください。特に復習に重点をおくこと。また、日頃から様々なニュースに関心を払うようにしてください。日本だけでなく海外の政治・社会状況を知り、日本との相違点や共通点を考え、憲法や法律全般との関係を考える癖を身につけてください。</p>	
<p>教科書</p> <p>特に指定しません。</p>	
<p>参考書</p> <p>長谷部恭男『憲法講話— 24の入門講義』有斐閣、2020年</p> <p>渋谷秀樹・赤坂正浩『憲法2 統治(第7版)』有斐閣、2019年</p> <p>笹田栄司・原田一明・山崎友也・遠藤美奈『トピックからはじめる統治制度 第2版』有斐閣、2019年</p> <p>佐藤幸治『世界史の中の日本国憲法』左右社、2015年。安念潤司・小山剛・青井未帆・山本龍彦編『憲法を学ぶための基礎知識 論点日本国憲法(第2版)』東京法令出版、2014年</p> <p>芦部信喜(高橋和之補訂)『憲法(第7版)』岩波書店、2019年</p>	
<p>履修上の注意事項</p> <p>履修上の注意事項 ①出欠管理システムの記録と教員の出欠調査を併用します。②教員の出欠調査は、確認小テスト等で行います。(小テスト等は適宜行います。実施する時は、出欠管理システムの記録とテストの2つが揃って出席と認めます。)③原則として出席回数が3分の2以上を満たさないと、レポート提出資格を得られません。④遅刻3回で欠席1回とカウントします。⑤授業中の教員の発言は積極的にメモを取ってください。</p>	
<p>備考</p> <p>キーワード: 立憲主義、平和主義、民主主義、政治制度、憲法改正</p>	

時間割番号	000022			科目ID	LA-112400-Z																																																																																
科目名	政治学 I		科目ID	LA-112400-Z																																																																																	
担当教員	面 一也[OMOTE KAZUYA]																																																																																				
開講時期	2022 年度前期	対象年次	1	単位数	2																																																																																
実務経験のある教員による授業																																																																																					
<p>月曜 2 限 1-2), 1-9), 3-5)</p>																																																																																					
<p>授業の目的、概要等</p> <p>本授業では、政治学の基本的概念と政治制度に関して学習しながら、今日の政治の理論と現実を全般的に概観する。政治は生きものなので、現在進行形のアクチュアルな事例も、可能なかぎり取り扱いたい。授業全体を通じて、現在の政治が直面している課題と、望ましい未来の政治のあり方について、批判的に考察を進める予定である。</p>																																																																																					
<p>授業の到達目標</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 政治学の基本概念と政治制度に関する基本的知識を習得する。 2 現代の政治理論を通じて現実政治の問題を把握する。 3 現在の政治と未来の政治に関する批判的考察力を身につける。 																																																																																					
<p>授業計画</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>講義室</th> <th>担当教員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td>4/18</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>面 一也, 木谷 真紀子, 藤井 達夫</td></tr> <tr><td>2</td><td>4/25</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>面 一也, 木谷 真紀子, 藤井 達夫</td></tr> <tr><td>3</td><td>5/2</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>面 一也, 木谷 真紀子, 藤井 達夫</td></tr> <tr><td>4</td><td>5/9</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>面 一也, 木谷 真紀子, 藤井 達夫</td></tr> <tr><td>5</td><td>5/16</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>面 一也, 木谷 真紀子, 藤井 達夫</td></tr> <tr><td>6</td><td>5/23</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>面 一也, 木谷 真紀子, 藤井 達夫</td></tr> <tr><td>7</td><td>5/30</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>面 一也, 木谷 真紀子, 藤井 達夫</td></tr> <tr><td>8</td><td>6/6</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>面 一也, 木谷 真紀子, 藤井 達夫</td></tr> <tr><td>9</td><td>6/13</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>面 一也, 木谷 真紀子, 藤井 達夫</td></tr> <tr><td>10</td><td>6/20</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>面 一也, 木谷 真紀子, 藤井 達夫</td></tr> <tr><td>11</td><td>6/27</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>面 一也, 木谷 真紀子, 藤井 達夫</td></tr> <tr><td>12</td><td>7/4</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>面 一也, 木谷 真紀子, 藤井 達夫</td></tr> <tr><td>13</td><td>7/11</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>面 一也, 木谷 真紀子, 藤井 達夫</td></tr> <tr><td>14</td><td>7/18</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>面 一也, 木谷 真紀子, 藤井 達夫</td></tr> <tr><td>15</td><td>7/25</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>面 一也, 木谷 真紀子, 藤井 達夫</td></tr> </tbody> </table>						回	日付	時刻	講義室	担当教員	1	4/18	10:50-12:20		面 一也, 木谷 真紀子, 藤井 達夫	2	4/25	10:50-12:20		面 一也, 木谷 真紀子, 藤井 達夫	3	5/2	10:50-12:20		面 一也, 木谷 真紀子, 藤井 達夫	4	5/9	10:50-12:20		面 一也, 木谷 真紀子, 藤井 達夫	5	5/16	10:50-12:20		面 一也, 木谷 真紀子, 藤井 達夫	6	5/23	10:50-12:20		面 一也, 木谷 真紀子, 藤井 達夫	7	5/30	10:50-12:20		面 一也, 木谷 真紀子, 藤井 達夫	8	6/6	10:50-12:20		面 一也, 木谷 真紀子, 藤井 達夫	9	6/13	10:50-12:20		面 一也, 木谷 真紀子, 藤井 達夫	10	6/20	10:50-12:20		面 一也, 木谷 真紀子, 藤井 達夫	11	6/27	10:50-12:20		面 一也, 木谷 真紀子, 藤井 達夫	12	7/4	10:50-12:20		面 一也, 木谷 真紀子, 藤井 達夫	13	7/11	10:50-12:20		面 一也, 木谷 真紀子, 藤井 達夫	14	7/18	10:50-12:20		面 一也, 木谷 真紀子, 藤井 達夫	15	7/25	10:50-12:20		面 一也, 木谷 真紀子, 藤井 達夫
回	日付	時刻	講義室	担当教員																																																																																	
1	4/18	10:50-12:20		面 一也, 木谷 真紀子, 藤井 達夫																																																																																	
2	4/25	10:50-12:20		面 一也, 木谷 真紀子, 藤井 達夫																																																																																	
3	5/2	10:50-12:20		面 一也, 木谷 真紀子, 藤井 達夫																																																																																	
4	5/9	10:50-12:20		面 一也, 木谷 真紀子, 藤井 達夫																																																																																	
5	5/16	10:50-12:20		面 一也, 木谷 真紀子, 藤井 達夫																																																																																	
6	5/23	10:50-12:20		面 一也, 木谷 真紀子, 藤井 達夫																																																																																	
7	5/30	10:50-12:20		面 一也, 木谷 真紀子, 藤井 達夫																																																																																	
8	6/6	10:50-12:20		面 一也, 木谷 真紀子, 藤井 達夫																																																																																	
9	6/13	10:50-12:20		面 一也, 木谷 真紀子, 藤井 達夫																																																																																	
10	6/20	10:50-12:20		面 一也, 木谷 真紀子, 藤井 達夫																																																																																	
11	6/27	10:50-12:20		面 一也, 木谷 真紀子, 藤井 達夫																																																																																	
12	7/4	10:50-12:20		面 一也, 木谷 真紀子, 藤井 達夫																																																																																	
13	7/11	10:50-12:20		面 一也, 木谷 真紀子, 藤井 達夫																																																																																	
14	7/18	10:50-12:20		面 一也, 木谷 真紀子, 藤井 達夫																																																																																	
15	7/25	10:50-12:20		面 一也, 木谷 真紀子, 藤井 達夫																																																																																	
<p>授業方法</p> <p>講義形式。アクティヴ・ラーニングとして、授業中の確認作業と、授業後のリアクション・ペーパーの提出を課す。</p>																																																																																					
<p>授業内容</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 ガイダンス 2 古代の民主政治 プラトンを中心に(教科書 1 章 1 節) 3 近代の民主政治 ルソーを中心に(1 章 2 節) 4 自由主義と民主主義 権力分立、基本的人権(1 章 3 節) 5 民主政治に対する懐疑と再定義 ナショナリズム、ポピュリズム、全体主義(2 章) 6 福祉国家の構造と論争 社会民主主義と新自由主義(3 章) 7 議院内閣制と大統領制 行政の最高責任者の選出法とその影響(4 章) 																																																																																					

- 8 選挙と投票行動 組織票、無党派、無関心(5章)
- 9 議会と政党 国会無能論、多数者の専制(6章)
- 10 官僚と利益集団 縦割り行政、官僚性の肥大化、族議員(7章)
- 11 世論 マスメディアの機能、SNSの台頭(8章)
- 12 地方自治 地方分権改革の問題(9章)
- 13 主権国家と国際秩序 グローバル・イシューの噴出(10章)
- 14 アイデンティティと差異① フェミニズム、多文化主義(11章1・2節)
- 15 アイデンティティと差異② 熟議民主主義(11章3節)

成績評価の方法

評価：試験 70%・レポート %・その他(リアクション・ペーパー) 30%
再評価：有(レポート)

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習等についての具体的な指示

予習として教科書(各回分)の事前読了を求める。予習には90分～120分かかると想定される。
復習に多くの時間を割くことを推奨する。復習の際には、教科書や配布資料を見返しながら、授業の全体的な流れをまず把握して、総論から各論の確認へ向かうとよい。復習は次回授業の土台になるため、予習の意味も兼ねて、次回授業までに復習を済ませると理想的である。

教科書

川出良枝、谷口将紀編著『政治学』東京大学出版会、2012年。

参考書

授業内で適宜指示する。

時間割番号	000023			科目ID	LA-112500-Z																																																																																
科目名	政治学Ⅱ																																																																																				
担当教員	面 一也[OMOTE KAZUYA]																																																																																				
開講時期	2022 年度後期	対象年次	1	単位数	2																																																																																
実務経験のある教員による授業																																																																																					
月曜2限 1-2), 1-9), 3-5)																																																																																					
授業の目的、概要等 本授業では、政治学の概念を用いて日本の政治に関する基本知識を習得しながら、今日の日本の政治的諸課題を全般的に考察する。政治は生きものなので、現在進行形のアクチュアルな事例も、可能なかぎり取り扱いたい。授業全体を通じて、現在の政治が直面している課題と、望ましい未来の政治のあり方について、批判的に考察を進める予定である。																																																																																					
授業の到達目標 1 政治学の概念を用いて日本の政治に関する基本知識を習得する。 2 今日の日本の政治的諸課題を把握する。 3 現在の政治と未来の政治に関する批判的考察力を身につける。																																																																																					
授業計画 <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>講義室</th> <th>担当教員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td>10/3</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>面 一也, 木谷 真紀子, 藤井 達夫</td></tr> <tr><td>2</td><td>10/10</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>面 一也, 木谷 真紀子, 藤井 達夫</td></tr> <tr><td>3</td><td>10/17</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>面 一也, 木谷 真紀子, 藤井 達夫</td></tr> <tr><td>4</td><td>10/24</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>面 一也, 木谷 真紀子, 藤井 達夫</td></tr> <tr><td>5</td><td>10/31</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>面 一也, 木谷 真紀子, 藤井 達夫</td></tr> <tr><td>6</td><td>11/7</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>面 一也, 木谷 真紀子, 藤井 達夫</td></tr> <tr><td>7</td><td>11/14</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>面 一也, 木谷 真紀子, 藤井 達夫</td></tr> <tr><td>8</td><td>11/21</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>面 一也, 木谷 真紀子, 藤井 達夫</td></tr> <tr><td>9</td><td>11/28</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>面 一也, 木谷 真紀子, 藤井 達夫</td></tr> <tr><td>10</td><td>12/5</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>面 一也, 木谷 真紀子, 藤井 達夫</td></tr> <tr><td>11</td><td>12/12</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>面 一也, 木谷 真紀子, 藤井 達夫</td></tr> <tr><td>12</td><td>12/19</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>面 一也, 木谷 真紀子, 藤井 達夫</td></tr> <tr><td>13</td><td>1/16</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>面 一也, 木谷 真紀子, 藤井 達夫</td></tr> <tr><td>14</td><td>1/23</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>面 一也, 木谷 真紀子, 藤井 達夫</td></tr> <tr><td>15</td><td>1/30</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>面 一也, 木谷 真紀子, 藤井 達夫</td></tr> </tbody> </table>						回	日付	時刻	講義室	担当教員	1	10/3	10:50-12:20		面 一也, 木谷 真紀子, 藤井 達夫	2	10/10	10:50-12:20		面 一也, 木谷 真紀子, 藤井 達夫	3	10/17	10:50-12:20		面 一也, 木谷 真紀子, 藤井 達夫	4	10/24	10:50-12:20		面 一也, 木谷 真紀子, 藤井 達夫	5	10/31	10:50-12:20		面 一也, 木谷 真紀子, 藤井 達夫	6	11/7	10:50-12:20		面 一也, 木谷 真紀子, 藤井 達夫	7	11/14	10:50-12:20		面 一也, 木谷 真紀子, 藤井 達夫	8	11/21	10:50-12:20		面 一也, 木谷 真紀子, 藤井 達夫	9	11/28	10:50-12:20		面 一也, 木谷 真紀子, 藤井 達夫	10	12/5	10:50-12:20		面 一也, 木谷 真紀子, 藤井 達夫	11	12/12	10:50-12:20		面 一也, 木谷 真紀子, 藤井 達夫	12	12/19	10:50-12:20		面 一也, 木谷 真紀子, 藤井 達夫	13	1/16	10:50-12:20		面 一也, 木谷 真紀子, 藤井 達夫	14	1/23	10:50-12:20		面 一也, 木谷 真紀子, 藤井 達夫	15	1/30	10:50-12:20		面 一也, 木谷 真紀子, 藤井 達夫
回	日付	時刻	講義室	担当教員																																																																																	
1	10/3	10:50-12:20		面 一也, 木谷 真紀子, 藤井 達夫																																																																																	
2	10/10	10:50-12:20		面 一也, 木谷 真紀子, 藤井 達夫																																																																																	
3	10/17	10:50-12:20		面 一也, 木谷 真紀子, 藤井 達夫																																																																																	
4	10/24	10:50-12:20		面 一也, 木谷 真紀子, 藤井 達夫																																																																																	
5	10/31	10:50-12:20		面 一也, 木谷 真紀子, 藤井 達夫																																																																																	
6	11/7	10:50-12:20		面 一也, 木谷 真紀子, 藤井 達夫																																																																																	
7	11/14	10:50-12:20		面 一也, 木谷 真紀子, 藤井 達夫																																																																																	
8	11/21	10:50-12:20		面 一也, 木谷 真紀子, 藤井 達夫																																																																																	
9	11/28	10:50-12:20		面 一也, 木谷 真紀子, 藤井 達夫																																																																																	
10	12/5	10:50-12:20		面 一也, 木谷 真紀子, 藤井 達夫																																																																																	
11	12/12	10:50-12:20		面 一也, 木谷 真紀子, 藤井 達夫																																																																																	
12	12/19	10:50-12:20		面 一也, 木谷 真紀子, 藤井 達夫																																																																																	
13	1/16	10:50-12:20		面 一也, 木谷 真紀子, 藤井 達夫																																																																																	
14	1/23	10:50-12:20		面 一也, 木谷 真紀子, 藤井 達夫																																																																																	
15	1/30	10:50-12:20		面 一也, 木谷 真紀子, 藤井 達夫																																																																																	
授業方法 講義形式。アクティヴ・ラーニングとして、授業中の確認作業と、授業後のリアクション・ペーパーの提出を課す。																																																																																					
授業内容 1: ガイダンス 2: 戦後の日本政治 ① (教科書 1章1・2) 3: 戦後の日本政治 ② (1章3) 4: 政治参加 (2章) 5: 団体政治・自発的結社 (3章) 6: 政党と政治家 (4章) 7: 議院内閣制と首相 (5章) 8: 国会 (6章)																																																																																					

<p>9:官僚・政官関係 (7章) 10:メディア (8章) 11:政策過程の全体像 (9章) 12:地方自治 (10章) 13:安心社会とケア ① (11章1・2) 14:安心社会とケア ② (11章3)15:共生社会とシティズンシップ (12章)</p>
<p>成績評価の方法 評価 : 試験 70% ・ レポート % ・ その他(リアクション・ペーパー) 30% 再評価: 有(レポート)</p>
<p>成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による</p>
<p>準備学習等についての具体的な指示 予習として教科書(各回分)の事前読了を求める。予習には90分～120分かかると想定される。 復習に多くの時間を割くことを推奨する。復習の際には、教科書や配布資料を見返しながら、授業の全体的な流れをまず把握して、総論から各論の確認へ向かうとよい。復習は次回授業の土台になるため、予習の意味も兼ねて、次回授業までに復習を済ませると理想的である。</p>
<p>教科書 上神貴佳、三浦まり編『日本政治の第一歩』有斐閣ストウディア、2018年。</p>
<p>参考書 授業内で適宜指示する。</p>

時間割番号	000024			科目ID	LA-112600-Z																																																																																
科目名	経済学 I																																																																																				
担当教員	田原 慎二[TAHARA Shinji]																																																																																				
開講時期	2022 年度前期	対象年次	1	単位数	2																																																																																
実務経験のある教員による授業																																																																																					
曜日・時間: 月曜2限 科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 1-3)																																																																																					
授業の目的、概要等 <p>経済は一見すると私たちの生活に直接関係していないように思えるが、賃金、失業、物価などの様々な側面で実は深い関わりを持っている。私たちが社会生活を行ううえで、経済との関わりは避けられない。</p> <p>経済活動によって生じる失業、不景気、貧困などの問題を解消するため、学問としての経済学は発展してきた。</p> <p>この授業では、まず「トレードオフ」「機会費用」「インセンティブ」「比較優位」「限界原理」などの経済学の基本的な概念について学び、続いて経済学の主要な分野の一つである「ミクロ経済学」を取り上げる。ミクロ経済学は、経済における最小の単位(ミクロ)の主体である家計や企業がどのように行動し、その結果として市場における取引量や価格がどのように決定されるかについて分析する学問である。</p> <p>これらの学習を通じて、経済における諸要素とその関係について基本的な知識を学習する。</p>																																																																																					
授業の到達目標 <p>経済学の基本的な考え方、概念、モデルについて理解し、これに基づいて現実の経済を解釈できるようになる。</p>																																																																																					
授業計画 <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>講義室</th> <th>担当教員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td>4/18</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>田原 慎二, 木谷 真紀子, 藤井 達夫</td></tr> <tr><td>2</td><td>4/25</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>田原 慎二, 木谷 真紀子, 藤井 達夫</td></tr> <tr><td>3</td><td>5/2</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>田原 慎二, 木谷 真紀子, 藤井 達夫</td></tr> <tr><td>4</td><td>5/9</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>田原 慎二, 木谷 真紀子, 藤井 達夫</td></tr> <tr><td>5</td><td>5/16</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>田原 慎二, 木谷 真紀子, 藤井 達夫</td></tr> <tr><td>6</td><td>5/23</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>田原 慎二, 木谷 真紀子, 藤井 達夫</td></tr> <tr><td>7</td><td>5/30</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>田原 慎二, 木谷 真紀子, 藤井 達夫</td></tr> <tr><td>8</td><td>6/6</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>田原 慎二, 木谷 真紀子, 藤井 達夫</td></tr> <tr><td>9</td><td>6/13</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>田原 慎二, 木谷 真紀子, 藤井 達夫</td></tr> <tr><td>10</td><td>6/20</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>田原 慎二, 木谷 真紀子, 藤井 達夫</td></tr> <tr><td>11</td><td>6/27</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>田原 慎二, 木谷 真紀子, 藤井 達夫</td></tr> <tr><td>12</td><td>7/4</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>田原 慎二, 木谷 真紀子, 藤井 達夫</td></tr> <tr><td>13</td><td>7/11</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>田原 慎二, 木谷 真紀子, 藤井 達夫</td></tr> <tr><td>14</td><td>7/18</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>田原 慎二, 木谷 真紀子, 藤井 達夫</td></tr> <tr><td>15</td><td>7/25</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>田原 慎二, 木谷 真紀子, 藤井 達夫</td></tr> </tbody> </table>						回	日付	時刻	講義室	担当教員	1	4/18	10:50-12:20		田原 慎二, 木谷 真紀子, 藤井 達夫	2	4/25	10:50-12:20		田原 慎二, 木谷 真紀子, 藤井 達夫	3	5/2	10:50-12:20		田原 慎二, 木谷 真紀子, 藤井 達夫	4	5/9	10:50-12:20		田原 慎二, 木谷 真紀子, 藤井 達夫	5	5/16	10:50-12:20		田原 慎二, 木谷 真紀子, 藤井 達夫	6	5/23	10:50-12:20		田原 慎二, 木谷 真紀子, 藤井 達夫	7	5/30	10:50-12:20		田原 慎二, 木谷 真紀子, 藤井 達夫	8	6/6	10:50-12:20		田原 慎二, 木谷 真紀子, 藤井 達夫	9	6/13	10:50-12:20		田原 慎二, 木谷 真紀子, 藤井 達夫	10	6/20	10:50-12:20		田原 慎二, 木谷 真紀子, 藤井 達夫	11	6/27	10:50-12:20		田原 慎二, 木谷 真紀子, 藤井 達夫	12	7/4	10:50-12:20		田原 慎二, 木谷 真紀子, 藤井 達夫	13	7/11	10:50-12:20		田原 慎二, 木谷 真紀子, 藤井 達夫	14	7/18	10:50-12:20		田原 慎二, 木谷 真紀子, 藤井 達夫	15	7/25	10:50-12:20		田原 慎二, 木谷 真紀子, 藤井 達夫
回	日付	時刻	講義室	担当教員																																																																																	
1	4/18	10:50-12:20		田原 慎二, 木谷 真紀子, 藤井 達夫																																																																																	
2	4/25	10:50-12:20		田原 慎二, 木谷 真紀子, 藤井 達夫																																																																																	
3	5/2	10:50-12:20		田原 慎二, 木谷 真紀子, 藤井 達夫																																																																																	
4	5/9	10:50-12:20		田原 慎二, 木谷 真紀子, 藤井 達夫																																																																																	
5	5/16	10:50-12:20		田原 慎二, 木谷 真紀子, 藤井 達夫																																																																																	
6	5/23	10:50-12:20		田原 慎二, 木谷 真紀子, 藤井 達夫																																																																																	
7	5/30	10:50-12:20		田原 慎二, 木谷 真紀子, 藤井 達夫																																																																																	
8	6/6	10:50-12:20		田原 慎二, 木谷 真紀子, 藤井 達夫																																																																																	
9	6/13	10:50-12:20		田原 慎二, 木谷 真紀子, 藤井 達夫																																																																																	
10	6/20	10:50-12:20		田原 慎二, 木谷 真紀子, 藤井 達夫																																																																																	
11	6/27	10:50-12:20		田原 慎二, 木谷 真紀子, 藤井 達夫																																																																																	
12	7/4	10:50-12:20		田原 慎二, 木谷 真紀子, 藤井 達夫																																																																																	
13	7/11	10:50-12:20		田原 慎二, 木谷 真紀子, 藤井 達夫																																																																																	
14	7/18	10:50-12:20		田原 慎二, 木谷 真紀子, 藤井 達夫																																																																																	
15	7/25	10:50-12:20		田原 慎二, 木谷 真紀子, 藤井 達夫																																																																																	
授業方法 <p>基本的には講義形式で行うが、授業時間内に練習問題(用語や計算など基本的な知識を問う問題)や演習問題(事例・事案に対する自分の考えを自由記述するなど応用的な内容の問題)を解くことと、それに対するフィードバックを行うことで、アクティブ・ラーニングの要素を確保しつつ行う。</p>																																																																																					
授業内容 第1回 インTRODクシヨン: 授業の概要 第2回 経済学の基礎: トレードオフ、機会費用、比較優位等																																																																																					

<p>第3回 需要曲線と供給曲線、市場の均衡</p> <p>第4回 価格統制・課税の効果</p> <p>第5回 弾力性とその応用</p> <p>第6回 余剰分析: 消費者余剰、生産者余剰</p> <p>第7回 外部性と政府の役割</p> <p>第8回 生産の費用①: 短期の費用</p> <p>第9回 生産の費用②: 長期の費用</p> <p>第10回 企業の利潤最大化行動</p> <p>第11回 独占市場</p> <p>第12回 寡占市場</p> <p>第13回 ゲーム理論</p> <p>第14回 消費者の行動と効用最大化</p> <p>第15回 授業のまとめ</p>
<p>成績評価の方法</p> <p>評価 : 試験 60%、授業の課題 40%。過度に難解な出題はできるだけ避け、知識の確実な習得を重視する。</p> <p>再評価: 無</p>
<p>成績評価の基準</p> <p>「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による</p>
<p>準備学習等についての具体的な指示</p> <p>予習は特に必要ないが、授業で配布した資料や参考書を確認して復習を行い、その都度理解を深めること。</p>
<p>教科書</p> <p>特に指定しないが、参考書に依拠して授業を行う。</p>
<p>参考書</p> <p>N. グレゴリー・マンキュー(2019)『マンキュー経済学 I ミクロ編 (第4版)』東洋経済新報社</p> <p>西村和雄(2011)『ミクロ経済学(第3版)』岩波書店</p> <p>神取道宏(2014)『ミクロ経済学の力』日本評論社</p> <p>神取道宏(2018)『ミクロ経済学の技』日本評論社</p>
<p>履修上の注意事項</p> <p>原則として出席回数が3分の2以上を満たさない場合には、成績評価の対象から外すものとする。</p>

時間割番号	000025			科目ID	LA-112700-Z
科目名	経済学Ⅱ			科目ID	LA-112700-Z
担当教員	田原 慎二[TAHARA Shinji]				
開講時期	2022 年度後期	対象年次	1	単位数	2
実務経験のある教員による授業					
曜日・時間:月曜2限 科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):1-3)					
授業の目的、概要等					
<p>経済は一見すると私たちの生活に直接関係していないように思えるが、賃金、失業、物価などの様々な側面で実は深い関わりを持っている。私たちが社会生活を行ううえで、経済との関わりは避けられない。</p> <p>経済活動によって生じる失業、不景気、貧困などの問題を解消するため、学問としての経済学は発展してきた。</p> <p>この授業では、経済学の主要な分野の一つである「マクロ経済学」を取り上げる。マクロ経済学は 1920 年代末の世界大恐慌をきっかけとして生まれたもので、経済全体を分析対象として失業や不景気などの問題の解決や、長期的な経済成長がどのようにすれば実現するか分析する分野である。</p> <p>これらの学習を通じて、経済における諸要素とその関係について基本的な知識を学習する。</p>					
授業の到達目標					
世の中で実際に起こっている経済現象について、経済学の考え方を用いて理解できるようになることを目標とする。具体的には、新聞・雑誌などの経済ニュースや日本経済新聞の内容を理解できるようになる。					
授業計画					
回	日付	時刻	講義室	担当教員	
1	10/3	10:50-12:20		田原 慎二, 木谷 真紀子, 藤井 達夫	
2	10/10	10:50-12:20		田原 慎二, 木谷 真紀子, 藤井 達夫	
3	10/17	10:50-12:20		田原 慎二, 木谷 真紀子, 藤井 達夫	
4	10/24	10:50-12:20		田原 慎二, 木谷 真紀子, 藤井 達夫	
5	10/31	10:50-12:20		田原 慎二, 木谷 真紀子, 藤井 達夫	
6	11/7	10:50-12:20		田原 慎二, 木谷 真紀子, 藤井 達夫	
7	11/14	10:50-12:20		田原 慎二, 木谷 真紀子, 藤井 達夫	
8	11/21	10:50-12:20		田原 慎二, 木谷 真紀子, 藤井 達夫	
9	11/28	10:50-12:20		田原 慎二, 木谷 真紀子, 藤井 達夫	
10	12/5	10:50-12:20		田原 慎二, 木谷 真紀子, 藤井 達夫	
11	12/12	10:50-12:20		田原 慎二, 木谷 真紀子, 藤井 達夫	
12	12/19	10:50-12:20		田原 慎二, 木谷 真紀子, 藤井 達夫	
13	1/16	10:50-12:20		田原 慎二, 木谷 真紀子, 藤井 達夫	
14	1/23	10:50-12:20		田原 慎二, 木谷 真紀子, 藤井 達夫	
15	1/30	10:50-12:20		田原 慎二, 木谷 真紀子, 藤井 達夫	
授業方法					
<p>基本的には講義形式で行うが、授業時間内に練習問題(用語や計算など基本的な知識を問う問題)や演習問題(事例・事案に対する自分の考えを自由記述するなど応用的な内容の問題)を解くことと、それに対するフィードバックを行うことで、アクティブ・ラーニングの要素を確保しつつ行う。</p>					
授業内容					
第1回 イントロダクション:授業の概要					
第2回 国内総生産(GDP)と三面等価					

<p>第3回 国民経済計算の基礎</p> <p>第4回 家計のはたらきと消費・貯蓄</p> <p>第5回 企業のはたらきと投資</p> <p>第6回 政府のはたらきと政府消費・財政・社会保障</p> <p>第7回 輸出・輸入と為替レート</p> <p>第8回 金融市場のはたらき</p> <p>第9回 貨幣の役割</p> <p>第10回 物価とインフレーション・デフレーション</p> <p>第11回 労働市場と失業</p> <p>第12回 景気循環</p> <p>第13回 経済成長</p> <p>第14回 経済政策(金融政策、財政政策)</p> <p>第15回 授業のまとめ</p>
<p>成績評価の方法</p> <p>評価：試験 60%、授業の課題 40%。過度に難解な出題はできるだけ避け、知識の確実な習得を重視する。</p> <p>再評価：無</p>
<p>成績評価の基準</p> <p>「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による</p>
<p>準備学習等についての具体的な指示</p> <p>予習は特に必要ないが、授業で配布した資料や参考書を確認して復習を行い、その都度理解を深めること。</p>
<p>教科書</p> <p>特に指定しないが、参考書に依拠して授業を行う。</p>
<p>参考書</p> <p>N. グレゴリー・マンキュー(2017)『マンキューマクロ経済学Ⅰ 入門編(第4版)』東洋経済新報社</p> <p>N. グレゴリー・マンキュー(2018)『マンキューマクロ経済学Ⅱ 応用編(第4版)』東洋経済新報社</p> <p>福田慎一・照山博司(2016)『マクロ経済学・入門(第5版)』有斐閣アルマ</p> <p>吉川洋(2009)『マクロ経済学(第三版)』岩波書店</p>
<p>履修上の注意事項</p> <p>原則として出席回数が3分の2以上を満たさない場合には、成績評価の対象から外すものとする。</p>

時間割番号	000027			科目ID	LA-112800-Z																																																																																
科目名	社会学A I		科目ID	LA-112800-Z																																																																																	
担当教員	大倉 韻[OOKURA Hibiki]																																																																																				
開講時期	2022 年度前期	対象年次	1	単位数	2																																																																																
実務経験のある教員による授業																																																																																					
<p>曜日・時間:金曜1限</p> <p>科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):</p> <p>2-3) 言語活動や社会現象を科学的に分析するための方法論を知る</p> <p>4-4) 情報についての基本技能を身につける</p>																																																																																					
<p>授業の目的、概要等</p> <p>アンケートやインタビューといった手段をもちいてさまざまな人の考えやわたしたち自身をとりまく環境について客観的なデータを得ることのできる社会調査は、急速に変化し続ける現代社会を理解するためにきわめて有用な存在である。またインターネットやスマートフォンの普及により個人でもそうした調査を容易に企画・設計・実施できる環境が整ってきており、実際に調査に協力したことのある人や、そうしたデータを使ったニュース記事を目にしたことのある人も多いだろう。</p> <p>しかしそうした調査の中には、データの集め方・分析方法・結果の読み取り方などが適切でないせいで誤った結論を導いてしまっているものも少なくない。中には自らの主張に沿った分析結果を導くために、意図的に誤ったデータ収集・データ分析をおこなう事例さえ散見される。そうした不適切な分析に惑わされず、また自分自身が間違った調査をしてしまわないためには、社会調査に対する正しい知識を身につけることが極めて重要である。</p> <p>この授業では、社会調査に関する基本的な事柄を学習する。具体的には社会調査の歴史と意義、各種調査方法とそのメリット・デメリット、調査の企画・設計・仮説構築、調査倫理、実査、データの分析、などを取り扱う。また質の高い社会調査を詳細に検討することで、そうした調査がどのように設計・実施・分析されているのかを理解する。</p> <p>そうした学習を通じて、必要に応じて適切な社会調査を行えるようになるための基礎知識を習得するのみならず、誤った統計を見抜き正しい情報を読み解く能力、すなわちリサーチ・リテラシーを習得することが本授業の目的である。</p>																																																																																					
<p>授業の到達目標</p> <p>○社会調査の基本的な知識を習得し、既存の調査を正しく読み解けるようになること。</p> <p>○社会調査をおこなうために必要な、問題設定・調査設計・実施・分析・記述などの基本的な考え方を習得すること。</p>																																																																																					
<p>授業計画</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>講義室</th> <th>担当教員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td>4/15</td><td>09:10-10:40</td><td></td><td>大倉 韻 木谷 真紀子 藤井 達夫</td></tr> <tr><td>2</td><td>4/22</td><td>09:10-10:40</td><td></td><td>大倉 韻 木谷 真紀子 藤井 達夫</td></tr> <tr><td>3</td><td>5/6</td><td>09:10-10:40</td><td></td><td>大倉 韻 木谷 真紀子 藤井 達夫</td></tr> <tr><td>4</td><td>5/13</td><td>09:10-10:40</td><td></td><td>大倉 韻 木谷 真紀子 藤井 達夫</td></tr> <tr><td>5</td><td>5/20</td><td>09:10-10:40</td><td></td><td>大倉 韻 木谷 真紀子 藤井 達夫</td></tr> <tr><td>6</td><td>5/27</td><td>09:10-10:40</td><td></td><td>大倉 韻 木谷 真紀子 藤井 達夫</td></tr> <tr><td>7</td><td>6/3</td><td>09:10-10:40</td><td></td><td>大倉 韻 木谷 真紀子 藤井 達夫</td></tr> <tr><td>8</td><td>6/10</td><td>09:10-10:40</td><td></td><td>大倉 韻 木谷 真紀子 藤井 達夫</td></tr> <tr><td>9</td><td>6/17</td><td>09:10-10:40</td><td></td><td>大倉 韻 木谷 真紀子 藤井 達夫</td></tr> <tr><td>10</td><td>6/24</td><td>09:10-10:40</td><td></td><td>大倉 韻 木谷 真紀子 藤井 達夫</td></tr> <tr><td>11</td><td>7/1</td><td>09:10-10:40</td><td></td><td>大倉 韻 木谷 真紀子 藤井 達夫</td></tr> <tr><td>12</td><td>7/8</td><td>09:10-10:40</td><td></td><td>大倉 韻 木谷 真紀子 藤井 達夫</td></tr> <tr><td>13</td><td>7/15</td><td>09:10-10:40</td><td></td><td>大倉 韻 木谷 真紀子 藤井 達夫</td></tr> <tr><td>14</td><td>7/22</td><td>09:10-10:40</td><td></td><td>大倉 韻 木谷 真紀子 藤井 達夫</td></tr> <tr><td>15</td><td>7/29</td><td>09:10-10:40</td><td></td><td>大倉 韻 木谷 真紀子 藤井 達夫</td></tr> </tbody> </table>						回	日付	時刻	講義室	担当教員	1	4/15	09:10-10:40		大倉 韻 木谷 真紀子 藤井 達夫	2	4/22	09:10-10:40		大倉 韻 木谷 真紀子 藤井 達夫	3	5/6	09:10-10:40		大倉 韻 木谷 真紀子 藤井 達夫	4	5/13	09:10-10:40		大倉 韻 木谷 真紀子 藤井 達夫	5	5/20	09:10-10:40		大倉 韻 木谷 真紀子 藤井 達夫	6	5/27	09:10-10:40		大倉 韻 木谷 真紀子 藤井 達夫	7	6/3	09:10-10:40		大倉 韻 木谷 真紀子 藤井 達夫	8	6/10	09:10-10:40		大倉 韻 木谷 真紀子 藤井 達夫	9	6/17	09:10-10:40		大倉 韻 木谷 真紀子 藤井 達夫	10	6/24	09:10-10:40		大倉 韻 木谷 真紀子 藤井 達夫	11	7/1	09:10-10:40		大倉 韻 木谷 真紀子 藤井 達夫	12	7/8	09:10-10:40		大倉 韻 木谷 真紀子 藤井 達夫	13	7/15	09:10-10:40		大倉 韻 木谷 真紀子 藤井 達夫	14	7/22	09:10-10:40		大倉 韻 木谷 真紀子 藤井 達夫	15	7/29	09:10-10:40		大倉 韻 木谷 真紀子 藤井 達夫
回	日付	時刻	講義室	担当教員																																																																																	
1	4/15	09:10-10:40		大倉 韻 木谷 真紀子 藤井 達夫																																																																																	
2	4/22	09:10-10:40		大倉 韻 木谷 真紀子 藤井 達夫																																																																																	
3	5/6	09:10-10:40		大倉 韻 木谷 真紀子 藤井 達夫																																																																																	
4	5/13	09:10-10:40		大倉 韻 木谷 真紀子 藤井 達夫																																																																																	
5	5/20	09:10-10:40		大倉 韻 木谷 真紀子 藤井 達夫																																																																																	
6	5/27	09:10-10:40		大倉 韻 木谷 真紀子 藤井 達夫																																																																																	
7	6/3	09:10-10:40		大倉 韻 木谷 真紀子 藤井 達夫																																																																																	
8	6/10	09:10-10:40		大倉 韻 木谷 真紀子 藤井 達夫																																																																																	
9	6/17	09:10-10:40		大倉 韻 木谷 真紀子 藤井 達夫																																																																																	
10	6/24	09:10-10:40		大倉 韻 木谷 真紀子 藤井 達夫																																																																																	
11	7/1	09:10-10:40		大倉 韻 木谷 真紀子 藤井 達夫																																																																																	
12	7/8	09:10-10:40		大倉 韻 木谷 真紀子 藤井 達夫																																																																																	
13	7/15	09:10-10:40		大倉 韻 木谷 真紀子 藤井 達夫																																																																																	
14	7/22	09:10-10:40		大倉 韻 木谷 真紀子 藤井 達夫																																																																																	
15	7/29	09:10-10:40		大倉 韻 木谷 真紀子 藤井 達夫																																																																																	
<p>授業方法</p> <p>第1回～第11回の授業は講義形式でおこなう。資料は毎回配布する。</p>																																																																																					

<p>第 12 回～第 15 回の授業ではアクティブ・ラーニングの形式を取り入れ、社会調査を用いた文献を講読してディベートをおこなうセミナー形式をとる。</p> <p>リアクションペーパーの内容について、次回授業時に言及することがある。</p>
<p>授業内容</p> <p>第 1 回: ガイダンス</p> <p>第 2 回: 社会調査とは何か／社会調査の用途と歴史</p> <p>第 3 回: 調査内容の決定(調査テーマと調査事項の設定／調査票の作成)</p> <p>第 4 回: 調査対象の決定(標本調査の方法／サンプリング分布と統計的推測)</p> <p>第 5 回: 調査の実施と処理(実査と調査員／調査票の点検とデータ作成)</p> <p>第 6 回: 結果の集計と分析(基本統計量)／インタビュー調査の方法</p> <p>第 7 回: 結果の集計と分析(因果分析)／調査報告をまとめる</p> <p>第 8 回: 様々な社会調査／SPSS の基本操作／統計分析の基礎</p> <p>第 9 回: クロス集計と独立性の検定／平均値の差の検定と分散分析</p> <p>第 10 回: 単回帰分析／相関と偏相関</p> <p>第 11 回: 重回帰分析とダミー変数／パス解析</p> <p>第 12 回: 文献講読 1</p> <p>第 13 回: 文献講読 2</p> <p>第 14 回: 文献講読 3</p> <p>第 15 回: 文献講読 4</p>
<p>成績評価の方法</p> <p>講義形式だが、受講者の積極的な授業参加を高く評価する。そのため、成績評価は次のようにおこなう。</p> <p>評価: レポート 40%、授業への参加度 60%(リアクションペーパー、文献講読への参加など)</p> <p>再評価: 有(レポート)</p>
<p>成績評価の基準</p> <p>「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による</p>
<p>準備学習等についての具体的な指示</p> <p>講義について: 予習は特に必要ありませんが、復習をしっかりとこない疑問点があればリアクションペーパーないし次回授業時に質問してください。また日常生活で目にする統計データが信用できるものかどうか注意深く観察し、リサーチ・リテラシーを養うことをおすすめします。</p> <p>文献講読について: 予習として事前に文献の該当箇所を読み込み、疑問点や議論したい点を考えておいてください。</p>
<p>教科書</p> <p>なし(授業中に資料を配布する)</p>
<p>参考書</p> <p>原純輔『社会調査 しくみと考えかた』左右社、2016 年。</p> <p>村瀬洋一・高田洋・廣瀬毅士『SPSS による多変量解析』オーム社、2007 年。</p> <p>それ以外にも授業内で随時紹介する。</p>
<p>履修上の注意事項</p> <p>出欠は、出欠管理システムの記録と教員が取る出欠を併用して管理します。またリアクションペーパーの提出に WebClass のアンケート機能を使用します。</p>

時間割番号	000028			科目ID	LA-112900-Z																																																																																
科目名	社会学A II		科目ID	LA-112900-Z																																																																																	
担当教員	大倉 韻[OOKURA Hibiki]																																																																																				
開講時期	2022 年度後期	対象年次	1	単位数	2																																																																																
実務経験のある教員による授業																																																																																					
<p>曜日・時間:金曜1限</p> <p>科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):</p> <p>1-2) 社会制度や仕組みについての基本を理解する</p> <p>2-3) 言語活動や社会現象を科学的に分析するための方法論を知る</p>																																																																																					
<p>授業の目的、概要等</p> <p>現代社会は急速に変化を続けており、数多くの新しい社会現象(ハロウィンコスプレ、YouTuber/VTuber、動画共有サービス、位置情報ゲームなど)と数多くの新しい社会問題(格差の拡大、やりがい搾取、ヘイトスピーチを含む人種差別・性差別など)を生み出し続けているが、そうした社会現象/社会問題を理解するうえで社会学は多くの手がかりを与えてくれる。社会学の知識は日々の生活を劇的に改善したり、労働の現場で直接役立ったりすることは少ないものの、われわれが社会や人を理解する助けとなったり、自分自身の生きづらさを理解し改善したりする助けになることは多い。</p> <p>しかしながら社会は常に変化し続けるものであり、また社会を研究しようとする我々も社会の中に含まれているため、さらにまた社会のどの部分にどのように注目するかによって分析のしかたは様々に異なるため、社会学の研究方法は極めて多岐にわたっている。したがってこの授業では上記の社会現象/問題に直接取り組むのではなく(折に触れて言及するが)、まず社会学の基礎的な知識を身につけることを目指す。</p> <p>具体的な授業内容としては、社会学の成り立ちを踏まえた上で代表的な社会理論を紹介する。またそれら社会理論を現代社会に当てはめて考えることで、われわれがふだん「当たり前」と考えているさまざまな社会秩序が成立している背景を明らかにする。加えて入門的な文献を講読することで、社会学の幅広い領域の一端に触れてもらい、「社会的なものの考え方」を養うことを目標とする。</p>																																																																																					
<p>授業の到達目標</p> <p>○社会学の基本的な知識を習得し、社会的なものの見方を身につけること。</p> <p>○社会的なものの見方にもとづいて現代社会を読み解く能力を身につけること。</p>																																																																																					
<p>授業計画</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>講義室</th> <th>担当教員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td>10/7</td><td>09:10-10:40</td><td></td><td>大倉 韻 木谷 真紀子 藤井 達夫</td></tr> <tr><td>2</td><td>10/14</td><td>09:10-10:40</td><td></td><td>大倉 韻 木谷 真紀子 藤井 達夫</td></tr> <tr><td>3</td><td>10/21</td><td>09:10-10:40</td><td></td><td>大倉 韻 木谷 真紀子 藤井 達夫</td></tr> <tr><td>4</td><td>10/28</td><td>09:10-10:40</td><td></td><td>大倉 韻 木谷 真紀子 藤井 達夫</td></tr> <tr><td>5</td><td>11/4</td><td>09:10-10:40</td><td></td><td>大倉 韻 木谷 真紀子 藤井 達夫</td></tr> <tr><td>6</td><td>11/11</td><td>09:10-10:40</td><td></td><td>大倉 韻 木谷 真紀子 藤井 達夫</td></tr> <tr><td>7</td><td>11/18</td><td>09:10-10:40</td><td></td><td>大倉 韻 木谷 真紀子 藤井 達夫</td></tr> <tr><td>8</td><td>11/25</td><td>09:10-10:40</td><td></td><td>大倉 韻 木谷 真紀子 藤井 達夫</td></tr> <tr><td>9</td><td>12/2</td><td>09:10-10:40</td><td></td><td>大倉 韻 木谷 真紀子 藤井 達夫</td></tr> <tr><td>10</td><td>12/9</td><td>09:10-10:40</td><td></td><td>大倉 韻 木谷 真紀子 藤井 達夫</td></tr> <tr><td>11</td><td>12/16</td><td>09:10-10:40</td><td></td><td>大倉 韻 木谷 真紀子 藤井 達夫</td></tr> <tr><td>12</td><td>1/6</td><td>09:10-10:40</td><td></td><td>大倉 韻 木谷 真紀子 藤井 達夫</td></tr> <tr><td>13</td><td>1/13</td><td>09:10-10:40</td><td></td><td>大倉 韻 木谷 真紀子 藤井 達夫</td></tr> <tr><td>14</td><td>1/20</td><td>09:10-10:40</td><td></td><td>大倉 韻 木谷 真紀子 藤井 達夫</td></tr> <tr><td>15</td><td>1/27</td><td>09:10-10:40</td><td></td><td>大倉 韻 木谷 真紀子 藤井 達夫</td></tr> </tbody> </table>						回	日付	時刻	講義室	担当教員	1	10/7	09:10-10:40		大倉 韻 木谷 真紀子 藤井 達夫	2	10/14	09:10-10:40		大倉 韻 木谷 真紀子 藤井 達夫	3	10/21	09:10-10:40		大倉 韻 木谷 真紀子 藤井 達夫	4	10/28	09:10-10:40		大倉 韻 木谷 真紀子 藤井 達夫	5	11/4	09:10-10:40		大倉 韻 木谷 真紀子 藤井 達夫	6	11/11	09:10-10:40		大倉 韻 木谷 真紀子 藤井 達夫	7	11/18	09:10-10:40		大倉 韻 木谷 真紀子 藤井 達夫	8	11/25	09:10-10:40		大倉 韻 木谷 真紀子 藤井 達夫	9	12/2	09:10-10:40		大倉 韻 木谷 真紀子 藤井 達夫	10	12/9	09:10-10:40		大倉 韻 木谷 真紀子 藤井 達夫	11	12/16	09:10-10:40		大倉 韻 木谷 真紀子 藤井 達夫	12	1/6	09:10-10:40		大倉 韻 木谷 真紀子 藤井 達夫	13	1/13	09:10-10:40		大倉 韻 木谷 真紀子 藤井 達夫	14	1/20	09:10-10:40		大倉 韻 木谷 真紀子 藤井 達夫	15	1/27	09:10-10:40		大倉 韻 木谷 真紀子 藤井 達夫
回	日付	時刻	講義室	担当教員																																																																																	
1	10/7	09:10-10:40		大倉 韻 木谷 真紀子 藤井 達夫																																																																																	
2	10/14	09:10-10:40		大倉 韻 木谷 真紀子 藤井 達夫																																																																																	
3	10/21	09:10-10:40		大倉 韻 木谷 真紀子 藤井 達夫																																																																																	
4	10/28	09:10-10:40		大倉 韻 木谷 真紀子 藤井 達夫																																																																																	
5	11/4	09:10-10:40		大倉 韻 木谷 真紀子 藤井 達夫																																																																																	
6	11/11	09:10-10:40		大倉 韻 木谷 真紀子 藤井 達夫																																																																																	
7	11/18	09:10-10:40		大倉 韻 木谷 真紀子 藤井 達夫																																																																																	
8	11/25	09:10-10:40		大倉 韻 木谷 真紀子 藤井 達夫																																																																																	
9	12/2	09:10-10:40		大倉 韻 木谷 真紀子 藤井 達夫																																																																																	
10	12/9	09:10-10:40		大倉 韻 木谷 真紀子 藤井 達夫																																																																																	
11	12/16	09:10-10:40		大倉 韻 木谷 真紀子 藤井 達夫																																																																																	
12	1/6	09:10-10:40		大倉 韻 木谷 真紀子 藤井 達夫																																																																																	
13	1/13	09:10-10:40		大倉 韻 木谷 真紀子 藤井 達夫																																																																																	
14	1/20	09:10-10:40		大倉 韻 木谷 真紀子 藤井 達夫																																																																																	
15	1/27	09:10-10:40		大倉 韻 木谷 真紀子 藤井 達夫																																																																																	
<p>授業方法</p> <p>第1回～第11回の授業は講義形式でおこなう。資料は毎回配布する。</p>																																																																																					

<p>第 12 回～第 15 回の授業ではアクティブ・ラーニングの形式を取り入れ、社会理論を用いた文献を講読してディベートをおこなうセミナー形式をとる。</p> <p>リアクションペーパーの内容について、次回授業時に言及することがある。</p>
<p>授業内容</p> <p>第 1 回: ガイダンス</p> <p>第 2 回: 社会学史概括</p> <p>第 3 回: 自殺とアノミー／社会システムの機能分化</p> <p>第 4 回: 複雑性の縮減／合理的選択</p> <p>第 5 回: 物象化と疎外</p> <p>第 6 回: 宗教と社会／イデオロギーと相関主義</p> <p>第 7 回: コミュニケーション的行為／権力と主体①</p> <p>第 8 回: 権力と主体②／相互作用と社会</p> <p>第 9 回: 規範の内面化／現象学</p> <p>第 10 回: シンボリック相互行為論／意味学派の可能性①</p> <p>第 11 回: 意味学派の可能性②／ハビトゥスと文化資本</p> <p>第 12 回: 文献講読 1</p> <p>第 13 回: 文献講読 2</p> <p>第 14 回: 文献講読 3</p> <p>第 15 回: 文献講読 4</p>
<p>成績評価の方法</p> <p>講義形式だが、受講者の積極的な授業参加を高く評価する。そのため、成績評価は次のようにおこなう。</p> <p>評価: レポート 40%、授業への参加度 60%(リアクションペーパー、文献講読への参加など)</p> <p>再評価: 有(レポート)</p>
<p>成績評価の基準</p> <p>「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による</p>
<p>準備学習等についての具体的な指示</p> <p>講義について: 予習は特に必要ありませんが、復習をしっかりとこない疑問点があればリアクションペーパーないし次回授業時に質問してください。また自分の周囲のさまざまな現象について、授業で学んだ分析視角を当てはめて解釈する練習をすることをおすすめします。</p> <p>文献講読について: 予習として事前に文献の該当箇所を読み込み、疑問点や議論したい点を考えておいてください。</p>
<p>教科書</p> <p>なし(授業中に資料を配布する)</p>
<p>参考書</p> <p>那須壽編『クロニクル社会学』有斐閣、1997 年。</p> <p>玉野和志編『ブリッジブック社会学〔第 2 版〕』信山社、2016 年。</p> <p>それ以外にも授業内で随時紹介する。</p>
<p>履修上の注意事項</p> <p>出欠は、出欠管理システムの記録と教員が取る出欠を併用して管理します。またリアクションペーパーの提出に WebClass のアンケート機能を使用します。</p>

時間割番号	000030			科目ID	LA-113000-Z																																																																																
科目名	社会思想史 I			科目ID	LA-113000-Z																																																																																
担当教員	成田 大起[NARITA Hiroki]																																																																																				
開講時期	2022 年度前期	対象年次	1	単位数	2																																																																																
実務経験のある教員による授業																																																																																					
<p>曜日・時間: 月曜 2 限 科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 1-2)、1-3)、1-5)、1-9)</p>																																																																																					
<p>授業の目的、概要等 この授業では、「社会」のあり方、あるべき姿を論じた哲学・思想を概観する。社会思想史とは、国家・市場・家族といった社会の構成要素がどのように歴史的に生じてきたか、そして個人と社会がどのように関わっている/関わるべきであるかを論じる哲学分野である。社会思想史 I では、古代から近代にかけてのヨーロッパの社会思想を扱う。現代とは全く異なる古代～近代の社会について、哲学者たちがどのような根拠や歴史的背景から社会のあるべき姿を論じているのかを考え、それによって現代社会を批判的にとらえ直すのが授業の目的である。</p>																																																																																					
<p>授業の到達目標 1. 思想家たちが社会を論じる上での背景や根拠を把握すること 2. 現代社会を批判的にとらえ直す能力を身につけること 3. 自分の力で課題文献を読み、理由や根拠を支えられた自分の考えを論述できるようになること</p>																																																																																					
<p>授業計画</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>講義室</th> <th>担当教員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td>4/18</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>成田 大起 木谷 真紀子, 藤井 達夫</td></tr> <tr><td>2</td><td>4/25</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>成田 大起 木谷 真紀子, 藤井 達夫</td></tr> <tr><td>3</td><td>5/2</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>成田 大起 木谷 真紀子, 藤井 達夫</td></tr> <tr><td>4</td><td>5/9</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>成田 大起 木谷 真紀子, 藤井 達夫</td></tr> <tr><td>5</td><td>5/16</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>成田 大起 木谷 真紀子, 藤井 達夫</td></tr> <tr><td>6</td><td>5/23</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>成田 大起 木谷 真紀子, 藤井 達夫</td></tr> <tr><td>7</td><td>5/30</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>成田 大起 木谷 真紀子, 藤井 達夫</td></tr> <tr><td>8</td><td>6/6</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>成田 大起 木谷 真紀子, 藤井 達夫</td></tr> <tr><td>9</td><td>6/13</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>成田 大起 木谷 真紀子, 藤井 達夫</td></tr> <tr><td>10</td><td>6/20</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>成田 大起 木谷 真紀子, 藤井 達夫</td></tr> <tr><td>11</td><td>6/27</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>成田 大起 木谷 真紀子, 藤井 達夫</td></tr> <tr><td>12</td><td>7/4</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>成田 大起 木谷 真紀子, 藤井 達夫</td></tr> <tr><td>13</td><td>7/11</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>成田 大起 木谷 真紀子, 藤井 達夫</td></tr> <tr><td>14</td><td>7/18</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>成田 大起 木谷 真紀子, 藤井 達夫</td></tr> <tr><td>15</td><td>7/25</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>成田 大起 木谷 真紀子, 藤井 達夫</td></tr> </tbody> </table>						回	日付	時刻	講義室	担当教員	1	4/18	10:50-12:20		成田 大起 木谷 真紀子, 藤井 達夫	2	4/25	10:50-12:20		成田 大起 木谷 真紀子, 藤井 達夫	3	5/2	10:50-12:20		成田 大起 木谷 真紀子, 藤井 達夫	4	5/9	10:50-12:20		成田 大起 木谷 真紀子, 藤井 達夫	5	5/16	10:50-12:20		成田 大起 木谷 真紀子, 藤井 達夫	6	5/23	10:50-12:20		成田 大起 木谷 真紀子, 藤井 達夫	7	5/30	10:50-12:20		成田 大起 木谷 真紀子, 藤井 達夫	8	6/6	10:50-12:20		成田 大起 木谷 真紀子, 藤井 達夫	9	6/13	10:50-12:20		成田 大起 木谷 真紀子, 藤井 達夫	10	6/20	10:50-12:20		成田 大起 木谷 真紀子, 藤井 達夫	11	6/27	10:50-12:20		成田 大起 木谷 真紀子, 藤井 達夫	12	7/4	10:50-12:20		成田 大起 木谷 真紀子, 藤井 達夫	13	7/11	10:50-12:20		成田 大起 木谷 真紀子, 藤井 達夫	14	7/18	10:50-12:20		成田 大起 木谷 真紀子, 藤井 達夫	15	7/25	10:50-12:20		成田 大起 木谷 真紀子, 藤井 達夫
回	日付	時刻	講義室	担当教員																																																																																	
1	4/18	10:50-12:20		成田 大起 木谷 真紀子, 藤井 達夫																																																																																	
2	4/25	10:50-12:20		成田 大起 木谷 真紀子, 藤井 達夫																																																																																	
3	5/2	10:50-12:20		成田 大起 木谷 真紀子, 藤井 達夫																																																																																	
4	5/9	10:50-12:20		成田 大起 木谷 真紀子, 藤井 達夫																																																																																	
5	5/16	10:50-12:20		成田 大起 木谷 真紀子, 藤井 達夫																																																																																	
6	5/23	10:50-12:20		成田 大起 木谷 真紀子, 藤井 達夫																																																																																	
7	5/30	10:50-12:20		成田 大起 木谷 真紀子, 藤井 達夫																																																																																	
8	6/6	10:50-12:20		成田 大起 木谷 真紀子, 藤井 達夫																																																																																	
9	6/13	10:50-12:20		成田 大起 木谷 真紀子, 藤井 達夫																																																																																	
10	6/20	10:50-12:20		成田 大起 木谷 真紀子, 藤井 達夫																																																																																	
11	6/27	10:50-12:20		成田 大起 木谷 真紀子, 藤井 達夫																																																																																	
12	7/4	10:50-12:20		成田 大起 木谷 真紀子, 藤井 達夫																																																																																	
13	7/11	10:50-12:20		成田 大起 木谷 真紀子, 藤井 達夫																																																																																	
14	7/18	10:50-12:20		成田 大起 木谷 真紀子, 藤井 達夫																																																																																	
15	7/25	10:50-12:20		成田 大起 木谷 真紀子, 藤井 達夫																																																																																	
<p>授業方法 講義形式で行う。授業終了後にリアクションペーパーを提出することを毎回の課題とし、そこに書かれた質問に回答する形でアクティヴ・ラーニングを導入する</p>																																																																																					
<p>授業内容 1. ガイダンス 2. 古代ギリシャの社会と政治 3. プラトンの正義論 4. アリストテレスの倫理学と政治学 5. 中世の社会と宗教</p>																																																																																					

<p>6.マキアヴェリにおける中世と近代</p> <p>7.ホップズの人間観と国家観</p> <p>8.ロックにおける宗教と国家の関係</p> <p>9.ヒュームの人間論</p> <p>10.ルソーの近代人批判</p> <p>11.スミスと経済学の成立</p> <p>12.カントの自由論</p> <p>13.ヘーゲルの市民社会論</p> <p>14.マルクスの資本主義批判</p> <p>15.まとめ</p>
<p>成績評価の方法</p> <p>評価：期末レポート 70%(文献をしっかり読み、自分で考えて論述しているかを重視する)・授業への参加度 30%(毎回提出するリアクションペーパーにて、参加度と疑問点を確認する)</p> <p>再評価：有(レポート)</p>
<p>成績評価の基準</p> <p>「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による</p>
<p>準備学習等についての具体的な指示</p> <p>参考書またはレジュメを事前に読んで授業に臨むこと。毎回リアクションペーパーを書きながら復習を行うこと。講義中に紹介した文献を読むことが最も理解を向上させる復習である</p>
<p>教科書</p> <p>教科書は指定しない。毎回資料を配布する</p>
<p>参考書</p> <p>坂本達哉『社会思想の歴史——マキアヴェリからロールズまで』名古屋大学出版会、2014年。宇野重規『西洋政治思想史』有斐閣、2013年。上記以外の参考書、思想家の著書は講義中に紹介する。</p>
<p>履修上の注意事項</p> <p>出席のとり方・評価の方法は授業形態(対面、オンライン)に応じて変化する場合がある。詳しくは初回の授業でアナウンスする</p>

時間割番号	000031			科目ID	LA-113100-Z																																																																																
科目名	社会思想史Ⅱ		科目ID	LA-113100-Z																																																																																	
担当教員	成田 大起[NARITA Hiroki]																																																																																				
開講時期	2022 年度後期	対象年次	1	単位数	2																																																																																
実務経験のある教員による授業																																																																																					
<p>曜日・時間: 月曜 2限 科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 1-2)、1-3)、1-5)、1-9)</p>																																																																																					
<p>授業の目的、概要等</p> <p>この授業では、「社会」のあり方、あるべき姿を論じた哲学・思想を概観する。社会思想史とは、国家・市場・家族といった社会の構成要素がどのように歴史的に生じてきたか、そして個人と社会がどのように関わっている/関わるべきであるかを論じる哲学分野である。社会思想史Ⅱでは、民主主義と正義をテーマとして、19世紀以後の社会思想を扱う。近現代社会に新たに生じた民主主義と正義の問題に哲学者たちがどのように取り組んだのかを批判的に分析することで、現代社会の仕組みや背景理念をより深く理解することが授業の目的である。</p>																																																																																					
<p>授業の到達目標</p> <p>1. 思想家たちが社会を論じる上での背景や根拠を把握すること 2. 現代社会を批判的にとらえ直す能力を身につけること 3. 自分の力で課題文献を読み、理由や根拠を支えられた自分の考えを論述できるようになること</p>																																																																																					
<p>授業計画</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>講義室</th> <th>担当教員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td>10/3</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>成田 大起 木谷 真紀子, 藤井 達夫</td></tr> <tr><td>2</td><td>10/10</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>成田 大起 木谷 真紀子, 藤井 達夫</td></tr> <tr><td>3</td><td>10/17</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>成田 大起 木谷 真紀子, 藤井 達夫</td></tr> <tr><td>4</td><td>10/24</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>成田 大起 木谷 真紀子, 藤井 達夫</td></tr> <tr><td>5</td><td>10/31</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>成田 大起 木谷 真紀子, 藤井 達夫</td></tr> <tr><td>6</td><td>11/7</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>成田 大起 木谷 真紀子, 藤井 達夫</td></tr> <tr><td>7</td><td>11/14</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>成田 大起 木谷 真紀子, 藤井 達夫</td></tr> <tr><td>8</td><td>11/21</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>成田 大起 木谷 真紀子, 藤井 達夫</td></tr> <tr><td>9</td><td>11/28</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>成田 大起 木谷 真紀子, 藤井 達夫</td></tr> <tr><td>10</td><td>12/5</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>成田 大起 木谷 真紀子, 藤井 達夫</td></tr> <tr><td>11</td><td>12/12</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>成田 大起 木谷 真紀子, 藤井 達夫</td></tr> <tr><td>12</td><td>12/19</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>成田 大起 木谷 真紀子, 藤井 達夫</td></tr> <tr><td>13</td><td>1/16</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>成田 大起 木谷 真紀子, 藤井 達夫</td></tr> <tr><td>14</td><td>1/23</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>成田 大起 木谷 真紀子, 藤井 達夫</td></tr> <tr><td>15</td><td>1/30</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>成田 大起 木谷 真紀子, 藤井 達夫</td></tr> </tbody> </table>						回	日付	時刻	講義室	担当教員	1	10/3	10:50-12:20		成田 大起 木谷 真紀子, 藤井 達夫	2	10/10	10:50-12:20		成田 大起 木谷 真紀子, 藤井 達夫	3	10/17	10:50-12:20		成田 大起 木谷 真紀子, 藤井 達夫	4	10/24	10:50-12:20		成田 大起 木谷 真紀子, 藤井 達夫	5	10/31	10:50-12:20		成田 大起 木谷 真紀子, 藤井 達夫	6	11/7	10:50-12:20		成田 大起 木谷 真紀子, 藤井 達夫	7	11/14	10:50-12:20		成田 大起 木谷 真紀子, 藤井 達夫	8	11/21	10:50-12:20		成田 大起 木谷 真紀子, 藤井 達夫	9	11/28	10:50-12:20		成田 大起 木谷 真紀子, 藤井 達夫	10	12/5	10:50-12:20		成田 大起 木谷 真紀子, 藤井 達夫	11	12/12	10:50-12:20		成田 大起 木谷 真紀子, 藤井 達夫	12	12/19	10:50-12:20		成田 大起 木谷 真紀子, 藤井 達夫	13	1/16	10:50-12:20		成田 大起 木谷 真紀子, 藤井 達夫	14	1/23	10:50-12:20		成田 大起 木谷 真紀子, 藤井 達夫	15	1/30	10:50-12:20		成田 大起 木谷 真紀子, 藤井 達夫
回	日付	時刻	講義室	担当教員																																																																																	
1	10/3	10:50-12:20		成田 大起 木谷 真紀子, 藤井 達夫																																																																																	
2	10/10	10:50-12:20		成田 大起 木谷 真紀子, 藤井 達夫																																																																																	
3	10/17	10:50-12:20		成田 大起 木谷 真紀子, 藤井 達夫																																																																																	
4	10/24	10:50-12:20		成田 大起 木谷 真紀子, 藤井 達夫																																																																																	
5	10/31	10:50-12:20		成田 大起 木谷 真紀子, 藤井 達夫																																																																																	
6	11/7	10:50-12:20		成田 大起 木谷 真紀子, 藤井 達夫																																																																																	
7	11/14	10:50-12:20		成田 大起 木谷 真紀子, 藤井 達夫																																																																																	
8	11/21	10:50-12:20		成田 大起 木谷 真紀子, 藤井 達夫																																																																																	
9	11/28	10:50-12:20		成田 大起 木谷 真紀子, 藤井 達夫																																																																																	
10	12/5	10:50-12:20		成田 大起 木谷 真紀子, 藤井 達夫																																																																																	
11	12/12	10:50-12:20		成田 大起 木谷 真紀子, 藤井 達夫																																																																																	
12	12/19	10:50-12:20		成田 大起 木谷 真紀子, 藤井 達夫																																																																																	
13	1/16	10:50-12:20		成田 大起 木谷 真紀子, 藤井 達夫																																																																																	
14	1/23	10:50-12:20		成田 大起 木谷 真紀子, 藤井 達夫																																																																																	
15	1/30	10:50-12:20		成田 大起 木谷 真紀子, 藤井 達夫																																																																																	
<p>授業方法</p> <p>講義形式で行う。授業終了後にリアクションペーパーを提出することを毎回の課題とし、そこに書かれた質問に回答する形でアクティヴ・ラーニングを導入する</p>																																																																																					
<p>授業内容</p> <p>1. ガイダンス 2. トクヴィルにおけるヨーロッパとアメリカ 3. ミルの功利主義と民主主義 4. ヴェーバーと「近代化」論 5. 全体主義の社会思想①—シュミットとフランクフルト学派</p>																																																																																					

<p>6.全体主義の社会思想②—アーレント</p> <p>7.ハーバーマスの民主主義論</p> <p>8.二十世紀の経済思想—ケインズとハイエク</p> <p>9.ロールズの正義論</p> <p>10.平等と分配をめぐる思想</p> <p>11.ナショナリズムと多文化主義の思想</p> <p>12.グローバルな正義論</p> <p>13.フェミニズムの思想</p> <p>14.差別にかんする思想</p> <p>15.まとめ</p>
<p>成績評価の方法</p> <p>評価 : 期末レポート 70%(文献をしっかり読み、自分で考えて論述しているかを重視する)・ 授業への参加度 30%(毎回提出するリアクションペーパーにて、参加度と疑問点を確認する)</p> <p>再評価: 有(レポート)</p>
<p>成績評価の基準</p> <p>「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による</p>
<p>準備学習等についての具体的な指示</p> <p>参考書またはレジュメを事前に読んで授業に臨むこと。毎回リアクションペーパーを書きながら復習を行うこと。講義中に紹介した文献を読むことが最も理解を向上させる復習である</p>
<p>教科書</p> <p>教科書は指定しない。毎回資料を配布する</p>
<p>参考書</p> <p>坂本達哉『社会思想の歴史——マキアヴェリからロールズまで』名古屋大学出版会、2014年。宇野重規『西洋政治思想史』有斐閣、2013年。上記以外の参考書、思想家の著書は講義中に紹介する。</p>
<p>履修上の注意事項</p> <p>出席のとり方・評価の方法は授業形態(対面、オンライン)に応じて変化する場合がある。詳しくは初回の授業でアナウンスする</p>

時間割番号	000032			科目ID	LA-113200-Z																																																																																
科目名	文化人類学 I																																																																																				
担当教員	三谷 純子[MITANI JUNKO]																																																																																				
開講時期	2022 年度前期	対象年次	1	単位数	2																																																																																
実務経験のある教員による授業																																																																																					
<p>曜日・時間:月曜 3限 募集人数: 20 人 科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):社会制度や仕組みについての基本を理解する 異なる空間の文化を理解する 人間の思考の枠組みを知り、自らの思考を振り返る 人間の心への理解を深める 市民としての倫理観を養う 外国文化を理解する 国際情勢を理解する.</p>																																																																																					
<p>授業の目的、概要等 未来を担う子どもの主体性や尊厳を尊重し、彼らの参加を含む子どもの権利の促進を図りながら持続可能な開発を目指す際に、基盤となる 子どもの権利条約や制度を先ず知ります。生きる権利、参加する権利、育つ権利、守られる権利について、具体的な例を通じて、文化を含め様々な状況により、一律的な唯一絶対的に正しい即座の解決法がない課題について、複数の視点から分析し、自分なりに考える態度を養うことを目的とします。</p>																																																																																					
<p>授業の到達目標 目標1. 子どもの権利条約の概要、子ども支援に関する国際社会の枠組み、MDG(ミレニアム開発目標)・SDG(持続可能な開発目標)と子どもの権利の関係について説明できる。目標2. 世界の子どもの権利の現状と解決への取り組みについて具体例をあげ、文化と開発の複雑な関係を含め、複数の視点から説明できる。目標3. 議論に積極的に参加し、質問・意見を自主的に表明できる。目標4. 文献調査参照と発表の基礎的な技術を身に着ける。</p>																																																																																					
<p>授業計画</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>講義室</th> <th>担当教員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td>4/18</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>三谷 純子, 木谷 真紀子, 藤井 達夫</td></tr> <tr><td>2</td><td>4/25</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>三谷 純子, 木谷 真紀子, 藤井 達夫</td></tr> <tr><td>3</td><td>5/2</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>三谷 純子, 木谷 真紀子, 藤井 達夫</td></tr> <tr><td>4</td><td>5/9</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>三谷 純子, 木谷 真紀子, 藤井 達夫</td></tr> <tr><td>5</td><td>5/16</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>三谷 純子, 木谷 真紀子, 藤井 達夫</td></tr> <tr><td>6</td><td>5/23</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>三谷 純子, 木谷 真紀子, 藤井 達夫</td></tr> <tr><td>7</td><td>5/30</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>三谷 純子, 木谷 真紀子, 藤井 達夫</td></tr> <tr><td>8</td><td>6/6</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>三谷 純子, 木谷 真紀子, 藤井 達夫</td></tr> <tr><td>9</td><td>6/13</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>三谷 純子, 木谷 真紀子, 藤井 達夫</td></tr> <tr><td>10</td><td>6/20</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>三谷 純子, 木谷 真紀子, 藤井 達夫</td></tr> <tr><td>11</td><td>6/27</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>三谷 純子, 木谷 真紀子, 藤井 達夫</td></tr> <tr><td>12</td><td>7/4</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>三谷 純子, 木谷 真紀子, 藤井 達夫</td></tr> <tr><td>13</td><td>7/11</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>三谷 純子, 木谷 真紀子, 藤井 達夫</td></tr> <tr><td>14</td><td>7/18</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>三谷 純子, 木谷 真紀子, 藤井 達夫</td></tr> <tr><td>15</td><td>7/25</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>三谷 純子, 木谷 真紀子, 藤井 達夫</td></tr> </tbody> </table>						回	日付	時刻	講義室	担当教員	1	4/18	10:50-12:20		三谷 純子, 木谷 真紀子, 藤井 達夫	2	4/25	10:50-12:20		三谷 純子, 木谷 真紀子, 藤井 達夫	3	5/2	10:50-12:20		三谷 純子, 木谷 真紀子, 藤井 達夫	4	5/9	10:50-12:20		三谷 純子, 木谷 真紀子, 藤井 達夫	5	5/16	10:50-12:20		三谷 純子, 木谷 真紀子, 藤井 達夫	6	5/23	10:50-12:20		三谷 純子, 木谷 真紀子, 藤井 達夫	7	5/30	10:50-12:20		三谷 純子, 木谷 真紀子, 藤井 達夫	8	6/6	10:50-12:20		三谷 純子, 木谷 真紀子, 藤井 達夫	9	6/13	10:50-12:20		三谷 純子, 木谷 真紀子, 藤井 達夫	10	6/20	10:50-12:20		三谷 純子, 木谷 真紀子, 藤井 達夫	11	6/27	10:50-12:20		三谷 純子, 木谷 真紀子, 藤井 達夫	12	7/4	10:50-12:20		三谷 純子, 木谷 真紀子, 藤井 達夫	13	7/11	10:50-12:20		三谷 純子, 木谷 真紀子, 藤井 達夫	14	7/18	10:50-12:20		三谷 純子, 木谷 真紀子, 藤井 達夫	15	7/25	10:50-12:20		三谷 純子, 木谷 真紀子, 藤井 達夫
回	日付	時刻	講義室	担当教員																																																																																	
1	4/18	10:50-12:20		三谷 純子, 木谷 真紀子, 藤井 達夫																																																																																	
2	4/25	10:50-12:20		三谷 純子, 木谷 真紀子, 藤井 達夫																																																																																	
3	5/2	10:50-12:20		三谷 純子, 木谷 真紀子, 藤井 達夫																																																																																	
4	5/9	10:50-12:20		三谷 純子, 木谷 真紀子, 藤井 達夫																																																																																	
5	5/16	10:50-12:20		三谷 純子, 木谷 真紀子, 藤井 達夫																																																																																	
6	5/23	10:50-12:20		三谷 純子, 木谷 真紀子, 藤井 達夫																																																																																	
7	5/30	10:50-12:20		三谷 純子, 木谷 真紀子, 藤井 達夫																																																																																	
8	6/6	10:50-12:20		三谷 純子, 木谷 真紀子, 藤井 達夫																																																																																	
9	6/13	10:50-12:20		三谷 純子, 木谷 真紀子, 藤井 達夫																																																																																	
10	6/20	10:50-12:20		三谷 純子, 木谷 真紀子, 藤井 達夫																																																																																	
11	6/27	10:50-12:20		三谷 純子, 木谷 真紀子, 藤井 達夫																																																																																	
12	7/4	10:50-12:20		三谷 純子, 木谷 真紀子, 藤井 達夫																																																																																	
13	7/11	10:50-12:20		三谷 純子, 木谷 真紀子, 藤井 達夫																																																																																	
14	7/18	10:50-12:20		三谷 純子, 木谷 真紀子, 藤井 達夫																																																																																	
15	7/25	10:50-12:20		三谷 純子, 木谷 真紀子, 藤井 達夫																																																																																	
<p>授業方法 講義、ビデオ視聴、資料解説、対面授業が可能な場合は授業内のグループワーク、発表(回数と長さは受講者と相談して決定。ニュース・モニタリングとその週のニュース担当発表(2分))</p>																																																																																					
<p>授業内容 1 回目:イントロ 2 回目:他己紹介・発表について、子どもの権利の分類ディスカッション 3 回目 子ども権利条約成立までの歴史的</p>																																																																																					

<p>背景 4 回目:国際法と CRC・子どもの権利の特徴、5 回目:子どもの権利委員会と日本への総括所見、6 回目:選択議定書:武力紛争における子どもの関与、7 回目:発表と討論、8 回目:選択議定書:子どもの売買・買春・児童ポルノ、第 9 回:子どもへの性的搾取・暴力・人身取引の発表と討論、第 10 回:MDG.子どもに関する統計基礎知識、SDG、第 11 回目:SDG と世界の子どもたちの現状(データ解説)、第 12 回:UNICEF のしくみ・C4D、第 13 回:発表:子どもの権利促進のためのユニセフの協力(水と衛生:トピック要相談)第 14 回:発表:子どもの権利促進のためのユニセフの協力(母子保健:トピック要相談)、第 15 回:まとめ・レポートの書き方 (受講者数や関心に合わせて内容を多少変更することがあります。)</p>
<p>成績評価の方法 評価 : レポート 40% ・ ニュースモニタリング、グループワーク、発表、フィードバックシート、復習問題 を含む授業への参加度、60 % 再評価: 有(再評価方法 テスト)</p>
<p>成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による</p>
<p>準備学習等についての具体的な指示 授業中のグループワークのために資料や短いビデオを見てくることを課す場合があります。週の一つ子どもの権利 に関するニュースを見つけ、授業に関連させて考えてください。自分の発表前には準備が必要です。</p>
<p>教科書 授業中に、主に UUNICEF や国連、Save the Children 等の最新の英文資料を教員が日本語でまとめたパワポのプリントや資料を配布するので A4フォルダーを用意してください。英語のグラフを使うことがあります。日本語翻訳を無料でダウンロードできる場合は適宜お知らせします。</p>
<p>参考書 www.unicef.or.jp/library で『ユニセフ世界子ども白書』日本語版過去10年分と先進国の子どもに関する日本語報告のダウンロード可。報告書や最新データは www.unicef.org や www.childinfo.org/mics.html や、WHO、CDC、WB、Save the Children 等のHPで。UNICEFの概説は、Richard Jolly UNICEF: Global Governance that works. Routledge 2014 がわかりやすいです。子どもの権利については、平野裕二氏のサイトに日本語訳資料がまとめて出ています。https://w.atwiki.jp/childrights/ 読みやすい本映画等は授業中に共有します。</p>
<p>履修上の注意事項 出欠は、フィードバックシートの提出の有無を優先させます。グループワークの支障になるので遅刻しないように注意してください。発表力や議論する力を少しでも向上させたい人に向いています。</p>
<p>備考 子どもの権利、UNICEF</p>

時間割番号	000033			科目ID	LA-113300-Z																																																																																
科目名	文化人類学Ⅱ			科目ID	LA-113300-Z																																																																																
担当教員	三谷 純子[MITANI JUNKO]																																																																																				
開講時期	2022 年度後期	対象年次	1	単位数	2																																																																																
実務経験のある教員による授業																																																																																					
<p>曜日・時間: 月曜3 限 募集人数: 20 人 科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 社会制度や仕組みについての基本を理解する 異なる空間の文化を理解する 人間の思考の枠組みを知り、自らの思考を振り返る 人間の心への理解を深める 市民としての倫理観を養う 外国文化を理解する 国際情勢を理解する。</p>																																																																																					
<p>授業の目的、概要等 戦争や紛争、不安定な治安、深刻な差別や迫害、貧困、国家間格差等は、子どもの守られる権利や育つ権利に大きく影響します。日本も国際社会で一層の役割を果たすことが期待されています。またグローバル化に伴い、日本で暮らす外国にルーツを持つ子どもも増えており、将来、皆さんの医療関係の仕事や地域社会の生活でも、相互理解を深めることが重要になると考えられます。この授業では、半分が子どもである難民や、移民、無国籍・無戸籍の子どもを含む人々を取り上げ、文化や経済、治安を含め様々な状況により、一律的な唯一絶対的に正しい即座の解決法がない課題について、複数の視点から分析し、自分なりに考える態度を養うことを目的とします。</p>																																																																																					
<p>授業の到達目標 目標1. 子どもの保護の中でも難民・移民・無国籍に関する現状及び関係する国際法や国際社会の対応の枠組み、課題について説明できる。目標2. 上記の問題に関し、日本と関わりがあることを理解し、日本の取り組みや課題について説明できる。目標3. クラスでの議論に積極的参加し、質問や意見を自主的に表明できる。目標4. 文献調査参照と発表の基礎的な技術を使うことができる。</p>																																																																																					
<p>授業計画</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>講義室</th> <th>担当教員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td>10/3</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>三谷 純子, 木谷 真紀子, 藤井 達夫</td></tr> <tr><td>2</td><td>10/10</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>三谷 純子, 木谷 真紀子, 藤井 達夫</td></tr> <tr><td>3</td><td>10/17</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>三谷 純子, 木谷 真紀子, 藤井 達夫</td></tr> <tr><td>4</td><td>10/24</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>三谷 純子, 木谷 真紀子, 藤井 達夫</td></tr> <tr><td>5</td><td>10/31</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>三谷 純子, 木谷 真紀子, 藤井 達夫</td></tr> <tr><td>6</td><td>11/7</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>三谷 純子, 木谷 真紀子, 藤井 達夫</td></tr> <tr><td>7</td><td>11/14</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>三谷 純子, 木谷 真紀子, 藤井 達夫</td></tr> <tr><td>8</td><td>11/21</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>三谷 純子, 木谷 真紀子, 藤井 達夫</td></tr> <tr><td>9</td><td>11/28</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>三谷 純子, 木谷 真紀子, 藤井 達夫</td></tr> <tr><td>10</td><td>12/5</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>三谷 純子, 木谷 真紀子, 藤井 達夫</td></tr> <tr><td>11</td><td>12/12</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>三谷 純子, 木谷 真紀子, 藤井 達夫</td></tr> <tr><td>12</td><td>12/19</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>三谷 純子, 木谷 真紀子, 藤井 達夫</td></tr> <tr><td>13</td><td>1/16</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>三谷 純子, 木谷 真紀子, 藤井 達夫</td></tr> <tr><td>14</td><td>1/23</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>三谷 純子, 木谷 真紀子, 藤井 達夫</td></tr> <tr><td>15</td><td>1/30</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>三谷 純子, 木谷 真紀子, 藤井 達夫</td></tr> </tbody> </table>						回	日付	時刻	講義室	担当教員	1	10/3	10:50-12:20		三谷 純子, 木谷 真紀子, 藤井 達夫	2	10/10	10:50-12:20		三谷 純子, 木谷 真紀子, 藤井 達夫	3	10/17	10:50-12:20		三谷 純子, 木谷 真紀子, 藤井 達夫	4	10/24	10:50-12:20		三谷 純子, 木谷 真紀子, 藤井 達夫	5	10/31	10:50-12:20		三谷 純子, 木谷 真紀子, 藤井 達夫	6	11/7	10:50-12:20		三谷 純子, 木谷 真紀子, 藤井 達夫	7	11/14	10:50-12:20		三谷 純子, 木谷 真紀子, 藤井 達夫	8	11/21	10:50-12:20		三谷 純子, 木谷 真紀子, 藤井 達夫	9	11/28	10:50-12:20		三谷 純子, 木谷 真紀子, 藤井 達夫	10	12/5	10:50-12:20		三谷 純子, 木谷 真紀子, 藤井 達夫	11	12/12	10:50-12:20		三谷 純子, 木谷 真紀子, 藤井 達夫	12	12/19	10:50-12:20		三谷 純子, 木谷 真紀子, 藤井 達夫	13	1/16	10:50-12:20		三谷 純子, 木谷 真紀子, 藤井 達夫	14	1/23	10:50-12:20		三谷 純子, 木谷 真紀子, 藤井 達夫	15	1/30	10:50-12:20		三谷 純子, 木谷 真紀子, 藤井 達夫
回	日付	時刻	講義室	担当教員																																																																																	
1	10/3	10:50-12:20		三谷 純子, 木谷 真紀子, 藤井 達夫																																																																																	
2	10/10	10:50-12:20		三谷 純子, 木谷 真紀子, 藤井 達夫																																																																																	
3	10/17	10:50-12:20		三谷 純子, 木谷 真紀子, 藤井 達夫																																																																																	
4	10/24	10:50-12:20		三谷 純子, 木谷 真紀子, 藤井 達夫																																																																																	
5	10/31	10:50-12:20		三谷 純子, 木谷 真紀子, 藤井 達夫																																																																																	
6	11/7	10:50-12:20		三谷 純子, 木谷 真紀子, 藤井 達夫																																																																																	
7	11/14	10:50-12:20		三谷 純子, 木谷 真紀子, 藤井 達夫																																																																																	
8	11/21	10:50-12:20		三谷 純子, 木谷 真紀子, 藤井 達夫																																																																																	
9	11/28	10:50-12:20		三谷 純子, 木谷 真紀子, 藤井 達夫																																																																																	
10	12/5	10:50-12:20		三谷 純子, 木谷 真紀子, 藤井 達夫																																																																																	
11	12/12	10:50-12:20		三谷 純子, 木谷 真紀子, 藤井 達夫																																																																																	
12	12/19	10:50-12:20		三谷 純子, 木谷 真紀子, 藤井 達夫																																																																																	
13	1/16	10:50-12:20		三谷 純子, 木谷 真紀子, 藤井 達夫																																																																																	
14	1/23	10:50-12:20		三谷 純子, 木谷 真紀子, 藤井 達夫																																																																																	
15	1/30	10:50-12:20		三谷 純子, 木谷 真紀子, 藤井 達夫																																																																																	
<p>授業方法 講義、ビデオ視聴、資料解説、対面授業が可能な場合は授業内のグループワーク、発表(回数と長さは受講者と相談して決定。2 回(7分と 15 分)を予定)、ニュース・モニタリングとその週のニュース担当発表(2 分)・関連テーマに関するゲストスピーカーを招き、日本での経験について直接語ってもらい、学生と対話する(1回)</p>																																																																																					
<p>授業内容</p>																																																																																					

<p>1 回目: イントロ 2 回目: 他己紹介・発表について、難民の問題化 3回目 難民の定義とその拡大、難民の権利 4 回目: 3 つの恒久的解決策とその行き詰まり、混合移住 5 回目: 難民のグローバルコンパクト・残された課題、6回目: 日本の難民、7回目: 移民の曖昧な概念とデータからみた日本の外国人、8回目: 社会統合、9回目: 出生登録 & 日本の無戸籍、デジタル ID、10回目: 無国籍者の定義と発生原因、11 回目: 無国籍の影響と無国籍を無くす取り組み & 無国籍や国籍が定かでないままを望む人々、12回目: 複数国籍 13 回目: 招聘者の民族・国等の背景 14 回目: 招聘者との対話 15 回目: マトメ (受講者数や関心により内容を多少変更することがあります。)</p>
<p>成績評価の方法 評価 : 試験 30% ・ ニュースモニタリング、グループワーク、発表、フィードバックシート、復習問題 を含む授業への参加度、70 % 再評価: 有(再評価方法 テスト)</p>
<p>成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による</p>
<p>準備学習等についての具体的な指示 授業中のグループワークのために資料や短いビデオを見てくることを課す場合があります。週に一つ難民、移民、無国籍に関するニュースを見つけ、授業に関連させて考えてください。自分の発表前には準備が必要です。</p>
<p>教科書 授業中に、主に UNHCR、IOM、国連や Institute of stateless and Inclusion 等の最新の英文資料や英語の論文等を教員が日本語でまとめたパワポのプリントや資料を配布するので A4フォルダーを用意してください。英語のグラフを使うことがあります。日本語翻訳を無料でダウンロードできる場合は適宜お知らせします。</p>
<p>参考書 日本語で読みやすい本は、UNHCR『世界難民白書 2000 人道行動の50年史』時事通信社、2001 年; 滝澤三郎他編著「難民を知るための基礎知識」明石書店 2017; 永吉希久子『移民と日本社会: データで読み解く実態と将来像』中公新書 2020 年; 遠藤正敬「戸籍と無国籍」人文書院 2017 他に UNICEF、UNOCHA、UNHCR、UN、IOM、ILO、世界銀行等の HP。世界の無国籍は www.institutesi.org、日本の難民、移民等は www.refugee.or.jp や全難連 http://www.jlnr.jp/ 等。読みやすい本は授業中に紹介します。</p>
<p>履修上の注意事項 出欠は、フィードバックシートの提出の有無を優先させます。グループワークの支障になるので遅刻しないように注意してください。発表力や議論する力を少しでも向上させたい人に向いています。</p>
<p>備考 無国籍、難民、移民、人権、文化、UNHCR</p>

時間割番号	000038																																																																				
科目名	グローバル教養科目・Introduction to Japanese Folklore and Cultural Anthropology	科目ID	LA-113809-Z																																																																		
担当教員	荒川 裕紀																																																																				
開講時期	2022 年度前期	対象年次	1	単位数	2																																																																
実務経験のある教員による授業																																																																					
<p>曜日・時間:月曜1限 対象学科: 全学科 “科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 1-3)、1-4)、1-7)、1-9)、2-3)、3-1)、3-2)、3-3)、3-4)、3-5)、3-6) ”</p>																																																																					
<p>授業の目的、概要等</p> <p>Cultural Anthropology and Folklore exist as disciplines that investigate and study cultures around the world. And Japanese culture is rich in diversity, both in time and space. It is essential for students who will be involved in society-based medicine in the future to understand contemporary society and culture as a real experience and to be able to verbalize and communicate it. In this class, students will understand the origins of cultural anthropology and ethnography in Japan and learn their methodologies. In order to achieve this goal, teams will be formed, and each team will conduct a small survey and make presentations and essays in English that can be understood by more people around the world.</p>																																																																					
<p>授業の到達目標</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 日本文化を対象とする文化人類学・民俗学の成り立ちについて、社会的・歴史的背景も含め理解する。 2. 調査を実施することによって、多様な人々に対応できるコミュニケーション力と、分析能力の向上を図る。 3. 日本における民俗・文化に関するディスカッションやプレゼンテーションを通じて英語によるコミュニケーション能力を強化する。 4. 学科の枠を超えた協働を実施することにより、将来のチーム医療の基盤となるグループ学習、グループディスカッションを初年次より体験する。 																																																																					
<p>授業計画</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>講義室</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td>4/18</td><td>09:10-10:40</td><td></td></tr> <tr><td>2</td><td>4/25</td><td>09:10-10:40</td><td></td></tr> <tr><td>3</td><td>5/2</td><td>09:10-10:40</td><td></td></tr> <tr><td>4</td><td>5/9</td><td>09:10-10:40</td><td></td></tr> <tr><td>5</td><td>5/16</td><td>09:10-10:40</td><td></td></tr> <tr><td>6</td><td>5/23</td><td>09:10-10:40</td><td></td></tr> <tr><td>7</td><td>5/30</td><td>09:10-10:40</td><td></td></tr> <tr><td>8</td><td>6/6</td><td>09:10-10:40</td><td></td></tr> <tr><td>9</td><td>6/13</td><td>09:10-10:40</td><td></td></tr> <tr><td>10</td><td>6/20</td><td>09:10-10:40</td><td></td></tr> <tr><td>11</td><td>6/27</td><td>09:10-10:40</td><td></td></tr> <tr><td>12</td><td>7/4</td><td>09:10-10:40</td><td></td></tr> <tr><td>13</td><td>7/11</td><td>09:10-10:40</td><td></td></tr> <tr><td>14</td><td>7/18</td><td>09:10-10:40</td><td></td></tr> <tr><td>15</td><td>7/25</td><td>09:10-10:40</td><td></td></tr> </tbody> </table>						回	日付	時刻	講義室	1	4/18	09:10-10:40		2	4/25	09:10-10:40		3	5/2	09:10-10:40		4	5/9	09:10-10:40		5	5/16	09:10-10:40		6	5/23	09:10-10:40		7	5/30	09:10-10:40		8	6/6	09:10-10:40		9	6/13	09:10-10:40		10	6/20	09:10-10:40		11	6/27	09:10-10:40		12	7/4	09:10-10:40		13	7/11	09:10-10:40		14	7/18	09:10-10:40		15	7/25	09:10-10:40	
回	日付	時刻	講義室																																																																		
1	4/18	09:10-10:40																																																																			
2	4/25	09:10-10:40																																																																			
3	5/2	09:10-10:40																																																																			
4	5/9	09:10-10:40																																																																			
5	5/16	09:10-10:40																																																																			
6	5/23	09:10-10:40																																																																			
7	5/30	09:10-10:40																																																																			
8	6/6	09:10-10:40																																																																			
9	6/13	09:10-10:40																																																																			
10	6/20	09:10-10:40																																																																			
11	6/27	09:10-10:40																																																																			
12	7/4	09:10-10:40																																																																			
13	7/11	09:10-10:40																																																																			
14	7/18	09:10-10:40																																																																			
15	7/25	09:10-10:40																																																																			
<p>授業方法</p> <p>アクティブラーニングの形式を取り入れ、各チームによる現地調査、発表、グループディスカッションなどを交え、講義を進める</p>																																																																					

<p>授業内容</p> <p>(1)ガイダンス Orientation (2) Group work: “What is Japanese Culture?” (3) Folklore and Cultural Anthropology of Japan (4) Kunio and Kumagusu: The Pioneer of Japanese Folklore (5) Hare and Ke: The Ordinary and the Extraordinary in Japanese Culture (6) The Chrysanthemum and the Sword: Patterns of Japanese Culture (7) After WW II to Present: The Role of Anthropology and Folklore in Japan (8) Methodology for Qualitative Research (9) Observational Method and Participant Observation Method (10) Life Story Method and Interview Method (11) Shikoku Pilgrimage: Using Participant Observation Method I (12) Fukuotoko: Using Participant Observation Method II (13) Final Presentation (1) (14) Final Presentation (2) (15) Summary/Conclusion: For Petit Field Work in Summer</p>
<p>成績評価の方法</p> <p>評価 : 授業参加(コメント等) 20% ・ レポート 50% ・ プレゼンテーション 30%</p> <p>再評価: 有(再評価方法 レポート)</p>
<p>成績評価の基準</p> <p>「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による</p>
<p>準備学習等についての具体的な指示</p> <ul style="list-style-type: none"> ・This course is delivered in English. ・Students are marked absent from class if they are more than 20 minutes late. ・Students are expected to write an academic essay and presentation in English.
<p>教科書</p> <p>工藤保則・寺岡伸悟・宮垣元 編『質的調査の方法〔第3版〕: 都市・文化・メディアの感じ方』法律文化社(2022)</p>
<p>参考書</p> <p>Jennifer Robertson. 2008. A Companion to the Anthropology of Japan (Wiley Blackwell Companions to Anthropology), Wiley-Blackwell. ISBN: 978-1405182898</p> <p>菊地暁『民俗学入門』岩波書店(2022)</p> <p>宮岡 真央子・渋谷 努・中村 八重・兼城 糸絵 編『日本で学ぶ文化人類学』昭和堂(2021)</p> <p>福田アジオ『知って役立つ民俗学 現代社会への40の扉』ミネルヴァ書房(2015)</p> <p>伊藤幹治『柳田国男と梅棹忠夫——自前の学問を求めて』岩波書店(2011)</p>
<p>他科目との関連</p> <p>・後期に開講する「Japanese Festivals and Pilgrimage」も引き続き選択し、是非長期休暇を利用し、チームにて諸媒体も利用しながら調査を実施されたい。前期で研究計画と少しの調査を実施し、後期中にまとめた報告書として仕上げていくことを目標にしてみたい。 ・英語に関しては英語教員 (Foss 先生) のアドバイスが受けられます。</p>
<p>履修上の注意事項</p> <p>100% attendance is expected. セミナー形式も取り入れるため、100%の出席率が望ましい。 原則3分の2以上出席。授業開始 20 分を過ぎてからの遅刻は一回欠席となる。</p>
<p>備考</p> <p>キーワード: Cultural Anthropology, Folklore, Qualitative Research</p>

時間割番号	000039			科目ID	
科目名	グローバル教養科目・Japanese Festivals and Pilgrimages			科目ID	
担当教員	荒川 裕紀				
開講時期	2022 年度後期	対象年次	1	単位数	2
実務経験のある教員による授業					
曜日・時間: 月曜1限 対象学科: 全学科 科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 1-3)、1-4)、1-7)、1-9)、2-3)、3-1)、3-2)、3-3)、3-4)、3-5)、3-6					
授業の目的、概要等					
Festivals and pilgrimages are symbols of the extraordinary in culture. Japan has a wide variety of festivals that attract people from all over the world. In this class, I will focus mainly on urban festivals and present their social meanings and historical changes. Similarly, Buddhist and Shinto-based pilgrimages and rituals will be presented, and the characteristics of each cultural event will be discussed. At the same time, each team will conduct comprehensive research by participating in various festivals and pilgrimages and conducting interviews, using the participatory observation techniques they learned in the previous semester. Is the existing discourse on festivals and pilgrimages in Japan compatible with the subject of this study? Students will confirm this through their own research and report their findings in English.					
授業の到達目標					
1. 日本国内の巡礼や祭礼について、その社会的役割や歴史的背景を理解する。 2. 調査を実施することによって、多様な人々に対応できるコミュニケーション力と、分析能力の向上を図る。 3. 自ら調査した、日本の民俗・文化に関するディスカッションやプレゼンテーションを実施することで通じて英語によるコミュニケーション能力を強化し、将来に向けての教養を養う。 4. 学科の枠を超えた協働を実施することにより、将来のチーム医療の基盤となるグループ学習、グループディスカッションを初年次より体験する。					
授業計画					
回	日付	時刻	講義室		
1	10/3	09:10-10:40			
2	10/10	09:10-10:40			
3	10/17	09:10-10:40			
4	10/24	09:10-10:40			
5	10/31	09:10-10:40			
6	11/7	09:10-10:40			
7	11/14	09:10-10:40			
8	11/21	09:10-10:40			
9	11/28	09:10-10:40			
10	12/5	09:10-10:40			
11	12/12	09:10-10:40			
12	12/19	09:10-10:40			
13	1/16	09:10-10:40			
14	1/23	09:10-10:40			
15	1/30	09:10-10:40			
授業方法					
アクティブラーニングの形式を取り入れ、各チームによる現地調査、発表、グループディスカッションなどを交え、講義を進める					
授業内容					

<p>(1) Towards a Survey of Festivals and Pilgrimages</p> <p>(2) Festivals: The Moment when the Ordinary(Ke) and extraordinary(Hare) intersect</p> <p>(3) Kanda Festival and Sanja Festival: Festivals in Tokyo</p> <p>(4) Gion Festival (Kyoto, Kyushu), Daimonji: Festivals of the Ancient Capital</p> <p>(5) Nationwide Expansion of Yosakoi and Soran Matsuri</p> <p>(6) Ethnicity and Festivals</p> <p>(7) Why do People Make Pilgrimages?</p> <p>(8) Torino Ichi, Toka Ebisu</p> <p>(9) Pilgrimage: 33 Temples in Western Japan, 88 Temples in Shikoku Island</p> <p>(10) Historical Changes of Pilgrimage 88 Temples in Shikoku Island</p> <p>(11) Copy Pilgrimage, First Shrine Visit of “New Year”</p> <p>(12) Contemporary Development of Pilgrimage and Pilgrimage</p> <p>(13) Final Presentation(1)</p> <p>(14) Final Presentation(2)</p> <p>(15) Summary/Conclusion</p>
<p>成績評価の方法</p> <p>評価 : 授業参加(コメント等) 20% ・ レポート 50% ・ プレゼンテーション 30%</p> <p>再評価: 有(再評価方法: レポート)</p>
<p>成績評価の基準</p> <p>「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による</p>
<p>準備学習等についての具体的な指示</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ This course is delivered in English. ・ Students are marked absent from class if they are more than 20 minutes late. ・ Students are expected to write an academic essay and presentation in English.
<p>教科書</p> <p>工藤保則・寺岡伸悟・宮垣元 編『質的調査の方法[第3版]: 都市・文化・メディアの感じ方』法律文化社(2022)</p>
<p>参考書</p> <p>Peter Ackermann, Dolores Martinez, Maria Rodriguez Del Alisal. 2007. Pilgrimages and Spiritual Quests in Japan (Japan Anthropology Workshop) (Japan Anthropology Workshop Series), Routledge. ISBN: 978-0415481335</p> <p>新谷尚紀 編『行事と祭礼 (講座日本民俗学)』朝倉書店 (2021)</p> <p>八木透『日本の民俗信仰を知るための30章』淡交社(2019)</p> <p>高岡弘幸・島村恭則・川村清志・松村薫子 編『民俗学読本—フィールドへのいざない』晃洋書房(2019)</p> <p>河原典史・木下昭 編『移民が紡ぐ日本—交錯する文化のはざままで』文理閣(2018)</p>
<p>他科目との関連</p> <p>・前期開講の Introduction to Japanese Folklore and Cultural Anthropology において、主に方法論、調査手法を学び、長期休暇中の時間も利用し調査をするため、継続しての受講が望ましい。 ・英語に関しては英語教員 (Foss 先生) のアドバイスが受けられます。</p>
<p>履修上の注意事項</p> <p>100% attendance is expected. セミナー形式も取り入れるため、100%の出席率が望ましい。 原則3分の2以上出席。授業開始 20 分を過ぎてからの遅刻は一回欠席となる。</p>
<p>備考</p> <p>キーワード: Festivals, Rituals, Pilgrimages, Participant Observation</p>

時間割番号	000040																																																																				
科目名	グローバル教養科目・An Introduction to Japanese Traditional Theater I	科目ID																																																																			
担当教員	Umali Amparo Adelina																																																																				
開講時期	2022 年度前期	対象年次	1	単位数	2																																																																
実務経験のある教員による授業																																																																					
<p>曜日・時間: 月曜 1限</p> <p>科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):</p> <p>別表 1-1) 言語を通じた人間の創造的営みを理解する</p> <p>別表 1-3) 人間の歴史的営みを理解する</p> <p>別表 1-5) 人間の思考の枠組みを知り、自らの思考を振り返る</p> <p>別表 1-6) 優れた芸術作品に触れて完成を高める</p> <p>別表 1-7) 人間の心への理解を高める</p>																																																																					
<p>授業の目的、概要等</p> <p>An Introduction to Japanese Traditional Theater 1 . This course examines different forms of Japanese traditional theaters as living traditions. It will trace their development and will examine intercultural encounters with Asia and the West and the roles they play in cultural development. It will also introduce the practice of these traditional theater forms through a workshop. The first semester will focus on the study of noh-gaku — noh and kyogen.</p>																																																																					
<p>授業の到達目標</p> <p>Objectives: At the end of the course, the students will be able to</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. describe the different Japanese traditional theater forms and identify their performance conventions; 2. discuss the development of the theater forms in their historical context; 3. explain their views on traditional theater practice; and 4. exchange views on intercultural theater. 																																																																					
<p>授業計画</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>講義室</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td>4/18</td><td>09:10-10:40</td><td></td></tr> <tr><td>2</td><td>4/25</td><td>09:10-10:40</td><td></td></tr> <tr><td>3</td><td>5/2</td><td>09:10-10:40</td><td></td></tr> <tr><td>4</td><td>5/9</td><td>09:10-10:40</td><td></td></tr> <tr><td>5</td><td>5/16</td><td>09:10-10:40</td><td></td></tr> <tr><td>6</td><td>5/23</td><td>09:10-10:40</td><td></td></tr> <tr><td>7</td><td>5/30</td><td>09:10-10:40</td><td></td></tr> <tr><td>8</td><td>6/6</td><td>09:10-10:40</td><td></td></tr> <tr><td>9</td><td>6/13</td><td>09:10-10:40</td><td></td></tr> <tr><td>10</td><td>6/20</td><td>09:10-10:40</td><td></td></tr> <tr><td>11</td><td>6/27</td><td>09:10-10:40</td><td></td></tr> <tr><td>12</td><td>7/4</td><td>09:10-10:40</td><td></td></tr> <tr><td>13</td><td>7/11</td><td>09:10-10:40</td><td></td></tr> <tr><td>14</td><td>7/18</td><td>09:10-10:40</td><td></td></tr> <tr><td>15</td><td>7/25</td><td>09:10-10:40</td><td></td></tr> </tbody> </table>						回	日付	時刻	講義室	1	4/18	09:10-10:40		2	4/25	09:10-10:40		3	5/2	09:10-10:40		4	5/9	09:10-10:40		5	5/16	09:10-10:40		6	5/23	09:10-10:40		7	5/30	09:10-10:40		8	6/6	09:10-10:40		9	6/13	09:10-10:40		10	6/20	09:10-10:40		11	6/27	09:10-10:40		12	7/4	09:10-10:40		13	7/11	09:10-10:40		14	7/18	09:10-10:40		15	7/25	09:10-10:40	
回	日付	時刻	講義室																																																																		
1	4/18	09:10-10:40																																																																			
2	4/25	09:10-10:40																																																																			
3	5/2	09:10-10:40																																																																			
4	5/9	09:10-10:40																																																																			
5	5/16	09:10-10:40																																																																			
6	5/23	09:10-10:40																																																																			
7	5/30	09:10-10:40																																																																			
8	6/6	09:10-10:40																																																																			
9	6/13	09:10-10:40																																																																			
10	6/20	09:10-10:40																																																																			
11	6/27	09:10-10:40																																																																			
12	7/4	09:10-10:40																																																																			
13	7/11	09:10-10:40																																																																			
14	7/18	09:10-10:40																																																																			
15	7/25	09:10-10:40																																																																			
<p>授業方法</p> <p>Lectures, Readings, Discussion, Presentation, Watching of Plays (preferably live, if not on video)</p>																																																																					

<p>授業内容</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. Introduction to Japanese Traditional Theaters 2. History of Nohgaku: Ancient to Medieval Period 3. History of Nohgaku: Early Modern Period to Modern Period 4. Noh Practice Overseas 5. Noh Play: Hagoromo/Ataka 6. Kyogen Play: Busu 7. Elements of Performance 8. Workshop on Shimai, Noh Dance 9. Workshop on Utai, Noh Chant 10. Workshop on Hayashi, Noh Orchestra 11. Introduction to Zeami' s Treatises 12. Zeami' s Sando or Nohsakusho 13. Women Noh Playwrights 14. Presentations and Discussion (I) 15. Presentations and Discussion (II)
<p>成績評価の方法</p> <p>評価 : 授業参加度: 40% 課題: 30% プレゼンテーション : 30%</p> <p>再評価: 有(レポート)</p>
<p>成績評価の基準</p> <p>「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による</p>
<p>準備学習等についての具体的な指示</p> <p>Attendance, class preparedness, active participation are expected for this course.</p>
<p>教科書</p> <p>Jonah Salz. A History of Japanese Theater. Cambirdge University Press, 2017</p>
<p>参考書</p> <p>Benito Ortolani, The Japanese Theatre From Shamanistic Ritual to Contemporary Pluralism, Princeton University Press 1995; Amparo Adelina C. Umali, Naohiko Umewaka, Matteo Cassari (eds.) Nō Theatre and Cultural Diplomacy. With a Glimpse into Philippine Practices, University of the Philippines, Shizuoka University of Art and Culture, University of Bologna, 2018</p>
<p>履修上の注意事項</p> <p>Lectures, reports, presentations, discussions and short essays are in English. Students will be marked absent from class if they come 20 minutes late. 2/3 of class attendance required to pass the course.</p>

時間割番号	000041																																																																				
科目名	グローバル教養科目・An Introduction to Japanese Traditional Theater II	科目ID																																																																			
担当教員	Umali Amparo Adelina																																																																				
開講時期	2022 年度後期	対象年次	1	単位数	2																																																																
実務経験のある教員による授業																																																																					
<p>曜日・時間: 月曜 1限</p> <p>科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):</p> <p>別表 1-1) 言語を通じた人間の創造的営みを理解する</p> <p>別表 1-3) 人間の歴史的営みを理解する</p> <p>別表 1-5) 人間の思考の枠組みを知り、自らの思考を振り返る</p> <p>別表 1-6) 優れた芸術作品に触れて完成を高める</p> <p>別表 1-7) 人間の心への理解を高める</p>																																																																					
<p>授業の目的、概要等</p> <p>An Introduction to Japanese Traditional Theater 2 . This course examines different forms of Japanese traditional theaters as living traditions. It will trace their development and will examine intercultural encounters with Asia and the West and the roles they play in cultural development. It will also introduce the practice of these traditional theater forms through a workshop. The second semester will focus on bunraku and kabuki.</p>																																																																					
<p>授業の到達目標</p> <p>Objectives: At the end of the course, the students will be able to</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. describe the different Japanese traditional theater forms and identify their performance conventions; 2. discuss the development of the theater forms in their historical context; 3. explain their views on traditional theater practice; and 4. exchange views on intercultural theater. 																																																																					
<p>授業計画</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>講義室</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td>4/18</td><td>09:10-10:40</td><td></td></tr> <tr><td>2</td><td>4/25</td><td>09:10-10:40</td><td></td></tr> <tr><td>3</td><td>5/2</td><td>09:10-10:40</td><td></td></tr> <tr><td>4</td><td>5/9</td><td>09:10-10:40</td><td></td></tr> <tr><td>5</td><td>5/16</td><td>09:10-10:40</td><td></td></tr> <tr><td>6</td><td>5/23</td><td>09:10-10:40</td><td></td></tr> <tr><td>7</td><td>5/30</td><td>09:10-10:40</td><td></td></tr> <tr><td>8</td><td>6/6</td><td>09:10-10:40</td><td></td></tr> <tr><td>9</td><td>6/13</td><td>09:10-10:40</td><td></td></tr> <tr><td>10</td><td>6/20</td><td>09:10-10:40</td><td></td></tr> <tr><td>11</td><td>6/27</td><td>09:10-10:40</td><td></td></tr> <tr><td>12</td><td>7/4</td><td>09:10-10:40</td><td></td></tr> <tr><td>13</td><td>7/11</td><td>09:10-10:40</td><td></td></tr> <tr><td>14</td><td>7/18</td><td>09:10-10:40</td><td></td></tr> <tr><td>15</td><td>7/25</td><td>09:10-10:40</td><td></td></tr> </tbody> </table>						回	日付	時刻	講義室	1	4/18	09:10-10:40		2	4/25	09:10-10:40		3	5/2	09:10-10:40		4	5/9	09:10-10:40		5	5/16	09:10-10:40		6	5/23	09:10-10:40		7	5/30	09:10-10:40		8	6/6	09:10-10:40		9	6/13	09:10-10:40		10	6/20	09:10-10:40		11	6/27	09:10-10:40		12	7/4	09:10-10:40		13	7/11	09:10-10:40		14	7/18	09:10-10:40		15	7/25	09:10-10:40	
回	日付	時刻	講義室																																																																		
1	4/18	09:10-10:40																																																																			
2	4/25	09:10-10:40																																																																			
3	5/2	09:10-10:40																																																																			
4	5/9	09:10-10:40																																																																			
5	5/16	09:10-10:40																																																																			
6	5/23	09:10-10:40																																																																			
7	5/30	09:10-10:40																																																																			
8	6/6	09:10-10:40																																																																			
9	6/13	09:10-10:40																																																																			
10	6/20	09:10-10:40																																																																			
11	6/27	09:10-10:40																																																																			
12	7/4	09:10-10:40																																																																			
13	7/11	09:10-10:40																																																																			
14	7/18	09:10-10:40																																																																			
15	7/25	09:10-10:40																																																																			
<p>授業方法</p> <p>Lectures, Readings, Discussion, Presentation, Watching of Plays (preferably live, if not on video)</p>																																																																					
<p>授業内容</p>																																																																					

1. Introduction to Japanese Traditional Theaters
2. History of Bunraku: Early Modern Period to Modern Period
3. History of Kabuki: Early Modern Period to Modern Period
4. Bunraku Practice Overseas
5. Kabuki Practice Overseas
6. Bunraku Play: Sonezaki Shinju
7. Kabuki Play: Kanjincho
8. Elements of Performance
9. Workshop on Bunraku, Puppet Dance, Joruri, Chant
10. Workshop on Kabuki, Nagauta
11. Bunraku: Chikamatsu's Naniwa Miyage
12. Kabuki: Yakusha Rongo
13. Naoshima Onna Bunraku
14. Presentations and Discussion (I)
15. Presentations and Discussion (II)

成績評価の方法

評価 : 授業参加度: 40% 課題: 30% プレゼンテーション : 30%
再評価: 有(レポート)

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習等についての具体的な指示

Attendance, class preparedness, active participation are expected for this course.

教科書

Jonah Salz. A History of Japanese Theater. Cambridge University Press, 2017

参考書

Benito Ortolani, The Japanese Theatre From Shamanistic Ritual to Contemporary Pluralism, Princeton University Press 1995

履修上の注意事項

Lectures, reports, presentations, discussions and short essays are in English. Students will be marked absent from class if they come 20 minutes late. 2/3 of class attendance required to pass the course.

時間割番号	000049				
科目名	グローバル教養科目・Insider and Outsider Perspectives on Contemporary Japan	科目ID			
担当教員	権 大聖[KUXONN Desonn]				
開講時期	2022 年度前期	対象年次	1	単位数	2
実務経験のある教員による授業					
In principle, 100% attendance is expected. Four absences (one third of the total number of class sessions) will result in a failing grade. Only urgent medical care and family urgencies are accepted as legitimate excused absences.					
授業の目的、概要等					
<p>This course is a survey course of Japan, examining various aspects of contemporary Japanese society, including history, class, identity, culture, race, ethnicity, gender, politics, education, religion, and civil society. In this course, students will learn about a variety of critical issues in contemporary Japanese society and learn how to analyze the issues critically. Furthermore, by developing comparative thinking and insider-outsider research skills, students will have an opportunity to link domestic issues to regional and global contexts, and overcome their localized, preoccupied, simplistic assumptions and judgments about Japanese society. In doing so, students will understand contemporary Japanese society from a broader and global perspective.</p>					
授業の到達目標					
<ol style="list-style-type: none"> 1. To learn critical issues in contemporary Japanese society and deepen understanding of the ways of Japanese society and Japaneseness from a comparative/global perspective. 2. To develop analytical skill and comparative and practical thinking skills. 3. To experience active and cooperative learning. 4. To improve oral communication, reading, and writing skills in academic English. 					
授業計画					
回	日付	時刻	講義室	担当教員	
1	4/15	10:50-12:20		権 大聖	
2	4/22	10:50-12:20		権 大聖	
3	5/6	10:50-12:20		権 大聖	
4	5/13	10:50-12:20		権 大聖	
5	5/20	10:50-12:20		権 大聖	
6	5/27	10:50-12:20		権 大聖	
7	6/3	10:50-12:20		権 大聖	
8	6/10	10:50-12:20		権 大聖	
9	6/17	10:50-12:20		権 大聖	
10	6/24	10:50-12:20		権 大聖	
11	7/1	10:50-12:20		権 大聖	
12	7/8	10:50-12:20		権 大聖	
13	7/15	10:50-12:20		権 大聖	
14	7/22	10:50-12:20		権 大聖	
15	7/29	10:50-12:20		権 大聖	
授業方法					
<ol style="list-style-type: none"> 1. Classes are conducted in a mixture of lectures and seminar formats (Active Learning) 2. Students will make presentations based on their individual or group research. 3. Students are expected to participate actively in interactive in-class discussions 					

<p>授業内容</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. Introduction/Orientation 2. Insider–Outsider Perspectives on Japan: How Can We Understand Japaneseness? 3. What is Academic Writing? 4. Class, Generation, and Geography 5. Gender and Family 6. Race, Ethnicity, and Identity 7. Education, Japanese Management Style and Work 8. The State, Politics and Civil Society 9. Religion: Views on Life and Death from a Comparative Perspective 10. Guest Lecture 11. Soft Power and Cool Japan: Cool Japan vs. the Korean Wave (Hallyu) in the Global Cultural Economy 12. Presentations and Discussion (I) 13. Presentations and Discussion (II) 14. Toward an Inclusive society: Diversity, Immigration, National Identity in the Context of an Aging Society 15. Summary/ Reflection
<p>成績評価の方法</p> <p>Class Participation 30 % Written Assignments 40 % Presentation 30%</p>
<p>成績評価の基準</p> <p>「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による</p>
<p>準備学習等についての具体的な指示</p> <p>Students are expected to read assigned reading materials before they attend a class every week such as a chapter in the text book, or a few pages in a chapter, or other reading materials (newspaper articles etc.) they are given by email.</p>
<p>教科書</p> <p>The primary text: Sugimoto, Yoshio. 2021. An Introduction to Japanese Society (5th Edition), Cambridge: Cambridge University Press.</p>
<p>参考書</p> <p>The secondary sources for reading: García, Héctor. 2019. A Geek in Japan (Revised and Expanded Edition), Tokyo: Tuttle. Hendry, Joy. 2019. Understanding Japanese Society (5th Edition), London and New York: Routledge.</p>
<p>他科目との関連</p> <p>In the second semester, there will be another lecture on contemporary Japanese society entitled “Intercultural Encounters: Migration, Diversity and Social Cohesion”. The course should be interesting for students who wish to deepen their knowledge and understanding of globalization, ethnic diversity, multicultural/multiculturalism, foreign migrants, and immigration in contemporary Japanese society.</p>
<p>履修上の注意事項</p> <p>This course is conducted in English. In principle students are required to have sufficient English language ability to complete this course. However, regardless of their English proficiency, all students are welcome and encouraged to take this course as long as they have a keen interest in the topics in this course, and they are highly motivated to participate in class activities.</p>

時間割番号	000050				
科目名	グローバル教養科目・Intercultural Encounters: Migration, Diversity and Social Cohesion	科目ID			
担当教員	権 大聖[KUXONN Desonn]				
開講時期	2022 年度後期	対象年次	1	単位数	2
実務経験のある教員による授業					
金曜日・10:50-12:20: 金曜 2 限					
授業の目的、概要等					
<p>Is Japan a country of immigration or an ethnically homogenous society? Does Japan need large-scale immigration to solve various issues stemming from its drastic population decline and an aging society? Given that foreign residents are continuously growing in Japan, how can the society manage its growing ethnocultural diversity? How can we define Japanese identity today? With these central questions, this course explores various migration issues in contemporary Japanese society, including foreign workers, ethnic communities, immigrant integration, racism and xenophobia, controversies over open immigration, multiculturalism, national identity, and sense of belonging. In doing so, students will have an opportunity to understand the significance of intercultural encounters, and address the question of how people can learn to live with difference and diversity in today's Japanese society.</p>					
授業の到達目標					
<ol style="list-style-type: none"> 1. To understand migration/immigration as one of the most contested global issues in today's world, and learn major migration issues in contemporary Japanese society, particularly in the context of an aging society. 2. To develop analytical skill and comparative and practical thinking skills. 3. To experience active and cooperative learning. 4. To improve oral communication, reading, and writing skills in academic English. 					
授業計画					
回	日付	時刻	講義室	担当教員	
1	10/7	10:50-12:20		権 大聖	
2	10/14	10:50-12:20		権 大聖	
3	10/21	10:50-12:20		権 大聖	
4	10/28	10:50-12:20		権 大聖	
5	11/4	10:50-12:20		権 大聖	
6	11/11	10:50-12:20		権 大聖	
7	11/18	10:50-12:20		権 大聖	
8	11/25	10:50-12:20		権 大聖	
9	12/2	10:50-12:20		権 大聖	
10	12/9	10:50-12:20		権 大聖	
11	12/16	10:50-12:20		権 大聖	
12	1/6	10:50-12:20		権 大聖	
13	1/13	10:50-12:20		権 大聖	
14	1/20	10:50-12:20		権 大聖	
15	1/27	10:50-12:20		権 大聖	
授業方法					
<ol style="list-style-type: none"> 1. Classes are conducted in a mixture of lectures and seminar formats (Active Learning) 2. Students will make presentations based on their individual or group research. 3. Students are expected to participate actively in interactive in-class discussions 					
授業内容					
1. Introduction/Orientation					

<p>2. Questioning the Myth of Ethnic Homogeneity: Is Japan a Non-Immigrant Country?</p> <p>3. What is Academic Writing?</p> <p>4. Racial and Ethnocultural Diversity: Ainu, Okinawan, Burakumin and Zainichi Korean</p> <p>5. Newcomer Migrants: Nikkeijin, Migrant Workers, International Students, Marriage Migrants</p> <p>6. Global Refugee Crisis and Japan</p> <p>7. Transnational Migration, and Ethnic Enclaves and Communities in Urban Areas</p> <p>8. Racism, Xenophobia, Hate Speech, and Media Representation of Foreigners</p> <p>9. Mixed Race, Hybridity, and National Identity: Discussion Based on Documentary Film, Hafu</p> <p>10. Managing Diversity: North America, Europe, Asia and Japan</p> <p>11. Foreign Residents' Health Care in Japan and Internationalization of Medical Services</p> <p>12. Guest Lecture</p> <p>13. Presentations and Discussion (I)</p> <p>14. Presentations and Discussion (II)</p> <p>15. Summary/ Reflection</p>
<p>成績評価の方法</p> <p>Class Participation 30 %</p> <p>Written Assignments 40 %</p> <p>Presentation 30%</p>
<p>成績評価の基準</p> <p>「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による</p>
<p>準備学習等についての具体的な指示</p> <p>Students are expected to read assigned reading materials before they attend a class every week such as a chapter in the text book, or a few pages in a chapter, or other reading materials (newspaper articles etc.) they are given by email.</p>
<p>試験の受験資格</p> <p>In principle, 100% attendance is expected. Four absences (one third of the total number of class sessions) will result in a failing grade. Only urgent medical care and family urgencies are accepted as legitimate excused absences.</p>
<p>教科書</p> <p>The primary text: There is no required textbook for this course. Course materials will be distributed in class.</p>
<p>参考書</p> <p>The secondary sources for reading:</p> <p>Koser, Khalid. 2016. International Migration: A Very Short Introduction, New York and Oxford: Oxford University Press.</p> <p>Liu-Farrer, Gracia. 2020. Immigrant Japan, Ithaca and London: Cornell University Press.</p>
<p>他科目との関連</p> <p>Students who take the course – “Insider and Outsider Perspectives on Contemporary Japan” – in the first semester are encouraged to attend this lecture to deepen their knowledge and understanding of various issues related to ethnocultural diversity, immigration, and national identity in Japan and other countries.</p>
<p>履修上の注意事項</p> <p>This course is conducted in English. In principle students are required to have sufficient English language ability to complete this course. However, regardless of their English proficiency, all students are welcome and encouraged to take this course as long as they have a keen interest in the topics in this course, and they are highly motivated to participate in class activities.</p>

時間割番号	000044			科目ID	LA-113600-Z																																																																											
科目名	Japanese Culture and Society I		科目ID	LA-113600-Z																																																																												
担当教員	BERCEA ADRIAN[BERCEA Adrian]																																																																															
開講時期	2022 年度前期	対象年次	1	単位数	2																																																																											
実務経験のある教員による授業																																																																																
<p>曜日・時間: 月曜 2 限</p> <p>受講資格: 受講者に望まれる英語能力 CEFR B1 以上 (TOEIC500/TOEFLiBT50/英検二級)。スコアは目安です。最初の授業で相談に応じるので、申し出てください。</p> <p>科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 日本の文化・社会を国際社会の中で理解し、発信できる力を身につける</p>																																																																																
<p>授業の目的、概要等</p> <p>Japanese Culture and Society I is a course that introduces students to various aspects of contemporary Japan through keywords. Hot topics such as low birth rate, freeters, hikikomori or immigration will be examined in an easy to understand manner in order for the students to acquire both knowledge and the necessary linguistic ability to express their own opinion on social and cultural issues in Japan. Materials from mediums such as social media, television or film will be provided to generate more discussion on specific topics.</p> <p>Japanese Culture and Society では、外国から見た日本の文化・社会の様々な側面を紹介します。春学期の Japanese Culture and Society I ではキーワードや主要表現を使った方法で、現在の日本について英語で自分の意見を述べる能力を身につけます。秋学期の Japanese Culture and Society II では歴史的な背景や人類学的な側面などを視野に入れながら、より理論的にディスカッションを深めていきます。</p> <p>* 本授業は基本的に英語で行い、学生に英語の発言による積極的な参加が認められます。分かりにくい点や質問には、補助的に日本語による説明を加えます。受講者に望まれる英語能力を確認ください。初回授業時の相談も可能です。</p>																																																																																
<p>授業の到達目標</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 日本文化社会に対する新しい洞察を獲得する。 2. 批判的思考力や分析能力を育成する。 3. 日本文化社会に関するディスカッションやプレゼンテーションを通じて英語によるコミュニケーション能力を強化する。 																																																																																
<p>授業計画</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>講義室</th> <th>担当教員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td>4/18</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>BERCEA ADRIAN, 木谷 真紀子, 藤井 達夫</td></tr> <tr><td>2</td><td>4/25</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>BERCEA ADRIAN, 木谷 真紀子, 藤井 達夫</td></tr> <tr><td>3</td><td>5/2</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>BERCEA ADRIAN, 木谷 真紀子, 藤井 達夫</td></tr> <tr><td>4</td><td>5/9</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>BERCEA ADRIAN, 木谷 真紀子, 藤井 達夫</td></tr> <tr><td>5</td><td>5/16</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>BERCEA ADRIAN, 木谷 真紀子, 藤井 達夫</td></tr> <tr><td>6</td><td>5/23</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>BERCEA ADRIAN, 木谷 真紀子, 藤井 達夫</td></tr> <tr><td>7</td><td>5/30</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>BERCEA ADRIAN, 木谷 真紀子, 藤井 達夫</td></tr> <tr><td>8</td><td>6/6</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>BERCEA ADRIAN, 木谷 真紀子, 藤井 達夫</td></tr> <tr><td>9</td><td>6/13</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>BERCEA ADRIAN, 木谷 真紀子, 藤井 達夫</td></tr> <tr><td>10</td><td>6/20</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>BERCEA ADRIAN, 木谷 真紀子, 藤井 達夫</td></tr> <tr><td>11</td><td>6/27</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>BERCEA ADRIAN, 木谷 真紀子, 藤井 達夫</td></tr> <tr><td>12</td><td>7/4</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>BERCEA ADRIAN, 木谷 真紀子, 藤井 達夫</td></tr> <tr><td>13</td><td>7/11</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>BERCEA ADRIAN, 木谷 真紀子, 藤井 達夫</td></tr> <tr><td>14</td><td>7/18</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>BERCEA ADRIAN, 木谷 真紀子, 藤井 達夫</td></tr> </tbody> </table>						回	日付	時刻	講義室	担当教員	1	4/18	10:50-12:20		BERCEA ADRIAN, 木谷 真紀子, 藤井 達夫	2	4/25	10:50-12:20		BERCEA ADRIAN, 木谷 真紀子, 藤井 達夫	3	5/2	10:50-12:20		BERCEA ADRIAN, 木谷 真紀子, 藤井 達夫	4	5/9	10:50-12:20		BERCEA ADRIAN, 木谷 真紀子, 藤井 達夫	5	5/16	10:50-12:20		BERCEA ADRIAN, 木谷 真紀子, 藤井 達夫	6	5/23	10:50-12:20		BERCEA ADRIAN, 木谷 真紀子, 藤井 達夫	7	5/30	10:50-12:20		BERCEA ADRIAN, 木谷 真紀子, 藤井 達夫	8	6/6	10:50-12:20		BERCEA ADRIAN, 木谷 真紀子, 藤井 達夫	9	6/13	10:50-12:20		BERCEA ADRIAN, 木谷 真紀子, 藤井 達夫	10	6/20	10:50-12:20		BERCEA ADRIAN, 木谷 真紀子, 藤井 達夫	11	6/27	10:50-12:20		BERCEA ADRIAN, 木谷 真紀子, 藤井 達夫	12	7/4	10:50-12:20		BERCEA ADRIAN, 木谷 真紀子, 藤井 達夫	13	7/11	10:50-12:20		BERCEA ADRIAN, 木谷 真紀子, 藤井 達夫	14	7/18	10:50-12:20		BERCEA ADRIAN, 木谷 真紀子, 藤井 達夫
回	日付	時刻	講義室	担当教員																																																																												
1	4/18	10:50-12:20		BERCEA ADRIAN, 木谷 真紀子, 藤井 達夫																																																																												
2	4/25	10:50-12:20		BERCEA ADRIAN, 木谷 真紀子, 藤井 達夫																																																																												
3	5/2	10:50-12:20		BERCEA ADRIAN, 木谷 真紀子, 藤井 達夫																																																																												
4	5/9	10:50-12:20		BERCEA ADRIAN, 木谷 真紀子, 藤井 達夫																																																																												
5	5/16	10:50-12:20		BERCEA ADRIAN, 木谷 真紀子, 藤井 達夫																																																																												
6	5/23	10:50-12:20		BERCEA ADRIAN, 木谷 真紀子, 藤井 達夫																																																																												
7	5/30	10:50-12:20		BERCEA ADRIAN, 木谷 真紀子, 藤井 達夫																																																																												
8	6/6	10:50-12:20		BERCEA ADRIAN, 木谷 真紀子, 藤井 達夫																																																																												
9	6/13	10:50-12:20		BERCEA ADRIAN, 木谷 真紀子, 藤井 達夫																																																																												
10	6/20	10:50-12:20		BERCEA ADRIAN, 木谷 真紀子, 藤井 達夫																																																																												
11	6/27	10:50-12:20		BERCEA ADRIAN, 木谷 真紀子, 藤井 達夫																																																																												
12	7/4	10:50-12:20		BERCEA ADRIAN, 木谷 真紀子, 藤井 達夫																																																																												
13	7/11	10:50-12:20		BERCEA ADRIAN, 木谷 真紀子, 藤井 達夫																																																																												
14	7/18	10:50-12:20		BERCEA ADRIAN, 木谷 真紀子, 藤井 達夫																																																																												

15	7/25	10:50-12:20	BERCEA ADRIAN, 木谷 真紀子, 藤井 達夫
授業方法			
リーディング、発表、グループディスカッションなどを交え、講義を進める			
授業内容			
第1回 ガイダンス Orientation			
第2回 Introduction. Freeters and NEETs			
第3回 Low Birth Rate			
第4回 Working Poor. Net Café Refugee			
第5回 Loser Dog			
第6回 False Accusation			
第7回 Hikikomori			
第8回 Cults. Choosing a presentation topic			
第9回 Baby Boomers Retire. Narrowing the presentation topic			
第10回 Immigration. Basic presentation instructions			
第11回 Telecommuting. Preparation			
第12回 Buying Organs. Peer sharing and review			
第13回 Surrogate Mothers. Final Presentation (1)			
第14回 Baby Hatch. Final Presentation (2)			
第15回 Eating Disorder. Final feedback and conclusions			
成績評価の方法			
評価:			
授業参加度 35%			
課題・クイズ 35%			
プレゼンテーション 30%			
再評価: 有(レポート)			
成績評価の基準			
「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による			
準備学習等についての具体的な指示			
As a rule, each time students are expected to organize and review their notes, read the text of the next lesson in advance, check the new words and mark any difficult notions they find.			
基本的には毎回ノートを整理し復習すること。テキストを事前に読んで、新しい言葉や解りにくかったところを把握しておくこと。			
教科書			
Paul Stapleton. Keywords for Japan Today『キーワードで読む現代日本』、センゲージ ラーニング、2018年4月。			
他科目との関連			
* Japanese Culture and Society IとIIを両方とも受講できます。ただし、秋学期の授業では前期より少しレベルが高い英語力が求められるため、自信がない方には後期だけの履修は勧めません。 * 英語に関しては英語教員 (Foss 先生) のアドバイスが受けられません。			
履修上の注意事項			
原則3分の2以上出席。授業開始 20 分を過ぎてからの遅刻は一回欠席となる。			

時間割番号	000045			科目ID	LA-113700-Z																																																																																
科目名	Japanese Culture and Society II		科目ID	LA-113700-Z																																																																																	
担当教員	BERCEA ADRIAN[BERCEA Adrian]																																																																																				
開講時期	2022 年度後期	対象年次	1	単位数	2																																																																																
実務経験のある教員による授業																																																																																					
曜日・時間: 月曜 2 限																																																																																					
<p>受講資格:</p> <p>受講者に望まれる英語能力</p> <p>CEFR B1 以上 (TOEIC600/TOEFLiBT60/英検準一級)。スコアは目安です。最初の授業で相談に応じるので、申し出てください。</p> <p>科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 日本の文化・社会を国際社会の中で理解し、発信できる力を身につける</p>																																																																																					
<p>授業の目的、概要等</p> <p>Japanese Culture and Society II explores concepts important in understanding Japanese society with its foundation and dynamics. A broad variety of topics such as identity and homogeneity, family system and working style will be investigated in order for the students to be able to access more theoretical sources and be able to discuss and debate them. Materials from mediums such as social media, television or film will be provided to generate more discussion on specific topics.</p> <p>Japanese Culture and Society では、外国から見た日本の文化・社会の様々な側面を紹介します。春学期の Japanese Culture and Society I ではキーワードや主要表現を使った方法で、現在の日本について英語で自分の意見を述べる能力を身につけます。秋学期の Japanese Culture and Society II では歴史的な背景や人類学的な側面などを視野に入れながら、より理論的にディスカッションを深めていきます。</p> <p>* 本授業は基本的に英語で行い、学生に英語の発言による積極的な参加が認められます。分かりにくい点や質問には、補助的に日本語による説明を加えます。受講者に望まれる英語能力を確認ください。初回授業時の相談も可能です。</p>																																																																																					
<p>授業の到達目標</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 日本文化社会に対する新しい洞察を獲得する。 2. 批判的思考力や分析能力を育成する。 3. 日本文化社会に関するディスカッションやプレゼンテーションを通じて英語によるコミュニケーション能力を強化する。 																																																																																					
<p>授業計画</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>講義室</th> <th>担当教員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td>10/3</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>BERCEA ADRIAN, 木谷 真紀子, 藤井 達夫</td></tr> <tr><td>2</td><td>10/10</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>BERCEA ADRIAN, 木谷 真紀子, 藤井 達夫</td></tr> <tr><td>3</td><td>10/17</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>BERCEA ADRIAN, 木谷 真紀子, 藤井 達夫</td></tr> <tr><td>4</td><td>10/24</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>BERCEA ADRIAN, 木谷 真紀子, 藤井 達夫</td></tr> <tr><td>5</td><td>10/31</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>BERCEA ADRIAN, 木谷 真紀子, 藤井 達夫</td></tr> <tr><td>6</td><td>11/7</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>BERCEA ADRIAN, 木谷 真紀子, 藤井 達夫</td></tr> <tr><td>7</td><td>11/14</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>BERCEA ADRIAN, 木谷 真紀子, 藤井 達夫</td></tr> <tr><td>8</td><td>11/21</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>BERCEA ADRIAN, 木谷 真紀子, 藤井 達夫</td></tr> <tr><td>9</td><td>11/28</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>BERCEA ADRIAN, 木谷 真紀子, 藤井 達夫</td></tr> <tr><td>10</td><td>12/5</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>BERCEA ADRIAN, 木谷 真紀子, 藤井 達夫</td></tr> <tr><td>11</td><td>12/12</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>BERCEA ADRIAN, 木谷 真紀子, 藤井 達夫</td></tr> <tr><td>12</td><td>12/19</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>BERCEA ADRIAN, 木谷 真紀子, 藤井 達夫</td></tr> <tr><td>13</td><td>1/16</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>BERCEA ADRIAN, 木谷 真紀子, 藤井 達夫</td></tr> <tr><td>14</td><td>1/23</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>BERCEA ADRIAN, 木谷 真紀子, 藤井 達夫</td></tr> <tr><td>15</td><td>1/30</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>BERCEA ADRIAN, 木谷 真紀子, 藤井 達夫</td></tr> </tbody> </table>						回	日付	時刻	講義室	担当教員	1	10/3	10:50-12:20		BERCEA ADRIAN, 木谷 真紀子, 藤井 達夫	2	10/10	10:50-12:20		BERCEA ADRIAN, 木谷 真紀子, 藤井 達夫	3	10/17	10:50-12:20		BERCEA ADRIAN, 木谷 真紀子, 藤井 達夫	4	10/24	10:50-12:20		BERCEA ADRIAN, 木谷 真紀子, 藤井 達夫	5	10/31	10:50-12:20		BERCEA ADRIAN, 木谷 真紀子, 藤井 達夫	6	11/7	10:50-12:20		BERCEA ADRIAN, 木谷 真紀子, 藤井 達夫	7	11/14	10:50-12:20		BERCEA ADRIAN, 木谷 真紀子, 藤井 達夫	8	11/21	10:50-12:20		BERCEA ADRIAN, 木谷 真紀子, 藤井 達夫	9	11/28	10:50-12:20		BERCEA ADRIAN, 木谷 真紀子, 藤井 達夫	10	12/5	10:50-12:20		BERCEA ADRIAN, 木谷 真紀子, 藤井 達夫	11	12/12	10:50-12:20		BERCEA ADRIAN, 木谷 真紀子, 藤井 達夫	12	12/19	10:50-12:20		BERCEA ADRIAN, 木谷 真紀子, 藤井 達夫	13	1/16	10:50-12:20		BERCEA ADRIAN, 木谷 真紀子, 藤井 達夫	14	1/23	10:50-12:20		BERCEA ADRIAN, 木谷 真紀子, 藤井 達夫	15	1/30	10:50-12:20		BERCEA ADRIAN, 木谷 真紀子, 藤井 達夫
回	日付	時刻	講義室	担当教員																																																																																	
1	10/3	10:50-12:20		BERCEA ADRIAN, 木谷 真紀子, 藤井 達夫																																																																																	
2	10/10	10:50-12:20		BERCEA ADRIAN, 木谷 真紀子, 藤井 達夫																																																																																	
3	10/17	10:50-12:20		BERCEA ADRIAN, 木谷 真紀子, 藤井 達夫																																																																																	
4	10/24	10:50-12:20		BERCEA ADRIAN, 木谷 真紀子, 藤井 達夫																																																																																	
5	10/31	10:50-12:20		BERCEA ADRIAN, 木谷 真紀子, 藤井 達夫																																																																																	
6	11/7	10:50-12:20		BERCEA ADRIAN, 木谷 真紀子, 藤井 達夫																																																																																	
7	11/14	10:50-12:20		BERCEA ADRIAN, 木谷 真紀子, 藤井 達夫																																																																																	
8	11/21	10:50-12:20		BERCEA ADRIAN, 木谷 真紀子, 藤井 達夫																																																																																	
9	11/28	10:50-12:20		BERCEA ADRIAN, 木谷 真紀子, 藤井 達夫																																																																																	
10	12/5	10:50-12:20		BERCEA ADRIAN, 木谷 真紀子, 藤井 達夫																																																																																	
11	12/12	10:50-12:20		BERCEA ADRIAN, 木谷 真紀子, 藤井 達夫																																																																																	
12	12/19	10:50-12:20		BERCEA ADRIAN, 木谷 真紀子, 藤井 達夫																																																																																	
13	1/16	10:50-12:20		BERCEA ADRIAN, 木谷 真紀子, 藤井 達夫																																																																																	
14	1/23	10:50-12:20		BERCEA ADRIAN, 木谷 真紀子, 藤井 達夫																																																																																	
15	1/30	10:50-12:20		BERCEA ADRIAN, 木谷 真紀子, 藤井 達夫																																																																																	

<p>授業方法</p> <p>リーディング、発表、グループディスカッションなどを交え、講義を進める</p>
<p>授業内容</p> <p>第1回 ガイダンス Orientation 第2回 Introduction. Aimai (1). “Me” and “We” Cultures 第3回 Aimai (2). Intimacy and Integrity 第4回 Choice Topic 1 第5回 Choice Topic 2 第6回 Choice Topic 3 第7回 Choice Topic 4 第8回 Choice Topic 5. Choosing an essay topic 第9回 Choice Topic 6. Finding a research question 第10回 Choice Topic 7. Searching materials and taking notes 第11回 Choice Topic 8. Organizing materials 第12回 Choice Topic 9. Writing 第13回 Choice Topic 10. Sharing information 第14回 Peer review. Final editing and submission 第15回 Final feedback and conclusions</p>
<p>成績評価の方法</p> <p>評価: 授業参加度 35 % 課題・クイズ 35 % エッセイ 30% 再評価: 有(レポート)</p>
<p>成績評価の基準</p> <p>「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による</p>
<p>準備学習等についての具体的な指示</p> <p>As a rule, each time students are expected to organize and review their notes, read the text of the next lesson in advance, check the new words and mark any difficult notions they find.</p> <p>基本的には毎回ノートを整理し復習すること。テキストを事前に読んで、新しい言葉や解りにくかったところを把握しておくこと。</p>
<p>教科書</p> <p>Roger Davies, Osamu Ikeno. The Japanese mind: understanding contemporary culture. Tuttle Publishing, 2002年4月。</p>
<p>参考書</p> <p>Joy Hendry. Understanding Japanese Society. RoutledgeCurzon, 2019年7月。</p>
<p>他科目との関連</p> <p>* Japanese Culture and Society IとIIを両方とも受講できます。ただし、秋学期の授業では前期より少しレベルが高い英語力が求められるため、自信がない方には後期のみの履修は勧めません。 * 英語に関しては英語教員 (Foss 先生) のアドバイスが受けられません。</p>
<p>履修上の注意事項</p> <p>原則3分の2以上出席。授業開始 20 分を過ぎてからの遅刻は一回欠席となる。</p>

時間割番号	000046			科目ID	LA-113904-Z
科目名	人文社会科学特論(グローバル社会とバイリンガリズム)			科目ID	LA-113904-Z
担当教員	宮崎 幸江[MIYAZAKI Sachie]				
開講時期	2022 年度前期	対象年次	1	単位数	2
実務経験のある教員による授業					
曜日・時間: 月曜2限 1-1) 言語を通じた人間の創造的営みを理解する 1-4) 異なる空間の文化を理解する 1-9) 市民としての倫理観を養う					
授業の目的、概要等 講義では、グローバル化に伴う日本社会の変容について、移民という視点から考える。親に帯同して日本で成長する移民の子どもは言語文化的多様性を持つバイリンガルであるが、日本語力や学力、進路において、さまざまな教育課題に遭遇する。移民の子どもを通して日本社会のあり方について考察するとともに、逆の視点から、海外在住の日本人の子どもの言語教育環境や母語保持に関する理論と実践を学ぶ。授業では、アクティブ・ラーニングの形式をとり、事例についてのディスカッションやグループプレゼンテーションを行う。本コースの目的は、将来医療従事者として、多様な背景を持つ人々に対して、彼らの文化や生活、ニーズを理解する力と市民としての倫理観、及びコミュニケーションを図る力を涵養することである。					
授業の到達目標 1. バイリンガルの言語発達やアイデンティティ形成と教育環境の関係について理解を深める。 2. 言語文化的多様性を持つ人々のニーズを理解し、コミュニケーションが図れるようになる。 3. 医療従事者として、多文化共生社会の実現に向けた行動がとれるようになる					
授業計画					
回	日付	時刻	講義室	担当教員	
1	4/18	10:50-12:20		宮崎 幸江 木谷 真紀子 藤井 達夫	
2	4/25	10:50-12:20		宮崎 幸江 木谷 真紀子 藤井 達夫	
3	5/2	10:50-12:20		宮崎 幸江 木谷 真紀子 藤井 達夫	
4	5/9	10:50-12:20		宮崎 幸江 木谷 真紀子 藤井 達夫	
5	5/16	10:50-12:20		宮崎 幸江 木谷 真紀子 藤井 達夫	
6	5/23	10:50-12:20		宮崎 幸江 木谷 真紀子 藤井 達夫	
7	5/30	10:50-12:20		宮崎 幸江 木谷 真紀子 藤井 達夫	
8	6/6	10:50-12:20		宮崎 幸江 木谷 真紀子 藤井 達夫	
9	6/13	10:50-12:20		宮崎 幸江 木谷 真紀子 藤井 達夫	
10	6/20	10:50-12:20		宮崎 幸江 木谷 真紀子 藤井 達夫	
11	6/27	10:50-12:20		宮崎 幸江 木谷 真紀子 藤井 達夫	
12	7/4	10:50-12:20		宮崎 幸江 木谷 真紀子 藤井 達夫	
13	7/11	10:50-12:20		宮崎 幸江 木谷 真紀子 藤井 達夫	
14	7/18	10:50-12:20		宮崎 幸江 木谷 真紀子 藤井 達夫	
15	7/25	10:50-12:20		宮崎 幸江 木谷 真紀子 藤井 達夫	
授業方法 講義、ディスカッション、質疑応答、発表					
授業内容 1. ガイダンス 2. グローバル化と在日外国人 3. 日本で育つ外国につながる子どもたち 4. 外国につながる子どもの教育環境					

<p>5. 在外日本人の子どもと言語</p> <p>6. バイリンガルの言語発達</p> <p>7. バイリンガルを育てる</p> <p>8. ことばとアイデンティティ</p> <p>9. ファミリーランゲージポリシー(グループ発表)</p> <p>10. ろうの言語生活</p> <p>11. ろうの言語とアイデンティティ</p> <p>12. やさしい日本語</p> <p>13. 日本人特権を考える</p> <p>14. 研究発表</p> <p>15. 多文化共生と医療(グループ発表)</p>
<p>成績評価の方法</p> <p>評価： レポート 40%、授業への参加度（リアクションペーパー含む）30% 積極的な授業参加と、リアクションペーパーに授業のポイントが反映されているかを重視する。発表・課題 30% 課題については期限を守り課題の問いに答えられているかを重視する。</p> <p>再評価： 有（試験もしくはレポート）</p>
<p>成績評価の基準</p> <p>「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による</p>
<p>準備学習等についての具体的な指示</p> <p>授業の前に教科書の該当箇所を読んでおくことを推奨する。また、教科書の一部については事前に与えられた質問の答えやコメントを書いて提出すること(学期に数回)が求められる。</p>
<p>教科書</p> <p>『にほんでいきる—外国からきた子どもたち』毎日新聞取材班(編)明石書店(2020)</p> <p>『言葉と教育 海外で子どもを育てている保護者の皆様へ』中島和子 海外子女教育振興財団(2020)</p>
<p>参考書</p> <p>『完全改訂版 バイリンガル教育の方法—12歳までに親と教師ができること』中島和子 アルク(2016)</p> <p>『ろうと手話 やさしい日本語開く未来』吉開章 筑摩書房(2021)</p>
<p>履修上の注意事項</p> <p>原則的に3分の2以上の出席を期末考査・再考査等の受験資格とする。</p>
<p>備考</p> <p>グローバル化、言語文化的多様性、バイリンガル、母語、継承語、アイデンティティ、多文化共生</p>

時間割番号	000035																																																																				
科目名	人文社会科学特論(科学主義と「社会」)	科目ID																																																																			
担当教員	徳久 美生子																																																																				
開講時期	2022 年度後期	対象年次	1	単位数	2																																																																
実務経験のある教員による授業																																																																					
<p>曜日・時間:金曜 2限</p> <p>科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):</p> <p>1-2)社会制度や仕組みについての基本を理解する</p> <p>1-5)人間の思考の枠組みを知り、自らの思考を振り返る</p> <p>1-10)現代社会における科学の責任を意識できるようになる</p>																																																																					
<p>授業の目的、概要等</p> <p>西洋諸国を中心とする近代社会では、科学の進歩とともに「社会」も発展すると考えられてきました。実際に、西洋諸国をお手本に近代化を遂げた日本でも、医学の進歩は命を助け、科学技術の進化は暮らしを便利にしてきました。</p> <p>けれども社会的分断が進行し、世界各地で戦禍が止まず、環境問題に直面している現在、「社会」の発展やそれを支える科学的知識の効果には疑念が抱かれています。それに伴い、科学的知識を用いて社会現象や社会問題を解明しようとしてきた試みも、科学の進歩による「社会」の発展を目的とはできなくなっています。</p> <p>この授業では、はじめに科学主義的な物の見方や考え方が、「社会」の分析に与えた影響と問題点を確認します。そして社会現象や社会問題が、科学的知識を用いてどのように分析されてきたのかを、学びます。特に原爆をはじめとする核兵器問題、原発問題、公害問題については、受講生の皆さんと一緒に考え、科学的知識を用いた研究の限界や問題点を明らかにしていきます。授業で得られた知識と思考をもとに、環境問題や社会的分断など未来へとつながる課題の解決に必要とされる科学的知識や分析のあり方を構想します。</p>																																																																					
<p>授業の到達目標</p> <p>社会現象や社会問題に関する科学的知識に基づいた研究に関する知見を学び(知識の取得)、科学的知見を用いた社会現象や社会問題の分析の問題点や課題を自分の言葉で考えることができ(思考力の取得)、さらに未来へとつながる課題の解決に必要とされる科学的知識や研究のあり方を構想できるようになる(構想力の取得)ことを目指します。</p>																																																																					
<p>授業計画</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>講義室</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td>10/7</td><td>10:50-12:20</td><td></td></tr> <tr><td>2</td><td>10/14</td><td>10:50-12:20</td><td></td></tr> <tr><td>3</td><td>10/21</td><td>10:50-12:20</td><td></td></tr> <tr><td>4</td><td>10/28</td><td>10:50-12:20</td><td></td></tr> <tr><td>5</td><td>11/4</td><td>10:50-12:20</td><td></td></tr> <tr><td>6</td><td>11/11</td><td>10:50-12:20</td><td></td></tr> <tr><td>7</td><td>11/18</td><td>10:50-12:20</td><td></td></tr> <tr><td>8</td><td>11/25</td><td>10:50-12:20</td><td></td></tr> <tr><td>9</td><td>12/2</td><td>10:50-12:20</td><td></td></tr> <tr><td>10</td><td>12/9</td><td>10:50-12:20</td><td></td></tr> <tr><td>11</td><td>12/16</td><td>10:50-12:20</td><td></td></tr> <tr><td>12</td><td>1/6</td><td>10:50-12:20</td><td></td></tr> <tr><td>13</td><td>1/13</td><td>10:50-12:20</td><td></td></tr> <tr><td>14</td><td>1/20</td><td>10:50-12:20</td><td></td></tr> <tr><td>15</td><td>1/27</td><td>10:50-12:20</td><td></td></tr> </tbody> </table>						回	日付	時刻	講義室	1	10/7	10:50-12:20		2	10/14	10:50-12:20		3	10/21	10:50-12:20		4	10/28	10:50-12:20		5	11/4	10:50-12:20		6	11/11	10:50-12:20		7	11/18	10:50-12:20		8	11/25	10:50-12:20		9	12/2	10:50-12:20		10	12/9	10:50-12:20		11	12/16	10:50-12:20		12	1/6	10:50-12:20		13	1/13	10:50-12:20		14	1/20	10:50-12:20		15	1/27	10:50-12:20	
回	日付	時刻	講義室																																																																		
1	10/7	10:50-12:20																																																																			
2	10/14	10:50-12:20																																																																			
3	10/21	10:50-12:20																																																																			
4	10/28	10:50-12:20																																																																			
5	11/4	10:50-12:20																																																																			
6	11/11	10:50-12:20																																																																			
7	11/18	10:50-12:20																																																																			
8	11/25	10:50-12:20																																																																			
9	12/2	10:50-12:20																																																																			
10	12/9	10:50-12:20																																																																			
11	12/16	10:50-12:20																																																																			
12	1/6	10:50-12:20																																																																			
13	1/13	10:50-12:20																																																																			
14	1/20	10:50-12:20																																																																			
15	1/27	10:50-12:20																																																																			
<p>授業方法</p> <p>講義形式にて行いますが、アクティブラーニングの形式を取り入れます。授業終了時にコメントペーパーを提出してもらう時間を設け、</p>																																																																					

翌週フィードバックすることで質問、意見に対応します。また核兵器問題、放射能問題、公害問題に関しては授業中に意見を出してもらう予定です。

授業内容

1. 科学主義と「社会」こととはじめ
2. 「社会」の科学的分析における課題
3. 社会問題の科学的分析1
4. 社会問題の科学的分析2
5. 社会問題の科学的分析3
6. 核兵器と核被害の問題を考える1
7. 核兵器と核被害の問題を考える2
8. 核兵器と核被害の問題を考える3
9. 原発問題を考える1
10. 原発問題を考える2
11. 公害問題を考える1
12. 公害問題を考える2
13. 性の多様性と未来社会について考える
14. 社会的分断について考える
15. まとめ

成績評価の方法

評価：試験 %・レポート 60%・その他(コメントペーパーの提出などの平常点)40 %
再評価：有(レポート)

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習等についての具体的な指示

予習は特に必要ありません。興味を持った社会問題について、授業内で紹介する文献を読むなどして思考を深めてください。

教科書

指定なし

毎回プリントを配布します

参考書

ケン・プラマー『21世紀を生きるための社会学の教科書』ちくま学芸文庫(=2021)

山本義隆『近代日本 150年—科学技術総力戦体制の破綻』岩波新書(2018)

マックス・ヴェーバー『プロテスタンティズムの倫理と資本主義の精神』岩波文庫(=1995)他授業内で随時紹介していきます。

履修上の注意事項

単位取得には、3分の2以上の出席が必要です。

備考

キーワード：近代社会・核被害・原発事故・公害・社会的分断

時間割番号	000036			科目ID	LA-113902-Z																																																																																											
科目名	人文社会科学特論(高齢者福祉論)			科目ID	LA-113902-Z																																																																																											
担当教員	BAO MIN[BAO Min]																																																																																															
開講時期	2022 年度後期	対象年次	1	単位数	2																																																																																											
実務経験のある教員による授業																																																																																																
<p>曜日・時間: 月曜 2 限 対象学科: 全学科 募集人数: 30人 科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 1-2)</p>																																																																																																
<p>授業の目的、概要等 少子高齢化社会の到来により、「高齢化」は今日の社会生活にとって不可避な課題となっている。「高齢化」への取り組みは、現在、そして今後も社会のあり方を左右する重要な社会的・国家的な課題となっている。少子高齢社会は、高齢者のみならず、すべての世代に関係するテーマである。本講義では、すべての世代が支え合う社会づくりを目指す視点から、若い世代が取り組むべき課題と対応について検討することを目的としている。</p>																																																																																																
<p>授業の到達目標 日本における少子高齢化の状況を学び、また、高齢者の実像を知るとともに高齢者福祉の制度・政策の意義と課題を理解することができるようになる。</p>																																																																																																
<p>授業計画</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>講義室</th> <th>授業題目</th> <th>授業内容</th> <th>担当教員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>10/3</td> <td>10:50-12:20</td> <td>7 番教室</td> <td>第 1 回 高齢者理解の視点①</td> <td>高齢者の社会的理解 高齢者の身体的理解</td> <td>BAO MIN</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>10/10</td> <td>10:50-12:20</td> <td>7 番教室</td> <td>第 2 回 高齢者理解の視点②</td> <td>高齢者の精神的理解 高齢者の総合的理解</td> <td>BAO MIN</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>10/17</td> <td>10:50-12:20</td> <td>7 番教室</td> <td>第 3 回 少子高齢社会と高齢者①</td> <td>少子高齢社会と社会問題</td> <td>BAO MIN</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>10/24</td> <td>10:50-12:20</td> <td>7 番教室</td> <td>第 4 回 少子高齢社会と高齢者②</td> <td>高齢者を取り巻く諸問題</td> <td>BAO MIN</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>10/31</td> <td>10:50-12:20</td> <td>7 番教室</td> <td>第 5 回 高齢者保健福祉の発展と法体系</td> <td>高齢者保健福祉制度の発展 高齢者保健福祉の法体系</td> <td>BAO MIN</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>11/7</td> <td>10:50-12:20</td> <td>7 番教室</td> <td>第 6 回 高齢者支援の関係法規①</td> <td>老人福祉法</td> <td>BAO MIN</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>11/14</td> <td>10:50-12:20</td> <td>7 番教室</td> <td>第 7 回 高齢者支援の関係法規②</td> <td>高齢者の医療の確保に関する法律</td> <td>BAO MIN</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>11/21</td> <td>10:50-12:20</td> <td>7 番教室</td> <td>第 8 回 高齢者支援の関係法規③</td> <td>高齢者虐待防止法、その他の関係法規(バリアフリー新法、高齢者の居住の安定確保に関する法律、権利擁護と成年後見制度、社会参加と生涯学習)</td> <td>BAO MIN</td> </tr> <tr> <td>9</td> <td>11/28</td> <td>10:50-12:20</td> <td>7 番教室</td> <td>第 9 回 介護保険法の概要①</td> <td>介護保険法制度の全体像、介護保険制度の目的、保険財政</td> <td>BAO MIN</td> </tr> <tr> <td>10</td> <td>12/5</td> <td>10:50-12:20</td> <td>7 番教室</td> <td>第 10 回 介護保険法の概要②</td> <td>保険者と被保険者要介護認定の仕組みとプロセス、保険給付、介護報酬、地域支援事業</td> <td>BAO MIN</td> </tr> <tr> <td>11</td> <td>12/12</td> <td>10:50-12:20</td> <td>7 番教室</td> <td>第 11 回 介護保険法の概要③</td> <td>介護保険事業計画、苦情処理、審査請求 介護保険の最近の動向</td> <td>BAO MIN</td> </tr> <tr> <td>12</td> <td>12/19</td> <td>10:50-12:20</td> <td>7 番教室</td> <td>第 12 回 介護保険のサ</td> <td>介護保険サービスにおける専門</td> <td>BAO MIN</td> </tr> </tbody> </table>						回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	1	10/3	10:50-12:20	7 番教室	第 1 回 高齢者理解の視点①	高齢者の社会的理解 高齢者の身体的理解	BAO MIN	2	10/10	10:50-12:20	7 番教室	第 2 回 高齢者理解の視点②	高齢者の精神的理解 高齢者の総合的理解	BAO MIN	3	10/17	10:50-12:20	7 番教室	第 3 回 少子高齢社会と高齢者①	少子高齢社会と社会問題	BAO MIN	4	10/24	10:50-12:20	7 番教室	第 4 回 少子高齢社会と高齢者②	高齢者を取り巻く諸問題	BAO MIN	5	10/31	10:50-12:20	7 番教室	第 5 回 高齢者保健福祉の発展と法体系	高齢者保健福祉制度の発展 高齢者保健福祉の法体系	BAO MIN	6	11/7	10:50-12:20	7 番教室	第 6 回 高齢者支援の関係法規①	老人福祉法	BAO MIN	7	11/14	10:50-12:20	7 番教室	第 7 回 高齢者支援の関係法規②	高齢者の医療の確保に関する法律	BAO MIN	8	11/21	10:50-12:20	7 番教室	第 8 回 高齢者支援の関係法規③	高齢者虐待防止法、その他の関係法規(バリアフリー新法、高齢者の居住の安定確保に関する法律、権利擁護と成年後見制度、社会参加と生涯学習)	BAO MIN	9	11/28	10:50-12:20	7 番教室	第 9 回 介護保険法の概要①	介護保険法制度の全体像、介護保険制度の目的、保険財政	BAO MIN	10	12/5	10:50-12:20	7 番教室	第 10 回 介護保険法の概要②	保険者と被保険者要介護認定の仕組みとプロセス、保険給付、介護報酬、地域支援事業	BAO MIN	11	12/12	10:50-12:20	7 番教室	第 11 回 介護保険法の概要③	介護保険事業計画、苦情処理、審査請求 介護保険の最近の動向	BAO MIN	12	12/19	10:50-12:20	7 番教室	第 12 回 介護保険のサ	介護保険サービスにおける専門	BAO MIN
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員																																																																																										
1	10/3	10:50-12:20	7 番教室	第 1 回 高齢者理解の視点①	高齢者の社会的理解 高齢者の身体的理解	BAO MIN																																																																																										
2	10/10	10:50-12:20	7 番教室	第 2 回 高齢者理解の視点②	高齢者の精神的理解 高齢者の総合的理解	BAO MIN																																																																																										
3	10/17	10:50-12:20	7 番教室	第 3 回 少子高齢社会と高齢者①	少子高齢社会と社会問題	BAO MIN																																																																																										
4	10/24	10:50-12:20	7 番教室	第 4 回 少子高齢社会と高齢者②	高齢者を取り巻く諸問題	BAO MIN																																																																																										
5	10/31	10:50-12:20	7 番教室	第 5 回 高齢者保健福祉の発展と法体系	高齢者保健福祉制度の発展 高齢者保健福祉の法体系	BAO MIN																																																																																										
6	11/7	10:50-12:20	7 番教室	第 6 回 高齢者支援の関係法規①	老人福祉法	BAO MIN																																																																																										
7	11/14	10:50-12:20	7 番教室	第 7 回 高齢者支援の関係法規②	高齢者の医療の確保に関する法律	BAO MIN																																																																																										
8	11/21	10:50-12:20	7 番教室	第 8 回 高齢者支援の関係法規③	高齢者虐待防止法、その他の関係法規(バリアフリー新法、高齢者の居住の安定確保に関する法律、権利擁護と成年後見制度、社会参加と生涯学習)	BAO MIN																																																																																										
9	11/28	10:50-12:20	7 番教室	第 9 回 介護保険法の概要①	介護保険法制度の全体像、介護保険制度の目的、保険財政	BAO MIN																																																																																										
10	12/5	10:50-12:20	7 番教室	第 10 回 介護保険法の概要②	保険者と被保険者要介護認定の仕組みとプロセス、保険給付、介護報酬、地域支援事業	BAO MIN																																																																																										
11	12/12	10:50-12:20	7 番教室	第 11 回 介護保険法の概要③	介護保険事業計画、苦情処理、審査請求 介護保険の最近の動向	BAO MIN																																																																																										
12	12/19	10:50-12:20	7 番教室	第 12 回 介護保険のサ	介護保険サービスにおける専門	BAO MIN																																																																																										

				ービス体系①	職の役割と実際 居宅サービス	
13	1/16	10:50-12:20	7 番教室	第 13 回 介護保険のサービス体系②	施設サービス	BAO MIN
14	1/23	10:50-12:20	7 番教室	第 14 回 介護保険のサービス体系③	地域密着型サービス、介護予防サービス	BAO MIN
15	1/30	10:50-12:20	7 番教室	第 15 回 まとめ	近未来の高齢者福祉課題	BAO MIN

授業方法

講義形式で授業を行い、毎回授業終了時に、各自が新しく学んだことや疑問に思ったことを小レポートとして提出し、フィードバックする。授業内容に対し、課題発表やミニ討論をすることがある。

授業内容

第 1 回 高齢者理解の視点①

高齢者の社会的理解

高齢者の身体的理解

第 2 回 高齢者理解の視点②

高齢者の精神的理解

高齢者の総合的理解

第 3 回 少子高齢社会と高齢者①

少子高齢社会と社会問題

第 4 回 少子高齢社会と高齢者②

高齢者を取り巻く諸問題

第 5 回 高齢者保健福祉の発展と法体系

高齢者保健福祉制度の発展

高齢者保健福祉の法体系

第 6 回 高齢者支援の関係法規①

老人福祉法

第 7 回 高齢者支援の関係法規②

高齢者の医療の確保に関する法律

第 8 回 高齢者支援の関係法規③

高齢者虐待防止法、その他の関係法規(バリアフリー新法、高齢者の居住の安定確保に関する法律、権利擁護と成年後見制度、社会参加と生涯学習)

第 9 回 介護保険法の概要①

介護保険法制度の全体像、介護保険制度の目的、保険財政

第 10 回 介護保険法の概要②

保険者と被保険者要介護認定の仕組みとプロセス、保険給付、介護報酬、地域支援事業

第 11 回 介護保険法の概要③

介護保険事業計画、苦情処理、審査請求 介護保険の最近の動向

第 12 回 介護保険のサービス体系①

介護保険サービスにおける専門職の役割と実際 居宅サービス

第 13 回 介護保険のサービス体系②

施設サービス

第 14 回 介護保険のサービス体系③

地域密着型サービス、介護予防サービス

第 15 回 まとめ

近未来の高齢者福祉課題

<p>成績評価の方法</p> <p>レポート:60%・その他(授業参加、授業中課題)40%</p> <p>再評価: 無</p>
<p>成績評価の基準</p> <p>「東京医科歯科大学全額共通科目履修規則 別表2」による</p>
<p>準備学習等についての具体的な指示</p> <p>予習は特に必要ありませんが、復習をしっかり行ってください。その際、授業中配布した資料と教科書の内容を確認し理解を深めてください。</p>
<p>試験の受験資格</p> <p>①原則3分の2以上出席、②授業中の課題を提出すること。</p>
<p>教科書</p> <p>高齢者福祉／一般社団法人日本ソーシャルワーク教育学校連盟 編集,一般社団法人日本ソーシャルワーク教育学校連盟,中央法規出版, 2021-01-20</p>
<p>参考書</p> <p>新型コロナウイルス感染症と社会保障／厚生労働省編,厚生労働省,日経印刷, 2021</p> <p>社会福祉小六法 2022[令和4年版]／ミネルヴァ書房編集部 編集,ミネルヴァ書房編集部,ミネルヴァ書房, 2022-04-05</p> <p>開講後に随時提示する。</p>
<p>履修上の注意事項</p> <p>出欠は、出欠管理システムの記録と教員が取る出欠を併用して管理します。</p>

時間割番号	000051			科目ID	LA-113900-L																				
科目名	生物学入門																								
担当教員	時本 楠緒子, 塚田 岳大[TOKIMOTO Naoko, TSUKADA Takehiro]																								
開講時期	2022 年度前期	対象年次	1	単位数	1																				
実務経験のある教員による授業																									
<p>火曜日 1~4 時限(4/20・4/27・5/11)</p> <p>対象学科: 医学科・歯学科・検査技術学専攻</p> <p>受講資格: 入学試験で生物学を選択しなかった者</p> <p>科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 4-1</p>																									
<p>授業の目的、概要等</p> <ul style="list-style-type: none"> この授業では、入学試験で生物学を選択しなかった学生を対象とする。 生物の形態及び機能の単位である「細胞」に関する基本的な知識を習得することと、代謝と遺伝の基本的な仕組みを理解し、説明できることを目的とする。 																									
<p>授業の到達目標</p> <ol style="list-style-type: none"> 細胞の基本構造と細胞内小器官の機能を説明することができる。 生物を構成する物質の種類と機能を説明することができる。 代謝と遺伝の仕組みを説明することができる。 																									
<p>授業計画</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>講義室</th> <th>担当教員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1-4</td> <td>4/19</td> <td>09:10-16:20</td> <td></td> <td>時本 楠緒子, 塚田 岳大, 伊藤 正則</td> </tr> <tr> <td>5-8</td> <td>4/26</td> <td>09:10-16:20</td> <td></td> <td>時本 楠緒子, 塚田 岳大, 伊藤 正則</td> </tr> <tr> <td>9-12</td> <td>5/10</td> <td>09:10-16:20</td> <td></td> <td>時本 楠緒子, 塚田 岳大, 伊藤 正則</td> </tr> </tbody> </table>						回	日付	時刻	講義室	担当教員	1-4	4/19	09:10-16:20		時本 楠緒子, 塚田 岳大, 伊藤 正則	5-8	4/26	09:10-16:20		時本 楠緒子, 塚田 岳大, 伊藤 正則	9-12	5/10	09:10-16:20		時本 楠緒子, 塚田 岳大, 伊藤 正則
回	日付	時刻	講義室	担当教員																					
1-4	4/19	09:10-16:20		時本 楠緒子, 塚田 岳大, 伊藤 正則																					
5-8	4/26	09:10-16:20		時本 楠緒子, 塚田 岳大, 伊藤 正則																					
9-12	5/10	09:10-16:20		時本 楠緒子, 塚田 岳大, 伊藤 正則																					
<p>授業方法</p> <ul style="list-style-type: none"> 講義形式 アクティブラーニングを取り入れる。具体的には、毎週の講義の最後に翌週の講義で取り扱う項目を示すので、その内容について各自で自己学習を行うこと。翌週の最初にその内容についての小テストを行う。リアクションペーパーに疑問点を書かせる。これらをその後の講義で詳しく解説する。 																									
<p>授業内容</p> <p>第 1 回 個体の階層構造、基本的な組織、細胞膜</p> <p>第 2 回 核と細胞内小器官</p> <p>第 3 回 細胞骨格、細胞接着</p> <p>第 4 回 生体の構成元素、タンパク質</p> <p>第 5 回 核酸、糖質、脂質</p> <p>第 6 回 酵素反応</p> <p>第 7 回 筋収縮</p> <p>第 8 回 糖質の代謝</p> <p>第 9 回 脂質の代謝、タンパク質の代謝</p> <p>第 10 回 染色体、メンデルの法則</p> <p>第 11 回 細胞周期、体細胞分裂</p> <p>第 12 回 DNA の複製、細胞の死</p>																									
<p>成績評価の方法</p> <p>知識の習得を主な目的とするため、以下の方法で評価する。</p> <p>評価 : 試験 85% ・ レポート 0% ・ その他(小テスト) 15%</p> <p>再評価 : 有(再試験)</p>																									
<p>成績評価の基準</p>																									

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による。

準備学習等についての具体的な指示

アクティブラーニング:有

・毎週の講義の最後に翌週の講義で取り扱う項目を示すので、その内容について各自で自己学習を行うこと。

・翌週の最初にその内容についての小テストを行い、その後の講義で詳しく解説する。

教科書

第3版 はじめの一步の生化学・分子生物学／前野正夫・磯川桂太郎:羊土社, 2016

からだの構造と機能／A. シェフラー, S. シュミット編,Schäffler, Arne,Roeckl-Schmidt, Sabine,三木, 明德,井上, 貴央,:西村書店, 1998

参考書

「Essential 細胞生物学 第3版」 Bruce Alberts 他 著 中村桂子 他 訳 南江堂 2012

履修上の注意事項

期末試験の受験資格は「東京医科歯科大学試験規則」による。

時間割番号	000052			科目ID	LA-114000-Z																				
科目名	化学入門																								
担当教員	奈良 雅之・勝又 敏行[NARA MASAYUKI, KATSUMATA TOSHIYUKI]																								
開講時期	2022 年度前期	対象年次	1	単位数	1																				
実務経験のある教員による授業																									
<p>・曜日・時間: 火曜日 1~4 限(前期分割 A)</p> <p>・対象学科: 医学科・歯学科・保健衛生学科検査技術学専攻</p> <p>・受験資格: 入学試験で化学を選択しなかった者</p> <p>・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 別表4-1)入学時に不足している基礎学力を一定レベルに引き上げる</p>																									
<p>授業の目的、概要等</p> <p>入試で化学を選択しなかったものに対し、高校卒業レベルの化学の知識を身につけるために開講する。高校レベルの化学を理解していないと、学部レベルはもちろん、大学教養レベルの化学(一般化学、化学実験など)すらついていけなくなるであろう。この授業では物理化学の基礎の他に、無機化学、有機化学の基礎も扱う。</p>																									
<p>授業の到達目標</p> <p>高校卒業レベルの化学の知識を身につけ、大学での講義に対応できるようになることを目標とする。 高校の教科書および指定した教科書の章末問題を自力で8割解けるレベルが、GPA における「B」に相当する。</p>																									
<p>授業計画</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>講義室</th> <th>担当教員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1-4</td> <td>4/19</td> <td>09:10-16:20</td> <td></td> <td>奈良 雅之・勝又 敏行</td> </tr> <tr> <td>5-8</td> <td>4/26</td> <td>09:10-16:20</td> <td></td> <td>奈良 雅之・勝又 敏行</td> </tr> <tr> <td>9-12</td> <td>5/10</td> <td>09:10-16:20</td> <td></td> <td>奈良 雅之・勝又 敏行</td> </tr> </tbody> </table>						回	日付	時刻	講義室	担当教員	1-4	4/19	09:10-16:20		奈良 雅之・勝又 敏行	5-8	4/26	09:10-16:20		奈良 雅之・勝又 敏行	9-12	5/10	09:10-16:20		奈良 雅之・勝又 敏行
回	日付	時刻	講義室	担当教員																					
1-4	4/19	09:10-16:20		奈良 雅之・勝又 敏行																					
5-8	4/26	09:10-16:20		奈良 雅之・勝又 敏行																					
9-12	5/10	09:10-16:20		奈良 雅之・勝又 敏行																					
<p>授業方法</p> <p>講義を基本とするが、適宜演習問題を解くことによりアクティブラーニングを取り入れる</p>																									
<p>授業内容</p> <ol style="list-style-type: none"> 物質の構造 物質の構成要素: 元素・単体・化合物、原子と分子 化学結合、化学量論: 原子量・分子量・式量、化学反応式 物質の状態 物質の状態変化と粒子の運動: 物質の三態・蒸発熱・融解熱と沸点・融点、 気体: 気体定数と状態方程式・理想気体と実在気体、 溶液: 溶液の濃度と溶解度・希薄溶液の性質、コロイド 物質の変化 化学反応と熱: 熱化学方程式・結合エネルギー、 酸と塩基の反応: 水素イオン濃度と pH・中和反応と中和滴定、 酸化還元反応、化学反応の速さと化学平衡 単体と無機化合物 周期表と元素の分類、典型元素、遷移元素 有機化合物 有機化合物の特徴と分類、脂肪族炭化水素、酸素を含む脂肪族化合物、芳香族化合物 高分子化合物 高分子化合物の特徴と分類、天然物高分子化合物、合成高分子化合物 																									
<p>成績評価の方法</p> <p>評価: 試験 100%・レポート 0%</p> <p>再評価: 有(再評価方法: 再試験)</p> <p>化学の基礎を理解することが重要なので、試験のみによる評価を行う。</p>																									
<p>成績評価の基準</p> <p>「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による</p>																									
<p>準備学習等についての具体的な指示</p>																									

<p>テキストを事前に読んで、解り難かったところを把握しておいてください。</p>
<p>試験の受験資格 定期試験・再試験の受験資格:原則3分の2以上出席</p>
<p>教科書 系統看護学講座／奈良 雅之, 医学書院, 2018</p>
<p>参考書 化学／岡崎三代, 奈良雅之, 永井裕, 中澤泰男 著, 医歯薬出版, 2005 化学入門／下井守, 村田滋 著, 東京化学同人, 2013 化学入門／大野公一 [ほか]著, 共立出版, 1997 一般化学／Jerome L.Rosenberg, Lawrence M.Epstein 共著, 一國雅巳 訳, オーム社, 1995 大学生のための例題で学ぶ化学入門／大野公一, 村田滋, 錦織紳一 著, 大野, 公一, 1945-, 村田, 滋, 1956-, 錦織, 紳一, 1953-, 共立出版, 2005</p>
<p>他科目との関連 一般化学を理解するためのバックグラウンドとなる。</p>
<p>連絡先(メールアドレス) 勝又 敏行 katsumata.las@tmd.ac.jp 奈良 雅之 nara.las@tmd.ac.jp</p>
<p>オフィスアワー 勝又 敏行:毎週金曜日 12:00-13:00 ヒポクラテス 2 階化学実験準備室 奈良 雅之:毎週水曜日 PM.0:00-PM.2:00, 毎週金曜日 PM.0:00-PM.1:00 ヒポクラテス 4 階</p>

時間割番号	000053			科目ID	LA-114100-Z																				
科目名	物理学入門																								
担当教員	檜枝 光憲[HIEDA MITSUNORI]																								
開講時期	2022 年度前期	対象年次	1	単位数	1																				
実務経験のある教員による授業																									
<p>対象学科: 医学科・歯学科・検査技術学専攻 受講資格: 入試で化学・生物を選択した人 科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 別表4-1)</p>																									
<p>授業の目的、概要等 物理学は自然科学の中でもっとも基礎的な学問のひとつです。物理学の基礎知識および物理学的なものの見方は、高度なテクノロジーに基づく理工系や医療分野には必須の概念です。本講義は、入試で物理を選択しなかった人(高校で物理を選択しなかった人や物理は履修したが理解が不十分な人)向けに物理学入門講義を行います。</p>																									
<p>授業の到達目標 以下の項目について高校卒業程度の知識を獲得し理解する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 位置、速度、加速度の概念を理解する 2. 物体が受ける力を見つけ、運動方程式を立式できるようになる 3. 仕事、力学的エネルギー、運動量の概念を理解する 4. 電気と磁気の基本を理解する 5. 波動の基礎概念を理解する 																									
<p>授業計画</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>講義室</th> <th>担当教員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1-4</td> <td>4/19</td> <td>09:10-16:20</td> <td></td> <td>檜枝 光憲</td> </tr> <tr> <td>5-8</td> <td>4/26</td> <td>09:10-16:20</td> <td></td> <td>檜枝 光憲</td> </tr> <tr> <td>9-12</td> <td>5/10</td> <td>09:10-16:20</td> <td></td> <td>檜枝 光憲</td> </tr> </tbody> </table>						回	日付	時刻	講義室	担当教員	1-4	4/19	09:10-16:20		檜枝 光憲	5-8	4/26	09:10-16:20		檜枝 光憲	9-12	5/10	09:10-16:20		檜枝 光憲
回	日付	時刻	講義室	担当教員																					
1-4	4/19	09:10-16:20		檜枝 光憲																					
5-8	4/26	09:10-16:20		檜枝 光憲																					
9-12	5/10	09:10-16:20		檜枝 光憲																					
<p>授業方法 講義とアクティブ・ラーニング(演習、議論、etc)</p>																									
<p>授業内容 第1-2回 カと運動1、小テスト1(もしくはレポート) 第3-4回 カと運動2、小テスト2(もしくはレポート) 第5-6回 カと運動3、小テスト3(もしくはレポート) 第7-8回 電気と磁気、小テスト4(もしくはレポート) 第9-10回 電気と磁気2、小テスト5(もしくはレポート) 第11回 波動、小テスト6(もしくはレポート) 第12回 試験</p>																									
<p>成績評価の方法 授業の到達目標の達成度を主にテストもしくはレポートで評価する。</p> <p>評価 : 試験 50%、その他 : 小テスト(もしくはレポート) 50% 再評価: 有</p>																									
<p>成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による</p>																									
<p>準備学習等についての具体的な指示 毎週実施する小テストに備えて授業の予習と復習を十分に行うこと。</p>																									
<p>試験の受験資格 原則 2/3 以上の出席が必要</p>																									

<p>教科書</p> <p>これだけはおさえない物理／金原粲 編著,曾江久美, 筑紫格, 馬場茂, 藤井恵子 著:実教出版, 2009</p>
<p>参考書</p> <p>もういちど読む数研の高校物理／数研出版編集部 編:数研出版, 2012</p> <p>もういちど読む数研の高校物理／数研出版編集部 編:数研出版, 2012</p>
<p>履修上の注意事項</p> <p>原則 2/3 以上の出席が必要。 出欠管理システムより、教員自身が取ると出欠を優先させる。</p>
<p>備考</p> <p>2021 年度から新しい担当者へ交代した。</p>

時間割番号	000054				
科目名	統計学(Ⅱ)	科目ID	LA-114601-Z		
担当教員	中口 悦史[NAKAGUCHI ETSUSHI]				
開講時期	2022 年度後期	対象年次	1		
実務経験のある教員による授業					
対象学科:保健衛生学科・口腔保健学科(クラス分けは別途指示する) 科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):2-1), 2-3), 4-4)					
授業の目的、概要等					
科学の言語とも言われる統計学の基礎と、その理解に必要な確率論の初歩を学び、統計学に対する理解を深める。高校までに学習した確率・統計から展開して、統計的仮説検定の基礎までを学ぶ。					
授業の到達目標					
<ul style="list-style-type: none"> ・基本的な確率計算を行うことができる。 ・仮説検定の問題に応じて適切な検定法を選択し、結果を正しく解釈することができる。 ・次の場合は高い評価を与える。 <ul style="list-style-type: none"> ・連続型確率分布の平均や分散、量的データの標本の平均や不偏分散を正しく計算できる。 ・仮説検定において、仮説を適切に設定し、計算を実行し、確率分布表・検定表を用いて正しく判定できる。 					
授業計画					
回	日付	時刻	講義室	授業内容	担当教員
1	10/6	09:10-10:40		母集団と標本、データの尺度	中口 悦史
2	10/13	09:10-10:40		図表化と数値要約	中口 悦史
3	10/20	09:10-10:40		確率の概念と条件付き確率	中口 悦史
4	10/27	09:10-10:40		確率変数と確率分布、代表的なモデル確率分布	中口 悦史
5	11/10	09:10-10:40		正規分布の特徴	中口 悦史
6	11/17	09:10-10:40		中心極限定理と標本分布	中口 悦史
7	11/24	09:10-10:40		総合演習1(中間テスト)	中口 悦史
8	12/1	09:10-10:40		統計的推定(母数と推定量、点推定、区間推定)	中口 悦史
9	12/8	09:10-10:40		仮説検定の考え方、帰無仮説と過誤、有意水準	中口 悦史
10	12/15	09:10-10:40		2値データの検定(比率の差の検定、分割表の検定)	中口 悦史
11	12/22	09:10-10:40		多値カテゴリーデータの検定(分割表の検定)	中口 悦史
12	1/5	09:10-10:40		1群のパラメトリック検定(z検定、t検定)	中口 悦史
13	1/12	09:10-10:40		2群のパラメトリック検定(z検定、t検定、等分散(F)検定)	中口 悦史
14	1/19	09:10-10:40		ノンパラメトリック検定(順位検定)、3群以上の検定、多変量解析の概要	中口 悦史
15	1/26	09:10-10:40		総合演習2(期末テスト)	中口 悦史
授業方法					
全授業日程を原則として対面で行う。状況に応じて同期ハイブリッド(対面+遠隔)型授業または同期遠隔型授業に切り替える。各回の前半はスライドによる講義、後半は演習を行う。演習では、4~5名ずつのグループに分かれて問題を解き、その後全体で答え合わせを行う。各回の学習内容を、ノート提出によって確認する。					

<p>授業内容</p> <p>第1章 母集団と標本データ(全数調査と標本調査, データの尺度と数量化, 図表化と数値要約)</p> <p>第2章 確率と確率分布(確率の概念と条件付き確率, 確率変数と確率分布, 代表的なモデル確率分布, 正規分布の特徴, 中心極限定理と標本分布)</p> <p>第3章 統計的推定(母数と推定量, 点推定, 区間推定)</p> <p>第4章 統計的仮説検定(仮説検定の考え方, 2値データの検定, 非順序多値データの検定, パラメトリック検定, ノンパラメトリック検定, その他の検定・統計手法)</p>
<p>成績評価の方法</p> <p>評価 : 試験 75% ・ レポート 0% ・ その他(ノート提出) 25%</p> <p>再評価: 有(筆記試験または CBT)</p> <p>試験とノート提出を総合して成績評価を行う。ノート提出により授業中の参加度や理解度を測る。試験は, 授業の理解度や定理・公式等の運用の適切さ, 論証の精確さ等を総合的に評価するために, 中間テストと期末テストの2回に分けて, いずれも対面の筆記試験または同期遠隔型の CBT によって行う。</p> <p>「試験の受験資格」を満たし, かつ, 2回のテストを受験したもののみを, 評価の対象とする。</p>
<p>成績評価の基準</p> <p>「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則別表 2」による</p>
<p>準備学習等についての具体的な指示</p> <p>各回の講義スライドを授業前日までに LMS に掲載するので, できるだけ予習し, 関連する高校数学の内容をよく復習しておくこと。授業後には演習も復習することが望ましい。必要に応じて下記参考書等により各自演習すること。</p>
<p>試験の受験資格</p> <p>授業回数の3分の2回以上の出席, ならびに出席回のノート提出。</p>
<p>教科書</p> <p>やさしい保健統計学 = Health statistics made simple / 縣俊彦著, 県, 俊彦, 南江堂, 2019</p>
<p>参考書</p> <p>統計学入門 / 東京大学教養学部統計学教室 編, 東京大学, 東京大学出版会, 1991</p> <p>確率と統計の基礎・基本 / 馬場裕 著, 馬場, 裕, 1953-, 牧野書店, 2002</p> <p>入門統計学 : 検定から多変量解析・実験計画法まで / 栗原伸一 著, 栗原, 伸一, 1966-, オーム社, 2011</p> <p>統計学演習 / 村上正康, 安田正實共著, 村上, 正康, 安田, 正實, 培風館, 1989</p> <p>人文・社会科学の統計学 / 東京大学教養学部統計学教室 編, 東京大学教養学部統計学教室, 東京大学出版会, 1994</p> <p>自然科学の統計学 / 東京大学教養学部統計学教室 編, 東京大学教養学部統計学教室, 東京大学出版会, 1992</p> <p>データサイエンスの基礎 / 濱田悦生著, 濱田, 悦生, 狩野, 裕(1958-), 講談社サイエンティフィク, 講談社, 2019-08</p> <p>統計モデルと推測 = Statistical Model and Inference / 松井秀俊, 小泉和之 著, 竹村彰通 編, 松井, 秀俊, 小泉, 和之, 竹村, 彰通, 1952-, 講談社, 2019</p> <p>数学/統計学 / 宇田川誠一, 井川俊彦, 谷口哲也著, 宇田川, 誠一, 井川, 俊彦, 谷口, 哲也, 医歯薬出版, 2019</p> <p>その他, 医療統計・保健統計関係の参考書:</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市原清志『バイオサイエンスの統計学』南江堂, 1990年, ISBN 9784524220366 ・奥田千恵子『親切的な医療統計学』金芳堂, 2019年, ISBN 9784765317740 ・遠藤和男『保健統計学テキスト : 医療技術・健康科学・看護系のための』考古堂書店, 2010年, ISBN: 9784874997468 ・古川俊之 監修, 丹後俊郎 著『医学への統計学』朝倉書店, 2013年, ISBN 9784254128321
<p>履修上の注意事項</p> <p>出欠確認は, 教室の出欠管理システムと遠隔授業の参加者リスト, および各回のノート提出による確認を併用する。</p>
<p>連絡先(メールアドレス)</p> <p>nakaguti.las@tmd.ac.jp</p>
<p>オフィスアワー</p> <p>前期: 水 17:30—18:30, 後期: 木 12:30—14:30 / 電子メールによる質問等は随時受け付け</p>

時間割番号	000055				
科目名	統計学(β)	科目ID	LA-114602-Z		
担当教員	中口 悦史[NAKAGUCHI ETSUSHI]				
開講時期	2022 年度後期	対象年次	1		
実務経験のある教員による授業					
対象学科:保健衛生学科・口腔保健学科(クラス分けは別途指示する) 科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):2-1), 2-3), 4-4)					
授業の目的、概要等 科学の言語とも言われる統計学の基礎と、その理解に必要な確率論の初歩を学び、統計学に対する理解を深める。高校までに学習した確率・統計から展開して、統計的仮説検定の基礎までを学ぶ。					
授業の到達目標 <ul style="list-style-type: none"> ・基本的な確率計算を行うことができる。 ・仮説検定の問題に応じて適切な検定法を選択し、結果を正しく解釈することができる。 ・次の場合は高い評価を与える。 <ul style="list-style-type: none"> ・連続型確率分布の平均や分散、量的データの標本の平均や不偏分散を正しく計算できる。 ・仮説検定において、仮説を適切に設定し、計算を実行し、確率分布表・検定表を用いて正しく判定できる。 					
授業計画					
回	日付	時刻	講義室	授業内容	担当教員
1	10/6	10:50-12:20		母集団と標本、データの尺度	中口 悦史
2	10/13	10:50-12:20		図表化と数値要約	中口 悦史
3	10/20	10:50-12:20		確率の概念と条件付き確率	中口 悦史
4	10/27	10:50-12:20		確率変数と確率分布、代表的なモデル確率分布	中口 悦史
5	11/10	10:50-12:20		正規分布の特徴	中口 悦史
6	11/17	10:50-12:20		中心極限定理と標本分布	中口 悦史
7	11/24	10:50-12:20		総合演習1(中間テスト)	中口 悦史
8	12/1	10:50-12:20		統計的推定(母数と推定量、点推定、区間推定)	中口 悦史
9	12/8	10:50-12:20		仮説検定の考え方、帰無仮説と過誤、有意水準	中口 悦史
10	12/15	10:50-12:20		2値データの検定(比率の差の検定、分割表の検定)	中口 悦史
11	12/22	10:50-12:20		多値カテゴリーデータの検定(分割表の検定)	中口 悦史
12	1/5	10:50-12:20		1群のパラメトリック検定(z検定、t検定)	中口 悦史
13	1/12	10:50-12:20		2群のパラメトリック検定(z検定、t検定、等分散(F)検定)	中口 悦史
14	1/19	10:50-12:20		ノンパラメトリック検定(順位検定)、3群以上の検定、多変量解析の概要	中口 悦史
15	1/26	10:50-12:20		総合演習2(期末テスト)	中口 悦史
授業方法 全授業日程を原則として対面で行う。状況に応じて同期ハイブリッド(対面+遠隔)型授業または同期遠隔型授業に切り替える。各回の前半はスライドによる講義、後半は演習を行う。演習では、4~5名ずつのグループに分かれて問題を解き、その後全体で答え合わせを行う。各回の学習内容を、ノート提出によって確認する。					

<p>授業内容</p> <p>第1章 母集団と標本データ(全数調査と標本調査, データの尺度と数量化, 図表化と数値要約)</p> <p>第2章 確率と確率分布(確率の概念と条件付き確率, 確率変数と確率分布, 代表的なモデル確率分布, 正規分布の特徴, 中心極限定理と標本分布)</p> <p>第3章 統計的推定(母数と推定量, 点推定, 区間推定)</p> <p>第4章 統計的仮説検定(仮説検定の考え方, 2値データの検定, 非順序多値データの検定, パラメトリック検定, ノンパラメトリック検定, その他の検定・統計手法)</p>
<p>成績評価の方法</p> <p>評価 : 試験 75% ・ レポート 0% ・ その他(ノート提出) 25%</p> <p>再評価: 有(筆記試験または CBT)</p> <p>試験とノート提出を総合して成績評価を行う。ノート提出により授業中の参加度や理解度を測る。試験は, 授業の理解度や定理・公式等の運用の適切さ, 論証の精確さ等を総合的に評価するために, 中間テストと期末テストの2回に分けて, いずれも対面の筆記試験または同期遠隔型の CBT によって行う。</p> <p>「試験の受験資格」を満たし, かつ, 2回のテストを受験したもののみを, 評価の対象とする。</p>
<p>成績評価の基準</p> <p>「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則別表 2」による</p>
<p>準備学習等についての具体的な指示</p> <p>各回の講義スライドを授業前日までに LMS に掲載するので, できるだけ予習し, 関連する高校数学の内容をよく復習しておくこと。授業後には演習も復習することが望ましい。必要に応じて下記参考書等により各自演習すること。</p>
<p>試験の受験資格</p> <p>授業回数の3分の2以上の出席, ならびに出席回のノート提出。</p>
<p>教科書</p> <p>やさしい保健統計学 = Health statistics made simple / 縣俊彦著, 県, 俊彦, 南江堂, 2019</p>
<p>参考書</p> <p>統計学入門 / 東京大学教養学部統計学教室 編, 東京大学, 東京大学出版会, 1991</p> <p>確率と統計の基礎・基本 / 馬場裕 著, 馬場, 裕, 1953-, 牧野書店, 2002</p> <p>入門統計学 : 検定から多変量解析・実験計画法まで / 栗原伸一 著, 栗原, 伸一, 1966-, オーム社, 2011</p> <p>統計学演習 / 村上正康, 安田正實共著, 村上, 正康, 安田, 正實, 培風館, 1989</p> <p>人文・社会科学の統計学 / 東京大学教養学部統計学教室 編, 東京大学教養学部統計学教室, 東京大学出版会, 1994</p> <p>自然科学の統計学 / 東京大学教養学部統計学教室 編, 東京大学教養学部統計学教室, 東京大学出版会, 1992</p> <p>データサイエンスの基礎 / 濱田悦生著, 濱田, 悦生, 狩野, 裕(1958-), 講談社サイエンティフィク, 講談社, 2019-08</p> <p>統計モデルと推測 = Statistical Model and Inference / 松井秀俊, 小泉和之 著, 竹村彰通 編, 松井, 秀俊, 小泉, 和之, 竹村, 彰通, 1952-, 講談社, 2019</p> <p>数学/統計学 / 宇田川誠一, 井川俊彦, 谷口哲也著, 宇田川, 誠一, 井川, 俊彦, 谷口, 哲也, 医歯薬出版, 2019</p> <p>その他, 医療統計・保健統計関係の参考書:</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市原清志『バイオサイエンスの統計学』南江堂, 1990年, ISBN 9784524220366 ・奥田千恵子『親切的な医療統計学』金芳堂, 2019年, ISBN 9784765317740 ・遠藤和男『保健統計学テキスト : 医療技術・健康科学・看護系のための』考古堂書店, 2010年, ISBN: 9784874997468 ・古川俊之 監修, 丹後俊郎 著『医学への統計学』朝倉書店, 2013年, ISBN 9784254128321
<p>履修上の注意事項</p> <p>出欠確認は, 教室の出欠管理システムと遠隔授業の参加者リスト, および各回のノート提出による確認を併用する。</p>
<p>連絡先(メールアドレス)</p> <p>nakaguti.las@tmd.ac.jp</p>
<p>オフィスアワー</p> <p>前期: 水 17:30—18:30, 後期: 木 12:30—14:30 / 電子メールによる質問等は随時受け付け</p>

時間割番号	000056																																																																																																																
科目名	化学(一般化学)M	科目ID	LA-114701-Z																																																																																																														
担当教員	奈良 雅之, 澤野 頼子[NARA MASAYUKI, SAWANO YORIKO]																																																																																																																
開講時期	2022 年度通年	対象年次	1																																																																																																														
実務経験のある教員による授業																																																																																																																	
<ul style="list-style-type: none"> ・曜日・時間:水曜4限 ・対象学科:医学科 ・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): <ul style="list-style-type: none"> 別表 2-1)自然現象を科学的に探究するための方法論を知る 別表 4-2)生命現象・自然現象について総合的に理解するための基礎学力・思考力を身につける 																																																																																																																	
授業の目的、概要等 分子生物学、生物物理学の発展により、生命現象を物理、化学的な視点、考え方で理解できるようになりました。医学の分野においても病気や治療法を分子レベルで捉えられるようになり、その知識は膨大になりつつあります。医学の道を選んだ皆さんは、物理、化学の基礎をしっかり身につけていないと、生命現象を分子レベルで理解できないばかりか、医学の先端的な研究からも取り残されてしまうことになるでしょう。本科目では、大学の一般教養課程で当然学んでおくべき「化学(物理化学&有機化学)」を学習します。																																																																																																																	
授業の到達目標 授業で扱った範囲に関連した「最新臨床検査学講座 化学」「化学熱力学」「ハート 基礎有機化学」等の各章を理解し、かつその演習問題に取り組むことができる。 授業に関連した演習問題で7割理解できるレベルが GPA における「B」に相当する。																																																																																																																	
授業計画 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>講義室</th> <th>担当教員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td>4/13</td><td>14:20-15:50</td><td></td><td>奈良 雅之 澤野 頼子</td></tr> <tr><td>2</td><td>4/20</td><td>14:20-15:50</td><td></td><td>奈良 雅之 澤野 頼子</td></tr> <tr><td>3</td><td>4/27</td><td>14:20-15:50</td><td></td><td>奈良 雅之 澤野 頼子</td></tr> <tr><td>4</td><td>5/11</td><td>14:20-15:50</td><td></td><td>奈良 雅之 澤野 頼子</td></tr> <tr><td>5</td><td>5/18</td><td>14:20-15:50</td><td></td><td>奈良 雅之 澤野 頼子</td></tr> <tr><td>6</td><td>5/25</td><td>14:20-15:50</td><td></td><td>奈良 雅之 澤野 頼子</td></tr> <tr><td>7</td><td>6/1</td><td>14:20-15:50</td><td></td><td>奈良 雅之 澤野 頼子</td></tr> <tr><td>8</td><td>6/8</td><td>14:20-15:50</td><td></td><td>奈良 雅之 澤野 頼子</td></tr> <tr><td>9</td><td>6/15</td><td>14:20-15:50</td><td></td><td>奈良 雅之 澤野 頼子</td></tr> <tr><td>10</td><td>6/22</td><td>14:20-15:50</td><td></td><td>奈良 雅之 澤野 頼子</td></tr> <tr><td>11</td><td>6/29</td><td>14:20-15:50</td><td></td><td>奈良 雅之 澤野 頼子</td></tr> <tr><td>12</td><td>7/6</td><td>14:20-15:50</td><td></td><td>奈良 雅之 澤野 頼子</td></tr> <tr><td>13</td><td>7/13</td><td>14:20-15:50</td><td></td><td>奈良 雅之 澤野 頼子</td></tr> <tr><td>14</td><td>7/20</td><td>14:20-15:50</td><td></td><td>奈良 雅之 澤野 頼子</td></tr> <tr><td>15</td><td>7/27</td><td>14:20-15:50</td><td></td><td>奈良 雅之 澤野 頼子</td></tr> <tr><td>16</td><td>10/5</td><td>14:20-15:50</td><td></td><td>奈良 雅之 澤野 頼子</td></tr> <tr><td>17</td><td>10/19</td><td>14:20-15:50</td><td></td><td>奈良 雅之 澤野 頼子</td></tr> <tr><td>18</td><td>10/26</td><td>14:20-15:50</td><td></td><td>奈良 雅之 澤野 頼子</td></tr> <tr><td>19</td><td>11/2</td><td>14:20-15:50</td><td></td><td>奈良 雅之 澤野 頼子</td></tr> <tr><td>20</td><td>11/9</td><td>14:20-15:50</td><td></td><td>奈良 雅之 澤野 頼子</td></tr> <tr><td>21</td><td>11/16</td><td>14:20-15:50</td><td></td><td>奈良 雅之 澤野 頼子</td></tr> </tbody> </table>				回	日付	時刻	講義室	担当教員	1	4/13	14:20-15:50		奈良 雅之 澤野 頼子	2	4/20	14:20-15:50		奈良 雅之 澤野 頼子	3	4/27	14:20-15:50		奈良 雅之 澤野 頼子	4	5/11	14:20-15:50		奈良 雅之 澤野 頼子	5	5/18	14:20-15:50		奈良 雅之 澤野 頼子	6	5/25	14:20-15:50		奈良 雅之 澤野 頼子	7	6/1	14:20-15:50		奈良 雅之 澤野 頼子	8	6/8	14:20-15:50		奈良 雅之 澤野 頼子	9	6/15	14:20-15:50		奈良 雅之 澤野 頼子	10	6/22	14:20-15:50		奈良 雅之 澤野 頼子	11	6/29	14:20-15:50		奈良 雅之 澤野 頼子	12	7/6	14:20-15:50		奈良 雅之 澤野 頼子	13	7/13	14:20-15:50		奈良 雅之 澤野 頼子	14	7/20	14:20-15:50		奈良 雅之 澤野 頼子	15	7/27	14:20-15:50		奈良 雅之 澤野 頼子	16	10/5	14:20-15:50		奈良 雅之 澤野 頼子	17	10/19	14:20-15:50		奈良 雅之 澤野 頼子	18	10/26	14:20-15:50		奈良 雅之 澤野 頼子	19	11/2	14:20-15:50		奈良 雅之 澤野 頼子	20	11/9	14:20-15:50		奈良 雅之 澤野 頼子	21	11/16	14:20-15:50		奈良 雅之 澤野 頼子
回	日付	時刻	講義室	担当教員																																																																																																													
1	4/13	14:20-15:50		奈良 雅之 澤野 頼子																																																																																																													
2	4/20	14:20-15:50		奈良 雅之 澤野 頼子																																																																																																													
3	4/27	14:20-15:50		奈良 雅之 澤野 頼子																																																																																																													
4	5/11	14:20-15:50		奈良 雅之 澤野 頼子																																																																																																													
5	5/18	14:20-15:50		奈良 雅之 澤野 頼子																																																																																																													
6	5/25	14:20-15:50		奈良 雅之 澤野 頼子																																																																																																													
7	6/1	14:20-15:50		奈良 雅之 澤野 頼子																																																																																																													
8	6/8	14:20-15:50		奈良 雅之 澤野 頼子																																																																																																													
9	6/15	14:20-15:50		奈良 雅之 澤野 頼子																																																																																																													
10	6/22	14:20-15:50		奈良 雅之 澤野 頼子																																																																																																													
11	6/29	14:20-15:50		奈良 雅之 澤野 頼子																																																																																																													
12	7/6	14:20-15:50		奈良 雅之 澤野 頼子																																																																																																													
13	7/13	14:20-15:50		奈良 雅之 澤野 頼子																																																																																																													
14	7/20	14:20-15:50		奈良 雅之 澤野 頼子																																																																																																													
15	7/27	14:20-15:50		奈良 雅之 澤野 頼子																																																																																																													
16	10/5	14:20-15:50		奈良 雅之 澤野 頼子																																																																																																													
17	10/19	14:20-15:50		奈良 雅之 澤野 頼子																																																																																																													
18	10/26	14:20-15:50		奈良 雅之 澤野 頼子																																																																																																													
19	11/2	14:20-15:50		奈良 雅之 澤野 頼子																																																																																																													
20	11/9	14:20-15:50		奈良 雅之 澤野 頼子																																																																																																													
21	11/16	14:20-15:50		奈良 雅之 澤野 頼子																																																																																																													

22	11/30	14:20-15:50		奈良 雅之 澤野 頼子
23	12/7	14:20-15:50		奈良 雅之 澤野 頼子
24	12/14	14:20-15:50		奈良 雅之 澤野 頼子
25	12/21	14:20-15:50		奈良 雅之 澤野 頼子
26	1/4	14:20-15:50		奈良 雅之 澤野 頼子
27	1/11	14:20-15:50		奈良 雅之 澤野 頼子
28	1/18	14:20-15:50		奈良 雅之 澤野 頼子
29	1/25	14:20-15:50		奈良 雅之 澤野 頼子
30	2/1	14:20-15:50		奈良 雅之 澤野 頼子

授業方法

講義形式で授業を行うが、適宜、演習を解いたり、解答を説明させたりして、アクティブラーニングを取り入れて行う。

授業内容

前期では化学実験の内容を理論的に理解できるように「酸塩基平衡」を取り上げます。続いてマクロのものの見方を学習するために「化学熱力学(熱力学の原理)」を取り上げます。後期は複雑な生命現象(生体内反応)の原理を理解するために「有機化学」を取り上げ、有機化合物の基本的な構造・性質・反応性に関して学びます。次に、「化学熱力学(熱力学の平衡への応用)」を取り上げます。後期の定期試験期間に学力認定試験を行います。

前期

第1回 ガイダンス 学力認定試験体験版 第2回 単位:SIと非SI
 第3回 酸塩基平衡の取扱い方(1) 第4回 酸塩基平衡の取扱い方(2)
 第5回 酸塩基平衡の取扱い方(3) 第6回 酸塩基平衡の取扱い方(4)
 第7回 熱力学の原理(1) 第8回 熱力学の原理(2)
 第9回 熱力学の原理(3) 第10回 熱力学の原理(4)
 第11回 熱力学の原理(5) 第12回 熱力学の原理(6)
 第13回 熱力学の原理(7) 第14回 熱力学の原理(8)
 第15回 熱力学の原理(9)

後期

第1回 結合と構造異性 第2回 アルカンとシクロアルカン
 第3回 アルケンとアルキン 第4回 芳香族化合物
 第5回 立体異性 第6回 有機ハロゲン化合物
 第7回 アルコール、フェノール、チオール 第8回 エーテルとエポキシド
 第9回 アルデヒドとケトン 第10回 カルボン酸とその誘導体
 第11回 熱力学の平衡論への応用(1) 第12回 熱力学の平衡論への応用(2)
 第13回 熱力学の平衡論への応用(3) 第14回 熱力学の平衡論への応用(4)
 第15回 熱力学の平衡論への応用(5)

成績評価の方法

評価:試験 100% ・レポート 0%

その他(出席シートの小テスト、コメント等を評価に加味することがある。)

試験は、前期の考査40%、後期の考査40%、学力認定試験20%の総合評価で行う。

ただし、後期の考査を12月中に実施する場合は、前期の考査50%、後期の考査30%、

学力認定試験20%にウエイトを変更する。

再評価:有(再評価方法 前期と後期の内容を合わせた学年末再試験)

化学を理解しているかどうかを評価の対象とするので、主に試験で評価する。

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による
準備学習等についての具体的な指示 予習: 指定された教科書配布資料等で該当する箇所に目を通しておく。 復習: 講義に関係した演習問題を解いて、理解していることを確認する。
試験の受験資格 考査: 前期の考査は3分の2以上出席 後期の考査は3分の2以上出席
構成ユニット 8 番教室および 9 番教室
教科書 最新臨床検査学講座 化学/奈良雅之: 医歯薬出版, 2020 ハート基礎有機化学(三訂版)/H.ハート, L.E.クレーン, D.J.ハート 原著, 秋葉欣哉, 奥彬 訳: 培風館, 2002 化学熱力学/原田 義也: 裳華房, 2012
参考書 一般化学/Jerome L.Rosenberg, Lawrence M.Epstein 共著, 一國雅巳 訳, Rosenberg, Jerome Laib, Epstein, Lawrence M, 一國 雅巳, 1930-, オーム社, 1995 系統看護学講座 化学/奈良 雅之: 医学書院, 2018 マクマリー有機化学(上)/マクマリー/著, 伊東[ショウ]/訳, 児玉三明/訳, 荻野敏夫/訳, 深澤義正/訳, 通元夫/訳: 東京化学同人, 2017 マクマリー有機化学(中)/マクマリー/著, 伊東[ショウ]/訳, 児玉三明/訳, 荻野敏夫/訳, 深澤義正/訳, 通元夫/訳: 東京化学同人, 2017 基礎講座 有機化学/松島 芳隆 著・文・その他, 渡邊 総一郎 著・文・その他, 古荘 義雄 著・文・その他, 松島 芳隆, 渡邊 総一郎, 古荘 義雄: 化学同人, 2022-04-11 参考材料: HGS 分子模型
他科目との関連 化学実験学では「化学実験」の基礎となる理論を取り扱います。
履修上の注意事項 前期、後期いずれも出席3分の2以上を満たさないと、考査の受験資格がなくなります。 前期と後期の考査のうちいずれかを受験放棄した場合は、履修放棄したものとみなして、成績は×になります。
備考 キーワード: 化学実験学、化学熱力学、有機化学
連絡先(メールアドレス) 奈良 雅之:nara.las@tmd.ac.jp 澤野 頼子:sawano.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー 奈良 雅之: 毎週水曜日 PM.0:00-PM.2:00, 毎週金曜日 PM.0:00-PM.1:00 ヒポクラテス 4 階 澤野 頼子: 毎週金曜日 PM.0:00-PM.1:00 ヒポクラテス 4 階

時間割番号	000057			
科目名	化学(一般化学)D	科目ID	LA-114702-Z	
担当教員	奈良 雅之, 澤野 頼子, 渡邊 総一郎[NARA MASAYUKI, SAWANO YORIKO, WATANABE SOICHIRO]			
開講時期	2022 年度通年	対象年次	1	
実務経験のある教員による授業				
<ul style="list-style-type: none"> ・曜日・時間: 月曜3限 ・対象学科: 歯学科 ・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー) 別表 2-1) 自然現象を科学的に探究するための方法論を知る 別表 4-2) 生命現象・自然現象について総合的に理解するための基礎学力・思考力を身につける 				
主な講義場所				
7 番教室				
授業の目的、概要等				
分子生物学、生物物理学の発展により、生命現象を物理、化学的な視点、考え方で理解できるようになりました。歯学の分野においても病気や治療法を分子レベルで捉えられるようになり、その知識は膨大になりつつあります。歯学の道を選んだ皆さんは、物理、化学の基礎をしっかりと身につけていないと、生命現象を分子レベルで理解できないばかりか、歯学の先端的な研究からも取り残されてしまうことになるでしょう。本科目では、大学の一般教養課程で当然学んでおくべき「化学(物理化学&有機化学)」を学習します。				
授業の到達目標				
授業で扱った範囲に関連した「最新臨床検査学講座 化学」「基礎講座 有機化学」「化学熱力学」等の各章を理解し、かつその演習問題に取り組むことができる。				
授業に関連した演習問題で7割理解できるレベルが GPA における「B」に相当する。				
授業計画				
回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	4/18	13:10-14:40		奈良 雅之, 澤野 頼子, 渡邊 総一郎
2	4/25	13:10-14:40		奈良 雅之, 澤野 頼子, 渡邊 総一郎
3	5/2	13:10-14:40		奈良 雅之, 澤野 頼子, 渡邊 総一郎
4	5/9	13:10-14:40		奈良 雅之, 澤野 頼子, 渡邊 総一郎
5	5/16	13:10-14:40		奈良 雅之, 澤野 頼子, 渡邊 総一郎
6	5/23	13:10-14:40		奈良 雅之, 澤野 頼子, 渡邊 総一郎
7	5/30	13:10-14:40		奈良 雅之, 澤野 頼子, 渡邊 総一郎
8	6/6	13:10-14:40		奈良 雅之, 澤野 頼子, 渡邊 総一郎
9	6/13	13:10-14:40		奈良 雅之, 澤野 頼子, 渡邊 総一郎
10	6/20	13:10-14:40		奈良 雅之, 澤野 頼子, 渡邊 総一郎
11	6/27	13:10-14:40		奈良 雅之, 澤野 頼子, 渡邊 総一郎
12	7/4	13:10-14:40		奈良 雅之, 澤野 頼子, 渡邊 総一郎
13	7/11	13:10-14:40		奈良 雅之, 澤野 頼子, 渡邊 総一郎
14	7/18	13:10-14:40		奈良 雅之, 澤野 頼子, 渡邊 総一郎
15	7/25	13:10-14:40		奈良 雅之, 澤野 頼子, 渡邊 総一郎
16	10/3	13:10-14:40		奈良 雅之, 澤野 頼子, 渡邊 総一郎
17	10/10	13:10-14:40		奈良 雅之, 澤野 頼子, 渡邊 総一郎
18	10/17	13:10-14:40		奈良 雅之, 澤野 頼子, 渡邊 総一郎
19	10/24	13:10-14:40		奈良 雅之, 澤野 頼子, 渡邊 総一郎
20	10/31	13:10-14:40		奈良 雅之, 澤野 頼子, 渡邊 総一郎
21	11/7	13:10-14:40		奈良 雅之, 澤野 頼子, 渡邊 総一郎
22	11/14	13:10-14:40		奈良 雅之, 澤野 頼子, 渡邊 総一郎

23	11/21	13:10-14:40		奈良 雅之, 澤野 頼子, 渡邊 総一郎
24	11/28	13:10-14:40		奈良 雅之, 澤野 頼子, 渡邊 総一郎
25	12/5	13:10-14:40		奈良 雅之, 澤野 頼子, 渡邊 総一郎
26	12/12	13:10-14:40		奈良 雅之, 澤野 頼子, 渡邊 総一郎
27	12/19	13:10-14:40		奈良 雅之, 澤野 頼子, 渡邊 総一郎
28	1/16	13:10-14:40		奈良 雅之, 澤野 頼子, 渡邊 総一郎
29	1/23	13:10-14:40		奈良 雅之, 澤野 頼子, 渡邊 総一郎
30	1/30	13:10-14:40		奈良 雅之, 澤野 頼子, 渡邊 総一郎

授業方法

講義形式で授業を行うが、適宜、アクティブラーニング(課題演習や答案の発表など)を取り入れて行う。

授業内容

前期では化学実験の内容を理論的に理解できるように「酸塩基平衡」(化学実験学・分析化学)を取り上げます。続いて、複雑な生命現象(生体内反応)の原理を理解するために「有機化学」を取り上げ、有機化合物の基本的な構造・性質・反応性に関して学びます。後期は「酸塩基平衡」およびマクロのものの見方を学習するために「化学熱力学(熱力学の原理と応用)」を取り上げます。

後期の定期試験期間に学力認定試験を行います。

前期

- 第1回 ガイダンス、学力認定試験体験版 第2回 単位:SI と非 SI
 第3回 原子の電子構造 第4回 酸塩基平衡の取扱い方(1)
 第5回 酸塩基平衡の取扱い方(2) 第6回 有機化学の基礎知識
 第7回 アルカンとシクロアルカン 第8回 有機立体化学
 第9回 アルケンとアルキン 第10回 芳香族化合物
 第11回 有機ハロゲン化合物 第12回 アルコールとフェノール
 第13回 アルデヒドとケトン(1) 第14回 アルデヒドとケトン(2)
 第15回 カルボン酸とその誘導体

後期

- 第1回 熱力学の原理(1) 第2回 熱力学の原理(2)
 第3回 熱力学の原理(3) 第4回 熱力学の原理(4)
 第5回 熱力学の原理(5) 第6回 熱力学の原理(6)
 第7回 酸塩基平衡の取扱い方(3) 第8回 酸塩基平衡の取扱い方(4)
 第9回 酸塩基平衡の取扱い方(5) 第10回 酸塩基平衡の取扱い方(6)
 第11回 熱力学の平衡論への応用(1) 第12回 熱力学の平衡論への応用(2)
 第13回 熱力学の平衡論への応用(3) 第14回 熱力学の平衡論への応用(4)
 第15回 熱力学の平衡論への応用(5)

成績評価の方法

評価:試験 100% ・レポート 0%

その他(出席シートの小テスト、コメント等を評価に加味することがある。)

試験は、前期の考査40%、後期の考査40%、学力認定試験20%で総合評価する。

再評価:有(再評価方法 前期と後期の内容を合わせた学年末再試験)

化学を理解しているかどうかを評価の対象とするので、主に試験で評価する。

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習等についての具体的な指示

予習: 指定された教科書、配布資料(WebClass に掲載)等で該当する箇所を目を通しておく。

復習: 講義に関係した演習問題を解いて、理解していることを確認する。

試験の受験資格

考査: 前期の考査は3分の2以上出席

後期の考査は3分の2以上出席
教科書 最新臨床検査学講座 化学／奈良雅之：医歯薬出版，2020 化学熱力学／原田義也著：裳華房，2012 基礎講座 有機化学／松島 芳隆 著・文・その他、渡邊 総一郎 著・文・その他、古庄 義雄 著・文・その他、松島 芳隆、渡邊 総一郎、古庄 義雄：化学同人，2022-04-11
参考書 一般化学／Jerome L.Rosenberg, Lawrence M.Epstein 共著，一國雅巳 訳：オーム社，1995 系統看護学講座 化学／奈良 雅之：医学書院，2018 ボルハルト・ショアー現代有機化学(上)／ボルハルト，ショアー [著]，村橋俊一 訳者代表：化学同人，2019 ボルハルト・ショアー現代有機化学(下)／ボルハルト，ショアー [著]，村橋俊一 訳者代表：化学同人，2020 ウォーレン有機化学(上)／J.CLAYDEN, N.GREEVES, S.WARREN 著，野依良治，奥山格，柴崎正勝，檜山爲次郎 監訳：東京化学同人，2015 化学熱力学／原田義也 著：裳華房，2002 マクマリ—一般化学(上)／JOHN McMURRY, ROBERT C.FAY 著，荻野博，山本学，大野公一 訳：東京化学同人，2010
他科目との関連 「酸塩基平衡の取扱い方」では「化学実験」の基礎となる理論を取り扱います。
履修上の注意事項 前期、後期いずれも出席3分の2以上を満たさないと、考査の受験資格がなくなります。前期と後期の考査のうちいずれかを受験放棄した場合は、履修放棄したものとみなして、成績は×になります。
備考 キーワード：分析化学、化学実験学、化学熱力学、有機化学
連絡先(メールアドレス) 澤野 頼子:sawano.las@tmd.ac.jp 奈良 雅之:nara.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー 澤野 頼子:毎週金曜日 PM.0:00-PM.1:00 ヒポクラテス 4 階 奈良 雅之:毎週水曜日 PM.0:00-PM.2:00, 毎週金曜日 PM.0:00-PM.1:00 ヒポクラテス 4 階

時間割番号	000058																																																																																																	
科目名	化学(一般化学)T	科目ID	LA-114703-Z																																																																																															
担当教員	奈良 雅之, 澤野 頼子, 渡邊 総一郎, 宮川 拓也[NARA MASAYUKI, SAWANO YORIKO, WATANABE SOICHIRO, MIYAKAWA Takuya]																																																																																																	
開講時期	2022 年度通年	対象年次	1																																																																																															
実務経験のある教員による授業	<ul style="list-style-type: none"> ・曜日・時間: 前期:水曜5限 後期:月曜4限 ・対象学科:保健衛生学科検査技術学専攻 ・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): <ul style="list-style-type: none"> 2-1) 自然現象を科学的に探求するための方法論を知る 4-2) 生命現象・自然現象について総合的に理解するための基礎学力・思考力を身につける 																																																																																																	
主な講義場所	6 番教室																																																																																																	
授業の目的、概要等	<p>分子生物学、生物化学の発展により、生命現象が化学的な考え方、方法で理解されるようになってきました。医療系の分野も分子レベルで捉えることにより、その知識が膨大になりつつあります。医療系の道を選んだ皆さんは、化学の基礎をしっかりと身につけていないと、生命現象を分子レベルで理解できないばかりでなく、医療系の先端的な研究から取り残されてしまうことになるでしょう。特に、検査技術学専攻の皆さんは、全学生の中で最も化学の専門技術と関わるはずですが、本科目では大学の一般教養課程で当然学んでおくべき「化学(有機化学&物理化学)」を学習します。</p>																																																																																																	
授業の到達目標	<p>授業で扱った範囲に関連した「最新臨床検査学講座 化学」、「基礎講座 有機化学」、等の各章を理解し、かつその演習問題に取り組むことができる。</p> <p>授業に関連した演習問題で7割理解できるレベルが GPA における「B」に相当する。</p>																																																																																																	
授業計画	<table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>講義室</th> <th>担当教員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td>4/13</td><td>16:00-17:30</td><td></td><td>奈良 雅之, 澤野 頼子, 渡邊 総一郎, 宮川 拓也</td></tr> <tr><td>2</td><td>4/20</td><td>16:00-17:30</td><td></td><td>奈良 雅之, 澤野 頼子, 渡邊 総一郎, 宮川 拓也</td></tr> <tr><td>3</td><td>4/27</td><td>16:00-17:30</td><td></td><td>奈良 雅之, 澤野 頼子, 渡邊 総一郎, 宮川 拓也</td></tr> <tr><td>4</td><td>5/11</td><td>16:00-17:30</td><td></td><td>奈良 雅之, 澤野 頼子, 渡邊 総一郎, 宮川 拓也</td></tr> <tr><td>5</td><td>5/18</td><td>16:00-17:30</td><td></td><td>奈良 雅之, 澤野 頼子, 渡邊 総一郎, 宮川 拓也</td></tr> <tr><td>6</td><td>5/25</td><td>16:00-17:30</td><td></td><td>奈良 雅之, 澤野 頼子, 渡邊 総一郎, 宮川 拓也</td></tr> <tr><td>7</td><td>6/1</td><td>16:00-17:30</td><td></td><td>奈良 雅之, 澤野 頼子, 渡邊 総一郎, 宮川 拓也</td></tr> <tr><td>8</td><td>6/8</td><td>16:00-17:30</td><td></td><td>奈良 雅之, 澤野 頼子, 渡邊 総一郎, 宮川 拓也</td></tr> <tr><td>9</td><td>6/15</td><td>16:00-17:30</td><td></td><td>奈良 雅之, 澤野 頼子, 渡邊 総一郎, 宮川 拓也</td></tr> <tr><td>10</td><td>6/22</td><td>16:00-17:30</td><td></td><td>奈良 雅之, 澤野 頼子, 渡邊 総一郎, 宮川 拓也</td></tr> <tr><td>11</td><td>6/29</td><td>16:00-17:30</td><td></td><td>奈良 雅之, 澤野 頼子, 渡邊 総一郎, 宮川 拓也</td></tr> <tr><td>12</td><td>7/6</td><td>16:00-17:30</td><td></td><td>奈良 雅之, 澤野 頼子, 渡邊 総一郎, 宮川 拓也</td></tr> <tr><td>13</td><td>7/13</td><td>16:00-17:30</td><td></td><td>奈良 雅之, 澤野 頼子, 渡邊 総一郎, 宮川 拓也</td></tr> <tr><td>14</td><td>7/20</td><td>16:00-17:30</td><td></td><td>奈良 雅之, 澤野 頼子, 渡邊 総一郎, 宮川 拓也</td></tr> <tr><td>15</td><td>7/27</td><td>16:00-17:30</td><td></td><td>奈良 雅之, 澤野 頼子, 渡邊 総一郎, 宮川 拓也</td></tr> <tr><td>16</td><td>10/5</td><td>16:00-17:30</td><td></td><td>奈良 雅之, 澤野 頼子, 渡邊 総一郎, 宮川 拓也</td></tr> <tr><td>17</td><td>10/19</td><td>16:00-17:30</td><td></td><td>奈良 雅之, 澤野 頼子, 渡邊 総一郎, 宮川 拓也</td></tr> <tr><td>18</td><td>10/26</td><td>16:00-17:30</td><td></td><td>奈良 雅之, 澤野 頼子, 渡邊 総一郎, 宮川 拓也</td></tr> </tbody> </table>			回	日付	時刻	講義室	担当教員	1	4/13	16:00-17:30		奈良 雅之, 澤野 頼子, 渡邊 総一郎, 宮川 拓也	2	4/20	16:00-17:30		奈良 雅之, 澤野 頼子, 渡邊 総一郎, 宮川 拓也	3	4/27	16:00-17:30		奈良 雅之, 澤野 頼子, 渡邊 総一郎, 宮川 拓也	4	5/11	16:00-17:30		奈良 雅之, 澤野 頼子, 渡邊 総一郎, 宮川 拓也	5	5/18	16:00-17:30		奈良 雅之, 澤野 頼子, 渡邊 総一郎, 宮川 拓也	6	5/25	16:00-17:30		奈良 雅之, 澤野 頼子, 渡邊 総一郎, 宮川 拓也	7	6/1	16:00-17:30		奈良 雅之, 澤野 頼子, 渡邊 総一郎, 宮川 拓也	8	6/8	16:00-17:30		奈良 雅之, 澤野 頼子, 渡邊 総一郎, 宮川 拓也	9	6/15	16:00-17:30		奈良 雅之, 澤野 頼子, 渡邊 総一郎, 宮川 拓也	10	6/22	16:00-17:30		奈良 雅之, 澤野 頼子, 渡邊 総一郎, 宮川 拓也	11	6/29	16:00-17:30		奈良 雅之, 澤野 頼子, 渡邊 総一郎, 宮川 拓也	12	7/6	16:00-17:30		奈良 雅之, 澤野 頼子, 渡邊 総一郎, 宮川 拓也	13	7/13	16:00-17:30		奈良 雅之, 澤野 頼子, 渡邊 総一郎, 宮川 拓也	14	7/20	16:00-17:30		奈良 雅之, 澤野 頼子, 渡邊 総一郎, 宮川 拓也	15	7/27	16:00-17:30		奈良 雅之, 澤野 頼子, 渡邊 総一郎, 宮川 拓也	16	10/5	16:00-17:30		奈良 雅之, 澤野 頼子, 渡邊 総一郎, 宮川 拓也	17	10/19	16:00-17:30		奈良 雅之, 澤野 頼子, 渡邊 総一郎, 宮川 拓也	18	10/26	16:00-17:30		奈良 雅之, 澤野 頼子, 渡邊 総一郎, 宮川 拓也
回	日付	時刻	講義室	担当教員																																																																																														
1	4/13	16:00-17:30		奈良 雅之, 澤野 頼子, 渡邊 総一郎, 宮川 拓也																																																																																														
2	4/20	16:00-17:30		奈良 雅之, 澤野 頼子, 渡邊 総一郎, 宮川 拓也																																																																																														
3	4/27	16:00-17:30		奈良 雅之, 澤野 頼子, 渡邊 総一郎, 宮川 拓也																																																																																														
4	5/11	16:00-17:30		奈良 雅之, 澤野 頼子, 渡邊 総一郎, 宮川 拓也																																																																																														
5	5/18	16:00-17:30		奈良 雅之, 澤野 頼子, 渡邊 総一郎, 宮川 拓也																																																																																														
6	5/25	16:00-17:30		奈良 雅之, 澤野 頼子, 渡邊 総一郎, 宮川 拓也																																																																																														
7	6/1	16:00-17:30		奈良 雅之, 澤野 頼子, 渡邊 総一郎, 宮川 拓也																																																																																														
8	6/8	16:00-17:30		奈良 雅之, 澤野 頼子, 渡邊 総一郎, 宮川 拓也																																																																																														
9	6/15	16:00-17:30		奈良 雅之, 澤野 頼子, 渡邊 総一郎, 宮川 拓也																																																																																														
10	6/22	16:00-17:30		奈良 雅之, 澤野 頼子, 渡邊 総一郎, 宮川 拓也																																																																																														
11	6/29	16:00-17:30		奈良 雅之, 澤野 頼子, 渡邊 総一郎, 宮川 拓也																																																																																														
12	7/6	16:00-17:30		奈良 雅之, 澤野 頼子, 渡邊 総一郎, 宮川 拓也																																																																																														
13	7/13	16:00-17:30		奈良 雅之, 澤野 頼子, 渡邊 総一郎, 宮川 拓也																																																																																														
14	7/20	16:00-17:30		奈良 雅之, 澤野 頼子, 渡邊 総一郎, 宮川 拓也																																																																																														
15	7/27	16:00-17:30		奈良 雅之, 澤野 頼子, 渡邊 総一郎, 宮川 拓也																																																																																														
16	10/5	16:00-17:30		奈良 雅之, 澤野 頼子, 渡邊 総一郎, 宮川 拓也																																																																																														
17	10/19	16:00-17:30		奈良 雅之, 澤野 頼子, 渡邊 総一郎, 宮川 拓也																																																																																														
18	10/26	16:00-17:30		奈良 雅之, 澤野 頼子, 渡邊 総一郎, 宮川 拓也																																																																																														

19	11/2	16:00-17:30		奈良 雅之, 澤野 頼子, 渡邊 総一郎, 宮川 拓也
20	11/9	16:00-17:30		奈良 雅之, 澤野 頼子, 渡邊 総一郎, 宮川 拓也
21	11/16	16:00-17:30		奈良 雅之, 澤野 頼子, 渡邊 総一郎, 宮川 拓也
22	11/30	16:00-17:30		奈良 雅之, 澤野 頼子, 渡邊 総一郎, 宮川 拓也
23	12/7	16:00-17:30		奈良 雅之, 澤野 頼子, 渡邊 総一郎, 宮川 拓也
24	12/14	16:00-17:30		奈良 雅之, 澤野 頼子, 渡邊 総一郎, 宮川 拓也
25	12/21	16:00-17:30		奈良 雅之, 澤野 頼子, 渡邊 総一郎, 宮川 拓也
26	1/4	16:00-17:30		奈良 雅之, 澤野 頼子, 渡邊 総一郎, 宮川 拓也
27	1/11	16:00-17:30		奈良 雅之, 澤野 頼子, 渡邊 総一郎, 宮川 拓也
28	1/18	16:00-17:30		奈良 雅之, 澤野 頼子, 渡邊 総一郎, 宮川 拓也
29	1/25	16:00-17:30		奈良 雅之, 澤野 頼子, 渡邊 総一郎, 宮川 拓也
30	2/1	16:00-17:30		奈良 雅之, 澤野 頼子, 渡邊 総一郎, 宮川 拓也

授業方法

講義形式で授業を行うが、適宜、アクティブラーニング(課題演習や答案の発表など)を取り入れて行う。

授業内容

前期の15回は、複雑な生命現象(生体内反応)の原理を理解するために必要な基礎物理化学(化学熱力学を含む)を取り上げます。後期の15回は、有機化学、生体高分子論、反応速度論などの分野を取り上げます。

成績評価の方法

評価：試験(期末考査) 100%(前期50%, 後期50%)・レポート 0%・
その他(出席状況・授業時の小テストなどを成績に考慮することがある)
再評価：有(再評価方法 前期と後期の内容を合わせた学年末再試験)

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習等についての具体的な指示

予習：指定された教科書や配付資料(WebClassに掲載)で該当する箇所を目を通しておく。
復習：講義に関連した演習問題を解いて、理解していることを確認する。

試験の受験資格

期末考査・再試験の受験資格：3分の2以上出席

教科書

最新臨床検査学講座 化学/奈良雅之:医歯薬出版, 2020
基礎講座 有機化学/松島 芳隆 著・文・その他,渡邊 総一郎 著・文・その他,古荘 義雄 著・文・その他,松島 芳隆,渡邊 総一郎,古荘 義雄.:化学同人, 2022-04-11

参考書

マクマリー一般化学(上)/JOHN McMURRY, ROBERT C.FAY 著,荻野博,山本学,大野公一 訳:東京化学同人, 2010
ポルハルト・ショア一現代有機化学(第6版)[上]/K. P. C. Vollhardt/[著],Vollhardt:化学同人, 2011
ポルハルト・ショア一現代有機化学(第6版)[下]/K. P. C. Vollhardt/[著],Vollhardt:化学同人, 2011
ウォーレン有機化学(上)/Clayden [ほか著],野依良治 [ほか]監訳,石橋正己 [ほか]訳,Clayden, Jonathan,野依, 良治, 1938-,石橋, 正己, 1957-,:東京化学同人, 2003
一般化学/Jerome L.Rosenberg, Lawrence M.Epstein 共著,一國雅巳 訳,Rosenberg, Jerome Laib,Epstein, Lawrence M,一國, 雅巳, 1930-,:オーム社, 1995
系統看護学講座 化学/奈良 雅之.:医学書院, 2018
ハート基礎有機化学/H. ハート, L.E. クレーン, D.J. ハート共著; 秋葉欣哉, 奥彬共訳,Hart, Harold,Craine, Leslie E.,Hart, David J,秋葉, 欣哉,奥 彬.:培風館, 2002

他科目との関連

前期に「科学基礎実験 T:化学実験」の基礎となる理論を取り扱います。

履修上の注意事項

前期、後期で、それぞれ出席3分の2以上を満たさないと、期末考査の受験資格がなくなります。前期の定期試験(考査)と後期の定期試験(考査)の両方を受験していることが、再試験(再評価)を受ける資格になります。

連絡先(メールアドレス)

奈良 雅之:nara.las@tmd.ac.jp

澤野 頼子:sawano.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

奈良 雅之:毎週水曜日 PM.0:00-PM.2:00, 毎週金曜日 PM.0:00-PM.1:00 ヒポクラテス 4 階

澤野 頼子:毎週金曜日 PM.0:00-PM.1:00 ヒポクラテス 4 階

時間割番号	000835																																																																																																		
科目名	化学基礎①	科目ID	LA-114801-Z																																																																																																
担当教員	澤野 頼子, 奈良 雅之[SAWANO YORIKO, NARA MASAYUKI]																																																																																																		
開講時期	2022 年度前期	対象年次	1																																																																																																
実務経験のある教員による授業																																																																																																			
<p>・曜日・時間: 4/12(火)1限、4/19(火)2限、4/26(火)1・2限、5/10(火)1限、5/23以降:月曜4限</p> <p>・対象学科:保健衛生学科看護学専攻</p> <p>・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):</p> <p>2-1)自然現象を科学的に探求するための方法論を知る</p> <p>4-1)入学時に不足している基礎学力を一定レベルに引き上げる</p> <p>4-2)生命現象・自然現象について総合的に理解するための基礎学力・思考力を身につける</p>																																																																																																			
<p>主な講義場所</p> <p>4/12(火)~5/10(火):同期型(Zoom)</p> <p>5/23(月)~7/25(月):1番教室</p>																																																																																																			
<p>授業の目的、概要等</p> <p>看護学に必要な生命科学を学んでいく上で役立つ化学の基礎知識や考え方を講義することを基本とする。</p>																																																																																																			
<p>授業の到達目標</p> <p>授業で扱った内容および演習問題を理解し、将来、看護学の専門の基礎となる化学を身につける。GPAにおける「B」(本試験合格レベル)の条件は、授業に関連した演習問題を7割程度理解できることとする。</p>																																																																																																			
<p>授業計画</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>講義室</th> <th>授業題目</th> <th>担当教員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>4/12</td> <td>08:50-10:20</td> <td>遠隔授業 (同期型)</td> <td>ガイダンス:生命・医療・生活と化学の関わり</td> <td>澤野 頼子</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>4/19</td> <td>10:30-12:00</td> <td>遠隔授業 (同期型)</td> <td>物質の構成</td> <td>澤野 頼子</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>4/26</td> <td>08:50-10:20</td> <td>遠隔授業 (同期型)</td> <td>物質と化学結合(1)</td> <td>澤野 頼子</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>4/26</td> <td>10:30-12:00</td> <td>遠隔授業 (同期型)</td> <td>物質と化学結合(2)</td> <td>澤野 頼子</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>5/10</td> <td>08:50-10:20</td> <td>遠隔授業 (同期型)</td> <td>物質と濃度</td> <td>澤野 頼子</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>5/23</td> <td>14:50-16:20</td> <td>1番教室</td> <td>単位</td> <td>奈良 雅之</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>5/30</td> <td>14:50-16:20</td> <td>1番教室</td> <td>熱化学方程式</td> <td>奈良 雅之</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>6/6</td> <td>14:50-16:20</td> <td>1番教室</td> <td>酸と塩基(1)</td> <td>澤野 頼子</td> </tr> <tr> <td>9</td> <td>6/13</td> <td>14:50-16:20</td> <td>1番教室</td> <td>酸と塩基(2)</td> <td>澤野 頼子</td> </tr> <tr> <td>10</td> <td>6/20</td> <td>14:50-16:20</td> <td>1番教室</td> <td>酸化と還元</td> <td>澤野 頼子</td> </tr> <tr> <td>11</td> <td>6/27</td> <td>14:50-16:20</td> <td>1番教室</td> <td>有機化合物(1)</td> <td>澤野 頼子</td> </tr> <tr> <td>12</td> <td>7/4</td> <td>14:50-16:20</td> <td>1番教室</td> <td>有機化合物(2)</td> <td>澤野 頼子</td> </tr> <tr> <td>13</td> <td>7/11</td> <td>14:50-16:20</td> <td>1番教室</td> <td>有機化合物(3)</td> <td>澤野 頼子</td> </tr> <tr> <td>14</td> <td>7/18</td> <td>14:50-16:20</td> <td>1番教室</td> <td>有機化合物(4)</td> <td>澤野 頼子</td> </tr> <tr> <td>15</td> <td>7/25</td> <td>14:50-16:20</td> <td>1番教室</td> <td>有機化合物(5)</td> <td>澤野 頼子</td> </tr> </tbody> </table>				回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員	1	4/12	08:50-10:20	遠隔授業 (同期型)	ガイダンス:生命・医療・生活と化学の関わり	澤野 頼子	2	4/19	10:30-12:00	遠隔授業 (同期型)	物質の構成	澤野 頼子	3	4/26	08:50-10:20	遠隔授業 (同期型)	物質と化学結合(1)	澤野 頼子	4	4/26	10:30-12:00	遠隔授業 (同期型)	物質と化学結合(2)	澤野 頼子	5	5/10	08:50-10:20	遠隔授業 (同期型)	物質と濃度	澤野 頼子	6	5/23	14:50-16:20	1番教室	単位	奈良 雅之	7	5/30	14:50-16:20	1番教室	熱化学方程式	奈良 雅之	8	6/6	14:50-16:20	1番教室	酸と塩基(1)	澤野 頼子	9	6/13	14:50-16:20	1番教室	酸と塩基(2)	澤野 頼子	10	6/20	14:50-16:20	1番教室	酸化と還元	澤野 頼子	11	6/27	14:50-16:20	1番教室	有機化合物(1)	澤野 頼子	12	7/4	14:50-16:20	1番教室	有機化合物(2)	澤野 頼子	13	7/11	14:50-16:20	1番教室	有機化合物(3)	澤野 頼子	14	7/18	14:50-16:20	1番教室	有機化合物(4)	澤野 頼子	15	7/25	14:50-16:20	1番教室	有機化合物(5)	澤野 頼子
回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員																																																																																														
1	4/12	08:50-10:20	遠隔授業 (同期型)	ガイダンス:生命・医療・生活と化学の関わり	澤野 頼子																																																																																														
2	4/19	10:30-12:00	遠隔授業 (同期型)	物質の構成	澤野 頼子																																																																																														
3	4/26	08:50-10:20	遠隔授業 (同期型)	物質と化学結合(1)	澤野 頼子																																																																																														
4	4/26	10:30-12:00	遠隔授業 (同期型)	物質と化学結合(2)	澤野 頼子																																																																																														
5	5/10	08:50-10:20	遠隔授業 (同期型)	物質と濃度	澤野 頼子																																																																																														
6	5/23	14:50-16:20	1番教室	単位	奈良 雅之																																																																																														
7	5/30	14:50-16:20	1番教室	熱化学方程式	奈良 雅之																																																																																														
8	6/6	14:50-16:20	1番教室	酸と塩基(1)	澤野 頼子																																																																																														
9	6/13	14:50-16:20	1番教室	酸と塩基(2)	澤野 頼子																																																																																														
10	6/20	14:50-16:20	1番教室	酸化と還元	澤野 頼子																																																																																														
11	6/27	14:50-16:20	1番教室	有機化合物(1)	澤野 頼子																																																																																														
12	7/4	14:50-16:20	1番教室	有機化合物(2)	澤野 頼子																																																																																														
13	7/11	14:50-16:20	1番教室	有機化合物(3)	澤野 頼子																																																																																														
14	7/18	14:50-16:20	1番教室	有機化合物(4)	澤野 頼子																																																																																														
15	7/25	14:50-16:20	1番教室	有機化合物(5)	澤野 頼子																																																																																														
<p>授業方法</p> <p>主に講義形式で行うが、適宜、アクティブラーニング(演習など)を取り入れて行う。</p>																																																																																																			
<p>授業内容</p>																																																																																																			

<ol style="list-style-type: none"> 1. 生命・医療・生活と化学の関わり 2. 物質の構成: 原子の構造、周期表 3. 物質と化学結合 4. 単位 5. 熱化学方程式 6. 物質と濃度 7. 酸と塩基 8. 酸化と還元 9. 有機化合物
<p>成績評価の方法</p> <p>評価 : 期末試験 90% ・ レポート 0% ・ その他(授業への参加度・授業時の小テストなど) 10%</p> <p>再評価: 有(再評価方法 再試験)</p> <p>授業内容の理解度を測るために試験や演習を行い、その成績および授業への参加度で評価を行う。</p>
<p>成績評価の基準</p> <p>「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による</p>
<p>準備学習等についての具体的な指示</p> <p>予習: 講義資料(事前に WebClass に掲載)、参考書等で該当する箇所を目を通しておく。</p> <p>復習: 講義の内容および演習問題・小テストを復習する。</p> <p>その他、教員からの指示を参考に学習する。</p>
<p>試験の受験資格</p> <p>試験・再試験の受験資格: 3分の2以上出席</p>
<p>教科書</p> <p>系統看護学講座 化学/奈良 雅之: 医学書院, 2018</p>
<p>参考書</p> <p>最新臨床検査学講座 化学/奈良雅之著, 奈良 雅之: 医歯薬出版, 2020</p> <p>大学生のための例題で学ぶ化学入門/大野公一, 村田滋, 錦織紳一 著, 大野, 公一, 1945-, 村田, 滋, 1956-, 錦織, 紳一, 1953-: 共立出版, 2005</p> <p>生命科学, 食品・栄養学, 化学を学ぶための有機化学基礎の基礎/立屋敷哲著, 立屋敷 哲: 丸善出版, 2019</p> <p>高校の「化学基礎」および「化学」の教科書</p>
<p>他科目との関連</p> <p>高校での化学の学習が不十分な学生(主に、高校の「化学」未履修者)向けに、「化学基礎(補習)」を開講し(4/19(火)1 時限(同期型)および2コマのオンデマンド授業(非同期型)を予定)、有機化学の基礎を学ぶ。受講希望者は併せて受講すること。</p>
<p>履修上の注意事項</p> <p>出席3分の2以上を満たさないと、期末試験の受験資格がなくなる。 期末試験を受験しなかった場合、履修放棄とみなし、再評価の対象者とならない。</p>
<p>連絡先(メールアドレス)</p> <p>澤野 頼子 sawano.las@tmd.ac.jp</p> <p>奈良 雅之 nara.las@tmd.ac.jp</p>
<p>オフィスアワー</p> <p>澤野 頼子: 毎週金曜日 PM.0:00-PM.1:00 ヒポクラテス 4 階</p> <p>奈良 雅之: 毎週水曜日 PM.0:00-PM.2:00, 毎週金曜日 PM.0:00-PM.1:00 ヒポクラテス 4 階</p>

時間割番号	000836																																																																																		
科目名	化学基礎(β)	科目ID	LA-114802-Z																																																																																
担当教員	奈良 雅之, 勝又 敏行, 宮園 健一[NARA MASAYUKI, KATSUMATA TOSHIYUKI, MIYAZONO KENICHI]																																																																																		
開講時期	2022 年度前期	対象年次	1																																																																																
実務経験のある教員による授業																																																																																			
<p>・曜日・時間:火曜2限 (初回のみ 1・2限)</p> <p>・対象学科:口腔保健学科</p> <p>・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):</p> <p>2-1)自然現象を科学的に探究するための方法論を知る</p> <p>4-2)生命現象・自然現象について総合的に理解するための基礎学力・思考力を身につける</p>																																																																																			
<p>主な講義場所</p> <p>第1週(4/12)～第4週(5/10):湯島キャンパス OH 第3 講義室</p> <p>第6週(5/22)以降:国府台キャンパス</p>																																																																																			
<p>授業の目的、概要等</p> <p>高校で化学基礎を履修したことを前提にして、看護学や口腔保健学に必要な生命科学を学んでいく上で役立つ化学的な基礎知識や考え方を習得する。</p>																																																																																			
<p>授業の到達目標</p> <p>教科書、参考資料に出ている例題、演習問題を理解できる。</p> <p>生体で起こっている事象をどのようにして化学的に捉えるかを理解する。</p> <p>授業に関連した演習問題で7割理解できるレベルが GPA における「B」に相当する。</p>																																																																																			
<p>授業計画</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>講義室</th> <th>担当教員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td>4/12</td><td>08:50-10:20</td><td></td><td>奈良 雅之, 勝又 敏行, 宮園 健一</td></tr> <tr><td>2</td><td>4/12</td><td>10:30-12:00</td><td></td><td>奈良 雅之, 勝又 敏行, 宮園 健一</td></tr> <tr><td>3</td><td>4/19</td><td>10:30-12:00</td><td></td><td>奈良 雅之, 勝又 敏行, 宮園 健一</td></tr> <tr><td>4</td><td>4/26</td><td>10:30-12:00</td><td></td><td>奈良 雅之, 勝又 敏行, 宮園 健一</td></tr> <tr><td>5</td><td>5/10</td><td>10:30-12:00</td><td></td><td>奈良 雅之, 勝又 敏行, 宮園 健一</td></tr> <tr><td>6</td><td>5/23</td><td>14:50-16:20</td><td></td><td>奈良 雅之, 勝又 敏行, 宮園 健一</td></tr> <tr><td>7</td><td>5/30</td><td>14:50-16:20</td><td></td><td>奈良 雅之, 勝又 敏行, 宮園 健一</td></tr> <tr><td>8</td><td>6/6</td><td>14:50-16:20</td><td></td><td>奈良 雅之, 勝又 敏行, 宮園 健一</td></tr> <tr><td>9</td><td>6/13</td><td>14:50-16:20</td><td></td><td>奈良 雅之, 勝又 敏行, 宮園 健一</td></tr> <tr><td>10</td><td>6/20</td><td>14:50-16:20</td><td></td><td>奈良 雅之, 勝又 敏行, 宮園 健一</td></tr> <tr><td>11</td><td>6/27</td><td>14:50-16:20</td><td></td><td>奈良 雅之, 勝又 敏行, 宮園 健一</td></tr> <tr><td>12</td><td>7/4</td><td>14:50-16:20</td><td></td><td>奈良 雅之, 勝又 敏行, 宮園 健一</td></tr> <tr><td>13</td><td>7/11</td><td>14:50-16:20</td><td></td><td>奈良 雅之, 勝又 敏行, 宮園 健一</td></tr> <tr><td>14</td><td>7/18</td><td>14:50-16:20</td><td></td><td>奈良 雅之, 勝又 敏行, 宮園 健一</td></tr> <tr><td>15</td><td>7/25</td><td>14:50-16:20</td><td></td><td>奈良 雅之, 勝又 敏行, 宮園 健一</td></tr> </tbody> </table>				回	日付	時刻	講義室	担当教員	1	4/12	08:50-10:20		奈良 雅之, 勝又 敏行, 宮園 健一	2	4/12	10:30-12:00		奈良 雅之, 勝又 敏行, 宮園 健一	3	4/19	10:30-12:00		奈良 雅之, 勝又 敏行, 宮園 健一	4	4/26	10:30-12:00		奈良 雅之, 勝又 敏行, 宮園 健一	5	5/10	10:30-12:00		奈良 雅之, 勝又 敏行, 宮園 健一	6	5/23	14:50-16:20		奈良 雅之, 勝又 敏行, 宮園 健一	7	5/30	14:50-16:20		奈良 雅之, 勝又 敏行, 宮園 健一	8	6/6	14:50-16:20		奈良 雅之, 勝又 敏行, 宮園 健一	9	6/13	14:50-16:20		奈良 雅之, 勝又 敏行, 宮園 健一	10	6/20	14:50-16:20		奈良 雅之, 勝又 敏行, 宮園 健一	11	6/27	14:50-16:20		奈良 雅之, 勝又 敏行, 宮園 健一	12	7/4	14:50-16:20		奈良 雅之, 勝又 敏行, 宮園 健一	13	7/11	14:50-16:20		奈良 雅之, 勝又 敏行, 宮園 健一	14	7/18	14:50-16:20		奈良 雅之, 勝又 敏行, 宮園 健一	15	7/25	14:50-16:20		奈良 雅之, 勝又 敏行, 宮園 健一
回	日付	時刻	講義室	担当教員																																																																															
1	4/12	08:50-10:20		奈良 雅之, 勝又 敏行, 宮園 健一																																																																															
2	4/12	10:30-12:00		奈良 雅之, 勝又 敏行, 宮園 健一																																																																															
3	4/19	10:30-12:00		奈良 雅之, 勝又 敏行, 宮園 健一																																																																															
4	4/26	10:30-12:00		奈良 雅之, 勝又 敏行, 宮園 健一																																																																															
5	5/10	10:30-12:00		奈良 雅之, 勝又 敏行, 宮園 健一																																																																															
6	5/23	14:50-16:20		奈良 雅之, 勝又 敏行, 宮園 健一																																																																															
7	5/30	14:50-16:20		奈良 雅之, 勝又 敏行, 宮園 健一																																																																															
8	6/6	14:50-16:20		奈良 雅之, 勝又 敏行, 宮園 健一																																																																															
9	6/13	14:50-16:20		奈良 雅之, 勝又 敏行, 宮園 健一																																																																															
10	6/20	14:50-16:20		奈良 雅之, 勝又 敏行, 宮園 健一																																																																															
11	6/27	14:50-16:20		奈良 雅之, 勝又 敏行, 宮園 健一																																																																															
12	7/4	14:50-16:20		奈良 雅之, 勝又 敏行, 宮園 健一																																																																															
13	7/11	14:50-16:20		奈良 雅之, 勝又 敏行, 宮園 健一																																																																															
14	7/18	14:50-16:20		奈良 雅之, 勝又 敏行, 宮園 健一																																																																															
15	7/25	14:50-16:20		奈良 雅之, 勝又 敏行, 宮園 健一																																																																															
<p>授業方法</p> <p>授業は講義形式を基本とするが、随時演習問題を通してアクティブラーニングを併用する。</p>																																																																																			
<p>授業内容</p> <p>1. 序論 単位について</p> <p>2. 物質の構造 物質の構成要素:元素・単体・化合物、原子と分子 化学結合、化学量論:原子量・分子量・式量、化学反応式</p> <p>3. 物質の状態 物質の状態変化と粒子の運動:物質の三態・蒸発熱・融解熱と沸点・融点、</p>																																																																																			

<p>気体: 気体定数と状態方程式・理想気体と実在気体、 溶液: 溶液の濃度と溶解度・希薄溶液の性質、コロイド</p> <p>4. 有機化合物 有機化合物の特徴と分類、脂肪族炭化水素、酸素を含む脂肪族化合物、芳香族化合物</p> <p>5. 高分子化合物 高分子化合物の特徴と分類、天然物高分子化合物、合成高分子化合物</p> <p>6. 物質の変化 化学反応と熱: 熱化学方程式・結合エネルギー、 酸と塩基の反応: 水素イオン濃度とpH・中和反応と中和滴定、 酸化還元反応、化学反応の速さと化学平衡</p> <p>7. 単体と無機化合物 周期表と元素の分類、典型元素、遷移元素</p>
<p>成績評価の方法</p> <p>評価: 定期試験 100%・レポート 0%</p> <p>その他(授業中の出席カードの回答状況などを考慮する)</p> <p>再評価: 有(再評価の方法 再試験)</p> <p>化学の基礎が理解できているか否かが評価の鍵ですから、試験を重視します。</p>
<p>成績評価の基準</p> <p>「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による</p>
<p>準備学習等についての具体的な指示</p> <p>予習: 指定された教科書で該当する箇所に目を通しておく。</p> <p>復習: 講義に関係した演習問題を解いて、理解していることを確認する。</p>
<p>試験の受験資格</p> <p>定期試験・再試験の受験資格: 原則3分の2以上出席</p>
<p>教科書</p> <p>系統看護学講座 化学/奈良, 雅之: 医学書院, 2018</p>
<p>参考書</p> <p>大学生のための例題で学ぶ化学入門/大野公一, 村田滋, 錦織紳一 著, 大野, 公一, 1945-, 村田, 滋, 1956-, 錦織, 紳一, 1953-: 共立出版, 2005</p> <p>最新臨床検査学講座 化学/奈良, 雅之: 医歯薬出版, 2020</p>
<p>他科目との関連</p> <p>高校での化学の学習が不十分な学生(主に、高校の「化学」未履修者)向けに、「化学基礎(補習)」を開講し(4/19(火)1 時限(同期型)および2コマのオンデマンド授業(非同同期型)を予定)、有機化学の基礎を学ぶ。 受講希望者は併せて受講すること。</p>
<p>連絡先(メールアドレス)</p> <p>奈良 雅之 nara.las@tmd.ac.jp 勝又 敏行 katsumata.las@tmd.ac.jp</p>
<p>オフィスアワー</p> <p>奈良 雅之: 毎週水曜日 PM.0:00-PM.2:00, 毎週金曜日 PM.0:00-PM.1:00 ヒポクラテス 4 階 勝又 敏行: 毎週金曜日 12:00-13:00 ヒポクラテス 2 階 化学実験準備室</p>

時間割番号	000059			科目ID	LA-115000-Z																																																																																
科目名	細胞生物学基礎																																																																																				
担当教員	松本 幸久																																																																																				
開講時期	2022 年度前期	対象年次	1	単位数	1																																																																																
実務経験のある教員による授業																																																																																					
<p>・曜日・時間:水曜4限</p> <p>・対象専攻:看護学専攻・口腔保健衛生学専攻・口腔保健工学専攻</p> <p>・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):</p> <p>4-1)入学時に不足している基礎学力を一定レベルに引き上げる。</p>																																																																																					
<p>主な講義場所</p> <p>ヒポクラテスホール1階1番教室</p>																																																																																					
<p>授業の目的、概要等</p> <p>生物は細胞から成り、細胞の機能によって生命現象が発現される。この授業では、細胞の構造に加えて、遺伝子発現、代謝等の細胞の機能を説明する。さらに、これらの知識を活用することによって、ある種の疾患の原因を説明できることを理解する。</p>																																																																																					
<p>授業の到達目標</p> <p>1)細胞を構成する細胞小器官と細胞膜の構造と機能を説明することができる。</p> <p>2)遺伝および遺伝子とは何か、説明することができる。</p> <p>3)遺伝子発現機構と転写調節機構を分子レベルで説明することができる。</p> <p>4)代謝とは何か、説明することができる。</p> <p>5)酸素呼吸の意義とその反応過程を説明することができる。</p>																																																																																					
<p>授業計画</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>講義室</th> <th>担当教員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td>4/13</td><td>14:20-15:50</td><td></td><td>松本 幸久</td></tr> <tr><td>2</td><td>4/20</td><td>14:20-15:50</td><td></td><td>松本 幸久</td></tr> <tr><td>3</td><td>4/27</td><td>14:20-15:50</td><td></td><td>松本 幸久</td></tr> <tr><td>4</td><td>5/11</td><td>14:20-15:50</td><td></td><td>松本 幸久</td></tr> <tr><td>5</td><td>5/18</td><td>14:20-15:50</td><td></td><td>松本 幸久</td></tr> <tr><td>6</td><td>5/25</td><td>14:20-15:50</td><td></td><td>松本 幸久</td></tr> <tr><td>7</td><td>6/1</td><td>14:20-15:50</td><td></td><td>松本 幸久</td></tr> <tr><td>8</td><td>6/8</td><td>14:20-15:50</td><td></td><td>松本 幸久</td></tr> <tr><td>9</td><td>6/15</td><td>14:20-15:50</td><td></td><td>松本 幸久</td></tr> <tr><td>10</td><td>6/22</td><td>14:20-15:50</td><td></td><td>松本 幸久</td></tr> <tr><td>11</td><td>6/29</td><td>14:20-15:50</td><td></td><td>松本 幸久</td></tr> <tr><td>12</td><td>7/6</td><td>14:20-15:50</td><td></td><td>松本 幸久</td></tr> <tr><td>13</td><td>7/13</td><td>14:20-15:50</td><td></td><td>松本 幸久</td></tr> <tr><td>14</td><td>7/20</td><td>14:20-15:50</td><td></td><td>松本 幸久</td></tr> <tr><td>15</td><td>7/27</td><td>14:20-15:50</td><td></td><td>松本 幸久</td></tr> </tbody> </table>						回	日付	時刻	講義室	担当教員	1	4/13	14:20-15:50		松本 幸久	2	4/20	14:20-15:50		松本 幸久	3	4/27	14:20-15:50		松本 幸久	4	5/11	14:20-15:50		松本 幸久	5	5/18	14:20-15:50		松本 幸久	6	5/25	14:20-15:50		松本 幸久	7	6/1	14:20-15:50		松本 幸久	8	6/8	14:20-15:50		松本 幸久	9	6/15	14:20-15:50		松本 幸久	10	6/22	14:20-15:50		松本 幸久	11	6/29	14:20-15:50		松本 幸久	12	7/6	14:20-15:50		松本 幸久	13	7/13	14:20-15:50		松本 幸久	14	7/20	14:20-15:50		松本 幸久	15	7/27	14:20-15:50		松本 幸久
回	日付	時刻	講義室	担当教員																																																																																	
1	4/13	14:20-15:50		松本 幸久																																																																																	
2	4/20	14:20-15:50		松本 幸久																																																																																	
3	4/27	14:20-15:50		松本 幸久																																																																																	
4	5/11	14:20-15:50		松本 幸久																																																																																	
5	5/18	14:20-15:50		松本 幸久																																																																																	
6	5/25	14:20-15:50		松本 幸久																																																																																	
7	6/1	14:20-15:50		松本 幸久																																																																																	
8	6/8	14:20-15:50		松本 幸久																																																																																	
9	6/15	14:20-15:50		松本 幸久																																																																																	
10	6/22	14:20-15:50		松本 幸久																																																																																	
11	6/29	14:20-15:50		松本 幸久																																																																																	
12	7/6	14:20-15:50		松本 幸久																																																																																	
13	7/13	14:20-15:50		松本 幸久																																																																																	
14	7/20	14:20-15:50		松本 幸久																																																																																	
15	7/27	14:20-15:50		松本 幸久																																																																																	
<p>授業方法</p> <p>授業は主に講義形式で行う。毎回の授業で、復習クイズ(前回の授業内容から出題する基本問題)、予習クイズ(次回の授業内容から出題する基本問題)、ふりかえり発展問題(これまでの複数の授業の内容を関連づけさせた応用問題で、予め課題を出しておき、自分で答えを準備させ授業内で答えさせる)などの演習を行う。また、疑問点抽出能力の向上のため、毎回の授業でリアクションペーパーに疑問点を書かせ提出させる。</p>																																																																																					
<p>授業内容</p> <p>細胞の構造に加えて、遺伝子発現、代謝等の細胞の機能を説明する。さらに、これらの知識を活用することによって、ある種の疾患の</p>																																																																																					

原因を説明する。
成績評価の方法 評価: 本講義は確実な知識を習得することが主な目的なので、期末考査90%、授業内の小テスト10%で成績を評価する。 再評価: 有
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による。
準備学習等についての具体的な指示 復習を行う際に、知識が体系的になるようにノートを整理する。加えて、自分で演習問題とその答を作成することを試みる。
試験の受験資格 授業の3分の2以上出席すること。
教科書 医療・看護系のための生物学 = Biology,for Paramedical and Nursing Courses／田村隆明 著.: 裳華房, 2016 必要に応じて参考資料を配布する。
参考書 イラスト生化学・分子生物学／前野 正夫: 羊土社, 2008 ヒューマンバイオロジー 人体と生命／SS Mader: 医学書院, 2005 やさしい基礎生物学／南雲 保: 羊土社, 2011 大学で学ぶ身近な生物学／吉村成弘 著, 吉村, 成弘.: 羊土社, 2015
履修上の注意事項 出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先する。

時間割番号	000060			科目ID	LA-115100-Z																																																																																
科目名	人体の生物学基礎																																																																																				
担当教員	松本 幸久																																																																																				
開講時期	2022 年度後期	対象年次	1	単位数	1																																																																																
実務経験のある教員による授業																																																																																					
<p>・曜日・時間:水曜4限</p> <p>・対象専攻:看護学専攻・口腔保健衛生学専攻・口腔保健工学専攻</p> <p>・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):</p> <p>2-1)自然現象を科学的に探求するための方法論を知る。</p> <p>4-2)生命現象・自然現象について総合的に理解するための基礎学力・思考力を身につける。</p>																																																																																					
主な講義場所 ヒポクラテスホール1階1番教室																																																																																					
授業の目的、概要等 多数の細胞が集まって構築されている個体が、どのようにして全体として調和のとれた活動ができるかという点について学習する。																																																																																					
授業の到達目標 1)生体の基本構造を説明することができる。 2)生体の構造と関連させて、機能を具体的に説明することができる。																																																																																					
授業計画 <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>講義室</th> <th>担当教員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td>10/5</td><td>14:20-15:50</td><td></td><td>松本 幸久</td></tr> <tr><td>2</td><td>10/19</td><td>14:20-15:50</td><td></td><td>松本 幸久</td></tr> <tr><td>3</td><td>10/26</td><td>14:20-15:50</td><td></td><td>松本 幸久</td></tr> <tr><td>4</td><td>11/2</td><td>14:20-15:50</td><td></td><td>松本 幸久</td></tr> <tr><td>5</td><td>11/9</td><td>14:20-15:50</td><td></td><td>松本 幸久</td></tr> <tr><td>6</td><td>11/16</td><td>14:20-15:50</td><td></td><td>松本 幸久</td></tr> <tr><td>7</td><td>11/30</td><td>14:20-15:50</td><td></td><td>松本 幸久</td></tr> <tr><td>8</td><td>12/7</td><td>14:20-15:50</td><td></td><td>松本 幸久</td></tr> <tr><td>9</td><td>12/14</td><td>14:20-15:50</td><td></td><td>松本 幸久</td></tr> <tr><td>10</td><td>12/21</td><td>14:20-15:50</td><td></td><td>松本 幸久</td></tr> <tr><td>11</td><td>1/4</td><td>14:20-15:50</td><td></td><td>松本 幸久</td></tr> <tr><td>12</td><td>1/11</td><td>14:20-15:50</td><td></td><td>松本 幸久</td></tr> <tr><td>13</td><td>1/18</td><td>14:20-15:50</td><td></td><td>松本 幸久</td></tr> <tr><td>14</td><td>1/25</td><td>14:20-15:50</td><td></td><td>松本 幸久</td></tr> <tr><td>15</td><td>2/1</td><td>14:20-15:50</td><td></td><td>松本 幸久</td></tr> </tbody> </table>						回	日付	時刻	講義室	担当教員	1	10/5	14:20-15:50		松本 幸久	2	10/19	14:20-15:50		松本 幸久	3	10/26	14:20-15:50		松本 幸久	4	11/2	14:20-15:50		松本 幸久	5	11/9	14:20-15:50		松本 幸久	6	11/16	14:20-15:50		松本 幸久	7	11/30	14:20-15:50		松本 幸久	8	12/7	14:20-15:50		松本 幸久	9	12/14	14:20-15:50		松本 幸久	10	12/21	14:20-15:50		松本 幸久	11	1/4	14:20-15:50		松本 幸久	12	1/11	14:20-15:50		松本 幸久	13	1/18	14:20-15:50		松本 幸久	14	1/25	14:20-15:50		松本 幸久	15	2/1	14:20-15:50		松本 幸久
回	日付	時刻	講義室	担当教員																																																																																	
1	10/5	14:20-15:50		松本 幸久																																																																																	
2	10/19	14:20-15:50		松本 幸久																																																																																	
3	10/26	14:20-15:50		松本 幸久																																																																																	
4	11/2	14:20-15:50		松本 幸久																																																																																	
5	11/9	14:20-15:50		松本 幸久																																																																																	
6	11/16	14:20-15:50		松本 幸久																																																																																	
7	11/30	14:20-15:50		松本 幸久																																																																																	
8	12/7	14:20-15:50		松本 幸久																																																																																	
9	12/14	14:20-15:50		松本 幸久																																																																																	
10	12/21	14:20-15:50		松本 幸久																																																																																	
11	1/4	14:20-15:50		松本 幸久																																																																																	
12	1/11	14:20-15:50		松本 幸久																																																																																	
13	1/18	14:20-15:50		松本 幸久																																																																																	
14	1/25	14:20-15:50		松本 幸久																																																																																	
15	2/1	14:20-15:50		松本 幸久																																																																																	
授業方法 授業は主に講義形式で行う。毎回の授業で、復習クイズ(前回の授業内容から出題する基本問題)、予習クイズ(次回の授業内容から出題する基本問題)、ふりかえり発展問題(これまでの複数の授業の内容を関連づけさせた応用問題で、予め課題を出しておき、自分で答えを準備させ授業内で答えさせる)などの演習を行う。また、疑問点抽出能力の向上のため、毎回の授業でリアクションペーパーに疑問点を書かせ提出させる。																																																																																					
授業内容 生体の各組織・器官の構造と機能の概要を説明し、代表的な生命現象とその制御メカニズムを系統進化的な観点を加えて説明する。																																																																																					
成績評価の方法 評価:本講義は確実な知識を習得することが主な目的なので、期末考査90%、授業内の小テスト10%で成績を評価する。 再評価:有																																																																																					

<p>成績評価の基準</p> <p>「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による。</p>
<p>準備学習等についての具体的な指示</p> <p>復習を行う際に、知識が体系的になるようにノートを整理する。加えて、自分で演習問題とその答を作成することを試みる。</p>
<p>試験の受験資格</p> <p>授業の3分の2以上出席すること。</p>
<p>教科書</p> <p>医療・看護系のための生物学 = Biology,for Paramedical and Nursing Courses／田村隆明 著.:裳華房, 2016</p> <p>必要に応じて参考資料を配布する。</p>
<p>参考書</p> <p>イラスト生化学・分子生物学／前野 正夫:羊土社, 2008</p> <p>ヒューマンバイオロジー 人体と生命／SS Mader:医学書院, 2005</p> <p>大学で学ぶ身近な生物学／吉村成弘 著,吉村, 成弘.:羊土社, 2015</p>
<p>履修上の注意事項</p> <p>出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先する。</p>

時間割番号	000065				
科目名	英語	科目ID	LA-115200-Z		
担当教員	畔柳 和代, 猪熊 恵子, PATRICK FOSS, JEANETTE DENNISSON, MIYA MARUTSUKA, CORLISS JONATHAN, LITTEN CHRISTOPHER T, Reed Jesse Ryan, 野口 大斗[KUROYANAGI KAZUYO, INOKUMA KEIKO, PATRICK FOSS, JEANETTE DENNISSON, Miya Marutsuka, Corliss Jonathan, LITTEN Christopher T, REED Jesse Ryan, NOGUCHI Hiroto]				
開講時期	2022 年度通年	対象年次	1	単位数	4
実務経験のある教員による授業					
準備学習等についての具体的な指示					
参照ホームページ Visit http://www.tmd.ac.jp/artsci/engl/ for more information about instructors.					

時間割番号	000066																																																																																		
科目名	英語 a	科目ID	LA-115201-Z																																																																																
担当教員	JEANETTE DENNISSON[JEANETTE DENNISSON]																																																																																		
開講時期	2022 年度前期	対象年次	1																																																																																
実務経験のある教員による授業																																																																																			
<ul style="list-style-type: none"> ・曜日・時間:水曜1限 ・対象学科:口腔保健衛生学・看護学 ・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): <ul style="list-style-type: none"> 別表3-1) 別表3-4) 別表4-5) 																																																																																			
授業の目的、概要等 Students will engage in a range of conversation activities (e.g., in pairs or small groups) and in speech/presentation activities to develop better English listening and speaking skills. New vocabulary will also be introduced. Particular grammatical structures will occasionally be targeted. Readings may be used in particular classes as bases for discussion. The primary goals of this course are to improve English speaking and listening skills.																																																																																			
授業の到達目標 To develop the ability to engage in extended discussions in English, without long pauses, on a range of topics without using dictionaries. To improve the ability to speak in front of others using English.																																																																																			
授業計画 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>講義室</th> <th>担当教員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td>4/13</td><td>08:40-10:10</td><td></td><td>JEANETTE DENNISSON</td></tr> <tr><td>2</td><td>4/20</td><td>08:40-10:10</td><td></td><td>JEANETTE DENNISSON</td></tr> <tr><td>3</td><td>4/27</td><td>08:40-10:10</td><td></td><td>JEANETTE DENNISSON</td></tr> <tr><td>4</td><td>5/11</td><td>08:40-10:10</td><td></td><td>JEANETTE DENNISSON</td></tr> <tr><td>5</td><td>5/18</td><td>08:40-10:10</td><td></td><td>JEANETTE DENNISSON</td></tr> <tr><td>6</td><td>5/25</td><td>08:40-10:10</td><td></td><td>JEANETTE DENNISSON</td></tr> <tr><td>7</td><td>6/1</td><td>08:40-10:10</td><td></td><td>JEANETTE DENNISSON</td></tr> <tr><td>8</td><td>6/8</td><td>08:40-10:10</td><td></td><td>JEANETTE DENNISSON</td></tr> <tr><td>9</td><td>6/15</td><td>08:40-10:10</td><td></td><td>JEANETTE DENNISSON</td></tr> <tr><td>10</td><td>6/22</td><td>08:40-10:10</td><td></td><td>JEANETTE DENNISSON</td></tr> <tr><td>11</td><td>6/29</td><td>08:40-10:10</td><td></td><td>JEANETTE DENNISSON</td></tr> <tr><td>12</td><td>7/6</td><td>08:40-10:10</td><td></td><td>JEANETTE DENNISSON</td></tr> <tr><td>13</td><td>7/13</td><td>08:40-10:10</td><td></td><td>JEANETTE DENNISSON</td></tr> <tr><td>14</td><td>7/20</td><td>08:40-10:10</td><td></td><td>JEANETTE DENNISSON</td></tr> <tr><td>15</td><td>7/27</td><td>08:40-10:10</td><td></td><td>JEANETTE DENNISSON</td></tr> </tbody> </table>				回	日付	時刻	講義室	担当教員	1	4/13	08:40-10:10		JEANETTE DENNISSON	2	4/20	08:40-10:10		JEANETTE DENNISSON	3	4/27	08:40-10:10		JEANETTE DENNISSON	4	5/11	08:40-10:10		JEANETTE DENNISSON	5	5/18	08:40-10:10		JEANETTE DENNISSON	6	5/25	08:40-10:10		JEANETTE DENNISSON	7	6/1	08:40-10:10		JEANETTE DENNISSON	8	6/8	08:40-10:10		JEANETTE DENNISSON	9	6/15	08:40-10:10		JEANETTE DENNISSON	10	6/22	08:40-10:10		JEANETTE DENNISSON	11	6/29	08:40-10:10		JEANETTE DENNISSON	12	7/6	08:40-10:10		JEANETTE DENNISSON	13	7/13	08:40-10:10		JEANETTE DENNISSON	14	7/20	08:40-10:10		JEANETTE DENNISSON	15	7/27	08:40-10:10		JEANETTE DENNISSON
回	日付	時刻	講義室	担当教員																																																																															
1	4/13	08:40-10:10		JEANETTE DENNISSON																																																																															
2	4/20	08:40-10:10		JEANETTE DENNISSON																																																																															
3	4/27	08:40-10:10		JEANETTE DENNISSON																																																																															
4	5/11	08:40-10:10		JEANETTE DENNISSON																																																																															
5	5/18	08:40-10:10		JEANETTE DENNISSON																																																																															
6	5/25	08:40-10:10		JEANETTE DENNISSON																																																																															
7	6/1	08:40-10:10		JEANETTE DENNISSON																																																																															
8	6/8	08:40-10:10		JEANETTE DENNISSON																																																																															
9	6/15	08:40-10:10		JEANETTE DENNISSON																																																																															
10	6/22	08:40-10:10		JEANETTE DENNISSON																																																																															
11	6/29	08:40-10:10		JEANETTE DENNISSON																																																																															
12	7/6	08:40-10:10		JEANETTE DENNISSON																																																																															
13	7/13	08:40-10:10		JEANETTE DENNISSON																																																																															
14	7/20	08:40-10:10		JEANETTE DENNISSON																																																																															
15	7/27	08:40-10:10		JEANETTE DENNISSON																																																																															
授業方法 Skills Instruction and Practice																																																																																			
授業内容 1週目: Orientation 2-11 週目: Skills Instruction and Continuous Assessment 12-15 週目: Review and/or Final Assessment																																																																																			

Detailed class contents will be determined based on the needs of the class and are subject to change.
<p>成績評価の方法</p> <p>評価: Participation: 30% assignments: 30% discussion tests: 40%</p> <p>再評価: 有(再評価方法「英語」としての学年末課題)</p> <p>・上記のパーセンテージは、「英語 a」についての評価方法です。「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績を合わせて最終的な成績を算出します。</p> <p>以下の 3 点を満たすことが、B 評価(70 点以上)の必要条件として要求される。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 授業内で課される課題や試験等について、原則としてすべて、期限内に所定の形式で受験または提出すること。 2. 教員から返却される添削ファイルおよびコメントを受けて自らの英語の問題点を客観的に把握し、修正してより良いものに仕上げること。 3. 授業および添削・コメントから得た知見を次回以降の課題作成、またはクラス内活動に参加の際に活かすこと。 <p>なお、英語分野では学期の折り返し地点で全学生に中間成績を通知している。</p>
<p>成績評価の基準</p> <p>「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による</p>
<p>準備学習等についての具体的な指示</p> <p>Attendance and participation are both essential.</p>
<p>試験の受験資格</p> <p>「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績を合わせて最終的な成績を算出します。4 クラスすべての履修は必須です。再評価の対象となるのは、英語 abcd の各クラスに原則として3分の2以上出席した者です。ただし、4クラスのうち3クラス以上で 60 点未満の成績がついた者には原則として再評価の機会を与えません。</p>
<p>教科書</p> <p>We will use articles from the internet.</p>
<p>参考書</p> <p>Sciencedaily and other reliable news websites will be used as material.</p>
<p>履修上の注意事項</p> <p>出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先させます。</p>
<p>備考</p> <p>PC、タブレットなどが必要です。</p> <p>You will need to access the course website or other online teaching materials during each lesson. Therefore, you must have these open for each lesson.</p> <p>Appropriate Use of Technology Policy: During the lesson you are encouraged to use any form of technology (cell phone, laptop, tablet, etc.) that will a) enhance your learning experience and b) will not negatively affect the learning experience of other students.</p> <p>What is NOT acceptable is the use of technology during class for activities that are unrelated to the course. This includes shopping, watching sports, checking Facebook, emailing anyone, talking, texting, tweeting, playing games, watching movies or TV not assigned in class, or doing work that is due in another class.</p>
<p>参照ホームページ</p> <p>「Google ドライブ」を使用する。「Google アカウント」が必要です。</p>
<p>連絡先(メールアドレス)</p> <p>dennisson.las@tmd.ac.jp</p>
<p>オフィスアワー</p> <p>Wednesday/Thursday 12:30 – 13:00 PM 管理研究棟3階</p>

時間割番号	000067																																																			
科目名	英語 a	科目ID	LA-115201-Z																																																	
担当教員	Reed Jesse Ryan[REED Jesse Ryan]																																																			
開講時期	2022 年度前期	対象年次	1																																																	
実務経験のある教員による授業																																																				
<p>・曜日・時間:水曜2限</p> <p>・対象:医学科 歯学科</p> <p>・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):</p> <p>別表3-1)</p> <p>別表3-4)</p> <p>別表4-5)</p>																																																				
<p>授業の目的、概要等</p> <p>Students will engage in a range of conversation activities (e.g. in pairs or small groups) and in speech/presentation activities to develop better English listening and speaking skills. New vocabulary will also be introduced. Particular grammatical structures will occasionally be targeted. Readings may be used in particular classes as bases for discussion.</p> <p>The primary goals of this course are to improve English speaking and listening skills.</p>																																																				
<p>授業の到達目標</p> <p>To develop the ability to engage in extended discussions in English, without long pauses, on a range of topics without using dictionaries.</p> <p>To improve the ability to speak in front of others using English.</p> <p>以下の3点を満たすことが、B評価(70点以上)の必要条件として要求される。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 授業内で課される課題や試験等について、原則としてすべて、期限内に所定の形式で受験または提出すること。 2. 教員から返却される添削ファイルおよびコメントを受けて自らの英語の問題点を客観的に把握し、修正してより良いものに仕上げること。 3. 授業および添削・コメントから得た知見を次回以降の課題作成、またはクラス内活動に参加の際に活かすこと。 <p>なお、英語分野では学期の折り返し地点で全学生に中間成績を通知している。</p>																																																				
<p>授業計画</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>講義室</th> <th>授業題目</th> <th>授業内容</th> <th>担当教員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>4/13</td> <td>10:20-11:50</td> <td>遠隔授業 (同期型)</td> <td>Guidance</td> <td>Course Introduction</td> <td>Reed Jesse Ryan</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>4/20</td> <td>10:20-11:50</td> <td>遠隔授業 (同期型)</td> <td>Topic 1</td> <td>Listening and Speaking Activities</td> <td>Reed Jesse Ryan</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>4/27</td> <td>10:20-11:50</td> <td>遠隔授業 (同期型)</td> <td>Topic 2</td> <td>Listening and Speaking Activities</td> <td>Reed Jesse Ryan</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>5/11</td> <td>10:20-11:50</td> <td>遠隔授業 (同期型)</td> <td>Topic 3</td> <td>Listening and Speaking Activities</td> <td>Reed Jesse Ryan</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>5/18</td> <td>10:20-11:50</td> <td>遠隔授業 (同期型)</td> <td>Topic 4</td> <td>Listening and Speaking Activities</td> <td>Reed Jesse Ryan</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>5/25</td> <td>10:20-11:50</td> <td>遠隔授業</td> <td>Topic 5</td> <td>Listening and Speaking Activities</td> <td>Reed Jesse Ryan</td> </tr> </tbody> </table>				回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	1	4/13	10:20-11:50	遠隔授業 (同期型)	Guidance	Course Introduction	Reed Jesse Ryan	2	4/20	10:20-11:50	遠隔授業 (同期型)	Topic 1	Listening and Speaking Activities	Reed Jesse Ryan	3	4/27	10:20-11:50	遠隔授業 (同期型)	Topic 2	Listening and Speaking Activities	Reed Jesse Ryan	4	5/11	10:20-11:50	遠隔授業 (同期型)	Topic 3	Listening and Speaking Activities	Reed Jesse Ryan	5	5/18	10:20-11:50	遠隔授業 (同期型)	Topic 4	Listening and Speaking Activities	Reed Jesse Ryan	6	5/25	10:20-11:50	遠隔授業	Topic 5	Listening and Speaking Activities	Reed Jesse Ryan
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員																																														
1	4/13	10:20-11:50	遠隔授業 (同期型)	Guidance	Course Introduction	Reed Jesse Ryan																																														
2	4/20	10:20-11:50	遠隔授業 (同期型)	Topic 1	Listening and Speaking Activities	Reed Jesse Ryan																																														
3	4/27	10:20-11:50	遠隔授業 (同期型)	Topic 2	Listening and Speaking Activities	Reed Jesse Ryan																																														
4	5/11	10:20-11:50	遠隔授業 (同期型)	Topic 3	Listening and Speaking Activities	Reed Jesse Ryan																																														
5	5/18	10:20-11:50	遠隔授業 (同期型)	Topic 4	Listening and Speaking Activities	Reed Jesse Ryan																																														
6	5/25	10:20-11:50	遠隔授業	Topic 5	Listening and Speaking Activities	Reed Jesse Ryan																																														

			(同期型)			
7	6/1	10:20-11:50	遠隔授業 (同期型)	Topic 6	Listening and Speaking Activities	Reed Jesse Ryan
8	6/8	10:20-11:50	遠隔授業 (同期型)	Topic 7	Listening and Speaking Activities	Reed Jesse Ryan
9	6/15	10:20-11:50	遠隔授業 (同期型)	Topic 8	Listening and Speaking Activities	Reed Jesse Ryan
10	6/22	10:20-11:50	遠隔授業 (同期型)	Topic 9	Listening and Speaking Activities	Reed Jesse Ryan
11	6/29	10:20-11:50	遠隔授業 (同期型)	Topic 10	Listening and Speaking Activities	Reed Jesse Ryan
12	7/6	10:20-11:50	遠隔授業 (同期型)	Topic 11	Listening and Speaking Activities	Reed Jesse Ryan
13	7/13	10:20-11:50	遠隔授業 (同期型)	Topic 12	Listening and Speaking Activities	Reed Jesse Ryan
14	7/20	10:20-11:50	遠隔授業 (同期型)	Topic 13	Listening and Speaking Activities	Reed Jesse Ryan
15	7/27	10:20-11:50	遠隔授業 (同期型)	Review	Listening and Speaking Activities	Reed Jesse Ryan

授業方法

Skills Instruction and Practice

授業内容

Week 1: Orientation

Weeks 2-13: Skills Instruction and Continuous Assessment

Week 14 and 15: Review and/or Final Assessment

Detailed class contents will be determined based on the needs of the class and are subject to change.

成績評価の方法

評価: participation 40% presentation 10% quizzes 10% homework 15% final discussion test 25%

再評価: 有(再評価方法「英語」としての学年末課題)

・上記のパーセンテージは、「英語 a」についての評価方法です。「英語」は abcd の4クラスの成績を合わせて最終的な成績を算出します。

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習等についての具体的な指示

Attendance and participation are both essential.

試験の受験資格

「英語」は a,b,c,d の4クラスの成績を合わせて最終的な成績を算出します。4クラスすべての履修は必須です。再評価の対象となるのは、英語 abcd の各クラスに原則として3分の2以上出席した者です。ただし、4クラスのうち3クラス以上で 60 点未満の成績がついた者には原則として再評価の機会を与えません。

履修上の注意事項

出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先させます。

参照ホームページ

Visit <http://www.tmd.ac.jp/artsci/eng/> for more information about instructors.

時間割番号	000068																																																			
科目名	英語 a	科目ID	LA-115201-Z																																																	
担当教員	MIYA MARUTSUKA[Miya Marutsuka]																																																			
開講時期	2022 年度前期	対象年次	1																																																	
実務経験のある教員による授業																																																				
<p>・曜日・時間:水曜1限</p> <p>・対象学科:口腔保健衛生学・看護学</p> <p>・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):</p> <p>別表3-1)</p> <p>別表3-4)</p> <p>別表4-5)</p>																																																				
<p>授業の目的、概要等</p> <p>Students will engage in a range of conversation activities (e.g., in pairs or small groups) and in speech/presentation activities to develop better English listening and speaking skills. New vocabulary will also be introduced. Particular grammatical structures will occasionally be targeted. Readings may be used in particular classes as bases for discussion.</p> <p>The primary goals of this course are to improve English speaking and listening skills.</p>																																																				
<p>授業の到達目標</p> <p>To develop the ability to engage in extended discussions in English, without long pauses, on a range of topics without using dictionaries.</p> <p>To improve the ability to speak in front of others using English.</p> <p>以下の3点を満たすことが、B評価(70点以上)の必要条件として要求される。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 授業内で課される課題や試験等について、原則としてすべて、期限内に所定の形式で受験または提出すること。 2. 教員から返却される添削ファイルおよびコメントを受けて自らの英語の問題点を客観的に把握し、修正してより良いものに仕上げる。 3. 授業および添削・コメントから得た知見を次回以降の課題作成、またはクラス内活動に参加の際に活かすこと。 <p>なお、英語分野では学期の折り返し地点で全学生に中間成績を通知している。</p>																																																				
<p>授業計画</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>講義室</th> <th>授業題目</th> <th>授業内容</th> <th>担当教員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>4/13</td> <td>08:40-10:10</td> <td>遠隔授業 (同期型)</td> <td>Orientation</td> <td>Course Introduction</td> <td>MIYA MARUTSUKA</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>4/20</td> <td>08:40-10:10</td> <td>遠隔授業 (同期型)</td> <td>Topic 1</td> <td>Discussion 1</td> <td>MIYA MARUTSUKA</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>4/27</td> <td>08:40-10:10</td> <td>遠隔授業 (同期型)</td> <td>Topic 2</td> <td>Discussion 2</td> <td>MIYA MARUTSUKA</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>5/11</td> <td>08:40-10:10</td> <td>遠隔授業 (同期型)</td> <td>Topic 3</td> <td>Discussion 3</td> <td>MIYA MARUTSUKA</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>5/18</td> <td>08:40-10:10</td> <td>遠隔授業 (同期型)</td> <td>Activities</td> <td>Group Assignment</td> <td>MIYA MARUTSUKA</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>5/25</td> <td>08:40-10:10</td> <td>遠隔授業 (同期型)</td> <td>Activities</td> <td>Group Assignment</td> <td>MIYA MARUTSUKA</td> </tr> </tbody> </table>				回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	1	4/13	08:40-10:10	遠隔授業 (同期型)	Orientation	Course Introduction	MIYA MARUTSUKA	2	4/20	08:40-10:10	遠隔授業 (同期型)	Topic 1	Discussion 1	MIYA MARUTSUKA	3	4/27	08:40-10:10	遠隔授業 (同期型)	Topic 2	Discussion 2	MIYA MARUTSUKA	4	5/11	08:40-10:10	遠隔授業 (同期型)	Topic 3	Discussion 3	MIYA MARUTSUKA	5	5/18	08:40-10:10	遠隔授業 (同期型)	Activities	Group Assignment	MIYA MARUTSUKA	6	5/25	08:40-10:10	遠隔授業 (同期型)	Activities	Group Assignment	MIYA MARUTSUKA
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員																																														
1	4/13	08:40-10:10	遠隔授業 (同期型)	Orientation	Course Introduction	MIYA MARUTSUKA																																														
2	4/20	08:40-10:10	遠隔授業 (同期型)	Topic 1	Discussion 1	MIYA MARUTSUKA																																														
3	4/27	08:40-10:10	遠隔授業 (同期型)	Topic 2	Discussion 2	MIYA MARUTSUKA																																														
4	5/11	08:40-10:10	遠隔授業 (同期型)	Topic 3	Discussion 3	MIYA MARUTSUKA																																														
5	5/18	08:40-10:10	遠隔授業 (同期型)	Activities	Group Assignment	MIYA MARUTSUKA																																														
6	5/25	08:40-10:10	遠隔授業 (同期型)	Activities	Group Assignment	MIYA MARUTSUKA																																														

7	6/1	08:40-10:10	遠隔授業 (同期型)	Topic 4	Discussion 4	MIYA MARUTSUKA
8	6/8	08:40-10:10	遠隔授業 (同期型)	Topic 5	Discussion 5	MIYA MARUTSUKA
9	6/15	08:40-10:10	遠隔授業 (同期型)	Activities	Group Assignment	MIYA MARUTSUKA
10	6/22	08:40-10:10	遠隔授業 (同期型)	Activities	Group Assignment	MIYA MARUTSUKA
11	6/29	08:40-10:10	遠隔授業 (同期型)	Topic 6	Discussion 6	MIYA MARUTSUKA
12	7/6	08:40-10:10	遠隔授業 (同期型)	Activities	Group Assignment	MIYA MARUTSUKA
13	7/13	08:40-10:10	遠隔授業 (同期型)	Activities	Group Assignment	MIYA MARUTSUKA
14	7/20	08:40-10:10	遠隔授業 (同期型)	Activities	Group Assignment	MIYA MARUTSUKA
15	7/27	08:40-10:10	遠隔授業 (同期型)	Topic 7	Discussion 7	MIYA MARUTSUKA

授業方法

Skills Instruction and Practice

授業内容

Week 1: Orientation

Weeks 2-13: Skills Instruction and Continuous Assessment

Weeks 14 and 15: Review and/or Final Assessment

Detailed class contents will be determined based on the needs of the class and are subject to change.

成績評価の方法

評価: Participation and Homework: 30%, Quizzes: 25%, Group Assignments: 20%, Final Discussion Test: 25%

再評価: 有(再評価方法「英語」としての学年末課題)

・上記のパーセンテージは、「英語 a」についての評価方法です。「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績を合わせて最終的な成績を算出します。

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習等についての具体的な指示

Attendance and participation are both essential.

試験の受験資格

「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績を合わせて最終的な成績を算出します。4 クラスすべての履修は必須です。再評価の対象となるのは、英語 abcd の各クラスに原則として3分の2以上出席した者です。ただし、4クラスのうち3クラス以上で 60 点未満の成績がついた者には原則として再評価の機会を与えません。

履修上の注意事項

出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先させます。

参照ホームページ

Visit <http://www.tmd.ac.jp/artsci/eng/> for more information about instructors.

時間割番号	000069																																																			
科目名	英語 a	科目ID	LA-115201-Z																																																	
担当教員	CORLISS JONATHAN[Corliss Jonathan]																																																			
開講時期	2022 年度前期	対象年次	1																																																	
実務経験のある教員による授業																																																				
<p>・曜日・時間:水曜1限</p> <p>・対象学科:口腔保健衛生学・看護学</p> <p>・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):</p> <p>別表3-1)</p> <p>別表3-4)</p> <p>別表4-5)</p>																																																				
<p>授業の目的、概要等</p> <p>Students will engage in a range of conversation activities (e.g., in pairs or small groups) and in speech/presentation activities to develop better English listening and speaking skills. New vocabulary will also be introduced. Particular grammatical structures will occasionally be targeted. Readings may be used in particular classes as bases for discussion.</p> <p>The primary goals of this course are to improve English speaking and listening skills.</p>																																																				
<p>授業の到達目標</p> <p>To develop the ability to engage in extended discussions in English, without long pauses, on a range of topics without using dictionaries.</p> <p>To improve the ability to speak in front of others using English.</p> <p>以下の3点を満たすことが、B評価(70点以上)の必要条件として要求される。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 授業内で課される課題や試験等について、原則としてすべて、期限内に所定の形式で受験または提出すること。 2. 教員から返却される添削ファイルおよびコメントを受けて自らの英語の問題点を客観的に把握し、修正してより良いものに仕上げること。 3. 授業および添削・コメントから得た知見を次回以降の課題作成、またはクラス内活動に参加の際に活かすこと。 <p>なお、英語分野では学期の折り返し地点で全学生に中間成績を通知している。</p>																																																				
<p>授業計画</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>講義室</th> <th>授業題目</th> <th>授業内容</th> <th>担当教員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>4/13</td> <td>08:40-10:10</td> <td>遠隔授業 (同期型)</td> <td>Guidance</td> <td>Course Introduction</td> <td>CORLISS JONATHAN</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>4/20</td> <td>08:40-10:10</td> <td>遠隔授業 (同期型)</td> <td>Topic 1</td> <td>Listening and Speaking Activities</td> <td>CORLISS JONATHAN</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>4/27</td> <td>08:40-10:10</td> <td>遠隔授業 (同期型)</td> <td>Topic 2</td> <td>Listening and Speaking Activities</td> <td>CORLISS JONATHAN</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>5/11</td> <td>08:40-10:10</td> <td>遠隔授業 (同期型)</td> <td>Topic 3</td> <td>Listening and Speaking Activities</td> <td>CORLISS JONATHAN</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>5/18</td> <td>08:40-10:10</td> <td>遠隔授業 (同期型)</td> <td>Topic 4</td> <td>Listening and Speaking Activities</td> <td>CORLISS JONATHAN</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>5/25</td> <td>08:40-10:10</td> <td>遠隔授業 (同期型)</td> <td>Topic 5</td> <td>Listening and Speaking Activities</td> <td>CORLISS JONATHAN</td> </tr> </tbody> </table>				回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	1	4/13	08:40-10:10	遠隔授業 (同期型)	Guidance	Course Introduction	CORLISS JONATHAN	2	4/20	08:40-10:10	遠隔授業 (同期型)	Topic 1	Listening and Speaking Activities	CORLISS JONATHAN	3	4/27	08:40-10:10	遠隔授業 (同期型)	Topic 2	Listening and Speaking Activities	CORLISS JONATHAN	4	5/11	08:40-10:10	遠隔授業 (同期型)	Topic 3	Listening and Speaking Activities	CORLISS JONATHAN	5	5/18	08:40-10:10	遠隔授業 (同期型)	Topic 4	Listening and Speaking Activities	CORLISS JONATHAN	6	5/25	08:40-10:10	遠隔授業 (同期型)	Topic 5	Listening and Speaking Activities	CORLISS JONATHAN
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員																																														
1	4/13	08:40-10:10	遠隔授業 (同期型)	Guidance	Course Introduction	CORLISS JONATHAN																																														
2	4/20	08:40-10:10	遠隔授業 (同期型)	Topic 1	Listening and Speaking Activities	CORLISS JONATHAN																																														
3	4/27	08:40-10:10	遠隔授業 (同期型)	Topic 2	Listening and Speaking Activities	CORLISS JONATHAN																																														
4	5/11	08:40-10:10	遠隔授業 (同期型)	Topic 3	Listening and Speaking Activities	CORLISS JONATHAN																																														
5	5/18	08:40-10:10	遠隔授業 (同期型)	Topic 4	Listening and Speaking Activities	CORLISS JONATHAN																																														
6	5/25	08:40-10:10	遠隔授業 (同期型)	Topic 5	Listening and Speaking Activities	CORLISS JONATHAN																																														

7	6/1	08:40-10:10	遠隔授業 (同期型)	Topic 6	Listening and Speaking Activities	CORLISS JONATHAN
8	6/8	08:40-10:10	遠隔授業 (同期型)	Topic 7	Listening and Speaking Activities	CORLISS JONATHAN
9	6/15	08:40-10:10	遠隔授業 (同期型)	Topic 8	Listening and Speaking Activities	CORLISS JONATHAN
10	6/22	08:40-10:10	遠隔授業 (同期型)	Topic 9	Listening and Speaking Activities	CORLISS JONATHAN
11	6/29	08:40-10:10	遠隔授業 (同期型)	Topic 10	Listening and Speaking Activities	CORLISS JONATHAN
12	7/6	08:40-10:10	遠隔授業 (同期型)	Topic 11	Listening and Speaking Activities	CORLISS JONATHAN
13	7/13	08:40-10:10	遠隔授業 (同期型)	Topic 12	Listening and Speaking Activities	CORLISS JONATHAN
14	7/20	08:40-10:10	遠隔授業 (同期型)	Topic 13	Listening and Speaking Activities	CORLISS JONATHAN
15	7/27	08:40-10:10	遠隔授業 (同期型)	Review	Listening and Speaking Activities	CORLISS JONATHAN

授業方法

Skills Instruction and Practice

授業内容

Week 1: Orientation

Weeks 2-13: Skills Instruction and Continuous Assessment

Week 14 and 15: Review and/or Final Assessment

Detailed class contents will be determined based on the needs of the class and are subject to change.

成績評価の方法

評価: Participation: 40% Homework: 10% Midterm Speaking Test: 20% Final Speaking Test: 30%

再評価: 有(再評価方法「英語」としての学年末課題)

・上記のパーセンテージは、「英語 a」についての評価方法です。「英語」は abcd の4クラスの成績を合わせて最終的な成績を算出します。

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習等についての具体的な指示

Attendance and participation are both essential.

試験の受験資格

「英語」は a,b,c,d の4クラスの成績を合わせて最終的な成績を算出します。4クラスすべての履修は必須です。再評価の対象となるのは、英語 abcd の各クラスに原則として3分の2以上出席した者です。ただし、4クラスのうち3クラス以上で60点未満の成績がついた者には原則として再評価の機会を与えません。

履修上の注意事項

出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先させます。

参照ホームページ

Visit <http://www.tmd.ac.jp/artsci/eng/> for more information about instructors.

時間割番号	000070																																																																																		
科目名	英語 a	科目ID	LA-115201-Z																																																																																
担当教員	JEANETTE DENNISSON[JEANETTE DENNISSON]																																																																																		
開講時期	2022 年度前期	対象年次	1																																																																																
実務経験のある教員による授業																																																																																			
<ul style="list-style-type: none"> ・曜日・時間:水曜 2 限 ・対象学科:医学科・歯学科 ・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): <ul style="list-style-type: none"> 別表3-1) 別表3-4) 別表4-5) 																																																																																			
授業の目的、概要等 Students will engage in a range of conversation activities (e.g., in pairs or small groups) and in speech/presentation activities to develop better English listening and speaking skills. New vocabulary will also be introduced. Particular grammatical structures will occasionally be targeted. Readings may be used in particular classes as bases for discussion. The primary goals of this course are to improve English speaking and listening skills.																																																																																			
授業の到達目標 To develop the ability to engage in extended discussions in English, without long pauses, on a range of topics without using dictionaries. To improve the ability to speak in front of others using English.																																																																																			
授業計画 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>講義室</th> <th>担当教員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td>4/13</td><td>10:20-11:50</td><td></td><td>JEANETTE DENNISSON</td></tr> <tr><td>2</td><td>4/20</td><td>10:20-11:50</td><td></td><td>JEANETTE DENNISSON</td></tr> <tr><td>3</td><td>4/27</td><td>10:20-11:50</td><td></td><td>JEANETTE DENNISSON</td></tr> <tr><td>4</td><td>5/11</td><td>10:20-11:50</td><td></td><td>JEANETTE DENNISSON</td></tr> <tr><td>5</td><td>5/18</td><td>10:20-11:50</td><td></td><td>JEANETTE DENNISSON</td></tr> <tr><td>6</td><td>5/25</td><td>10:20-11:50</td><td></td><td>JEANETTE DENNISSON</td></tr> <tr><td>7</td><td>6/1</td><td>10:20-11:50</td><td></td><td>JEANETTE DENNISSON</td></tr> <tr><td>8</td><td>6/8</td><td>10:20-11:50</td><td></td><td>JEANETTE DENNISSON</td></tr> <tr><td>9</td><td>6/15</td><td>10:20-11:50</td><td></td><td>JEANETTE DENNISSON</td></tr> <tr><td>10</td><td>6/22</td><td>10:20-11:50</td><td></td><td>JEANETTE DENNISSON</td></tr> <tr><td>11</td><td>6/29</td><td>10:20-11:50</td><td></td><td>JEANETTE DENNISSON</td></tr> <tr><td>12</td><td>7/6</td><td>10:20-11:50</td><td></td><td>JEANETTE DENNISSON</td></tr> <tr><td>13</td><td>7/13</td><td>10:20-11:50</td><td></td><td>JEANETTE DENNISSON</td></tr> <tr><td>14</td><td>7/20</td><td>10:20-11:50</td><td></td><td>JEANETTE DENNISSON</td></tr> <tr><td>15</td><td>7/27</td><td>10:20-11:50</td><td></td><td>JEANETTE DENNISSON</td></tr> </tbody> </table>				回	日付	時刻	講義室	担当教員	1	4/13	10:20-11:50		JEANETTE DENNISSON	2	4/20	10:20-11:50		JEANETTE DENNISSON	3	4/27	10:20-11:50		JEANETTE DENNISSON	4	5/11	10:20-11:50		JEANETTE DENNISSON	5	5/18	10:20-11:50		JEANETTE DENNISSON	6	5/25	10:20-11:50		JEANETTE DENNISSON	7	6/1	10:20-11:50		JEANETTE DENNISSON	8	6/8	10:20-11:50		JEANETTE DENNISSON	9	6/15	10:20-11:50		JEANETTE DENNISSON	10	6/22	10:20-11:50		JEANETTE DENNISSON	11	6/29	10:20-11:50		JEANETTE DENNISSON	12	7/6	10:20-11:50		JEANETTE DENNISSON	13	7/13	10:20-11:50		JEANETTE DENNISSON	14	7/20	10:20-11:50		JEANETTE DENNISSON	15	7/27	10:20-11:50		JEANETTE DENNISSON
回	日付	時刻	講義室	担当教員																																																																															
1	4/13	10:20-11:50		JEANETTE DENNISSON																																																																															
2	4/20	10:20-11:50		JEANETTE DENNISSON																																																																															
3	4/27	10:20-11:50		JEANETTE DENNISSON																																																																															
4	5/11	10:20-11:50		JEANETTE DENNISSON																																																																															
5	5/18	10:20-11:50		JEANETTE DENNISSON																																																																															
6	5/25	10:20-11:50		JEANETTE DENNISSON																																																																															
7	6/1	10:20-11:50		JEANETTE DENNISSON																																																																															
8	6/8	10:20-11:50		JEANETTE DENNISSON																																																																															
9	6/15	10:20-11:50		JEANETTE DENNISSON																																																																															
10	6/22	10:20-11:50		JEANETTE DENNISSON																																																																															
11	6/29	10:20-11:50		JEANETTE DENNISSON																																																																															
12	7/6	10:20-11:50		JEANETTE DENNISSON																																																																															
13	7/13	10:20-11:50		JEANETTE DENNISSON																																																																															
14	7/20	10:20-11:50		JEANETTE DENNISSON																																																																															
15	7/27	10:20-11:50		JEANETTE DENNISSON																																																																															
授業方法 Skills Instruction and Practice																																																																																			
授業内容 1 週目: Orientation 2-11 週目: Skills Instruction and Continuous Assessment 12-15 週目: Review and/or Final Assessment																																																																																			

Detailed class contents will be determined based on the needs of the class and are subject to change.
<p>成績評価の方法</p> <p>評価: Participation: 30% assignments: 30% discussion tests: 40%</p> <p>再評価: 有(再評価方法「英語」としての学年末課題)</p> <p>・上記のパーセンテージは、「英語 a」についての評価方法です。「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績を合わせて最終的な成績を算出します。</p> <p>以下の 3 点を満たすことが、B 評価(70 点以上)の必要条件として要求される。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 授業内で課される課題や試験等について、原則としてすべて、期限内に所定の形式で受験または提出すること。 2. 教員から返却される添削ファイルおよびコメントを受けて自らの英語の問題点を客観的に把握し、修正してより良いものに仕上げる 3. 授業および添削・コメントから得た知見を次回以降の課題作成、またはクラス内活動に参加の際に活かすこと。 <p>なお、英語分野では学期の折り返し地点で全学生に中間成績を通知している。</p>
<p>成績評価の基準</p> <p>「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による</p>
<p>準備学習等についての具体的な指示</p> <p>Attendance and participation are both essential.</p>
<p>試験の受験資格</p> <p>「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績を合わせて最終的な成績を算出します。4 クラスすべての履修は必須です。再評価の対象となるのは、英語 abcd の各クラスに原則として3分の2以上出席した者です。ただし、4クラスのうち3クラス以上で 60 点未満の成績がついた者には原則として再評価の機会を与えません。</p>
<p>参考書</p> <p>Sciencedaily and other reliable news websites will be used as material.</p>
<p>履修上の注意事項</p> <p>出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先させます。</p>
<p>備考</p> <p>PC、タブレットなどが必要です。</p> <p>You will need to access the course website or other online teaching materials during each lesson. Therefore, you must have these open for each lesson.</p> <p>Appropriate Use of Technology Policy: During the lesson you are encouraged to use any form of technology (cell phone, laptop, tablet, etc.) that will a) enhance your learning experience and b) will not negatively affect the learning experience of other students.</p> <p>What is NOT acceptable is the use of technology during class for activities that are unrelated to the course. This includes shopping, watching sports, checking Facebook, emailing anyone, talking, texting, tweeting, playing games, watching movies or TV not assigned in class, or doing work that is due in another class.</p>
<p>参照ホームページ</p> <p>「Google ドライブ」を使用する。「Google アカウント」が必要です。</p>
<p>連絡先(メールアドレス)</p> <p>dennisson.las@tmd.ac.jp</p>
<p>オフィスアワー</p> <p>Wednesday/Thursday 12:30 - 13:00 PM 管理研究棟3階</p>

時間割番号	000071																																																			
科目名	英語 a	科目ID	LA-115201-Z																																																	
担当教員	MIYA MARUTSUKA[Miya Marutsuka]																																																			
開講時期	2022 年度前期	対象年次	1																																																	
実務経験のある教員による授業																																																				
<p>・曜日・時間:水曜2限</p> <p>・対象学科:医学科 歯学科</p> <p>・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):</p> <p>別表3-1)</p> <p>別表3-4)</p> <p>別表4-5)</p>																																																				
<p>授業の目的、概要等</p> <p>Students will engage in a range of conversation activities (e.g., in pairs or small groups) and in speech/presentation activities to develop better English listening and speaking skills. New vocabulary will also be introduced. Particular grammatical structures will occasionally be targeted. Readings may be used in particular classes as bases for discussion.</p> <p>The primary goals of this course are to improve English speaking and listening skills.</p>																																																				
<p>授業の到達目標</p> <p>To develop the ability to engage in extended discussions in English, without long pauses, on a range of topics without using dictionaries.</p> <p>To improve the ability to speak in front of others using English.</p> <p>以下の3点を満たすことが、B評価(70点以上)の必要条件として要求される。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 授業内で課される課題や試験等について、原則としてすべて、期限内に所定の形式で受験または提出すること。 2. 教員から返却される添削ファイルおよびコメントを受けて自らの英語の問題点を客観的に把握し、修正してより良いものに仕上げること。 3. 授業および添削・コメントから得た知見を次回以降の課題作成、またはクラス内活動に参加の際に活かすこと。 <p>なお、英語分野では学期の折り返し地点で全学生に中間成績を通知している。</p>																																																				
<p>授業計画</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>講義室</th> <th>授業題目</th> <th>授業内容</th> <th>担当教員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>4/13</td> <td>10:20-11:50</td> <td>遠隔授業 (同期型)</td> <td>Orientation</td> <td>Course Introduction</td> <td>MIYA MARUTSUKA</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>4/20</td> <td>10:20-11:50</td> <td>遠隔授業 (同期型)</td> <td>Topic 1</td> <td>Discussion 1</td> <td>MIYA MARUTSUKA</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>4/27</td> <td>10:20-11:50</td> <td>遠隔授業 (同期型)</td> <td>Topic 2</td> <td>Discussion 2</td> <td>MIYA MARUTSUKA</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>5/11</td> <td>10:20-11:50</td> <td>遠隔授業 (同期型)</td> <td>Topic 3</td> <td>Discussion 3</td> <td>MIYA MARUTSUKA</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>5/18</td> <td>10:20-11:50</td> <td>遠隔授業 (同期型)</td> <td>Activities</td> <td>Group Assignment</td> <td>MIYA MARUTSUKA</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>5/25</td> <td>10:20-11:50</td> <td>遠隔授業 (同期型)</td> <td>Activities</td> <td>Group Assignment</td> <td>MIYA MARUTSUKA</td> </tr> </tbody> </table>				回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	1	4/13	10:20-11:50	遠隔授業 (同期型)	Orientation	Course Introduction	MIYA MARUTSUKA	2	4/20	10:20-11:50	遠隔授業 (同期型)	Topic 1	Discussion 1	MIYA MARUTSUKA	3	4/27	10:20-11:50	遠隔授業 (同期型)	Topic 2	Discussion 2	MIYA MARUTSUKA	4	5/11	10:20-11:50	遠隔授業 (同期型)	Topic 3	Discussion 3	MIYA MARUTSUKA	5	5/18	10:20-11:50	遠隔授業 (同期型)	Activities	Group Assignment	MIYA MARUTSUKA	6	5/25	10:20-11:50	遠隔授業 (同期型)	Activities	Group Assignment	MIYA MARUTSUKA
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員																																														
1	4/13	10:20-11:50	遠隔授業 (同期型)	Orientation	Course Introduction	MIYA MARUTSUKA																																														
2	4/20	10:20-11:50	遠隔授業 (同期型)	Topic 1	Discussion 1	MIYA MARUTSUKA																																														
3	4/27	10:20-11:50	遠隔授業 (同期型)	Topic 2	Discussion 2	MIYA MARUTSUKA																																														
4	5/11	10:20-11:50	遠隔授業 (同期型)	Topic 3	Discussion 3	MIYA MARUTSUKA																																														
5	5/18	10:20-11:50	遠隔授業 (同期型)	Activities	Group Assignment	MIYA MARUTSUKA																																														
6	5/25	10:20-11:50	遠隔授業 (同期型)	Activities	Group Assignment	MIYA MARUTSUKA																																														

7	6/1	10:20-11:50	遠隔授業 (同期型)	Topic 4	Discussion 4	MIYA MARUTSUKA
8	6/8	10:20-11:50	遠隔授業 (同期型)	Topic 5	Discussion 5	MIYA MARUTSUKA
9	6/15	10:20-11:50	遠隔授業 (同期型)	Activities	Group Assignment	MIYA MARUTSUKA
10	6/22	10:20-11:50	遠隔授業 (同期型)	Activities	Group Assignment	MIYA MARUTSUKA
11	6/29	10:20-11:50	遠隔授業 (同期型)	Topic 6	Discussion 6	MIYA MARUTSUKA
12	7/6	10:20-11:50	遠隔授業 (同期型)	Activities	Group Assignment	MIYA MARUTSUKA
13	7/13	10:20-11:50	遠隔授業 (同期型)	Activities	Group Assignment	MIYA MARUTSUKA
14	7/20	10:20-11:50	遠隔授業 (同期型)	Activities	Group Assignment	MIYA MARUTSUKA
15	7/27	10:20-11:50	遠隔授業 (同期型)	Topic 7	Discussion 7	MIYA MARUTSUKA

授業方法

Skills Instruction and Practice

授業内容

Week 1: Orientation

Weeks 2-13: Skills Instruction and Continuous Assessment

Weeks 14 and 15: Review and/or Final Assessment

Detailed class contents will be determined based on the needs of the class and are subject to change.

成績評価の方法

評価: Participation and Homework: 30%, Quizzes: 25%, Group Assignments: 20%, Final Discussion Test: 25%

再評価: 有(再評価方法「英語」としての学年末課題)

・上記のパーセンテージは、「英語 a」についての評価方法です。「英語」は abcd の4クラスの成績を合わせて最終的な成績を算出します。

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習等についての具体的な指示

Attendance and participation are both essential.

試験の受験資格

「英語」は a,b,c,d の4クラスの成績を合わせて最終的な成績を算出します。4クラスすべての履修は必須です。再評価の対象となるのは、英語 abcd の各クラスに原則として3分の2以上出席した者です。ただし、4クラスのうち3クラス以上で60点未満の成績がついた者には原則として再評価の機会を与えません。

履修上の注意事項

出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先させます。

参照ホームページ

Visit <http://www.tmd.ac.jp/artsci/eng/> for more information about instructors.

時間割番号	000072																																																																																													
科目名	英語 a	科目ID	LA-115201-Z																																																																																											
担当教員	MIYA MARUTSUKA[Miya Marutsuka]																																																																																													
開講時期	2022 年度前期	対象年次	1																																																																																											
実務経験のある教員による授業																																																																																														
<p>・曜日・時間: 木曜1限</p> <p>・対象学科: 医学科 歯学科</p> <p>・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):</p> <p>別表3-1)</p> <p>別表3-4)</p> <p>別表4-5)</p>																																																																																														
<p>授業の目的、概要等</p> <p>Students will engage in a range of conversation activities (e.g. in pairs or small groups) and in speech/presentation activities to develop better English listening and speaking skills. New vocabulary will also be introduced. Particular grammatical structures will occasionally be targeted. Readings may be used in particular classes as bases for discussion.</p> <p>The primary goals of this course are to improve English speaking and listening skills.</p>																																																																																														
<p>授業の到達目標</p> <p>To develop the ability to engage in extended discussions in English, without long pauses, on a range of topics without using dictionaries.</p> <p>To improve the ability to speak in front of others using English.</p> <p>以下の3点を満たすことが、B評価(70点以上)の必要条件として要求される。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 授業内で課される課題や試験等について、原則としてすべて、期限内に所定の形式で受験または提出すること。 2. 教員から返却される添削ファイルおよびコメントを受けて自らの英語の問題点を客観的に把握し、修正してより良いものに仕上げる。 3. 授業および添削・コメントから得た知見を次回以降の課題作成、またはクラス内活動に参加の際に活かすこと。 <p>なお、英語分野では学期の折り返し地点で全学生に中間成績を通知している。</p>																																																																																														
<p>授業計画</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>講義室</th> <th>授業題目</th> <th>授業内容</th> <th>担当教員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>4/14</td> <td>09:10-10:40</td> <td>4 番教室</td> <td>Orientation</td> <td>Course Introduction</td> <td>MIYA MARUTSUKA</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>4/21</td> <td>09:10-10:40</td> <td>4 番教室</td> <td>Topic 1</td> <td>Discussion 1</td> <td>MIYA MARUTSUKA</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>4/28</td> <td>09:10-10:40</td> <td>4 番教室</td> <td>Topic 2</td> <td>Discussion 2</td> <td>MIYA MARUTSUKA</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>5/12</td> <td>09:10-10:40</td> <td>4 番教室</td> <td>Topic 3</td> <td>Discussion 3</td> <td>MIYA MARUTSUKA</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>5/19</td> <td>09:10-10:40</td> <td>4 番教室</td> <td>Activities</td> <td>Group Assignment</td> <td>MIYA MARUTSUKA</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>5/26</td> <td>09:10-10:40</td> <td>4 番教室</td> <td>Activities</td> <td>Group Assignment</td> <td>MIYA MARUTSUKA</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>6/2</td> <td>09:10-10:40</td> <td>4 番教室</td> <td>Topic 4</td> <td>Discussion 4</td> <td>MIYA MARUTSUKA</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>6/9</td> <td>09:10-10:40</td> <td>4 番教室</td> <td>Topic 5</td> <td>Discussion 5</td> <td>MIYA MARUTSUKA</td> </tr> <tr> <td>9</td> <td>6/16</td> <td>09:10-10:40</td> <td>4 番教室</td> <td>Activities</td> <td>Group Assignment</td> <td>MIYA MARUTSUKA</td> </tr> <tr> <td>10</td> <td>6/23</td> <td>09:10-10:40</td> <td>4 番教室</td> <td>Activities</td> <td>Group Assignment</td> <td>MIYA MARUTSUKA</td> </tr> <tr> <td>11</td> <td>6/30</td> <td>09:10-10:40</td> <td>4 番教室</td> <td>Topic 6</td> <td>Discussion 6</td> <td>MIYA MARUTSUKA</td> </tr> <tr> <td>12</td> <td>7/7</td> <td>09:10-10:40</td> <td>4 番教室</td> <td>Activities</td> <td>Group Assignment</td> <td>MIYA MARUTSUKA</td> </tr> </tbody> </table>				回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	1	4/14	09:10-10:40	4 番教室	Orientation	Course Introduction	MIYA MARUTSUKA	2	4/21	09:10-10:40	4 番教室	Topic 1	Discussion 1	MIYA MARUTSUKA	3	4/28	09:10-10:40	4 番教室	Topic 2	Discussion 2	MIYA MARUTSUKA	4	5/12	09:10-10:40	4 番教室	Topic 3	Discussion 3	MIYA MARUTSUKA	5	5/19	09:10-10:40	4 番教室	Activities	Group Assignment	MIYA MARUTSUKA	6	5/26	09:10-10:40	4 番教室	Activities	Group Assignment	MIYA MARUTSUKA	7	6/2	09:10-10:40	4 番教室	Topic 4	Discussion 4	MIYA MARUTSUKA	8	6/9	09:10-10:40	4 番教室	Topic 5	Discussion 5	MIYA MARUTSUKA	9	6/16	09:10-10:40	4 番教室	Activities	Group Assignment	MIYA MARUTSUKA	10	6/23	09:10-10:40	4 番教室	Activities	Group Assignment	MIYA MARUTSUKA	11	6/30	09:10-10:40	4 番教室	Topic 6	Discussion 6	MIYA MARUTSUKA	12	7/7	09:10-10:40	4 番教室	Activities	Group Assignment	MIYA MARUTSUKA
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員																																																																																								
1	4/14	09:10-10:40	4 番教室	Orientation	Course Introduction	MIYA MARUTSUKA																																																																																								
2	4/21	09:10-10:40	4 番教室	Topic 1	Discussion 1	MIYA MARUTSUKA																																																																																								
3	4/28	09:10-10:40	4 番教室	Topic 2	Discussion 2	MIYA MARUTSUKA																																																																																								
4	5/12	09:10-10:40	4 番教室	Topic 3	Discussion 3	MIYA MARUTSUKA																																																																																								
5	5/19	09:10-10:40	4 番教室	Activities	Group Assignment	MIYA MARUTSUKA																																																																																								
6	5/26	09:10-10:40	4 番教室	Activities	Group Assignment	MIYA MARUTSUKA																																																																																								
7	6/2	09:10-10:40	4 番教室	Topic 4	Discussion 4	MIYA MARUTSUKA																																																																																								
8	6/9	09:10-10:40	4 番教室	Topic 5	Discussion 5	MIYA MARUTSUKA																																																																																								
9	6/16	09:10-10:40	4 番教室	Activities	Group Assignment	MIYA MARUTSUKA																																																																																								
10	6/23	09:10-10:40	4 番教室	Activities	Group Assignment	MIYA MARUTSUKA																																																																																								
11	6/30	09:10-10:40	4 番教室	Topic 6	Discussion 6	MIYA MARUTSUKA																																																																																								
12	7/7	09:10-10:40	4 番教室	Activities	Group Assignment	MIYA MARUTSUKA																																																																																								

13	7/14	09:10-10:40	4 番教室	Activities	Group Assignment	MIYA MARUTSUKA
14	7/21	09:10-10:40	4 番教室	Activities	Group Assignment	MIYA MARUTSUKA
15	7/28	09:10-10:40	4 番教室	Topic 7	Discussion 7	MIYA MARUTSUKA
授業方法						
Skills Instruction and Practice						
授業内容						
Week 1: Orientation						
Weeks 2-13: Skills Instruction and Continuous Assessment						
Week 14 and 15: Review and/or Final Assessment						
Detailed class contents will be determined based on the needs of the class and are subject to change.						
成績評価の方法						
評価: Participation and Homework: 30%, Quizzes: 25%, Group Assignments: 20%, Final Discussion Test: 25%						
再評価: 有(再評価方法「英語」としての学年末課題)						
・上記のパーセンテージは、「英語 a」についての評価方法です。「英語」は abcd の4クラスの成績を合わせて最終的な成績を算出します。						
成績評価の基準						
「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による						
準備学習等についての具体的な指示						
Attendance and participation are both essential.						
試験の受験資格						
「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績を合わせて最終的な成績を算出します。4 クラスすべての履修は必須です。再評価の対象となるのは、英語 abcd の各クラスに原則として3分の2以上出席した者です。ただし、4クラスのうち3クラス以上で 60 点未満の成績がついた者には原則として再評価の機会を与えません。						
履修上の注意事項						
出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先させます。						
参照ホームページ						
Visit http://www.tmd.ac.jp/artsci/engl/ for more information about instructors.						

時間割番号	000073																																																																																													
科目名	英語 a	科目ID	LA-115201-Z																																																																																											
担当教員	野口 大斗[NOGUCHI Hiroto]																																																																																													
開講時期	2022 年度前期	対象年次	1																																																																																											
実務経験のある教員による授業																																																																																														
<p>・曜日・時間: 木曜2限</p> <p>・対象学科: 保健衛生学科 口腔保健学科</p> <p>・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):</p> <p>別表3-1)</p> <p>別表3-4)</p> <p>別表4-5)</p>																																																																																														
<p>授業の目的、概要等</p> <p>Students will engage in a range of conversation activities (e.g., in pairs or small groups) and in speech/presentation activities to develop better English listening and speaking skills. New vocabulary will also be introduced. Particular grammatical structures will occasionally be targeted. Readings may be used in particular classes as bases for discussion.</p> <p>The primary goals of this course are to improve English speaking and listening skills.</p>																																																																																														
<p>授業の到達目標</p> <p>To develop the ability to engage in extended discussions in English, without long pauses, on a range of topics without using dictionaries.</p> <p>To improve the ability to speak in front of others using English.</p> <p>以下の3点を満たすことが、B評価(70点以上)の必要条件として要求される。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 授業内で課される課題や試験等について、原則としてすべて、期限内に所定の形式で受験または提出すること。 2. 教員から返却される添削ファイルおよびコメントを受けて自らの英語の問題点を客観的に把握し、修正してより良いものに仕上げる。 3. 授業および添削・コメントから得た知見を次回以降の課題作成、またはクラス内活動に参加の際に活かすこと。 <p>なお、英語分野では学期の折り返し地点で全学生に中間成績を通知している。</p>																																																																																														
<p>授業計画</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>講義室</th> <th>授業題目</th> <th>授業内容</th> <th>担当教員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>4/14</td> <td>10:50-12:20</td> <td>5 番教室</td> <td>Guidance</td> <td>Course Introduction</td> <td>野口 大斗</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>4/21</td> <td>10:50-12:20</td> <td>5 番教室</td> <td>Topic 1</td> <td>Discussion 1</td> <td>野口 大斗</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>4/28</td> <td>10:50-12:20</td> <td>5 番教室</td> <td>Topic 2</td> <td>Discussion 2</td> <td>野口 大斗</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>5/12</td> <td>10:50-12:20</td> <td>5 番教室</td> <td>Topic 3</td> <td>Discussion 3</td> <td>野口 大斗</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>5/19</td> <td>10:50-12:20</td> <td>5 番教室</td> <td>Topic 4</td> <td>Discussion 4</td> <td>野口 大斗</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>5/26</td> <td>10:50-12:20</td> <td>5 番教室</td> <td>Topic 5</td> <td>Discussion 5</td> <td>野口 大斗</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>6/2</td> <td>10:50-12:20</td> <td>5 番教室</td> <td>Topic 6</td> <td>Discussion 6</td> <td>野口 大斗</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>6/9</td> <td>10:50-12:20</td> <td>5 番教室</td> <td>Topic 7</td> <td>Discussion 7</td> <td>野口 大斗</td> </tr> <tr> <td>9</td> <td>6/16</td> <td>10:50-12:20</td> <td>5 番教室</td> <td>Topic 8</td> <td>Discussion 8</td> <td>野口 大斗</td> </tr> <tr> <td>10</td> <td>6/23</td> <td>10:50-12:20</td> <td>5 番教室</td> <td>Topic 9</td> <td>Discussion 9</td> <td>野口 大斗</td> </tr> <tr> <td>11</td> <td>6/30</td> <td>10:50-12:20</td> <td>5 番教室</td> <td>Topic 10</td> <td>Discussion 10</td> <td>野口 大斗</td> </tr> <tr> <td>12</td> <td>7/7</td> <td>10:50-12:20</td> <td>5 番教室</td> <td>Topic 11</td> <td>Discussion 11</td> <td>野口 大斗</td> </tr> </tbody> </table>				回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	1	4/14	10:50-12:20	5 番教室	Guidance	Course Introduction	野口 大斗	2	4/21	10:50-12:20	5 番教室	Topic 1	Discussion 1	野口 大斗	3	4/28	10:50-12:20	5 番教室	Topic 2	Discussion 2	野口 大斗	4	5/12	10:50-12:20	5 番教室	Topic 3	Discussion 3	野口 大斗	5	5/19	10:50-12:20	5 番教室	Topic 4	Discussion 4	野口 大斗	6	5/26	10:50-12:20	5 番教室	Topic 5	Discussion 5	野口 大斗	7	6/2	10:50-12:20	5 番教室	Topic 6	Discussion 6	野口 大斗	8	6/9	10:50-12:20	5 番教室	Topic 7	Discussion 7	野口 大斗	9	6/16	10:50-12:20	5 番教室	Topic 8	Discussion 8	野口 大斗	10	6/23	10:50-12:20	5 番教室	Topic 9	Discussion 9	野口 大斗	11	6/30	10:50-12:20	5 番教室	Topic 10	Discussion 10	野口 大斗	12	7/7	10:50-12:20	5 番教室	Topic 11	Discussion 11	野口 大斗
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員																																																																																								
1	4/14	10:50-12:20	5 番教室	Guidance	Course Introduction	野口 大斗																																																																																								
2	4/21	10:50-12:20	5 番教室	Topic 1	Discussion 1	野口 大斗																																																																																								
3	4/28	10:50-12:20	5 番教室	Topic 2	Discussion 2	野口 大斗																																																																																								
4	5/12	10:50-12:20	5 番教室	Topic 3	Discussion 3	野口 大斗																																																																																								
5	5/19	10:50-12:20	5 番教室	Topic 4	Discussion 4	野口 大斗																																																																																								
6	5/26	10:50-12:20	5 番教室	Topic 5	Discussion 5	野口 大斗																																																																																								
7	6/2	10:50-12:20	5 番教室	Topic 6	Discussion 6	野口 大斗																																																																																								
8	6/9	10:50-12:20	5 番教室	Topic 7	Discussion 7	野口 大斗																																																																																								
9	6/16	10:50-12:20	5 番教室	Topic 8	Discussion 8	野口 大斗																																																																																								
10	6/23	10:50-12:20	5 番教室	Topic 9	Discussion 9	野口 大斗																																																																																								
11	6/30	10:50-12:20	5 番教室	Topic 10	Discussion 10	野口 大斗																																																																																								
12	7/7	10:50-12:20	5 番教室	Topic 11	Discussion 11	野口 大斗																																																																																								

13	7/14	10:50-12:20	5 番教室	Topic 12	Discussion 12	野口 大斗
14	7/21	10:50-12:20	5 番教室	Pre-Test Preparation	Practice	野口 大斗
15	7/28	10:50-12:20	5 番教室	In-Class Exam	Discussion Test	野口 大斗
授業方法						
Skills Instruction and Practice						
授業内容						
Week 1: Orientation						
Weeks 2-13: Skills Instruction and Continuous Assessment						
Week 14 and 15: Review and/or Final Assessment						
Detailed class contents will be determined based on the needs of the class and are subject to change.						
成績評価の方法						
評価: participation: 50%, discussion test: 25%, quizzes/assignments: 25%						
再評価: 有(再評価方法「英語」としての学年末課題)						
・上記のパーセンテージは、「英語 a」についての評価方法です。「英語」は abcd の4クラスの成績を合わせて最終的な成績を算出します。						
成績評価の基準						
「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による						
準備学習等についての具体的な指示						
Attendance and participation are both essential.						
試験の受験資格						
「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績を合わせて最終的な成績を算出します。4 クラスすべての履修は必須です。再評価の対象となるのは、英語 abcd の各クラスに原則として3分の2以上出席した者です。ただし、4クラスのうち3クラス以上で 60 点未満の成績がついた者には原則として再評価の機会を与えません。						
履修上の注意事項						
出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先させます。						
参照ホームページ						
Visit http://www.tmd.ac.jp/artsci/engl/ for more information about instructors.						

時間割番号	000074																																																																																		
科目名	英語 a	科目ID	LA-115201-Z																																																																																
担当教員	JEANETTE DENNISSON[JEANETTE DENNISSON]																																																																																		
開講時期	2022 年度前期	対象年次	1																																																																																
実務経験のある教員による授業																																																																																			
<p>対面授業です。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・曜日・時間:木曜1限 ・対象学科:口腔保健衛生学・看護学 ・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): <ul style="list-style-type: none"> 別表3-1) 別表3-4) 別表4-5) 																																																																																			
<p>授業の目的、概要等</p> <p>Students will engage in a range of conversation activities (e.g. in pairs or small groups) and in speech/presentation activities to develop better English listening and speaking skills. New vocabulary will also be introduced. Particular grammatical structures will occasionally be targeted. Readings may be used in particular classes as bases for discussion.</p> <p>The primary goals of this course are to improve English speaking and listening skills.</p>																																																																																			
<p>授業の到達目標</p> <p>To develop the ability to engage in extended discussions in English, without long pauses, on a range of topics without using dictionaries.</p> <p>To improve the ability to speak in front of others using English.</p>																																																																																			
<p>授業計画</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>講義室</th> <th>担当教員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td>4/14</td><td>09:10-10:40</td><td></td><td>JEANETTE DENNISSON</td></tr> <tr><td>2</td><td>4/21</td><td>09:10-10:40</td><td></td><td>JEANETTE DENNISSON</td></tr> <tr><td>3</td><td>4/28</td><td>09:10-10:40</td><td></td><td>JEANETTE DENNISSON</td></tr> <tr><td>4</td><td>5/12</td><td>09:10-10:40</td><td></td><td>JEANETTE DENNISSON</td></tr> <tr><td>5</td><td>5/19</td><td>09:10-10:40</td><td></td><td>JEANETTE DENNISSON</td></tr> <tr><td>6</td><td>5/26</td><td>09:10-10:40</td><td></td><td>JEANETTE DENNISSON</td></tr> <tr><td>7</td><td>6/2</td><td>09:10-10:40</td><td></td><td>JEANETTE DENNISSON</td></tr> <tr><td>8</td><td>6/9</td><td>09:10-10:40</td><td></td><td>JEANETTE DENNISSON</td></tr> <tr><td>9</td><td>6/16</td><td>09:10-10:40</td><td></td><td>JEANETTE DENNISSON</td></tr> <tr><td>10</td><td>6/23</td><td>09:10-10:40</td><td></td><td>JEANETTE DENNISSON</td></tr> <tr><td>11</td><td>6/30</td><td>09:10-10:40</td><td></td><td>JEANETTE DENNISSON</td></tr> <tr><td>12</td><td>7/7</td><td>09:10-10:40</td><td></td><td>JEANETTE DENNISSON</td></tr> <tr><td>13</td><td>7/14</td><td>09:10-10:40</td><td></td><td>JEANETTE DENNISSON</td></tr> <tr><td>14</td><td>7/21</td><td>09:10-10:40</td><td></td><td>JEANETTE DENNISSON</td></tr> <tr><td>15</td><td>7/28</td><td>09:10-10:40</td><td></td><td>JEANETTE DENNISSON</td></tr> </tbody> </table>				回	日付	時刻	講義室	担当教員	1	4/14	09:10-10:40		JEANETTE DENNISSON	2	4/21	09:10-10:40		JEANETTE DENNISSON	3	4/28	09:10-10:40		JEANETTE DENNISSON	4	5/12	09:10-10:40		JEANETTE DENNISSON	5	5/19	09:10-10:40		JEANETTE DENNISSON	6	5/26	09:10-10:40		JEANETTE DENNISSON	7	6/2	09:10-10:40		JEANETTE DENNISSON	8	6/9	09:10-10:40		JEANETTE DENNISSON	9	6/16	09:10-10:40		JEANETTE DENNISSON	10	6/23	09:10-10:40		JEANETTE DENNISSON	11	6/30	09:10-10:40		JEANETTE DENNISSON	12	7/7	09:10-10:40		JEANETTE DENNISSON	13	7/14	09:10-10:40		JEANETTE DENNISSON	14	7/21	09:10-10:40		JEANETTE DENNISSON	15	7/28	09:10-10:40		JEANETTE DENNISSON
回	日付	時刻	講義室	担当教員																																																																															
1	4/14	09:10-10:40		JEANETTE DENNISSON																																																																															
2	4/21	09:10-10:40		JEANETTE DENNISSON																																																																															
3	4/28	09:10-10:40		JEANETTE DENNISSON																																																																															
4	5/12	09:10-10:40		JEANETTE DENNISSON																																																																															
5	5/19	09:10-10:40		JEANETTE DENNISSON																																																																															
6	5/26	09:10-10:40		JEANETTE DENNISSON																																																																															
7	6/2	09:10-10:40		JEANETTE DENNISSON																																																																															
8	6/9	09:10-10:40		JEANETTE DENNISSON																																																																															
9	6/16	09:10-10:40		JEANETTE DENNISSON																																																																															
10	6/23	09:10-10:40		JEANETTE DENNISSON																																																																															
11	6/30	09:10-10:40		JEANETTE DENNISSON																																																																															
12	7/7	09:10-10:40		JEANETTE DENNISSON																																																																															
13	7/14	09:10-10:40		JEANETTE DENNISSON																																																																															
14	7/21	09:10-10:40		JEANETTE DENNISSON																																																																															
15	7/28	09:10-10:40		JEANETTE DENNISSON																																																																															
<p>授業方法</p> <p>Skills Instruction and Practice</p>																																																																																			
<p>授業内容</p> <p>1週目: Orientation 2-11 週目: Skills Instruction and Continuous Assessment 12-15 週目: Review and/or Final Assessment</p>																																																																																			

Detailed class contents will be determined based on the needs of the class and are subject to change.

成績評価の方法

評価: Participation: 30% assignments: 30% discussion tests: 40%

再評価: 有(再評価方法「英語」としての学年末課題)

・上記のパーセンテージは、「英語 a」についての評価方法です。「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績を合わせて最終的な成績を算出します。

以下の 3 点を満たすことが、B 評価(70 点以上)の必要条件として要求される。

1. 授業内で課される課題や試験等について、原則としてすべて、期限内に所定の形式で受験または提出すること。
2. 教員から返却される添削ファイルおよびコメントを受けて自らの英語の問題点を客観的に把握し、修正してより良いものに仕上げる事。
3. 授業および添削・コメントから得た知見を次回以降の課題作成、またはクラス内活動に参加の際に活かすこと。

なお、英語分野では学期の折り返し地点で全学生に中間成績を通知している。

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習等についての具体的な指示

Attendance and participation are both essential.

試験の受験資格

「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績を合わせて最終的な成績を算出します。4 クラスすべての履修は必須です。再評価の対象となるのは、英語 a,b,c,d の各クラスに原則として3分の2以上出席した者です。ただし、4クラスのうち3クラス以上で 60 点未満の成績がついた者には原則として再評価の機会を与えません。

教科書

Sciencedaily and other reliable news websites will be used as material.

履修上の注意事項

出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先させます。

備考

PC、タブレットなどが必要です。

You may need to access the course website or other online teaching materials during each lesson. Therefore, you must bring a wireless device (laptop, tablet, cell phone) with you to every lesson. Please understand if the internet is unstable, it is your responsibility to have your materials for class in printed or accessible on your device.

Appropriate Use of Technology Policy: During the lesson you are encouraged to use any form of technology (cell phone, laptop, tablet, etc.) that will a) enhance your learning experience and b) will not negatively affect the learning experience of other students.

What is NOT acceptable is the use of technology during class for activities that are unrelated to the course. This includes shopping, watching sports, checking Facebook, emailing anyone, talking, texting, tweeting, playing games, watching movies or TV not assigned in class, or doing work that is due in another class.

参照ホームページ

「Google ドライブ」を使用する。「Google アカウント」が必要です。

Students should have a Google account and be able to access the course folder on the Google drive.

連絡先(メールアドレス)

dennisson.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

Wednesday/Thursday 12:30 – 13:00 PM 管理研究棟3階

時間割番号	000075																																																																																													
科目名	英語 a	科目ID	LA-115201-Z																																																																																											
担当教員	LITTEN CHRISTOPHER T[LITTEN Christopher T]																																																																																													
開講時期	2022 年度前期	対象年次	1																																																																																											
実務経験のある教員による授業																																																																																														
<p>・曜日・時間: 木曜1限</p> <p>・対象: 医学科・歯学科</p> <p>・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):</p> <p>別表3-1)</p> <p>別表3-4)</p> <p>別表4-5)</p>																																																																																														
<p>授業の目的、概要等</p> <p>Students will engage in a range of conversation activities (e.g., in pairs or small groups) and in speech/presentation activities to develop better English listening and speaking skills. New vocabulary will also be introduced. Particular grammatical structures will occasionally be targeted. Readings may be used in particular classes as bases for discussion.</p> <p>The primary goals of this course are to improve English speaking and listening skills.</p>																																																																																														
<p>授業の到達目標</p> <p>To develop the ability to engage in extended discussions in English, without long pauses, on a range of topics without using dictionaries.</p> <p>To improve the ability to speak in front of others using English.</p> <p>以下の3点を満たすことが、B評価(70点以上)の必要条件として要求される。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 授業内で課される課題や試験等について、原則としてすべて、期限内に所定の形式で受験または提出すること。 2. 教員から返却される添削ファイルおよびコメントを受けて自らの英語の問題点を客観的に把握し、修正してより良いものに仕上げる。 3. 授業および添削・コメントから得た知見を次回以降の課題作成、またはクラス内活動に参加の際に活かすこと。 <p>なお、英語分野では学期の折り返し地点で全学生に中間成績を通知している。</p>																																																																																														
<p>授業計画</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>講義室</th> <th>授業題目</th> <th>授業内容</th> <th>担当教員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>4/14</td> <td>09:10-10:40</td> <td>5 番教室</td> <td>Guidance</td> <td>Course Introduction</td> <td>LITTEN CHRISTOPHER T</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>4/21</td> <td>09:10-10:40</td> <td>5 番教室</td> <td>Topic 1</td> <td>Listening and Speaking Activities</td> <td>LITTEN CHRISTOPHER T</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>4/28</td> <td>09:10-10:40</td> <td>5 番教室</td> <td>Topic 2</td> <td>Listening and Speaking Activities</td> <td>LITTEN CHRISTOPHER T</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>5/12</td> <td>09:10-10:40</td> <td>5 番教室</td> <td>Topic 3</td> <td>Listening and Speaking Activities</td> <td>LITTEN CHRISTOPHER T</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>5/19</td> <td>09:10-10:40</td> <td>5 番教室</td> <td>Topic 4</td> <td>Listening and Speaking Activities</td> <td>LITTEN CHRISTOPHER T</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>5/26</td> <td>09:10-10:40</td> <td>5 番教室</td> <td>Topic 5</td> <td>Listening and Speaking Activities</td> <td>LITTEN CHRISTOPHER T</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>6/2</td> <td>09:10-10:40</td> <td>5 番教室</td> <td>Topic 6</td> <td>Listening and Speaking Activities</td> <td>LITTEN CHRISTOPHER T</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>6/9</td> <td>09:10-10:40</td> <td>5 番教室</td> <td>Topic 7</td> <td>Listening and Speaking Activities</td> <td>LITTEN CHRISTOPHER T</td> </tr> <tr> <td>9</td> <td>6/16</td> <td>09:10-10:40</td> <td>5 番教室</td> <td>Topic 8</td> <td>Listening and Speaking Activities</td> <td>LITTEN CHRISTOPHER T</td> </tr> <tr> <td>10</td> <td>6/23</td> <td>09:10-10:40</td> <td>5 番教室</td> <td>Topic 9</td> <td>Listening and Speaking Activities</td> <td>LITTEN CHRISTOPHER T</td> </tr> <tr> <td>11</td> <td>6/30</td> <td>09:10-10:40</td> <td>5 番教室</td> <td>Topic 10</td> <td>Listening and Speaking Activities</td> <td>LITTEN CHRISTOPHER T</td> </tr> <tr> <td>12</td> <td>7/7</td> <td>09:10-10:40</td> <td>5 番教室</td> <td>Topic 11</td> <td>Listening and Speaking Activities</td> <td>LITTEN CHRISTOPHER T</td> </tr> </tbody> </table>				回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	1	4/14	09:10-10:40	5 番教室	Guidance	Course Introduction	LITTEN CHRISTOPHER T	2	4/21	09:10-10:40	5 番教室	Topic 1	Listening and Speaking Activities	LITTEN CHRISTOPHER T	3	4/28	09:10-10:40	5 番教室	Topic 2	Listening and Speaking Activities	LITTEN CHRISTOPHER T	4	5/12	09:10-10:40	5 番教室	Topic 3	Listening and Speaking Activities	LITTEN CHRISTOPHER T	5	5/19	09:10-10:40	5 番教室	Topic 4	Listening and Speaking Activities	LITTEN CHRISTOPHER T	6	5/26	09:10-10:40	5 番教室	Topic 5	Listening and Speaking Activities	LITTEN CHRISTOPHER T	7	6/2	09:10-10:40	5 番教室	Topic 6	Listening and Speaking Activities	LITTEN CHRISTOPHER T	8	6/9	09:10-10:40	5 番教室	Topic 7	Listening and Speaking Activities	LITTEN CHRISTOPHER T	9	6/16	09:10-10:40	5 番教室	Topic 8	Listening and Speaking Activities	LITTEN CHRISTOPHER T	10	6/23	09:10-10:40	5 番教室	Topic 9	Listening and Speaking Activities	LITTEN CHRISTOPHER T	11	6/30	09:10-10:40	5 番教室	Topic 10	Listening and Speaking Activities	LITTEN CHRISTOPHER T	12	7/7	09:10-10:40	5 番教室	Topic 11	Listening and Speaking Activities	LITTEN CHRISTOPHER T
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員																																																																																								
1	4/14	09:10-10:40	5 番教室	Guidance	Course Introduction	LITTEN CHRISTOPHER T																																																																																								
2	4/21	09:10-10:40	5 番教室	Topic 1	Listening and Speaking Activities	LITTEN CHRISTOPHER T																																																																																								
3	4/28	09:10-10:40	5 番教室	Topic 2	Listening and Speaking Activities	LITTEN CHRISTOPHER T																																																																																								
4	5/12	09:10-10:40	5 番教室	Topic 3	Listening and Speaking Activities	LITTEN CHRISTOPHER T																																																																																								
5	5/19	09:10-10:40	5 番教室	Topic 4	Listening and Speaking Activities	LITTEN CHRISTOPHER T																																																																																								
6	5/26	09:10-10:40	5 番教室	Topic 5	Listening and Speaking Activities	LITTEN CHRISTOPHER T																																																																																								
7	6/2	09:10-10:40	5 番教室	Topic 6	Listening and Speaking Activities	LITTEN CHRISTOPHER T																																																																																								
8	6/9	09:10-10:40	5 番教室	Topic 7	Listening and Speaking Activities	LITTEN CHRISTOPHER T																																																																																								
9	6/16	09:10-10:40	5 番教室	Topic 8	Listening and Speaking Activities	LITTEN CHRISTOPHER T																																																																																								
10	6/23	09:10-10:40	5 番教室	Topic 9	Listening and Speaking Activities	LITTEN CHRISTOPHER T																																																																																								
11	6/30	09:10-10:40	5 番教室	Topic 10	Listening and Speaking Activities	LITTEN CHRISTOPHER T																																																																																								
12	7/7	09:10-10:40	5 番教室	Topic 11	Listening and Speaking Activities	LITTEN CHRISTOPHER T																																																																																								

13	7/14	09:10-10:40	5 番教室	Topic 12	Listening and Speaking Activities	LITTEN CHRISTOPHER T
14	7/21	09:10-10:40	5 番教室	Topic 13	Listening and Speaking Activities	LITTEN CHRISTOPHER T
15	7/28	09:10-10:40	5 番教室	Review	Listening and Speaking Activities	LITTEN CHRISTOPHER T
授業方法						
Skills Instruction and Practice						
授業内容						
Week 1: Orientation						
Weeks 2-13: Skills Instruction and Continuous Assessment						
Week 14 and 15: Review and/or Final Assessment						
Detailed class contents will be determined based on the needs of the class and are subject to change.						
成績評価の方法						
評価: Participation 20% mini-discussion quizzes 25% class discussion presentation 10% homework & activities 20% final discussion test 25%						
再評価: 有(再評価方法「英語」としての学年末課題)						
・上記のパーセンテージは、「英語 a」についての評価方法です。「英語」は abcd の4クラスの成績を合わせて最終的な成績を算出します。						
成績評価の基準						
「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による						
準備学習等についての具体的な指示						
Attendance and participation are both essential.						
試験の受験資格						
「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績を合わせて最終的な成績を算出します。4 クラスすべての履修は必須です。再評価の対象となるのは、英語 abcd の各クラスに原則として3分の2以上出席した者です。ただし、4クラスのうち3クラス以上で 60 点未満の成績がついた者には原則として再評価の機会を与えません。						
履修上の注意事項						
出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先させます。						
参照ホームページ						
Visit http://www.tmd.ac.jp/artsci/eng/ for more information about instructors.						

時間割番号	000076																																																			
科目名	英語 b	科目 ID	LA-115202-Z																																																	
担当教員	PATRICK FOSS, LITTEN CHRISTOPHER T [PATRICK FOSS, LITTEN Christopher T]																																																			
開講時期	2022 年度前期	対象年次	1																																																	
実務経験のある教員による授業																																																				
<ul style="list-style-type: none"> ・曜日・時間: 木曜2限 ・対象: 医学科・歯学科 ・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 別表3-4) 別表4-5) 																																																				
授業の目的、概要等 Students will write in English on a variety of themes. Students will also read and evaluate both student-written and professionally-written passages. The primary goal of this course is to improve English writing skills. A secondary goal is to improve English reading skills.																																																				
授業の到達目標 To improve writing abilities at the sentence-level and beyond, depending on proficiency. To improve the ability to read different types of written works effectively. To enlarge vocabulary not only for reading but also for writing. 以下の3点を満たすことが、B 評価(70 点以上)の必要条件として要求される。 1. 授業内で課される課題や試験等について、原則としてすべて、期限内に所定の形式で受験または提出すること。 2. 教員から返却される添削ファイルおよびコメントを受けて自らの英語の問題点を客観的に把握し、修正してより良いものに仕上げる こと。 3. 授業および添削・コメントから得た知見を次回以降の課題作成、またはクラス内活動に参加の際に活かすこと。 なお、英語分野では学期の折り返し地点で全学生に中間成績を通知している。																																																				
授業計画 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>講義室</th> <th>授業題目</th> <th>授業内容</th> <th>担当教員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>4/14</td> <td>10:50-12:20</td> <td>9 番教室</td> <td>Orientation</td> <td>Course Introduction Reading/Writing Activities</td> <td>PATRICK FOSS, LITTEN CHRISTOPHER T</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>4/21</td> <td>10:50-12:20</td> <td>9 番教室</td> <td>Paragraphs</td> <td>Reading/Writing Activities</td> <td>PATRICK FOSS, LITTEN CHRISTOPHER T</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>4/28</td> <td>10:50-12:20</td> <td>9 番教室</td> <td>Paragraphs</td> <td>Reading/Writing Activities</td> <td>PATRICK FOSS, LITTEN CHRISTOPHER T</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>5/12</td> <td>10:50-12:20</td> <td>9 番教室</td> <td>Paragraphs</td> <td>Reading/Writing Activities</td> <td>PATRICK FOSS, LITTEN CHRISTOPHER T</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>5/19</td> <td>10:50-12:20</td> <td>9 番教室</td> <td>Essays</td> <td>Reading/Writing Activities</td> <td>PATRICK FOSS, LITTEN CHRISTOPHER T</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>5/26</td> <td>10:50-12:20</td> <td>9 番教室</td> <td>Essays</td> <td>Reading/Writing Activities</td> <td>PATRICK FOSS, LITTEN</td> </tr> </tbody> </table>				回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	1	4/14	10:50-12:20	9 番教室	Orientation	Course Introduction Reading/Writing Activities	PATRICK FOSS, LITTEN CHRISTOPHER T	2	4/21	10:50-12:20	9 番教室	Paragraphs	Reading/Writing Activities	PATRICK FOSS, LITTEN CHRISTOPHER T	3	4/28	10:50-12:20	9 番教室	Paragraphs	Reading/Writing Activities	PATRICK FOSS, LITTEN CHRISTOPHER T	4	5/12	10:50-12:20	9 番教室	Paragraphs	Reading/Writing Activities	PATRICK FOSS, LITTEN CHRISTOPHER T	5	5/19	10:50-12:20	9 番教室	Essays	Reading/Writing Activities	PATRICK FOSS, LITTEN CHRISTOPHER T	6	5/26	10:50-12:20	9 番教室	Essays	Reading/Writing Activities	PATRICK FOSS, LITTEN
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員																																														
1	4/14	10:50-12:20	9 番教室	Orientation	Course Introduction Reading/Writing Activities	PATRICK FOSS, LITTEN CHRISTOPHER T																																														
2	4/21	10:50-12:20	9 番教室	Paragraphs	Reading/Writing Activities	PATRICK FOSS, LITTEN CHRISTOPHER T																																														
3	4/28	10:50-12:20	9 番教室	Paragraphs	Reading/Writing Activities	PATRICK FOSS, LITTEN CHRISTOPHER T																																														
4	5/12	10:50-12:20	9 番教室	Paragraphs	Reading/Writing Activities	PATRICK FOSS, LITTEN CHRISTOPHER T																																														
5	5/19	10:50-12:20	9 番教室	Essays	Reading/Writing Activities	PATRICK FOSS, LITTEN CHRISTOPHER T																																														
6	5/26	10:50-12:20	9 番教室	Essays	Reading/Writing Activities	PATRICK FOSS, LITTEN																																														

						CHRISTOPHER T
7	6/2	10:50-12:20	9 番教室	Essays	Reading/Writing Activities	PATRICK FOSS, LITTEN CHRISTOPHER T
8	6/9	10:50-12:20	9 番教室	Critical Analysis	Reading/Writing Activities	PATRICK FOSS, LITTEN CHRISTOPHER T
9	6/16	10:50-12:20	9 番教室	Critical Analysis	Reading/Writing Activities	PATRICK FOSS, LITTEN CHRISTOPHER T
10	6/23	10:50-12:20	9 番教室	Critical Analysis	Reading/Writing Activities	PATRICK FOSS, LITTEN CHRISTOPHER T
11	6/30	10:50-12:20	9 番教室	Critical Analysis	Reading/Writing Activities	PATRICK FOSS, LITTEN CHRISTOPHER T
12	7/7	10:50-12:20	9 番教室	Critical Analysis	Reading/Writing Activities	PATRICK FOSS, LITTEN CHRISTOPHER T
13	7/14	10:50-12:20	9 番教室	Integrating Skills	Reading/Writing Activities	PATRICK FOSS, LITTEN CHRISTOPHER T
14	7/21	10:50-12:20	9 番教室	Integrating Skills	Reading/Writing Activities	PATRICK FOSS, LITTEN CHRISTOPHER T
15	7/28	10:50-12:20	9 番教室	Course Review	Reading/Writing Activities	PATRICK FOSS, LITTEN CHRISTOPHER T

授業方法

Skills Instruction and Practice

授業内容

Week 1: Orientation

Weeks 2-13: Skills Instruction and Continuous Assessment

Weeks 14 and 15: Review and/or Final Assessment

Detailed class contents will be determined based on the needs of the class and are subject to change.

成績評価の方法

評価: writing assignments 70% journal 10% participation/quizzes 20%

再評価: 有(再評価方法「英語」としての学年末課題)

・上記のパーセンテージは、「英語 b」についての評価方法です。「英語」は abcd の4クラスの成績を合わせて最終的な成績を算出します。

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習等についての具体的な指示

Attendance and participation are both essential.

試験の受験資格

「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績を合わせて最終的な成績を算出します。4 クラスすべての履修は必須です。再評価の対象となるのは、英語 abcd の各クラスに原則として3分の2以上出席した者です。ただし、4クラスのうち3クラス以上で 60 点未満の成績がついた者には原則として再評価の機会を与えません。

履修上の注意事項

出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先させます。

参照ホームページ

Visit <http://www.tmd.ac.jp/artsci/eng/> for more information about instructors.

時間割番号	000077																																																																																		
科目名	英語 a	科目ID	LA-115201-Z																																																																																
担当教員	JEANETTE DENNISSON[JEANETTE DENNISSON]																																																																																		
開講時期	2022 年度前期	対象年次	1																																																																																
実務経験のある教員による授業																																																																																			
<p>対面授業です。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・曜日・時間:木曜 2 限 ・対象学科:医学科・歯学科 ・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): <ul style="list-style-type: none"> 別表3-1) 別表3-4) 別表4-5) 																																																																																			
<p>授業の目的、概要等</p> <p>Students will engage in a range of conversation activities (e.g. in pairs or small groups) and in speech/presentation activities to develop better English listening and speaking skills. New vocabulary will also be introduced. Particular grammatical structures will occasionally be targeted. Readings may be used in particular classes as bases for discussion.</p> <p>The primary goals of this course are to improve English speaking and listening skills.</p>																																																																																			
<p>授業の到達目標</p> <p>To develop the ability to engage in extended discussions in English, without long pauses, on a range of topics without using dictionaries.</p> <p>To improve the ability to speak in front of others using English.</p>																																																																																			
<p>授業計画</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>講義室</th> <th>担当教員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td>4/14</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>JEANETTE DENNISSON</td></tr> <tr><td>2</td><td>4/21</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>JEANETTE DENNISSON</td></tr> <tr><td>3</td><td>4/28</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>JEANETTE DENNISSON</td></tr> <tr><td>4</td><td>5/12</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>JEANETTE DENNISSON</td></tr> <tr><td>5</td><td>5/19</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>JEANETTE DENNISSON</td></tr> <tr><td>6</td><td>5/26</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>JEANETTE DENNISSON</td></tr> <tr><td>7</td><td>6/2</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>JEANETTE DENNISSON</td></tr> <tr><td>8</td><td>6/9</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>JEANETTE DENNISSON</td></tr> <tr><td>9</td><td>6/16</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>JEANETTE DENNISSON</td></tr> <tr><td>10</td><td>6/23</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>JEANETTE DENNISSON</td></tr> <tr><td>11</td><td>6/30</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>JEANETTE DENNISSON</td></tr> <tr><td>12</td><td>7/7</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>JEANETTE DENNISSON</td></tr> <tr><td>13</td><td>7/14</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>JEANETTE DENNISSON</td></tr> <tr><td>14</td><td>7/21</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>JEANETTE DENNISSON</td></tr> <tr><td>15</td><td>7/28</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>JEANETTE DENNISSON</td></tr> </tbody> </table>				回	日付	時刻	講義室	担当教員	1	4/14	10:50-12:20		JEANETTE DENNISSON	2	4/21	10:50-12:20		JEANETTE DENNISSON	3	4/28	10:50-12:20		JEANETTE DENNISSON	4	5/12	10:50-12:20		JEANETTE DENNISSON	5	5/19	10:50-12:20		JEANETTE DENNISSON	6	5/26	10:50-12:20		JEANETTE DENNISSON	7	6/2	10:50-12:20		JEANETTE DENNISSON	8	6/9	10:50-12:20		JEANETTE DENNISSON	9	6/16	10:50-12:20		JEANETTE DENNISSON	10	6/23	10:50-12:20		JEANETTE DENNISSON	11	6/30	10:50-12:20		JEANETTE DENNISSON	12	7/7	10:50-12:20		JEANETTE DENNISSON	13	7/14	10:50-12:20		JEANETTE DENNISSON	14	7/21	10:50-12:20		JEANETTE DENNISSON	15	7/28	10:50-12:20		JEANETTE DENNISSON
回	日付	時刻	講義室	担当教員																																																																															
1	4/14	10:50-12:20		JEANETTE DENNISSON																																																																															
2	4/21	10:50-12:20		JEANETTE DENNISSON																																																																															
3	4/28	10:50-12:20		JEANETTE DENNISSON																																																																															
4	5/12	10:50-12:20		JEANETTE DENNISSON																																																																															
5	5/19	10:50-12:20		JEANETTE DENNISSON																																																																															
6	5/26	10:50-12:20		JEANETTE DENNISSON																																																																															
7	6/2	10:50-12:20		JEANETTE DENNISSON																																																																															
8	6/9	10:50-12:20		JEANETTE DENNISSON																																																																															
9	6/16	10:50-12:20		JEANETTE DENNISSON																																																																															
10	6/23	10:50-12:20		JEANETTE DENNISSON																																																																															
11	6/30	10:50-12:20		JEANETTE DENNISSON																																																																															
12	7/7	10:50-12:20		JEANETTE DENNISSON																																																																															
13	7/14	10:50-12:20		JEANETTE DENNISSON																																																																															
14	7/21	10:50-12:20		JEANETTE DENNISSON																																																																															
15	7/28	10:50-12:20		JEANETTE DENNISSON																																																																															
<p>授業方法</p> <p>Skills Instruction and Practice</p>																																																																																			
<p>授業内容</p> <p>1週目: Orientation 2-11 週目: Skills Instruction and Continuous Assessment 12-15 週目: Review and/or Final Assessment</p>																																																																																			

Detailed class contents will be determined based on the needs of the class and are subject to change.
Detailed class contents will be determined based on the needs of the class and are subject to change.
<p>成績評価の方法</p> <p>評価: Participation: 30% assignments: 30% discussion tests: 40%</p> <p>再評価: 有(再評価方法「英語」としての学年末課題)</p> <p>・上記のパーセンテージは、「英語 a」についての評価方法です。「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績を合わせて最終的な成績を算出します。</p> <p>以下の 3 点を満たすことが、B 評価(70 点以上)の必要条件として要求される。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 授業内で課される課題や試験等について、原則としてすべて、期限内に所定の形式で受験または提出すること。 2. 教員から返却される添削ファイルおよびコメントを受けて自らの英語の問題点を客観的に把握し、修正してより良いものに仕上げる 3. 授業および添削・コメントから得た知見を次回以降の課題作成、またはクラス内活動に参加の際に活かすこと。 <p>なお、英語分野では学期の折り返し時点で全学生に中間成績を通知している。</p>
<p>成績評価の基準</p> <p>「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による</p>
<p>準備学習等についての具体的な指示</p> <p>Attendance and participation are both essential.</p>
<p>試験の受験資格</p> <p>「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績を合わせて最終的な成績を算出します。4 クラスすべての履修は必須です。再評価の対象となるのは、英語 abcd の各クラスに原則として3分の2以上出席した者です。ただし、4クラスのうち3クラス以上で 60 点未満の成績がついた者には原則として再評価の機会を与えません。</p>
<p>履修上の注意事項</p> <p>出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先させます。</p>
<p>備考</p> <p>PC、タブレットなどが必要です。</p> <p>Appropriate Use of Technology Policy: During the lesson you are encouraged to use any form of technology (cell phone, laptop, tablet, etc.) that will a) enhance your learning experience and b) will not negatively affect the learning experience of other students.</p> <p>What is NOT acceptable is the use of technology during class for activities that are unrelated to the course. This includes shopping, watching sports, checking Facebook, emailing anyone, talking, texting, tweeting, playing games, watching movies or TV not assigned in class, or doing work that is due in another class.</p>
<p>参照ホームページ</p> <p>「Google ドライブ」を使用する。「Google アカウント」が必要です。</p>
<p>連絡先(メールアドレス)</p> <p>dennisson.las@tmd.ac.jp</p>
<p>オフィスアワー</p> <p>Wednesday/Thursday 12:30 – 13:00 PM 管理研究棟3階</p>

時間割番号	000078																																																																																													
科目名	英語 a	科目ID	LA-115201-Z																																																																																											
担当教員	MIYA MARUTSUKA[Miya Marutsuka]																																																																																													
開講時期	2022 年度前期	対象年次	1																																																																																											
実務経験のある教員による授業																																																																																														
<p>・曜日・時間: 木曜2限</p> <p>・対象学科: 検査技術学・口腔保健工学</p> <p>・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):</p> <p>別表3-1)</p> <p>別表3-4)</p> <p>別表4-5)</p>																																																																																														
<p>授業の目的、概要等</p> <p>Students will engage in a range of conversation activities (e.g., in pairs or small groups) and in speech/presentation activities to develop better English listening and speaking skills. New vocabulary will also be introduced. Particular grammatical structures will occasionally be targeted. Readings may be used in particular classes as bases for discussion.</p> <p>The primary goals of this course are to improve English speaking and listening skills.</p>																																																																																														
<p>授業の到達目標</p> <p>To develop the ability to engage in extended discussions in English, without long pauses, on a range of topics without using dictionaries.</p> <p>To improve the ability to speak in front of others using English.</p> <p>以下の3点を満たすことが、B評価(70点以上)の必要条件として要求される。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 授業内で課される課題や試験等について、原則としてすべて、期限内に所定の形式で受験または提出すること。 2. 教員から返却される添削ファイルおよびコメントを受けて自らの英語の問題点を客観的に把握し、修正してより良いものに仕上げる。 3. 授業および添削・コメントから得た知見を次回以降の課題作成、またはクラス内活動に参加の際に活かすこと。 <p>なお、英語分野では学期の折り返し地点で全学生に中間成績を通知している。</p>																																																																																														
<p>授業計画</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>講義室</th> <th>授業題目</th> <th>授業内容</th> <th>担当教員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>4/14</td> <td>10:50-12:20</td> <td>4 番教室</td> <td>Orientation</td> <td>Course Introduction</td> <td>MIYA MARUTSUKA</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>4/21</td> <td>10:50-12:20</td> <td>4 番教室</td> <td>Topic 1</td> <td>Discussion 1</td> <td>MIYA MARUTSUKA</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>4/28</td> <td>10:50-12:20</td> <td>4 番教室</td> <td>Topic 2</td> <td>Discussion 2</td> <td>MIYA MARUTSUKA</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>5/12</td> <td>10:50-12:20</td> <td>4 番教室</td> <td>Topic 3</td> <td>Discussion 3</td> <td>MIYA MARUTSUKA</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>5/19</td> <td>10:50-12:20</td> <td>4 番教室</td> <td>Activities</td> <td>Group Assignment</td> <td>MIYA MARUTSUKA</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>5/26</td> <td>10:50-12:20</td> <td>4 番教室</td> <td>Activities</td> <td>Group Assignment</td> <td>MIYA MARUTSUKA</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>6/2</td> <td>10:50-12:20</td> <td>4 番教室</td> <td>Topic 4</td> <td>Discussion 4</td> <td>MIYA MARUTSUKA</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>6/9</td> <td>10:50-12:20</td> <td>4 番教室</td> <td>Topic 5</td> <td>Discussion 5</td> <td>MIYA MARUTSUKA</td> </tr> <tr> <td>9</td> <td>6/16</td> <td>10:50-12:20</td> <td>4 番教室</td> <td>Activities</td> <td>Group Assignment</td> <td>MIYA MARUTSUKA</td> </tr> <tr> <td>10</td> <td>6/23</td> <td>10:50-12:20</td> <td>4 番教室</td> <td>Activities</td> <td>Group Assignment</td> <td>MIYA MARUTSUKA</td> </tr> <tr> <td>11</td> <td>6/30</td> <td>10:50-12:20</td> <td>4 番教室</td> <td>Topic 6</td> <td>Discussion 6</td> <td>MIYA MARUTSUKA</td> </tr> <tr> <td>12</td> <td>7/7</td> <td>10:50-12:20</td> <td>4 番教室</td> <td>Activities</td> <td>Group Assignment</td> <td>MIYA MARUTSUKA</td> </tr> </tbody> </table>				回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	1	4/14	10:50-12:20	4 番教室	Orientation	Course Introduction	MIYA MARUTSUKA	2	4/21	10:50-12:20	4 番教室	Topic 1	Discussion 1	MIYA MARUTSUKA	3	4/28	10:50-12:20	4 番教室	Topic 2	Discussion 2	MIYA MARUTSUKA	4	5/12	10:50-12:20	4 番教室	Topic 3	Discussion 3	MIYA MARUTSUKA	5	5/19	10:50-12:20	4 番教室	Activities	Group Assignment	MIYA MARUTSUKA	6	5/26	10:50-12:20	4 番教室	Activities	Group Assignment	MIYA MARUTSUKA	7	6/2	10:50-12:20	4 番教室	Topic 4	Discussion 4	MIYA MARUTSUKA	8	6/9	10:50-12:20	4 番教室	Topic 5	Discussion 5	MIYA MARUTSUKA	9	6/16	10:50-12:20	4 番教室	Activities	Group Assignment	MIYA MARUTSUKA	10	6/23	10:50-12:20	4 番教室	Activities	Group Assignment	MIYA MARUTSUKA	11	6/30	10:50-12:20	4 番教室	Topic 6	Discussion 6	MIYA MARUTSUKA	12	7/7	10:50-12:20	4 番教室	Activities	Group Assignment	MIYA MARUTSUKA
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員																																																																																								
1	4/14	10:50-12:20	4 番教室	Orientation	Course Introduction	MIYA MARUTSUKA																																																																																								
2	4/21	10:50-12:20	4 番教室	Topic 1	Discussion 1	MIYA MARUTSUKA																																																																																								
3	4/28	10:50-12:20	4 番教室	Topic 2	Discussion 2	MIYA MARUTSUKA																																																																																								
4	5/12	10:50-12:20	4 番教室	Topic 3	Discussion 3	MIYA MARUTSUKA																																																																																								
5	5/19	10:50-12:20	4 番教室	Activities	Group Assignment	MIYA MARUTSUKA																																																																																								
6	5/26	10:50-12:20	4 番教室	Activities	Group Assignment	MIYA MARUTSUKA																																																																																								
7	6/2	10:50-12:20	4 番教室	Topic 4	Discussion 4	MIYA MARUTSUKA																																																																																								
8	6/9	10:50-12:20	4 番教室	Topic 5	Discussion 5	MIYA MARUTSUKA																																																																																								
9	6/16	10:50-12:20	4 番教室	Activities	Group Assignment	MIYA MARUTSUKA																																																																																								
10	6/23	10:50-12:20	4 番教室	Activities	Group Assignment	MIYA MARUTSUKA																																																																																								
11	6/30	10:50-12:20	4 番教室	Topic 6	Discussion 6	MIYA MARUTSUKA																																																																																								
12	7/7	10:50-12:20	4 番教室	Activities	Group Assignment	MIYA MARUTSUKA																																																																																								

13	7/14	10:50-12:20	4 番教室	Activities	Group Assignment	MIYA MARUTSUKA
14	7/21	10:50-12:20	4 番教室	Activities	Group Assignment	MIYA MARUTSUKA
15	7/28	10:50-12:20	4 番教室	Topic 7	Discussion 7	MIYA MARUTSUKA
授業方法						
Skills Instruction and Practice						
授業内容						
Week 1: Orientation						
Weeks 2-13: Skills Instruction and Continuous Assessment						
Week 14 and 15: Review and/or Final Assessment						
Detailed class contents will be determined based on the needs of the class and are subject to change.						
成績評価の方法						
評価: Participation and Homework: 30%, Quizzes: 25%, Group Assignments: 20%, Final Discussion Test: 25%						
再評価: 有(再評価方法 「英語」としての学年末課題)						
・上記のパーセンテージは、「英語 a」についての評価方法です。「英語」は abcd の4クラスの成績を合わせて最終的な成績を算出します。						
成績評価の基準						
「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による						
準備学習等についての具体的な指示						
Attendance and participation are both essential.						
試験の受験資格						
「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績を合わせて最終的な成績を算出します。4 クラスすべての履修は必須です。再評価の対象となるのは、英語 abcd の各クラスに原則として3分の2以上出席した者です。ただし、4クラスのうち3クラス以上で 60 点未満の成績がついた者には原則として再評価の機会を与えません。						
履修上の注意事項						
出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先させます。						
参照ホームページ						
Visit http://www.tmd.ac.jp/artsci/eng/ for more information about instructors.						

時間割番号	000079																																																			
科目名	英語 b	科目ID	LA-115202-Z																																																	
担当教員	PATRICK FOSS[PATRICK FOSS]																																																			
開講時期	2022 年度前期	対象年次	1																																																	
実務経験のある教員による授業																																																				
<p>・曜日・時間:水曜2限</p> <p>・対象:医学科・歯学科</p> <p>・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 別表3-4) 別表4-5)</p>																																																				
<p>授業の目的、概要等</p> <p>Students will write in English on a variety of themes. Students will also read and evaluate both student-written and professionally-written passages.</p> <p>The primary goal of this course is to improve English writing skills. A secondary goal is to improve English reading skills.</p>																																																				
<p>授業の到達目標</p> <p>To improve writing abilities at the sentence-level and beyond, depending on proficiency.</p> <p>To improve the ability to read different types of written works effectively.</p> <p>To enlarge vocabulary not only for reading but also for writing.</p> <p>以下の3点を満たすことが、B評価(70点以上)の必要条件として要求される。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 授業内で課される課題や試験等について、原則としてすべて、期限内に所定の形式で受験または提出すること。 2. 教員から返却される添削ファイルおよびコメントを受けて自らの英語の問題点を客観的に把握し、修正してより良いものに仕上げる 3. 授業および添削・コメントから得た知見を次回以降の課題作成、またはクラス内活動に参加の際に活かすこと。 <p>なお、英語分野では学期の折り返し地点で全学生に中間成績を通知している。</p>																																																				
<p>授業計画</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>講義室</th> <th>授業題目</th> <th>授業内容</th> <th>担当教員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>4/13</td> <td>10:20-11:50</td> <td>遠隔授業 (同期型)</td> <td>Orientation</td> <td>Course Introduction Reading/Writing Activities</td> <td>PATRICK FOSS</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>4/20</td> <td>10:20-11:50</td> <td>遠隔授業 (同期型)</td> <td>Paragraphs</td> <td>Reading/Writing Activities</td> <td>PATRICK FOSS</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>4/27</td> <td>10:20-11:50</td> <td>遠隔授業 (同期型)</td> <td>Paragraphs</td> <td>Reading/Writing Activities</td> <td>PATRICK FOSS</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>5/11</td> <td>10:20-11:50</td> <td>遠隔授業 (同期型)</td> <td>Paragraphs</td> <td>Reading/Writing Activities</td> <td>PATRICK FOSS</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>5/18</td> <td>10:20-11:50</td> <td>遠隔授業 (同期型)</td> <td>Essays</td> <td>Reading/Writing Activities</td> <td>PATRICK FOSS</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>5/25</td> <td>10:20-11:50</td> <td>遠隔授業</td> <td>Essays</td> <td>Reading/Writing Activities</td> <td>PATRICK FOSS</td> </tr> </tbody> </table>				回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	1	4/13	10:20-11:50	遠隔授業 (同期型)	Orientation	Course Introduction Reading/Writing Activities	PATRICK FOSS	2	4/20	10:20-11:50	遠隔授業 (同期型)	Paragraphs	Reading/Writing Activities	PATRICK FOSS	3	4/27	10:20-11:50	遠隔授業 (同期型)	Paragraphs	Reading/Writing Activities	PATRICK FOSS	4	5/11	10:20-11:50	遠隔授業 (同期型)	Paragraphs	Reading/Writing Activities	PATRICK FOSS	5	5/18	10:20-11:50	遠隔授業 (同期型)	Essays	Reading/Writing Activities	PATRICK FOSS	6	5/25	10:20-11:50	遠隔授業	Essays	Reading/Writing Activities	PATRICK FOSS
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員																																														
1	4/13	10:20-11:50	遠隔授業 (同期型)	Orientation	Course Introduction Reading/Writing Activities	PATRICK FOSS																																														
2	4/20	10:20-11:50	遠隔授業 (同期型)	Paragraphs	Reading/Writing Activities	PATRICK FOSS																																														
3	4/27	10:20-11:50	遠隔授業 (同期型)	Paragraphs	Reading/Writing Activities	PATRICK FOSS																																														
4	5/11	10:20-11:50	遠隔授業 (同期型)	Paragraphs	Reading/Writing Activities	PATRICK FOSS																																														
5	5/18	10:20-11:50	遠隔授業 (同期型)	Essays	Reading/Writing Activities	PATRICK FOSS																																														
6	5/25	10:20-11:50	遠隔授業	Essays	Reading/Writing Activities	PATRICK FOSS																																														

			(同期型)			
7	6/1	10:20-11:50	遠隔授業 (同期型)	Essays	Reading/Writing Activities	PATRICK FOSS
8	6/8	10:20-11:50	遠隔授業 (同期型)	Critical Analysis	Reading/Writing Activities	PATRICK FOSS
9	6/15	10:20-11:50	遠隔授業 (同期型)	Critical Analysis	Reading/Writing Activities	PATRICK FOSS
10	6/22	10:20-11:50	遠隔授業 (同期型)	Critical Analysis	Reading/Writing Activities	PATRICK FOSS
11	6/29	10:20-11:50	遠隔授業 (同期型)	Critical Analysis	Reading/Writing Activities	PATRICK FOSS
12	7/6	10:20-11:50	遠隔授業 (同期型)	Critical Analysis	Reading/Writing Activities	PATRICK FOSS
13	7/13	10:20-11:50	遠隔授業 (同期型)	Integrating Skills	Reading/Writing Activities	PATRICK FOSS
14	7/20	10:20-11:50	遠隔授業 (同期型)	Integrating Skills	Reading/Writing Activities	PATRICK FOSS
15	7/27	10:20-11:50	遠隔授業 (同期型)	Course Review	Reading/Writing Activities	PATRICK FOSS

授業方法

Skills Instruction and Practice

授業内容

Week 1: Orientation

Weeks 2-13: Skills Instruction and Continuous Assessment

Weeks 14 and 15: Review and/or Final Assessment

Detailed class contents will be determined based on the needs of the class and are subject to change.

成績評価の方法

評価: writing assignments 70% journal 10% participation/quizzes 20%

再評価: 有(再評価方法「英語」としての学年末課題)

・上記のパーセンテージは、「英語 b」についての評価方法です。「英語」はabcd の4クラスの成績を合わせて最終的な成績を算出します。

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習等についての具体的な指示

Attendance and participation are both essential.

試験の受験資格

「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績を合わせて最終的な成績を算出します。4 クラスすべての履修は必須です。再評価の対象となるのは、英語 abcd の各クラスに原則として3分の2以上出席した者です。ただし、4クラスのうち3クラス以上で 60 点未満の成績がついた者には原則として再評価の機会を与えません。

履修上の注意事項

出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先させます。

参照ホームページ

Visit <http://www.tmd.ac.jp/artsci/eng/> for more information about instructors.

時間割番号	000080																																																			
科目名	英語 a	科目ID	LA-115201-Z																																																	
担当教員	CORLISS JONATHAN[Corliss Jonathan]																																																			
開講時期	2022 年度前期	対象年次	1																																																	
実務経験のある教員による授業																																																				
<p>・曜日・時間:水曜2限</p> <p>・対象学科:医学科 歯学科</p> <p>・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):</p> <p>別表3-1)</p> <p>別表3-4)</p> <p>別表4-5)</p>																																																				
<p>授業の目的、概要等</p> <p>Students will engage in a range of conversation activities (e.g., in pairs or small groups) and in speech/presentation activities to develop better English listening and speaking skills. New vocabulary will also be introduced. Particular grammatical structures will occasionally be targeted. Readings may be used in particular classes as bases for discussion.</p> <p>The primary goals of this course are to improve English speaking and listening skills.</p>																																																				
<p>授業の到達目標</p> <p>To develop the ability to engage in extended discussions in English, without long pauses, on a range of topics without using dictionaries.</p> <p>To improve the ability to speak in front of others using English.</p> <p>以下の3点を満たすことが、B評価(70点以上)の必要条件として要求される。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 授業内で課される課題や試験等について、原則としてすべて、期限内に所定の形式で受験または提出すること。 2. 教員から返却される添削ファイルおよびコメントを受けて自らの英語の問題点を客観的に把握し、修正してより良いものに仕上げる。 3. 授業および添削・コメントから得た知見を次回以降の課題作成、またはクラス内活動に参加の際に活かすこと。 <p>なお、英語分野では学期の折り返し地点で全学生に中間成績を通知している。</p>																																																				
<p>授業計画</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>講義室</th> <th>授業題目</th> <th>授業内容</th> <th>担当教員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>4/13</td> <td>10:20-11:50</td> <td>遠隔授業 (同期型)</td> <td>Guidance</td> <td>Course Introduction</td> <td>CORLISS J ONATHAN</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>4/20</td> <td>10:20-11:50</td> <td>遠隔授業 (同期型)</td> <td>Topic 1</td> <td>Listening and Speaking Activities</td> <td>CORLISS J ONATHAN</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>4/27</td> <td>10:20-11:50</td> <td>遠隔授業 (同期型)</td> <td>Topic 2</td> <td>Listening and Speaking Activities</td> <td>CORLISS J ONATHAN</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>5/11</td> <td>10:20-11:50</td> <td>遠隔授業 (同期型)</td> <td>Topic 3</td> <td>Listening and Speaking Activities</td> <td>CORLISS J ONATHAN</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>5/18</td> <td>10:20-11:50</td> <td>遠隔授業 (同期型)</td> <td>Topic 4</td> <td>Listening and Speaking Activities</td> <td>CORLISS J ONATHAN</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>5/25</td> <td>10:20-11:50</td> <td>遠隔授業 (同期型)</td> <td>Topic 5</td> <td>Listening and Speaking Activities</td> <td>CORLISS J ONATHAN</td> </tr> </tbody> </table>				回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	1	4/13	10:20-11:50	遠隔授業 (同期型)	Guidance	Course Introduction	CORLISS J ONATHAN	2	4/20	10:20-11:50	遠隔授業 (同期型)	Topic 1	Listening and Speaking Activities	CORLISS J ONATHAN	3	4/27	10:20-11:50	遠隔授業 (同期型)	Topic 2	Listening and Speaking Activities	CORLISS J ONATHAN	4	5/11	10:20-11:50	遠隔授業 (同期型)	Topic 3	Listening and Speaking Activities	CORLISS J ONATHAN	5	5/18	10:20-11:50	遠隔授業 (同期型)	Topic 4	Listening and Speaking Activities	CORLISS J ONATHAN	6	5/25	10:20-11:50	遠隔授業 (同期型)	Topic 5	Listening and Speaking Activities	CORLISS J ONATHAN
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員																																														
1	4/13	10:20-11:50	遠隔授業 (同期型)	Guidance	Course Introduction	CORLISS J ONATHAN																																														
2	4/20	10:20-11:50	遠隔授業 (同期型)	Topic 1	Listening and Speaking Activities	CORLISS J ONATHAN																																														
3	4/27	10:20-11:50	遠隔授業 (同期型)	Topic 2	Listening and Speaking Activities	CORLISS J ONATHAN																																														
4	5/11	10:20-11:50	遠隔授業 (同期型)	Topic 3	Listening and Speaking Activities	CORLISS J ONATHAN																																														
5	5/18	10:20-11:50	遠隔授業 (同期型)	Topic 4	Listening and Speaking Activities	CORLISS J ONATHAN																																														
6	5/25	10:20-11:50	遠隔授業 (同期型)	Topic 5	Listening and Speaking Activities	CORLISS J ONATHAN																																														

7	6/1	10:20-11:50	遠隔授業 (同期型)	Topic 6	Listening and Speaking Activities	CORLISS J ONATHAN
8	6/8	10:20-11:50	遠隔授業 (同期型)	Topic 7	Listening and Speaking Activities	CORLISS J ONATHAN
9	6/15	10:20-11:50	遠隔授業 (同期型)	Topic 8	Listening and Speaking Activities	CORLISS J ONATHAN
10	6/22	10:20-11:50	遠隔授業 (同期型)	Topic 9	Listening and Speaking Activities	CORLISS J ONATHAN
11	6/29	10:20-11:50	遠隔授業 (同期型)	Topic 10	Listening and Speaking Activities	CORLISS J ONATHAN
12	7/6	10:20-11:50	遠隔授業 (同期型)	Topic 11	Listening and Speaking Activities	CORLISS J ONATHAN
13	7/13	10:20-11:50	遠隔授業 (同期型)	Topic 12	Listening and Speaking Activities	CORLISS J ONATHAN
14	7/20	10:20-11:50	遠隔授業 (同期型)	Topic 13	Listening and Speaking Activities	CORLISS J ONATHAN
15	7/27	10:20-11:50	遠隔授業 (同期型)	Review	Listening and Speaking Activities	CORLISS J ONATHAN

授業方法

Skills Instruction and Practice

授業内容

Week 1: Orientation

Weeks 2-13: Skills Instruction and Continuous Assessment

Week 14 and 15: Review and/or Final Assessment

Detailed class contents will be determined based on the needs of the class and are subject to change.

成績評価の方法

評価: Participation 30% assignments/quizzes 40% final speaking test 30%

再評価: 有(再評価方法「英語」としての学年末課題)

・上記のパーセンテージは、「英語 a」についての評価方法です。「英語」は abcd の4クラスの成績を合わせて最終的な成績を算出します。

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習等についての具体的な指示

Attendance and participation are both essential.

試験の受験資格

「英語」は a,b,c,d の4クラスの成績を合わせて最終的な成績を算出します。4クラスすべての履修は必須です。再評価の対象となるのは、英語 abcd の各クラスに原則として3分の2以上出席した者です。ただし、4クラスのうち3クラス以上で 60 点未満の成績がついた者には原則として再評価の機会を与えません。

履修上の注意事項

出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先させます。

参照ホームページ

Visit <http://www.tmd.ac.jp/artsci/eng/> for more information about instructors.

時間割番号	000081																																																																	
科目名	英語 b	科目 ID	LA-115202-Z																																																															
担当教員	猪熊 恵子[INOKUMA KEIKO]																																																																	
開講時期	2022 年度前期	対象年次	1																																																															
実務経験のある教員による授業																																																																		
<p>・曜日・時間:水曜2限</p> <p>・対象学科:医学科 歯学科</p> <p>・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 別表3-4) 別表4-5)</p>																																																																		
<p>授業の目的、概要等</p> <p>Depending on the particular class, students will read English on a wide variety of topics, including literary works, articles from newspapers and journals, non-fiction and fiction. Students will also write in English on a variety of themes. Students in some classes may give formal presentations based on their written work and other class activities.</p> <p>The primary goals of these courses are to improve English reading and writing skills.</p>																																																																		
<p>授業の到達目標</p> <p>To improve the ability to read different types of written works effectively.</p> <p>To enlarge vocabulary not only for reading but also for writing.</p> <p>To improve writing abilities at the sentence-level and beyond, depending on proficiency.</p> <p>以下の3点を満たすことが、B評価(70点以上)の必要条件として要求される。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 授業内で課される課題や試験等について、原則としてすべて、期限内に所定の形式で受験または提出すること。 2. 教員から返却される添削ファイルおよびコメントを受けて自らの英語の問題点を客観的に把握し、修正してより良いものに仕上げること。 3. 授業および添削・コメントから得た知見を次回以降の課題作成、またはクラス内活動に参加の際に活かすこと。 <p>なお、英語分野では学期の折り返し地点で全学生に中間成績を通知している。</p>																																																																		
<p>授業計画</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>講義室</th> <th>授業題目</th> <th>授業内容</th> <th>担当教員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>4/13</td> <td>10:20-11:50</td> <td>遠隔授業 (同期型)</td> <td>Guidance</td> <td>Course Introduction</td> <td>猪熊 恵子</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>4/20</td> <td>10:20-11:50</td> <td>遠隔授業 (同期型)</td> <td>Reading Material 1</td> <td>Reading and Writing Practice</td> <td>猪熊 恵子</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>4/27</td> <td>10:20-11:50</td> <td>遠隔授業 (同期型)</td> <td>Reading Material 2</td> <td>Reading and Writing Practice</td> <td>猪熊 恵子</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>5/11</td> <td>10:20-11:50</td> <td>遠隔授業 (同期型)</td> <td>Reading Material 3</td> <td>Reading and Writing Practice</td> <td>猪熊 恵子</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>5/18</td> <td>10:20-11:50</td> <td>遠隔授業 (同期型)</td> <td>Reading Material 4</td> <td>Reading and Writing Practice</td> <td>猪熊 恵子</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>5/25</td> <td>10:20-11:50</td> <td>遠隔授業 (同期型)</td> <td>Reading Material 5</td> <td>Reading and Writing Practice</td> <td>猪熊 恵子</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>6/1</td> <td>10:20-11:50</td> <td>遠隔授業 (同期型)</td> <td>Reading Material 6</td> <td>Reading and Writing Practice</td> <td>猪熊 恵子</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>6/8</td> <td>10:20-11:50</td> <td>遠隔授業 (同期型)</td> <td>Reading Material 7</td> <td>Reading and Writing Practice</td> <td>猪熊 恵子</td> </tr> </tbody> </table>				回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	1	4/13	10:20-11:50	遠隔授業 (同期型)	Guidance	Course Introduction	猪熊 恵子	2	4/20	10:20-11:50	遠隔授業 (同期型)	Reading Material 1	Reading and Writing Practice	猪熊 恵子	3	4/27	10:20-11:50	遠隔授業 (同期型)	Reading Material 2	Reading and Writing Practice	猪熊 恵子	4	5/11	10:20-11:50	遠隔授業 (同期型)	Reading Material 3	Reading and Writing Practice	猪熊 恵子	5	5/18	10:20-11:50	遠隔授業 (同期型)	Reading Material 4	Reading and Writing Practice	猪熊 恵子	6	5/25	10:20-11:50	遠隔授業 (同期型)	Reading Material 5	Reading and Writing Practice	猪熊 恵子	7	6/1	10:20-11:50	遠隔授業 (同期型)	Reading Material 6	Reading and Writing Practice	猪熊 恵子	8	6/8	10:20-11:50	遠隔授業 (同期型)	Reading Material 7	Reading and Writing Practice	猪熊 恵子
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員																																																												
1	4/13	10:20-11:50	遠隔授業 (同期型)	Guidance	Course Introduction	猪熊 恵子																																																												
2	4/20	10:20-11:50	遠隔授業 (同期型)	Reading Material 1	Reading and Writing Practice	猪熊 恵子																																																												
3	4/27	10:20-11:50	遠隔授業 (同期型)	Reading Material 2	Reading and Writing Practice	猪熊 恵子																																																												
4	5/11	10:20-11:50	遠隔授業 (同期型)	Reading Material 3	Reading and Writing Practice	猪熊 恵子																																																												
5	5/18	10:20-11:50	遠隔授業 (同期型)	Reading Material 4	Reading and Writing Practice	猪熊 恵子																																																												
6	5/25	10:20-11:50	遠隔授業 (同期型)	Reading Material 5	Reading and Writing Practice	猪熊 恵子																																																												
7	6/1	10:20-11:50	遠隔授業 (同期型)	Reading Material 6	Reading and Writing Practice	猪熊 恵子																																																												
8	6/8	10:20-11:50	遠隔授業 (同期型)	Reading Material 7	Reading and Writing Practice	猪熊 恵子																																																												

9	6/15	10:20-11:50	遠隔授業 (同期型)	Reading Material 8	Reading and Writing Practice	猪熊 恵子
10	6/22	10:20-11:50	遠隔授業 (同期型)	Reading Material 9	Reading and Writing Practice	猪熊 恵子
11	6/29	10:20-11:50	遠隔授業 (同期型)	Reading Material 10	Reading and Writing Practice	猪熊 恵子
12	7/6	10:20-11:50	遠隔授業 (同期型)	Reading Material 11	Reading and Writing Practice	猪熊 恵子
13	7/13	10:20-11:50	遠隔授業 (同期型)	Reading Material 12	Reading and Writing Practice	猪熊 恵子
14	7/20	10:20-11:50	遠隔授業 (同期型)	Review	Finish Writing Final Essays	猪熊 恵子
15	7/27	10:20-11:50	遠隔授業 (同期型)	Feedback	Return Graded Essays	猪熊 恵子

授業方法

Skills Instruction and Practice

授業内容

Week 1: Orientation

Weeks 2-13: Skills Instruction and Continuous Assessment

Week 14 and 15: Review and/or Final Assessment

Detailed class contents will be determined based on the needs of the class and are subject to change.

成績評価の方法

評価: class participation :30%, assignments + quizzes:40%, in-class exam or final essay:30%

再評価: 有(再評価方法 「英語」としての学年末課題)

・上記のパーセンテージは、「英語 b」についての評価方法です。「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績を合わせて最終的な成績を算出します。

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習等についての具体的な指示

Attendance and participation are both essential.

試験の受験資格

「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績を合わせて最終的な成績を算出します。4 クラスすべての履修は必須です。再評価の対象となるのは、英語 abcd の各クラスに原則として3分の2以上出席した者です。ただし、4クラスのうち3クラス以上で 60 点未満の成績がついた者には原則として再評価の機会を与えません。

履修上の注意事項

出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先させます。

参照ホームページ

Visit <http://www.tmd.ac.jp/artsci/engl/> for more information about instructors.

時間割番号	000082																																																																	
科目名	英語 b	科目 ID	LA-115202-Z																																																															
担当教員	畔柳 和代[KUROYANAGI KAZUYO]																																																																	
開講時期	2022 年度前期	対象年次	1																																																															
実務経験のある教員による授業																																																																		
<ul style="list-style-type: none"> ・曜日・限: 水曜2限 ・対象学科: 医学科・歯学科 ・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 別表3-4) 別表4-5) 																																																																		
授業の目的、概要等 Depending on the particular class, students will read English on a wide variety of topics, including literary works, articles from newspapers and journals, non-fiction and fiction. Students will also write in English on a variety of themes. Students in some classes may give formal presentations based on their written work and other class activities. The primary goals of these courses are to improve English reading and writing skills.																																																																		
授業の到達目標 To improve the ability to read different types of written works effectively. To enlarge vocabulary not only for reading but also for writing. To improve writing abilities at the sentence-level and beyond, depending on proficiency. 以下の3点を満たすことが、B 評価(70 点以上)の必要条件として要求される。 1. 授業内で課される課題や試験等について、原則としてすべて、期限内に所定の形式で受験または提出すること。 2. 教員から返却される添削ファイルおよびコメントを受けて自らの英語の問題点を客観的に把握し、修正してより良いものに仕上げる こと。 3. 授業および添削・コメントから得た知見を次回以降の課題作成、またはクラス内活動に参加の際に活かすこと。 なお、英語分野では学期の折り返し地点で全学生に中間成績を通知している。																																																																		
授業計画 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>講義室</th> <th>授業題目</th> <th>授業内容</th> <th>担当教員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>4/13</td> <td>10:20-11:50</td> <td>遠隔授業 (同期型)</td> <td>Guidance</td> <td>Course Introduction</td> <td>畔柳 和代</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>4/20</td> <td>10:20-11:50</td> <td>遠隔授業 (同期型)</td> <td>Reading Material 1</td> <td>Reading and Writing Practice</td> <td>畔柳 和代</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>4/27</td> <td>10:20-11:50</td> <td>遠隔授業 (同期型)</td> <td>Reading Material 2</td> <td>Reading and Writing Practice</td> <td>畔柳 和代</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>5/11</td> <td>10:20-11:50</td> <td>遠隔授業 (同期型)</td> <td>Reading Material 3</td> <td>Reading and Writing Practice</td> <td>畔柳 和代</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>5/18</td> <td>10:20-11:50</td> <td>遠隔授業 (同期型)</td> <td>Reading Material 4</td> <td>Reading and Writing Practice</td> <td>畔柳 和代</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>5/25</td> <td>10:20-11:50</td> <td>遠隔授業 (同期型)</td> <td>Reading Material 5</td> <td>Reading and Writing Practice</td> <td>畔柳 和代</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>6/1</td> <td>10:20-11:50</td> <td>遠隔授業 (同期型)</td> <td>Reading Material 6</td> <td>Reading and Writing Practice</td> <td>畔柳 和代</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>6/8</td> <td>10:20-11:50</td> <td>遠隔授業 (同期型)</td> <td>Reading Material 7</td> <td>Reading and Writing Practice</td> <td>畔柳 和代</td> </tr> </tbody> </table>				回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	1	4/13	10:20-11:50	遠隔授業 (同期型)	Guidance	Course Introduction	畔柳 和代	2	4/20	10:20-11:50	遠隔授業 (同期型)	Reading Material 1	Reading and Writing Practice	畔柳 和代	3	4/27	10:20-11:50	遠隔授業 (同期型)	Reading Material 2	Reading and Writing Practice	畔柳 和代	4	5/11	10:20-11:50	遠隔授業 (同期型)	Reading Material 3	Reading and Writing Practice	畔柳 和代	5	5/18	10:20-11:50	遠隔授業 (同期型)	Reading Material 4	Reading and Writing Practice	畔柳 和代	6	5/25	10:20-11:50	遠隔授業 (同期型)	Reading Material 5	Reading and Writing Practice	畔柳 和代	7	6/1	10:20-11:50	遠隔授業 (同期型)	Reading Material 6	Reading and Writing Practice	畔柳 和代	8	6/8	10:20-11:50	遠隔授業 (同期型)	Reading Material 7	Reading and Writing Practice	畔柳 和代
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員																																																												
1	4/13	10:20-11:50	遠隔授業 (同期型)	Guidance	Course Introduction	畔柳 和代																																																												
2	4/20	10:20-11:50	遠隔授業 (同期型)	Reading Material 1	Reading and Writing Practice	畔柳 和代																																																												
3	4/27	10:20-11:50	遠隔授業 (同期型)	Reading Material 2	Reading and Writing Practice	畔柳 和代																																																												
4	5/11	10:20-11:50	遠隔授業 (同期型)	Reading Material 3	Reading and Writing Practice	畔柳 和代																																																												
5	5/18	10:20-11:50	遠隔授業 (同期型)	Reading Material 4	Reading and Writing Practice	畔柳 和代																																																												
6	5/25	10:20-11:50	遠隔授業 (同期型)	Reading Material 5	Reading and Writing Practice	畔柳 和代																																																												
7	6/1	10:20-11:50	遠隔授業 (同期型)	Reading Material 6	Reading and Writing Practice	畔柳 和代																																																												
8	6/8	10:20-11:50	遠隔授業 (同期型)	Reading Material 7	Reading and Writing Practice	畔柳 和代																																																												

9	6/15	10:20-11:50	遠隔授業 (同期型)	Reading Material 8	Reading and Writing Practice	畔柳 和代
10	6/22	10:20-11:50	遠隔授業 (同期型)	Reading Material 9	Reading and Writing Practice	畔柳 和代
11	6/29	10:20-11:50	遠隔授業 (同期型)	Reading Material 10	Reading and Writing Practice	畔柳 和代
12	7/6	10:20-11:50	遠隔授業 (同期型)	Reading Material 11	Reading and Writing Practice	畔柳 和代
13	7/13	10:20-11:50	遠隔授業 (同期型)	Reading Material 12	Reading and Writing Practice	畔柳 和代
14	7/20	10:20-11:50	遠隔授業 (同期型)	Short Assignments	Reading and Writing Practice	畔柳 和代
15	7/27	10:20-11:50	遠隔授業 (同期型)	Review	Comments and Suggestions	畔柳 和代

授業方法

Skills Instruction and Practice

授業内容

Week 1: Orientation

Weeks 2-13: Skills Instruction and Continuous Assessment

Weeks 14 and 15: Review and/or Final Assessment

Detailed class contents will be determined based on the needs of the class and are subject to change.

成績評価の方法

評価: participation:25%, quizzes and response papers: 35%, assignments: 40%

再評価: 有 (再評価方法: 「英語」としての学年末課題)

・上記のパーセンテージは「英語 b」についての評価方法です。「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績(90%)を合わせて最終的な成績を算出します。

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通履修規則 別表2」による

準備学習等についての具体的な指示

Attendance and participation are both essential.

試験の受験資格

「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績を合わせて最終的な成績を算出します。4 クラスすべての履修は必須です。再評価の対象となるのは、英語 abcd の各クラスに原則として3分の2以上出席した者です。ただし、4クラスのうち3クラス以上で 60 点未満の成績がついた者には原則として再評価の機会を与えません。

履修上の注意事項

出欠管理システムの記録より、教員がとる出席を優先させます。

参照ホームページ

Visit <http://www.tmd.ac.jp/artsci/engl/> for more information about instructors.

連絡先(メールアドレス)

kuroyanagi.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

毎週木曜日 12:30-13:00 管理研究棟3階畔柳研究室

時間割番号	000083																																																																	
科目名	英語 b	科目 ID	LA-115202-Z																																																															
担当教員	畔柳 和代[KUROYANAGI KAZUYO]																																																																	
開講時期	2022 年度前期	対象年次	1																																																															
実務経験のある教員による授業																																																																		
<p>・曜日・限: 水曜1限</p> <p>・対象学科: 保健衛生学科・口腔保健学科</p> <p>・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):</p> <p>別表3-4)</p> <p>別表4-5)</p>																																																																		
<p>授業の目的、概要等</p> <p>Depending on the particular class, students will read English on a wide variety of topics, including literary works, articles from newspapers and journals, non-fiction and fiction. Students will also write in English on a variety of themes. Students in some classes may give formal presentations based on their written work and other class activities.</p> <p>The primary goals of these courses are to improve English reading and writing skills.</p>																																																																		
<p>授業の到達目標</p> <p>To improve the ability to read different types of written works effectively.</p> <p>To enlarge vocabulary not only for reading but also for writing.</p> <p>To improve writing abilities at the sentence-level and beyond, depending on proficiency.</p> <p>以下の3点を満たすことが、B評価(70点以上)の必要条件として要求される。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 授業内で課される課題や試験等について、原則としてすべて、期限内に所定の形式で受験または提出すること。 2. 教員から返却される添削ファイルおよびコメントを受けて自らの英語の問題点を客観的に把握し、修正してより良いものに仕上げる事。 3. 授業および添削・コメントから得た知見を次回以降の課題作成、またはクラス内活動に参加の際に活かすこと。 <p>なお、英語分野では学期の折り返し地点で全学生に中間成績を通知している。</p>																																																																		
<p>授業計画</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>講義室</th> <th>授業題目</th> <th>授業内容</th> <th>担当教員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>4/13</td> <td>08:40-10:10</td> <td>遠隔授業 (同期型)</td> <td>Guidance</td> <td>Course Introduction</td> <td>畔柳 和代</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>4/20</td> <td>08:40-10:10</td> <td>遠隔授業 (同期型)</td> <td>Reading Material 1</td> <td>Reading and Writing Practice</td> <td>畔柳 和代</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>4/27</td> <td>08:40-10:10</td> <td>遠隔授業 (同期型)</td> <td>Reading Material 2</td> <td>Reading and Writing Practice</td> <td>畔柳 和代</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>5/11</td> <td>08:40-10:10</td> <td>遠隔授業 (同期型)</td> <td>Reading Material 3</td> <td>Reading and Writing Practice</td> <td>畔柳 和代</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>5/18</td> <td>08:40-10:10</td> <td>遠隔授業 (同期型)</td> <td>Reading Material 4</td> <td>Reading and Writing Practice</td> <td>畔柳 和代</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>5/25</td> <td>08:40-10:10</td> <td>遠隔授業 (同期型)</td> <td>Reading Material 5</td> <td>Reading and Writing Practice</td> <td>畔柳 和代</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>6/1</td> <td>08:40-10:10</td> <td>遠隔授業 (同期型)</td> <td>Reading Material 6</td> <td>Reading and Writing Practice</td> <td>畔柳 和代</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>6/8</td> <td>08:40-10:10</td> <td>遠隔授業 (同期型)</td> <td>Reading Material 7</td> <td>Reading and Writing Practice</td> <td>畔柳 和代</td> </tr> </tbody> </table>				回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	1	4/13	08:40-10:10	遠隔授業 (同期型)	Guidance	Course Introduction	畔柳 和代	2	4/20	08:40-10:10	遠隔授業 (同期型)	Reading Material 1	Reading and Writing Practice	畔柳 和代	3	4/27	08:40-10:10	遠隔授業 (同期型)	Reading Material 2	Reading and Writing Practice	畔柳 和代	4	5/11	08:40-10:10	遠隔授業 (同期型)	Reading Material 3	Reading and Writing Practice	畔柳 和代	5	5/18	08:40-10:10	遠隔授業 (同期型)	Reading Material 4	Reading and Writing Practice	畔柳 和代	6	5/25	08:40-10:10	遠隔授業 (同期型)	Reading Material 5	Reading and Writing Practice	畔柳 和代	7	6/1	08:40-10:10	遠隔授業 (同期型)	Reading Material 6	Reading and Writing Practice	畔柳 和代	8	6/8	08:40-10:10	遠隔授業 (同期型)	Reading Material 7	Reading and Writing Practice	畔柳 和代
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員																																																												
1	4/13	08:40-10:10	遠隔授業 (同期型)	Guidance	Course Introduction	畔柳 和代																																																												
2	4/20	08:40-10:10	遠隔授業 (同期型)	Reading Material 1	Reading and Writing Practice	畔柳 和代																																																												
3	4/27	08:40-10:10	遠隔授業 (同期型)	Reading Material 2	Reading and Writing Practice	畔柳 和代																																																												
4	5/11	08:40-10:10	遠隔授業 (同期型)	Reading Material 3	Reading and Writing Practice	畔柳 和代																																																												
5	5/18	08:40-10:10	遠隔授業 (同期型)	Reading Material 4	Reading and Writing Practice	畔柳 和代																																																												
6	5/25	08:40-10:10	遠隔授業 (同期型)	Reading Material 5	Reading and Writing Practice	畔柳 和代																																																												
7	6/1	08:40-10:10	遠隔授業 (同期型)	Reading Material 6	Reading and Writing Practice	畔柳 和代																																																												
8	6/8	08:40-10:10	遠隔授業 (同期型)	Reading Material 7	Reading and Writing Practice	畔柳 和代																																																												

9	6/15	08:40-10:10	遠隔授業 (同期型)	Reading Material 8	Reading and Writing Practice	畔柳 和代
10	6/22	08:40-10:10	遠隔授業 (同期型)	Reading Material 9	Reading and Writing Practice	畔柳 和代
11	6/29	08:40-10:10	遠隔授業 (同期型)	Reading Material 10	Reading and Writing Practice	畔柳 和代
12	7/6	08:40-10:10	遠隔授業 (同期型)	Reading Material 11	Reading and Writing Practice	畔柳 和代
13	7/13	08:40-10:10	遠隔授業 (同期型)	Reading Material 12	Reading and Writing Practice	畔柳 和代
14	7/20	08:40-10:10	遠隔授業 (同期型)	Short Assignments	Reading and Writing Practice	畔柳 和代
15	7/27	08:40-10:10	遠隔授業 (同期型)	Review	Comments and Suggestions	畔柳 和代

授業方法

Skills Instruction and Practice

授業内容

Week 1: Orientation

Weeks 2-13: Skills Instruction and Continuous Assessment

Weeks 14 and 15: Review and/or Final Assessment

Detailed class contents will be determined based on the needs of the class and are subject to change.

成績評価の方法

評価: participation:25%, quizzes and response papers: 35%, assignments: 40%

再評価: 有 (再評価方法: 「英語」としての学年末課題)

・上記のパーセンテージは「英語b」についての評価方法です。「英語」は a,b,c,d の4クラスの成績を合わせて最終的な成績を算出します。

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通履修規則 別表2」による

準備学習等についての具体的な指示

Attendance and participation are both essential.

試験の受験資格

「英語」は a,b,c,d の4クラスの成績(90%)を合わせて最終的な成績を算出します。4クラスすべての履修は必須です。再評価の対象となるのは、英語 abcd の各クラスに原則として3分の2以上出席した者です。ただし、4クラスのうち3クラス以上で 60 点未満の成績がついた者には原則として再評価の機会を与えません。

履修上の注意事項

出欠管理システムの記録より、教員がとる出席を優先させます。

参照ホームページ

Visit <http://www.tmd.ac.jp/artsci/engl/> for more information about instructors.

連絡先(メールアドレス)

kuroyanagi.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

毎週木曜日 12:30-13:00 管理研究棟3階畔柳研究室

時間割番号	000084																																																																								
科目名	英語 b	科目 ID	LA-115202-Z																																																																						
担当教員	猪熊 恵子[INOKUMA KEIKO]																																																																								
開講時期	2022 年度前期	対象年次	1																																																																						
実務経験のある教員による授業																																																																									
<ul style="list-style-type: none"> ・曜日・時間:水曜1限 ・対象学科:保健衛生学科 口腔保健学科 ・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 別表3-4) 別表4-5) 																																																																									
授業の目的、概要等 Depending on the particular class, students will read English on a wide variety of topics, including literary works, articles from newspapers and journals, non-fiction and fiction. Students will also write in English on a variety of themes. Students in some classes may give formal presentations based on their written work and other class activities. The primary goals of these courses are to improve English reading and writing skills.																																																																									
授業の到達目標 To improve the ability to read different types of written works effectively. To enlarge vocabulary not only for reading but also for writing. To improve writing abilities at the sentence-level and beyond, depending on proficiency. 以下の3点を満たすことが、B評価(70点以上)の必要条件として要求される。 1. 授業内で課される課題や試験等について、原則としてすべて、期限内に所定の形式で受験または提出すること。 2. 教員から返却される添削ファイルおよびコメントを受けて自らの英語の問題点を客観的に把握し、修正してより良いものに仕上げる こと。 3. 授業および添削・コメントから得た知見を次回以降の課題作成、またはクラス内活動に参加の際に活かすこと。 なお、英語分野では学期の折り返し地点で全学生に中間成績を通知している。																																																																									
授業計画 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>講義室</th> <th>授業題目</th> <th>授業内容</th> <th>担当教員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>4/13</td> <td>08:40-10:10</td> <td>遠隔授業 (同期型)</td> <td>Guidance</td> <td>Course Introduction</td> <td>猪熊 恵子</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>4/20</td> <td>08:40-10:10</td> <td>遠隔授業 (同期型)</td> <td>Reading Material 1</td> <td>Reading and Writing Practice</td> <td>猪熊 恵子</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>4/27</td> <td>08:40-10:10</td> <td>遠隔授業 (同期型)</td> <td>Reading Material 2</td> <td>Reading and Writing Practice</td> <td>猪熊 恵子</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>5/11</td> <td>08:40-10:10</td> <td>遠隔授業 (同期型)</td> <td>Reading Material 3</td> <td>Reading and Writing Practice</td> <td>猪熊 恵子</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>5/18</td> <td>08:40-10:10</td> <td>遠隔授業 (同期型)</td> <td>Reading Material 4</td> <td>Reading and Writing Practice</td> <td>猪熊 恵子</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>5/25</td> <td>08:40-10:10</td> <td>遠隔授業 (同期型)</td> <td>Reading Material 5</td> <td>Reading and Writing Practice</td> <td>猪熊 恵子</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>6/1</td> <td>08:40-10:10</td> <td>遠隔授業 (同期型)</td> <td>Reading Material 6</td> <td>Reading and Writing Practice</td> <td>猪熊 恵子</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>6/8</td> <td>08:40-10:10</td> <td>遠隔授業 (同期型)</td> <td>Reading Material 7</td> <td>Reading and Writing Practice</td> <td>猪熊 恵子</td> </tr> <tr> <td>9</td> <td>6/15</td> <td>08:40-10:10</td> <td>遠隔授業</td> <td>Reading Material 8</td> <td>Reading and Writing Practice</td> <td>猪熊 恵子</td> </tr> </tbody> </table>				回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	1	4/13	08:40-10:10	遠隔授業 (同期型)	Guidance	Course Introduction	猪熊 恵子	2	4/20	08:40-10:10	遠隔授業 (同期型)	Reading Material 1	Reading and Writing Practice	猪熊 恵子	3	4/27	08:40-10:10	遠隔授業 (同期型)	Reading Material 2	Reading and Writing Practice	猪熊 恵子	4	5/11	08:40-10:10	遠隔授業 (同期型)	Reading Material 3	Reading and Writing Practice	猪熊 恵子	5	5/18	08:40-10:10	遠隔授業 (同期型)	Reading Material 4	Reading and Writing Practice	猪熊 恵子	6	5/25	08:40-10:10	遠隔授業 (同期型)	Reading Material 5	Reading and Writing Practice	猪熊 恵子	7	6/1	08:40-10:10	遠隔授業 (同期型)	Reading Material 6	Reading and Writing Practice	猪熊 恵子	8	6/8	08:40-10:10	遠隔授業 (同期型)	Reading Material 7	Reading and Writing Practice	猪熊 恵子	9	6/15	08:40-10:10	遠隔授業	Reading Material 8	Reading and Writing Practice	猪熊 恵子
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員																																																																			
1	4/13	08:40-10:10	遠隔授業 (同期型)	Guidance	Course Introduction	猪熊 恵子																																																																			
2	4/20	08:40-10:10	遠隔授業 (同期型)	Reading Material 1	Reading and Writing Practice	猪熊 恵子																																																																			
3	4/27	08:40-10:10	遠隔授業 (同期型)	Reading Material 2	Reading and Writing Practice	猪熊 恵子																																																																			
4	5/11	08:40-10:10	遠隔授業 (同期型)	Reading Material 3	Reading and Writing Practice	猪熊 恵子																																																																			
5	5/18	08:40-10:10	遠隔授業 (同期型)	Reading Material 4	Reading and Writing Practice	猪熊 恵子																																																																			
6	5/25	08:40-10:10	遠隔授業 (同期型)	Reading Material 5	Reading and Writing Practice	猪熊 恵子																																																																			
7	6/1	08:40-10:10	遠隔授業 (同期型)	Reading Material 6	Reading and Writing Practice	猪熊 恵子																																																																			
8	6/8	08:40-10:10	遠隔授業 (同期型)	Reading Material 7	Reading and Writing Practice	猪熊 恵子																																																																			
9	6/15	08:40-10:10	遠隔授業	Reading Material 8	Reading and Writing Practice	猪熊 恵子																																																																			

			(同期型)			
10	6/22	08:40-10:10	遠隔授業 (同期型)	Reading Material 9	Reading and Writing Practice	猪熊 恵子
11	6/29	08:40-10:10	遠隔授業 (同期型)	Reading Material 10	Reading and Writing Practice	猪熊 恵子
12	7/6	08:40-10:10	遠隔授業 (同期型)	Reading Material 11	Reading and Writing Practice	猪熊 恵子
13	7/13	08:40-10:10	遠隔授業 (同期型)	Reading Material 12	Reading and Writing Practice	猪熊 恵子
14	7/20	08:40-10:10	遠隔授業 (同期型)	Review	Finish Writing Final Essays	猪熊 恵子
15	7/27	08:40-10:10	遠隔授業 (同期型)	Feedback	Return Graded Essays	猪熊 恵子

授業方法

Skills Instruction and Practice

授業内容

Week 1: Orientation

Weeks 2-13: Skills Instruction and Continuous Assessment

Week 14 and 15: Review and/or Final Assessment

Detailed class contents will be determined based on the needs of the class and are subject to change.

成績評価の方法

評価: class participation:30%, writing assignments + quizzes:40%, in-class exam or final essay:30%

再評価: 有(再評価方法「英語」としての学年末課題)

・上記のパーセンテージは、「英語 b」についての評価方法です。「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績を合わせて最終的な成績を算出します。

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習等についての具体的な指示

Attendance and participation are both essential.

試験の受験資格

「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績を合わせて最終的な成績を算出します。4 クラスすべての履修は必須です。再評価の対象となるのは、英語 abcd の各クラスに原則として3分の2以上出席した者です。ただし、4クラスのうち3クラス以上で 60 点未満の成績がついた者には原則として再評価の機会を与えません。

履修上の注意事項

出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先させます。

参照ホームページ

Visit <http://www.tmd.ac.jp/artsci/eng/> for more information about instructors.

時間割番号	000085																																																																	
科目名	英語 b	科目 ID	LA-115202-Z																																																															
担当教員	猪熊 恵子[INOKUMA KEIKO]																																																																	
開講時期	2022 年度前期	対象年次	1																																																															
実務経験のある教員による授業																																																																		
<p>・曜日・時間: 木曜1限</p> <p>・対象学科: 保健衛生学科 口腔保健学科</p> <p>・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 別表3-4) 別表4-5)</p>																																																																		
<p>授業の目的、概要等</p> <p>Depending on the particular class, students will read English on a wide variety of topics, including literary works, articles from newspapers and journals, non-fiction and fiction. Students will also write in English on a variety of themes. Students in some classes may give formal presentations based on their written work and other class activities.</p> <p>The primary goals of these courses are to improve English reading and writing skills.</p>																																																																		
<p>授業の到達目標</p> <p>To improve the ability to read different types of written works effectively.</p> <p>To enlarge vocabulary not only for reading but also for writing.</p> <p>To improve writing abilities at the sentence-level and beyond, depending on proficiency.</p> <p>以下の3点を満たすことが、B 評価(70 点以上)の必要条件として要求される。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 授業内で課される課題や試験等について、原則としてすべて、期限内に所定の形式で受験または提出すること。 2. 教員から返却される添削ファイルおよびコメントを受けて自らの英語の問題点を客観的に把握し、修正してより良いものに仕上げる 3. 授業および添削・コメントから得た知見を次回以降の課題作成、またはクラス内活動に参加の際に活かすこと。 <p>なお、英語分野では学期の折り返し地点で全学生に中間成績を通知している。</p>																																																																		
<p>授業計画</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>講義室</th> <th>授業題目</th> <th>授業内容</th> <th>担当教員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>4/14</td> <td>09:10-10:40</td> <td>11 番教室</td> <td>Guidance</td> <td>Course Introduction</td> <td>猪熊 恵子</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>4/21</td> <td>09:10-10:40</td> <td>11 番教室</td> <td>Reading Material 1</td> <td>Reading and Writing Practice</td> <td>猪熊 恵子</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>4/28</td> <td>09:10-10:40</td> <td>11 番教室</td> <td>Reading Material 2</td> <td>Reading and Writing Practice</td> <td>猪熊 恵子</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>5/12</td> <td>09:10-10:40</td> <td>11 番教室</td> <td>Reading Material 3</td> <td>Reading and Writing Practice</td> <td>猪熊 恵子</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>5/19</td> <td>09:10-10:40</td> <td>11 番教室</td> <td>Reading Material 4</td> <td>Reading and Writing Practice</td> <td>猪熊 恵子</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>5/26</td> <td>09:10-10:40</td> <td>11 番教室</td> <td>Reading Material 5</td> <td>Reading and Writing Practice</td> <td>猪熊 恵子</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>6/2</td> <td>09:10-10:40</td> <td>11 番教室</td> <td>Reading Material 6</td> <td>Reading and Writing Practice</td> <td>猪熊 恵子</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>6/9</td> <td>09:10-10:40</td> <td>11 番教室</td> <td>Reading Material 7</td> <td>Reading and Writing Practice</td> <td>猪熊 恵子</td> </tr> </tbody> </table>				回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	1	4/14	09:10-10:40	11 番教室	Guidance	Course Introduction	猪熊 恵子	2	4/21	09:10-10:40	11 番教室	Reading Material 1	Reading and Writing Practice	猪熊 恵子	3	4/28	09:10-10:40	11 番教室	Reading Material 2	Reading and Writing Practice	猪熊 恵子	4	5/12	09:10-10:40	11 番教室	Reading Material 3	Reading and Writing Practice	猪熊 恵子	5	5/19	09:10-10:40	11 番教室	Reading Material 4	Reading and Writing Practice	猪熊 恵子	6	5/26	09:10-10:40	11 番教室	Reading Material 5	Reading and Writing Practice	猪熊 恵子	7	6/2	09:10-10:40	11 番教室	Reading Material 6	Reading and Writing Practice	猪熊 恵子	8	6/9	09:10-10:40	11 番教室	Reading Material 7	Reading and Writing Practice	猪熊 恵子
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員																																																												
1	4/14	09:10-10:40	11 番教室	Guidance	Course Introduction	猪熊 恵子																																																												
2	4/21	09:10-10:40	11 番教室	Reading Material 1	Reading and Writing Practice	猪熊 恵子																																																												
3	4/28	09:10-10:40	11 番教室	Reading Material 2	Reading and Writing Practice	猪熊 恵子																																																												
4	5/12	09:10-10:40	11 番教室	Reading Material 3	Reading and Writing Practice	猪熊 恵子																																																												
5	5/19	09:10-10:40	11 番教室	Reading Material 4	Reading and Writing Practice	猪熊 恵子																																																												
6	5/26	09:10-10:40	11 番教室	Reading Material 5	Reading and Writing Practice	猪熊 恵子																																																												
7	6/2	09:10-10:40	11 番教室	Reading Material 6	Reading and Writing Practice	猪熊 恵子																																																												
8	6/9	09:10-10:40	11 番教室	Reading Material 7	Reading and Writing Practice	猪熊 恵子																																																												

9	6/16	09:10-10:40	11 番教室	Reading Material 8	Reading and Writing Practice	猪熊 恵子
10	6/23	09:10-10:40	11 番教室	Reading Material 9	Reading and Writing Practice	猪熊 恵子
11	6/30	09:10-10:40	11 番教室	Reading Material 10	Reading and Writing Practice	猪熊 恵子
12	7/7	09:10-10:40	11 番教室	Reading Material 11	Reading and Writing Practice	猪熊 恵子
13	7/14	09:10-10:40	11 番教室	Reading Material 12	Reading and Writing Practice	猪熊 恵子
14	7/21	09:10-10:40	11 番教室	Review	Finish Writing Final Essays	猪熊 恵子
15	7/28	09:10-10:40	11 番教室	Feedback	Return Graded Essays	猪熊 恵子

授業方法

Skills Instruction and Practice

授業内容

Week 1: Orientation

Weeks 2-13: Skills Instruction and Continuous Assessment

Week 14 and 15: Review and/or Final Assessment

Detailed class contents will be determined based on the needs of the class and are subject to change.

成績評価の方法

評価: class participation :30%, assignments + quizzes:40%, in-class exam or final essay:30%

再評価: 有(再評価方法 「英語」としての学年末課題)

・上記のパーセンテージは、「英語 b」についての評価方法です。「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績を合わせて最終的な成績を算出します。

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習等についての具体的な指示

Attendance and participation are both essential.

試験の受験資格

「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績を合わせて最終的な成績を算出します。4 クラスすべての履修は必須です。再評価の対象となるのは、英語 abcd の各クラスに原則として3分の2以上出席した者です。ただし、4クラスのうち3クラス以上で 60 点未満の成績がついた者には原則として再評価の機会を与えません。

履修上の注意事項

出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先させます。

参照ホームページ

Visit <http://www.tmd.ac.jp/artsci/engl/> for more information about instructors.

時間割番号	000086																																																																																																																		
科目名	英語 b	科目 ID	LA-115202-Z																																																																																																																
担当教員	畔柳 和代[KUROYANAGI KAZUYO]																																																																																																																		
開講時期	2022 年度前期	対象年次	1																																																																																																																
実務経験のある教員による授業																																																																																																																			
<ul style="list-style-type: none"> ・曜日・限: 木曜1限 ・対象学科: 医学科・歯学科 ・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 別表3-4) 別表4-5) 																																																																																																																			
授業の目的、概要等 Depending on the particular class, students will read English on a wide variety of topics, including literary works, articles from newspapers and journals, non-fiction and fiction. Students will also write in English on a variety of themes. Students in some classes may give formal presentations based on their written work and other class activities. The primary goals of these courses are to improve English reading and writing skills.																																																																																																																			
授業の到達目標 To improve the ability to read different types of written works effectively. To enlarge vocabulary not only for reading but also for writing. To improve writing abilities at the sentence-level and beyond, depending on proficiency. 以下の3点を満たすことが、B 評価(70 点以上)の必要条件として要求される。 1. 授業内で課される課題や試験等について、原則としてすべて、期限内に所定の形式で受験または提出すること。 2. 教員から返却される添削ファイルおよびコメントを受けて自らの英語の問題点を客観的に把握し、修正してより良いものに仕上げる こと。 3. 授業および添削・コメントから得た知見を次回以降の課題作成、またはクラス内活動に参加の際に活かすこと。 なお、英語分野では学期の折り返し地点で全学生に中間成績を通知している。																																																																																																																			
授業計画 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>講義室</th> <th>授業題目</th> <th>授業内容</th> <th>担当教員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td>4/14</td><td>09:10-10:40</td><td>8 番教室</td><td>Guidance</td><td>Course Introduction</td><td>畔柳 和代</td></tr> <tr><td>2</td><td>4/21</td><td>09:10-10:40</td><td>8 番教室</td><td>Reading Material 1</td><td>Reading and Writing Practice</td><td>畔柳 和代</td></tr> <tr><td>3</td><td>4/28</td><td>09:10-10:40</td><td>8 番教室</td><td>Reading Material 2</td><td>Reading and Writing Practice</td><td>畔柳 和代</td></tr> <tr><td>4</td><td>5/12</td><td>09:10-10:40</td><td>8 番教室</td><td>Reading Material 3</td><td>Reading and Writing Practice</td><td>畔柳 和代</td></tr> <tr><td>5</td><td>5/19</td><td>09:10-10:40</td><td>8 番教室</td><td>Reading Material 4</td><td>Reading and Writing Practice</td><td>畔柳 和代</td></tr> <tr><td>6</td><td>5/26</td><td>09:10-10:40</td><td>8 番教室</td><td>Reading Material 5</td><td>Reading and Writing Practice</td><td>畔柳 和代</td></tr> <tr><td>7</td><td>6/2</td><td>09:10-10:40</td><td>8 番教室</td><td>Reading Material 6</td><td>Reading and Writing Practice</td><td>畔柳 和代</td></tr> <tr><td>8</td><td>6/9</td><td>09:10-10:40</td><td>8 番教室</td><td>Reading Material 7</td><td>Reading and Writing Practice</td><td>畔柳 和代</td></tr> <tr><td>9</td><td>6/16</td><td>09:10-10:40</td><td>8 番教室</td><td>Reading Material 8</td><td>Reading and Writing Practice</td><td>畔柳 和代</td></tr> <tr><td>10</td><td>6/23</td><td>09:10-10:40</td><td>8 番教室</td><td>Reading Material 9</td><td>Reading and Writing Practice</td><td>畔柳 和代</td></tr> <tr><td>11</td><td>6/30</td><td>09:10-10:40</td><td>8 番教室</td><td>Reading Material 10</td><td>Reading and Writing Practice</td><td>畔柳 和代</td></tr> <tr><td>12</td><td>7/7</td><td>09:10-10:40</td><td>8 番教室</td><td>Reading Material 11</td><td>Reading and Writing Practice</td><td>畔柳 和代</td></tr> <tr><td>13</td><td>7/14</td><td>09:10-10:40</td><td>8 番教室</td><td>Reading Material 12</td><td>Reading and Writing Practice</td><td>畔柳 和代</td></tr> <tr><td>14</td><td>7/21</td><td>09:10-10:40</td><td>8 番教室</td><td>Short Assignments</td><td>Reading and Writing Practice</td><td>畔柳 和代</td></tr> <tr><td>15</td><td>7/28</td><td>09:10-10:40</td><td>8 番教室</td><td>Review</td><td>Comments and Suggestions</td><td>畔柳 和代</td></tr> </tbody> </table>				回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	1	4/14	09:10-10:40	8 番教室	Guidance	Course Introduction	畔柳 和代	2	4/21	09:10-10:40	8 番教室	Reading Material 1	Reading and Writing Practice	畔柳 和代	3	4/28	09:10-10:40	8 番教室	Reading Material 2	Reading and Writing Practice	畔柳 和代	4	5/12	09:10-10:40	8 番教室	Reading Material 3	Reading and Writing Practice	畔柳 和代	5	5/19	09:10-10:40	8 番教室	Reading Material 4	Reading and Writing Practice	畔柳 和代	6	5/26	09:10-10:40	8 番教室	Reading Material 5	Reading and Writing Practice	畔柳 和代	7	6/2	09:10-10:40	8 番教室	Reading Material 6	Reading and Writing Practice	畔柳 和代	8	6/9	09:10-10:40	8 番教室	Reading Material 7	Reading and Writing Practice	畔柳 和代	9	6/16	09:10-10:40	8 番教室	Reading Material 8	Reading and Writing Practice	畔柳 和代	10	6/23	09:10-10:40	8 番教室	Reading Material 9	Reading and Writing Practice	畔柳 和代	11	6/30	09:10-10:40	8 番教室	Reading Material 10	Reading and Writing Practice	畔柳 和代	12	7/7	09:10-10:40	8 番教室	Reading Material 11	Reading and Writing Practice	畔柳 和代	13	7/14	09:10-10:40	8 番教室	Reading Material 12	Reading and Writing Practice	畔柳 和代	14	7/21	09:10-10:40	8 番教室	Short Assignments	Reading and Writing Practice	畔柳 和代	15	7/28	09:10-10:40	8 番教室	Review	Comments and Suggestions	畔柳 和代
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員																																																																																																													
1	4/14	09:10-10:40	8 番教室	Guidance	Course Introduction	畔柳 和代																																																																																																													
2	4/21	09:10-10:40	8 番教室	Reading Material 1	Reading and Writing Practice	畔柳 和代																																																																																																													
3	4/28	09:10-10:40	8 番教室	Reading Material 2	Reading and Writing Practice	畔柳 和代																																																																																																													
4	5/12	09:10-10:40	8 番教室	Reading Material 3	Reading and Writing Practice	畔柳 和代																																																																																																													
5	5/19	09:10-10:40	8 番教室	Reading Material 4	Reading and Writing Practice	畔柳 和代																																																																																																													
6	5/26	09:10-10:40	8 番教室	Reading Material 5	Reading and Writing Practice	畔柳 和代																																																																																																													
7	6/2	09:10-10:40	8 番教室	Reading Material 6	Reading and Writing Practice	畔柳 和代																																																																																																													
8	6/9	09:10-10:40	8 番教室	Reading Material 7	Reading and Writing Practice	畔柳 和代																																																																																																													
9	6/16	09:10-10:40	8 番教室	Reading Material 8	Reading and Writing Practice	畔柳 和代																																																																																																													
10	6/23	09:10-10:40	8 番教室	Reading Material 9	Reading and Writing Practice	畔柳 和代																																																																																																													
11	6/30	09:10-10:40	8 番教室	Reading Material 10	Reading and Writing Practice	畔柳 和代																																																																																																													
12	7/7	09:10-10:40	8 番教室	Reading Material 11	Reading and Writing Practice	畔柳 和代																																																																																																													
13	7/14	09:10-10:40	8 番教室	Reading Material 12	Reading and Writing Practice	畔柳 和代																																																																																																													
14	7/21	09:10-10:40	8 番教室	Short Assignments	Reading and Writing Practice	畔柳 和代																																																																																																													
15	7/28	09:10-10:40	8 番教室	Review	Comments and Suggestions	畔柳 和代																																																																																																													
授業方法																																																																																																																			

Skills Instruction and Practice
授業内容 Week 1: Orientation Weeks 2–13: Skills Instruction and Continuous Assessment Week 14 and 15: Review and/or Final Assessment Detailed class contents will be determined based on the needs of the class and are subject to change.
成績評価の方法 評価: participation:25%, quizzes and response papers: 35%, assignments: 40% 再評価: 有 (再評価方法:「英語」としての学年末課題) ・上記のパーセンテージは、「英語 b」についての評価方法です。「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績を合わせて最終的な成績を算出します。
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通履修規則 別表2」による
準備学習等についての具体的な指示 Attendance and participation are both essential.
試験の受験資格 「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績を合わせて最終的な成績を算出します。4 クラスすべての履修は必須です。再評価の対象となるのは、英語 abcd の各クラスに原則として3分の2以上出席した者です。ただし、4クラスのうち3クラス以上で 60 点未満の成績がついた者には原則として再評価の機会を与えません。
履修上の注意事項 出欠管理システムの記録より、教員がとる出席を優先させます。
参照ホームページ Visit http://www.tmd.ac.jp/artsci/eng/ for more information about instructors.
連絡先(メールアドレス) kuroyanagi.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー 毎週木曜日 12:30–13:00 管理研究棟3階畔柳研究室

時間割番号	000087																																																																																													
科目名	英語 b	科目 ID	LA-115202-Z																																																																																											
担当教員	畔柳 和代[KUROYANAGI KAZUYO]																																																																																													
開講時期	2022 年度前期	対象年次	1																																																																																											
実務経験のある教員による授業																																																																																														
<p>・曜日・限: 木曜2限</p> <p>・対象学科: 保健衛生学科 口腔保健学科</p> <p>・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 別表3-4) 別表4-5)</p>																																																																																														
<p>授業の目的、概要等</p> <p>Depending on the particular class, students will read English on a wide variety of topics, including literary works, articles from newspapers and journals, non-fiction and fiction. Students will also write in English on a variety of themes. Students in some classes may give formal presentations based on their written work and other class activities.</p> <p>The primary goals of these courses are to improve English reading and writing skills.</p>																																																																																														
<p>授業の到達目標</p> <p>To improve the ability to read different types of written works effectively.</p> <p>To enlarge vocabulary not only for reading but also for writing.</p> <p>To improve writing abilities at the sentence-level and beyond, depending on proficiency.</p> <p>以下の3点を満たすことが、B 評価(70 点以上)の必要条件として要求される。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 授業内で課される課題や試験等について、原則としてすべて、期限内に所定の形式で受験または提出すること。 2. 教員から返却される添削ファイルおよびコメントを受けて自らの英語の問題点を客観的に把握し、修正してより良いものに仕上げる 3. 授業および添削・コメントから得た知見を次回以降の課題作成、またはクラス内活動に参加の際に活かすこと。 <p>なお、英語分野では学期の折り返し地点で全学生に中間成績を通知している。</p>																																																																																														
<p>授業計画</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>講義室</th> <th>授業題目</th> <th>授業内容</th> <th>担当教員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>4/14</td> <td>10:50-12:20</td> <td>8 番教室</td> <td>Guidance</td> <td>Course Introduction</td> <td>畔柳 和代</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>4/21</td> <td>10:50-12:20</td> <td>8 番教室</td> <td>Reading Material 1</td> <td>Reading and Writing Practice</td> <td>畔柳 和代</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>4/28</td> <td>10:50-12:20</td> <td>8 番教室</td> <td>Reading Material 2</td> <td>Reading and Writing Practice</td> <td>畔柳 和代</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>5/12</td> <td>10:50-12:20</td> <td>8 番教室</td> <td>Reading Material 3</td> <td>Reading and Writing Practice</td> <td>畔柳 和代</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>5/19</td> <td>10:50-12:20</td> <td>8 番教室</td> <td>Reading Material 4</td> <td>Reading and Writing Practice</td> <td>畔柳 和代</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>5/26</td> <td>10:50-12:20</td> <td>8 番教室</td> <td>Reading Material 5</td> <td>Reading and Writing Practice</td> <td>畔柳 和代</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>6/2</td> <td>10:50-12:20</td> <td>8 番教室</td> <td>Reading Material 6</td> <td>Reading and Writing Practice</td> <td>畔柳 和代</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>6/9</td> <td>10:50-12:20</td> <td>8 番教室</td> <td>Reading Material 7</td> <td>Reading and Writing Practice</td> <td>畔柳 和代</td> </tr> <tr> <td>9</td> <td>6/16</td> <td>10:50-12:20</td> <td>8 番教室</td> <td>Reading Material 8</td> <td>Reading and Writing Practice</td> <td>畔柳 和代</td> </tr> <tr> <td>10</td> <td>6/23</td> <td>10:50-12:20</td> <td>8 番教室</td> <td>Reading Material 9</td> <td>Reading and Writing Practice</td> <td>畔柳 和代</td> </tr> <tr> <td>11</td> <td>6/30</td> <td>10:50-12:20</td> <td>8 番教室</td> <td>Reading Material 10</td> <td>Reading and Writing Practice</td> <td>畔柳 和代</td> </tr> <tr> <td>12</td> <td>7/7</td> <td>10:50-12:20</td> <td>8 番教室</td> <td>Reading Material 11</td> <td>Reading and Writing Practice</td> <td>畔柳 和代</td> </tr> </tbody> </table>				回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	1	4/14	10:50-12:20	8 番教室	Guidance	Course Introduction	畔柳 和代	2	4/21	10:50-12:20	8 番教室	Reading Material 1	Reading and Writing Practice	畔柳 和代	3	4/28	10:50-12:20	8 番教室	Reading Material 2	Reading and Writing Practice	畔柳 和代	4	5/12	10:50-12:20	8 番教室	Reading Material 3	Reading and Writing Practice	畔柳 和代	5	5/19	10:50-12:20	8 番教室	Reading Material 4	Reading and Writing Practice	畔柳 和代	6	5/26	10:50-12:20	8 番教室	Reading Material 5	Reading and Writing Practice	畔柳 和代	7	6/2	10:50-12:20	8 番教室	Reading Material 6	Reading and Writing Practice	畔柳 和代	8	6/9	10:50-12:20	8 番教室	Reading Material 7	Reading and Writing Practice	畔柳 和代	9	6/16	10:50-12:20	8 番教室	Reading Material 8	Reading and Writing Practice	畔柳 和代	10	6/23	10:50-12:20	8 番教室	Reading Material 9	Reading and Writing Practice	畔柳 和代	11	6/30	10:50-12:20	8 番教室	Reading Material 10	Reading and Writing Practice	畔柳 和代	12	7/7	10:50-12:20	8 番教室	Reading Material 11	Reading and Writing Practice	畔柳 和代
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員																																																																																								
1	4/14	10:50-12:20	8 番教室	Guidance	Course Introduction	畔柳 和代																																																																																								
2	4/21	10:50-12:20	8 番教室	Reading Material 1	Reading and Writing Practice	畔柳 和代																																																																																								
3	4/28	10:50-12:20	8 番教室	Reading Material 2	Reading and Writing Practice	畔柳 和代																																																																																								
4	5/12	10:50-12:20	8 番教室	Reading Material 3	Reading and Writing Practice	畔柳 和代																																																																																								
5	5/19	10:50-12:20	8 番教室	Reading Material 4	Reading and Writing Practice	畔柳 和代																																																																																								
6	5/26	10:50-12:20	8 番教室	Reading Material 5	Reading and Writing Practice	畔柳 和代																																																																																								
7	6/2	10:50-12:20	8 番教室	Reading Material 6	Reading and Writing Practice	畔柳 和代																																																																																								
8	6/9	10:50-12:20	8 番教室	Reading Material 7	Reading and Writing Practice	畔柳 和代																																																																																								
9	6/16	10:50-12:20	8 番教室	Reading Material 8	Reading and Writing Practice	畔柳 和代																																																																																								
10	6/23	10:50-12:20	8 番教室	Reading Material 9	Reading and Writing Practice	畔柳 和代																																																																																								
11	6/30	10:50-12:20	8 番教室	Reading Material 10	Reading and Writing Practice	畔柳 和代																																																																																								
12	7/7	10:50-12:20	8 番教室	Reading Material 11	Reading and Writing Practice	畔柳 和代																																																																																								

13	7/14	10:50-12:20	8 番教室	Reading Material 12	Reading and Writing Practice	畔柳 和代
14	7/21	10:50-12:20	8 番教室	Short Assignments	Reading and Writing Practice	畔柳 和代
15	7/28	10:50-12:20	8 番教室	Review	Comments and Suggestions	畔柳 和代
授業方法						
Skills Instruction and Practice						
授業内容						
Week 1: Orientation						
Weeks 2-13: Skills Instruction and Continuous Assessment						
Week 14 and 15: Review and/or Final Assessment						
Detailed class contents will be determined based on the needs of the class and are subject to change.						
成績評価の方法						
評価: participation:25%, quizzes and response papers: 35%, assignments: 40%						
再評価: 有 (再評価方法:「英語」としての学年末課題)						
・上記のパーセンテージは、「英語 b」についての評価方法です。「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績を合わせて最終的な成績を算出します。						
成績評価の基準						
「東京医科歯科大学全学共通履修規則 別表2」による						
準備学習等についての具体的な指示						
Attendance and participation are both essential.						
試験の受験資格						
英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績(90%)を合わせて最終的な成績を算出します。4 クラスすべての履修は必須です。再評価の対象となるのは、英語 abcd の各クラスに原則として3分の2以上出席した者です。ただし、4クラスのうち3クラス以上で 60 点未満の成績がついた者には原則として再評価の機会を与えません。						
履修上の注意事項						
出欠管理システムの記録より、教員がとる出席を優先させます。						
参照ホームページ						
Visit http://www.tmd.ac.jp/artsci/engl/ for more information about instructors.						
連絡先(メールアドレス)						
kuroyanagi.las@tmd.ac.jp						
オフィスアワー						
毎週木曜日 12:30-13:00 管理研究棟3階畔柳研究室						

時間割番号	000088																																																																								
科目名	英語 b	科目 ID	LA-115202-Z																																																																						
担当教員	猪熊 恵子[INOKUMA KEIKO]																																																																								
開講時期	2022 年度前期	対象年次	1																																																																						
実務経験のある教員による授業																																																																									
<p>・曜日・時間: 木曜2限</p> <p>・対象学科: 医学科 歯学科</p> <p>・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 別表3-4) 別表4-5)</p>																																																																									
<p>授業の目的、概要等</p> <p>Depending on the particular class, students will read English on a wide variety of topics, including literary works, articles from newspapers and journals, non-fiction and fiction. Students will also write in English on a variety of themes. Students in some classes may give formal presentations based on their written work and other class activities.</p> <p>The primary goals of these courses are to improve English reading and writing skills.</p>																																																																									
<p>授業の到達目標</p> <p>To improve the ability to read different types of written works effectively.</p> <p>To enlarge vocabulary not only for reading but also for writing.</p> <p>To improve writing abilities at the sentence-level and beyond, depending on proficiency.</p> <p>以下の3点を満たすことが、B 評価(70 点以上)の必要条件として要求される。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 授業内で課される課題や試験等について、原則としてすべて、期限内に所定の形式で受験または提出すること。 2. 教員から返却される添削ファイルおよびコメントを受けて自らの英語の問題点を客観的に把握し、修正してより良いものに仕上げること。 3. 授業および添削・コメントから得た知見を次回以降の課題作成、またはクラス内活動に参加の際に活かすこと。 <p>なお、英語分野では学期の折り返し地点で全学生に中間成績を通知している。</p>																																																																									
<p>授業計画</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>講義室</th> <th>授業題目</th> <th>授業内容</th> <th>担当教員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>4/14</td> <td>10:50-12:20</td> <td>11 番教室</td> <td>Guidance</td> <td>Course Introduction</td> <td>猪熊 恵子</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>4/21</td> <td>10:50-12:20</td> <td>11 番教室</td> <td>Reading Material 1</td> <td>Reading and Writing Practice</td> <td>猪熊 恵子</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>4/28</td> <td>10:50-12:20</td> <td>11 番教室</td> <td>Reading Material 2</td> <td>Reading and Writing Practice</td> <td>猪熊 恵子</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>5/12</td> <td>10:50-12:20</td> <td>11 番教室</td> <td>Reading Material 3</td> <td>Reading and Writing Practice</td> <td>猪熊 恵子</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>5/19</td> <td>10:50-12:20</td> <td>11 番教室</td> <td>Reading Material 4</td> <td>Reading and Writing Practice</td> <td>猪熊 恵子</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>5/26</td> <td>10:50-12:20</td> <td>11 番教室</td> <td>Reading Material 5</td> <td>Reading and Writing Practice</td> <td>猪熊 恵子</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>6/2</td> <td>10:50-12:20</td> <td>11 番教室</td> <td>Reading Material 6</td> <td>Reading and Writing Practice</td> <td>猪熊 恵子</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>6/9</td> <td>10:50-12:20</td> <td>11 番教室</td> <td>Reading Material 7</td> <td>Reading and Writing Practice</td> <td>猪熊 恵子</td> </tr> <tr> <td>9</td> <td>6/16</td> <td>10:50-12:20</td> <td>11 番教室</td> <td>Reading Material 8</td> <td>Reading and Writing Practice</td> <td>猪熊 恵子</td> </tr> </tbody> </table>				回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	1	4/14	10:50-12:20	11 番教室	Guidance	Course Introduction	猪熊 恵子	2	4/21	10:50-12:20	11 番教室	Reading Material 1	Reading and Writing Practice	猪熊 恵子	3	4/28	10:50-12:20	11 番教室	Reading Material 2	Reading and Writing Practice	猪熊 恵子	4	5/12	10:50-12:20	11 番教室	Reading Material 3	Reading and Writing Practice	猪熊 恵子	5	5/19	10:50-12:20	11 番教室	Reading Material 4	Reading and Writing Practice	猪熊 恵子	6	5/26	10:50-12:20	11 番教室	Reading Material 5	Reading and Writing Practice	猪熊 恵子	7	6/2	10:50-12:20	11 番教室	Reading Material 6	Reading and Writing Practice	猪熊 恵子	8	6/9	10:50-12:20	11 番教室	Reading Material 7	Reading and Writing Practice	猪熊 恵子	9	6/16	10:50-12:20	11 番教室	Reading Material 8	Reading and Writing Practice	猪熊 恵子
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員																																																																			
1	4/14	10:50-12:20	11 番教室	Guidance	Course Introduction	猪熊 恵子																																																																			
2	4/21	10:50-12:20	11 番教室	Reading Material 1	Reading and Writing Practice	猪熊 恵子																																																																			
3	4/28	10:50-12:20	11 番教室	Reading Material 2	Reading and Writing Practice	猪熊 恵子																																																																			
4	5/12	10:50-12:20	11 番教室	Reading Material 3	Reading and Writing Practice	猪熊 恵子																																																																			
5	5/19	10:50-12:20	11 番教室	Reading Material 4	Reading and Writing Practice	猪熊 恵子																																																																			
6	5/26	10:50-12:20	11 番教室	Reading Material 5	Reading and Writing Practice	猪熊 恵子																																																																			
7	6/2	10:50-12:20	11 番教室	Reading Material 6	Reading and Writing Practice	猪熊 恵子																																																																			
8	6/9	10:50-12:20	11 番教室	Reading Material 7	Reading and Writing Practice	猪熊 恵子																																																																			
9	6/16	10:50-12:20	11 番教室	Reading Material 8	Reading and Writing Practice	猪熊 恵子																																																																			

			室			
10	6/23	10:50-12:20	11 番教 室	Reading Material 9	Reading and Writing Practice	猪熊 恵子
11	6/30	10:50-12:20	11 番教 室	Reading Material 10	Reading and Writing Practice	猪熊 恵子
12	7/7	10:50-12:20	11 番教 室	Reading Material 11	Reading and Writing Practice	猪熊 恵子
13	7/14	10:50-12:20	11 番教 室	Reading Material 12	Reading and Writing Practice	猪熊 恵子
14	7/21	10:50-12:20	11 番教 室	Review	Finish Writing Final Essays	猪熊 恵子
15	7/28	10:50-12:20	11 番教 室	Feedback	Return Graded Essays	猪熊 恵子

授業方法

Skills Instruction and Practice

授業内容

Week 1: Orientation

Weeks 2-13: Skills Instruction and Continuous Assessment

Week 14 and 15: Review and/or Final Assessment

Detailed class contents will be determined based on the needs of the class and are subject to change.

成績評価の方法

評価: class participation :30%, assignments + quizzes:40%, in-class exam or final essay:30%

再評価: 有(再評価方法 「英語」としての学年末課題)

・上記のパーセンテージは、「英語 b」についての評価方法です。「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績を合わせて最終的な成績を算出します。

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習等についての具体的な指示

Attendance and participation are both essential.

試験の受験資格

「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績を合わせて最終的な成績を算出します。4 クラスすべての履修は必須です。再評価の対象となるのは、英語 abcd の各クラスに原則として3分の2以上出席した者です。ただし、4クラスのうち3クラス以上で 60 点未満の成績がついた者には原則として再評価の機会を与えません。

履修上の注意事項

出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先させます。

参照ホームページ

Visit <http://www.tmd.ac.jp/artsci/eng/> for more information about instructors.

時間割番号	000089																																																																																						
科目名	英語 b	科目 ID	LA-115202-Z																																																																																				
担当教員	野口 大斗[NOGUCHI Hiroto]																																																																																						
開講時期	2022 年度前期	対象年次	1																																																																																				
実務経験のある教員による授業																																																																																							
<p>・曜日・時間: 木曜1限</p> <p>・対象学科: 保健衛生学科 口腔保健学科</p> <p>・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 別表3-4) 別表4-5)</p>																																																																																							
<p>授業の目的、概要等</p> <p>Depending on the particular class, students will read English on a wide variety of topics, including literary works, articles from newspapers and journals, non-fiction and fiction. Students will also write in English on a variety of themes. Students in some classes may give formal presentations based on their written work and other class activities.</p> <p>The primary goals of this course are to improve English reading and writing skills.</p>																																																																																							
<p>授業の到達目標</p> <p>To improve the ability to read different types of written works effectively.</p> <p>To enlarge vocabulary not only for reading but also for writing.</p> <p>To improve writing abilities at the sentence-level and beyond, depending on proficiency.</p> <p>以下の3点を満たすことが、B評価(70点以上)の必要条件として要求される。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 授業内で課される課題や試験等について、原則としてすべて、期限内に所定の形式で受験または提出すること。 2. 教員から返却される添削ファイルおよびコメントを受けて自らの英語の問題点を客観的に把握し、修正してより良いものに仕上げること。 3. 授業および添削・コメントから得た知見を次回以降の課題作成、またはクラス内活動に参加の際に活かすこと。 <p>なお、英語分野では学期の折り返し地点で全学生に中間成績を通知している。</p>																																																																																							
<p>授業計画</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>講義室</th> <th>授業題目</th> <th>授業内容</th> <th>担当教員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>4/14</td> <td>09:10-10:40</td> <td>2 番教室</td> <td>Guidance</td> <td>Course Introduction</td> <td>野口 大斗</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>4/21</td> <td>09:10-10:40</td> <td>2 番教室</td> <td>Reading Material 1</td> <td>Reading and Writing Practice</td> <td>野口 大斗</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>4/28</td> <td>09:10-10:40</td> <td>2 番教室</td> <td>Reading Material 2</td> <td>Reading and Writing Practice</td> <td>野口 大斗</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>5/12</td> <td>09:10-10:40</td> <td>2 番教室</td> <td>Reading Material 3</td> <td>Reading and Writing Practice</td> <td>野口 大斗</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>5/19</td> <td>09:10-10:40</td> <td>2 番教室</td> <td>Reading Material 4</td> <td>Reading and Writing Practice</td> <td>野口 大斗</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>5/26</td> <td>09:10-10:40</td> <td>2 番教室</td> <td>Reading Material 5</td> <td>Reading and Writing Practice</td> <td>野口 大斗</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>6/2</td> <td>09:10-10:40</td> <td>2 番教室</td> <td>Reading Material 6</td> <td>Reading and Writing Practice</td> <td>野口 大斗</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>6/9</td> <td>09:10-10:40</td> <td>2 番教室</td> <td>Reading Material 7</td> <td>Reading and Writing Practice</td> <td>野口 大斗</td> </tr> <tr> <td>9</td> <td>6/16</td> <td>09:10-10:40</td> <td>2 番教室</td> <td>Reading Material 8</td> <td>Reading and Writing Practice</td> <td>野口 大斗</td> </tr> <tr> <td>10</td> <td>6/23</td> <td>09:10-10:40</td> <td>2 番教室</td> <td>Reading Material 9</td> <td>Reading and Writing Practice</td> <td>野口 大斗</td> </tr> <tr> <td>11</td> <td>6/30</td> <td>09:10-10:40</td> <td>2 番教室</td> <td>Reading Material 10</td> <td>Reading and Writing Practice</td> <td>野口 大斗</td> </tr> </tbody> </table>				回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	1	4/14	09:10-10:40	2 番教室	Guidance	Course Introduction	野口 大斗	2	4/21	09:10-10:40	2 番教室	Reading Material 1	Reading and Writing Practice	野口 大斗	3	4/28	09:10-10:40	2 番教室	Reading Material 2	Reading and Writing Practice	野口 大斗	4	5/12	09:10-10:40	2 番教室	Reading Material 3	Reading and Writing Practice	野口 大斗	5	5/19	09:10-10:40	2 番教室	Reading Material 4	Reading and Writing Practice	野口 大斗	6	5/26	09:10-10:40	2 番教室	Reading Material 5	Reading and Writing Practice	野口 大斗	7	6/2	09:10-10:40	2 番教室	Reading Material 6	Reading and Writing Practice	野口 大斗	8	6/9	09:10-10:40	2 番教室	Reading Material 7	Reading and Writing Practice	野口 大斗	9	6/16	09:10-10:40	2 番教室	Reading Material 8	Reading and Writing Practice	野口 大斗	10	6/23	09:10-10:40	2 番教室	Reading Material 9	Reading and Writing Practice	野口 大斗	11	6/30	09:10-10:40	2 番教室	Reading Material 10	Reading and Writing Practice	野口 大斗
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員																																																																																	
1	4/14	09:10-10:40	2 番教室	Guidance	Course Introduction	野口 大斗																																																																																	
2	4/21	09:10-10:40	2 番教室	Reading Material 1	Reading and Writing Practice	野口 大斗																																																																																	
3	4/28	09:10-10:40	2 番教室	Reading Material 2	Reading and Writing Practice	野口 大斗																																																																																	
4	5/12	09:10-10:40	2 番教室	Reading Material 3	Reading and Writing Practice	野口 大斗																																																																																	
5	5/19	09:10-10:40	2 番教室	Reading Material 4	Reading and Writing Practice	野口 大斗																																																																																	
6	5/26	09:10-10:40	2 番教室	Reading Material 5	Reading and Writing Practice	野口 大斗																																																																																	
7	6/2	09:10-10:40	2 番教室	Reading Material 6	Reading and Writing Practice	野口 大斗																																																																																	
8	6/9	09:10-10:40	2 番教室	Reading Material 7	Reading and Writing Practice	野口 大斗																																																																																	
9	6/16	09:10-10:40	2 番教室	Reading Material 8	Reading and Writing Practice	野口 大斗																																																																																	
10	6/23	09:10-10:40	2 番教室	Reading Material 9	Reading and Writing Practice	野口 大斗																																																																																	
11	6/30	09:10-10:40	2 番教室	Reading Material 10	Reading and Writing Practice	野口 大斗																																																																																	

12	7/7	09:10-10:40	2 番教室	Reading Material 11	Reading and Writing Practice	野口 大斗
13	7/14	09:10-10:40	2 番教室	Reading Material 12	Reading and Writing Practice	野口 大斗
14	7/21	09:10-10:40	2 番教室	Reading Material 13	Reading and Writing Practice	野口 大斗
15	7/28	09:10-10:40	2 番教室	Review	In-class Exam	野口 大斗
授業方法						
Skills Instruction and Practice						
授業内容						
Week 1: Orientation						
Weeks 2-13: Skills Instruction and Continuous Assessment						
Week 14 and 15: Review and/or Final Assessment						
Detailed class contents will be determined based on the needs of the class and are subject to change.						
成績評価の方法						
評価: Participation: 30% In-class exam: 25% End-of-term essay: 15% In-class writing assignments: 15% Quizzes: 15%						
再評価: 有(再評価方法 「英語」としての学年末課題)						
・上記のパーセンテージは、「英語 b」についての評価方法です。「英語」は abcd の4クラスの成績を合わせて最終的な成績を算出します。						
成績評価の基準						
「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による						
準備学習等についての具体的な指示						
Attendance and participation are both essential.						
試験の受験資格						
「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績を合わせて最終的な成績を算出します。4 クラスすべての履修は必須です。再評価の対象となるのは、英語 abcd の各クラスに原則として3分の2以上出席した者です。ただし、4クラスのうち3クラス以上で 60 点未満の成績がついた者には原則として再評価の機会を与えません。						
履修上の注意事項						
出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先させます。						
参照ホームページ						
Visit http://www.tmd.ac.jp/artsci/engl/ for more information about instructors.						

時間割番号	000090																																																																																		
科目名	英語 c	科目ID	LA-115203-Z																																																																																
担当教員	JEANETTE DENNISSON[JEANETTE DENNISSON]																																																																																		
開講時期	2022 年度後期	対象年次	1																																																																																
実務経験のある教員による授業																																																																																			
<ul style="list-style-type: none"> ・曜日・時間:水曜1限 ・対象学科:口腔保健衛生学・看護学 ・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): <ul style="list-style-type: none"> 別表3-1) 別表3-4) 別表4-5) 																																																																																			
授業の目的、概要等 Students will engage in a range of conversation activities (e.g., in pairs or small groups) and in speech/presentation activities to develop better English listening and speaking skills. New vocabulary will also be introduced. Particular grammatical structures will occasionally be targeted. Readings may be used in particular classes as bases for discussion. The primary goals of this course are to improve English speaking and listening skills.																																																																																			
授業の到達目標 To develop the ability to engage in extended discussions in English, without long pauses, on a range of topics without using dictionaries. To improve the ability to speak in front of others using English.																																																																																			
授業計画 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>講義室</th> <th>担当教員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td>10/5</td><td>08:40-10:10</td><td></td><td>JEANETTE DENNISSON</td></tr> <tr><td>2</td><td>10/19</td><td>08:40-10:10</td><td></td><td>JEANETTE DENNISSON</td></tr> <tr><td>3</td><td>10/26</td><td>08:40-10:10</td><td></td><td>JEANETTE DENNISSON</td></tr> <tr><td>4</td><td>11/2</td><td>08:40-10:10</td><td></td><td>JEANETTE DENNISSON</td></tr> <tr><td>5</td><td>11/9</td><td>08:40-10:10</td><td></td><td>JEANETTE DENNISSON</td></tr> <tr><td>6</td><td>11/16</td><td>08:40-10:10</td><td></td><td>JEANETTE DENNISSON</td></tr> <tr><td>7</td><td>11/30</td><td>08:40-10:10</td><td></td><td>JEANETTE DENNISSON</td></tr> <tr><td>8</td><td>12/7</td><td>08:40-10:10</td><td></td><td>JEANETTE DENNISSON</td></tr> <tr><td>9</td><td>12/14</td><td>08:40-10:10</td><td></td><td>JEANETTE DENNISSON</td></tr> <tr><td>10</td><td>12/21</td><td>08:40-10:10</td><td></td><td>JEANETTE DENNISSON</td></tr> <tr><td>11</td><td>1/4</td><td>08:40-10:10</td><td></td><td>JEANETTE DENNISSON</td></tr> <tr><td>12</td><td>1/11</td><td>08:40-10:10</td><td></td><td>JEANETTE DENNISSON</td></tr> <tr><td>13</td><td>1/18</td><td>08:40-10:10</td><td></td><td>JEANETTE DENNISSON</td></tr> <tr><td>14</td><td>1/25</td><td>08:40-10:10</td><td></td><td>JEANETTE DENNISSON</td></tr> <tr><td>15</td><td>2/1</td><td>08:40-10:10</td><td></td><td>JEANETTE DENNISSON</td></tr> </tbody> </table>				回	日付	時刻	講義室	担当教員	1	10/5	08:40-10:10		JEANETTE DENNISSON	2	10/19	08:40-10:10		JEANETTE DENNISSON	3	10/26	08:40-10:10		JEANETTE DENNISSON	4	11/2	08:40-10:10		JEANETTE DENNISSON	5	11/9	08:40-10:10		JEANETTE DENNISSON	6	11/16	08:40-10:10		JEANETTE DENNISSON	7	11/30	08:40-10:10		JEANETTE DENNISSON	8	12/7	08:40-10:10		JEANETTE DENNISSON	9	12/14	08:40-10:10		JEANETTE DENNISSON	10	12/21	08:40-10:10		JEANETTE DENNISSON	11	1/4	08:40-10:10		JEANETTE DENNISSON	12	1/11	08:40-10:10		JEANETTE DENNISSON	13	1/18	08:40-10:10		JEANETTE DENNISSON	14	1/25	08:40-10:10		JEANETTE DENNISSON	15	2/1	08:40-10:10		JEANETTE DENNISSON
回	日付	時刻	講義室	担当教員																																																																															
1	10/5	08:40-10:10		JEANETTE DENNISSON																																																																															
2	10/19	08:40-10:10		JEANETTE DENNISSON																																																																															
3	10/26	08:40-10:10		JEANETTE DENNISSON																																																																															
4	11/2	08:40-10:10		JEANETTE DENNISSON																																																																															
5	11/9	08:40-10:10		JEANETTE DENNISSON																																																																															
6	11/16	08:40-10:10		JEANETTE DENNISSON																																																																															
7	11/30	08:40-10:10		JEANETTE DENNISSON																																																																															
8	12/7	08:40-10:10		JEANETTE DENNISSON																																																																															
9	12/14	08:40-10:10		JEANETTE DENNISSON																																																																															
10	12/21	08:40-10:10		JEANETTE DENNISSON																																																																															
11	1/4	08:40-10:10		JEANETTE DENNISSON																																																																															
12	1/11	08:40-10:10		JEANETTE DENNISSON																																																																															
13	1/18	08:40-10:10		JEANETTE DENNISSON																																																																															
14	1/25	08:40-10:10		JEANETTE DENNISSON																																																																															
15	2/1	08:40-10:10		JEANETTE DENNISSON																																																																															
授業方法 Skills Instruction and Practice																																																																																			
授業内容 1週目: Orientation 2-11 週目: Skills Instruction and Continuous Assessment 12-15 週目: Review and/or Final Assessment																																																																																			

Detailed class contents will be determined based on the needs of the class and are subject to change.
<p>成績評価の方法</p> <p>評価: Participation: 30% assignments: 30% discussion tests: 40%</p> <p>再評価: 有(再評価方法「英語」としての学年末課題)</p> <p>・上記のパーセンテージは、「英語 a」についての評価方法です。「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績を合わせて最終的な成績を算出します。</p> <p>以下の 3 点を満たすことが、B 評価(70 点以上)の必要条件として要求される。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 授業内で課される課題や試験等について、原則としてすべて、期限内に所定の形式で受験または提出すること。 2. 教員から返却される添削ファイルおよびコメントを受けて自らの英語の問題点を客観的に把握し、修正してより良いものに仕上げる事。 3. 授業および添削・コメントから得た知見を次回以降の課題作成、またはクラス内活動に参加の際に活かすこと。 <p>なお、英語分野では学期の折り返し地点で全学生に中間成績を通知している。</p>
<p>成績評価の基準</p> <p>「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による</p>
<p>準備学習等についての具体的な指示</p> <p>Attendance and participation are both essential.</p>
<p>試験の受験資格</p> <p>「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績を合わせて最終的な成績を算出します。4 クラスすべての履修は必須です。再評価の対象となるのは、英語 abcd の各クラスに原則として3分の2以上出席した者です。ただし、4クラスのうち3クラス以上で 60 点未満の成績がついた者には原則として再評価の機会を与えません。</p>
<p>教科書</p> <p>We will use articles from the internet.</p>
<p>参考書</p> <p>Sciencedaily and other reliable news websites will be used as material.</p>
<p>履修上の注意事項</p> <p>出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先させます。</p>
<p>備考</p> <p>PC、タブレットなどが必要です。</p> <p>You will need to access the course website or other online teaching materials during each lesson. Therefore, you must have these open for each lesson.</p> <p>Appropriate Use of Technology Policy: During the lesson you are encouraged to use any form of technology (cell phone, laptop, tablet, etc.) that will a) enhance your learning experience and b) will not negatively affect the learning experience of other students.</p> <p>What is NOT acceptable is the use of technology during class for activities that are unrelated to the course. This includes shopping, watching sports, checking Facebook, emailing anyone, talking, texting, tweeting, playing games, watching movies or TV not assigned in class, or doing work that is due in another class.</p>
<p>参照ホームページ</p> <p>「Google ドライブ」を使用する。「Google アカウント」が必要です。</p>
<p>連絡先(メールアドレス)</p> <p>dennisson.las@tmd.ac.jp</p>
<p>オフィスアワー</p> <p>Wednesday/Thursday 12:30 – 13:00 PM 管理研究棟3階</p>

時間割番号	000091																																																																																						
科目名	英語 c	科目ID	LA-115203-Z																																																																																				
担当教員	LITTEN CHRISTOPHER T[LITTEN Christopher T]																																																																																						
開講時期	2022 年度後期	対象年次	1																																																																																				
実務経験のある教員による授業																																																																																							
<p>・曜日・時間: 木曜1限</p> <p>・対象: 医学科・歯学科</p> <p>・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):</p> <p>別表3-1)</p> <p>別表3-4)</p> <p>別表4-5)</p>																																																																																							
<p>授業の目的、概要等</p> <p>Students will engage in a range of conversation activities (e.g. in pairs or small groups) and in speech/presentation activities to develop better English listening and speaking skills. New vocabulary will also be introduced. Particular grammatical structures will occasionally be targeted. Readings will be used in particular classes as bases for discussion.</p> <p>The primary goals of this course are to improve English speaking and listening skills.</p>																																																																																							
<p>授業の到達目標</p> <p>To develop the ability to engage in extended discussions in English, without long pauses, on a range of topics without using dictionaries.</p> <p>To improve the ability to speak in front of others using English.</p> <p>以下の3点を満たすことが、B評価(70点以上)の必要条件として要求される。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 授業内で課される課題や試験等について、原則としてすべて、期限内に所定の形式で受験または提出すること。 2. 教員から返却される添削ファイルおよびコメントを受けて自らの英語の問題点を客観的に把握し、修正してより良いものに仕上げる。 3. 授業および添削・コメントから得た知見を次回以降の課題作成、またはクラス内活動に参加の際に活かすこと。 <p>なお、英語分野では学期の折り返し地点で全学生に中間成績を通知している。</p>																																																																																							
<p>授業計画</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>講義室</th> <th>授業題目</th> <th>授業内容</th> <th>担当教員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>10/6</td> <td>09:10-10:40</td> <td></td> <td>Guidance</td> <td>Course Introduction</td> <td>LITTEN CHRISTOPHER T</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>10/13</td> <td>09:10-10:40</td> <td></td> <td>Topic 1</td> <td>Listening and Speaking Activities</td> <td>LITTEN CHRISTOPHER T</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>10/20</td> <td>09:10-10:40</td> <td></td> <td>Topic 2</td> <td>Listening and Speaking Activities</td> <td>LITTEN CHRISTOPHER T</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>10/27</td> <td>09:10-10:40</td> <td></td> <td>Topic 3</td> <td>Listening and Speaking Activities</td> <td>LITTEN CHRISTOPHER T</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>11/10</td> <td>09:10-10:40</td> <td></td> <td>Topic 4</td> <td>Listening and Speaking Activities</td> <td>LITTEN CHRISTOPHER T</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>11/17</td> <td>09:10-10:40</td> <td></td> <td>Topic 5</td> <td>Listening and Speaking Activities</td> <td>LITTEN CHRISTOPHER T</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>11/24</td> <td>09:10-10:40</td> <td></td> <td>Topic 6</td> <td>Listening and Speaking Activities</td> <td>LITTEN CHRISTOPHER T</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>12/1</td> <td>09:10-10:40</td> <td></td> <td>Topic 7</td> <td>Listening and Speaking Activities</td> <td>LITTEN CHRISTOPHER T</td> </tr> <tr> <td>9</td> <td>12/8</td> <td>09:10-10:40</td> <td></td> <td>Topic 8</td> <td>Listening and Speaking Activities</td> <td>LITTEN CHRISTOPHER T</td> </tr> <tr> <td>10</td> <td>12/15</td> <td>09:10-10:40</td> <td></td> <td>Topic 9</td> <td>Listening and Speaking Activities</td> <td>LITTEN CHRISTOPHER T</td> </tr> <tr> <td>11</td> <td>12/22</td> <td>09:10-10:40</td> <td></td> <td>Topic 10</td> <td>Listening and Speaking Activities</td> <td>LITTEN CHRISTOPHER T</td> </tr> </tbody> </table>				回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	1	10/6	09:10-10:40		Guidance	Course Introduction	LITTEN CHRISTOPHER T	2	10/13	09:10-10:40		Topic 1	Listening and Speaking Activities	LITTEN CHRISTOPHER T	3	10/20	09:10-10:40		Topic 2	Listening and Speaking Activities	LITTEN CHRISTOPHER T	4	10/27	09:10-10:40		Topic 3	Listening and Speaking Activities	LITTEN CHRISTOPHER T	5	11/10	09:10-10:40		Topic 4	Listening and Speaking Activities	LITTEN CHRISTOPHER T	6	11/17	09:10-10:40		Topic 5	Listening and Speaking Activities	LITTEN CHRISTOPHER T	7	11/24	09:10-10:40		Topic 6	Listening and Speaking Activities	LITTEN CHRISTOPHER T	8	12/1	09:10-10:40		Topic 7	Listening and Speaking Activities	LITTEN CHRISTOPHER T	9	12/8	09:10-10:40		Topic 8	Listening and Speaking Activities	LITTEN CHRISTOPHER T	10	12/15	09:10-10:40		Topic 9	Listening and Speaking Activities	LITTEN CHRISTOPHER T	11	12/22	09:10-10:40		Topic 10	Listening and Speaking Activities	LITTEN CHRISTOPHER T
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員																																																																																	
1	10/6	09:10-10:40		Guidance	Course Introduction	LITTEN CHRISTOPHER T																																																																																	
2	10/13	09:10-10:40		Topic 1	Listening and Speaking Activities	LITTEN CHRISTOPHER T																																																																																	
3	10/20	09:10-10:40		Topic 2	Listening and Speaking Activities	LITTEN CHRISTOPHER T																																																																																	
4	10/27	09:10-10:40		Topic 3	Listening and Speaking Activities	LITTEN CHRISTOPHER T																																																																																	
5	11/10	09:10-10:40		Topic 4	Listening and Speaking Activities	LITTEN CHRISTOPHER T																																																																																	
6	11/17	09:10-10:40		Topic 5	Listening and Speaking Activities	LITTEN CHRISTOPHER T																																																																																	
7	11/24	09:10-10:40		Topic 6	Listening and Speaking Activities	LITTEN CHRISTOPHER T																																																																																	
8	12/1	09:10-10:40		Topic 7	Listening and Speaking Activities	LITTEN CHRISTOPHER T																																																																																	
9	12/8	09:10-10:40		Topic 8	Listening and Speaking Activities	LITTEN CHRISTOPHER T																																																																																	
10	12/15	09:10-10:40		Topic 9	Listening and Speaking Activities	LITTEN CHRISTOPHER T																																																																																	
11	12/22	09:10-10:40		Topic 10	Listening and Speaking Activities	LITTEN CHRISTOPHER T																																																																																	

12	1/5	09:10-10:40		Topic 11	Listening and Speaking Activities	LITTEN CHRISTOPHER T
13	1/12	09:10-10:40		Topic 12	Listening and Speaking Activities	LITTEN CHRISTOPHER T
14	1/19	09:10-10:40		Review	Listening and Speaking Activities	LITTEN CHRISTOPHER T
15	1/26	09:10-10:40		Review	Listening and Speaking Activities	LITTEN CHRISTOPHER T

授業方法

Skills Instruction and Practice

授業内容

Week 1: Orientation

Weeks 2-13: Skills Instruction and Continuous Assessment

Week 14 and 15: Review and/or Final Assessment

Detailed class contents will be determined based on the needs of the class and are subject to change.

成績評価の方法

評価: Participation - 25% · Activities - 50% · Final presentation - 25%

再評価: 有(再評価方法 「英語」としての学年末課題)

・上記のパーセンテージは「英語 c」についての評価方法です。「英語」は abcd の4クラスの成績を合わせて最終的な成績を算出します。

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習等についての具体的な指示

Attendance and participation are both essential.

試験の受験資格

「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績を合わせて最終的な成績を算出します。4 クラスすべての履修は必須です。再評価の対象となるのは、英語 abcd の各クラスに原則として3分の2以上出席した者です。ただし、4クラスのうち3クラス以上で 60 点未満の成績がついた者には原則として再評価の機会を与えません。

履修上の注意事項

出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先させます。

参照ホームページ

Visit <http://www.tmd.ac.jp/artsci/engl/> for more information about instructors.

時間割番号	000092																																																																																						
科目名	英語 c	科目ID	LA-115203-Z																																																																																				
担当教員	MIYA MARUTSUKA[Miya Marutsuka]																																																																																						
開講時期	2022 年度後期	対象年次	1																																																																																				
実務経験のある教員による授業																																																																																							
<p>・曜日・時間:水曜1限</p> <p>・対象学科:保健衛生学科 口腔保健学科</p> <p>・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):</p> <p>別表3-1)</p> <p>別表3-4)</p> <p>別表4-5)</p>																																																																																							
<p>授業の目的、概要等</p> <p>Students will engage in a range of conversation activities (e.g. in pairs or small groups) and in speech/presentation activities to develop better English listening and speaking skills. New vocabulary will also be introduced. Particular grammatical structures will occasionally be targeted. Readings will be used in particular classes as bases for discussion.</p> <p>The primary goals of this course are to improve English speaking and listening skills.</p>																																																																																							
<p>授業の到達目標</p> <p>To develop the ability to engage in extended discussions in English, without long pauses, on a range of topics without using dictionaries.</p> <p>To improve the ability to speak in front of others using English.</p> <p>以下の3点を満たすことが、B評価(70点以上)の必要条件として要求される。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 授業内で課される課題や試験等について、原則としてすべて、期限内に所定の形式で受験または提出すること。 2. 教員から返却される添削ファイルおよびコメントを受けて自らの英語の問題点を客観的に把握し、修正してより良いものに仕上げること。 3. 授業および添削・コメントから得た知見を次回以降の課題作成、またはクラス内活動に参加の際に活かすこと。 <p>なお、英語分野では学期の折り返し地点で全学生に中間成績を通知している。</p>																																																																																							
<p>授業計画</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>講義室</th> <th>授業題目</th> <th>授業内容</th> <th>担当教員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>10/5</td> <td>08:40-10:10</td> <td></td> <td>Orientation</td> <td>Course Introduction</td> <td>MIYA MARUTSUKA</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>10/19</td> <td>08:40-10:10</td> <td></td> <td>Topic 1</td> <td>Discussion 1</td> <td>MIYA MARUTSUKA</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>10/26</td> <td>08:40-10:10</td> <td></td> <td>Topic 2</td> <td>Discussion 2</td> <td>MIYA MARUTSUKA</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>11/2</td> <td>08:40-10:10</td> <td></td> <td>Topic 3</td> <td>Discussion 3</td> <td>MIYA MARUTSUKA</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>11/9</td> <td>08:40-10:10</td> <td></td> <td>Activities</td> <td>Group Assignment</td> <td>MIYA MARUTSUKA</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>11/16</td> <td>08:40-10:10</td> <td></td> <td>Activities</td> <td>Group Assignment</td> <td>MIYA MARUTSUKA</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>11/30</td> <td>08:40-10:10</td> <td></td> <td>Topic 4</td> <td>Discussion 4</td> <td>MIYA MARUTSUKA</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>12/7</td> <td>08:40-10:10</td> <td></td> <td>Topic 5</td> <td>Discussion 5</td> <td>MIYA MARUTSUKA</td> </tr> <tr> <td>9</td> <td>12/14</td> <td>08:40-10:10</td> <td></td> <td>Activities</td> <td>Group Assignment</td> <td>MIYA MARUTSUKA</td> </tr> <tr> <td>10</td> <td>12/21</td> <td>08:40-10:10</td> <td></td> <td>Activities</td> <td>Group Assignment</td> <td>MIYA MARUTSUKA</td> </tr> <tr> <td>11</td> <td>1/4</td> <td>08:40-10:10</td> <td></td> <td>Topic 6</td> <td>Discussion 6</td> <td>MIYA MARUTSUKA</td> </tr> </tbody> </table>				回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	1	10/5	08:40-10:10		Orientation	Course Introduction	MIYA MARUTSUKA	2	10/19	08:40-10:10		Topic 1	Discussion 1	MIYA MARUTSUKA	3	10/26	08:40-10:10		Topic 2	Discussion 2	MIYA MARUTSUKA	4	11/2	08:40-10:10		Topic 3	Discussion 3	MIYA MARUTSUKA	5	11/9	08:40-10:10		Activities	Group Assignment	MIYA MARUTSUKA	6	11/16	08:40-10:10		Activities	Group Assignment	MIYA MARUTSUKA	7	11/30	08:40-10:10		Topic 4	Discussion 4	MIYA MARUTSUKA	8	12/7	08:40-10:10		Topic 5	Discussion 5	MIYA MARUTSUKA	9	12/14	08:40-10:10		Activities	Group Assignment	MIYA MARUTSUKA	10	12/21	08:40-10:10		Activities	Group Assignment	MIYA MARUTSUKA	11	1/4	08:40-10:10		Topic 6	Discussion 6	MIYA MARUTSUKA
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員																																																																																	
1	10/5	08:40-10:10		Orientation	Course Introduction	MIYA MARUTSUKA																																																																																	
2	10/19	08:40-10:10		Topic 1	Discussion 1	MIYA MARUTSUKA																																																																																	
3	10/26	08:40-10:10		Topic 2	Discussion 2	MIYA MARUTSUKA																																																																																	
4	11/2	08:40-10:10		Topic 3	Discussion 3	MIYA MARUTSUKA																																																																																	
5	11/9	08:40-10:10		Activities	Group Assignment	MIYA MARUTSUKA																																																																																	
6	11/16	08:40-10:10		Activities	Group Assignment	MIYA MARUTSUKA																																																																																	
7	11/30	08:40-10:10		Topic 4	Discussion 4	MIYA MARUTSUKA																																																																																	
8	12/7	08:40-10:10		Topic 5	Discussion 5	MIYA MARUTSUKA																																																																																	
9	12/14	08:40-10:10		Activities	Group Assignment	MIYA MARUTSUKA																																																																																	
10	12/21	08:40-10:10		Activities	Group Assignment	MIYA MARUTSUKA																																																																																	
11	1/4	08:40-10:10		Topic 6	Discussion 6	MIYA MARUTSUKA																																																																																	

12	1/11	08:40-10:10		Activities	Group Assignment	MIYA MARUTSUKA
13	1/18	08:40-10:10		Activities	Group Assignment	MIYA MARUTSUKA
14	1/25	08:40-10:10		Activities	Group Assignment	MIYA MARUTSUKA
15	2/1	08:40-10:10		Topic 7	Discussion 7	MIYA MARUTSUKA
授業方法						
Skills Instruction and Practice						
授業内容						
Week 1: Orientation						
Weeks 2-13: Skills Instruction and Continuous Assessment						
Week 14 and 15: Review and/or Final Assessment						
Detailed class contents will be determined based on the needs of the class and are subject to change.						
成績評価の方法						
評価: Participation and Homework : 30%, Quizzes : 25%, Group Assignments : 20%, Final Discussion Test : 25%						
再評価: 有(再評価方法「英語」としての学年末課題)						
・上記のパーセンテージは、「英語c」についての評価方法です。「英語」はabcdの4クラスの成績を合わせて最終的な成績を算出します。						
成績評価の基準						
「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による						
準備学習等についての具体的な指示						
Attendance and participation are both essential.						
試験の受験資格						
「英語」は a,b,c,d の4クラスの成績を合わせて最終的な成績を算出します。4クラスすべての履修は必須です。再評価の対象となるのは、英語abcdの各クラスに原則として3分の2以上出席した者です。ただし、4クラスのうち3クラス以上で60点未満の成績がついた者には原則として再評価の機会を与えません。						
履修上の注意事項						
出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先させます。						
参照ホームページ						
Visit http://www.tmd.ac.jp/artsci/engl/ for more information about instructors.						

時間割番号	000093																																																																																						
科目名	英語 c	科目ID	LA-115203-Z																																																																																				
担当教員	CORLISS JONATHAN[Corliss Jonathan]																																																																																						
開講時期	2022 年度後期	対象年次	1																																																																																				
実務経験のある教員による授業																																																																																							
<p>・曜日・時間:水曜1限</p> <p>・対象学科:保健衛生学科 口腔保健学科</p> <p>・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):</p> <p>別表3-1)</p> <p>別表3-4)</p> <p>別表4-5)</p>																																																																																							
<p>授業の目的、概要等</p> <p>Students will engage in a range of conversation activities (e.g. in pairs or small groups) and in speech/presentation activities to develop better English listening and speaking skills. New vocabulary will also be introduced. Particular grammatical structures will occasionally be targeted. Readings will be used in particular classes as bases for discussion.</p> <p>The primary goals of this course are to improve English speaking and listening skills.</p>																																																																																							
<p>授業の到達目標</p> <p>To develop the ability to engage in extended discussions in English, without long pauses, on a range of topics without using dictionaries.</p> <p>To improve the ability to speak in front of others using English.</p> <p>以下の3点を満たすことが、B評価(70点以上)の必要条件として要求される。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 授業内で課される課題や試験等について、原則としてすべて、期限内に所定の形式で受験または提出すること。 2. 教員から返却される添削ファイルおよびコメントを受けて自らの英語の問題点を客観的に把握し、修正してより良いものに仕上げる。 3. 授業および添削・コメントから得た知見を次回以降の課題作成、またはクラス内活動に参加の際に活かすこと。 <p>なお、英語分野では学期の折り返し地点で全学生に中間成績を通知している。</p>																																																																																							
<p>授業計画</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>講義室</th> <th>授業題目</th> <th>授業内容</th> <th>担当教員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>10/5</td> <td>08:40-10:10</td> <td></td> <td>Guidance</td> <td>Course Introduction</td> <td>CORLISS JONATHAN</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>10/19</td> <td>08:40-10:10</td> <td></td> <td>Topic 1</td> <td>Listening and Speaking Activities</td> <td>CORLISS JONATHAN</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>10/26</td> <td>08:40-10:10</td> <td></td> <td>Topic 2</td> <td>Listening and Speaking Activities</td> <td>CORLISS JONATHAN</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>11/2</td> <td>08:40-10:10</td> <td></td> <td>Topic 3</td> <td>Listening and Speaking Activities</td> <td>CORLISS JONATHAN</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>11/9</td> <td>08:40-10:10</td> <td></td> <td>Topic 4</td> <td>Listening and Speaking Activities</td> <td>CORLISS JONATHAN</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>11/16</td> <td>08:40-10:10</td> <td></td> <td>Topic 5</td> <td>Listening and Speaking Activities</td> <td>CORLISS JONATHAN</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>11/30</td> <td>08:40-10:10</td> <td></td> <td>Topic 6</td> <td>Listening and Speaking Activities</td> <td>CORLISS JONATHAN</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>12/7</td> <td>08:40-10:10</td> <td></td> <td>Topic 7</td> <td>Listening and Speaking Activities</td> <td>CORLISS JONATHAN</td> </tr> <tr> <td>9</td> <td>12/14</td> <td>08:40-10:10</td> <td></td> <td>Topic 8</td> <td>Listening and Speaking Activities</td> <td>CORLISS JONATHAN</td> </tr> <tr> <td>10</td> <td>12/21</td> <td>08:40-10:10</td> <td></td> <td>Topic 9</td> <td>Listening and Speaking Activities</td> <td>CORLISS JONATHAN</td> </tr> <tr> <td>11</td> <td>1/4</td> <td>08:40-10:10</td> <td></td> <td>Topic 10</td> <td>Listening and Speaking Activities</td> <td>CORLISS JONATHAN</td> </tr> </tbody> </table>				回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	1	10/5	08:40-10:10		Guidance	Course Introduction	CORLISS JONATHAN	2	10/19	08:40-10:10		Topic 1	Listening and Speaking Activities	CORLISS JONATHAN	3	10/26	08:40-10:10		Topic 2	Listening and Speaking Activities	CORLISS JONATHAN	4	11/2	08:40-10:10		Topic 3	Listening and Speaking Activities	CORLISS JONATHAN	5	11/9	08:40-10:10		Topic 4	Listening and Speaking Activities	CORLISS JONATHAN	6	11/16	08:40-10:10		Topic 5	Listening and Speaking Activities	CORLISS JONATHAN	7	11/30	08:40-10:10		Topic 6	Listening and Speaking Activities	CORLISS JONATHAN	8	12/7	08:40-10:10		Topic 7	Listening and Speaking Activities	CORLISS JONATHAN	9	12/14	08:40-10:10		Topic 8	Listening and Speaking Activities	CORLISS JONATHAN	10	12/21	08:40-10:10		Topic 9	Listening and Speaking Activities	CORLISS JONATHAN	11	1/4	08:40-10:10		Topic 10	Listening and Speaking Activities	CORLISS JONATHAN
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員																																																																																	
1	10/5	08:40-10:10		Guidance	Course Introduction	CORLISS JONATHAN																																																																																	
2	10/19	08:40-10:10		Topic 1	Listening and Speaking Activities	CORLISS JONATHAN																																																																																	
3	10/26	08:40-10:10		Topic 2	Listening and Speaking Activities	CORLISS JONATHAN																																																																																	
4	11/2	08:40-10:10		Topic 3	Listening and Speaking Activities	CORLISS JONATHAN																																																																																	
5	11/9	08:40-10:10		Topic 4	Listening and Speaking Activities	CORLISS JONATHAN																																																																																	
6	11/16	08:40-10:10		Topic 5	Listening and Speaking Activities	CORLISS JONATHAN																																																																																	
7	11/30	08:40-10:10		Topic 6	Listening and Speaking Activities	CORLISS JONATHAN																																																																																	
8	12/7	08:40-10:10		Topic 7	Listening and Speaking Activities	CORLISS JONATHAN																																																																																	
9	12/14	08:40-10:10		Topic 8	Listening and Speaking Activities	CORLISS JONATHAN																																																																																	
10	12/21	08:40-10:10		Topic 9	Listening and Speaking Activities	CORLISS JONATHAN																																																																																	
11	1/4	08:40-10:10		Topic 10	Listening and Speaking Activities	CORLISS JONATHAN																																																																																	

12	1/11	08:40-10:10		Topic 11	Listening and Speaking Activities	CORLISS JONATHAN
13	1/18	08:40-10:10		Topic 12	Listening and Speaking Activities	CORLISS JONATHAN
14	1/25	08:40-10:10		Topic 13	Listening and Speaking Activities	CORLISS JONATHAN
15	2/1	08:40-10:10		Review	Listening and Speaking Activities	CORLISS JONATHAN
授業方法						
Skills Instruction and Practice						
授業内容						
Week 1: Orientation						
Weeks 2-13: Skills Instruction and Continuous Assessment						
Week 14 and 15: Review and/or Final Assessment						
Detailed class contents will be determined based on the needs of the class and are subject to change.						
成績評価の方法						
評価: Homework 10% Participation 40% Discussion Tests 30% Final Presentation 20%						
再評価: 有(再評価方法「英語」としての学年末課題)						
・上記のパーセンテージは、「英語c」についての評価方法です。「英語」はabcdの4クラスの成績を合わせて最終的な成績を算出します。						
成績評価の基準						
「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による						
準備学習等についての具体的な指示						
Attendance and participation are both essential.						
試験の受験資格						
「英語」は a,b,c,d の4クラスの成績を合わせて最終的な成績を算出します。4クラスすべての履修は必須です。再評価の対象となるのは、英語abcdの各クラスに原則として3分の2以上出席した者です。ただし、4クラスのうち3クラス以上で60点未満の成績がついた者には原則として再評価の機会を与えません。						
履修上の注意事項						
出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先させます。						
参照ホームページ						
Visit http://www.tmd.ac.jp/artsci/engl/ for more information about instructors.						

時間割番号	000094																																																			
科目名	英語 c	科目ID	LA-115203-Z																																																	
担当教員	MIYA MARUTSUKA[Miya Marutsuka]																																																			
開講時期	2022 年度後期	対象年次	1																																																	
実務経験のある教員による授業																																																				
<p>・曜日・時間:水曜2限</p> <p>・対象学科:医学科 歯学科</p> <p>・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):</p> <p>別表3-1)</p> <p>別表3-4)</p> <p>別表4-5)</p>																																																				
<p>授業の目的、概要等</p> <p>Students will engage in a range of conversation activities (e.g., in pairs or small groups) and in speech/presentation activities to develop better English listening and speaking skills. New vocabulary will also be introduced. Particular grammatical structures will occasionally be targeted. Readings will be used in particular classes as bases for discussion.</p> <p>The primary goals of this course are to improve English speaking and listening skills.</p>																																																				
<p>授業の到達目標</p> <p>To develop the ability to engage in extended discussions in English, without long pauses, on a range of topics without using dictionaries.</p> <p>To improve the ability to speak in front of others using English.</p> <p>以下の3点を満たすことが、B評価(70点以上)の必要条件として要求される。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 授業内で課される課題や試験等について、原則としてすべて、期限内に所定の形式で受験または提出すること。 2. 教員から返却される添削ファイルおよびコメントを受けて自らの英語の問題点を客観的に把握し、修正してより良いものに仕上げる。 3. 授業および添削・コメントから得た知見を次回以降の課題作成、またはクラス内活動に参加の際に活かすこと。 <p>なお、英語分野では学期の折り返し地点で全学生に中間成績を通知している。</p>																																																				
<p>授業計画</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>講義室</th> <th>授業題目</th> <th>授業内容</th> <th>担当教員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>10/5</td> <td>10:20-11:50</td> <td>遠隔授業 (同期型)</td> <td>Orientation</td> <td>Course Introduction</td> <td>MIYA MARUTSUKA</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>10/19</td> <td>10:20-11:50</td> <td>遠隔授業 (同期型)</td> <td>Topic 1</td> <td>Discussion 1</td> <td>MIYA MARUTSUKA</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>10/26</td> <td>10:20-11:50</td> <td>遠隔授業 (同期型)</td> <td>Topic 2</td> <td>Discussion 2</td> <td>MIYA MARUTSUKA</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>11/2</td> <td>10:20-11:50</td> <td>遠隔授業 (同期型)</td> <td>Topic 3</td> <td>Discussion 3</td> <td>MIYA MARUTSUKA</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>11/9</td> <td>10:20-11:50</td> <td>遠隔授業 (同期型)</td> <td>Activities</td> <td>Group Assignment</td> <td>MIYA MARUTSUKA</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>11/16</td> <td>10:20-11:50</td> <td>遠隔授業 (同期型)</td> <td>Activities</td> <td>Group Assignment</td> <td>MIYA MARUTSUKA</td> </tr> </tbody> </table>				回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	1	10/5	10:20-11:50	遠隔授業 (同期型)	Orientation	Course Introduction	MIYA MARUTSUKA	2	10/19	10:20-11:50	遠隔授業 (同期型)	Topic 1	Discussion 1	MIYA MARUTSUKA	3	10/26	10:20-11:50	遠隔授業 (同期型)	Topic 2	Discussion 2	MIYA MARUTSUKA	4	11/2	10:20-11:50	遠隔授業 (同期型)	Topic 3	Discussion 3	MIYA MARUTSUKA	5	11/9	10:20-11:50	遠隔授業 (同期型)	Activities	Group Assignment	MIYA MARUTSUKA	6	11/16	10:20-11:50	遠隔授業 (同期型)	Activities	Group Assignment	MIYA MARUTSUKA
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員																																														
1	10/5	10:20-11:50	遠隔授業 (同期型)	Orientation	Course Introduction	MIYA MARUTSUKA																																														
2	10/19	10:20-11:50	遠隔授業 (同期型)	Topic 1	Discussion 1	MIYA MARUTSUKA																																														
3	10/26	10:20-11:50	遠隔授業 (同期型)	Topic 2	Discussion 2	MIYA MARUTSUKA																																														
4	11/2	10:20-11:50	遠隔授業 (同期型)	Topic 3	Discussion 3	MIYA MARUTSUKA																																														
5	11/9	10:20-11:50	遠隔授業 (同期型)	Activities	Group Assignment	MIYA MARUTSUKA																																														
6	11/16	10:20-11:50	遠隔授業 (同期型)	Activities	Group Assignment	MIYA MARUTSUKA																																														

7	11/30	10:20-11:50	遠隔授業 (同期型)	Topic 4	Discussion 4	MIYA MARUTSUKA
8	12/7	10:20-11:50	遠隔授業 (同期型)	Topic 5	Discussion 5	MIYA MARUTSUKA
9	12/14	10:20-11:50	遠隔授業 (同期型)	Activities	Group Assignment	MIYA MARUTSUKA
10	12/21	10:20-11:50	遠隔授業 (同期型)	Activities	Group Assignment	MIYA MARUTSUKA
11	1/4	10:20-11:50	遠隔授業 (同期型)	Topic 6	Discussion 6	MIYA MARUTSUKA
12	1/11	10:20-11:50	遠隔授業 (同期型)	Activities	Group Assignment	MIYA MARUTSUKA
13	1/18	10:20-11:50	遠隔授業 (同期型)	Activities	Group Assignment	MIYA MARUTSUKA
14	1/25	10:20-11:50	遠隔授業 (同期型)	Activities	Group Assignment	MIYA MARUTSUKA
15	2/1	10:20-11:50	遠隔授業 (同期型)	Topic 7	Discussion 7	MIYA MARUTSUKA

授業方法

Skills Instruction and Practice

授業内容

Week 1: Orientation

Weeks 2-13: Skills Instruction and Continuous Assessment

Week 14 and 15: Review and/or Final Assessment

Detailed class contents will be determined based on the needs of the class and are subject to change.

成績評価の方法

評価: Participation and Homework: 30%, Quizzes: 25%, Group Assignments: 20%, Final Discussion Test: 25%

再評価: 有(再評価方法「英語」としての学年末課題)

・上記のパーセンテージは、「英語c」についての評価方法です。「英語」はabcdの4クラスの成績を合わせて最終的な成績を算出します。

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習等についての具体的な指示

Attendance and participation are both essential.

試験の受験資格

「英語」は a,b,c,d の4クラスの成績を合わせて最終的な成績を算出します。4クラスすべての履修は必須です。再評価の対象となるのは、英語abcdの各クラスに原則として3分の2以上出席した者です。ただし、4クラスのうち3クラス以上で60点未満の成績がついた者には原則として再評価の機会を与えません。

履修上の注意事項

出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先させます。

参照ホームページ

Visit <http://www.tmd.ac.jp/artsci/eng/> for more information about instructors.

時間割番号	000095																																																			
科目名	英語 c	科目ID	LA-115203-Z																																																	
担当教員	CORLISS JONATHAN[Corliss Jonathan]																																																			
開講時期	2022 年度後期	対象年次	1																																																	
実務経験のある教員による授業																																																				
<p>・曜日・時間:水曜2限</p> <p>・対象学科:医学科 歯学科</p> <p>・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):</p> <p>別表3-1)</p> <p>別表3-4)</p> <p>別表4-5)</p>																																																				
<p>授業の目的、概要等</p> <p>Students will engage in a range of conversation activities (e.g., in pairs or small groups) and in speech/presentation activities to develop better English listening and speaking skills. New vocabulary will also be introduced. Particular grammatical structures will occasionally be targeted. Readings will be used in particular classes as bases for discussion.</p> <p>The primary goals of this course are to improve English speaking and listening skills.</p>																																																				
<p>授業の到達目標</p> <p>To develop the ability to engage in extended discussions in English, without long pauses, on a range of topics without using dictionaries.</p> <p>To improve the ability to speak in front of others using English.</p> <p>以下の3点を満たすことが、B評価(70点以上)の必要条件として要求される。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 授業内で課される課題や試験等について、原則としてすべて、期限内に所定の形式で受験または提出すること。 2. 教員から返却される添削ファイルおよびコメントを受けて自らの英語の問題点を客観的に把握し、修正してより良いものに仕上げること。 3. 授業および添削・コメントから得た知見を次回以降の課題作成、またはクラス内活動に参加の際に活かすこと。 <p>なお、英語分野では学期の折り返し地点で全学生に中間成績を通知している。</p>																																																				
<p>授業計画</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>講義室</th> <th>授業題目</th> <th>授業内容</th> <th>担当教員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>10/5</td> <td>10:20-11:50</td> <td>遠隔授業 (同期型)</td> <td>Guidance</td> <td>Course Introduction</td> <td>CORLISS JONATHAN</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>10/19</td> <td>10:20-11:50</td> <td>遠隔授業 (同期型)</td> <td>Topic 1</td> <td>Listening and Speaking Activities</td> <td>CORLISS JONATHAN</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>10/26</td> <td>10:20-11:50</td> <td>遠隔授業 (同期型)</td> <td>Topic 2</td> <td>Listening and Speaking Activities</td> <td>CORLISS JONATHAN</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>11/2</td> <td>10:20-11:50</td> <td>遠隔授業 (同期型)</td> <td>Topic 3</td> <td>Listening and Speaking Activities</td> <td>CORLISS JONATHAN</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>11/9</td> <td>10:20-11:50</td> <td>遠隔授業 (同期型)</td> <td>Topic 4</td> <td>Listening and Speaking Activities</td> <td>CORLISS JONATHAN</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>11/16</td> <td>10:20-11:50</td> <td>遠隔授業 (同期型)</td> <td>Topic 5</td> <td>Listening and Speaking Activities</td> <td>CORLISS JONATHAN</td> </tr> </tbody> </table>				回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	1	10/5	10:20-11:50	遠隔授業 (同期型)	Guidance	Course Introduction	CORLISS JONATHAN	2	10/19	10:20-11:50	遠隔授業 (同期型)	Topic 1	Listening and Speaking Activities	CORLISS JONATHAN	3	10/26	10:20-11:50	遠隔授業 (同期型)	Topic 2	Listening and Speaking Activities	CORLISS JONATHAN	4	11/2	10:20-11:50	遠隔授業 (同期型)	Topic 3	Listening and Speaking Activities	CORLISS JONATHAN	5	11/9	10:20-11:50	遠隔授業 (同期型)	Topic 4	Listening and Speaking Activities	CORLISS JONATHAN	6	11/16	10:20-11:50	遠隔授業 (同期型)	Topic 5	Listening and Speaking Activities	CORLISS JONATHAN
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員																																														
1	10/5	10:20-11:50	遠隔授業 (同期型)	Guidance	Course Introduction	CORLISS JONATHAN																																														
2	10/19	10:20-11:50	遠隔授業 (同期型)	Topic 1	Listening and Speaking Activities	CORLISS JONATHAN																																														
3	10/26	10:20-11:50	遠隔授業 (同期型)	Topic 2	Listening and Speaking Activities	CORLISS JONATHAN																																														
4	11/2	10:20-11:50	遠隔授業 (同期型)	Topic 3	Listening and Speaking Activities	CORLISS JONATHAN																																														
5	11/9	10:20-11:50	遠隔授業 (同期型)	Topic 4	Listening and Speaking Activities	CORLISS JONATHAN																																														
6	11/16	10:20-11:50	遠隔授業 (同期型)	Topic 5	Listening and Speaking Activities	CORLISS JONATHAN																																														

7	11/30	10:20-11:50	遠隔授業 (同期型)	Topic 6	Listening and Speaking Activities	CORLISS JONATHAN
8	12/7	10:20-11:50	遠隔授業 (同期型)	Topic 7	Listening and Speaking Activities	CORLISS JONATHAN
9	12/14	10:20-11:50	遠隔授業 (同期型)	Topic 8	Listening and Speaking Activities	CORLISS JONATHAN
10	12/21	10:20-11:50	遠隔授業 (同期型)	Topic 9	Listening and Speaking Activities	CORLISS JONATHAN
11	1/4	10:20-11:50	遠隔授業 (同期型)	Topic 10	Listening and Speaking Activities	CORLISS JONATHAN
12	1/11	10:20-11:50	遠隔授業 (同期型)	Topic 11	Listening and Speaking Activities	CORLISS JONATHAN
13	1/18	10:20-11:50	遠隔授業 (同期型)	Topic 12	Listening and Speaking Activities	CORLISS JONATHAN
14	1/25	10:20-11:50	遠隔授業 (同期型)	Topic 13	Listening and Speaking Activities	CORLISS JONATHAN
15	2/1	10:20-11:50	遠隔授業 (同期型)	Review	Listening and Speaking Activities	CORLISS JONATHAN

授業方法

Skills Instruction and Practice

授業内容

Week 1: Orientation

Weeks 2-13: Skills Instruction and Continuous Assessment

Week 14 and 15: Review and/or Final Assessment

Detailed class contents will be determined based on the needs of the class and are subject to change.

成績評価の方法

評価: Participation: 30%, Quizzes and Assignments: 40%, Final Speaking Test: 30%

再評価: 有(再評価方法「英語」としての学年末課題)

・上記のパーセンテージは、「英語c」についての評価方法です。「英語」はabcdの4クラスの成績を合わせて最終的な成績を算出します。

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習等についての具体的な指示

Attendance and participation are both essential.

試験の受験資格

「英語」は a,b,c,d の4クラスの成績を合わせて最終的な成績を算出します。4クラスすべての履修は必須です。再評価の対象となるのは、英語abcdの各クラスに原則として3分の2以上出席した者です。ただし、4クラスのうち3クラス以上で60点未満の成績がついた者には原則として再評価の機会を与えません。

履修上の注意事項

出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先させます。

参照ホームページ

Visit <http://www.tmd.ac.jp/artsci/eng/> for more information about instructors.

時間割番号	000096																																																																																						
科目名	英語 c	科目ID	LA-115203-Z																																																																																				
担当教員	MIYA MARUTSUKA[Miya Marutsuka]																																																																																						
開講時期	2022 年度後期	対象年次	1																																																																																				
実務経験のある教員による授業																																																																																							
<ul style="list-style-type: none"> ・曜日・時間: 木曜1限 ・対象: 医学科・歯学科 ・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): <ul style="list-style-type: none"> 別表3-1) 別表3-4) 別表4-5) 																																																																																							
授業の目的、概要等 Students will engage in a range of conversation activities (e.g. in pairs or small groups) and in speech/presentation activities to develop better English listening and speaking skills. New vocabulary will also be introduced. Particular grammatical structures will occasionally be targeted. Readings will be used in particular classes as bases for discussion. The primary goals of this course are to improve English speaking and listening skills.																																																																																							
授業の到達目標 To develop the ability to engage in extended discussions in English, without long pauses, on a range of topics without using dictionaries. To improve the ability to speak in front of others using English. 以下の3点を満たすことが、B評価(70点以上)の必要条件として要求される。 <ol style="list-style-type: none"> 1. 授業内で課される課題や試験等について、原則としてすべて、期限内に所定の形式で受験または提出すること。 2. 教員から返却される添削ファイルおよびコメントを受けて自らの英語の問題点を客観的に把握し、修正してより良いものに仕上げる 3. 授業および添削・コメントから得た知見を次回以降の課題作成、またはクラス内活動に参加の際に活かすこと。 なお、英語分野では学期の折り返し地点で全学生に中間成績を通知している。																																																																																							
授業計画 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>講義室</th> <th>授業題目</th> <th>授業内容</th> <th>担当教員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>10/6</td> <td>09:10-10:40</td> <td>4 番教室</td> <td>Orientation</td> <td>Course Introduction</td> <td>MIYA MARUTSUKA</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>10/13</td> <td>09:10-10:40</td> <td>4 番教室</td> <td>Topic 1</td> <td>Discussion 1</td> <td>MIYA MARUTSUKA</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>10/20</td> <td>09:10-10:40</td> <td>4 番教室</td> <td>Topic 2</td> <td>Discussion 2</td> <td>MIYA MARUTSUKA</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>10/27</td> <td>09:10-10:40</td> <td>4 番教室</td> <td>Topic 3</td> <td>Discussion 3</td> <td>MIYA MARUTSUKA</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>11/10</td> <td>09:10-10:40</td> <td>4 番教室</td> <td>Activities</td> <td>Group Assignment</td> <td>MIYA MARUTSUKA</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>11/17</td> <td>09:10-10:40</td> <td>4 番教室</td> <td>Activities</td> <td>Group Assignment</td> <td>MIYA MARUTSUKA</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>11/24</td> <td>09:10-10:40</td> <td>4 番教室</td> <td>Topic 4</td> <td>Discussion 4</td> <td>MIYA MARUTSUKA</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>12/1</td> <td>09:10-10:40</td> <td>4 番教室</td> <td>Topic 5</td> <td>Discussion 5</td> <td>MIYA MARUTSUKA</td> </tr> <tr> <td>9</td> <td>12/8</td> <td>09:10-10:40</td> <td>4 番教室</td> <td>Activities</td> <td>Group Assignment</td> <td>MIYA MARUTSUKA</td> </tr> <tr> <td>10</td> <td>12/15</td> <td>09:10-10:40</td> <td>4 番教室</td> <td>Activities</td> <td>Group Assignment</td> <td>MIYA MARUTSUKA</td> </tr> <tr> <td>11</td> <td>12/22</td> <td>09:10-10:40</td> <td>4 番教室</td> <td>Topic 6</td> <td>Discussion 6</td> <td>MIYA MARUTSUKA</td> </tr> </tbody> </table>				回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	1	10/6	09:10-10:40	4 番教室	Orientation	Course Introduction	MIYA MARUTSUKA	2	10/13	09:10-10:40	4 番教室	Topic 1	Discussion 1	MIYA MARUTSUKA	3	10/20	09:10-10:40	4 番教室	Topic 2	Discussion 2	MIYA MARUTSUKA	4	10/27	09:10-10:40	4 番教室	Topic 3	Discussion 3	MIYA MARUTSUKA	5	11/10	09:10-10:40	4 番教室	Activities	Group Assignment	MIYA MARUTSUKA	6	11/17	09:10-10:40	4 番教室	Activities	Group Assignment	MIYA MARUTSUKA	7	11/24	09:10-10:40	4 番教室	Topic 4	Discussion 4	MIYA MARUTSUKA	8	12/1	09:10-10:40	4 番教室	Topic 5	Discussion 5	MIYA MARUTSUKA	9	12/8	09:10-10:40	4 番教室	Activities	Group Assignment	MIYA MARUTSUKA	10	12/15	09:10-10:40	4 番教室	Activities	Group Assignment	MIYA MARUTSUKA	11	12/22	09:10-10:40	4 番教室	Topic 6	Discussion 6	MIYA MARUTSUKA
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員																																																																																	
1	10/6	09:10-10:40	4 番教室	Orientation	Course Introduction	MIYA MARUTSUKA																																																																																	
2	10/13	09:10-10:40	4 番教室	Topic 1	Discussion 1	MIYA MARUTSUKA																																																																																	
3	10/20	09:10-10:40	4 番教室	Topic 2	Discussion 2	MIYA MARUTSUKA																																																																																	
4	10/27	09:10-10:40	4 番教室	Topic 3	Discussion 3	MIYA MARUTSUKA																																																																																	
5	11/10	09:10-10:40	4 番教室	Activities	Group Assignment	MIYA MARUTSUKA																																																																																	
6	11/17	09:10-10:40	4 番教室	Activities	Group Assignment	MIYA MARUTSUKA																																																																																	
7	11/24	09:10-10:40	4 番教室	Topic 4	Discussion 4	MIYA MARUTSUKA																																																																																	
8	12/1	09:10-10:40	4 番教室	Topic 5	Discussion 5	MIYA MARUTSUKA																																																																																	
9	12/8	09:10-10:40	4 番教室	Activities	Group Assignment	MIYA MARUTSUKA																																																																																	
10	12/15	09:10-10:40	4 番教室	Activities	Group Assignment	MIYA MARUTSUKA																																																																																	
11	12/22	09:10-10:40	4 番教室	Topic 6	Discussion 6	MIYA MARUTSUKA																																																																																	

12	1/5	09:10-10:40	4 番教室	Activities	Group Assignment	MIYA MARUTSUKA
13	1/12	09:10-10:40	4 番教室	Activities	Group Assignment	MIYA MARUTSUKA
14	1/19	09:10-10:40	4 番教室	Activities	Group Assignment	MIYA MARUTSUKA
15	1/26	09:10-10:40	4 番教室	Topic 7	Discussion 7	MIYA MARUTSUKA
授業方法						
Skills Instruction and Practice						
授業内容						
Week 1: Orientation						
Weeks 2-13: Skills Instruction and Continuous Assessment						
Week 14 and 15: Review and/or Final Assessment						
Detailed class contents will be determined based on the needs of the class and are subject to change.						
成績評価の方法						
評価: Participation and Homework: 30%, Quizzes: 25%, Group Assignments: 20%, Final Discussion Test: 25%						
再評価: 有(再評価方法「英語」としての学年末課題)						
・上記のパーセンテージは、「英語 c」についての評価方法です。「英語」は abcd の4クラスの成績を合わせて最終的な成績を算出します。						
成績評価の基準						
「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による						
準備学習等についての具体的な指示						
Attendance and participation are both essential.						
試験の受験資格						
「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績を合わせて最終的な成績を算出します。4 クラスすべての履修は必須です。再評価の対象となるのは、英語 abcd の各クラスに原則として3分の2以上出席した者です。ただし、4クラスのうち3クラス以上で 60 点未満の成績がついた者には原則として再評価の機会を与えません。						
履修上の注意事項						
出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先させます。						
参照ホームページ						
Visit http://www.tmd.ac.jp/artsci/engl/ for more information about instructors.						

時間割番号	000097																																																																																						
科目名	英語 c	科目ID	LA-115203-Z																																																																																				
担当教員	野口 大斗[NOGUCHI Hiroto]																																																																																						
開講時期	2022 年度後期	対象年次	1																																																																																				
実務経験のある教員による授業																																																																																							
<p>・曜日・時間: 木曜2限</p> <p>・対象学科: 検査技術学・口腔保健工学</p> <p>・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):</p> <p>別表3-1)</p> <p>別表3-4)</p> <p>別表4-5)</p>																																																																																							
<p>授業の目的、概要等</p> <p>Students will engage in a range of conversation activities (e.g. in pairs or small groups) and in speech/presentation activities to develop better English listening and speaking skills. New vocabulary will also be introduced. Particular grammatical structures will occasionally be targeted. Readings will be used in particular classes as bases for discussion.</p> <p>The primary goals of this course are to improve English speaking and listening skills.</p>																																																																																							
<p>授業の到達目標</p> <p>To develop the ability to engage in extended discussions in English, without long pauses, on a range of topics without using dictionaries.</p> <p>To improve the ability to speak in front of others using English.</p> <p>以下の3点を満たすことが、B評価(70点以上)の必要条件として要求される。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 授業内で課される課題や試験等について、原則としてすべて、期限内に所定の形式で受験または提出すること。 2. 教員から返却される添削ファイルおよびコメントを受けて自らの英語の問題点を客観的に把握し、修正してより良いものに仕上げること。 3. 授業および添削・コメントから得た知見を次回以降の課題作成、またはクラス内活動に参加の際に活かすこと。 <p>なお、英語分野では学期の折り返し地点で全学生に中間成績を通知している。</p>																																																																																							
<p>授業計画</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>講義室</th> <th>授業題目</th> <th>授業内容</th> <th>担当教員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>10/6</td> <td>10:50-12:20</td> <td>5 番教室</td> <td>Guidance Course</td> <td>Introduction</td> <td>野口 大斗</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>10/13</td> <td>10:50-12:20</td> <td>5 番教室</td> <td>Topic 1</td> <td>Presentation Practice 1</td> <td>野口 大斗</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>10/20</td> <td>10:50-12:20</td> <td>5 番教室</td> <td>Topic 2</td> <td>Presentation Practice 2</td> <td>野口 大斗</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>10/27</td> <td>10:50-12:20</td> <td>5 番教室</td> <td>Topic 3</td> <td>Presentation Practice 3</td> <td>野口 大斗</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>11/10</td> <td>10:50-12:20</td> <td>5 番教室</td> <td>Topic 4</td> <td>Presentation Practice 4</td> <td>野口 大斗</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>11/17</td> <td>10:50-12:20</td> <td>5 番教室</td> <td>Topic 5</td> <td>Presentation Practice 5</td> <td>野口 大斗</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>11/24</td> <td>10:50-12:20</td> <td>5 番教室</td> <td>Topic 6</td> <td>Presentation Practice 6</td> <td>野口 大斗</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>12/1</td> <td>10:50-12:20</td> <td>5 番教室</td> <td>Topic 7</td> <td>Presentation Practice 7</td> <td>野口 大斗</td> </tr> <tr> <td>9</td> <td>12/8</td> <td>10:50-12:20</td> <td>5 番教室</td> <td>Topic 8</td> <td>Presentation Practice 8</td> <td>野口 大斗</td> </tr> <tr> <td>10</td> <td>12/15</td> <td>10:50-12:20</td> <td>5 番教室</td> <td>Topic 9</td> <td>Presentation Practice 9</td> <td>野口 大斗</td> </tr> <tr> <td>11</td> <td>12/22</td> <td>10:50-12:20</td> <td>5 番教室</td> <td>Topic 10</td> <td>Presentation Practice 10</td> <td>野口 大斗</td> </tr> </tbody> </table>				回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	1	10/6	10:50-12:20	5 番教室	Guidance Course	Introduction	野口 大斗	2	10/13	10:50-12:20	5 番教室	Topic 1	Presentation Practice 1	野口 大斗	3	10/20	10:50-12:20	5 番教室	Topic 2	Presentation Practice 2	野口 大斗	4	10/27	10:50-12:20	5 番教室	Topic 3	Presentation Practice 3	野口 大斗	5	11/10	10:50-12:20	5 番教室	Topic 4	Presentation Practice 4	野口 大斗	6	11/17	10:50-12:20	5 番教室	Topic 5	Presentation Practice 5	野口 大斗	7	11/24	10:50-12:20	5 番教室	Topic 6	Presentation Practice 6	野口 大斗	8	12/1	10:50-12:20	5 番教室	Topic 7	Presentation Practice 7	野口 大斗	9	12/8	10:50-12:20	5 番教室	Topic 8	Presentation Practice 8	野口 大斗	10	12/15	10:50-12:20	5 番教室	Topic 9	Presentation Practice 9	野口 大斗	11	12/22	10:50-12:20	5 番教室	Topic 10	Presentation Practice 10	野口 大斗
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員																																																																																	
1	10/6	10:50-12:20	5 番教室	Guidance Course	Introduction	野口 大斗																																																																																	
2	10/13	10:50-12:20	5 番教室	Topic 1	Presentation Practice 1	野口 大斗																																																																																	
3	10/20	10:50-12:20	5 番教室	Topic 2	Presentation Practice 2	野口 大斗																																																																																	
4	10/27	10:50-12:20	5 番教室	Topic 3	Presentation Practice 3	野口 大斗																																																																																	
5	11/10	10:50-12:20	5 番教室	Topic 4	Presentation Practice 4	野口 大斗																																																																																	
6	11/17	10:50-12:20	5 番教室	Topic 5	Presentation Practice 5	野口 大斗																																																																																	
7	11/24	10:50-12:20	5 番教室	Topic 6	Presentation Practice 6	野口 大斗																																																																																	
8	12/1	10:50-12:20	5 番教室	Topic 7	Presentation Practice 7	野口 大斗																																																																																	
9	12/8	10:50-12:20	5 番教室	Topic 8	Presentation Practice 8	野口 大斗																																																																																	
10	12/15	10:50-12:20	5 番教室	Topic 9	Presentation Practice 9	野口 大斗																																																																																	
11	12/22	10:50-12:20	5 番教室	Topic 10	Presentation Practice 10	野口 大斗																																																																																	

12	1/5	10:50-12:20	5 番教室	Topic 11	Presentation Practice 11	野口 大斗
13	1/12	10:50-12:20	5 番教室	Pre-test Preparation	Practice	野口 大斗
14	1/19	10:50-12:20	5 番教室	In-Class Exam	Discussion Test	野口 大斗
15	1/26	10:50-12:20	5 番教室	Oral Test	Poster Presentation	野口 大斗
授業方法						
Skills Instruction and Practice						
授業内容						
Week 1: Orientation						
Weeks 2-13: Skills Instruction and Continuous Assessment						
Week 14 and 15: Review and/or Final Assessment						
Detailed class contents will be determined based on the needs of the class and are subject to change.						
成績評価の方法						
評価: Participation: 30%, Quizzes/Assignments: 20%, Discussion Test: 25%, Oral Test: 25%						
再評価: 有(再評価方法「英語」としての学年末課題)						
・上記のパーセンテージは、「英語c」についての評価方法です。「英語」はabcdの4クラスの成績を合わせて最終的な成績を算出します。						
成績評価の基準						
「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による						
準備学習等についての具体的な指示						
Attendance and participation are both essential.						
試験の受験資格						
「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績を合わせて最終的な成績を算出します。4 クラスすべての履修は必須です。再評価の対象となるのは、英語 abcd の各クラスに原則として3分の2以上出席した者です。ただし、4クラスのうち3クラス以上で 60 点未満の成績がついた者には原則として再評価の機会を与えません。						
履修上の注意事項						
出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先させます。						
参照ホームページ						
Visit http://www.tmd.ac.jp/artsci/engl/ for more information about instructors.						

時間割番号	000098																																												
科目名	英語 d	科目ID	LA-115204-Z																																										
担当教員	PATRICK FOSS[PATRICK FOSS]																																												
開講時期	2022 年度後期	対象年次	1																																										
実務経験のある教員による授業																																													
<ul style="list-style-type: none"> ・曜日・時間: 木曜1限 ・対象: 医学科・歯学科 ・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 別表3-4) 別表4-5) 																																													
授業の目的、概要等 Students will read and write in English on particular topics. Students will also give presentations based on their written work and other class activities. The goals of this course are to improve English reading, writing and presentation skills.																																													
授業の到達目標 To improve writing abilities at the sentence-level and beyond, depending on proficiency. To develop the ability to present the results of research-based writing. To improve the ability to read different types of written works effectively. To enlarge vocabulary not only for reading but also for writing. 以下の3点を満たすことが、B評価(70点以上)の必要条件として要求される。 <ol style="list-style-type: none"> 1. 授業内で課される課題や試験等について、原則としてすべて、期限内に所定の形式で受験または提出すること。 2. 教員から返却される添削ファイルおよびコメントを受けて自らの英語の問題点を客観的に把握し、修正してより良いものに仕上げる 3. 授業および添削・コメントから得た知見を次回以降の課題作成、またはクラス内活動に参加の際に活かすこと。 <p>なお、英語分野では学期の折り返し地点で全学生に中間成績を通知している。</p>																																													
授業計画 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>講義室</th> <th>授業題目</th> <th>授業内容</th> <th>担当教員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>10/6</td> <td>09:10-10:40</td> <td></td> <td>Orientation</td> <td>Course Introduction</td> <td>PATRICK FOSS</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>10/13</td> <td>09:10-10:40</td> <td></td> <td>Topic 1 Research Project</td> <td>Reading/Writing/Presentation Activities</td> <td>PATRICK FOSS</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>10/20</td> <td>09:10-10:40</td> <td></td> <td>Topic 1 Research Project</td> <td>Reading/Writing/Presentation Activities</td> <td>PATRICK FOSS</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>10/27</td> <td>09:10-10:40</td> <td></td> <td>Topic 2 Research Project</td> <td>Reading/Writing/Presentation Activities</td> <td>PATRICK FOSS</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>11/10</td> <td>09:10-10:40</td> <td></td> <td>Topic 2 Research Project</td> <td>Reading/Writing/Presentation Activities</td> <td>PATRICK FOSS</td> </tr> </tbody> </table>				回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	1	10/6	09:10-10:40		Orientation	Course Introduction	PATRICK FOSS	2	10/13	09:10-10:40		Topic 1 Research Project	Reading/Writing/Presentation Activities	PATRICK FOSS	3	10/20	09:10-10:40		Topic 1 Research Project	Reading/Writing/Presentation Activities	PATRICK FOSS	4	10/27	09:10-10:40		Topic 2 Research Project	Reading/Writing/Presentation Activities	PATRICK FOSS	5	11/10	09:10-10:40		Topic 2 Research Project	Reading/Writing/Presentation Activities	PATRICK FOSS
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員																																							
1	10/6	09:10-10:40		Orientation	Course Introduction	PATRICK FOSS																																							
2	10/13	09:10-10:40		Topic 1 Research Project	Reading/Writing/Presentation Activities	PATRICK FOSS																																							
3	10/20	09:10-10:40		Topic 1 Research Project	Reading/Writing/Presentation Activities	PATRICK FOSS																																							
4	10/27	09:10-10:40		Topic 2 Research Project	Reading/Writing/Presentation Activities	PATRICK FOSS																																							
5	11/10	09:10-10:40		Topic 2 Research Project	Reading/Writing/Presentation Activities	PATRICK FOSS																																							

6	11/17	09:10-10:40		Topic 2 Research Project	Reading/Writing/Presentation Activities	PATRICK FOSS
7	11/24	09:10-10:40		Topic 2 Research Project	Reading/Writing/Presentation Activities	PATRICK FOSS
8	12/1	09:10-10:40		Topic 3 Research Project	Reading/Writing/Presentation Activities	PATRICK FOSS
9	12/8	09:10-10:40		Topic 3 Research Project	Reading/Writing/Presentation Activities	PATRICK FOSS
10	12/15	09:10-10:40		Topic 3 Research Project	Reading/Writing/Presentation Activities	PATRICK FOSS
11	12/22	09:10-10:40		Topic 3 Research Project	Reading/Writing/Presentation Activities	PATRICK FOSS
12	1/5	09:10-10:40		Topic 4 Research Project	Reading/Writing/Presentation Activities	PATRICK FOSS
13	1/12	09:10-10:40		Topic 4 Research Project	Reading/Writing/Presentation Activities	PATRICK FOSS
14	1/19	09:10-10:40		Topic 4 Research Project	Reading/Writing/Presentation Activities	PATRICK FOSS
15	1/26	09:10-10:40		Review	Special Session	PATRICK FOSS

授業方法

Skills Instruction and Practice

授業内容

Week 1: Orientation

Weeks 2-13: Skills Instruction and Continuous Assessment

Weeks 14 and 15: Review and/or Final Assessment

Detailed class contents will be determined based on the needs of the class and are subject to change.

成績評価の方法

評価: participation 20% presentation assignments 20% written assignments 60%

再評価: 有(再評価方法「英語」としての学年末課題)

・上記のパーセンテージは、「英語 d」についての評価方法です。「英語」はabcd の4クラスの成績を合わせて最終的な成績を算出します。

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習等についての具体的な指示

Attendance and participation are both essential.

試験の受験資格

「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績を合わせて最終的な成績を算出します。4 クラスすべての履修は必須です。再評価の対象となるのは、英語 abcd の各クラスに原則として3分の2以上出席した者です。ただし、4クラスのうち3クラス以上で 60 点未満の成績がついた者には原則として再評価の機会を与えません。

履修上の注意事項

出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先させます。

参照ホームページ

Visit <http://www.tmd.ac.jp/artsci/eng/> for more information about instructors.

時間割番号	000099																																																																																		
科目名	英語 c	科目ID	LA-115203-Z																																																																																
担当教員	JEANETTE DENNISSON[JEANETTE DENNISSON]																																																																																		
開講時期	2022 年度後期	対象年次	1																																																																																
実務経験のある教員による授業																																																																																			
<p>対面授業です。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・曜日・時間:木曜1限 ・対象学科:口腔保健衛生学・看護学 ・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): <ul style="list-style-type: none"> 別表3-1) 別表3-4) 別表4-5) 																																																																																			
<p>授業の目的、概要等</p> <p>Students will engage in a range of conversation activities (e.g. in pairs or small groups) and in speech/presentation activities to develop better English listening and speaking skills. New vocabulary will also be introduced. Particular grammatical structures will occasionally be targeted. Readings may be used in particular classes as bases for discussion.</p> <p>The primary goals of this course are to improve English speaking and listening skills.</p>																																																																																			
<p>授業の到達目標</p> <p>To develop the ability to engage in extended discussions in English, without long pauses, on a range of topics without using dictionaries.</p> <p>To improve the ability to speak in front of others using English.</p>																																																																																			
<p>授業計画</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>講義室</th> <th>担当教員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td>10/6</td><td>09:10-10:40</td><td></td><td>JEANETTE DENNISSON</td></tr> <tr><td>2</td><td>10/13</td><td>09:10-10:40</td><td></td><td>JEANETTE DENNISSON</td></tr> <tr><td>3</td><td>10/20</td><td>09:10-10:40</td><td></td><td>JEANETTE DENNISSON</td></tr> <tr><td>4</td><td>10/27</td><td>09:10-10:40</td><td></td><td>JEANETTE DENNISSON</td></tr> <tr><td>5</td><td>11/10</td><td>09:10-10:40</td><td></td><td>JEANETTE DENNISSON</td></tr> <tr><td>6</td><td>11/17</td><td>09:10-10:40</td><td></td><td>JEANETTE DENNISSON</td></tr> <tr><td>7</td><td>11/24</td><td>09:10-10:40</td><td></td><td>JEANETTE DENNISSON</td></tr> <tr><td>8</td><td>12/1</td><td>09:10-10:40</td><td></td><td>JEANETTE DENNISSON</td></tr> <tr><td>9</td><td>12/8</td><td>09:10-10:40</td><td></td><td>JEANETTE DENNISSON</td></tr> <tr><td>10</td><td>12/15</td><td>09:10-10:40</td><td></td><td>JEANETTE DENNISSON</td></tr> <tr><td>11</td><td>12/22</td><td>09:10-10:40</td><td></td><td>JEANETTE DENNISSON</td></tr> <tr><td>12</td><td>1/5</td><td>09:10-10:40</td><td></td><td>JEANETTE DENNISSON</td></tr> <tr><td>13</td><td>1/12</td><td>09:10-10:40</td><td></td><td>JEANETTE DENNISSON</td></tr> <tr><td>14</td><td>1/19</td><td>09:10-10:40</td><td></td><td>JEANETTE DENNISSON</td></tr> <tr><td>15</td><td>1/26</td><td>09:10-10:40</td><td></td><td>JEANETTE DENNISSON</td></tr> </tbody> </table>				回	日付	時刻	講義室	担当教員	1	10/6	09:10-10:40		JEANETTE DENNISSON	2	10/13	09:10-10:40		JEANETTE DENNISSON	3	10/20	09:10-10:40		JEANETTE DENNISSON	4	10/27	09:10-10:40		JEANETTE DENNISSON	5	11/10	09:10-10:40		JEANETTE DENNISSON	6	11/17	09:10-10:40		JEANETTE DENNISSON	7	11/24	09:10-10:40		JEANETTE DENNISSON	8	12/1	09:10-10:40		JEANETTE DENNISSON	9	12/8	09:10-10:40		JEANETTE DENNISSON	10	12/15	09:10-10:40		JEANETTE DENNISSON	11	12/22	09:10-10:40		JEANETTE DENNISSON	12	1/5	09:10-10:40		JEANETTE DENNISSON	13	1/12	09:10-10:40		JEANETTE DENNISSON	14	1/19	09:10-10:40		JEANETTE DENNISSON	15	1/26	09:10-10:40		JEANETTE DENNISSON
回	日付	時刻	講義室	担当教員																																																																															
1	10/6	09:10-10:40		JEANETTE DENNISSON																																																																															
2	10/13	09:10-10:40		JEANETTE DENNISSON																																																																															
3	10/20	09:10-10:40		JEANETTE DENNISSON																																																																															
4	10/27	09:10-10:40		JEANETTE DENNISSON																																																																															
5	11/10	09:10-10:40		JEANETTE DENNISSON																																																																															
6	11/17	09:10-10:40		JEANETTE DENNISSON																																																																															
7	11/24	09:10-10:40		JEANETTE DENNISSON																																																																															
8	12/1	09:10-10:40		JEANETTE DENNISSON																																																																															
9	12/8	09:10-10:40		JEANETTE DENNISSON																																																																															
10	12/15	09:10-10:40		JEANETTE DENNISSON																																																																															
11	12/22	09:10-10:40		JEANETTE DENNISSON																																																																															
12	1/5	09:10-10:40		JEANETTE DENNISSON																																																																															
13	1/12	09:10-10:40		JEANETTE DENNISSON																																																																															
14	1/19	09:10-10:40		JEANETTE DENNISSON																																																																															
15	1/26	09:10-10:40		JEANETTE DENNISSON																																																																															
<p>授業方法</p> <p>Skills Instruction and Practice</p>																																																																																			
<p>授業内容</p> <p>1週目: Orientation 2-11 週目: Skills Instruction and Continuous Assessment 12-15 週目: Review and/or Final Assessment</p>																																																																																			

Detailed class contents will be determined based on the needs of the class and are subject to change.

成績評価の方法

評価: Participation: 30% assignments: 30% discussion tests: 40%

再評価: 有(再評価方法「英語」としての学年末課題)

・上記のパーセンテージは、「英語 a」についての評価方法です。「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績を合わせて最終的な成績を算出します。

以下の 3 点を満たすことが、B 評価(70 点以上)の必要条件として要求される。

1. 授業内で課される課題や試験等について、原則としてすべて、期限内に所定の形式で受験または提出すること。
2. 教員から返却される添削ファイルおよびコメントを受けて自らの英語の問題点を客観的に把握し、修正してより良いものに仕上げる
3. 授業および添削・コメントから得た知見を次回以降の課題作成、またはクラス内活動に参加の際に活かすこと。

なお、英語分野では学期の折り返し地点で全学生に中間成績を通知している。

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習等についての具体的な指示

Attendance and participation are both essential.

試験の受験資格

「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績を合わせて最終的な成績を算出します。4 クラスすべての履修は必須です。再評価の対象となるのは、英語 abcd の各クラスに原則として3分の2以上出席した者です。ただし、4クラスのうち3クラス以上で 60 点未満の成績がついた者には原則として再評価の機会を与えません。

教科書

Sciencedaily and other reliable news websites will be used as material.

履修上の注意事項

出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先させます。

備考

PC、タブレットなどが必要です。

You may need to access the course website or other online teaching materials during each lesson. Therefore, you must bring a wireless device (laptop, tablet, cell phone) with you to every lesson. Please understand if the internet is unstable, it is your responsibility to have your materials for class in printed or accessible on your device.

Appropriate Use of Technology Policy: During the lesson you are encouraged to use any form of technology (cell phone, laptop, tablet, etc.) that will a) enhance your learning experience and b) will not negatively affect the learning experience of other students.

What is NOT acceptable is the use of technology during class for activities that are unrelated to the course. This includes shopping, watching sports, checking Facebook, emailing anyone, talking, texting, tweeting, playing games, watching movies or TV not assigned in class, or doing work that is due in another class.

参照ホームページ

「Google ドライブ」を使用する。「Google アカウント」が必要です。

Students should have a Google account and be able to access the course folder on the Google drive.

連絡先(メールアドレス)

dennisson.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

Wednesday/Thursday 12:30 – 13:00 PM 管理研究棟3階

時間割番号	000100																																																																																						
科目名	英語 c	科目ID	LA-115203-Z																																																																																				
担当教員	MIYA MARUTSUKA[Miya Marutsuka]																																																																																						
開講時期	2022 年度後期	対象年次	1																																																																																				
実務経験のある教員による授業																																																																																							
<p>・曜日・時間: 木曜2限</p> <p>・対象学科: 検査技術学・口腔保健工学</p> <p>・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):</p> <p>別表3-1)</p> <p>別表3-4)</p> <p>別表4-5)</p>																																																																																							
<p>授業の目的、概要等</p> <p>Students will engage in a range of conversation activities (e.g. in pairs or small groups) and in speech/presentation activities to develop better English listening and speaking skills. New vocabulary will also be introduced. Particular grammatical structures will occasionally be targeted. Readings will be used in particular classes as bases for discussion.</p> <p>The primary goals of this course are to improve English speaking and listening skills.</p>																																																																																							
<p>授業の到達目標</p> <p>To develop the ability to engage in extended discussions in English, without long pauses, on a range of topics without using dictionaries.</p> <p>To improve the ability to speak in front of others using English.</p> <p>以下の3点を満たすことが、B評価(70点以上)の必要条件として要求される。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 授業内で課される課題や試験等について、原則としてすべて、期限内に所定の形式で受験または提出すること。 2. 教員から返却される添削ファイルおよびコメントを受けて自らの英語の問題点を客観的に把握し、修正してより良いものに仕上げること。 3. 授業および添削・コメントから得た知見を次回以降の課題作成、またはクラス内活動に参加の際に活かすこと。 <p>なお、英語分野では学期の折り返し地点で全学生に中間成績を通知している。</p>																																																																																							
<p>授業計画</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>講義室</th> <th>授業題目</th> <th>授業内容</th> <th>担当教員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>10/6</td> <td>10:50-12:20</td> <td>4 番教室</td> <td>Orientation</td> <td>Course Introduction</td> <td>MIYA MARUTSUKA</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>10/13</td> <td>10:50-12:20</td> <td>4 番教室</td> <td>Topic 1</td> <td>Discussion 1</td> <td>MIYA MARUTSUKA</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>10/20</td> <td>10:50-12:20</td> <td>4 番教室</td> <td>Topic 2</td> <td>Discussion 2</td> <td>MIYA MARUTSUKA</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>10/27</td> <td>10:50-12:20</td> <td>4 番教室</td> <td>Topic 3</td> <td>Discussion 3</td> <td>MIYA MARUTSUKA</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>11/10</td> <td>10:50-12:20</td> <td>4 番教室</td> <td>Activities</td> <td>Group Assignment</td> <td>MIYA MARUTSUKA</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>11/17</td> <td>10:50-12:20</td> <td>4 番教室</td> <td>Activities</td> <td>Group Assignment</td> <td>MIYA MARUTSUKA</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>11/24</td> <td>10:50-12:20</td> <td>4 番教室</td> <td>Topic 4</td> <td>Discussion 4</td> <td>MIYA MARUTSUKA</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>12/1</td> <td>10:50-12:20</td> <td>4 番教室</td> <td>Topic 5</td> <td>Discussion 5</td> <td>MIYA MARUTSUKA</td> </tr> <tr> <td>9</td> <td>12/8</td> <td>10:50-12:20</td> <td>4 番教室</td> <td>Activities</td> <td>Group Assignment</td> <td>MIYA MARUTSUKA</td> </tr> <tr> <td>10</td> <td>12/15</td> <td>10:50-12:20</td> <td>4 番教室</td> <td>Activities</td> <td>Group Assignment</td> <td>MIYA MARUTSUKA</td> </tr> <tr> <td>11</td> <td>12/22</td> <td>10:50-12:20</td> <td>4 番教室</td> <td>Topic 6</td> <td>Discussion 6</td> <td>MIYA MARUTSUKA</td> </tr> </tbody> </table>				回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	1	10/6	10:50-12:20	4 番教室	Orientation	Course Introduction	MIYA MARUTSUKA	2	10/13	10:50-12:20	4 番教室	Topic 1	Discussion 1	MIYA MARUTSUKA	3	10/20	10:50-12:20	4 番教室	Topic 2	Discussion 2	MIYA MARUTSUKA	4	10/27	10:50-12:20	4 番教室	Topic 3	Discussion 3	MIYA MARUTSUKA	5	11/10	10:50-12:20	4 番教室	Activities	Group Assignment	MIYA MARUTSUKA	6	11/17	10:50-12:20	4 番教室	Activities	Group Assignment	MIYA MARUTSUKA	7	11/24	10:50-12:20	4 番教室	Topic 4	Discussion 4	MIYA MARUTSUKA	8	12/1	10:50-12:20	4 番教室	Topic 5	Discussion 5	MIYA MARUTSUKA	9	12/8	10:50-12:20	4 番教室	Activities	Group Assignment	MIYA MARUTSUKA	10	12/15	10:50-12:20	4 番教室	Activities	Group Assignment	MIYA MARUTSUKA	11	12/22	10:50-12:20	4 番教室	Topic 6	Discussion 6	MIYA MARUTSUKA
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員																																																																																	
1	10/6	10:50-12:20	4 番教室	Orientation	Course Introduction	MIYA MARUTSUKA																																																																																	
2	10/13	10:50-12:20	4 番教室	Topic 1	Discussion 1	MIYA MARUTSUKA																																																																																	
3	10/20	10:50-12:20	4 番教室	Topic 2	Discussion 2	MIYA MARUTSUKA																																																																																	
4	10/27	10:50-12:20	4 番教室	Topic 3	Discussion 3	MIYA MARUTSUKA																																																																																	
5	11/10	10:50-12:20	4 番教室	Activities	Group Assignment	MIYA MARUTSUKA																																																																																	
6	11/17	10:50-12:20	4 番教室	Activities	Group Assignment	MIYA MARUTSUKA																																																																																	
7	11/24	10:50-12:20	4 番教室	Topic 4	Discussion 4	MIYA MARUTSUKA																																																																																	
8	12/1	10:50-12:20	4 番教室	Topic 5	Discussion 5	MIYA MARUTSUKA																																																																																	
9	12/8	10:50-12:20	4 番教室	Activities	Group Assignment	MIYA MARUTSUKA																																																																																	
10	12/15	10:50-12:20	4 番教室	Activities	Group Assignment	MIYA MARUTSUKA																																																																																	
11	12/22	10:50-12:20	4 番教室	Topic 6	Discussion 6	MIYA MARUTSUKA																																																																																	

12	1/5	10:50-12:20	4 番教室	Activities	Group Assignment	MIYA MARUTSUKA
13	1/12	10:50-12:20	4 番教室	Activities	Group Assignment	MIYA MARUTSUKA
14	1/19	10:50-12:20	4 番教室	Activities	Group Assignment	MIYA MARUTSUKA
15	1/26	10:50-12:20	4 番教室	Topic 7	Discussion 7	MIYA MARUTSUKA
授業方法						
Skills Instruction and Practice						
授業内容						
Week 1: Orientation						
Weeks 2-13: Skills Instruction and Continuous Assessment						
Week 14 and 15: Review and/or Final Assessment						
Detailed class contents will be determined based on the needs of the class and are subject to change.						
成績評価の方法						
評価: Participation and Homework: 30%, Quizzes: 25%, Group Assignments: 20%, Final Discussion Test: 25%						
再評価: 有(再評価方法「英語」としての学年末課題)						
・上記のパーセンテージは、「英語 c」についての評価方法です。「英語」は abcd の4クラスの成績を合わせて最終的な成績を算出します。						
成績評価の基準						
「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による						
準備学習等についての具体的な指示						
Attendance and participation are both essential.						
試験の受験資格						
「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績を合わせて最終的な成績を算出します。4 クラスすべての履修は必須です。再評価の対象となるのは、英語 abcd の各クラスに原則として3分の2以上出席した者です。ただし、4クラスのうち3クラス以上で 60 点未満の成績がついた者には原則として再評価の機会を与えません。						
履修上の注意事項						
出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先させます。						
参照ホームページ						
Visit http://www.tmd.ac.jp/artsci/engl/ for more information about instructors.						

時間割番号	000101																																																																																		
科目名	英語 c	科目ID	LA-115203-Z																																																																																
担当教員	JEANETTE DENNISSON[JEANETTE DENNISSON]																																																																																		
開講時期	2022 年度後期	対象年次	1																																																																																
実務経験のある教員による授業																																																																																			
<p>対面授業です。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・曜日・時間:木曜 2 限 ・対象学科:医学科・歯学科 ・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): <ul style="list-style-type: none"> 別表3-1) 別表3-4) 別表4-5) 																																																																																			
<p>授業の目的、概要等</p> <p>Students will engage in a range of conversation activities (e.g. in pairs or small groups) and in speech/presentation activities to develop better English listening and speaking skills. New vocabulary will also be introduced. Particular grammatical structures will occasionally be targeted. Readings may be used in particular classes as bases for discussion.</p> <p>The primary goals of this course are to improve English speaking and listening skills.</p>																																																																																			
<p>授業の到達目標</p> <p>To develop the ability to engage in extended discussions in English, without long pauses, on a range of topics without using dictionaries.</p> <p>To improve the ability to speak in front of others using English.</p>																																																																																			
<p>授業計画</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>講義室</th> <th>担当教員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td>10/6</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>JEANETTE DENNISSON</td></tr> <tr><td>2</td><td>10/13</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>JEANETTE DENNISSON</td></tr> <tr><td>3</td><td>10/20</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>JEANETTE DENNISSON</td></tr> <tr><td>4</td><td>10/27</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>JEANETTE DENNISSON</td></tr> <tr><td>5</td><td>11/10</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>JEANETTE DENNISSON</td></tr> <tr><td>6</td><td>11/17</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>JEANETTE DENNISSON</td></tr> <tr><td>7</td><td>11/24</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>JEANETTE DENNISSON</td></tr> <tr><td>8</td><td>12/1</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>JEANETTE DENNISSON</td></tr> <tr><td>9</td><td>12/8</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>JEANETTE DENNISSON</td></tr> <tr><td>10</td><td>12/15</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>JEANETTE DENNISSON</td></tr> <tr><td>11</td><td>12/22</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>JEANETTE DENNISSON</td></tr> <tr><td>12</td><td>1/5</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>JEANETTE DENNISSON</td></tr> <tr><td>13</td><td>1/12</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>JEANETTE DENNISSON</td></tr> <tr><td>14</td><td>1/19</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>JEANETTE DENNISSON</td></tr> <tr><td>15</td><td>1/26</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>JEANETTE DENNISSON</td></tr> </tbody> </table>				回	日付	時刻	講義室	担当教員	1	10/6	10:50-12:20		JEANETTE DENNISSON	2	10/13	10:50-12:20		JEANETTE DENNISSON	3	10/20	10:50-12:20		JEANETTE DENNISSON	4	10/27	10:50-12:20		JEANETTE DENNISSON	5	11/10	10:50-12:20		JEANETTE DENNISSON	6	11/17	10:50-12:20		JEANETTE DENNISSON	7	11/24	10:50-12:20		JEANETTE DENNISSON	8	12/1	10:50-12:20		JEANETTE DENNISSON	9	12/8	10:50-12:20		JEANETTE DENNISSON	10	12/15	10:50-12:20		JEANETTE DENNISSON	11	12/22	10:50-12:20		JEANETTE DENNISSON	12	1/5	10:50-12:20		JEANETTE DENNISSON	13	1/12	10:50-12:20		JEANETTE DENNISSON	14	1/19	10:50-12:20		JEANETTE DENNISSON	15	1/26	10:50-12:20		JEANETTE DENNISSON
回	日付	時刻	講義室	担当教員																																																																															
1	10/6	10:50-12:20		JEANETTE DENNISSON																																																																															
2	10/13	10:50-12:20		JEANETTE DENNISSON																																																																															
3	10/20	10:50-12:20		JEANETTE DENNISSON																																																																															
4	10/27	10:50-12:20		JEANETTE DENNISSON																																																																															
5	11/10	10:50-12:20		JEANETTE DENNISSON																																																																															
6	11/17	10:50-12:20		JEANETTE DENNISSON																																																																															
7	11/24	10:50-12:20		JEANETTE DENNISSON																																																																															
8	12/1	10:50-12:20		JEANETTE DENNISSON																																																																															
9	12/8	10:50-12:20		JEANETTE DENNISSON																																																																															
10	12/15	10:50-12:20		JEANETTE DENNISSON																																																																															
11	12/22	10:50-12:20		JEANETTE DENNISSON																																																																															
12	1/5	10:50-12:20		JEANETTE DENNISSON																																																																															
13	1/12	10:50-12:20		JEANETTE DENNISSON																																																																															
14	1/19	10:50-12:20		JEANETTE DENNISSON																																																																															
15	1/26	10:50-12:20		JEANETTE DENNISSON																																																																															
<p>授業方法</p> <p>Skills Instruction and Practice</p>																																																																																			
<p>授業内容</p> <p>1週目: Orientation 2-11 週目: Skills Instruction and Continuous Assessment 12-15 週目: Review and/or Final Assessment</p>																																																																																			

Detailed class contents will be determined based on the needs of the class and are subject to change.
Detailed class contents will be determined based on the needs of the class and are subject to change.
<p>成績評価の方法</p> <p>評価: Participation: 30% assignments: 30% discussion tests: 40%</p> <p>再評価: 有(再評価方法「英語」としての学年末課題)</p> <p>・上記のパーセンテージは、「英語 a」についての評価方法です。「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績を合わせて最終的な成績を算出します。</p> <p>以下の 3 点を満たすことが、B 評価(70 点以上)の必要条件として要求される。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 授業内で課される課題や試験等について、原則としてすべて、期限内に所定の形式で受験または提出すること。 2. 教員から返却される添削ファイルおよびコメントを受けて自らの英語の問題点を客観的に把握し、修正してより良いものに仕上げる。 3. 授業および添削・コメントから得た知見を次回以降の課題作成、またはクラス内活動に参加の際に活かすこと。 <p>なお、英語分野では学期の折り返し時点で全学生に中間成績を通知している。</p>
<p>成績評価の基準</p> <p>「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による</p>
<p>準備学習等についての具体的な指示</p> <p>Attendance and participation are both essential.</p>
<p>試験の受験資格</p> <p>「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績を合わせて最終的な成績を算出します。4 クラスすべての履修は必須です。再評価の対象となるのは、英語 abcd の各クラスに原則として3分の2以上出席した者です。ただし、4クラスのうち3クラス以上で 60 点未満の成績がついた者には原則として再評価の機会を与えません。</p>
<p>履修上の注意事項</p> <p>出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先させます。</p>
<p>備考</p> <p>PC、タブレットなどが必要です。</p> <p>Appropriate Use of Technology Policy: During the lesson you are encouraged to use any form of technology (cell phone, laptop, tablet, etc.) that will a) enhance your learning experience and b) will not negatively affect the learning experience of other students.</p> <p>What is NOT acceptable is the use of technology during class for activities that are unrelated to the course. This includes shopping, watching sports, checking Facebook, emailing anyone, talking, texting, tweeting, playing games, watching movies or TV not assigned in class, or doing work that is due in another class.</p>
<p>参照ホームページ</p> <p>「Google ドライブ」を使用する。「Google アカウント」が必要です。</p>
<p>連絡先(メールアドレス)</p> <p>dennisson.las@tmd.ac.jp</p>
<p>オフィスアワー</p> <p>Wednesday/Thursday 12:30 – 13:00 PM 管理研究棟3階</p>

時間割番号	000102																																												
科目名	英語 d	科目ID	LA-115204-Z																																										
担当教員	PATRICK FOSS, LITTEN CHRISTOPHER T [PATRICK FOSS, LITTEN Christopher T]																																												
開講時期	2022 年度後期	対象年次	1																																										
実務経験のある教員による授業																																													
<p>・曜日・時間: 木曜2限</p> <p>・対象: 医学科・歯学科</p> <p>・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 別表3-4) 別表4-5)</p>																																													
<p>授業の目的、概要等</p> <p>Students will read and write in English on particular topics. Students will also give presentations based on their written work and other class activities.</p> <p>The goals of this course are to improve English reading, writing and presentation skills.</p>																																													
<p>授業の到達目標</p> <p>To improve writing abilities at the sentence-level and beyond, depending on proficiency.</p> <p>To develop the ability to present the results of research-based writing.</p> <p>To improve the ability to read different types of written works effectively.</p> <p>To enlarge vocabulary not only for reading but also for writing.</p> <p>以下の3点を満たすことが、B評価(70点以上)の必要条件として要求される。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 授業内で課される課題や試験等について、原則としてすべて、期限内に所定の形式で受験または提出すること。 2. 教員から返却される添削ファイルおよびコメントを受けて自らの英語の問題点を客観的に把握し、修正してより良いものに仕上げること。 3. 授業および添削・コメントから得た知見を次回以降の課題作成、またはクラス内活動に参加の際に活かすこと。 <p>なお、英語分野では学期の折り返し地点で全学生に中間成績を通知している。</p>																																													
<p>授業計画</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>講義室</th> <th>授業題目</th> <th>授業内容</th> <th>担当教員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>10/6</td> <td>10:50-12:20</td> <td>9 番教室</td> <td>Orientation</td> <td>Course Introduction</td> <td>PATRICK FOSS, LITTEN CHRISTOPHER T</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>10/13</td> <td>10:50-12:20</td> <td>9 番教室</td> <td>Topic 1 Research Project</td> <td>Reading/Writing/Presentation Activities</td> <td>PATRICK FOSS, LITTEN CHRISTOPHER T</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>10/20</td> <td>10:50-12:20</td> <td>9 番教室</td> <td>Topic 1 Research Project</td> <td>Reading/Writing/Presentation Activities</td> <td>PATRICK FOSS, LITTEN CHRISTOPHER T</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>10/27</td> <td>10:50-12:20</td> <td>9 番教室</td> <td>Topic 2 Research Project</td> <td>Reading/Writing/Presentation Activities</td> <td>PATRICK FOSS, LITTEN CHRISTOPHER T</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>11/10</td> <td>10:50-12:20</td> <td>9 番教室</td> <td>Topic 2 Research</td> <td>Reading/Writing/Presentation</td> <td>PATRICK FOSS, LITTEN</td> </tr> </tbody> </table>				回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	1	10/6	10:50-12:20	9 番教室	Orientation	Course Introduction	PATRICK FOSS, LITTEN CHRISTOPHER T	2	10/13	10:50-12:20	9 番教室	Topic 1 Research Project	Reading/Writing/Presentation Activities	PATRICK FOSS, LITTEN CHRISTOPHER T	3	10/20	10:50-12:20	9 番教室	Topic 1 Research Project	Reading/Writing/Presentation Activities	PATRICK FOSS, LITTEN CHRISTOPHER T	4	10/27	10:50-12:20	9 番教室	Topic 2 Research Project	Reading/Writing/Presentation Activities	PATRICK FOSS, LITTEN CHRISTOPHER T	5	11/10	10:50-12:20	9 番教室	Topic 2 Research	Reading/Writing/Presentation	PATRICK FOSS, LITTEN
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員																																							
1	10/6	10:50-12:20	9 番教室	Orientation	Course Introduction	PATRICK FOSS, LITTEN CHRISTOPHER T																																							
2	10/13	10:50-12:20	9 番教室	Topic 1 Research Project	Reading/Writing/Presentation Activities	PATRICK FOSS, LITTEN CHRISTOPHER T																																							
3	10/20	10:50-12:20	9 番教室	Topic 1 Research Project	Reading/Writing/Presentation Activities	PATRICK FOSS, LITTEN CHRISTOPHER T																																							
4	10/27	10:50-12:20	9 番教室	Topic 2 Research Project	Reading/Writing/Presentation Activities	PATRICK FOSS, LITTEN CHRISTOPHER T																																							
5	11/10	10:50-12:20	9 番教室	Topic 2 Research	Reading/Writing/Presentation	PATRICK FOSS, LITTEN																																							

				Project	Activities	CHRISTOPHER T
6	11/17	10:50-12:20	9 番教室	Topic 2 Research Project	Reading/Writing/Presentation Activities	PATRICK FOSS, LITTEN CHRISTOPHER T
7	11/24	10:50-12:20	9 番教室	Topic 2 Research Project	Reading/Writing/Presentation Activities	PATRICK FOSS, LITTEN CHRISTOPHER T
8	12/1	10:50-12:20	9 番教室	Topic 3 Research Project	Reading/Writing/Presentation Activities	PATRICK FOSS, LITTEN CHRISTOPHER T
9	12/8	10:50-12:20	9 番教室	Topic 3 Research Project	Reading/Writing/Presentation Activities	PATRICK FOSS, LITTEN CHRISTOPHER T
10	12/15	10:50-12:20	9 番教室	Topic 3 Research Project	Reading/Writing/Presentation Activities	PATRICK FOSS, LITTEN CHRISTOPHER T
11	12/22	10:50-12:20	9 番教室	Topic 3 Research Project	Reading/Writing/Presentation Activities	PATRICK FOSS, LITTEN CHRISTOPHER T
12	1/5	10:50-12:20	9 番教室	Topic 4 Research Project	Reading/Writing/Presentation Activities	PATRICK FOSS, LITTEN CHRISTOPHER T
13	1/12	10:50-12:20	9 番教室	Topic 4 Research Project	Reading/Writing/Presentation Activities	PATRICK FOSS, LITTEN CHRISTOPHER T
14	1/19	10:50-12:20	9 番教室	Topic 4 Research Project	Reading/Writing/Presentation Activities	PATRICK FOSS, LITTEN CHRISTOPHER T
15	1/26	10:50-12:20	9 番教室	Review	Special Session	PATRICK FOSS, LITTEN CHRISTOPHER T

授業方法

Skills Instruction and Practice

授業内容

Week 1: Orientation

Weeks 2-13: Skills Instruction and Continuous Assessment

Weeks 14 and 15: Review and/or Final Assessment

Detailed class contents will be determined based on the needs of the class and are subject to change.

成績評価の方法

評価: participation 20% presentation assignments 20% written assignments 60%

再評価: 有(再評価方法「英語」としての学年末課題)

・上記のパーセンテージは、「英語 d」についての評価方法です。「英語」は abcd の4クラスの成績を合わせて最終的な成績を算出します。

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習等についての具体的な指示

Attendance and participation are both essential.

試験の受験資格

「英語」は ab,c,d の 4 クラスの成績を合わせて最終的な成績を算出します。4 クラスすべての履修は必須です。再評価の対象となるのは、英語 abcd の各クラスに原則として3分の2以上出席した者です。ただし、4クラスのうち3クラス以上で 60 点未満の成績がついた者には原則として再評価の機会を与えません。

履修上の注意事項

出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先させます。

参照ホームページ

Visit <http://www.tmd.ac.jp/artsci/eng/> for more information about instructors.

時間割番号	000103																																												
科目名	英語 d	科目ID	LA-115204-Z																																										
担当教員	PATRICK FOSS[PATRICK FOSS]																																												
開講時期	2022 年度後期	対象年次	1																																										
実務経験のある教員による授業																																													
<ul style="list-style-type: none"> ・曜日・時間:水曜2限 ・対象:医学科・歯学科 ・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 別表3-4) 別表4-5) 																																													
授業の目的、概要等 Students will read and write in English on particular topics. Students will also give presentations based on their written work and other class activities. The goals of this course are to improve English reading, writing and presentation skills.																																													
授業の到達目標 To improve writing abilities at the sentence-level and beyond, depending on proficiency. To develop the ability to present the results of research-based writing. To improve the ability to read different types of written works effectively. To enlarge vocabulary not only for reading but also for writing. 以下の3点を満たすことが、B評価(70点以上)の必要条件として要求される。 <ol style="list-style-type: none"> 1. 授業内で課される課題や試験等について、原則としてすべて、期限内に所定の形式で受験または提出すること。 2. 教員から返却される添削ファイルおよびコメントを受けて自らの英語の問題点を客観的に把握し、修正してより良いものに仕上げる 3. 授業および添削・コメントから得た知見を次回以降の課題作成、またはクラス内活動に参加の際に活かすこと。 なお、英語分野では学期の折り返し地点で全学生に中間成績を通知している。																																													
授業計画 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>講義室</th> <th>授業題目</th> <th>授業内容</th> <th>担当教員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>10/5</td> <td>10:20-11:50</td> <td>遠隔授業 (同期型)</td> <td>Orientation</td> <td>Course Introduction</td> <td>PATRICK F OSS</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>10/19</td> <td>10:20-11:50</td> <td>遠隔授業 (同期型)</td> <td>Topic 1 Research Project</td> <td>Reading/Writing/Presentation Activities</td> <td>PATRICK F OSS</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>10/26</td> <td>10:20-11:50</td> <td>遠隔授業 (同期型)</td> <td>Topic 1 Research Project</td> <td>Reading/Writing/Presentation Activities</td> <td>PATRICK F OSS</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>11/2</td> <td>10:20-11:50</td> <td>遠隔授業 (同期型)</td> <td>Topic 2 Research Project</td> <td>Reading/Writing/Presentation Activities</td> <td>PATRICK F OSS</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>11/9</td> <td>10:20-11:50</td> <td>遠隔授業 (同期型)</td> <td>Topic 2 Research Project</td> <td>Reading/Writing/Presentation Activities</td> <td>PATRICK F OSS</td> </tr> </tbody> </table>				回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	1	10/5	10:20-11:50	遠隔授業 (同期型)	Orientation	Course Introduction	PATRICK F OSS	2	10/19	10:20-11:50	遠隔授業 (同期型)	Topic 1 Research Project	Reading/Writing/Presentation Activities	PATRICK F OSS	3	10/26	10:20-11:50	遠隔授業 (同期型)	Topic 1 Research Project	Reading/Writing/Presentation Activities	PATRICK F OSS	4	11/2	10:20-11:50	遠隔授業 (同期型)	Topic 2 Research Project	Reading/Writing/Presentation Activities	PATRICK F OSS	5	11/9	10:20-11:50	遠隔授業 (同期型)	Topic 2 Research Project	Reading/Writing/Presentation Activities	PATRICK F OSS
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員																																							
1	10/5	10:20-11:50	遠隔授業 (同期型)	Orientation	Course Introduction	PATRICK F OSS																																							
2	10/19	10:20-11:50	遠隔授業 (同期型)	Topic 1 Research Project	Reading/Writing/Presentation Activities	PATRICK F OSS																																							
3	10/26	10:20-11:50	遠隔授業 (同期型)	Topic 1 Research Project	Reading/Writing/Presentation Activities	PATRICK F OSS																																							
4	11/2	10:20-11:50	遠隔授業 (同期型)	Topic 2 Research Project	Reading/Writing/Presentation Activities	PATRICK F OSS																																							
5	11/9	10:20-11:50	遠隔授業 (同期型)	Topic 2 Research Project	Reading/Writing/Presentation Activities	PATRICK F OSS																																							

6	11/16	10:20-11:50	遠隔授業 (同期型)	Topic 2 Research Project	Reading/Writing/Presentation Activities	PATRICK F OSS
7	11/30	10:20-11:50	遠隔授業 (同期型)	Topic 2 Research Project	Reading/Writing/Presentation Activities	PATRICK F OSS
8	12/7	10:20-11:50	遠隔授業 (同期型)	Topic 3 Research Project	Reading/Writing/Presentation Activities	PATRICK F OSS
9	12/14	10:20-11:50	遠隔授業 (同期型)	Topic 3 Research Project	Reading/Writing/Presentation Activities	PATRICK F OSS
10	12/21	10:20-11:50	遠隔授業 (同期型)	Topic 3 Research Project	Reading/Writing/Presentation Activities	PATRICK F OSS
11	1/4	10:20-11:50	遠隔授業 (同期型)	Topic 3 Research Project	Reading/Writing/Presentation Activities	PATRICK F OSS
12	1/11	10:20-11:50	遠隔授業 (同期型)	Topic 4 Research Project	Reading/Writing/Presentation Activities	PATRICK F OSS
13	1/18	10:20-11:50	遠隔授業 (同期型)	Topic 4 Research Project	Reading/Writing/Presentation Activities	PATRICK F OSS
14	1/25	10:20-11:50	遠隔授業 (同期型)	Topic 4 Research Project	Reading/Writing/Presentation Activities	PATRICK F OSS
15	2/1	10:20-11:50	遠隔授業 (同期型)	Review	Special Session	PATRICK F OSS

授業方法

Skills Instruction and Practice

授業内容

Week 1: Orientation

Weeks 2-13: Skills Instruction and Continuous Assessment

Weeks 14 and 15: Review and/or Final Assessment

Detailed class contents will be determined based on the needs of the class and are subject to change.

成績評価の方法

評価: participation 20% presentation assignments 20% written assignments 60%

再評価: 有(再評価方法「英語」としての学年末課題)

・上記のパーセンテージは、「英語 d」についての評価方法です。「英語」は abcd の4クラスの成績を合わせて最終的な成績を算出します。

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習等についての具体的な指示

Attendance and participation are both essential.

試験の受験資格

「英語」は a,b,c,d の4クラスの成績を合わせて最終的な成績を算出します。4クラスすべての履修は必須です。再評価の対象となるのは、英語 abcd の各クラスに原則として3分の2以上出席した者です。ただし、4クラスのうち3クラス以上で60点未満の成績がついた者には原則として再評価の機会を与えません。

履修上の注意事項

出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先させます。

参照ホームページ

Visit <http://www.tmd.ac.jp/artsci/eng/> for more information about instructors.

時間割番号	000104																																																																																																											
科目名	英語 d	科目ID	LA-115204-Z																																																																																																									
担当教員	畔柳 和代[KUROYANAGI KAZUYO]																																																																																																											
開講時期	2022 年度後期	対象年次	1																																																																																																									
実務経験のある教員による授業																																																																																																												
<p>・曜日・限: 水曜2限</p> <p>・対象学科: 医学科・歯学科</p> <p>・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):</p> <p>別表3-1)</p> <p>別表3-4)</p> <p>別表4-5)</p>																																																																																																												
<p>授業の目的、概要等</p> <p>Depending on the particular class, students will read English on a wide variety of topics, including literary works, articles from newspapers and journals, non-fiction and fiction. Students will also write in English on a variety of themes. Students in some classes may give formal presentations based on their written work and other class activities.</p> <p>The primary goals of these courses are to improve English reading and writing skills.</p>																																																																																																												
<p>授業の到達目標</p> <p>To improve the ability to read different types of written works effectively.</p> <p>To enlarge vocabulary not only for reading but also for writing.</p> <p>To improve writing abilities at the sentence-level and beyond, depending on proficiency.</p> <p>以下の3点を満たすことが、B評価(70点以上)の必要条件として要求される。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 授業内で課される課題や試験等について、原則としてすべて、期限内に所定の形式で受験または提出すること。 2. 教員から返却される添削ファイルおよびコメントを受けて自らの英語の問題点を客観的に把握し、修正してより良いものに仕上げる。 3. 授業および添削・コメントから得た知見を次回以降の課題作成、またはクラス内活動に参加の際に活かすこと。 <p>なお、英語分野では学期の折り返し地点で全学生に中間成績を通知している。</p>																																																																																																												
<p>授業計画</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>講義室</th> <th>授業題目</th> <th>授業内容</th> <th>担当教員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>10/5</td> <td>10:20-11:50</td> <td></td> <td>Guidance</td> <td>Course Introduction</td> <td>畔柳 和代</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>10/19</td> <td>10:20-11:50</td> <td></td> <td>Reading Material 1</td> <td>Reading and Writing Practice</td> <td>畔柳 和代</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>10/26</td> <td>10:20-11:50</td> <td></td> <td>Reading Material 2</td> <td>Reading and Writing Practice</td> <td>畔柳 和代</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>11/2</td> <td>10:20-11:50</td> <td></td> <td>Reading Material 3</td> <td>Reading and Writing Practice</td> <td>畔柳 和代</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>11/9</td> <td>10:20-11:50</td> <td></td> <td>Reading Material 4</td> <td>Reading and Writing Practice</td> <td>畔柳 和代</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>11/16</td> <td>10:20-11:50</td> <td></td> <td>Reading Material 5</td> <td>Reading and Writing Practice</td> <td>畔柳 和代</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>11/30</td> <td>10:20-11:50</td> <td></td> <td>Reading Material 6</td> <td>Reading and Writing Practice</td> <td>畔柳 和代</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>12/7</td> <td>10:20-11:50</td> <td></td> <td>Reading Material 7</td> <td>Reading and Writing Practice</td> <td>畔柳 和代</td> </tr> <tr> <td>9</td> <td>12/14</td> <td>10:20-11:50</td> <td></td> <td>Reading Material 8</td> <td>Reading and Writing Practice</td> <td>畔柳 和代</td> </tr> <tr> <td>10</td> <td>12/21</td> <td>10:20-11:50</td> <td></td> <td>Reading Material 9</td> <td>Reading and Writing Practice</td> <td>畔柳 和代</td> </tr> <tr> <td>11</td> <td>1/4</td> <td>10:20-11:50</td> <td></td> <td>Reading Material 10</td> <td>Reading and Writing Practice</td> <td>畔柳 和代</td> </tr> <tr> <td>12</td> <td>1/11</td> <td>10:20-11:50</td> <td></td> <td>Reading Material 11</td> <td>Reading and Writing Practice</td> <td>畔柳 和代</td> </tr> <tr> <td>13</td> <td>1/18</td> <td>10:20-11:50</td> <td></td> <td>Reading Material 12</td> <td>Reading and Writing Practice</td> <td>畔柳 和代</td> </tr> <tr> <td>14</td> <td>1/25</td> <td>10:20-11:50</td> <td></td> <td>Short Assignments</td> <td>Reading and Writing Practice</td> <td>畔柳 和代</td> </tr> </tbody> </table>				回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	1	10/5	10:20-11:50		Guidance	Course Introduction	畔柳 和代	2	10/19	10:20-11:50		Reading Material 1	Reading and Writing Practice	畔柳 和代	3	10/26	10:20-11:50		Reading Material 2	Reading and Writing Practice	畔柳 和代	4	11/2	10:20-11:50		Reading Material 3	Reading and Writing Practice	畔柳 和代	5	11/9	10:20-11:50		Reading Material 4	Reading and Writing Practice	畔柳 和代	6	11/16	10:20-11:50		Reading Material 5	Reading and Writing Practice	畔柳 和代	7	11/30	10:20-11:50		Reading Material 6	Reading and Writing Practice	畔柳 和代	8	12/7	10:20-11:50		Reading Material 7	Reading and Writing Practice	畔柳 和代	9	12/14	10:20-11:50		Reading Material 8	Reading and Writing Practice	畔柳 和代	10	12/21	10:20-11:50		Reading Material 9	Reading and Writing Practice	畔柳 和代	11	1/4	10:20-11:50		Reading Material 10	Reading and Writing Practice	畔柳 和代	12	1/11	10:20-11:50		Reading Material 11	Reading and Writing Practice	畔柳 和代	13	1/18	10:20-11:50		Reading Material 12	Reading and Writing Practice	畔柳 和代	14	1/25	10:20-11:50		Short Assignments	Reading and Writing Practice	畔柳 和代
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員																																																																																																						
1	10/5	10:20-11:50		Guidance	Course Introduction	畔柳 和代																																																																																																						
2	10/19	10:20-11:50		Reading Material 1	Reading and Writing Practice	畔柳 和代																																																																																																						
3	10/26	10:20-11:50		Reading Material 2	Reading and Writing Practice	畔柳 和代																																																																																																						
4	11/2	10:20-11:50		Reading Material 3	Reading and Writing Practice	畔柳 和代																																																																																																						
5	11/9	10:20-11:50		Reading Material 4	Reading and Writing Practice	畔柳 和代																																																																																																						
6	11/16	10:20-11:50		Reading Material 5	Reading and Writing Practice	畔柳 和代																																																																																																						
7	11/30	10:20-11:50		Reading Material 6	Reading and Writing Practice	畔柳 和代																																																																																																						
8	12/7	10:20-11:50		Reading Material 7	Reading and Writing Practice	畔柳 和代																																																																																																						
9	12/14	10:20-11:50		Reading Material 8	Reading and Writing Practice	畔柳 和代																																																																																																						
10	12/21	10:20-11:50		Reading Material 9	Reading and Writing Practice	畔柳 和代																																																																																																						
11	1/4	10:20-11:50		Reading Material 10	Reading and Writing Practice	畔柳 和代																																																																																																						
12	1/11	10:20-11:50		Reading Material 11	Reading and Writing Practice	畔柳 和代																																																																																																						
13	1/18	10:20-11:50		Reading Material 12	Reading and Writing Practice	畔柳 和代																																																																																																						
14	1/25	10:20-11:50		Short Assignments	Reading and Writing Practice	畔柳 和代																																																																																																						

15	2/1	10:20-11:50	Review	Suggestions and Comments	畔柳 和代
授業方法					
Skills Instruction and Practice					
授業内容					
Week 1: Orientation					
Weeks 2-13: Skills Instruction and Continuous Assessment					
Weeks 14 and 15: Review and/or Final Assessment					
Detailed class contents will be determined based on the needs of the class and are subject to change.					
成績評価の方法					
評価: participation:25%, quizzes and response papers: 35%, assignments: 40%					
再評価: 有 (再評価方法:「英語」としての学年末課題)					
・上記のパーセンテージは、「英語 d」についての評価方法です。「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績(90%)と学年末に行われる oral test の成績(10%)を合わせて最終的な成績を算出します。					
成績評価の基準					
「東京医科歯科大学全学共通履修規則 別表2」による					
準備学習等についての具体的な指示					
Attendance and participation are both essential.					
試験の受験資格					
「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績を合わせて最終的な成績を算出します。4 クラスすべての履修は必須です。再評価の対象となるのは、英語 abcd の各クラスに原則として3分の2以上出席した者です。ただし、4クラスのうち3クラス以上で 60 点未満の成績がついた者には原則として再評価の機会を与えません。					
履修上の注意事項					
出欠管理システムの記録より、教員がとる出席を優先させます。					
参照ホームページ					
Visit http://www.tmd.ac.jp/artsci/engl/ for more information about instructors.					
連絡先(メールアドレス)					
kuroyanagi.las@tmd.ac.jp					
オフィスアワー					
毎週木曜日 12:30-13:00 管理研究棟3階畔柳研究室					

時間割番号	000105			
科目名	英語 c	科目ID	LA-115203-Z	
担当教員	JEANETTE DENNISSON[JEANETTE DENNISSON]			
開講時期	2022 年度後期	対象年次	1	
実務経験のある教員による授業				
<ul style="list-style-type: none"> ・曜日・時間:水曜 2 限 ・対象学科:医学科・歯学科 ・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): <ul style="list-style-type: none"> 別表3-1) 別表3-4) 別表4-5) 				
授業の目的、概要等				
<p>Students will engage in a range of conversation activities (e.g. in pairs or small groups) and in speech/presentation activities to develop better English listening and speaking skills. New vocabulary will also be introduced. Particular grammatical structures will occasionally be targeted. Readings may be used in particular classes as bases for discussion.</p> <p>The primary goals of this course are to improve English speaking and listening skills.</p>				
授業の到達目標				
<p>To develop the ability to engage in extended discussions in English, without long pauses, on a range of topics without using dictionaries.</p> <p>To improve the ability to speak in front of others using English.</p>				
授業計画				
回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	10/5	10:20-11:50		JEANETTE DENNISSON
2	10/19	10:20-11:50		JEANETTE DENNISSON
3	10/26	10:20-11:50		JEANETTE DENNISSON
4	11/2	10:20-11:50		JEANETTE DENNISSON
5	11/9	10:20-11:50		JEANETTE DENNISSON
6	11/16	10:20-11:50		JEANETTE DENNISSON
7	11/30	10:20-11:50		JEANETTE DENNISSON
8	12/7	10:20-11:50		JEANETTE DENNISSON
9	12/14	10:20-11:50		JEANETTE DENNISSON
10	12/21	10:20-11:50		JEANETTE DENNISSON
11	1/4	10:20-11:50		JEANETTE DENNISSON
12	1/11	10:20-11:50		JEANETTE DENNISSON
13	1/18	10:20-11:50		JEANETTE DENNISSON
14	1/25	10:20-11:50		JEANETTE DENNISSON
15	2/1	10:20-11:50		JEANETTE DENNISSON
授業方法				
Skills Instruction and Practice				
授業内容				
1週目: Orientation				
2-11 週目: Skills Instruction and Continuous Assessment				
12-15 週目: Review and/or Final Assessment				

Detailed class contents will be determined based on the needs of the class and are subject to change.
Detailed class contents will be determined based on the needs of the class and are subject to change.
<p>成績評価の方法</p> <p>評価: Participation: 30% assignments: 30% discussion tests: 40%</p> <p>再評価: 有(再評価方法「英語」としての学年末課題)</p> <p>・上記のパーセンテージは、「英語 a」についての評価方法です。「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績を合わせて最終的な成績を算出します。</p> <p>以下の 3 点を満たすことが、B 評価(70 点以上)の必要条件として要求される。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 授業内で課される課題や試験等について、原則としてすべて、期限内に所定の形式で受験または提出すること。 2. 教員から返却される添削ファイルおよびコメントを受けて自らの英語の問題点を客観的に把握し、修正してより良いものに仕上げる。 3. 授業および添削・コメントから得た知見を次回以降の課題作成、またはクラス内活動に参加の際に活かすこと。 <p>なお、英語分野では学期の折り返し時点で全学生に中間成績を通知している。</p>
<p>成績評価の基準</p> <p>「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による</p>
<p>準備学習等についての具体的な指示</p> <p>Attendance and participation are both essential.</p>
<p>試験の受験資格</p> <p>「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績を合わせて最終的な成績を算出します。4 クラスすべての履修は必須です。再評価の対象となるのは、英語 abcd の各クラスに原則として3分の2以上出席した者です。ただし、4クラスのうち3クラス以上で 60 点未満の成績がついた者には原則として再評価の機会を与えません。</p>
<p>履修上の注意事項</p> <p>出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先させます。</p>
<p>備考</p> <p>PC、タブレットなどが必要です。</p> <p>Appropriate Use of Technology Policy: During the lesson you are encouraged to use any form of technology (cell phone, laptop, tablet, etc.) that will a) enhance your learning experience and b) will not negatively affect the learning experience of other students.</p> <p>What is NOT acceptable is the use of technology during class for activities that are unrelated to the course. This includes shopping, watching sports, checking Facebook, emailing anyone, talking, texting, tweeting, playing games, watching movies or TV not assigned in class, or doing work that is due in another class.</p>
<p>参照ホームページ</p> <p>「Google ドライブ」を使用する。「Google アカウント」が必要です。</p>
<p>連絡先(メールアドレス)</p> <p>dennisson.las@tmd.ac.jp</p>
<p>オフィスアワー</p> <p>Wednesday/Thursday 12:30 – 13:00 PM 管理研究棟3階</p>

時間割番号	000106																																																																																																																		
科目名	英語 d	科目ID	LA-115204-Z																																																																																																																
担当教員	猪熊 恵子[INOKUMA KEIKO]																																																																																																																		
開講時期	2022 年度後期	対象年次	1																																																																																																																
実務経験のある教員による授業																																																																																																																			
<p>・曜日・時間:水曜1限</p> <p>・対象学科:保健衛生学科 口腔保健学科</p> <p>・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 別表3-4) 別表4-5)</p>																																																																																																																			
<p>授業の目的、概要等</p> <p>Depending on the particular class, students will read English on a wide variety of topics, including literary works, articles from newspapers and journals, non-fiction and fiction. Students will also write in English on a variety of themes. Students in some classes may give formal presentations based on their written work and other class activities.</p> <p>The primary goals of these courses are to improve English reading and writing skills.</p>																																																																																																																			
<p>授業の到達目標</p> <p>To improve the ability to read different types of written works effectively.</p> <p>To enlarge vocabulary not only for reading but also for writing.</p> <p>To improve writing abilities at the sentence-level and beyond, depending on proficiency.</p> <p>以下の3点を満たすことが、B評価(70点以上)の必要条件として要求される。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 授業内で課される課題や試験等について、原則としてすべて、期限内に所定の形式で受験または提出すること。 2. 教員から返却される添削ファイルおよびコメントを受けて自らの英語の問題点を客観的に把握し、修正してより良いものに仕上げる事。 3. 授業および添削・コメントから得た知見を次回以降の課題作成、またはクラス内活動に参加の際に活かすこと。 <p>なお、英語分野では学期の折り返し地点で全学生に中間成績を通知している。</p>																																																																																																																			
<p>授業計画</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>講義室</th> <th>授業題目</th> <th>授業内容</th> <th>担当教員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td>10/5</td><td>08:40-10:10</td><td></td><td>Guidance</td><td>Course Introduction</td><td>猪熊 恵子</td></tr> <tr><td>2</td><td>10/19</td><td>08:40-10:10</td><td></td><td>Reading Material 1</td><td>Reading and Writing Practice</td><td>猪熊 恵子</td></tr> <tr><td>3</td><td>10/26</td><td>08:40-10:10</td><td></td><td>Reading Material 2</td><td>Reading and Writing Practice</td><td>猪熊 恵子</td></tr> <tr><td>4</td><td>11/2</td><td>08:40-10:10</td><td></td><td>Reading Material 3</td><td>Reading and Writing Practice</td><td>猪熊 恵子</td></tr> <tr><td>5</td><td>11/9</td><td>08:40-10:10</td><td></td><td>Reading Material 4</td><td>Reading and Writing Practice</td><td>猪熊 恵子</td></tr> <tr><td>6</td><td>11/16</td><td>08:40-10:10</td><td></td><td>Reading Material 5</td><td>Reading and Writing Practice</td><td>猪熊 恵子</td></tr> <tr><td>7</td><td>11/30</td><td>08:40-10:10</td><td></td><td>Reading Material 6</td><td>Reading and Writing Practice</td><td>猪熊 恵子</td></tr> <tr><td>8</td><td>12/7</td><td>08:40-10:10</td><td></td><td>Reading Material 7</td><td>Reading and Writing Practice</td><td>猪熊 恵子</td></tr> <tr><td>9</td><td>12/14</td><td>08:40-10:10</td><td></td><td>Reading Material 8</td><td>Reading and Writing Practice</td><td>猪熊 恵子</td></tr> <tr><td>10</td><td>12/21</td><td>08:40-10:10</td><td></td><td>Reading Material 9</td><td>Reading and Writing Practice</td><td>猪熊 恵子</td></tr> <tr><td>11</td><td>1/4</td><td>08:40-10:10</td><td></td><td>Reading Material 10</td><td>Reading and Writing Practice</td><td>猪熊 恵子</td></tr> <tr><td>12</td><td>1/11</td><td>08:40-10:10</td><td></td><td>Reading Material 11</td><td>Reading and Writing Practice</td><td>猪熊 恵子</td></tr> <tr><td>13</td><td>1/18</td><td>08:40-10:10</td><td></td><td>Reading Material 12</td><td>Reading and Writing Practice</td><td>猪熊 恵子</td></tr> <tr><td>14</td><td>1/25</td><td>08:40-10:10</td><td></td><td>Review</td><td>Finish Writing Final Essays</td><td>猪熊 恵子</td></tr> <tr><td>15</td><td>2/1</td><td>08:40-10:10</td><td></td><td>Feedback</td><td>Return Graded Essays</td><td>猪熊 恵子</td></tr> </tbody> </table>				回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	1	10/5	08:40-10:10		Guidance	Course Introduction	猪熊 恵子	2	10/19	08:40-10:10		Reading Material 1	Reading and Writing Practice	猪熊 恵子	3	10/26	08:40-10:10		Reading Material 2	Reading and Writing Practice	猪熊 恵子	4	11/2	08:40-10:10		Reading Material 3	Reading and Writing Practice	猪熊 恵子	5	11/9	08:40-10:10		Reading Material 4	Reading and Writing Practice	猪熊 恵子	6	11/16	08:40-10:10		Reading Material 5	Reading and Writing Practice	猪熊 恵子	7	11/30	08:40-10:10		Reading Material 6	Reading and Writing Practice	猪熊 恵子	8	12/7	08:40-10:10		Reading Material 7	Reading and Writing Practice	猪熊 恵子	9	12/14	08:40-10:10		Reading Material 8	Reading and Writing Practice	猪熊 恵子	10	12/21	08:40-10:10		Reading Material 9	Reading and Writing Practice	猪熊 恵子	11	1/4	08:40-10:10		Reading Material 10	Reading and Writing Practice	猪熊 恵子	12	1/11	08:40-10:10		Reading Material 11	Reading and Writing Practice	猪熊 恵子	13	1/18	08:40-10:10		Reading Material 12	Reading and Writing Practice	猪熊 恵子	14	1/25	08:40-10:10		Review	Finish Writing Final Essays	猪熊 恵子	15	2/1	08:40-10:10		Feedback	Return Graded Essays	猪熊 恵子
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員																																																																																																													
1	10/5	08:40-10:10		Guidance	Course Introduction	猪熊 恵子																																																																																																													
2	10/19	08:40-10:10		Reading Material 1	Reading and Writing Practice	猪熊 恵子																																																																																																													
3	10/26	08:40-10:10		Reading Material 2	Reading and Writing Practice	猪熊 恵子																																																																																																													
4	11/2	08:40-10:10		Reading Material 3	Reading and Writing Practice	猪熊 恵子																																																																																																													
5	11/9	08:40-10:10		Reading Material 4	Reading and Writing Practice	猪熊 恵子																																																																																																													
6	11/16	08:40-10:10		Reading Material 5	Reading and Writing Practice	猪熊 恵子																																																																																																													
7	11/30	08:40-10:10		Reading Material 6	Reading and Writing Practice	猪熊 恵子																																																																																																													
8	12/7	08:40-10:10		Reading Material 7	Reading and Writing Practice	猪熊 恵子																																																																																																													
9	12/14	08:40-10:10		Reading Material 8	Reading and Writing Practice	猪熊 恵子																																																																																																													
10	12/21	08:40-10:10		Reading Material 9	Reading and Writing Practice	猪熊 恵子																																																																																																													
11	1/4	08:40-10:10		Reading Material 10	Reading and Writing Practice	猪熊 恵子																																																																																																													
12	1/11	08:40-10:10		Reading Material 11	Reading and Writing Practice	猪熊 恵子																																																																																																													
13	1/18	08:40-10:10		Reading Material 12	Reading and Writing Practice	猪熊 恵子																																																																																																													
14	1/25	08:40-10:10		Review	Finish Writing Final Essays	猪熊 恵子																																																																																																													
15	2/1	08:40-10:10		Feedback	Return Graded Essays	猪熊 恵子																																																																																																													
<p>授業方法</p> <p>Skills Instruction and Practice</p>																																																																																																																			

授業内容

Week 1: Orientation

Weeks 2-13: Skills Instruction and Continuous Assessment

Week 14 and 15: Review and/or Final Assessment

Detailed class contents will be determined based on the needs of the class and are subject to change.

成績評価の方法

評価: class participation:30%, writing assignments + quizzes:40%, in-class exam or final essay:30%

再評価: 有(再評価方法 「英語」としての学年末課題)

・上記のパーセンテージは、「英語 d」についての評価方法です。「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績を合わせて最終的な成績を算出します。

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習等についての具体的な指示

Attendance and participation are both essential.

試験の受験資格

「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績を合わせて最終的な成績を算出します。4 クラスすべての履修は必須です。再評価の対象となるのは、英語 abcd の各クラスに原則として3分の2以上出席した者です。ただし、4クラスのうち3クラス以上で 60 点未満の成績がついた者には原則として再評価の機会を与えません。

履修上の注意事項

出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先させます。

参照ホームページ

Visit <http://www.tmd.ac.jp/artsci/eng/> for more information about instructors.

時間割番号	000107																																																																																																																		
科目名	英語 d	科目ID	LA-115204-Z																																																																																																																
担当教員	猪熊 恵子[INOKUMA KEIKO]																																																																																																																		
開講時期	2022 年度後期	対象年次	1																																																																																																																
実務経験のある教員による授業																																																																																																																			
<p>・曜日・時間:水曜2限</p> <p>・対象学科:医学科 歯学科</p> <p>・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 別表3-4) 別表4-5)</p>																																																																																																																			
<p>授業の目的、概要等</p> <p>Depending on the particular class, students will read English on a wide variety of topics, including literary works, articles from newspapers and journals, non-fiction and fiction. Students will also write in English on a variety of themes. Students in some classes may give formal presentations based on their written work and other class activities.</p> <p>The primary goals of these courses are to improve English reading and writing skills.</p>																																																																																																																			
<p>授業の到達目標</p> <p>To improve the ability to read different types of written works effectively.</p> <p>To enlarge vocabulary not only for reading but also for writing.</p> <p>To improve writing abilities at the sentence-level and beyond, depending on proficiency.</p> <p>以下の3点を満たすことが、B評価(70点以上)の必要条件として要求される。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 授業内で課される課題や試験等について、原則としてすべて、期限内に所定の形式で受験または提出すること。 2. 教員から返却される添削ファイルおよびコメントを受けて自らの英語の問題点を客観的に把握し、修正してより良いものに仕上げる。 3. 授業および添削・コメントから得た知見を次回以降の課題作成、またはクラス内活動に参加の際に活かすこと。 <p>なお、英語分野では学期の折り返し地点で全学生に中間成績を通知している。</p>																																																																																																																			
<p>授業計画</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>講義室</th> <th>授業題目</th> <th>授業内容</th> <th>担当教員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td>10/5</td><td>10:20-11:50</td><td></td><td>Guidance</td><td>Course Introduction</td><td>猪熊 恵子</td></tr> <tr><td>2</td><td>10/19</td><td>10:20-11:50</td><td></td><td>Reading Material 1</td><td>Reading and Writing Practice</td><td>猪熊 恵子</td></tr> <tr><td>3</td><td>10/26</td><td>10:20-11:50</td><td></td><td>Reading Material 2</td><td>Reading and Writing Practice</td><td>猪熊 恵子</td></tr> <tr><td>4</td><td>11/2</td><td>10:20-11:50</td><td></td><td>Reading Material 3</td><td>Reading and Writing Practice</td><td>猪熊 恵子</td></tr> <tr><td>5</td><td>11/9</td><td>10:20-11:50</td><td></td><td>Reading Material 4</td><td>Reading and Writing Practice</td><td>猪熊 恵子</td></tr> <tr><td>6</td><td>11/16</td><td>10:20-11:50</td><td></td><td>Reading Material 5</td><td>Reading and Writing Practice</td><td>猪熊 恵子</td></tr> <tr><td>7</td><td>11/30</td><td>10:20-11:50</td><td></td><td>Reading Material 6</td><td>Reading and Writing Practice</td><td>猪熊 恵子</td></tr> <tr><td>8</td><td>12/7</td><td>10:20-11:50</td><td></td><td>Reading Material 7</td><td>Reading and Writing Practice</td><td>猪熊 恵子</td></tr> <tr><td>9</td><td>12/14</td><td>10:20-11:50</td><td></td><td>Reading Material 8</td><td>Reading and Writing Practice</td><td>猪熊 恵子</td></tr> <tr><td>10</td><td>12/21</td><td>10:20-11:50</td><td></td><td>Reading Material 9</td><td>Reading and Writing Practice</td><td>猪熊 恵子</td></tr> <tr><td>11</td><td>1/4</td><td>10:20-11:50</td><td></td><td>Reading Material 10</td><td>Reading and Writing Practice</td><td>猪熊 恵子</td></tr> <tr><td>12</td><td>1/11</td><td>10:20-11:50</td><td></td><td>Reading Material 11</td><td>Reading and Writing Practice</td><td>猪熊 恵子</td></tr> <tr><td>13</td><td>1/18</td><td>10:20-11:50</td><td></td><td>Reading Material 12</td><td>Reading and Writing Practice</td><td>猪熊 恵子</td></tr> <tr><td>14</td><td>1/25</td><td>10:20-11:50</td><td></td><td>Review</td><td>Finish Writing Final Essays</td><td>猪熊 恵子</td></tr> <tr><td>15</td><td>2/1</td><td>10:20-11:50</td><td></td><td>Feedback</td><td>Return Graded Essays</td><td>猪熊 恵子</td></tr> </tbody> </table>				回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	1	10/5	10:20-11:50		Guidance	Course Introduction	猪熊 恵子	2	10/19	10:20-11:50		Reading Material 1	Reading and Writing Practice	猪熊 恵子	3	10/26	10:20-11:50		Reading Material 2	Reading and Writing Practice	猪熊 恵子	4	11/2	10:20-11:50		Reading Material 3	Reading and Writing Practice	猪熊 恵子	5	11/9	10:20-11:50		Reading Material 4	Reading and Writing Practice	猪熊 恵子	6	11/16	10:20-11:50		Reading Material 5	Reading and Writing Practice	猪熊 恵子	7	11/30	10:20-11:50		Reading Material 6	Reading and Writing Practice	猪熊 恵子	8	12/7	10:20-11:50		Reading Material 7	Reading and Writing Practice	猪熊 恵子	9	12/14	10:20-11:50		Reading Material 8	Reading and Writing Practice	猪熊 恵子	10	12/21	10:20-11:50		Reading Material 9	Reading and Writing Practice	猪熊 恵子	11	1/4	10:20-11:50		Reading Material 10	Reading and Writing Practice	猪熊 恵子	12	1/11	10:20-11:50		Reading Material 11	Reading and Writing Practice	猪熊 恵子	13	1/18	10:20-11:50		Reading Material 12	Reading and Writing Practice	猪熊 恵子	14	1/25	10:20-11:50		Review	Finish Writing Final Essays	猪熊 恵子	15	2/1	10:20-11:50		Feedback	Return Graded Essays	猪熊 恵子
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員																																																																																																													
1	10/5	10:20-11:50		Guidance	Course Introduction	猪熊 恵子																																																																																																													
2	10/19	10:20-11:50		Reading Material 1	Reading and Writing Practice	猪熊 恵子																																																																																																													
3	10/26	10:20-11:50		Reading Material 2	Reading and Writing Practice	猪熊 恵子																																																																																																													
4	11/2	10:20-11:50		Reading Material 3	Reading and Writing Practice	猪熊 恵子																																																																																																													
5	11/9	10:20-11:50		Reading Material 4	Reading and Writing Practice	猪熊 恵子																																																																																																													
6	11/16	10:20-11:50		Reading Material 5	Reading and Writing Practice	猪熊 恵子																																																																																																													
7	11/30	10:20-11:50		Reading Material 6	Reading and Writing Practice	猪熊 恵子																																																																																																													
8	12/7	10:20-11:50		Reading Material 7	Reading and Writing Practice	猪熊 恵子																																																																																																													
9	12/14	10:20-11:50		Reading Material 8	Reading and Writing Practice	猪熊 恵子																																																																																																													
10	12/21	10:20-11:50		Reading Material 9	Reading and Writing Practice	猪熊 恵子																																																																																																													
11	1/4	10:20-11:50		Reading Material 10	Reading and Writing Practice	猪熊 恵子																																																																																																													
12	1/11	10:20-11:50		Reading Material 11	Reading and Writing Practice	猪熊 恵子																																																																																																													
13	1/18	10:20-11:50		Reading Material 12	Reading and Writing Practice	猪熊 恵子																																																																																																													
14	1/25	10:20-11:50		Review	Finish Writing Final Essays	猪熊 恵子																																																																																																													
15	2/1	10:20-11:50		Feedback	Return Graded Essays	猪熊 恵子																																																																																																													
<p>授業方法</p> <p>Skills Instruction and Practice</p>																																																																																																																			

授業内容

Week 1: Orientation

Weeks 2-13: Skills Instruction and Continuous Assessment

Week 14 and 15: Review and/or Final Assessment

Detailed class contents will be determined based on the needs of the class and are subject to change.

成績評価の方法

評価: class participation:30%, writing assignments + quizzes:40%, in-class exam or final essay:30%

再評価: 有(再評価方法 「英語」としての学年末課題)

・上記のパーセンテージは、「英語 d」についての評価方法です。「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績を合わせて最終的な成績を算出します。

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習等についての具体的な指示

Attendance and participation are both essential.

試験の受験資格

「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績を合わせて最終的な成績を算出します。4 クラスすべての履修は必須です。再評価の対象となるのは、英語 abcd の各クラスに原則として3分の2以上出席した者です。ただし、4クラスのうち3クラス以上で 60 点未満の成績がついた者には原則として再評価の機会を与えません。

履修上の注意事項

出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先させます。

参照ホームページ

Visit <http://www.tmd.ac.jp/artsci/eng/> for more information about instructors.

時間割番号	000108																																																																																																											
科目名	英語 d	科目ID	LA-115204-Z																																																																																																									
担当教員	畔柳 和代[KUROYANAGI KAZUYO]																																																																																																											
開講時期	2022 年度後期	対象年次	1																																																																																																									
実務経験のある教員による授業																																																																																																												
<ul style="list-style-type: none"> ・曜日・限: 水曜1限 ・対象学科: 保健衛生学科 口腔保健学科 ・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): <ul style="list-style-type: none"> 別表3-1) 別表3-4) 別表4-5) 																																																																																																												
授業の目的、概要等 Depending on the particular class, students will read English on a wide variety of topics, including literary works, articles from newspapers and journals, non-fiction and fiction. Students will also write in English on a variety of themes. Students in some classes may give formal presentations based on their written work and other class activities. The primary goals of these courses are to improve English reading and writing skills.																																																																																																												
授業の到達目標 To improve the ability to read different types of written works effectively. To enlarge vocabulary not only for reading but also for writing. To improve writing abilities at the sentence-level and beyond, depending on proficiency. 以下の3点を満たすことが、B評価(70点以上)の必要条件として要求される。 <ol style="list-style-type: none"> 1. 授業内で課される課題や試験等について、原則としてすべて、期限内に所定の形式で受験または提出すること。 2. 教員から返却される添削ファイルおよびコメントを受けて自らの英語の問題点を客観的に把握し、修正してより良いものに仕上げる 3. 授業および添削・コメントから得た知見を次回以降の課題作成、またはクラス内活動に参加の際に活かすこと。 なお、英語分野では学期の折り返し地点で全学生に中間成績を通知している。																																																																																																												
授業計画 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>講義室</th> <th>授業題目</th> <th>授業内容</th> <th>担当教員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td>10/5</td><td>08:40-10:10</td><td></td><td>Guidance</td><td>Course Introduction</td><td>畔柳 和代</td></tr> <tr><td>2</td><td>10/19</td><td>08:40-10:10</td><td></td><td>Reading Material 1</td><td>Reading and Writing Practice</td><td>畔柳 和代</td></tr> <tr><td>3</td><td>10/26</td><td>08:40-10:10</td><td></td><td>Reading Material 2</td><td>Reading and Writing Practice</td><td>畔柳 和代</td></tr> <tr><td>4</td><td>11/2</td><td>08:40-10:10</td><td></td><td>Reading Material 3</td><td>Reading and Writing Practice</td><td>畔柳 和代</td></tr> <tr><td>5</td><td>11/9</td><td>08:40-10:10</td><td></td><td>Reading Material 4</td><td>Reading and Writing Practice</td><td>畔柳 和代</td></tr> <tr><td>6</td><td>11/16</td><td>08:40-10:10</td><td></td><td>Reading Material 5</td><td>Reading and Writing Practice</td><td>畔柳 和代</td></tr> <tr><td>7</td><td>11/30</td><td>08:40-10:10</td><td></td><td>Reading Material 6</td><td>Reading and Writing Practice</td><td>畔柳 和代</td></tr> <tr><td>8</td><td>12/7</td><td>08:40-10:10</td><td></td><td>Reading Material 7</td><td>Reading and Writing Practice</td><td>畔柳 和代</td></tr> <tr><td>9</td><td>12/14</td><td>08:40-10:10</td><td></td><td>Reading Material 8</td><td>Reading and Writing Practice</td><td>畔柳 和代</td></tr> <tr><td>10</td><td>12/21</td><td>08:40-10:10</td><td></td><td>Reading Material 9</td><td>Reading and Writing Practice</td><td>畔柳 和代</td></tr> <tr><td>11</td><td>1/4</td><td>08:40-10:10</td><td></td><td>Reading Material 10</td><td>Reading and Writing Practice</td><td>畔柳 和代</td></tr> <tr><td>12</td><td>1/11</td><td>08:40-10:10</td><td></td><td>Reading Material 11</td><td>Reading and Writing Practice</td><td>畔柳 和代</td></tr> <tr><td>13</td><td>1/18</td><td>08:40-10:10</td><td></td><td>Reading Material 12</td><td>Reading and Writing Practice</td><td>畔柳 和代</td></tr> <tr><td>14</td><td>1/25</td><td>08:40-10:10</td><td></td><td>Short Assignments</td><td>Reading and Writing Practice</td><td>畔柳 和代</td></tr> </tbody> </table>				回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	1	10/5	08:40-10:10		Guidance	Course Introduction	畔柳 和代	2	10/19	08:40-10:10		Reading Material 1	Reading and Writing Practice	畔柳 和代	3	10/26	08:40-10:10		Reading Material 2	Reading and Writing Practice	畔柳 和代	4	11/2	08:40-10:10		Reading Material 3	Reading and Writing Practice	畔柳 和代	5	11/9	08:40-10:10		Reading Material 4	Reading and Writing Practice	畔柳 和代	6	11/16	08:40-10:10		Reading Material 5	Reading and Writing Practice	畔柳 和代	7	11/30	08:40-10:10		Reading Material 6	Reading and Writing Practice	畔柳 和代	8	12/7	08:40-10:10		Reading Material 7	Reading and Writing Practice	畔柳 和代	9	12/14	08:40-10:10		Reading Material 8	Reading and Writing Practice	畔柳 和代	10	12/21	08:40-10:10		Reading Material 9	Reading and Writing Practice	畔柳 和代	11	1/4	08:40-10:10		Reading Material 10	Reading and Writing Practice	畔柳 和代	12	1/11	08:40-10:10		Reading Material 11	Reading and Writing Practice	畔柳 和代	13	1/18	08:40-10:10		Reading Material 12	Reading and Writing Practice	畔柳 和代	14	1/25	08:40-10:10		Short Assignments	Reading and Writing Practice	畔柳 和代
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員																																																																																																						
1	10/5	08:40-10:10		Guidance	Course Introduction	畔柳 和代																																																																																																						
2	10/19	08:40-10:10		Reading Material 1	Reading and Writing Practice	畔柳 和代																																																																																																						
3	10/26	08:40-10:10		Reading Material 2	Reading and Writing Practice	畔柳 和代																																																																																																						
4	11/2	08:40-10:10		Reading Material 3	Reading and Writing Practice	畔柳 和代																																																																																																						
5	11/9	08:40-10:10		Reading Material 4	Reading and Writing Practice	畔柳 和代																																																																																																						
6	11/16	08:40-10:10		Reading Material 5	Reading and Writing Practice	畔柳 和代																																																																																																						
7	11/30	08:40-10:10		Reading Material 6	Reading and Writing Practice	畔柳 和代																																																																																																						
8	12/7	08:40-10:10		Reading Material 7	Reading and Writing Practice	畔柳 和代																																																																																																						
9	12/14	08:40-10:10		Reading Material 8	Reading and Writing Practice	畔柳 和代																																																																																																						
10	12/21	08:40-10:10		Reading Material 9	Reading and Writing Practice	畔柳 和代																																																																																																						
11	1/4	08:40-10:10		Reading Material 10	Reading and Writing Practice	畔柳 和代																																																																																																						
12	1/11	08:40-10:10		Reading Material 11	Reading and Writing Practice	畔柳 和代																																																																																																						
13	1/18	08:40-10:10		Reading Material 12	Reading and Writing Practice	畔柳 和代																																																																																																						
14	1/25	08:40-10:10		Short Assignments	Reading and Writing Practice	畔柳 和代																																																																																																						

15	2/1	08:40-10:10	Review	Suggestions and Comments	畔柳 和代
授業方法					
Skills Instruction and Practice					
授業内容					
Week 1: Orientation					
Weeks 2-13: Skills Instruction and Continuous Assessment					
Weeks 14 and 15: Review and/or Final Assessment					
Detailed class contents will be determined based on the needs of the class and are subject to change.					
成績評価の方法					
評価: participation:25%, quizzes and response papers: 35%, assignments: 40%					
再評価: 有 (再評価方法:「英語」としての学年末課題)					
・上記のパーセンテージは「英語 d」についての評価方法です。「英語」は abcd の4クラスの成績を合わせて最終的な成績を算出します。					
成績評価の基準					
「東京医科歯科大学全学共通履修規則 別表2」による					
準備学習等についての具体的な指示					
Attendance and participation are both essential.					
試験の受験資格					
「英語」は ab,c,d の 4 クラスの成績を合わせて最終的な成績を算出します。4 クラスすべての履修は必須です。再評価の対象となるのは、英語 abcd の各クラスに原則として3分の2以上出席した者です。ただし、4クラスのうち3クラス以上で 60 点未満の成績がついた者には原則として再評価の機会を与えません。					
履修上の注意事項					
出欠管理システムの記録より、教員がとる出席を優先させます。					
参照ホームページ					
Visit http://www.tmd.ac.jp/artsci/engl/ for more information about instructors.					
連絡先(メールアドレス)					
kuroyanagi.las@tmd.ac.jp					
オフィスアワー					
毎週木曜日 12:30-13:00 管理研究棟3階畔柳研究室					

時間割番号	000109																																																																																																																		
科目名	英語 d	科目ID	LA-115204-Z																																																																																																																
担当教員	猪熊 恵子[INOKUMA KEIKO]																																																																																																																		
開講時期	2022 年度後期	対象年次	1																																																																																																																
実務経験のある教員による授業																																																																																																																			
<p>・曜日・時間: 木曜1限</p> <p>・対象学科: 保健衛生学科 口腔保健学科</p> <p>・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 別表3-4) 別表4-5)</p>																																																																																																																			
<p>授業の目的、概要等</p> <p>Depending on the particular class, students will read English on a wide variety of topics, including literary works, articles from newspapers and journals, non-fiction and fiction. Students will also write in English on a variety of themes. Students in some classes may give formal presentations based on their written work and other class activities.</p> <p>The primary goals of these courses are to improve English reading and writing skills.</p>																																																																																																																			
<p>授業の到達目標</p> <p>To improve the ability to read different types of written works effectively.</p> <p>To enlarge vocabulary not only for reading but also for writing.</p> <p>To improve writing abilities at the sentence-level and beyond, depending on proficiency.</p> <p>以下の3点を満たすことが、B評価(70点以上)の必要条件として要求される。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 授業内で課される課題や試験等について、原則としてすべて、期限内に所定の形式で受験または提出すること。 2. 教員から返却される添削ファイルおよびコメントを受けて自らの英語の問題点を客観的に把握し、修正してより良いものに仕上げること。 3. 授業および添削・コメントから得た知見を次回以降の課題作成、またはクラス内活動に参加の際に活かすこと。 <p>なお、英語分野では学期の折り返し地点で全学生に中間成績を通知している。</p>																																																																																																																			
<p>授業計画</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>講義室</th> <th>授業題目</th> <th>授業内容</th> <th>担当教員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td>10/6</td><td>09:10-10:40</td><td></td><td>Guidance</td><td>Course Introduction</td><td>猪熊 恵子</td></tr> <tr><td>2</td><td>10/13</td><td>09:10-10:40</td><td></td><td>Reading Material 1</td><td>Reading and Writing Practice</td><td>猪熊 恵子</td></tr> <tr><td>3</td><td>10/20</td><td>09:10-10:40</td><td></td><td>Reading Material 2</td><td>Reading and Writing Practice</td><td>猪熊 恵子</td></tr> <tr><td>4</td><td>10/27</td><td>09:10-10:40</td><td></td><td>Reading Material 3</td><td>Reading and Writing Practice</td><td>猪熊 恵子</td></tr> <tr><td>5</td><td>11/10</td><td>09:10-10:40</td><td></td><td>Reading Material 4</td><td>Reading and Writing Practice</td><td>猪熊 恵子</td></tr> <tr><td>6</td><td>11/17</td><td>09:10-10:40</td><td></td><td>Reading Material 5</td><td>Reading and Writing Practice</td><td>猪熊 恵子</td></tr> <tr><td>7</td><td>11/24</td><td>09:10-10:40</td><td></td><td>Reading Material 6</td><td>Reading and Writing Practice</td><td>猪熊 恵子</td></tr> <tr><td>8</td><td>12/1</td><td>09:10-10:40</td><td></td><td>Reading Material 7</td><td>Reading and Writing Practice</td><td>猪熊 恵子</td></tr> <tr><td>9</td><td>12/8</td><td>09:10-10:40</td><td></td><td>Reading Material 8</td><td>Reading and Writing Practice</td><td>猪熊 恵子</td></tr> <tr><td>10</td><td>12/15</td><td>09:10-10:40</td><td></td><td>Reading Material 9</td><td>Reading and Writing Practice</td><td>猪熊 恵子</td></tr> <tr><td>11</td><td>12/22</td><td>09:10-10:40</td><td></td><td>Reading Material 10</td><td>Reading and Writing Practice</td><td>猪熊 恵子</td></tr> <tr><td>12</td><td>1/5</td><td>09:10-10:40</td><td></td><td>Reading Material 11</td><td>Reading and Writing Practice</td><td>猪熊 恵子</td></tr> <tr><td>13</td><td>1/12</td><td>09:10-10:40</td><td></td><td>Reading Material 12</td><td>Reading and Writing Practice</td><td>猪熊 恵子</td></tr> <tr><td>14</td><td>1/19</td><td>09:10-10:40</td><td></td><td>Review</td><td>Finish Writing Final Essays</td><td>猪熊 恵子</td></tr> <tr><td>15</td><td>1/26</td><td>09:10-10:40</td><td></td><td>Feedback</td><td>Return Graded Essays</td><td>猪熊 恵子</td></tr> </tbody> </table>				回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	1	10/6	09:10-10:40		Guidance	Course Introduction	猪熊 恵子	2	10/13	09:10-10:40		Reading Material 1	Reading and Writing Practice	猪熊 恵子	3	10/20	09:10-10:40		Reading Material 2	Reading and Writing Practice	猪熊 恵子	4	10/27	09:10-10:40		Reading Material 3	Reading and Writing Practice	猪熊 恵子	5	11/10	09:10-10:40		Reading Material 4	Reading and Writing Practice	猪熊 恵子	6	11/17	09:10-10:40		Reading Material 5	Reading and Writing Practice	猪熊 恵子	7	11/24	09:10-10:40		Reading Material 6	Reading and Writing Practice	猪熊 恵子	8	12/1	09:10-10:40		Reading Material 7	Reading and Writing Practice	猪熊 恵子	9	12/8	09:10-10:40		Reading Material 8	Reading and Writing Practice	猪熊 恵子	10	12/15	09:10-10:40		Reading Material 9	Reading and Writing Practice	猪熊 恵子	11	12/22	09:10-10:40		Reading Material 10	Reading and Writing Practice	猪熊 恵子	12	1/5	09:10-10:40		Reading Material 11	Reading and Writing Practice	猪熊 恵子	13	1/12	09:10-10:40		Reading Material 12	Reading and Writing Practice	猪熊 恵子	14	1/19	09:10-10:40		Review	Finish Writing Final Essays	猪熊 恵子	15	1/26	09:10-10:40		Feedback	Return Graded Essays	猪熊 恵子
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員																																																																																																													
1	10/6	09:10-10:40		Guidance	Course Introduction	猪熊 恵子																																																																																																													
2	10/13	09:10-10:40		Reading Material 1	Reading and Writing Practice	猪熊 恵子																																																																																																													
3	10/20	09:10-10:40		Reading Material 2	Reading and Writing Practice	猪熊 恵子																																																																																																													
4	10/27	09:10-10:40		Reading Material 3	Reading and Writing Practice	猪熊 恵子																																																																																																													
5	11/10	09:10-10:40		Reading Material 4	Reading and Writing Practice	猪熊 恵子																																																																																																													
6	11/17	09:10-10:40		Reading Material 5	Reading and Writing Practice	猪熊 恵子																																																																																																													
7	11/24	09:10-10:40		Reading Material 6	Reading and Writing Practice	猪熊 恵子																																																																																																													
8	12/1	09:10-10:40		Reading Material 7	Reading and Writing Practice	猪熊 恵子																																																																																																													
9	12/8	09:10-10:40		Reading Material 8	Reading and Writing Practice	猪熊 恵子																																																																																																													
10	12/15	09:10-10:40		Reading Material 9	Reading and Writing Practice	猪熊 恵子																																																																																																													
11	12/22	09:10-10:40		Reading Material 10	Reading and Writing Practice	猪熊 恵子																																																																																																													
12	1/5	09:10-10:40		Reading Material 11	Reading and Writing Practice	猪熊 恵子																																																																																																													
13	1/12	09:10-10:40		Reading Material 12	Reading and Writing Practice	猪熊 恵子																																																																																																													
14	1/19	09:10-10:40		Review	Finish Writing Final Essays	猪熊 恵子																																																																																																													
15	1/26	09:10-10:40		Feedback	Return Graded Essays	猪熊 恵子																																																																																																													
<p>授業方法</p> <p>Skills Instruction and Practice</p>																																																																																																																			

授業内容

Week 1: Orientation

Weeks 2-13: Skills Instruction and Continuous Assessment

Week 14 and 15: Review and/or Final Assessment

Detailed class contents will be determined based on the needs of the class and are subject to change.

成績評価の方法

評価: class participation:30%, assignments + quizzes:40%, in-class exam or final essay:30%

再評価: 有(再評価方法 「英語」としての学年末課題)

・上記のパーセンテージは、「英語 d」についての評価方法です。「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績を合わせて最終的な成績を算出します。

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習等についての具体的な指示

Attendance and participation are both essential.

試験の受験資格

「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績を合わせて最終的な成績を算出します。4 クラスすべての履修は必須です。再評価の対象となるのは、英語 abcd の各クラスに原則として3分の2以上出席した者です。ただし、4クラスのうち3クラス以上で 60 点未満の成績がついた者には原則として再評価の機会を与えません。

履修上の注意事項

出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先させます。

参照ホームページ

Visit <http://www.tmd.ac.jp/artsci/eng/> for more information about instructors.

時間割番号	000110																																																																																																											
科目名	英語 d	科目ID	LA-115204-Z																																																																																																									
担当教員	畔柳 和代[KUROYANAGI KAZUYO]																																																																																																											
開講時期	2022 年度後期	対象年次	1																																																																																																									
実務経験のある教員による授業																																																																																																												
<p>・曜日・限: 木曜1限</p> <p>・対象学科: 医学科・歯学科</p> <p>・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):</p> <p>別表3-1)</p> <p>別表3-4)</p> <p>別表4-5)</p>																																																																																																												
<p>授業の目的、概要等</p> <p>Depending on the particular class, students will read English on a wide variety of topics, including literary works, articles from newspapers and journals, non-fiction and fiction. Students will also write in English on a variety of themes. Students in some classes may give formal presentations based on their written work and other class activities.</p> <p>The primary goals of these courses are to improve English reading and writing skills.</p>																																																																																																												
<p>授業の到達目標</p> <p>To improve the ability to read different types of written works effectively.</p> <p>To enlarge vocabulary not only for reading but also for writing.</p> <p>To improve writing abilities at the sentence-level and beyond, depending on proficiency.</p> <p>以下の3点を満たすことが、B評価(70点以上)の必要条件として要求される。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 授業内で課される課題や試験等について、原則としてすべて、期限内に所定の形式で受験または提出すること。 2. 教員から返却される添削ファイルおよびコメントを受けて自らの英語の問題点を客観的に把握し、修正してより良いものに仕上げる。 3. 授業および添削・コメントから得た知見を次回以降の課題作成、またはクラス内活動に参加の際に活かすこと。 <p>なお、英語分野では学期の折り返し地点で全学生に中間成績を通知している。</p>																																																																																																												
<p>授業計画</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>講義室</th> <th>授業題目</th> <th>授業内容</th> <th>担当教員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>10/6</td> <td>09:10-10:40</td> <td></td> <td>Guidance</td> <td>Course Introduction</td> <td>畔柳 和代</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>10/13</td> <td>09:10-10:40</td> <td></td> <td>Reading Material 1</td> <td>Reading and Writing Practice</td> <td>畔柳 和代</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>10/20</td> <td>09:10-10:40</td> <td></td> <td>Reading Material 2</td> <td>Reading and Writing Practice</td> <td>畔柳 和代</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>10/27</td> <td>09:10-10:40</td> <td></td> <td>Reading Material 3</td> <td>Reading and Writing Practice</td> <td>畔柳 和代</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>11/10</td> <td>09:10-10:40</td> <td></td> <td>Reading Material 4</td> <td>Reading and Writing Practice</td> <td>畔柳 和代</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>11/17</td> <td>09:10-10:40</td> <td></td> <td>Reading Material 5</td> <td>Reading and Writing Practice</td> <td>畔柳 和代</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>11/24</td> <td>09:10-10:40</td> <td></td> <td>Reading Material 6</td> <td>Reading and Writing Practice</td> <td>畔柳 和代</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>12/1</td> <td>09:10-10:40</td> <td></td> <td>Reading Material 7</td> <td>Reading and Writing Practice</td> <td>畔柳 和代</td> </tr> <tr> <td>9</td> <td>12/8</td> <td>09:10-10:40</td> <td></td> <td>Reading Material 8</td> <td>Reading and Writing Practice</td> <td>畔柳 和代</td> </tr> <tr> <td>10</td> <td>12/15</td> <td>09:10-10:40</td> <td></td> <td>Reading Material 9</td> <td>Reading and Writing Practice</td> <td>畔柳 和代</td> </tr> <tr> <td>11</td> <td>12/22</td> <td>09:10-10:40</td> <td></td> <td>Reading Material 10</td> <td>Reading and Writing Practice</td> <td>畔柳 和代</td> </tr> <tr> <td>12</td> <td>1/5</td> <td>09:10-10:40</td> <td></td> <td>Reading Material 11</td> <td>Reading and Writing Practice</td> <td>畔柳 和代</td> </tr> <tr> <td>13</td> <td>1/12</td> <td>09:10-10:40</td> <td></td> <td>Reading Material 12</td> <td>Reading and Writing Practice</td> <td>畔柳 和代</td> </tr> <tr> <td>14</td> <td>1/19</td> <td>09:10-10:40</td> <td></td> <td>Short Assignments</td> <td>Reading and Writing Practice</td> <td>畔柳 和代</td> </tr> </tbody> </table>				回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	1	10/6	09:10-10:40		Guidance	Course Introduction	畔柳 和代	2	10/13	09:10-10:40		Reading Material 1	Reading and Writing Practice	畔柳 和代	3	10/20	09:10-10:40		Reading Material 2	Reading and Writing Practice	畔柳 和代	4	10/27	09:10-10:40		Reading Material 3	Reading and Writing Practice	畔柳 和代	5	11/10	09:10-10:40		Reading Material 4	Reading and Writing Practice	畔柳 和代	6	11/17	09:10-10:40		Reading Material 5	Reading and Writing Practice	畔柳 和代	7	11/24	09:10-10:40		Reading Material 6	Reading and Writing Practice	畔柳 和代	8	12/1	09:10-10:40		Reading Material 7	Reading and Writing Practice	畔柳 和代	9	12/8	09:10-10:40		Reading Material 8	Reading and Writing Practice	畔柳 和代	10	12/15	09:10-10:40		Reading Material 9	Reading and Writing Practice	畔柳 和代	11	12/22	09:10-10:40		Reading Material 10	Reading and Writing Practice	畔柳 和代	12	1/5	09:10-10:40		Reading Material 11	Reading and Writing Practice	畔柳 和代	13	1/12	09:10-10:40		Reading Material 12	Reading and Writing Practice	畔柳 和代	14	1/19	09:10-10:40		Short Assignments	Reading and Writing Practice	畔柳 和代
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員																																																																																																						
1	10/6	09:10-10:40		Guidance	Course Introduction	畔柳 和代																																																																																																						
2	10/13	09:10-10:40		Reading Material 1	Reading and Writing Practice	畔柳 和代																																																																																																						
3	10/20	09:10-10:40		Reading Material 2	Reading and Writing Practice	畔柳 和代																																																																																																						
4	10/27	09:10-10:40		Reading Material 3	Reading and Writing Practice	畔柳 和代																																																																																																						
5	11/10	09:10-10:40		Reading Material 4	Reading and Writing Practice	畔柳 和代																																																																																																						
6	11/17	09:10-10:40		Reading Material 5	Reading and Writing Practice	畔柳 和代																																																																																																						
7	11/24	09:10-10:40		Reading Material 6	Reading and Writing Practice	畔柳 和代																																																																																																						
8	12/1	09:10-10:40		Reading Material 7	Reading and Writing Practice	畔柳 和代																																																																																																						
9	12/8	09:10-10:40		Reading Material 8	Reading and Writing Practice	畔柳 和代																																																																																																						
10	12/15	09:10-10:40		Reading Material 9	Reading and Writing Practice	畔柳 和代																																																																																																						
11	12/22	09:10-10:40		Reading Material 10	Reading and Writing Practice	畔柳 和代																																																																																																						
12	1/5	09:10-10:40		Reading Material 11	Reading and Writing Practice	畔柳 和代																																																																																																						
13	1/12	09:10-10:40		Reading Material 12	Reading and Writing Practice	畔柳 和代																																																																																																						
14	1/19	09:10-10:40		Short Assignments	Reading and Writing Practice	畔柳 和代																																																																																																						

15	1/26	09:10-10:40	Review	Comments and Suggestions	畔柳 和代
授業方法					
Skills Instruction and Practice					
授業内容					
Week 1: Orientation					
Weeks 2-13: Skills Instruction and Continuous Assessment					
Week 14 and 15: Review and/or Final Assessment					
Detailed class contents will be determined based on the needs of the class and are subject to change.					
成績評価の方法					
評価: participation:25%, quizzes and response papers: 35%, assignments: 40%					
再評価: 有 (再評価方法:「英語」としての学年末課題)					
・上記のパーセンテージは「英語 d」についての評価方法です。「英語」はabcd の4クラスの成績(90%)を合わせて最終的な成績を算出します。					
成績評価の基準					
「東京医科歯科大学全学共通履修規則 別表2」による					
準備学習等についての具体的な指示					
Attendance and participation are both essential.					
試験の受験資格					
英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績を合わせて最終的な成績を算出します。4 クラスすべての履修は必須です。再評価の対象となるのは、英語 abcd の各クラスに原則として3分の2以上出席した者です。ただし、4クラスのうち3クラス以上で 60 点未満の成績がついた者には原則として再評価の機会を与えません。					
履修上の注意事項					
出欠管理システムの記録より、教員がとる出席を優先させます。					
参照ホームページ					
Visit http://www.tmd.ac.jp/artsci/engl/ for more information about instructors.					
連絡先(メールアドレス)					
kuroyanagi.las@tmd.ac.jp					
オフィスアワー					
毎週木曜日 12:30-13:00 管理研究棟3階畔柳研究室					

時間割番号	000111																																																																																																				
科目名	英語 d	科目ID	LA-115204-Z																																																																																																		
担当教員	畔柳 和代[KUROYANAGI KAZUYO]																																																																																																				
開講時期	2022 年度後期	対象年次	1																																																																																																		
実務経験のある教員による授業																																																																																																					
<ul style="list-style-type: none"> ・曜日・限: 木曜2限 ・対象学科: 保健衛生学科 口腔保健学科 ・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): <ul style="list-style-type: none"> 別表3-1) 別表3-4) 別表4-5) 																																																																																																					
授業の目的、概要等 Depending on the particular class, students will read English on a wide variety of topics, including literary works, articles from newspapers and journals, non-fiction and fiction. Students will also write in English on a variety of themes. Students in some classes may give formal presentations based on their written work and other class activities. The primary goals of these courses are to improve English reading and writing skills.																																																																																																					
授業の到達目標 To improve the ability to read different types of written works effectively. To enlarge vocabulary not only for reading but also for writing. To improve writing abilities at the sentence-level and beyond, depending on proficiency. 以下の3点を満たすことが、B評価(70点以上)の必要条件として要求される。 <ol style="list-style-type: none"> 1. 授業内で課される課題や試験等について、原則としてすべて、期限内に所定の形式で受験または提出すること。 2. 教員から返却される添削ファイルおよびコメントを受けて自らの英語の問題点を客観的に把握し、修正してより良いものに仕上げる 3. 授業および添削・コメントから得た知見を次回以降の課題作成、またはクラス内活動に参加の際に活かすこと。 なお、英語分野では学期の折り返し地点で全学生に中間成績を通知している。																																																																																																					
授業計画 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>講義室</th> <th>授業題目</th> <th>授業内容</th> <th>担当教員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td>10/6</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>Guidance</td><td>Course Introduction</td><td>畔柳 和代</td></tr> <tr><td>2</td><td>10/13</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>Reading Material 1</td><td>Reading and Writing Practice</td><td>畔柳 和代</td></tr> <tr><td>3</td><td>10/20</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>Reading Material 2</td><td>Reading and Writing Practice</td><td>畔柳 和代</td></tr> <tr><td>4</td><td>10/27</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>Reading Material 3</td><td>Reading and Writing Practice</td><td>畔柳 和代</td></tr> <tr><td>5</td><td>11/10</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>Reading Material 4</td><td>Reading and Writing Practice</td><td>畔柳 和代</td></tr> <tr><td>6</td><td>11/17</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>Reading Material 5</td><td>Reading and Writing Practice</td><td>畔柳 和代</td></tr> <tr><td>7</td><td>11/24</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>Reading Material 6</td><td>Reading and Writing Practice</td><td>畔柳 和代</td></tr> <tr><td>8</td><td>12/1</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>Reading Material 7</td><td>Reading and Writing Practice</td><td>畔柳 和代</td></tr> <tr><td>9</td><td>12/8</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>Reading Material 8</td><td>Reading and Writing Practice</td><td>畔柳 和代</td></tr> <tr><td>10</td><td>12/15</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>Reading Material 9</td><td>Reading and Writing Practice</td><td>畔柳 和代</td></tr> <tr><td>11</td><td>12/22</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>Reading Material 10</td><td>Reading and Writing Practice</td><td>畔柳 和代</td></tr> <tr><td>12</td><td>1/5</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>Reading Material 11</td><td>Reading and Writing Practice</td><td>畔柳 和代</td></tr> <tr><td>13</td><td>1/12</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>Reading Material 12</td><td>Reading and Writing Practice</td><td>畔柳 和代</td></tr> </tbody> </table>				回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	1	10/6	10:50-12:20		Guidance	Course Introduction	畔柳 和代	2	10/13	10:50-12:20		Reading Material 1	Reading and Writing Practice	畔柳 和代	3	10/20	10:50-12:20		Reading Material 2	Reading and Writing Practice	畔柳 和代	4	10/27	10:50-12:20		Reading Material 3	Reading and Writing Practice	畔柳 和代	5	11/10	10:50-12:20		Reading Material 4	Reading and Writing Practice	畔柳 和代	6	11/17	10:50-12:20		Reading Material 5	Reading and Writing Practice	畔柳 和代	7	11/24	10:50-12:20		Reading Material 6	Reading and Writing Practice	畔柳 和代	8	12/1	10:50-12:20		Reading Material 7	Reading and Writing Practice	畔柳 和代	9	12/8	10:50-12:20		Reading Material 8	Reading and Writing Practice	畔柳 和代	10	12/15	10:50-12:20		Reading Material 9	Reading and Writing Practice	畔柳 和代	11	12/22	10:50-12:20		Reading Material 10	Reading and Writing Practice	畔柳 和代	12	1/5	10:50-12:20		Reading Material 11	Reading and Writing Practice	畔柳 和代	13	1/12	10:50-12:20		Reading Material 12	Reading and Writing Practice	畔柳 和代
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員																																																																																															
1	10/6	10:50-12:20		Guidance	Course Introduction	畔柳 和代																																																																																															
2	10/13	10:50-12:20		Reading Material 1	Reading and Writing Practice	畔柳 和代																																																																																															
3	10/20	10:50-12:20		Reading Material 2	Reading and Writing Practice	畔柳 和代																																																																																															
4	10/27	10:50-12:20		Reading Material 3	Reading and Writing Practice	畔柳 和代																																																																																															
5	11/10	10:50-12:20		Reading Material 4	Reading and Writing Practice	畔柳 和代																																																																																															
6	11/17	10:50-12:20		Reading Material 5	Reading and Writing Practice	畔柳 和代																																																																																															
7	11/24	10:50-12:20		Reading Material 6	Reading and Writing Practice	畔柳 和代																																																																																															
8	12/1	10:50-12:20		Reading Material 7	Reading and Writing Practice	畔柳 和代																																																																																															
9	12/8	10:50-12:20		Reading Material 8	Reading and Writing Practice	畔柳 和代																																																																																															
10	12/15	10:50-12:20		Reading Material 9	Reading and Writing Practice	畔柳 和代																																																																																															
11	12/22	10:50-12:20		Reading Material 10	Reading and Writing Practice	畔柳 和代																																																																																															
12	1/5	10:50-12:20		Reading Material 11	Reading and Writing Practice	畔柳 和代																																																																																															
13	1/12	10:50-12:20		Reading Material 12	Reading and Writing Practice	畔柳 和代																																																																																															

14	1/19	10:50-12:20		Short Assignments	Reading and Writing Practice	畔柳 和代
15	1/26	10:50-12:20		Review	Comments and Suggestions	畔柳 和代
授業方法						
Skills Instruction and Practice						
授業内容						
Week 1: Orientation						
Weeks 2-13: Skills Instruction and Continuous Assessment						
Week 14 and 15: Review and/or Final Assessment						
Detailed class contents will be determined based on the needs of the class and are subject to change.						
成績評価の方法						
評価: participation:25%, quizzes and response papers: 35%, assignments: 40%						
再評価: 有(再評価方法:「英語」としての学年末課題)						
・上記のパーセンテージは「英語 d」についての評価方法です。「英語」は abcd の4クラスの成績を合わせて最終的な成績を算出します。						
成績評価の基準						
「東京医科歯科大学全学共通履修規則 別表2」による						
準備学習等についての具体的な指示						
Attendance and participation are both essential.						
試験の受験資格						
「英語」は a,b,c,d の4クラスの成績(90%)を合わせて最終的な成績を算出します。4クラスすべての履修は必須です。再評価の対象となるのは、英語 abcd の各クラスに原則として3分の2以上出席した者です。ただし、4クラスのうち3クラス以上で 60 点未満の成績がついた者には原則として再評価の機会を与えません。						
履修上の注意事項						
出欠管理システムの記録より、教員がとる出席を優先させます。						
参照ホームページ						
Visit http://www.tmd.ac.jp/artsci/engl/ for more information about instructors.						
連絡先(メールアドレス)						
kuroyanagi.las@tmd.ac.jp						
オフィスアワー						
毎週木曜日 12:30-13:00 管理研究棟3階畔柳研究室						

時間割番号	000112																																																																																																																		
科目名	英語 d	科目ID	LA-115204-Z																																																																																																																
担当教員	猪熊 恵子[INOKUMA KEIKO]																																																																																																																		
開講時期	2022 年度後期	対象年次	1																																																																																																																
実務経験のある教員による授業																																																																																																																			
<ul style="list-style-type: none"> ・曜日・時間: 木曜2限 ・対象学科: 医学科 歯学科 ・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 別表3-4) 別表4-5) 																																																																																																																			
授業の目的、概要等 Depending on the particular class, students will read English on a wide variety of topics, including literary works, articles from newspapers and journals, non-fiction and fiction. Students will also write in English on a variety of themes. Students in some classes may give formal presentations based on their written work and other class activities. The primary goals of these courses are to improve English reading and writing skills.																																																																																																																			
授業の到達目標 To improve the ability to read different types of written works effectively. To enlarge vocabulary not only for reading but also for writing. To improve writing abilities at the sentence-level and beyond, depending on proficiency. 以下の3点を満たすことが、B 評価(70 点以上)の必要条件として要求される。 1. 授業内で課される課題や試験等について、原則としてすべて、期限内に所定の形式で受験または提出すること。 2. 教員から返却される添削ファイルおよびコメントを受けて自らの英語の問題点を客観的に把握し、修正してより良いものに仕上げる事。 3. 授業および添削・コメントから得た知見を次回以降の課題作成、またはクラス内活動に参加の際に活かすこと。 なお、英語分野では学期の折り返し地点で全学生に中間成績を通知している。																																																																																																																			
授業計画 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>講義室</th> <th>授業題目</th> <th>授業内容</th> <th>担当教員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td>10/6</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>Guidance</td><td>Course Introduction</td><td>猪熊 恵子</td></tr> <tr><td>2</td><td>10/13</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>Reading Material 1</td><td>Reading and Writing Practice</td><td>猪熊 恵子</td></tr> <tr><td>3</td><td>10/20</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>Reading Material 2</td><td>Reading and Writing Practice</td><td>猪熊 恵子</td></tr> <tr><td>4</td><td>10/27</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>Reading Material 3</td><td>Reading and Writing Practice</td><td>猪熊 恵子</td></tr> <tr><td>5</td><td>11/10</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>Reading Material 4</td><td>Reading and Writing Practice</td><td>猪熊 恵子</td></tr> <tr><td>6</td><td>11/17</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>Reading Material 5</td><td>Reading and Writing Practice</td><td>猪熊 恵子</td></tr> <tr><td>7</td><td>11/24</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>Reading Material 6</td><td>Reading and Writing Practice</td><td>猪熊 恵子</td></tr> <tr><td>8</td><td>12/1</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>Reading Material 7</td><td>Reading and Writing Practice</td><td>猪熊 恵子</td></tr> <tr><td>9</td><td>12/8</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>Reading Material 8</td><td>Reading and Writing Practice</td><td>猪熊 恵子</td></tr> <tr><td>10</td><td>12/15</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>Reading Material 9</td><td>Reading and Writing Practice</td><td>猪熊 恵子</td></tr> <tr><td>11</td><td>12/22</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>Reading Material 10</td><td>Reading and Writing Practice</td><td>猪熊 恵子</td></tr> <tr><td>12</td><td>1/5</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>Reading Material 11</td><td>Reading and Writing Practice</td><td>猪熊 恵子</td></tr> <tr><td>13</td><td>1/12</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>Reading Material 12</td><td>Reading and Writing Practice</td><td>猪熊 恵子</td></tr> <tr><td>14</td><td>1/19</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>Review</td><td>Finish Writing Final Essays</td><td>猪熊 恵子</td></tr> <tr><td>15</td><td>1/26</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>Feedback</td><td>Return Graded Essays</td><td>猪熊 恵子</td></tr> </tbody> </table>				回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	1	10/6	10:50-12:20		Guidance	Course Introduction	猪熊 恵子	2	10/13	10:50-12:20		Reading Material 1	Reading and Writing Practice	猪熊 恵子	3	10/20	10:50-12:20		Reading Material 2	Reading and Writing Practice	猪熊 恵子	4	10/27	10:50-12:20		Reading Material 3	Reading and Writing Practice	猪熊 恵子	5	11/10	10:50-12:20		Reading Material 4	Reading and Writing Practice	猪熊 恵子	6	11/17	10:50-12:20		Reading Material 5	Reading and Writing Practice	猪熊 恵子	7	11/24	10:50-12:20		Reading Material 6	Reading and Writing Practice	猪熊 恵子	8	12/1	10:50-12:20		Reading Material 7	Reading and Writing Practice	猪熊 恵子	9	12/8	10:50-12:20		Reading Material 8	Reading and Writing Practice	猪熊 恵子	10	12/15	10:50-12:20		Reading Material 9	Reading and Writing Practice	猪熊 恵子	11	12/22	10:50-12:20		Reading Material 10	Reading and Writing Practice	猪熊 恵子	12	1/5	10:50-12:20		Reading Material 11	Reading and Writing Practice	猪熊 恵子	13	1/12	10:50-12:20		Reading Material 12	Reading and Writing Practice	猪熊 恵子	14	1/19	10:50-12:20		Review	Finish Writing Final Essays	猪熊 恵子	15	1/26	10:50-12:20		Feedback	Return Graded Essays	猪熊 恵子
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員																																																																																																													
1	10/6	10:50-12:20		Guidance	Course Introduction	猪熊 恵子																																																																																																													
2	10/13	10:50-12:20		Reading Material 1	Reading and Writing Practice	猪熊 恵子																																																																																																													
3	10/20	10:50-12:20		Reading Material 2	Reading and Writing Practice	猪熊 恵子																																																																																																													
4	10/27	10:50-12:20		Reading Material 3	Reading and Writing Practice	猪熊 恵子																																																																																																													
5	11/10	10:50-12:20		Reading Material 4	Reading and Writing Practice	猪熊 恵子																																																																																																													
6	11/17	10:50-12:20		Reading Material 5	Reading and Writing Practice	猪熊 恵子																																																																																																													
7	11/24	10:50-12:20		Reading Material 6	Reading and Writing Practice	猪熊 恵子																																																																																																													
8	12/1	10:50-12:20		Reading Material 7	Reading and Writing Practice	猪熊 恵子																																																																																																													
9	12/8	10:50-12:20		Reading Material 8	Reading and Writing Practice	猪熊 恵子																																																																																																													
10	12/15	10:50-12:20		Reading Material 9	Reading and Writing Practice	猪熊 恵子																																																																																																													
11	12/22	10:50-12:20		Reading Material 10	Reading and Writing Practice	猪熊 恵子																																																																																																													
12	1/5	10:50-12:20		Reading Material 11	Reading and Writing Practice	猪熊 恵子																																																																																																													
13	1/12	10:50-12:20		Reading Material 12	Reading and Writing Practice	猪熊 恵子																																																																																																													
14	1/19	10:50-12:20		Review	Finish Writing Final Essays	猪熊 恵子																																																																																																													
15	1/26	10:50-12:20		Feedback	Return Graded Essays	猪熊 恵子																																																																																																													
授業方法 Skills Instruction and Practice																																																																																																																			

授業内容

Week 1: Orientation

Weeks 2-13: Skills Instruction and Continuous Assessment

Week 14 and 15: Review and/or Final Assessment

Detailed class contents will be determined based on the needs of the class and are subject to change.

成績評価の方法

評価: class participation:30%, assignments + quizzes:40%, in-class exam or final essay:30%

再評価: 有(再評価方法 「英語」としての学年末課題)

・上記のパーセンテージは、「英語 d」についての評価方法です。「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績を合わせて最終的な成績を算出します。

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習等についての具体的な指示

Attendance and participation are both essential.

試験の受験資格

「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績を合わせて最終的な成績を算出します。4 クラスすべての履修は必須です。再評価の対象となるのは、英語 abcd の各クラスに原則として3分の2以上出席した者です。ただし、4クラスのうち3クラス以上で 60 点未満の成績がついた者には原則として再評価の機会を与えません。

履修上の注意事項

出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先させます。

参照ホームページ

Visit <http://www.tmd.ac.jp/artsci/eng/> for more information about instructors.

時間割番号	000113																																																																															
科目名	英語 d	科目ID	LA-115204-Z																																																																													
担当教員	野口 大斗[NOGUCHI Hiroto]																																																																															
開講時期	2022 年度後期	対象年次	1																																																																													
実務経験のある教員による授業																																																																																
<p>・曜日・時間: 木曜1限</p> <p>・対象学科: 保健衛生学科 口腔保健学科</p> <p>・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 別表3-4) 別表4-5)</p> <p>試験の受験資格</p>																																																																																
<p>授業の目的、概要等</p> <p>Depending on the particular class, students will read English on a wide variety of topics, including literary works, articles from newspapers and journals, non-fiction and fiction. Students will also write in English on a variety of themes. Students in some classes may give formal presentations based on their written work and other class activities.</p> <p>The primary goals of this course are to improve English reading and writing skills.</p>																																																																																
<p>授業の到達目標</p> <p>To improve the ability to read different types of written works effectively.</p> <p>To enlarge vocabulary not only for reading but also for writing.</p> <p>To improve writing abilities at the sentence-level and beyond, depending on proficiency.</p> <p>以下の3点を満たすことが、B評価(70点以上)の必要条件として要求される。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 授業内で課される課題や試験等について、原則としてすべて、期限内に所定の形式で受験または提出すること。 2. 教員から返却される添削ファイルおよびコメントを受けて自らの英語の問題点を客観的に把握し、修正してより良いものに仕上げる。 3. 授業および添削・コメントから得た知見を次回以降の課題作成、またはクラス内活動に参加の際に活かすこと。 <p>なお、英語分野では学期の折り返し地点で全学生に中間成績を通知している。</p>																																																																																
<p>授業計画</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>講義室</th> <th>授業題目</th> <th>授業内容</th> <th>担当教員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>10/6</td> <td>09:10-10:40</td> <td>2 番教室</td> <td>Guidance</td> <td>Course Introduction</td> <td>野口 大斗</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>10/13</td> <td>09:10-10:40</td> <td>2 番教室</td> <td>Reading Material 1</td> <td>Reading and Writing Practice</td> <td>野口 大斗</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>10/20</td> <td>09:10-10:40</td> <td>2 番教室</td> <td>Reading Material 2</td> <td>Reading and Writing Practice</td> <td>野口 大斗</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>10/27</td> <td>09:10-10:40</td> <td>2 番教室</td> <td>Reading Material 3</td> <td>Reading and Writing Practice</td> <td>野口 大斗</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>11/10</td> <td>09:10-10:40</td> <td>2 番教室</td> <td>Reading Material 4</td> <td>Reading and Writing Practice</td> <td>野口 大斗</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>11/17</td> <td>09:10-10:40</td> <td>2 番教室</td> <td>Reading Material 5</td> <td>Reading and Writing Practice</td> <td>野口 大斗</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>11/24</td> <td>09:10-10:40</td> <td>2 番教室</td> <td>Reading Material 6</td> <td>Reading and Writing Practice</td> <td>野口 大斗</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>12/1</td> <td>09:10-10:40</td> <td>2 番教室</td> <td>Reading Material 7</td> <td>Reading and Writing Practice</td> <td>野口 大斗</td> </tr> <tr> <td>9</td> <td>12/8</td> <td>09:10-10:40</td> <td>2 番教室</td> <td>Reading Material 8</td> <td>Reading and Writing Practice</td> <td>野口 大斗</td> </tr> <tr> <td>10</td> <td>12/15</td> <td>09:10-10:40</td> <td>2 番教室</td> <td>Reading Material 9</td> <td>Reading and Writing Practice</td> <td>野口 大斗</td> </tr> </tbody> </table>				回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	1	10/6	09:10-10:40	2 番教室	Guidance	Course Introduction	野口 大斗	2	10/13	09:10-10:40	2 番教室	Reading Material 1	Reading and Writing Practice	野口 大斗	3	10/20	09:10-10:40	2 番教室	Reading Material 2	Reading and Writing Practice	野口 大斗	4	10/27	09:10-10:40	2 番教室	Reading Material 3	Reading and Writing Practice	野口 大斗	5	11/10	09:10-10:40	2 番教室	Reading Material 4	Reading and Writing Practice	野口 大斗	6	11/17	09:10-10:40	2 番教室	Reading Material 5	Reading and Writing Practice	野口 大斗	7	11/24	09:10-10:40	2 番教室	Reading Material 6	Reading and Writing Practice	野口 大斗	8	12/1	09:10-10:40	2 番教室	Reading Material 7	Reading and Writing Practice	野口 大斗	9	12/8	09:10-10:40	2 番教室	Reading Material 8	Reading and Writing Practice	野口 大斗	10	12/15	09:10-10:40	2 番教室	Reading Material 9	Reading and Writing Practice	野口 大斗
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員																																																																										
1	10/6	09:10-10:40	2 番教室	Guidance	Course Introduction	野口 大斗																																																																										
2	10/13	09:10-10:40	2 番教室	Reading Material 1	Reading and Writing Practice	野口 大斗																																																																										
3	10/20	09:10-10:40	2 番教室	Reading Material 2	Reading and Writing Practice	野口 大斗																																																																										
4	10/27	09:10-10:40	2 番教室	Reading Material 3	Reading and Writing Practice	野口 大斗																																																																										
5	11/10	09:10-10:40	2 番教室	Reading Material 4	Reading and Writing Practice	野口 大斗																																																																										
6	11/17	09:10-10:40	2 番教室	Reading Material 5	Reading and Writing Practice	野口 大斗																																																																										
7	11/24	09:10-10:40	2 番教室	Reading Material 6	Reading and Writing Practice	野口 大斗																																																																										
8	12/1	09:10-10:40	2 番教室	Reading Material 7	Reading and Writing Practice	野口 大斗																																																																										
9	12/8	09:10-10:40	2 番教室	Reading Material 8	Reading and Writing Practice	野口 大斗																																																																										
10	12/15	09:10-10:40	2 番教室	Reading Material 9	Reading and Writing Practice	野口 大斗																																																																										

11	12/22	09:10-10:40	2 番教室	Reading Material 10	Reading and Writing Practice	野口 大斗
12	1/5	09:10-10:40	2 番教室	Reading Material 11	Reading and Writing Practice	野口 大斗
13	1/12	09:10-10:40	2 番教室	Reading Material 12	Reading and Writing Practice	野口 大斗
14	1/19	09:10-10:40	2 番教室	Reading Material 13	Reading and Writing Practic	野口 大斗
15	1/26	09:10-10:40	2 番教室	Review	In-class Exam	野口 大斗

授業方法

Skills Instruction and Practice

授業内容

Week 1: Orientation

Weeks 2-13: Skills Instruction and Continuous Assessment

Week 14 and 15: Review and/or Final Assessment

Detailed class contents will be determined based on the needs of the class and are subject to change.

成績評価の方法

評価: Participation: 30% In-class exam: 25% End-of-term essay: 15% In-class writing assignments: 15% Quizzes: 15%

再評価: 有(再評価方法 「英語」としての学年末課題)

・上記のパーセンテージは、「英語 d」についての評価方法です。「英語」は abcd の4クラスの成績を合わせて最終的な成績を算出します。

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習等についての具体的な指示

Attendance and participation are both essential.

試験の受験資格

「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績を合わせて最終的な成績を算出します。4 クラスすべての履修は必須です。再評価の対象となるのは、英語 abcd の各クラスに原則として3分の2以上出席した者です。ただし、4クラスのうち3クラス以上で 60 点未満の成績がついた者には原則として再評価の機会を与えません。

履修上の注意事項

出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先させます。

参照ホームページ

Visit <http://www.tmd.ac.jp/artsci/eng/> for more information about instructors.

時間割番号	000114																																																																								
科目名	英語 b	科目 ID	LA-115202-Z																																																																						
担当教員	PATRICK FOSS[PATRICK FOSS]																																																																								
開講時期	2022 年度前期	対象年次	1																																																																						
実務経験のある教員による授業																																																																									
<p>・曜日・時間: 木曜1限</p> <p>・対象: 医学科・歯学科</p> <p>・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 別表3-4) 別表4-5)</p>																																																																									
<p>授業の目的、概要等</p> <p>Students will write in English on a variety of themes. Students will also read and evaluate both student-written and professionally-written passages.</p> <p>The primary goal of this course is to improve English writing skills. A secondary goal is to improve English reading skills.</p>																																																																									
<p>授業の到達目標</p> <p>To improve writing abilities at the sentence-level and beyond, depending on proficiency.</p> <p>To improve the ability to read different types of written works effectively.</p> <p>To enlarge vocabulary not only for reading but also for writing.</p> <p>以下の3点を満たすことが、B評価(70点以上)の必要条件として要求される。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 授業内で課される課題や試験等について、原則としてすべて、期限内に所定の形式で受験または提出すること。 2. 教員から返却される添削ファイルおよびコメントを受けて自らの英語の問題点を客観的に把握し、修正してより良いものに仕上げる 3. 授業および添削・コメントから得た知見を次回以降の課題作成、またはクラス内活動に参加の際に活かすこと。 <p>なお、英語分野では学期の折り返し地点で全学生に中間成績を通知している。</p>																																																																									
<p>授業計画</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>講義室</th> <th>授業題目</th> <th>授業内容</th> <th>担当教員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>4/14</td> <td>09:10-10:40</td> <td>9 番教室</td> <td>Orientation</td> <td>Course Introduction Reading/Writing Activities</td> <td>PATRICK FOSS</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>4/21</td> <td>09:10-10:40</td> <td>9 番教室</td> <td>Paragraphs</td> <td>Reading/Writing Activities</td> <td>PATRICK FOSS</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>4/28</td> <td>09:10-10:40</td> <td>9 番教室</td> <td>Paragraphs</td> <td>Reading/Writing Activities</td> <td>PATRICK FOSS</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>5/12</td> <td>09:10-10:40</td> <td>9 番教室</td> <td>Paragraphs</td> <td>Reading/Writing Activities</td> <td>PATRICK FOSS</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>5/19</td> <td>09:10-10:40</td> <td>9 番教室</td> <td>Essays</td> <td>Reading/Writing Activities</td> <td>PATRICK FOSS</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>5/26</td> <td>09:10-10:40</td> <td>9 番教室</td> <td>Essays</td> <td>Reading/Writing Activities</td> <td>PATRICK FOSS</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>6/2</td> <td>09:10-10:40</td> <td>9 番教室</td> <td>Essays</td> <td>Reading/Writing Activities</td> <td>PATRICK FOSS</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>6/9</td> <td>09:10-10:40</td> <td>9 番教室</td> <td>Critical Analysis</td> <td>Reading/Writing Activities</td> <td>PATRICK FOSS</td> </tr> <tr> <td>9</td> <td>6/16</td> <td>09:10-10:40</td> <td>9 番教室</td> <td>Critical Analysis</td> <td>Reading/Writing Activities</td> <td>PATRICK FOSS</td> </tr> </tbody> </table>				回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	1	4/14	09:10-10:40	9 番教室	Orientation	Course Introduction Reading/Writing Activities	PATRICK FOSS	2	4/21	09:10-10:40	9 番教室	Paragraphs	Reading/Writing Activities	PATRICK FOSS	3	4/28	09:10-10:40	9 番教室	Paragraphs	Reading/Writing Activities	PATRICK FOSS	4	5/12	09:10-10:40	9 番教室	Paragraphs	Reading/Writing Activities	PATRICK FOSS	5	5/19	09:10-10:40	9 番教室	Essays	Reading/Writing Activities	PATRICK FOSS	6	5/26	09:10-10:40	9 番教室	Essays	Reading/Writing Activities	PATRICK FOSS	7	6/2	09:10-10:40	9 番教室	Essays	Reading/Writing Activities	PATRICK FOSS	8	6/9	09:10-10:40	9 番教室	Critical Analysis	Reading/Writing Activities	PATRICK FOSS	9	6/16	09:10-10:40	9 番教室	Critical Analysis	Reading/Writing Activities	PATRICK FOSS
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員																																																																			
1	4/14	09:10-10:40	9 番教室	Orientation	Course Introduction Reading/Writing Activities	PATRICK FOSS																																																																			
2	4/21	09:10-10:40	9 番教室	Paragraphs	Reading/Writing Activities	PATRICK FOSS																																																																			
3	4/28	09:10-10:40	9 番教室	Paragraphs	Reading/Writing Activities	PATRICK FOSS																																																																			
4	5/12	09:10-10:40	9 番教室	Paragraphs	Reading/Writing Activities	PATRICK FOSS																																																																			
5	5/19	09:10-10:40	9 番教室	Essays	Reading/Writing Activities	PATRICK FOSS																																																																			
6	5/26	09:10-10:40	9 番教室	Essays	Reading/Writing Activities	PATRICK FOSS																																																																			
7	6/2	09:10-10:40	9 番教室	Essays	Reading/Writing Activities	PATRICK FOSS																																																																			
8	6/9	09:10-10:40	9 番教室	Critical Analysis	Reading/Writing Activities	PATRICK FOSS																																																																			
9	6/16	09:10-10:40	9 番教室	Critical Analysis	Reading/Writing Activities	PATRICK FOSS																																																																			

10	6/23	09:10-10:40	9 番教室	Critical Analysis	Reading/Writing Activities	PATRICK FOSS
11	6/30	09:10-10:40	9 番教室	Critical Analysis	Reading/Writing Activities	PATRICK FOSS
12	7/7	09:10-10:40	9 番教室	Critical Analysis	Reading/Writing Activities	PATRICK FOSS
13	7/14	09:10-10:40	9 番教室	Integrating Skills	Reading/Writing Activities	PATRICK FOSS
14	7/21	09:10-10:40	9 番教室	Integrating Skills	Reading/Writing Activities	PATRICK FOSS
15	7/28	09:10-10:40	9 番教室	Course Review	Reading/Writing Activities	PATRICK FOSS

授業方法

Skills Instruction and Practice

授業内容

Week 1: Orientation

Weeks 2-13: Skills Instruction and Continuous Assessment

Weeks 14 and 15: Review and/or Final Assessment

Detailed class contents will be determined based on the needs of the class and are subject to change.

成績評価の方法

評価: writing assignments 70% journal 10% participation/quizzes 20%

再評価: 有(再評価方法「英語」としての学年末課題)

・上記のパーセンテージは、「英語b」についての評価方法です。「英語」はabcdの4クラスの成績を合わせて最終的な成績を算出します。

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習等についての具体的な指示

Attendance and participation are both essential.

試験の受験資格

「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績を合わせて最終的な成績を算出します。4 クラスすべての履修は必須です。再評価の対象となるのは、英語 a,b,c,d の各クラスに原則として3分の2以上出席した者です。ただし、4クラスのうち3クラス以上で 60 点未満の成績がついた者には原則として再評価の機会を与えません。

履修上の注意事項

出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先させます。

参照ホームページ

Visit <http://www.tmd.ac.jp/artsci/engl/> for more information about instructors.

時間割番号	000115																																												
科目名	英語 b	科目 ID	LA-115202-Z																																										
担当教員	PATRICK FOSS, Reed Jesse Ryan[PATRICK FOSS, REED Jesse Ryan]																																												
開講時期	2022 年度前期	対象年次	1																																										
実務経験のある教員による授業																																													
<p>・曜日・時間:水曜1限</p> <p>・対象:口腔保健衛生学・看護学</p> <p>・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):</p> <p>別表3-4)</p> <p>別表4-5)</p>																																													
<p>授業の目的、概要等</p> <p>Students will write in English on a variety of themes. Students will also read and evaluate both student-written and professionally-written passages.</p> <p>The primary goal of this course is to improve English writing skills. A secondary goal is to improve English reading skills.</p>																																													
<p>授業の到達目標</p> <p>To improve writing abilities at the sentence-level and beyond, depending on proficiency.</p> <p>To improve the ability to read different types of written works effectively.</p> <p>To enlarge vocabulary not only for reading but also for writing.</p> <p>以下の3点を満たすことが、B評価(70点以上)の必要条件として要求される。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 授業内で課される課題や試験等について、原則としてすべて、期限内に所定の形式で受験または提出すること。 2. 教員から返却される添削ファイルおよびコメントを受けて自らの英語の問題点を客観的に把握し、修正してより良いものに仕上げる 3. 授業および添削・コメントから得た知見を次回以降の課題作成、またはクラス内活動に参加の際に活かすこと。 <p>なお、英語分野では学期の折り返し地点で全学生に中間成績を通知している。</p>																																													
<p>授業計画</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>講義室</th> <th>授業題目</th> <th>授業内容</th> <th>担当教員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>4/13</td> <td>08:40-10:10</td> <td>遠隔授業 (同期型)</td> <td>Orientation</td> <td>Course Introduction Reading/Writing Activities</td> <td>PATRICK FOSS, Reed Jesse Ryan</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>4/20</td> <td>08:40-10:10</td> <td>遠隔授業 (同期型)</td> <td>Paragraphs</td> <td>Reading/Writing Activities</td> <td>PATRICK FOSS, Reed Jesse Ryan</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>4/27</td> <td>08:40-10:10</td> <td>遠隔授業 (同期型)</td> <td>Paragraphs</td> <td>Reading/Writing Activities</td> <td>PATRICK FOSS, Reed Jesse Ryan</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>5/11</td> <td>08:40-10:10</td> <td>遠隔授業 (同期型)</td> <td>Paragraphs</td> <td>Reading/Writing Activities</td> <td>PATRICK FOSS, Reed Jesse Ryan</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>5/18</td> <td>08:40-10:10</td> <td>遠隔授業 (同期型)</td> <td>Essays</td> <td>Reading/Writing Activities</td> <td>PATRICK FOSS, Reed Jesse Ryan</td> </tr> </tbody> </table>				回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	1	4/13	08:40-10:10	遠隔授業 (同期型)	Orientation	Course Introduction Reading/Writing Activities	PATRICK FOSS, Reed Jesse Ryan	2	4/20	08:40-10:10	遠隔授業 (同期型)	Paragraphs	Reading/Writing Activities	PATRICK FOSS, Reed Jesse Ryan	3	4/27	08:40-10:10	遠隔授業 (同期型)	Paragraphs	Reading/Writing Activities	PATRICK FOSS, Reed Jesse Ryan	4	5/11	08:40-10:10	遠隔授業 (同期型)	Paragraphs	Reading/Writing Activities	PATRICK FOSS, Reed Jesse Ryan	5	5/18	08:40-10:10	遠隔授業 (同期型)	Essays	Reading/Writing Activities	PATRICK FOSS, Reed Jesse Ryan
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員																																							
1	4/13	08:40-10:10	遠隔授業 (同期型)	Orientation	Course Introduction Reading/Writing Activities	PATRICK FOSS, Reed Jesse Ryan																																							
2	4/20	08:40-10:10	遠隔授業 (同期型)	Paragraphs	Reading/Writing Activities	PATRICK FOSS, Reed Jesse Ryan																																							
3	4/27	08:40-10:10	遠隔授業 (同期型)	Paragraphs	Reading/Writing Activities	PATRICK FOSS, Reed Jesse Ryan																																							
4	5/11	08:40-10:10	遠隔授業 (同期型)	Paragraphs	Reading/Writing Activities	PATRICK FOSS, Reed Jesse Ryan																																							
5	5/18	08:40-10:10	遠隔授業 (同期型)	Essays	Reading/Writing Activities	PATRICK FOSS, Reed Jesse Ryan																																							

6	5/25	08:40-10:10	遠隔授業 (同期型)	Essays	Reading/Writing Activities	PATRICK FOSS, Reed Jesse Ryan
7	6/1	08:40-10:10	遠隔授業 (同期型)	Essays	Reading/Writing Activities	PATRICK FOSS, Reed Jesse Ryan
8	6/8	08:40-10:10	遠隔授業 (同期型)	Critical Analysis	Reading/Writing Activities	PATRICK FOSS, Reed Jesse Ryan
9	6/15	08:40-10:10	遠隔授業 (同期型)	Critical Analysis	Reading/Writing Activities	PATRICK FOSS, Reed Jesse Ryan
10	6/22	08:40-10:10	遠隔授業 (同期型)	Critical Analysis	Reading/Writing Activities	PATRICK FOSS, Reed Jesse Ryan
11	6/29	08:40-10:10	遠隔授業 (同期型)	Critical Analysis	Reading/Writing Activities	PATRICK FOSS, Reed Jesse Ryan
12	7/6	08:40-10:10	遠隔授業 (同期型)	Critical Analysis	Reading/Writing Activities	PATRICK FOSS, Reed Jesse Ryan
13	7/13	08:40-10:10	遠隔授業 (同期型)	Integrating Skills	Reading/Writing Activities	PATRICK FOSS, Reed Jesse Ryan
14	7/20	08:40-10:10	遠隔授業 (同期型)	Integrating Skills	Reading/Writing Activities	PATRICK FOSS, Reed Jesse Ryan
15	7/27	08:40-10:10	遠隔授業 (同期型)	Course Review	Reading/Writing Activities	PATRICK FOSS, Reed Jesse Ryan

授業方法

Skills Instruction and Practice

授業内容

Week 1: Orientation

Weeks 2-13: Skills Instruction and Continuous Assessment

Weeks 14 and 15: Review and/or Final Assessment

Detailed class contents will be determined based on the needs of the class and are subject to change.

成績評価の方法

評価: writing assignments 70% journal 10% participation/quizzes 20%

再評価: 有(再評価方法「英語」としての学年末課題)

・上記のパーセンテージは、「英語b」についての評価方法です。「英語」はabcdの4クラスの成績を合わせて最終的な成績を算出します。

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習等についての具体的な指示

Attendance and participation are both essential.

試験の受験資格

「英語」は a,b,c,d の4クラスの成績を合わせて最終的な成績を算出します。4クラスすべての履修は必須です。再評価の対象となるのは、英語abcdの各クラスに原則として3分の2以上出席した者です。ただし、4クラスのうち3クラス以上で60点未満の成績がついた者には原則として再評価の機会を与えません。

履修上の注意事項

出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先させます。

参照ホームページ

Visit <http://www.tmd.ac.jp/artsci/eng/> for more information about instructors.

時間割番号	000116																																																			
科目名	英語 c	科目ID	LA-115203-Z																																																	
担当教員	Reed Jesse Ryan[REED Jesse Ryan]																																																			
開講時期	2022 年度後期	対象年次	1																																																	
実務経験のある教員による授業																																																				
<p>・曜日・時間:水曜2限</p> <p>・対象学科:医学科 歯学科</p> <p>・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):</p> <p>別表3-1)</p> <p>別表3-4)</p> <p>別表4-5)</p>																																																				
<p>授業の目的、概要等</p> <p>Students will engage in a range of conversation activities (e.g., in pairs or small groups) and in speech/presentation activities to develop better English listening and speaking skills. New vocabulary will also be introduced. Particular grammatical structures will occasionally be targeted. Readings may be used in particular classes as bases for discussion.</p> <p>The primary goals of this course are to improve English speaking and listening skills.</p>																																																				
<p>授業の到達目標</p> <p>To develop the ability to engage in extended discussions in English, without long pauses, on a range of topics without using dictionaries.</p> <p>To improve the ability to speak in front of others using English.</p> <p>以下の3点を満たすことが、B評価(70点以上)の必要条件として要求される。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 授業内で課される課題や試験等について、原則としてすべて、期限内に所定の形式で受験または提出すること。 2. 教員から返却される添削ファイルおよびコメントを受けて自らの英語の問題点を客観的に把握し、修正してより良いものに仕上げること。 3. 授業および添削・コメントから得た知見を次回以降の課題作成、またはクラス内活動に参加の際に活かすこと。 <p>なお、英語分野では学期の折り返し地点で全学生に中間成績を通知している。</p>																																																				
<p>授業計画</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>講義室</th> <th>授業題目</th> <th>授業内容</th> <th>担当教員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>10/5</td> <td>10:20-11:50</td> <td>遠隔授業 (同期型)</td> <td>Guidance</td> <td>Course Introduction</td> <td>Reed Jesse Ryan</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>10/19</td> <td>10:20-11:50</td> <td>遠隔授業 (同期型)</td> <td>Topic 1</td> <td>Listening and Speaking Activities</td> <td>Reed Jesse Ryan</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>10/26</td> <td>10:20-11:50</td> <td>遠隔授業 (同期型)</td> <td>Topic 2</td> <td>Listening and Speaking Activities</td> <td>Reed Jesse Ryan</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>11/2</td> <td>10:20-11:50</td> <td>遠隔授業 (同期型)</td> <td>Topic 3</td> <td>Listening and Speaking Activities</td> <td>Reed Jesse Ryan</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>11/9</td> <td>10:20-11:50</td> <td>遠隔授業 (同期型)</td> <td>Topic 4</td> <td>Listening and Speaking Activities</td> <td>Reed Jesse Ryan</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>11/16</td> <td>10:20-11:50</td> <td>遠隔授業 (同期型)</td> <td>Topic 5</td> <td>Listening and Speaking Activities</td> <td>Reed Jesse Ryan</td> </tr> </tbody> </table>				回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	1	10/5	10:20-11:50	遠隔授業 (同期型)	Guidance	Course Introduction	Reed Jesse Ryan	2	10/19	10:20-11:50	遠隔授業 (同期型)	Topic 1	Listening and Speaking Activities	Reed Jesse Ryan	3	10/26	10:20-11:50	遠隔授業 (同期型)	Topic 2	Listening and Speaking Activities	Reed Jesse Ryan	4	11/2	10:20-11:50	遠隔授業 (同期型)	Topic 3	Listening and Speaking Activities	Reed Jesse Ryan	5	11/9	10:20-11:50	遠隔授業 (同期型)	Topic 4	Listening and Speaking Activities	Reed Jesse Ryan	6	11/16	10:20-11:50	遠隔授業 (同期型)	Topic 5	Listening and Speaking Activities	Reed Jesse Ryan
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員																																														
1	10/5	10:20-11:50	遠隔授業 (同期型)	Guidance	Course Introduction	Reed Jesse Ryan																																														
2	10/19	10:20-11:50	遠隔授業 (同期型)	Topic 1	Listening and Speaking Activities	Reed Jesse Ryan																																														
3	10/26	10:20-11:50	遠隔授業 (同期型)	Topic 2	Listening and Speaking Activities	Reed Jesse Ryan																																														
4	11/2	10:20-11:50	遠隔授業 (同期型)	Topic 3	Listening and Speaking Activities	Reed Jesse Ryan																																														
5	11/9	10:20-11:50	遠隔授業 (同期型)	Topic 4	Listening and Speaking Activities	Reed Jesse Ryan																																														
6	11/16	10:20-11:50	遠隔授業 (同期型)	Topic 5	Listening and Speaking Activities	Reed Jesse Ryan																																														

7	11/30	10:20-11:50	遠隔授業 (同期型)	Topic 6	Listening and Speaking Activities	Reed Jesse Ryan
8	12/7	10:20-11:50	遠隔授業 (同期型)	Topic 7	Listening and Speaking Activities	Reed Jesse Ryan
9	12/14	10:20-11:50	遠隔授業 (同期型)	Topic 8	Listening and Speaking Activities	Reed Jesse Ryan
10	12/21	10:20-11:50	遠隔授業 (同期型)	Topic 9	Listening and Speaking Activities	Reed Jesse Ryan
11	1/4	10:20-11:50	遠隔授業 (同期型)	Topic 10	Listening and Speaking Activities	Reed Jesse Ryan
12	1/11	10:20-11:50	遠隔授業 (同期型)	Topic 11	Listening and Speaking Activities	Reed Jesse Ryan
13	1/18	10:20-11:50	遠隔授業 (同期型)	Topic 12	Listening and Speaking Activities	Reed Jesse Ryan
14	1/25	10:20-11:50	遠隔授業 (同期型)	Topic 13	Listening and Speaking Activities	Reed Jesse Ryan
15	2/1	10:20-11:50	遠隔授業 (同期型)	Review	Listening and Speaking Activities	Reed Jesse Ryan

授業方法

Skills Instruction and Practice

授業内容

Week 1: Orientation

Weeks 2-13: Skills Instruction and Continuous Assessment

Week 14 and 15: Review and/or Final Assessment

Detailed class contents will be determined based on the needs of the class and are subject to change.

成績評価の方法

評価: participation 40% presentations 25% homework assignments 10% final discussion test 25%

再評価: 有(再評価方法「英語」としての学年末課題)

・上記のパーセンテージは、「英語 c」についての評価方法です。「英語」はabcd の4クラスの成績を合わせて最終的な成績を算出します。

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習等についての具体的な指示

Attendance and participation are both essential.

試験の受験資格

「英語」は a,b,c,d の 4 クラスの成績を合わせて最終的な成績を算出します。4 クラスすべての履修は必須です。再評価の対象となるのは、英語 abcd の各クラスに原則として3分の2以上出席した者です。ただし、4クラスのうち3クラス以上で 60 点未満の成績がついた者には原則として再評価の機会を与えません。

履修上の注意事項

出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先させます。

参照ホームページ

Visit <http://www.tmd.ac.jp/artsci/eng/> for more information about instructors.

時間割番号	000117																																												
科目名	英語 d	科目ID	LA-115204-Z																																										
担当教員	PATRICK FOSS, Reed Jesse Ryan[PATRICK FOSS, REED Jesse Ryan]																																												
開講時期	2022 年度後期	対象年次	1																																										
実務経験のある教員による授業																																													
<p>・曜日・時間:水曜1限</p> <p>・対象:口腔保健衛生学・看護学</p> <p>・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 別表3-4) 別表4-5)</p>																																													
<p>授業の目的、概要等</p> <p>Students will read and write in English on particular topics. Students will also give presentations based on their written work and other class activities.</p> <p>The goals of this course are to improve English reading, writing and presentation skills.</p>																																													
<p>授業の到達目標</p> <p>To improve writing abilities at the sentence-level and beyond, depending on proficiency.</p> <p>To develop the ability to present the results of research-based writing.</p> <p>To improve the ability to read different types of written works effectively.</p> <p>To enlarge vocabulary not only for reading but also for writing.</p> <p>以下の3点を満たすことが、B評価(70点以上)の必要条件として要求される。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 授業内で課される課題や試験等について、原則としてすべて、期限内に所定の形式で受験または提出すること。 2. 教員から返却される添削ファイルおよびコメントを受けて自らの英語の問題点を客観的に把握し、修正してより良いものに仕上げること。 3. 授業および添削・コメントから得た知見を次回以降の課題作成、またはクラス内活動に参加の際に活かすこと。 <p>なお、英語分野では学期の折り返し地点で全学生に中間成績を通知している。</p>																																													
<p>授業計画</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>講義室</th> <th>授業題目</th> <th>授業内容</th> <th>担当教員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>10/5</td> <td>08:40-10:10</td> <td>遠隔授業 (同期型)</td> <td>Orientation</td> <td>Course Introduction</td> <td>PATRICK FOSS, Reed Jesse Ryan</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>10/19</td> <td>08:40-10:10</td> <td>遠隔授業 (同期型)</td> <td>Topic 1 Research Project</td> <td>Reading/Writing/Presentation Activities</td> <td>PATRICK FOSS, Reed Jesse Ryan</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>10/26</td> <td>08:40-10:10</td> <td>遠隔授業 (同期型)</td> <td>Topic 1 Research Project</td> <td>Reading/Writing/Presentation Activities</td> <td>PATRICK FOSS, Reed Jesse Ryan</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>11/2</td> <td>08:40-10:10</td> <td>遠隔授業 (同期型)</td> <td>Topic 2 Research Project</td> <td>Reading/Writing/Presentation Activities</td> <td>PATRICK FOSS, Reed Jesse Ryan</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>11/9</td> <td>08:40-10:10</td> <td>遠隔授業</td> <td>Topic 2 Research</td> <td>Reading/Writing/Presentation</td> <td>PATRICK FOSS, Reed</td> </tr> </tbody> </table>				回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	1	10/5	08:40-10:10	遠隔授業 (同期型)	Orientation	Course Introduction	PATRICK FOSS, Reed Jesse Ryan	2	10/19	08:40-10:10	遠隔授業 (同期型)	Topic 1 Research Project	Reading/Writing/Presentation Activities	PATRICK FOSS, Reed Jesse Ryan	3	10/26	08:40-10:10	遠隔授業 (同期型)	Topic 1 Research Project	Reading/Writing/Presentation Activities	PATRICK FOSS, Reed Jesse Ryan	4	11/2	08:40-10:10	遠隔授業 (同期型)	Topic 2 Research Project	Reading/Writing/Presentation Activities	PATRICK FOSS, Reed Jesse Ryan	5	11/9	08:40-10:10	遠隔授業	Topic 2 Research	Reading/Writing/Presentation	PATRICK FOSS, Reed
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員																																							
1	10/5	08:40-10:10	遠隔授業 (同期型)	Orientation	Course Introduction	PATRICK FOSS, Reed Jesse Ryan																																							
2	10/19	08:40-10:10	遠隔授業 (同期型)	Topic 1 Research Project	Reading/Writing/Presentation Activities	PATRICK FOSS, Reed Jesse Ryan																																							
3	10/26	08:40-10:10	遠隔授業 (同期型)	Topic 1 Research Project	Reading/Writing/Presentation Activities	PATRICK FOSS, Reed Jesse Ryan																																							
4	11/2	08:40-10:10	遠隔授業 (同期型)	Topic 2 Research Project	Reading/Writing/Presentation Activities	PATRICK FOSS, Reed Jesse Ryan																																							
5	11/9	08:40-10:10	遠隔授業	Topic 2 Research	Reading/Writing/Presentation	PATRICK FOSS, Reed																																							

			(同期型)	Project	Activities	Jesse Ryan
6	11/16	08:40-10:10	遠隔授業 (同期型)	Topic 2 Research Project	Reading/Writing/Presentation Activities	PATRICK FOSS, Reed Jesse Ryan
7	11/30	08:40-10:10	遠隔授業 (同期型)	Topic 2 Research Project	Reading/Writing/Presentation Activities	PATRICK FOSS, Reed Jesse Ryan
8	12/7	08:40-10:10	遠隔授業 (同期型)	Topic 3 Research Project	Reading/Writing/Presentation Activities	PATRICK FOSS, Reed Jesse Ryan
9	12/14	08:40-10:10	遠隔授業 (同期型)	Topic 3 Research Project	Reading/Writing/Presentation Activities	PATRICK FOSS, Reed Jesse Ryan
10	12/21	08:40-10:10	遠隔授業 (同期型)	Topic 3 Research Project	Reading/Writing/Presentation Activities	PATRICK FOSS, Reed Jesse Ryan
11	1/4	08:40-10:10	遠隔授業 (同期型)	Topic 3 Research Project	Reading/Writing/Presentation Activities	PATRICK FOSS, Reed Jesse Ryan
12	1/11	08:40-10:10	遠隔授業 (同期型)	Topic 4 Research Project	Reading/Writing/Presentation Activities	PATRICK FOSS, Reed Jesse Ryan
13	1/18	08:40-10:10	遠隔授業 (同期型)	Topic 4 Research Project	Reading/Writing/Presentation Activities	PATRICK FOSS, Reed Jesse Ryan
14	1/25	08:40-10:10	遠隔授業 (同期型)	Topic 4 Research Project	Reading/Writing/Presentation Activities	PATRICK FOSS, Reed Jesse Ryan
15	2/1	08:40-10:10	遠隔授業 (同期型)	Review	Special Session	PATRICK FOSS, Reed Jesse Ryan

授業方法

Skills Instruction and Practice

授業内容

Week 1: Orientation

Weeks 2-13: Skills Instruction and Continuous Assessment

Weeks 14 and 15: Review and/or Final Assessment

Detailed class contents will be determined based on the needs of the class and are subject to change.

成績評価の方法

評価: participation 20% presentation assignments 20% written assignments 60%

再評価: 有(再評価方法「英語」としての学年末課題)

・上記のパーセンテージは、「英語 d」についての評価方法です。「英語」はabcd の4クラスの成績を合わせて最終的な成績を算出します。

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習等についての具体的な指示

Attendance and participation are both essential.

試験の受験資格

「英語」は a,b,c,d の4クラスの成績を合わせて最終的な成績を算出します。4クラスすべての履修は必須です。再評価の対象となるのは、英語 a,b,c,d の各クラスに原則として3分の2以上出席した者です。ただし、4クラスのうち3クラス以上で60点未満の成績がついた者には原則として再評価の機会を与えません。

履修上の注意事項

出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先させます。

参照ホームページ

Visit <http://www.tmd.ac.jp/artsci/eng/> for more information about instructors.

時間割番号	000157				
科目名	日本語	科目ID	LA-115300-Z		
担当教員					
開講時期	2022 年度通年	対象年次	1	単位数	4
実務経験のある教員による授業					
準備学習等についての具体的な指示					

時間割番号	000158			
科目名	日本語 a	科目ID	LA-115301-Z	
担当教員	甲賀 真広[KOUGA Masahiro]			
開講時期	2022 年度前期	対象年次	1	
実務経験のある教員による授業				
曜日・時間:月曜 4 限 科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):3-1、3-2、3-6				
授業の目的、概要等 日本語で書かれた様々なジャンル・スタイルの本を読み議論する。これを通じて、日本の文化や社会について理解を深めるとともに、読解力の向上を目指す。 また、口頭および小論文演習を通じて論理的な表現力の獲得も目指す。				
授業の到達目標 東京医科歯科大学における 4/6 年間の勉学に必要な読解力、口頭表現能力、文章表現能力を身につける。				
授業計画				
回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	4/18	14:50-16:20		甲賀 真広 BAO MIN
2	4/25	14:50-16:20		甲賀 真広 BAO MIN
3	5/2	14:50-16:20		甲賀 真広 BAO MIN
4	5/9	14:50-16:20		甲賀 真広 BAO MIN
5	5/16	14:50-16:20		甲賀 真広 BAO MIN
6	5/23	14:50-16:20		甲賀 真広 BAO MIN
7	5/30	14:50-16:20		甲賀 真広 BAO MIN
8	6/6	14:50-16:20		甲賀 真広 BAO MIN
9	6/13	14:50-16:20		甲賀 真広 BAO MIN
10	6/20	14:50-16:20		甲賀 真広 BAO MIN
11	6/27	14:50-16:20		甲賀 真広 BAO MIN
12	7/4	14:50-16:20		甲賀 真広 BAO MIN
13	7/11	14:50-16:20		甲賀 真広 BAO MIN
14	7/18	14:50-16:20		甲賀 真広 BAO MIN
15	7/25	14:50-16:20		甲賀 真広 BAO MIN
授業方法 講義、読解、ディスカッション、口頭発表、小論文演習				
授業内容 初回の授業で学生の日本語能力を測った上で決める。				
成績評価の方法 評価：試験 % ・ レポート % ・ その他(授業参加) 40% その他(課題) 60% 再評価：有(再評価方法) ・ 無				
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による				
準備学習等についての具体的な指示 宿題は必ず提出して、再提出の指導があった場合は必ず再提出をする。				
試験の受験資格				

期末試験は実施しない。
教科書 特になし
参考書 初回の授業で学生の日本語能力を測った上で提示する。
他科目との関連 日本語は a/b/c/d/の総合点で4 単位まとめて評価する。
履修上の注意事項 遅刻を三回で一回の欠席とする。出欠管理システムより、教員自身が取れる出欠を優先させる。

時間割番号	000159						
科目名	日本語 b	科目ID	LA-115302-Z				
担当教員	甲賀 真広[KOUGA Masahiro]						
開講時期	2022 年度前期	対象年次	1				
実務経験のある教員による授業							
曜日・時間:水曜1限 科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):3-1、3-2、3-6							
授業の目的、概要等 現代日本社会や文化に関する映像を見ながら、ディスカッションを行う。これを通じて、日本・自国を中心に文化や社会について理解を深めるとともに、聴解力の向上を目指す。 また、小論文演習およびプレゼンテーションを通じて論理的な表現力の獲得を目指す。							
授業の到達目標 東京医科歯科大における4/6年間の勉学に必要な聴解力、口頭表現能力、文章表現能力を身につける。							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1	4/18	09:10-10:40		第1回 イントロダクション、発音①	中国語ガイダンス	甲賀 真広 B AO MIN	発音練習
2	4/25	09:10-10:40		第2回 発音②	声調・軽声・単母音	甲賀 真広 B AO MIN	発音練習
3	5/2	09:10-10:40		第3回 発音③	複母音	甲賀 真広 B AO MIN	発音練習、小テスト
4	5/9	09:10-10:40		第4回 発音④	子音①、子音②	甲賀 真広 B AO MIN	発音練習
5	5/16	09:10-10:40		第5回 発音⑤	鼻母音	甲賀 真広 B AO MIN	発音練習
6	5/23	09:10-10:40		第6回 発音⑥	単語を増やそう	甲賀 真広 B AO MIN	発音練習、小テスト
7	5/30	09:10-10:40		第7回 自己紹介①	人称代名詞、名前の聞き方・名乗り方、動詞“是”、副詞“也・都”動詞“是”、副詞“也・都”	甲賀 真広 B AO MIN	
8	6/6	09:10-10:40		第8回 自己紹介②	動詞述語文、指示代名詞、場所代名詞、疑問詞疑問文、連帯修飾語を作る“的”	甲賀 真広 B AO MIN	小テスト、自己紹介発表①
9	6/13	09:10-10:40		第9回 自己紹介③	所在を表す動詞“在”、所有と存在を表す動詞“有”、方位詞①、名詞述語文、文末助詞“了”	甲賀 真広 B AO MIN	自己紹介発表②
10	6/20	09:10-10:40		第10回 お誘い	前置詞“在”、連動文、反復疑問文、年月日・曜日・時刻	甲賀 真広 B AO MIN	
11	6/27	09:10-10:40		第11回 レストラン	選択疑問文、願望を表す助動詞“想”、意志を表す助動詞“要”、省略疑問文、量詞	甲賀 真広 B AO MIN	小テスト
12	7/4	09:10-10:40		第12回 買い物	形容詞述語文、比較、助動詞“能”、“可以”、100以上の数字	甲賀 真広 B AO MIN	
13	7/11	09:10-10:40		第13回 道案内	時点と時量、前置詞“从・到・离”、結果補語、方位詞②	甲賀 真広 B AO MIN	小テスト

14	7/18	09:10-10:40		第14回 趣味に関する 雑談	助動詞“会”、動作の完了を表すア スペクト“了”、様態補語、二重目 的語をとる動詞	甲賀 真広、B AO MIN	
15	7/25	09:10-10:40		第15回 まとめ	前期の復習	甲賀 真広、B AO MIN	
授業方法							
ビデオ(聴解)、ディスカッション、発表							
授業内容							
初回の授業で学生の日本語能力を測った上で決める。							
成績評価の方法							
評価：試験 %・レポート %・その他(授業参加) 40% その他(課題) 60%							
再評価：有(再評価方法)・無							
成績評価の基準							
「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による							
準備学習等についての具体的な指示							
宿題は必ず提出して、再提出の指導があった場合は必ず再提出をする。							
試験の受験資格							
期末試験は実施しない。							
教科書							
特になし							
参考書							
初回の授業で学生の日本語能力を測った上で提示する。							
他科目との関連							
日本語は a/b/c/d/の総合点で4単位まとめて評価する。							
履修上の注意事項							
遅刻を三回で一回の欠席とする。出欠管理システムより、教員自身が取る出欠を優先させる。							

時間割番号	000160		
科目名	日本語 c	科目ID	LA-115303-Z
担当教員	甲賀 真広[KOUGA Masahiro]		
開講時期	2022 年度後期	対象年次	1
実務経験のある教員による授業			
曜日・時間:月曜 4 限 科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):3-1、3-2、3-6			
授業の目的、概要等 日本語で書かれた様々なジャンル・スタイルの本を読み議論する。これを通じて、日本の文化や社会について理解を深めるとともに、読解力の向上を目指す。 また、口頭および小論文演習を通じて論理的な表現力の獲得も目指す。			
授業の到達目標 東京医科歯科大学における 4/6 年間の勉学に必要な読解力、口頭表現能力、文章表現能力を身につける。			
授業計画			
回	日付	時刻	講義室 担当教員
1	10/3	14:50-16:20	甲賀 真広 BAO MIN
2	10/10	14:50-16:20	甲賀 真広 BAO MIN
3	10/17	14:50-16:20	甲賀 真広 BAO MIN
4	10/24	14:50-16:20	甲賀 真広 BAO MIN
5	10/31	14:50-16:20	甲賀 真広 BAO MIN
6	11/7	14:50-16:20	甲賀 真広 BAO MIN
7	11/14	14:50-16:20	甲賀 真広 BAO MIN
8	11/21	14:50-16:20	甲賀 真広 BAO MIN
9	11/28	14:50-16:20	甲賀 真広 BAO MIN
10	12/5	14:50-16:20	甲賀 真広 BAO MIN
11	12/12	14:50-16:20	甲賀 真広 BAO MIN
12	12/19	14:50-16:20	甲賀 真広 BAO MIN
13	1/16	14:50-16:20	甲賀 真広 BAO MIN
14	1/23	14:50-16:20	甲賀 真広 BAO MIN
15	1/30	14:50-16:20	甲賀 真広 BAO MIN
授業方法 講義、読解、ディスカッション、口頭発表、小論文演習			
授業内容 初回の授業で学生の日本語能力を測った上で決める。			
成績評価の方法 評価：試験 % ・ レポート % ・ その他(授業参加) 40% その他(課題) 60% 再評価： 有(再評価方法) ・ 無			
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による			
準備学習等についての具体的な指示 宿題は必ず提出して、再提出の指導があった場合は必ず再提出をする。			
試験の受験資格 期末試験は実施しない。			
教科書 特になし			

参考書

初回の授業で学生の日本語能力を測った上で提示する。

他科目との関連

日本語は a/b/c/d/の総合点で4 単位まとめて評価する。

履修上の注意事項

遅刻を三回で一回の欠席とする。出欠管理システムより、教員自身が取れる出欠を優先させる。

時間割番号	000161		
科目名	日本語 d	科目ID	LA-115304-Z
担当教員	甲賀 真広[KOUGA Masahiro]		
開講時期	2022 年度後期	対象年次	1
実務経験のある教員による授業			
曜日・時間:水曜1限 科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):3-1、3-2、3-6			
授業の目的、概要等 現代日本社会や文化に関する映像を見ながら、ディスカッションを行う。これを通じて、日本・自国を中心に文化や社会について理解を深めるとともに、聴解力の向上を目指す。 また、小論文演習およびプレゼンテーションを通じて論理的な表現力の獲得を目指す。			
授業の到達目標 東京医科歯科大学における4/6年間の勉学に必要な聴解力、口頭表現能力、文章表現能力を身につける。			
授業計画			
回	日付	時刻	講義室 担当教員
1	10/5	08:40-10:10	甲賀 真広 BAO MIN
2	10/19	08:40-10:10	甲賀 真広 BAO MIN
3	10/26	08:40-10:10	甲賀 真広 BAO MIN
4	11/2	08:40-10:10	甲賀 真広 BAO MIN
5	11/9	08:40-10:10	甲賀 真広 BAO MIN
6	11/16	08:40-10:10	甲賀 真広 BAO MIN
7	11/30	08:40-10:10	甲賀 真広 BAO MIN
8	12/7	08:40-10:10	甲賀 真広 BAO MIN
9	12/14	08:40-10:10	甲賀 真広 BAO MIN
10	12/21	08:40-10:10	甲賀 真広 BAO MIN
11	1/4	08:40-10:10	甲賀 真広 BAO MIN
12	1/11	08:40-10:10	甲賀 真広 BAO MIN
13	1/18	08:40-10:10	甲賀 真広 BAO MIN
14	1/25	08:40-10:10	甲賀 真広 BAO MIN
15	2/1	08:40-10:10	甲賀 真広 BAO MIN
授業方法 ビデオ(聴解)、ディスカッション、発表			
授業内容 初回の授業で学生の日本語能力を測った上で決める。			
成績評価の方法 評価: 試験 %・レポート %・その他(授業参加) 40% その他(課題) 60% 再評価: 有(再評価方法)・無			
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による			
準備学習等についての具体的な指示 宿題は必ず提出して、再提出の指導があった場合は必ず再提出をする。			
試験の受験資格 期末試験は実施しない。			
教科書 特になし			

参考書

初回の授業で学生の日本語能力を測った上で提示する。

他科目との関連

日本語は a/b/c/d/の総合点で4 単位まとめて評価する。

履修上の注意事項

遅刻を三回で一回の欠席とする。出欠管理システムより、教員自身が取ると欠を優先させる。

時間割番号	000162				
科目名	ドイツ語	科目ID	LA-115400-Z		
担当教員					
開講時期	2022 年度通年	対象年次	1	単位数	4
実務経験のある教員による授業					
準備学習等についての具体的な指示					

時間割番号	000163																																																																																		
科目名	ドイツ語 a	科目ID	LA-115401-Z																																																																																
担当教員	藤井 俊吾[FUJII Shunngo]																																																																																		
開講時期	2022 年度前期	対象年次	1																																																																																
実務経験のある教員による授業																																																																																			
<p>曜日・時間: 月曜3限 教員ごとに2クラスに分かれます。 対象学科: 保健衛生学科・口腔保健学科 科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 1-1, 1-4, 3-1, 3-4, 3-6</p>																																																																																			
<p>授業の目的、概要等 ドイツ語を初めて学ぶ人を対象にした授業です。文字・発音の導入から始めて、ドイツ語の文法を一から学びます。ある言語の文法すなわち言葉の決まりを意識して学習すると、学習中の言語だけでなく、その他の外国語や母語の決まりもより深く理解できるようになります。言葉のしくみそのものに関心を持って、文法学習に取り組んでください。</p>																																																																																			
<p>授業の到達目標 ①ドイツ語の語を正しく発音し、簡単な文章を音読できるようになります。 ②基本的な文法を理解し、単純な構造の文を作ったり解釈したりできるようになります。 ③目安として、ドイツ語技能検定試験5～4級合格レベルの到達を目標とします。</p>																																																																																			
<p>授業計画</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>講義室</th> <th>担当教員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td>4/18</td><td>13:10-14:40</td><td></td><td>藤井 俊吾, BAO MIN</td></tr> <tr><td>2</td><td>4/25</td><td>13:10-14:40</td><td></td><td>藤井 俊吾, BAO MIN</td></tr> <tr><td>3</td><td>5/2</td><td>13:10-14:40</td><td></td><td>藤井 俊吾, BAO MIN</td></tr> <tr><td>4</td><td>5/9</td><td>13:10-14:40</td><td></td><td>藤井 俊吾, BAO MIN</td></tr> <tr><td>5</td><td>5/16</td><td>13:10-14:40</td><td></td><td>藤井 俊吾, BAO MIN</td></tr> <tr><td>6</td><td>5/23</td><td>13:10-14:40</td><td></td><td>藤井 俊吾, BAO MIN</td></tr> <tr><td>7</td><td>5/30</td><td>13:10-14:40</td><td></td><td>藤井 俊吾, BAO MIN</td></tr> <tr><td>8</td><td>6/6</td><td>13:10-14:40</td><td></td><td>藤井 俊吾, BAO MIN</td></tr> <tr><td>9</td><td>6/13</td><td>13:10-14:40</td><td></td><td>藤井 俊吾, BAO MIN</td></tr> <tr><td>10</td><td>6/20</td><td>13:10-14:40</td><td></td><td>藤井 俊吾, BAO MIN</td></tr> <tr><td>11</td><td>6/27</td><td>13:10-14:40</td><td></td><td>藤井 俊吾, BAO MIN</td></tr> <tr><td>12</td><td>7/4</td><td>13:10-14:40</td><td></td><td>藤井 俊吾, BAO MIN</td></tr> <tr><td>13</td><td>7/11</td><td>13:10-14:40</td><td></td><td>藤井 俊吾, BAO MIN</td></tr> <tr><td>14</td><td>7/18</td><td>13:10-14:40</td><td></td><td>藤井 俊吾, BAO MIN</td></tr> <tr><td>15</td><td>7/25</td><td>13:10-14:40</td><td></td><td>藤井 俊吾, BAO MIN</td></tr> </tbody> </table>				回	日付	時刻	講義室	担当教員	1	4/18	13:10-14:40		藤井 俊吾, BAO MIN	2	4/25	13:10-14:40		藤井 俊吾, BAO MIN	3	5/2	13:10-14:40		藤井 俊吾, BAO MIN	4	5/9	13:10-14:40		藤井 俊吾, BAO MIN	5	5/16	13:10-14:40		藤井 俊吾, BAO MIN	6	5/23	13:10-14:40		藤井 俊吾, BAO MIN	7	5/30	13:10-14:40		藤井 俊吾, BAO MIN	8	6/6	13:10-14:40		藤井 俊吾, BAO MIN	9	6/13	13:10-14:40		藤井 俊吾, BAO MIN	10	6/20	13:10-14:40		藤井 俊吾, BAO MIN	11	6/27	13:10-14:40		藤井 俊吾, BAO MIN	12	7/4	13:10-14:40		藤井 俊吾, BAO MIN	13	7/11	13:10-14:40		藤井 俊吾, BAO MIN	14	7/18	13:10-14:40		藤井 俊吾, BAO MIN	15	7/25	13:10-14:40		藤井 俊吾, BAO MIN
回	日付	時刻	講義室	担当教員																																																																															
1	4/18	13:10-14:40		藤井 俊吾, BAO MIN																																																																															
2	4/25	13:10-14:40		藤井 俊吾, BAO MIN																																																																															
3	5/2	13:10-14:40		藤井 俊吾, BAO MIN																																																																															
4	5/9	13:10-14:40		藤井 俊吾, BAO MIN																																																																															
5	5/16	13:10-14:40		藤井 俊吾, BAO MIN																																																																															
6	5/23	13:10-14:40		藤井 俊吾, BAO MIN																																																																															
7	5/30	13:10-14:40		藤井 俊吾, BAO MIN																																																																															
8	6/6	13:10-14:40		藤井 俊吾, BAO MIN																																																																															
9	6/13	13:10-14:40		藤井 俊吾, BAO MIN																																																																															
10	6/20	13:10-14:40		藤井 俊吾, BAO MIN																																																																															
11	6/27	13:10-14:40		藤井 俊吾, BAO MIN																																																																															
12	7/4	13:10-14:40		藤井 俊吾, BAO MIN																																																																															
13	7/11	13:10-14:40		藤井 俊吾, BAO MIN																																																																															
14	7/18	13:10-14:40		藤井 俊吾, BAO MIN																																																																															
15	7/25	13:10-14:40		藤井 俊吾, BAO MIN																																																																															
<p>授業方法 講義形式で項目ごとに導入・文法事項を説明→演習→解答解説の手順で進めます。内容を整理し、各自の理解度をチェックするため、授業内でグループワークを行うこともあります。また、日本語や英語など他の言語とのしくみの違い、文化的背景などについて意見交換を行います。学習の際の疑問には随時応えます。</p>																																																																																			
<p>授業内容 第1回 オリエンテーション、ドイツ語の文字と発音 第2回 ドイツ語の文字と発音、動詞の現在人称変化 第3回 動詞の現在人称変化、語順</p>																																																																																			

- 第4回 名詞の性と格
- 第5回 複数形, 定冠詞類と不定冠詞類
- 第6回 定冠詞類と不定冠詞類
- 第7回 まとめと復習
- 第8回 中間試験, 人称代名詞
- 第9回 人称代名詞, es の用法
- 第10回 不規則動詞
- 第11回 命令形
- 第12回 前置詞
- 第13回 前置詞, プラス α
- 第14回 まとめと復習
- 第15回 期末試験

成績評価の方法

評価 : 試験 50% ・ レポート % ・ その他 50% (中間試験 20%, 出席状況・授業参加などの平常点 30%)
 再評価: 有 (再評価方法: 「ドイツ語」としての学年末再試験)
 ・ 中間試験および期末試験は筆記試験を行います。中間試験に代えて小テストを複数回行う場合もあります。
 ・ ドイツ語は, a/b/c/d の総合点で4単位まとめて成績評価を行います。

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習等についての具体的な指示

宿題や予習範囲は, 授業中に適宜指示します。授業のスムーズな進行のため, 宿題は必ず行って授業に臨んでください。

教科書

『プロムナード やさしいドイツ語文法(改訂版)』／荻原耕平, 山崎泰孝: 白水社, 2019 年
 教科書のほか, プリントなどの教材も適宜使用します。

参考書

辞書や参考書については, 初回授業時に紹介します。

履修上の注意事項

試験の受験資格に関わる出欠・遅刻の扱いは学則によりますが, 出欠・遅刻の頻度は平常点の評価対象となりますので注意してください。出欠管理システムの記録より, 教員が取る出欠を優先させます。

時間割番号	000164																																																																																		
科目名	ドイツ語 b	科目ID	LA-115402-Z																																																																																
担当教員	藤井 俊吾[FUJII Shunngo]																																																																																		
開講時期	2022 年度前期	対象年次	1																																																																																
実務経験のある教員による授業																																																																																			
<p>曜日・時間:水曜2限 教員ごとに2クラスに分かれます。 対象学科:保健衛生学科・口腔保健学科 科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):1-1, 1-4, 3-1, 3-4, 3-6</p>																																																																																			
<p>授業の目的、概要等 ドイツ語を初めて学ぶ人を対象にした授業です。初歩的な語彙と文法を学びながら、日常生活場面において必要とされるドイツ語の運用能力を身につけます。ドイツ語圏の地域・文化に関する知識の修得も目指します。ドイツ語圏の文化にはどのような特徴があるのか、日本語・日本文化とどのような違いや共通点があるのかなど、言葉の学習を通して一緒に考えていきましょう。</p>																																																																																			
<p>授業の到達目標 ①初歩的な語彙・文法が用いられるコミュニケーションの場面において表現や文を理解し、自ら運用できるようになります。 ②職業、家族、友人、食習慣、住まい、買い物など、身近な話題に関する会話ができるようになります。 ③ドイツ語圏の地域・文化演習を通して、異文化間能力(Intercultural Competence)が養われます。</p>																																																																																			
<p>授業計画</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>講義室</th> <th>担当教員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td>4/13</td><td>10:20-11:50</td><td></td><td>藤井 俊吾, BAO MIN</td></tr> <tr><td>2</td><td>4/20</td><td>10:20-11:50</td><td></td><td>藤井 俊吾, BAO MIN</td></tr> <tr><td>3</td><td>4/27</td><td>10:20-11:50</td><td></td><td>藤井 俊吾, BAO MIN</td></tr> <tr><td>4</td><td>5/11</td><td>10:20-11:50</td><td></td><td>藤井 俊吾, BAO MIN</td></tr> <tr><td>5</td><td>5/18</td><td>10:20-11:50</td><td></td><td>藤井 俊吾, BAO MIN</td></tr> <tr><td>6</td><td>5/25</td><td>10:20-11:50</td><td></td><td>藤井 俊吾, BAO MIN</td></tr> <tr><td>7</td><td>6/1</td><td>10:20-11:50</td><td></td><td>藤井 俊吾, BAO MIN</td></tr> <tr><td>8</td><td>6/8</td><td>10:20-11:50</td><td></td><td>藤井 俊吾, BAO MIN</td></tr> <tr><td>9</td><td>6/15</td><td>10:20-11:50</td><td></td><td>藤井 俊吾, BAO MIN</td></tr> <tr><td>10</td><td>6/22</td><td>10:20-11:50</td><td></td><td>藤井 俊吾, BAO MIN</td></tr> <tr><td>11</td><td>6/29</td><td>10:20-11:50</td><td></td><td>藤井 俊吾, BAO MIN</td></tr> <tr><td>12</td><td>7/6</td><td>10:20-11:50</td><td></td><td>藤井 俊吾, BAO MIN</td></tr> <tr><td>13</td><td>7/13</td><td>10:20-11:50</td><td></td><td>藤井 俊吾, BAO MIN</td></tr> <tr><td>14</td><td>7/20</td><td>10:20-11:50</td><td></td><td>藤井 俊吾, BAO MIN</td></tr> <tr><td>15</td><td>7/27</td><td>10:20-11:50</td><td></td><td>藤井 俊吾, BAO MIN</td></tr> </tbody> </table>				回	日付	時刻	講義室	担当教員	1	4/13	10:20-11:50		藤井 俊吾, BAO MIN	2	4/20	10:20-11:50		藤井 俊吾, BAO MIN	3	4/27	10:20-11:50		藤井 俊吾, BAO MIN	4	5/11	10:20-11:50		藤井 俊吾, BAO MIN	5	5/18	10:20-11:50		藤井 俊吾, BAO MIN	6	5/25	10:20-11:50		藤井 俊吾, BAO MIN	7	6/1	10:20-11:50		藤井 俊吾, BAO MIN	8	6/8	10:20-11:50		藤井 俊吾, BAO MIN	9	6/15	10:20-11:50		藤井 俊吾, BAO MIN	10	6/22	10:20-11:50		藤井 俊吾, BAO MIN	11	6/29	10:20-11:50		藤井 俊吾, BAO MIN	12	7/6	10:20-11:50		藤井 俊吾, BAO MIN	13	7/13	10:20-11:50		藤井 俊吾, BAO MIN	14	7/20	10:20-11:50		藤井 俊吾, BAO MIN	15	7/27	10:20-11:50		藤井 俊吾, BAO MIN
回	日付	時刻	講義室	担当教員																																																																															
1	4/13	10:20-11:50		藤井 俊吾, BAO MIN																																																																															
2	4/20	10:20-11:50		藤井 俊吾, BAO MIN																																																																															
3	4/27	10:20-11:50		藤井 俊吾, BAO MIN																																																																															
4	5/11	10:20-11:50		藤井 俊吾, BAO MIN																																																																															
5	5/18	10:20-11:50		藤井 俊吾, BAO MIN																																																																															
6	5/25	10:20-11:50		藤井 俊吾, BAO MIN																																																																															
7	6/1	10:20-11:50		藤井 俊吾, BAO MIN																																																																															
8	6/8	10:20-11:50		藤井 俊吾, BAO MIN																																																																															
9	6/15	10:20-11:50		藤井 俊吾, BAO MIN																																																																															
10	6/22	10:20-11:50		藤井 俊吾, BAO MIN																																																																															
11	6/29	10:20-11:50		藤井 俊吾, BAO MIN																																																																															
12	7/6	10:20-11:50		藤井 俊吾, BAO MIN																																																																															
13	7/13	10:20-11:50		藤井 俊吾, BAO MIN																																																																															
14	7/20	10:20-11:50		藤井 俊吾, BAO MIN																																																																															
15	7/27	10:20-11:50		藤井 俊吾, BAO MIN																																																																															
<p>授業方法 テーマごとに日常でよく使用される表現を取り上げます。語彙・文型を導入後、ペア・ワークやグループ・ワークを行って会話練習をしながら、実際の場で役立つコミュニケーション力をつけていきます。教科書の課ごとに用意された題材に関し、聞き取りや簡単な作文、読解演習も行います。ドイツ語圏の地域・文化に関する文章や資料に触れ、グループまたはクラス全体で意見交換を行います。学習の際の疑問には随時応えます。</p>																																																																																			
<p>授業内容 第1回 オリエンテーション, アルファベット, 挨拶, 簡単な自己紹介 第2回 挨拶, 簡単な自己紹介</p>																																																																																			

- 第3回 職業や国籍を言う
- 第4回 職業や国籍を言う
- 第5回 友人を紹介する, 数字
- 第6回 友人を紹介する, 数字, 地域・文化演習①
- 第7回 口頭試験
- 第8回 持ち物, 食習慣について話す
- 第9回 持ち物, 食習慣について話す
- 第10回 住まいについて話す, 買い物の際の表現
- 第11回 住まいについて話す, 買い物の際の表現
- 第12回 家族について話す
- 第13回 家族について話す
- 第14回 地域・文化演習②, まとめと復習
- 第15回 期末試験

成績評価の方法

評価 : 試験 50% ・ レポート % ・ その他 50%(中間の口頭試験 20%, 出席状況・授業参加などの平常点 30%)
 再評価: 有(再評価方法:「ドイツ語」としての学年末再試験)
 ・期末試験は筆記試験を行います。
 ・ドイツ語は, a/b/c/d の総合点で4単位まとめて成績評価を行います。

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習等についての具体的な指示

宿題や予習範囲は, 授業中に適宜指示します。授業のスムーズな進行のため, 宿題は必ず行って授業に臨んでください。

教科書

『シュピッツェ! 1 コミュニケーションで学ぶドイツ語』/新倉真矢子, 正木晶子, 中野有希子:
 朝日出版社, 2018年
 教科書のほか, パワーポイントなどの教材も適宜使用します。

参考書

辞書や参考書については, 初回授業時に紹介します。

履修上の注意事項

試験の受験資格に関わる出欠・遅刻の扱いは学則によりますが, 出欠・遅刻の頻度は平常点の評価対象となりますので注意してください。出欠管理システムの記録より, 教員が取る出欠を優先させます。Zoomは原則ビデオオンで参加してください。

時間割番号	000165																																																																																		
科目名	ドイツ語 b	科目ID	LA-115402-Z																																																																																
担当教員	立川 睦美[TACHIKAWA MUTSUMI]																																																																																		
開講時期	2022 年度前期	対象年次	1																																																																																
実務経験のある教員による授業																																																																																			
<p>曜日・時間:水曜1限 教員ごとに3クラスに分かれます。 対象学科:医学科・歯学科 科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):1-1, 1-4, 3-1, 3-4, 3-6</p>																																																																																			
<p>授業の目的、概要等 ドイツ語を初めて学ぶ人を対象にした授業です。初歩的な語彙と文法を学びながら、日常生活場面において必要とされるドイツ語の運用能力を身につけます。ドイツ語圏の地域・文化に関する知識の修得も目指します。ドイツ語圏の文化にはどのような特徴があるのか、日本語・日本文化とどのような違いや共通点があるのかなど、言葉の学習を通して一緒に考えていきましょう。</p>																																																																																			
<p>授業の到達目標 ①初歩的な語彙・文法が用いられるコミュニケーションの場面において表現や文を理解し、自ら運用できるようになります。 ②職業、家族、友人、食習慣、住まい、買い物など、身近な話題に関する会話ができるようになります。 ③ドイツ語圏の地域・文化演習を通して、異文化間能力(Intercultural Competence)が養われます。</p>																																																																																			
<p>授業計画</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>講義室</th> <th>担当教員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td>4/13</td><td>08:40-10:10</td><td></td><td>立川 睦美 BAO MIN</td></tr> <tr><td>2</td><td>4/20</td><td>08:40-10:10</td><td></td><td>立川 睦美 BAO MIN</td></tr> <tr><td>3</td><td>4/27</td><td>08:40-10:10</td><td></td><td>立川 睦美 BAO MIN</td></tr> <tr><td>4</td><td>5/11</td><td>08:40-10:10</td><td></td><td>立川 睦美 BAO MIN</td></tr> <tr><td>5</td><td>5/18</td><td>08:40-10:10</td><td></td><td>立川 睦美 BAO MIN</td></tr> <tr><td>6</td><td>5/25</td><td>08:40-10:10</td><td></td><td>立川 睦美 BAO MIN</td></tr> <tr><td>7</td><td>6/1</td><td>08:40-10:10</td><td></td><td>立川 睦美 BAO MIN</td></tr> <tr><td>8</td><td>6/8</td><td>08:40-10:10</td><td></td><td>立川 睦美 BAO MIN</td></tr> <tr><td>9</td><td>6/15</td><td>08:40-10:10</td><td></td><td>立川 睦美 BAO MIN</td></tr> <tr><td>10</td><td>6/22</td><td>08:40-10:10</td><td></td><td>立川 睦美 BAO MIN</td></tr> <tr><td>11</td><td>6/29</td><td>08:40-10:10</td><td></td><td>立川 睦美 BAO MIN</td></tr> <tr><td>12</td><td>7/6</td><td>08:40-10:10</td><td></td><td>立川 睦美 BAO MIN</td></tr> <tr><td>13</td><td>7/13</td><td>08:40-10:10</td><td></td><td>立川 睦美 BAO MIN</td></tr> <tr><td>14</td><td>7/20</td><td>08:40-10:10</td><td></td><td>立川 睦美 BAO MIN</td></tr> <tr><td>15</td><td>7/27</td><td>08:40-10:10</td><td></td><td>立川 睦美 BAO MIN</td></tr> </tbody> </table>				回	日付	時刻	講義室	担当教員	1	4/13	08:40-10:10		立川 睦美 BAO MIN	2	4/20	08:40-10:10		立川 睦美 BAO MIN	3	4/27	08:40-10:10		立川 睦美 BAO MIN	4	5/11	08:40-10:10		立川 睦美 BAO MIN	5	5/18	08:40-10:10		立川 睦美 BAO MIN	6	5/25	08:40-10:10		立川 睦美 BAO MIN	7	6/1	08:40-10:10		立川 睦美 BAO MIN	8	6/8	08:40-10:10		立川 睦美 BAO MIN	9	6/15	08:40-10:10		立川 睦美 BAO MIN	10	6/22	08:40-10:10		立川 睦美 BAO MIN	11	6/29	08:40-10:10		立川 睦美 BAO MIN	12	7/6	08:40-10:10		立川 睦美 BAO MIN	13	7/13	08:40-10:10		立川 睦美 BAO MIN	14	7/20	08:40-10:10		立川 睦美 BAO MIN	15	7/27	08:40-10:10		立川 睦美 BAO MIN
回	日付	時刻	講義室	担当教員																																																																															
1	4/13	08:40-10:10		立川 睦美 BAO MIN																																																																															
2	4/20	08:40-10:10		立川 睦美 BAO MIN																																																																															
3	4/27	08:40-10:10		立川 睦美 BAO MIN																																																																															
4	5/11	08:40-10:10		立川 睦美 BAO MIN																																																																															
5	5/18	08:40-10:10		立川 睦美 BAO MIN																																																																															
6	5/25	08:40-10:10		立川 睦美 BAO MIN																																																																															
7	6/1	08:40-10:10		立川 睦美 BAO MIN																																																																															
8	6/8	08:40-10:10		立川 睦美 BAO MIN																																																																															
9	6/15	08:40-10:10		立川 睦美 BAO MIN																																																																															
10	6/22	08:40-10:10		立川 睦美 BAO MIN																																																																															
11	6/29	08:40-10:10		立川 睦美 BAO MIN																																																																															
12	7/6	08:40-10:10		立川 睦美 BAO MIN																																																																															
13	7/13	08:40-10:10		立川 睦美 BAO MIN																																																																															
14	7/20	08:40-10:10		立川 睦美 BAO MIN																																																																															
15	7/27	08:40-10:10		立川 睦美 BAO MIN																																																																															
<p>授業方法 テーマごとに日常でよく使用される表現を取り上げます。語彙・文型を導入後、ペア・ワークやグループ・ワークを行って会話練習をしながら、実際の場で役立つコミュニケーション力をつけていきます。教科書の課ごとに用意された題材に関し、聞き取りや簡単な作文、読解演習も行います。ドイツ語圏の地域・文化に関する文章や資料に触れ、グループまたはクラス全体で意見交換を行います。学習の際の疑問には随時応えます。</p>																																																																																			
<p>授業内容 第1回 オリエンテーション, アルファベット, 挨拶, 簡単な自己紹介 第2回 挨拶, 簡単な自己紹介</p>																																																																																			

- 第3回 職業や国籍を言う
- 第4回 職業や国籍を言う
- 第5回 友人を紹介する, 数字
- 第6回 友人を紹介する, 数字, 地域・文化演習①
- 第7回 口頭試験
- 第8回 持ち物, 食習慣について話す
- 第9回 持ち物, 食習慣について話す
- 第10回 住まいについて話す, 買い物の際の表現
- 第11回 住まいについて話す, 買い物の際の表現
- 第12回 家族について話す
- 第13回 家族について話す
- 第14回 地域・文化演習②, まとめと復習
- 第15回 期末試験

成績評価の方法

評価 : 試験 50% ・ レポート % ・ その他 50%(中間の口頭試験 20%, 出席状況・授業参加などの平常点 30%)
 再評価: 有(再評価方法:「ドイツ語」としての学年末再試験)
 ・期末試験は筆記試験を行います。
 ・ドイツ語は, a/b/c/d の総合点で4単位まとめて成績評価を行います。

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習等についての具体的な指示

宿題や予習範囲は, 授業中に適宜指示します。授業のスムーズな進行のため, 宿題は必ず行って授業に臨んでください。

教科書

『シュピッツェ! 1 コミュニケーションで学ぶドイツ語』/新倉真矢子, 正木晶子, 中野有希子:
 朝日出版社, 2018 年
 教科書のほか, パワーポイントなどの教材も適宜使用します。

参考書

辞書や参考書については, 初回授業時に紹介します。

履修上の注意事項

試験の受験資格に関わる出欠・遅刻の扱いは学則によりますが, 出欠・遅刻の頻度は平常点の評価対象となりますので注意してください。出欠管理システムの記録より, 教員が取る出欠を優先させます。Zoom は原則ビデオオンで参加してください。

時間割番号	000166																																																																																		
科目名	ドイツ語 b	科目ID	LA-115402-Z																																																																																
担当教員	藤井 俊吾[FUJII Shunngo]																																																																																		
開講時期	2022 年度前期	対象年次	1																																																																																
実務経験のある教員による授業																																																																																			
<p>曜日・時間:水曜1限 教員ごとに3クラスに分かれます。 対象学科:医学科・歯学科 科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):1-1, 1-4, 3-1, 3-4, 3-6</p>																																																																																			
<p>授業の目的、概要等 ドイツ語を初めて学ぶ人を対象にした授業です。初歩的な語彙と文法を学びながら、日常生活場面において必要とされるドイツ語の運用能力を身につけます。ドイツ語圏の地域・文化に関する知識の修得も目指します。ドイツ語圏の文化にはどのような特徴があるのか、日本語・日本文化とどのような違いや共通点があるのかなど、言葉の学習を通して一緒に考えていきましょう。</p>																																																																																			
<p>授業の到達目標 ①初歩的な語彙・文法が用いられるコミュニケーションの場面において表現や文を理解し、自ら運用できるようになります。 ②職業、家族、友人、食習慣、住まい、買い物など、身近な話題に関する会話ができるようになります。 ③ドイツ語圏の地域・文化演習を通して、異文化間能力(Intercultural Competence)が養われます。</p>																																																																																			
<p>授業計画</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>講義室</th> <th>担当教員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td>4/13</td><td>08:40-10:10</td><td></td><td>藤井 俊吾, BAO MIN</td></tr> <tr><td>2</td><td>4/20</td><td>08:40-10:10</td><td></td><td>藤井 俊吾, BAO MIN</td></tr> <tr><td>3</td><td>4/27</td><td>08:40-10:10</td><td></td><td>藤井 俊吾, BAO MIN</td></tr> <tr><td>4</td><td>5/11</td><td>08:40-10:10</td><td></td><td>藤井 俊吾, BAO MIN</td></tr> <tr><td>5</td><td>5/18</td><td>08:40-10:10</td><td></td><td>藤井 俊吾, BAO MIN</td></tr> <tr><td>6</td><td>5/25</td><td>08:40-10:10</td><td></td><td>藤井 俊吾, BAO MIN</td></tr> <tr><td>7</td><td>6/1</td><td>08:40-10:10</td><td></td><td>藤井 俊吾, BAO MIN</td></tr> <tr><td>8</td><td>6/8</td><td>08:40-10:10</td><td></td><td>藤井 俊吾, BAO MIN</td></tr> <tr><td>9</td><td>6/15</td><td>08:40-10:10</td><td></td><td>藤井 俊吾, BAO MIN</td></tr> <tr><td>10</td><td>6/22</td><td>08:40-10:10</td><td></td><td>藤井 俊吾, BAO MIN</td></tr> <tr><td>11</td><td>6/29</td><td>08:40-10:10</td><td></td><td>藤井 俊吾, BAO MIN</td></tr> <tr><td>12</td><td>7/6</td><td>08:40-10:10</td><td></td><td>藤井 俊吾, BAO MIN</td></tr> <tr><td>13</td><td>7/13</td><td>08:40-10:10</td><td></td><td>藤井 俊吾, BAO MIN</td></tr> <tr><td>14</td><td>7/20</td><td>08:40-10:10</td><td></td><td>藤井 俊吾, BAO MIN</td></tr> <tr><td>15</td><td>7/27</td><td>08:40-10:10</td><td></td><td>藤井 俊吾, BAO MIN</td></tr> </tbody> </table>				回	日付	時刻	講義室	担当教員	1	4/13	08:40-10:10		藤井 俊吾, BAO MIN	2	4/20	08:40-10:10		藤井 俊吾, BAO MIN	3	4/27	08:40-10:10		藤井 俊吾, BAO MIN	4	5/11	08:40-10:10		藤井 俊吾, BAO MIN	5	5/18	08:40-10:10		藤井 俊吾, BAO MIN	6	5/25	08:40-10:10		藤井 俊吾, BAO MIN	7	6/1	08:40-10:10		藤井 俊吾, BAO MIN	8	6/8	08:40-10:10		藤井 俊吾, BAO MIN	9	6/15	08:40-10:10		藤井 俊吾, BAO MIN	10	6/22	08:40-10:10		藤井 俊吾, BAO MIN	11	6/29	08:40-10:10		藤井 俊吾, BAO MIN	12	7/6	08:40-10:10		藤井 俊吾, BAO MIN	13	7/13	08:40-10:10		藤井 俊吾, BAO MIN	14	7/20	08:40-10:10		藤井 俊吾, BAO MIN	15	7/27	08:40-10:10		藤井 俊吾, BAO MIN
回	日付	時刻	講義室	担当教員																																																																															
1	4/13	08:40-10:10		藤井 俊吾, BAO MIN																																																																															
2	4/20	08:40-10:10		藤井 俊吾, BAO MIN																																																																															
3	4/27	08:40-10:10		藤井 俊吾, BAO MIN																																																																															
4	5/11	08:40-10:10		藤井 俊吾, BAO MIN																																																																															
5	5/18	08:40-10:10		藤井 俊吾, BAO MIN																																																																															
6	5/25	08:40-10:10		藤井 俊吾, BAO MIN																																																																															
7	6/1	08:40-10:10		藤井 俊吾, BAO MIN																																																																															
8	6/8	08:40-10:10		藤井 俊吾, BAO MIN																																																																															
9	6/15	08:40-10:10		藤井 俊吾, BAO MIN																																																																															
10	6/22	08:40-10:10		藤井 俊吾, BAO MIN																																																																															
11	6/29	08:40-10:10		藤井 俊吾, BAO MIN																																																																															
12	7/6	08:40-10:10		藤井 俊吾, BAO MIN																																																																															
13	7/13	08:40-10:10		藤井 俊吾, BAO MIN																																																																															
14	7/20	08:40-10:10		藤井 俊吾, BAO MIN																																																																															
15	7/27	08:40-10:10		藤井 俊吾, BAO MIN																																																																															
<p>授業方法 テーマごとに日常でよく使用される表現を取り上げます。語彙・文型を導入後、ペア・ワークやグループ・ワークを行って会話練習をしながら、実際の場で役立つコミュニケーション力をつけていきます。教科書の課ごとに用意された題材に関し、聞き取りや簡単な作文、読解演習も行います。ドイツ語圏の地域・文化に関する文章や資料に触れ、グループまたはクラス全体で意見交換を行います。学習の際の疑問には随時応えます。</p>																																																																																			
<p>授業内容 第1回 オリエンテーション, アルファベット, 挨拶, 簡単な自己紹介 第2回 挨拶, 簡単な自己紹介</p>																																																																																			

- 第3回 職業や国籍を言う
- 第4回 職業や国籍を言う
- 第5回 友人を紹介する, 数字
- 第6回 友人を紹介する, 数字, 地域・文化演習①
- 第7回 口頭試験
- 第8回 持ち物, 食習慣について話す
- 第9回 持ち物, 食習慣について話す
- 第10回 住まいについて話す, 買い物の際の表現
- 第11回 住まいについて話す, 買い物の際の表現
- 第12回 家族について話す
- 第13回 家族について話す
- 第14回 地域・文化演習②, まとめと復習
- 第15回 期末試験

成績評価の方法

評価 : 試験 50% ・ レポート % ・ その他 50%(中間の口頭試験 20%, 出席状況・授業参加などの平常点 30%)
 再評価: 有(再評価方法:「ドイツ語」としての学年末再試験)
 ・期末試験は筆記試験を行います。
 ・ドイツ語は, a/b/c/d の総合点で4単位まとめて成績評価を行います。

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習等についての具体的な指示

宿題や予習範囲は, 授業中に適宜指示します。授業のスムーズな進行のため, 宿題は必ず行って授業に臨んでください。

教科書

『シュピッツェ! 1 コミュニケーションで学ぶドイツ語』/新倉真矢子, 正木晶子, 中野有希子:
 朝日出版社, 2018 年
 教科書のほか, パワーポイントなどの教材も適宜使用します。

参考書

辞書や参考書については, 初回授業時に紹介します。

履修上の注意事項

試験の受験資格に関わる出欠・遅刻の扱いは学則によりますが, 出欠・遅刻の頻度は平常点の評価対象となりますので注意してください。出欠管理システムの記録より, 教員が取る出欠を優先させます。Zoom は原則ビデオオンで参加してください。

時間割番号	000167																																																																																		
科目名	ドイツ語 a	科目ID	LA-115401-Z																																																																																
担当教員	立川 睦美[TACHIKAWA MUTSUMI]																																																																																		
開講時期	2022 年度前期	対象年次	1																																																																																
実務経験のある教員による授業																																																																																			
<p>曜日・時間: 月曜3限 教員ごとに2クラスに分かれます。 対象学科: 保健衛生学科・口腔保健学科 科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 1-1, 1-4, 3-1, 3-4, 3-6</p>																																																																																			
<p>授業の目的、概要等 ドイツ語を初めて学ぶ人を対象にした授業です。文字・発音の導入から始めて、ドイツ語の文法を一から学びます。ある言語の文法すなわち言葉の決まりを意識して学習すると、学習中の言語だけでなく、その他の外国語や母語の決まりもより深く理解できるようになります。言葉のしくみそのものに関心を持って、文法学習に取り組んでください。</p>																																																																																			
<p>授業の到達目標 ①ドイツ語の語を正しく発音し、簡単な文章を音読できるようになります。 ②基本的な文法を理解し、単純な構造の文を作ったり解釈したりできるようになります。 ③目安として、ドイツ語技能検定試験5～4級合格レベルの到達を目標とします。</p>																																																																																			
<p>授業計画</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>講義室</th> <th>担当教員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td>4/18</td><td>13:10-14:40</td><td></td><td>立川 睦美 BAO MIN</td></tr> <tr><td>2</td><td>4/25</td><td>13:10-14:40</td><td></td><td>立川 睦美 BAO MIN</td></tr> <tr><td>3</td><td>5/2</td><td>13:10-14:40</td><td></td><td>立川 睦美 BAO MIN</td></tr> <tr><td>4</td><td>5/9</td><td>13:10-14:40</td><td></td><td>立川 睦美 BAO MIN</td></tr> <tr><td>5</td><td>5/16</td><td>13:10-14:40</td><td></td><td>立川 睦美 BAO MIN</td></tr> <tr><td>6</td><td>5/23</td><td>13:10-14:40</td><td></td><td>立川 睦美 BAO MIN</td></tr> <tr><td>7</td><td>5/30</td><td>13:10-14:40</td><td></td><td>立川 睦美 BAO MIN</td></tr> <tr><td>8</td><td>6/6</td><td>13:10-14:40</td><td></td><td>立川 睦美 BAO MIN</td></tr> <tr><td>9</td><td>6/13</td><td>13:10-14:40</td><td></td><td>立川 睦美 BAO MIN</td></tr> <tr><td>10</td><td>6/20</td><td>13:10-14:40</td><td></td><td>立川 睦美 BAO MIN</td></tr> <tr><td>11</td><td>6/27</td><td>13:10-14:40</td><td></td><td>立川 睦美 BAO MIN</td></tr> <tr><td>12</td><td>7/4</td><td>13:10-14:40</td><td></td><td>立川 睦美 BAO MIN</td></tr> <tr><td>13</td><td>7/11</td><td>13:10-14:40</td><td></td><td>立川 睦美 BAO MIN</td></tr> <tr><td>14</td><td>7/18</td><td>13:10-14:40</td><td></td><td>立川 睦美 BAO MIN</td></tr> <tr><td>15</td><td>7/25</td><td>13:10-14:40</td><td></td><td>立川 睦美 BAO MIN</td></tr> </tbody> </table>				回	日付	時刻	講義室	担当教員	1	4/18	13:10-14:40		立川 睦美 BAO MIN	2	4/25	13:10-14:40		立川 睦美 BAO MIN	3	5/2	13:10-14:40		立川 睦美 BAO MIN	4	5/9	13:10-14:40		立川 睦美 BAO MIN	5	5/16	13:10-14:40		立川 睦美 BAO MIN	6	5/23	13:10-14:40		立川 睦美 BAO MIN	7	5/30	13:10-14:40		立川 睦美 BAO MIN	8	6/6	13:10-14:40		立川 睦美 BAO MIN	9	6/13	13:10-14:40		立川 睦美 BAO MIN	10	6/20	13:10-14:40		立川 睦美 BAO MIN	11	6/27	13:10-14:40		立川 睦美 BAO MIN	12	7/4	13:10-14:40		立川 睦美 BAO MIN	13	7/11	13:10-14:40		立川 睦美 BAO MIN	14	7/18	13:10-14:40		立川 睦美 BAO MIN	15	7/25	13:10-14:40		立川 睦美 BAO MIN
回	日付	時刻	講義室	担当教員																																																																															
1	4/18	13:10-14:40		立川 睦美 BAO MIN																																																																															
2	4/25	13:10-14:40		立川 睦美 BAO MIN																																																																															
3	5/2	13:10-14:40		立川 睦美 BAO MIN																																																																															
4	5/9	13:10-14:40		立川 睦美 BAO MIN																																																																															
5	5/16	13:10-14:40		立川 睦美 BAO MIN																																																																															
6	5/23	13:10-14:40		立川 睦美 BAO MIN																																																																															
7	5/30	13:10-14:40		立川 睦美 BAO MIN																																																																															
8	6/6	13:10-14:40		立川 睦美 BAO MIN																																																																															
9	6/13	13:10-14:40		立川 睦美 BAO MIN																																																																															
10	6/20	13:10-14:40		立川 睦美 BAO MIN																																																																															
11	6/27	13:10-14:40		立川 睦美 BAO MIN																																																																															
12	7/4	13:10-14:40		立川 睦美 BAO MIN																																																																															
13	7/11	13:10-14:40		立川 睦美 BAO MIN																																																																															
14	7/18	13:10-14:40		立川 睦美 BAO MIN																																																																															
15	7/25	13:10-14:40		立川 睦美 BAO MIN																																																																															
<p>授業方法 講義形式で項目ごとに導入・文法事項を説明→演習→解答解説の手順で進めます。内容を整理し、各自の理解度をチェックするため、授業内でグループワークを行うこともあります。また、日本語や英語など他の言語とのしくみの違い、文化的背景などについて意見交換を行います。学習の際の疑問には随時応えます。</p>																																																																																			
<p>授業内容 第1回 オリエンテーション、ドイツ語の文字と発音 第2回 ドイツ語の文字と発音、動詞の現在人称変化 第3回 動詞の現在人称変化、語順</p>																																																																																			

第4回 名詞の性と格

第5回 複数形, 定冠詞類と不定冠詞類

第6回 定冠詞類と不定冠詞類

第7回 まとめと復習

第8回 中間試験, 人称代名詞

第9回 人称代名詞, es の用法

第10回 不規則動詞

第11回 命令形

第12回 前置詞

第13回 前置詞, プラス α

第14回 まとめと復習

第15回 期末試験

成績評価の方法

評価 : 試験 50% ・ レポート % ・ その他 50% (中間試験 20%, 出席状況・授業参加などの平常点 30%)

再評価: 有 (再評価方法: 「ドイツ語」としての学年末再試験)

- ・中間試験および期末試験は筆記試験を行います。中間試験に代えて小テストを複数回行う場合もあります。
- ・ドイツ語は, a/b/c/d の総合点で4単位まとめて成績評価を行います。

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習等についての具体的な指示

宿題や予習範囲は, 授業中に適宜指示します。授業のスムーズな進行のため, 宿題は必ず行って授業に臨んでください。

教科書

『プロムナード やさしいドイツ語文法(改訂版)』／荻原耕平, 山崎泰孝: 白水社, 2019年

教科書のほか, プリントなどの教材も適宜使用します。

参考書

辞書や参考書については, 初回授業時に紹介します。

履修上の注意事項

試験の受験資格に関わる出欠・遅刻の扱いは学則によりますが, 出欠・遅刻の頻度は平常点の評価対象となりますので注意してください。出欠管理システムの記録より, 教員が取る出欠を優先させます。

時間割番号	000168																																																																																		
科目名	ドイツ語 a	科目ID	LA-115401-Z																																																																																
担当教員	立川 睦美[TACHIKAWA MUTSUMI]																																																																																		
開講時期	2022 年度前期	対象年次	1																																																																																
実務経験のある教員による授業																																																																																			
<p>曜日・時間: 月曜4限 教員ごとに2クラスに分かれます。 対象学科: 医学科・歯学科 科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 1-1, 1-4, 3-1, 3-4, 3-6</p>																																																																																			
<p>授業の目的、概要等 ドイツ語を初めて学ぶ人を対象にした授業です。文字・発音の導入から始めて、ドイツ語の文法を一から学びます。ある言語の文法すなわち言葉の決まりを意識して学習すると、学習中の言語だけでなく、その他の外国語や母語の決まりもより深く理解できるようになります。言葉のしくみそのものに関心を持って、文法学習に取り組んでください。</p>																																																																																			
<p>授業の到達目標 ①ドイツ語の語を正しく発音し、簡単な文章を音読できるようになります。 ②基本的な文法を理解し、単純な構造の文を作ったり解釈したりできるようになります。 ③目安として、ドイツ語技能検定試験5～4級合格レベルの到達を目標とします。</p>																																																																																			
<p>授業計画</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>講義室</th> <th>担当教員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td>4/18</td><td>14:50-16:20</td><td></td><td>立川 睦美 BAO MIN</td></tr> <tr><td>2</td><td>4/25</td><td>14:50-16:20</td><td></td><td>立川 睦美 BAO MIN</td></tr> <tr><td>3</td><td>5/2</td><td>14:50-16:20</td><td></td><td>立川 睦美 BAO MIN</td></tr> <tr><td>4</td><td>5/9</td><td>14:50-16:20</td><td></td><td>立川 睦美 BAO MIN</td></tr> <tr><td>5</td><td>5/16</td><td>14:50-16:20</td><td></td><td>立川 睦美 BAO MIN</td></tr> <tr><td>6</td><td>5/23</td><td>14:50-16:20</td><td></td><td>立川 睦美 BAO MIN</td></tr> <tr><td>7</td><td>5/30</td><td>14:50-16:20</td><td></td><td>立川 睦美 BAO MIN</td></tr> <tr><td>8</td><td>6/6</td><td>14:50-16:20</td><td></td><td>立川 睦美 BAO MIN</td></tr> <tr><td>9</td><td>6/13</td><td>14:50-16:20</td><td></td><td>立川 睦美 BAO MIN</td></tr> <tr><td>10</td><td>6/20</td><td>14:50-16:20</td><td></td><td>立川 睦美 BAO MIN</td></tr> <tr><td>11</td><td>6/27</td><td>14:50-16:20</td><td></td><td>立川 睦美 BAO MIN</td></tr> <tr><td>12</td><td>7/4</td><td>14:50-16:20</td><td></td><td>立川 睦美 BAO MIN</td></tr> <tr><td>13</td><td>7/11</td><td>14:50-16:20</td><td></td><td>立川 睦美 BAO MIN</td></tr> <tr><td>14</td><td>7/18</td><td>14:50-16:20</td><td></td><td>立川 睦美 BAO MIN</td></tr> <tr><td>15</td><td>7/25</td><td>14:50-16:20</td><td></td><td>立川 睦美 BAO MIN</td></tr> </tbody> </table>				回	日付	時刻	講義室	担当教員	1	4/18	14:50-16:20		立川 睦美 BAO MIN	2	4/25	14:50-16:20		立川 睦美 BAO MIN	3	5/2	14:50-16:20		立川 睦美 BAO MIN	4	5/9	14:50-16:20		立川 睦美 BAO MIN	5	5/16	14:50-16:20		立川 睦美 BAO MIN	6	5/23	14:50-16:20		立川 睦美 BAO MIN	7	5/30	14:50-16:20		立川 睦美 BAO MIN	8	6/6	14:50-16:20		立川 睦美 BAO MIN	9	6/13	14:50-16:20		立川 睦美 BAO MIN	10	6/20	14:50-16:20		立川 睦美 BAO MIN	11	6/27	14:50-16:20		立川 睦美 BAO MIN	12	7/4	14:50-16:20		立川 睦美 BAO MIN	13	7/11	14:50-16:20		立川 睦美 BAO MIN	14	7/18	14:50-16:20		立川 睦美 BAO MIN	15	7/25	14:50-16:20		立川 睦美 BAO MIN
回	日付	時刻	講義室	担当教員																																																																															
1	4/18	14:50-16:20		立川 睦美 BAO MIN																																																																															
2	4/25	14:50-16:20		立川 睦美 BAO MIN																																																																															
3	5/2	14:50-16:20		立川 睦美 BAO MIN																																																																															
4	5/9	14:50-16:20		立川 睦美 BAO MIN																																																																															
5	5/16	14:50-16:20		立川 睦美 BAO MIN																																																																															
6	5/23	14:50-16:20		立川 睦美 BAO MIN																																																																															
7	5/30	14:50-16:20		立川 睦美 BAO MIN																																																																															
8	6/6	14:50-16:20		立川 睦美 BAO MIN																																																																															
9	6/13	14:50-16:20		立川 睦美 BAO MIN																																																																															
10	6/20	14:50-16:20		立川 睦美 BAO MIN																																																																															
11	6/27	14:50-16:20		立川 睦美 BAO MIN																																																																															
12	7/4	14:50-16:20		立川 睦美 BAO MIN																																																																															
13	7/11	14:50-16:20		立川 睦美 BAO MIN																																																																															
14	7/18	14:50-16:20		立川 睦美 BAO MIN																																																																															
15	7/25	14:50-16:20		立川 睦美 BAO MIN																																																																															
<p>授業方法 講義形式で項目ごとに導入・文法事項を説明→演習→解答解説の手順で進めます。内容を整理し、各自の理解度をチェックするため、授業内でグループワークを行うこともあります。また、日本語や英語など他の言語とのしくみの違い、文化的背景などについて意見交換を行います。学習の際の疑問には随時応えます。</p>																																																																																			
<p>授業内容 第1回 オリエンテーション、ドイツ語の文字と発音 第2回 ドイツ語の文字と発音、動詞の現在人称変化</p>																																																																																			

第3回 動詞の現在人称変化, 語順
第4回 名詞の性と格
第5回 複数形, 定冠詞類と不定冠詞類
第6回 定冠詞類と不定冠詞類
第7回 まとめと復習
第8回 中間試験, 人称代名詞
第9回 人称代名詞, es の用法
第10回 不規則動詞
第11回 命令形
第12回 前置詞
第13回 前置詞, プラス α
第14回 まとめと復習
第15回 期末試験

成績評価の方法

評価 : 試験 50% ・ レポート % ・ その他 50%(中間試験 20%, 出席状況・授業参加などの平常点 30%)
再評価: 有(再評価方法:「ドイツ語」としての学年末再試験)
・中間試験および期末試験は筆記試験を行います。中間試験に代えて小テストを複数回行う場合もあります。
・ドイツ語は, a/b/c/d の総合点で4単位まとめて成績評価を行います。

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習等についての具体的な指示

宿題や予習範囲は, 授業中に適宜指示します。授業のスムーズな進行のため, 宿題は必ず行って授業に臨んでください。

教科書

『プロムナード やさしいドイツ語文法(改訂版)』/荻原耕平, 山崎泰孝:白水社, 2019年
教科書のほか, プリントなどの教材も適宜使用します。

参考書

辞書や参考書については, 初回授業時に紹介します。

履修上の注意事項

試験の受験資格に関わる出欠・遅刻の扱いは学則によりますが, 出欠・遅刻の頻度は平常点の評価対象となりますので注意してください。出欠管理システムの記録より, 教員が取る出欠を優先させます。

時間割番号	000169																																																																																		
科目名	ドイツ語 b	科目ID	LA-115402-Z																																																																																
担当教員	立川 睦美[TACHIKAWA MUTSUMI]																																																																																		
開講時期	2022 年度前期	対象年次	1																																																																																
実務経験のある教員による授業																																																																																			
<p>曜日・時間:水曜2限 教員ごとに2クラスに分かれます。 対象学科:保健衛生学科・口腔保健学科 科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):1-1, 1-4, 3-1, 3-4, 3-6</p>																																																																																			
<p>授業の目的、概要等 ドイツ語を初めて学ぶ人を対象にした授業です。初歩的な語彙と文法を学びながら、日常生活場面において必要とされるドイツ語の運用能力を身につけます。ドイツ語圏の地域・文化に関する知識の修得も目指します。ドイツ語圏の文化にはどのような特徴があるのか、日本語・日本文化とどのような違いや共通点があるのかなど、言葉の学習を通して一緒に考えていきましょう。</p>																																																																																			
<p>授業の到達目標 ①初歩的な語彙・文法が用いられるコミュニケーションの場面において表現や文を理解し、自ら運用できるようになります。 ②職業、家族、友人、食習慣、住まい、買い物など、身近な話題に関する会話ができるようになります。 ③ドイツ語圏の地域・文化演習を通して、異文化間能力(Intercultural Competence)が養われます。</p>																																																																																			
<p>授業計画</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>講義室</th> <th>担当教員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td>4/13</td><td>10:20-11:50</td><td></td><td>立川 睦美 BAO MIN</td></tr> <tr><td>2</td><td>4/20</td><td>10:20-11:50</td><td></td><td>立川 睦美 BAO MIN</td></tr> <tr><td>3</td><td>4/27</td><td>10:20-11:50</td><td></td><td>立川 睦美 BAO MIN</td></tr> <tr><td>4</td><td>5/11</td><td>10:20-11:50</td><td></td><td>立川 睦美 BAO MIN</td></tr> <tr><td>5</td><td>5/18</td><td>10:20-11:50</td><td></td><td>立川 睦美 BAO MIN</td></tr> <tr><td>6</td><td>5/25</td><td>10:20-11:50</td><td></td><td>立川 睦美 BAO MIN</td></tr> <tr><td>7</td><td>6/1</td><td>10:20-11:50</td><td></td><td>立川 睦美 BAO MIN</td></tr> <tr><td>8</td><td>6/8</td><td>10:20-11:50</td><td></td><td>立川 睦美 BAO MIN</td></tr> <tr><td>9</td><td>6/15</td><td>10:20-11:50</td><td></td><td>立川 睦美 BAO MIN</td></tr> <tr><td>10</td><td>6/22</td><td>10:20-11:50</td><td></td><td>立川 睦美 BAO MIN</td></tr> <tr><td>11</td><td>6/29</td><td>10:20-11:50</td><td></td><td>立川 睦美 BAO MIN</td></tr> <tr><td>12</td><td>7/6</td><td>10:20-11:50</td><td></td><td>立川 睦美 BAO MIN</td></tr> <tr><td>13</td><td>7/13</td><td>10:20-11:50</td><td></td><td>立川 睦美 BAO MIN</td></tr> <tr><td>14</td><td>7/20</td><td>10:20-11:50</td><td></td><td>立川 睦美 BAO MIN</td></tr> <tr><td>15</td><td>7/27</td><td>10:20-11:50</td><td></td><td>立川 睦美 BAO MIN</td></tr> </tbody> </table>				回	日付	時刻	講義室	担当教員	1	4/13	10:20-11:50		立川 睦美 BAO MIN	2	4/20	10:20-11:50		立川 睦美 BAO MIN	3	4/27	10:20-11:50		立川 睦美 BAO MIN	4	5/11	10:20-11:50		立川 睦美 BAO MIN	5	5/18	10:20-11:50		立川 睦美 BAO MIN	6	5/25	10:20-11:50		立川 睦美 BAO MIN	7	6/1	10:20-11:50		立川 睦美 BAO MIN	8	6/8	10:20-11:50		立川 睦美 BAO MIN	9	6/15	10:20-11:50		立川 睦美 BAO MIN	10	6/22	10:20-11:50		立川 睦美 BAO MIN	11	6/29	10:20-11:50		立川 睦美 BAO MIN	12	7/6	10:20-11:50		立川 睦美 BAO MIN	13	7/13	10:20-11:50		立川 睦美 BAO MIN	14	7/20	10:20-11:50		立川 睦美 BAO MIN	15	7/27	10:20-11:50		立川 睦美 BAO MIN
回	日付	時刻	講義室	担当教員																																																																															
1	4/13	10:20-11:50		立川 睦美 BAO MIN																																																																															
2	4/20	10:20-11:50		立川 睦美 BAO MIN																																																																															
3	4/27	10:20-11:50		立川 睦美 BAO MIN																																																																															
4	5/11	10:20-11:50		立川 睦美 BAO MIN																																																																															
5	5/18	10:20-11:50		立川 睦美 BAO MIN																																																																															
6	5/25	10:20-11:50		立川 睦美 BAO MIN																																																																															
7	6/1	10:20-11:50		立川 睦美 BAO MIN																																																																															
8	6/8	10:20-11:50		立川 睦美 BAO MIN																																																																															
9	6/15	10:20-11:50		立川 睦美 BAO MIN																																																																															
10	6/22	10:20-11:50		立川 睦美 BAO MIN																																																																															
11	6/29	10:20-11:50		立川 睦美 BAO MIN																																																																															
12	7/6	10:20-11:50		立川 睦美 BAO MIN																																																																															
13	7/13	10:20-11:50		立川 睦美 BAO MIN																																																																															
14	7/20	10:20-11:50		立川 睦美 BAO MIN																																																																															
15	7/27	10:20-11:50		立川 睦美 BAO MIN																																																																															
<p>授業方法 テーマごとに日常でよく使用される表現を取り上げます。語彙・文型を導入後、ペア・ワークやグループ・ワークを行って会話練習をしながら、実際の場で役立つコミュニケーション力をつけていきます。教科書の課ごとに用意された題材に関し、聞き取りや簡単な作文、読解演習も行います。ドイツ語圏の地域・文化に関する文章や資料に触れ、グループまたはクラス全体で意見交換を行います。学習の際の疑問には随時応えます。</p>																																																																																			
<p>授業内容 第1回 オリエンテーション, アルファベット, 挨拶, 簡単な自己紹介 第2回 挨拶, 簡単な自己紹介</p>																																																																																			

- 第3回 職業や国籍を言う
- 第4回 職業や国籍を言う
- 第5回 友人を紹介する, 数字
- 第6回 友人を紹介する, 数字, 地域・文化演習①
- 第7回 口頭試験
- 第8回 持ち物, 食習慣について話す
- 第9回 持ち物, 食習慣について話す
- 第10回 住まいについて話す, 買い物の際の表現
- 第11回 住まいについて話す, 買い物の際の表現
- 第12回 家族について話す
- 第13回 家族について話す
- 第14回 地域・文化演習②, まとめと復習
- 第15回 期末試験

成績評価の方法

評価 : 試験 50% ・ レポート % ・ その他 50%(中間の口頭試験 20%, 出席状況・授業参加などの平常点 30%)
 再評価: 有(再評価方法:「ドイツ語」としての学年末再試験)
 ・期末試験は筆記試験を行います。
 ・ドイツ語は, a/b/c/d の総合点で4単位まとめて成績評価を行います。

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習等についての具体的な指示

宿題や予習範囲は, 授業中に適宜指示します。授業のスムーズな進行のため, 宿題は必ず行って授業に臨んでください。

教科書

『シュピッツェ! 1 コミュニケーションで学ぶドイツ語』/新倉真矢子, 正木晶子, 中野有希子:
 朝日出版社, 2018 年
 教科書のほか, パワーポイントなどの教材も適宜使用します。

参考書

辞書や参考書については, 初回授業時に紹介します。

履修上の注意事項

試験の受験資格に関わる出欠・遅刻の扱いは学則によりますが, 出欠・遅刻の頻度は平常点の評価対象となりますので注意してください。出欠管理システムの記録より, 教員が取る出欠を優先させます。Zoom は原則ビデオオンで参加してください。

時間割番号	000170																																																																		
科目名	ドイツ語 b	科目ID	LA-115402-Z																																																																
担当教員	栗田 圭子																																																																		
開講時期	2022 年度前期	対象年次	1																																																																
実務経験のある教員による授業																																																																			
<p>曜日・時間:水曜1限 教員ごとに3クラスに分かれます。 対象学科:医学科・歯学科 科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):1-1, 1-4, 3-1, 3-4, 3-6</p>																																																																			
<p>授業の目的、概要等 ドイツ語を初めて学ぶ人を対象にした授業です。初歩的な語彙と文法を学びながら、日常生活場面において必要とされるドイツ語の運用能力を身につけます。ドイツ語圏の地域・文化に関する知識の修得も目指します。ドイツ語圏の文化にはどのような特徴があるのか、日本語・日本文化とどのような違いや共通点があるのかなど、言葉の学習を通して一緒に考えていきましょう。</p>																																																																			
<p>授業の到達目標 ①初歩的な語彙・文法が用いられるコミュニケーションの場面において表現や文を理解し、自ら運用できるようになります。 ②職業、家族、友人、食習慣、住まい、買い物など、身近な話題に関する会話ができるようになります。 ③ドイツ語圏の地域・文化演習を通して、異文化間能力(Intercultural Competence)が養われます。</p>																																																																			
<p>授業計画</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>講義室</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td>4/13</td><td>08:40-10:10</td><td></td></tr> <tr><td>2</td><td>4/20</td><td>08:40-10:10</td><td></td></tr> <tr><td>3</td><td>4/27</td><td>08:40-10:10</td><td></td></tr> <tr><td>4</td><td>5/11</td><td>08:40-10:10</td><td></td></tr> <tr><td>5</td><td>5/18</td><td>08:40-10:10</td><td></td></tr> <tr><td>6</td><td>5/25</td><td>08:40-10:10</td><td></td></tr> <tr><td>7</td><td>6/1</td><td>08:40-10:10</td><td></td></tr> <tr><td>8</td><td>6/8</td><td>08:40-10:10</td><td></td></tr> <tr><td>9</td><td>6/15</td><td>08:40-10:10</td><td></td></tr> <tr><td>10</td><td>6/22</td><td>08:40-10:10</td><td></td></tr> <tr><td>11</td><td>6/29</td><td>08:40-10:10</td><td></td></tr> <tr><td>12</td><td>7/6</td><td>08:40-10:10</td><td></td></tr> <tr><td>13</td><td>7/13</td><td>08:40-10:10</td><td></td></tr> <tr><td>14</td><td>7/20</td><td>08:40-10:10</td><td></td></tr> <tr><td>15</td><td>7/27</td><td>08:40-10:10</td><td></td></tr> </tbody> </table>				回	日付	時刻	講義室	1	4/13	08:40-10:10		2	4/20	08:40-10:10		3	4/27	08:40-10:10		4	5/11	08:40-10:10		5	5/18	08:40-10:10		6	5/25	08:40-10:10		7	6/1	08:40-10:10		8	6/8	08:40-10:10		9	6/15	08:40-10:10		10	6/22	08:40-10:10		11	6/29	08:40-10:10		12	7/6	08:40-10:10		13	7/13	08:40-10:10		14	7/20	08:40-10:10		15	7/27	08:40-10:10	
回	日付	時刻	講義室																																																																
1	4/13	08:40-10:10																																																																	
2	4/20	08:40-10:10																																																																	
3	4/27	08:40-10:10																																																																	
4	5/11	08:40-10:10																																																																	
5	5/18	08:40-10:10																																																																	
6	5/25	08:40-10:10																																																																	
7	6/1	08:40-10:10																																																																	
8	6/8	08:40-10:10																																																																	
9	6/15	08:40-10:10																																																																	
10	6/22	08:40-10:10																																																																	
11	6/29	08:40-10:10																																																																	
12	7/6	08:40-10:10																																																																	
13	7/13	08:40-10:10																																																																	
14	7/20	08:40-10:10																																																																	
15	7/27	08:40-10:10																																																																	
<p>授業方法 テーマごとに日常でよく使用される表現を取り上げます。語彙・文型を導入後、ペア・ワークやグループ・ワークを行って会話練習をしながら、実際の場で役立つコミュニケーション力をつけていきます。教科書の課ごとに用意された題材に関し、聞き取りや簡単な作文、読解演習も行います。ドイツ語圏の地域・文化に関する文章や資料に触れ、グループまたはクラス全体で意見交換を行います。学習の際の疑問には随時応えます。</p>																																																																			
<p>授業内容 第1回 オリエンテーション, アルファベット, 挨拶, 簡単な自己紹介 第2回 挨拶, 簡単な自己紹介</p>																																																																			

- 第3回 職業や国籍を言う
- 第4回 職業や国籍を言う
- 第5回 友人を紹介する, 数字
- 第6回 友人を紹介する, 数字, 地域・文化演習①
- 第7回 口頭試験
- 第8回 持ち物, 食習慣について話す
- 第9回 持ち物, 食習慣について話す
- 第10回 住まいについて話す, 買い物の際の表現
- 第11回 住まいについて話す, 買い物の際の表現
- 第12回 家族について話す
- 第13回 家族について話す
- 第14回 地域・文化演習②, まとめと復習
- 第15回 期末試験

成績評価の方法

評価 : 試験 50% ・ レポート % ・ その他 50%(中間の口頭試験 20%, 出席状況・授業参加などの平常点 30%)
 再評価: 有(再評価方法:「ドイツ語」としての学年末再試験)
 ・期末試験は筆記試験を行います。
 ・ドイツ語は, a/b/c/d の総合点で4単位まとめて成績評価を行います。

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習等についての具体的な指示

宿題や予習範囲は, 授業中に適宜指示します。授業のスムーズな進行のため, 宿題は必ず行って授業に臨んでください。

教科書

『シュピッツェ! 1 コミュニケーションで学ぶドイツ語』/新倉真矢子, 正木晶子, 中野有希子:
 朝日出版社, 2018 年
 教科書のほか, パワーポイントなどの教材も適宜使用します。

参考書

辞書や参考書については, 初回授業時に紹介します。

履修上の注意事項

試験の受験資格に関わる出欠・遅刻の扱いは学則によりますが, 出欠・遅刻の頻度は平常点の評価対象となりますので注意してください。出欠管理システムの記録より, 教員が取る出欠を優先させます。Zoom は原則ビデオオンで参加してください。

時間割番号	000174																																																																																		
科目名	ドイツ語 a	科目ID	LA-115401-Z																																																																																
担当教員	藤井 俊吾[FUJII Shunngo]																																																																																		
開講時期	2022 年度前期	対象年次	1																																																																																
実務経験のある教員による授業																																																																																			
<p>曜日・時間: 月曜4限 教員ごとに2クラスに分かれます。 対象学科: 医学科・歯学科 科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 1-1, 1-4, 3-1, 3-4, 3-6</p>																																																																																			
<p>授業の目的、概要等 ドイツ語を初めて学ぶ人を対象にした授業です。文字・発音の導入から始めて、ドイツ語の文法を一から学びます。ある言語の文法すなわち言葉の決まりを意識して学習すると、学習中の言語だけでなく、その他の外国語や母語の決まりもより深く理解できるようになります。言葉のしくみそのものに関心を持って、文法学習に取り組んでください。</p>																																																																																			
<p>授業の到達目標 ①ドイツ語の語を正しく発音し、簡単な文章を音読できるようになります。 ②基本的な文法を理解し、単純な構造の文を作ったり解釈したりできるようになります。 ③目安として、ドイツ語技能検定試験5～4級合格レベルの到達を目標とします。</p>																																																																																			
<p>授業計画</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>講義室</th> <th>担当教員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td>4/18</td><td>14:50-16:20</td><td></td><td>藤井 俊吾, BAO MIN</td></tr> <tr><td>2</td><td>4/25</td><td>14:50-16:20</td><td></td><td>藤井 俊吾, BAO MIN</td></tr> <tr><td>3</td><td>5/2</td><td>14:50-16:20</td><td></td><td>藤井 俊吾, BAO MIN</td></tr> <tr><td>4</td><td>5/9</td><td>14:50-16:20</td><td></td><td>藤井 俊吾, BAO MIN</td></tr> <tr><td>5</td><td>5/16</td><td>14:50-16:20</td><td></td><td>藤井 俊吾, BAO MIN</td></tr> <tr><td>6</td><td>5/23</td><td>14:50-16:20</td><td></td><td>藤井 俊吾, BAO MIN</td></tr> <tr><td>7</td><td>5/30</td><td>14:50-16:20</td><td></td><td>藤井 俊吾, BAO MIN</td></tr> <tr><td>8</td><td>6/6</td><td>14:50-16:20</td><td></td><td>藤井 俊吾, BAO MIN</td></tr> <tr><td>9</td><td>6/13</td><td>14:50-16:20</td><td></td><td>藤井 俊吾, BAO MIN</td></tr> <tr><td>10</td><td>6/20</td><td>14:50-16:20</td><td></td><td>藤井 俊吾, BAO MIN</td></tr> <tr><td>11</td><td>6/27</td><td>14:50-16:20</td><td></td><td>藤井 俊吾, BAO MIN</td></tr> <tr><td>12</td><td>7/4</td><td>14:50-16:20</td><td></td><td>藤井 俊吾, BAO MIN</td></tr> <tr><td>13</td><td>7/11</td><td>14:50-16:20</td><td></td><td>藤井 俊吾, BAO MIN</td></tr> <tr><td>14</td><td>7/18</td><td>14:50-16:20</td><td></td><td>藤井 俊吾, BAO MIN</td></tr> <tr><td>15</td><td>7/25</td><td>14:50-16:20</td><td></td><td>藤井 俊吾, BAO MIN</td></tr> </tbody> </table>				回	日付	時刻	講義室	担当教員	1	4/18	14:50-16:20		藤井 俊吾, BAO MIN	2	4/25	14:50-16:20		藤井 俊吾, BAO MIN	3	5/2	14:50-16:20		藤井 俊吾, BAO MIN	4	5/9	14:50-16:20		藤井 俊吾, BAO MIN	5	5/16	14:50-16:20		藤井 俊吾, BAO MIN	6	5/23	14:50-16:20		藤井 俊吾, BAO MIN	7	5/30	14:50-16:20		藤井 俊吾, BAO MIN	8	6/6	14:50-16:20		藤井 俊吾, BAO MIN	9	6/13	14:50-16:20		藤井 俊吾, BAO MIN	10	6/20	14:50-16:20		藤井 俊吾, BAO MIN	11	6/27	14:50-16:20		藤井 俊吾, BAO MIN	12	7/4	14:50-16:20		藤井 俊吾, BAO MIN	13	7/11	14:50-16:20		藤井 俊吾, BAO MIN	14	7/18	14:50-16:20		藤井 俊吾, BAO MIN	15	7/25	14:50-16:20		藤井 俊吾, BAO MIN
回	日付	時刻	講義室	担当教員																																																																															
1	4/18	14:50-16:20		藤井 俊吾, BAO MIN																																																																															
2	4/25	14:50-16:20		藤井 俊吾, BAO MIN																																																																															
3	5/2	14:50-16:20		藤井 俊吾, BAO MIN																																																																															
4	5/9	14:50-16:20		藤井 俊吾, BAO MIN																																																																															
5	5/16	14:50-16:20		藤井 俊吾, BAO MIN																																																																															
6	5/23	14:50-16:20		藤井 俊吾, BAO MIN																																																																															
7	5/30	14:50-16:20		藤井 俊吾, BAO MIN																																																																															
8	6/6	14:50-16:20		藤井 俊吾, BAO MIN																																																																															
9	6/13	14:50-16:20		藤井 俊吾, BAO MIN																																																																															
10	6/20	14:50-16:20		藤井 俊吾, BAO MIN																																																																															
11	6/27	14:50-16:20		藤井 俊吾, BAO MIN																																																																															
12	7/4	14:50-16:20		藤井 俊吾, BAO MIN																																																																															
13	7/11	14:50-16:20		藤井 俊吾, BAO MIN																																																																															
14	7/18	14:50-16:20		藤井 俊吾, BAO MIN																																																																															
15	7/25	14:50-16:20		藤井 俊吾, BAO MIN																																																																															
<p>授業方法 講義形式で項目ごとに導入・文法事項を説明→演習→解答解説の手順で進めます。内容を整理し、各自の理解度をチェックするため、授業内でグループワークを行うこともあります。また、日本語や英語など他の言語とのしくみの違い、文化的背景などについて意見交換を行います。学習の際の疑問には随時応えます。</p>																																																																																			
<p>授業内容 第1回 オリエンテーション、ドイツ語の文字と発音 第2回 ドイツ語の文字と発音、動詞の現在人称変化 第3回 動詞の現在人称変化、語順</p>																																																																																			

第4回 名詞の性と格

第5回 複数形, 定冠詞類と不定冠詞類

第6回 定冠詞類と不定冠詞類

第7回 まとめと復習

第8回 中間試験, 人称代名詞

第9回 人称代名詞, es の用法

第10回 不規則動詞

第11回 命令形

第12回 前置詞

第13回 前置詞, プラス α

第14回 まとめと復習

第15回 期末試験

成績評価の方法

評価 : 試験 50% ・ レポート % ・ その他 50% (中間試験 20%, 出席状況・授業参加などの平常点 30%)

再評価: 有 (再評価方法: 「ドイツ語」としての学年末再試験)

・ 中間試験および期末試験は筆記試験を行います。中間試験に代えて小テストを複数回行う場合もあります。

・ ドイツ語は, a/b/c/d の総合点で4単位まとめて成績評価を行います。

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習等についての具体的な指示

宿題や予習範囲は, 授業中に適宜指示します。授業のスムーズな進行のため, 宿題は必ず行って授業に臨んでください。

教科書

『プロムナード やさしいドイツ語文法(改訂版)』/ 荻原耕平, 山崎泰孝: 白水社, 2019年

教科書のほか, プリントなどの教材も適宜使用します。

参考書

辞書や参考書については, 初回授業時に紹介します。

履修上の注意事項

試験の受験資格に関わる出欠・遅刻の扱いは学則によりますが, 出欠・遅刻の頻度は平常点の評価対象となりますので注意してください。出欠管理システムの記録より, 教員が取る出欠を優先させます。

時間割番号	000175																																																																																		
科目名	ドイツ語 d	科目ID	LA-115404-Z																																																																																
担当教員	藤井 俊吾[FUJII Shunngo]																																																																																		
開講時期	2022 年度後期	対象年次	1																																																																																
実務経験のある教員による授業																																																																																			
<p>曜日・時間:水曜2限 教員ごとに2クラスに分かれます。 対象学科:保健衛生学科・口腔保健学科 科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):1-1, 1-4, 3-1, 3-4, 3-6</p>																																																																																			
<p>授業の目的、概要等 ドイツ語 b に引き続き、基礎的な語彙と文法を学びながら、日常生活場面において必要とされるドイツ語の運用能力を身につけます。ドイツ語圏の地域・文化に関する知識の修得も目指します。ドイツ語圏の文化にはどのような特徴があるのか、日本語・日本文化とどのような違いや共通点があるのかなど、言葉の学習を通して一緒に考えていきましょう。</p>																																																																																			
<p>授業の到達目標 ①基礎的な語彙・文法が用いられるコミュニケーションの場面において表現や文を理解し、自ら運用できるようになります。 ②趣味、衣服、旅行、予約、1日の行動、過去の出来事など、身近な話題に関する会話ができるようになります。 ③ドイツ語圏の地域・文化演習を通して、異文化間能力(Intercultural Competence)が養われます。</p>																																																																																			
<p>授業計画</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>講義室</th> <th>担当教員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td>10/5</td><td>10:20-11:50</td><td></td><td>藤井 俊吾, BAO MIN</td></tr> <tr><td>2</td><td>10/19</td><td>10:20-11:50</td><td></td><td>藤井 俊吾, BAO MIN</td></tr> <tr><td>3</td><td>10/26</td><td>10:20-11:50</td><td></td><td>藤井 俊吾, BAO MIN</td></tr> <tr><td>4</td><td>11/2</td><td>10:20-11:50</td><td></td><td>藤井 俊吾, BAO MIN</td></tr> <tr><td>5</td><td>11/9</td><td>10:20-11:50</td><td></td><td>藤井 俊吾, BAO MIN</td></tr> <tr><td>6</td><td>11/16</td><td>10:20-11:50</td><td></td><td>藤井 俊吾, BAO MIN</td></tr> <tr><td>7</td><td>11/30</td><td>10:20-11:50</td><td></td><td>藤井 俊吾, BAO MIN</td></tr> <tr><td>8</td><td>12/7</td><td>10:20-11:50</td><td></td><td>藤井 俊吾, BAO MIN</td></tr> <tr><td>9</td><td>12/14</td><td>10:20-11:50</td><td></td><td>藤井 俊吾, BAO MIN</td></tr> <tr><td>10</td><td>12/21</td><td>10:20-11:50</td><td></td><td>藤井 俊吾, BAO MIN</td></tr> <tr><td>11</td><td>1/4</td><td>10:20-11:50</td><td></td><td>藤井 俊吾, BAO MIN</td></tr> <tr><td>12</td><td>1/11</td><td>10:20-11:50</td><td></td><td>藤井 俊吾, BAO MIN</td></tr> <tr><td>13</td><td>1/18</td><td>10:20-11:50</td><td></td><td>藤井 俊吾, BAO MIN</td></tr> <tr><td>14</td><td>1/25</td><td>10:20-11:50</td><td></td><td>藤井 俊吾, BAO MIN</td></tr> <tr><td>15</td><td>2/1</td><td>10:20-11:50</td><td></td><td>藤井 俊吾, BAO MIN</td></tr> </tbody> </table>				回	日付	時刻	講義室	担当教員	1	10/5	10:20-11:50		藤井 俊吾, BAO MIN	2	10/19	10:20-11:50		藤井 俊吾, BAO MIN	3	10/26	10:20-11:50		藤井 俊吾, BAO MIN	4	11/2	10:20-11:50		藤井 俊吾, BAO MIN	5	11/9	10:20-11:50		藤井 俊吾, BAO MIN	6	11/16	10:20-11:50		藤井 俊吾, BAO MIN	7	11/30	10:20-11:50		藤井 俊吾, BAO MIN	8	12/7	10:20-11:50		藤井 俊吾, BAO MIN	9	12/14	10:20-11:50		藤井 俊吾, BAO MIN	10	12/21	10:20-11:50		藤井 俊吾, BAO MIN	11	1/4	10:20-11:50		藤井 俊吾, BAO MIN	12	1/11	10:20-11:50		藤井 俊吾, BAO MIN	13	1/18	10:20-11:50		藤井 俊吾, BAO MIN	14	1/25	10:20-11:50		藤井 俊吾, BAO MIN	15	2/1	10:20-11:50		藤井 俊吾, BAO MIN
回	日付	時刻	講義室	担当教員																																																																															
1	10/5	10:20-11:50		藤井 俊吾, BAO MIN																																																																															
2	10/19	10:20-11:50		藤井 俊吾, BAO MIN																																																																															
3	10/26	10:20-11:50		藤井 俊吾, BAO MIN																																																																															
4	11/2	10:20-11:50		藤井 俊吾, BAO MIN																																																																															
5	11/9	10:20-11:50		藤井 俊吾, BAO MIN																																																																															
6	11/16	10:20-11:50		藤井 俊吾, BAO MIN																																																																															
7	11/30	10:20-11:50		藤井 俊吾, BAO MIN																																																																															
8	12/7	10:20-11:50		藤井 俊吾, BAO MIN																																																																															
9	12/14	10:20-11:50		藤井 俊吾, BAO MIN																																																																															
10	12/21	10:20-11:50		藤井 俊吾, BAO MIN																																																																															
11	1/4	10:20-11:50		藤井 俊吾, BAO MIN																																																																															
12	1/11	10:20-11:50		藤井 俊吾, BAO MIN																																																																															
13	1/18	10:20-11:50		藤井 俊吾, BAO MIN																																																																															
14	1/25	10:20-11:50		藤井 俊吾, BAO MIN																																																																															
15	2/1	10:20-11:50		藤井 俊吾, BAO MIN																																																																															
<p>授業方法 テーマごとに日常でよく使用される表現を取り上げます。語彙・文型を導入後、ペア・ワークやグループ・ワークを行って会話練習をしながら、実際の場で役立つコミュニケーション力をつけていきます。教科書の課ごとに用意された題材に関し、聞き取りや簡単な作文、読解演習も行います。ドイツ語圏の地域・文化に関する文章や資料に触れ、グループまたはクラス全体で意見交換を行います。学習の際の疑問には随時応えます。</p>																																																																																			
<p>授業内容 第1回 前期末試験の解説、前期の復習、趣味の言い方 第2回 趣味や余暇の活動について話す</p>																																																																																			

- 第3回 衣服など身につけるものについて話す
- 第4回 誕生日や贈り物について話す, 年号の言い方
- 第5回 予定について話す, 予約・約束をする
- 第6回 規則について話す, 地域・文化演習③
- 第7回 口頭試験
- 第8回 街の様子について話す, 道案内をする
- 第9回 街の様子について話す, 道案内をする
- 第10回 1日の行動を言う, 時刻表現
- 第11回 1日の行動を言う, 時刻表現
- 第12回 月, 四季, 天候を表す表現
- 第13回 過去の出来事について話す
- 第14回 地域・文化演習④, まとめと復習
- 第15回 期末試験

成績評価の方法

評価 : 試験 50% ・ レポート % ・ その他 50%(中間の口頭試験 20%, 出席状況・授業参加などの平常点 30%)
 再評価: 有(再評価方法:「ドイツ語」としての学年末再試験)
 ・期末試験は筆記試験を行います。
 ・ドイツ語は, a/b/c/d の総合点で4単位まとめて成績評価を行います。

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習等についての具体的な指示

宿題や予習範囲は, 授業中に適宜指示します。授業のスムーズな進行のため, 宿題は必ず行って授業に臨んでください。

教科書

『シュピッツェ! 1 コミュニケーションで学ぶドイツ語』/新倉真矢子, 正木晶子, 中野有希子:
 朝日出版社, 2018年
 教科書のほか, パワーポイントなどの教材も適宜使用します。

参考書

辞書や参考書については, 初回授業時に紹介します。

履修上の注意事項

試験の受験資格に関わる出欠・遅刻の扱いは学則によりますが, 出欠・遅刻の頻度は平常点の評価対象となりますので注意してください。出欠管理システムの記録より, 教員が取る出欠を優先させます。Zoomは原則ビデオオンで参加してください。

時間割番号	000176																																																																																		
科目名	ドイツ語 c	科目ID	LA-115403-Z																																																																																
担当教員	藤井 俊吾[FUJII Shunngo]																																																																																		
開講時期	2022 年度後期	対象年次	1																																																																																
実務経験のある教員による授業																																																																																			
<p>曜日・時間: 月曜3限 教員ごとに2クラスに分かれます。 対象学科: 保健衛生学科・口腔保健学科 科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 1-1, 1-4, 3-1, 3-4, 3-6</p>																																																																																			
<p>授業の目的、概要等 ドイツ語 a に引き続き、ドイツ語の初級文法の後半を学びます。中級レベルのドイツ語学習につながる文法知識を習得することを目指します。コース中盤～終盤になれば、辞書を引きながら自力で平易な内容の文章を読めるようになります。英語以外の外国語で文章を理解し、味わうという新たな体験をめざし、文法学習に取り組んでください。</p>																																																																																			
<p>授業の到達目標 ①ドイツ語の言語文化圏で通用する基本的な語彙、表現、文型を身につけます。 ②初級文法をひと通り終え、簡単な文章の読み書きができるようになります。 ③目安として、ドイツ語技能検定試験4～3級合格レベルの到達を目標とします。</p>																																																																																			
<p>授業計画</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>講義室</th> <th>担当教員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td>10/3</td><td>13:10-14:40</td><td></td><td>藤井 俊吾, BAO MIN</td></tr> <tr><td>2</td><td>10/10</td><td>13:10-14:40</td><td></td><td>藤井 俊吾, BAO MIN</td></tr> <tr><td>3</td><td>10/17</td><td>13:10-14:40</td><td></td><td>藤井 俊吾, BAO MIN</td></tr> <tr><td>4</td><td>10/24</td><td>13:10-14:40</td><td></td><td>藤井 俊吾, BAO MIN</td></tr> <tr><td>5</td><td>10/31</td><td>13:10-14:40</td><td></td><td>藤井 俊吾, BAO MIN</td></tr> <tr><td>6</td><td>11/7</td><td>13:10-14:40</td><td></td><td>藤井 俊吾, BAO MIN</td></tr> <tr><td>7</td><td>11/14</td><td>13:10-14:40</td><td></td><td>藤井 俊吾, BAO MIN</td></tr> <tr><td>8</td><td>11/21</td><td>13:10-14:40</td><td></td><td>藤井 俊吾, BAO MIN</td></tr> <tr><td>9</td><td>11/28</td><td>13:10-14:40</td><td></td><td>藤井 俊吾, BAO MIN</td></tr> <tr><td>10</td><td>12/5</td><td>13:10-14:40</td><td></td><td>藤井 俊吾, BAO MIN</td></tr> <tr><td>11</td><td>12/12</td><td>13:10-14:40</td><td></td><td>藤井 俊吾, BAO MIN</td></tr> <tr><td>12</td><td>12/19</td><td>13:10-14:40</td><td></td><td>藤井 俊吾, BAO MIN</td></tr> <tr><td>13</td><td>1/16</td><td>13:10-14:40</td><td></td><td>藤井 俊吾, BAO MIN</td></tr> <tr><td>14</td><td>1/23</td><td>13:10-14:40</td><td></td><td>藤井 俊吾, BAO MIN</td></tr> <tr><td>15</td><td>1/30</td><td>13:10-14:40</td><td></td><td>藤井 俊吾, BAO MIN</td></tr> </tbody> </table>				回	日付	時刻	講義室	担当教員	1	10/3	13:10-14:40		藤井 俊吾, BAO MIN	2	10/10	13:10-14:40		藤井 俊吾, BAO MIN	3	10/17	13:10-14:40		藤井 俊吾, BAO MIN	4	10/24	13:10-14:40		藤井 俊吾, BAO MIN	5	10/31	13:10-14:40		藤井 俊吾, BAO MIN	6	11/7	13:10-14:40		藤井 俊吾, BAO MIN	7	11/14	13:10-14:40		藤井 俊吾, BAO MIN	8	11/21	13:10-14:40		藤井 俊吾, BAO MIN	9	11/28	13:10-14:40		藤井 俊吾, BAO MIN	10	12/5	13:10-14:40		藤井 俊吾, BAO MIN	11	12/12	13:10-14:40		藤井 俊吾, BAO MIN	12	12/19	13:10-14:40		藤井 俊吾, BAO MIN	13	1/16	13:10-14:40		藤井 俊吾, BAO MIN	14	1/23	13:10-14:40		藤井 俊吾, BAO MIN	15	1/30	13:10-14:40		藤井 俊吾, BAO MIN
回	日付	時刻	講義室	担当教員																																																																															
1	10/3	13:10-14:40		藤井 俊吾, BAO MIN																																																																															
2	10/10	13:10-14:40		藤井 俊吾, BAO MIN																																																																															
3	10/17	13:10-14:40		藤井 俊吾, BAO MIN																																																																															
4	10/24	13:10-14:40		藤井 俊吾, BAO MIN																																																																															
5	10/31	13:10-14:40		藤井 俊吾, BAO MIN																																																																															
6	11/7	13:10-14:40		藤井 俊吾, BAO MIN																																																																															
7	11/14	13:10-14:40		藤井 俊吾, BAO MIN																																																																															
8	11/21	13:10-14:40		藤井 俊吾, BAO MIN																																																																															
9	11/28	13:10-14:40		藤井 俊吾, BAO MIN																																																																															
10	12/5	13:10-14:40		藤井 俊吾, BAO MIN																																																																															
11	12/12	13:10-14:40		藤井 俊吾, BAO MIN																																																																															
12	12/19	13:10-14:40		藤井 俊吾, BAO MIN																																																																															
13	1/16	13:10-14:40		藤井 俊吾, BAO MIN																																																																															
14	1/23	13:10-14:40		藤井 俊吾, BAO MIN																																																																															
15	1/30	13:10-14:40		藤井 俊吾, BAO MIN																																																																															
<p>授業方法 講義形式で項目ごとに導入・文法事項を説明→演習→解答解説の手順で進めます。内容を整理し、各自の理解度をチェックするため、授業内でグループワークを行うこともあります。また、日本語や英語など他の言語とのしよみの違い、文化的背景などについて意見交換を行います。学習の際の疑問には随時応えます。</p>																																																																																			
<p>授業内容 第1回 前期末試験の解説、前期の復習 第2回 分離動詞 第3回 接続詞</p>																																																																																			

- 第4回 話法の助動詞
- 第5回 動詞の3基本形, 過去形
- 第6回 現在完了形
- 第7回 まとめと復習
- 第8回 中間試験, 受動文
- 第9回 受動文, 形容詞
- 第10回 比較表現
- 第11回 再帰代名詞
- 第12回 zu 不定詞
- 第13回 関係代名詞
- 第14回 接続法, まとめと復習
- 第15回 期末試験

成績評価の方法

評価 : 試験 50% ・ レポート % ・ その他 50% (中間試験 20%, 出席状況・授業参加などの平常点 30%)
 再評価: 有 (再評価方法: 「ドイツ語」としての学年末再試験)
 ・ 中間試験および期末試験は筆記試験を行います。中間試験に代えて小テストを複数回行う場合もあります。
 ・ ドイツ語は, a/b/c/d の総合点で4単位まとめて成績評価を行います。

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習等についての具体的な指示

宿題や予習範囲は, 授業中に適宜指示します。授業のスムーズな進行のため, 宿題は必ず行って授業に臨んでください。

教科書

『プロムナード やさしいドイツ語文法(改訂版)』／荻原耕平, 山崎泰孝: 白水社, 2019 年
 教科書のほか, プリントなどの教材も適宜使用します。

参考書

辞書や参考書については, 初回授業時に紹介します。

履修上の注意事項

試験の受験資格に関わる出欠・遅刻の扱いは学則によりますが, 出欠・遅刻の頻度は平常点の評価対象となりますので注意してください。出欠管理システムの記録より, 教員が取る出欠を優先させます。

時間割番号	000178																																																																																		
科目名	ドイツ語 d	科目ID	LA-115404-Z																																																																																
担当教員	藤井 俊吾[FUJII Shunngo]																																																																																		
開講時期	2022 年度後期	対象年次	1																																																																																
実務経験のある教員による授業																																																																																			
<p>曜日・時間:水曜1限 教員ごとに3クラスに分かれます。 対象学科:医学科・歯学科 科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):1-1, 1-4, 3-1, 3-4, 3-6</p>																																																																																			
<p>授業の目的、概要等 ドイツ語 b に引き続き、基礎的な語彙と文法を学びながら、日常生活場面において必要とされるドイツ語の運用能力を身につけます。ドイツ語圏の地域・文化に関する知識の修得も目指します。ドイツ語圏の文化にはどのような特徴があるのか、日本語・日本文化とどのような違いや共通点があるのかなど、言葉の学習を通して一緒に考えていきましょう。</p>																																																																																			
<p>授業の到達目標 ①基礎的な語彙・文法が用いられるコミュニケーションの場面において表現や文を理解し、自ら運用できるようになります。 ②趣味、衣服、旅行、予約、1日の行動、過去の出来事など、身近な話題に関する会話ができるようになります。 ③ドイツ語圏の地域・文化演習を通して、異文化間能力(Intercultural Competence)が養われます。</p>																																																																																			
<p>授業計画</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>講義室</th> <th>担当教員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td>10/5</td><td>08:40-10:10</td><td></td><td>藤井 俊吾, BAO MIN</td></tr> <tr><td>2</td><td>10/19</td><td>08:40-10:10</td><td></td><td>藤井 俊吾, BAO MIN</td></tr> <tr><td>3</td><td>10/26</td><td>08:40-10:10</td><td></td><td>藤井 俊吾, BAO MIN</td></tr> <tr><td>4</td><td>11/2</td><td>08:40-10:10</td><td></td><td>藤井 俊吾, BAO MIN</td></tr> <tr><td>5</td><td>11/9</td><td>08:40-10:10</td><td></td><td>藤井 俊吾, BAO MIN</td></tr> <tr><td>6</td><td>11/16</td><td>08:40-10:10</td><td></td><td>藤井 俊吾, BAO MIN</td></tr> <tr><td>7</td><td>11/30</td><td>08:40-10:10</td><td></td><td>藤井 俊吾, BAO MIN</td></tr> <tr><td>8</td><td>12/7</td><td>08:40-10:10</td><td></td><td>藤井 俊吾, BAO MIN</td></tr> <tr><td>9</td><td>12/14</td><td>08:40-10:10</td><td></td><td>藤井 俊吾, BAO MIN</td></tr> <tr><td>10</td><td>12/21</td><td>08:40-10:10</td><td></td><td>藤井 俊吾, BAO MIN</td></tr> <tr><td>11</td><td>1/4</td><td>08:40-10:10</td><td></td><td>藤井 俊吾, BAO MIN</td></tr> <tr><td>12</td><td>1/11</td><td>08:40-10:10</td><td></td><td>藤井 俊吾, BAO MIN</td></tr> <tr><td>13</td><td>1/18</td><td>08:40-10:10</td><td></td><td>藤井 俊吾, BAO MIN</td></tr> <tr><td>14</td><td>1/25</td><td>08:40-10:10</td><td></td><td>藤井 俊吾, BAO MIN</td></tr> <tr><td>15</td><td>2/1</td><td>08:40-10:10</td><td></td><td>藤井 俊吾, BAO MIN</td></tr> </tbody> </table>				回	日付	時刻	講義室	担当教員	1	10/5	08:40-10:10		藤井 俊吾, BAO MIN	2	10/19	08:40-10:10		藤井 俊吾, BAO MIN	3	10/26	08:40-10:10		藤井 俊吾, BAO MIN	4	11/2	08:40-10:10		藤井 俊吾, BAO MIN	5	11/9	08:40-10:10		藤井 俊吾, BAO MIN	6	11/16	08:40-10:10		藤井 俊吾, BAO MIN	7	11/30	08:40-10:10		藤井 俊吾, BAO MIN	8	12/7	08:40-10:10		藤井 俊吾, BAO MIN	9	12/14	08:40-10:10		藤井 俊吾, BAO MIN	10	12/21	08:40-10:10		藤井 俊吾, BAO MIN	11	1/4	08:40-10:10		藤井 俊吾, BAO MIN	12	1/11	08:40-10:10		藤井 俊吾, BAO MIN	13	1/18	08:40-10:10		藤井 俊吾, BAO MIN	14	1/25	08:40-10:10		藤井 俊吾, BAO MIN	15	2/1	08:40-10:10		藤井 俊吾, BAO MIN
回	日付	時刻	講義室	担当教員																																																																															
1	10/5	08:40-10:10		藤井 俊吾, BAO MIN																																																																															
2	10/19	08:40-10:10		藤井 俊吾, BAO MIN																																																																															
3	10/26	08:40-10:10		藤井 俊吾, BAO MIN																																																																															
4	11/2	08:40-10:10		藤井 俊吾, BAO MIN																																																																															
5	11/9	08:40-10:10		藤井 俊吾, BAO MIN																																																																															
6	11/16	08:40-10:10		藤井 俊吾, BAO MIN																																																																															
7	11/30	08:40-10:10		藤井 俊吾, BAO MIN																																																																															
8	12/7	08:40-10:10		藤井 俊吾, BAO MIN																																																																															
9	12/14	08:40-10:10		藤井 俊吾, BAO MIN																																																																															
10	12/21	08:40-10:10		藤井 俊吾, BAO MIN																																																																															
11	1/4	08:40-10:10		藤井 俊吾, BAO MIN																																																																															
12	1/11	08:40-10:10		藤井 俊吾, BAO MIN																																																																															
13	1/18	08:40-10:10		藤井 俊吾, BAO MIN																																																																															
14	1/25	08:40-10:10		藤井 俊吾, BAO MIN																																																																															
15	2/1	08:40-10:10		藤井 俊吾, BAO MIN																																																																															
<p>授業方法 テーマごとに日常でよく使用される表現を取り上げます。語彙・文型を導入後、ペア・ワークやグループ・ワークを行って会話練習をしながら、実際の場で役立つコミュニケーション力をつけていきます。教科書の課ごとに用意された題材に関し、聞き取りや簡単な作文、読解演習も行います。ドイツ語圏の地域・文化に関する文章や資料に触れ、グループまたはクラス全体で意見交換を行います。学習の際の疑問には随時応えます。</p>																																																																																			
<p>授業内容 第1回 前期末試験の解説、前期の復習、趣味の言い方 第2回 趣味や余暇の活動について話す</p>																																																																																			

- 第3回 衣服など身につけるものについて話す
- 第4回 誕生日や贈り物について話す, 年号の言い方
- 第5回 予定について話す, 予約・約束をする
- 第6回 規則について話す, 地域・文化演習③
- 第7回 口頭試験
- 第8回 街の様子について話す, 道案内をする
- 第9回 街の様子について話す, 道案内をする
- 第10回 1日の行動を言う, 時刻表現
- 第11回 1日の行動を言う, 時刻表現
- 第12回 月, 四季, 天候を表す表現
- 第13回 過去の出来事について話す
- 第14回 地域・文化演習④, まとめと復習
- 第15回 期末試験

成績評価の方法

評価 : 試験 50% ・ レポート % ・ その他 50%(中間の口頭試験 20%, 出席状況・授業参加などの平常点 30%)
 再評価: 有(再評価方法:「ドイツ語」としての学年末再試験)
 ・期末試験は筆記試験を行います。
 ・ドイツ語は, a/b/c/d の総合点で4単位まとめて成績評価を行います。

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習等についての具体的な指示

宿題や予習範囲は, 授業中に適宜指示します。授業のスムーズな進行のため, 宿題は必ず行って授業に臨んでください。

教科書

『シュピッツェ! 1 コミュニケーションで学ぶドイツ語』/新倉真矢子, 正木晶子, 中野有希子:
 朝日出版社, 2018年
 教科書のほか, パワーポイントなどの教材も適宜使用します。

参考書

辞書や参考書については, 初回授業時に紹介します。

履修上の注意事項

試験の受験資格に関わる出欠・遅刻の扱いは学則によりますが, 出欠・遅刻の頻度は平常点の評価対象となりますので注意してください。出欠管理システムの記録より, 教員が取る出欠を優先させます。Zoom は原則ビデオオンで参加してください。

時間割番号	000180																																																																																		
科目名	ドイツ語 c	科目ID	LA-115403-Z																																																																																
担当教員	立川 睦美[TACHIKAWA MUTSUMI]																																																																																		
開講時期	2022 年度後期	対象年次	1																																																																																
実務経験のある教員による授業																																																																																			
<p>曜日・時間: 月曜3限 教員ごとに2クラスに分かれます。 対象学科: 保健衛生学科・口腔保健学科 科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 1-1, 1-4, 3-1, 3-4, 3-6</p>																																																																																			
<p>授業の目的、概要等 ドイツ語 a に引き続き、ドイツ語の初級文法の後半を学びます。中級レベルのドイツ語学習につながる文法知識を習得することを目指します。コース中盤～終盤になれば、辞書を引きながら自力で平易な内容の文章を読めるようになります。英語以外の外国語で文章を理解し、味わうという新たな体験をめざし、文法学習に取り組んでください。</p>																																																																																			
<p>授業の到達目標 ①ドイツ語の言語文化圏で通用する基本的な語彙、表現、文型を身につけます。 ②初級文法をひと通り終え、簡単な文章の読み書きができるようになります。 ③目安として、ドイツ語技能検定試験4～3級合格レベルの到達を目標とします。</p>																																																																																			
<p>授業計画</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>講義室</th> <th>担当教員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td>10/3</td><td>13:10-14:40</td><td></td><td>立川 睦美 BAO MIN</td></tr> <tr><td>2</td><td>10/10</td><td>13:10-14:40</td><td></td><td>立川 睦美 BAO MIN</td></tr> <tr><td>3</td><td>10/17</td><td>13:10-14:40</td><td></td><td>立川 睦美 BAO MIN</td></tr> <tr><td>4</td><td>10/24</td><td>13:10-14:40</td><td></td><td>立川 睦美 BAO MIN</td></tr> <tr><td>5</td><td>10/31</td><td>13:10-14:40</td><td></td><td>立川 睦美 BAO MIN</td></tr> <tr><td>6</td><td>11/7</td><td>13:10-14:40</td><td></td><td>立川 睦美 BAO MIN</td></tr> <tr><td>7</td><td>11/14</td><td>13:10-14:40</td><td></td><td>立川 睦美 BAO MIN</td></tr> <tr><td>8</td><td>11/21</td><td>13:10-14:40</td><td></td><td>立川 睦美 BAO MIN</td></tr> <tr><td>9</td><td>11/28</td><td>13:10-14:40</td><td></td><td>立川 睦美 BAO MIN</td></tr> <tr><td>10</td><td>12/5</td><td>13:10-14:40</td><td></td><td>立川 睦美 BAO MIN</td></tr> <tr><td>11</td><td>12/12</td><td>13:10-14:40</td><td></td><td>立川 睦美 BAO MIN</td></tr> <tr><td>12</td><td>12/19</td><td>13:10-14:40</td><td></td><td>立川 睦美 BAO MIN</td></tr> <tr><td>13</td><td>1/16</td><td>13:10-14:40</td><td></td><td>立川 睦美 BAO MIN</td></tr> <tr><td>14</td><td>1/23</td><td>13:10-14:40</td><td></td><td>立川 睦美 BAO MIN</td></tr> <tr><td>15</td><td>1/30</td><td>13:10-14:40</td><td></td><td>立川 睦美 BAO MIN</td></tr> </tbody> </table>				回	日付	時刻	講義室	担当教員	1	10/3	13:10-14:40		立川 睦美 BAO MIN	2	10/10	13:10-14:40		立川 睦美 BAO MIN	3	10/17	13:10-14:40		立川 睦美 BAO MIN	4	10/24	13:10-14:40		立川 睦美 BAO MIN	5	10/31	13:10-14:40		立川 睦美 BAO MIN	6	11/7	13:10-14:40		立川 睦美 BAO MIN	7	11/14	13:10-14:40		立川 睦美 BAO MIN	8	11/21	13:10-14:40		立川 睦美 BAO MIN	9	11/28	13:10-14:40		立川 睦美 BAO MIN	10	12/5	13:10-14:40		立川 睦美 BAO MIN	11	12/12	13:10-14:40		立川 睦美 BAO MIN	12	12/19	13:10-14:40		立川 睦美 BAO MIN	13	1/16	13:10-14:40		立川 睦美 BAO MIN	14	1/23	13:10-14:40		立川 睦美 BAO MIN	15	1/30	13:10-14:40		立川 睦美 BAO MIN
回	日付	時刻	講義室	担当教員																																																																															
1	10/3	13:10-14:40		立川 睦美 BAO MIN																																																																															
2	10/10	13:10-14:40		立川 睦美 BAO MIN																																																																															
3	10/17	13:10-14:40		立川 睦美 BAO MIN																																																																															
4	10/24	13:10-14:40		立川 睦美 BAO MIN																																																																															
5	10/31	13:10-14:40		立川 睦美 BAO MIN																																																																															
6	11/7	13:10-14:40		立川 睦美 BAO MIN																																																																															
7	11/14	13:10-14:40		立川 睦美 BAO MIN																																																																															
8	11/21	13:10-14:40		立川 睦美 BAO MIN																																																																															
9	11/28	13:10-14:40		立川 睦美 BAO MIN																																																																															
10	12/5	13:10-14:40		立川 睦美 BAO MIN																																																																															
11	12/12	13:10-14:40		立川 睦美 BAO MIN																																																																															
12	12/19	13:10-14:40		立川 睦美 BAO MIN																																																																															
13	1/16	13:10-14:40		立川 睦美 BAO MIN																																																																															
14	1/23	13:10-14:40		立川 睦美 BAO MIN																																																																															
15	1/30	13:10-14:40		立川 睦美 BAO MIN																																																																															
<p>授業方法 講義形式で項目ごとに導入・文法事項を説明→演習→解答解説の手順で進めます。内容を整理し、各自の理解度をチェックするため、授業内でグループワークを行うこともあります。また、日本語や英語など他の言語とのしぐみの違い、文化的背景などについて意見交換を行います。学習の際の疑問には随時応えます。</p>																																																																																			
<p>授業内容 第1回 前期末試験の解説、前期の復習 第2回 分離動詞 第3回 接続詞</p>																																																																																			

- 第4回 話法の助動詞
- 第5回 動詞の3基本形, 過去形
- 第6回 現在完了形
- 第7回 まとめと復習
- 第8回 中間試験, 受動文
- 第9回 受動文, 形容詞
- 第10回 比較表現
- 第11回 再帰代名詞
- 第12回 zu 不定詞
- 第13回 関係代名詞
- 第14回 接続法, まとめと復習
- 第15回 期末試験

成績評価の方法

評価 : 試験 50% ・ レポート % ・ その他 50%(中間試験 20%, 出席状況・授業参加などの平常点 30%)
 再評価: 有(再評価方法:「ドイツ語」としての学年末再試験)
 ・中間試験および期末試験は筆記試験を行います。中間試験に代えて小テストを複数回行う場合もあります。
 ・ドイツ語は, a/b/c/d の総合点で4単位まとめて成績評価を行います。

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習等についての具体的な指示

宿題や予習範囲は, 授業中に適宜指示します。授業のスムーズな進行のため, 宿題は必ず行って授業に臨んでください。

教科書

『プロムナード やさしいドイツ語文法(改訂版)』／荻原耕平, 山崎泰孝: 白水社, 2019 年
 教科書のほか, プリントなどの教材も適宜使用します。

参考書

辞書や参考書については, 初回授業時に紹介します。

履修上の注意事項

試験の受験資格に関わる出欠・遅刻の扱いは学則によりますが, 出欠・遅刻の頻度は平常点の評価対象となりますので注意してください。出欠管理システムの記録より, 教員が取る出欠を優先させます。

時間割番号	000181																																																																																		
科目名	ドイツ語 c	科目ID	LA-115403-Z																																																																																
担当教員	立川 睦美[TACHIKAWA MUTSUMI]																																																																																		
開講時期	2022 年度後期	対象年次	1																																																																																
実務経験のある教員による授業																																																																																			
<p>曜日・時間: 月曜4限 教員ごとに2クラスに分かれます。 対象学科: 医学科・歯学科 科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 1-1, 1-4, 3-1, 3-4, 3-6</p>																																																																																			
<p>授業の目的、概要等 ドイツ語 a に引き続き、ドイツ語の初級文法の後半を学びます。中級レベルのドイツ語学習につながる文法知識を習得することを目指します。コース中盤～終盤になれば、辞書を引きながら自力で平易な内容の文章を読めるようになります。英語以外の外国語で文章を理解し、味わうという新たな体験をめざし、文法学習に取り組んでください。</p>																																																																																			
<p>授業の到達目標 ①ドイツ語の言語文化圏で通用する基本的な語彙、表現、文型を身につけます。 ②初級文法をひと通り終え、簡単な文章の読み書きができるようになります。 ③目安として、ドイツ語技能検定試験4～3級合格レベルの到達を目標とします。</p>																																																																																			
<p>授業計画</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>講義室</th> <th>担当教員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td>10/3</td><td>14:50-16:20</td><td></td><td>立川 睦美 BAO MIN</td></tr> <tr><td>2</td><td>10/10</td><td>14:50-16:20</td><td></td><td>立川 睦美 BAO MIN</td></tr> <tr><td>3</td><td>10/17</td><td>14:50-16:20</td><td></td><td>立川 睦美 BAO MIN</td></tr> <tr><td>4</td><td>10/24</td><td>14:50-16:20</td><td></td><td>立川 睦美 BAO MIN</td></tr> <tr><td>5</td><td>10/31</td><td>14:50-16:20</td><td></td><td>立川 睦美 BAO MIN</td></tr> <tr><td>6</td><td>11/7</td><td>14:50-16:20</td><td></td><td>立川 睦美 BAO MIN</td></tr> <tr><td>7</td><td>11/14</td><td>14:50-16:20</td><td></td><td>立川 睦美 BAO MIN</td></tr> <tr><td>8</td><td>11/21</td><td>14:50-16:20</td><td></td><td>立川 睦美 BAO MIN</td></tr> <tr><td>9</td><td>11/28</td><td>14:50-16:20</td><td></td><td>立川 睦美 BAO MIN</td></tr> <tr><td>10</td><td>12/5</td><td>14:50-16:20</td><td></td><td>立川 睦美 BAO MIN</td></tr> <tr><td>11</td><td>12/12</td><td>14:50-16:20</td><td></td><td>立川 睦美 BAO MIN</td></tr> <tr><td>12</td><td>12/19</td><td>14:50-16:20</td><td></td><td>立川 睦美 BAO MIN</td></tr> <tr><td>13</td><td>1/16</td><td>14:50-16:20</td><td></td><td>立川 睦美 BAO MIN</td></tr> <tr><td>14</td><td>1/23</td><td>14:50-16:20</td><td></td><td>立川 睦美 BAO MIN</td></tr> <tr><td>15</td><td>1/30</td><td>14:50-16:20</td><td></td><td>立川 睦美 BAO MIN</td></tr> </tbody> </table>				回	日付	時刻	講義室	担当教員	1	10/3	14:50-16:20		立川 睦美 BAO MIN	2	10/10	14:50-16:20		立川 睦美 BAO MIN	3	10/17	14:50-16:20		立川 睦美 BAO MIN	4	10/24	14:50-16:20		立川 睦美 BAO MIN	5	10/31	14:50-16:20		立川 睦美 BAO MIN	6	11/7	14:50-16:20		立川 睦美 BAO MIN	7	11/14	14:50-16:20		立川 睦美 BAO MIN	8	11/21	14:50-16:20		立川 睦美 BAO MIN	9	11/28	14:50-16:20		立川 睦美 BAO MIN	10	12/5	14:50-16:20		立川 睦美 BAO MIN	11	12/12	14:50-16:20		立川 睦美 BAO MIN	12	12/19	14:50-16:20		立川 睦美 BAO MIN	13	1/16	14:50-16:20		立川 睦美 BAO MIN	14	1/23	14:50-16:20		立川 睦美 BAO MIN	15	1/30	14:50-16:20		立川 睦美 BAO MIN
回	日付	時刻	講義室	担当教員																																																																															
1	10/3	14:50-16:20		立川 睦美 BAO MIN																																																																															
2	10/10	14:50-16:20		立川 睦美 BAO MIN																																																																															
3	10/17	14:50-16:20		立川 睦美 BAO MIN																																																																															
4	10/24	14:50-16:20		立川 睦美 BAO MIN																																																																															
5	10/31	14:50-16:20		立川 睦美 BAO MIN																																																																															
6	11/7	14:50-16:20		立川 睦美 BAO MIN																																																																															
7	11/14	14:50-16:20		立川 睦美 BAO MIN																																																																															
8	11/21	14:50-16:20		立川 睦美 BAO MIN																																																																															
9	11/28	14:50-16:20		立川 睦美 BAO MIN																																																																															
10	12/5	14:50-16:20		立川 睦美 BAO MIN																																																																															
11	12/12	14:50-16:20		立川 睦美 BAO MIN																																																																															
12	12/19	14:50-16:20		立川 睦美 BAO MIN																																																																															
13	1/16	14:50-16:20		立川 睦美 BAO MIN																																																																															
14	1/23	14:50-16:20		立川 睦美 BAO MIN																																																																															
15	1/30	14:50-16:20		立川 睦美 BAO MIN																																																																															
<p>授業方法 講義形式で項目ごとに導入・文法事項を説明→演習→解答解説の手順で進めます。内容を整理し、各自の理解度をチェックするため、授業内でグループワークを行うこともあります。また、日本語や英語など他の言語とのしぐみの違い、文化的背景などについて意見交換を行います。学習の際の疑問には随時応えます。</p>																																																																																			
<p>授業内容 第1回 前期末試験の解説、前期の復習 第2回 分離動詞 第3回 接続詞</p>																																																																																			

- 第4回 話法の助動詞
- 第5回 動詞の3基本形, 過去形
- 第6回 現在完了形
- 第7回 まとめと復習
- 第8回 中間試験, 受動文
- 第9回 受動文, 形容詞
- 第10回 比較表現
- 第11回 再帰代名詞
- 第12回 zu 不定詞
- 第13回 関係代名詞
- 第14回 接続法, まとめと復習
- 第15回 期末試験

成績評価の方法

評価 : 試験 50% ・ レポート % ・ その他 50%(中間試験 20%, 出席状況・授業参加などの平常点 30%)
 再評価: 有(再評価方法:「ドイツ語」としての学年末再試験)
 ・中間試験および期末試験は筆記試験を行います。中間試験に代えて小テストを複数回行う場合もあります。
 ・ドイツ語は, a/b/c/d の総合点で4単位まとめて成績評価を行います。

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習等についての具体的な指示

宿題や予習範囲は, 授業中に適宜指示します。授業のスムーズな進行のため, 宿題は必ず行って授業に臨んでください。

教科書

『プロムナード やさしいドイツ語文法(改訂版)』／荻原耕平, 山崎泰孝: 白水社, 2019 年
 教科書のほか, プリントなどの教材も適宜使用します。

参考書

辞書や参考書については, 初回授業時に紹介します。

履修上の注意事項

試験の受験資格に関わる出欠・遅刻の扱いは学則によりますが, 出欠・遅刻の頻度は平常点の評価対象となりますので注意してください。出欠管理システムの記録より, 教員が取る出欠を優先させます。

時間割番号	000182																																																																																		
科目名	ドイツ語 d	科目ID	LA-115404-Z																																																																																
担当教員	栗田 圭子																																																																																		
開講時期	2022 年度後期	対象年次	1																																																																																
実務経験のある教員による授業																																																																																			
<p>曜日・時間:水曜1限 教員ごとに3クラスに分かれます。 対象学科:医学科・歯学科 科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):1-1, 1-4, 3-1, 3-4, 3-6</p>																																																																																			
<p>授業の目的、概要等 ドイツ語 b に引き続き、基礎的な語彙と文法を学びながら、日常生活場面において必要とされるドイツ語の運用能力を身につけます。ドイツ語圏の地域・文化に関する知識の修得も目指します。ドイツ語圏の文化にはどのような特徴があるのか、日本語・日本文化とどのような違いや共通点があるのかなど、言葉の学習を通して一緒に考えていきましょう。</p>																																																																																			
<p>授業の到達目標 ①基礎的な語彙・文法が用いられるコミュニケーションの場面において表現や文を理解し、自ら運用できるようになります。 ②趣味、衣服、旅行、予約、1日の行動、過去の出来事など、身近な話題に関する会話ができるようになります。 ③ドイツ語圏の地域・文化演習を通して、異文化間能力(Intercultural Competence)が養われます。</p>																																																																																			
<p>授業計画</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>講義室</th> <th>担当教員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td>10/5</td><td>08:40-10:10</td><td></td><td>BAO MIN</td></tr> <tr><td>2</td><td>10/19</td><td>08:40-10:10</td><td></td><td>BAO MIN</td></tr> <tr><td>3</td><td>10/26</td><td>08:40-10:10</td><td></td><td>BAO MIN</td></tr> <tr><td>4</td><td>11/2</td><td>08:40-10:10</td><td></td><td>BAO MIN</td></tr> <tr><td>5</td><td>11/9</td><td>08:40-10:10</td><td></td><td>BAO MIN</td></tr> <tr><td>6</td><td>11/16</td><td>08:40-10:10</td><td></td><td>BAO MIN</td></tr> <tr><td>7</td><td>11/30</td><td>08:40-10:10</td><td></td><td>BAO MIN</td></tr> <tr><td>8</td><td>12/7</td><td>08:40-10:10</td><td></td><td>BAO MIN</td></tr> <tr><td>9</td><td>12/14</td><td>08:40-10:10</td><td></td><td>BAO MIN</td></tr> <tr><td>10</td><td>12/21</td><td>08:40-10:10</td><td></td><td>BAO MIN</td></tr> <tr><td>11</td><td>1/4</td><td>08:40-10:10</td><td></td><td>BAO MIN</td></tr> <tr><td>12</td><td>1/11</td><td>08:40-10:10</td><td></td><td>BAO MIN</td></tr> <tr><td>13</td><td>1/18</td><td>08:40-10:10</td><td></td><td>BAO MIN</td></tr> <tr><td>14</td><td>1/25</td><td>08:40-10:10</td><td></td><td>BAO MIN</td></tr> <tr><td>15</td><td>2/1</td><td>08:40-10:10</td><td></td><td>BAO MIN</td></tr> </tbody> </table>				回	日付	時刻	講義室	担当教員	1	10/5	08:40-10:10		BAO MIN	2	10/19	08:40-10:10		BAO MIN	3	10/26	08:40-10:10		BAO MIN	4	11/2	08:40-10:10		BAO MIN	5	11/9	08:40-10:10		BAO MIN	6	11/16	08:40-10:10		BAO MIN	7	11/30	08:40-10:10		BAO MIN	8	12/7	08:40-10:10		BAO MIN	9	12/14	08:40-10:10		BAO MIN	10	12/21	08:40-10:10		BAO MIN	11	1/4	08:40-10:10		BAO MIN	12	1/11	08:40-10:10		BAO MIN	13	1/18	08:40-10:10		BAO MIN	14	1/25	08:40-10:10		BAO MIN	15	2/1	08:40-10:10		BAO MIN
回	日付	時刻	講義室	担当教員																																																																															
1	10/5	08:40-10:10		BAO MIN																																																																															
2	10/19	08:40-10:10		BAO MIN																																																																															
3	10/26	08:40-10:10		BAO MIN																																																																															
4	11/2	08:40-10:10		BAO MIN																																																																															
5	11/9	08:40-10:10		BAO MIN																																																																															
6	11/16	08:40-10:10		BAO MIN																																																																															
7	11/30	08:40-10:10		BAO MIN																																																																															
8	12/7	08:40-10:10		BAO MIN																																																																															
9	12/14	08:40-10:10		BAO MIN																																																																															
10	12/21	08:40-10:10		BAO MIN																																																																															
11	1/4	08:40-10:10		BAO MIN																																																																															
12	1/11	08:40-10:10		BAO MIN																																																																															
13	1/18	08:40-10:10		BAO MIN																																																																															
14	1/25	08:40-10:10		BAO MIN																																																																															
15	2/1	08:40-10:10		BAO MIN																																																																															
<p>授業方法 テーマごとに日常でよく使用される表現を取り上げます。語彙・文型を導入後、ペア・ワークやグループ・ワークを行って会話練習をしながら、実際の場で役立つコミュニケーション力をつけていきます。教科書の課ごとに用意された題材に関し、聞き取りや簡単な作文、読解演習も行います。ドイツ語圏の地域・文化に関する文章や資料に触れ、グループまたはクラス全体で意見交換を行います。学習の際の疑問には随時応えます。</p>																																																																																			
<p>授業内容 第1回 前期末試験の解説、前期の復習、趣味の言い方 第2回 趣味や余暇の活動について話す</p>																																																																																			

- 第3回 衣服など身につけるものについて話す
- 第4回 誕生日や贈り物について話す, 年号の言い方
- 第5回 予定について話す, 予約・約束をする
- 第6回 規則について話す, 地域・文化演習③
- 第7回 口頭試験
- 第8回 街の様子について話す, 道案内をする
- 第9回 街の様子について話す, 道案内をする
- 第10回 1日の行動を言う, 時刻表現
- 第11回 1日の行動を言う, 時刻表現
- 第12回 月, 四季, 天候を表す表現
- 第13回 過去の出来事について話す
- 第14回 地域・文化演習④, まとめと復習
- 第15回 期末試験

成績評価の方法

評価 : 試験 50% ・ レポート % ・ その他 50%(中間の口頭試験 20%, 出席状況・授業参加などの平常点 30%)
 再評価: 有(再評価方法:「ドイツ語」としての学年末再試験)
 ・期末試験は筆記試験を行います。
 ・ドイツ語は, a/b/c/d の総合点で4単位まとめて成績評価を行います。

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習等についての具体的な指示

宿題や予習範囲は, 授業中に適宜指示します。授業のスムーズな進行のため, 宿題は必ず行って授業に臨んでください。

教科書

『シュピッツェ! 1 コミュニケーションで学ぶドイツ語』/新倉真矢子, 正木晶子, 中野有希子:
 朝日出版社, 2018年
 教科書のほか, パワーポイントなどの教材も適宜使用します。

参考書

辞書や参考書については, 初回授業時に紹介します。

履修上の注意事項

試験の受験資格に関わる出欠・遅刻の扱いは学則によりますが, 出欠・遅刻の頻度は平常点の評価対象となりますので注意してください。出欠管理システムの記録より, 教員が取る出欠を優先させます。Zoom は原則ビデオオンで参加してください。

時間割番号	000183																																																																																		
科目名	ドイツ語 d	科目ID	LA-115404-Z																																																																																
担当教員	立川 睦美[TACHIKAWA MUTSUMI]																																																																																		
開講時期	2022 年度後期	対象年次	1																																																																																
実務経験のある教員による授業																																																																																			
<p>曜日・時間:水曜2限 教員ごとに2クラスに分かれます。 対象学科:保健衛生学科・口腔保健学科 科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):1-1, 1-4, 3-1, 3-4, 3-6</p>																																																																																			
<p>授業の目的、概要等 ドイツ語 b に引き続き、基礎的な語彙と文法を学びながら、日常的な生活場面において必要とされるドイツ語の運用能力を身につけます。ドイツ語圏の地域・文化に関する知識の修得も目指します。ドイツ語圏の文化にはどのような特徴があるのか、日本語・日本文化とどのような違いや共通点があるのかなど、言葉の学習を通して一緒に考えていきましょう。</p>																																																																																			
<p>授業の到達目標 ①基礎的な語彙・文法が用いられるコミュニケーションの場面において表現や文を理解し、自ら運用できるようになります。 ②趣味、衣服、旅行、予約、1日の行動、過去の出来事など、身近な話題に関する会話ができるようになります。 ③ドイツ語圏の地域・文化演習を通して、異文化間能力(Intercultural Competence)が養われます。</p>																																																																																			
<p>授業計画</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>講義室</th> <th>担当教員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td>10/5</td><td>10:20-11:50</td><td></td><td>立川 睦美 BAO MIN</td></tr> <tr><td>2</td><td>10/19</td><td>10:20-11:50</td><td></td><td>立川 睦美 BAO MIN</td></tr> <tr><td>3</td><td>10/26</td><td>10:20-11:50</td><td></td><td>立川 睦美 BAO MIN</td></tr> <tr><td>4</td><td>11/2</td><td>10:20-11:50</td><td></td><td>立川 睦美 BAO MIN</td></tr> <tr><td>5</td><td>11/9</td><td>10:20-11:50</td><td></td><td>立川 睦美 BAO MIN</td></tr> <tr><td>6</td><td>11/16</td><td>10:20-11:50</td><td></td><td>立川 睦美 BAO MIN</td></tr> <tr><td>7</td><td>11/30</td><td>10:20-11:50</td><td></td><td>立川 睦美 BAO MIN</td></tr> <tr><td>8</td><td>12/7</td><td>10:20-11:50</td><td></td><td>立川 睦美 BAO MIN</td></tr> <tr><td>9</td><td>12/14</td><td>10:20-11:50</td><td></td><td>立川 睦美 BAO MIN</td></tr> <tr><td>10</td><td>12/21</td><td>10:20-11:50</td><td></td><td>立川 睦美 BAO MIN</td></tr> <tr><td>11</td><td>1/4</td><td>10:20-11:50</td><td></td><td>立川 睦美 BAO MIN</td></tr> <tr><td>12</td><td>1/11</td><td>10:20-11:50</td><td></td><td>立川 睦美 BAO MIN</td></tr> <tr><td>13</td><td>1/18</td><td>10:20-11:50</td><td></td><td>立川 睦美 BAO MIN</td></tr> <tr><td>14</td><td>1/25</td><td>10:20-11:50</td><td></td><td>立川 睦美 BAO MIN</td></tr> <tr><td>15</td><td>2/1</td><td>10:20-11:50</td><td></td><td>立川 睦美 BAO MIN</td></tr> </tbody> </table>				回	日付	時刻	講義室	担当教員	1	10/5	10:20-11:50		立川 睦美 BAO MIN	2	10/19	10:20-11:50		立川 睦美 BAO MIN	3	10/26	10:20-11:50		立川 睦美 BAO MIN	4	11/2	10:20-11:50		立川 睦美 BAO MIN	5	11/9	10:20-11:50		立川 睦美 BAO MIN	6	11/16	10:20-11:50		立川 睦美 BAO MIN	7	11/30	10:20-11:50		立川 睦美 BAO MIN	8	12/7	10:20-11:50		立川 睦美 BAO MIN	9	12/14	10:20-11:50		立川 睦美 BAO MIN	10	12/21	10:20-11:50		立川 睦美 BAO MIN	11	1/4	10:20-11:50		立川 睦美 BAO MIN	12	1/11	10:20-11:50		立川 睦美 BAO MIN	13	1/18	10:20-11:50		立川 睦美 BAO MIN	14	1/25	10:20-11:50		立川 睦美 BAO MIN	15	2/1	10:20-11:50		立川 睦美 BAO MIN
回	日付	時刻	講義室	担当教員																																																																															
1	10/5	10:20-11:50		立川 睦美 BAO MIN																																																																															
2	10/19	10:20-11:50		立川 睦美 BAO MIN																																																																															
3	10/26	10:20-11:50		立川 睦美 BAO MIN																																																																															
4	11/2	10:20-11:50		立川 睦美 BAO MIN																																																																															
5	11/9	10:20-11:50		立川 睦美 BAO MIN																																																																															
6	11/16	10:20-11:50		立川 睦美 BAO MIN																																																																															
7	11/30	10:20-11:50		立川 睦美 BAO MIN																																																																															
8	12/7	10:20-11:50		立川 睦美 BAO MIN																																																																															
9	12/14	10:20-11:50		立川 睦美 BAO MIN																																																																															
10	12/21	10:20-11:50		立川 睦美 BAO MIN																																																																															
11	1/4	10:20-11:50		立川 睦美 BAO MIN																																																																															
12	1/11	10:20-11:50		立川 睦美 BAO MIN																																																																															
13	1/18	10:20-11:50		立川 睦美 BAO MIN																																																																															
14	1/25	10:20-11:50		立川 睦美 BAO MIN																																																																															
15	2/1	10:20-11:50		立川 睦美 BAO MIN																																																																															
<p>授業方法 テーマごとに日常でよく使用される表現を取り上げます。語彙・文型を導入後、ペア・ワークやグループ・ワークを行って会話練習をしながら、実際の場で役立つコミュニケーション力をつけていきます。教科書の課ごとに用意された題材に関し、聞き取りや簡単な作文、読解演習も行います。ドイツ語圏の地域・文化に関する文章や資料に触れ、グループまたはクラス全体で意見交換を行います。学習の際の疑問には随時応えます。</p>																																																																																			
<p>授業内容 第1回 前期末試験の解説、前期の復習、趣味の言い方 第2回 趣味や余暇の活動について話す</p>																																																																																			

- 第3回 衣服など身につけるものについて話す
- 第4回 誕生日や贈り物について話す, 年号の言い方
- 第5回 予定について話す, 予約・約束をする
- 第6回 規則について話す, 地域・文化演習③
- 第7回 口頭試験
- 第8回 街の様子について話す, 道案内をする
- 第9回 街の様子について話す, 道案内をする
- 第10回 1日の行動を言う, 時刻表現
- 第11回 1日の行動を言う, 時刻表現
- 第12回 月, 四季, 天候を表す表現
- 第13回 過去の出来事について話す
- 第14回 地域・文化演習④, まとめと復習
- 第15回 期末試験

成績評価の方法

評価 : 試験 50% ・ レポート % ・ その他 50%(中間の口頭試験 20%, 出席状況・授業参加などの平常点 30%)
 再評価: 有(再評価方法:「ドイツ語」としての学年末再試験)
 ・期末試験は筆記試験を行います。
 ・ドイツ語は, a/b/c/d の総合点で4単位まとめて成績評価を行います。

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習等についての具体的な指示

宿題や予習範囲は, 授業中に適宜指示します。授業のスムーズな進行のため, 宿題は必ず行って授業に臨んでください。

教科書

『シュピッツェ! 1 コミュニケーションで学ぶドイツ語』/新倉真矢子, 正木晶子, 中野有希子:
 朝日出版社, 2018 年
 教科書のほか, パワーポイントなどの教材も適宜使用します。

参考書

辞書や参考書については, 初回授業時に紹介します。

履修上の注意事項

試験の受験資格に関わる出欠・遅刻の扱いは学則によりますが, 出欠・遅刻の頻度は平常点の評価対象となりますので注意してください。出欠管理システムの記録より, 教員が取る出欠を優先させます。Zoom は原則ビデオオンで参加してください。

時間割番号	000185																																																																																		
科目名	ドイツ語 c	科目ID	LA-115403-Z																																																																																
担当教員	藤井 俊吾[FUJII Shunngo]																																																																																		
開講時期	2022 年度後期	対象年次	1																																																																																
実務経験のある教員による授業																																																																																			
<p>曜日・時間: 月曜4限 教員ごとに2クラスに分かれます。 対象学科: 医学科・歯学科 科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 1-1, 1-4, 3-1, 3-4, 3-6</p>																																																																																			
<p>授業の目的、概要等 ドイツ語 a に引き続き、ドイツ語の初級文法の後半を学びます。中級レベルのドイツ語学習につながる文法知識を習得することを目指します。コース中盤～終盤になれば、辞書を引きながら自力で平易な内容の文章を読めるようになります。英語以外の外国語で文章を理解し、味わうという新たな体験をめざし、文法学習に取り組んでください。</p>																																																																																			
<p>授業の到達目標 ①ドイツ語の言語文化圏で通用する基本的な語彙、表現、文型を身につけます。 ②初級文法をひと通り終え、簡単な文章の読み書きができるようになります。 ③目安として、ドイツ語技能検定試験4～3級合格レベルの到達を目標とします。</p>																																																																																			
<p>授業計画</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>講義室</th> <th>担当教員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td>10/3</td><td>14:50-16:20</td><td></td><td>藤井 俊吾, BAO MIN</td></tr> <tr><td>2</td><td>10/10</td><td>14:50-16:20</td><td></td><td>藤井 俊吾, BAO MIN</td></tr> <tr><td>3</td><td>10/17</td><td>14:50-16:20</td><td></td><td>藤井 俊吾, BAO MIN</td></tr> <tr><td>4</td><td>10/24</td><td>14:50-16:20</td><td></td><td>藤井 俊吾, BAO MIN</td></tr> <tr><td>5</td><td>10/31</td><td>14:50-16:20</td><td></td><td>藤井 俊吾, BAO MIN</td></tr> <tr><td>6</td><td>11/7</td><td>14:50-16:20</td><td></td><td>藤井 俊吾, BAO MIN</td></tr> <tr><td>7</td><td>11/14</td><td>14:50-16:20</td><td></td><td>藤井 俊吾, BAO MIN</td></tr> <tr><td>8</td><td>11/21</td><td>14:50-16:20</td><td></td><td>藤井 俊吾, BAO MIN</td></tr> <tr><td>9</td><td>11/28</td><td>14:50-16:20</td><td></td><td>藤井 俊吾, BAO MIN</td></tr> <tr><td>10</td><td>12/5</td><td>14:50-16:20</td><td></td><td>藤井 俊吾, BAO MIN</td></tr> <tr><td>11</td><td>12/12</td><td>14:50-16:20</td><td></td><td>藤井 俊吾, BAO MIN</td></tr> <tr><td>12</td><td>12/19</td><td>14:50-16:20</td><td></td><td>藤井 俊吾, BAO MIN</td></tr> <tr><td>13</td><td>1/16</td><td>14:50-16:20</td><td></td><td>藤井 俊吾, BAO MIN</td></tr> <tr><td>14</td><td>1/23</td><td>14:50-16:20</td><td></td><td>藤井 俊吾, BAO MIN</td></tr> <tr><td>15</td><td>1/30</td><td>14:50-16:20</td><td></td><td>藤井 俊吾, BAO MIN</td></tr> </tbody> </table>				回	日付	時刻	講義室	担当教員	1	10/3	14:50-16:20		藤井 俊吾, BAO MIN	2	10/10	14:50-16:20		藤井 俊吾, BAO MIN	3	10/17	14:50-16:20		藤井 俊吾, BAO MIN	4	10/24	14:50-16:20		藤井 俊吾, BAO MIN	5	10/31	14:50-16:20		藤井 俊吾, BAO MIN	6	11/7	14:50-16:20		藤井 俊吾, BAO MIN	7	11/14	14:50-16:20		藤井 俊吾, BAO MIN	8	11/21	14:50-16:20		藤井 俊吾, BAO MIN	9	11/28	14:50-16:20		藤井 俊吾, BAO MIN	10	12/5	14:50-16:20		藤井 俊吾, BAO MIN	11	12/12	14:50-16:20		藤井 俊吾, BAO MIN	12	12/19	14:50-16:20		藤井 俊吾, BAO MIN	13	1/16	14:50-16:20		藤井 俊吾, BAO MIN	14	1/23	14:50-16:20		藤井 俊吾, BAO MIN	15	1/30	14:50-16:20		藤井 俊吾, BAO MIN
回	日付	時刻	講義室	担当教員																																																																															
1	10/3	14:50-16:20		藤井 俊吾, BAO MIN																																																																															
2	10/10	14:50-16:20		藤井 俊吾, BAO MIN																																																																															
3	10/17	14:50-16:20		藤井 俊吾, BAO MIN																																																																															
4	10/24	14:50-16:20		藤井 俊吾, BAO MIN																																																																															
5	10/31	14:50-16:20		藤井 俊吾, BAO MIN																																																																															
6	11/7	14:50-16:20		藤井 俊吾, BAO MIN																																																																															
7	11/14	14:50-16:20		藤井 俊吾, BAO MIN																																																																															
8	11/21	14:50-16:20		藤井 俊吾, BAO MIN																																																																															
9	11/28	14:50-16:20		藤井 俊吾, BAO MIN																																																																															
10	12/5	14:50-16:20		藤井 俊吾, BAO MIN																																																																															
11	12/12	14:50-16:20		藤井 俊吾, BAO MIN																																																																															
12	12/19	14:50-16:20		藤井 俊吾, BAO MIN																																																																															
13	1/16	14:50-16:20		藤井 俊吾, BAO MIN																																																																															
14	1/23	14:50-16:20		藤井 俊吾, BAO MIN																																																																															
15	1/30	14:50-16:20		藤井 俊吾, BAO MIN																																																																															
<p>授業方法 講義形式で項目ごとに導入・文法事項を説明→演習→解答解説の手順で進めます。内容を整理し、各自の理解度をチェックするため、授業内でグループワークを行うこともあります。また、日本語や英語など他の言語とのしよみの違い、文化的背景などについて意見交換を行います。学習の際の疑問には随時応えます。</p>																																																																																			
<p>授業内容 第1回 前期末試験の解説、前期の復習 第2回 分離動詞 第3回 接続詞</p>																																																																																			

- 第4回 話法の助動詞
- 第5回 動詞の3基本形, 過去形
- 第6回 現在完了形
- 第7回 まとめと復習
- 第8回 中間試験, 受動文
- 第9回 受動文, 形容詞
- 第10回 比較表現
- 第11回 再帰代名詞
- 第12回 zu 不定詞
- 第13回 関係代名詞
- 第14回 接続法, まとめと復習
- 第15回 期末試験

成績評価の方法

評価 : 試験 50% ・ レポート % ・ その他 50%(中間試験 20%, 出席状況・授業参加などの平常点 30%)
 再評価: 有(再評価方法:「ドイツ語」としての学年末再試験)
 ・中間試験および期末試験は筆記試験を行います。中間試験に代えて小テストを複数回行う場合もあります。
 ・ドイツ語は, a/b/c/d の総合点で4単位まとめて成績評価を行います。

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習等についての具体的な指示

宿題や予習範囲は, 授業中に適宜指示します。授業のスムーズな進行のため, 宿題は必ず行って授業に臨んでください。

教科書

『プロムナード やさしいドイツ語文法(改訂版)』／荻原耕平, 山崎泰孝: 白水社, 2019 年
 教科書のほか, プリントなどの教材も適宜使用します。

参考書

辞書や参考書については, 初回授業時に紹介します。

履修上の注意事項

試験の受験資格に関わる出欠・遅刻の扱いは学則によりますが, 出欠・遅刻の頻度は平常点の評価対象となりますので注意してください。出欠管理システムの記録より, 教員が取る出欠を優先させます。

時間割番号	000186																																																																																		
科目名	ドイツ語 d	科目ID	LA-115403-Z																																																																																
担当教員	立川 睦美[TACHIKAWA MUTSUMI]																																																																																		
開講時期	2022 年度後期	対象年次	1																																																																																
実務経験のある教員による授業																																																																																			
<p>曜日・時間:水曜1限 教員ごとに3クラスに分かれます。 対象学科:医学科・歯学科 科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):1-1, 1-4, 3-1, 3-4, 3-6</p>																																																																																			
<p>授業の目的、概要等 ドイツ語 b に引き続き、基礎的な語彙と文法を学びながら、日常生活場面において必要とされるドイツ語の運用能力を身につけます。ドイツ語圏の地域・文化に関する知識の修得も目指します。ドイツ語圏の文化にはどのような特徴があるのか、日本語・日本文化とどのような違いや共通点があるのかなど、言葉の学習を通して一緒に考えていきましょう。</p>																																																																																			
<p>授業の到達目標 ①基礎的な語彙・文法が用いられるコミュニケーションの場面において表現や文を理解し、自ら運用できるようになります。 ②趣味、衣服、旅行、予約、1日の行動、過去の出来事など、身近な話題に関する会話ができるようになります。 ③ドイツ語圏の地域・文化演習を通して、異文化間能力(Intercultural Competence)が養われます。</p>																																																																																			
<p>授業計画</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>講義室</th> <th>担当教員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td>10/5</td><td>08:40-10:10</td><td></td><td>立川 睦美 BAO MIN</td></tr> <tr><td>2</td><td>10/19</td><td>08:40-10:10</td><td></td><td>立川 睦美 BAO MIN</td></tr> <tr><td>3</td><td>10/26</td><td>08:40-10:10</td><td></td><td>立川 睦美 BAO MIN</td></tr> <tr><td>4</td><td>11/2</td><td>08:40-10:10</td><td></td><td>立川 睦美 BAO MIN</td></tr> <tr><td>5</td><td>11/9</td><td>08:40-10:10</td><td></td><td>立川 睦美 BAO MIN</td></tr> <tr><td>6</td><td>11/16</td><td>08:40-10:10</td><td></td><td>立川 睦美 BAO MIN</td></tr> <tr><td>7</td><td>11/30</td><td>08:40-10:10</td><td></td><td>立川 睦美 BAO MIN</td></tr> <tr><td>8</td><td>12/7</td><td>08:40-10:10</td><td></td><td>立川 睦美 BAO MIN</td></tr> <tr><td>9</td><td>12/14</td><td>08:40-10:10</td><td></td><td>立川 睦美 BAO MIN</td></tr> <tr><td>10</td><td>12/21</td><td>08:40-10:10</td><td></td><td>立川 睦美 BAO MIN</td></tr> <tr><td>11</td><td>1/4</td><td>08:40-10:10</td><td></td><td>立川 睦美 BAO MIN</td></tr> <tr><td>12</td><td>1/11</td><td>08:40-10:10</td><td></td><td>立川 睦美 BAO MIN</td></tr> <tr><td>13</td><td>1/18</td><td>08:40-10:10</td><td></td><td>立川 睦美 BAO MIN</td></tr> <tr><td>14</td><td>1/25</td><td>08:40-10:10</td><td></td><td>立川 睦美 BAO MIN</td></tr> <tr><td>15</td><td>2/1</td><td>08:40-10:10</td><td></td><td>立川 睦美 BAO MIN</td></tr> </tbody> </table>				回	日付	時刻	講義室	担当教員	1	10/5	08:40-10:10		立川 睦美 BAO MIN	2	10/19	08:40-10:10		立川 睦美 BAO MIN	3	10/26	08:40-10:10		立川 睦美 BAO MIN	4	11/2	08:40-10:10		立川 睦美 BAO MIN	5	11/9	08:40-10:10		立川 睦美 BAO MIN	6	11/16	08:40-10:10		立川 睦美 BAO MIN	7	11/30	08:40-10:10		立川 睦美 BAO MIN	8	12/7	08:40-10:10		立川 睦美 BAO MIN	9	12/14	08:40-10:10		立川 睦美 BAO MIN	10	12/21	08:40-10:10		立川 睦美 BAO MIN	11	1/4	08:40-10:10		立川 睦美 BAO MIN	12	1/11	08:40-10:10		立川 睦美 BAO MIN	13	1/18	08:40-10:10		立川 睦美 BAO MIN	14	1/25	08:40-10:10		立川 睦美 BAO MIN	15	2/1	08:40-10:10		立川 睦美 BAO MIN
回	日付	時刻	講義室	担当教員																																																																															
1	10/5	08:40-10:10		立川 睦美 BAO MIN																																																																															
2	10/19	08:40-10:10		立川 睦美 BAO MIN																																																																															
3	10/26	08:40-10:10		立川 睦美 BAO MIN																																																																															
4	11/2	08:40-10:10		立川 睦美 BAO MIN																																																																															
5	11/9	08:40-10:10		立川 睦美 BAO MIN																																																																															
6	11/16	08:40-10:10		立川 睦美 BAO MIN																																																																															
7	11/30	08:40-10:10		立川 睦美 BAO MIN																																																																															
8	12/7	08:40-10:10		立川 睦美 BAO MIN																																																																															
9	12/14	08:40-10:10		立川 睦美 BAO MIN																																																																															
10	12/21	08:40-10:10		立川 睦美 BAO MIN																																																																															
11	1/4	08:40-10:10		立川 睦美 BAO MIN																																																																															
12	1/11	08:40-10:10		立川 睦美 BAO MIN																																																																															
13	1/18	08:40-10:10		立川 睦美 BAO MIN																																																																															
14	1/25	08:40-10:10		立川 睦美 BAO MIN																																																																															
15	2/1	08:40-10:10		立川 睦美 BAO MIN																																																																															
<p>授業方法 テーマごとに日常でよく使用される表現を取り上げます。語彙・文型を導入後、ペア・ワークやグループ・ワークを行って会話練習をしながら、実際の場で役立つコミュニケーション力をつけていきます。教科書の課ごとに用意された題材に関し、聞き取りや簡単な作文、読解演習も行います。ドイツ語圏の地域・文化に関する文章や資料に触れ、グループまたはクラス全体で意見交換を行います。学習の際の疑問には随時応えます。</p>																																																																																			
<p>授業内容 第1回 前期末試験の解説、前期の復習、趣味の言い方 第2回 趣味や余暇の活動について話す</p>																																																																																			

- 第3回 衣服など身につけるものについて話す
- 第4回 誕生日や贈り物について話す, 年号の言い方
- 第5回 予定について話す, 予約・約束をする
- 第6回 規則について話す, 地域・文化演習③
- 第7回 口頭試験
- 第8回 街の様子について話す, 道案内をする
- 第9回 街の様子について話す, 道案内をする
- 第10回 1日の行動を言う, 時刻表現
- 第11回 1日の行動を言う, 時刻表現
- 第12回 月, 四季, 天候を表す表現
- 第13回 過去の出来事について話す
- 第14回 地域・文化演習④, まとめと復習
- 第15回 期末試験

成績評価の方法

評価 : 試験 50% ・ レポート % ・ その他 50%(中間の口頭試験 20%, 出席状況・授業参加などの平常点 30%)
 再評価: 有(再評価方法:「ドイツ語」としての学年末再試験)
 ・期末試験は筆記試験を行います。
 ・ドイツ語は, a/b/c/d の総合点で4単位まとめて成績評価を行います。

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習等についての具体的な指示

宿題や予習範囲は, 授業中に適宜指示します。授業のスムーズな進行のため, 宿題は必ず行って授業に臨んでください。

教科書

『シュピッツェ! 1 コミュニケーションで学ぶドイツ語』/新倉真矢子, 正木晶子, 中野有希子:
 朝日出版社, 2018年
 教科書のほか, パワーポイントなどの教材も適宜使用します。

参考書

辞書や参考書については, 初回授業時に紹介します。

履修上の注意事項

試験の受験資格に関わる出欠・遅刻の扱いは学則によりますが, 出欠・遅刻の頻度は平常点の評価対象となりますので注意してください。出欠管理システムの記録より, 教員が取る出欠を優先させます。Zoom は原則ビデオオンで参加してください。

時間割番号	000200				
科目名	フランス語	科目ID	LA-115500-Z		
担当教員					
開講時期	2022 年度通年	対象年次	1	単位数	4
実務経験のある教員による授業					
準備学習等についての具体的な指示					

時間割番号	000201																																																																		
科目名	フランス語 a	科目ID	LA-115501-Z																																																																
担当教員	竹下 和亮																																																																		
開講時期	2022 年度前期	対象年次	1																																																																
実務経験のある教員による授業																																																																			
<p>【曜日・時間】 月曜3限</p> <p>【対象学科】 保健衛生学科・口腔保健学科</p> <p>【科目を履修して得られる能力(コンピテンシー)】 別表3-1)国際的に活躍するための語学力を養う 別表3-4)外国文化を理解する</p>																																																																			
<p>授業の目的、概要等 初級文法の説明、および練習問題の解説を行う。</p>																																																																			
<p>授業の到達目標 フランス語の初級文法を学ぶ。簡単な文章が読めるようになる。</p>																																																																			
<p>授業計画</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>講義室</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td>4/18</td><td>13:10-14:40</td><td></td></tr> <tr><td>2</td><td>4/25</td><td>13:10-14:40</td><td></td></tr> <tr><td>3</td><td>5/2</td><td>13:10-14:40</td><td></td></tr> <tr><td>4</td><td>5/9</td><td>13:10-14:40</td><td></td></tr> <tr><td>5</td><td>5/16</td><td>13:10-14:40</td><td></td></tr> <tr><td>6</td><td>5/23</td><td>13:10-14:40</td><td></td></tr> <tr><td>7</td><td>5/30</td><td>13:10-14:40</td><td></td></tr> <tr><td>8</td><td>6/6</td><td>13:10-14:40</td><td></td></tr> <tr><td>9</td><td>6/13</td><td>13:10-14:40</td><td></td></tr> <tr><td>10</td><td>6/20</td><td>13:10-14:40</td><td></td></tr> <tr><td>11</td><td>6/27</td><td>13:10-14:40</td><td></td></tr> <tr><td>12</td><td>7/4</td><td>13:10-14:40</td><td></td></tr> <tr><td>13</td><td>7/11</td><td>13:10-14:40</td><td></td></tr> <tr><td>14</td><td>7/18</td><td>13:10-14:40</td><td></td></tr> <tr><td>15</td><td>7/25</td><td>13:10-14:40</td><td></td></tr> </tbody> </table>				回	日付	時刻	講義室	1	4/18	13:10-14:40		2	4/25	13:10-14:40		3	5/2	13:10-14:40		4	5/9	13:10-14:40		5	5/16	13:10-14:40		6	5/23	13:10-14:40		7	5/30	13:10-14:40		8	6/6	13:10-14:40		9	6/13	13:10-14:40		10	6/20	13:10-14:40		11	6/27	13:10-14:40		12	7/4	13:10-14:40		13	7/11	13:10-14:40		14	7/18	13:10-14:40		15	7/25	13:10-14:40	
回	日付	時刻	講義室																																																																
1	4/18	13:10-14:40																																																																	
2	4/25	13:10-14:40																																																																	
3	5/2	13:10-14:40																																																																	
4	5/9	13:10-14:40																																																																	
5	5/16	13:10-14:40																																																																	
6	5/23	13:10-14:40																																																																	
7	5/30	13:10-14:40																																																																	
8	6/6	13:10-14:40																																																																	
9	6/13	13:10-14:40																																																																	
10	6/20	13:10-14:40																																																																	
11	6/27	13:10-14:40																																																																	
12	7/4	13:10-14:40																																																																	
13	7/11	13:10-14:40																																																																	
14	7/18	13:10-14:40																																																																	
15	7/25	13:10-14:40																																																																	
<p>授業内容</p> <p>第1回 授業内容の説明とオリエンテーション</p> <p>第2回 名詞の性と数、不定冠詞と定冠詞、第一群規則動詞の活用</p> <p>第3回 練習問題と長文読解</p> <p>第4回 avoir と être の直説法現在形、形容詞、否定文と疑問文</p> <p>第5回 長文精読</p> <p>第6回 練習問題と長文読解</p> <p>第7回 数詞、不規則動詞の直説法現在形、近接過去と近接未来、形容詞の女性形、部分冠詞</p> <p>第8回 練習問題と長文読解</p> <p>第9回 練習問題と長文読解</p> <p>第10回 第二群規則動詞の活用、命令法、非人称構文、人称代名詞強勢形</p>																																																																			

第 11 回 練習問題と長文読解

第 12 回 長文精読

第 13 回 形容詞と副詞の比較級、数量比較、関係代名詞 I

第 14 回 練習問題と長文読解

第 15 回 疑問形容詞、指示代名詞、強調構文

※ 定期試験/ 5月下旬に読解の課題/ 7月中旬に読解の課題

成績評価の方法

平常点、ALH、期末テストの結果を見て総合的に判断する。

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習等についての具体的な指示

予習・復習をきちんと行い、授業には毎回出席すること。

教科書

ルーヴル美術館にて／中山真彦：朝日出版社，1988

履修上の注意事項

春学期の授業は、Zoom で行います。カメラは原則 ON にしてください。

備考

キーワード：フランス語初級文法

時間割番号	000202																																																																		
科目名	フランス語 a	科目ID	LA-115501-Z																																																																
担当教員	竹下 和亮																																																																		
開講時期	2022 年度前期	対象年次	1																																																																
実務経験のある教員による授業																																																																			
<p>【曜日・時間】 月曜 4 限</p> <p>【対象学科】 医学科・歯学科</p> <p>【科目を履修して得られる能力(コンピテンシー)】 別表3-1)国際的に活躍するための語学力を養う 別表3-4)外国文化を理解する</p> <p>実務経験のある教員による授業</p>																																																																			
<p>授業の目的、概要等 初級文法の説明、および練習問題の解説を行う。</p>																																																																			
<p>授業の到達目標 フランス語の初級文法を学ぶ。簡単な文章が読めるようになる。</p>																																																																			
<p>授業計画</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>講義室</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td>4/18</td><td>14:50-16:20</td><td></td></tr> <tr><td>2</td><td>4/25</td><td>14:50-16:20</td><td></td></tr> <tr><td>3</td><td>5/2</td><td>14:50-16:20</td><td></td></tr> <tr><td>4</td><td>5/9</td><td>14:50-16:20</td><td></td></tr> <tr><td>5</td><td>5/16</td><td>14:50-16:20</td><td></td></tr> <tr><td>6</td><td>5/23</td><td>14:50-16:20</td><td></td></tr> <tr><td>7</td><td>5/30</td><td>14:50-16:20</td><td></td></tr> <tr><td>8</td><td>6/6</td><td>14:50-16:20</td><td></td></tr> <tr><td>9</td><td>6/13</td><td>14:50-16:20</td><td></td></tr> <tr><td>10</td><td>6/20</td><td>14:50-16:20</td><td></td></tr> <tr><td>11</td><td>6/27</td><td>14:50-16:20</td><td></td></tr> <tr><td>12</td><td>7/4</td><td>14:50-16:20</td><td></td></tr> <tr><td>13</td><td>7/11</td><td>14:50-16:20</td><td></td></tr> <tr><td>14</td><td>7/18</td><td>14:50-16:20</td><td></td></tr> <tr><td>15</td><td>7/25</td><td>14:50-16:20</td><td></td></tr> </tbody> </table>				回	日付	時刻	講義室	1	4/18	14:50-16:20		2	4/25	14:50-16:20		3	5/2	14:50-16:20		4	5/9	14:50-16:20		5	5/16	14:50-16:20		6	5/23	14:50-16:20		7	5/30	14:50-16:20		8	6/6	14:50-16:20		9	6/13	14:50-16:20		10	6/20	14:50-16:20		11	6/27	14:50-16:20		12	7/4	14:50-16:20		13	7/11	14:50-16:20		14	7/18	14:50-16:20		15	7/25	14:50-16:20	
回	日付	時刻	講義室																																																																
1	4/18	14:50-16:20																																																																	
2	4/25	14:50-16:20																																																																	
3	5/2	14:50-16:20																																																																	
4	5/9	14:50-16:20																																																																	
5	5/16	14:50-16:20																																																																	
6	5/23	14:50-16:20																																																																	
7	5/30	14:50-16:20																																																																	
8	6/6	14:50-16:20																																																																	
9	6/13	14:50-16:20																																																																	
10	6/20	14:50-16:20																																																																	
11	6/27	14:50-16:20																																																																	
12	7/4	14:50-16:20																																																																	
13	7/11	14:50-16:20																																																																	
14	7/18	14:50-16:20																																																																	
15	7/25	14:50-16:20																																																																	
<p>授業内容</p> <p>第1回 授業内容の説明とオリエンテーション</p> <p>第2回 名詞の性と数、不定冠詞と定冠詞、第一群規則動詞の活用</p> <p>第3回 練習問題と長文読解</p> <p>第4回 avoir と être の直説法現在形、形容詞、否定文と疑問文</p> <p>第5回 長文精読</p> <p>第6回 練習問題と長文読解</p> <p>第7回 数詞、不規則動詞の直説法現在形、近接過去と近接未来、形容詞の女性形、部分冠詞</p> <p>第8回 練習問題と長文読解</p> <p>第9回 練習問題と長文読解</p>																																																																			

第10回 第二群規則動詞の活用、命令法、非人称構文、人称代名詞強勢形
第11回 練習問題と長文読解
第12回 長文精読
第13回 形容詞と副詞の比較級、数量比較、関係代名詞 I
第14回 練習問題と長文読解
第15回 疑問形容詞、指示代名詞、強調構文

※ 定期試験 5月下旬に読解の課題 7月中旬に読解の課題

成績評価の方法

平常点、ALH、期末テストの結果を見て総合的に判断する。

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習等についての具体的な指示

予習・復習をきちんと行い、授業には毎回出席すること。

教科書

ルーヴル美術館にて／中山真彦：朝日出版社，1988

履修上の注意事項

授業は Zoom で行います。カメラは原則 ON にしてください。

備考

キーワード：フランス語初級文法

時間割番号	000203																																																																		
科目名	フランス語 b	科目ID	LA-115502-Z																																																																
担当教員	宇田川 和夫																																																																		
開講時期	2022 年度前期	対象年次	1																																																																
実務経験のある教員による授業																																																																			
<p>【曜日・時間】 水曜 3 限</p> <p>【対象学科】 医学科・歯学科</p> <p>【科目を履修して得られる能力(コンピテンシー)】 別表3-1)国際的に活躍するための語学力を養う 別表3-4)外国文化を理解する</p>																																																																			
<p>授業の目的、概要等</p> <p>初めてフランス語を学ぶ人を対象とした授業で、文法学習を主体にしつつ、基本語彙を習得する。文法解説と問題練習という形で進む。</p>																																																																			
<p>授業の到達目標</p> <p>やさしい語彙で書かれた文章を、辞書などを用いて読むことができるようになること。 基本語彙を用いて文法的に正しい文を構成することができるようになること。</p>																																																																			
<p>授業計画</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>講義室</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td>4/13</td><td>12:40-14:10</td><td></td></tr> <tr><td>2</td><td>4/20</td><td>12:40-14:10</td><td></td></tr> <tr><td>3</td><td>4/27</td><td>12:40-14:10</td><td></td></tr> <tr><td>4</td><td>5/11</td><td>12:40-14:10</td><td></td></tr> <tr><td>5</td><td>5/18</td><td>12:40-14:10</td><td></td></tr> <tr><td>6</td><td>5/25</td><td>12:40-14:10</td><td></td></tr> <tr><td>7</td><td>6/1</td><td>12:40-14:10</td><td></td></tr> <tr><td>8</td><td>6/8</td><td>12:40-14:10</td><td></td></tr> <tr><td>9</td><td>6/15</td><td>12:40-14:10</td><td></td></tr> <tr><td>10</td><td>6/22</td><td>12:40-14:10</td><td></td></tr> <tr><td>11</td><td>6/29</td><td>12:40-14:10</td><td></td></tr> <tr><td>12</td><td>7/6</td><td>12:40-14:10</td><td></td></tr> <tr><td>13</td><td>7/13</td><td>12:40-14:10</td><td></td></tr> <tr><td>14</td><td>7/20</td><td>12:40-14:10</td><td></td></tr> <tr><td>15</td><td>7/27</td><td>12:40-14:10</td><td></td></tr> </tbody> </table>				回	日付	時刻	講義室	1	4/13	12:40-14:10		2	4/20	12:40-14:10		3	4/27	12:40-14:10		4	5/11	12:40-14:10		5	5/18	12:40-14:10		6	5/25	12:40-14:10		7	6/1	12:40-14:10		8	6/8	12:40-14:10		9	6/15	12:40-14:10		10	6/22	12:40-14:10		11	6/29	12:40-14:10		12	7/6	12:40-14:10		13	7/13	12:40-14:10		14	7/20	12:40-14:10		15	7/27	12:40-14:10	
回	日付	時刻	講義室																																																																
1	4/13	12:40-14:10																																																																	
2	4/20	12:40-14:10																																																																	
3	4/27	12:40-14:10																																																																	
4	5/11	12:40-14:10																																																																	
5	5/18	12:40-14:10																																																																	
6	5/25	12:40-14:10																																																																	
7	6/1	12:40-14:10																																																																	
8	6/8	12:40-14:10																																																																	
9	6/15	12:40-14:10																																																																	
10	6/22	12:40-14:10																																																																	
11	6/29	12:40-14:10																																																																	
12	7/6	12:40-14:10																																																																	
13	7/13	12:40-14:10																																																																	
14	7/20	12:40-14:10																																																																	
15	7/27	12:40-14:10																																																																	
<p>授業内容</p> <p>第1回 LECON 0 導入 第2回 LECON 0&1 第3回 LECON 1 第4回 LECON 1 & 2 アルファベ、数詞 0~20、名詞の性と数 第5回 LECON 2 不定冠詞・定冠詞・部分冠詞、VOICI, VOILA 第6回 LECON 3 主語人称代名詞、ETRE と AVOIR, C'EST, CE SONT 第7回 LECON 4 形容詞の性・数一致の原則、否定形の作り方 第8回 LECON 5 第 1 群規則動詞、疑問文の作り方 第9回 LECON 6 指示形容詞、所有形容詞</p>																																																																			

通常の授業とは別に、録画した Zoom 授業を視聴して学習。

第 10 回 LECON 6&7 第 2 群規則動詞, 疑問形容詞

第 11 回 LECON 7 形容詞の位置, 形容詞と名詞の例外的な変化形

第 12 回 LECON 8 ALLER と VENIR, 近接未来と近接過去, 定冠詞の縮約

第 13 回 LECON 8&9 中性代名詞 Y, 疑問代名詞

第 14 回 LECON 9&10 疑問副詞, FAIRE, PRENDRE, SAVOIR, 比較級と最上級

通常の授業とは別に、録画した Zoom 授業を視聴して学習。

第 15 回 LECON 10 , 強勢形, 序数, VOIR, DIRE 理解度の確認

成績評価の方法

授業内に数回行う試験および平常点を総合的に判断して評価する。試験 80%、平常点 20%。

教科書で学んだ語彙や文法をどの程度習得しているか、それを元にした運用力がどの程度身についたかを基準にする。

アクティブ・ラーニングの学習内容は小テストや理解度の確認テストの範囲に含め、それによって学習成果を判定します。比重は、試験のうちの 15%。

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習等についての具体的な指示

次回の授業の範囲内に出てくる新出語句などを辞書などで調べておくこと。

前回までに学んだ事柄を復習して知識を確実なものにし、次の授業にのぞむこと。

教科書

ラ・フォーレ 新訂版 —フランス語基礎文法— / 森繁: 朝日出版社, 2020

時間割番号	000205																																																																		
科目名	フランス語 b	科目ID	LA-115502-Z																																																																
担当教員	宇田川 和夫																																																																		
開講時期	2022 年度前期	対象年次	1																																																																
実務経験のある教員による授業																																																																			
<p>【曜日・時間】 水曜 2 限</p> <p>【対象学科】 保健衛生学科・口腔保健学科</p> <p>【科目を履修して得られる能力(コンピテンシー)】 別表3-1)国際的に活躍するための語学力を養う 別表3-4)外国文化を理解する</p>																																																																			
<p>授業の目的、概要等</p> <p>初めてフランス語を学ぶ人を対象とした授業で、文法学習を主体にしつつ、基本語彙を習得する。文法解説と問題練習という形で進む。</p>																																																																			
<p>授業の到達目標</p> <p>やさしい語彙で書かれた文章を、辞書などを用いて読むことができるようになること。 基本語彙を用いて文法的に正しい文を構成することができるようになること。</p>																																																																			
<p>授業計画</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>講義室</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td>4/13</td><td>10:20-11:50</td><td></td></tr> <tr><td>2</td><td>4/20</td><td>10:20-11:50</td><td></td></tr> <tr><td>3</td><td>4/27</td><td>10:20-11:50</td><td></td></tr> <tr><td>4</td><td>5/11</td><td>10:20-11:50</td><td></td></tr> <tr><td>5</td><td>5/18</td><td>10:20-11:50</td><td></td></tr> <tr><td>6</td><td>5/25</td><td>10:20-11:50</td><td></td></tr> <tr><td>7</td><td>6/1</td><td>10:20-11:50</td><td></td></tr> <tr><td>8</td><td>6/8</td><td>10:20-11:50</td><td></td></tr> <tr><td>9</td><td>6/15</td><td>10:20-11:50</td><td></td></tr> <tr><td>10</td><td>6/22</td><td>10:20-11:50</td><td></td></tr> <tr><td>11</td><td>6/29</td><td>10:20-11:50</td><td></td></tr> <tr><td>12</td><td>7/6</td><td>10:20-11:50</td><td></td></tr> <tr><td>13</td><td>7/13</td><td>10:20-11:50</td><td></td></tr> <tr><td>14</td><td>7/20</td><td>10:20-11:50</td><td></td></tr> <tr><td>15</td><td>7/27</td><td>10:20-11:50</td><td></td></tr> </tbody> </table>				回	日付	時刻	講義室	1	4/13	10:20-11:50		2	4/20	10:20-11:50		3	4/27	10:20-11:50		4	5/11	10:20-11:50		5	5/18	10:20-11:50		6	5/25	10:20-11:50		7	6/1	10:20-11:50		8	6/8	10:20-11:50		9	6/15	10:20-11:50		10	6/22	10:20-11:50		11	6/29	10:20-11:50		12	7/6	10:20-11:50		13	7/13	10:20-11:50		14	7/20	10:20-11:50		15	7/27	10:20-11:50	
回	日付	時刻	講義室																																																																
1	4/13	10:20-11:50																																																																	
2	4/20	10:20-11:50																																																																	
3	4/27	10:20-11:50																																																																	
4	5/11	10:20-11:50																																																																	
5	5/18	10:20-11:50																																																																	
6	5/25	10:20-11:50																																																																	
7	6/1	10:20-11:50																																																																	
8	6/8	10:20-11:50																																																																	
9	6/15	10:20-11:50																																																																	
10	6/22	10:20-11:50																																																																	
11	6/29	10:20-11:50																																																																	
12	7/6	10:20-11:50																																																																	
13	7/13	10:20-11:50																																																																	
14	7/20	10:20-11:50																																																																	
15	7/27	10:20-11:50																																																																	
<p>授業内容</p> <p>第1回 LECON 0 導入 第2回 LECON 0&1 第3回 LECON 1 第4回 LECON 1&2 アルファベ、数詞 0~20, 名詞の性と数 第5回 LECON 2 不定冠詞・定冠詞・部分冠詞, VOICI, VOILA 第6回 LECON 3 主語人称代名詞, ETRE と AVOIR, C'EST, CE SONT 第7回 LECON 4 形容詞の性・数一致の原則, 否定形の作り方 第8回 LECON 5 第 1 群規則動詞, 疑問文の作り方 第9回 LECON 6 指示形容詞, 所有形容詞</p>																																																																			

通常の授業とは別に、録画した Zoom 授業を視聴して学習。

第 10 回 LECON 6&7 第 2 群規則動詞, 疑問形容詞

第 11 回 LECON 7 形容詞の位置, 形容詞と名詞の例外的な変化形

第 12 回 LECON 8 ALLER と VENIR, 近接未来と近接過去, 定冠詞の縮約

第 13 回 LECON 8&9 中性代名詞 Y, 疑問代名詞

第 14 回 LECON 9&10 疑問副詞, FAIRE, PRENDRE, SAVOIR,

比較級と最上級通常の授業とは別に Zoom 授業を視聴して学習。

第 15 回 LECON 10 , 強勢形, 序数, VOIR, DIRE 理解度の確認

成績評価の方法

授業内に数回行う試験および平常点を総合的に判断して評価する。試験 80%、平常点 20%。

教科書で学んだ語彙や文法をどの程度習得しているか、それを元にした運用力がどの程度身についたかを基準にする。

アクティブ・ラーニングの学習内容は小テストや理解度の確認テストの範囲に含め、それによって学習成果を判定します。比重は、試験のうちの 15%。

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習等についての具体的な指示

次回の授業の範囲内に出てくる新出語句などを辞書などで調べておくこと。

前回までに学んだ事柄を復習して知識を確実なものにし、次の授業にのぞむこと。

教科書

ラ・フォーレ 新訂版 —フランス語基礎文法—/森繁:朝日出版社, 2020

時間割番号	000207																																																																																		
科目名	フランス語 d	科目ID	LA-115504-Z																																																																																
担当教員	宇田川 和夫																																																																																		
開講時期	2022 年度後期	対象年次	1																																																																																
実務経験のある教員による授業																																																																																			
<p>【曜日・時間】 水曜 3 限</p> <p>【対象学科】 医学科・歯学科</p> <p>【科目を履修して得られる能力(コンピテンシー)】 別表3-1)国際的に活躍するための語学力を養う 別表3-4)外国文化を理解する</p>																																																																																			
<p>授業の目的、概要等</p> <p>初めてフランス語を学ぶ人を対象とした授業で、文法学習を主体にしつつ、基本語彙を習得する。文法解説と問題練習という形で進む。</p> <p>Zoom を用いた遠隔同時双方向形式で授業を行う。</p>																																																																																			
<p>授業の到達目標</p> <p>やさしい語彙で書かれた文章を、辞書などを用いて読むことができるようになること。 基本語彙を用いて文法的に正しい文を構成することができるようになること。</p>																																																																																			
<p>授業計画</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>講義室</th> <th>担当教員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td>10/5</td><td>12:40-14:10</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>2</td><td>10/19</td><td>12:40-14:10</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>3</td><td>10/26</td><td>12:40-14:10</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>4</td><td>11/2</td><td>12:40-14:10</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>5</td><td>11/9</td><td>12:40-14:10</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>6</td><td>11/16</td><td>12:40-14:10</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>7</td><td>11/30</td><td>12:40-14:10</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>8</td><td>12/7</td><td>12:40-14:10</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>9</td><td>12/14</td><td>12:40-14:10</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>10</td><td>12/21</td><td>12:40-14:10</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>11</td><td>1/4</td><td>12:40-14:10</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>12</td><td>1/11</td><td>12:40-14:10</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>13</td><td>1/18</td><td>12:40-14:10</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>14</td><td>1/25</td><td>12:40-14:10</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>15</td><td>2/1</td><td>12:40-14:10</td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>				回	日付	時刻	講義室	担当教員	1	10/5	12:40-14:10			2	10/19	12:40-14:10			3	10/26	12:40-14:10			4	11/2	12:40-14:10			5	11/9	12:40-14:10			6	11/16	12:40-14:10			7	11/30	12:40-14:10			8	12/7	12:40-14:10			9	12/14	12:40-14:10			10	12/21	12:40-14:10			11	1/4	12:40-14:10			12	1/11	12:40-14:10			13	1/18	12:40-14:10			14	1/25	12:40-14:10			15	2/1	12:40-14:10		
回	日付	時刻	講義室	担当教員																																																																															
1	10/5	12:40-14:10																																																																																	
2	10/19	12:40-14:10																																																																																	
3	10/26	12:40-14:10																																																																																	
4	11/2	12:40-14:10																																																																																	
5	11/9	12:40-14:10																																																																																	
6	11/16	12:40-14:10																																																																																	
7	11/30	12:40-14:10																																																																																	
8	12/7	12:40-14:10																																																																																	
9	12/14	12:40-14:10																																																																																	
10	12/21	12:40-14:10																																																																																	
11	1/4	12:40-14:10																																																																																	
12	1/11	12:40-14:10																																																																																	
13	1/18	12:40-14:10																																																																																	
14	1/25	12:40-14:10																																																																																	
15	2/1	12:40-14:10																																																																																	
<p>授業内容</p> <p>第1回 LECON 11 命令法, 非人称表現 第2回 LECON 11&12 中性代名詞 EN, 目的語人称代名詞 第3回 LECON 12 目的語人称代名詞 第4回 LECON 13 直説法複合過去 第5回 LECON 13 直説法複合過去 第6回 LECON 14 代名動詞 第7回 LECON 14&15 代名動詞(続き), 関係代名詞 QUI, QUE, DONT, OU 第8回 LECON 15 指示代名詞(性・数変化をするものとしらないものの両方とも)</p>																																																																																			

通常の授業とは別に、録画した Zoom 授業を視聴して学習。

第9回 LECON 16 直説法半過去

第 10 回 LECON 17 受動態, 現在分詞とジェロンディフ

通常の授業とは別に Zoom 授業を視聴して学習。

第 11 回 LECON 18 直説法単純未来, 中性代名詞 LE

第 12 回 現代フランス事情に関する文章を読解練習の課題として課します。

第 13 回 LECON 19 条件法現在

第 14 回 LECON 20 接続法現在

第 15 回 LECON 20 接続法現在 理解度の確認

成績評価の方法

授業内に数回行う試験および平常点を総合的に判断して評価する。試験 80%、アクティブ・ラーニング 2 を含む平常点 20%。

アクティブ・ラーニング 1 に関しては、春学期と同様に試験の範囲に含めて成果を判定する。

教科書で学んだ語彙や文法をどの程度習得しているか、それを元にした運用力がどの程度身についたかを基準にする。

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習等についての具体的な指示

次回の授業の範囲内に出てくる新出語句などを辞書などで調べておくこと。

前回までに学んだ事柄を復習して知識を確実なものにし、次の授業にのぞむこと。

教科書

ラ・フォーレ 新訂版 —フランス語基礎文法—/森繁:朝日出版社, 2020

履修上の注意事項

このクラスは医科歯科大連携クラスなので、受講者の人数を適正なものに保つために、受講希望者が多数の場合には外大生の受講者の人数を制限することがあります。

時間割番号	000209																																																																																		
科目名	フランス語 d	科目ID	LA-115504-Z																																																																																
担当教員	宇田川 和夫																																																																																		
開講時期	2022 年度後期	対象年次	1																																																																																
実務経験のある教員による授業																																																																																			
<p>【曜日・時間】 水曜 2 限</p> <p>【対象学科】 保健衛生学科・口腔保健学科</p> <p>【科目を履修して得られる能力(コンピテンシー)】 別表3-1)国際的に活躍するための語学力を養う 別表3-4)外国文化を理解する</p>																																																																																			
<p>授業の目的、概要等</p> <p>初めてフランス語を学ぶ人を対象とした授業で、文法学習を主体にしつつ、基本語彙を習得する。文法解説と問題練習という形で進む。</p> <p>Zoom を用いた遠隔同時双方向形式で授業を行う。</p>																																																																																			
<p>授業の到達目標</p> <p>やさしい語彙で書かれた文章を、辞書などを用いて読むことができるようになること。 基本語彙を用いて文法的に正しい文を構成することができるようになること。</p>																																																																																			
<p>授業計画</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>講義室</th> <th>担当教員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td>10/5</td><td>10:20-11:50</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>2</td><td>10/19</td><td>10:20-11:50</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>3</td><td>10/26</td><td>10:20-11:50</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>4</td><td>11/2</td><td>10:20-11:50</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>5</td><td>11/9</td><td>10:20-11:50</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>6</td><td>11/16</td><td>10:20-11:50</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>7</td><td>11/30</td><td>10:20-11:50</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>8</td><td>12/7</td><td>10:20-11:50</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>9</td><td>12/14</td><td>10:20-11:50</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>10</td><td>12/21</td><td>10:20-11:50</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>11</td><td>1/4</td><td>10:20-11:50</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>12</td><td>1/11</td><td>10:20-11:50</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>13</td><td>1/18</td><td>10:20-11:50</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>14</td><td>1/25</td><td>10:20-11:50</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>15</td><td>2/1</td><td>10:20-11:50</td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>				回	日付	時刻	講義室	担当教員	1	10/5	10:20-11:50			2	10/19	10:20-11:50			3	10/26	10:20-11:50			4	11/2	10:20-11:50			5	11/9	10:20-11:50			6	11/16	10:20-11:50			7	11/30	10:20-11:50			8	12/7	10:20-11:50			9	12/14	10:20-11:50			10	12/21	10:20-11:50			11	1/4	10:20-11:50			12	1/11	10:20-11:50			13	1/18	10:20-11:50			14	1/25	10:20-11:50			15	2/1	10:20-11:50		
回	日付	時刻	講義室	担当教員																																																																															
1	10/5	10:20-11:50																																																																																	
2	10/19	10:20-11:50																																																																																	
3	10/26	10:20-11:50																																																																																	
4	11/2	10:20-11:50																																																																																	
5	11/9	10:20-11:50																																																																																	
6	11/16	10:20-11:50																																																																																	
7	11/30	10:20-11:50																																																																																	
8	12/7	10:20-11:50																																																																																	
9	12/14	10:20-11:50																																																																																	
10	12/21	10:20-11:50																																																																																	
11	1/4	10:20-11:50																																																																																	
12	1/11	10:20-11:50																																																																																	
13	1/18	10:20-11:50																																																																																	
14	1/25	10:20-11:50																																																																																	
15	2/1	10:20-11:50																																																																																	
<p>授業内容</p> <p>第1回 LECON 11 命令法, 非人称表現 第2回 LECON 11&12 中性代名詞 EN, 目的語人称代名詞 第3回 LECON 12 目的語人称代名詞 第4回 LECON 13 直説法複合過去 第5回 LECON 13 直説法複合過去 第6回 LECON 14 代名動詞 第7回 LECON 14&15 代名動詞(続き), 関係代名詞 QUI, QUE, DONT, OU 第8回 LECON 15 指示代名詞(性・数変化をするものとししないものの両方とも)</p>																																																																																			

通常の授業とは別に、録画した Zoom 授業を視聴して学習。

第9回 LECON 16 直説法半過去

第10回 LECON 17 受動態, 現在分詞とジェロンディフ

第11回 LECON 18 直説法単純未来, 中性代名詞 LE

通常の授業とは別に、録画した Zoom 授業を視聴して学習。

第12回 LECON 19 条件法現在

第13回 LECON 19 条件法現在

第14回 LECON 20 接続法現在

第15回 LECON 20 接続法現在 理解度の確認

成績評価の方法

授業内に数回行う試験および平常点を総合的に判断して評価する。試験 80%、平常点 20%。

教科書で学んだ語彙や文法をどの程度習得しているか、それを元にした運用力がどの程度身についたかを基準にする。

アクティブ・ラーニングの学習内容は小テストや理解度の確認テストの範囲に含め、それによって学習成果を判定します。比重は、試験のうちの 15%。

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習等についての具体的な指示

次回の授業の範囲内に出てくる新出語句などを辞書などで調べておくこと。

前回までに学んだ事柄を復習して知識を確実なものにし、次の授業にのぞむこと。

教科書

ラ・フォーレ 新訂版 —フランス語基礎文法— / 森繁: 朝日出版社, 2020

時間割番号	000210																																																																																		
科目名	フランス語 c	科目ID	LA-115503-Z																																																																																
担当教員	竹下 和亮																																																																																		
開講時期	2022 年度後期	対象年次	1																																																																																
実務経験のある教員による授業																																																																																			
<p>【曜日・時間】 月曜3限</p> <p>【対象学科】 保健衛生学科・口腔保健学科</p> <p>【科目を履修して得られる能力(コンピテンシー)】 別表3-1)国際的に活躍するための語学力を養う 別表3-4)外国文化を理解する</p>																																																																																			
<p>授業の目的、概要等 初級文法の説明、および練習問題の解説を行う。</p>																																																																																			
<p>授業の到達目標 前期に引き続き、フランス語の初級文法を学ぶ。簡単な文章が読めるようになる。</p>																																																																																			
<p>授業計画</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>講義室</th> <th>担当教員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td>10/3</td><td>13:10-14:40</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>2</td><td>10/10</td><td>13:10-14:40</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>3</td><td>10/17</td><td>13:10-14:40</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>4</td><td>10/24</td><td>13:10-14:40</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>5</td><td>10/31</td><td>13:10-14:40</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>6</td><td>11/7</td><td>13:10-14:40</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>7</td><td>11/14</td><td>13:10-14:40</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>8</td><td>11/21</td><td>13:10-14:40</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>9</td><td>11/28</td><td>13:10-14:40</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>10</td><td>12/5</td><td>13:10-14:40</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>11</td><td>12/12</td><td>13:10-14:40</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>12</td><td>12/19</td><td>13:10-14:40</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>13</td><td>1/16</td><td>13:10-14:40</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>14</td><td>1/23</td><td>13:10-14:40</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>15</td><td>1/30</td><td>13:10-14:40</td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>				回	日付	時刻	講義室	担当教員	1	10/3	13:10-14:40			2	10/10	13:10-14:40			3	10/17	13:10-14:40			4	10/24	13:10-14:40			5	10/31	13:10-14:40			6	11/7	13:10-14:40			7	11/14	13:10-14:40			8	11/21	13:10-14:40			9	11/28	13:10-14:40			10	12/5	13:10-14:40			11	12/12	13:10-14:40			12	12/19	13:10-14:40			13	1/16	13:10-14:40			14	1/23	13:10-14:40			15	1/30	13:10-14:40		
回	日付	時刻	講義室	担当教員																																																																															
1	10/3	13:10-14:40																																																																																	
2	10/10	13:10-14:40																																																																																	
3	10/17	13:10-14:40																																																																																	
4	10/24	13:10-14:40																																																																																	
5	10/31	13:10-14:40																																																																																	
6	11/7	13:10-14:40																																																																																	
7	11/14	13:10-14:40																																																																																	
8	11/21	13:10-14:40																																																																																	
9	11/28	13:10-14:40																																																																																	
10	12/5	13:10-14:40																																																																																	
11	12/12	13:10-14:40																																																																																	
12	12/19	13:10-14:40																																																																																	
13	1/16	13:10-14:40																																																																																	
14	1/23	13:10-14:40																																																																																	
15	1/30	13:10-14:40																																																																																	
<p>授業内容</p> <p>第1回 直説法複合過去形、人称代名詞の直接目的語形と間接目的語形 第2回 練習問題と長文読解 第3回 単純未来形と用法、直説法前未来形と用法 第4回 練習問題と長文読解 第5回 長文精読 第6回 直説法半過去形と用法、直説法大過去形と用法、中性代名詞 第7回 練習問題と長文読解 第8回 練習問題と長文読解 第9回 直説法単純過去形と用法、現在分詞とジェロンディフ、関係代名詞 II 第10回 練習問題と長文読解 第11回 長文精読</p>																																																																																			

第 12 回 条件法現在形と用法、感嘆文

第 13 回 練習問題と長文読解

第 14 回 直接話法と間接話法、接続法と用法

第 15 回 練習問題と長文読解

※ 定期試験/ 10月下旬に読解の課題/ 12月中旬に読解の課題

成績評価の方法

平常点、ALH、期末テストの結果を見て総合的に判断する。

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による。

準備学習等についての具体的な指示

予習・復習をきちんと行い、授業には毎回出席すること。

教科書

ルーヴル美術館にて／中山 眞彦：朝日出版社，1988

履修上の注意事項

zoom によるオンライン授業です。カメラは原則 ON にしてください。

備考

キーワード：フランス語初級文法

時間割番号	000212																																																																																		
科目名	フランス語 c	科目ID	LA-115503-Z																																																																																
担当教員	竹下 和亮																																																																																		
開講時期	2022 年度後期	対象年次	1																																																																																
実務経験のある教員による授業																																																																																			
<p>【曜日・時間】 月曜 4 限</p> <p>【対象学科】 医学科・歯学科</p> <p>【科目を履修して得られる能力(コンピテンシー)】 別表3-1)国際的に活躍するための語学力を養う 別表3-4)外国文化を理解する</p> <p>実務経験のある教員による授業</p>																																																																																			
<p>授業の目的、概要等 初級文法の説明、および練習問題の解説を行う。</p>																																																																																			
<p>授業の到達目標 前期に引き続き、フランス語の初級文法を学ぶ。簡単な文章が読めるようになる。</p>																																																																																			
<p>授業計画</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>講義室</th> <th>担当教員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td>10/3</td><td>14:50-16:20</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>2</td><td>10/10</td><td>14:50-16:20</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>3</td><td>10/17</td><td>14:50-16:20</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>4</td><td>10/24</td><td>14:50-16:20</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>5</td><td>10/31</td><td>14:50-16:20</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>6</td><td>11/7</td><td>14:50-16:20</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>7</td><td>11/14</td><td>14:50-16:20</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>8</td><td>11/21</td><td>14:50-16:20</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>9</td><td>11/28</td><td>14:50-16:20</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>10</td><td>12/5</td><td>14:50-16:20</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>11</td><td>12/12</td><td>14:50-16:20</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>12</td><td>12/19</td><td>14:50-16:20</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>13</td><td>1/16</td><td>14:50-16:20</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>14</td><td>1/23</td><td>14:50-16:20</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>15</td><td>1/30</td><td>14:50-16:20</td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>				回	日付	時刻	講義室	担当教員	1	10/3	14:50-16:20			2	10/10	14:50-16:20			3	10/17	14:50-16:20			4	10/24	14:50-16:20			5	10/31	14:50-16:20			6	11/7	14:50-16:20			7	11/14	14:50-16:20			8	11/21	14:50-16:20			9	11/28	14:50-16:20			10	12/5	14:50-16:20			11	12/12	14:50-16:20			12	12/19	14:50-16:20			13	1/16	14:50-16:20			14	1/23	14:50-16:20			15	1/30	14:50-16:20		
回	日付	時刻	講義室	担当教員																																																																															
1	10/3	14:50-16:20																																																																																	
2	10/10	14:50-16:20																																																																																	
3	10/17	14:50-16:20																																																																																	
4	10/24	14:50-16:20																																																																																	
5	10/31	14:50-16:20																																																																																	
6	11/7	14:50-16:20																																																																																	
7	11/14	14:50-16:20																																																																																	
8	11/21	14:50-16:20																																																																																	
9	11/28	14:50-16:20																																																																																	
10	12/5	14:50-16:20																																																																																	
11	12/12	14:50-16:20																																																																																	
12	12/19	14:50-16:20																																																																																	
13	1/16	14:50-16:20																																																																																	
14	1/23	14:50-16:20																																																																																	
15	1/30	14:50-16:20																																																																																	
<p>授業内容</p> <p>第1回 直説法複合過去形、人称代名詞の直接目的語形と間接目的語形 第2回 練習問題と長文読解 第3回 単純未来形と用法、直説法前未来形と用法 第4回 練習問題と長文読解 第5回 長文精読 第6回 直説法半過去形と用法、直説法大過去形と用法、中性代名詞 第7回 練習問題と長文読解 第8回 練習問題と長文読解 第9回 直説法単純過去形と用法、現在分詞とジェロンディフ、関係代名詞 II</p>																																																																																			

第10回 練習問題と長文読解

第11回 長文精読

第12回 条件法現在形と用法、感嘆文

第13回 練習問題と長文読解

第14回 直接話法と間接話法、接続法と用法

第15回 練習問題と長文読解

※ 定期試験 10月下旬に読解の課題 12月中旬に読解の課題

成績評価の方法

平常点、ALH、期末テストの結果を見て総合的に判断する。

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習等についての具体的な指示

予習・復習をきちんと行い、授業には毎回出席すること。

教科書

ルーヴル美術館にて／中山真彦：朝日出版社，1988

履修上の注意事項

zoomによるオンライン授業です。カメラは原則ONにしてください。

備考

キーワード：フランス語初級文法

時間割番号	000219				
科目名	中国語	科目ID	LA-115600-Z		
担当教員					
開講時期	2022 年度通年	対象年次	1	単位数	4
実務経験のある教員による授業					
準備学習等についての具体的な指示					

時間割番号	000220																																																																																										
科目名	中国語 b	科目ID	LA-115602-Z																																																																																								
担当教員	BAO MIN[BAO Min]																																																																																										
開講時期	2022 年度前期	対象年次	1																																																																																								
実務経験のある教員による授業																																																																																											
<p>曜日・時間:水曜 1 限 対象学科: 医学科・歯学科 科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 別表 1-1)言語を通じた人間の創造的営みを理解する 別表 1-4)異なる空間の文化を理解する 別表 3-1)国際的に活躍するための語学力を養う 別表 3-4)外国文化を理解する</p>																																																																																											
<p>主な講義場所 別表の通り</p>																																																																																											
<p>授業の目的、概要等 中国語初習の学生に対して、基本的な構文を中心とした現代中国語の文法知識を学びながら、中国語の基礎作りをすることにあります。前半は発音を中心とする授業を予定しています。発音段階が終われば、文章で中国語の構造に慣れながら、理解の基礎となる文法知識を増やしていきます。</p>																																																																																											
<p>授業の到達目標 1) 中国語の発音をマスターする。 2) 中国語の基礎的な文法構造を理解したうえ、基本的な文章の意味がわかるようになる。</p>																																																																																											
<p>授業計画</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>講義室</th> <th>授業題目</th> <th>授業内容</th> <th>担当教員</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>4/13</td> <td>10:20-11:50</td> <td>遠隔授業 (同期型)</td> <td>第1回 イントロダクション、発音①</td> <td>中国語ガイダンス</td> <td>BAO MIN</td> <td>発音練習</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>4/20</td> <td>10:20-11:50</td> <td>遠隔授業 (同期型)</td> <td>第2回 発音②</td> <td>声調・軽声・単母音</td> <td>BAO MIN</td> <td>発音練習</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>4/27</td> <td>10:20-11:50</td> <td>遠隔授業 (同期型)</td> <td>第3回 発音③</td> <td>複母音</td> <td>BAO MIN</td> <td>発音練習、小テスト</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>5/11</td> <td>10:20-11:50</td> <td>遠隔授業 (同期型)</td> <td>第4回 発音④</td> <td>子音①、子音②</td> <td>BAO MIN</td> <td>発音練習</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>5/18</td> <td>10:20-11:50</td> <td>遠隔授業 (同期型)</td> <td>第5回 発音⑤</td> <td>鼻母音</td> <td>BAO MIN</td> <td>発音練習</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>5/25</td> <td>10:20-11:50</td> <td>遠隔授業 (同期型)</td> <td>第6回 発音⑥</td> <td>単語を増やそう</td> <td>BAO MIN</td> <td>発音練習、小テスト</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>6/1</td> <td>10:20-11:50</td> <td>遠隔授業 (同期型)</td> <td>第7回 自己紹介①</td> <td>人称代名詞、名前の聞き方・名乗り方、動詞“是”、副詞“也・都”動詞“是”、副詞“也・都”</td> <td>BAO MIN</td> <td></td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>6/8</td> <td>10:20-11:50</td> <td>遠隔授業 (同期型)</td> <td>第8回 自己紹介②</td> <td>動詞述語文、指示代名詞、場所代名詞、疑問詞疑問文、連帯修飾語を作る“的”</td> <td>BAO MIN</td> <td>小テスト、自己紹介発表①</td> </tr> <tr> <td>9</td> <td>6/15</td> <td>10:20-11:50</td> <td>遠隔授業 (同期型)</td> <td>第9回 自己紹介③</td> <td>所在を表す動詞“在”、所有と存在を表す動詞“有”、方位詞①、名詞述語文、文末助詞“了”</td> <td>BAO MIN</td> <td>自己紹介発表②</td> </tr> <tr> <td>10</td> <td>6/22</td> <td>10:20-11:50</td> <td>遠隔授業 (同期型)</td> <td>第10回 お誘い</td> <td>前置詞“在”、連動文、反復疑問文、年月日・曜日・時刻</td> <td>BAO MIN</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>				回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考	1	4/13	10:20-11:50	遠隔授業 (同期型)	第1回 イントロダクション、発音①	中国語ガイダンス	BAO MIN	発音練習	2	4/20	10:20-11:50	遠隔授業 (同期型)	第2回 発音②	声調・軽声・単母音	BAO MIN	発音練習	3	4/27	10:20-11:50	遠隔授業 (同期型)	第3回 発音③	複母音	BAO MIN	発音練習、小テスト	4	5/11	10:20-11:50	遠隔授業 (同期型)	第4回 発音④	子音①、子音②	BAO MIN	発音練習	5	5/18	10:20-11:50	遠隔授業 (同期型)	第5回 発音⑤	鼻母音	BAO MIN	発音練習	6	5/25	10:20-11:50	遠隔授業 (同期型)	第6回 発音⑥	単語を増やそう	BAO MIN	発音練習、小テスト	7	6/1	10:20-11:50	遠隔授業 (同期型)	第7回 自己紹介①	人称代名詞、名前の聞き方・名乗り方、動詞“是”、副詞“也・都”動詞“是”、副詞“也・都”	BAO MIN		8	6/8	10:20-11:50	遠隔授業 (同期型)	第8回 自己紹介②	動詞述語文、指示代名詞、場所代名詞、疑問詞疑問文、連帯修飾語を作る“的”	BAO MIN	小テスト、自己紹介発表①	9	6/15	10:20-11:50	遠隔授業 (同期型)	第9回 自己紹介③	所在を表す動詞“在”、所有と存在を表す動詞“有”、方位詞①、名詞述語文、文末助詞“了”	BAO MIN	自己紹介発表②	10	6/22	10:20-11:50	遠隔授業 (同期型)	第10回 お誘い	前置詞“在”、連動文、反復疑問文、年月日・曜日・時刻	BAO MIN	
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考																																																																																				
1	4/13	10:20-11:50	遠隔授業 (同期型)	第1回 イントロダクション、発音①	中国語ガイダンス	BAO MIN	発音練習																																																																																				
2	4/20	10:20-11:50	遠隔授業 (同期型)	第2回 発音②	声調・軽声・単母音	BAO MIN	発音練習																																																																																				
3	4/27	10:20-11:50	遠隔授業 (同期型)	第3回 発音③	複母音	BAO MIN	発音練習、小テスト																																																																																				
4	5/11	10:20-11:50	遠隔授業 (同期型)	第4回 発音④	子音①、子音②	BAO MIN	発音練習																																																																																				
5	5/18	10:20-11:50	遠隔授業 (同期型)	第5回 発音⑤	鼻母音	BAO MIN	発音練習																																																																																				
6	5/25	10:20-11:50	遠隔授業 (同期型)	第6回 発音⑥	単語を増やそう	BAO MIN	発音練習、小テスト																																																																																				
7	6/1	10:20-11:50	遠隔授業 (同期型)	第7回 自己紹介①	人称代名詞、名前の聞き方・名乗り方、動詞“是”、副詞“也・都”動詞“是”、副詞“也・都”	BAO MIN																																																																																					
8	6/8	10:20-11:50	遠隔授業 (同期型)	第8回 自己紹介②	動詞述語文、指示代名詞、場所代名詞、疑問詞疑問文、連帯修飾語を作る“的”	BAO MIN	小テスト、自己紹介発表①																																																																																				
9	6/15	10:20-11:50	遠隔授業 (同期型)	第9回 自己紹介③	所在を表す動詞“在”、所有と存在を表す動詞“有”、方位詞①、名詞述語文、文末助詞“了”	BAO MIN	自己紹介発表②																																																																																				
10	6/22	10:20-11:50	遠隔授業 (同期型)	第10回 お誘い	前置詞“在”、連動文、反復疑問文、年月日・曜日・時刻	BAO MIN																																																																																					

11	6/29	10:20-11:50	遠隔授業 (同期型)	第 11 回 レストラン	選択疑問文、願望を表す助動詞 “想”、意志を表す助動詞“要”、省略疑問文、量詞	BAO MIN	小テスト
12	7/6	10:20-11:50	遠隔授業 (同期型)	第 12 回 買い物	形容詞述語文、比較、助動詞 “能”、“可以”、100 以上の数字	BAO MIN	
13	7/13	10:20-11:50	遠隔授業 (同期型)	第 13 回 道案内	時点と時量、前置詞“从・到・离”、 結果補語、方位詞②	BAO MIN	小テスト
14	7/20	10:20-11:50	遠隔授業 (同期型)	第 14 回 趣味に関する 雑談	助動詞“会”、動作の完了を表すア スペクト“了”、様態補語、二重目 的語をとる動詞	BAO MIN	
15	7/27	10:20-11:50	遠隔授業 (同期型)	第 15 回 まとめ	前期の復習	BAO MIN	

授業方法

講義と演習による。

毎回授業終了時に、各自が新しく学んだことや疑問に思ったことをリアクションペーパーに書いて提出し、フィードバックする。

授業内容

- 第 1 回 中国語ガイダンス
- 第 2 回 声調・軽声・単母音
- 第 3 回 複母音
- 第 4 回 子音①、子音②
- 第 5 回 鼻母音
- 第 6 回 単語を増やそう
- 第 7 回 自己紹介①
- 第 8 回 自己紹介②
- 第 9 回 自己紹介③
- 第 10 回 お誘い
- 第 11 回 レストラン
- 第 12 回 買い物
- 第 13 回 道案内
- 第 14 回 趣味に関する雑談
- 第 15 回 まとめ、復習

成績評価の方法

評価：期末試験 60%・小テスト等 30%・その他(平常点)10%

再評価：有（再評価方法「中国語」としての学年末再試験を実施する）

※通年 4 単位の中国語の成績(100 点満点)は、前期「中国語 a」(25 点)、「中国語 b」(25 点)後期「中国語 c」(25 点)、「中国語 d」(25 点)の合計得点とする。

※「中国語 a・b」を総合しての再考査は、9月に実施予定である。最後の合否判定の際、本試験の点数を再考査の点数に置き換えて判断するが、最終評価で本試験の点数に置き換えた評価はしない(例:再考査に置き換えると 65 で合格だが、本試験の点数で計算して 55 の時は、最終評価は 60)。

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習等についての具体的な指示

新出単語の意味を事前に辞書で調べて来ること。

授業で習った文法項目をしっかりと復習し、新出単語とピンインを暗記する。

習熟度を確認するため小テストを頻繁に行う。テスト範囲は多くの場合授業内で事前に指示する。

中国語の発音練習を実践すること。耳と口の訓練は必要なので、繰り返して声を出して会話をする。

試験の受験資格

1. 定期試験受験資格

<ul style="list-style-type: none"> ・a/b, c, d 各考查毎に受験資格を決定する。 ・原則としてそれぞれ、試験を除く授業回数の3分の2以上出席。 (a/b の受験資格は a と b 合わせての出席率で決定する。) <p>2. 再考査・再試験受験資格</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前期 a/b については再考査を行う。受験資格は定期試験を受験していること。 ・後期 c についてはcのみが基準点に満たない場合は再考査を行うことがある。 受験資格は定期試験を受験していること。 ・後期 d については再考査は行わない。 ・中国語全体の再試験受験資格は、原則として試験を除く総授業回数の 3 分の 2 以上出席
<p>教科書</p> <p>中国語でコミュニケーション／沈国威:朝日出版社, 2020</p>
<p>参考書</p> <p>完全マスター中国語の文法／瀬戸口律子 著,,:語研, 2015</p> <p>中日辞典／北京・商務印書館, 小学館共同編集,商務印書館,小学館,:小学館, 2016</p> <p>ベーシッククラウン中日・日中辞典 = The Basic Crown Dictionary of Chinese／千葉謙悟, 熊進 監修,三省堂編修所 編,千葉, 謙悟,熊進,三省堂,:三省堂, 2019</p> <p>辞書について初回の授業中、紹介します。</p>
<p>履修上の注意事項</p> <p>期末考査・再考査・再試験の受験資格：原則3分の2以上出席</p>

時間割番号	000221						
科目名	中国語 b	科目 ID	LA-115602-Z				
担当教員	BAO MIN[BAO Min]						
開講時期	2022 年度前期	対象年次	1				
実務経験のある教員による授業							
<p>曜日・時間:水曜 2 限 対象学科: 保健衛生学科(看護・検査)・口腔保健学科(口腔衛生・口腔工学) 科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 別表 1-1)言語を通じた人間の創造的営みを理解する 別表 1-4)異なる空間の文化を理解する 別表 3-1)国際的に活躍するための語学力を養う 別表 3-4)外国文化を理解する</p>							
主な講義場所 別表の通り							
授業の目的、概要等 中国語初習の学生に対して、基本的な構文を中心とした現代中国語の文法知識を学びながら、中国語の基礎作りをすることにあります。前半は発音を中心とする授業を予定しています。発音段階が終われば、文章で中国語の構造に慣れながら、理解の基礎となる文法知識を増やしていきます。							
授業の到達目標 1) 中国語の発音をマスターする。 2) 中国語の基礎的な文法構造を理解したうえ、基本的な文章の意味がわかるようになる。							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1	4/13	08:40-10:10	遠隔授業 (同期型)	第 1 回 イントロダクション、発音①	中国語ガイダンス	BAO MIN	発音練習
2	4/20	08:40-10:10	遠隔授業 (同期型)	第 2 回 発音②	声調・軽声・単母音	BAO MIN	発音練習
3	4/27	08:40-10:10	遠隔授業 (同期型)	第 3 回 発音③	複母音	BAO MIN	発音練習、小テスト
4	5/11	08:40-10:10	遠隔授業 (同期型)	第 4 回 発音④	子音①、子音②	BAO MIN	発音練習
5	5/18	08:40-10:10	遠隔授業 (同期型)	第 5 回 発音⑤	鼻母音	BAO MIN	発音練習
6	5/25	08:40-10:10	遠隔授業 (同期型)	第 6 回 発音⑥	単語を増やそう	BAO MIN	発音練習、小テスト
7	6/1	08:40-10:10	遠隔授業 (同期型)	第 7 回 自己紹介①	人称代名詞、名前の聞き方・名乗り方、動詞“是”、副詞“也・都”動詞“是”、副詞“也・都”	BAO MIN	
8	6/8	08:40-10:10	遠隔授業 (同期型)	第 8 回 自己紹介②	動詞述語文、指示代名詞、場所代名詞、疑問詞疑問文、連帯修飾語を作る“的”	BAO MIN	小テスト、自己紹介発表①
9	6/15	08:40-10:10	遠隔授業 (同期型)	第 9 回 自己紹介③	所在を表す動詞“在”、所有と存在を表す動詞“有”、方位詞①、名詞述語文、文末助詞“了”	BAO MIN	自己紹介発表②
10	6/22	08:40-10:10	遠隔授業 (同期型)	第 10 回 お誘い	前置詞“在”、連動文、反復疑問文、年月日・曜日・時刻	BAO MIN	

11	6/29	08:40-10:10	遠隔授業 (同期型)	第 11 回 レストラン	選択疑問文、願望を表す助動詞 “想”、意志を表す助動詞“要”、省略疑問文、量詞	BAO MIN	小テスト
12	7/6	08:40-10:10	遠隔授業 (同期型)	第 12 回 買い物	形容詞述語文、比較、助動詞 “能”、“可以”、100 以上の数字	BAO MIN	
13	7/13	08:40-10:10	遠隔授業 (同期型)	第 13 回 道案内	時点と時量、前置詞“从・到・离”、 結果補語、方位詞②	BAO MIN	小テスト
14	7/20	08:40-10:10	遠隔授業 (同期型)	第 14 回 趣味に関する 雑談	助動詞“会”、動作の完了を表すア スペクト“了”、様態補語、二重目 的語をとる動詞	BAO MIN	
15	7/27	08:40-10:10	遠隔授業 (同期型)	第 15 回 まとめ	前期の復習	BAO MIN	

授業方法

講義と演習による。

毎回授業終了時に、各自が新しく学んだことや疑問に思ったことをリアクションペーパーに書いて提出し、フィードバックする。

授業内容

- 第 1 回 中国語ガイダンス
- 第 2 回 声調・轻声・単母音
- 第 3 回 複母音
- 第 4 回 子音①、子音②
- 第 5 回 鼻母音
- 第 6 回 単語を増やそう
- 第 7 回 自己紹介①
- 第 8 回 自己紹介②
- 第 9 回 自己紹介③
- 第 10 回 お誘い
- 第 11 回 レストラン
- 第 12 回 買い物
- 第 13 回 道案内
- 第 14 回 趣味に関する雑談
- 第 15 回 まとめ、復習

成績評価の方法

評価：期末試験 60%・小テスト等 30%・その他(平常点)10%

再評価：有（再評価方法「中国語」としての学年末再試験を実施する）

※通年 4 単位の中国語の成績(100 点満点)は、前期「中国語 a」(25 点)、「中国語 b」(25 点)後期「中国語 c」(25 点)、「中国語 d」(25 点)の合計得点とする。

※「中国語 a・b」を総合しての再考査は、9月に実施予定である。最後の合否判定の際、本試験の点数を再考査の点数に置き換えて判断するが、最終評価で本試験の点数に置き換えた評価はしない(例:再考査に置き換えると 65 で合格だが、本試験の点数で計算して 55 の時は、最終評価は 60)。

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習等についての具体的な指示

新出単語の意味を事前に辞書で調べて来ること。

授業で習った文法項目をしっかりと復習し、新出単語とピンインを暗記する。

習熟度を確認するため小テストを頻繁に行う。テスト範囲は多くの場合授業内で事前に指示する。

中国語の発音練習を実践すること。耳と口の訓練は必要なので、繰り返して声を出して会話をする。

試験の受験資格

1. 定期試験受験資格

<ul style="list-style-type: none"> ・a/b, c, d 各考查毎に受験資格を決定する。 ・原則としてそれぞれ、試験を除く授業回数の3分の2以上出席。 (a/b の受験資格は a と b 合わせての出席率で決定する。) <p>2. 再考査・再試験受験資格</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前期 a/b については再考査を行う。受験資格は定期試験を受験していること。 ・後期 c についてはcのみが基準点に満たない場合は再考査を行うことがある。 受験資格は定期試験を受験していること。 ・後期 d については再考査は行わない。 ・中国語全体の再試験受験資格は、原則として試験を除く総授業回数の 3 分の 2 以上出席
<p>教科書</p> <p>中国語でコミュニケーション／沈国威:朝日出版社, 2020</p>
<p>参考書</p> <p>完全マスター中国語の文法／瀬戸口律子 著,.:語研, 2015</p> <p>中日辞典／北京・商務印書館, 小学館共同編集,商務印書館,小学館,:小学館, 2016</p> <p>ベーシッククラウン中日・日中辞典 = The Basic Crown Dictionary of Chinese／千葉謙悟, 熊進 監修,三省堂編修所 編,千葉, 謙悟,熊進,三省堂,:三省堂, 2019</p> <p>辞書について初回の授業中、紹介します。</p>
<p>履修上の注意事項</p> <p>期末考査・再考査・再試験の受験資格：原則3分の2以上出席</p>

時間割番号	000222						
科目名	中国語 a	科目ID	LA-115601-Z				
担当教員	BAO MIN[BAO Min]						
開講時期	2022 年度前期	対象年次	1				
実務経験のある教員による授業							
<p>曜日・時間:月曜 3限 対象学科: 保健衛生学科(看護・検査)・口腔保健学科(口腔衛生・口腔工学) 科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 別表 1-1)言語を通じた人間の創造的営みを理解する 別表 1-4)異なる空間の文化を理解する 別表 3-1)国際的に活躍するための語学力を養う 別表 3-4)外国文化を理解する</p>							
主な講義場所 別表の通り							
授業の目的、概要等 中国語初習の学生に対して、基本的な構文を中心とした現代中国語の文法知識を学びながら、中国語の基礎作りをすることにあります。前半は発音を中心とする授業を予定しています。発音段階が終われば、文章で中国語の構造に慣れながら、理解の基礎となる文法知識を増やしていきます。							
授業の到達目標 1)中国語の発音をマスターする。 2)中国語の基礎的な文法構造を理解したうえ、基本的な文章の意味がわかるようになる。							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1	4/18	13:10-14:40	遠隔授業 (同期型)	第1回 イントロダクション、発音①	中国語ガイダンス	BAO MIN	発音練習
2	4/25	13:10-14:40	6 番教室	第2回 発音②	声調・轻声・単母音	BAO MIN	発音練習
3	5/2	13:10-14:40	6 番教室	第3回 発音③	複母音	BAO MIN	発音練習、小テスト
4	5/9	13:10-14:40	6 番教室	第4回 発音④	子音①、子音②	BAO MIN	発音練習
5	5/16	13:10-14:40	6 番教室	第5回 発音⑤	鼻母音	BAO MIN	発音練習
6	5/23	13:10-14:40	6 番教室	第6回 発音⑥	単語を増やそう	BAO MIN	発音練習、小テスト
7	5/30	13:10-14:40	6 番教室	第7回 自己紹介①	人称代名詞、名前の聞き方・名乗り方、動詞“是”、副詞“也・都”動詞“是”、副詞“也・都”	BAO MIN	
8	6/6	13:10-14:40	6 番教室	第8回 自己紹介②	動詞述語文、指示代名詞、場所代名詞、疑問詞疑問文、連帯修飾語を作る“的”	BAO MIN	小テスト、自己紹介発表①
9	6/13	13:10-14:40	6 番教室	第9回 自己紹介③	所在を表す動詞“在”、所有と存在を表す動詞“有”、方位詞①、名詞述語文、文末助詞“了”	BAO MIN	自己紹介発表②
10	6/20	13:10-14:40	6 番教室	第10回 お誘い	前置詞“在”、連動文、反復疑問文、年月日・曜日・時刻	BAO MIN	
11	6/27	13:10-14:40	6 番教室	第11回 レストラン	選択疑問文、願望を表す助動詞“想”、意志を表す助動詞“要”、省略疑問文、量詞	BAO MIN	小テスト

12	7/4	13:10-14:40	6 番教室	第 12 回 買い物	形容詞述語文、比較、助動詞 “能”、“可以”、100 以上の数字	BAO MIN	
13	7/11	13:10-14:40	6 番教室	第 13 回 道案内	時点と時量、前置詞“从・到・离”、 結果補語、方位詞②	BAO MIN	小テスト
14	7/18	13:10-14:40	6 番教室	第 14 回 趣味に関する 雑談	助動詞“会”、動作の完了を表すア スペクト“了”、様態補語、二重目 的語をとる動詞	BAO MIN	
15	7/25	13:10-14:40	6 番教室	第 15 回 まとめ	前期の復習	BAO MIN	

授業方法

講義と演習による。

毎回授業終了時に、各自が新しく学んだことや疑問に思ったことをリアクションペーパーに書いて提出し、フィードバックする。

授業内容

- 第 1 回 中国語ガイダンス
- 第 2 回 声調・軽声・単母音
- 第 3 回 複母音
- 第 4 回 子音①、子音②
- 第 5 回 鼻母音
- 第 6 回 単語を増やそう
- 第 7 回 自己紹介①
- 第 8 回 自己紹介②
- 第 9 回 自己紹介③
- 第 10 回 お誘い
- 第 11 回 レストラン
- 第 12 回 買い物
- 第 13 回 道案内
- 第 14 回 趣味に関する雑談
- 第 15 回 まとめ、復習

成績評価の方法

評価：期末試験 60%・小テスト等 30%・その他(平常点)10%

再評価:有 (再評価方法「中国語」としての学年末再試験を実施する)

※通年 4 単位の中国語の成績(100 点満点)は、前期「中国語 a」(25 点)、「中国語 b」(25 点)後期「中国語 c」(25 点)、「中国語 d」(25 点)の合計得点とする。

※「中国語 a・b」を総合しての再考査は、9月に実施予定である。最後の可否判定の際、本試験の点数を再考査の点数に置き換えて判断するが、最終評価で本試験の点数に置き換えた評価はしない(例:再考査に置き換えると 65 で合格だが、本試験の点数で計算して 55 の時は、最終評価は 60)。

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習等についての具体的な指示

新出単語の意味を事前に辞書で調べて来ること。

授業で習った文法項目をしっかり復習し、新出単語とピンインを暗記する。

習熟度を確認するため小テストを頻繁に行う。テスト範囲は多くの場合授業内で事前に指示する。

中国語の発音練習を実践すること。耳と口の訓練は必要なので、繰り返して声を出して会話をする。

試験の受験資格

1. 定期試験受験資格

- ・a/b, c, d 各考査毎に受験資格を決定する。
- ・原則としてそれぞれ、試験を除く授業回数の3分の2以上出席。
(a/b の受験資格は a と b 合わせての出席率で決定する。)

2. 再考査・再試験受験資格

- ・前期 a/b については再考査を行う。受験資格は定期試験を受験していること。
- ・後期 c についてはcのみが基準点に満たない場合は再考査を行うことがある。
受験資格は定期試験を受験していること。
- ・後期 d については再考査は行わない。
- ・中国語全体の再試験受験資格は、原則として試験を除く総授業回数の 3 分の 2 以上出席

教科書

中国語でコミュニケーション／沈国威:朝日出版社, 2020

参考書

完全マスター中国語の文法／瀬戸口律子 著, 語研, 2015

中日辞典／北京・商務印書館, 小学館共同編集,商務印書館,小学館,:小学館, 2016

ベーシッククラウン中日・日中辞典 = The Basic Crown Dictionary of Chinese／千葉謙悟, 熊進 監修,三省堂編修所 編,千葉 謙悟,熊進,三省堂,:三省堂, 2019

辞書について初回の授業中、紹介します。

履修上の注意事項

期末考査・再考査・再試験の受験資格：原則3分の2以上出席

時間割番号	000223						
科目名	中国語 a	科目ID	LA-115601-Z				
担当教員	BAO MIN[BAO Min]						
開講時期	2022 年度前期	対象年次	1				
実務経験のある教員による授業							
<p>曜日・時間:月曜 4 限 対象学科: 医学科・歯学科 科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 別表 1-1)言語を通じた人間の創造的営みを理解する 別表 1-4)異なる空間の文化を理解する 別表 3-1)国際的に活躍するための語学力を養う 別表 3-4)外国文化を理解する</p>							
主な講義場所 別表の通り							
授業の目的、概要等 中国語初習の学生に対して、基本的な構文を中心とした現代中国語の文法知識を学びながら、中国語の基礎作りをすることにあります。前半は発音を中心とする授業を予定しています。発音段階が終われば、文章で中国語の構造に慣れながら、理解の基礎となる文法知識を増やしていきます。							
授業の到達目標 1)中国語の発音をマスターする。 2)中国語の基礎的な文法構造を理解したうえ、基本的な文章の意味がわかるようになる。							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1	4/18	14:50-16:20	遠隔授業 (同期型)	第1回 イントロダクション、発音①	中国語ガイダンス	BAO MIN	発音練習
2	4/25	14:50-16:20	8 番教室	第2回 発音②	声調・轻声・単母音	BAO MIN	発音練習
3	5/2	14:50-16:20	8 番教室	第3回 発音③	複母音	BAO MIN	発音練習、小テスト
4	5/9	14:50-16:20	8 番教室	第4回 発音④	子音①、子音②	BAO MIN	発音練習
5	5/16	14:50-16:20	8 番教室	第5回 発音⑤	鼻母音	BAO MIN	発音練習
6	5/23	14:50-16:20	8 番教室	第6回 発音⑥	単語を増やそう	BAO MIN	発音練習、小テスト
7	5/30	14:50-16:20	8 番教室	第7回 自己紹介①	人称代名詞、名前の聞き方・名乗り方、動詞“是”、副詞“也・都”動詞“是”、副詞“也・都”	BAO MIN	
8	6/6	14:50-16:20	8 番教室	第8回 自己紹介②	動詞述語文、指示代名詞、場所代名詞、疑問詞疑問文、連帯修飾語を作る“的”	BAO MIN	小テスト、自己紹介発表①
9	6/13	14:50-16:20	8 番教室	第9回 自己紹介③	所在を表す動詞“在”、所有と存在を表す動詞“有”、方位詞①、名詞述語文、文末助詞“了”	BAO MIN	自己紹介発表②
10	6/20	14:50-16:20	8 番教室	第10回 お誘い	前置詞“在”、連動文、反復疑問文、年月日・曜日・時刻	BAO MIN	
11	6/27	14:50-16:20	8 番教室	第11回 レストラン	選択疑問文、願望を表す助動詞“想”、意志を表す助動詞“要”、省略疑問文、量詞	BAO MIN	小テスト

12	7/4	14:50-16:20	8 番教室	第 12 回 買い物	形容詞述語文、比較、助動詞 “能”、“可以”、100 以上の数字	BAO MIN	
13	7/11	14:50-16:20	8 番教室	第 13 回 道案内	時点と時量、前置詞“从・到・离”、 結果補語、方位詞②	BAO MIN	小テスト
14	7/18	14:50-16:20	8 番教室	第 14 回 趣味に関する 雑談	助動詞“会”、動作の完了を表すア スペクト“了”、様態補語、二重目 的語をとる動詞	BAO MIN	
15	7/25	14:50-16:20	8 番教室	第 15 回 まとめ	前期の復習	BAO MIN	

授業方法

講義と演習による。

毎回授業終了時に、各自が新しく学んだことや疑問に思ったことをリアクションペーパーに書いて提出し、フィードバックする。

授業内容

- 第 1 回 中国語ガイダンス
- 第 2 回 声調・軽声・単母音
- 第 3 回 複母音
- 第 4 回 子音①、子音②
- 第 5 回 鼻母音
- 第 6 回 単語を増やそう
- 第 7 回 自己紹介①
- 第 8 回 自己紹介②
- 第 9 回 自己紹介③
- 第 10 回 お誘い
- 第 11 回 レストラン
- 第 12 回 買い物
- 第 13 回 道案内
- 第 14 回 趣味に関する雑談
- 第 15 回 まとめ、復習

成績評価の方法

評価：期末試験 60%・小テスト等 30%・その他(平常点)10%

再評価:有 (再評価方法「中国語」としての学年末再試験を実施する)

※通年 4 単位の中国語の成績(100 点満点)は、前期「中国語 a」(25 点)、「中国語 b」(25 点)後期「中国語 c」(25 点)、「中国語 d」(25 点)の合計得点とする。

※「中国語 a・b」を総合しての再考査は、9月に実施予定である。最後の可否判定の際、本試験の点数を再考査の点数に置き換えて判断するが、最終評価で本試験の点数に置き換えた評価はしない(例:再考査に置き換えると 65 で合格だが、本試験の点数で計算して 55 の時は、最終評価は 60)。

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習等についての具体的な指示

新出単語の意味を事前に辞書で調べて来ること。

授業で習った文法項目をしっかり復習し、新出単語とピンインを暗記する。

習熟度を確認するため小テストを頻繁に行う。テスト範囲は多くの場合授業内で事前に指示する。

中国語の発音練習を実践すること。耳と口の訓練は必要なので、繰り返して声を出して会話をする。

試験の受験資格

1. 定期試験受験資格

- ・a/b, c, d 各考査毎に受験資格を決定する。
- ・原則としてそれぞれ、試験を除く授業回数の3分の2以上出席。
(a/b の受験資格は a と b 合わせての出席率で決定する。)

2. 再考査・再試験受験資格

- ・前期 a/b については再考査を行う。受験資格は定期試験を受験していること。
- ・後期 c についてはcのみが基準点に満たない場合は再考査を行うことがある。
受験資格は定期試験を受験していること。
- ・後期 d については再考査は行わない。
- ・中国語全体の再試験受験資格は、原則として試験を除く総授業回数の 3 分の 2 以上出席

教科書

中国語でコミュニケーション／沈国威:朝日出版社, 2020

参考書

完全マスター中国語の文法／瀬戸口律子 著, 語研, 2015

中日辞典／北京・商務印書館, 小学館共同編集,商務印書館,小学館,:小学館, 2016

ベーシッククラウン中日・日中辞典 = The Basic Crown Dictionary of Chinese／千葉謙悟, 熊進 監修,三省堂編修所 編,千葉 謙悟,熊進,三省堂,:三省堂, 2019

辞書について初回の授業中、紹介します。

履修上の注意事項

期末考査・再考査・再試験の受験資格 : 原則3分の2以上出席

時間割番号	000224																																																																																						
科目名	中国語 d	科目ID	LA-115604-Z																																																																																				
担当教員	BAO MIN[BAO Min]																																																																																						
開講時期	2022 年度後期	対象年次	1																																																																																				
実務経験のある教員による授業																																																																																							
<p>曜日・時間:水曜1限 対象学科:医学科・歯学科 科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 別表 1-1)言語を通じた人間の創造的営みを理解する 別表 1-4)異なる空間の文化を理解する 別表 3-1)国際的に活躍するための語学力を養う 別表 3-4)外国文化を理解する</p>																																																																																							
<p>主な講義場所 別表の通り</p>																																																																																							
<p>授業の目的、概要等 過去1年間中国の様々な出来事をテーマごとに分けて紹介し、中国語の文章を読むことで、読解力の向上を目指すとともに、現代中国社会への理解を深め、中国を主とする地域文化演習をすることを目的とします。</p>																																																																																							
<p>授業の到達目標 ①辞書を使い、短い中国語の文章が読めるようになること。 ②授業を通じて中国情報を収集するための基礎的な技術を獲得すること。 ③中国の文化や社会について理解を深める。</p>																																																																																							
<p>授業計画</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>講義室</th> <th>授業題目</th> <th>授業内容</th> <th>担当教員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>10/5</td> <td>10:20-11:50</td> <td>9 番教室</td> <td>第1回</td> <td>ガイダンス、授業方法説明 中国生育政策之变迁① 中国の人口政策</td> <td>BAO MIN</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>10/19</td> <td>10:20-11:50</td> <td>9 番教室</td> <td>第2回</td> <td>中国生育政策之变迁② 中国における人口政策の変化</td> <td>BAO MIN</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>10/26</td> <td>10:20-11:50</td> <td>9 番教室</td> <td>第3回</td> <td>中国生育政策之变迁③ 中国の人口政策に関するまとめ</td> <td>BAO MIN</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>11/2</td> <td>10:20-11:50</td> <td>9 番教室</td> <td>第4回</td> <td>医院营养餐为什么不受欢迎① 患者と出前</td> <td>BAO MIN</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>11/9</td> <td>10:20-11:50</td> <td>9 番教室</td> <td>第5回</td> <td>医院营养餐为什么不受欢迎② 病院の栄養食の今後</td> <td>BAO MIN</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>11/16</td> <td>10:20-11:50</td> <td>9 番教室</td> <td>第6回</td> <td>医院营养餐为什么不受欢迎③ まとめ</td> <td>BAO MIN</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>11/30</td> <td>10:20-11:50</td> <td>9 番教室</td> <td>第7回</td> <td>帮老人融入智能时代① IT 化社会における中国高齢者の現状</td> <td>BAO MIN</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>12/7</td> <td>10:20-11:50</td> <td>9 番教室</td> <td>第8回</td> <td>帮老人融入智能时代② 高齢者とスマートフォン</td> <td>BAO MIN</td> </tr> <tr> <td>9</td> <td>12/14</td> <td>10:20-11:50</td> <td>9 番教室</td> <td>第9回</td> <td>帮老人融入智能时代③高齢者にやさしいIT 社会作り</td> <td>BAO MIN</td> </tr> <tr> <td>10</td> <td>12/21</td> <td>10:20-11:50</td> <td>9 番教室</td> <td>第10回</td> <td>90 后的新消费生活① 90 年代生まれと国産ブーム</td> <td>BAO MIN</td> </tr> <tr> <td>11</td> <td>1/4</td> <td>10:20-11:50</td> <td>9 番教室</td> <td>第11回</td> <td>90 后的新消费生活② 90 年代生まれの消費意識</td> <td>BAO MIN</td> </tr> </tbody> </table>				回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	1	10/5	10:20-11:50	9 番教室	第1回	ガイダンス、授業方法説明 中国生育政策之变迁① 中国の人口政策	BAO MIN	2	10/19	10:20-11:50	9 番教室	第2回	中国生育政策之变迁② 中国における人口政策の変化	BAO MIN	3	10/26	10:20-11:50	9 番教室	第3回	中国生育政策之变迁③ 中国の人口政策に関するまとめ	BAO MIN	4	11/2	10:20-11:50	9 番教室	第4回	医院营养餐为什么不受欢迎① 患者と出前	BAO MIN	5	11/9	10:20-11:50	9 番教室	第5回	医院营养餐为什么不受欢迎② 病院の栄養食の今後	BAO MIN	6	11/16	10:20-11:50	9 番教室	第6回	医院营养餐为什么不受欢迎③ まとめ	BAO MIN	7	11/30	10:20-11:50	9 番教室	第7回	帮老人融入智能时代① IT 化社会における中国高齢者の現状	BAO MIN	8	12/7	10:20-11:50	9 番教室	第8回	帮老人融入智能时代② 高齢者とスマートフォン	BAO MIN	9	12/14	10:20-11:50	9 番教室	第9回	帮老人融入智能时代③高齢者にやさしいIT 社会作り	BAO MIN	10	12/21	10:20-11:50	9 番教室	第10回	90 后的新消费生活① 90 年代生まれと国産ブーム	BAO MIN	11	1/4	10:20-11:50	9 番教室	第11回	90 后的新消费生活② 90 年代生まれの消費意識	BAO MIN
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員																																																																																	
1	10/5	10:20-11:50	9 番教室	第1回	ガイダンス、授業方法説明 中国生育政策之变迁① 中国の人口政策	BAO MIN																																																																																	
2	10/19	10:20-11:50	9 番教室	第2回	中国生育政策之变迁② 中国における人口政策の変化	BAO MIN																																																																																	
3	10/26	10:20-11:50	9 番教室	第3回	中国生育政策之变迁③ 中国の人口政策に関するまとめ	BAO MIN																																																																																	
4	11/2	10:20-11:50	9 番教室	第4回	医院营养餐为什么不受欢迎① 患者と出前	BAO MIN																																																																																	
5	11/9	10:20-11:50	9 番教室	第5回	医院营养餐为什么不受欢迎② 病院の栄養食の今後	BAO MIN																																																																																	
6	11/16	10:20-11:50	9 番教室	第6回	医院营养餐为什么不受欢迎③ まとめ	BAO MIN																																																																																	
7	11/30	10:20-11:50	9 番教室	第7回	帮老人融入智能时代① IT 化社会における中国高齢者の現状	BAO MIN																																																																																	
8	12/7	10:20-11:50	9 番教室	第8回	帮老人融入智能时代② 高齢者とスマートフォン	BAO MIN																																																																																	
9	12/14	10:20-11:50	9 番教室	第9回	帮老人融入智能时代③高齢者にやさしいIT 社会作り	BAO MIN																																																																																	
10	12/21	10:20-11:50	9 番教室	第10回	90 后的新消费生活① 90 年代生まれと国産ブーム	BAO MIN																																																																																	
11	1/4	10:20-11:50	9 番教室	第11回	90 后的新消费生活② 90 年代生まれの消費意識	BAO MIN																																																																																	

12	1/11	10:20-11:50	9 番教室	第12回	90 后的新消费生活③ 90 年代生まれの新たな消費生活	BAO MIN
13	1/18	10:20-11:50	9 番教室	第13回	宠物在今天的中国① 中国人とペット	BAO MIN
14	1/25	10:20-11:50	9 番教室	第14回	宠物在今天的中国② 中国のペット市場	BAO MIN
15	2/1	10:20-11:50	9 番教室	第15回	まとめ	BAO MIN

授業方法

中国語通年 4 単位の一部ですが、「中国語 c」とは別の教科書を使った授業になります。時事問題に関する文章を題材とする教科書を用い、地域文化演習、読解、新出文法事項の学習、内容に関する教員からの解説・学生との討論を行います。授業の一環として、レポート課題、グループ討論および個人発表があります。

授業内容

過去 1 年間中国の様々な出来事をテーマごとに分けて紹介し、激動する中国の今を最新の内容と共に学びます。多様な中国語原文を、より多く読む訓練を実施します。発音練習をかねて本文を読みながら、現代中国社会に対する解説を行います。1～2 回で教科書の一つのテーマを扱う予定ですが、順序やテーマ等は受講者の学力・興味によって変更する可能性があります。

1～3 回目：中国生育政策之变迁

4～6 回目：医院营养餐为什么不受欢迎

7～9 回目：帮老人融入智能时代

10～12 回目：90 后的新消费生活

13～14 回目：宠物在今天的中国

15 回目：中国語 d まとめ

成績評価の方法

評価：期末試験 60%・その他(授業中の課題提出)40%

再評価：有(再評価方法「中国語」としての学年末再試験を実施し、上記通年評価と合算して評価する)

※上記は前期「中国語 d」の配点。

※通年 4 単位の中国語の成績(100 点満点)は、前期「中国語 a+b」(50 点)、後期「中国語 c」(25 点)、「中国語 d」(25 点)の配点で評価する。

※「中国語 d」についての再考査は実施しません。「中国語」としての総合的な再試験を実施します。

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による。

準備学習等についての具体的な指示

知らない単語の意味は事前に辞書で調べて来ること。授業にも辞書を持参することが望ましい。

教科書付属のドリルを各自活用すること。

試験の受験資格

期末考査・再考査・再試験の受験資格：原則としてそれぞれ、試験を除く授業回数の3分の2以上の出席

※期末考査・再考査の受験資格は、前期が中国語 a・b を、後期は中国語 c・d を合算した出席率で決定する。

※再試験の受験資格は、中国語 a・b・c・d を合算した出席率で決定する。前期「中国語 a+b」、後期「中国語 c」「中国語 d」いずれかの
期末考査を受験しなかった者には、再試験の受験資格を与えない。

教科書

双循環／三瀆正道, 陳祖蓓, 古屋順子著:朝日出版社, 2022

参考書

Why?にこたえるはじめての中国語の文法書／相原茂ほか:同学社, 1996

やさしくわしい中国語文法の基礎／守屋宏則:東方書店, 1995

完全マスター中国語の文法／瀬戸口律子 著,:語研, 2015

はじめて学ぶ中国語文法／永井鉄郎著,永井, 鉄郎,:金星堂, 2014

次の2つ辞書のうちどちらかを用意することを勧めます。電子辞書を購入する場合も、このいずれかを収録したものが良いでしょう。

・小学館『中日辞典』

・講談社『中日辞典』

他科目との関連

成績は中国語 a/b, c/d をまとめて4単位として評価します。

履修上の注意事項

出欠は、出欠管理システムの記録と教員が取る出欠を併用して管理します。

時間割番号	000225																																																																																						
科目名	中国語 d	科目ID	LA-115604-Z																																																																																				
担当教員	BAO MIN[BAO Min]																																																																																						
開講時期	2022 年度後期	対象年次	1																																																																																				
実務経験のある教員による授業																																																																																							
<p>曜日・時間:水曜2限 対象学科:保健衛生学科・口腔保健学科 科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 別表 1-1)言語を通じた人間の創造的営みを理解する 別表 1-4)異なる空間の文化を理解する 別表 3-1)国際的に活躍するための語学力を養う 別表 3-4)外国文化を理解する</p>																																																																																							
主な講義場所 別表の通り																																																																																							
授業の目的、概要等 過去1年間中国の様々な出来事をテーマごとに分けて紹介し、中国語の文章を読むことで、読解力の向上を目指すとともに、現代中国社会への理解を深め、中国を主とする地域文化演習をすることを目的とします。																																																																																							
授業の到達目標 ①辞書を使い、短い中国語の文章が読めるようになること。 ②授業を通じて中国情報を収集するための基礎的な技術を獲得すること。 ③中国の文化や社会について理解を深める。																																																																																							
授業計画 <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>講義室</th> <th>授業題目</th> <th>授業内容</th> <th>担当教員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>10/5</td> <td>08:40-10:10</td> <td>9 番教室</td> <td>第1回</td> <td>ガイダンス、授業方法説明 中国生育政策之变迁① 中国の人口政策</td> <td>BAO MIN</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>10/19</td> <td>08:40-10:10</td> <td>9 番教室</td> <td>第2回</td> <td>中国生育政策之变迁② 中国における人口政策の変化</td> <td>BAO MIN</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>10/26</td> <td>08:40-10:10</td> <td>9 番教室</td> <td>第3回</td> <td>中国生育政策之变迁③ 中国の人口政策に関するまとめ</td> <td>BAO MIN</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>11/2</td> <td>08:40-10:10</td> <td>9 番教室</td> <td>第4回</td> <td>医院营养餐为什么不受欢迎① 患者と出前</td> <td>BAO MIN</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>11/9</td> <td>08:40-10:10</td> <td>9 番教室</td> <td>第5回</td> <td>医院营养餐为什么不受欢迎② 病院の栄養食の今後</td> <td>BAO MIN</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>11/16</td> <td>08:40-10:10</td> <td>9 番教室</td> <td>第6回</td> <td>医院营养餐为什么不受欢迎③ まとめ</td> <td>BAO MIN</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>11/30</td> <td>08:40-10:10</td> <td>9 番教室</td> <td>第7回</td> <td>帮老人融入智能时代① IT 化社会における中国高齢者の現状</td> <td>BAO MIN</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>12/7</td> <td>08:40-10:10</td> <td>9 番教室</td> <td>第8回</td> <td>帮老人融入智能时代② 高齢者とスマートフォン</td> <td>BAO MIN</td> </tr> <tr> <td>9</td> <td>12/14</td> <td>08:40-10:10</td> <td>9 番教室</td> <td>第9回</td> <td>帮老人融入智能时代③ 高齢者にやさしいIT 社会作り</td> <td>BAO MIN</td> </tr> <tr> <td>10</td> <td>12/21</td> <td>08:40-10:10</td> <td>9 番教室</td> <td>第10回</td> <td>90 后的新消费生活① 90 年代生まれと国産ブーム</td> <td>BAO MIN</td> </tr> <tr> <td>11</td> <td>1/4</td> <td>08:40-10:10</td> <td>9 番教室</td> <td>第11回</td> <td>90 后的新消费生活② 90 年代生まれの消費意識</td> <td>BAO MIN</td> </tr> </tbody> </table>				回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	1	10/5	08:40-10:10	9 番教室	第1回	ガイダンス、授業方法説明 中国生育政策之变迁① 中国の人口政策	BAO MIN	2	10/19	08:40-10:10	9 番教室	第2回	中国生育政策之变迁② 中国における人口政策の変化	BAO MIN	3	10/26	08:40-10:10	9 番教室	第3回	中国生育政策之变迁③ 中国の人口政策に関するまとめ	BAO MIN	4	11/2	08:40-10:10	9 番教室	第4回	医院营养餐为什么不受欢迎① 患者と出前	BAO MIN	5	11/9	08:40-10:10	9 番教室	第5回	医院营养餐为什么不受欢迎② 病院の栄養食の今後	BAO MIN	6	11/16	08:40-10:10	9 番教室	第6回	医院营养餐为什么不受欢迎③ まとめ	BAO MIN	7	11/30	08:40-10:10	9 番教室	第7回	帮老人融入智能时代① IT 化社会における中国高齢者の現状	BAO MIN	8	12/7	08:40-10:10	9 番教室	第8回	帮老人融入智能时代② 高齢者とスマートフォン	BAO MIN	9	12/14	08:40-10:10	9 番教室	第9回	帮老人融入智能时代③ 高齢者にやさしいIT 社会作り	BAO MIN	10	12/21	08:40-10:10	9 番教室	第10回	90 后的新消费生活① 90 年代生まれと国産ブーム	BAO MIN	11	1/4	08:40-10:10	9 番教室	第11回	90 后的新消费生活② 90 年代生まれの消費意識	BAO MIN
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員																																																																																	
1	10/5	08:40-10:10	9 番教室	第1回	ガイダンス、授業方法説明 中国生育政策之变迁① 中国の人口政策	BAO MIN																																																																																	
2	10/19	08:40-10:10	9 番教室	第2回	中国生育政策之变迁② 中国における人口政策の変化	BAO MIN																																																																																	
3	10/26	08:40-10:10	9 番教室	第3回	中国生育政策之变迁③ 中国の人口政策に関するまとめ	BAO MIN																																																																																	
4	11/2	08:40-10:10	9 番教室	第4回	医院营养餐为什么不受欢迎① 患者と出前	BAO MIN																																																																																	
5	11/9	08:40-10:10	9 番教室	第5回	医院营养餐为什么不受欢迎② 病院の栄養食の今後	BAO MIN																																																																																	
6	11/16	08:40-10:10	9 番教室	第6回	医院营养餐为什么不受欢迎③ まとめ	BAO MIN																																																																																	
7	11/30	08:40-10:10	9 番教室	第7回	帮老人融入智能时代① IT 化社会における中国高齢者の現状	BAO MIN																																																																																	
8	12/7	08:40-10:10	9 番教室	第8回	帮老人融入智能时代② 高齢者とスマートフォン	BAO MIN																																																																																	
9	12/14	08:40-10:10	9 番教室	第9回	帮老人融入智能时代③ 高齢者にやさしいIT 社会作り	BAO MIN																																																																																	
10	12/21	08:40-10:10	9 番教室	第10回	90 后的新消费生活① 90 年代生まれと国産ブーム	BAO MIN																																																																																	
11	1/4	08:40-10:10	9 番教室	第11回	90 后的新消费生活② 90 年代生まれの消費意識	BAO MIN																																																																																	

12	1/11	08:40-10:10	9 番教室	第12回	90 后的新消费生活③ 90 年代生まれの新たな消費生活	BAO MIN
13	1/18	08:40-10:10	9 番教室	第13回	宠物在今天的中国① 中国人とペット	BAO MIN
14	1/25	08:40-10:10	9 番教室	第14回	宠物在今天的中国② 中国のペット市場	BAO MIN
15	2/1	08:40-10:10	9 番教室	第15回	まとめ	BAO MIN

授業方法

中国語通年 4 単位の一部ですが、「中国語 c」とは別の教科書を使った授業になります。時事問題に関する文章を題材とする教科書を用い、地域文化演習、読解、新出文法事項の学習、内容に関する教員からの解説・学生との討論を行います。授業の一環として、レポート課題、グループ討論および個人発表があります。

授業内容

過去 1 年間中国の様々な出来事をテーマごとに分けて紹介し、激動する中国の今を最新の内容と共に学びます。多様な中国語原文を、より多く読む訓練を実施します。発音練習をかねて本文を読みながら、現代中国社会に対する解説を行います。1～2 回で教科書の一つのテーマを扱う予定ですが、順序やテーマ等は受講者の学力・興味によって変更する可能性があります。

1～3 回目：中国生育政策之变迁

4～6 回目：医院营养餐为什么不受欢迎

7～9 回目：帮老人融入智能时代

10～12 回目：90 后的新消费生活

13～14 回目：宠物在今天的中国

15 回目：中国語 d まとめ

成績評価の方法

評価：期末試験 60%・その他(授業中の課題提出)40%

再評価：有(再評価方法「中国語」としての学年末再試験を実施し、上記通年評価と合算して評価する)

※上記は前期「中国語 d」の配点。

※通年 4 単位の中国語の成績(100 点満点)は、前期「中国語 a+b」(50 点)、後期「中国語 c」(25 点)、「中国語 d」(25 点)の配点で評価する。

※「中国語 d」についての再考査は実施しません。「中国語」としての総合的な再試験を実施します。

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による。

準備学習等についての具体的な指示

知らない単語の意味は事前に辞書で調べて来ること。授業にも辞書を持参することが望ましい。

教科書付属のドリルを各自活用すること。

試験の受験資格

期末考査・再考査・再試験の受験資格：原則としてそれぞれ、試験を除く授業回数の3分の2以上の出席

※期末考査・再考査の受験資格は、前期が中国語 a・b を、後期は中国語 c・d を合算した出席率で決定する。

※再試験の受験資格は、中国語 a・b・c・d を合算した出席率で決定する。前期「中国語 a+b」、後期「中国語 c」「中国語 d」いずれかの期末考査を受験しなかった者には、再試験の受験資格を与えない。

教科書

双循環／三瀧正道, 陳祖蓓, 古屋順子著, 三瀧, 正道, 陳, 祖蓓, 古屋, 順子, :朝日出版社, 2122

参考書

Why? にこたえるはじめての中国語の文法書／相原茂ほか: 同学社, 1996

やさしくわしい中国語文法の基礎／守屋宏則: 東方書店, 1995

完全マスター中国語の文法／瀬戸口律子 著, : 語研, 2015

はじめて学ぶ中国語文法／永井鉄郎著, 永井, 鉄郎, : 金星堂, 2014

次の2つ辞書のうちどちらかを用意することを勧めます。電子辞書を購入する場合も、このいずれかを収録したものが良いでしょう。

・小学館『中日辞典』

・講談社『中日辞典』

他科目との関連

成績は中国語 a/b, c/d をまとめて4単位として評価します。

履修上の注意事項

出欠は、出欠管理システムの記録と教員が取る出欠を併用して管理します。

時間割番号	000226					
科目名	中国語 c	科目ID	LA-115603-Z			
担当教員	BAO MIN[BAO Min]					
開講時期	2022 年度後期	対象年次	1			
実務経験のある教員による授業						
<p>曜日・時間: 月曜 3 限 対象学科: 保健衛生学科・口腔保健学科 科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 別表 1-1)言語を通じた人間の創造的営みを理解する 別表 1-4)異なる空間の文化を理解する 別表 3-1)国際的に活躍するための語学力を養う 別表 3-4)外国文化を理解する</p>						
主な講義場所 別表の通り						
授業の目的、概要等 中国語を半年勉強した学生に対して、発音基礎を固めながら、文法知識を増やしつつ、読解力を付けていよう授業を進めます。単語、文型などを正確に理解する能力を養うことに主眼を置きます。 前半は発音の復習を行いながら授業を予定しています。後半は前期に引き続き、新出単語、新しい文法の学習を中心に進めていきます。						
授業の到達目標 1) 中国語の発音をマスターする。 2) 中国語の基礎的な文法構造を理解したうえ、基本的な文章の意味がわかるようになる。						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	10/3	13:10-14:40	6 番教室	第 1 回:発音の復習	ピンインの復習、前期のおさらい	BAO MIN
2	10/10	13:10-14:40	6 番教室	第 2 回:旅行の計画①	①進行を表す“在～” ②アスペクト助詞“过”	BAO MIN
3	10/17	13:10-14:40	6 番教室	第 3 回:旅行の計画②	③主述述語文 ②前置詞“对、给、跟”	BAO MIN
4	10/24	13:10-14:40	6 番教室	第 4 回:病院①	①“(是)～V 的”構文 ②可能性を表す“会”	BAO MIN
5	10/31	13:10-14:40	6 番教室	第 5 回:病院②	二つの「少し」、一点儿と有点儿	BAO MIN
6	11/7	13:10-14:40	6 番教室	第 6 回:トラブル①	①“把”構文 ②助動詞“得”	BAO MIN
7	11/14	13:10-14:40	6 番教室	第 7 回:トラブル②	受身文	BAO MIN
8	11/21	13:10-14:40	6 番教室	第 8 回:ホテル①	方向補語、可能補語	BAO MIN
9	11/28	13:10-14:40	6 番教室	第 9 回:ホテル②	使役文	BAO MIN
10	12/5	13:10-14:40	6 番教室	第 10 回:約束する①	①複文②“有”を用いた連動文	BAO MIN
11	12/12	13:10-14:40	6 番教室	第 11 回:約束する②	禁止を表す副詞“别”	BAO MIN
12	12/19	13:10-14:40	6 番教室	第 12 回:掲示板を見る①	①アスペクト助詞“着” ②存現文	BAO MIN
13	1/16	13:10-14:40	6 番教室	第 13 回:掲示板を見る②	近接未来“快～了”	BAO MIN
14	1/23	13:10-14:40	6 番教室	第 14 回:復習	全体の文法のおさらい	BAO MIN
15	1/30	13:10-14:40	6 番教室	第 15 回:まとめ	中国語cのまとめ	BAO MIN

<p>授業方法</p> <p>受講生が教員について文法の練習や会話などを行い、学生同士で会話の練習も行う。毎回授業終了時に、各自が新しく学んだことや疑問に思ったことをリアクションペーパーに書いて提出し、フィードバックする。</p>
<p>授業内容</p> <p>会話を教材にして、中国語の発音の基礎を学び、同時に基本的な文法事項も学習する。その後、口頭表現を中心に簡単な日常会話を練習する。読む、聞く、書く、話すなど総合的な中国語の力をつける訓練を行う。</p> <p>第1回:発音の復習</p> <p>第2回:旅行の計画①</p> <p>第3回:旅行の計画②</p> <p>第4回:病院①</p> <p>第5回:病院②</p> <p>第6回:トラブル①</p> <p>第7回:トラブル②</p> <p>第8回:ホテル①</p> <p>第9回:ホテル②</p> <p>第10回:約束する①</p> <p>第11回:約束する②</p> <p>第12回:掲示板を見る①</p> <p>第13回:掲示板を見る②</p> <p>第14回:復習</p> <p>第15回:まとめ</p>
<p>成績評価の方法</p> <p>評価:期末試験 60%・小テスト等 30%・その他(平常点)10%</p> <p>再評価:有 (再評価方法「中国語」としての学年末再試験を実施する)</p> <p>※通年4単位の中国語の成績(100点満点)は、前期「中国語 a」(25点)、「中国語 b」(25点)後期「中国語 c」(25点)、「中国語 d」(25点)の合計得点とする。</p> <p>※「中国語 a・b」を総合しての再考査は、9月に実施予定である。最後の合否判定の際、本試験の点数を再考査の点数に置き換えて判断するが、最終評価で本試験の点数に置き換えた評価はしない(例:再考査に置き換えると65で合格だが、本試験の点数で計算して55の時は、最終評価は60)。</p>
<p>成績評価の基準</p> <p>「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による。</p>
<p>準備学習等についての具体的な指示</p> <p>復習、予習すること。教科書を読み直す、あらかじめ読んでおく、という日々の訓練が必要である。受講に際し、中国語の発音を練習するには、声を出すこと。積極的に授業に参加すること。新出単語の意味を事前に辞書で調べて来ること。習熟度を確認するため小テストを頻繁に行う。</p>
<p>試験の受験資格</p> <p>1. 定期試験受験資格</p> <ul style="list-style-type: none"> ・a/b, c, d 各考査毎に受験資格を決定する。 ・原則としてそれぞれ、試験を除く授業回数の3分の2以上出席。 (a/bの受験資格はaとb合わせての出席率で決定する。) <p>2. 再考査・再試験受験資格</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前期 a/b については再考査を行う。受験資格は定期試験を受験していること。 ・後期 c についてはcのみが基準点に満たない場合は再考査を行うことがある。 受験資格は定期試験を受験していること。 ・後期 d については再考査は行わない。 ・中国語全体の再試験受験資格は、原則として試験を除く総授業回数の3分の2以上出席
<p>教科書</p>

中国語でコミュニケーション／沈国威:朝日出版社, 2020

参考書

完全マスター中国語の文法／瀬戸口律子著,瀬戸口, 律子,:語研, 2015

中日辞典／北京・商務印書館, 小学館共同編集,商務印書館,小学館,:小学館, 2016

ベーシッククラウン中日・日中辞典 = The Basic Crown Dictionary of Chinese／千葉謙悟, 熊進 監修,三省堂編修所 編,千葉, 謙悟,熊進,三省堂,:三省堂, 2019

辞書について初回の授業中、紹介します。

他科目との関連

成績は中国語 a/b, c/d をまとめて4単位として評価します。

履修上の注意事項

期末考査・再考査・再試験の受験資格：原則3分の2以上出席

時間割番号	000227					
科目名	中国語 c	科目ID	LA-115603-Z			
担当教員	BAO MIN[BAO Min]					
開講時期	2022 年度後期	対象年次	1			
実務経験のある教員による授業						
<p>曜日・時間: 月曜 4 限 対象学科: 医学科・歯学科 科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 別表 1-1)言語を通じた人間の創造的営みを理解する 別表 1-4)異なる空間の文化を理解する 別表 3-1)国際的に活躍するための語学力を養う 別表 3-4)外国文化を理解する</p>						
主な講義場所 別表の通り						
授業の目的、概要等 中国語を半年勉強した学生に対して、発音基礎を固めながら、文法知識を増やしつつ、読解力を付けていよう授業を進めます。単語、文型などを正確に理解する能力を養うことに主眼を置きます。 前半は発音の復習を行いながら授業を予定しています。後半は前期に引き続き、新出単語、新しい文法の学習を中心に進めていきます。						
授業の到達目標 1) 中国語の発音をマスターする。 2) 中国語の基礎的な文法構造を理解したうえ、基本的な文章の意味がわかるようになる。						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	10/3	14:50-16:20	8 番教室	第 1 回:発音の復習	ピンインの復習、前期のおさらい	BAO MIN
2	10/10	14:50-16:20	8 番教室	第 2 回:旅行の計画①	①進行を表す“在～” ②アスペクト助詞“过”	BAO MIN
3	10/17	14:50-16:20	8 番教室	第 3 回:旅行の計画②	③主述述語文 ②前置詞“对、给、跟”	BAO MIN
4	10/24	14:50-16:20	8 番教室	第 4 回:病院①	①“(是)～V 的”構文 ②可能性を表す“会”	BAO MIN
5	10/31	14:50-16:20	8 番教室	第 5 回:病院②	二つの「少し」、一点儿と有点儿	BAO MIN
6	11/7	14:50-16:20	8 番教室	第 6 回:トラブル①	①“把”構文 ②助動詞“得”	BAO MIN
7	11/14	14:50-16:20	8 番教室	第 7 回:トラブル②	受身文	BAO MIN
8	11/21	14:50-16:20	8 番教室	第 8 回:ホテル①	方向補語、可能補語	BAO MIN
9	11/28	14:50-16:20	8 番教室	第 9 回:ホテル②	使役文	BAO MIN
10	12/5	14:50-16:20	8 番教室	第 10 回:約束する①	①複文②“有”を用いた連動文	BAO MIN
11	12/12	14:50-16:20	8 番教室	第 11 回:約束する②	禁止を表す副詞“别”	BAO MIN
12	12/19	14:50-16:20	8 番教室	第 12 回:掲示板を見る①	①アスペクト助詞“着” ②存現文	BAO MIN
13	1/16	14:50-16:20	8 番教室	第 13 回:掲示板を見る②	近接未来“快～了”	BAO MIN
14	1/23	14:50-16:20	8 番教室	第 14 回:復習	全体の文法のおさらい	BAO MIN
15	1/30	14:50-16:20	8 番教室	第 15 回:まとめ	中国語cのまとめ	BAO MIN

<p>授業方法</p> <p>受講生が教員について文法の練習や会話などを行い、学生同士で会話の練習も行う。毎回授業終了時に、各自が新しく学んだことや疑問に思ったことをリアクションペーパーに書いて提出し、フィードバックする。</p>
<p>授業内容</p> <p>会話文を教材にして、中国語の発音の基礎を学び、同時に基本的な文法事項も学習する。その後、口頭表現を中心に簡単な日常会話を練習する。読む、聞く、書く、話すなど総合的な中国語の力をつける訓練を行う。</p> <p>第1回:発音の復習</p> <p>第2回:旅行の計画①</p> <p>第3回:旅行の計画②</p> <p>第4回:病院①</p> <p>第5回:病院②</p> <p>第6回:トラブル①</p> <p>第7回:トラブル②</p> <p>第8回:ホテル①</p> <p>第9回:ホテル②</p> <p>第10回:約束する①</p> <p>第11回:約束する②</p> <p>第12回:掲示板を見る①</p> <p>第13回:掲示板を見る②</p> <p>第14回:復習</p> <p>第15回:まとめ</p>
<p>成績評価の方法</p> <p>評価:期末試験 60%・小テスト等 30%・その他(平常点)10%</p> <p>再評価:有 (再評価方法「中国語」としての学年末再試験を実施する)</p> <p>※通年4単位の中国語の成績(100点満点)は、前期「中国語 a」(25点)、「中国語 b」(25点)後期「中国語 c」(25点)、「中国語 d」(25点)の合計得点とする。</p> <p>※「中国語 a・b」を総合しての再考査は、9月に実施予定である。最後の合否判定の際、本試験の点数を再考査の点数に置き換えて判断するが、最終評価で本試験の点数に置き換えた評価はしない(例:再考査に置き換えると65で合格だが、本試験の点数で計算して55の時は、最終評価は60)。</p>
<p>成績評価の基準</p> <p>「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による。</p>
<p>準備学習等についての具体的な指示</p> <p>復習、予習すること。教科書を読み直す、あらかじめ読んでおく、という日々の訓練が必要である。受講に際し、中国語の発音を練習するには、声を出すこと。積極的に授業に参加すること。新出単語の意味を事前に辞書で調べて来ること。習熟度を確認するため小テストを頻繁に行う。</p>
<p>試験の受験資格</p> <p>1. 定期試験受験資格</p> <ul style="list-style-type: none"> ・a/b, c, d 各考査毎に受験資格を決定する。 ・原則としてそれぞれ、試験を除く授業回数の3分の2以上出席。 (a/bの受験資格はaとb合わせての出席率で決定する。) <p>2. 再考査・再試験受験資格</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前期 a/b については再考査を行う。受験資格は定期試験を受験していること。 ・後期 c についてはcのみが基準点に満たない場合は再考査を行うことがある。 受験資格は定期試験を受験していること。 ・後期 d については再考査は行わない。 ・中国語全体の再試験受験資格は、原則として試験を除く総授業回数の3分の2以上出席
<p>教科書</p>

中国語でコミュニケーション／沈国威:朝日出版社, 2020

参考書

完全マスター中国語の文法／瀬戸口律子著,瀬戸口, 律子,:語研, 2015

中日辞典／北京・商務印書館, 小学館共同編集,商務印書館,小学館,:小学館, 2016

ベーシッククラウン中日・日中辞典 = The Basic Crown Dictionary of Chinese／千葉謙悟, 熊進 監修,三省堂編修所 編,千葉, 謙悟,熊進,三省堂,:三省堂, 2019

辞書について初回の授業中、紹介します。

他科目との関連

成績は中国語 a/b, c/d をまとめて4単位として評価します。

履修上の注意事項

期末考査・再考査・再試験の受験資格：原則3分の2以上出席

時間割番号	000933					
科目名	中国語 a	科目ID				
担当教員	関 佳祺					
開講時期	2022 年度前期	対象年次	1			
実務経験のある教員による授業						
<p>曜日・時間:月曜 3 限 対象学科: 保健衛生学科(看護・検査)・口腔保健学科(口腔衛生・口腔工学) 科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 別表 1-1)言語を通じた人間の創造的営みを理解する 別表 1-4)異なる空間の文化を理解する 別表 3-1)国際的に活躍するための語学力を養う 別表 3-4)外国文化を理解する</p>						
主な講義場所 別表の通り						
授業の目的、概要等 中国語初習の学生に対して、基本的な構文を中心とした現代中国語の文法知識を学びながら、中国語の基礎作りをすることにあります。前半は発音を中心とする授業を予定しています。発音段階が終われば、文章で中国語の構造に慣れながら、理解の基礎となる文法知識を増やしていきます。						
授業の到達目標 1)中国語の発音をマスターする。 2)中国語の基礎的な文法構造を理解したうえ、基本的な文章の意味がわかるようになる。						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	備考
1	4/18	13:10-14:40	遠隔授業 (同期型)	第1回 イントロダクション、発音①	中国語ガイダンス	発音練習
2	4/25	13:10-14:40		第2回 発音②	声調・轻声・単母音	発音練習
3	5/2	13:10-14:40		第3回 発音③	複母音	発音練習、小テスト
4	5/9	13:10-14:40		第4回 発音④	子音①、子音②	発音練習
5	5/16	13:10-14:40		第5回 発音⑤	鼻母音	発音練習
6	5/23	13:10-14:40		第6回 発音⑥	単語を増やそう	発音練習、小テスト
7	5/30	13:10-14:40		第7回 自己紹介①	人称代名詞、名前の聞き方・名乗り方、動詞“是”、副詞“也・都”動詞“是”、副詞“也・都”	
8	6/6	13:10-14:40		第8回 自己紹介②	動詞述語文、指示代名詞、場所代名詞、疑問詞疑問文、連帯修飾語を作る“的”	小テスト、自己紹介発表①
9	6/13	13:10-14:40		第9回 自己紹介③	所在を表す動詞“在”、所有と存在を表す動詞“有”、方位詞①、名詞述語文、文末助詞“了”	自己紹介発表②
10	6/20	13:10-14:40		第10回 お誘い	前置詞“在”、連動文、反復疑問文、年月日・曜日・時刻	
11	6/27	13:10-14:40		第11回 レストラン	選択疑問文、願望を表す助動詞“想”、意志を表す助動詞“要”、省略疑問文、量詞	小テスト

12	7/4	13:10-14:40		第12回 買い物	形容詞述語文、比較、助動詞 “能”、“可以”、100以上の数字	
13	7/11	13:10-14:40		第13回 道案内	時点と時量、前置詞“从・到・离”、 結果補語、方位詞②	小テスト
14	7/18	13:10-14:40		第14回 趣味に関する 雑談	助動詞“会”、動作の完了を表すア スペクト“了”、様態補語、二重目 的語をとる動詞	
15	7/25	13:10-14:40		第15回 まとめ	前期の復習	

授業方法

講義と演習による。

毎回授業終了時に、各自が新しく学んだことや疑問に思ったことをリアクションペーパーに書いて提出し、フィードバックする。

授業内容

- 第1回 中国語ガイダンス
- 第2回 声調・軽声・単母音
- 第3回 複母音
- 第4回 子音①、子音②
- 第5回 鼻母音
- 第6回 単語を増やそう
- 第7回 自己紹介①
- 第8回 自己紹介②
- 第9回 自己紹介③
- 第10回 お誘い
- 第11回 レストラン
- 第12回 買い物
- 第13回 道案内
- 第14回 趣味に関する雑談
- 第15回 まとめ、復習

成績評価の方法

評価：期末試験60%・小テスト等30%・その他(平常点)10%

再評価:有 (再評価方法「中国語」としての学年末再試験を実施する)

※通年4単位の中国語の成績(100点満点)は、前期「中国語 a」(25点)、「中国語 b」(25点)後期「中国語 c」(25点)、「中国語 d」(25点)の合計得点とする。

※「中国語a・b」を総合しての再考査は、9月に実施予定である。最後の可否判定の際、本試験の点数を再考査の点数に置き換えて判断するが、最終評価で本試験の点数に置き換えた評価はしない(例:再考査に置き換えると65で合格だが、本試験の点数で計算して55の時は、最終評価は60)。

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習等についての具体的な指示

新出単語の意味を事前に辞書で調べて来ること。

授業で習った文法項目をしっかりと復習し、新出単語とピンインを暗記する。

習熟度を確認するため小テストを頻繁に行う。テスト範囲は多くの場合授業内で事前に指示する。

中国語の発音練習を実践すること。耳と口の訓練は必要なので、繰り返して声を出して会話をする。

試験の受験資格

1. 定期試験受験資格

- ・a/b, c, d 各考査毎に受験資格を決定する。
- ・原則としてそれぞれ、試験を除く授業回数の3分の2以上出席。
(a/bの受験資格はaとb合わせての出席率で決定する。)

2. 再考査・再試験受験資格

- ・前期 a/b については再考査を行う。受験資格は定期試験を受験していること。
- ・後期 c についてはcのみが基準点に満たない場合は再考査を行うことがある。
受験資格は定期試験を受験していること。
- ・後期 d については再考査は行わない。
- ・中国語全体の再試験受験資格は、原則として試験を除く総授業回数の 3 分の 2 以上出席

教科書

中国語でコミュニケーション／沈国威:朝日出版社, 2020

参考書

完全マスター中国語の文法／瀬戸口律子 著, 語研, 2015

中日辞典／北京・商務印書館, 小学館共同編集,商務印書館,小学館,:小学館, 2016

ベーシッククラウン中日・日中辞典 = The Basic Crown Dictionary of Chinese／千葉謙悟, 熊進 監修,三省堂編修所 編,千葉 謙悟,熊進,三省堂,:三省堂, 2019

辞書について初回の授業中、紹介します。

履修上の注意事項

期末考査・再考査・再試験の受験資格：原則3分の2以上出席

時間割番号	000934																																																																															
科目名	中国語 b	科目ID																																																																														
担当教員	関 佳祺																																																																															
開講時期	2022 年度前期	対象年次	1																																																																													
実務経験のある教員による授業																																																																																
<p>曜日・時間:水曜 2 限</p> <p>対象学科: 保健衛生学科(看護・検査)・口腔保健学科(口腔衛生・口腔工学)</p> <p>科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):</p> <p>別表 1-1)言語を通じた人間の創造的営みを理解する</p> <p>別表 1-4)異なる空間の文化を理解する</p> <p>別表 3-1)国際的に活躍するための語学力を養う</p> <p>別表 3-4)外国文化を理解する</p>																																																																																
<p>主な講義場所</p> <p>別表の通り</p>																																																																																
<p>授業の目的、概要等</p> <p>中国語初習の学生に対して、基本的な構文を中心とした現代中国語の文法知識を学びながら、中国語の基礎作りをすることにあります。前半は発音を中心とする授業を予定しています。発音段階が終われば、文章で中国語の構造に慣れながら、理解の基礎となる文法知識を増やしていきます。</p>																																																																																
<p>授業の到達目標</p> <p>1)中国語の発音をマスターする。</p> <p>2)中国語の基礎的な文法構造を理解したうえ、基本的な文章の意味がわかるようになる。</p>																																																																																
<p>授業計画</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>講義室</th> <th>授業題目</th> <th>授業内容</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>4/13</td> <td>10:20-11:50</td> <td>遠隔授業 (同期型)</td> <td>第1回 イントロダクション、発音①</td> <td>中国語ガイダンス</td> <td>発音練習</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>4/20</td> <td>10:20-11:50</td> <td>遠隔授業 (同期型)</td> <td>第2回 発音②</td> <td>声調・軽声・単母音</td> <td>発音練習</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>4/27</td> <td>10:20-11:50</td> <td>遠隔授業 (同期型)</td> <td>第3回 発音③</td> <td>複母音</td> <td>発音練習、小テスト</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>5/11</td> <td>10:20-11:50</td> <td>遠隔授業 (同期型)</td> <td>第4回 発音④</td> <td>子音①、子音②</td> <td>発音練習</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>5/18</td> <td>10:20-11:50</td> <td>遠隔授業 (同期型)</td> <td>第5回 発音⑤</td> <td>鼻母音</td> <td>発音練習</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>5/25</td> <td>10:20-11:50</td> <td>遠隔授業 (同期型)</td> <td>第6回 発音⑥</td> <td>単語を増やそう</td> <td>発音練習、小テスト</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>6/1</td> <td>10:20-11:50</td> <td>遠隔授業 (同期型)</td> <td>第7回 自己紹介①</td> <td>人称代名詞、名前の聞き方・名乗り方、動詞“是”、副詞“也・都”動詞“是”、副詞“也・都”</td> <td></td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>6/8</td> <td>10:20-11:50</td> <td>遠隔授業 (同期型)</td> <td>第8回 自己紹介②</td> <td>動詞述語文、指示代名詞、場所代名詞、疑問詞疑問文、連帯修飾語を作る“的”</td> <td>小テスト、自己紹介発表①</td> </tr> <tr> <td>9</td> <td>6/15</td> <td>10:20-11:50</td> <td>遠隔授業 (同期型)</td> <td>第9回 自己紹介③</td> <td>所在を表す動詞“在”、所有と存在を表す動詞“有”、方位詞①、名詞述語文、文末助詞“了”</td> <td>自己紹介発表②</td> </tr> <tr> <td>10</td> <td>6/22</td> <td>10:20-11:50</td> <td>遠隔授業 (同期型)</td> <td>第10回 お誘い</td> <td>前置詞“在”、連動文、反復疑問文、年月日・曜日・時刻</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>				回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	備考	1	4/13	10:20-11:50	遠隔授業 (同期型)	第1回 イントロダクション、発音①	中国語ガイダンス	発音練習	2	4/20	10:20-11:50	遠隔授業 (同期型)	第2回 発音②	声調・軽声・単母音	発音練習	3	4/27	10:20-11:50	遠隔授業 (同期型)	第3回 発音③	複母音	発音練習、小テスト	4	5/11	10:20-11:50	遠隔授業 (同期型)	第4回 発音④	子音①、子音②	発音練習	5	5/18	10:20-11:50	遠隔授業 (同期型)	第5回 発音⑤	鼻母音	発音練習	6	5/25	10:20-11:50	遠隔授業 (同期型)	第6回 発音⑥	単語を増やそう	発音練習、小テスト	7	6/1	10:20-11:50	遠隔授業 (同期型)	第7回 自己紹介①	人称代名詞、名前の聞き方・名乗り方、動詞“是”、副詞“也・都”動詞“是”、副詞“也・都”		8	6/8	10:20-11:50	遠隔授業 (同期型)	第8回 自己紹介②	動詞述語文、指示代名詞、場所代名詞、疑問詞疑問文、連帯修飾語を作る“的”	小テスト、自己紹介発表①	9	6/15	10:20-11:50	遠隔授業 (同期型)	第9回 自己紹介③	所在を表す動詞“在”、所有と存在を表す動詞“有”、方位詞①、名詞述語文、文末助詞“了”	自己紹介発表②	10	6/22	10:20-11:50	遠隔授業 (同期型)	第10回 お誘い	前置詞“在”、連動文、反復疑問文、年月日・曜日・時刻	
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	備考																																																																										
1	4/13	10:20-11:50	遠隔授業 (同期型)	第1回 イントロダクション、発音①	中国語ガイダンス	発音練習																																																																										
2	4/20	10:20-11:50	遠隔授業 (同期型)	第2回 発音②	声調・軽声・単母音	発音練習																																																																										
3	4/27	10:20-11:50	遠隔授業 (同期型)	第3回 発音③	複母音	発音練習、小テスト																																																																										
4	5/11	10:20-11:50	遠隔授業 (同期型)	第4回 発音④	子音①、子音②	発音練習																																																																										
5	5/18	10:20-11:50	遠隔授業 (同期型)	第5回 発音⑤	鼻母音	発音練習																																																																										
6	5/25	10:20-11:50	遠隔授業 (同期型)	第6回 発音⑥	単語を増やそう	発音練習、小テスト																																																																										
7	6/1	10:20-11:50	遠隔授業 (同期型)	第7回 自己紹介①	人称代名詞、名前の聞き方・名乗り方、動詞“是”、副詞“也・都”動詞“是”、副詞“也・都”																																																																											
8	6/8	10:20-11:50	遠隔授業 (同期型)	第8回 自己紹介②	動詞述語文、指示代名詞、場所代名詞、疑問詞疑問文、連帯修飾語を作る“的”	小テスト、自己紹介発表①																																																																										
9	6/15	10:20-11:50	遠隔授業 (同期型)	第9回 自己紹介③	所在を表す動詞“在”、所有と存在を表す動詞“有”、方位詞①、名詞述語文、文末助詞“了”	自己紹介発表②																																																																										
10	6/22	10:20-11:50	遠隔授業 (同期型)	第10回 お誘い	前置詞“在”、連動文、反復疑問文、年月日・曜日・時刻																																																																											

11	6/29	10:20-11:50	遠隔授業 (同期型)	第 11 回 レストラン	選択疑問文、願望を表す助動詞 “想”、意志を表す助動詞“要”、省略疑問文、量詞	小テスト
12	7/6	10:20-11:50	遠隔授業 (同期型)	第 12 回 買い物	形容詞述語文、比較、助動詞 “能”、“可以”、100 以上の数字	
13	7/13	10:20-11:50	遠隔授業 (同期型)	第 13 回 道案内	時点と時量、前置詞“从・到・离”、 結果補語、方位詞②	小テスト
14	7/20	10:20-11:50	遠隔授業 (同期型)	第 14 回 趣味に関する 雑談	助動詞“会”、動作の完了を表すア スペクト“了”、様態補語、二重目 的語をとる動詞	
15	7/27	10:20-11:50	遠隔授業 (同期型)	第 15 回 まとめ	前期の復習	

授業方法

講義と演習による。

毎回授業終了時に、各自が新しく学んだことや疑問に思ったことをリアクションペーパーに書いて提出し、フィードバックする。

授業内容

- 第 1 回 中国語ガイダンス
- 第 2 回 声調・轻声・単母音
- 第 3 回 複母音
- 第 4 回 子音①、子音②
- 第 5 回 鼻母音
- 第 6 回 単語を増やそう
- 第 7 回 自己紹介①
- 第 8 回 自己紹介②
- 第 9 回 自己紹介③
- 第 10 回 お誘い
- 第 11 回 レストラン
- 第 12 回 買い物
- 第 13 回 道案内
- 第 14 回 趣味に関する雑談
- 第 15 回 まとめ、復習

成績評価の方法

評価：期末試験 60%・小テスト等 30%・その他(平常点)10%

再評価：有（再評価方法「中国語」としての学年末再試験を実施する）

※通年 4 単位の中国語の成績(100 点満点)は、前期「中国語 a」(25 点)、「中国語 b」(25 点)後期「中国語 c」(25 点)、「中国語 d」(25 点)の合計得点とする。

※「中国語 a・b」を総合しての再考査は、9月に実施予定である。最後の可否判定の際、本試験の点数を再考査の点数に置き換えて判断するが、最終評価で本試験の点数に置き換えた評価はしない(例:再考査に置き換えると 65 で合格だが、本試験の点数で計算して 55 の時は、最終評価は 60)。

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習等についての具体的な指示

新出単語の意味を事前に辞書で調べて来ること。

授業で習った文法項目をしっかりと復習し、新出単語とピンインを暗記する。

習熟度を確認するため小テストを頻繁に行う。テスト範囲は多くの場合授業内で事前に指示する。

中国語の発音練習を実践すること。耳と口の訓練は必要なので、繰り返して声を出して会話をする。

試験の受験資格

1. 定期試験受験資格

<ul style="list-style-type: none"> ・a/b, c, d 各考查毎に受験資格を決定する。 ・原則としてそれぞれ、試験を除く授業回数の3分の2以上出席。 (a/b の受験資格は a と b 合わせての出席率で決定する。) <p>2. 再考査・再試験受験資格</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前期 a/b については再考査を行う。受験資格は定期試験を受験していること。 ・後期 c についてはcのみが基準点に満たない場合は再考査を行うことがある。 受験資格は定期試験を受験していること。 ・後期 d については再考査は行わない。 ・中国語全体の再試験受験資格は、原則として試験を除く総授業回数の 3 分の 2 以上出席
<p>教科書</p> <p>中国語でコミュニケーション／沈国威:朝日出版社, 2020</p>
<p>参考書</p> <p>完全マスター中国語の文法／瀬戸口律子 著, :語研, 2015</p> <p>中日辞典／北京・商務印書館, 小学館共同編集,商務印書館,小学館,:小学館, 2016</p> <p>ベーシッククラウン中日・日中辞典 = The Basic Crown Dictionary of Chinese／千葉謙悟, 熊進 監修,三省堂編修所 編,千葉, 謙悟,熊進,三省堂,:三省堂, 2019</p> <p>辞書について初回の授業中、紹介します。</p>
<p>履修上の注意事項</p> <p>期末考査・再考査・再試験の受験資格 : 原則3分の2以上出席</p>

時間割番号	000935																																																																																																																		
科目名	中国語 c	科目ID																																																																																																																	
担当教員	関 佳祺																																																																																																																		
開講時期	2022 年度後期	対象年次	1																																																																																																																
実務経験のある教員による授業																																																																																																																			
<p>曜日・時間: 月曜 3 限</p> <p>対象学科: 保健衛生学科・口腔保健学科</p> <p>科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):</p> <p>別表 1-1)言語を通した人間の創造的営みを理解する</p> <p>別表 1-4)異なる空間の文化を理解する</p> <p>別表 3-1)国際的に活躍するための語学力を養う</p> <p>別表 3-4)外国文化を理解する</p>																																																																																																																			
<p>主な講義場所</p> <p>別表の通り</p>																																																																																																																			
<p>授業の目的、概要等</p> <p>中国語を半年勉強した学生に対して、発音基礎を固めながら、文法知識を増やしつつ、読解力を付けていこう授業を進めます。単語、文型などを正確に理解する能力を養うことに主眼を置きます。</p> <p>前半は発音の復習を行いながら授業を予定しています。後半は前期に引き続き、新出単語、新しい文法の学習を中心に進めていきます。</p>																																																																																																																			
<p>授業の到達目標</p> <p>1) 中国語の発音をマスターする。</p> <p>2) 中国語の基礎的な文法構造を理解したうえ、基本的な文章の意味がわかるようになる。</p>																																																																																																																			
<p>授業計画</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>講義室</th> <th>授業題目</th> <th>授業内容</th> <th>担当教員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>10/3</td> <td>13:10-14:40</td> <td></td> <td>第1回:発音の復習</td> <td>ピンインの復習、前期のおさらい</td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>10/10</td> <td>13:10-14:40</td> <td></td> <td>第2回:旅行の計画①</td> <td>①進行を表す“在～” ②アスペクト助詞“过”</td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>10/17</td> <td>13:10-14:40</td> <td></td> <td>第3回:旅行の計画②</td> <td>③主述述語文 ②前置詞“对、给、跟”</td> <td></td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>10/24</td> <td>13:10-14:40</td> <td></td> <td>第4回:病院①</td> <td>①“(是)～V的”構文 ②可能性を表す“会”</td> <td></td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>10/31</td> <td>13:10-14:40</td> <td></td> <td>第5回:病院②</td> <td>二つの「少し」、一点儿と有点儿</td> <td></td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>11/7</td> <td>13:10-14:40</td> <td></td> <td>第6回:トラブル①</td> <td>①“把”構文 ②助動詞“得”</td> <td></td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>11/14</td> <td>13:10-14:40</td> <td></td> <td>第7回:トラブル②</td> <td>受身文</td> <td></td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>11/21</td> <td>13:10-14:40</td> <td></td> <td>第8回:ホテル①</td> <td>方向補語、可能補語</td> <td></td> </tr> <tr> <td>9</td> <td>11/28</td> <td>13:10-14:40</td> <td></td> <td>第9回:ホテル②</td> <td>使役文</td> <td></td> </tr> <tr> <td>10</td> <td>12/5</td> <td>13:10-14:40</td> <td></td> <td>第10回:約束する①</td> <td>①複文②“有”を用いた連動文</td> <td></td> </tr> <tr> <td>11</td> <td>12/12</td> <td>13:10-14:40</td> <td></td> <td>第11回:約束する②</td> <td>禁止を表す副詞“别”</td> <td></td> </tr> <tr> <td>12</td> <td>12/19</td> <td>13:10-14:40</td> <td></td> <td>第12回:掲示板を見る①</td> <td>①アスペクト助詞“着” ②存現文</td> <td></td> </tr> <tr> <td>13</td> <td>1/16</td> <td>13:10-14:40</td> <td></td> <td>第13回:掲示板を見る②</td> <td>近接未来“快～了”</td> <td></td> </tr> <tr> <td>14</td> <td>1/23</td> <td>13:10-14:40</td> <td></td> <td>第14回:復習</td> <td>全体の文法のおさらい</td> <td></td> </tr> <tr> <td>15</td> <td>1/30</td> <td>13:10-14:40</td> <td></td> <td>第15回:まとめ</td> <td>中国語cのまとめ</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>				回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	1	10/3	13:10-14:40		第1回:発音の復習	ピンインの復習、前期のおさらい		2	10/10	13:10-14:40		第2回:旅行の計画①	①進行を表す“在～” ②アスペクト助詞“过”		3	10/17	13:10-14:40		第3回:旅行の計画②	③主述述語文 ②前置詞“对、给、跟”		4	10/24	13:10-14:40		第4回:病院①	①“(是)～V的”構文 ②可能性を表す“会”		5	10/31	13:10-14:40		第5回:病院②	二つの「少し」、一点儿と有点儿		6	11/7	13:10-14:40		第6回:トラブル①	①“把”構文 ②助動詞“得”		7	11/14	13:10-14:40		第7回:トラブル②	受身文		8	11/21	13:10-14:40		第8回:ホテル①	方向補語、可能補語		9	11/28	13:10-14:40		第9回:ホテル②	使役文		10	12/5	13:10-14:40		第10回:約束する①	①複文②“有”を用いた連動文		11	12/12	13:10-14:40		第11回:約束する②	禁止を表す副詞“别”		12	12/19	13:10-14:40		第12回:掲示板を見る①	①アスペクト助詞“着” ②存現文		13	1/16	13:10-14:40		第13回:掲示板を見る②	近接未来“快～了”		14	1/23	13:10-14:40		第14回:復習	全体の文法のおさらい		15	1/30	13:10-14:40		第15回:まとめ	中国語cのまとめ	
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員																																																																																																													
1	10/3	13:10-14:40		第1回:発音の復習	ピンインの復習、前期のおさらい																																																																																																														
2	10/10	13:10-14:40		第2回:旅行の計画①	①進行を表す“在～” ②アスペクト助詞“过”																																																																																																														
3	10/17	13:10-14:40		第3回:旅行の計画②	③主述述語文 ②前置詞“对、给、跟”																																																																																																														
4	10/24	13:10-14:40		第4回:病院①	①“(是)～V的”構文 ②可能性を表す“会”																																																																																																														
5	10/31	13:10-14:40		第5回:病院②	二つの「少し」、一点儿と有点儿																																																																																																														
6	11/7	13:10-14:40		第6回:トラブル①	①“把”構文 ②助動詞“得”																																																																																																														
7	11/14	13:10-14:40		第7回:トラブル②	受身文																																																																																																														
8	11/21	13:10-14:40		第8回:ホテル①	方向補語、可能補語																																																																																																														
9	11/28	13:10-14:40		第9回:ホテル②	使役文																																																																																																														
10	12/5	13:10-14:40		第10回:約束する①	①複文②“有”を用いた連動文																																																																																																														
11	12/12	13:10-14:40		第11回:約束する②	禁止を表す副詞“别”																																																																																																														
12	12/19	13:10-14:40		第12回:掲示板を見る①	①アスペクト助詞“着” ②存現文																																																																																																														
13	1/16	13:10-14:40		第13回:掲示板を見る②	近接未来“快～了”																																																																																																														
14	1/23	13:10-14:40		第14回:復習	全体の文法のおさらい																																																																																																														
15	1/30	13:10-14:40		第15回:まとめ	中国語cのまとめ																																																																																																														

<p>授業方法</p> <p>受講生が教員について文法の練習や会話などを行い、学生同士で会話の練習も行う。毎回授業終了時に、各自が新しく学んだことや疑問に思ったことをリアクションペーパーに書いて提出し、フィードバックする。</p>
<p>授業内容</p> <p>会話を教材にして、中国語の発音の基礎を学び、同時に基本的な文法事項も学習する。その後、口頭表現を中心に簡単な日常会話を練習する。読む、聞く、書く、話すなど総合的な中国語の力をつける訓練を行う。</p> <p>第1回:発音の復習</p> <p>第2回:旅行の計画①</p> <p>第3回:旅行の計画②</p> <p>第4回:病院①</p> <p>第5回:病院②</p> <p>第6回:トラブル①</p> <p>第7回:トラブル②</p> <p>第8回:ホテル①</p> <p>第9回:ホテル②</p> <p>第10回:約束する①</p> <p>第11回:約束する②</p> <p>第12回:掲示板を見る①</p> <p>第13回:掲示板を見る②</p> <p>第14回:復習</p> <p>第15回:まとめ</p>
<p>成績評価の方法</p> <p>評価:期末試験 60%・小テスト等 30%・その他(平常点)10%</p> <p>再評価:有 (再評価方法「中国語」としての学年末再試験を実施する)</p> <p>※通年4単位の中国語の成績(100点満点)は、前期「中国語 a」(25点)、「中国語 b」(25点)後期「中国語 c」(25点)、「中国語 d」(25点)の合計得点とする。</p> <p>※「中国語 a・b」を総合しての再考査は、9月に実施予定である。最後の合否判定の際、本試験の点数を再考査の点数に置き換えて判断するが、最終評価で本試験の点数に置き換えた評価はしない(例:再考査に置き換えると65で合格だが、本試験の点数で計算して55の時は、最終評価は60)。</p>
<p>成績評価の基準</p> <p>「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による。</p>
<p>準備学習等についての具体的な指示</p> <p>復習、予習すること。教科書を読み直す、あらかじめ読んでおく、という日々の訓練が必要である。受講に際し、中国語の発音を練習するには、声を出すこと。積極的に授業に参加すること。新出単語の意味を事前に辞書で調べて来ること。習熟度を確認するため小テストを頻繁に行う。</p>
<p>試験の受験資格</p> <p>1. 定期試験受験資格</p> <ul style="list-style-type: none"> ・a/b, c, d 各考査毎に受験資格を決定する。 ・原則としてそれぞれ、試験を除く授業回数の3分の2以上出席。 (a/bの受験資格はaとb合わせての出席率で決定する。) <p>2. 再考査・再試験受験資格</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前期 a/b については再考査を行う。受験資格は定期試験を受験していること。 ・後期 c についてはcのみが基準点に満たない場合は再考査を行うことがある。 受験資格は定期試験を受験していること。 ・後期 d については再考査は行わない。 ・中国語全体の再試験受験資格は、原則として試験を除く総授業回数の3分の2以上出席
<p>教科書</p>

中国語でコミュニケーション／沈国威:朝日出版社, 2020

参考書

完全マスター中国語の文法／瀬戸口律子著,瀬戸口, 律子,:語研, 2015

中日辞典／北京・商務印書館, 小学館共同編集,商務印書館,小学館,:小学館, 2016

ベーシッククラウン中日・日中辞典 = The Basic Crown Dictionary of Chinese／千葉謙悟, 熊進 監修,三省堂編修所 編,千葉, 謙悟,熊進,三省堂,:三省堂, 2019

辞書について初回の授業中、紹介します。

他科目との関連

成績は中国語 a/b, c/d をまとめて4単位として評価します。

履修上の注意事項

期末考査・再考査・再試験の受験資格：原則3分の2以上出席

時間割番号	000936																																																																																																																		
科目名	中国語 d	科目ID																																																																																																																	
担当教員	関 佳祺																																																																																																																		
開講時期	2022 年度後期	対象年次	1																																																																																																																
実務経験のある教員による授業																																																																																																																			
<p>曜日・時間:水曜2限 対象学科:保健衛生学科・口腔保健学科 科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 別表 1-1)言語を通じた人間の創造的営みを理解する 別表 1-4)異なる空間の文化を理解する 別表 3-1)国際的に活躍するための語学力を養う 別表 3-4)外国文化を理解する</p>																																																																																																																			
主な講義場所 別表の通り																																																																																																																			
授業の目的、概要等 過去1年間中国の様々な出来事をテーマごとに分けて紹介し、中国語の文章を読むことで、読解力の向上を目指すとともに、現代中国社会への理解を深め、中国を主とする地域文化演習をすることを目的とします。																																																																																																																			
授業の到達目標 ①辞書を使い、短い中国語の文章が読めるようになること。 ②授業を通じて中国情報を収集するための基礎的な技術を獲得すること。 ③中国の文化や社会について理解を深める。																																																																																																																			
授業計画 <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>講義室</th> <th>授業題目</th> <th>授業内容</th> <th>担当教員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>10/5</td> <td>10:20-11:50</td> <td></td> <td>第1回</td> <td>ガイダンス、授業方法説明 中国生育政策之变迁①</td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>10/19</td> <td>10:20-11:50</td> <td></td> <td>第2回</td> <td>中国生育政策之变迁②</td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>10/26</td> <td>10:20-11:50</td> <td></td> <td>第3回</td> <td>中国生育政策之变迁③</td> <td></td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>11/2</td> <td>10:20-11:50</td> <td></td> <td>第4回</td> <td>医院营养餐为什么不受欢迎①</td> <td></td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>11/9</td> <td>10:20-11:50</td> <td></td> <td>第5回</td> <td>医院营养餐为什么不受欢迎②</td> <td></td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>11/16</td> <td>10:20-11:50</td> <td></td> <td>第6回</td> <td>医院营养餐为什么不受欢迎③</td> <td></td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>11/30</td> <td>10:20-11:50</td> <td></td> <td>第7回</td> <td>帮老人融入智能时代①</td> <td></td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>12/7</td> <td>10:20-11:50</td> <td></td> <td>第8回</td> <td>帮老人融入智能时代②</td> <td></td> </tr> <tr> <td>9</td> <td>12/14</td> <td>10:20-11:50</td> <td></td> <td>第9回</td> <td>帮老人融入智能时代③</td> <td></td> </tr> <tr> <td>10</td> <td>12/21</td> <td>10:20-11:50</td> <td></td> <td>第10回</td> <td>90 后的新消费生活①</td> <td></td> </tr> <tr> <td>11</td> <td>1/4</td> <td>10:20-11:50</td> <td></td> <td>第11回</td> <td>90 后的新消费生活②</td> <td></td> </tr> <tr> <td>12</td> <td>1/11</td> <td>10:20-11:50</td> <td></td> <td>第12回</td> <td>90 后的新消费生活③</td> <td></td> </tr> <tr> <td>13</td> <td>1/18</td> <td>10:20-11:50</td> <td></td> <td>第13回</td> <td>宠物在今天的中国①</td> <td></td> </tr> <tr> <td>14</td> <td>1/25</td> <td>10:20-11:50</td> <td></td> <td>第14回</td> <td>宠物在今天的中国②</td> <td></td> </tr> <tr> <td>15</td> <td>2/1</td> <td>10:20-11:50</td> <td></td> <td>第15回</td> <td>まとめ</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>				回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	1	10/5	10:20-11:50		第1回	ガイダンス、授業方法説明 中国生育政策之变迁①		2	10/19	10:20-11:50		第2回	中国生育政策之变迁②		3	10/26	10:20-11:50		第3回	中国生育政策之变迁③		4	11/2	10:20-11:50		第4回	医院营养餐为什么不受欢迎①		5	11/9	10:20-11:50		第5回	医院营养餐为什么不受欢迎②		6	11/16	10:20-11:50		第6回	医院营养餐为什么不受欢迎③		7	11/30	10:20-11:50		第7回	帮老人融入智能时代①		8	12/7	10:20-11:50		第8回	帮老人融入智能时代②		9	12/14	10:20-11:50		第9回	帮老人融入智能时代③		10	12/21	10:20-11:50		第10回	90 后的新消费生活①		11	1/4	10:20-11:50		第11回	90 后的新消费生活②		12	1/11	10:20-11:50		第12回	90 后的新消费生活③		13	1/18	10:20-11:50		第13回	宠物在今天的中国①		14	1/25	10:20-11:50		第14回	宠物在今天的中国②		15	2/1	10:20-11:50		第15回	まとめ	
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員																																																																																																													
1	10/5	10:20-11:50		第1回	ガイダンス、授業方法説明 中国生育政策之变迁①																																																																																																														
2	10/19	10:20-11:50		第2回	中国生育政策之变迁②																																																																																																														
3	10/26	10:20-11:50		第3回	中国生育政策之变迁③																																																																																																														
4	11/2	10:20-11:50		第4回	医院营养餐为什么不受欢迎①																																																																																																														
5	11/9	10:20-11:50		第5回	医院营养餐为什么不受欢迎②																																																																																																														
6	11/16	10:20-11:50		第6回	医院营养餐为什么不受欢迎③																																																																																																														
7	11/30	10:20-11:50		第7回	帮老人融入智能时代①																																																																																																														
8	12/7	10:20-11:50		第8回	帮老人融入智能时代②																																																																																																														
9	12/14	10:20-11:50		第9回	帮老人融入智能时代③																																																																																																														
10	12/21	10:20-11:50		第10回	90 后的新消费生活①																																																																																																														
11	1/4	10:20-11:50		第11回	90 后的新消费生活②																																																																																																														
12	1/11	10:20-11:50		第12回	90 后的新消费生活③																																																																																																														
13	1/18	10:20-11:50		第13回	宠物在今天的中国①																																																																																																														
14	1/25	10:20-11:50		第14回	宠物在今天的中国②																																																																																																														
15	2/1	10:20-11:50		第15回	まとめ																																																																																																														
授業方法 中国語通年4単位の一部ですが、「中国語c」とは別の教科書を使った授業になります。時事問題に関する文章を題材とする教科書を用い、地域文化演習、読解、新出文法事項の学習、内容に関する教員からの解説・学生との討論を行います。授業の一環として、レポート課題、グループ討論および個人発表があります。																																																																																																																			
授業内容 過去1年間中国の様々な出来事をテーマごとに分けて紹介し、激動する中国の今を最新の内容と共に学びます。多様な中国語原文																																																																																																																			

<p>を、より多く読む訓練を実施します。発音練習をかねて本文を読みながら、現代中国社会に対する解説を行います。1～2回で教科書の一つのテーマを扱う予定ですが、順序やテーマ等は受講者の学力・興味によって変更する可能性があります。</p> <p>1～3回目：中国生育政策之变迁</p> <p>4～6回目：医院营养餐为什么不受欢迎</p> <p>7～9回目：帮老人融入智能时代</p> <p>10～12回目：90后的新消费生活</p> <p>13～14回目：宠物在今天的中国</p> <p>15回目：中国語 d まとめ</p>
<p>成績評価の方法</p> <p>評価：期末試験 60%・その他(授業中の課題提出) 40%</p> <p>再評価：有(再評価方法「中国語」としての学年末再試験を実施し、上記通年評価と合算して評価する)</p> <p>※上記は前期「中国語 d」の配点。 ※通年 4 単位の中国語の成績(100 点満点)は、前期「中国語 a+b」(50 点)、後期「中国語 c」(25 点)、「中国語 d」(25 点)の配点で評価する。 ※「中国語 d」についての再考査は実施しません。「中国語」としての総合的な再試験を実施します。</p>
<p>成績評価の基準</p> <p>「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による。</p>
<p>準備学習等についての具体的な指示</p> <p>知らない単語の意味は事前に辞書で調べて来ること。授業にも辞書を持参することが望ましい。 教科書付属のドリルを各自活用すること。</p>
<p>試験の受験資格</p> <p>期末考査・再考査・再試験の受験資格：原則としてそれぞれ、試験を除く授業回数の3分の2以上の出席 ※期末考査・再考査の受験資格は、前期が中国語 a・b を、後期は中国語 c・d を合算した出席率で決定する。 ※再試験の受験資格は、中国語 a・b・c・d を合算した出席率で決定する。前期「中国語 a+b」、後期「中国語 c」「中国語 d」いずれかの期末考査を受験しなかった者には、再試験の受験資格を与えない。</p>
<p>教科書</p> <p>双循环／三猪正道，陳祖蓓，古屋順子著，三猪，正道，陳，祖蓓，古屋，順子，：朝日出版社，2122</p>
<p>参考書</p> <p>Why?にこたえるはじめての中国語の文法書／相原茂ほか：同学社，1996 やさしくわしい中国語文法の基礎／守屋宏則：東方書店，1995 完全マスター中国語の文法／瀬戸口律子 著，：語研，2015 はじめて学ぶ中国語文法／永井鉄郎著，永井，鉄郎，：金星堂，2014 次の2つ辞書のうちどちらかを用意することを勧めます。電子辞書を購入する場合も、このいずれかを収録したものが良いでしょう。 ・小学館『中日辞典』 ・講談社『中日辞典』</p>
<p>他科目との関連</p> <p>成績は中国語 a/b, c/d をまとめて4単位として評価します。</p>
<p>履修上の注意事項</p> <p>出欠は、出欠管理システムの記録と教員が取る出欠を併用して管理します。</p>

時間割番号	000228				
科目名	スペイン語	科目ID	LA-115700-Z		
担当教員					
開講時期	2022 年度通年	対象年次	1	単位数	4
実務経験のある教員による授業					
準備学習等についての具体的な指示					

時間割番号	000229																																																																																		
科目名	スペイン語 a	科目ID	LA-115701-Z																																																																																
担当教員	永田 夕紀子[NAGATA Yukiko]																																																																																		
開講時期	2022 年度前期	対象年次	1																																																																																
実務経験のある教員による授業																																																																																			
曜日・時間: 月曜 4 限 対象学科: 医学科・歯学科 科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 3-1, 3-4																																																																																			
授業の目的、概要等 スペイン語を一から身につけていきます。スペイン語は日本語に慣れ親しんだ人にとっては非常に馴染みやすい言語です。言語を学びながらも、スペイン語圏であるスペインやラテンアメリカの文化、社会についても少しずつ理解を深めていきましょう。																																																																																			
授業の到達目標 1. スペイン語の基礎的な単語や表現の意味、綴り、発音を身につける。 2. スペイン語文法の基本構造を理解し、簡単な文章の読み書きと会話ができるようになる。 3. スペインおよび中南米の国々についての知識を身につける。																																																																																			
授業計画 <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>講義室</th> <th>担当教員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td>4/18</td><td>14:50-16:20</td><td></td><td>永田 夕紀子, BAO MIN</td></tr> <tr><td>2</td><td>4/25</td><td>14:50-16:20</td><td></td><td>永田 夕紀子, BAO MIN</td></tr> <tr><td>3</td><td>5/2</td><td>14:50-16:20</td><td></td><td>永田 夕紀子, BAO MIN</td></tr> <tr><td>4</td><td>5/9</td><td>14:50-16:20</td><td></td><td>永田 夕紀子, BAO MIN</td></tr> <tr><td>5</td><td>5/16</td><td>14:50-16:20</td><td></td><td>永田 夕紀子, BAO MIN</td></tr> <tr><td>6</td><td>5/23</td><td>14:50-16:20</td><td></td><td>永田 夕紀子, BAO MIN</td></tr> <tr><td>7</td><td>5/30</td><td>14:50-16:20</td><td></td><td>永田 夕紀子, BAO MIN</td></tr> <tr><td>8</td><td>6/6</td><td>14:50-16:20</td><td></td><td>永田 夕紀子, BAO MIN</td></tr> <tr><td>9</td><td>6/13</td><td>14:50-16:20</td><td></td><td>永田 夕紀子, BAO MIN</td></tr> <tr><td>10</td><td>6/20</td><td>14:50-16:20</td><td></td><td>永田 夕紀子, BAO MIN</td></tr> <tr><td>11</td><td>6/27</td><td>14:50-16:20</td><td></td><td>永田 夕紀子, BAO MIN</td></tr> <tr><td>12</td><td>7/4</td><td>14:50-16:20</td><td></td><td>永田 夕紀子, BAO MIN</td></tr> <tr><td>13</td><td>7/11</td><td>14:50-16:20</td><td></td><td>永田 夕紀子, BAO MIN</td></tr> <tr><td>14</td><td>7/18</td><td>14:50-16:20</td><td></td><td>永田 夕紀子, BAO MIN</td></tr> <tr><td>15</td><td>7/25</td><td>14:50-16:20</td><td></td><td>永田 夕紀子, BAO MIN</td></tr> </tbody> </table>				回	日付	時刻	講義室	担当教員	1	4/18	14:50-16:20		永田 夕紀子, BAO MIN	2	4/25	14:50-16:20		永田 夕紀子, BAO MIN	3	5/2	14:50-16:20		永田 夕紀子, BAO MIN	4	5/9	14:50-16:20		永田 夕紀子, BAO MIN	5	5/16	14:50-16:20		永田 夕紀子, BAO MIN	6	5/23	14:50-16:20		永田 夕紀子, BAO MIN	7	5/30	14:50-16:20		永田 夕紀子, BAO MIN	8	6/6	14:50-16:20		永田 夕紀子, BAO MIN	9	6/13	14:50-16:20		永田 夕紀子, BAO MIN	10	6/20	14:50-16:20		永田 夕紀子, BAO MIN	11	6/27	14:50-16:20		永田 夕紀子, BAO MIN	12	7/4	14:50-16:20		永田 夕紀子, BAO MIN	13	7/11	14:50-16:20		永田 夕紀子, BAO MIN	14	7/18	14:50-16:20		永田 夕紀子, BAO MIN	15	7/25	14:50-16:20		永田 夕紀子, BAO MIN
回	日付	時刻	講義室	担当教員																																																																															
1	4/18	14:50-16:20		永田 夕紀子, BAO MIN																																																																															
2	4/25	14:50-16:20		永田 夕紀子, BAO MIN																																																																															
3	5/2	14:50-16:20		永田 夕紀子, BAO MIN																																																																															
4	5/9	14:50-16:20		永田 夕紀子, BAO MIN																																																																															
5	5/16	14:50-16:20		永田 夕紀子, BAO MIN																																																																															
6	5/23	14:50-16:20		永田 夕紀子, BAO MIN																																																																															
7	5/30	14:50-16:20		永田 夕紀子, BAO MIN																																																																															
8	6/6	14:50-16:20		永田 夕紀子, BAO MIN																																																																															
9	6/13	14:50-16:20		永田 夕紀子, BAO MIN																																																																															
10	6/20	14:50-16:20		永田 夕紀子, BAO MIN																																																																															
11	6/27	14:50-16:20		永田 夕紀子, BAO MIN																																																																															
12	7/4	14:50-16:20		永田 夕紀子, BAO MIN																																																																															
13	7/11	14:50-16:20		永田 夕紀子, BAO MIN																																																																															
14	7/18	14:50-16:20		永田 夕紀子, BAO MIN																																																																															
15	7/25	14:50-16:20		永田 夕紀子, BAO MIN																																																																															
授業方法 ・月曜日の授業と、水曜日の「文化演習」以外の回では、文法事項を説明した後で、文法・会話の実践練習(グループワークを含む)を行います(月曜日が演習中心、水曜日が講義中心です)。加えて、授業の合間にスペイン語圏の文化に関する解説や映像資料・音楽等の紹介を行います。 ・水曜日の「文化演習」の回では、スペイン語圏の文化や社会に関するトピックを紹介し、それにもとづく意見交換や、関連資料の収集・読解の演習を行います。また、授業内課題としてグループ発表を行う予定です。																																																																																			
授業内容																																																																																			

1. オリエンテーション、アルファベット
2. 第2課 名詞・冠詞・形容詞ほか
3. 第2課 冠詞・形容詞・ser と estar ほか
4. 第2課 ser と estar・疑問文ほか
5. 第3課 ser と estar 作文練習・規則動詞現在形導入
6. 第3課規則動詞現在形の練習
7. 中間スピーキングテスト
8. 第3課 (1): 目的語・GUSTAR 型動詞
9. 第4課 (1): 目的語・GUSTAR 型動詞
10. 第4課 母音変化動詞・不規則動詞現在形ほか
11. 第4課 母音変化動詞・不規則動詞現在形ほか
12. 第5課 再帰動詞ほか
13. 第5課 再帰動詞ほか
14. 前期の復習
15. 期末スピーキングテスト

成績評価の方法

評価：試験 60% ・ レポート % ・ その他(授業参加・提出課題) 40%

再評価： 有(再評価方法:スペイン語 a・b・c・d 共通の学年末再試験)

・スペイン語は、a・b・c・d の総合点により、学年末にまとめて成績評価を行います(4単位)。

・テストは前期・後期ともに行います。a・c では中間・期末の2回ずつスピーキング試験を、b・d では期末に筆記テストを実施する予定です。

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習等についての具体的な指示

授業中に適宜指示しますが、基本的には授業中の課題や復習を通じて学習を進めます。

教科書

『Brújula スペイン語学習の羅針盤』 東京大学教養学部スペイン語部会 編・朝日出版社・2020年

時間割番号	000230																																																																																		
科目名	スペイン語 b	科目ID	LA-115702-Z																																																																																
担当教員	佐々木 充文[SASAKI Mitsuya]																																																																																		
開講時期	2022 年度前期	対象年次	1																																																																																
実務経験のある教員による授業																																																																																			
<p>曜日・時間:水曜1限 対象学科:医学科・歯学科 科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):1-1, 1-4, 3-1, 3-4, 3-5</p>																																																																																			
<p>授業の目的、概要等 文法学習と文化演習を通して、スペイン語の基礎を身につけるとともに、スペイン語圏の文化・社会への理解を深めます。日本語・日本文化との違いはもちろんのこと、「欧米」社会の内的な多様性にも目を向け、現代的な国際感覚を養いましょう。</p>																																																																																			
<p>授業の到達目標</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. スペイン語の綴り・発音や文法の基本を覚え、基礎的な単語や表現を習得する。 2. 講義と練習問題を通して、簡単なスペイン語を理解し、発話する力を身につける。 3. やや発展的な表現や文法事項にも触れることで、スペイン語という言語のおおまかな全体像を知る。 4. 文化演習を通して、スペイン語圏の国・地域・社会に対するバランスのとれた視点を獲得する。 																																																																																			
<p>授業計画</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>講義室</th> <th>担当教員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td>4/13</td><td>08:40-10:10</td><td></td><td>佐々木 充文, BAO MIN</td></tr> <tr><td>2</td><td>4/20</td><td>08:40-10:10</td><td></td><td>佐々木 充文, BAO MIN</td></tr> <tr><td>3</td><td>4/27</td><td>08:40-10:10</td><td></td><td>佐々木 充文, BAO MIN</td></tr> <tr><td>4</td><td>5/11</td><td>08:40-10:10</td><td></td><td>佐々木 充文, BAO MIN</td></tr> <tr><td>5</td><td>5/18</td><td>08:40-10:10</td><td></td><td>佐々木 充文, BAO MIN</td></tr> <tr><td>6</td><td>5/25</td><td>08:40-10:10</td><td></td><td>佐々木 充文, BAO MIN</td></tr> <tr><td>7</td><td>6/1</td><td>08:40-10:10</td><td></td><td>佐々木 充文, BAO MIN</td></tr> <tr><td>8</td><td>6/8</td><td>08:40-10:10</td><td></td><td>佐々木 充文, BAO MIN</td></tr> <tr><td>9</td><td>6/15</td><td>08:40-10:10</td><td></td><td>佐々木 充文, BAO MIN</td></tr> <tr><td>10</td><td>6/22</td><td>08:40-10:10</td><td></td><td>佐々木 充文, BAO MIN</td></tr> <tr><td>11</td><td>6/29</td><td>08:40-10:10</td><td></td><td>佐々木 充文, BAO MIN</td></tr> <tr><td>12</td><td>7/6</td><td>08:40-10:10</td><td></td><td>佐々木 充文, BAO MIN</td></tr> <tr><td>13</td><td>7/13</td><td>08:40-10:10</td><td></td><td>佐々木 充文, BAO MIN</td></tr> <tr><td>14</td><td>7/20</td><td>08:40-10:10</td><td></td><td>佐々木 充文, BAO MIN</td></tr> <tr><td>15</td><td>7/27</td><td>08:40-10:10</td><td></td><td>佐々木 充文, BAO MIN</td></tr> </tbody> </table>				回	日付	時刻	講義室	担当教員	1	4/13	08:40-10:10		佐々木 充文, BAO MIN	2	4/20	08:40-10:10		佐々木 充文, BAO MIN	3	4/27	08:40-10:10		佐々木 充文, BAO MIN	4	5/11	08:40-10:10		佐々木 充文, BAO MIN	5	5/18	08:40-10:10		佐々木 充文, BAO MIN	6	5/25	08:40-10:10		佐々木 充文, BAO MIN	7	6/1	08:40-10:10		佐々木 充文, BAO MIN	8	6/8	08:40-10:10		佐々木 充文, BAO MIN	9	6/15	08:40-10:10		佐々木 充文, BAO MIN	10	6/22	08:40-10:10		佐々木 充文, BAO MIN	11	6/29	08:40-10:10		佐々木 充文, BAO MIN	12	7/6	08:40-10:10		佐々木 充文, BAO MIN	13	7/13	08:40-10:10		佐々木 充文, BAO MIN	14	7/20	08:40-10:10		佐々木 充文, BAO MIN	15	7/27	08:40-10:10		佐々木 充文, BAO MIN
回	日付	時刻	講義室	担当教員																																																																															
1	4/13	08:40-10:10		佐々木 充文, BAO MIN																																																																															
2	4/20	08:40-10:10		佐々木 充文, BAO MIN																																																																															
3	4/27	08:40-10:10		佐々木 充文, BAO MIN																																																																															
4	5/11	08:40-10:10		佐々木 充文, BAO MIN																																																																															
5	5/18	08:40-10:10		佐々木 充文, BAO MIN																																																																															
6	5/25	08:40-10:10		佐々木 充文, BAO MIN																																																																															
7	6/1	08:40-10:10		佐々木 充文, BAO MIN																																																																															
8	6/8	08:40-10:10		佐々木 充文, BAO MIN																																																																															
9	6/15	08:40-10:10		佐々木 充文, BAO MIN																																																																															
10	6/22	08:40-10:10		佐々木 充文, BAO MIN																																																																															
11	6/29	08:40-10:10		佐々木 充文, BAO MIN																																																																															
12	7/6	08:40-10:10		佐々木 充文, BAO MIN																																																																															
13	7/13	08:40-10:10		佐々木 充文, BAO MIN																																																																															
14	7/20	08:40-10:10		佐々木 充文, BAO MIN																																																																															
15	7/27	08:40-10:10		佐々木 充文, BAO MIN																																																																															
<p>授業方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・月曜日の授業と、水曜日の「文化演習」以外の回では、文法事項を説明した後で、文法・会話の実践練習(グループワークを含む)を行います(月曜日が演習中心、水曜日が講義中心です)。加えて、授業の合間にスペイン語圏の文化に関する解説や映像資料・音楽等の紹介を行います。 ・水曜日の「文化演習」の回では、スペイン語圏の文化や社会に関するトピックを紹介し、それにもとづく意見交換や、関連資料の収集・読解の演習を行います。また、授業内課題としてグループ発表を行う予定です。 																																																																																			
<p>授業内容</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. スペイン語の学び方、アルファベット 																																																																																			

2. 第2課 名詞と形容詞・ser と estar・疑問文ほか
3. 【文化演習】スペイン語圏の国・地域
4. 第3課 (1): 規則動詞現在形・直接目的語代名詞ほか
5. 【文化演習】スペインの文化を知ろう
6. 第3課 (2): 間接目的語代名詞・gustar 構文ほか
7. 【文化演習】アメリカ合衆国とスペイン語
8. 第4課 (1): 母音変化動詞・不規則動詞現在形・天候や時刻の表現ほか
9. 【文化演習】カタルーニャ・バレンシアの言語と文化
10. 第4課 (2): 関係節・比較構文ほか
11. 【文化演習】ラテンアメリカの日系人
12. 第5課 (1): 不定詞・分詞と現在完了ほか
13. 第5課 (2): 再帰動詞ほか
14. ワークショップ: スペイン語で作文しよう
15. 前期振り返りテスト(第5課まで)

成績評価の方法

評価 : 試験 50% ・ レポート % ・ その他(提出課題・授業内課題) 50%

再評価: 有(再評価方法: スペイン語 a・b・c・d 共通の学年末再試験)

・スペイン語は、a・b・c・d の総合点により、学年末にまとめて成績評価を行います(4単位)。

・テストは前期・後期ともに行います。a・c では中間・期末の 2 回ずつスピーキング試験を、b・d では期末に筆記テストを実施する予定です。

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習等についての具体的な指示

・予習については授業中に適宜指示します。

・復習に際しては、授業で配布されたスライド・プリントを見返すところから始めるのが手軽で効果的です。

教科書

『Brujula スペイン語学習の羅針盤』 東京大学教養学部スペイン語部会 編・朝日出版社・2020 年

参考書

『プログレッシブ スペイン語辞典 第2版 カレッジエディション』 鼓直ほか 編・小学館・2016 年

『スペイン語の世界』 岡本信照 著・慶應義塾大学出版会・2018 年

参照ホームページ

教科書対応音声サイト(朝日出版社) <https://text.asahipress.com/free/spanish/brujula/index.html>

時間割番号	000231																																																																																		
科目名	スペイン語c	科目ID	LA-115703-Z																																																																																
担当教員	永田 夕紀子[NAGATA Yukiko]																																																																																		
開講時期	2022 年度後期	対象年次	1																																																																																
実務経験のある教員による授業																																																																																			
<p>曜日・時間: 月曜 4 限 対象学科: 医学科・歯学科 科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 3-1, 3-4</p>																																																																																			
<p>授業の目的、概要等</p> <p>スペイン語を一から身につけていきます。スペイン語は日本語に慣れ親しんだ人にとっては非常に馴染みやすい言語です。言語を学びながらも、スペイン語圏であるスペインやラテンアメリカの文化、社会についても少しずつ理解を深めていきましょう。</p>																																																																																			
<p>授業の到達目標</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. スペイン語の基礎的な単語や表現の意味、綴り、発音を身につける。 2. スペイン語文法の基本構造を理解し、簡単な文章の読み書きと会話ができるようになる。 3. スペインおよび中南米の国々についての知識を身につける。 																																																																																			
<p>授業計画</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>講義室</th> <th>担当教員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td>10/3</td><td>14:50-16:20</td><td></td><td>永田 夕紀子, BAO MIN</td></tr> <tr><td>2</td><td>10/10</td><td>14:50-16:20</td><td></td><td>永田 夕紀子, BAO MIN</td></tr> <tr><td>3</td><td>10/17</td><td>14:50-16:20</td><td></td><td>永田 夕紀子, BAO MIN</td></tr> <tr><td>4</td><td>10/24</td><td>14:50-16:20</td><td></td><td>永田 夕紀子, BAO MIN</td></tr> <tr><td>5</td><td>10/31</td><td>14:50-16:20</td><td></td><td>永田 夕紀子, BAO MIN</td></tr> <tr><td>6</td><td>11/7</td><td>14:50-16:20</td><td></td><td>永田 夕紀子, BAO MIN</td></tr> <tr><td>7</td><td>11/14</td><td>14:50-16:20</td><td></td><td>永田 夕紀子, BAO MIN</td></tr> <tr><td>8</td><td>11/21</td><td>14:50-16:20</td><td></td><td>永田 夕紀子, BAO MIN</td></tr> <tr><td>9</td><td>11/28</td><td>14:50-16:20</td><td></td><td>永田 夕紀子, BAO MIN</td></tr> <tr><td>10</td><td>12/5</td><td>14:50-16:20</td><td></td><td>永田 夕紀子, BAO MIN</td></tr> <tr><td>11</td><td>12/12</td><td>14:50-16:20</td><td></td><td>永田 夕紀子, BAO MIN</td></tr> <tr><td>12</td><td>12/19</td><td>14:50-16:20</td><td></td><td>永田 夕紀子, BAO MIN</td></tr> <tr><td>13</td><td>1/16</td><td>14:50-16:20</td><td></td><td>永田 夕紀子, BAO MIN</td></tr> <tr><td>14</td><td>1/23</td><td>14:50-16:20</td><td></td><td>永田 夕紀子, BAO MIN</td></tr> <tr><td>15</td><td>1/30</td><td>14:50-16:20</td><td></td><td>永田 夕紀子, BAO MIN</td></tr> </tbody> </table>				回	日付	時刻	講義室	担当教員	1	10/3	14:50-16:20		永田 夕紀子, BAO MIN	2	10/10	14:50-16:20		永田 夕紀子, BAO MIN	3	10/17	14:50-16:20		永田 夕紀子, BAO MIN	4	10/24	14:50-16:20		永田 夕紀子, BAO MIN	5	10/31	14:50-16:20		永田 夕紀子, BAO MIN	6	11/7	14:50-16:20		永田 夕紀子, BAO MIN	7	11/14	14:50-16:20		永田 夕紀子, BAO MIN	8	11/21	14:50-16:20		永田 夕紀子, BAO MIN	9	11/28	14:50-16:20		永田 夕紀子, BAO MIN	10	12/5	14:50-16:20		永田 夕紀子, BAO MIN	11	12/12	14:50-16:20		永田 夕紀子, BAO MIN	12	12/19	14:50-16:20		永田 夕紀子, BAO MIN	13	1/16	14:50-16:20		永田 夕紀子, BAO MIN	14	1/23	14:50-16:20		永田 夕紀子, BAO MIN	15	1/30	14:50-16:20		永田 夕紀子, BAO MIN
回	日付	時刻	講義室	担当教員																																																																															
1	10/3	14:50-16:20		永田 夕紀子, BAO MIN																																																																															
2	10/10	14:50-16:20		永田 夕紀子, BAO MIN																																																																															
3	10/17	14:50-16:20		永田 夕紀子, BAO MIN																																																																															
4	10/24	14:50-16:20		永田 夕紀子, BAO MIN																																																																															
5	10/31	14:50-16:20		永田 夕紀子, BAO MIN																																																																															
6	11/7	14:50-16:20		永田 夕紀子, BAO MIN																																																																															
7	11/14	14:50-16:20		永田 夕紀子, BAO MIN																																																																															
8	11/21	14:50-16:20		永田 夕紀子, BAO MIN																																																																															
9	11/28	14:50-16:20		永田 夕紀子, BAO MIN																																																																															
10	12/5	14:50-16:20		永田 夕紀子, BAO MIN																																																																															
11	12/12	14:50-16:20		永田 夕紀子, BAO MIN																																																																															
12	12/19	14:50-16:20		永田 夕紀子, BAO MIN																																																																															
13	1/16	14:50-16:20		永田 夕紀子, BAO MIN																																																																															
14	1/23	14:50-16:20		永田 夕紀子, BAO MIN																																																																															
15	1/30	14:50-16:20		永田 夕紀子, BAO MIN																																																																															
<p>授業方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・月曜日の授業と、水曜日の「文化演習」以外の回では、文法事項を説明した後で、文法・会話の実践練習(グループワークを含む)を行います(月曜日が演習中心、水曜日が講義中心です)。加えて、授業の合間にスペイン語圏の文化に関する解説や映像資料・音楽等の紹介を行います。 ・水曜日の「文化演習」の回では、スペイン語圏の文化や社会に関するトピックを紹介し、それにもとづく意見交換や、関連資料の収集・読解の演習を行います。また、授業内課題としてグループ発表を行う予定です。 																																																																																			
<p>授業内容</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 前期の復習・過去形導入 																																																																																			

2. 第6課点過去(規則形)
3. 第6課 点過去(規則形・不規則形)
4. 第6課 点過去 (規則形・不規則形)
5. 第7課 線過去ほか
6. 第7課 線過去ほか
7. 中間スピーキングテスト
8. 第8課 未来形
9. 第8課 未来形・過去未来形
10. 第8課過去未来形・接続法導入
11. 第9課 接続法
12. 第9課 接続法
13. 第9課 接続法
14. 期末スピーキングテスト
15. 総まとめ

成績評価の方法

評価 : 試験 60% ・ レポート % ・ その他(授業参加・提出課題) 40%

再評価: 有(再評価方法:スペイン語 a・b・c・d 共通の学年末再試験)

・スペイン語は、a・b・c・d の総合点により、学年末にまとめて成績評価を行います(4単位)。

・テストは前期・後期ともに行います。a・c では中間・期末の 2 回ずつスピーキング試験を、b・d では期末に筆記テストを実施する予定です。

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習等についての具体的な指示

授業中に適宜指示しますが、基本的には授業中の課題や復習を通じて学習を進めます。

教科書

『Brujula スペイン語学習の羅針盤』 東京大学教養学部スペイン語部会 編・朝日出版社・2020年

時間割番号	000232																																																																																		
科目名	スペイン語 d	科目ID	LA-115704-Z																																																																																
担当教員	佐々木 充文[SASAKI Mitsuya]																																																																																		
開講時期	2022 年度後期	対象年次	1																																																																																
実務経験のある教員による授業																																																																																			
<p>曜日・時間:水曜1限 対象学科:医学科・歯学科 科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):1-1, 1-4, 3-1, 3-4, 3-5</p>																																																																																			
<p>授業の目的、概要等 文法学習と文化演習を通して、スペイン語の基礎を身につけるとともに、スペイン語圏の文化・社会への理解を深めます。日本語・日本文化との違いはもちろんのこと、「欧米」社会の内的な多様性にも目を向け、現代的な国際感覚を養いましょう。</p>																																																																																			
<p>授業の到達目標</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. スペイン語の綴り・発音や文法の基本を覚え、基礎的な単語や表現を習得する。 2. 講義と練習問題を通して、簡単なスペイン語を理解し、発話する力を身につける。 3. やや発展的な表現や文法事項にも触れることで、スペイン語という言語のおおまかな全体像を知る。 4. 文化演習を通して、スペイン語圏の国・地域・社会に対するバランスのとれた視点を獲得する。 																																																																																			
<p>授業計画</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>講義室</th> <th>担当教員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td>10/5</td><td>08:40-10:10</td><td></td><td>佐々木 充文, BAO MIN</td></tr> <tr><td>2</td><td>10/19</td><td>08:40-10:10</td><td></td><td>佐々木 充文, BAO MIN</td></tr> <tr><td>3</td><td>10/26</td><td>08:40-10:10</td><td></td><td>佐々木 充文, BAO MIN</td></tr> <tr><td>4</td><td>11/2</td><td>08:40-10:10</td><td></td><td>佐々木 充文, BAO MIN</td></tr> <tr><td>5</td><td>11/9</td><td>08:40-10:10</td><td></td><td>佐々木 充文, BAO MIN</td></tr> <tr><td>6</td><td>11/16</td><td>08:40-10:10</td><td></td><td>佐々木 充文, BAO MIN</td></tr> <tr><td>7</td><td>11/30</td><td>08:40-10:10</td><td></td><td>佐々木 充文, BAO MIN</td></tr> <tr><td>8</td><td>12/7</td><td>08:40-10:10</td><td></td><td>佐々木 充文, BAO MIN</td></tr> <tr><td>9</td><td>12/14</td><td>08:40-10:10</td><td></td><td>佐々木 充文, BAO MIN</td></tr> <tr><td>10</td><td>12/21</td><td>08:40-10:10</td><td></td><td>佐々木 充文, BAO MIN</td></tr> <tr><td>11</td><td>1/4</td><td>08:40-10:10</td><td></td><td>佐々木 充文, BAO MIN</td></tr> <tr><td>12</td><td>1/11</td><td>08:40-10:10</td><td></td><td>佐々木 充文, BAO MIN</td></tr> <tr><td>13</td><td>1/18</td><td>08:40-10:10</td><td></td><td>佐々木 充文, BAO MIN</td></tr> <tr><td>14</td><td>1/25</td><td>08:40-10:10</td><td></td><td>佐々木 充文, BAO MIN</td></tr> <tr><td>15</td><td>2/1</td><td>08:40-10:10</td><td></td><td>佐々木 充文, BAO MIN</td></tr> </tbody> </table>				回	日付	時刻	講義室	担当教員	1	10/5	08:40-10:10		佐々木 充文, BAO MIN	2	10/19	08:40-10:10		佐々木 充文, BAO MIN	3	10/26	08:40-10:10		佐々木 充文, BAO MIN	4	11/2	08:40-10:10		佐々木 充文, BAO MIN	5	11/9	08:40-10:10		佐々木 充文, BAO MIN	6	11/16	08:40-10:10		佐々木 充文, BAO MIN	7	11/30	08:40-10:10		佐々木 充文, BAO MIN	8	12/7	08:40-10:10		佐々木 充文, BAO MIN	9	12/14	08:40-10:10		佐々木 充文, BAO MIN	10	12/21	08:40-10:10		佐々木 充文, BAO MIN	11	1/4	08:40-10:10		佐々木 充文, BAO MIN	12	1/11	08:40-10:10		佐々木 充文, BAO MIN	13	1/18	08:40-10:10		佐々木 充文, BAO MIN	14	1/25	08:40-10:10		佐々木 充文, BAO MIN	15	2/1	08:40-10:10		佐々木 充文, BAO MIN
回	日付	時刻	講義室	担当教員																																																																															
1	10/5	08:40-10:10		佐々木 充文, BAO MIN																																																																															
2	10/19	08:40-10:10		佐々木 充文, BAO MIN																																																																															
3	10/26	08:40-10:10		佐々木 充文, BAO MIN																																																																															
4	11/2	08:40-10:10		佐々木 充文, BAO MIN																																																																															
5	11/9	08:40-10:10		佐々木 充文, BAO MIN																																																																															
6	11/16	08:40-10:10		佐々木 充文, BAO MIN																																																																															
7	11/30	08:40-10:10		佐々木 充文, BAO MIN																																																																															
8	12/7	08:40-10:10		佐々木 充文, BAO MIN																																																																															
9	12/14	08:40-10:10		佐々木 充文, BAO MIN																																																																															
10	12/21	08:40-10:10		佐々木 充文, BAO MIN																																																																															
11	1/4	08:40-10:10		佐々木 充文, BAO MIN																																																																															
12	1/11	08:40-10:10		佐々木 充文, BAO MIN																																																																															
13	1/18	08:40-10:10		佐々木 充文, BAO MIN																																																																															
14	1/25	08:40-10:10		佐々木 充文, BAO MIN																																																																															
15	2/1	08:40-10:10		佐々木 充文, BAO MIN																																																																															
<p>授業方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・月曜日の授業と、水曜日の「文化演習」以外の回では、文法事項を説明した後で、文法・会話の実践練習(グループワークを含む)を行います(月曜日が演習中心、水曜日が講義中心です)。加えて、授業の合間にスペイン語圏の文化に関する解説や映像資料・音楽等の紹介を行います。 ・水曜日の「文化演習」の回では、スペイン語圏の文化や社会に関するトピックを紹介し、それにもとづく意見交換や、関連資料の収集・読解の演習を行います。また、授業内課題としてグループ発表を行う予定です。 																																																																																			
<p>授業内容</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ワークショップ: スペイン語を翻訳しよう 2. 【文化演習】スペイン語圏の食文化 																																																																																			

3. 第6課 点過去ほか
4. 【文化演習】スペインのイスラーム文化
5. 第7課 線過去ほか
6. 【文化演習】アメリカ大陸の征服
7. 第8課 未来と過去未来ほか
8. 【文化演習】スペイン語圏とキリスト教
9. 第9課 接続法現在 ほか
10. 【文化演習】バスク地方の言語と文化
11. 第10課 接続法過去・命令文ほか
12. 【文化演習】メキシコの言語と文化
13. 【文化演習】スペイン語の歴史とインド・ヨーロッパ語族
14. 振り返りテスト(第10課まで)
15. 【文化演習】麻薬戦争・まとめ

成績評価の方法

評価：試験 50% ・ レポート % ・ その他(提出課題・授業内課題) 50%

再評価：有(再評価方法:スペイン語 a・b・c・d 共通の学年末再試験)

・スペイン語は、a・b・c・d の総合点により、学年末にまとめて成績評価を行います(4単位)。

・テストは前期・後期ともに行います。a・c では中間・期末の2回ずつスピーキング試験を、b・d では期末に筆記テストを実施する予定です。

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習等についての具体的な指示

・予習については授業中に適宜指示します。

・復習に際しては、授業で配布されたスライド・プリントを見返すところから始めるのが手軽で効果的です。

教科書

『Brujula スペイン語学習の羅針盤』 東京大学教養学部スペイン語部会 編・朝日出版社・2020年

参考書

『プログレッシブ スペイン語辞典 第2版 カレッジエディション』 鼓直ほか 編・小学館・2016年

『スペイン語の世界』 岡本信照 著・慶應義塾大学出版会・2018年

参照ホームページ

教科書対応音声サイト(朝日出版社) <https://text.asahipress.com/free/spanish/brujula/index.html>

時間割番号	000233																																																																																		
科目名	スペイン語 a	科目ID	LA-115701-Z																																																																																
担当教員	永田 夕紀子[NAGATA Yukiko]																																																																																		
開講時期	2022 年度前期	対象年次	1																																																																																
実務経験のある教員による授業																																																																																			
<p>曜日・時間: 月曜3限 対象学科: 保健衛生学科・口腔保健学科 科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 3-1, 3-4</p>																																																																																			
<p>授業の目的、概要等 スペイン語を一から身につけていきます。スペイン語は日本語に慣れ親しんだ人にとっては非常に馴染みやすい言語です。言語を学びながらも、スペイン語圏であるスペインやラテンアメリカの文化、社会についても少しずつ理解を深めていきましょう。</p>																																																																																			
<p>授業の到達目標</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. スペイン語の基礎的な単語や表現の意味、綴り、発音を身につける。 2. スペイン語文法の基本構造を理解し、簡単な文章の読み書きと会話が出来るようになる。 3. スペインおよび中南米の国々についての知識を身につける。 																																																																																			
<p>授業計画</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>講義室</th> <th>担当教員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td>4/18</td><td>13:10-14:40</td><td></td><td>永田 夕紀子, BAO MIN</td></tr> <tr><td>2</td><td>4/25</td><td>13:10-14:40</td><td></td><td>永田 夕紀子, BAO MIN</td></tr> <tr><td>3</td><td>5/2</td><td>13:10-14:40</td><td></td><td>永田 夕紀子, BAO MIN</td></tr> <tr><td>4</td><td>5/9</td><td>13:10-14:40</td><td></td><td>永田 夕紀子, BAO MIN</td></tr> <tr><td>5</td><td>5/16</td><td>13:10-14:40</td><td></td><td>永田 夕紀子, BAO MIN</td></tr> <tr><td>6</td><td>5/23</td><td>13:10-14:40</td><td></td><td>永田 夕紀子, BAO MIN</td></tr> <tr><td>7</td><td>5/30</td><td>13:10-14:40</td><td></td><td>永田 夕紀子, BAO MIN</td></tr> <tr><td>8</td><td>6/6</td><td>13:10-14:40</td><td></td><td>永田 夕紀子, BAO MIN</td></tr> <tr><td>9</td><td>6/13</td><td>13:10-14:40</td><td></td><td>永田 夕紀子, BAO MIN</td></tr> <tr><td>10</td><td>6/20</td><td>13:10-14:40</td><td></td><td>永田 夕紀子, BAO MIN</td></tr> <tr><td>11</td><td>6/27</td><td>13:10-14:40</td><td></td><td>永田 夕紀子, BAO MIN</td></tr> <tr><td>12</td><td>7/4</td><td>13:10-14:40</td><td></td><td>永田 夕紀子, BAO MIN</td></tr> <tr><td>13</td><td>7/11</td><td>13:10-14:40</td><td></td><td>永田 夕紀子, BAO MIN</td></tr> <tr><td>14</td><td>7/18</td><td>13:10-14:40</td><td></td><td>永田 夕紀子, BAO MIN</td></tr> <tr><td>15</td><td>7/25</td><td>13:10-14:40</td><td></td><td>永田 夕紀子, BAO MIN</td></tr> </tbody> </table>				回	日付	時刻	講義室	担当教員	1	4/18	13:10-14:40		永田 夕紀子, BAO MIN	2	4/25	13:10-14:40		永田 夕紀子, BAO MIN	3	5/2	13:10-14:40		永田 夕紀子, BAO MIN	4	5/9	13:10-14:40		永田 夕紀子, BAO MIN	5	5/16	13:10-14:40		永田 夕紀子, BAO MIN	6	5/23	13:10-14:40		永田 夕紀子, BAO MIN	7	5/30	13:10-14:40		永田 夕紀子, BAO MIN	8	6/6	13:10-14:40		永田 夕紀子, BAO MIN	9	6/13	13:10-14:40		永田 夕紀子, BAO MIN	10	6/20	13:10-14:40		永田 夕紀子, BAO MIN	11	6/27	13:10-14:40		永田 夕紀子, BAO MIN	12	7/4	13:10-14:40		永田 夕紀子, BAO MIN	13	7/11	13:10-14:40		永田 夕紀子, BAO MIN	14	7/18	13:10-14:40		永田 夕紀子, BAO MIN	15	7/25	13:10-14:40		永田 夕紀子, BAO MIN
回	日付	時刻	講義室	担当教員																																																																															
1	4/18	13:10-14:40		永田 夕紀子, BAO MIN																																																																															
2	4/25	13:10-14:40		永田 夕紀子, BAO MIN																																																																															
3	5/2	13:10-14:40		永田 夕紀子, BAO MIN																																																																															
4	5/9	13:10-14:40		永田 夕紀子, BAO MIN																																																																															
5	5/16	13:10-14:40		永田 夕紀子, BAO MIN																																																																															
6	5/23	13:10-14:40		永田 夕紀子, BAO MIN																																																																															
7	5/30	13:10-14:40		永田 夕紀子, BAO MIN																																																																															
8	6/6	13:10-14:40		永田 夕紀子, BAO MIN																																																																															
9	6/13	13:10-14:40		永田 夕紀子, BAO MIN																																																																															
10	6/20	13:10-14:40		永田 夕紀子, BAO MIN																																																																															
11	6/27	13:10-14:40		永田 夕紀子, BAO MIN																																																																															
12	7/4	13:10-14:40		永田 夕紀子, BAO MIN																																																																															
13	7/11	13:10-14:40		永田 夕紀子, BAO MIN																																																																															
14	7/18	13:10-14:40		永田 夕紀子, BAO MIN																																																																															
15	7/25	13:10-14:40		永田 夕紀子, BAO MIN																																																																															
<p>授業方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・月曜日の授業と、水曜日の「文化演習」以外の回では、文法事項を説明した後で、文法・会話の実践練習(グループワークを含む)を行います(月曜日が演習中心、水曜日が講義中心です)。加えて、授業の合間にスペイン語圏の文化に関する解説や映像資料・音楽等の紹介を行います。 ・水曜日の「文化演習」の回では、スペイン語圏の文化や社会に関するトピックを紹介し、それにもとづく意見交換や、関連資料の収集・読解の演習を行います。また、授業内課題としてグループ発表を行う予定です。 																																																																																			
<p>授業内容</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. オリエンテーション、アルファベット 2. 第2課 名詞・冠詞・形容詞ほか 																																																																																			

3. 第2課 冠詞・形容詞・ser と estar ほか
4. 第2課 ser と estar・疑問文ほか
5. 第3課 ser と estar 作文練習・規則動詞現在形導入
6. 第3課規則動詞現在形の練習
7. 中間スピーキングテスト
8. 第3課(1): 目的語・GUSTAR 型動詞
9. 第4課(1): 目的語・GUSTAR 型動詞
10. 第4課 母音変化動詞・不規則動詞現在形ほか
11. 第4課 母音変化動詞・不規則動詞現在形ほか
12. 第5課 再帰動詞ほか
13. 第5課 再帰動詞ほか
14. 前期の復習
15. 期末スピーキングテスト

成績評価の方法

評価 : 試験 60% ・ レポート % ・ その他(授業参加・提出課題) 40%

再評価: 有(再評価方法: スペイン語 a・b・c・d 共通の学年末再試験)

・スペイン語は、a・b・c・d の総合点により、学年末にまとめて成績評価を行います(4 単位)。

・テストは前期・後期ともに行います。a・c では中間・期末の 2 回ずつスピーキング試験を、b・d では期末に筆記テストを実施する予定です。

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習等についての具体的な指示

授業中に適宜指示しますが、基本的には授業中の課題や復習を通じて学習を進めます。

教科書

『Brujula スペイン語学習の羅針盤』 東京大学教養学部スペイン語部会 編・朝日出版社・2020 年

時間割番号	000234																																																																																		
科目名	スペイン語 b	科目ID	LA-115702-Z																																																																																
担当教員	佐々木 充文[SASAKI Mitsuya]																																																																																		
開講時期	2022 年度前期	対象年次	1																																																																																
実務経験のある教員による授業																																																																																			
<p>曜日・時間:水曜 2 限 対象学科:保健衛生学科・口腔保健学科 科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):1-1, 1-4, 3-1, 3-4, 3-5</p>																																																																																			
<p>授業の目的、概要等 文法学習と文化演習を通して、スペイン語の基礎を身につけるとともに、スペイン語圏の文化・社会への理解を深めます。日本語・日本文化との違いはもちろんのこと、「欧米」社会の内的な多様性にも目を向け、現代的な国際感覚を養いましょう。</p>																																																																																			
<p>授業の到達目標</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. スペイン語の綴り・発音や文法の基本を覚え、基礎的な単語や表現を習得する。 2. 講義と練習問題を通して、簡単なスペイン語を理解し、発話する力を身につける。 3. やや発展的な表現や文法事項にも触れることで、スペイン語という言語のおおまかな全体像を知る。 4. 文化演習を通して、スペイン語圏の国・地域・社会に対するバランスのとれた視点を獲得する。 																																																																																			
<p>授業計画</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>講義室</th> <th>担当教員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td>4/13</td><td>10:20-11:50</td><td></td><td>佐々木 充文, BAO MIN</td></tr> <tr><td>2</td><td>4/20</td><td>10:20-11:50</td><td></td><td>佐々木 充文, BAO MIN</td></tr> <tr><td>3</td><td>4/27</td><td>10:20-11:50</td><td></td><td>佐々木 充文, BAO MIN</td></tr> <tr><td>4</td><td>5/11</td><td>10:20-11:50</td><td></td><td>佐々木 充文, BAO MIN</td></tr> <tr><td>5</td><td>5/18</td><td>10:20-11:50</td><td></td><td>佐々木 充文, BAO MIN</td></tr> <tr><td>6</td><td>5/25</td><td>10:20-11:50</td><td></td><td>佐々木 充文, BAO MIN</td></tr> <tr><td>7</td><td>6/1</td><td>10:20-11:50</td><td></td><td>佐々木 充文, BAO MIN</td></tr> <tr><td>8</td><td>6/8</td><td>10:20-11:50</td><td></td><td>佐々木 充文, BAO MIN</td></tr> <tr><td>9</td><td>6/15</td><td>10:20-11:50</td><td></td><td>佐々木 充文, BAO MIN</td></tr> <tr><td>10</td><td>6/22</td><td>10:20-11:50</td><td></td><td>佐々木 充文, BAO MIN</td></tr> <tr><td>11</td><td>6/29</td><td>10:20-11:50</td><td></td><td>佐々木 充文, BAO MIN</td></tr> <tr><td>12</td><td>7/6</td><td>10:20-11:50</td><td></td><td>佐々木 充文, BAO MIN</td></tr> <tr><td>13</td><td>7/13</td><td>10:20-11:50</td><td></td><td>佐々木 充文, BAO MIN</td></tr> <tr><td>14</td><td>7/20</td><td>10:20-11:50</td><td></td><td>佐々木 充文, BAO MIN</td></tr> <tr><td>15</td><td>7/27</td><td>10:20-11:50</td><td></td><td>佐々木 充文, BAO MIN</td></tr> </tbody> </table>				回	日付	時刻	講義室	担当教員	1	4/13	10:20-11:50		佐々木 充文, BAO MIN	2	4/20	10:20-11:50		佐々木 充文, BAO MIN	3	4/27	10:20-11:50		佐々木 充文, BAO MIN	4	5/11	10:20-11:50		佐々木 充文, BAO MIN	5	5/18	10:20-11:50		佐々木 充文, BAO MIN	6	5/25	10:20-11:50		佐々木 充文, BAO MIN	7	6/1	10:20-11:50		佐々木 充文, BAO MIN	8	6/8	10:20-11:50		佐々木 充文, BAO MIN	9	6/15	10:20-11:50		佐々木 充文, BAO MIN	10	6/22	10:20-11:50		佐々木 充文, BAO MIN	11	6/29	10:20-11:50		佐々木 充文, BAO MIN	12	7/6	10:20-11:50		佐々木 充文, BAO MIN	13	7/13	10:20-11:50		佐々木 充文, BAO MIN	14	7/20	10:20-11:50		佐々木 充文, BAO MIN	15	7/27	10:20-11:50		佐々木 充文, BAO MIN
回	日付	時刻	講義室	担当教員																																																																															
1	4/13	10:20-11:50		佐々木 充文, BAO MIN																																																																															
2	4/20	10:20-11:50		佐々木 充文, BAO MIN																																																																															
3	4/27	10:20-11:50		佐々木 充文, BAO MIN																																																																															
4	5/11	10:20-11:50		佐々木 充文, BAO MIN																																																																															
5	5/18	10:20-11:50		佐々木 充文, BAO MIN																																																																															
6	5/25	10:20-11:50		佐々木 充文, BAO MIN																																																																															
7	6/1	10:20-11:50		佐々木 充文, BAO MIN																																																																															
8	6/8	10:20-11:50		佐々木 充文, BAO MIN																																																																															
9	6/15	10:20-11:50		佐々木 充文, BAO MIN																																																																															
10	6/22	10:20-11:50		佐々木 充文, BAO MIN																																																																															
11	6/29	10:20-11:50		佐々木 充文, BAO MIN																																																																															
12	7/6	10:20-11:50		佐々木 充文, BAO MIN																																																																															
13	7/13	10:20-11:50		佐々木 充文, BAO MIN																																																																															
14	7/20	10:20-11:50		佐々木 充文, BAO MIN																																																																															
15	7/27	10:20-11:50		佐々木 充文, BAO MIN																																																																															
<p>授業方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・月曜日の授業と、水曜日の「文化演習」以外の回では、文法事項を説明した後で、文法・会話の実践練習(グループワークを含む)を行います(月曜日が演習中心、水曜日が講義中心です)。加えて、授業の合間にスペイン語圏の文化に関する解説や映像資料・音楽等の紹介を行います。 ・水曜日の「文化演習」の回では、スペイン語圏の文化や社会に関するトピックを紹介し、それにもとづく意見交換や、関連資料の収集・読解の演習を行います。また、授業内課題としてグループ発表を行う予定です。 																																																																																			
<p>授業内容</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. スペイン語の学び方、アルファベット 																																																																																			

<p>2. 第2課 名詞と形容詞・ser と estar・疑問文ほか</p> <p>3. 【文化演習】スペイン語圏の国・地域</p> <p>4. 第3課 (1): 規則動詞現在形・直接目的語代名詞ほか</p> <p>5. 【文化演習】スペインの文化を知ろう</p> <p>6. 第3課 (2): 間接目的語代名詞・gustar 構文ほか</p> <p>7. 【文化演習】アメリカ合衆国とスペイン語</p> <p>8. 第4課 (1): 母音変化動詞・不規則動詞現在形・天候や時刻の表現ほか</p> <p>9. 【文化演習】カタルーニャ・バレンシアの言語と文化</p> <p>10. 第4課 (2): 関係節・比較構文ほか</p> <p>11. 【文化演習】ラテンアメリカの日系人</p> <p>12. 第5課 (1): 不定詞・分詞と現在完了ほか</p> <p>13. 第5課 (2): 再帰動詞ほか</p> <p>14. ワークショップ: スペイン語で作文しよう</p> <p>15. 前期振り返りテスト(第5課まで)</p>
<p>成績評価の方法</p> <p>評価 : 試験 50% ・ レポート % ・ その他(提出課題・授業内課題) 50%</p> <p>再評価: 有(再評価方法: スペイン語 a・b・c・d 共通の学年末再試験)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スペイン語は、a・b・c・d の総合点により、学年末にまとめて成績評価を行います(4単位)。 ・テストは前期・後期ともに行います。a・c では中間・期末の 2 回ずつスピーキング試験を、b・d では期末に筆記テストを実施する予定です。
<p>成績評価の基準</p> <p>「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による</p>
<p>準備学習等についての具体的な指示</p> <ul style="list-style-type: none"> ・予習については授業中に適宜指示します。 ・復習に際しては、授業で配布されたスライド・プリントを見返すところから始めるのが手軽で効果的です。
<p>教科書</p> <p>『Brujula スペイン語学習の羅針盤』 東京大学教養学部スペイン語部会 編・朝日出版社・2020年</p>
<p>参考書</p> <p>『プログレッシブ スペイン語辞典 第2版 カレッジエディション』 鼓直ほか 編・小学館・2016年</p> <p>『スペイン語の世界』 岡本信照 著・慶應義塾大学出版会・2018年</p>
<p>参照ホームページ</p> <p>教科書対応音声サイト(朝日出版社) https://text.asahipress.com/free/spanish/brujula/index.html</p>

時間割番号	000235																																																																																		
科目名	スペイン語c	科目ID	LA-115703-Z																																																																																
担当教員	永田 夕紀子[NAGATA Yukiko]																																																																																		
開講時期	2022 年度後期	対象年次	1																																																																																
実務経験のある教員による授業																																																																																			
<p>曜日・時間: 月曜 3 限 対象学科: 保健衛生学科・口腔保健学科 科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 3-1, 3-4</p>																																																																																			
<p>授業の目的、概要等 スペイン語を一から身につけていきます。スペイン語は日本語に慣れ親しんだ人にとっては非常に馴染みやすい言語です。言語を学びながらも、スペイン語圏であるスペインやラテンアメリカの文化、社会についても少しずつ理解を深めていきましょう。</p>																																																																																			
<p>授業の到達目標</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. スペイン語の基礎的な単語や表現の意味、綴り、発音を身につける。 2. スペイン語文法の基本構造を理解し、簡単な文章の読み書きと会話が出来るようになる。 3. スペインおよび中南米の国々についての知識を身につける。 																																																																																			
<p>授業計画</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>講義室</th> <th>担当教員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td>10/3</td><td>13:10-14:40</td><td></td><td>永田 夕紀子, BAO MIN</td></tr> <tr><td>2</td><td>10/10</td><td>13:10-14:40</td><td></td><td>永田 夕紀子, BAO MIN</td></tr> <tr><td>3</td><td>10/17</td><td>13:10-14:40</td><td></td><td>永田 夕紀子, BAO MIN</td></tr> <tr><td>4</td><td>10/24</td><td>13:10-14:40</td><td></td><td>永田 夕紀子, BAO MIN</td></tr> <tr><td>5</td><td>10/31</td><td>13:10-14:40</td><td></td><td>永田 夕紀子, BAO MIN</td></tr> <tr><td>6</td><td>11/7</td><td>13:10-14:40</td><td></td><td>永田 夕紀子, BAO MIN</td></tr> <tr><td>7</td><td>11/14</td><td>13:10-14:40</td><td></td><td>永田 夕紀子, BAO MIN</td></tr> <tr><td>8</td><td>11/21</td><td>13:10-14:40</td><td></td><td>永田 夕紀子, BAO MIN</td></tr> <tr><td>9</td><td>11/28</td><td>13:10-14:40</td><td></td><td>永田 夕紀子, BAO MIN</td></tr> <tr><td>10</td><td>12/5</td><td>13:10-14:40</td><td></td><td>永田 夕紀子, BAO MIN</td></tr> <tr><td>11</td><td>12/12</td><td>13:10-14:40</td><td></td><td>永田 夕紀子, BAO MIN</td></tr> <tr><td>12</td><td>12/19</td><td>13:10-14:40</td><td></td><td>永田 夕紀子, BAO MIN</td></tr> <tr><td>13</td><td>1/16</td><td>13:10-14:40</td><td></td><td>永田 夕紀子, BAO MIN</td></tr> <tr><td>14</td><td>1/23</td><td>13:10-14:40</td><td></td><td>永田 夕紀子, BAO MIN</td></tr> <tr><td>15</td><td>1/30</td><td>13:10-14:40</td><td></td><td>永田 夕紀子, BAO MIN</td></tr> </tbody> </table>				回	日付	時刻	講義室	担当教員	1	10/3	13:10-14:40		永田 夕紀子, BAO MIN	2	10/10	13:10-14:40		永田 夕紀子, BAO MIN	3	10/17	13:10-14:40		永田 夕紀子, BAO MIN	4	10/24	13:10-14:40		永田 夕紀子, BAO MIN	5	10/31	13:10-14:40		永田 夕紀子, BAO MIN	6	11/7	13:10-14:40		永田 夕紀子, BAO MIN	7	11/14	13:10-14:40		永田 夕紀子, BAO MIN	8	11/21	13:10-14:40		永田 夕紀子, BAO MIN	9	11/28	13:10-14:40		永田 夕紀子, BAO MIN	10	12/5	13:10-14:40		永田 夕紀子, BAO MIN	11	12/12	13:10-14:40		永田 夕紀子, BAO MIN	12	12/19	13:10-14:40		永田 夕紀子, BAO MIN	13	1/16	13:10-14:40		永田 夕紀子, BAO MIN	14	1/23	13:10-14:40		永田 夕紀子, BAO MIN	15	1/30	13:10-14:40		永田 夕紀子, BAO MIN
回	日付	時刻	講義室	担当教員																																																																															
1	10/3	13:10-14:40		永田 夕紀子, BAO MIN																																																																															
2	10/10	13:10-14:40		永田 夕紀子, BAO MIN																																																																															
3	10/17	13:10-14:40		永田 夕紀子, BAO MIN																																																																															
4	10/24	13:10-14:40		永田 夕紀子, BAO MIN																																																																															
5	10/31	13:10-14:40		永田 夕紀子, BAO MIN																																																																															
6	11/7	13:10-14:40		永田 夕紀子, BAO MIN																																																																															
7	11/14	13:10-14:40		永田 夕紀子, BAO MIN																																																																															
8	11/21	13:10-14:40		永田 夕紀子, BAO MIN																																																																															
9	11/28	13:10-14:40		永田 夕紀子, BAO MIN																																																																															
10	12/5	13:10-14:40		永田 夕紀子, BAO MIN																																																																															
11	12/12	13:10-14:40		永田 夕紀子, BAO MIN																																																																															
12	12/19	13:10-14:40		永田 夕紀子, BAO MIN																																																																															
13	1/16	13:10-14:40		永田 夕紀子, BAO MIN																																																																															
14	1/23	13:10-14:40		永田 夕紀子, BAO MIN																																																																															
15	1/30	13:10-14:40		永田 夕紀子, BAO MIN																																																																															
<p>授業方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・月曜日の授業と、水曜日の「文化演習」以外の回では、文法事項を説明した後で、文法・会話の実践練習(グループワークを含む)を行います(月曜日が演習中心、水曜日が講義中心です)。加えて、授業の合間にスペイン語圏の文化に関する解説や映像資料・音楽等の紹介を行います。 ・水曜日の「文化演習」の回では、スペイン語圏の文化や社会に関するトピックを紹介し、それにもとづく意見交換や、関連資料の収集・読解の演習を行います。また、授業内課題としてグループ発表を行う予定です。 																																																																																			
<p>授業内容</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 前期の復習・過去形導入 																																																																																			

2. 第6課点過去(規則形)
3. 第6課 点過去(規則形・不規則形)
4. 第6課 点過去 (規則形・不規則形)
5. 第7課 線過去ほか
6. 第7課 線過去ほか
7. 中間スピーキングテスト
8. 第8課 未来形
9. 第8課 未来形・過去未来形
10. 第8課過去未来形・接続法導入
11. 第9課 接続法
12. 第9課 接続法
13. 第9課 接続法
14. 期末スピーキングテスト
15. 総まとめ

成績評価の方法

評価 : 試験 60% ・ レポート % ・ その他(授業参加・提出課題) 40%

再評価: 有(再評価方法:スペイン語 a・b・c・d 共通の学年末再試験)

・スペイン語は、a・b・c・d の総合点により、学年末にまとめて成績評価を行います(4単位)。

・テストは前期・後期ともに行います。a・c では中間・期末の 2 回ずつスピーキング試験を、b・d では期末に筆記テストを実施する予定です。

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習等についての具体的な指示

授業中に適宜指示しますが、基本的には授業中の課題や復習を通じて学習を進めます。

教科書

『Brujula スペイン語学習の羅針盤』 東京大学教養学部スペイン語部会 編・朝日出版社・2020年

時間割番号	000236																																																																																		
科目名	スペイン語 d	科目ID	LA-115704-Z																																																																																
担当教員	佐々木 充文[SASAKI Mitsuya]																																																																																		
開講時期	2022 年度後期	対象年次	1																																																																																
実務経験のある教員による授業																																																																																			
<p>曜日・時間:水曜2限 対象学科:保健衛生学科・口腔保健学科 科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):1-1, 1-4, 3-1, 3-4, 3-5</p>																																																																																			
<p>授業の目的、概要等 文法学習と文化演習を通して、スペイン語の基礎を身につけるとともに、スペイン語圏の文化・社会への理解を深めます。日本語・日本文化との違いはもちろんのこと、「欧米」社会の内的な多様性にも目を向け、現代的な国際感覚を養いましょう。</p>																																																																																			
<p>授業の到達目標</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. スペイン語の綴り・発音や文法の基本を覚え、基礎的な単語や表現を習得する。 2. 講義と練習問題を通して、簡単なスペイン語を理解し、発話する力を身につける。 3. やや発展的な表現や文法事項にも触れることで、スペイン語という言語のおおまかな全体像を知る。 4. 文化演習を通して、スペイン語圏の国・地域・社会に対するバランスのとれた視点を獲得する。 																																																																																			
<p>授業計画</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>講義室</th> <th>担当教員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td>10/5</td><td>10:20-11:50</td><td></td><td>佐々木 充文, BAO MIN</td></tr> <tr><td>2</td><td>10/19</td><td>10:20-11:50</td><td></td><td>佐々木 充文, BAO MIN</td></tr> <tr><td>3</td><td>10/26</td><td>10:20-11:50</td><td></td><td>佐々木 充文, BAO MIN</td></tr> <tr><td>4</td><td>11/2</td><td>10:20-11:50</td><td></td><td>佐々木 充文, BAO MIN</td></tr> <tr><td>5</td><td>11/9</td><td>10:20-11:50</td><td></td><td>佐々木 充文, BAO MIN</td></tr> <tr><td>6</td><td>11/16</td><td>10:20-11:50</td><td></td><td>佐々木 充文, BAO MIN</td></tr> <tr><td>7</td><td>11/30</td><td>10:20-11:50</td><td></td><td>佐々木 充文, BAO MIN</td></tr> <tr><td>8</td><td>12/7</td><td>10:20-11:50</td><td></td><td>佐々木 充文, BAO MIN</td></tr> <tr><td>9</td><td>12/14</td><td>10:20-11:50</td><td></td><td>佐々木 充文, BAO MIN</td></tr> <tr><td>10</td><td>12/21</td><td>10:20-11:50</td><td></td><td>佐々木 充文, BAO MIN</td></tr> <tr><td>11</td><td>1/4</td><td>10:20-11:50</td><td></td><td>佐々木 充文, BAO MIN</td></tr> <tr><td>12</td><td>1/11</td><td>10:20-11:50</td><td></td><td>佐々木 充文, BAO MIN</td></tr> <tr><td>13</td><td>1/18</td><td>10:20-11:50</td><td></td><td>佐々木 充文, BAO MIN</td></tr> <tr><td>14</td><td>1/25</td><td>10:20-11:50</td><td></td><td>佐々木 充文, BAO MIN</td></tr> <tr><td>15</td><td>2/1</td><td>10:20-11:50</td><td></td><td>佐々木 充文, BAO MIN</td></tr> </tbody> </table>				回	日付	時刻	講義室	担当教員	1	10/5	10:20-11:50		佐々木 充文, BAO MIN	2	10/19	10:20-11:50		佐々木 充文, BAO MIN	3	10/26	10:20-11:50		佐々木 充文, BAO MIN	4	11/2	10:20-11:50		佐々木 充文, BAO MIN	5	11/9	10:20-11:50		佐々木 充文, BAO MIN	6	11/16	10:20-11:50		佐々木 充文, BAO MIN	7	11/30	10:20-11:50		佐々木 充文, BAO MIN	8	12/7	10:20-11:50		佐々木 充文, BAO MIN	9	12/14	10:20-11:50		佐々木 充文, BAO MIN	10	12/21	10:20-11:50		佐々木 充文, BAO MIN	11	1/4	10:20-11:50		佐々木 充文, BAO MIN	12	1/11	10:20-11:50		佐々木 充文, BAO MIN	13	1/18	10:20-11:50		佐々木 充文, BAO MIN	14	1/25	10:20-11:50		佐々木 充文, BAO MIN	15	2/1	10:20-11:50		佐々木 充文, BAO MIN
回	日付	時刻	講義室	担当教員																																																																															
1	10/5	10:20-11:50		佐々木 充文, BAO MIN																																																																															
2	10/19	10:20-11:50		佐々木 充文, BAO MIN																																																																															
3	10/26	10:20-11:50		佐々木 充文, BAO MIN																																																																															
4	11/2	10:20-11:50		佐々木 充文, BAO MIN																																																																															
5	11/9	10:20-11:50		佐々木 充文, BAO MIN																																																																															
6	11/16	10:20-11:50		佐々木 充文, BAO MIN																																																																															
7	11/30	10:20-11:50		佐々木 充文, BAO MIN																																																																															
8	12/7	10:20-11:50		佐々木 充文, BAO MIN																																																																															
9	12/14	10:20-11:50		佐々木 充文, BAO MIN																																																																															
10	12/21	10:20-11:50		佐々木 充文, BAO MIN																																																																															
11	1/4	10:20-11:50		佐々木 充文, BAO MIN																																																																															
12	1/11	10:20-11:50		佐々木 充文, BAO MIN																																																																															
13	1/18	10:20-11:50		佐々木 充文, BAO MIN																																																																															
14	1/25	10:20-11:50		佐々木 充文, BAO MIN																																																																															
15	2/1	10:20-11:50		佐々木 充文, BAO MIN																																																																															
<p>授業方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・月曜日の授業と、水曜日の「文化演習」以外の回では、文法事項を説明した後で、文法・会話の実践練習(グループワークを含む)を行います(月曜日が演習中心、水曜日が講義中心です)。加えて、授業の合間にスペイン語圏の文化に関する解説や映像資料・音楽等の紹介を行います。 ・水曜日の「文化演習」の回では、スペイン語圏の文化や社会に関するトピックを紹介し、それにもとづく意見交換や、関連資料の収集・読解の演習を行います。また、授業内課題としてグループ発表を行う予定です。 																																																																																			
<p>授業内容</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ワークショップ: スペイン語を翻訳しよう 																																																																																			

2. 【文化演習】スペイン語圏の食文化
3. 第6課 点過去ほか
4. 【文化演習】スペインのイスラム文化
5. 第7課 線過去ほか
6. 【文化演習】アメリカ大陸の征服
7. 第8課 未来と過去未来ほか
8. 【文化演習】スペイン語圏とキリスト教
9. 第9課 接続法現在ほか
10. 【文化演習】バスク地方の言語と文化
11. 第10課 接続法過去・命令文ほか
12. 【文化演習】メキシコの言語と文化
13. 【文化演習】スペイン語の歴史とインド・ヨーロッパ語族
14. 振り返りテスト(第10課まで)
15. 【文化演習】麻薬戦争・まとめ

成績評価の方法

評価：試験 50%・レポート %・その他(提出課題・授業内課題) 50%

再評価：有(再評価方法:スペイン語 a・b・c・d 共通の学年末再試験)

・スペイン語は、a・b・c・d の総合点により、学年末にまとめて成績評価を行います(4単位)。

・テストは前期・後期ともに行います。a・c では中間・期末の2回ずつスピーキング試験を、b・d では期末に筆記テストを実施する予定です。

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習等についての具体的な指示

・予習については授業中に適宜指示します。

・復習に際しては、授業で配布されたスライド・プリントを見返すところから始めるのが手軽で効果的です。

教科書

『Brujula スペイン語学習の羅針盤』 東京大学教養学部スペイン語部会 編・朝日出版社・2020年

参考書

『プログレッシブ スペイン語辞典 第2版 カレッジエディション』 鼓直ほか 編・小学館・2016年

『スペイン語の世界』 岡本信照 著・慶應義塾大学出版会・2018年

参照ホームページ

教科書対応音声サイト(朝日出版社) <https://text.asahipress.com/free/spanish/brujula/index.html>

時間割番号	000238																																																																																																																												
科目名	物理学実験	科目ID	LA-115800-Z																																																																																																																										
担当教員	檜枝 光憲, 越野 和樹, 梅崎 馨章[HIEDA MITSUNORI, KOSHINO KAZUKI, UMEZAKI KEISHIYO]																																																																																																																												
開講時期	2022 年度通年	対象年次	1	単位数	1																																																																																																																								
実務経験のある教員による授業																																																																																																																													
<p>対象学科: 医学科、歯学科</p> <p>科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):</p> <p>別表2-2) 自然現象を探究するための手法を知る</p> <p>別表4-3) 自然現象を探究するための基本的な手法を身につける</p>																																																																																																																													
<p>主な講義場所</p> <p>物理学学生実験室(ヒポ 1F)、計算機実習室(ヒポ 2F)、物理実験準備室(ヒポ 3F)、4 番教室</p>																																																																																																																													
<p>授業の目的、概要等</p> <p>実験形式により、学生自らが手を動かすことで物理学の知識を深化させる。</p> <p>目的を達成するための方法を考え実験計画を立て、実験中はよくみ(観・視)よく考えて行動し、その結果を確かめながら実験方法を改良しつつ、最終的に得られた結果をどのように解釈したらよいかという物理学的な思考方法を学ぶ。</p>																																																																																																																													
<p>授業の到達目標</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. レンズの働きを理解し、凸レンズおよび組み合わせレンズの焦点距離、主点の位置を求めることができる。 2. 自然科学に欠かせない予測手段の一つである数値シミュレーションを用い、運動方程式を解くことができる。 3. 極低温状態の固体の性質を調べ、金属、半導体、超伝導、磁性という現代物理学の主要分野である「物性物理学」の知識を得る。 4. 重力加速度の測定を通して、データの統計処理、誤差の計算方法を学ぶ。 																																																																																																																													
<p>授業計画</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>講義室</th> <th>担当教員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1-2</td><td>4/15</td><td>13:10-16:20</td><td></td><td>檜枝 光憲, 越野 和樹, 梅崎 馨章</td></tr> <tr><td>3-4</td><td>4/22</td><td>13:10-16:20</td><td></td><td>檜枝 光憲, 越野 和樹, 梅崎 馨章</td></tr> <tr><td>5-6</td><td>5/6</td><td>13:10-16:20</td><td></td><td>檜枝 光憲, 越野 和樹, 梅崎 馨章</td></tr> <tr><td>7-8</td><td>5/13</td><td>13:10-16:20</td><td></td><td>檜枝 光憲, 越野 和樹, 梅崎 馨章</td></tr> <tr><td>9-10</td><td>5/20</td><td>13:10-16:20</td><td></td><td>檜枝 光憲, 越野 和樹, 梅崎 馨章</td></tr> <tr><td>11-12</td><td>5/27</td><td>13:10-16:20</td><td></td><td>檜枝 光憲, 越野 和樹, 梅崎 馨章</td></tr> <tr><td>13-14</td><td>6/3</td><td>13:10-16:20</td><td></td><td>檜枝 光憲, 越野 和樹, 梅崎 馨章</td></tr> <tr><td>15-16</td><td>6/10</td><td>13:10-16:20</td><td></td><td>檜枝 光憲, 越野 和樹, 梅崎 馨章</td></tr> <tr><td>17-18</td><td>6/17</td><td>13:10-16:20</td><td></td><td>檜枝 光憲, 越野 和樹, 梅崎 馨章</td></tr> <tr><td>19-20</td><td>6/24</td><td>13:10-16:20</td><td></td><td>檜枝 光憲, 越野 和樹, 梅崎 馨章</td></tr> <tr><td>21-22</td><td>7/1</td><td>13:10-16:20</td><td></td><td>檜枝 光憲, 越野 和樹, 梅崎 馨章</td></tr> <tr><td>23-24</td><td>7/8</td><td>13:10-16:20</td><td></td><td>檜枝 光憲, 越野 和樹, 梅崎 馨章</td></tr> <tr><td>25-26</td><td>7/15</td><td>13:10-16:20</td><td></td><td>檜枝 光憲, 越野 和樹, 梅崎 馨章</td></tr> <tr><td>27-28</td><td>7/22</td><td>13:10-16:20</td><td></td><td>檜枝 光憲, 越野 和樹, 梅崎 馨章</td></tr> <tr><td>29-30</td><td>7/29</td><td>13:10-16:20</td><td></td><td>檜枝 光憲, 越野 和樹, 梅崎 馨章</td></tr> <tr><td>31-32</td><td>10/7</td><td>13:10-16:20</td><td></td><td>檜枝 光憲, 越野 和樹, 梅崎 馨章</td></tr> <tr><td>33-34</td><td>10/14</td><td>13:10-16:20</td><td></td><td>檜枝 光憲, 越野 和樹, 梅崎 馨章</td></tr> <tr><td>35-36</td><td>10/21</td><td>13:10-16:20</td><td></td><td>檜枝 光憲, 越野 和樹, 梅崎 馨章</td></tr> <tr><td>37-38</td><td>10/28</td><td>13:10-16:20</td><td></td><td>檜枝 光憲, 越野 和樹, 梅崎 馨章</td></tr> <tr><td>39-40</td><td>11/4</td><td>13:10-16:20</td><td></td><td>檜枝 光憲, 越野 和樹, 梅崎 馨章</td></tr> <tr><td>41-42</td><td>11/11</td><td>13:10-16:20</td><td></td><td>檜枝 光憲, 越野 和樹, 梅崎 馨章</td></tr> <tr><td>43-44</td><td>11/18</td><td>13:10-16:20</td><td></td><td>檜枝 光憲, 越野 和樹, 梅崎 馨章</td></tr> <tr><td>45-46</td><td>11/25</td><td>13:10-16:20</td><td></td><td>檜枝 光憲, 越野 和樹, 梅崎 馨章</td></tr> </tbody> </table>						回	日付	時刻	講義室	担当教員	1-2	4/15	13:10-16:20		檜枝 光憲, 越野 和樹, 梅崎 馨章	3-4	4/22	13:10-16:20		檜枝 光憲, 越野 和樹, 梅崎 馨章	5-6	5/6	13:10-16:20		檜枝 光憲, 越野 和樹, 梅崎 馨章	7-8	5/13	13:10-16:20		檜枝 光憲, 越野 和樹, 梅崎 馨章	9-10	5/20	13:10-16:20		檜枝 光憲, 越野 和樹, 梅崎 馨章	11-12	5/27	13:10-16:20		檜枝 光憲, 越野 和樹, 梅崎 馨章	13-14	6/3	13:10-16:20		檜枝 光憲, 越野 和樹, 梅崎 馨章	15-16	6/10	13:10-16:20		檜枝 光憲, 越野 和樹, 梅崎 馨章	17-18	6/17	13:10-16:20		檜枝 光憲, 越野 和樹, 梅崎 馨章	19-20	6/24	13:10-16:20		檜枝 光憲, 越野 和樹, 梅崎 馨章	21-22	7/1	13:10-16:20		檜枝 光憲, 越野 和樹, 梅崎 馨章	23-24	7/8	13:10-16:20		檜枝 光憲, 越野 和樹, 梅崎 馨章	25-26	7/15	13:10-16:20		檜枝 光憲, 越野 和樹, 梅崎 馨章	27-28	7/22	13:10-16:20		檜枝 光憲, 越野 和樹, 梅崎 馨章	29-30	7/29	13:10-16:20		檜枝 光憲, 越野 和樹, 梅崎 馨章	31-32	10/7	13:10-16:20		檜枝 光憲, 越野 和樹, 梅崎 馨章	33-34	10/14	13:10-16:20		檜枝 光憲, 越野 和樹, 梅崎 馨章	35-36	10/21	13:10-16:20		檜枝 光憲, 越野 和樹, 梅崎 馨章	37-38	10/28	13:10-16:20		檜枝 光憲, 越野 和樹, 梅崎 馨章	39-40	11/4	13:10-16:20		檜枝 光憲, 越野 和樹, 梅崎 馨章	41-42	11/11	13:10-16:20		檜枝 光憲, 越野 和樹, 梅崎 馨章	43-44	11/18	13:10-16:20		檜枝 光憲, 越野 和樹, 梅崎 馨章	45-46	11/25	13:10-16:20		檜枝 光憲, 越野 和樹, 梅崎 馨章
回	日付	時刻	講義室	担当教員																																																																																																																									
1-2	4/15	13:10-16:20		檜枝 光憲, 越野 和樹, 梅崎 馨章																																																																																																																									
3-4	4/22	13:10-16:20		檜枝 光憲, 越野 和樹, 梅崎 馨章																																																																																																																									
5-6	5/6	13:10-16:20		檜枝 光憲, 越野 和樹, 梅崎 馨章																																																																																																																									
7-8	5/13	13:10-16:20		檜枝 光憲, 越野 和樹, 梅崎 馨章																																																																																																																									
9-10	5/20	13:10-16:20		檜枝 光憲, 越野 和樹, 梅崎 馨章																																																																																																																									
11-12	5/27	13:10-16:20		檜枝 光憲, 越野 和樹, 梅崎 馨章																																																																																																																									
13-14	6/3	13:10-16:20		檜枝 光憲, 越野 和樹, 梅崎 馨章																																																																																																																									
15-16	6/10	13:10-16:20		檜枝 光憲, 越野 和樹, 梅崎 馨章																																																																																																																									
17-18	6/17	13:10-16:20		檜枝 光憲, 越野 和樹, 梅崎 馨章																																																																																																																									
19-20	6/24	13:10-16:20		檜枝 光憲, 越野 和樹, 梅崎 馨章																																																																																																																									
21-22	7/1	13:10-16:20		檜枝 光憲, 越野 和樹, 梅崎 馨章																																																																																																																									
23-24	7/8	13:10-16:20		檜枝 光憲, 越野 和樹, 梅崎 馨章																																																																																																																									
25-26	7/15	13:10-16:20		檜枝 光憲, 越野 和樹, 梅崎 馨章																																																																																																																									
27-28	7/22	13:10-16:20		檜枝 光憲, 越野 和樹, 梅崎 馨章																																																																																																																									
29-30	7/29	13:10-16:20		檜枝 光憲, 越野 和樹, 梅崎 馨章																																																																																																																									
31-32	10/7	13:10-16:20		檜枝 光憲, 越野 和樹, 梅崎 馨章																																																																																																																									
33-34	10/14	13:10-16:20		檜枝 光憲, 越野 和樹, 梅崎 馨章																																																																																																																									
35-36	10/21	13:10-16:20		檜枝 光憲, 越野 和樹, 梅崎 馨章																																																																																																																									
37-38	10/28	13:10-16:20		檜枝 光憲, 越野 和樹, 梅崎 馨章																																																																																																																									
39-40	11/4	13:10-16:20		檜枝 光憲, 越野 和樹, 梅崎 馨章																																																																																																																									
41-42	11/11	13:10-16:20		檜枝 光憲, 越野 和樹, 梅崎 馨章																																																																																																																									
43-44	11/18	13:10-16:20		檜枝 光憲, 越野 和樹, 梅崎 馨章																																																																																																																									
45-46	11/25	13:10-16:20		檜枝 光憲, 越野 和樹, 梅崎 馨章																																																																																																																									

授業方法 実験(対面もしくは遠隔)
授業内容 物理実験学の講義を実験初日(第1週)に行うので休まないこと。 下記の3項目の実験を、項目ごとに2回の実験日で行う。グループ分けは、実験初日に発表する。 1. レンズの焦点距離と主点の位置(担当:梅崎) 2. 計算機による運動方程式の解法(担当:越野) 3. 物性実験、重力加速度の測定(担当:檜枝)
成績評価の方法 各実験における到達度を評価するため各実験ごとにレポートを課す。 実習形式のため授業の参加度およびレポートの内容を重視する。 レポート + 実験ノート 80% その他(授業の参加度、実験態度) 20%
成績評価の基準 遅刻や実験中の態度不良による減点が多いので注意すること。 なお、「物理学実験」では、すべての授業に出席し、すべてのレポートを提出することが義務付けられている。
準備学習等についての具体的な指示 各実験前に必ず指示書を読んで理解すること。 また各実験テーマで必要とされる予習、事前準備、を実施すること。
試験の受験資格 試験は実施しないが、原則、すべての実験に参加すること
教科書 物理学実験テキスト(2022年度版) 東京医科歯科大学教養部自然科学系物理学分野編
履修上の注意事項 原則、全ての授業に出席すること。欠席時は事務所に欠席届を提出し、代替処置を教員と相談すること。原則、全てのレポートを提出すること。(未提出のレポートがある場合、大きな減点となり不合格となる可能性が高いことを肝に命じること) 他人のレポートの丸写し、データ捏造などの不正行為がある場合、不合格とする。
備考 学生アンケートへの対応: 2019年度 特になし 2020年度 コロナ感染症のため遠隔授業での実施となったが、実験という授業の性質上対面での実施を望む声があった。今後もコロナの状況によりどちらの遠隔実験も取り入れる必要があり、オンデマンド教材(動画)の導入など改善をはかった。

時間割番号	000239			科目ID	LA-115900-Z																																																																																																																								
科目名	化学実験		科目ID	LA-115900-Z																																																																																																																									
担当教員	奈良 雅之, 澤野 頼子, 勝又 敏行[NARA MASAYUKI, SAWANO YORIKO, KATSUMATA TOSHIYUKI]																																																																																																																												
開講時期	2022 年度通年	対象年次	1	単位数	1																																																																																																																								
実務経験のある教員による授業																																																																																																																													
<p>曜日・時間: 金曜日・3~4 時限(前期5回、後期 3 回)対象学生は指定された 1~3 組に分かれて化学実験、生物学実験、物理学実験を交代で行う。</p> <p>対象学科: 医学科、歯学科</p> <p>科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):</p> <p>別表2-2) 自然現象を探究するための手法を知る</p> <p>別表4-3) 自然現象を探究するための基本的な手法を身につける</p>																																																																																																																													
<p>授業の目的、概要等</p> <p>無機定性分析および容量分析を主な実験テーマとして基本操作を学び、実験に対する基本的な態度を身につける。1人1セットずつ実験器具が配布されることにより、各自が責任をもって実験に取り組む。危険な物質(硫化水素など)の扱い方、一次記録の取り方、報告の書き方などを習得する。さらに、各自が興味を持ったテーマを見つけだし、そのテーマに関する実験に取り組む(考察実験)。</p>																																																																																																																													
<p>授業の到達目標</p> <p>一次記録をきちんと取り、それを実験報告としてまとめることができる。</p> <p>自分で実験テーマを見つけて、計画・実施することができる。</p> <p>以上の目標を達成することが、GPA における「B」に相当する。</p>																																																																																																																													
<p>授業計画</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>講義室</th> <th>担当教員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1-2</td><td>4/15</td><td>13:10-16:20</td><td></td><td>奈良 雅之, 澤野 頼子, 勝又 敏行</td></tr> <tr><td>3-4</td><td>4/22</td><td>13:10-16:20</td><td></td><td>奈良 雅之, 澤野 頼子, 勝又 敏行</td></tr> <tr><td>5-6</td><td>5/6</td><td>13:10-16:20</td><td></td><td>奈良 雅之, 澤野 頼子, 勝又 敏行</td></tr> <tr><td>7-8</td><td>5/13</td><td>13:10-16:20</td><td></td><td>奈良 雅之, 澤野 頼子, 勝又 敏行</td></tr> <tr><td>9-10</td><td>5/20</td><td>13:10-16:20</td><td></td><td>奈良 雅之, 澤野 頼子, 勝又 敏行</td></tr> <tr><td>11-12</td><td>5/27</td><td>13:10-16:20</td><td></td><td>奈良 雅之, 澤野 頼子, 勝又 敏行</td></tr> <tr><td>13-14</td><td>6/3</td><td>13:10-16:20</td><td></td><td>奈良 雅之, 澤野 頼子, 勝又 敏行</td></tr> <tr><td>15-16</td><td>6/10</td><td>13:10-16:20</td><td></td><td>奈良 雅之, 澤野 頼子, 勝又 敏行</td></tr> <tr><td>17-18</td><td>6/17</td><td>13:10-16:20</td><td></td><td>奈良 雅之, 澤野 頼子, 勝又 敏行</td></tr> <tr><td>19-20</td><td>6/24</td><td>13:10-16:20</td><td></td><td>奈良 雅之, 澤野 頼子, 勝又 敏行</td></tr> <tr><td>21-22</td><td>7/1</td><td>13:10-16:20</td><td></td><td>奈良 雅之, 澤野 頼子, 勝又 敏行</td></tr> <tr><td>23-24</td><td>7/8</td><td>13:10-16:20</td><td></td><td>奈良 雅之, 澤野 頼子, 勝又 敏行</td></tr> <tr><td>25-26</td><td>7/15</td><td>13:10-16:20</td><td></td><td>奈良 雅之, 澤野 頼子, 勝又 敏行</td></tr> <tr><td>27-28</td><td>7/22</td><td>13:10-16:20</td><td></td><td>奈良 雅之, 澤野 頼子, 勝又 敏行</td></tr> <tr><td>29-30</td><td>7/29</td><td>13:10-16:20</td><td></td><td>奈良 雅之, 澤野 頼子, 勝又 敏行</td></tr> <tr><td>31-32</td><td>10/7</td><td>13:10-16:20</td><td></td><td>奈良 雅之, 澤野 頼子, 勝又 敏行</td></tr> <tr><td>33-34</td><td>10/14</td><td>13:10-16:20</td><td></td><td>奈良 雅之, 澤野 頼子, 勝又 敏行</td></tr> <tr><td>35-36</td><td>10/21</td><td>13:10-16:20</td><td></td><td>奈良 雅之, 澤野 頼子, 勝又 敏行</td></tr> <tr><td>37-38</td><td>10/28</td><td>13:10-16:20</td><td></td><td>奈良 雅之, 澤野 頼子, 勝又 敏行</td></tr> <tr><td>39-40</td><td>11/4</td><td>13:10-16:20</td><td></td><td>奈良 雅之, 澤野 頼子, 勝又 敏行</td></tr> <tr><td>41-42</td><td>11/11</td><td>13:10-16:20</td><td></td><td>奈良 雅之, 澤野 頼子, 勝又 敏行</td></tr> <tr><td>43-44</td><td>11/18</td><td>13:10-16:20</td><td></td><td>奈良 雅之, 澤野 頼子, 勝又 敏行</td></tr> <tr><td>45-46</td><td>11/25</td><td>13:10-16:20</td><td></td><td>奈良 雅之, 澤野 頼子, 勝又 敏行</td></tr> </tbody> </table>						回	日付	時刻	講義室	担当教員	1-2	4/15	13:10-16:20		奈良 雅之, 澤野 頼子, 勝又 敏行	3-4	4/22	13:10-16:20		奈良 雅之, 澤野 頼子, 勝又 敏行	5-6	5/6	13:10-16:20		奈良 雅之, 澤野 頼子, 勝又 敏行	7-8	5/13	13:10-16:20		奈良 雅之, 澤野 頼子, 勝又 敏行	9-10	5/20	13:10-16:20		奈良 雅之, 澤野 頼子, 勝又 敏行	11-12	5/27	13:10-16:20		奈良 雅之, 澤野 頼子, 勝又 敏行	13-14	6/3	13:10-16:20		奈良 雅之, 澤野 頼子, 勝又 敏行	15-16	6/10	13:10-16:20		奈良 雅之, 澤野 頼子, 勝又 敏行	17-18	6/17	13:10-16:20		奈良 雅之, 澤野 頼子, 勝又 敏行	19-20	6/24	13:10-16:20		奈良 雅之, 澤野 頼子, 勝又 敏行	21-22	7/1	13:10-16:20		奈良 雅之, 澤野 頼子, 勝又 敏行	23-24	7/8	13:10-16:20		奈良 雅之, 澤野 頼子, 勝又 敏行	25-26	7/15	13:10-16:20		奈良 雅之, 澤野 頼子, 勝又 敏行	27-28	7/22	13:10-16:20		奈良 雅之, 澤野 頼子, 勝又 敏行	29-30	7/29	13:10-16:20		奈良 雅之, 澤野 頼子, 勝又 敏行	31-32	10/7	13:10-16:20		奈良 雅之, 澤野 頼子, 勝又 敏行	33-34	10/14	13:10-16:20		奈良 雅之, 澤野 頼子, 勝又 敏行	35-36	10/21	13:10-16:20		奈良 雅之, 澤野 頼子, 勝又 敏行	37-38	10/28	13:10-16:20		奈良 雅之, 澤野 頼子, 勝又 敏行	39-40	11/4	13:10-16:20		奈良 雅之, 澤野 頼子, 勝又 敏行	41-42	11/11	13:10-16:20		奈良 雅之, 澤野 頼子, 勝又 敏行	43-44	11/18	13:10-16:20		奈良 雅之, 澤野 頼子, 勝又 敏行	45-46	11/25	13:10-16:20		奈良 雅之, 澤野 頼子, 勝又 敏行
回	日付	時刻	講義室	担当教員																																																																																																																									
1-2	4/15	13:10-16:20		奈良 雅之, 澤野 頼子, 勝又 敏行																																																																																																																									
3-4	4/22	13:10-16:20		奈良 雅之, 澤野 頼子, 勝又 敏行																																																																																																																									
5-6	5/6	13:10-16:20		奈良 雅之, 澤野 頼子, 勝又 敏行																																																																																																																									
7-8	5/13	13:10-16:20		奈良 雅之, 澤野 頼子, 勝又 敏行																																																																																																																									
9-10	5/20	13:10-16:20		奈良 雅之, 澤野 頼子, 勝又 敏行																																																																																																																									
11-12	5/27	13:10-16:20		奈良 雅之, 澤野 頼子, 勝又 敏行																																																																																																																									
13-14	6/3	13:10-16:20		奈良 雅之, 澤野 頼子, 勝又 敏行																																																																																																																									
15-16	6/10	13:10-16:20		奈良 雅之, 澤野 頼子, 勝又 敏行																																																																																																																									
17-18	6/17	13:10-16:20		奈良 雅之, 澤野 頼子, 勝又 敏行																																																																																																																									
19-20	6/24	13:10-16:20		奈良 雅之, 澤野 頼子, 勝又 敏行																																																																																																																									
21-22	7/1	13:10-16:20		奈良 雅之, 澤野 頼子, 勝又 敏行																																																																																																																									
23-24	7/8	13:10-16:20		奈良 雅之, 澤野 頼子, 勝又 敏行																																																																																																																									
25-26	7/15	13:10-16:20		奈良 雅之, 澤野 頼子, 勝又 敏行																																																																																																																									
27-28	7/22	13:10-16:20		奈良 雅之, 澤野 頼子, 勝又 敏行																																																																																																																									
29-30	7/29	13:10-16:20		奈良 雅之, 澤野 頼子, 勝又 敏行																																																																																																																									
31-32	10/7	13:10-16:20		奈良 雅之, 澤野 頼子, 勝又 敏行																																																																																																																									
33-34	10/14	13:10-16:20		奈良 雅之, 澤野 頼子, 勝又 敏行																																																																																																																									
35-36	10/21	13:10-16:20		奈良 雅之, 澤野 頼子, 勝又 敏行																																																																																																																									
37-38	10/28	13:10-16:20		奈良 雅之, 澤野 頼子, 勝又 敏行																																																																																																																									
39-40	11/4	13:10-16:20		奈良 雅之, 澤野 頼子, 勝又 敏行																																																																																																																									
41-42	11/11	13:10-16:20		奈良 雅之, 澤野 頼子, 勝又 敏行																																																																																																																									
43-44	11/18	13:10-16:20		奈良 雅之, 澤野 頼子, 勝又 敏行																																																																																																																									
45-46	11/25	13:10-16:20		奈良 雅之, 澤野 頼子, 勝又 敏行																																																																																																																									

授業方法 実習および講義による
授業内容 前期 1. 化学実験総論／席決め／実験準備と講義(一次記録の取り方、レポートの書き方、安全対策等) 2. 無機金属イオンの分析(硫化水素法) その1(1-5族混合未知試料の分析) 3. 無機金属イオンの分析(硫化水素法) その2(1-5族混合未知試料の分析) 4. 無機金属イオンの分析(硫化水素法) その3(1-5族混合未知試料の分析) 5. 考察実験(ペーパークロマトグラフィー／分光光度計をもちいた比色分析等) 後期 6. 容量分析(その1) 中和滴定の練習(食酢中の酸の定量)／誤差の取り扱い方 7. 容量分析(その2) 容量分析テスト(酒石酸または炭酸カリウムの未知試料の濃度決定) 8. 容量分析(その3) キレート滴定 牛乳、水道水中のカルシウムイオンの定量
成績評価の方法 実験のため、実験中の取り組み、記録の取り方など重視し以下の通りとする。 実験ノート(一次記録および報告)60%、 実験中の取り組み(面接、テストなどを含む)40%
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による
準備学習等についての具体的な指示 予習をして実験の内容をあらかじめ把握しておくこと。実験後はレポートを作成し、考察を行うこと。
教科書 「化学実験」(東京医科歯科大学教養部化学教室編)
参考書 最新臨床検査学講座 化学／奈良雅之: 医歯薬出版, 2020 高木誠司著: 定性分析化学中巻 イオン反応編、南江堂 高木誠司著: 定量分析の実験と計算、共立出版 柴田村治著: 無機クロマトグラフ法とイオン交換分離、共立出版 D.T.Plummer 著: 廣海他訳、実験で学ぶ生化学、化学同人
連絡先(メールアドレス) 勝又 敏行 katsumata.las@tmd.ac.jp 澤野 頼子 sawano.las@tmd.ac.jp 奈良 雅之 nara.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー 勝又 敏行: 毎週金曜日 12:00-13:00 ヒポクラテス 2 階 化学実験準備室 澤野 頼子: 毎週金曜日 PM.0:00-PM.1:00 ヒポクラテス 4 階 奈良 雅之: 毎週水曜日 PM.0:00-PM.2:00, 毎週金曜日 PM.0:00-PM.1:00 ヒポクラテス 4 階

時間割番号	000240				
科目名	生物学実験	科目ID	LA-116000-Z		
担当教員	松本 幸久, 服部 淳彦, 伊藤 正則[MATSUMOTO YUKIHISA, HATTORI ATSUSHIKO, ITO MASANORI]				
開講時期	2022 年度通年	対象年次	1	単位数	1
実務経験のある教員による授業					
<ul style="list-style-type: none"> ・曜日・時間: 金曜日3、4限 ・対象学科・専攻: 医学科・歯学科 ・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): <ul style="list-style-type: none"> 2-2) 自然現象を探究するための手法を知る。 4-3) 自然現象を探究するための基本的手法を身につける。 					
主な講義場所					
ヒポクラテスホール3階 生物学生実験室					
授業の目的、概要等					
講義で学習する内容は観察や実験によって得られたものである。これらの生物学の基本知識がどのような過程で得られたかを実際に体験することによって生物学の考え方を学ぶ。また、観察の仕方、生物と機器の取り扱い方法、観察・測定した結果の数量化などの基本を学ぶ。さらに生命科学のレポートの書き方を学ぶ。					
授業の到達目標					
<ol style="list-style-type: none"> 1) 生物を適切に取り扱うことができる。 2) 実験機器を正しく使用することができる。 3) 肉眼あるいは光学顕微鏡により生体の構造を観察し、その特徴を説明することができる。 4) 現象から仮説を立て、仮説を検証するために適切な実験を計画・実施することができる。 5) データを整理・分析し、既存の知識だけでなく自分の考えを取り込んだ考察を含むレポートを書くことができる。 					
授業計画					
回	日付	時刻	講義室	担当教員	
1-2	4/15	13:10-16:20		松本 幸久, 服部 淳彦, 伊藤 正則	
3-4	4/22	13:10-16:20		松本 幸久, 服部 淳彦, 伊藤 正則	
5-6	5/6	13:10-16:20		松本 幸久, 服部 淳彦, 伊藤 正則	
7-8	5/13	13:10-16:20		松本 幸久, 服部 淳彦, 伊藤 正則	
9-10	5/20	13:10-16:20		松本 幸久, 服部 淳彦, 伊藤 正則	
11-12	5/27	13:10-16:20		松本 幸久, 服部 淳彦, 伊藤 正則	
13-14	6/3	13:10-16:20		松本 幸久, 服部 淳彦, 伊藤 正則	
15-16	6/10	13:10-16:20		松本 幸久, 服部 淳彦, 伊藤 正則	
17-18	6/17	13:10-16:20		松本 幸久, 服部 淳彦, 伊藤 正則	
19-20	6/24	13:10-16:20		松本 幸久, 服部 淳彦, 伊藤 正則	
21-22	7/1	13:10-16:20		松本 幸久, 服部 淳彦, 伊藤 正則	
23-24	7/8	13:10-16:20		松本 幸久, 服部 淳彦, 伊藤 正則	
25-26	7/15	13:10-16:20		松本 幸久, 服部 淳彦, 伊藤 正則	
27-28	7/22	13:10-16:20		松本 幸久, 服部 淳彦, 伊藤 正則	
29-30	7/29	13:10-16:20		松本 幸久, 服部 淳彦, 伊藤 正則	
31-32	10/7	13:10-16:20		松本 幸久, 服部 淳彦, 伊藤 正則	
33-34	10/14	13:10-16:20		松本 幸久, 服部 淳彦, 伊藤 正則	
35-36	10/21	13:10-16:20		松本 幸久, 服部 淳彦, 伊藤 正則	
37-38	10/28	13:10-16:20		松本 幸久, 服部 淳彦, 伊藤 正則	
39-40	11/4	13:10-16:20		松本 幸久, 服部 淳彦, 伊藤 正則	
41-42	11/11	13:10-16:20		松本 幸久, 服部 淳彦, 伊藤 正則	

43-44	11/18	13:10-16:20		松本 幸久, 服部 淳彦, 伊藤 正則
45-46	11/25	13:10-16:20		松本 幸久, 服部 淳彦, 伊藤 正則
授業方法				
実習による。				
授業内容				
肉眼あるいは光学顕微鏡下で、生物の体のつくりや生命現象を観察する。行動観察を通して、仮説とそれを証明するための実験計画を立て、実際に実験を行うことによって科学の基本的な手順を学ぶ。加えて、分子生物学の基本的な手法を学ぶ。毎回の実習で生命科学論文の形式に沿ったレポートを書く。特に考察のまとめ方と書き方についてしっかり学ぶ。希望者にはレポートの添削を行うことがある。				
成績評価の方法				
実習は観察とデータの処理・考察を重視する科目なので、レポート90%、授業態度10%で成績を評価する。 再評価: 有 *欠席は原則認めない。				
成績評価の基準				
「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による。				
準備学習等についての具体的な指示				
実験を行う前に必ずテキストを読んでおくこと。				
試験の受験資格				
原則的には全て出席しないと、レポートを提出することはできない。教員がとる出欠を優先し、授業開始時間(13:10)に席についていない場合は遅刻とする。3回の遅刻で1回の欠席とする。				
教科書				
「新 生物学実験テキスト」 東京医科歯科大学教養部生物学教室 編(2022 年版) 参考図書は随時紹介する。				
参考書				
ヒューマンバイオロジー：人体と生命／シルビア・S.メイダー 著, 坂井建雄, 岡田隆夫 監訳, 坂井建雄, 橋本尚詞, 小林靖, 渡邊卓, 貞森直樹, 岡田隆夫, 中谷敬 訳: 医学書院, 2005				
履修上の注意事項				
欠席は原則認めない。 教員がとる出欠を優先し、授業開始時間(13:10)に席についていない場合は遅刻とする。3回の遅刻で欠席とする。				
連絡先(メールアドレス)				
松本 幸久:yukihisa.las@tmd.ac.jp 服部 淳彦:ahattori.las@tmd.ac.jp 伊藤 正則:itohmt.las@tmd.ac.jp				
オフィスアワー				
松本 幸久:毎週月曜日 PM.4:30-6:00 ヒポクラテスホール 3 階生物教員実験室 服部 淳彦:毎週 水曜:12:30~14:00 金曜:10:30~12:30 ヒポ 4F 教員研究室(A2) 伊藤 正則:毎週月曜日 AM.10:00-PM.2:00 ヒポクラテスホール4階生物学教員研究室				

時間割番号	000241																																					
科目名	科学基礎実験Ⅰ	科目ID	LA-116201-Z																																			
担当教員	奈良 雅之, 服部 淳彦, 檜枝 光憲, 伊藤 正則, 澤野 頼子, 松本 幸久, 勝又 敏行, 越野 和樹[NARA MASAYUKI, HATTORI ATSUHIKO, HIEDA MITSUNORI, ITO MASANORI, SAWANO YORIKO, MATSUMOTO YUKIHISA, KATSUMATA TOSHIYUKI, KOSHINO KAZUKI]																																					
開講時期	2022 年度通年	対象年次	1																																			
実務経験のある教員による授業	<ul style="list-style-type: none"> ・曜日・時間: 木曜3～4限(変則的) ・対象学科: 保健衛生学科検査技術学専攻 ・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): <ul style="list-style-type: none"> 別表 2-2)自然現象を探究するための手法を知る 別表 4-3)自然現象を探究するための基本的な手法を身につける 																																					
授業の目的、概要等	<p>無機定性分析、容量分析、光学顕微鏡を用いた観察を主な実験テーマとして基本操作を学び、実験に対する基本的な態度を身につける。1人1セットずつ実験器具が配布されることにより、各自が責任をもって実験に取り組む。危険な物質(硫化水素など)の扱い方、光学顕微鏡の使い方、一次記録の取り方、報告の書き方などを習得する。さらに、各自が興味を持ったテーマを見つけたし、そのテーマに関する実験に取り組む(考察実験)。</p>																																					
授業の到達目標	<p>実験ノートのきちんと取り、それを報告としてまとめ、発表することができる。さらに、自分でテーマを見つけ、実験を組み立てることができることを目標とする。</p> <p>担当教員の指示に従って、それぞれの課題に関して要求された内容を記載したレポート等をすべて提出することがレベルBに相当する。</p>																																					
授業計画	<table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>講義室</th> <th>担当教員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1-2</td> <td>4/21</td> <td>13:10-16:20</td> <td></td> <td>奈良 雅之, 服部 淳彦, 檜枝 光憲, 伊藤 正則, 澤野 頼子, 松本 幸久, 勝又 敏行, 越野 和樹</td> </tr> <tr> <td>3-4</td> <td>4/28</td> <td>13:10-16:20</td> <td></td> <td>奈良 雅之, 服部 淳彦, 檜枝 光憲, 伊藤 正則, 澤野 頼子, 松本 幸久, 勝又 敏行, 越野 和樹</td> </tr> <tr> <td>5-6</td> <td>5/26</td> <td>13:10-16:20</td> <td></td> <td>奈良 雅之, 服部 淳彦, 檜枝 光憲, 伊藤 正則, 澤野 頼子, 松本 幸久, 勝又 敏行, 越野 和樹</td> </tr> <tr> <td>7-8</td> <td>6/2</td> <td>13:10-16:20</td> <td></td> <td>奈良 雅之, 服部 淳彦, 檜枝 光憲, 伊藤 正則, 澤野 頼子, 松本 幸久, 勝又 敏行, 越野 和樹</td> </tr> <tr> <td>9-10</td> <td>6/23</td> <td>13:10-16:20</td> <td></td> <td>奈良 雅之, 服部 淳彦, 檜枝 光憲, 伊藤 正則, 澤野 頼子, 松本 幸久, 勝又 敏行, 越野 和樹</td> </tr> <tr> <td>11-12</td> <td>6/30</td> <td>13:10-16:20</td> <td></td> <td>奈良 雅之, 服部 淳彦, 檜枝 光憲, 伊藤 正則, 澤野 頼子, 松本 幸久, 勝又 敏行, 越野 和樹</td> </tr> </tbody> </table>			回	日付	時刻	講義室	担当教員	1-2	4/21	13:10-16:20		奈良 雅之, 服部 淳彦, 檜枝 光憲, 伊藤 正則, 澤野 頼子, 松本 幸久, 勝又 敏行, 越野 和樹	3-4	4/28	13:10-16:20		奈良 雅之, 服部 淳彦, 檜枝 光憲, 伊藤 正則, 澤野 頼子, 松本 幸久, 勝又 敏行, 越野 和樹	5-6	5/26	13:10-16:20		奈良 雅之, 服部 淳彦, 檜枝 光憲, 伊藤 正則, 澤野 頼子, 松本 幸久, 勝又 敏行, 越野 和樹	7-8	6/2	13:10-16:20		奈良 雅之, 服部 淳彦, 檜枝 光憲, 伊藤 正則, 澤野 頼子, 松本 幸久, 勝又 敏行, 越野 和樹	9-10	6/23	13:10-16:20		奈良 雅之, 服部 淳彦, 檜枝 光憲, 伊藤 正則, 澤野 頼子, 松本 幸久, 勝又 敏行, 越野 和樹	11-12	6/30	13:10-16:20		奈良 雅之, 服部 淳彦, 檜枝 光憲, 伊藤 正則, 澤野 頼子, 松本 幸久, 勝又 敏行, 越野 和樹
回	日付	時刻	講義室	担当教員																																		
1-2	4/21	13:10-16:20		奈良 雅之, 服部 淳彦, 檜枝 光憲, 伊藤 正則, 澤野 頼子, 松本 幸久, 勝又 敏行, 越野 和樹																																		
3-4	4/28	13:10-16:20		奈良 雅之, 服部 淳彦, 檜枝 光憲, 伊藤 正則, 澤野 頼子, 松本 幸久, 勝又 敏行, 越野 和樹																																		
5-6	5/26	13:10-16:20		奈良 雅之, 服部 淳彦, 檜枝 光憲, 伊藤 正則, 澤野 頼子, 松本 幸久, 勝又 敏行, 越野 和樹																																		
7-8	6/2	13:10-16:20		奈良 雅之, 服部 淳彦, 檜枝 光憲, 伊藤 正則, 澤野 頼子, 松本 幸久, 勝又 敏行, 越野 和樹																																		
9-10	6/23	13:10-16:20		奈良 雅之, 服部 淳彦, 檜枝 光憲, 伊藤 正則, 澤野 頼子, 松本 幸久, 勝又 敏行, 越野 和樹																																		
11-12	6/30	13:10-16:20		奈良 雅之, 服部 淳彦, 檜枝 光憲, 伊藤 正則, 澤野 頼子, 松本 幸久, 勝又 敏行, 越野 和樹																																		
授業方法	実習による																																					
授業内容	<ol style="list-style-type: none"> 1 物理学実験: 重力加速度の測定と統計誤差の扱い(1) 2 物理学実験: 重力加速度の測定と統計誤差の扱い(2) 3 生物学実験: 光学顕微鏡の使い方、血液塗抹標本の作成・観察 4 生物学実験: グループ学習(実験結果から疑問点の抽出と解決、発表用スライド作成) 5 生物学実験: 発表会 6 化学実験: 無機金属イオンの分析(1) 7 化学実験: 無機金属イオンの分析(2) 8 化学実験: 容量分析(1) 中和滴定(食酢中の酸の定量) 9 化学実験: 容量分析(2) キレート滴定(水道水中のカルシウムの定量) 																																					
成績評価の方法	<p>実験のため、実験中の取り組み記録の作成などを重視し以下の通りとする。</p> <p>物理学分野 25% 生物学分野 35% 化学分野 40%で評価する。</p> <p>化学分野では実験ノート(一次記録およびレポート)50%、</p>																																					

実験中の取り組み(面接・テストなどを含む)50%で評価する。

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習等についての具体的な指示

予習をして実験の内容をあらかじめ把握しておくこと。実験後はレポートを作成し、考察を行うこと。

教科書

化学実験(東京医科歯科大学教養部化学教室編)

参考書

最新臨床検査学講座 化学/奈良雅之:医歯薬出版, 2020

時間割番号	000242																																																																																																		
科目名	科学基礎実験 N・O・K	科目ID	LA-116202-Z																																																																																																
担当教員	澤野 頼子, 勝又 敏行, 奈良 雅之[SAWANO YORIKO, KATSUMATA TOSHIYUKI, NARA MASAYUKI]																																																																																																		
開講時期	2022 年度通年	対象年次	1																																																																																																
実務経験のある教員による授業																																																																																																			
<p>・曜日・時間: 木曜日3~4時限 前期: 実験、後期: 実験および演習 (実験は指定された回に出席すること)</p> <p>・対象学科: 保健衛生学科看護学専攻、口腔保健学科</p> <p>・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):</p> <p>2-1) 自然現象を科学的に探求するための方法論を知る</p> <p>2-2) 自然現象を探求するための手法を知る</p> <p>4-2) 生命現象・自然現象について総合的に理解するための基礎学力・思考力を身につける</p> <p>4-3) 自然現象を探求するための基本的手法を身につける</p>																																																																																																			
主な講義場所 前期: 7 番教室、化学実験室 後期: 化学実験室(実験)、未定(演習)																																																																																																			
授業の目的、概要等 実験では定性分析および容量分析を実験テーマとして基本操作を学び、実験に対する基本的な態度を身につけ、注意深い観察力、正確な判断力を身につける。1人 1 セットずつ実験器具が配布されることにより、各自が責任をもって実験に取り組む。危険な物質の扱い方、一次記録の取り方、報告の書き方などを習得する。 また、演習(化学および物理学)を通して、科学的な思考力を身につける。																																																																																																			
授業の到達目標 実験では、一次記録をきちんと取り、それを実験報告としてまとめることができる。 演習では、看護や口腔保健の専門科目で役立つ科学の基礎について、演習問題に取り組むことで理解を深める。 GPA における「B」(本試験合格レベル)の条件は、上記到達目標を概ね達成できたこととする。																																																																																																			
授業計画 <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>講義室</th> <th>授業題目</th> <th>担当教員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1-2</td> <td>5/12</td> <td>13:10-16:20</td> <td></td> <td>実験ガイダンス</td> <td>澤野 頼子, 奈良 雅之, 勝又 敏行</td> </tr> <tr> <td>3-4</td> <td>5/19</td> <td>13:10-16:20</td> <td></td> <td>実験 1 組</td> <td>澤野 頼子, 奈良 雅之, 勝又 敏行</td> </tr> <tr> <td>5-6</td> <td>6/9</td> <td>13:10-16:20</td> <td></td> <td>実験 2 組</td> <td>澤野 頼子, 奈良 雅之, 勝又 敏行</td> </tr> <tr> <td>7-8</td> <td>6/16</td> <td>13:10-16:20</td> <td></td> <td>実験 3 組</td> <td>澤野 頼子, 奈良 雅之, 勝又 敏行</td> </tr> <tr> <td>9-10</td> <td>7/7</td> <td>13:10-16:20</td> <td></td> <td>実験 1 組</td> <td>澤野 頼子, 奈良 雅之, 勝又 敏行</td> </tr> <tr> <td>11-12</td> <td>7/14</td> <td>13:10-16:20</td> <td></td> <td>実験 2 組</td> <td>澤野 頼子, 奈良 雅之, 勝又 敏行</td> </tr> <tr> <td>13-14</td> <td>7/28</td> <td>13:10-16:20</td> <td></td> <td>実験 3 組</td> <td>澤野 頼子, 奈良 雅之, 勝又 敏行</td> </tr> <tr> <td>15-16</td> <td>10/6</td> <td>13:10-16:20</td> <td></td> <td>演習(化学)</td> <td>澤野 頼子</td> </tr> <tr> <td>17</td> <td>10/13</td> <td>13:10-14:40</td> <td></td> <td>演習(化学)</td> <td>澤野 頼子</td> </tr> <tr> <td>18</td> <td>10/20</td> <td>13:10-14:40</td> <td></td> <td>演習(化学)</td> <td>澤野 頼子</td> </tr> <tr> <td>19-20</td> <td>10/27</td> <td>13:10-16:20</td> <td></td> <td>演習(物理)</td> <td>越野 和樹</td> </tr> <tr> <td>21-22</td> <td>11/10</td> <td>13:10-16:20</td> <td></td> <td>演習(物理)</td> <td>越野 和樹</td> </tr> <tr> <td>23-24</td> <td>11/24</td> <td>13:10-16:20</td> <td></td> <td>実験 1 組</td> <td>澤野 頼子, 奈良 雅之, 勝又 敏行</td> </tr> <tr> <td>25-26</td> <td>12/8</td> <td>13:10-16:20</td> <td></td> <td>実験 2 組</td> <td>澤野 頼子, 奈良 雅之, 勝又 敏行</td> </tr> <tr> <td>27-28</td> <td>12/15</td> <td>13:10-16:20</td> <td></td> <td>実験 3 組</td> <td>澤野 頼子, 奈良 雅之, 勝又 敏行</td> </tr> </tbody> </table>				回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員	1-2	5/12	13:10-16:20		実験ガイダンス	澤野 頼子, 奈良 雅之, 勝又 敏行	3-4	5/19	13:10-16:20		実験 1 組	澤野 頼子, 奈良 雅之, 勝又 敏行	5-6	6/9	13:10-16:20		実験 2 組	澤野 頼子, 奈良 雅之, 勝又 敏行	7-8	6/16	13:10-16:20		実験 3 組	澤野 頼子, 奈良 雅之, 勝又 敏行	9-10	7/7	13:10-16:20		実験 1 組	澤野 頼子, 奈良 雅之, 勝又 敏行	11-12	7/14	13:10-16:20		実験 2 組	澤野 頼子, 奈良 雅之, 勝又 敏行	13-14	7/28	13:10-16:20		実験 3 組	澤野 頼子, 奈良 雅之, 勝又 敏行	15-16	10/6	13:10-16:20		演習(化学)	澤野 頼子	17	10/13	13:10-14:40		演習(化学)	澤野 頼子	18	10/20	13:10-14:40		演習(化学)	澤野 頼子	19-20	10/27	13:10-16:20		演習(物理)	越野 和樹	21-22	11/10	13:10-16:20		演習(物理)	越野 和樹	23-24	11/24	13:10-16:20		実験 1 組	澤野 頼子, 奈良 雅之, 勝又 敏行	25-26	12/8	13:10-16:20		実験 2 組	澤野 頼子, 奈良 雅之, 勝又 敏行	27-28	12/15	13:10-16:20		実験 3 組	澤野 頼子, 奈良 雅之, 勝又 敏行
回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員																																																																																														
1-2	5/12	13:10-16:20		実験ガイダンス	澤野 頼子, 奈良 雅之, 勝又 敏行																																																																																														
3-4	5/19	13:10-16:20		実験 1 組	澤野 頼子, 奈良 雅之, 勝又 敏行																																																																																														
5-6	6/9	13:10-16:20		実験 2 組	澤野 頼子, 奈良 雅之, 勝又 敏行																																																																																														
7-8	6/16	13:10-16:20		実験 3 組	澤野 頼子, 奈良 雅之, 勝又 敏行																																																																																														
9-10	7/7	13:10-16:20		実験 1 組	澤野 頼子, 奈良 雅之, 勝又 敏行																																																																																														
11-12	7/14	13:10-16:20		実験 2 組	澤野 頼子, 奈良 雅之, 勝又 敏行																																																																																														
13-14	7/28	13:10-16:20		実験 3 組	澤野 頼子, 奈良 雅之, 勝又 敏行																																																																																														
15-16	10/6	13:10-16:20		演習(化学)	澤野 頼子																																																																																														
17	10/13	13:10-14:40		演習(化学)	澤野 頼子																																																																																														
18	10/20	13:10-14:40		演習(化学)	澤野 頼子																																																																																														
19-20	10/27	13:10-16:20		演習(物理)	越野 和樹																																																																																														
21-22	11/10	13:10-16:20		演習(物理)	越野 和樹																																																																																														
23-24	11/24	13:10-16:20		実験 1 組	澤野 頼子, 奈良 雅之, 勝又 敏行																																																																																														
25-26	12/8	13:10-16:20		実験 2 組	澤野 頼子, 奈良 雅之, 勝又 敏行																																																																																														
27-28	12/15	13:10-16:20		実験 3 組	澤野 頼子, 奈良 雅之, 勝又 敏行																																																																																														
授業方法 実習、講義、および演習による																																																																																																			
授業内容																																																																																																			

<p>1. 科学基礎実験総論/講義(一次記録の取り方、レポートの書き方、安全対策、数値の取り扱い等)/席決め/実験準備</p> <p>2. 無機定性分析(1)金属イオンの分析</p> <p>3. 無機定性分析(2)金属イオンの分析</p> <p>4. 容量分析:中和滴定(食酢中の酸の定量)</p> <p>5. 演習(化学)</p> <p>6. 演習(物理学)</p>
<p>成績評価の方法</p> <p>評価:実験(一次記録、報告30%・実験中の取り組み20%)・演習(試験40%・演習の参加度10%)</p> <p>実験中の取り組みや記録の作成、実験に対する考察、授業内容の理解度を測るために試験や演習などにより評価する。</p> <p>再評価:有(再評価方法 再試験)</p>
<p>成績評価の基準</p> <p>「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による</p>
<p>準備学習等についての具体的な指示</p> <p>実験においては、予習をして実験の内容をあらかじめ把握しておくこと。実験後はレポートを作成し、考察を行うこと。</p> <p>演習においては、講義資料(WebClass 等に掲載)にあらかじめ目を通しておく。</p>
<p>試験の受験資格</p> <p>3分の2以上出席</p>
<p>教科書</p> <p>「化学実験」(東京医科歯科大学教養部化学教室編)</p>
<p>参考書</p> <p>生命科学のための化学実験/高橋知義 ほか:東京教学社, 2018</p> <p>基礎化学実験 安全オリエンテーション/山口和也、山本仁:東京化学同人, 2007</p> <p>基礎化学実験/東京大学教養学部化学部会 編:東京化学同人, 2012</p> <p>系統看護学講座 化学/奈良、雅之:医学書院, 2018</p>
<p>履修上の注意事項</p> <p>出欠は授業開始時に教員がとる。出席が3分の2以上を満たさないと、不合格となる。</p>
<p>連絡先(メールアドレス)</p> <p>澤野 頼子:sawano.las@tmd.ac.jp</p> <p>奈良 雅之:nara.las@tmd.ac.jp</p> <p>勝又 敏行:katsumata.las@tmd.ac.jp</p>
<p>オフィスアワー</p> <p>澤野 頼子:毎週金曜日 PM.0:00-PM.1:00 ヒポクラテス 4 階</p> <p>奈良 雅之:毎週水曜日 PM.0:00-PM.2:00, 毎週金曜日 PM.0:00-PM.1:00 ヒポクラテス 4 階</p> <p>勝又 敏行:毎週金曜日 12:00-13:00 ヒポクラテス 2 階化学実験準備室</p>

時間割番号	000244			
科目名	情報科学 N	科目 ID	LA-116401-Z	
担当教員	徳永 伸一, 津垣 正男, 須藤 毅頭, 三家 雅弘, オムスンジェ, [TOKUNAGA SHINICHI, TSUGAKI MASAO, SUDO Takeaki, SANNKA Masahiro]			
開講時期	2022 年度前期	対象年次	1	
実務経験のある教員による授業				
曜日・時間:木曜3・4限(4/15 は3限または 4 限のいずれか、他は2コマ連続) 対象学科・専攻:保健衛生学科 看護学専攻				
主な講義場所 1 番教室				
授業の目的、概要等 情報科学技術に関する知識と、情報処理能力、論理的思考力を養成するために、以下の項目について学ぶ。 (1)情報処理:電子情報を活用するための基本的な技術。 (2)プログラミング:論理的な思考法およびコンピュータを用いた計算法、アルゴリズムの基礎。				
授業の到達目標 (1)情報処理:Eメール、テキストエディタ、タイピング、HTML等の基本的な知識および技術を習得する。 (2)プログラミング:Pythonを用いて数列の和の計算、約数の和の計算、順列・組合せの計算、ルーレット、数当てゲーム、三角関数を用いた図形の描画など、基本的なプログラムを作成できる。またそれらのプログラムを解読して実行結果を予測できる。				
授業計画				
回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	4/14	13:10-14:40		徳永 伸一, 津垣 正男, 須藤 毅頭, 三家 雅弘
2-3	4/21	13:10-16:20		徳永 伸一, 津垣 正男, 須藤 毅頭, 三家 雅弘
4-5	4/28	13:10-16:20		徳永 伸一, 津垣 正男, 須藤 毅頭, 三家 雅弘
6-7	5/26	13:10-16:20		徳永 伸一, 津垣 正男, 須藤 毅頭, 三家 雅弘
8-9	6/2	13:10-16:20		徳永 伸一, 津垣 正男, 須藤 毅頭, 三家 雅弘
10-11	6/23	13:10-16:20		徳永 伸一, 津垣 正男, 須藤 毅頭, 三家 雅弘
12-13	6/30	13:10-16:20		徳永 伸一, 津垣 正男, 須藤 毅頭, 三家 雅弘
14-15	7/21	13:10-16:20		徳永 伸一, 津垣 正男, 須藤 毅頭, 三家 雅弘
授業方法 パソコンを用いた実習を中心とする。				
授業内容 第1回:Eメール(Webメール)・LMS利用法、パソコン・インターネットの基礎 第2・3回:キーボード操作とタイピング、日本語入力・テキストエディタ演習、 第4・5回:HTML演習 第6・7回:Python 概要と環境構築、プログラムの入力と実行、変数と演算、代入 第8・9回:Python 制御構造1(for文、while文等) 第10・11回:Python 制御構造2(if文、関数等) 第12・13回:Python グラフィックス 第14・15回:タイピング試験、成績評価に関わる演習等				
成績評価の方法 分野ごとに以下の通り評価し、得点を合計する。ただし原則として毎回授業に出席し、指示されたすべての課題を提出し合格することを必須とする。また筆記試験で6割以上得点すること、およびタイピング試験で指定された合格基準をクリアすることを必須とする。 (1)プログラミング:課題提出および学期末の試験による(約70点満点) (2)情報処理:タイピング試験、課題提出および試験による(約30点満点)				

なお本科目の再評価は、後期に実施する演習＋再試験 により行う。

【再評価について】

プログラミング試験、タイピング試験、および指定された課題のうち、1つでも不合格となった学生は再評価の対象となる。また試験および課題の不合格者に対しては、後期にも再評価の一環として演習やレポート、再試験等を課す。

なお再評価の上限は 70 点とする。

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による。

準備学習等についての具体的な指示

高校までの数学、特に二進法、多項式、三角関数、順列・組合せ等の基本的な知識を前提として行うので、事前に復習しておくこと。また、授業は段階的に進むので、各回の授業で疑問点を残さないように、質問と復習をしっかりと行うこと。

試験の受験資格

原則としてすべての授業に出席し、指定された課題をすべて提出すること。

(やむを得ぬ事情で欠席する場合は、Eメールにより連絡し指示を仰ぐこと)

教科書

Web上の教材を利用する。

他科目との関連

本科目で学ぶプログラミングを後期の「S・プログラミングで学ぶ幾何学デザイン」で応用します。

履修上の注意事項

実習形式の授業を行うので、原則としてすべての授業に出席し、指定された課題を提出することが評価の前提となる。やむを得ぬ事情で欠席する場合も、必ず Eメールにより連絡し、指示を仰ぐこと。また課題および試験で不合格となった学生に対しては、後期にも再評価を行う。

参照ホームページ

情報処理テキスト：http://www.tmd.ac.jp/artsci/math/lec/tokunaga/infolit_text.htm

連絡先(メールアドレス)

徳永 伸一:tokunaga.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

徳永 伸一:前期:

木曜 12:20-13:10(ヒポ 4F 徳永研究室またはヒポ 2F 計算機実習室)

後期:

金曜 12:20-13:10(ヒポ 4F 徳永研究室またはヒポ 2F 計算機実習室)

*いずれも計算機実習室で授業がある日なので、そちらにいることが多いです。

上記以外の時間帯でも、事前にEメールで連絡をもらえれば可能な限り対応します。

時間割番号	000245			
科目名	情報科学 T	科目 ID	LA-116402-Z	
担当教員	徳永 伸一, 津垣 正男[TOKUNAGA SHINICHI, TSUGAKI MASAO]			
開講時期	2022 年度前期	対象年次	1	
実務経験のある教員による授業				
曜日・時間: 木曜3・4限(4/15 は3限または 4 限のいずれか、他は2コマ連続) 対象学科・専攻: 保健衛生学科 検査技術専攻				
主な講義場所 1 番教室				
授業の目的、概要等 情報科学技術に関する知識と、情報処理能力、論理的思考力を養成するために、以下の項目について学ぶ。 (1)情報処理: 電子情報を活用するための基本的な技術。 (2)プログラミング: 論理的な思考法およびコンピュータを用いた計算法、アルゴリズムの基礎。				
授業の到達目標 (1)情報処理: Eメール、テキストエディタ、タイピング、HTML 等の基本的な知識および技術を習得する。 (2)プログラミング: Python を用いて数列の和の計算、約数の和の計算、順列・組合せの計算、ルーレット、数当てゲーム、三角関数を用いた図形の描画など、基本的なプログラムを作成できる。またそれらのプログラムを解読して実行結果を予測できる。				
授業計画				
回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	4/14	13:10-14:40		徳永 伸一, 津垣 正男
2-3	5/12	13:10-16:20		徳永 伸一, 津垣 正男
4-5	5/19	13:10-16:20		徳永 伸一, 津垣 正男
6-7	6/9	13:10-16:20		徳永 伸一, 津垣 正男
8-9	6/16	13:10-16:20		徳永 伸一, 津垣 正男
10-11	7/7	13:10-16:20		徳永 伸一, 津垣 正男
12-13	7/14	13:10-16:20		徳永 伸一, 津垣 正男
14-15	7/28	13:10-16:20		徳永 伸一, 津垣 正男
授業方法 パソコンを用いた実習を中心とする。				
授業内容 第1回: Eメール(Webメール)・LMS 利用法、パソコン・インターネットの基礎 第2・3回: キーボード操作とタイピング、日本語入力・テキストエディタ演習、 第4・5回: HTML 演習 第6・7回: Python 概要と環境構築、プログラムの入力と実行、変数と演算、代入 第8・9回: Python 制御構造1 (for 文、while 文等) 第10・11回: Python 制御構造2 (if 文、関数等) 第12・13回: Python グラフィックス 第14・15回: タイピング試験、成績評価に関わる演習等				
成績評価の方法 分野ごとに以下の通り評価し、得点を合計する。ただし原則として毎回授業に出席し、指示されたすべての課題を提出し合格することを必須とする。また筆記試験で6割以上得点すること、およびタイピング試験で指定された合格基準をクリアすることを必須とする。 (1)プログラミング: 課題提出および学期末の試験による(約70点満点) (2)情報処理: タイピング試験、課題提出および試験による(約30点満点) なお本科目の再評価は、後期に実施する演習+再試験により行う。				

<p>【再評価について】 プログラミング試験、タイピング試験、および指定された課題のうち、1つでも不合格となった学生は再評価の対象となる。また試験および課題の不合格者に対しては、後期にも再評価の一環として演習やレポート、再試験等を課す。 なお再評価の上限は 70 点とする。</p>
<p>成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による。</p>
<p>準備学習等についての具体的な指示 高校までの数学、特に二進法、多項式、三角関数、順列・組合せ等の基本的な知識を前提として行うので、事前に復習しておくこと。 また、授業は段階的に進むので、各回の授業で疑問点を残さないように、質問と復習をしっかりと行うこと。</p>
<p>試験の受験資格 原則としてすべての授業に出席し、指定された課題をすべて提出すること。 (やむを得ぬ事情で欠席する場合は、Eメールにより連絡し指示を仰ぐこと)</p>
<p>教科書 Web上の教材を利用する。</p>
<p>他科目との関連 本科目で学ぶプログラミングを後期の「S・プログラミングで学ぶ幾何学デザイン」で応用します。</p>
<p>履修上の注意事項 実習形式の授業を行うので、原則としてすべての授業に出席し、指定された課題を提出することが評価の前提となる。やむを得ぬ事情で欠席する場合も、必ず Eメールにより連絡し、指示を仰ぐこと。 また課題および試験で不合格となった学生に対しては、後期にも再評価を行う。</p>
<p>参照ホームページ 情報処理テキスト: http://www.tmd.ac.jp/artsci/math/lec/tokunaga/infolit_text.htm</p>
<p>連絡先(メールアドレス) 徳永 伸一: tokunaga.las@tmd.ac.jp</p>
<p>オフィスアワー 徳永 伸一: 前期: 木曜 12:20-13:10(ヒポ 4F 徳永研究室またはヒポ 2F 計算機実習室) 後期: 金曜 12:20-13:10(ヒポ 4F 徳永研究室またはヒポ 2F 計算機実習室) *いずれも計算機実習室で授業がある日なので、そちらにいることが多いです。 上記以外の時間帯でも、事前に Eメールで連絡をもらえれば可能な限り対応します。</p>

時間割番号	000246			
科目名	情報科学 O・K	科目 ID	LA-116403-Z	
担当教員	徳永 伸一, 津垣 正男, 須藤 毅頭, 三家 雅弘, オムスンジェ, [TOKUNAGA SHINICHI, TSUGAKI MASAO, SUDO Takeaki, SANNKA Masahiro]			
開講時期	2022 年度前期	対象年次	1	
実務経験のある教員による授業				
曜日・時間:木曜3・4限(4/15 は3限または 4 限のいずれか、他は2コマ連続) 対象学科・専攻:口腔保健学科				
主な講義場所 1 番教室				
授業の目的、概要等 情報科学技術に関する知識と、情報処理能力、論理的思考力を養成するために、以下の項目について学ぶ。 (1)情報処理:電子情報を活用するための基本的な技術。 (2)プログラミング:論理的な思考法およびコンピュータを用いた計算法、アルゴリズムの基礎。				
授業の到達目標 (1)情報処理:Eメール、テキストエディタ、タイピング、HTML等の基本的な知識および技術を習得する。 (2)プログラミング:Pythonを用いて数列の和の計算、約数の和の計算、順列・組合せの計算、ルーレット、数当てゲーム、三角関数を用いた図形の描画など、基本的なプログラムを作成できる。またそれらのプログラムを解読して実行結果を予測できる。				
授業計画				
回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	4/14	13:10-14:40		徳永 伸一, 津垣 正男, 須藤 毅頭, 三家 雅弘, オムスンジェ
2-3	4/21	13:10-16:20		徳永 伸一, 津垣 正男, 須藤 毅頭, 三家 雅弘, オムスンジェ
4-5	4/28	13:10-16:20		徳永 伸一, 津垣 正男, 須藤 毅頭, 三家 雅弘, オムスンジェ
6-7	5/26	13:10-16:20		徳永 伸一, 津垣 正男, 須藤 毅頭, 三家 雅弘, オムスンジェ
8-9	6/2	13:10-16:20		徳永 伸一, 津垣 正男, 須藤 毅頭, 三家 雅弘, オムスンジェ
10-11	6/23	13:10-16:20		徳永 伸一, 津垣 正男, 須藤 毅頭, 三家 雅弘, オムスンジェ
12-13	6/30	13:10-16:20		徳永 伸一, 津垣 正男, 須藤 毅頭, 三家 雅弘, オムスンジェ
14-15	7/21	13:10-16:20		徳永 伸一, 津垣 正男, 須藤 毅頭, 三家 雅弘, オムスンジェ
授業方法 パソコンを用いた実習を中心とする。				
授業内容 第1回:Eメール(Webメール)・LMS利用法、パソコン・インターネットの基礎 第2・3回:キーボード操作とタイピング、日本語入力・テキストエディタ演習、 第4・5回:HTML演習 第6・7回:Python 概要と環境構築、プログラムの入力と実行、変数と演算、代入 第8・9回:Python 制御構造1(for文、while文等) 第10・11回:Python 制御構造2(if文、関数等) 第12・13回:Python グラフィックス 第14・15回:タイピング試験、成績評価に関わる演習等				
成績評価の方法 分野ごとに以下の通り評価し、得点を合計する。ただし原則として毎回授業に出席し、指示されたすべての課題を提出し合格することを必須とする。また筆記試験で6割以上得点すること、およびタイピング試験で指定された合格基準をクリアすることを必須とする。 (1)プログラミング:課題提出および学期末の試験による(約70点満点) (2)情報処理:タイピング試験、課題提出および試験による(約30点満点)				

なお本科目の再評価は、後期に実施する演習＋再試験 により行う。

【再評価について】

プログラミング試験、タイピング試験、および指定された課題のうち、1つでも不合格となった学生は再評価の対象となる。また試験および課題の不合格者に対しては、後期にも再評価の一環として演習やレポート、再試験等を課す。

なお再評価の上限は 70 点とする。

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による。

準備学習等についての具体的な指示

高校までの数学、特に二進法、多項式、三角関数、順列・組合せ等の基本的な知識を前提として行うので、事前に復習しておくこと。また、授業は段階的に進むので、各回の授業で疑問点を残さないように、質問と復習をしっかりと行うこと。

試験の受験資格

原則としてすべての授業に出席し、指定された課題をすべて提出すること。

(やむを得ぬ事情で欠席する場合は、Eメールにより連絡し指示を仰ぐこと)

教科書

Web上の教材を利用する。

他科目との関連

本科目で学ぶプログラミングを後期の「S・プログラミングで学ぶ幾何学デザイン」で応用します。

履修上の注意事項

実習形式の授業を行うので、原則としてすべての授業に出席し、指定された課題を提出することが評価の前提となる。やむを得ぬ事情で欠席する場合も、必ずEメールにより連絡し、指示を仰ぐこと。また課題および試験で不合格となった学生に対しては、後期にも再評価を行う。

参照ホームページ

情報処理テキスト：http://www.tmd.ac.jp/artsci/math/lec/tokunaga/infolit_text.htm

連絡先(メールアドレス)

徳永 伸一:tokunaga.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

徳永 伸一:前期:

木曜 12:20-13:10(ヒポ 4F 徳永研究室またはヒポ 2F 計算機実習室)

後期:

金曜 12:20-13:10(ヒポ 4F 徳永研究室またはヒポ 2F 計算機実習室)

*いずれも計算機実習室で授業がある日なので、そちらにいることが多いです。
上記以外の時間帯でも、事前にEメールで連絡をもらえれば可能な限り対応します。

時間割番号	000248																																																																																		
科目名	情報処理(α)	科目ID	LA-116501-Z																																																																																
担当教員	徳永 伸一, 三家 雅弘[TOKUNAGA SHINICHI, SANNKA Masahiro]																																																																																		
開講時期	2022 年度前期	対象年次	1																																																																																
実務経験のある教員による授業																																																																																			
<p>曜日・時間: 木曜 1 限 対象学科・専攻: 医学科および歯学科(英語を 2 限に履修する学生)</p>																																																																																			
<p>主な講義場所 計算機実習室および 1 番教室 (詳細は掲示等にて通知するので各自確認すること)</p>																																																																																			
<p>授業の目的、概要等 医療情報教育や情報科学教育の基礎となるコンピュータ・リテラシーを学ぶ。 単に使用法を覚えるだけでなく、パソコンやインターネットのおおまかな仕組みを理解し、応用力を身につけることを目指す。</p>																																																																																			
<p>授業の到達目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Eメール、テキストエディタ、タイピング等の基本的な技術を習得する。 ・表計算ソフト(Excel)によるデータ処理、HTMLによるWebページ作成の基礎を習得する。 ・プログラミング言語(Python)の概要と基本的な利用法を習得する。 ・セキュリティや著作権に配慮したパソコン、インターネットの使用法を習得する。 																																																																																			
<p>授業計画</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>講義室</th> <th>担当教員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td>4/14</td><td>09:10-10:40</td><td></td><td>徳永 伸一, 三家 雅弘</td></tr> <tr><td>2</td><td>4/21</td><td>09:10-10:40</td><td></td><td>徳永 伸一, 三家 雅弘</td></tr> <tr><td>3</td><td>4/28</td><td>09:10-10:40</td><td></td><td>徳永 伸一, 三家 雅弘</td></tr> <tr><td>4</td><td>5/12</td><td>09:10-10:40</td><td></td><td>徳永 伸一, 三家 雅弘</td></tr> <tr><td>5</td><td>5/19</td><td>09:10-10:40</td><td></td><td>徳永 伸一, 三家 雅弘</td></tr> <tr><td>6</td><td>5/26</td><td>09:10-10:40</td><td></td><td>徳永 伸一, 三家 雅弘</td></tr> <tr><td>7</td><td>6/2</td><td>09:10-10:40</td><td></td><td>徳永 伸一, 三家 雅弘</td></tr> <tr><td>8</td><td>6/9</td><td>09:10-10:40</td><td></td><td>徳永 伸一, 三家 雅弘</td></tr> <tr><td>9</td><td>6/16</td><td>09:10-10:40</td><td></td><td>徳永 伸一, 三家 雅弘</td></tr> <tr><td>10</td><td>6/23</td><td>09:10-10:40</td><td></td><td>徳永 伸一, 三家 雅弘</td></tr> <tr><td>11</td><td>6/30</td><td>09:10-10:40</td><td></td><td>徳永 伸一, 三家 雅弘</td></tr> <tr><td>12</td><td>7/7</td><td>09:10-10:40</td><td></td><td>徳永 伸一, 三家 雅弘</td></tr> <tr><td>13</td><td>7/14</td><td>09:10-10:40</td><td></td><td>徳永 伸一, 三家 雅弘</td></tr> <tr><td>14</td><td>7/21</td><td>09:10-10:40</td><td></td><td>徳永 伸一, 三家 雅弘</td></tr> <tr><td>15</td><td>7/28</td><td>09:10-10:40</td><td></td><td>徳永 伸一, 三家 雅弘</td></tr> </tbody> </table>				回	日付	時刻	講義室	担当教員	1	4/14	09:10-10:40		徳永 伸一, 三家 雅弘	2	4/21	09:10-10:40		徳永 伸一, 三家 雅弘	3	4/28	09:10-10:40		徳永 伸一, 三家 雅弘	4	5/12	09:10-10:40		徳永 伸一, 三家 雅弘	5	5/19	09:10-10:40		徳永 伸一, 三家 雅弘	6	5/26	09:10-10:40		徳永 伸一, 三家 雅弘	7	6/2	09:10-10:40		徳永 伸一, 三家 雅弘	8	6/9	09:10-10:40		徳永 伸一, 三家 雅弘	9	6/16	09:10-10:40		徳永 伸一, 三家 雅弘	10	6/23	09:10-10:40		徳永 伸一, 三家 雅弘	11	6/30	09:10-10:40		徳永 伸一, 三家 雅弘	12	7/7	09:10-10:40		徳永 伸一, 三家 雅弘	13	7/14	09:10-10:40		徳永 伸一, 三家 雅弘	14	7/21	09:10-10:40		徳永 伸一, 三家 雅弘	15	7/28	09:10-10:40		徳永 伸一, 三家 雅弘
回	日付	時刻	講義室	担当教員																																																																															
1	4/14	09:10-10:40		徳永 伸一, 三家 雅弘																																																																															
2	4/21	09:10-10:40		徳永 伸一, 三家 雅弘																																																																															
3	4/28	09:10-10:40		徳永 伸一, 三家 雅弘																																																																															
4	5/12	09:10-10:40		徳永 伸一, 三家 雅弘																																																																															
5	5/19	09:10-10:40		徳永 伸一, 三家 雅弘																																																																															
6	5/26	09:10-10:40		徳永 伸一, 三家 雅弘																																																																															
7	6/2	09:10-10:40		徳永 伸一, 三家 雅弘																																																																															
8	6/9	09:10-10:40		徳永 伸一, 三家 雅弘																																																																															
9	6/16	09:10-10:40		徳永 伸一, 三家 雅弘																																																																															
10	6/23	09:10-10:40		徳永 伸一, 三家 雅弘																																																																															
11	6/30	09:10-10:40		徳永 伸一, 三家 雅弘																																																																															
12	7/7	09:10-10:40		徳永 伸一, 三家 雅弘																																																																															
13	7/14	09:10-10:40		徳永 伸一, 三家 雅弘																																																																															
14	7/21	09:10-10:40		徳永 伸一, 三家 雅弘																																																																															
15	7/28	09:10-10:40		徳永 伸一, 三家 雅弘																																																																															
<p>授業内容 第1回 Eメール(Webメール)・LMS 利用法、パソコン・インターネットの基礎 第2回 情報セキュリティ、著作権 第3回 タイピング演習、テキストエディタ演習 第4回 HTML 基礎 第5回 HTML 演習 第6回 Python 導入1</p>																																																																																			

- 第7回 Python 導入2
- 第8回 Excel 基礎
- 第9回 Excel 演習(1)
- 第10回 データ処理の基礎
- 第11回 Excel 演習(2)
- 第12回 Excel 演習(3)
- 第13回 総合演習1
- 第14回 総合演習2
- 第15回 タイピング試験

※授業は2クラスに分けて行い、一部スケジュール(学習順序)はクラスによって異なるので、上記の通りとは限らない。クラス分けおよびスケジュールの詳細は掲示等で確認すること。

成績評価の方法

出席および提出課題、タイピング試験による。実習の比重が高いので、出席は特に重視する。
習熟度や達成度に応じて一部出席を免除することもあるが、原則として、毎回出席の上、すべての課題を規定通り提出して合格し、かつタイピング試験にて合格基準をクリアすることを、単位取得のための必須条件とする。
★やむを得ぬ事情で欠席した場合はただちに担当教員に連絡し、指示を仰ぐこと。

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による。

準備学習等についての具体的な指示

実習に先立って講義が行われるので、講義内容をよく理解し、実習に備えること。またパソコンに触れる機会を日常的に持ち、操作に慣れること。特に、タイピング練習を日常的に行うこと。

教科書

Web 上の教材を利用する。

履修上の注意事項

無断欠席は履修の意思がないものと見なす。やむを得ぬ事情で欠席する場合も、必ず E メールにより連絡し、指示を仰ぐこと。

参照ホームページ

情報処理テキスト：http://www.tmd.ac.jp/artsci/math/lec/tokunaga/infolit_text.htm

時間割番号	000249																																																																																		
科目名	情報処理(β)	科目ID	LA-116502-Z																																																																																
担当教員	徳永 伸一, 三家 雅弘[TOKUNAGA SHINICHI, SANNA Masahiro]																																																																																		
開講時期	2022 年度前期	対象年次	1																																																																																
実務経験のある教員による授業																																																																																			
<p>曜日・時間: 木曜 2 限 対象学科・専攻: 医学科および歯学科(英語を 1 限に履修する学生)</p>																																																																																			
<p>主な講義場所 計算機実習室および 1 番教室 (詳細は掲示等にて通知するので各自確認すること)</p>																																																																																			
<p>授業の目的、概要等 医療情報教育や情報科学教育の基礎となるコンピュータ・リテラシーを学ぶ。 単に使用法を覚えるだけでなく、パソコンやインターネットのおおまかな仕組みを理解し、応用力を身につけることを目指す。</p>																																																																																			
<p>授業の到達目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Eメール、テキストエディタ、タイピング等の基本的な技術を習得する。 ・表計算ソフト(Excel)によるデータ処理、HTMLによるWebページ作成の基礎を習得する。 ・プログラミング言語(Python)の概要と基本的な利用法を習得する。 ・セキュリティや著作権に配慮したパソコン、インターネットの使用法を習得する。 																																																																																			
<p>授業計画</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>講義室</th> <th>担当教員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td>4/14</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>徳永 伸一, 三家 雅弘</td></tr> <tr><td>2</td><td>4/21</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>徳永 伸一, 三家 雅弘</td></tr> <tr><td>3</td><td>4/28</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>徳永 伸一, 三家 雅弘</td></tr> <tr><td>4</td><td>5/12</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>徳永 伸一, 三家 雅弘</td></tr> <tr><td>5</td><td>5/19</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>徳永 伸一, 三家 雅弘</td></tr> <tr><td>6</td><td>5/26</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>徳永 伸一, 三家 雅弘</td></tr> <tr><td>7</td><td>6/2</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>徳永 伸一, 三家 雅弘</td></tr> <tr><td>8</td><td>6/9</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>徳永 伸一, 三家 雅弘</td></tr> <tr><td>9</td><td>6/16</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>徳永 伸一, 三家 雅弘</td></tr> <tr><td>10</td><td>6/23</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>徳永 伸一, 三家 雅弘</td></tr> <tr><td>11</td><td>6/30</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>徳永 伸一, 三家 雅弘</td></tr> <tr><td>12</td><td>7/7</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>徳永 伸一, 三家 雅弘</td></tr> <tr><td>13</td><td>7/14</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>徳永 伸一, 三家 雅弘</td></tr> <tr><td>14</td><td>7/21</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>徳永 伸一, 三家 雅弘</td></tr> <tr><td>15</td><td>7/28</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>徳永 伸一, 三家 雅弘</td></tr> </tbody> </table>				回	日付	時刻	講義室	担当教員	1	4/14	10:50-12:20		徳永 伸一, 三家 雅弘	2	4/21	10:50-12:20		徳永 伸一, 三家 雅弘	3	4/28	10:50-12:20		徳永 伸一, 三家 雅弘	4	5/12	10:50-12:20		徳永 伸一, 三家 雅弘	5	5/19	10:50-12:20		徳永 伸一, 三家 雅弘	6	5/26	10:50-12:20		徳永 伸一, 三家 雅弘	7	6/2	10:50-12:20		徳永 伸一, 三家 雅弘	8	6/9	10:50-12:20		徳永 伸一, 三家 雅弘	9	6/16	10:50-12:20		徳永 伸一, 三家 雅弘	10	6/23	10:50-12:20		徳永 伸一, 三家 雅弘	11	6/30	10:50-12:20		徳永 伸一, 三家 雅弘	12	7/7	10:50-12:20		徳永 伸一, 三家 雅弘	13	7/14	10:50-12:20		徳永 伸一, 三家 雅弘	14	7/21	10:50-12:20		徳永 伸一, 三家 雅弘	15	7/28	10:50-12:20		徳永 伸一, 三家 雅弘
回	日付	時刻	講義室	担当教員																																																																															
1	4/14	10:50-12:20		徳永 伸一, 三家 雅弘																																																																															
2	4/21	10:50-12:20		徳永 伸一, 三家 雅弘																																																																															
3	4/28	10:50-12:20		徳永 伸一, 三家 雅弘																																																																															
4	5/12	10:50-12:20		徳永 伸一, 三家 雅弘																																																																															
5	5/19	10:50-12:20		徳永 伸一, 三家 雅弘																																																																															
6	5/26	10:50-12:20		徳永 伸一, 三家 雅弘																																																																															
7	6/2	10:50-12:20		徳永 伸一, 三家 雅弘																																																																															
8	6/9	10:50-12:20		徳永 伸一, 三家 雅弘																																																																															
9	6/16	10:50-12:20		徳永 伸一, 三家 雅弘																																																																															
10	6/23	10:50-12:20		徳永 伸一, 三家 雅弘																																																																															
11	6/30	10:50-12:20		徳永 伸一, 三家 雅弘																																																																															
12	7/7	10:50-12:20		徳永 伸一, 三家 雅弘																																																																															
13	7/14	10:50-12:20		徳永 伸一, 三家 雅弘																																																																															
14	7/21	10:50-12:20		徳永 伸一, 三家 雅弘																																																																															
15	7/28	10:50-12:20		徳永 伸一, 三家 雅弘																																																																															
<p>授業内容 第1回 Eメール(Webメール)・LMS 利用法、パソコン・インターネットの基礎 第2回 情報セキュリティ、著作権 第3回 タイピング演習、テキストエディタ演習 第4回 HTML 基礎 第5回 HTML 演習 第6回 Python 導入1</p>																																																																																			

- 第7回 Python 導入2
- 第8回 Excel 基礎
- 第9回 Excel 演習(1)
- 第10回 データ処理の基礎
- 第11回 Excel 演習(2)
- 第12回 Excel 演習(3)
- 第13回 総合演習1
- 第14回 総合演習2
- 第15回 タイピング試験

※授業は2クラスに分けて行い、一部スケジュール(学習順序)はクラスによって異なるので、上記の通りとは限らない。クラス分けおよびスケジュールの詳細は掲示等で確認すること。

成績評価の方法

出席および提出課題、タイピング試験による。実習の比重が高いので、出席は特に重視する。
習熟度や達成度に応じて一部出席を免除することもあるが、原則として、毎回出席の上、すべての課題を規定通り提出して合格し、かつタイピング試験にて合格基準をクリアすることを、単位取得のための必須条件とする。
★やむを得ぬ事情で欠席した場合はただちに担当教員に連絡し、指示を仰ぐこと。

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による。

準備学習等についての具体的な指示

実習に先立って講義が行われるので、講義内容をよく理解し、実習に備えること。またパソコンに触れる機会を日常的に持ち、操作に慣れること。特に、タイピング練習を日常的に行うこと。

教科書

Web上の教材を利用する。

履修上の注意事項

無断欠席は履修の意思がないものと見なす。やむを得ぬ事情で欠席する場合も、必ずEメールにより連絡し、指示を仰ぐこと。

参照ホームページ

情報処理テキスト：http://www.tmd.ac.jp/artsci/math/lec/tokunaga/infolit_text.htm

時間割番号	000250			科目ID	LA-116600-Z																																													
科目名	スポーツ・健康科学		科目ID	LA-116600-Z																																														
担当教員	山口 大輔[YAMAGUCHI DAISUKE]																																																	
開講時期	2022 年度後期	対象年次	1	単位数	1																																													
実務経験のある教員による授業																																																		
<p>曜日・時間:後期 木曜3限 対象学科:医学科・歯学科</p> <p>科目を履修して得られる能力(コンピテンシー) 別表: 1-1) 言語を通じた人間の創造的営みを理解する 1-4) 異なる空間の文化を理解する 1-5) 人間の思考の枠組みを知り、自らの思考を振り返る 1-7) 人間の心への理解を深める 1-9) 市民としての倫理観を養う</p>																																																		
<p>授業の目的、概要等</p> <p>本授業ではスポーツや医療の世界で活躍される様々な専門家からの講義を受け、ディスカッションすることで、社会における多種多様の生き方、考え方、価値観を知り、各々の今後の成長に繋げていく事を第一の目的とします。</p> <p>医療の世界では患者の健康の維持・獲得という目標に向かって沢山の専門家と”チーム”として動いていく必要が多く出てきます。そのために大切となるのが仲間の長所を活かし、それぞれの短所を補い合えるためのコミュニケーション能力です。専門家の「生き方」を知り、話し合うことで様々な考え方について触れられる機会となればと思います。</p>																																																		
<p>授業の到達目標</p> <ul style="list-style-type: none"> - 様々な専門分野での考え方や価値観を知る。 - 講義で得た事を自身の言葉に置き換えて周りと共有する。 - 将来へのイメージを掴む。 																																																		
<p>授業計画</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>講義室</th> <th>担当教員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>10/6</td> <td>13:10-14:40</td> <td></td> <td>山口 大輔</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>10/20</td> <td>13:10-14:40</td> <td></td> <td>山口 大輔</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>11/10</td> <td>13:10-14:40</td> <td></td> <td>山口 大輔</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>11/24</td> <td>13:10-14:40</td> <td></td> <td>山口 大輔</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>12/8</td> <td>13:10-14:40</td> <td></td> <td>山口 大輔</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>12/22</td> <td>13:10-14:40</td> <td></td> <td>山口 大輔</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>1/12</td> <td>13:10-14:40</td> <td></td> <td>山口 大輔</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>1/26</td> <td>13:10-14:40</td> <td></td> <td>山口 大輔</td> </tr> </tbody> </table>						回	日付	時刻	講義室	担当教員	1	10/6	13:10-14:40		山口 大輔	2	10/20	13:10-14:40		山口 大輔	3	11/10	13:10-14:40		山口 大輔	4	11/24	13:10-14:40		山口 大輔	5	12/8	13:10-14:40		山口 大輔	6	12/22	13:10-14:40		山口 大輔	7	1/12	13:10-14:40		山口 大輔	8	1/26	13:10-14:40		山口 大輔
回	日付	時刻	講義室	担当教員																																														
1	10/6	13:10-14:40		山口 大輔																																														
2	10/20	13:10-14:40		山口 大輔																																														
3	11/10	13:10-14:40		山口 大輔																																														
4	11/24	13:10-14:40		山口 大輔																																														
5	12/8	13:10-14:40		山口 大輔																																														
6	12/22	13:10-14:40		山口 大輔																																														
7	1/12	13:10-14:40		山口 大輔																																														
8	1/26	13:10-14:40		山口 大輔																																														
<p>授業方法</p> <p>授業は講義形式が中心ですが、その中での討論(意見交換)も重視します。授業は、内容別にそれぞれの専門家が分担で行います。昨今の新型コロナウイルス感染症の拡大状況によっては対面で行えるか、オンラインとなるかは都度変更されます。</p>																																																		
<p>授業内容</p> <p>計8回、隔週実施で構成される本授業では、スポーツや医療の世界で活躍されている専門家の方々を招き現在に至るまでの経緯や、</p>																																																		

それぞれの分野の魅力、苦悩などをはじめとした様々な話をして頂きます。

講義の後に質疑応答や、ディスカッションを行いながらクラス全体での理解を深めていきます。

毎授業後には各自ショートレポートを書き出す事で得た考えをそれぞれの未来にどのように繋げていけるか、イメージを膨らませてもらいたいと思います。

成績評価の方法

評価: 参加度 50%、レポート 50%

再評価: 有 (レポート等による)

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習等についての具体的な指示

単に授業に参加するだけでなく、今後自身の生活や仕事のあり方に本授業で学ぶ事をどう繋げていけるかイメージを持ちながら授業に参加する事が大切になります。声を大きく上げる事が必ずしも重要ではありませんが、自身の感じた事、思った事を周りの考えに流される事なく素直に伝えられるよう、心構えをお願いします。

試験の受験資格

原則全授業の 3/4 以上の出席を受験(評価対象)の資格とします。また、授業目的達成度の評価としてレポートも使用します。

他科目との関連

実習系科目であるフィットネスマネジメントとの有機的な融合を図ることで、より効果が上がるように設計されています。

連絡先(メールアドレス)

山口 大輔:diceyamaguchi.ssc@tmd.ac.jp

時間割番号	000251			科目ID	LA-116600-Z																																													
科目名	スポーツ・健康科学																																																	
担当教員	山口 大輔[YAMAGUCHI DAISUKE]																																																	
開講時期	2022 年度後期	対象年次	1	単位数	1																																													
実務経験のある教員による授業																																																		
<p>曜日・時間:後期 金曜3限 対象学科:保健衛生学科・口腔保健学科</p> <p>科目を履修して得られる能力(コンピテンシー) 別表: 1-1) 言語を通じた人間の創造的営みを理解する 1-4) 異なる空間の文化を理解する 1-5) 人間の思考の枠組みを知り、自らの思考を振り返る 1-7) 人間の心への理解を深める 1-9) 市民としての倫理観を養う</p>																																																		
<p>授業の目的、概要等</p> <p>本授業ではスポーツや医療の世界で活躍される様々な専門家からの講義を受け、ディスカッションすることで、社会における多種多様の生き方、考え方、価値観を知り、各々の今後の成長に繋げていく事を第一の目的とします。</p> <p>医療の世界では患者の健康の維持・獲得という目標に向かって沢山の専門家と”チーム”として動いていく必要が多く出てきます。そのために大切となるのが仲間の長所を活かし、それぞれの短所を補い合えるためのコミュニケーション能力です。専門家の「生き方」を知り、話し合うことで様々な考え方について触れられる機会となればと思います。</p>																																																		
<p>授業の到達目標</p> <ul style="list-style-type: none"> - 様々な専門分野での考え方や価値観を知る。 - 講義で得た事を自身の言葉に置き換えて周りと共有する。 - 将来へのイメージを掴む。 																																																		
<p>授業計画</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>講義室</th> <th>担当教員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>10/7</td> <td>13:10-14:40</td> <td></td> <td>山口 大輔</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>10/21</td> <td>13:10-14:40</td> <td></td> <td>山口 大輔</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>11/4</td> <td>13:10-14:40</td> <td></td> <td>山口 大輔</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>11/18</td> <td>13:10-14:40</td> <td></td> <td>山口 大輔</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>12/2</td> <td>13:10-14:40</td> <td></td> <td>山口 大輔</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>12/16</td> <td>13:10-14:40</td> <td></td> <td>山口 大輔</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>1/13</td> <td>13:10-14:40</td> <td></td> <td>山口 大輔</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>1/27</td> <td>13:10-14:40</td> <td></td> <td>山口 大輔</td> </tr> </tbody> </table>						回	日付	時刻	講義室	担当教員	1	10/7	13:10-14:40		山口 大輔	2	10/21	13:10-14:40		山口 大輔	3	11/4	13:10-14:40		山口 大輔	4	11/18	13:10-14:40		山口 大輔	5	12/2	13:10-14:40		山口 大輔	6	12/16	13:10-14:40		山口 大輔	7	1/13	13:10-14:40		山口 大輔	8	1/27	13:10-14:40		山口 大輔
回	日付	時刻	講義室	担当教員																																														
1	10/7	13:10-14:40		山口 大輔																																														
2	10/21	13:10-14:40		山口 大輔																																														
3	11/4	13:10-14:40		山口 大輔																																														
4	11/18	13:10-14:40		山口 大輔																																														
5	12/2	13:10-14:40		山口 大輔																																														
6	12/16	13:10-14:40		山口 大輔																																														
7	1/13	13:10-14:40		山口 大輔																																														
8	1/27	13:10-14:40		山口 大輔																																														
<p>授業方法</p> <p>授業は講義形式が中心ですが、その中での討論(意見交換)も重視します。授業は、内容別にそれぞれの専門家が分担で行います。昨今の新型コロナウイルス感染症の拡大状況によっては対面で行えるか、オンラインとなるかは都度変更されます。</p>																																																		
<p>授業内容</p> <p>計8回、隔週実施で構成される本授業では、スポーツや医療の世界で活躍されている専門家の方々を招き現在に至るまでの経緯や、</p>																																																		

<p>それぞれの分野の魅力、苦悩などをはじめとした様々な話をして頂きます。</p> <p>講義の後に質疑応答や、ディスカッションを行いながらクラス全体での理解を深めていきます。</p> <p>毎授業後には各自ショートレポートを書き出す事で得た考えをそれぞれの未来にどのように繋げていけるか、イメージを膨らませてもらいたいと思います。</p>
<p>成績評価の方法</p> <p>評価: 参加度 50%、レポート 50%</p> <p>再評価: 有 (レポート等による)</p>
<p>成績評価の基準</p> <p>「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による</p>
<p>準備学習等についての具体的な指示</p> <p>単に授業に参加するだけでなく、今後自身の生活や仕事のあり方に本授業で学ぶ事をどう繋げていけるかイメージを持ちながら授業に参加する事が大切になります。声を大きく上げる事が必ずしも重要ではありませんが、自身の感じた事、思った事を周りの考えに流される事なく素直に伝えられるよう、心構えをお願いします。</p>
<p>試験の受験資格</p> <p>原則全授業の 3/4 以上の出席を受験(評価対象)の資格とします。また、授業目的達成度の評価としてレポートも使用します。</p>
<p>他科目との関連</p> <p>実習系科目であるフィットネスマネジメントとの有機的な融合を図ることで、より効果が上がるように設計されています。</p>
<p>連絡先(メールアドレス)</p> <p>山口 大輔:diceyamaguchi.ssc@tmd.ac.jp</p>

時間割番号	000256				
科目名	物理学 I	科目ID	LA-114300-Z		
担当教員					
開講時期	2022 年度前期	対象年次	1	単位数	1
実務経験のある教員による授業					
準備学習等についての具体的な指示					

時間割番号	000257			
科目名	物理学 I M	科目 ID	LA-114301-Z	
担当教員	檜枝 光憲[HIEDA MITSUNORI]			
開講時期	2022 年度前期	対象年次	1	
実務経験のある教員による授業				
対象学科: 医学科 科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 別表2-1)、別表4-2)				
授業の目的、概要等				
<p>力学は電磁気学と並んで物理学の基礎をなす重要な分野です。物体の落下運動など目で見える力学現象は皆さんの身の回りで起こることであり馴染みがあるでしょう。すでに高校物理でも力学を学び、様々な物体の運動(投げたボールの軌跡、人工衛星の軌道、バネの振動など)の未来の状況(たとえば位置と速度)がわかってしまうことに感動した諸君も多いかもしれません。本講義では微積分を使って大学レベルに発展させ、様々な物体の運動の解析に応用できるようにしていきます。</p>				
授業の到達目標				
<p>物体の運動が微分方程式で書けることを理解する。 様々な保存則が導出できることを理解する。 ニュートンの運動方程式(微分方程式)と様々な保存則を使い、いろいろな力学系の運動を解析できるようになる。 剛体の力学の基礎を理解する。</p>				
授業計画				
回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	4/13	16:00-17:30		檜枝 光憲
2	4/20	16:00-17:30		檜枝 光憲
3	4/27	16:00-17:30		檜枝 光憲
4	5/11	16:00-17:30		檜枝 光憲
5	5/18	16:00-17:30		檜枝 光憲
6	5/25	16:00-17:30		檜枝 光憲
7	6/1	16:00-17:30		檜枝 光憲
8	6/8	16:00-17:30		檜枝 光憲
9	6/15	16:00-17:30		檜枝 光憲
10	6/22	16:00-17:30		檜枝 光憲
11	6/29	16:00-17:30		檜枝 光憲
12	7/6	16:00-17:30		檜枝 光憲
13	7/13	16:00-17:30		檜枝 光憲
14	7/20	16:00-17:30		檜枝 光憲
15	7/27	16:00-17:30		檜枝 光憲
授業方法				
講義とアクティブ・ラーニング(演習、議論、etc)				
授業内容				
1 物理のための数学基礎 2 力と運動 1: 運動と微積分 3 力と運動 2: 運動方程式 4 力と運動 3: エネルギー保存則、束縛運動 5 単振動と指数関数による解法、減衰振動 6 強制振動 7 非慣性系と座標変換 8 仕事と線積分、保存力 9 惑星の運動、角運動量保存				

<p>10 剛体の力学 1 11 剛体の力学 2 12 剛体の力学 3 13 剛体の力学 4 14 流体の物理入門 15 期末テスト</p>
<p>成績評価の方法 授業の到達目標の達成度を主に期末テストおよび授業内演習の提出状況により評価する。</p> <p>評価 : 試験 50% 演習課題 50%</p> <p>再評価: 有</p>
<p>成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による</p>
<p>準備学習等についての具体的な指示 授業後にきちんと復習すること。</p>
<p>試験の受験資格 原則 2/3 以上の出席が必要</p>
<p>教科書 力学／川村清 著:裳華房, 1998</p>
<p>履修上の注意事項 原則 2/3 以上の出席が必要。 出欠管理システムより、教員自身が取れる出欠を優先させる。</p>
<p>備考 授業アンケートへの対応: 2019 年度 授業内容に関する大きな批判はありませんでした。 2020 年度 授業内容に関する大きな批判はありませんでした。</p>
<p>連絡先(メールアドレス) hieda.las@tmd.ac.jp</p>
<p>オフィスアワー 毎週金曜日 16:30～17:30 ヒポ 4F 教員研究室 3</p>

時間割番号	000258																																																																													
科目名	物理学 I D・T	科目ID	LA-114302-Z																																																																											
担当教員	越野 和樹[KOSHINO KAZUKI]																																																																													
開講時期	2022 年度前期	対象年次	1																																																																											
実務経験のある教員による授業																																																																														
<p>・曜日・時間: 時間割を参照のこと</p> <p>・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー)</p> <p>別表2-1)</p> <p>別表4-2)</p>																																																																														
主な講義場所 7番教室(予定)																																																																														
授業の目的、概要等 <p>ボールの運動から太陽のまわりを回る惑星の運動にいたるまで、我々の身の回りで見られる殆どの運動は、17世紀にニュートンによりまとめられた「ニュートン力学」によって定量的に説明できます。ニュートン力学によれば、運動方程式や万有引力の法則などの数個の基本法則に基づいて、あらゆる物理現象を統一的かつ定量的に説明することができます。また、基本法則を発展させることによって、エネルギー保存のような新しい概念を導出することができます。力学を学ぶことによって、物体の運動の基本法則を知ると同時に、基本法則に基づいて物理現象を理解しようとする考え方や、基本法則をどのように具体的事象に適用してゆくかを学びます。具体的には、(i)物体の運動が微分方程式という言葉で表現されること、(ii)基本方程式から様々な保存則が導かれること、(iii)それらを適用して実際の物体の運動を予言すること、を学びます。</p> <p>物理学では、これまでに積み重ねられてきた知識は、抽象的な「法則」としてまとめられており、教科書や講義ではそれらの法則を中心に学びます。一方、自分自身で実際に手を動かして、これらの抽象的法則を様々な具体的対象に適用してみることにより、物理学に対する理解は格段に深まります。本科目では、講義中に演習問題を用意しますから、講義の場でそれらを解き、講義時間のうちに内容を理解することを目指して下さい。</p>																																																																														
授業の到達目標 ニュートン力学の提供する世界観を理解し、その現実系への適用技法に熟達すること。具体的には、 <ul style="list-style-type: none"> - 物体の運動が微分方程式という言葉で表現されることを理解する。 - 基本方程式から様々な保存則を導出する。 - 運動方程式や保存則を適用して実際の物体の運動を予言できるようになる。 GPAにおける「B」(本試験合格レベル)の条件は、演習を7割程度解答できることとする。																																																																														
授業計画 <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>講義室</th> <th>担当教員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td>4/13</td><td>14:20-15:50</td><td></td><td>越野 和樹</td></tr> <tr><td>2</td><td>4/20</td><td>14:20-15:50</td><td></td><td>越野 和樹</td></tr> <tr><td>3</td><td>4/27</td><td>14:20-15:50</td><td></td><td>越野 和樹</td></tr> <tr><td>4</td><td>5/11</td><td>14:20-15:50</td><td></td><td>越野 和樹</td></tr> <tr><td>5</td><td>5/18</td><td>14:20-15:50</td><td></td><td>越野 和樹</td></tr> <tr><td>6</td><td>5/25</td><td>14:20-15:50</td><td></td><td>越野 和樹</td></tr> <tr><td>7</td><td>6/1</td><td>14:20-15:50</td><td></td><td>越野 和樹</td></tr> <tr><td>8</td><td>6/8</td><td>14:20-15:50</td><td></td><td>越野 和樹</td></tr> <tr><td>9</td><td>6/15</td><td>14:20-15:50</td><td></td><td>越野 和樹</td></tr> <tr><td>10</td><td>6/22</td><td>14:20-15:50</td><td></td><td>越野 和樹</td></tr> <tr><td>11</td><td>6/29</td><td>14:20-15:50</td><td></td><td>越野 和樹</td></tr> <tr><td>12</td><td>7/6</td><td>14:20-15:50</td><td></td><td>越野 和樹</td></tr> <tr><td>13</td><td>7/13</td><td>14:20-15:50</td><td></td><td>越野 和樹</td></tr> <tr><td>14</td><td>7/20</td><td>14:20-15:50</td><td></td><td>越野 和樹</td></tr> </tbody> </table>				回	日付	時刻	講義室	担当教員	1	4/13	14:20-15:50		越野 和樹	2	4/20	14:20-15:50		越野 和樹	3	4/27	14:20-15:50		越野 和樹	4	5/11	14:20-15:50		越野 和樹	5	5/18	14:20-15:50		越野 和樹	6	5/25	14:20-15:50		越野 和樹	7	6/1	14:20-15:50		越野 和樹	8	6/8	14:20-15:50		越野 和樹	9	6/15	14:20-15:50		越野 和樹	10	6/22	14:20-15:50		越野 和樹	11	6/29	14:20-15:50		越野 和樹	12	7/6	14:20-15:50		越野 和樹	13	7/13	14:20-15:50		越野 和樹	14	7/20	14:20-15:50		越野 和樹
回	日付	時刻	講義室	担当教員																																																																										
1	4/13	14:20-15:50		越野 和樹																																																																										
2	4/20	14:20-15:50		越野 和樹																																																																										
3	4/27	14:20-15:50		越野 和樹																																																																										
4	5/11	14:20-15:50		越野 和樹																																																																										
5	5/18	14:20-15:50		越野 和樹																																																																										
6	5/25	14:20-15:50		越野 和樹																																																																										
7	6/1	14:20-15:50		越野 和樹																																																																										
8	6/8	14:20-15:50		越野 和樹																																																																										
9	6/15	14:20-15:50		越野 和樹																																																																										
10	6/22	14:20-15:50		越野 和樹																																																																										
11	6/29	14:20-15:50		越野 和樹																																																																										
12	7/6	14:20-15:50		越野 和樹																																																																										
13	7/13	14:20-15:50		越野 和樹																																																																										
14	7/20	14:20-15:50		越野 和樹																																																																										

15	7/27	14:20-15:50	越野 和樹
授業方法			
講義およびアクティブラーニング(演習や討論など)による			
授業内容			
運動と力/さまざまな力/エネルギー保存則・運動量保存則/さまざまな運動			
成績評価の方法			
評価: 期末考査および授業への参加度			
再評価: 上記評価が6割未満の者に対して再試験を行う			
授業内容の理解度を測るために期末考査や演習を行い, その成績および授業への参加度で評価を行う.			
成績評価の基準			
「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による			
準備学習等についての具体的な指示			
講義資料をあらかじめダウンロードし(URLは別途指示)印刷しておくことを前提とする.			
試験の受験資格			
初回の講義において説明する			
教科書			
基礎物理学力学/秋光純, 秋光正子, 松川宏, 越野和樹 共著, : 培風館, 2016			
履修上の注意事項			
出欠管理システムの記録より, 教員がとる出欠を優先させる.			
連絡先(メールアドレス)			
ikuzak.las@tmd.ac.jp			
オフィスアワー			
毎週月曜日 12:00-13:00 ヒポクラテス 4 階			

時間割番号	000259				
科目名	物理学Ⅱ	科目ID	LA-114500-Z		
担当教員					
開講時期	2022年度後期	対象年次	1	単位数	1
実務経験のある教員による授業					
準備学習等についての具体的な指示					

時間割番号	000260			
科目名	物理学ⅡM	科目ID	LA-114501-Z	
担当教員	檜枝 光憲[HIEDA MITSUNORI]			
開講時期	2022 年度後期	対象年次	1	
実務経験のある教員による授業				
対象学科: 医学科 科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 別表2-1)、別表4-2)				
授業の目的、概要等				
電磁気学は力学と並んで物理学の基礎をなす重要な分野です。リニアモーターカーやハイブリッド車用モーターなどほとんどの電気・電子技術が電磁気学と関係しています。また、医療技術や人体においても電流、磁気、電磁波など電磁気学は重要な要素であると言って良いでしょう。しかしながら、電磁気学は力学と比較すると難しいという印象があるようです。その理由は、私たちは物体を動かしたり力をかけたりなど日常的に力学現象を経験しているのに対して、電磁気学については日常の中で経験している実感が皆無であるためと思われます(例えば電場や磁場というのは電荷や電流によって空間に生じる変化であり目に見えない)。本講義では電磁気学に関する基本的事項やそれに関わる現象・実験事実を丁寧に説明し、電磁気学の基本法則であるマクスウェル方程式を導出していきます。さらに電磁波の波動方程式を導き、音波と波動性という共通概念で書かれることを学んでいきます。				
授業の到達目標				
電磁気学に関する基本的事項やそれに関わる現象・実験事実を学び、電磁気学の基本法則であるマクスウェル方程式を導出できるようになる。また学んだ知識を応用し、いろいろな電磁気学現象を解析できるようになる。 さらに電磁波と音波が同じ波動性という共通の概念で書かれることを学ぶ。				
授業計画				
回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	10/5	16:00-17:30		檜枝 光憲
2	10/19	16:00-17:30		檜枝 光憲
3	10/26	16:00-17:30		檜枝 光憲
4	11/2	16:00-17:30		檜枝 光憲
5	11/9	16:00-17:30		檜枝 光憲
6	11/16	16:00-17:30		檜枝 光憲
7	11/30	16:00-17:30		檜枝 光憲
8	12/7	16:00-17:30		檜枝 光憲
9	12/14	16:00-17:30		檜枝 光憲
10	12/21	16:00-17:30		檜枝 光憲
11	1/4	16:00-17:30		檜枝 光憲
12	1/11	16:00-17:30		檜枝 光憲
13	1/18	16:00-17:30		檜枝 光憲
14	1/25	16:00-17:30		檜枝 光憲
15	2/1	16:00-17:30		檜枝 光憲
授業方法				
講義とアクティブ・ラーニング(演習、議論、etc)				
授業内容				
1. イントロダクション : ベクトル解析 発散と回転 2. 静電場1 : 積分形のガウスの法則 3. 静電場2 : 微分形のガウスの法則 4. 静電場3 : 静電ポテンシャル(電位) 5. 電気双極子 6. コンデンサーと静電場エネルギー 7. 静磁場1 : 磁場に関するガウスの法則				

8. 静磁場 2 : アンペールの法則、ビオ・サバールの法則 9. 時間的に変動する電場と磁場 10. 電磁波の波動方程式 11. 物質中の波動 : 音波の波動方程式 12. 物質中の波動 2 : 音波の反射・透過 13. 物質中の波動 3: 波形解析の物理 14. 期末テスト 15. まとめ
成績評価の方法 授業の到達目標の達成度を主に中間・期末テストおよび授業内演習の提出状況により評価する。 評価 : 試験 50% 演習課題 50% 再評価: 有
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による
準備学習等についての具体的な指示 授業後はきちんと復習すること。
試験の受験資格 原則 2/3 以上の出席が必要
参考書 電磁気学の考え方 / 砂川 重信 / 著, 岩波書店, 1993 物理学 / 小出昭一郎 著, 裳華房, 1997 振動と波 / 長岡洋介 著, 裳華房, 1992
備考 授業アンケートへの対応: 2019 年度 授業内容に関する指摘は特になかった。 2020 年度 授業内容に関する指摘は特になかった。
連絡先(メールアドレス) hieda.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー 毎週金曜日 16:30~17:30 ヒポ 4F 教員研究室 3

時間割番号	000261																																																																																		
科目名	物理学ⅡD・T	科目ID	LA-114502-Z																																																																																
担当教員	越野 和樹[KOSHINO KAZUKI]																																																																																		
開講時期	2022 年度後期	対象年次	1																																																																																
実務経験のある教員による授業																																																																																			
<p>・曜日・時間: 時間割を参照のこと</p> <p>・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー)</p> <p>別表2-1)</p> <p>別表4-2)</p>																																																																																			
<p>授業の目的、概要等</p> <p>電界の基本概念、時間的に変化しない(定常的な)電荷分布とそれが作る電界との定量的な関係、自由電荷を有する導体を作る電界および導体を組み合わせたコンデンサー、電荷分布によるエネルギー、についての基本を学ぶ。さらに、磁束密度の基本概念、電流に作用する力と磁束密度との定量的な関係、定常的な電流分布とそれが作る磁束密度との定量的な関係、についての基本を学ぶ。物理学では、これまでに積み重ねられてきた知識は、抽象的な「法則」としてまとめられており、教科書や講義ではそれらの法則を中心に学びます。一方、自分自身で実際に手を動かして、これらの抽象的法則を様々な具体的対象に適用してみることで、物理学に対する理解は格段に深まります。本科目では、講義中に演習問題を用意しますから、講義の場でそれらを解き、講義時間のうちに内容を理解することを目指して下さい。</p>																																																																																			
<p>授業の到達目標</p> <p>マクスウェル方程式(積分形)による電磁気学の体系を理解し、その現実系への適用技法に熟達すること。具体的には、「単純な電荷分布が作る電界」「電位と電界との関係」「コンデンサー」「磁束密度が電流に及ぼす力」「電流分布が作る磁束密度」といった項目について、基本的な考え方を理解し、これらに関する応用問題を解決できるようになること。</p> <p>GPAにおける「B」(本試験合格レベル)の条件は、演習を7割程度解答できることとする。</p>																																																																																			
<p>授業計画</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>講義室</th> <th>担当教員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td>10/5</td><td>16:00-17:30</td><td></td><td>越野 和樹</td></tr> <tr><td>2</td><td>10/19</td><td>16:00-17:30</td><td></td><td>越野 和樹</td></tr> <tr><td>3</td><td>10/26</td><td>16:00-17:30</td><td></td><td>越野 和樹</td></tr> <tr><td>4</td><td>11/2</td><td>16:00-17:30</td><td></td><td>越野 和樹</td></tr> <tr><td>5</td><td>11/9</td><td>16:00-17:30</td><td></td><td>越野 和樹</td></tr> <tr><td>6</td><td>11/16</td><td>16:00-17:30</td><td></td><td>越野 和樹</td></tr> <tr><td>7</td><td>11/30</td><td>16:00-17:30</td><td></td><td>越野 和樹</td></tr> <tr><td>8</td><td>12/7</td><td>16:00-17:30</td><td></td><td>越野 和樹</td></tr> <tr><td>9</td><td>12/14</td><td>16:00-17:30</td><td></td><td>越野 和樹</td></tr> <tr><td>10</td><td>12/21</td><td>16:00-17:30</td><td></td><td>越野 和樹</td></tr> <tr><td>11</td><td>1/4</td><td>16:00-17:30</td><td></td><td>越野 和樹</td></tr> <tr><td>12</td><td>1/11</td><td>16:00-17:30</td><td></td><td>越野 和樹</td></tr> <tr><td>13</td><td>1/18</td><td>16:00-17:30</td><td></td><td>越野 和樹</td></tr> <tr><td>14</td><td>1/25</td><td>16:00-17:30</td><td></td><td>越野 和樹</td></tr> <tr><td>15</td><td>2/1</td><td>16:00-17:30</td><td></td><td>越野 和樹</td></tr> </tbody> </table>				回	日付	時刻	講義室	担当教員	1	10/5	16:00-17:30		越野 和樹	2	10/19	16:00-17:30		越野 和樹	3	10/26	16:00-17:30		越野 和樹	4	11/2	16:00-17:30		越野 和樹	5	11/9	16:00-17:30		越野 和樹	6	11/16	16:00-17:30		越野 和樹	7	11/30	16:00-17:30		越野 和樹	8	12/7	16:00-17:30		越野 和樹	9	12/14	16:00-17:30		越野 和樹	10	12/21	16:00-17:30		越野 和樹	11	1/4	16:00-17:30		越野 和樹	12	1/11	16:00-17:30		越野 和樹	13	1/18	16:00-17:30		越野 和樹	14	1/25	16:00-17:30		越野 和樹	15	2/1	16:00-17:30		越野 和樹
回	日付	時刻	講義室	担当教員																																																																															
1	10/5	16:00-17:30		越野 和樹																																																																															
2	10/19	16:00-17:30		越野 和樹																																																																															
3	10/26	16:00-17:30		越野 和樹																																																																															
4	11/2	16:00-17:30		越野 和樹																																																																															
5	11/9	16:00-17:30		越野 和樹																																																																															
6	11/16	16:00-17:30		越野 和樹																																																																															
7	11/30	16:00-17:30		越野 和樹																																																																															
8	12/7	16:00-17:30		越野 和樹																																																																															
9	12/14	16:00-17:30		越野 和樹																																																																															
10	12/21	16:00-17:30		越野 和樹																																																																															
11	1/4	16:00-17:30		越野 和樹																																																																															
12	1/11	16:00-17:30		越野 和樹																																																																															
13	1/18	16:00-17:30		越野 和樹																																																																															
14	1/25	16:00-17:30		越野 和樹																																																																															
15	2/1	16:00-17:30		越野 和樹																																																																															
<p>授業方法</p> <p>講義およびアクティブラーニング(演習や討論など)による</p>																																																																																			
<p>授業内容</p> <p>静電気/コンデンサー/電流/磁界/電磁誘導/交流/電磁波</p>																																																																																			
<p>成績評価の方法</p>																																																																																			

<p>評価: 期末考査および授業への参加度</p> <p>再評価: 期末考査が6割未満の者に対して再試験を行う</p> <p>授業内容の理解度を測るために期末考査や演習を行い, その成績および授業への参加度で評価を行う.</p>
<p>成績評価の基準</p> <p>「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による</p>
<p>準備学習等についての具体的な指示</p> <p>講義資料をあらかじめダウンロードし(URLは別途指示)印刷しておくことを前提とする.</p>
<p>試験の受験資格</p> <p>初回の講義において説明する</p>
<p>参考書</p> <p>グラフィック講義電磁気学の基礎／和田純夫 著.:サイエンス社, 2011</p>
<p>履修上の注意事項</p> <p>出欠管理システムの記録より, 教員がとる出欠を優先させる.</p>
<p>連絡先(メールアドレス)</p> <p>ikuzak.las@tmd.ac.jp</p>
<p>オフィスアワー</p> <p>毎週月曜日 12:00—13:00 ヒポクラテス 4 階</p>

時間割番号	000263				
科目名	生物学	科目ID	LA-114900-Z		
担当教員					
開講時期	2022 年度通年	対象年次	1	単位数	2
実務経験のある教員による授業					
準備学習等についての具体的な指示					

時間割番号	000264			
科目名	生物学(細胞・遺伝子)M	科目ID	LA-114901-Z	
担当教員	伊藤 正則[ITO MASANORI]			
開講時期	2022 年度前期	対象年次	1	
実務経験のある教員による授業				
<p>・曜日・時間:火曜日 1・2 限</p> <p>・対象学科・専攻:医学科</p> <p>・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):</p> <p>2-1)自然現象を科学的に探究するための方法論を知る。</p> <p>4-2)生命現象・自然現象について総合的に理解するための基礎学力・思考力を身につける。</p>				
主な講義場所				
教育棟(ヒポクラテスホール)1 階、1 番教室				
授業の目的、概要等				
細胞の構造、遺伝、代謝に関する基本的知識を理解し、専門教育を学ぶうえでの基盤を形成すること、アクティブに学習すること、論理的思考力を向上させることを目標とする。				
授業の到達目標				
<p>1)細胞を構成する細胞小器官と細胞膜の構造と機能を説明することができる。</p> <p>2)遺伝、遺伝子および遺伝の法則とは何か、説明することができる。</p> <p>3)遺伝子発現機構と転写調節機構を分子レベルで説明することができる。</p> <p>4)基本的な遺伝子操作技術を説明することができる。</p> <p>5)代謝とは何か、説明することができる。</p> <p>6)生物の進化に関する仮説とその根拠を説明することができる。</p>				
授業計画				
回	日付	時刻	講義室	担当教員
1-2	6/7	09:10-12:20		伊藤 正則
3-4	6/14	09:10-12:20		伊藤 正則
5-6	6/21	09:10-12:20		伊藤 正則
7-8	6/28	09:10-12:20		伊藤 正則
9-10	7/5	09:10-12:20		伊藤 正則
11-12	7/12	09:10-12:20		伊藤 正則
13-14	7/19	09:10-12:20		伊藤 正則
15-16	7/26	09:10-12:20		伊藤 正則
授業方法				
<p>基本的には講義形式で行う。アクティブラーニングとして、予めプリント(大部分は英語で書かれたもの)を配布するので、予習を行うことと、講義内容に関する質問をリアクションペーパーに書く。次週の授業でこの質問に答える。復習では知識が体系的になるようにノートを整理する。また、課題を出すので、その課題に対する答えをレポートにまとめ提出する。数名の学生を指名し、指名された学生は板書などの方法を用いて答を導いた過程を含めて発表する。</p>				
授業内容				
<p>生命の構造・機能上の単位である細胞について概説した後、遺伝と代謝の基本的知識について説明する。また、生物の進化に関する仮説とその根拠を説明する。</p>				
成績評価の方法				
<p>試験 100%</p> <p>再評価:有(再試験での成績は 60 点を上限とする)</p> <p>前期の授業内容に関する試験、後期の授業内容に関する試験および学力認定試験の全てを受けないと再試験を受けることができない(履修放棄とみなす)。</p>				

<p>上記の 3 種の試験の成績を総合的に評価して、1 月に補強コースとアドバンスコースにクラスを分けて授業を行う。補強コースを受講した学生は、前期と後期を範囲とする再試験を受けなければならない。アドバンスコースを受講した学生は、指定された課題のレポートを提出する。</p>
<p>成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表 2」による。</p>
<p>準備学習等についての具体的な指示 アクティブラーニングとして、予めプリント(大部分は英語で書かれたもの)を配布するので、予習を行うこと。講義内容に関する質問があれば、リアクションペーパーに書くこと。次週の授業でこの質問に答える。復習ではノートを整理し、知識を体系化すること。</p>
<p>試験の受験資格 2/3 以上、出席すること。</p>
<p>教科書 はじめの一歩のイラスト生化学・分子生物学：生物学を学んでいない人でもわかる目で見える教科書／前野正夫、磯川桂太郎 著、：羊土社、2008 からだの構造と機能／A. シェフラー、S. シュミット編、Schäffler, Arne, Roeckl-Schmidt, Sabine, 三木、明德、井上、貴央、：西村書店、1998 必要に応じて参考資料を配布する。</p>
<p>参考書 Molecular biology of the cell／Bruce Alberts, Alexander Johnson, Julian Lewis, David Morgan, Martin Raff, Keith Roberts, Peter Walter, with problems by John Wilson, Tim Hunt、：Garland Science, Taylor and Francis Group, 2015 Human biology 13th ed／Sylvia S. Mader, Michael Windelspecht ; with contributions by David Cox : McGraw-Hill, 2014 診療・研究にダイレクトにつながる遺伝医学／渡邊淳：羊土社、2017 よくわかるゲノム医学：ヒトゲノムの基本から個別化医療まで／服部成介、水島-菅野純子 著、菅野純夫 監修、服部、成介、1952-、水島-菅野、純子、菅野、純夫、1952-、：羊土社、2016</p>
<p>履修上の注意事項 出欠管理システムで出欠を記録する。</p>
<p>連絡先(メールアドレス) itohmt.las@tmd.ac.jp</p>
<p>オフィスアワー 毎週月曜日 AM.10:00-PM.2:00 ヒポクラテスホール4階生物学教員研究室</p>

時間割番号	000265																																																																																		
科目名	生物学(構造・機能)M	科目ID	LA-114902-Z																																																																																
担当教員	服部 淳彦[HATTORI ATSUSHIKO]																																																																																		
開講時期	2022 年度後期	対象年次	1																																																																																
実務経験のある教員による授業																																																																																			
<p>・曜日・時間:月曜日3限</p> <p>・対象学科・専攻:医学科</p> <p>・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):</p> <p>2-1)自然現象を科学的に探究するための方法論を知る。</p> <p>4-2)生命現象・自然現象について総合的に理解するための基礎学力・思考力を身につける。</p>																																																																																			
<p>授業の目的、概要等</p> <p>1年の前期の講義では、生命の基本単位である細胞の機能やその情報源である遺伝子やDNAに関して学習した。後期は、個々の細胞が集まって構築されている個体が、どのようにして全体として調和のとれた活動ができるのかを学習する。そこでこの科目は、特に「生体の構造と機能」を「調節機構」を切り口にして、鳥瞰図的に捕らえた講義を行う。また、それぞれの項目に関しては、系統発生的・進化学的な視点からも解説する。</p>																																																																																			
<p>授業の到達目標</p> <p>生体の各組織や器官について、その構造と機能の概要を理解し、それらを全体として制御しているシステム系について説明できる。また、ヒトを進化学的な側面から捉えられる視点を身につける。7割できればGPAIにおける「B」に相当する。</p>																																																																																			
<p>授業計画</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>講義室</th> <th>担当教員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td>10/3</td><td>13:10-14:40</td><td></td><td>服部 淳彦</td></tr> <tr><td>2</td><td>10/10</td><td>13:10-14:40</td><td></td><td>服部 淳彦</td></tr> <tr><td>3</td><td>10/17</td><td>13:10-14:40</td><td></td><td>服部 淳彦</td></tr> <tr><td>4</td><td>10/24</td><td>13:10-14:40</td><td></td><td>服部 淳彦</td></tr> <tr><td>5</td><td>10/31</td><td>13:10-14:40</td><td></td><td>服部 淳彦</td></tr> <tr><td>6</td><td>11/7</td><td>13:10-14:40</td><td></td><td>服部 淳彦</td></tr> <tr><td>7</td><td>11/14</td><td>13:10-14:40</td><td></td><td>服部 淳彦</td></tr> <tr><td>8</td><td>11/21</td><td>13:10-14:40</td><td></td><td>服部 淳彦</td></tr> <tr><td>9</td><td>11/28</td><td>13:10-14:40</td><td></td><td>服部 淳彦</td></tr> <tr><td>10</td><td>12/5</td><td>13:10-14:40</td><td></td><td>服部 淳彦</td></tr> <tr><td>11</td><td>12/12</td><td>13:10-14:40</td><td></td><td>服部 淳彦</td></tr> <tr><td>12</td><td>12/19</td><td>13:10-14:40</td><td></td><td>服部 淳彦</td></tr> <tr><td>13</td><td>1/16</td><td>13:10-14:40</td><td></td><td>服部 淳彦</td></tr> <tr><td>14</td><td>1/23</td><td>13:10-14:40</td><td></td><td>服部 淳彦</td></tr> <tr><td>15</td><td>1/30</td><td>13:10-14:40</td><td></td><td>服部 淳彦</td></tr> </tbody> </table>				回	日付	時刻	講義室	担当教員	1	10/3	13:10-14:40		服部 淳彦	2	10/10	13:10-14:40		服部 淳彦	3	10/17	13:10-14:40		服部 淳彦	4	10/24	13:10-14:40		服部 淳彦	5	10/31	13:10-14:40		服部 淳彦	6	11/7	13:10-14:40		服部 淳彦	7	11/14	13:10-14:40		服部 淳彦	8	11/21	13:10-14:40		服部 淳彦	9	11/28	13:10-14:40		服部 淳彦	10	12/5	13:10-14:40		服部 淳彦	11	12/12	13:10-14:40		服部 淳彦	12	12/19	13:10-14:40		服部 淳彦	13	1/16	13:10-14:40		服部 淳彦	14	1/23	13:10-14:40		服部 淳彦	15	1/30	13:10-14:40		服部 淳彦
回	日付	時刻	講義室	担当教員																																																																															
1	10/3	13:10-14:40		服部 淳彦																																																																															
2	10/10	13:10-14:40		服部 淳彦																																																																															
3	10/17	13:10-14:40		服部 淳彦																																																																															
4	10/24	13:10-14:40		服部 淳彦																																																																															
5	10/31	13:10-14:40		服部 淳彦																																																																															
6	11/7	13:10-14:40		服部 淳彦																																																																															
7	11/14	13:10-14:40		服部 淳彦																																																																															
8	11/21	13:10-14:40		服部 淳彦																																																																															
9	11/28	13:10-14:40		服部 淳彦																																																																															
10	12/5	13:10-14:40		服部 淳彦																																																																															
11	12/12	13:10-14:40		服部 淳彦																																																																															
12	12/19	13:10-14:40		服部 淳彦																																																																															
13	1/16	13:10-14:40		服部 淳彦																																																																															
14	1/23	13:10-14:40		服部 淳彦																																																																															
15	1/30	13:10-14:40		服部 淳彦																																																																															
<p>授業方法</p> <p>講義と一部グループワークによる。</p>																																																																																			
<p>授業内容</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 細胞から個体へ 2. 生体における情報伝達系 3. 成長 4. 骨と軟骨 5. ホメオスタシス 6. カルシウムの調節 7. 排泄と泌尿器系 																																																																																			

8. 血圧と循環器系
9. 栄養と消化器系
10. 血糖値の調節
11. 刺激と感覚・神経系
12. 炎症とアレルギー
13. 免疫系
14. 子孫の維持と生殖系
15. まとめ

成績評価の方法

評価: 生命現象について総合的に理解するための基礎学力をつけるために

試験 90%・レポート 0%

その他 10%(授業内でのグループワークへの貢献度や質問への回答状況等)

再評価: 有(再試験の成績は60点を上限とする)

生物学(通年)の成績は、前期試験、後期試験と学力認定試験の成績を総合的に評価してつける。また、その評価を元に1月には補強コースとアドバンスコースに分けて授業を行う。前期試験と後期試験および学力認定試験をすべて受けないと再試験を受けることができない(履修放棄とみなす)。

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による。

準備学習等についての具体的な指示

日々、教科書をもとに予習をし、また、板書を基本に自ら学習したノートをもとに復習をすること。

教科書

からだの構造と機能/A. Schaffler, S. Schmidt: 西村書店, 2002

授業の内容に合わせて、適宜プリントを配布する。

参考書

ヒューマンバイオロジー 人体と生命 第7版/S. S. Mader: 医学書院, 2011

連絡先(メールアドレス)

ahattori.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

毎週 水曜: 12:30~14:00 金曜: 10:30~12:30 ヒポ 4F 教員研究室(A2)

時間割番号	000266																																															
科目名	生物学(細胞・遺伝子)DT	科目ID	LA-114903-Z																																													
担当教員	服部 淳彦[HATTORI ATSUSHIKO]																																															
開講時期	2022 年度前期	対象年次	1																																													
実務経験のある教員による授業																																																
<p>・曜日・時間:火曜日1・2限</p> <p>・対象学科・専攻:歯学科・検査学専攻</p> <p>・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):</p> <p>2-1)自然現象を科学的に探究するための方法論を知る。</p> <p>4-2)生命現象・自然現象について総合的に理解するための基礎学力・思考力を身につける。</p>																																																
<p>授業の目的、概要等</p> <p>生物学(細胞・遺伝子)では、「生命のしくみ」に重点を置き、ますます情報量が増え難解になってきた分子生物学や分子遺伝学の基礎をわかりやすく解説するとともに、生命現象やそのしくみの不思議さ・面白さ、さらにはその展開としての医療面への応用やヒトの進化についても触れていく。</p> <p>時間の制約もありこの科目では、生命を理解する上で基本単位である「DNA」と「細胞の構造」に関しては、すでに生物学入門等で学習したものとして講義を進める。</p>																																																
<p>授業の到達目標</p> <p>分子生物学や分子遺伝学の基礎を理解し、「生命のしくみ」の基本について説明できる。7割できればGPAIにおける「B」に相当する。</p>																																																
<p>授業計画</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>講義室</th> <th>担当教員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1-2</td> <td>6/7</td> <td>09:10-12:20</td> <td></td> <td>服部 淳彦</td> </tr> <tr> <td>3-4</td> <td>6/14</td> <td>09:10-12:20</td> <td></td> <td>服部 淳彦</td> </tr> <tr> <td>5-6</td> <td>6/21</td> <td>09:10-12:20</td> <td></td> <td>服部 淳彦</td> </tr> <tr> <td>7-8</td> <td>6/28</td> <td>09:10-12:20</td> <td></td> <td>服部 淳彦</td> </tr> <tr> <td>9-10</td> <td>7/5</td> <td>09:10-12:20</td> <td></td> <td>服部 淳彦</td> </tr> <tr> <td>11-12</td> <td>7/12</td> <td>09:10-12:20</td> <td></td> <td>服部 淳彦</td> </tr> <tr> <td>13-14</td> <td>7/19</td> <td>09:10-12:20</td> <td></td> <td>服部 淳彦</td> </tr> <tr> <td>15-16</td> <td>7/26</td> <td>09:10-12:20</td> <td></td> <td>服部 淳彦</td> </tr> </tbody> </table>				回	日付	時刻	講義室	担当教員	1-2	6/7	09:10-12:20		服部 淳彦	3-4	6/14	09:10-12:20		服部 淳彦	5-6	6/21	09:10-12:20		服部 淳彦	7-8	6/28	09:10-12:20		服部 淳彦	9-10	7/5	09:10-12:20		服部 淳彦	11-12	7/12	09:10-12:20		服部 淳彦	13-14	7/19	09:10-12:20		服部 淳彦	15-16	7/26	09:10-12:20		服部 淳彦
回	日付	時刻	講義室	担当教員																																												
1-2	6/7	09:10-12:20		服部 淳彦																																												
3-4	6/14	09:10-12:20		服部 淳彦																																												
5-6	6/21	09:10-12:20		服部 淳彦																																												
7-8	6/28	09:10-12:20		服部 淳彦																																												
9-10	7/5	09:10-12:20		服部 淳彦																																												
11-12	7/12	09:10-12:20		服部 淳彦																																												
13-14	7/19	09:10-12:20		服部 淳彦																																												
15-16	7/26	09:10-12:20		服部 淳彦																																												
<p>授業方法</p> <p>講義と一部グループワークによる。</p>																																																
<p>授業内容</p> <p>生命を支配する遺伝子</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 分子遺伝学とは 2. 生物の世界:ゲノム, 遺伝子, DNA 3. 真核生物の遺伝子の構造 4. 遺伝子の発現と制御 5. 染色体と細胞周期 6. 細胞分裂 - 体細胞分裂・減数分裂 7. 遺伝性疾患と遺伝様式 I 8. 遺伝性疾患と遺伝様式 II 9. 遺伝子診断とDNA型鑑定 10. 遺伝子治療の現状と問題点 <p>生物の多様性と分子進化</p>																																																

11. 生物の多様性と進化
12. 分子進化と分子系統樹
13. 中立説と自然淘汰説
14. 遺伝子の進化と種の分化
15. ヒトの起源と未来

成績評価の方法

評価: 生命現象について総合的に理解するための基礎学力をつけるために

試験 90%・レポート 0%

その他 10%(授業内のグループワークでの貢献度や質問への回答状況等)

再評価: 有(再試験の成績は60点を上限とする)

生物学(通年)の成績は、前期試験、後期試験と学力認定試験の成績を総合的に評価してつける。また、その評価を元に1月には補強コースとアドバンスコースに分けて授業を行う。前期試験と後期試験および学力認定試験をすべて受けないと再試験を受けることができない(履修放棄とみなす)。

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による。

準備学習等についての具体的な指示

日々、教科書をもとに予習をし、また、板書を基本に自ら学習したノートをもとに復習をすること。

教科書

はじめの一步の生化学・分子生物学 (第3版) / 前野正夫, 磯川桂太郎: 羊土社, 2016

ヒューマンバイオロジー 人体と生命 第7版 / SS Mader: 医学書院, 2011

授業の内容に合わせて、適宜プリントも配布する。

参考書

Essential 細胞生物学 / Bruce Alberts, Dennis Bray, Karen Hopkin, Alexander Johnson, Julian Lewis, Martin Raff, Keith Roberts, Peter Walter 著, 中村桂子, 松原謙一 監訳: 南江堂, 2011

連絡先(メールアドレス)

ahattori.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

毎週 水曜: 12:30~14:00 金曜: 10:30~12:30 ヒポ 4F 教員研究室(A2)

時間割番号	000267			
科目名	生物学(構造・機能)DT	科目ID	LA-114904-Z	
担当教員	伊藤 正則[ITO MASANORI]			
開講時期	2022 年度後期	対象年次	1	
実務経験のある教員による授業				
<p>・曜日・時間:水曜日 4 限</p> <p>・対象学科・専攻:歯学科・検査学専攻</p> <p>・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):</p> <p>2-1)自然現象を科学的に探究するための方法論を知る。</p> <p>4-2)生命現象・自然現象について総合的に理解するための基礎学力・論理的思考力を身につける。</p>				
主な講義場所				
教育棟(ヒポクラテスホール)3 階、7 番教室				
授業の目的、概要等				
生体の構造を個体から分子レベルで理解する。特に、生体の構造と関連させて機能を理解する。また、生態系と生物多様性に関する知識を活用して、生物圏における人類の役割を考える。専門科目を学ぶうえでの基盤をつくることと、アクティブに学習を行うようになる。				
授業の到達目標				
<p>1)生体の基本構造を説明することができる。</p> <p>2)生体の構造と関連させて、機能を具体的に説明することができる。</p> <p>3)生態系と生物多様性に関する知識を活用して、生物圏における人類の役割について考え、その考えを論理的に説明することができる</p>				
授業計画				
回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	10/5	14:20-15:50		伊藤 正則
2	10/19	14:20-15:50		伊藤 正則
3	10/26	14:20-15:50		伊藤 正則
4	11/2	14:20-15:50		伊藤 正則
5	11/9	14:20-15:50		伊藤 正則
6	11/16	14:20-15:50		伊藤 正則
7	11/30	14:20-15:50		伊藤 正則
8	12/7	14:20-15:50		伊藤 正則
9	12/14	14:20-15:50		伊藤 正則
10	12/21	14:20-15:50		伊藤 正則
11	1/4	14:20-15:50		伊藤 正則
12	1/11	14:20-15:50		伊藤 正則
13	1/18	14:20-15:50		伊藤 正則
14	1/25	14:20-15:50		伊藤 正則
15	2/1	14:20-15:50		伊藤 正則
授業方法				
<p>基本的には講義形式で行う。アクティブラーニングとして、毎回、コメントシートに疑問点などを書き、提出する。また、課題を出す。その課題に対する答えをレポートにまとめ提出する。数名の学生を指名し、指名された学生は板書などの方法を用いて答を導いた過程を含めて発表する。</p>				
授業内容				
代表的な生命現象に関与する器官、その器官の組織構造と具体的な機能を説明する。また、生態系と生物多様性に関する知識を活用				

<p>して、生物圏における人類の役割を考える。</p>
<p>成績評価の方法</p> <p>試験 100%</p> <p>再評価:有(再試験での成績は 60 点を上限とする)</p> <p>前期の授業内容に関する試験、後期の授業内容に関する試験および学力認定試験の全てを受けないと再試験を受けることができない(履修放棄とみなす)。</p> <p>上記の 3 種の試験の成績を総合的に評価して、1 月に補強コースとアドバンスコースにクラスを分けて授業を行う。補強コースを受講した学生は、前期と後期を範囲とする再試験を受けなければならない。アドバンスコースを受講した学生は、指定された課題のレポートを提出する。</p>
<p>成績評価の基準</p> <p>「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表 2」による。</p>
<p>準備学習等についての具体的な指示</p> <p>アクティブラーニングとして予めプリントを配布するので、予習を行うこと。講義内容に関する質問があれば、リアクションペーパーに書くこと。次週の授業で質問に答える。知識が体系的になるようにノートを整理する等の復習を行うこと。</p>
<p>試験の受験資格</p> <p>2/3 以上出席すること。</p>
<p>教科書</p> <p>からだの構造と機能/A. シェフラー, S. シュミット編, Schäffler, Arne, Roeckl-Schmidt, Sabine, 三木, 明德, 井上, 貴央, 西村書店, 1998</p> <p>はじめの一步のイラスト生化学・分子生物学: 生物学を学んでいない人でもわかる目で見える教科書/前野正夫, 磯川桂太郎 著, 羊土社, 2008</p> <p>必要に応じて参考資料を配布する。</p>
<p>参考書</p> <p>Essential 細胞生物学/Bruce Alberts, Dennis Bray, Karen Hopkin, Alexander Johnson, Julian Lewis, Martin Raff, Keith Roberts, Peter Walter 著, 中村桂子, 松原謙一 監訳: 南江堂, 2011</p> <p>Molecular biology of the cell/Bruce Alberts, Alexander Johnson, Julian Lewis, David Morgan, Martin Raff, Keith Roberts, Peter Walter, with problems by John Wilson, Tim Hunt, : Garland Science, Taylor and Francis Group, 2015</p> <p>Human biology 13th ed/Sylvia S: McGraw-Hill, 2014</p> <p>診療・研究にダイレクトにつながる遺伝医学/渡邊享: 羊土社, 2017</p> <p>よくわかるゲノム医学: ヒトゲノムの基本から個別化医療まで/服部成介, 水島-菅野純子 著, 菅野純夫 監修, 服部, 成介, 1952-, 水島-菅野, 純子, 菅野, 純夫, 1952-, : 羊土社, 2016</p>
<p>連絡先(メールアドレス)</p> <p>itohmt.las@tmd.ac.jp</p>
<p>オフィスアワー</p> <p>毎週月曜日 AM.10:00-PM.2:00 ヒポクラテスホール4階生物学教員研究室</p>

時間割番号	000268				
科目名	数学 I	科目ID	LA-114200-Z		
担当教員					
開講時期	2022 年度前期	対象年次	1	単位数	1
実務経験のある教員による授業					
準備学習等についての具体的な指示					

時間割番号	000269				
科目名	数学 I M	科目 ID	LA-114201-Z		
担当教員	中口 悦史[NAKAGUCHI ETSUSHI]				
開講時期	2022 年度前期	対象年次	1		
実務経験のある教員による授業					
対象学科: 医学科 科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 2-1), 4-2)					
授業の目的、概要等 諸科学の数学的方法の基礎であり、数理・データサイエンスの数学的基盤でもある線形代数と微分積分の概要を学ぶ。線形代数では行列と連立一次方程式、行列の固有値の基礎と計算法を通して、線形構造や線形写像の考え方を学ぶ。微分積分では、高校で学んだ1変数関数の微積分を基に、多変数関数の微積分の基礎と計算法を通して、極限操作や非線形解析の考え方を学ぶ。					
授業の到達目標 1. 集合と写像、ベクトル空間と線形写像について説明できる 2. 基本的な線形演算・行列計算ができる 3. 行列の固有値・固有ベクトルについて説明できる 4. 多変数の極値問題について説明できる 5. 基本的な重積分の計算ができる					
授業計画					
回	日付	時刻	講義室	授業内容	担当教員
1	4/18	13:10-14:40		ガイダンス、数の体系と代数方程式	中口 悦史
2	4/25	13:10-14:40		数列と級数、極限、漸化式	中口 悦史
3	5/2	13:10-14:40		数ベクトル空間と図形の回転・投影	中口 悦史
4	5/9	13:10-14:40		初等的関数(指数・対数・逆三角関数)	中口 悦史
5	5/16	13:10-14:40		実関数の微積分、空間の曲線	中口 悦史
6	5/23	13:10-14:40		行列の表記と演算	中口 悦史
7	5/30	13:10-14:40		正則行列、行列の階数と行基本変形	中口 悦史
8	6/6	13:10-14:40		連立一次方程式の交代定理と解構造	中口 悦史
9	6/13	13:10-14:40		正方行列の固有値と固有ベクトル	中口 悦史
10	6/20	13:10-14:40		多変数関数と曲面	中口 悦史
11	6/27	13:10-14:40		偏微分・全微分と曲面の勾配	中口 悦史
12	7/4	13:10-14:40		多変数の極値問題	中口 悦史
13	7/11	13:10-14:40		重積分、積分可能性、累次積分	中口 悦史
14	7/18	13:10-14:40		重積分の変数変換	中口 悦史
15	7/25	13:10-14:40		総合演習	中口 悦史
授業方法 全授業日程を原則として対面で行う。状況に応じて同期ハイブリッド(対面+遠隔)型授業または同期遠隔型授業に切り替える。各回の前半はスライドによる講義、後半は演習を行う。演習では、4~5名ずつのグループに分かれて問題を解き、その後全体で答え合わせを行う。各回の学習内容を、ノート提出によって確認する。					
授業内容 第1章 基本的事項(数の体系、数列と級数、数ベクトル空間、初等的関数、実関数の微積分と曲線) 第2章 線形代数(行列の演算、正則行列、行列の階数と行基本変形、連立一次方程式の交代定理と解構造、正方行列の固有値と固有ベクトル) 第3章 多変数関数の微積分(多変数関数と曲面、偏微分・全微分と曲面の勾配、多変数の極値問題、重積分)					
成績評価の方法					

<p>評価：試験 80%・レポート 0%・その他(ノート提出) 20%</p> <p>再評価：有(筆記試験)</p> <p>試験とノート提出を総合して成績評価を行う。ノート提出により授業中の参加度や理解度を測る。試験は、問題の理解度や定理・公式の運用の適切さ、論証や計算の精確さを総合的に評価するために、期末に対面または同期遠隔型の筆記試験によって行う。</p> <p>「試験の受験資格」を満たし、かつ期末試験を受験したもののみを、評価の対象とする。</p>
<p>成績評価の基準</p> <p>「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則別表 2」による</p>
<p>準備学習等についての具体的な指示</p> <p>各回の講義スライドを授業前日までに LMS に掲載するので、できるだけ予習し、関連する高校数学の内容をよく復習しておくこと。授業後には演習も復習することが望ましい。必要に応じて下記教科書等により各自演習すること。</p>
<p>試験の受験資格</p> <p>授業回数の3分の2回以上の出席、ならびに出席回のノート提出。</p>
<p>教科書</p> <p>数学入門Ⅱ～偏微分・重積分・線形代数～(大学生のための基礎シリーズ6)／上村豊, 坪井堅二 著:東京化学同人, 2004</p>
<p>参考書</p> <p>データサイエンスのための数学／椎名洋, 椎名, 洋(1961-)、姫野, 哲人、保科, 架風、清水, 昌平、講談社サイエンティフィック、講談社, 2019-08</p> <p>数学入門／上村豊, 坪井堅二 著、上村, 豊, 1953-、坪井, 堅二, 1954-、:東京化学同人, 2019</p> <p>教養の線形代数／村上正康, 佐藤恒雄, 野澤宗平, 稲葉尚志 共著:培風館, 2008</p> <p>微分積分学／難波誠著、難波, 誠:裳華房, 1996</p>
<p>履修上の注意事項</p> <p>出欠確認は、教室の出欠管理システムと遠隔授業の参加者リスト、および各回のノート提出による確認を併用する。</p>
<p>連絡先(メールアドレス)</p> <p>nakaguti.las@tmd.ac.jp</p>
<p>オフィスアワー</p> <p>前期:水 17:30-18:30, 後期:木 12:30-14:30／電子メールによる質問等は随時受け付け</p>

時間割番号	000270				
科目名	数学 I D	科目 ID	LA-114202-Z		
担当教員	中口 悦史[NAKAGUCHI ETSUSHI]				
開講時期	2022 年度前期	対象年次	1		
実務経験のある教員による授業					
対象学科: 歯学科 科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 2-1), 4-2)					
授業の目的、概要等 諸科学の数学的方法の基礎であり、数理・データサイエンスの数学的基盤でもある線形代数と微積分の概要を学ぶ。線形代数では行列と連立一次方程式、行列の固有値の基礎と計算法を通して、線形構造や線形写像の考え方を学ぶ。微積分では、高校で学んだ1変数関数の微積分を基に、多変数関数の微積分の基礎と計算法を通して、極限操作や非線形解析の考え方を学ぶ。					
授業の到達目標 1. 集合と写像、ベクトル空間と線形写像について説明できる 2. 基本的な線形演算・行列計算ができる 3. 行列の固有値・固有ベクトルについて説明できる 4. 多変数の極値問題について説明できる 5. 基本的な重積分の計算ができる					
授業計画					
回	日付	時刻	講義室	授業内容	担当教員
1	4/13	16:00-17:30		ガイダンス、数の体系と代数方程式	中口 悦史
2	4/20	16:00-17:30		数列と級数、極限、漸化式	中口 悦史
3	4/27	16:00-17:30		数ベクトル空間と図形の回転・投影	中口 悦史
4	5/11	16:00-17:30		初等的関数(指数・対数・逆三角関数)	中口 悦史
5	5/18	16:00-17:30		実関数の微積分、空間の曲線	中口 悦史
6	5/25	16:00-17:30		行列の表記と演算	中口 悦史
7	6/1	16:00-17:30		正則行列、行列の階数と行基本変形	中口 悦史
8	6/8	16:00-17:30		連立一次方程式の交代定理と解構造	中口 悦史
9	6/15	16:00-17:30		正方行列の固有値と固有ベクトル	中口 悦史
10	6/22	16:00-17:30		多変数関数と曲面	中口 悦史
11	6/29	16:00-17:30		偏微分・全微分と曲面の勾配	中口 悦史
12	7/6	16:00-17:30		多変数の極値問題	中口 悦史
13	7/13	16:00-17:30		重積分、積分可能性、累次積分	中口 悦史
14	7/20	16:00-17:30		重積分の変数変換	中口 悦史
15	7/27	16:00-17:30		総合演習	中口 悦史
授業方法 全授業日程を原則として対面で行う。状況に応じて同期ハイブリッド(対面+遠隔)型授業または同期遠隔型授業に切り替える。各回の前半はスライドによる講義、後半は演習を行う。演習では、4~5名ずつのグループに分かれて問題を解き、その後全体で答え合わせを行う。各回の学習内容を、ノート提出によって確認する。					
授業内容 第1章 基本的事項(数の体系、数列と級数、数ベクトル空間、初等的関数、実関数の微積分と曲線) 第2章 線形代数(行列の演算、正則行列、行列の階数と行基本変形、連立一次方程式の交代定理と解構造、正方行列の固有値と固有ベクトル) 第3章 多変数関数の微積分(多変数関数と曲面、偏微分・全微分と曲面の勾配、多変数の極値問題、重積分)					
成績評価の方法					

<p>評価：試験 80%・レポート 0%・その他(ノート提出) 20%</p> <p>再評価：有(筆記試験)</p> <p>試験とノート提出を総合して成績評価を行う。ノート提出により授業中の参加度や理解度を測る。試験は、問題の理解度や定理・公式の運用の適切さ、論証や計算の精確さを総合的に評価するために、期末に対面または同期遠隔型の筆記試験によって行う。</p> <p>「試験の受験資格」を満たし、かつ期末試験を受験したもののみを、評価の対象とする。</p>
<p>成績評価の基準</p> <p>「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則別表 2」による</p>
<p>準備学習等についての具体的な指示</p> <p>各回の講義スライドを授業前日までに LMS に掲載するので、できるだけ予習し、関連する高校数学の内容をよく復習しておくこと。授業後には演習も復習することが望ましい。必要に応じて下記教科書等により各自演習すること。</p>
<p>試験の受験資格</p> <p>授業回数の3分の2回以上の出席、ならびに出席回のノート提出。</p>
<p>教科書</p> <p>数学入門Ⅱ～偏微分・重積分・線形代数～(大学生のための基礎シリーズ6)／上村豊, 坪井堅二 著:東京化学同人, 2004</p>
<p>参考書</p> <p>データサイエンスのための数学／椎名洋, 椎名, 洋(1961-)、姫野, 哲人、保科, 架風、清水, 昌平、講談社サイエンティフィック、講談社, 2019-08</p> <p>数学入門／上村豊, 坪井堅二 著、上村, 豊, 1953-、坪井, 堅二, 1954-、:東京化学同人, 2019</p> <p>教養の線形代数／村上正康, 佐藤恒雄, 野澤宗平, 稲葉尚志 共著:培風館, 2008</p> <p>微分積分学／難波誠著、難波, 誠:裳華房, 1996</p>
<p>履修上の注意事項</p> <p>出欠確認は、教室の出欠管理システムと遠隔授業の参加者リスト、および各回のノート提出による確認を併用する。</p>
<p>連絡先(メールアドレス)</p> <p>nakaguti.las@tmd.ac.jp</p>
<p>オフィスアワー</p> <p>前期:水 17:30-18:30, 後期:木 12:30-14:30／電子メールによる質問等は随時受け付け</p>

時間割番号	000271																																																																																		
科目名	数学 I T	科目 ID	LA-114203-Z																																																																																
担当教員	中林 潤[NAKABAYASHI Junn]																																																																																		
開講時期	2022 年度前期	対象年次	1																																																																																
実務経験のある教員による授業																																																																																			
<p>科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):</p> <p>2-1) 自然現象を科学的に探求するための方法論を知る。</p> <p>4-2) 生命現象・自然現象について総合的に理解するための基礎学力・思考力を身につける。</p>																																																																																			
<p>主な講義場所</p> <p>国府台キャンパス講義室</p>																																																																																			
<p>授業の目的、概要等</p> <p>情報科学、データサイエンスをはじめとする諸科学の数学的基盤である線形代数と微積分の概要について学ぶ。線形代数では行列と連立一次方程式、行列の固有値の基礎と計算方法を通して、線形構造や線形写像の考え方を学ぶ。微積分では高校で学習した1変数関数の微積分から発展して、多変数関数の微積分の基礎と計算方法を通して、極限操作や非線形解析の考え方を学ぶ。</p>																																																																																			
<p>授業の到達目標</p> <p>集合と写像、ベクトル空間について説明できる</p> <p>基本的な線形演算、行列計算ができる</p> <p>行列の固有値、固有ベクトルについて説明できる</p> <p>多変数の極値問題について説明できる</p> <p>基本的な重積分の計算ができる</p>																																																																																			
<p>授業計画</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>講義室</th> <th>担当教員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td>4/18</td><td>14:50-16:20</td><td></td><td>中林 潤</td></tr> <tr><td>2</td><td>4/25</td><td>14:50-16:20</td><td></td><td>中林 潤</td></tr> <tr><td>3</td><td>5/2</td><td>14:50-16:20</td><td></td><td>中林 潤</td></tr> <tr><td>4</td><td>5/9</td><td>14:50-16:20</td><td></td><td>中林 潤</td></tr> <tr><td>5</td><td>5/16</td><td>14:50-16:20</td><td></td><td>中林 潤</td></tr> <tr><td>6</td><td>5/23</td><td>14:50-16:20</td><td></td><td>中林 潤</td></tr> <tr><td>7</td><td>5/30</td><td>14:50-16:20</td><td></td><td>中林 潤</td></tr> <tr><td>8</td><td>6/6</td><td>14:50-16:20</td><td></td><td>中林 潤</td></tr> <tr><td>9</td><td>6/13</td><td>14:50-16:20</td><td></td><td>中林 潤</td></tr> <tr><td>10</td><td>6/20</td><td>14:50-16:20</td><td></td><td>中林 潤</td></tr> <tr><td>11</td><td>6/27</td><td>14:50-16:20</td><td></td><td>中林 潤</td></tr> <tr><td>12</td><td>7/4</td><td>14:50-16:20</td><td></td><td>中林 潤</td></tr> <tr><td>13</td><td>7/11</td><td>14:50-16:20</td><td></td><td>中林 潤</td></tr> <tr><td>14</td><td>7/18</td><td>14:50-16:20</td><td></td><td>中林 潤</td></tr> <tr><td>15</td><td>7/25</td><td>14:50-16:20</td><td></td><td>中林 潤</td></tr> </tbody> </table>				回	日付	時刻	講義室	担当教員	1	4/18	14:50-16:20		中林 潤	2	4/25	14:50-16:20		中林 潤	3	5/2	14:50-16:20		中林 潤	4	5/9	14:50-16:20		中林 潤	5	5/16	14:50-16:20		中林 潤	6	5/23	14:50-16:20		中林 潤	7	5/30	14:50-16:20		中林 潤	8	6/6	14:50-16:20		中林 潤	9	6/13	14:50-16:20		中林 潤	10	6/20	14:50-16:20		中林 潤	11	6/27	14:50-16:20		中林 潤	12	7/4	14:50-16:20		中林 潤	13	7/11	14:50-16:20		中林 潤	14	7/18	14:50-16:20		中林 潤	15	7/25	14:50-16:20		中林 潤
回	日付	時刻	講義室	担当教員																																																																															
1	4/18	14:50-16:20		中林 潤																																																																															
2	4/25	14:50-16:20		中林 潤																																																																															
3	5/2	14:50-16:20		中林 潤																																																																															
4	5/9	14:50-16:20		中林 潤																																																																															
5	5/16	14:50-16:20		中林 潤																																																																															
6	5/23	14:50-16:20		中林 潤																																																																															
7	5/30	14:50-16:20		中林 潤																																																																															
8	6/6	14:50-16:20		中林 潤																																																																															
9	6/13	14:50-16:20		中林 潤																																																																															
10	6/20	14:50-16:20		中林 潤																																																																															
11	6/27	14:50-16:20		中林 潤																																																																															
12	7/4	14:50-16:20		中林 潤																																																																															
13	7/11	14:50-16:20		中林 潤																																																																															
14	7/18	14:50-16:20		中林 潤																																																																															
15	7/25	14:50-16:20		中林 潤																																																																															
<p>授業方法</p> <p>基本的に対面の講義を行うが、状況によって遠隔の授業に切り替える。講義はスライドを使って進める。不定期に演習を行う。</p>																																																																																			
<p>授業内容</p> <p>数の体系、数列と級数、初等関数、ベクトル空間、行列の演算、連立一次方程式、固有値、固有ベクトル、多変数関数の微積分</p>																																																																																			
<p>成績評価の方法</p> <p>期末試験の成績、出席状況、講義中の態度、提出物の内容を勘案して最終的な評価を行う。</p>																																																																																			
<p>成績評価の基準</p> <p>「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則別表 2」による</p>																																																																																			

準備学習等についての具体的な指示

特に予習は必要ないが、講義内容をしっかりと理解できるよう、復習しておくこと。

試験の受験資格

講義回数¹の 2/3 以上の出席。

参考書

アメリカの中学生が学んでいる 14 歳からの数学／ワークマンパブリッシング 著・文・その他,水谷 淳 翻訳,ワークマンパブリッシング
水谷 淳:ダイヤモンド社, 2022-03-10

数学がわかるということ : 食うものと食われるものの数学／山口昌哉著,山口, 昌哉.:筑摩書房, 2010

連絡先(メールアドレス)

中林 潤:nakab.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

中林 潤:月曜～金曜

AM.10:00 - P.M. 05:00

国府台キャンパス 4階 教官研究室—9

時間割番号	000287				
科目名	数学Ⅱ	科目ID	LA-114400-Z		
担当教員					
開講時期	2022 年度後期	対象年次	1	単位数	1
実務経験のある教員による授業					
準備学習等についての具体的な指示					

時間割番号	000288																																																																																		
科目名	数学Ⅱ (a)	科目ID	LA-114401-Z																																																																																
担当教員	中林 潤[NAKABAYASHI Junn]																																																																																		
開講時期	2022 年度後期	対象年次	1																																																																																
実務経験のある教員による授業																																																																																			
科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 2-1) 自然現象を科学的に探求するための方法論を知る。 4-2) 生命現象・自然現象について総合的に理解するための基礎学力・思考力を身につける。																																																																																			
主な講義場所 東京医科歯科大学 国府台キャンパス ヒポクラテスホール 7 番教室																																																																																			
授業の目的、概要等 常微分方程式の基礎について学習し、その応用として様々な生命現象を数理モデル化し解析する手法を学ぶ。プログラム言語 python を使って数値計算の実習も行う。																																																																																			
授業の到達目標 常微分方程式の解析手法を学び、これを用いて様々な生命現象を数理モデル化して解析する手法を理解し、実践できるよう習熟する。																																																																																			
授業計画 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>講義室</th> <th>担当教員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td>10/5</td><td>16:00-17:30</td><td></td><td>中林 潤</td></tr> <tr><td>2</td><td>10/19</td><td>16:00-17:30</td><td></td><td>中林 潤</td></tr> <tr><td>3</td><td>10/26</td><td>16:00-17:30</td><td></td><td>中林 潤</td></tr> <tr><td>4</td><td>11/2</td><td>16:00-17:30</td><td></td><td>中林 潤</td></tr> <tr><td>5</td><td>11/9</td><td>16:00-17:30</td><td></td><td>中林 潤</td></tr> <tr><td>6</td><td>11/16</td><td>16:00-17:30</td><td></td><td>中林 潤</td></tr> <tr><td>7</td><td>11/30</td><td>16:00-17:30</td><td></td><td>中林 潤</td></tr> <tr><td>8</td><td>12/7</td><td>16:00-17:30</td><td></td><td>中林 潤</td></tr> <tr><td>9</td><td>12/14</td><td>16:00-17:30</td><td></td><td>中林 潤</td></tr> <tr><td>10</td><td>12/21</td><td>16:00-17:30</td><td></td><td>中林 潤</td></tr> <tr><td>11</td><td>1/4</td><td>16:00-17:30</td><td></td><td>中林 潤</td></tr> <tr><td>12</td><td>1/11</td><td>16:00-17:30</td><td></td><td>中林 潤</td></tr> <tr><td>13</td><td>1/18</td><td>16:00-17:30</td><td></td><td>中林 潤</td></tr> <tr><td>14</td><td>1/25</td><td>16:00-17:30</td><td></td><td>中林 潤</td></tr> <tr><td>15</td><td>2/1</td><td>16:00-17:30</td><td></td><td>中林 潤</td></tr> </tbody> </table>				回	日付	時刻	講義室	担当教員	1	10/5	16:00-17:30		中林 潤	2	10/19	16:00-17:30		中林 潤	3	10/26	16:00-17:30		中林 潤	4	11/2	16:00-17:30		中林 潤	5	11/9	16:00-17:30		中林 潤	6	11/16	16:00-17:30		中林 潤	7	11/30	16:00-17:30		中林 潤	8	12/7	16:00-17:30		中林 潤	9	12/14	16:00-17:30		中林 潤	10	12/21	16:00-17:30		中林 潤	11	1/4	16:00-17:30		中林 潤	12	1/11	16:00-17:30		中林 潤	13	1/18	16:00-17:30		中林 潤	14	1/25	16:00-17:30		中林 潤	15	2/1	16:00-17:30		中林 潤
回	日付	時刻	講義室	担当教員																																																																															
1	10/5	16:00-17:30		中林 潤																																																																															
2	10/19	16:00-17:30		中林 潤																																																																															
3	10/26	16:00-17:30		中林 潤																																																																															
4	11/2	16:00-17:30		中林 潤																																																																															
5	11/9	16:00-17:30		中林 潤																																																																															
6	11/16	16:00-17:30		中林 潤																																																																															
7	11/30	16:00-17:30		中林 潤																																																																															
8	12/7	16:00-17:30		中林 潤																																																																															
9	12/14	16:00-17:30		中林 潤																																																																															
10	12/21	16:00-17:30		中林 潤																																																																															
11	1/4	16:00-17:30		中林 潤																																																																															
12	1/11	16:00-17:30		中林 潤																																																																															
13	1/18	16:00-17:30		中林 潤																																																																															
14	1/25	16:00-17:30		中林 潤																																																																															
15	2/1	16:00-17:30		中林 潤																																																																															
授業方法 講義と演習により進める。																																																																																			
授業内容 <ul style="list-style-type: none"> ・微分方程式の基礎理論。 ・変数分離法による微分方程式の解法 ・平衡点の安定性解析 ・複数の変数を含む微分方程式 ・遅延微分方程式 ・化学反応速度論 ・微分方程式の数値計算法 ・数値計算実習 ・偏微分方程式 																																																																																			

<p>・変分法</p>
<p>成績評価の方法 出席、授業中の態度、筆記試験、レポートなどを参考に総合的に判断する。</p>
<p>成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による</p>
<p>準備学習等についての具体的な指示 事前の予備知識は特に不要であるが、段階的に講義を進めるので、各講義の復習をしっかりと行う。特に演習は自分の計算環境で行うことが望ましい。</p>
<p>参考書 やさしい微分方程式／梅沢敏夫,富樫栄共著,梅沢, 敏夫,富樫, 栄,:培風館, 1986 常微分方程式の解法／三井斌友, 小藤俊幸著,三井, 斌友,小藤, 俊幸,:共立出版, 2000 数値計算法／三井田惇郎, 須田宇宙共著,三井田, 惇郎,須田, 宇宙,:森北出版, 2000 常微分方程式／稲見武夫著,稲見, 武夫,:岩波書店, 1998 常微分方程式／E. クライツィグ著 ; 北原和夫訳,Kreyszig, Erwin,北原, 和夫,:培風館, 1987</p>
<p>他科目との関連 数理生物学入門と重複する部分がある</p>
<p>履修上の注意事項 欠席は評価上マイナスとなる。</p>
<p>連絡先(メールアドレス) nakab.las@tmd.ac.jp</p>
<p>オフィスアワー 月曜～金曜 A.M.10:00 - P.M. 05:00 国府台キャンパス 4階 教官研究室—9</p>

時間割番号	000289			
科目名	数学Ⅱ(β)	科目ID	LA-114402-Z	
担当教員	徳永 伸一[TOKUNAGA SHINICHI]			
開講時期	2022 年度後期	対象年次	1	
実務経験のある教員による授業				
曜日・時間:後期水曜5限 対象学科・専攻:医学科、歯学科				
授業の目的、概要等				
<p>グラフ理論を中心とする離散数学を学習します。</p> <p>「離散」とは「連続」と対立する概念です。主として有限で離散的な世界の現象を解析する数学を「離散数学」と呼びます。離散数学で扱う最も基本的かつ重要な構造の1つが「グラフ」(中学・高校で習う「関数のグラフ」とは異なる概念)であり、これを研究対象とする分野が「グラフ理論」です。たとえば「すべての地図は4色で色分けできる」という有名な「4色定理」は、グラフ理論の言葉を用いれば「すべての平面的グラフは4-彩色可能」と表現することができます。4色定理の証明は長大ですが、その基本的なアイデアや興味深い一般化は、複雑な数式等を用いずに、誰でも理解することができます。</p> <p>グラフはまた、データ構造・ネットワーク構造や分子構造等を数学的に抽象化したものと見なすこともできますので、近年大きく発展し、様々な分野で応用されています。しかし本科目では必ずしも「応用」は重視せず、4色定理を始めとする、グラフ理論およびその周辺の興味深いトピックをいくつか取り上げて学習し、それらを通じて、数式を伴わない数学的論理を、正確に理解し考察する能力を身に付けることを大きな目的とします。</p> <p>さらに、直観的に理解可能な未解決問題が多数知られていることも、この分野の大きな魅力です。そういった「正解が用意されていない問題」に対して主体的にアプローチすることで、受講者の皆さんのリサーチ・マインドが育まれることを期待しています。</p> <p>数学好きな人はもちろん、「これまで学校で習ってきた数学はあまり好きではない・得意ではない」という人にこそ、お勧めしたい科目です。</p>				
授業の到達目標				
4色定理やグラフ理論のいくつかの基本的な定理について、その背景や証明のアイデアを理解し、関連する問題、一般化された問題、未解決問題について考察する。				
授業計画				
回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	10/5	16:00-17:30		徳永 伸一
2	10/19	16:00-17:30		徳永 伸一
3	10/26	16:00-17:30		徳永 伸一
4	11/2	16:00-17:30		徳永 伸一
5	11/9	16:00-17:30		徳永 伸一
6	11/16	16:00-17:30		徳永 伸一
7	11/30	16:00-17:30		徳永 伸一
8	12/7	16:00-17:30		徳永 伸一
9	12/14	16:00-17:30		徳永 伸一
10	12/21	16:00-17:30		徳永 伸一
11	1/4	16:00-17:30		徳永 伸一
12	1/11	16:00-17:30		徳永 伸一
13	1/18	16:00-17:30		徳永 伸一
14	1/25	16:00-17:30		徳永 伸一
15	2/1	16:00-17:30		徳永 伸一

<p>授業方法</p> <p>講義と演習による。</p>
<p>授業内容</p> <p>以下のトピック(予定)について順次解説し、関連する問題による演習を行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グラフの基礎概念 ・ドミノ敷き詰め問題、結婚定理(マッチング) ・グラフのラベル付け問題 ・グラフの周遊問題 ・美術館問題 ・平面グラフに関する問題 ・グラフの彩色問題、4色定理とその一般化および周辺の問題
<p>成績評価の方法</p> <p>授業への参加姿勢、演習・レポート・ノート提出によって総合的に評価します。</p> <p>また履修者が一定数を越えた場合、全員または評価が一定基準に達していない学生を対象に、試験を行う可能性があります。</p>
<p>準備学習等についての具体的な指示</p> <p>事前の予備知識等は必要ありませんが、授業は段階的に進めていきますので、各回の復習をしっかりと行ってください。</p>
<p>参考書</p> <p>グラフ理論(増補改訂版)／恵羅博, 土屋守正 著.:産業図書, 2010</p> <p>グラフ理論/R.ディーステル 著根上生也, 太田克弘 訳.:シュプリンガー・フェアラーク東京, 2000</p> <p>幾何学的グラフ理論／前原潤, 根上生也 著.:朝倉書店, 1992</p> <p>離散構造／根上生也 著.:共立出版, 1993</p>
<p>他科目との関連</p> <p>前期の「R・離散構造」と関連する問題を一部扱う予定です。</p>
<p>履修上の注意事項</p> <p>授業時間内に行う演習を重視しているため、欠席は評価上の大きなマイナスになります。</p>
<p>連絡先(メールアドレス)</p> <p>tokunaga.las@tmd.ac.jp</p>
<p>オフィスアワー</p> <p>前期: 木曜 12:20-13:10(ヒポ 4F 徳永研究室またはヒポ 2F 計算機実習室)</p> <p>後期: 金曜 12:20-13:10(ヒポ 4F 徳永研究室またはヒポ 2F 計算機実習室)</p> <p>* いずれも計算機実習室で授業がある日なので、そちらに多いです。 上記以外の時間帯でも、事前にEメールで連絡をもらえれば可能な限り対応します。</p>

時間割番号	000290																																																																																																		
科目名	数学Ⅱ()	科目ID	LA-114403-Z																																																																																																
担当教員	中口 悦史[NAKAGUCHI ETSUSHI]																																																																																																		
開講時期	2022 年度後期	対象年次	1																																																																																																
実務経験のある教員による授業																																																																																																			
<p>対象学科: 医学科・歯学科 募集人数: 40名程度 科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 2-1), 4-2)</p>																																																																																																			
<p>授業の目的、概要等 前期「数学Ⅰ」からの発展の1分野として、応用数学の重要な分野のひとつであり、数理・データサイエンスとも関連の深い、数理最適化を取り上げる。数理最適化は最適化問題、すなわち与えられた条件の下で最適解を探索する問題を、数学的に定式化する方法、それによって定式化された問題、その問題を数学的に解く方法を扱う分野である。物理学のエネルギー最小化問題も最適化問題といえるが、工学、経済学・経営学、医学など幅広い分野で数理最適化は活躍している。</p>																																																																																																			
<p>授業の到達目標 1. 代表的な数理最適化について説明できる。 2. 現実的な問題を数理最適化問題に定式化できる。 次のいずれかに到達した場合は、高い評価を与える: A. 簡単な線形計画問題やネットワーク計画問題を解くことができる。 B. Python プログラミングにより、やや複雑な最適化問題を解くことができる。</p>																																																																																																			
<p>授業計画</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>講義室</th> <th>授業内容</th> <th>担当教員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>10/5</td> <td>16:00-17:30</td> <td></td> <td>数理最適化の概要</td> <td>中口 悦史</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>10/19</td> <td>16:00-17:30</td> <td></td> <td>無制約非線形最適化</td> <td>中口 悦史</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>10/26</td> <td>16:00-17:30</td> <td></td> <td>制約付き非線形最適化</td> <td>中口 悦史</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>11/2</td> <td>16:00-17:30</td> <td></td> <td>線形計画問題</td> <td>中口 悦史</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>11/9</td> <td>16:00-17:30</td> <td></td> <td>線形計画問題(続)</td> <td>中口 悦史</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>11/16</td> <td>16:00-17:30</td> <td></td> <td>整数計画問題</td> <td>中口 悦史</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>11/30</td> <td>16:00-17:30</td> <td></td> <td>整数計画問題(続)</td> <td>中口 悦史</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>12/7</td> <td>16:00-17:30</td> <td></td> <td>0-1 整数計画問題</td> <td>中口 悦史</td> </tr> <tr> <td>9</td> <td>12/14</td> <td>16:00-17:30</td> <td></td> <td>ネットワーク計画問題</td> <td>中口 悦史</td> </tr> <tr> <td>10</td> <td>12/21</td> <td>16:00-17:30</td> <td></td> <td>ネットワーク計画問題(続)</td> <td>中口 悦史</td> </tr> <tr> <td>11</td> <td>1/4</td> <td>16:00-17:30</td> <td></td> <td>PBL 班活動1</td> <td>中口 悦史</td> </tr> <tr> <td>12</td> <td>1/11</td> <td>16:00-17:30</td> <td></td> <td>PBL 班活動2</td> <td>中口 悦史</td> </tr> <tr> <td>13</td> <td>1/18</td> <td>16:00-17:30</td> <td></td> <td>PBL 班活動3</td> <td>中口 悦史</td> </tr> <tr> <td>14</td> <td>1/25</td> <td>16:00-17:30</td> <td></td> <td>PBL 班活動4</td> <td>中口 悦史</td> </tr> <tr> <td>15</td> <td>2/1</td> <td>16:00-17:30</td> <td></td> <td>PBL 発表会・まとめ</td> <td>中口 悦史</td> </tr> </tbody> </table>				回	日付	時刻	講義室	授業内容	担当教員	1	10/5	16:00-17:30		数理最適化の概要	中口 悦史	2	10/19	16:00-17:30		無制約非線形最適化	中口 悦史	3	10/26	16:00-17:30		制約付き非線形最適化	中口 悦史	4	11/2	16:00-17:30		線形計画問題	中口 悦史	5	11/9	16:00-17:30		線形計画問題(続)	中口 悦史	6	11/16	16:00-17:30		整数計画問題	中口 悦史	7	11/30	16:00-17:30		整数計画問題(続)	中口 悦史	8	12/7	16:00-17:30		0-1 整数計画問題	中口 悦史	9	12/14	16:00-17:30		ネットワーク計画問題	中口 悦史	10	12/21	16:00-17:30		ネットワーク計画問題(続)	中口 悦史	11	1/4	16:00-17:30		PBL 班活動1	中口 悦史	12	1/11	16:00-17:30		PBL 班活動2	中口 悦史	13	1/18	16:00-17:30		PBL 班活動3	中口 悦史	14	1/25	16:00-17:30		PBL 班活動4	中口 悦史	15	2/1	16:00-17:30		PBL 発表会・まとめ	中口 悦史
回	日付	時刻	講義室	授業内容	担当教員																																																																																														
1	10/5	16:00-17:30		数理最適化の概要	中口 悦史																																																																																														
2	10/19	16:00-17:30		無制約非線形最適化	中口 悦史																																																																																														
3	10/26	16:00-17:30		制約付き非線形最適化	中口 悦史																																																																																														
4	11/2	16:00-17:30		線形計画問題	中口 悦史																																																																																														
5	11/9	16:00-17:30		線形計画問題(続)	中口 悦史																																																																																														
6	11/16	16:00-17:30		整数計画問題	中口 悦史																																																																																														
7	11/30	16:00-17:30		整数計画問題(続)	中口 悦史																																																																																														
8	12/7	16:00-17:30		0-1 整数計画問題	中口 悦史																																																																																														
9	12/14	16:00-17:30		ネットワーク計画問題	中口 悦史																																																																																														
10	12/21	16:00-17:30		ネットワーク計画問題(続)	中口 悦史																																																																																														
11	1/4	16:00-17:30		PBL 班活動1	中口 悦史																																																																																														
12	1/11	16:00-17:30		PBL 班活動2	中口 悦史																																																																																														
13	1/18	16:00-17:30		PBL 班活動3	中口 悦史																																																																																														
14	1/25	16:00-17:30		PBL 班活動4	中口 悦史																																																																																														
15	2/1	16:00-17:30		PBL 発表会・まとめ	中口 悦史																																																																																														
<p>授業方法 全授業日程を原則として対面で行う。状況に応じて同期ハイブリッド(対面+遠隔)型授業または同期遠隔型授業に切り替える。 第10回までは数理最適化の基礎について、スライドによる講義と演習を行う。各回の前半はスライドによる講義、後半は演習を行う。演習では、4~5名ずつのグループに分かれて問題を解き、その後全体で答え合わせを行う。各回の学習内容を、ノート提出によって確認する。 第11回からは PBL (Problem-Based Learning) 演習を行う。1班3~6名のグループに分かれ、グループごとに数理最適化に関するテーマを設定して調査研究を行い、最終回に発表会で共有する。さらに、一連の学習を元に、課題レポートを提出する。</p>																																																																																																			
<p>授業内容 1. 数理最適化の概要 2. 非線形最適化</p>																																																																																																			

<p>3. 線形計画問題</p> <p>4. 整数計画問題</p> <p>5. 0-1 整数計画問題</p> <p>6. ネットワーク計画問題</p> <p>7. 数理最適化に関する PBL 演習</p>
<p>成績評価の方法</p> <p>評価：試験 0%・レポート 30%・その他 70%(授業内演習 30%, PBL への取組等 40%)</p> <p>再評価：有(筆記試験)</p> <p>授業内演習とノート提出, PBL の活動状況, 期末レポートを総合して成績評価を行う。授業内演習での発言やノート提出, PBL 活動への取り組み具合により授業への参加度や理解度を測る。期末試験に代えてレポートを課し, 総合的な理解度を測る。</p> <p>「試験の受験資格」を満たし, かつ PBL 発表会に参加し, 課題レポートを提出したもののみを, 評価の対象とする。</p>
<p>成績評価の基準</p> <p>「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則別表 2」による</p>
<p>準備学習等についての具体的な指示</p> <p>各回の講義スライドを授業前日までに LMS に掲載するので, できるだけ予習し, 関連する数学の内容をよく復習しておくこと。授業後には演習も復習することが望ましい。</p>
<p>試験の受験資格</p> <p>授業回数の3分の2回以上の出席, ならびに出席回のノート提出。</p>
<p>教科書</p> <p>最適化手法入門／寒野善博著；駒木文保編寒野, 善博, 駒木, 文保, 講談社サイエンティフィク, : 講談社, 2019</p>
<p>参考書</p> <p>数理計画入門／福島雅夫著, 福島, 雅夫, : 朝倉書店, 2011</p> <p>Python による数理最適化入門／並木誠 著, 久保幹雄 監修, 並木, 誠, 久保, 幹雄, 1963-, : 朝倉書店, 2018</p> <p>入門オペレーションズ・リサーチ／松井泰子, 根本俊男, 宇野毅明著, 松井, 泰子, 根本, 俊男, 宇野, 毅明, : 東海大学出版会, 2008</p> <p>オペレーションズ・リサーチ／森雅夫, 松井知己著, 森, 雅夫, 松井, 知己, : 朝倉書店, 2004</p> <p>しっかり学ぶ数理最適化：モデルからアルゴリズムまで／梅谷俊治著, 梅谷, 俊治, : 講談社, 2020</p> <p>応用に役立つ 50 の最適化問題／藤澤克樹, 梅谷俊治著, 藤澤, 克樹, 梅谷, 俊治, : 朝倉書店, 2009</p>
<p>履修上の注意事項</p> <p>出欠確認は, 教室の出欠管理システムと遠隔授業の参加者リスト, および各回のノートあるいはコメントの提出による確認を併用する。第11回以降の PBL 演習は日程を振り替えて, 冬季休業中や試験期間中の集中日程で行うことがある。日程については履修者と調整する。</p>
<p>連絡先(メールアドレス)</p> <p>nakaguti.las@tmd.ac.jp</p>
<p>オフィスアワー</p> <p>前期: 水 17:30—18:30, 後期: 木 12:30—14:30 / 電子メールによる質問等は随時受け付け</p>

時間割番号	000300																																					
科目名	サイエンス PBL 入門	科目ID	LA-116100-Z																																			
担当教員	服部 淳彦, 奈良 雅之, 檜枝 光憲, 伊藤 正則, 徳永 伸一, 中口 悦史, 澤野 頼子, 越野 和樹, 勝又 敏行, 松本 幸久, 梅崎 馨章, 三好 洋, 中林 潤, 本田 陽子, 宮園 健一, 渡辺 数基[HATTORI ATSUSHIKO, NARA MASAYUKI, HIEDA MITSUNORI, ITO MASANORI, TOKUNAGA SHINICHI, NAKAGUCHI ETSUSHI, SAWANO YORIKO, KOSHINO KAZUKI, KATSUMATA TOSHIYUKI, MATSUMOTO YUKIHISA, UMEZAKI KEISHIYO, MIYOSHI Hiroshi, NAKABAYASHI Junn, HONNDA Youko, MIYAZONO KENICHI, WATANABE]																																					
開講時期	2022 年度後期	対象年次	1																																			
実務経験のある教員による授業		単位数	1																																			
<p>・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー)</p> <p>2-2)自然現象を探究するための手法を知る。</p> <p>2-4)自己問題提起・解決型の学習方法を身につける。</p> <p>4-3)自然現象を探究するための基本的な手法を身につける。</p>																																						
<p>主な講義場所</p> <p>後日、掲示する。</p>																																						
<p>授業の目的、概要等</p> <p>1)問題抽出、論理的思考、コミュニケーション技術の向上: 次の一連の過程において必要な技術を向上させる。「資料やデータから具体的な問題点を抽出する → 知識を集め、整理する → 正確な知識と知識を根拠とした正確な論理展開によって問題点を解決する → 簡潔かつ解り易い言葉で説明し、建設的な話し合いを行う」。</p> <p>2)実験研究者になるための基礎づくり: 問題点を解決するために適切な実験を計画・実施する技術を向上させる。また、実験データを解り易く整理し、実験データの解析と適切な考察を行う技術を培う。</p> <p>3)医療に携わるうえでの基礎づくり 測定結果から正しい結論やその背景にあるメカニズムを推論する。その過程で必要な論理的思考力を向上させる。</p>																																						
<p>授業の到達目標</p> <p>1. 具体的な問題点を抽出し、「正確な知識」と「知識を根拠とした正確な論理展開」によって問題点を解決することができる。</p> <p>2. 簡潔かつ解り易い言葉で説明することができる。</p> <p>3. 建設的な話し合いを行うことができる。</p>																																						
<p>授業計画</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>講義室</th> <th>担当教員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1-2</td> <td>12/9</td> <td>13:10-16:20</td> <td></td> <td>服部 淳彦, 奈良 雅之, 檜枝 光憲, 伊藤 正則, 徳永 伸一, 中口 悦史, 澤野 頼子, 越野 和樹, 勝又 敏行, 松本 幸久, 梅崎 馨章, 三好 洋, 池田 暁彦, 宮川 拓也</td> </tr> <tr> <td>3-4</td> <td>12/16</td> <td>13:10-16:20</td> <td></td> <td>服部 淳彦, 奈良 雅之, 檜枝 光憲, 伊藤 正則, 徳永 伸一, 中口 悦史, 澤野 頼子, 越野 和樹, 勝又 敏行, 松本 幸久, 梅崎 馨章, 三好 洋, 池田 暁彦, 宮川 拓也</td> </tr> <tr> <td>5-6</td> <td>1/6</td> <td>13:10-16:20</td> <td></td> <td>服部 淳彦, 奈良 雅之, 檜枝 光憲, 伊藤 正則, 徳永 伸一, 中口 悦史, 澤野 頼子, 越野 和樹, 勝又 敏行, 松本 幸久, 梅崎 馨章, 三好 洋, 池田 暁彦, 宮川 拓也</td> </tr> <tr> <td>7-8</td> <td>1/13</td> <td>13:10-16:20</td> <td></td> <td>服部 淳彦, 奈良 雅之, 檜枝 光憲, 伊藤 正則, 徳永 伸一, 中口 悦史, 澤野 頼子, 越野 和樹, 勝又 敏行, 松本 幸久, 梅崎 馨章, 三好 洋, 池田 暁彦, 宮川 拓也</td> </tr> <tr> <td>9-10</td> <td>1/20</td> <td>13:10-16:20</td> <td></td> <td>服部 淳彦, 奈良 雅之, 檜枝 光憲, 伊藤 正則, 徳永 伸一, 中口 悦史, 澤野 頼子, 越野 和樹, 勝又 敏行, 松本 幸久, 梅崎 馨章, 三好 洋, 池田 暁彦, 宮川 拓也</td> </tr> <tr> <td>11-12</td> <td>1/27</td> <td>13:10-16:20</td> <td></td> <td>服部 淳彦, 奈良 雅之, 檜枝 光憲, 伊藤 正則, 徳永 伸一, 中口 悦史, 澤野 頼子, 越野 和樹, 勝又 敏行, 松本 幸久, 梅崎 馨章, 三好 洋, 池田 暁彦, 宮川 拓也</td> </tr> </tbody> </table>				回	日付	時刻	講義室	担当教員	1-2	12/9	13:10-16:20		服部 淳彦, 奈良 雅之, 檜枝 光憲, 伊藤 正則, 徳永 伸一, 中口 悦史, 澤野 頼子, 越野 和樹, 勝又 敏行, 松本 幸久, 梅崎 馨章, 三好 洋, 池田 暁彦, 宮川 拓也	3-4	12/16	13:10-16:20		服部 淳彦, 奈良 雅之, 檜枝 光憲, 伊藤 正則, 徳永 伸一, 中口 悦史, 澤野 頼子, 越野 和樹, 勝又 敏行, 松本 幸久, 梅崎 馨章, 三好 洋, 池田 暁彦, 宮川 拓也	5-6	1/6	13:10-16:20		服部 淳彦, 奈良 雅之, 檜枝 光憲, 伊藤 正則, 徳永 伸一, 中口 悦史, 澤野 頼子, 越野 和樹, 勝又 敏行, 松本 幸久, 梅崎 馨章, 三好 洋, 池田 暁彦, 宮川 拓也	7-8	1/13	13:10-16:20		服部 淳彦, 奈良 雅之, 檜枝 光憲, 伊藤 正則, 徳永 伸一, 中口 悦史, 澤野 頼子, 越野 和樹, 勝又 敏行, 松本 幸久, 梅崎 馨章, 三好 洋, 池田 暁彦, 宮川 拓也	9-10	1/20	13:10-16:20		服部 淳彦, 奈良 雅之, 檜枝 光憲, 伊藤 正則, 徳永 伸一, 中口 悦史, 澤野 頼子, 越野 和樹, 勝又 敏行, 松本 幸久, 梅崎 馨章, 三好 洋, 池田 暁彦, 宮川 拓也	11-12	1/27	13:10-16:20		服部 淳彦, 奈良 雅之, 檜枝 光憲, 伊藤 正則, 徳永 伸一, 中口 悦史, 澤野 頼子, 越野 和樹, 勝又 敏行, 松本 幸久, 梅崎 馨章, 三好 洋, 池田 暁彦, 宮川 拓也
回	日付	時刻	講義室	担当教員																																		
1-2	12/9	13:10-16:20		服部 淳彦, 奈良 雅之, 檜枝 光憲, 伊藤 正則, 徳永 伸一, 中口 悦史, 澤野 頼子, 越野 和樹, 勝又 敏行, 松本 幸久, 梅崎 馨章, 三好 洋, 池田 暁彦, 宮川 拓也																																		
3-4	12/16	13:10-16:20		服部 淳彦, 奈良 雅之, 檜枝 光憲, 伊藤 正則, 徳永 伸一, 中口 悦史, 澤野 頼子, 越野 和樹, 勝又 敏行, 松本 幸久, 梅崎 馨章, 三好 洋, 池田 暁彦, 宮川 拓也																																		
5-6	1/6	13:10-16:20		服部 淳彦, 奈良 雅之, 檜枝 光憲, 伊藤 正則, 徳永 伸一, 中口 悦史, 澤野 頼子, 越野 和樹, 勝又 敏行, 松本 幸久, 梅崎 馨章, 三好 洋, 池田 暁彦, 宮川 拓也																																		
7-8	1/13	13:10-16:20		服部 淳彦, 奈良 雅之, 檜枝 光憲, 伊藤 正則, 徳永 伸一, 中口 悦史, 澤野 頼子, 越野 和樹, 勝又 敏行, 松本 幸久, 梅崎 馨章, 三好 洋, 池田 暁彦, 宮川 拓也																																		
9-10	1/20	13:10-16:20		服部 淳彦, 奈良 雅之, 檜枝 光憲, 伊藤 正則, 徳永 伸一, 中口 悦史, 澤野 頼子, 越野 和樹, 勝又 敏行, 松本 幸久, 梅崎 馨章, 三好 洋, 池田 暁彦, 宮川 拓也																																		
11-12	1/27	13:10-16:20		服部 淳彦, 奈良 雅之, 檜枝 光憲, 伊藤 正則, 徳永 伸一, 中口 悦史, 澤野 頼子, 越野 和樹, 勝又 敏行, 松本 幸久, 梅崎 馨章, 三好 洋, 池田 暁彦, 宮川 拓也																																		

授業方法 problem-based learning (PBL)
授業内容 8 名程度から成るグループによる学習で、配布資料(課題シートなど)から問題点を抽出し、自然科学の知識を活用して、問題点を解決することを試みる。具体的には次の 1-3 の順に行う。 1. 配布資料の内容を理解し、学生間での話し合い、具体的な問題点を抽出する。 2. 各自が問題点を解決するために必要な情報を得た後、情報を整理する。 3. 整理した情報を発表し、議論する。発表と議論した内容をまとめることによって、問題点に対する答えを導き出す。 この授業では学生間での話し合いが中心となり、話し合いに参加するためには、明確な目的意識をもった学習が必要である。
成績評価の方法 授業への参加度、グループによる話し合いへの参加、グループごとの発表会での発表内容、発表会での質問・返答内容、レポートの記述内容による。詳細は 1 回目の授業内でのガイダンスで述べる。
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表 2」による
準備学習等についての具体的な指示 各自が問題点を解決するために必要な情報を集め、ノートに整理しておくこと。情報を集める過程でさらに問題点をみつけること。問題点を論理的方法により解決する。
試験の受験資格 試験を行わない。
教科書 課題シートなどの資料を配布する。
参考書 必要に応じて紹介する。
連絡先(メールアドレス) 伊藤 正則:itohmt.las@tmd.ac.jp 中林 潤:nakab.las@tmd.ac.jp 梅崎 馨章:教養教務・支援掛までお問い合わせ下さい。 澤野 頼子:sawano.las@tmd.ac.jp 徳永 伸一:tokunaga.las@tmd.ac.jp 服部 淳彦:ahattori.las@tmd.ac.jp 奈良 雅之:nara.las@tmd.ac.jp 勝又 敏行:katsumata.las@tmd.ac.jp 松本 幸久:yukihisa.las@tmd.ac.jp 檜枝 光憲:hieda.las@tmd.ac.jp 宮園 健一:教養教務・支援掛までお問い合わせ下さい。 中口 悦史:nakaguti.las@tmd.ac.jp 越野 和樹:ikuzak.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー 伊藤 正則:毎週月曜日 AM.10:00-PM.2:00 ヒポクラテスホール4階生物学教員研究室 中林 潤:月曜～金曜 AM.10:00 - P.M. 05:00 国府台キャンパス 4 階 教官研究室—9 梅崎 馨章:教養教務・支援掛までお問い合わせ下さい。 澤野 頼子:毎週金曜日 PM.0:00-PM.1:00 ヒポクラテス 4 階 徳永 伸一:前期:

木曜 12:20-13:10(ヒポ 4F 徳永研究室またはヒポ 2F 計算機実習室)

後期:

金曜 12:20-13:10(ヒポ 4F 徳永研究室またはヒポ 2F 計算機実習室)

*いずれも計算機実習室で授業がある日なので、そちらにいることが多いです。

上記以外の時間帯でも、事前にEメールで連絡をもらえれば可能な限り対応します。

服部 淳彦:毎週 水曜:12:30~14:00 金曜:10:30~12:30 ヒポ 4F 教員研究室(A2)

奈良 雅之:毎週水曜日 PM.0:00-PM.2:00, 毎週金曜日 PM.0:00-PM.1:00 ヒポクラテス 4 階

勝又 敏行:毎週金曜日 12:00-13:00 ヒポクラテス 2 階化学実験準備室

松本 幸久:毎週月曜日 PM.4:30-6:00 ヒポクラテスホール 3 階生物教員実験室

檜枝 光憲:毎週金曜日 16:30~17:30 ヒポ 4F 教員研究室 3

宮園 健一:教養教務・支援掛までお問い合わせ下さい。

中口 悦史:前期:水 17:30-18:30, 後期:木 12:30-14:30/電子メールによる質問等は随時受け付け

越野 和樹:毎週月曜日 12:00-13:00 ヒポクラテス 4 階

時間割番号	000301						
科目名	グローバル教養総合講座			科目ID	LA-117000-Z		
担当教員	PATRICK FOSS, 奈良 雅之, 木谷 真紀子, 伊藤 正則, 越野 和樹, 中林 潤, 中口 悦史, 徳永 伸一, 畔柳 和代, 猪熊 恵子, JEANETTE DENNISSON, BAO MIN, 勝又 敏行, 檜枝 光憲, 藤井 達夫, 渡辺 数基, 鶴橋 辰成, 高橋 優美穂[PATRICK FOSS, NARA MASAYUKI, KITANI Makiko, ITO MASANORI, KOSHINO KAZUKI, NAKABAYASHI Junn, NAKAGUCHI ETSUSHI, TOKUNAGA SHINICHI, KUROYANAGI KAZUYO, INOKUMA KEIKO, JEANETTE DENNISSON, BAO Min, KATSUMATA TOSHIYUKI, Mitsunori Hieda, FUJII Tatsuo, WATANABE , UZURAHASHI Tatsunari, TAKAHASHI Yumihō]						
開講時期	2022 年度前期	対象年次	1	単位数	1		
実務経験のある教員による授業							
<p>・曜日・時間:火曜日3・4・5限</p> <p>・対象学科・専攻:全学科</p> <p>・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):</p> <p>1-10)現代社会における科学の責任を意識できるようになる。</p> <p>2-4)自己問題提起・解決型の学習方法を身につける。</p> <p>3-2)自らの考えを的確に伝えるための基本的な文章表現能力を身につける</p> <p>3-3)チームの中で、自己の役割を果たす能力を身につける。</p> <p>4-4)情報についての基本技能を身につける</p>							
<p>授業の目的、概要等</p> <p>(1)人文社会科学から自然科学までの学問領域を横断して、地球規模の問題に関する共通のテーマを深く考察する機会を持つことによって、自発的な学びの態度と幅広い視野を身につける。</p> <p>(2)すべての学生が共に学ぶ教養部の特性を活かし、学科の枠を超えた相互理解を育むことを通じて、将来のチーム医療の基盤となるグループ学習、グループディスカッションを初年次より体験する。</p> <p>(3)学問を身につける上で基礎的な技能となる、コミュニケーション、文章表現、情報活用、プレゼンテーションの能力の向上を図る。</p>							
<p>授業の到達目標</p> <p>大学での学習に必要な討論、文章表現および情報活用に関する基本的なスキルを身に付ける。</p> <p>以下の2点を満たすことが、B評価(70点以上)の必要条件として要求される。</p> <p>1. 授業内で課される課題について、原則としてすべて、期限内に所定の形式で提出すること。</p> <p>2. テーマに関する調査、ディスカッション、プレゼンテーションへの準備など、グループでの活動に主体的に取り組むこと。</p>							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1-2	5/31	14:50-18:00		グローバル教養総合講座1	ガイダンス、基調講演	高橋 優美穂 鶴橋 辰成 木谷 真紀子, 徳永 伸一, 中口 悦史 越野 和樹, 檜枝 光憲 勝又 敏行, 勝又 敏行, 奈良 雅之 伊藤 正則, P	

						ATRICK FOSS, 猪熊 恵子, JEANETTE DENNISON, 畔柳 和代, BAO MIN, 中林 潤, 藤井 達夫, 渡辺 数基, 服部 淳彦	
3-5	6/7	13:10-18:00		グローバル教養総合講座 2	文章表現または情報活用 I、基礎ゼミ1	高橋 優美穂 髙橋 辰成 木谷 真紀子, 徳永 伸一, 中口 悦史 越野 和樹, 檜枝 光憲 勝又 敏行, 勝又 敏行, 奈良 雅之 伊藤 正則, P ATRICK FOSS, 猪熊 恵子, JEANETTE DENNISON, 畔柳 和代, BAO MIN, 中林 潤, 藤井 達夫, 渡辺 数基, 服部 淳彦	班・教室は配布資料にて確認のこと。
6-8	6/21	13:10-18:00		グローバル教養総合講座 3	文章表現または情報活用 I、基礎ゼミ2	高橋 優美穂 髙橋 辰成 木谷 真紀子, 徳永 伸一, 中口 悦史 越野 和樹, 檜枝 光憲 勝又 敏行, 勝又 敏行, 奈良 雅之 伊藤 正則, P ATRICK FOSS, 猪熊 恵子, JEANETTE DENNISON, 畔柳 和代, BAO MIN, 中林 潤, 藤井 達夫, 渡辺 数基, 服部 淳彦	班・教室は配布資料にて確認のこと。

						SON, 畔柳和代, BAO MIN, 中林潤, 藤井 達夫, 渡辺 数基, 服部 淳彦	
9-11	7/5	13:10-18:00		グローバル教養総合講座 4	文章表現Ⅱまたは情報活用Ⅱ、基礎ゼミ 3	高橋 優美穂, 髙橋 辰成, 木谷 真紀子, 徳永 伸一, 中口 悦史, 越野 和樹, 檜枝 光憲, 勝又 敏行, 勝又 敏行, 奈良 雅之, 伊藤 正則, PATRICK FOSS, 猪熊 恵子, JEANETTE DENNISON, 畔柳和代, BAO MIN, 中林潤, 藤井 達夫, 渡辺 数基, 服部 淳彦	班・教室は配布資料にて確認のこと。
12-14	7/19	13:10-18:00		グローバル教養総合講座 5	文章表現Ⅱまたは情報活用Ⅱ、基礎ゼミ 4	高橋 優美穂, 髙橋 辰成, 木谷 真紀子, 徳永 伸一, 中口 悦史, 越野 和樹, 檜枝 光憲, 勝又 敏行, 勝又 敏行, 奈良 雅之, 伊藤 正則, PATRICK FOSS, 猪熊 恵子, JEANETTE DENNISON, 畔柳和代, BAO MIN, 中林潤, 藤井 達	班・教室は配布資料にて確認のこと。

						夫 渡辺 数 基 服部 淳 彦	
15-16	7/26	13:10-16:20		グローバル教養総合講 座6	文章表現Ⅲ、基礎ゼミ交流戦、反 省会	高橋 優美穂 鶉橋 辰成 木谷 真紀子, 徳永 伸一, 中口 悦史 越野 和樹, 檜枝 光憲, 勝又 敏行, 勝又 敏行, 奈良 雅之, 伊藤 正則, P ATRICK FO SS, 猪熊 恵 子, JEANET TE DENNIS SON, 畔柳 和代, BAO MIN, 中林 潤, 藤井 達 夫, 渡辺 数 基 服部 淳 彦	班・教室は配布資 料にて確認のこ と。
17	9/6	10:50-12:20		グローバル教養総合講 座7	基礎ゼミ5	高橋 優美穂 鶉橋 辰成 木谷 真紀子, 徳永 伸一, 中口 悦史 越野 和樹, 檜枝 光憲, 勝又 敏行, 勝又 敏行, 奈良 雅之, 伊藤 正則, P ATRICK FO SS, 猪熊 恵 子, JEANET TE DENNIS SON, 畔柳 和代, BAO MIN, 中林 潤, 藤井 達 夫, 渡辺 数 基 服部 淳 彦	班・教室は配布資 料にて確認のこ と。
18	9/16	13:10-14:40		グローバル教養総合講	発表会直前リハーサル	高橋 優美穂	班・教室は配布資

				座8		鷗橋 辰成 木谷 真紀子, 徳永 伸一, 中口 悦史 越野 和樹, 檜枝 光憲 勝又 敏行, 勝又 敏行, 奈良 雅之, 伊藤 正則, P ATRICK FO SS, 猪熊 恵 子, JEANET TE DENNIS SON, 畔柳 和代, BAO MIN, 中林 潤, 藤井 達 夫, 渡辺 数 基, 服部 淳 彦	料にて確認のこ と。
19-20	9/22	13:10-16:20		グローバル教養総合講 座9	最終発表会	高橋 優美穂 鷗橋 辰成 木谷 真紀子, 徳永 伸一, 中口 悦史 越野 和樹, 檜枝 光憲 勝又 敏行, 勝又 敏行, 奈良 雅之, 伊藤 正則, P ATRICK FO SS, 猪熊 恵 子, JEANET TE DENNIS SON, 畔柳 和代, BAO MIN, 中林 潤, 藤井 達 夫, 渡辺 数 基, 服部 淳 彦	班・教室は配布資 料にて確認のこ と。
授業方法 講義とセミナー形式を基本とし、添削・演習や発表も課す。 教養部ガイダンスや第1回目の日(5月31日)に、詳細な説明を行う。							
授業内容 本授業は(1)基礎ゼミ、(2)文章表現リテラシー、(3)情報活用リテラシーの3つの内容から構成される。これらは、対象学生全員を8							

名程度のグループに分けて、並行して進められる。

(1)基礎ゼミでは、指定された読み物と初回の基調講演を参考にして、班ごとに大きなテーマに沿って課題を見つけ、問題を抽出し、情報収集と討論を行い、最終回(発表会)で班の考えを述べる。教養部教員がチュータとして参加する。

(2)文章表現リテラシーでは、講義と添削により、論理的文章の書き方を実践的に学ぶ。

(3)情報活用リテラシーでは、情報の収集・分析・提示について、演習を交えながら学ぶ。

「基礎ゼミ」内の主なイベント予定は下記のとおり。一部変更の可能性があるため、開講後もウェブクラスでの通知に注意すること。

5月31日(火) 外部講師による基調講演、ガイダンス

7月26日(火) 基礎ゼミ交流戦 + 反省会

9月16日(金) 最終発表会前リハーサル

9月22日(木) 最終発表会

成績評価の方法

評価:その他 100%

基礎ゼミ(60%)、文章表現リテラシー(20%)、情報活用リテラシー(20%)

出席状況や課題への取り組み方、授業への参加態度などをもとに総合的に評価する。

なお、指定した期日までにレポートの提出が無い場合は、不可とする。

再評価: 無

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による。

準備学習等についての具体的な指示

「基礎ゼミ指定読み物」および「文章表現リテラシーの指定読み物」は第1回の授業時までに手元に準備し、必ず読んでおくこと。

教科書

<基礎ゼミ指定資料>

Takahashi, Taichi (Director). (2017). Water, not weapons: The greening of Afghanistan [Video]. NHK World Japan.

講演前に通覧すること。

<文章表現リテラシー指定教科書>

1. 山折 哲雄『わたしが死について語るなら』(ポプラ新書、2013年)。

2. アンデシュ・ハンセン『スマホ脳』(新潮社、2020年)。

第1回の授業時までに手元に準備し、必ず読んでおくこと。

参考書

レポートの作り方: 情報収集からプレゼンテーションまで/江下雅之:中央公論新社, 2003年

悪文: 伝わる文章の作法/岩淵悦太郎 編著,岩淵 悦太郎, 1905-1978,:KADOKAWA, 2016

レポートの組み立て方/木下 是雄 著,木下/是雄:筑摩書房

日本語の思考法/木下是雄 著,木下, 是雄, 1917-2014,:中央公論新社, 2009

(注意)

上記、江下雅之『レポートの作り方: 情報収集からプレゼンテーションまで』(中央公論新社、2003年)は「文章表現リテラシー」および「情報活用リテラシー」で参照を求める指定参考書です。

時間割番号	000312			科目ID	LA-116813-Z																																																																																
科目名	S・水の科学		科目ID	LA-116813-Z																																																																																	
担当教員	奈良 雅之[NARA MASAYUKI]																																																																																				
開講時期	2022 年度前期	対象年次	1	単位数	1																																																																																
実務経験のある教員による授業																																																																																					
<p>・曜日・時間:金曜1時限</p> <p>・対象学科:全学科</p> <p>・募集人数:35名</p> <p>・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):</p> <p>別表2-4)自己問題提起・解決型の学習方法を身につける</p> <p>別表2-5)自らテーマを見つけて、調べ、発展させ、論文にまとめる能力を養う</p>																																																																																					
<p>授業の目的、概要等</p> <p>水に対する世間の関心が高いことはご存じのことでしょう。例えば、水道水に対する不安、不満、嗜好飲料に対するブランド志向などからミネラルウォーターが一般家庭の中で定着しています。また、十分な科学的な根拠なしに、水に新しい機能を求める風潮がありますし、本屋の棚には「水で病気が治った?」といった怪しげな本も見受けられます。日常生活の中で当たり前としてとらえがちな「水」ですが、実は非常に複雑で奥が深く、なかなか一筋縄で理解できるものではありません。そこで、「水」に関するテーマを科学的な視点はもちろん、社会的な視点からも眺めることにより、その広さと深さを勉強します。</p>																																																																																					
<p>授業の到達目標</p> <p>1. 水、水溶液を科学的な視点で理解できる。</p> <p>2. 「水」に関連する興味のあるテーマについて、自分で調べてプレゼンテーションを行うことができる。</p> <p>3. 授業中にあまり積極的に参加できていないが、プレゼンテーション、レポート提出は行えた場合に、GPA における「B」に相当する。能動学習の成果が授業中に出ている学生は、「A あるいは A+」に相当する。</p>																																																																																					
<p>授業計画</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>講義室</th> <th>担当教員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td>4/15</td><td>09:10-10:40</td><td></td><td>奈良 雅之</td></tr> <tr><td>2</td><td>4/22</td><td>09:10-10:40</td><td></td><td>奈良 雅之</td></tr> <tr><td>3</td><td>5/6</td><td>09:10-10:40</td><td></td><td>奈良 雅之</td></tr> <tr><td>4</td><td>5/13</td><td>09:10-10:40</td><td></td><td>奈良 雅之</td></tr> <tr><td>5</td><td>5/20</td><td>09:10-10:40</td><td></td><td>奈良 雅之</td></tr> <tr><td>6</td><td>5/27</td><td>09:10-10:40</td><td></td><td>奈良 雅之</td></tr> <tr><td>7</td><td>6/3</td><td>09:10-10:40</td><td></td><td>奈良 雅之</td></tr> <tr><td>8</td><td>6/10</td><td>09:10-10:40</td><td></td><td>奈良 雅之</td></tr> <tr><td>9</td><td>6/17</td><td>09:10-10:40</td><td></td><td>奈良 雅之</td></tr> <tr><td>10</td><td>6/24</td><td>09:10-10:40</td><td></td><td>奈良 雅之</td></tr> <tr><td>11</td><td>7/1</td><td>09:10-10:40</td><td></td><td>奈良 雅之</td></tr> <tr><td>12</td><td>7/8</td><td>09:10-10:40</td><td></td><td>奈良 雅之</td></tr> <tr><td>13</td><td>7/15</td><td>09:10-10:40</td><td></td><td>奈良 雅之</td></tr> <tr><td>14</td><td>7/22</td><td>09:10-10:40</td><td></td><td>奈良 雅之</td></tr> <tr><td>15</td><td>7/29</td><td>09:10-10:40</td><td></td><td>奈良 雅之</td></tr> </tbody> </table>						回	日付	時刻	講義室	担当教員	1	4/15	09:10-10:40		奈良 雅之	2	4/22	09:10-10:40		奈良 雅之	3	5/6	09:10-10:40		奈良 雅之	4	5/13	09:10-10:40		奈良 雅之	5	5/20	09:10-10:40		奈良 雅之	6	5/27	09:10-10:40		奈良 雅之	7	6/3	09:10-10:40		奈良 雅之	8	6/10	09:10-10:40		奈良 雅之	9	6/17	09:10-10:40		奈良 雅之	10	6/24	09:10-10:40		奈良 雅之	11	7/1	09:10-10:40		奈良 雅之	12	7/8	09:10-10:40		奈良 雅之	13	7/15	09:10-10:40		奈良 雅之	14	7/22	09:10-10:40		奈良 雅之	15	7/29	09:10-10:40		奈良 雅之
回	日付	時刻	講義室	担当教員																																																																																	
1	4/15	09:10-10:40		奈良 雅之																																																																																	
2	4/22	09:10-10:40		奈良 雅之																																																																																	
3	5/6	09:10-10:40		奈良 雅之																																																																																	
4	5/13	09:10-10:40		奈良 雅之																																																																																	
5	5/20	09:10-10:40		奈良 雅之																																																																																	
6	5/27	09:10-10:40		奈良 雅之																																																																																	
7	6/3	09:10-10:40		奈良 雅之																																																																																	
8	6/10	09:10-10:40		奈良 雅之																																																																																	
9	6/17	09:10-10:40		奈良 雅之																																																																																	
10	6/24	09:10-10:40		奈良 雅之																																																																																	
11	7/1	09:10-10:40		奈良 雅之																																																																																	
12	7/8	09:10-10:40		奈良 雅之																																																																																	
13	7/15	09:10-10:40		奈良 雅之																																																																																	
14	7/22	09:10-10:40		奈良 雅之																																																																																	
15	7/29	09:10-10:40		奈良 雅之																																																																																	
<p>授業方法</p> <p>教員による講義の部分はできるだけ少なくてし、受講者が積極的に参加するように、輪読、グループ学習、発表会など能動学習(アクティブラーニング)を実践します。特に、机上の議論だけでなく、「どの水がうまいか?」「どの水を使うと、おいしいコーヒーが飲めるか?」など実際に比較実験を行う(自分の舌で確かめる)ことにより、朝の眠気を吹き飛ばすようにしたいと思います。</p>																																																																																					

授業内容 1.ガイダンス 2.水に関する講義 3.水、水溶液に関連する文献の輪読 4.ミネラルウォーターの試飲会 and/or コーヒーの試飲会 5. 水に関する簡単な実験(←実験希望者を対象) 6.報告会 など
成績評価の方法 評価:授業中のグループ活動が特に重要ですので、授業への貢献度(50%)、発表・プレゼンテーション(20%)、レポート(30%)で評価します。 アクティブラーニングの提出物(レポート)よりもアクティブラーニングの活動を評価として重視します。 再評価:無
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による
準備学習等についての具体的な指示 新聞記事、インターネットなどから水に関する情報を収集してください。
試験の受験資格 期末考査・再試験の受験資格:原則3分の2以上出席
教科書 水を科学する／川瀬義矩 著.:東京電機大学出版局, 2011
参考書 水の話・十講 : その科学と環境問題／鈴木啓三 著.:化学同人, 1997 水とはなにか : ミクロに見たそのふるまい／上平 恒／著.:講談社, 1979 系統看護学講座 化学／奈良雅之:医学書院, 2018 水の科学 : 水の自然誌と生命、環境、未来／清田佳美著,清田, 佳美.:オーム社, 2015
他科目との関連 分子レベルの化学に興味を持っている方は、「分子分光学演習:基礎編」の履修をお勧めします。
履修上の注意事項 1限の授業に遅刻、無断欠席する人は、グループ活動の妨げになりますので、履修しないでください。 グループ学習が嫌いな人には向いていません。
連絡先(メールアドレス) nara.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー 毎週水曜日 PM.0:00-PM.2:00, 毎週金曜日 PM.0:00-PM.1:00 ヒポクラテス 4 階

時間割番号	000323			科目ID	LA-116830-Z																																																																	
科目名	S・一般化学演習																																																																					
担当教員	奈良 雅之[NARA MASAYUKI]																																																																					
開講時期	2022 年度前期	対象年次	1	単位数	1																																																																	
実務経験のある教員による授業																																																																						
<ul style="list-style-type: none"> ・曜日・時間: 月曜1時限 と夏季集中 ・対象学科: 医学科、歯学科、保健衛生学科検査技術学専攻 ・募集人数 40名 ・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): <ul style="list-style-type: none"> 2-1) 自然現象を科学的に探究するための方法論を知る 4-2) 生命現象・自然現象について総合的に理解するための基礎学力・思考力を身につける 																																																																						
授業の目的、概要等 化学の講義だけではなかなか理解ができない方、演習を通して一般化学の理解を深めたい方を対象に「マグロウヒル大学演習 一般化学」の補充問題や市販の問題集を主な題材として演習を行います。受講者は単に問題を解くだけでなく、その解説をみんなの前で行いますので、プレゼンテーションの練習になるでしょう。受講する側は、その説明を通して理解できたかどうかを評価したり、議論したりしますので、履修者全員が参加しなければいけません。予習にかなりの時間が費やさなければならないことを覚悟の上で授業に臨んで下さい。																																																																						
授業の到達目標 「マグロウヒル大学演習 一般化学」の各章を理解し、かつその演習問題に取り組むことができる。 演習形式の授業に参加することを通して、能動的に学習態度を身につける。																																																																						
授業計画 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>講義室</th> <th>担当教員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td>4/18</td><td>09:10-10:40</td><td></td><td>奈良 雅之</td></tr> <tr><td>2</td><td>4/25</td><td>09:10-10:40</td><td></td><td>奈良 雅之</td></tr> <tr><td>3</td><td>5/9</td><td>09:10-10:40</td><td></td><td>奈良 雅之</td></tr> <tr><td>4</td><td>5/16</td><td>09:10-10:40</td><td></td><td>奈良 雅之</td></tr> <tr><td>5</td><td>5/30</td><td>09:10-10:40</td><td></td><td>奈良 雅之</td></tr> <tr><td>6</td><td>6/13</td><td>09:10-10:40</td><td></td><td>奈良 雅之</td></tr> <tr><td>7</td><td>6/27</td><td>09:10-10:40</td><td></td><td>奈良 雅之</td></tr> <tr><td>8</td><td>7/11</td><td>09:10-10:40</td><td></td><td>奈良 雅之</td></tr> <tr><td>9</td><td>7/25</td><td>09:10-10:40</td><td></td><td>奈良 雅之</td></tr> <tr><td>10-11</td><td>8/15</td><td>09:10-12:20</td><td></td><td>奈良 雅之</td></tr> <tr><td>12-13</td><td>8/16</td><td>09:10-12:20</td><td></td><td>奈良 雅之</td></tr> <tr><td>14-15</td><td>8/17</td><td>09:10-12:20</td><td></td><td>奈良 雅之</td></tr> </tbody> </table>						回	日付	時刻	講義室	担当教員	1	4/18	09:10-10:40		奈良 雅之	2	4/25	09:10-10:40		奈良 雅之	3	5/9	09:10-10:40		奈良 雅之	4	5/16	09:10-10:40		奈良 雅之	5	5/30	09:10-10:40		奈良 雅之	6	6/13	09:10-10:40		奈良 雅之	7	6/27	09:10-10:40		奈良 雅之	8	7/11	09:10-10:40		奈良 雅之	9	7/25	09:10-10:40		奈良 雅之	10-11	8/15	09:10-12:20		奈良 雅之	12-13	8/16	09:10-12:20		奈良 雅之	14-15	8/17	09:10-12:20		奈良 雅之
回	日付	時刻	講義室	担当教員																																																																		
1	4/18	09:10-10:40		奈良 雅之																																																																		
2	4/25	09:10-10:40		奈良 雅之																																																																		
3	5/9	09:10-10:40		奈良 雅之																																																																		
4	5/16	09:10-10:40		奈良 雅之																																																																		
5	5/30	09:10-10:40		奈良 雅之																																																																		
6	6/13	09:10-10:40		奈良 雅之																																																																		
7	6/27	09:10-10:40		奈良 雅之																																																																		
8	7/11	09:10-10:40		奈良 雅之																																																																		
9	7/25	09:10-10:40		奈良 雅之																																																																		
10-11	8/15	09:10-12:20		奈良 雅之																																																																		
12-13	8/16	09:10-12:20		奈良 雅之																																																																		
14-15	8/17	09:10-12:20		奈良 雅之																																																																		
授業方法 学生参加型の発表形式で授業が進行します。																																																																						
授業内容 第1・2回 序論: 単位、気体の測定、気体の分子量 第3・4回 電離平衡(酸・塩基) 第5・6回 電離平衡 (錯体と沈殿) 第7・8回 化学熱力学分野 第9・10回 化学熱力学分野 第11・12回 原子の構造 第13・14回 分子の構造 第15回 総合演習																																																																						

<p>成績評価の方法</p> <p>評価:試験(期末考査)30%・レポート(学習実践記録)30% その他40%(授業中の発表、参加度) 授業中の演習への参加度を重視しますので、その他のウエイトを高くしました。</p> <p>再評価:無</p>
<p>成績評価の基準</p> <p>「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による</p>
<p>準備学習等についての具体的な指示</p> <p>予習:指定された問題をノートに解いておく。 復習:授業中の解説を聞いて、自分で理解できるまでの過程を学習実践記録として記す</p>
<p>試験の受験資格</p> <p>定期試験の受験資格:原則3分の2以上の出席</p>
<p>教科書</p> <p>一般化学/Jerome L.Rosenberg, Lawrence M.Epstein 共著,一國雅巳 訳,:オーム社, 1995</p>
<p>参考書</p> <p>フレンドリー基礎物理化学演習/田中潔, 荒井貞夫 共著,:三共出版, 2013 系統看護学講座/奈良, 雅之,:医学書院, 2018</p>
<p>連絡先(メールアドレス)</p> <p>nara.las@tmd.ac.jp</p>
<p>オフィスアワー</p> <p>毎週水曜日 PM.0:00-PM.2:00, 毎週金曜日 PM.0:00-PM.1:00 ヒポクラテス 4 階</p>

時間割番号	000325			科目ID	LA-116807-Z																																																															
科目名	S・現代中国社会研究			科目ID	LA-116807-Z																																																															
担当教員	BAO MIN																																																																			
開講時期	2022 年度前期	対象年次	1	単位数	1																																																															
実務経験のある教員による授業																																																																				
曜日・時間: 火曜 3-4 限 対象学科: 全学科 募集人数: 30人 科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 3-4, 3-5																																																																				
授業の目的、概要等 現代中国社会における政治、経済、民族、教育、人口政策などの現状を紹介したうえ、中国社会が直面する問題を検討することにより、現代中国社会を理解することを目指す。 本講義は2部から構成する。第1部は、中国の政治体制をはじめ、経済、民族、教育、人口に関する具体的な状況を紹介する。第2部は、現代中国社会が抱える問題を取り上げ、中国の実情を具体的にイメージし、適切な中国認識を持つようにつなげる。講義を通してボーダーレスな時代において中国の人と交流する基礎的な知識を身につけてもらいたい。																																																																				
授業の到達目標 中国社会の構造を知ることにより、中国を知り、中国に関する知識を深める。																																																																				
授業計画 <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>講義室</th> <th>授業題目</th> <th>授業内容</th> <th>担当教員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1-2</td> <td>5/24</td> <td>14:50-18:00</td> <td></td> <td>第1回 第2回</td> <td>授業概要の紹介 中国の概要</td> <td>BAO MIN</td> </tr> <tr> <td>3-4</td> <td>6/14</td> <td>13:10-16:20</td> <td></td> <td>第3回 第4回</td> <td>中国の仕組み 中国経済の概況 ①</td> <td>BAO MIN</td> </tr> <tr> <td>5-6</td> <td>6/28</td> <td>13:10-16:20</td> <td></td> <td>第5回 第6回</td> <td>中国経済の概況② 中華民族とは</td> <td>BAO MIN</td> </tr> <tr> <td>7-8</td> <td>7/12</td> <td>13:10-16:20</td> <td></td> <td>第7回 第8回</td> <td>中国の教育体制 中国人口政策 の変遷①</td> <td>BAO MIN</td> </tr> <tr> <td>9-10</td> <td>9/6</td> <td>13:10-16:20</td> <td></td> <td>第9回 第10回</td> <td>中国人口政策の変遷② 改革開放 政策の功罪</td> <td>BAO MIN</td> </tr> <tr> <td>11-12</td> <td>9/13</td> <td>13:10-16:20</td> <td></td> <td>第11回 第12回</td> <td>都市部と農村部における教育格差 一人っ子時代における中国の高 齢化問題</td> <td>BAO MIN</td> </tr> <tr> <td>13-14</td> <td>9/16</td> <td>09:10-12:20</td> <td></td> <td>第13回 第14回</td> <td>中国の少数民族問題 アフターコ ロナの中国政治社会</td> <td>BAO MIN</td> </tr> <tr> <td>15</td> <td>9/22</td> <td>10:50-12:20</td> <td></td> <td>第15回</td> <td>まとめ 講義全体を振り返り、解説 を行う</td> <td>BAO MIN</td> </tr> </tbody> </table>						回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	1-2	5/24	14:50-18:00		第1回 第2回	授業概要の紹介 中国の概要	BAO MIN	3-4	6/14	13:10-16:20		第3回 第4回	中国の仕組み 中国経済の概況 ①	BAO MIN	5-6	6/28	13:10-16:20		第5回 第6回	中国経済の概況② 中華民族とは	BAO MIN	7-8	7/12	13:10-16:20		第7回 第8回	中国の教育体制 中国人口政策 の変遷①	BAO MIN	9-10	9/6	13:10-16:20		第9回 第10回	中国人口政策の変遷② 改革開放 政策の功罪	BAO MIN	11-12	9/13	13:10-16:20		第11回 第12回	都市部と農村部における教育格差 一人っ子時代における中国の高 齢化問題	BAO MIN	13-14	9/16	09:10-12:20		第13回 第14回	中国の少数民族問題 アフターコ ロナの中国政治社会	BAO MIN	15	9/22	10:50-12:20		第15回	まとめ 講義全体を振り返り、解説 を行う	BAO MIN
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員																																																														
1-2	5/24	14:50-18:00		第1回 第2回	授業概要の紹介 中国の概要	BAO MIN																																																														
3-4	6/14	13:10-16:20		第3回 第4回	中国の仕組み 中国経済の概況 ①	BAO MIN																																																														
5-6	6/28	13:10-16:20		第5回 第6回	中国経済の概況② 中華民族とは	BAO MIN																																																														
7-8	7/12	13:10-16:20		第7回 第8回	中国の教育体制 中国人口政策 の変遷①	BAO MIN																																																														
9-10	9/6	13:10-16:20		第9回 第10回	中国人口政策の変遷② 改革開放 政策の功罪	BAO MIN																																																														
11-12	9/13	13:10-16:20		第11回 第12回	都市部と農村部における教育格差 一人っ子時代における中国の高 齢化問題	BAO MIN																																																														
13-14	9/16	09:10-12:20		第13回 第14回	中国の少数民族問題 アフターコ ロナの中国政治社会	BAO MIN																																																														
15	9/22	10:50-12:20		第15回	まとめ 講義全体を振り返り、解説 を行う	BAO MIN																																																														
授業方法 講義と演習による。 毎回授業終了時に、各自が新しく学んだことや疑問に思ったことをリアクションペーパーに書いて提出し、フィードバックする。授業内容に対し、課題発表やミニ討論をすることがある。																																																																				
授業内容 第1回: 授業概要の紹介 第2回: 中国の概要 第3回: 中国の仕組み 第4回: 中国経済の概況① 第5回: 中国経済の概況② 第6回: 中華民族とは 第7回: 中国の教育体制																																																																				

<p>第8回:中国人口政策の変遷① 第9回:中国人口政策の変遷② 第10回:改革開放政策の功罪 第11回:都市部と農村部における教育格差 第12回:一人っ子時代における中国の高齢化問題 第13回:中国の少数民族問題 第14回:アフターコロナの中国政治社会 第15回:まとめ 講義全体を振り返り、解説を行う</p>
<p>成績評価の方法 評価:レポート 50% ・その他(授業参加、授業中課題)50% 再評価:無</p>
<p>成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による</p>
<p>準備学習等についての具体的な指示 プリントを配布する。予習は特に必要ではないが、授業の内容を整理し、レポートに活かす。</p>
<p>試験の受験資格 ①原則3分の2以上出席、②授業中の課題を提出すること。</p>
<p>教科書 教科書は用いない。適宜プリントを配布する。</p>
<p>参考書 :東京大学出版会 高原明生他編『東大塾 社会人のための現代中国講義』東京大学出版会 2014年 光田剛編『現代中国入門』ちくま新書 2017年 天児慧編著『習近平が変えた中国』小学館 2018年 東大社研現代中国研究拠点編『現代中国ゼミナール ―東大駒場連続講義』東京大学出版会 2020年 東大社研現代中国研究拠点編『コロナ以後の東アジア』東京大学出版会 2020年</p>
<p>履修上の注意事項 原則3分の2以上出席すること</p>

時間割番号	000326			科目ID	LA-116826-Z																																																																																
科目名	S・糖の科学																																																																																				
担当教員	勝又 敏行[KATSUMATA TOSHIYUKI]																																																																																				
開講時期	2022 年度後期	対象年次	1	単位数	1																																																																																
実務経験のある教員による授業																																																																																					
曜日・時間: 月曜日 2 限(後期) 募集人数: 10 名 科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 別表2-1) 自然現象を探求するための手法を知る 別表4-3) 自然現象を探求するための基本的手法を身につける																																																																																					
授業の目的、概要等 糖と聞くとまず思い浮かぶのが砂糖である。砂糖は料理などで気軽に使われ、身近にたくさんあるが、ほかにも様々なところで糖は私たちに関わっている。糖の仲間であるデンプンは米やパンの主成分であり、人間のエネルギー源として毎日の生活に欠かせないものである。食品以外でも木や紙の主成分はセルロースという多糖であり、軟膏や手術糸などはアルギン酸という多糖が使われている。このように糖はもっとも身近にある有機化合物である。分子レベルで見た時も、生物の構成成分としてもエネルギー源として使われるのをはじめとしてタンパク質、核酸、脂質などと結合して、生体内で起こる反応に重要な機能を担っていることが明らかになってきている。中でもタンパク質の多くは糖鎖の修飾をもち、生理活性や構造の維持に糖鎖が重要な役割を果たしていると考えられている。糖の科学では、実習形式で糖の働きに関する英文のレビューを読み、糖の機能や構造に関する理解を深める。論文購読やプレゼンテーション、糖鎖分析に関する実験などを通してアクティブラーニング形式で生体における糖の役割や重要性について最新の知識を勉強していく予定である。																																																																																					
授業の到達目標 糖に関する基礎知識を習得し、自分で英語の論文を検索、読解する力を身に着けることを目標とする。 実験の計画を立て、実施し、記録をとることができる。 GPA における「B」の条件は、上記到達目標を概ね達成できたこととする。																																																																																					
授業計画 <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>講義室</th> <th>担当教員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td>10/3</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>勝又 敏行</td></tr> <tr><td>2</td><td>10/10</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>勝又 敏行</td></tr> <tr><td>3</td><td>10/17</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>勝又 敏行</td></tr> <tr><td>4</td><td>10/24</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>勝又 敏行</td></tr> <tr><td>5</td><td>10/31</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>勝又 敏行</td></tr> <tr><td>6</td><td>11/7</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>勝又 敏行</td></tr> <tr><td>7</td><td>11/14</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>勝又 敏行</td></tr> <tr><td>8</td><td>11/21</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>勝又 敏行</td></tr> <tr><td>9</td><td>11/28</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>勝又 敏行</td></tr> <tr><td>10</td><td>12/5</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>勝又 敏行</td></tr> <tr><td>11</td><td>12/12</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>勝又 敏行</td></tr> <tr><td>12</td><td>12/19</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>勝又 敏行</td></tr> <tr><td>13</td><td>1/16</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>勝又 敏行</td></tr> <tr><td>14</td><td>1/23</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>勝又 敏行</td></tr> <tr><td>15</td><td>1/30</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>勝又 敏行</td></tr> </tbody> </table>						回	日付	時刻	講義室	担当教員	1	10/3	10:50-12:20		勝又 敏行	2	10/10	10:50-12:20		勝又 敏行	3	10/17	10:50-12:20		勝又 敏行	4	10/24	10:50-12:20		勝又 敏行	5	10/31	10:50-12:20		勝又 敏行	6	11/7	10:50-12:20		勝又 敏行	7	11/14	10:50-12:20		勝又 敏行	8	11/21	10:50-12:20		勝又 敏行	9	11/28	10:50-12:20		勝又 敏行	10	12/5	10:50-12:20		勝又 敏行	11	12/12	10:50-12:20		勝又 敏行	12	12/19	10:50-12:20		勝又 敏行	13	1/16	10:50-12:20		勝又 敏行	14	1/23	10:50-12:20		勝又 敏行	15	1/30	10:50-12:20		勝又 敏行
回	日付	時刻	講義室	担当教員																																																																																	
1	10/3	10:50-12:20		勝又 敏行																																																																																	
2	10/10	10:50-12:20		勝又 敏行																																																																																	
3	10/17	10:50-12:20		勝又 敏行																																																																																	
4	10/24	10:50-12:20		勝又 敏行																																																																																	
5	10/31	10:50-12:20		勝又 敏行																																																																																	
6	11/7	10:50-12:20		勝又 敏行																																																																																	
7	11/14	10:50-12:20		勝又 敏行																																																																																	
8	11/21	10:50-12:20		勝又 敏行																																																																																	
9	11/28	10:50-12:20		勝又 敏行																																																																																	
10	12/5	10:50-12:20		勝又 敏行																																																																																	
11	12/12	10:50-12:20		勝又 敏行																																																																																	
12	12/19	10:50-12:20		勝又 敏行																																																																																	
13	1/16	10:50-12:20		勝又 敏行																																																																																	
14	1/23	10:50-12:20		勝又 敏行																																																																																	
15	1/30	10:50-12:20		勝又 敏行																																																																																	
授業方法 英語の総説の読解の演習や実験を中心にアクティブラーニングを行う。																																																																																					
授業内容																																																																																					

1. 糖に関する講義
2. 糖に関する英文の総説の輪読(アクティブラーニング)
3. 各自興味のある論文のプレゼンテーション
4. 糖鎖構造解析に関する実験

成績評価の方法

演習を中心として行うため以下の通りとする。

評価:試験 0%、レポート 50%、その他(プレゼンテーションや質問など)50%

再評価 有(レポート再提出)

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習等についての具体的な指示

自分でテーマに沿った論文を検索して、それをまとめてプレゼンテーションできるようにすること。

参考書

コールドスプリングハーバー糖鎖生物学/Ajit Varki [[ほか編]鈴木康夫, 木全弘治 監訳:丸善, 2010

ポストゲノム時代の糖鎖生物学がわかる/谷口直之 編:羊土社, 2002

糖鎖科学への招待/辻崇一 共著,梶本哲也 共著,:三共出版, 2008

連絡先(メールアドレス)

katumata.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

毎週金曜日 12:00-13:00 ヒポクラテス 2 階化学実験準備室

時間割番号	000328			科目ID	LA-116840-Z
科目名	S・計算機による数学		科目ID	LA-116840-Z	
担当教員	中口 悦史[NAKAGUCHI ETSUSHI]				
開講時期	2022 年度後期	対象年次	1	単位数	1
実務経験のある教員による授業					
募集人数: 最大40名 科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 2-1), 2-2), 2-4), 4-2), 4-3), 4-4)					
授業の目的、概要等 数理・データサイエンス・人工知能の分野においては、数学的表現で定式化された問題をコンピュータで数値的に解く場面が数多現れるが、その解き方を提供するのが数値計算法(数値解析法)である。特に微積分など極限操作を伴う問題を近似的に解くことが求められることが多いが、無闇に近似してよいわけではなく、微積分の力を借りて精確さの保証された近似解法を用いなければならない。この授業では、Python(保健衛生学科・口腔保健学科の学生は十進 BASIC でも可)によるプログラミング演習と、計算科学に関するPBL型演習を通して、数値計算法(数値解析法)の基礎を学習する。					
授業の到達目標 ・基本的な数値計算法を理解し、適切に運用できる。 ・基本的な数値計算パッケージ(NumPy など)の利用も含めて、簡単な問題を解くプログラムを組める場合は、高い評価を与える。					
授業方法 全15回のうち前半10回分は、非同期動画配信と課題提出によって行う。2回を1セットとして、各セット前半を講義動画視聴とその予習・復習に、後半を課題提出に充てる。 後半5回分は、冬季集中日程の同期(対面または遠隔)型授業でPBL(Problem-Based Learning)型演習を行う。1班3~6名のグループに分かれ、グループごとに情報に関するテーマを設定して調査研究を行い、最終回に発表会で共有する。 さらに、一連の学習を元に、課題レポートを提出する。					
授業内容 1-2. 《非同期型》オリエンテーション講義: 計算科学について 3-4. 《非同期型》Python の実数値データの種類と演算、変数、条件分岐(if)、関数定義 5-6. 《非同期型》ライブラリ math, numpy の利用、行列演算 7-8. 《非同期型》反復計算(for, while)、数列と漸化式、極限と打ち切り 9-10. 《非同期型》図形描画(pyplot, mplot3d)、立体図形の操作 11-14. 《冬季集中同期型》PBL 班活動 15. 《冬季集中同期型》PBL 発表会					
成績評価の方法 評価: 試験 0%・レポート 30%・その他 70%(授業内演習 30%, PBL への取組等 40%) 再評価: 無 授業内演習とPBLの活動状況、期末レポートを総合して成績評価を行う。授業内演習の提出状況、PBL活動への取り組み具合により授業への参加度や理解度を測る。期末試験に代えてレポートを課し、総合的な理解度を測る。 「試験の受験資格」を満たし、かつPBL発表会に参加し、課題レポートを提出したもののみを、評価の対象とする。					
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則別表2」による					
準備学習等についての具体的な指示 各回の講義スライドを授業前日までにLMSに掲載するので、できるだけ予習し、関連する数学・情報処理/情報科学の内容をよく思い出し、不明な点を整理して授業に臨むことが望ましい。					
試験の受験資格 授業回数数の3分の2回以上の出席、ならびに、出席回の演習課題の提出。					
教科書 特に指定しない。必要な資料はLMSやウェブで配付する。					
参考書					

数値計算／洲之内治男著,洲之内, 治男,石渡, 恵美子,:サイエンス社, 2002
初等数値解析／D.G.モースト, C.S.デュリス著 ; 村上温夫訳Moursund, David G.,村上, 温夫,Duris, Charles S.,: 共立出版, 1975
Pythonによる数値計算入門／河村哲也, 桑名杏奈 著,河村, 哲也, 1954-, 桑名, 杏奈, 1983-,:朝倉書店, 2021
Python 数値計算プログラミング = Numerical Computation with Python／幸谷智紀 著,幸谷, 智紀,:講談社, 2021
現場で使えるPython 科学技術計算入門 : NumPy/SymPy/SciPy/pandas による数値計算・データ処理手法／かくあき著,かくあき,:翔泳社, 2020
Python<完全>入門／松浦健一郎, 司ゆき 著,松浦, 健一郎,司, ゆき,:SB クリエイティブ, 2021
基礎 Python／大津真 著,大津, 真, 1959-,:インプレス, 2021
独習 Python = Teach Yourself Python／山田祥寛 著,山田, 祥寛,:翔泳社, 2020

履修上の注意事項

出欠確認は、非同期部分は LMS 上の各回の講義動画視聴記録と課題提出の確認、PBL 演習部分は遠隔授業の参加者リストとコメント提出の確認による。 第11回以降の PBL 演習は、冬季休業中や試験期間中の集中日程で行う。日程については履修者と調整する。

連絡先(メールアドレス)

nakaguti.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

前期:水 17:30—18:30, 後期:木 12:30—14:30／電子メールによる質問等は随時受け付け

時間割番号	000306			科目ID	LA-116805-Z																																																																																
科目名	R・講義と実習によるバイオサイエンス1																																																																																				
担当教員	服部 淳彦[HATTORI ATSUSHIKO]																																																																																				
開講時期	2022年度前期	対象年次	1	単位数	1																																																																																
実務経験のある教員による授業																																																																																					
<p>・曜日・時間:金曜日2限</p> <p>・対象学科・専攻:医学・歯学・検査学</p> <p>・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):</p> <p>2-1)自然現象を科学的に探究するための方法論を知る。</p> <p>2-4)自己問題提起・解決型の学習方法を身につける。</p> <p>2-5)自らテーマを見つけて、調べ、発展させ、論文にまとめる力を養う。</p>																																																																																					
<p>授業の目的、概要等</p> <p>この科目は、バイオサイエンス1(前期)と2(後期)を合わせて完結する実習セミナー系の科目である。したがって、両方を取ることを条件にする。</p> <p>この科目では、</p> <p>1)現代のバイオサイエンスの研究で用いられている新しい手法の原理を学ぶ。</p> <p>2)また、英語で書かれたオリジナルの研究論文を読む。</p> <p>3)次に、それらの技術の一部を用いた実験を実際に行う。</p> <p>4)さらにその発展バージョンとして、自由にテーマを設定し、実験のプランニングをし、そのプランに従った実験を実際に行う。</p> <p>したがって、必ずしも金曜2限目だけで実験は終了しないこともありうるので、その事も考慮して取るように。</p>																																																																																					
<p>授業の到達目標</p> <p>将来研究者になるために必要な基本的なものの考え方や技術を修得する。7割できればGPAIにおける「B」に相当する。</p>																																																																																					
<p>授業計画</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>講義室</th> <th>担当教員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td>4/15</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>服部 淳彦</td></tr> <tr><td>2</td><td>4/22</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>服部 淳彦</td></tr> <tr><td>3</td><td>5/6</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>服部 淳彦</td></tr> <tr><td>4</td><td>5/13</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>服部 淳彦</td></tr> <tr><td>5</td><td>5/20</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>服部 淳彦</td></tr> <tr><td>6</td><td>5/27</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>服部 淳彦</td></tr> <tr><td>7</td><td>6/3</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>服部 淳彦</td></tr> <tr><td>8</td><td>6/10</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>服部 淳彦</td></tr> <tr><td>9</td><td>6/17</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>服部 淳彦</td></tr> <tr><td>10</td><td>6/24</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>服部 淳彦</td></tr> <tr><td>11</td><td>7/1</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>服部 淳彦</td></tr> <tr><td>12</td><td>7/8</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>服部 淳彦</td></tr> <tr><td>13</td><td>7/15</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>服部 淳彦</td></tr> <tr><td>14</td><td>7/22</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>服部 淳彦</td></tr> <tr><td>15</td><td>7/29</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>服部 淳彦</td></tr> </tbody> </table>						回	日付	時刻	講義室	担当教員	1	4/15	10:50-12:20		服部 淳彦	2	4/22	10:50-12:20		服部 淳彦	3	5/6	10:50-12:20		服部 淳彦	4	5/13	10:50-12:20		服部 淳彦	5	5/20	10:50-12:20		服部 淳彦	6	5/27	10:50-12:20		服部 淳彦	7	6/3	10:50-12:20		服部 淳彦	8	6/10	10:50-12:20		服部 淳彦	9	6/17	10:50-12:20		服部 淳彦	10	6/24	10:50-12:20		服部 淳彦	11	7/1	10:50-12:20		服部 淳彦	12	7/8	10:50-12:20		服部 淳彦	13	7/15	10:50-12:20		服部 淳彦	14	7/22	10:50-12:20		服部 淳彦	15	7/29	10:50-12:20		服部 淳彦
回	日付	時刻	講義室	担当教員																																																																																	
1	4/15	10:50-12:20		服部 淳彦																																																																																	
2	4/22	10:50-12:20		服部 淳彦																																																																																	
3	5/6	10:50-12:20		服部 淳彦																																																																																	
4	5/13	10:50-12:20		服部 淳彦																																																																																	
5	5/20	10:50-12:20		服部 淳彦																																																																																	
6	5/27	10:50-12:20		服部 淳彦																																																																																	
7	6/3	10:50-12:20		服部 淳彦																																																																																	
8	6/10	10:50-12:20		服部 淳彦																																																																																	
9	6/17	10:50-12:20		服部 淳彦																																																																																	
10	6/24	10:50-12:20		服部 淳彦																																																																																	
11	7/1	10:50-12:20		服部 淳彦																																																																																	
12	7/8	10:50-12:20		服部 淳彦																																																																																	
13	7/15	10:50-12:20		服部 淳彦																																																																																	
14	7/22	10:50-12:20		服部 淳彦																																																																																	
15	7/29	10:50-12:20		服部 淳彦																																																																																	
<p>授業方法</p> <p>主に、論文紹介と実験とその中間発表による。</p>																																																																																					
<p>授業内容</p> <p>1. 本年度のテーマに沿った内容の講義</p> <p>2. 英語で書かれたオリジナルの研究論文を読む</p>																																																																																					

3. 研究に必要な実験の基本テクニックを習得する
4. テーマを設定し、独自の実験計画を立て、実際に実験を行う(前期と夏休み)
5. 結果をパワーポイントにまとめて発表する

* 実験形式の授業なので、募集人数は8名をMAXとし、希望者が多い場合は、申し訳ないが人数を絞らせていただく。

成績評価の方法

評価:その他 100%

英語論文に関する理解度や中間発表時のプレゼンテーションやディスカッションの様子などから総合的に判断する。

再評価: 無

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による。

準備学習等についての具体的な指示

渡された英語の論文は早めに読み、研究テーマや実験の進め方に関しては適宜相談に来ること。

教科書

参考論文などは、随時紹介する。

連絡先(メールアドレス)

ahattori.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

毎週 水曜:12:30~14:00 金曜:10:30~12:30 ヒポ 4F 教員研究室(A2)

時間割番号	000332			科目ID	LA-116832-Z																																																																																
科目名	R・講義と実習によるバイオサイエンス2																																																																																				
担当教員	服部 淳彦[HATTORI ATSUSHIKO]																																																																																				
開講時期	2022 年度後期	対象年次	1	単位数	1																																																																																
実務経験のある教員による授業																																																																																					
<p>・曜日・時間: 金曜日2限</p> <p>・対象学科・専攻: 医学・歯学・検査学</p> <p>・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):</p> <p>2-1) 自然現象を科学的に探究するための方法論を知る。</p> <p>2-4) 自己問題提起・解決型の学習方法を身につける。</p> <p>2-5) 自らテーマを見つけて、調べ、発展させ、論文にまとめる力を養う。</p>																																																																																					
<p>授業の目的、概要等</p> <p>この科目は、バイオサイエンス1(前期)と2(後期)を合わせて完結する実習セミナー系の科目である。したがって、両方を取ることを条件にする。</p> <p>この科目では、</p> <p>1) 現代のバイオサイエンスの研究で用いられている新しい手法の原理を学ぶ。</p> <p>2) また、英語で書かれたオリジナルの研究論文を読み、その内容をレジュメにまとめて、それぞれ発表してもらう。</p> <p>3) 次に、それらの技術の一部を用いた実験を実際に行う。</p> <p>4) さらにその発展バージョンとして、自由にテーマを設定し、実験のプランニングをし、そのプランに従った実験を実際に行い、その結果を発表(できれば学会で発表)、最後にミニ卒論(論文形式)の形にまとめてもらう。</p> <p>したがって、実験は必ずしも時間内に終わらない。特に後期は、空き時間を使って実験を行うこともあるので、そのつもりでいてほしい。</p>																																																																																					
<p>授業の到達目標</p> <p>将来研究者になるために必要な基本的なものの考え方や技術を修得する。7割できればGPAIにおける「B」に相当する。</p>																																																																																					
<p>授業計画</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>講義室</th> <th>担当教員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td>10/7</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>服部 淳彦</td></tr> <tr><td>2</td><td>10/14</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>服部 淳彦</td></tr> <tr><td>3</td><td>10/21</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>服部 淳彦</td></tr> <tr><td>4</td><td>10/28</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>服部 淳彦</td></tr> <tr><td>5</td><td>11/4</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>服部 淳彦</td></tr> <tr><td>6</td><td>11/11</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>服部 淳彦</td></tr> <tr><td>7</td><td>11/18</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>服部 淳彦</td></tr> <tr><td>8</td><td>11/25</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>服部 淳彦</td></tr> <tr><td>9</td><td>12/2</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>服部 淳彦</td></tr> <tr><td>10</td><td>12/9</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>服部 淳彦</td></tr> <tr><td>11</td><td>12/16</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>服部 淳彦</td></tr> <tr><td>12</td><td>1/6</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>服部 淳彦</td></tr> <tr><td>13</td><td>1/13</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>服部 淳彦</td></tr> <tr><td>14</td><td>1/20</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>服部 淳彦</td></tr> <tr><td>15</td><td>1/27</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>服部 淳彦</td></tr> </tbody> </table>						回	日付	時刻	講義室	担当教員	1	10/7	10:50-12:20		服部 淳彦	2	10/14	10:50-12:20		服部 淳彦	3	10/21	10:50-12:20		服部 淳彦	4	10/28	10:50-12:20		服部 淳彦	5	11/4	10:50-12:20		服部 淳彦	6	11/11	10:50-12:20		服部 淳彦	7	11/18	10:50-12:20		服部 淳彦	8	11/25	10:50-12:20		服部 淳彦	9	12/2	10:50-12:20		服部 淳彦	10	12/9	10:50-12:20		服部 淳彦	11	12/16	10:50-12:20		服部 淳彦	12	1/6	10:50-12:20		服部 淳彦	13	1/13	10:50-12:20		服部 淳彦	14	1/20	10:50-12:20		服部 淳彦	15	1/27	10:50-12:20		服部 淳彦
回	日付	時刻	講義室	担当教員																																																																																	
1	10/7	10:50-12:20		服部 淳彦																																																																																	
2	10/14	10:50-12:20		服部 淳彦																																																																																	
3	10/21	10:50-12:20		服部 淳彦																																																																																	
4	10/28	10:50-12:20		服部 淳彦																																																																																	
5	11/4	10:50-12:20		服部 淳彦																																																																																	
6	11/11	10:50-12:20		服部 淳彦																																																																																	
7	11/18	10:50-12:20		服部 淳彦																																																																																	
8	11/25	10:50-12:20		服部 淳彦																																																																																	
9	12/2	10:50-12:20		服部 淳彦																																																																																	
10	12/9	10:50-12:20		服部 淳彦																																																																																	
11	12/16	10:50-12:20		服部 淳彦																																																																																	
12	1/6	10:50-12:20		服部 淳彦																																																																																	
13	1/13	10:50-12:20		服部 淳彦																																																																																	
14	1/20	10:50-12:20		服部 淳彦																																																																																	
15	1/27	10:50-12:20		服部 淳彦																																																																																	
<p>授業方法</p> <p>主に、論文紹介と実験とその中間・最終発表による。</p>																																																																																					
<p>授業内容</p>																																																																																					

1. 本年度のテーマに沿った内容の講義(前期)
2. 英語で書かれたオリジナルの研究論文を読み, その内容をレジュメにまとめて発表
3. 研究に必要な実験の基本テクニックを習得
4. テーマを設定し, 独自の実験計画を立て, 実際に実験を行う
5. 結果をパワーポイントにまとめて発表し, ミニ卒論としてまとめる

* 実験形式の授業なので, 募集人数は8名をMAXにし, 希望者が多い場合は, 申し訳ないが人数を絞らせていただく。

成績評価の方法

評価:その他 100%

英語論文の紹介に関するプレゼンテーションやディスカッションの様子, さらに, 実際に行った研究(実験)の内容やミニ卒論などから総合的に判断する。

再評価: 無

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による。

準備学習等についての具体的な指示

渡された英語の論文は早めに読んでおくこと。また, 実験計画は随時相談に来ること。

教科書

参考論文などは, 随時紹介する。

連絡先(メールアドレス)

ahattori.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

毎週 水曜:12:30~14:00 金曜:10:30~12:30 ヒポ 4F 教員研究室(A2)

時間割番号	000338			科目ID	LA-116817-Z
科目名	S・英語で学ぶ力学		科目ID	LA-116817-Z	
担当教員	越野 和樹[KOSHINO KAZUKI]				
開講時期	2022 年度前期	対象年次	1	単位数	1
実務経験のある教員による授業					
<p>・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー)</p> <p>別表2-1)</p> <p>別表4-2)</p>					
<p>授業の目的、概要等</p> <p>ニュートンの運動方程式にもとづく古典力学を英文テキストにより学ぶことにより、科学英語に親しむことを目的とする。</p>					
<p>授業の到達目標</p> <p>下記トピックについて英文教材に基づいて理解し、演習問題を解けることを目標とする: NEWTON'S LAWS OF DYNAMICS, CONSERVATION OF MOMENTUM, WORK AND POTENTIAL ENERGY, CENTER OF MASS, MOMENT OF INERTIA</p> <p>GPA における「B」(本試験合格レベル)の条件は、内容を8割程度理解できることとする。</p>					
<p>授業方法</p> <p>講義およびアクティブラーニング(演習や討論など)による</p>					
<p>授業内容</p> <p>NEWTON'S LAWS OF DYNAMICS, CONSERVATION OF MOMENTUM, WORK AND POTENTIAL ENERGY, CENTER OF MASS, MOMENT OF INERTIA</p>					
<p>成績評価の方法</p> <p>評価: 授業への参加度およびレポート</p> <p>再評価: 無</p> <p>授業内容の理解度を測るためにレポート課題を課し、その成績および授業への参加度で評価を行う。</p>					
<p>成績評価の基準</p> <p>「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による</p>					
<p>準備学習等についての具体的な指示</p> <p>前期「力学」を発展させた内容を学ぶため、前期「力学」の内容に関して深く理解していることが望ましい。</p>					
<p>履修上の注意事項</p> <p>出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先させる。</p>					
<p>連絡先(メールアドレス)</p> <p>ikuzak.las@tmd.ac.jp</p>					
<p>オフィスアワー</p> <p>毎週月曜日 12:00-13:00 ヒポクラテス4階</p>					

時間割番号	000339			科目ID	LA-116822-Z
科目名	S・彫刻(塑造)		科目ID	LA-116822-Z	
担当教員	高見 直宏				
開講時期	2022 年度前期	対象年次	1	単位数	1
実務経験のある教員による授業					
<p>夏季集中講義 対象学科: 医学科を優先とした全学科(歯学科除く) 募集人数: 8 人 科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 1-5、1-6、1-7</p>					
<p>授業の目的、概要等 人間の骨格や筋肉がその外部形態に及ぼす影響を観察するだけでなく、人間の内面に視野を向け、人間の存在そのものを探求する。水粘土を使用し、塑像による頭像制作を行う実技演習授業。</p>					
<p>授業の到達目標 素材とする水粘土に触れる。造形を追求する。観察によって得られる人体の力強さや美しさ等を表現することを目標とする。人間の魅力を感じ取り、芸術に深く触れることを目標とする。</p>					
<p>授業方法 全 16 回の授業は全て実技実習。</p>					
<p>授業内容 第 1、2 回 彫刻についての講義 第 3、4 回 デッサンについての講義とデッサン実技(モデル) 第 5、6 回 心棒についての講義と塑像制作(モデル) 第 7、8 回 粘土についての講義と塑像制作(モデル) 第 9、10 回 塑像制作(モデル) 第 11、12 回 塑像制作(モデル) 第 13、14 回 塑像制作(モデル) 第 15、16 回 作品の講評会</p>					
<p>成績評価の方法 評価 : 試験 0% ・ レポート 0% ・ その他(実習作品、授業への参加度)100% 作品の完成度、制作密度を重視する 再評価: 無</p>					
<p>成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による</p>					
<p>準備学習等についての具体的な指示 料理、メイク、DIY など普段からのクリエイティブな活動を積極的に行い、日常生活において、想像した物事を自らの手で形作ろうとする姿勢を持つことが望ましい。</p>					
<p>教科書 無し</p>					
<p>参考書 無し</p>					
<p>履修上の注意事項 出席重視 出欠管理システムより教員自身が取る出欠を優先させる。</p>					
<p>備考 準備するもの: スケッチブック(A4 以上)、鉛筆(2B のものを 3 本)、カッターナイフ、作業着(白衣も可)</p>					

時間割番号	000344			科目ID	LA-116808-Z																																				
科目名	R・離散構造																																								
担当教員	徳永 伸一[TOKUNAGA SHINICHI]																																								
開講時期	2022 年度前期	対象年次	1	単位数	1																																				
実務経験のある教員による授業																																									
<p>曜日・時間: 火曜 3-4 限 対象学科・専攻: 医学科・歯学科</p>																																									
<p>授業の目的、概要等 この授業で扱うのは、たとえば以下のような問題です:</p> <p>「$m \times n$ の長方形が単位正方形を4つ張り合わせたL字型のタイルで隙間無く敷き詰められるための、mとnの 必要十分条件を求めよ」 「3×4 の長方形の中に6つの点があるとき、それら6点のうち距離$\sqrt{5}$以下の2点が存在することを示せ」 「6人が参加したパーティにおいて、互いに知り合いである3人か、または互いに2知り合いでない3人のいずれかが存在することを示せ」</p> <p>「離散」とは「連続」と対立する概念です。主として有限で離散的な世界の現象を解析する数学を「離散数学」といい、離散数学が扱う対象を総称して「離散構造」と呼びます。本科目では離散構造に関する書籍を1つ取り上げ、輪読形式のセミナーを行います。扱われる命題の大部分は直観的に理解可能で高度な知識や数式を必要としませんが、その分、論理を正確に理解し言葉で的確に説明する能力が重視されます。</p> <p>本年度は V. Boltyanski & A. Soifer 著「Geometric Etude in Combinatorial Mathematics」 (「組合せ数学における幾何的なエチュード」) の適当な Chapter を選んで読むことにします。 (ただし他に適当な教材があれば受講者の希望も勘案して変更する可能性あり)</p> <p>本書の英文は極めて平易であり、扱われる問題も直感的に理解しやすいものであるため、高度な読解力や数学および数学専門用語の知識は必要としません(その都度調べれば充分対応可能)。結果的に、英文を「論理的に読む」ための教材として非常に適しており、医療系の英語論文を読む際にも大いに役立つと思われます。なお、冒頭の問題は本書の例題・演習問題から選びました。</p>																																									
<p>授業の到達目標 英語で書かれた数学の平易なテキストを論理的に解読し、理解したことを整理して解説できる。</p>																																									
<p>授業計画</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>講義室</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1-2</td> <td>5/24</td> <td>14:50-18:00</td> <td></td> </tr> <tr> <td>3-4</td> <td>6/14</td> <td>13:10-16:20</td> <td></td> </tr> <tr> <td>5-6</td> <td>6/28</td> <td>13:10-16:20</td> <td></td> </tr> <tr> <td>7-8</td> <td>7/12</td> <td>13:10-16:20</td> <td></td> </tr> <tr> <td>9-10</td> <td>9/6</td> <td>13:10-16:20</td> <td></td> </tr> <tr> <td>11-12</td> <td>9/13</td> <td>13:10-16:20</td> <td></td> </tr> <tr> <td>13-14</td> <td>9/16</td> <td>09:10-12:20</td> <td></td> </tr> <tr> <td>15</td> <td>9/22</td> <td>10:50-12:20</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>						回	日付	時刻	講義室	1-2	5/24	14:50-18:00		3-4	6/14	13:10-16:20		5-6	6/28	13:10-16:20		7-8	7/12	13:10-16:20		9-10	9/6	13:10-16:20		11-12	9/13	13:10-16:20		13-14	9/16	09:10-12:20		15	9/22	10:50-12:20	
回	日付	時刻	講義室																																						
1-2	5/24	14:50-18:00																																							
3-4	6/14	13:10-16:20																																							
5-6	6/28	13:10-16:20																																							
7-8	7/12	13:10-16:20																																							
9-10	9/6	13:10-16:20																																							
11-12	9/13	13:10-16:20																																							
13-14	9/16	09:10-12:20																																							
15	9/22	10:50-12:20																																							
<p>授業方法 輪読によるセミナー形式。</p>																																									
<p>授業内容 毎回1~2名の発表者に、各自の担当範囲(概ね1セクションの半分程度)を解説してもらいます。</p>																																									

ただし状況に応じて担当教員が関連分野の講義を行うこともあります。
また発表者には担当範囲の全訳およびそれを補足するレジュメの提出を義務付けます。

成績評価の方法

発表・レジュメの内容や授業参加への積極性を総合的に評価します。

成績評価の基準

到達目標をある程度達成したと見なせること。

準備学習等についての具体的な指示

テキストを事前に読み、未知の英単語・概念等を調べて、大まかな内容を把握しておくこと。

参考書

やさしい幾何学問題ゼミナール／ピーター・フランクル, 前原潤 著.: 共立出版, 1992
入門組合せ論／ラスロウ・ロバース 他著秋山仁, ピーター・フランクル 翻案.: 共立出版, 1985

他科目との関連

後期の「数学Ⅱ(β)」で本科目の内容と関連する問題を一部扱います。

連絡先(メールアドレス)

tokunaga.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

前期:

木曜 12:20-13:10(ヒポ 4F 徳永研究室またはヒポ 2F 計算機実習室)

後期:

金曜 12:20-13:10(ヒポ 4F 徳永研究室またはヒポ 2F 計算機実習室)

* いずれも計算機実習室で授業がある日なので、そちらにいることが多いです。
上記以外の時間帯でも、事前にEメールで連絡をもらえれば可能な限り対応します。

時間割番号	000347			科目ID	LA-116811-Z																																													
科目名	S・分子分光学演習:基礎編			科目ID	LA-116811-Z																																													
担当教員	奈良 雅之[NARA MASAYUKI]																																																	
開講時期	2022 年度前期	対象年次	1	単位数	1																																													
実務経験のある教員による授業																																																		
<p>火曜日3, 4時限 + 夏季集中型:</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対象学科:全学科 ・募集人数:10名 ・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): <ul style="list-style-type: none"> 2-1・2・3)科学的思考方法を知る 4-3)自然現象を探究するための基本的手法を身につける 																																																		
<p>主な講義場所</p> <p>分光測定は化学教員実験室で行います。</p>																																																		
<p>授業の目的、概要等</p> <p>近年の技術的な進歩に伴って、医歯学や生命科学の分野における分子分光学の果たす役割は大きくなっています。この科目では担当教員の専門分野である“分子分光学”を通じて「ミクロのものの見方」を学びます。まずは化学の基礎として、原子の構造、分子の構造を講義ならびに演習を通じて理解します。次に、実際に分光装置を用いて分光測定の基本操作に慣れます。実験テーマを決めて、分光測定で得られたスペクトルをコンピュータで解析します。</p>																																																		
<p>授業の到達目標</p> <p>(1)原子の構造、分子の構造について理解できる。 (2)基本操作を習得することにより、一人で分光測定ができる。 (3)基本物質の振動スペクトルから構造を読み取ることができる。</p> <p>授業をほぼ全回出席して、課されたノルマをこなせば、GPAにおけるB以上に相当する。</p>																																																		
<p>授業計画</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>講義室</th> <th>担当教員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1-2</td> <td>5/24</td> <td>14:50-18:00</td> <td></td> <td>奈良 雅之</td> </tr> <tr> <td>3-4</td> <td>6/14</td> <td>13:10-16:20</td> <td></td> <td>奈良 雅之</td> </tr> <tr> <td>5-6</td> <td>6/28</td> <td>13:10-16:20</td> <td></td> <td>奈良 雅之</td> </tr> <tr> <td>7-8</td> <td>7/12</td> <td>13:10-16:20</td> <td></td> <td>奈良 雅之</td> </tr> <tr> <td>9-10</td> <td>9/6</td> <td>13:10-16:20</td> <td></td> <td>奈良 雅之</td> </tr> <tr> <td>11-12</td> <td>9/13</td> <td>13:10-16:20</td> <td></td> <td>奈良 雅之</td> </tr> <tr> <td>13-14</td> <td>9/16</td> <td>09:10-12:20</td> <td></td> <td>奈良 雅之</td> </tr> <tr> <td>15</td> <td>9/22</td> <td>10:50-12:20</td> <td></td> <td>奈良 雅之</td> </tr> </tbody> </table>						回	日付	時刻	講義室	担当教員	1-2	5/24	14:50-18:00		奈良 雅之	3-4	6/14	13:10-16:20		奈良 雅之	5-6	6/28	13:10-16:20		奈良 雅之	7-8	7/12	13:10-16:20		奈良 雅之	9-10	9/6	13:10-16:20		奈良 雅之	11-12	9/13	13:10-16:20		奈良 雅之	13-14	9/16	09:10-12:20		奈良 雅之	15	9/22	10:50-12:20		奈良 雅之
回	日付	時刻	講義室	担当教員																																														
1-2	5/24	14:50-18:00		奈良 雅之																																														
3-4	6/14	13:10-16:20		奈良 雅之																																														
5-6	6/28	13:10-16:20		奈良 雅之																																														
7-8	7/12	13:10-16:20		奈良 雅之																																														
9-10	9/6	13:10-16:20		奈良 雅之																																														
11-12	9/13	13:10-16:20		奈良 雅之																																														
13-14	9/16	09:10-12:20		奈良 雅之																																														
15	9/22	10:50-12:20		奈良 雅之																																														
<p>授業方法</p> <p>演習・実験形式を取り入れたアクティブラーニングを行う。</p>																																																		
<p>授業内容</p> <p>タンパク質や脂質などの生体高分子や生体材料などを研究対象として、分光学的手法(主として赤外分光法もしくはラマン分光法)によるアプローチにより、対象となる分子の構造と機能の相関を解析する。</p> <p>1.2. (初回) ガイダンス、原子の構造(おもに講義)</p> <p>3.4. 原子の構造、分子の構造(講義ならびに演習)</p> <p>5.6. 分子分光学,量子化学に関する概説</p> <p>7.8. 分子分光学,量子化学に関する概説</p> <p>9.10. 分光学に関する基本操作を習得する。</p> <p>11-14. 実験テーマを決めて、取り組む。(実験ならびに結果解析)(夏休み期間)</p> <p>15. 実験経過、研究成果を発表する。</p>																																																		

<p>実験レポート(報告書)として報告する。 履修者が多い場合は、実験は2もしくは3つのグループに分けて行う場合があります。</p>
<p>成績評価の方法 評価: 報告会での発表・レポート 70%・ その他 30% (実験の取り組み方)</p> <p>再評価: 無</p>
<p>成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による</p>
<p>準備学習等についての具体的な指示 ガイダンスの折に資料を配付しますので、配付資料を事前に読んでください。</p>
<p>試験の受験資格 考査の受験資格: 原則3分の2以上出席</p>
<p>教科書 必要な文献はコピーして配付します</p>
<p>参考書 系統看護学講座／奈良雅之: 医学書院, 2018 赤外分光測定法: 基礎と最新手法／田隅 三生 編著, 日本分光学会編集委員会 編: エス・ティ・ジャパン, 2012 ハート基礎有機化学／H.ハート, L.E.クレーン, D.J.ハート 原著, 秋葉欣哉, 奥彬 訳: 培風館, 2002 一般化学／Jerome L.Rosenberg, Lawrence M.Epstein 共著, 一國雅巳 訳, Rosenberg, Jerome Laib, Epstein, Lawrence M., 一國, 雅巳, 1930-, : オーム社, 1995</p>
<p>他科目との関連 一般化学では講義しない原子、分子の構造を取り扱います。</p>
<p>履修上の注意事項 分子分光学についてさらに理解を深めたい方は、後期の S・生命分子スペクトル解析学演習をお勧めします。</p>
<p>連絡先(メールアドレス) nara.las@tmd.ac.jp</p>
<p>オフィスアワー 毎週水曜日 PM.0:00-PM.2:00, 毎週金曜日 PM.0:00-PM.1:00 ヒポクラテス 4 階</p>

時間割番号	000349			科目ID	LA-116819-Z
科目名	S・ウニの発生と海産生物の観察実習			科目ID	LA-116819-Z
担当教員	服部 淳彦, 松本 幸久, 伊藤 正則[HATTORI ATSUSHIKO, MATSUMOTO YUKIHISA, ITO MASANORI]				
開講時期	2022 年度前期	対象年次	1	単位数	1
実務経験のある教員による授業					
<p>・夏季集中(8月1日～5日までの1日(午前10時から午後3時までの予定)を使って、教養部でガイダンスと光学顕微鏡の使用方法を学ぶ。 8月8日(月)～10日(水)に新潟大学佐渡自然共生科学センター臨海実験所において実習を行う)</p> <p>・対象学科:全学科(11名の定員で、定員を超えたときは抽選を行う)</p> <p>・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー) 2-2)自然現象を探究するための手法を知る。 4-3)自然現象を探究するための基本的な手法を身につける。</p>					
主な講義場所					
8月1日～5日までの1日を使って、教養部生物学学生実験室においてガイダンスを行う。また、光学顕微鏡の使い方を学ぶ。8月8日～10日に新潟大学佐渡自然共生科学センター臨海実験所において実習を行う。					
授業の目的、概要等					
<p>[目的] ウニの発生を光学顕微鏡で観察し、その発生過程で起こる現象を理解する。また、海に生息する様々な生物の形態、生態及び行動を観察し、その多様性を理解する。観察実習から能動的に知識を広げ、深める。</p> <p>[概要] この実習の大部分は、新潟大学佐渡自然共生科学センター臨海実験所において実施される。実習内容は、①棘皮動物であるウニの発生の観察、②沿岸域でのプランクトンの採集とその形態及び行動の観察、③潮間態に生息する生物の採集とその形態、生態及び行動の観察である。</p>					
授業の到達目標					
<ol style="list-style-type: none"> ウニの発生過程の特徴を説明することができる。 海に生息する生物の多様性を具体的に説明することができる。 					
授業方法					
講義と実習による。					
授業内容					
教養部で行われる実習ガイダンスを受講する。また、光学顕微鏡の使い方を理解する。新潟大学佐渡自然共生科学センター臨海実験所では、①棘皮動物であるウニの発生の観察、②沿岸域でのプランクトンの採集とその形態及び行動の観察、③潮間態に生息する生物の採集とその形態、生態及び行動の観察を行う。					
成績評価の方法					
レポート内容によって評価する。再評価は行わない。					
成績評価の基準					
「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による。					
準備学習等についての具体的な指示					
事前に配布された資料をよく読んでおく。ウニの発生過程と海に生息する生物に関して予め知識を得ておく。					
試験の受験資格					
試験を行わない。					
教科書					
資料を配布する。					
参考書					
<p>図解生物科学講座／浅島誠 編:朝倉書店, 1996</p> <p>日本海洋プランクトン検索図説／千原光雄, 村野正昭 編:東海大学出版会, 1997-01</p> <p>原色検索日本海岸動物図鑑／西村三郎 編著.:保育社, 1995</p>					
履修上の注意事項					
・定員は11名で、履修希望者が11名を超えたときは抽選で履修者を決める。・8月1日～5日までの1日を使って教養部で行われ					

る実習ガイダンスに必ず出席すること。8日～10日(2泊3日)に新潟大学佐渡自然共生科学センター臨海実験所で実習を行うが、集合時間から解散時間まで、スケジュールに従って行動すること。・台風、その他の災害のために中止になる可能性がある。

連絡先(メールアドレス)

松本 幸久:yukihisa.las@tmd.ac.jp

服部 淳彦:ahattori.las@tmd.ac.jp

伊藤 正則:itohmt.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

松本 幸久:毎週月曜日 PM.4:30-6:00 ヒポクラテスホール 3階生物教員実験室

服部 淳彦:毎週 水曜:12:30~14:00 金曜:10:30~12:30 ヒポ 4F 教員研究室(A2)

伊藤 正則:毎週月曜日 AM.10:00-PM.2:00 ヒポクラテスホール4階生物学教員研究室

時間割番号	000353			科目ID	LA-116818-Z
科目名	S・現代パフォーミングアーツ入門		科目ID	LA-116818-Z	
担当教員	徳永 伸一[TOKUNAGA SHINICHI]				
開講時期	2022 年度前期	対象年次	1	単位数	1
実務経験のある教員による授業					
<p>8月下旬または9月上旬(予定)に開講する短期集中科目です。スケジュールの詳細は掲示にて通知します。 対象学科・専攻:全学科</p>					
<p>主な講義場所 湯島キャンパスで開講します。詳細は掲示にて確認してください。</p>					
<p>授業の目的、概要等 「パフォーミング・アーツ(Performing Arts)」とは音楽、演劇、ダンス等「演じられる」芸術の総称です。 「現代」と謳っていますが、いわゆる「現代的」なものを扱うという意味ではなく、現在活動中のアーティスト(+彼らに直接的に影響を与えた人たち)にスポットを当てます。生のパフォーマンス体験に勝る「学習」はありませんが、教室内では難しいので、主に代用品としてCD・DVD等の記録媒体やインターネット上のコンテンツを用います。現在までのところ、入手可能なソフトの都合で音楽(ジャズ、クラシックからロック、J-POPまで何でも)の比重が高いですが、他のジャンル(音楽+ビジュアルによるパフォーマンス、コンテンポラリーダンス等)も徐々に増やす予定。 より重要なのは聴衆・観客としてパフォーマンスに「参加」することで、結果として生涯にわたって芸術と主体的に関わる術を学ぶことが究極の目標です (よって必ずしも単位取得は重要ではなく、単位と関係なく野次馬的・娯楽的に参加する学生も歓迎します)。</p>					
<p>授業の到達目標 ・様々なパフォーミングアートに対し、自分の言葉で批評し、感想を整理してわかりやすく述べることができる。 ・未知のアートに対する興味に基づいて自ら探究し、文化的背景を学習すると共に、体験(鑑賞)行動に発展させることができる。</p>					
<p>授業方法 講義、映像・音源鑑賞およびディスカッション。</p>					
<p>授業内容 各授業ごとに大まかなテーマ(ジャンルやアーティスト個人等)を決め、関連するソフトやインターネット上のコンテンツを鑑賞します。 また2014年度より、授業期間中に開催した、外部講師(演奏家等)による公開講座を、授業の一部として取り入れています。</p>					
<p>成績評価の方法 評価項目は以下の2点: (1) 各回の授業の関するレポート (2) 授業時間外に各自が体験したコンサートやパフォーマンス公演に関する詳細なレポート (1)と(2)は同等に評価するので、欠席した場合はその回数に応じて(2)のレポートを余分に提出することによって穴埋めしてもらいます。</p>					
<p>成績評価の基準 到達目標をある程度達成したと見なせること。</p>					
<p>準備学習等についての具体的な指示 授業のための特別な準備は必要ありませんが、日頃からアートに関心を持ち、積極的に鑑賞して、感性を磨くよう心掛けてください。</p>					
<p>教科書 特にありませんが、主にインターネットで得られる情報を積極的に活用します。</p>					
<p>他科目との関連 直接の関連はありませんが、「芸術Ⅱ(室田尚子先生)の履修を推奨します。</p>					

参照ホームページ

過去の記録(の一部):

<http://www.tmd.ac.jp/artsci/math/lec/cparts.htm>

2014 年度の公開講座(「Saigenji と旅するブラジル」)の様子:

<https://www.facebook.com/tmdpublic/posts/720148531368330>

2015 年度の公開講座(「レオナルド・ブラーボと旅するブラジル」)の様子:

<https://www.facebook.com/tmdpublic/posts/890552230994625>

2017 年度の公開講座「岩川光とケーナ大解剖」のレポート記事(大学公開講座の情報サイト「まななび」):

<http://mananavi.com/%e4%b8%96%e7%95%8c%e7%9a%84%e3%82%b1%e3%83%bc%e3%83%8a%e5%a5%8f%e8%80%85%e3%83%bb%e5%b2%a9%e5%b7%9d%e5%85%89%e3%80%8c%e3%82%b1%e3%83%bc%e3%83%8a%e3%81%8b%e3%82%89%e4%b8%96%e7%95%8c%e3%81%8c%e8%a6%8b/>

東京医科歯科大学教養部 文化・芸術公開講座 Facebook ページ:

<https://www.facebook.com/groups/618115738726298>

連絡先(メールアドレス)

tokunaga.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

前期:

木曜 12:20-13:10(ヒポ 4F 徳永研究室またはヒポ 2F 計算機実習室)

後期:

金曜 12:20-13:10(ヒポ 4F 徳永研究室またはヒポ 2F 計算機実習室)

* いずれも計算機実習室で授業がある日なので、そちらにいることが多いです。
上記以外の時間帯でも、事前に E メールで連絡をもらえれば可能な限り対応します。

時間割番号	000354			科目ID	LA-116814-Z																																																																																																																
科目名	S・Topics in the News			科目ID	LA-116814-Z																																																																																																																
担当教員	PATRICK FOSS[PATRICK FOSS]																																																																																																																				
開講時期	2022 年度前期	対象年次	1	単位数	1																																																																																																																
実務経験のある教員による授業																																																																																																																					
<p>・曜日・時間: 金曜1限</p> <p>・対象: 医学科・歯学科・検査技術学・口腔保健工学・口腔保健衛生学・看護学</p> <p>・募集人数: 24名</p> <p>・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 別表3-1) 別表3-4) 別表3-5)</p>																																																																																																																					
<p>授業の目的、概要等</p> <p>Do you keep up with the news? What's happening these days in Japan and around the world? More importantly, why are these events happenings? How might they affect you and other people in the future? What's your opinion about them?</p> <p>It's essential to know what's going on in the world around you in order to have intelligent conversations with others and be a responsible citizen. However, understanding the news is not easy, particularly when it is in a foreign language. In this course, students will improve their understanding of current events and develop both their critical thinking skills and English abilities through reading, analyzing, and discussing articles on newsworthy topics.</p>																																																																																																																					
<p>授業の到達目標</p> <p>By the end of this course, students will be able to:</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. Critically read news articles in English 2. Intelligently discuss (in English) a variety of current issues and events taking place in Japan and around the world <p>In order to achieve a grade of "B" (70 points or more out of 100), students must (as a general rule) complete and submit all assignments as instructed by their respective deadlines and actively participate in class activities.</p>																																																																																																																					
<p>授業計画</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>講義室</th> <th>授業題目</th> <th>授業内容</th> <th>担当教員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>4/15</td> <td>09:10-10:40</td> <td>遠隔授業 (同期型)</td> <td>Orientation</td> <td>Course Introduction</td> <td>PATRICK FOSS</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>4/22</td> <td>09:10-10:40</td> <td>8 番教室</td> <td>Topic 1</td> <td>Reading/Writing/Speaking Activities</td> <td>PATRICK FOSS</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>5/6</td> <td>09:10-10:40</td> <td>8 番教室</td> <td>Topic 2</td> <td>Reading/Writing/Speaking Activities</td> <td>PATRICK FOSS</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>5/13</td> <td>09:10-10:40</td> <td>8 番教室</td> <td>Topic 3</td> <td>Reading/Writing/Speaking Activities</td> <td>PATRICK FOSS</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>5/20</td> <td>09:10-10:40</td> <td>8 番教室</td> <td>Topic 4</td> <td>Reading/Writing/Speaking Activities</td> <td>PATRICK FOSS</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>5/27</td> <td>09:10-10:40</td> <td>8 番教室</td> <td>Topic 5</td> <td>Reading/Writing/Speaking Activities</td> <td>PATRICK FOSS</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>6/3</td> <td>09:10-10:40</td> <td>8 番教室</td> <td>Topic 6</td> <td>Reading/Writing/Speaking Activities</td> <td>PATRICK FOSS</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>6/10</td> <td>09:10-10:40</td> <td>8 番教室</td> <td>Topic 7</td> <td>Reading/Writing/Speaking Activities</td> <td>PATRICK FOSS</td> </tr> <tr> <td>9</td> <td>6/17</td> <td>09:10-10:40</td> <td>8 番教室</td> <td>Topic 8</td> <td>Reading/Writing/Speaking Activities</td> <td>PATRICK FOSS</td> </tr> <tr> <td>10</td> <td>6/24</td> <td>09:10-10:40</td> <td>8 番教室</td> <td>Topic 9</td> <td>Reading/Writing/Speaking Activities</td> <td>PATRICK FOSS</td> </tr> <tr> <td>11</td> <td>7/1</td> <td>09:10-10:40</td> <td>8 番教室</td> <td>Topic 10</td> <td>Reading/Writing/Speaking Activities</td> <td>PATRICK FOSS</td> </tr> <tr> <td>12</td> <td>7/8</td> <td>09:10-10:40</td> <td>8 番教室</td> <td>Topic 11</td> <td>Reading/Writing/Speaking Activities</td> <td>PATRICK FOSS</td> </tr> <tr> <td>13</td> <td>7/15</td> <td>09:10-10:40</td> <td>8 番教室</td> <td>Topic 12</td> <td>Reading/Writing/Speaking Activities</td> <td>PATRICK FOSS</td> </tr> <tr> <td>14</td> <td>7/22</td> <td>09:10-10:40</td> <td>8 番教室</td> <td>Topic 13</td> <td>Reading/Writing/Speaking Activities</td> <td>PATRICK FOSS</td> </tr> <tr> <td>15</td> <td>7/29</td> <td>09:10-10:40</td> <td>8 番教室</td> <td>Course Review</td> <td>Reading/Writing/Speaking Activities</td> <td>PATRICK FOSS</td> </tr> </tbody> </table>						回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	1	4/15	09:10-10:40	遠隔授業 (同期型)	Orientation	Course Introduction	PATRICK FOSS	2	4/22	09:10-10:40	8 番教室	Topic 1	Reading/Writing/Speaking Activities	PATRICK FOSS	3	5/6	09:10-10:40	8 番教室	Topic 2	Reading/Writing/Speaking Activities	PATRICK FOSS	4	5/13	09:10-10:40	8 番教室	Topic 3	Reading/Writing/Speaking Activities	PATRICK FOSS	5	5/20	09:10-10:40	8 番教室	Topic 4	Reading/Writing/Speaking Activities	PATRICK FOSS	6	5/27	09:10-10:40	8 番教室	Topic 5	Reading/Writing/Speaking Activities	PATRICK FOSS	7	6/3	09:10-10:40	8 番教室	Topic 6	Reading/Writing/Speaking Activities	PATRICK FOSS	8	6/10	09:10-10:40	8 番教室	Topic 7	Reading/Writing/Speaking Activities	PATRICK FOSS	9	6/17	09:10-10:40	8 番教室	Topic 8	Reading/Writing/Speaking Activities	PATRICK FOSS	10	6/24	09:10-10:40	8 番教室	Topic 9	Reading/Writing/Speaking Activities	PATRICK FOSS	11	7/1	09:10-10:40	8 番教室	Topic 10	Reading/Writing/Speaking Activities	PATRICK FOSS	12	7/8	09:10-10:40	8 番教室	Topic 11	Reading/Writing/Speaking Activities	PATRICK FOSS	13	7/15	09:10-10:40	8 番教室	Topic 12	Reading/Writing/Speaking Activities	PATRICK FOSS	14	7/22	09:10-10:40	8 番教室	Topic 13	Reading/Writing/Speaking Activities	PATRICK FOSS	15	7/29	09:10-10:40	8 番教室	Course Review	Reading/Writing/Speaking Activities	PATRICK FOSS
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員																																																																																																															
1	4/15	09:10-10:40	遠隔授業 (同期型)	Orientation	Course Introduction	PATRICK FOSS																																																																																																															
2	4/22	09:10-10:40	8 番教室	Topic 1	Reading/Writing/Speaking Activities	PATRICK FOSS																																																																																																															
3	5/6	09:10-10:40	8 番教室	Topic 2	Reading/Writing/Speaking Activities	PATRICK FOSS																																																																																																															
4	5/13	09:10-10:40	8 番教室	Topic 3	Reading/Writing/Speaking Activities	PATRICK FOSS																																																																																																															
5	5/20	09:10-10:40	8 番教室	Topic 4	Reading/Writing/Speaking Activities	PATRICK FOSS																																																																																																															
6	5/27	09:10-10:40	8 番教室	Topic 5	Reading/Writing/Speaking Activities	PATRICK FOSS																																																																																																															
7	6/3	09:10-10:40	8 番教室	Topic 6	Reading/Writing/Speaking Activities	PATRICK FOSS																																																																																																															
8	6/10	09:10-10:40	8 番教室	Topic 7	Reading/Writing/Speaking Activities	PATRICK FOSS																																																																																																															
9	6/17	09:10-10:40	8 番教室	Topic 8	Reading/Writing/Speaking Activities	PATRICK FOSS																																																																																																															
10	6/24	09:10-10:40	8 番教室	Topic 9	Reading/Writing/Speaking Activities	PATRICK FOSS																																																																																																															
11	7/1	09:10-10:40	8 番教室	Topic 10	Reading/Writing/Speaking Activities	PATRICK FOSS																																																																																																															
12	7/8	09:10-10:40	8 番教室	Topic 11	Reading/Writing/Speaking Activities	PATRICK FOSS																																																																																																															
13	7/15	09:10-10:40	8 番教室	Topic 12	Reading/Writing/Speaking Activities	PATRICK FOSS																																																																																																															
14	7/22	09:10-10:40	8 番教室	Topic 13	Reading/Writing/Speaking Activities	PATRICK FOSS																																																																																																															
15	7/29	09:10-10:40	8 番教室	Course Review	Reading/Writing/Speaking Activities	PATRICK FOSS																																																																																																															

<p>授業方法</p> <p>Discussion</p> <p>Skills Instruction and Practice</p>
<p>授業内容</p> <p>Week 1: Orientation</p> <p>Weeks 2–14: Group Discussions, Skills Instruction, and Assessment</p> <p>Week 15: Review and/or Final Assessment</p> <p>Because this course will focus on current issues and events, the topic for any particular class will depend on what is newsworthy at that time. Students will also occasionally choose articles to present and discuss. Throughout the course, the following critical reading/thinking skills will likely be addressed:</p> <p>Separating fact from opinion</p> <p>Identifying missing information</p> <p>Differentiating causes and effects</p> <p>Identifying perspectives and bias</p> <p>Identifying generalizations, assumptions, and stereotypes</p> <p>Evaluating tone and word choice</p> <p>Distinguishing between emotional and logical arguments</p> <p>Evaluating inferences</p> <p>Evaluating evidence and credibility</p> <p>Determining the validity of conclusions</p> <p>Evaluating one's own reactions and opinions</p>
<p>成績評価の方法</p> <p>評価: quizzes/response papers 20% participation/discussion presentations 50% comprehensive assignment 30%</p> <p>再評価: 無</p>
<p>成績評価の基準</p> <p>「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による</p>
<p>準備学習等についての具体的な指示</p> <p>Attendance and participation are both essential.</p>
<p>試験の受験資格</p> <p>There is no official final examination for this course.</p>
<p>履修上の注意事項</p> <p>出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先させます。</p>

時間割番号	000355			科目ID	LA-116833-Z																																																																																																		
科目名	S・翻訳演習		科目ID	LA-116833-Z																																																																																																			
担当教員	畔柳 和代[KUROYANAGI KAZUYO]																																																																																																						
開講時期	2022 年度後期	対象年次	1	単位数	1																																																																																																		
実務経験のある教員による授業																																																																																																							
<p>・曜日・時間: 月曜2限</p> <p>・対象学科: 医学科 歯学科 保健衛生学科 口腔保健学科</p> <p>・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):</p> <p>別表1-1)</p> <p>別表3-4)</p>																																																																																																							
<p>授業の目的、概要等</p> <p>目的: 互いの訳文について前向きに意見を交換しながら、読む力と、読みとったことを伝える力をつけること。</p> <p>概要: 英文を日本語に訳す課題(10 回ほど)を通して、翻訳について考える。受講者は訳文をつくり、提出する。持ち帰る課題のほか、授業内の課題もある。</p>																																																																																																							
<p>授業の到達目標</p> <p>1) 精読。</p> <p>2) 文脈の理解につとめる。</p> <p>以下を満たすことが B 評価(70 点以上)の必要条件として要求される。</p> <p>1. 課題は原則としてすべて期限内に所定の形式で提出する。</p> <p>2. ほかの受講者の訳文を読んで、自分の解釈との違いを説明できる。</p> <p>3. 訳文を再提出する際に、添削および授業内の意見交換をある程度活かす。</p>																																																																																																							
<p>授業計画</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>講義室</th> <th>授業題目</th> <th>授業内容</th> <th>担当教員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>10/3</td> <td>10:50-12:20</td> <td></td> <td>Introduction</td> <td>授業内容の紹介。</td> <td>畔柳 和代</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>10/10</td> <td>10:50-12:20</td> <td></td> <td>Beginnings (1)</td> <td>課題1配布。</td> <td>畔柳 和代</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>10/17</td> <td>10:50-12:20</td> <td></td> <td>Beginnings (2)</td> <td>課題1の訳文検討。課題2配布。</td> <td>畔柳 和代</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>10/24</td> <td>10:50-12:20</td> <td></td> <td>Beginnings (3)</td> <td>課題2の訳文検討。課題3配布。</td> <td>畔柳 和代</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>10/31</td> <td>10:50-12:20</td> <td></td> <td>Non-fiction (1)</td> <td>課題3の訳文検討。課題4配布。</td> <td>畔柳 和代</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>11/7</td> <td>10:50-12:20</td> <td></td> <td>Non-fiction (2)</td> <td>課題4の訳文検討。課題5配布。</td> <td>畔柳 和代</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>11/14</td> <td>10:50-12:20</td> <td></td> <td>Non-fiction (3)</td> <td>課題5の訳文検討。課題6配布。</td> <td>畔柳 和代</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>11/21</td> <td>10:50-12:20</td> <td></td> <td>講義</td> <td>ここまでのまとめ。翻訳をめぐる本の紹介。</td> <td>畔柳 和代</td> </tr> <tr> <td>9</td> <td>11/28</td> <td>10:50-12:20</td> <td></td> <td>Short Stories (1)</td> <td>課題6の訳文検討。課題7配布。</td> <td>畔柳 和代</td> </tr> <tr> <td>10</td> <td>12/5</td> <td>10:50-12:20</td> <td></td> <td>Short Stories (2)</td> <td>課題7の訳文検討。課題8配布。</td> <td>畔柳 和代</td> </tr> <tr> <td>11</td> <td>12/12</td> <td>10:50-12:20</td> <td></td> <td>Short Stories (3)</td> <td>課題8の訳文検討。</td> <td>畔柳 和代</td> </tr> <tr> <td>12</td> <td>12/19</td> <td>10:50-12:20</td> <td></td> <td>講義</td> <td>課題9の紹介(長文になる予定) 課題9を冬休みの課題とする。</td> <td>畔柳 和代</td> </tr> <tr> <td>13</td> <td>1/16</td> <td>10:50-12:20</td> <td></td> <td>課題9の訳文検討</td> <td>課題9の訳文を検討する。課題10</td> <td>畔柳 和代</td> </tr> </tbody> </table>						回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	1	10/3	10:50-12:20		Introduction	授業内容の紹介。	畔柳 和代	2	10/10	10:50-12:20		Beginnings (1)	課題1配布。	畔柳 和代	3	10/17	10:50-12:20		Beginnings (2)	課題1の訳文検討。課題2配布。	畔柳 和代	4	10/24	10:50-12:20		Beginnings (3)	課題2の訳文検討。課題3配布。	畔柳 和代	5	10/31	10:50-12:20		Non-fiction (1)	課題3の訳文検討。課題4配布。	畔柳 和代	6	11/7	10:50-12:20		Non-fiction (2)	課題4の訳文検討。課題5配布。	畔柳 和代	7	11/14	10:50-12:20		Non-fiction (3)	課題5の訳文検討。課題6配布。	畔柳 和代	8	11/21	10:50-12:20		講義	ここまでのまとめ。翻訳をめぐる本の紹介。	畔柳 和代	9	11/28	10:50-12:20		Short Stories (1)	課題6の訳文検討。課題7配布。	畔柳 和代	10	12/5	10:50-12:20		Short Stories (2)	課題7の訳文検討。課題8配布。	畔柳 和代	11	12/12	10:50-12:20		Short Stories (3)	課題8の訳文検討。	畔柳 和代	12	12/19	10:50-12:20		講義	課題9の紹介(長文になる予定) 課題9を冬休みの課題とする。	畔柳 和代	13	1/16	10:50-12:20		課題9の訳文検討	課題9の訳文を検討する。課題10	畔柳 和代
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員																																																																																																	
1	10/3	10:50-12:20		Introduction	授業内容の紹介。	畔柳 和代																																																																																																	
2	10/10	10:50-12:20		Beginnings (1)	課題1配布。	畔柳 和代																																																																																																	
3	10/17	10:50-12:20		Beginnings (2)	課題1の訳文検討。課題2配布。	畔柳 和代																																																																																																	
4	10/24	10:50-12:20		Beginnings (3)	課題2の訳文検討。課題3配布。	畔柳 和代																																																																																																	
5	10/31	10:50-12:20		Non-fiction (1)	課題3の訳文検討。課題4配布。	畔柳 和代																																																																																																	
6	11/7	10:50-12:20		Non-fiction (2)	課題4の訳文検討。課題5配布。	畔柳 和代																																																																																																	
7	11/14	10:50-12:20		Non-fiction (3)	課題5の訳文検討。課題6配布。	畔柳 和代																																																																																																	
8	11/21	10:50-12:20		講義	ここまでのまとめ。翻訳をめぐる本の紹介。	畔柳 和代																																																																																																	
9	11/28	10:50-12:20		Short Stories (1)	課題6の訳文検討。課題7配布。	畔柳 和代																																																																																																	
10	12/5	10:50-12:20		Short Stories (2)	課題7の訳文検討。課題8配布。	畔柳 和代																																																																																																	
11	12/12	10:50-12:20		Short Stories (3)	課題8の訳文検討。	畔柳 和代																																																																																																	
12	12/19	10:50-12:20		講義	課題9の紹介(長文になる予定) 課題9を冬休みの課題とする。	畔柳 和代																																																																																																	
13	1/16	10:50-12:20		課題9の訳文検討	課題9の訳文を検討する。課題10	畔柳 和代																																																																																																	

					配布。	
14	1/23	10:50-12:20		課題9の再検討	課題9の訳文を検討する。	畔柳 和代
15	1/30	10:50-12:20		まとめ	課題10の訳文検討。まとめ。	畔柳 和代
授業方法						
互いの訳文を検討するほか、翻訳に関するエッセイ等の一部を読む。 数回の講義も含む。 課題の訳文は、フィクションとノンフィクションだが、ノンフィクションの場合も、英米文学にかかわる文章が主となる。						
授業内容						
第1回 イン트로ダクション 第2回～第14回 訳文について意見交換（講義数回を含む） 受講者から事前に提出された訳文を検討する。 第15回 まとめ(授業内の課題あり)						
成績評価の方法						
評価:授業外で取り組む課題(提出+受取状況および内容を評価):50%、参加度および授業内課題:50%、 再評価: なし						
成績評価の基準						
「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による						
準備学習等についての具体的な指示						
わからなかったら、言葉の意味を勝手に決めずに辞書を引く。調べる。考える。 ※空白だらけの訳文は、未提出とみなす。最後まで訳すこと。 ※提出物の体裁も整えること。						
参考書						
イエスの言葉 : ケセン語訳/山浦玄嗣:文藝春秋, 2011 翻訳に遊ぶ/木村榮一:岩波書店, 2012 私の日本語雑記/中井久夫著,中井, 久夫.:岩波書店, 2010 冬の鷹/吉村昭:新潮社, 1988						
履修上の注意事項						
出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先させます。						
参照ホームページ						
Visit http://www.tmd.ac.jp/artsci/engl/ for more information about instructors.						
連絡先(メールアドレス)						
kuroyanagi.las@tmd.ac.jp						
オフィスアワー						
毎週木曜日 12:30-13:00 管理研究棟3階畔柳研究室						

時間割番号	000356																																														
科目名	S・Discussions on Human Behavior	科目ID	LA-116829-Z																																												
担当教員	PATRICK FOSS[PATRICK FOSS]																																														
開講時期	2022 年度後期	対象年次	1	単位数	1																																										
実務経験のある教員による授業																																															
<p>・曜日・時間: 金曜1限</p> <p>・対象: 医学科・歯学科・検査技術学・口腔保健工学・口腔保健衛生学・看護学</p> <p>・募集人数: 12名</p> <p>・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):</p> <p>別表3-1)</p> <p>別表3-4)</p> <p>別表3-5)</p> <p>別表4-5)</p>																																															
<p>授業の目的、概要等</p> <p>Why do students usually wait until the last minute to do an assignment? Why is dieting so difficult? Why do some people drink Aquarius and others drink Pocari Sweat? How much would you pay for a piece of great chocolate? Would you be happy or unhappy if your grandparents gave you 5000 yen on New Year's Day? What if you won the same 5000 yen in a contest?</p> <p>This course will look at some of the ways people behave in their daily lives and what influences their behavior, using the popular book "Predictably Irrational" by Dan Ariely as a base. The course goals are to deepen students' understanding of the behavior of others and their own behavior while at the same time improving their overall English abilities and critical thinking skills.</p>																																															
<p>授業の到達目標</p> <p>By the end of this course, students will be able to:</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. Better understand why people make certain types of decisions 2. Make better personal decisions 3. Reflect and discuss (in English) on their own behavior and the behavior of others <p>In order to achieve a grade of "B" (70 points or more out of 100), students must (as a general rule) complete and submit all assignments as instructed by their respective deadlines and actively participate in class activities.</p>																																															
<p>授業計画</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>講義室</th> <th>授業題目</th> <th>授業内容</th> <th>担当教員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>10/7</td> <td>09:10-10:40</td> <td>遠隔授業 (非同期型)</td> <td>Orientation</td> <td>Course Introduction</td> <td>PATRICK FOSS</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>10/14</td> <td>09:10-10:40</td> <td>11 番教室</td> <td>Topic 1</td> <td>Reading/Writing/Speaking Activities</td> <td>PATRICK FOSS</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>10/21</td> <td>09:10-10:40</td> <td>11 番教室</td> <td>Topic 2</td> <td>Reading/Writing/Speaking Activities</td> <td>PATRICK FOSS</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>10/28</td> <td>09:10-10:40</td> <td>11 番教室</td> <td>Topic 3</td> <td>Reading/Writing/Speaking Activities</td> <td>PATRICK FOSS</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>11/4</td> <td>09:10-10:40</td> <td>11 番教室</td> <td>Topic 4</td> <td>Reading/Writing/Speaking Activities</td> <td>PATRICK FOSS</td> </tr> </tbody> </table>						回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	1	10/7	09:10-10:40	遠隔授業 (非同期型)	Orientation	Course Introduction	PATRICK FOSS	2	10/14	09:10-10:40	11 番教室	Topic 1	Reading/Writing/Speaking Activities	PATRICK FOSS	3	10/21	09:10-10:40	11 番教室	Topic 2	Reading/Writing/Speaking Activities	PATRICK FOSS	4	10/28	09:10-10:40	11 番教室	Topic 3	Reading/Writing/Speaking Activities	PATRICK FOSS	5	11/4	09:10-10:40	11 番教室	Topic 4	Reading/Writing/Speaking Activities	PATRICK FOSS
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員																																									
1	10/7	09:10-10:40	遠隔授業 (非同期型)	Orientation	Course Introduction	PATRICK FOSS																																									
2	10/14	09:10-10:40	11 番教室	Topic 1	Reading/Writing/Speaking Activities	PATRICK FOSS																																									
3	10/21	09:10-10:40	11 番教室	Topic 2	Reading/Writing/Speaking Activities	PATRICK FOSS																																									
4	10/28	09:10-10:40	11 番教室	Topic 3	Reading/Writing/Speaking Activities	PATRICK FOSS																																									
5	11/4	09:10-10:40	11 番教室	Topic 4	Reading/Writing/Speaking Activities	PATRICK FOSS																																									

			室			
6	11/11	09:10-10:40	11 番教 室	Topic 5	Reading/Writing/Speaking Activities	PATRICK FOSS
7	11/18	09:10-10:40	11 番教 室	Topic 6	Reading/Writing/Speaking Activities	PATRICK FOSS
8	11/25	09:10-10:40	11 番教 室	Topic 7	Reading/Writing/Speaking Activities	PATRICK FOSS
9	12/2	09:10-10:40	11 番教 室	Topic 8	Reading/Writing/Speaking Activities	PATRICK FOSS
10	12/9	09:10-10:40	11 番教 室	Topic 9	Reading/Writing/Speaking Activities	PATRICK FOSS
11	12/16	09:10-10:40	11 番教 室	Topic 10	Reading/Writing/Speaking Activities	PATRICK FOSS
12	1/6	09:10-10:40	11 番教 室	Topic 11	Reading/Writing/Speaking Activities	PATRICK FOSS
13	1/13	09:10-10:40	11 番教 室	Topic 12	Reading/Writing/Speaking Activities	PATRICK FOSS
14	1/20	09:10-10:40	11 番教 室	Topic 13	Reading/Writing/Speaking Activities	PATRICK FOSS
15	1/27	09:10-10:40	11 番教 室	Course Review	Reading/Writing/Speaking Activities	PATRICK FOSS

授業方法

Discussion

Presentation

Skills Instruction and Practice

授業内容

Week 1: Orientation

Weeks 2-14: Individual reports and group discussions

Week 15: Review/Final assignment due

Each week, the instructor and/or one or more students will report on a short section of the course textbook and lead a discussion based on it. Once every three classes, students will write short response papers on topics that have been discussed or that they are researching on their own. The final writing assignment will be an essay that is related to the content of the course. There will be no quizzes or tests.

成績評価の方法

評価: class presentations 30% participation 30% response papers 20% final assignment 20%

再評価: 無

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習等についての具体的な指示

Attendance and participation are both essential.

試験の受験資格

There is no official final examination for this course.

教科書

Predictably Irrational / Ariely, Dan: Harper, 2010

履修上の注意事項

出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先させます。

時間割番号	000359					
科目名	S・イギリス文学講読	科目ID	LA-116821-Z			
担当教員	猪熊 恵子[INOKUMA KEIKO]					
開講時期	2022 年度前期	対象年次	1	単位数	1	
実務経験のある教員による授業						
セミナー形式で行う。						
授業の目的、概要等						
<p>19世紀後半から20世紀前半のイギリスで書かれた「探偵小説」を英語で読む。</p> <p>主にコナン・ドイルの「シャーロック・ホームズ」の中編・短編、アガサ・クリスティーの短編などを取り上げ、可能な限り精読する。</p> <p>また、近代社会の成立と個人のアイデンティティという問題と探偵小説というジャンルが、どのようにかかわっているのかについても考察する。</p> <p>あわせて、「探偵小説」というジャンルにしばしば与えられる「芸術性が低い」「芸術的価値を認められない」との批判的評価の背景についても考える。</p>						
授業の到達目標						
<p>英文をざっくり適当に読むのではなく、きちんと精読・吟読するように努め、その過程で文脈や背景知識を調べながら、一つ一つの言葉の裏にある大きな社会の枠組みを想像してみる。</p> <p>また、調べた知識や、丁寧に英文を読んだうえでの感想を、他の学生と議論・共有する。この議論を通して、同じ英文を読んだときに、読んだ人の数だけ異なる感想があるという当たり前の事実を改めてよく理解するとともに、翻って自らの読解力・想像力・嗜好・思考などを相対的に把握することを目指す。</p>						
<p>なお、本授業では以下の3点を満たすことが、B評価(70点以上)の必要条件として要求される。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 授業内で課される課題や発表等について、原則としてすべて、期限内に所定の形式で提出または実施すること。 2. 授業内でのディスカッション等に積極的に参加すること。 3. 教員からのコメントや他の履修生との話し合いを通して、自らの作品読解や解釈を相対化し、新たな視点から検討しなおして、考察をより深めること。その考察を最終レポート作成の際に活かすこと。 						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	5/24	14:50-16:20		ガイダンス＋セミナー	作品読解およびディスカッション1	猪熊 恵子
2-3	6/14	13:10-16:20		セミナー	作品読解およびディスカッション 2, 3	猪熊 恵子
4-5	6/28	13:10-16:20		セミナー	作品読解およびディスカッション 4, 5	猪熊 恵子
6-7	7/12	13:10-16:20		セミナー	作品読解およびディスカッション 7, 8	猪熊 恵子
8-9	9/5	09:10-12:20		セミナー	作品読解およびディスカッション 9, 10	猪熊 恵子
10-11	9/6	13:10-16:20		セミナー	作品読解およびディスカッション1 1, 12	猪熊 恵子
12-13	9/13	13:10-16:20		セミナー	作品読解およびディスカッション1 3, 14	猪熊 恵子
14-15	9/16	09:10-12:20		セミナー＋総評、レビュ ー	レポート総評、ディスカッション	猪熊 恵子
授業方法						
セミナー形式を取る。						

<p>原則として一日2時限続きの授業形式であるため、事前に十分な予習をしたうえで授業に臨むことが求められる。</p> <p>授業内では予習してきた英文の訳出確認、個々の学生の訳出の違いについての意見交換をおこなったうえで、個々の作家の生きた時代背景などの大きな枠組みの確認と、それに関するディスカッションをする。あわせて、その短編を翻案した映像資料などを確認し、同一作品の受容法がメディアの違いや文化・時代の流れにしたがってどのように変化していかを議論する。</p>
<p>授業内容</p> <p>第一回: ガイダンス</p> <p>第二回から第五回: シャーロック・ホームズ短編「踊る人形」(The Adventure of the Dancing Men)、およびベネディクト・カンバーバッチ主演『シャーロック』第一シリーズ The Blind Banker</p> <p>第六回から第九回: シャーロック・ホームズ中編『バスカヴィル家の犬』(The hound of the Baskervilles) ※教員の抜粋する箇所のみ、およびグラナダ・テレビシリーズ『シャーロック・ホームズの冒険』第四シリーズの同作品映像</p> <p>第十回から第十三回: アガサ・クリスティ『ポワロ登場』のなかからいくつかの短編、およびデヴィッド・スーシエ主演のポワロシリーズ</p> <p>第十四回: 総括およびディスカッション回</p> <p>第十五回: 最終レポート提出および意見交換</p>
<p>成績評価の方法</p> <p>評価: クラス内での議論への参加・貢献度: 40%、授業内発表(訳出課題の提出含む): 30%、最終レポート 30%</p> <p>再評価: 無</p>
<p>成績評価の基準</p> <p>「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による。</p>
<p>準備学習等についての具体的な指示</p> <p>上記授業内容からも明らかなように、英語の短編(および長編の抜粋)を複数読む授業である。そのため、授業開始前に十全な準備が要求される。</p> <p>履修が決定した学生には、授業前にメール等で予習課題と予習方法などを通知する。指定された箇所を十分に読んで、授業内発表用の資料を作成し、そのうえで授業に臨むことが必須。その後も、授業内で指定された箇所を訳出したり、その短編の書かれた社会や時代背景について十分に調査することが求められる。</p>
<p>試験の受験資格</p> <p>試験ではなく、レポートおよび授業内発表を評価する。全体の3分の1以上欠席した者には原則として単位を認定しない。</p>
<p>履修上の注意事項</p> <p>出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先する。</p>
<p>参照ホームページ</p> <p>参考文献および使用テキストは、教員からコピーを配布する。</p>

時間割番号	000360			科目ID	LA-116828-Z																																																																																
科目名	S・実用統計学		科目ID	LA-116828-Z																																																																																	
担当教員	徳永 伸一[TOKUNAGA SHINICHI]																																																																																				
開講時期	2022 年度後期	対象年次	1	単位数	1																																																																																
実務経験のある教員による授業																																																																																					
曜日・時間: 金曜1限 対象学科: 保健衛生学科、口腔保健学科																																																																																					
主な講義場所 計算機実習室 (希望者にはオンラインでの受講を許可する予定)																																																																																					
授業の目的、概要等 保健衛生学科・口腔保健学科の皆さんが学ぶ「統計学」を補完する形で、講義と演習を交えながら、より実践的な統計学を学習します。 保健衛生学科や口腔保健学科の卒業研究では統計処理が多用されますが、これに対処するためには、必修科目の「統計学」だけでは充分とはいえません。この授業では、「統計学」の学習内容をより確かなものとすると共に、将来卒業研究等で必要になるとと思われるレベルの統計学や、Excel を用いた簡単な統計処理の技術を習得することを目指します。担当者は皆さんの先輩から相談を受け、指導を行った経験がありますので、その内容も反映させていく予定です。																																																																																					
授業の到達目標 ・必修科目「統計学」の理解をより確実なものとし、実際の統計処理に応用できるようにする。 理を理解し、実際の問題に応用できるようにする。 ・Excel の基本的な使用法を習得する。特に、本格的な統計処理ソフトを使う前段階として、Excel を用いた簡単な統計処理を実行できるようにする。 ・クロス表の検定や初歩的なノンパラメトリック検定など、実用上重要となる統計手法の概要を習得する。																																																																																					
授業計画 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>講義室</th> <th>担当教員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td>10/7</td><td>09:10-10:40</td><td></td><td>徳永 伸一</td></tr> <tr><td>2</td><td>10/14</td><td>09:10-10:40</td><td></td><td>徳永 伸一</td></tr> <tr><td>3</td><td>10/21</td><td>09:10-10:40</td><td></td><td>徳永 伸一</td></tr> <tr><td>4</td><td>10/28</td><td>09:10-10:40</td><td></td><td>徳永 伸一</td></tr> <tr><td>5</td><td>11/4</td><td>09:10-10:40</td><td></td><td>徳永 伸一</td></tr> <tr><td>6</td><td>11/11</td><td>09:10-10:40</td><td></td><td>徳永 伸一</td></tr> <tr><td>7</td><td>11/18</td><td>09:10-10:40</td><td></td><td>徳永 伸一</td></tr> <tr><td>8</td><td>11/25</td><td>09:10-10:40</td><td></td><td>徳永 伸一</td></tr> <tr><td>9</td><td>12/2</td><td>09:10-10:40</td><td></td><td>徳永 伸一</td></tr> <tr><td>10</td><td>12/9</td><td>09:10-10:40</td><td></td><td>徳永 伸一</td></tr> <tr><td>11</td><td>12/16</td><td>09:10-10:40</td><td></td><td>徳永 伸一</td></tr> <tr><td>12</td><td>1/6</td><td>09:10-10:40</td><td></td><td>徳永 伸一</td></tr> <tr><td>13</td><td>1/13</td><td>09:10-10:40</td><td></td><td>徳永 伸一</td></tr> <tr><td>14</td><td>1/20</td><td>09:10-10:40</td><td></td><td>徳永 伸一</td></tr> <tr><td>15</td><td>1/27</td><td>09:10-10:40</td><td></td><td>徳永 伸一</td></tr> </tbody> </table>						回	日付	時刻	講義室	担当教員	1	10/7	09:10-10:40		徳永 伸一	2	10/14	09:10-10:40		徳永 伸一	3	10/21	09:10-10:40		徳永 伸一	4	10/28	09:10-10:40		徳永 伸一	5	11/4	09:10-10:40		徳永 伸一	6	11/11	09:10-10:40		徳永 伸一	7	11/18	09:10-10:40		徳永 伸一	8	11/25	09:10-10:40		徳永 伸一	9	12/2	09:10-10:40		徳永 伸一	10	12/9	09:10-10:40		徳永 伸一	11	12/16	09:10-10:40		徳永 伸一	12	1/6	09:10-10:40		徳永 伸一	13	1/13	09:10-10:40		徳永 伸一	14	1/20	09:10-10:40		徳永 伸一	15	1/27	09:10-10:40		徳永 伸一
回	日付	時刻	講義室	担当教員																																																																																	
1	10/7	09:10-10:40		徳永 伸一																																																																																	
2	10/14	09:10-10:40		徳永 伸一																																																																																	
3	10/21	09:10-10:40		徳永 伸一																																																																																	
4	10/28	09:10-10:40		徳永 伸一																																																																																	
5	11/4	09:10-10:40		徳永 伸一																																																																																	
6	11/11	09:10-10:40		徳永 伸一																																																																																	
7	11/18	09:10-10:40		徳永 伸一																																																																																	
8	11/25	09:10-10:40		徳永 伸一																																																																																	
9	12/2	09:10-10:40		徳永 伸一																																																																																	
10	12/9	09:10-10:40		徳永 伸一																																																																																	
11	12/16	09:10-10:40		徳永 伸一																																																																																	
12	1/6	09:10-10:40		徳永 伸一																																																																																	
13	1/13	09:10-10:40		徳永 伸一																																																																																	
14	1/20	09:10-10:40		徳永 伸一																																																																																	
15	1/27	09:10-10:40		徳永 伸一																																																																																	
授業内容 (以下は仮のスケジュールです。履修者のレベルや希望に応じて調整予定) 第1回 : ガイダンス 第2回 : Excel 入門 第3回 : 乱数の分布と標本平均の分布1(講義) 第4回 : 乱数の分布と標本平均の分布2(演習)																																																																																					

第5回 :正規分布1(講義)
第6回 :正規分布2(演習)
第7回 :2項分布と正規近似1(講義)
第8回 :2項分布と正規近似2(演習)
第9回 :t分布1(講義)
第10回:t分布2(演習)
第11回:相関と回帰、散布図1(講義)
第12回:相関と回帰、散布図2(演習)
第13回:カイニ乗検定、ノンパラメトリック検定、ANOVAと多重検定法1(講義)
第14回:カイニ乗検定、ノンパラメトリック検定、ANOVAと多重検定法2(演習)
第15回:(予備)

※履修者の状況や希望を考慮して柔軟に進めますので、変更する可能性があります。

成績評価の方法

原則として出席および授業中に行う演習課題により評価しますが、それらの評価が一定基準に達しない履修者を対象に、評価の不足を補うためのレポート課題や試験を課す可能性があります。

準備学習等についての具体的な指示

必修科目「統計学」の授業内容をよく把握しておくこと。また自宅のパソコンに Excel をインストールし、使えるようにしておくこと。

参考書

数学/統計学／井川俊彦、清田正夫、徳永伸一、山館周恒、熊坂一成 著.:医歯薬出版, 2005

やさしい医療系の統計学／佐藤敏雄、村松宰 著.:医歯薬出版, 2002

入門統計解析／松原望 著.:東京図書, 2007

バイオサイエンスの統計学：正しく活用するための実践理論／市原清志 著.:南江堂, 1990

他科目との関連

「統計学」の進行に合わせ、内容を確認しながら進めます。

連絡先(メールアドレス)

tokunaga.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

前期:

木曜 12:20-13:10(ヒポ 4F 徳永研究室またはヒポ 2F 計算機実習室)

後期:

金曜 12:20-13:10(ヒポ 4F 徳永研究室またはヒポ 2F 計算機実習室)

*いずれも計算機実習室で授業がある日なので、そちらにいることが多いです。

上記以外の時間帯でも、事前にEメールで連絡をもらえれば可能な限り対応します。

時間割番号	000361			科目ID	LA-116820-Z
科目名	S・Essentials of Medical Language			科目ID	LA-116820-Z
担当教員	JEANETTE DENNISSON[JEANETTE DENNISSON]				
開講時期	2022 年度後期	対象年次	1	単位数	1
実務経験のある教員による授業					
This course is an introduction to medical terminology in English.					
授業の目的、概要等					
The purpose of this course is to build medical terminology and understand how to communicate with patients in English.					
授業の到達目標					
Goals					
1) Learn medical language and how it is used in written and oral forms					
2) Apply medical and lay terminology in written and oral forms.					
3) Create own English conversation with a patient using non-technical language					
4) Communicate with patients about subjective and objective symptoms, and provide an assessment and plan for common diseases.					
授業計画					
回	日付	時刻	講義室	担当教員	
1	10/3	09:10-10:40		JEANETTE DENNISSON	
2	10/17	09:10-10:40		JEANETTE DENNISSON	
3	11/7	09:10-10:40		JEANETTE DENNISSON	
4	11/21	09:10-10:40		JEANETTE DENNISSON	
5	12/5	09:10-10:40		JEANETTE DENNISSON	
6	12/19	09:10-10:40		JEANETTE DENNISSON	
授業方法					
Students will work in small groups to complete tasks in class.					
For each unit, there will be the following two components.					
1) Group tasks related to vocabulary building for major body systems					
2) One-on-one patient encounter based on a common symptom					
授業内容					
Week 1: Orientation					
Weeks 2-5: Vocabulary building/patient interaction practice with classmates					
Weeks 6-10: Vocabulary building/patient interaction practice with invited guests					
Weeks 11-14: Oral test					
Week 15: Written test					
成績評価の方法					
Class participation: 30%					
Assignments: 30%					
Final assessment: 40%					
準備学習等についての具体的な指示					
Before Class:					
You should read the selected parts of the textbook before each class. Reading materials will be provided online course folder.					
In Class:					

<p>Your active participation is mandatory for class activities. As part of the class, you will be roleplaying doctor-patient conversations.</p> <p>Vocabulary List: Creating your own vocabulary list throughout the course is greatly encouraged.</p> <p>Online Course Folder: Regular access to the online course folder will be required in and outside of class. A laptop or tablet is recommended for every class.</p>
<p>試験の受験資格 Any English level is welcome.</p>
<p>教科書 医学・医療系学生のための総合医学英語テキスト = English for Medical Purposes / 日本医学英語教育学会 編, 日本医学英語教育学会, : メジカルビュー社, 2016 English for Medical Purposes Step 1</p>
<p>参考書 Bedside manner : an introductory English course for nursing. / Simon Capper, Capper, Simon, : Perceptia Press, 2012 Essentials of Medical Language / David M. Allan : McGraw-Hill Science Engineering, 2015 Bedside Manner by Simon Capper (2013) Essentials of Medical Language 3rd Ed. by Locker and Allan (2015)</p>
<p>履修上の注意事項 PC、タブレットなどが必要です。 You will need to access the course website or other online teaching materials during each lesson. Therefore, you must bring a wireless device (laptop, tablet, cell phone) with you to every lesson. Note: The screen of a cell phone may be too small for reading textbook pdfs. Appropriate Use of Technology Policy: During the lesson you are encouraged to use any form of technology (cell phone, laptop, tablet, etc.) that will a) enhance your learning experience and b) will not negatively affect the learning experience of other students. What is NOT acceptable is the use of technology during class for activities that are unrelated to the course. This includes shopping, watching sports, checking Facebook, emailing anyone, talking, texting, tweeting, playing games, watching movies or TV not assigned in class, or doing work that is due in another class.</p>
<p>参照ホームページ 「Google ドライブ」を使用する。「Google アカウント」が必要です。 We will use Google Drive to share course materials and submit assignments. A Google account is required.</p>
<p>連絡先(メールアドレス) dennisson.las@tmd.ac.jp</p>
<p>オフィスアワー Wednesday/Thursday 12:30 - 13:00 PM 管理研究棟3階</p>

時間割番号	000363			科目ID	LA-116810-Z
科目名	S・タンパク質の科学			科目ID	LA-116810-Z
担当教員	澤野 頼子[SAWANO YORIKO]				
開講時期	2022 年度前期	対象年次	1	単位数	1
実務経験のある教員による授業					
<p>曜日・時間:火曜3・4限(9/6(火)3・4 時限、9/16(金)1・2 時限)＋夏季集中 対象学科:全学科 受講資格:タンパク質に興味のある者 募集人数:30名 科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 別表2-1)自然現象を科学的に探求するための方法論を知る 別表2-4)自己問題提起・解決型の学習方法を身につける</p>					
主な講義場所					
Zoom による遠隔授業(同期型)					
授業の目的、概要等					
タンパク質は食品に含まれる物質としてなじみがあるが、生命現象に直接かかわる物質(酵素、抗体、情報受容・伝達タンパク質など)として非常に重要である。この授業では化学、生命科学におけるタンパク質およびそれを構成するアミノ酸について、基本概念の導入講義を行った上で、少人数のグループに分かれて学生自らが問題提起・討論・解決を行う PBL(Problem Based Learning)を通して学習し、その成果を発表会にて発表する。					
授業の到達目標					
講義、PBL および発表を通して、化学、生命科学におけるタンパク質およびアミノ酸の基礎を理解し、レポートにまとめる。GPA における「B」(本試験合格レベル)の条件は、上記到達目標を概ね達成できたこととする。					
授業計画					
回	日付	時刻	講義室	担当教員	
1-2	8/1	09:10-12:20	遠隔授業 (同期型)	澤野 頼子	
3-4	8/2	09:10-12:20	遠隔授業 (同期型)	澤野 頼子	
5	8/4	10:50-12:20	遠隔授業 (同期型)	澤野 頼子	
6-7	8/5	09:10-12:20	遠隔授業 (同期型)	澤野 頼子	
8-9	8/29	09:10-12:20	遠隔授業 (同期型)	澤野 頼子	
10-11	8/30	09:10-12:20	遠隔授業 (同期型)	澤野 頼子	
12-13	9/6	13:10-16:20	遠隔授業 (同期型)	澤野 頼子	
14-15	9/16	09:10-12:20	遠隔授業 (同期型)	澤野 頼子	
授業方法					
講義およびアクティブラーニング(PBL、課題発表)による					
授業内容					
アミノ酸・タンパク質に関する講義、PBL、発表を行う。					
成績評価の方法					

<p>評価: レポート 20% ・ その他(授業への参加度、課題発表) 80%</p> <p>再評価: 無</p> <p>授業時の取り組み状況(PBL での活動状況、課題発表)を重視し、それに関連したレポートとともに評価を行う。</p>
<p>成績評価の基準</p> <p>「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による</p>
<p>準備学習等についての具体的な指示</p> <p>講義資料(WebClass に掲載)に目を通しておく。</p> <p>アミノ酸やタンパク質に関してインターネットや書籍等から情報収集を行う。</p>
<p>試験の受験資格</p> <p>原則3分の2以上出席</p>
<p>参考書</p> <p>ヴォート基礎生化学/D.Voet, J.G.Voet, C.W.Pratt 著,田宮信雄, 村松正實, 八木達彦, 遠藤斗志也 訳:東京化学同人, 2010</p> <p>タンパク質の構造と機能: カラー図説/グレゴリー A. ペソコ/著,ダグマール リンゲ/著,横山 茂之/監訳,宮島 郁子/訳:メデイカル・サイエンス・インターナショナル, 2005</p> <p>タンパク質の構造入門/Carl Branden, John Tooze 著,勝部幸輝 [ほか]監訳:ニュートンプレス, 2000</p> <p>タンパク質入門: その化学構造とライフサイエンスへの招待/高山光男 著.:内田老鶴圃, 2006</p> <p>タンパク質科学: 構造・物性・機能/後藤祐児, 桑島邦博, 谷澤克行 編.:化学同人, 2005</p> <p>アミノ酸: タンパク質と生命活動の化学/船山信次 著.:東京電機大学出版局, 2009</p> <p>タンパク質・アミノ酸の新栄養学/岸恭一, 木戸康博 編.:講談社, 2007</p> <p>Essential タンパク質科学/Mike Williamson 著,津本浩平, 植田正, 前仲勝実 監訳,Williamson, Michael P., 1957-,津本, 浩平,植田, 正,前仲, 勝実.:南江堂, 2016</p> <p>これから学ぶ酵素科学/中山亨編著 ; 山下哲, 野池基義共著.:三共出版, 2019</p>
<p>履修上の注意事項</p> <p>履修希望者は、ガイダンス動画を視聴の上、履修申請およびメールによる申請の双方を行うこと。履修希望者が定員を超えた場合は抽選を行う。</p>
<p>連絡先(メールアドレス)</p> <p>sawano.las@tmd.ac.jp</p>
<p>オフィスアワー</p> <p>毎週金曜日 PM.0:00-PM.1:00 ヒポクラテス 4 階</p>

時間割番号	000364			科目ID	LA-116835-Z
科目名	S・数学基礎				
担当教員	中口 悦史[NAKAGUCHI ETSUSHI]				
開講時期	2022 年度前期	対象年次	1	単位数	1
実務経験のある教員による授業					
<p>対象学科: 保健衛生学科・口腔保健学科(主に高校数学Ⅲ未履修者)</p> <p>募集人数: 最大40名</p> <p>科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 2-1, 4-1, 4-2</p>					
授業の目的、概要等					
大学数学ならびに数理・データサイエンスの基礎としての線形代数と微積分の入門と、それらのために必要な高校数学の補強を行う。					
授業の到達目標					
基本的な計算問題を解くことができる。基本的な定理を理解できる。					
授業計画					
回	日付	時刻	講義室	授業内容	担当教員
1-2	5/24	14:50-18:00		数の体系と代数方程式	中口 悦史
3-4	6/14	13:10-16:20		平面図形と三角関数	中口 悦史
5-6	6/28	13:10-16:20		数列・級数と漸化式	中口 悦史
7-8	7/12	13:10-16:20		場合の数と確率, 確率分布	中口 悦史
9-10	9/6	13:10-16:20		空間ベクトル, 連立一次方程式	中口 悦史
11-12	9/13	13:10-16:20		初等的関数と微分積分	中口 悦史
13-14	9/16	09:10-12:20		多変数関数と曲面	中口 悦史
15	9/22	10:50-12:20		総合演習	中口 悦史
授業方法					
<p>全授業日程を原則として対面で行う。状況に応じて同期ハイブリッド(対面+遠隔)型授業または同期遠隔型授業に切り替える。</p> <p>各回の前半はスライドによる講義, 後半は演習を行う。演習では, 3~4名ずつのグループに分かれて問題を解き, その後全体で答え合わせを行う。各回の学習内容を, ノート提出によって確認する。</p>					
授業内容					
<ol style="list-style-type: none"> 数の体系と代数方程式 平面図形と三角関数 数列・級数と漸化式 場合の数と確率, 確率分布 空間ベクトル, 連立一次方程式 初等的関数と微分積分 多変数関数と曲面 総合演習 					
成績評価の方法					
<p>評価 : 試験 50% ・ レポート 0% ・ その他(授業内演習・ノート提出) 50%</p> <p>再評価: 無</p> <p>試験と授業内演習, ノート提出を総合して成績評価を行う。授業内演習における発言およびノート提出により授業中の参加度や理解度を測る。試験は, 問題の理解度や定理・公式の運用の適切さ, 論証や計算の精確さを総合的に評価するために, 期末に対面または同期遠隔型の筆記試験によって行う。</p> <p>「試験の受験資格」を満たし, かつ期末試験を受験したもののみを, 評価の対象とする。</p>					
成績評価の基準					
「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則別表 2」による					
準備学習等についての具体的な指示					
各回の講義スライドを授業前日までに LMS に掲載するので, できるだけ予習し, 関連する高校数学の内容をよく思い出し, 不明な点を					

整理して授業に臨むことが望ましい。
試験の受験資格 授業回数の3分の2回以上の出席, ならびに出席回のノート提出。
教科書 数学入門／上村豊, 坪井堅二 著, 上村, 豊, 1953-坪井, 堅二, 1954-, :東京化学同人, 2019
参考書 データサイエンスのための数学／椎名洋, 椎名, 洋(1961-), 姫野, 哲人, 保科, 架風, 清水, 昌平, 講談社サイエンティフィック, :講談社, 2019-08 数学/統計学／宇田川誠一, 井川俊彦, 谷口哲也著, 宇田川, 誠一, 井川, 俊彦, 谷口, 哲也, :医歯薬出版, 2019 偏微分・重積分・線形代数／上村豊, 坪井堅二著, 上村, 豊, 坪井, 堅二, :東京化学同人, 2004 アートのための数学／牟田淳 著, :オーム社, 2008 デザインのための数学／牟田淳 著, :オーム社, 2010 数学入門 上／遠山啓 著, 遠山, 啓, :岩波書店, 1993 数学入門 下／遠山啓 著, :岩波書店, 1993-06 数学の学び方・教え方／遠山啓著, 遠山, 啓, :岩波書店, 1972 その他, 高校数学の参考書。
履修上の注意事項 出欠確認は, 教室の出欠管理システムと遠隔授業の参加者リスト, および各回のノート提出による確認を併用する。
連絡先(メールアドレス) nakaguti.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー 前期:水 17:30—18:30, 後期:木 12:30—14:30／電子メールによる質問等は随時受け付け

時間割番号	000367			科目ID	LA-116837-Z																																													
科目名	S-Essentials of Human Biology			科目ID	LA-116837-Z																																													
担当教員	JEANETTE DENNISON[JEANETTE DENNISON]																																																	
開講時期	2022 年度前期	対象年次	1	単位数	1																																													
実務経験のある教員による授業																																																		
<p>This course is a general biology course taught in English.</p> <p>The content in this course complements material taught in your regular biology course [生物学(細胞・遺伝子)].</p> <p>This course has a 2-day summer intensive component.</p>																																																		
<p>授業の目的、概要等</p> <p>Students will build on their molecular and cellular biology knowledge through class discussions and self-directed study of English reading materials.</p>																																																		
<p>授業の到達目標</p> <p>Goals</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) Build science vocabulary in English 2) Improve English oral discussion ability on biology topics 3) Present on current trends in biology primary literature 4) Summarize in written forms important concepts in biology 5) Follow and report on biological experiment 																																																		
<p>授業計画</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>講義室</th> <th>担当教員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1-2</td> <td>5/24</td> <td>14:50-18:00</td> <td></td> <td>JEANETTE DENNISON</td> </tr> <tr> <td>3-4</td> <td>6/14</td> <td>13:10-16:20</td> <td></td> <td>JEANETTE DENNISON</td> </tr> <tr> <td>5-6</td> <td>6/28</td> <td>13:10-16:20</td> <td></td> <td>JEANETTE DENNISON</td> </tr> <tr> <td>7-8</td> <td>7/12</td> <td>13:10-16:20</td> <td></td> <td>JEANETTE DENNISON</td> </tr> <tr> <td>9-10</td> <td>9/6</td> <td>13:10-16:20</td> <td></td> <td>JEANETTE DENNISON</td> </tr> <tr> <td>11-12</td> <td>9/13</td> <td>13:10-16:20</td> <td></td> <td>JEANETTE DENNISON</td> </tr> <tr> <td>13-14</td> <td>9/16</td> <td>09:10-12:20</td> <td></td> <td>JEANETTE DENNISON</td> </tr> <tr> <td>15</td> <td>9/22</td> <td>10:50-12:20</td> <td></td> <td>JEANETTE DENNISON</td> </tr> </tbody> </table>						回	日付	時刻	講義室	担当教員	1-2	5/24	14:50-18:00		JEANETTE DENNISON	3-4	6/14	13:10-16:20		JEANETTE DENNISON	5-6	6/28	13:10-16:20		JEANETTE DENNISON	7-8	7/12	13:10-16:20		JEANETTE DENNISON	9-10	9/6	13:10-16:20		JEANETTE DENNISON	11-12	9/13	13:10-16:20		JEANETTE DENNISON	13-14	9/16	09:10-12:20		JEANETTE DENNISON	15	9/22	10:50-12:20		JEANETTE DENNISON
回	日付	時刻	講義室	担当教員																																														
1-2	5/24	14:50-18:00		JEANETTE DENNISON																																														
3-4	6/14	13:10-16:20		JEANETTE DENNISON																																														
5-6	6/28	13:10-16:20		JEANETTE DENNISON																																														
7-8	7/12	13:10-16:20		JEANETTE DENNISON																																														
9-10	9/6	13:10-16:20		JEANETTE DENNISON																																														
11-12	9/13	13:10-16:20		JEANETTE DENNISON																																														
13-14	9/16	09:10-12:20		JEANETTE DENNISON																																														
15	9/22	10:50-12:20		JEANETTE DENNISON																																														
<p>授業方法</p> <p>Students will listen to teacher mini-lectures and work in small groups to learn about biology topics each week. There is a practicum component during 2 days in summer break as part of this course.</p>																																																		
<p>授業内容</p> <p>Weeks 1-2: Orientation</p> <p>Weeks 3-8: Lecture/Group Discussions</p> <p>Weeks 9-15: Student topic presentations (2-day intensive component in summer break)</p>																																																		
<p>成績評価の方法</p> <p>Participation: 30%</p> <p>Class Assignments: 50%</p> <p>Final presentation: 20%</p>																																																		
<p>成績評価の基準</p> <p>Refer to「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」</p>																																																		
<p>準備学習等についての具体的な指示</p>																																																		

<p>試験の受験資格</p> <p>This course is recommended for students with TOEFL 500+.</p>
<p>教科書</p> <p>Main textbooks:</p> <p>Essential Cell Biology 4th Ed. by Alberts et al. (2014)</p> <p>Campbell Biology 11th Ed. By Urry et al. (2017)</p> <p>Human Biology 11th Ed. Mader (2010)</p> <p>**Note: Purchase of these textbooks is NOT required. There are copies available in the Kounodai Library. Reading materials will be provided by the instructor.</p>
<p>参考書</p> <p>Japanese version of textbook:</p> <p>Essential 細胞生物学(原書第4版)</p> <p>Additional supplemental materials will be provided in the course folder.</p>
<p>他科目との関連</p> <p>生物学(細胞・遺伝子)</p>
<p>履修上の注意事項</p> <p>PC、タブレットなどが必要です。 You will need to access the course folder for reading materials during each lesson. You should bring a laptop or tablet each week. Appropriate Use of Technology Policy: During the lesson you are encouraged to use any form of technology (cell phone, laptop, tablet, etc.) that will a) enhance your learning experience and b) will not negatively affect the learning experience of other students. What is NOT acceptable is the use of technology during class for activities that are unrelated to the course. This includes shopping, watching sports, checking Facebook, emailing anyone, talking, texting, tweeting, playing games, watching movies or TV not assigned in class, or doing work that is due in another class.</p>
<p>参照ホームページ</p> <p>「Google ドライブ」を使用する。「Google アカウント」が必要です。</p> <p>The course materials will be accessed through the online course folder on Google Drive. Students will be required to have a Google account to access this material.</p>
<p>連絡先(メールアドレス)</p> <p>dennisson.las@tmd.ac.jp</p>
<p>オフィスアワー</p> <p>Wednesday/Thursday 12:30 – 13:00 PM 管理研究棟3階</p>

時間割番号	000368			科目ID	LA-116838-Z
科目名	S・Understanding Poetry from a Comparative Perspective			科目ID	LA-116838-Z
担当教員	CANNELL DAVID[David Cannell]				
開講時期	2022 年度後期	対象年次	1	単位数	1
実務経験のある教員による授業					
授業の目的、概要等					
<p>For much of history, in both pre-literate and literate societies and cultures, poetry was considered the king of all arts—more so than drama, painting or other visual arts. Even today the power of lyric poetry endures in various genres of modern songwriting. Why has poetry had such an enduring power through the ages? To answer this and other pressing questions, this course will take a comparative approach to understanding poetry. Understanding what poetry is and how poetic language works and creates intellectual and linguistic pleasure will be key concerns of this course. We will of course spend a great deal of time reading poems closely, even memorizing a few along the way. Further, we will learn how poetry was understood and practiced in the past. We will also examine from a more modern perspective how poetry functioned in society: Why did people compose poetry? How was poetry socially justified?</p>					
授業計画					
回	日付	時刻	講義室	担当教員	
1	10/3	10:50-12:20		CANNELL DAVID	
2	10/10	10:50-12:20		CANNELL DAVID	
3	10/17	10:50-12:20		CANNELL DAVID	
4	10/24	10:50-12:20		CANNELL DAVID	
5	10/31	10:50-12:20		CANNELL DAVID	
6	11/7	10:50-12:20		CANNELL DAVID	
7	11/14	10:50-12:20		CANNELL DAVID	
8	11/21	10:50-12:20		CANNELL DAVID	
9	11/28	10:50-12:20		CANNELL DAVID	
10	12/5	10:50-12:20		CANNELL DAVID	
11	12/12	10:50-12:20		CANNELL DAVID	
12	12/19	10:50-12:20		CANNELL DAVID	
13	1/16	10:50-12:20		CANNELL DAVID	
14	1/23	10:50-12:20		CANNELL DAVID	
15	1/30	10:50-12:20		CANNELL DAVID	
授業方法					
<p>*Mini-lectures *Class discussion (large group, small group) based on homework questions</p>					
授業内容					
<p>* Our course will focus on lyric poetry, especially love and nature poetry, from a comparative perspective in the West and East Asia. We will read and study poetry from the waka and haikai traditions of Japan and the lyrical poetry in the West, of Shakespeare, Wordsworth, Whitman, Tennyson, Yeats and others. Students will learn how to understand poetry in its historical context and from a comparative perspective. Furthermore, students will come to grasp and appreciate literary language—its power and its significance in human experience.</p>					
成績評価の方法					
<p>*25% Essay 1 *25% Essay 2 *50% Final Oral Examination</p>					
準備学習等についての具体的な指示					

教科書

Texts will be available as email attachments or handouts.

備考

Class discussion will be in English.

Class materials will primarily be in English.

Notebook, A-5 size

連絡先(メールアドレス)

cannell.isc@tmd.ac.jp

時間割番号	000369			科目ID	LA-116839-Z																																																																																
科目名	S・プログラミングで学ぶ幾何学デザイン			科目ID	LA-116839-Z																																																																																
担当教員	徳永 伸一[TOKUNAGA SHINICHI]																																																																																				
開講時期	2022 年度後期	対象年次	1	単位数	1																																																																																
実務経験のある教員による授業																																																																																					
曜日・時間: 金曜2限 対象学科: 全学科																																																																																					
主な講義場所 計算機実習室																																																																																					
授業の目的、概要等 前期「情報科学」の授業でおなったプログラミング言語によるグラフィックスの応用として、様々な幾何学模様を描くプログラミングの技法を学習します。 前期に学ぶ Python を想定していますが、他のプログラミング言語の経験がある人は、それを用いても構いません。																																																																																					
授業の到達目標 様々な幾何学デザインの構造を理解し、それらを描画するプログラムを作成できるようになる。																																																																																					
授業計画 <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>講義室</th> <th>担当教員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td>10/7</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>徳永 伸一</td></tr> <tr><td>2</td><td>10/14</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>徳永 伸一</td></tr> <tr><td>3</td><td>10/21</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>徳永 伸一</td></tr> <tr><td>4</td><td>10/28</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>徳永 伸一</td></tr> <tr><td>5</td><td>11/4</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>徳永 伸一</td></tr> <tr><td>6</td><td>11/11</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>徳永 伸一</td></tr> <tr><td>7</td><td>11/18</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>徳永 伸一</td></tr> <tr><td>8</td><td>11/25</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>徳永 伸一</td></tr> <tr><td>9</td><td>12/2</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>徳永 伸一</td></tr> <tr><td>10</td><td>12/9</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>徳永 伸一</td></tr> <tr><td>11</td><td>12/16</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>徳永 伸一</td></tr> <tr><td>12</td><td>1/6</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>徳永 伸一</td></tr> <tr><td>13</td><td>1/13</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>徳永 伸一</td></tr> <tr><td>14</td><td>1/20</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>徳永 伸一</td></tr> <tr><td>15</td><td>1/27</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>徳永 伸一</td></tr> </tbody> </table>						回	日付	時刻	講義室	担当教員	1	10/7	10:50-12:20		徳永 伸一	2	10/14	10:50-12:20		徳永 伸一	3	10/21	10:50-12:20		徳永 伸一	4	10/28	10:50-12:20		徳永 伸一	5	11/4	10:50-12:20		徳永 伸一	6	11/11	10:50-12:20		徳永 伸一	7	11/18	10:50-12:20		徳永 伸一	8	11/25	10:50-12:20		徳永 伸一	9	12/2	10:50-12:20		徳永 伸一	10	12/9	10:50-12:20		徳永 伸一	11	12/16	10:50-12:20		徳永 伸一	12	1/6	10:50-12:20		徳永 伸一	13	1/13	10:50-12:20		徳永 伸一	14	1/20	10:50-12:20		徳永 伸一	15	1/27	10:50-12:20		徳永 伸一
回	日付	時刻	講義室	担当教員																																																																																	
1	10/7	10:50-12:20		徳永 伸一																																																																																	
2	10/14	10:50-12:20		徳永 伸一																																																																																	
3	10/21	10:50-12:20		徳永 伸一																																																																																	
4	10/28	10:50-12:20		徳永 伸一																																																																																	
5	11/4	10:50-12:20		徳永 伸一																																																																																	
6	11/11	10:50-12:20		徳永 伸一																																																																																	
7	11/18	10:50-12:20		徳永 伸一																																																																																	
8	11/25	10:50-12:20		徳永 伸一																																																																																	
9	12/2	10:50-12:20		徳永 伸一																																																																																	
10	12/9	10:50-12:20		徳永 伸一																																																																																	
11	12/16	10:50-12:20		徳永 伸一																																																																																	
12	1/6	10:50-12:20		徳永 伸一																																																																																	
13	1/13	10:50-12:20		徳永 伸一																																																																																	
14	1/20	10:50-12:20		徳永 伸一																																																																																	
15	1/27	10:50-12:20		徳永 伸一																																																																																	
授業方法 講義およびパソコンを用いた実習																																																																																					
授業内容 前半は主にサンプルプログラムや幾何学デザインの解説を行い、それに基づいてプログラムを作成します。 後半は各自が考案または収集した幾何学デザインを実現するプログラムを作成し、発表を行ってまいります。																																																																																					
成績評価の方法 提出課題による																																																																																					
成績評価の基準 原則として各授業での課題プログラムをすべて作成・提出し、さらにオリジナルのプログラムを提出することが必須となります。 プログラミングの技術より、独創的なアイデアや幾何学的なセンスを重視して評価します。																																																																																					

準備学習等についての具体的な指示

幾何学デザインに必要な数学的知識およびプログラミング技法を事前に予習しておくこと。

他科目との関連

前期の「情報科学」で学習したプログラミングの技法を発展的に活用します。

履修上の注意事項

前期の「情報科学」で扱った幾何学図形グラフィックスのプログラミング技法(あるいは他のプログラミング言語による同程度の技法)を習得しておくことが望ましい。

参照ホームページ

http://www.tmd.ac.jp/artsci/math/lec/tokunaga/prog_text.htm

(前期「情報科学」のプログラミングテキスト)

連絡先(メールアドレス)

tokunaga.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

前期:

木曜 12:20-13:10(ヒポ 4F 徳永研究室またはヒポ 2F 計算機実習室)

後期:

金曜 12:20-13:10(ヒポ 4F 徳永研究室またはヒポ 2F 計算機実習室)

* いずれも計算機実習室で授業がある日なので、そちらにいることが多いです。
上記以外の時間帯でも、事前にEメールで連絡をもらえれば可能な限り対応します。

時間割番号	000371			科目ID	LA-116843-Z																																																																																
科目名	S・数理生物学入門			科目ID	LA-116843-Z																																																																																
担当教員	中林 潤[NAKABAYASHI Junn]																																																																																				
開講時期	2022 年度後期	対象年次	1	単位数	1																																																																																
実務経験のある教員による授業																																																																																					
<p>科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):</p> <p>2-1) 自然現象を科学的に探求するための方法論を知る。</p> <p>4-2) 生命現象・自然現象について総合的に理解するための基礎学力・思考力を身につける。</p>																																																																																					
<p>主な講義場所</p> <p>東京医科歯科大学 国府台キャンパス 9 番教室</p>																																																																																					
<p>授業の目的、概要等</p> <p>数理生物学とは様々な生命現象を数理科学的な視点から解明しようとする学問である。そのカバーする領域は広く、その基盤となる理論も多岐にわたる。この講義では生命科学領域における理論的な研究を広く俯瞰し、その基礎となる理論について概説する。</p>																																																																																					
<p>授業の到達目標</p> <p>この講義では医学・生命科学領域における理論的研究にがどのようなものかを理解し、その基礎となる理論について学習することで、将来医療や研究に従事する際に必要となる数理的リテラシーを身につける。</p>																																																																																					
<p>授業計画</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>講義室</th> <th>担当教員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td>10/3</td><td>09:10-10:40</td><td></td><td>中林 潤</td></tr> <tr><td>2</td><td>10/10</td><td>09:10-10:40</td><td></td><td>中林 潤</td></tr> <tr><td>3</td><td>10/17</td><td>09:10-10:40</td><td></td><td>中林 潤</td></tr> <tr><td>4</td><td>10/24</td><td>09:10-10:40</td><td></td><td>中林 潤</td></tr> <tr><td>5</td><td>10/31</td><td>09:10-10:40</td><td></td><td>中林 潤</td></tr> <tr><td>6</td><td>11/7</td><td>09:10-10:40</td><td></td><td>中林 潤</td></tr> <tr><td>7</td><td>11/14</td><td>09:10-10:40</td><td></td><td>中林 潤</td></tr> <tr><td>8</td><td>11/21</td><td>09:10-10:40</td><td></td><td>中林 潤</td></tr> <tr><td>9</td><td>11/28</td><td>09:10-10:40</td><td></td><td>中林 潤</td></tr> <tr><td>10</td><td>12/5</td><td>09:10-10:40</td><td></td><td>中林 潤</td></tr> <tr><td>11</td><td>12/12</td><td>09:10-10:40</td><td></td><td>中林 潤</td></tr> <tr><td>12</td><td>12/19</td><td>09:10-10:40</td><td></td><td>中林 潤</td></tr> <tr><td>13</td><td>1/16</td><td>09:10-10:40</td><td></td><td>中林 潤</td></tr> <tr><td>14</td><td>1/23</td><td>09:10-10:40</td><td></td><td>中林 潤</td></tr> <tr><td>15</td><td>1/30</td><td>09:10-10:40</td><td></td><td>中林 潤</td></tr> </tbody> </table>						回	日付	時刻	講義室	担当教員	1	10/3	09:10-10:40		中林 潤	2	10/10	09:10-10:40		中林 潤	3	10/17	09:10-10:40		中林 潤	4	10/24	09:10-10:40		中林 潤	5	10/31	09:10-10:40		中林 潤	6	11/7	09:10-10:40		中林 潤	7	11/14	09:10-10:40		中林 潤	8	11/21	09:10-10:40		中林 潤	9	11/28	09:10-10:40		中林 潤	10	12/5	09:10-10:40		中林 潤	11	12/12	09:10-10:40		中林 潤	12	12/19	09:10-10:40		中林 潤	13	1/16	09:10-10:40		中林 潤	14	1/23	09:10-10:40		中林 潤	15	1/30	09:10-10:40		中林 潤
回	日付	時刻	講義室	担当教員																																																																																	
1	10/3	09:10-10:40		中林 潤																																																																																	
2	10/10	09:10-10:40		中林 潤																																																																																	
3	10/17	09:10-10:40		中林 潤																																																																																	
4	10/24	09:10-10:40		中林 潤																																																																																	
5	10/31	09:10-10:40		中林 潤																																																																																	
6	11/7	09:10-10:40		中林 潤																																																																																	
7	11/14	09:10-10:40		中林 潤																																																																																	
8	11/21	09:10-10:40		中林 潤																																																																																	
9	11/28	09:10-10:40		中林 潤																																																																																	
10	12/5	09:10-10:40		中林 潤																																																																																	
11	12/12	09:10-10:40		中林 潤																																																																																	
12	12/19	09:10-10:40		中林 潤																																																																																	
13	1/16	09:10-10:40		中林 潤																																																																																	
14	1/23	09:10-10:40		中林 潤																																																																																	
15	1/30	09:10-10:40		中林 潤																																																																																	
<p>授業方法</p> <p>講義およびアクティブラーニングを実施する</p>																																																																																					
<p>授業内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・数理生物学概論 ・細胞増殖の数理モデル ・離散時間の個体群動態 ・パターン形成とチューリングモデル ・進化とゲーム理論 ・ニューラルネットワーク ・最適制御理論 ・情報科学とバイオインフォマティクス 																																																																																					

<ul style="list-style-type: none"> ・ベイズ理論 ・瀬尾明化学領域におけるデータ駆動型科学
<p>成績評価の方法</p> <p>出席、提出物、期末レポート、筆記試験などを参考に総合的に判断する。</p>
<p>成績評価の基準</p> <p>「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による</p>
<p>準備学習等についての具体的な指示</p> <p>事前の予習は特に不要。→*各回の復讐をしっかりと行う。</p>
<p>参考書</p> <p>生命の数理／巖佐庸著,巖佐 庸,:共立出版, 2008</p> <p>数理生物学入門：生物社会のダイナミクスを探る／巖佐庸 著,巖佐 庸, 1952-,:共立出版, 1998</p> <p>数理生態学／巖佐庸担当編集,巖佐 庸,日本生物物理学会シリーズ・ニューバイオフィジックス刊行委員会,:共立出版, 1997</p> <p>理論生物学の基礎／関村利朗, 山村則男共編,関村, 利朗,山村, 則男,:海游舎, 2012</p> <p>シリーズ数理生物学要論／日本数理生物学会／編集,日本数理生物学会,:共立出版, 2008</p>
<p>連絡先(メールアドレス)</p> <p>nakab.las@tmd.ac.jp</p>
<p>オフィスアワー</p> <p>月曜～金曜</p> <p>A.M.10:00 – P.M. 05:00</p> <p>国府台キャンパス 4階 教官研究室—9</p>

時間割番号	000373			科目ID	LA-116844-Z
科目名	S・サイエンスフロンティア概論				
担当教員					
開講時期	2022 年度後期	対象年次	1	単位数	1
実務経験のある教員による授業					
<p>・曜日・時間: 冬季集中</p> <p>・対象専攻: 全学科</p> <p>・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):</p> <p>2-1) 自然現象を科学的に探求するための方法論を知る。</p> <p>4-2) 生命現象・自然現象について総合的に理解するための基礎学力・思考力を身につける。</p>					
<p>授業の目的、概要等</p> <p>サイエンス(基礎科学)は社会の基盤をなす学問であり、工学、創薬、医療などテクノロジーの進歩の裏には必ずサイエンスがベースになっている。生物学、化学、物理学、数学の研究者である自然系教員が、それぞれの研究分野に関連したトピックを選び、自身の研究内容や当該領域における研究トレンド、研究方法、期待される成果などをレクチャーし、さらに社会や医療との接点などを教授する。</p>					
<p>授業の到達目標</p> <p>最近のサイエンスの研究に触れることで、研究者として必要な基盤知識とリサーチマインドを獲得する。また、生物、化学、物理、数学と幅広い研究領域を学ぶことで、研究者が専門を越えて研鑽できる学際融合の目を養う。</p>					
<p>授業方法</p> <p>講義(非同期型を基本とするが、一部は同期型で実施する)</p> <p>アクティブラーニング(発見学習、調査学習、等)</p>					
<p>授業内容</p> <p>非同期型授業(オンデマンド)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 導入 (檜枝) 2. 宇宙生物医学のフロンティア (服部) 3. アンチエイジングのフロンティア (服部) 4. 昆虫の学習と記憶 (松本) 5. 振動分光学の生命科学への応用 (奈良) 6. 振動分光によるカルシウム結合タンパク質の構造活性相関の解明 (奈良) 7. 植物の生存戦略 (澤野) 8. 生体高分子の分析法 (勝又) 9. 摩擦の物理 (檜枝) 10. 極低温の物質科学研究: 超伝導と超流動 (檜枝) 11. 超伝導量子ビットを用いた回路量子電気力学 (越野) 12. 網羅的ゲノム解析とがんゲノム医療 (中林) 13. 計算数理科学 (中口) <p>同期型授業</p> <ol style="list-style-type: none"> 14. 卵母細胞の成熟機構と行動の脳制御機構 (伊藤) 15. グラフの周遊問題とゲノム解析 (徳永) 					
<p>成績評価の方法</p> <p>評価: 授業毎に課す課題 100% (授業に参加した上で提出)</p> <p>再評価: なし</p>					
<p>成績評価の基準</p> <p>「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による</p>					

準備学習等についての具体的な指示

各教員によって対応が違うが事前学習の指示があった場合にはそれに従うこと。

試験の受験資格

試験は実施しないが、原則 2/3 以上の出席が必要

履修上の注意事項

非同期型遠隔授業を基本とします(一部、同期型で実施します)。原則 2/3 以上の授業に出席すること。

備考

学生アンケートへの対応:

2020 年度 授業内容に関して大きな指摘は無し

時間割番号	000374				
科目名	S・化学熱力学演習	科目ID			
担当教員	奈良 雅之[NARA MASAYUKI]				
開講時期	2022 年度後期	対象年次	1	単位数	1
実務経験のある教員による授業					
<ul style="list-style-type: none"> ・曜日・時間: 月曜1時限 ・対象学科: 医学科、歯学科、保健衛生学科検査技術学専攻 ・募集人数 40名 ・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): <ul style="list-style-type: none"> 2-1) 自然現象を科学的に探究するための方法論を知る 4-2) 生命現象・自然現象について総合的に理解するための基礎学力・思考力を身につける 					
授業の目的、概要等					
<p>化学の講義だけではなかなか理解ができない方、演習を通して一般化学の理解を深めたい方を対象に「マグロウヒル大学演習 一般化学」の補充問題や市販の問題集を主な題材として演習を行います。受講者は単に問題を解くだけでなく、その解説をみんなの前で行いますので、プレゼンテーションの練習になるでしょう。受講する側は、その説明を通して理解できたかどうかを評価したり、議論したりしますので、履修者全員が参加しなければいけません。予習にかなりの時間が費やさなければならないことを覚悟の上で授業に臨んで下さい。</p>					
授業の到達目標					
<p>化学熱力学、量子化学などの物理化学を理解し、かつその演習問題に取り組むことができる。 演習形式の授業に参加することを通して、能動的に学習態度を身につける。</p>					
授業計画					
回	日付	時刻	講義室	担当教員	
1	10/3	09:10-10:40		奈良 雅之	
2	10/10	09:10-10:40		奈良 雅之	
3	10/17	09:10-10:40		奈良 雅之	
4	10/24	09:10-10:40		奈良 雅之	
5	10/31	09:10-10:40		奈良 雅之	
6	11/7	09:10-10:40		奈良 雅之	
7	11/14	09:10-10:40		奈良 雅之	
8	11/21	09:10-10:40		奈良 雅之	
9	11/28	09:10-10:40		奈良 雅之	
10	12/5	09:10-10:40		奈良 雅之	
11	12/12	09:10-10:40		奈良 雅之	
12	12/19	09:10-10:40		奈良 雅之	
13	1/16	09:10-10:40		奈良 雅之	
14	1/23	09:10-10:40		奈良 雅之	
15	1/30	09:10-10:40		奈良 雅之	
授業方法					
学生参加型の発表形式で授業が進行します。					
授業内容					
第1・2回 序論: 熱化学方程式					
第3・4回 気体					
第5・6回 溶液					
第7・8回 化学熱力学分野					
第9・10回 化学熱力学分野					

<p>第11・12回 原子の構造 第13・14回 分子の構造 第15回 総合演習</p>
<p>成績評価の方法 評価:試験(期末考査)30%・レポート(学習実践記録)30% その他40%(授業中の発表、参加度) 授業中の演習への参加度を重視しますので、その他のウエイトを高くしました。 再評価:無</p>
<p>成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による</p>
<p>準備学習等についての具体的な指示 予習:指定された問題をノートに解いておく。 復習:授業中の解説を聞いて、自分で理解できるまでの過程を学習実践記録として記す</p>
<p>試験の受験資格 定期試験の受験資格:原則3分の2以上の出席</p>
<p>教科書 化学熱力学／原田義也著,原田, 義也,:裳華房, 2012</p>
<p>参考書 フレンドリー基礎物理化学演習／田中潔, 荒井貞夫 共著,:三共出版, 2013 系統看護学講座／奈良, 雅之,:医学書院, 2018 一般化学／Jerome L.Rosenberg, Lawrence M.Epstein 共著,一國雅巳 訳,Rosenberg, Jerome Laib,Epstein, Lawrence M,一國, 雅巳, 1930-,: オーム社, 1995</p>
<p>連絡先(メールアドレス) nara.las@tmd.ac.jp</p>
<p>オフィスアワー 毎週水曜日 PM.0:00-PM.2:00, 毎週金曜日 PM.0:00-PM.1:00 ヒポクラテス 4階</p>

時間割番号	000375			科目ID	LA-116846-Z																																																																																
科目名	S・生命分子スペクトル解析学演習																																																																																				
担当教員	奈良 雅之[NARA MASAYUKI]																																																																																				
開講時期	2022 年度後期	対象年次	1	単位数	1																																																																																
実務経験のある教員による授業																																																																																					
<p>・曜日・時間: 金曜1限(変則) + 冬季集中</p> <p>・対象学科: 全学科</p> <p>・募集人数: 5名</p> <p>・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):</p> <p>2-1、2、3) 科学的思考方法を知る</p> <p>4-3) 自然現象を探究するための基本的手法を身につける</p>																																																																																					
<p>授業の目的、概要等</p> <p>担当教員の専門分野(生命分子スペクトル解析学)に関連した研究テーマに実際に参加することにより、研究の取り組み方を学ぶことを目的としています。研究計画から実験報告まで、将来研究者として欠かすことのできない重要事項を一通り体系的に学べるでしょう。</p>																																																																																					
<p>授業の到達目標</p> <p>少し高度な学生実験レベルから研究レベルまで、学生が希望したレベルの演習を体験できる。</p> <p>授業にほぼ全回出席して、生命分子スペクトル解析学に関するレポートが提出できれば、GPAにおける「B」に相当する。</p>																																																																																					
<p>授業計画</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>講義室</th> <th>担当教員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td>10/7</td><td>09:10-10:40</td><td></td><td>奈良 雅之</td></tr> <tr><td>2</td><td>10/14</td><td>09:10-10:40</td><td></td><td>奈良 雅之</td></tr> <tr><td>3</td><td>10/21</td><td>09:10-10:40</td><td></td><td>奈良 雅之</td></tr> <tr><td>4</td><td>10/28</td><td>09:10-10:40</td><td></td><td>奈良 雅之</td></tr> <tr><td>5</td><td>11/4</td><td>09:10-10:40</td><td></td><td>奈良 雅之</td></tr> <tr><td>6</td><td>11/11</td><td>09:10-10:40</td><td></td><td>奈良 雅之</td></tr> <tr><td>7</td><td>11/18</td><td>09:10-10:40</td><td></td><td>奈良 雅之</td></tr> <tr><td>8</td><td>11/25</td><td>09:10-10:40</td><td></td><td>奈良 雅之</td></tr> <tr><td>9</td><td>12/2</td><td>09:10-10:40</td><td></td><td>奈良 雅之</td></tr> <tr><td>10</td><td>12/9</td><td>09:10-10:40</td><td></td><td>奈良 雅之</td></tr> <tr><td>11</td><td>12/16</td><td>09:10-10:40</td><td></td><td>奈良 雅之</td></tr> <tr><td>12</td><td>1/6</td><td>09:10-10:40</td><td></td><td>奈良 雅之</td></tr> <tr><td>13</td><td>1/13</td><td>09:10-10:40</td><td></td><td>奈良 雅之</td></tr> <tr><td>14</td><td>1/20</td><td>09:10-10:40</td><td></td><td>奈良 雅之</td></tr> <tr><td>15</td><td>1/27</td><td>09:10-10:40</td><td></td><td>奈良 雅之</td></tr> </tbody> </table>						回	日付	時刻	講義室	担当教員	1	10/7	09:10-10:40		奈良 雅之	2	10/14	09:10-10:40		奈良 雅之	3	10/21	09:10-10:40		奈良 雅之	4	10/28	09:10-10:40		奈良 雅之	5	11/4	09:10-10:40		奈良 雅之	6	11/11	09:10-10:40		奈良 雅之	7	11/18	09:10-10:40		奈良 雅之	8	11/25	09:10-10:40		奈良 雅之	9	12/2	09:10-10:40		奈良 雅之	10	12/9	09:10-10:40		奈良 雅之	11	12/16	09:10-10:40		奈良 雅之	12	1/6	09:10-10:40		奈良 雅之	13	1/13	09:10-10:40		奈良 雅之	14	1/20	09:10-10:40		奈良 雅之	15	1/27	09:10-10:40		奈良 雅之
回	日付	時刻	講義室	担当教員																																																																																	
1	10/7	09:10-10:40		奈良 雅之																																																																																	
2	10/14	09:10-10:40		奈良 雅之																																																																																	
3	10/21	09:10-10:40		奈良 雅之																																																																																	
4	10/28	09:10-10:40		奈良 雅之																																																																																	
5	11/4	09:10-10:40		奈良 雅之																																																																																	
6	11/11	09:10-10:40		奈良 雅之																																																																																	
7	11/18	09:10-10:40		奈良 雅之																																																																																	
8	11/25	09:10-10:40		奈良 雅之																																																																																	
9	12/2	09:10-10:40		奈良 雅之																																																																																	
10	12/9	09:10-10:40		奈良 雅之																																																																																	
11	12/16	09:10-10:40		奈良 雅之																																																																																	
12	1/6	09:10-10:40		奈良 雅之																																																																																	
13	1/13	09:10-10:40		奈良 雅之																																																																																	
14	1/20	09:10-10:40		奈良 雅之																																																																																	
15	1/27	09:10-10:40		奈良 雅之																																																																																	
<p>授業方法</p> <p>実験ならびに研究ミーティングによるアクティブラーニングを実践する。</p>																																																																																					
<p>授業内容</p> <p>タンパク質や脂質などの生体高分子や生体材料そのものを研究対象として、分光学的手法(主として赤外分光法もしくはラマン分光法)によるアプローチにより、対象となる分子の構造と機能の相関を解析する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 分光学に関する基本操作を習得する。 2. 実験テーマ、研究テーマを決める。 3. 各自の目標設定を定めた上で、達成するための計画を立てる。 4. 研究を行う。(実験ならびに結果解析) 5. 研究結果についてのディスカッションを行う。一個別指導 6. 実験経過、研究成果を発表する。 7. 実験レポート(報告書)として報告する。 																																																																																					

<p>成績評価の方法</p> <p>評価: 報告・レポート: 80%</p> <p>その他20% (授業中の取り組み方、参加度)</p> <p>再評価 無</p>
<p>成績評価の基準</p> <p>「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による</p>
<p>準備学習等についての具体的な指示</p> <p>予習: 配付資料で分光光学の原理について勉強する</p> <p>復習: 実験結果を整理して、報告できるようにまとめる</p>
<p>試験の受験資格</p> <p>定期試験の受験資格: 原則3分の2以上出席 (報告・レポートをもって定期試験とする)</p>
<p>参考書</p> <p>赤外分光測定法 : 基礎と最新手法 / 田隅三生編著 ; 日本分光学会編集委員会編, 田隅, 三生, 日本分光学会編集委員会. : エス・ティ・ジャパン, 2012</p>
<p>連絡先(メールアドレス)</p> <p>nara.jas@tmd.ac.jp</p>
<p>オフィスアワー</p> <p>毎週水曜日 PM.0:00-PM.2:00, 毎週金曜日 PM.0:00-PM.1:00 ヒポクラテス 4 階</p>

時間割番号	000376			科目ID	LA-116847-Z
科目名	S・市川文学散歩		科目ID	LA-116847-Z	
担当教員	木谷 真紀子[KITANI Makiko]				
開講時期	2022 年度後期	対象年次	1	単位数	1
実務経験のある教員による授業					
<p>別表 1-1) 言語を通じた人間の創造的営みを理解する</p> <p>別表 1-3) 人間の歴史的営みを理解する</p> <p>別表 1-5) 人間の思考の枠組みを知り、自らの思考を振り返る</p> <p>別表 1-6) 優れた芸術作品に触れて完成を高める</p> <p>別表 1-7) 人間の心への理解を高める</p> <p>別表 3-2) 自らの考えを的確に伝えるための基本的な文章表現能力を身につける</p>					
主な講義場所					
国府台キャンパス。					
授業の目的、概要等					
<p>文学など芸術作品は、時代や土地とどのように結びついているのだろうか。教養部のある国府台キャンパスは市川に位置しているが、松戸へも徒歩圏内である。市川は、日本最古の歌集『万葉集』から、文学に描かれている。また永井荷風や井上ひさしなど、著名な作家が居を構え、作品を生み出した場所でもある。また松戸は「野菊の墓」を生み、社会派文学を生んだ水上勉は現在の矢切駅の前に住んでいた。そのような国府台キャンパス一帯の魅力を、作品鑑賞と実地訪問の両方から味わう。</p> <p>授業では「市川」や「松戸」を通し、文学や社会、土地との関わりについて考察することを目的とする。</p>					
授業の到達目標					
<p>①土地と文学がどのように関わっているかを学ぶ。</p> <p>②市川と関わる文学作品を鑑賞する</p> <p>③松戸と関わる文学作品を鑑賞する</p> <p>④文学に描かれた場所を訪問する。</p> <p>⑤自分の関わる土地を文学的視点から見直す。</p>					
授業計画					
回	日付	時刻	講義室	担当教員	
1	10/3	10:50-12:20		木谷 真紀子	
2	10/10	10:50-12:20		木谷 真紀子	
3	10/17	10:50-12:20		木谷 真紀子	
4	10/24	10:50-12:20		木谷 真紀子	
5	10/31	10:50-12:20		木谷 真紀子	
6	11/7	10:50-12:20		木谷 真紀子	
7	11/14	10:50-12:20		木谷 真紀子	
8	11/21	10:50-12:20		木谷 真紀子	
9	11/28	10:50-12:20		木谷 真紀子	
10	12/5	10:50-12:20		木谷 真紀子	
11	12/12	10:50-12:20		木谷 真紀子	
12	12/19	10:50-12:20		木谷 真紀子	
13	1/16	10:50-12:20		木谷 真紀子	
14	1/23	10:50-12:20		木谷 真紀子	
15	1/30	10:50-12:20		木谷 真紀子	
授業方法					
<p>担当者が講義を行い、受講者はそれを聞いたうえで、ディスカッションや課題を通し、理解を深める。また受講者全員が、自分の故郷や自分の関わる土地を描いた文学作品についてプレゼンテーションを行う。社会状況が許せば、学外見学も取り入れたい。</p>					

<p>授業内容</p> <p>1) ガイダンス 2) 『万葉集』と市川① 3) 『万葉集』市川②、実地見学 4) 和歌と市川 5) 近世文学と市川 6) 永井荷風と市川 7) 井上ひさしと市川 8) 近代文学と松戸 9) 伊藤左千夫「野菊の墓」① 10) 伊藤左千夫「野菊の墓」②、実地見学 11) 三島由紀夫「幸福号出帆」 12) 三島由紀夫と昭和三十年の東京ウォーターフロント① 13) 三島由紀夫と昭和三十年の東京ウォーターフロント② 14) 三島由紀夫と昭和三十年の東京ウォーターフロント③ 15) 総括</p>
<p>成績評価の方法</p> <p>期末レポート 40% その他 50% (授業に関する課題 20%・プレゼン評価表 10%・プレゼンテーション 30%)</p>
<p>成績評価の基準</p> <p>期末レポートだけでなく、毎回の授業や課題に熱心に取り組んだか、クラスメイトの取り組みをきちんと評価したかも重要視する。</p>
<p>準備学習等についての具体的な指示</p> <p>プレゼンテーションの準備、課題など、授業外でも「土地と文学」という視点から考察分析する機会を作る。</p>
<p>試験の受験資格</p> <p>3分の2以上の授業に出席していること。 20分以内の遅刻、早退は、3回で1回分の欠席としてカウントする。</p>
<p>教科書</p> <p>野菊の墓／伊藤 左千夫：新潮社、1995</p>
<p>参考書</p> <p>授業内で指示。</p>
<p>他科目との関連</p> <p>他の文学系の科目でも、文学と土地の関連について触れることがある。</p>
<p>履修上の注意事項</p> <p>教員のとる出欠を優先させる。「授業内課題や授業後コメントシート」が提出されていない場合には、欠席扱いになる。</p>

時間割番号	000377				
科目名	S・Human Nature and the Mind	科目ID	LA-116848-Z		
担当教員	CANNELL DAVID[David Cannell]				
開講時期	2022 年度前期	対象年次	1	単位数	1
実務経験のある教員による授業					
授業の目的、概要等					
<p>What does it mean to be human? This should be an easy question, right. After all, why wouldn't we know this since each of us is human? And yet, thinkers from diverse traditions and cultures have been asking this question directly and indirectly for thousands of years as though there is no definitive answer. Some believe that human nature is fixed or there is a fixed, unchanging core that makes us human as opposed to something else; and that this core tends toward the good or tends toward the bad. Others claim that human nature is far more malleable and subject to change and transformation beyond any recognizably fixed essence. Even now some people believe that we are now transitioning from being human to a post-human condition. We need to investigate these claims. We will call on thinkers in religious, philosophical, literary, and science fields to help us clarify our task at hand and grasp the human in our contemporary situation.</p>					
授業計画					
回	日付	時刻	講義室	担当教員	
1	4/18	10:50-12:20		CANNELL DAVID	
2	4/25	10:50-12:20		CANNELL DAVID	
3	5/2	10:50-12:20		CANNELL DAVID	
4	5/9	10:50-12:20		CANNELL DAVID	
5	5/16	10:50-12:20		CANNELL DAVID	
6	5/23	10:50-12:20		CANNELL DAVID	
7	5/30	10:50-12:20		CANNELL DAVID	
8	6/6	10:50-12:20		CANNELL DAVID	
9	6/13	10:50-12:20		CANNELL DAVID	
10	6/20	10:50-12:20		CANNELL DAVID	
11	6/27	10:50-12:20		CANNELL DAVID	
12	7/4	10:50-12:20		CANNELL DAVID	
13	7/11	10:50-12:20		CANNELL DAVID	
14	7/18	10:50-12:20		CANNELL DAVID	
15	7/25	10:50-12:20		CANNELL DAVID	
授業方法					
<p>Mix of class discussion, lecture, and mini-lecture</p> <p>*Mini-lectures</p> <p>*Class discussion (large group, small group) based on homework questions</p>					
授業内容					
<p>* Our course will take a broad approach to human nature by reading seminal texts across time and geography, especially the West and East Asia. Our readings will include excerpts from Genesis, Plato, Mencius, Hsun Tzu, Hobbes, Locke, E.O. Wilson, Yuval Harari, and others. In addition, our course will include at least one novel-length reading.</p>					
成績評価の方法					
<p>Weekly homework assignments</p> <p>Mid-Term Examination</p> <p>Final Examination</p> <p>*10% Class attendance and Participation</p>					

*40% Mid-Term Exam/Essay

*50% Final Examination/Essay

準備学習等についての具体的な指示

教科書

Klara and the Sun / by Kazuo Ishiguro, : Faber & Faber, 2021

Most readings in this class will be provided as a pdf file.

連絡先(メールアドレス)

cannell.isc@tmd.ac.jp

時間割番号	000378			科目ID																																																																																	
科目名	S・現代日本社会論		科目ID																																																																																		
担当教員	藤井 達夫[FUJII Tatsuo]																																																																																				
開講時期	2022 年度前期	対象年次	1	単位数	1																																																																																
実務経験のある教員による授業																																																																																					
<p>科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):</p> <p>1-1) 言語を通じた人間の創造的営みを理解する</p> <p>1-2) 社会制度や仕組みについての基本を理解する</p> <p>1-3) 人間の歴史的営みを理解する</p> <p>2-3) 言語活動や社会現象を科学的に分析するための方法論を知る</p>																																																																																					
<p>授業の目的、概要等</p> <p>この授業では、現代の日本社会に関する論考を受講生と輪読し、ディスカッションを行うことで、この社会が抱える問題を共有する。その上で、それらの社会問題に対する解決策を模索し、日本社会のあるべき姿について構想することを目指す。</p>																																																																																					
<p>授業の到達目標</p> <p>社会科学のテキストを正確に理解し、レジユメを用いたプレゼンテーションができる。</p> <p>自分の意見を他の受講生に分かり易く丁寧に説明できる。</p> <p>他の受講生の発言を傾聴し、適切な応答をすることができる。</p> <p>現在の日本社会を批判的に考察し、それが抱える問題点を把握できる。</p> <p>現代の社会問題に対する解決策を模索し、そのために必要な経路を提案できる。</p>																																																																																					
<p>授業計画</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>講義室</th> <th>担当教員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td>4/18</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>藤井 達夫</td></tr> <tr><td>2</td><td>4/25</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>藤井 達夫</td></tr> <tr><td>3</td><td>5/2</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>藤井 達夫</td></tr> <tr><td>4</td><td>5/9</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>藤井 達夫</td></tr> <tr><td>5</td><td>5/16</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>藤井 達夫</td></tr> <tr><td>6</td><td>5/23</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>藤井 達夫</td></tr> <tr><td>7</td><td>5/30</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>藤井 達夫</td></tr> <tr><td>8</td><td>6/6</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>藤井 達夫</td></tr> <tr><td>9</td><td>6/13</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>藤井 達夫</td></tr> <tr><td>10</td><td>6/20</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>藤井 達夫</td></tr> <tr><td>11</td><td>6/27</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>藤井 達夫</td></tr> <tr><td>12</td><td>7/4</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>藤井 達夫</td></tr> <tr><td>13</td><td>7/11</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>藤井 達夫</td></tr> <tr><td>14</td><td>7/18</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>藤井 達夫</td></tr> <tr><td>15</td><td>7/25</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>藤井 達夫</td></tr> </tbody> </table>						回	日付	時刻	講義室	担当教員	1	4/18	10:50-12:20		藤井 達夫	2	4/25	10:50-12:20		藤井 達夫	3	5/2	10:50-12:20		藤井 達夫	4	5/9	10:50-12:20		藤井 達夫	5	5/16	10:50-12:20		藤井 達夫	6	5/23	10:50-12:20		藤井 達夫	7	5/30	10:50-12:20		藤井 達夫	8	6/6	10:50-12:20		藤井 達夫	9	6/13	10:50-12:20		藤井 達夫	10	6/20	10:50-12:20		藤井 達夫	11	6/27	10:50-12:20		藤井 達夫	12	7/4	10:50-12:20		藤井 達夫	13	7/11	10:50-12:20		藤井 達夫	14	7/18	10:50-12:20		藤井 達夫	15	7/25	10:50-12:20		藤井 達夫
回	日付	時刻	講義室	担当教員																																																																																	
1	4/18	10:50-12:20		藤井 達夫																																																																																	
2	4/25	10:50-12:20		藤井 達夫																																																																																	
3	5/2	10:50-12:20		藤井 達夫																																																																																	
4	5/9	10:50-12:20		藤井 達夫																																																																																	
5	5/16	10:50-12:20		藤井 達夫																																																																																	
6	5/23	10:50-12:20		藤井 達夫																																																																																	
7	5/30	10:50-12:20		藤井 達夫																																																																																	
8	6/6	10:50-12:20		藤井 達夫																																																																																	
9	6/13	10:50-12:20		藤井 達夫																																																																																	
10	6/20	10:50-12:20		藤井 達夫																																																																																	
11	6/27	10:50-12:20		藤井 達夫																																																																																	
12	7/4	10:50-12:20		藤井 達夫																																																																																	
13	7/11	10:50-12:20		藤井 達夫																																																																																	
14	7/18	10:50-12:20		藤井 達夫																																																																																	
15	7/25	10:50-12:20		藤井 達夫																																																																																	
<p>授業方法</p> <p>セミナー形式で実施する。具体的には、指定されたテキストを輪読し、ディスカッションを行う。そのために、受講生には、担当箇所のレジユメ(内容の要約とコメント)を作成し、プレゼンテーションをしてもらう。</p>																																																																																					
<p>授業内容</p> <p>第一回授業 ガイダンス</p> <p>第二回～ テキストの輪読とディスカッション</p>																																																																																					
<p>成績評価の方法</p> <p>試験やレポートは実施せず、プレゼンテーション(50%)と授業への参加度(50%)で評価を行う。また、再評価はしない。</p>																																																																																					

成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による
準備学習等についての具体的な指示 指定されたテキストの範囲の熟読 プレゼンテーションの準備(担当者)
試験の受験資格 全授業回数の 2/3 以上の出席を単位認定の条件とする。
教科書 「平成」の正体：なぜこの社会は機能不全に陥ったのか／藤井達夫: イースト・プレス, 2018 日本社会のしくみ：雇用・教育・福祉の歴史社会学／小熊英二: 講談社
参考書 日本が壊れる前に：「貧困」の現場から見えるネオリベの構造／中村淳彦, 藤井達夫: 亜紀書房, 2020
履修上の注意事項 出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先させる。 授業への積極的な参加を重視する。
連絡先(メールアドレス) fujii.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー 毎週月曜日 12:00—13:00(管理棟 2 階)

時間割番号	000379			科目ID																																																																																	
科目名	S・科学技術と政治——M.フーコーを読む——			科目ID																																																																																	
担当教員	藤井 達夫[FUJII Tatsuo]																																																																																				
開講時期	2022 年度前期	対象年次	1	単位数	1																																																																																
実務経験のある教員による授業																																																																																					
<p>科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):</p> <p>1-1) 言語を通じた人間の創造的営みを理解する</p> <p>1-2) 社会制度や仕組みについての基本を理解する</p> <p>1-3) 人間の歴史的営みを理解する</p> <p>1-10) 現代社会における科学の責任を意識できるようになる</p> <p>2-3) 言語活動や社会現象を科学的に分析するための方法論を知る</p>																																																																																					
<p>授業の目的、概要等</p> <p>この授業では、人文社会科学における医療研究に決定的な影響を及ぼしたミシェル・フーコーの『臨床医学の誕生』を取り上げる。これを受講生と輪読し、ディスカッションを行うことで、名著『臨床医学の誕生』を理解することを主な目的とする。その上で、このテキストを足掛かりに、現代医療の特徴や問題点について検討することを目指す。</p>																																																																																					
<p>授業の到達目標</p> <p>テキストを正確に理解し、レジюмеを用いたプレゼンテーションができる。</p> <p>自分の意見を他の受講生に分かり易く丁寧に説明できる。</p> <p>他の受講生の発言を傾聴し、適切な応答をすることができる。</p> <p>現代医療の特徴や問題点を人文社会科学の見地から指摘できる。</p>																																																																																					
<p>授業計画</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>講義室</th> <th>担当教員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td>4/15</td><td>09:10-10:40</td><td></td><td>藤井 達夫</td></tr> <tr><td>2</td><td>4/22</td><td>09:10-10:40</td><td></td><td>藤井 達夫</td></tr> <tr><td>3</td><td>5/6</td><td>09:10-10:40</td><td></td><td>藤井 達夫</td></tr> <tr><td>4</td><td>5/13</td><td>09:10-10:40</td><td></td><td>藤井 達夫</td></tr> <tr><td>5</td><td>5/20</td><td>09:10-10:40</td><td></td><td>藤井 達夫</td></tr> <tr><td>6</td><td>5/27</td><td>09:10-10:40</td><td></td><td>藤井 達夫</td></tr> <tr><td>7</td><td>6/3</td><td>09:10-10:40</td><td></td><td>藤井 達夫</td></tr> <tr><td>8</td><td>6/10</td><td>09:10-10:40</td><td></td><td>藤井 達夫</td></tr> <tr><td>9</td><td>6/17</td><td>09:10-10:40</td><td></td><td>藤井 達夫</td></tr> <tr><td>10</td><td>6/24</td><td>09:10-10:40</td><td></td><td>藤井 達夫</td></tr> <tr><td>11</td><td>7/1</td><td>09:10-10:40</td><td></td><td>藤井 達夫</td></tr> <tr><td>12</td><td>7/8</td><td>09:10-10:40</td><td></td><td>藤井 達夫</td></tr> <tr><td>13</td><td>7/15</td><td>09:10-10:40</td><td></td><td>藤井 達夫</td></tr> <tr><td>14</td><td>7/22</td><td>09:10-10:40</td><td></td><td>藤井 達夫</td></tr> <tr><td>15</td><td>7/29</td><td>09:10-10:40</td><td></td><td>藤井 達夫</td></tr> </tbody> </table>						回	日付	時刻	講義室	担当教員	1	4/15	09:10-10:40		藤井 達夫	2	4/22	09:10-10:40		藤井 達夫	3	5/6	09:10-10:40		藤井 達夫	4	5/13	09:10-10:40		藤井 達夫	5	5/20	09:10-10:40		藤井 達夫	6	5/27	09:10-10:40		藤井 達夫	7	6/3	09:10-10:40		藤井 達夫	8	6/10	09:10-10:40		藤井 達夫	9	6/17	09:10-10:40		藤井 達夫	10	6/24	09:10-10:40		藤井 達夫	11	7/1	09:10-10:40		藤井 達夫	12	7/8	09:10-10:40		藤井 達夫	13	7/15	09:10-10:40		藤井 達夫	14	7/22	09:10-10:40		藤井 達夫	15	7/29	09:10-10:40		藤井 達夫
回	日付	時刻	講義室	担当教員																																																																																	
1	4/15	09:10-10:40		藤井 達夫																																																																																	
2	4/22	09:10-10:40		藤井 達夫																																																																																	
3	5/6	09:10-10:40		藤井 達夫																																																																																	
4	5/13	09:10-10:40		藤井 達夫																																																																																	
5	5/20	09:10-10:40		藤井 達夫																																																																																	
6	5/27	09:10-10:40		藤井 達夫																																																																																	
7	6/3	09:10-10:40		藤井 達夫																																																																																	
8	6/10	09:10-10:40		藤井 達夫																																																																																	
9	6/17	09:10-10:40		藤井 達夫																																																																																	
10	6/24	09:10-10:40		藤井 達夫																																																																																	
11	7/1	09:10-10:40		藤井 達夫																																																																																	
12	7/8	09:10-10:40		藤井 達夫																																																																																	
13	7/15	09:10-10:40		藤井 達夫																																																																																	
14	7/22	09:10-10:40		藤井 達夫																																																																																	
15	7/29	09:10-10:40		藤井 達夫																																																																																	
<p>授業方法</p> <p>セミナー形式で実施する。具体的には、指定されたテキストを輪読し、ディスカッションを行う。そのために、受講生には、担当箇所のレジюме(内容の要約とコメント)を作成し、プレゼンテーションをしてもらう。</p>																																																																																					
<p>授業内容</p> <p>第一回授業 ガイダンス</p> <p>第二回～ テキストの輪読とディスカッション</p>																																																																																					
<p>成績評価の方法</p> <p>試験やレポートは実施せず、プレゼンテーション(50%)と授業への参加度(50%)で評価を行う。また、再評価はしない。</p>																																																																																					

成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による
準備学習等についての具体的な指示 指定されたテキストの範囲の熟読 プレゼンテーションの準備(担当者)
試験の受験資格 全授業回数の 2/3 以上の出席を単位認定の条件とする。
教科書 臨床医学の誕生／ミシェル・フーコー:みすず書房, 2020
履修上の注意事項 出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先させる。 授業への積極的な参加を重視する。
連絡先(メールアドレス) fujii.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー 毎週月曜日 12:00—13:00(管理棟 2 階)

時間割番号	000380			科目ID																																																																																	
科目名	S・科学と《人間》		科目ID																																																																																		
担当教員	藤井 達夫[FUJII Tatsuo]																																																																																				
開講時期	2022 年度後期	対象年次	1	単位数	1																																																																																
実務経験のある教員による授業																																																																																					
<p>科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):</p> <p>1-1) 言語を通じた人間の創造的営みを理解する</p> <p>1-2) 社会制度や仕組みについての基本を理解する</p> <p>1-3) 人間の歴史的営みを理解する</p> <p>1-10) 現代社会における科学の責任を意識できるようになる</p> <p>2-3) 言語活動や社会現象を科学的に分析するための方法論を知る</p>																																																																																					
<p>授業の目的、概要等</p> <p>この授業では、現代の Foucauldian の代表的なテキストである、ニコラス・ローズ『生そのものの政治学:二十一世紀の生物医学、権力、主体性』を取り上げる。これを受講生と輪読し、ディスカッションを行うことで、その内容を理解することを主な目的とする。その上で、このテキストを足掛かりに、医療テクノロジーの進化によって《人間》の理解がどのように変化してきたか検討することを目指す。</p>																																																																																					
<p>授業の到達目標</p> <p>テキストを正確に理解し、レジюмеを用いたプレゼンテーションができる。</p> <p>自分の意見を他の受講生に分かり易く丁寧に説明できる。</p> <p>他の受講生の発言を傾聴し、適切な応答をすることができる。</p> <p>現代の医療テクノロジーの発展による《人間》の理解の変容について考察し、説明できる。</p>																																																																																					
<p>授業計画</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>講義室</th> <th>担当教員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td>10/3</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>藤井 達夫</td></tr> <tr><td>2</td><td>10/10</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>藤井 達夫</td></tr> <tr><td>3</td><td>10/17</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>藤井 達夫</td></tr> <tr><td>4</td><td>10/24</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>藤井 達夫</td></tr> <tr><td>5</td><td>10/31</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>藤井 達夫</td></tr> <tr><td>6</td><td>11/7</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>藤井 達夫</td></tr> <tr><td>7</td><td>11/14</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>藤井 達夫</td></tr> <tr><td>8</td><td>11/21</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>藤井 達夫</td></tr> <tr><td>9</td><td>11/28</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>藤井 達夫</td></tr> <tr><td>10</td><td>12/5</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>藤井 達夫</td></tr> <tr><td>11</td><td>12/12</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>藤井 達夫</td></tr> <tr><td>12</td><td>12/19</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>藤井 達夫</td></tr> <tr><td>13</td><td>1/16</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>藤井 達夫</td></tr> <tr><td>14</td><td>1/23</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>藤井 達夫</td></tr> <tr><td>15</td><td>1/30</td><td>10:50-12:20</td><td></td><td>藤井 達夫</td></tr> </tbody> </table>						回	日付	時刻	講義室	担当教員	1	10/3	10:50-12:20		藤井 達夫	2	10/10	10:50-12:20		藤井 達夫	3	10/17	10:50-12:20		藤井 達夫	4	10/24	10:50-12:20		藤井 達夫	5	10/31	10:50-12:20		藤井 達夫	6	11/7	10:50-12:20		藤井 達夫	7	11/14	10:50-12:20		藤井 達夫	8	11/21	10:50-12:20		藤井 達夫	9	11/28	10:50-12:20		藤井 達夫	10	12/5	10:50-12:20		藤井 達夫	11	12/12	10:50-12:20		藤井 達夫	12	12/19	10:50-12:20		藤井 達夫	13	1/16	10:50-12:20		藤井 達夫	14	1/23	10:50-12:20		藤井 達夫	15	1/30	10:50-12:20		藤井 達夫
回	日付	時刻	講義室	担当教員																																																																																	
1	10/3	10:50-12:20		藤井 達夫																																																																																	
2	10/10	10:50-12:20		藤井 達夫																																																																																	
3	10/17	10:50-12:20		藤井 達夫																																																																																	
4	10/24	10:50-12:20		藤井 達夫																																																																																	
5	10/31	10:50-12:20		藤井 達夫																																																																																	
6	11/7	10:50-12:20		藤井 達夫																																																																																	
7	11/14	10:50-12:20		藤井 達夫																																																																																	
8	11/21	10:50-12:20		藤井 達夫																																																																																	
9	11/28	10:50-12:20		藤井 達夫																																																																																	
10	12/5	10:50-12:20		藤井 達夫																																																																																	
11	12/12	10:50-12:20		藤井 達夫																																																																																	
12	12/19	10:50-12:20		藤井 達夫																																																																																	
13	1/16	10:50-12:20		藤井 達夫																																																																																	
14	1/23	10:50-12:20		藤井 達夫																																																																																	
15	1/30	10:50-12:20		藤井 達夫																																																																																	
<p>授業方法</p> <p>セミナー形式で実施する。具体的には、指定されたテキストを輪読し、ディスカッションを行う。そのために、受講生には、担当箇所のレジюме(内容の要約とコメント)を作成し、プレゼンテーションをしてもらう。</p>																																																																																					
<p>授業内容</p> <p>第一回授業 ガイダンス</p> <p>第二回～ テキストの輪読とディスカッション</p>																																																																																					
<p>成績評価の方法</p> <p>試験やレポートは実施せず、プレゼンテーション(50%)と授業への参加度(50%)で評価を行う。また、再評価はしない。</p>																																																																																					

成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による
準備学習等についての具体的な指示 指定されたテキストの範囲の熟読 プレゼンテーションの準備(担当者)
試験の受験資格 全授業回数の 2/3 以上の出席を単位認定の条件とする。
教科書 生そのものの政治学：二十一世紀の生物医学権力,主体性／ニコラス・ローズ：法政大学出版局, 2019
参考書 The politics of life itself : biomedicine, power, and subjectivity in the twenty-first century / Nikolas Rose / Rose, Nikolas : Princeton University Press, 2007
他科目との関連 S・科学技術と政治——M.フーコーを読む——
履修上の注意事項 出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先させる。 授業への積極的な参加を重視する。
備考 受講生の要望があれば、日本語翻訳ではなく原著(英語)を用いることもある(原著の方が理解し易いため)。
連絡先(メールアドレス) fujii.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー 毎週月曜日 12:00—13:00(管理棟 2 階)

時間割番号	000381			科目ID																																																																																	
科目名	S・科学技術と民主主義			科目ID																																																																																	
担当教員	藤井 達夫[FUJII Tatsuo]																																																																																				
開講時期	2022 年度後期	対象年次	1	単位数	1																																																																																
実務経験のある教員による授業																																																																																					
<p>科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):</p> <p>1-1) 言語を通じた人間の創造的営みを理解する</p> <p>1-2) 社会制度や仕組みについての基本を理解する</p> <p>1-10) 現代社会における科学の責任を意識できるようになる</p> <p>2-3) 言語活動や社会現象を科学的に分析するための方法論を知る</p> <p>3-1) 国際的に活躍するための語学力を養う</p>																																																																																					
<p>授業の目的、概要等</p> <p>この授業では、科学技術の民主的なコントロールに焦点を当てるべく、科学技術社会論(STS)の古典的論文集、Misunderstanding Science?: The Public Reconstruction of Science and Technology(英文)を取り上げる。これを受講生と輪読し、ディスカッションを行うことで、その内容を正確に理解することを主な目的とする。その上で、このテキストを足掛かりに、科学および医療テクノロジーの民主的なコントロールの可能性ないし、民主的なテクノロジー・アセスメント(TA)の可能性について検討することを目指す。</p>																																																																																					
<p>授業の到達目標</p> <p>英語の論文を正確に読解し、レジюмеを用いたプレゼンテーションができる。</p> <p>自分の意見を他の受講生に分かり易く丁寧に説明できる。</p> <p>他の受講生の発言を傾聴し、適切な応答をすることができる。</p> <p>科学技術と社会との関係を民主主義の観点から検討できる。</p>																																																																																					
<p>授業計画</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>講義室</th> <th>担当教員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td>10/7</td><td>09:10-10:40</td><td></td><td>藤井 達夫</td></tr> <tr><td>2</td><td>10/14</td><td>09:10-10:40</td><td></td><td>藤井 達夫</td></tr> <tr><td>3</td><td>10/21</td><td>09:10-10:40</td><td></td><td>藤井 達夫</td></tr> <tr><td>4</td><td>10/28</td><td>09:10-10:40</td><td></td><td>藤井 達夫</td></tr> <tr><td>5</td><td>11/4</td><td>09:10-10:40</td><td></td><td>藤井 達夫</td></tr> <tr><td>6</td><td>11/11</td><td>09:10-10:40</td><td></td><td>藤井 達夫</td></tr> <tr><td>7</td><td>11/18</td><td>09:10-10:40</td><td></td><td>藤井 達夫</td></tr> <tr><td>8</td><td>11/25</td><td>09:10-10:40</td><td></td><td>藤井 達夫</td></tr> <tr><td>9</td><td>12/2</td><td>09:10-10:40</td><td></td><td>藤井 達夫</td></tr> <tr><td>10</td><td>12/9</td><td>09:10-10:40</td><td></td><td>藤井 達夫</td></tr> <tr><td>11</td><td>12/16</td><td>09:10-10:40</td><td></td><td>藤井 達夫</td></tr> <tr><td>12</td><td>1/6</td><td>09:10-10:40</td><td></td><td>藤井 達夫</td></tr> <tr><td>13</td><td>1/13</td><td>09:10-10:40</td><td></td><td>藤井 達夫</td></tr> <tr><td>14</td><td>1/20</td><td>09:10-10:40</td><td></td><td>藤井 達夫</td></tr> <tr><td>15</td><td>1/27</td><td>09:10-10:40</td><td></td><td>藤井 達夫</td></tr> </tbody> </table>						回	日付	時刻	講義室	担当教員	1	10/7	09:10-10:40		藤井 達夫	2	10/14	09:10-10:40		藤井 達夫	3	10/21	09:10-10:40		藤井 達夫	4	10/28	09:10-10:40		藤井 達夫	5	11/4	09:10-10:40		藤井 達夫	6	11/11	09:10-10:40		藤井 達夫	7	11/18	09:10-10:40		藤井 達夫	8	11/25	09:10-10:40		藤井 達夫	9	12/2	09:10-10:40		藤井 達夫	10	12/9	09:10-10:40		藤井 達夫	11	12/16	09:10-10:40		藤井 達夫	12	1/6	09:10-10:40		藤井 達夫	13	1/13	09:10-10:40		藤井 達夫	14	1/20	09:10-10:40		藤井 達夫	15	1/27	09:10-10:40		藤井 達夫
回	日付	時刻	講義室	担当教員																																																																																	
1	10/7	09:10-10:40		藤井 達夫																																																																																	
2	10/14	09:10-10:40		藤井 達夫																																																																																	
3	10/21	09:10-10:40		藤井 達夫																																																																																	
4	10/28	09:10-10:40		藤井 達夫																																																																																	
5	11/4	09:10-10:40		藤井 達夫																																																																																	
6	11/11	09:10-10:40		藤井 達夫																																																																																	
7	11/18	09:10-10:40		藤井 達夫																																																																																	
8	11/25	09:10-10:40		藤井 達夫																																																																																	
9	12/2	09:10-10:40		藤井 達夫																																																																																	
10	12/9	09:10-10:40		藤井 達夫																																																																																	
11	12/16	09:10-10:40		藤井 達夫																																																																																	
12	1/6	09:10-10:40		藤井 達夫																																																																																	
13	1/13	09:10-10:40		藤井 達夫																																																																																	
14	1/20	09:10-10:40		藤井 達夫																																																																																	
15	1/27	09:10-10:40		藤井 達夫																																																																																	
<p>授業方法</p> <p>セミナー形式で実施する。具体的には、指定されたテキストを輪読し、ディスカッションを行う。そのために、受講生には、担当箇所のレジюме(内容の要約とコメント)を作成し、プレゼンテーションをしてもらう。</p>																																																																																					
<p>授業内容</p> <p>第一回授業 ガイダンス</p> <p>第二回～ テキストの輪読とディスカッション</p>																																																																																					

成績評価の方法 試験やレポートは実施せず、プレゼンテーション(50%)と授業への参加度(50%)で評価を行う。また、再評価はしない。
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による
準備学習等についての具体的な指示 指定されたテキストの範囲の熟読 プレゼンテーションの準備(担当者)
試験の受験資格 全授業回数の 2/3 以上の出席を単位認定の条件とする。
教科書 Irwin,A.and Wynne,B.eds.(2006). Misunderstanding Science?: The Public Reconstruction of Science and Technology.Cambridge: Cambridge University Press.
参考書 授業内で適宜、紹介する。
履修上の注意事項 出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先させる。 授業への積極的な参加を重視する。
連絡先(メールアドレス) fujii.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー 毎週月曜日 12:00—13:00(管理棟 2 階)

時間割番号	000382			科目ID	
科目名	S・数学基礎		科目ID		
担当教員	中口 悦史[NAKAGUCHI ETSUSHI]				
開講時期	2022 年度前期	対象年次	1	単位数	1
実務経験のある教員による授業					
<p>対象学科: 保健衛生学科・口腔保健学科(主に高校数学Ⅲ未履修者) 募集人数: 最大40名 科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 2-1), 4-1), 4-2)</p>					
授業の目的、概要等					
大学数学ならびに数理・データサイエンスの基礎としての線形代数と微積分の入門と、それらのために必要な高校数学の補強を行う。					
授業の到達目標					
基本的な計算問題を解くことができる。基本的な定理を理解できる。					
授業方法					
全授業日程を原則として対面で行う。状況に応じて同期ハイブリッド(対面+遠隔)型授業または同期遠隔型授業に切り替える。各回の前半はスライドによる講義、後半は演習を行う。演習では、4~5名ずつのグループに分かれて問題を解き、その後全体で答え合わせを行う。各回の学習内容を、ノート提出によって確認する。					
授業内容					
<ol style="list-style-type: none"> 1. 数の体系と代数方程式 2. 平面図形と三角関数 3. 数列・級数と漸化式 4. 場合の数と確率, 確率分布 5. 空間ベクトル, 連立一次方程式 6. 初等的関数と微積分 7. 多変数関数と曲面 8. 総合演習 					
成績評価の方法					
<p>評価 : 試験 50% ・ レポート 0% ・ その他(授業内演習・ノート提出) 50%</p> <p>再評価: 無</p> <p>試験と授業内演習, ノート提出を総合して成績評価を行う。授業内演習における発言およびノート提出により授業中の参加度や理解度を測る。試験は、問題の理解度や定理・公式の運用の適切さ, 論証や計算の精確さを総合的に評価するために、期末に対面または同期遠隔型の筆記試験によって行う。</p> <p>「試験の受験資格」を満たし, かつ期末試験を受験したもののみを, 評価の対象とする。</p>					
成績評価の基準					
「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則別表 2」による					
準備学習等についての具体的な指示					
各回の講義スライドを授業前日までに LMS に掲載するので、できるだけ予習し、関連する高校数学の内容をよく思い出し、不明な点を整理して授業に臨むことが望ましい。					
試験の受験資格					
授業回数の3分の2以上での出席, ならびに出席回のノート提出。					
教科書					
数学入門 / 上村豊, 坪井堅二 著, 上村, 豊, 1953-坪井, 堅二, 1954-, : 東京化学同人, 2019					
参考書					
<p>データサイエンスのための数学 / 椎名洋, 椎名, 洋(1961-), 姫野, 哲人, 保科, 架風, 清水, 昌平, 講談社サイエンティフィック, : 講談社, 2019-08</p> <p>数学/統計学 / 宇田川誠一, 井川俊彦, 谷口哲也著, 宇田川, 誠一, 井川, 俊彦, 谷口, 哲也, : 医歯薬出版, 2019</p> <p>偏微分・重積分・線形代数 / 上村豊, 坪井堅二著, 上村, 豊, 坪井, 堅二, : 東京化学同人, 2004</p>					

アートのための数学／牟田淳 著.:オーム社, 2008
デザインのための数学／牟田淳 著.:オーム社, 2010
数学入門 上／遠山啓 著.遠山, 啓.:岩波書店, 1993
数学入門 下／遠山啓 著.:岩波書店, 1993-06
数学の学び方・教え方／遠山啓著.遠山, 啓.:岩波書店, 1972
その他, 高校数学の参考書。

履修上の注意事項

出欠確認は, 教室の出欠管理システムと遠隔授業の参加者リスト, および各回のノート提出による確認を併用する。

連絡先(メールアドレス)

nakagutilas@tmd.ac.jp

オフィスアワー

前期:水 17:30—18:30, 後期:木 12:30—14:30／電子メールによる質問等は随時受け付け

時間割番号	000383			科目ID	
科目名	S・計算機による数学		科目ID		
担当教員	中口 悦史[NAKAGUCHI ETSUSHI]				
開講時期	2022 年度後期	対象年次	1	単位数	1
実務経験のある教員による授業					
<p>募集人数: 最大40名</p> <p>科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 2-1), 2-2), 2-4), 4-2), 4-3), 4-4)</p>					
<p>授業の目的、概要等</p> <p>数理・データサイエンス・人工知能の分野においては、数学的表現で定式化された問題をコンピュータで数値的に解く場面が数多現れるが、その解き方を提供するのが数値計算法(数値解析法)である。特に微積分など極限操作を伴う問題を近似的に解くことが求められることが多いが、無闇に近似してよいわけではなく、微積分の力を借りて正確さの保証された近似解法を用いなければならない。この授業では、Python(保健衛生学科・口腔保健学科の学生は十進 BASIC でも可)によるプログラミング演習と、計算科学に関するPBL型演習を通して、数値計算法(数値解析法)の基礎を学習する。</p>					
<p>授業の到達目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基本的な数値計算法を理解し、適切に運用できる。 ・基本的な数値計算パッケージ(NumPy など)の利用も含めて、簡単な問題を解くプログラムを組める場合は、高い評価を与える。 					
<p>授業方法</p> <p>全15回のうち前半10回分は、非同期動画配信と課題提出によって行う。2回を1セットとして、各セット前半を講義動画視聴とその予習・復習に、後半を課題提出に充てる。</p> <p>後半5回分は、冬季集中日程の同期(対面または遠隔)型授業でPBL(Problem-Based Learning)型演習を行う。1班3~6名のグループに分かれ、グループごとに情報に関するテーマを設定して調査研究を行い、最終回に発表会で共有する。</p> <p>さらに、一連の学習を元に、課題レポートを提出する。</p>					
<p>授業内容</p> <p>1-2. 《非同期型》オリエンテーション講義: 計算科学について</p> <p>3-4. 《非同期型》Python の実数値データの種類と演算、変数、条件分岐(if)、関数定義</p> <p>5-6. 《非同期型》ライブラリ math, numpy の利用、行列演算</p> <p>7-8. 《非同期型》反復計算(for, while)、数列と漸化式、極限と打ち切り</p> <p>9-10. 《非同期型》図形描画(pyplot, mplot3d)、立体図形の操作</p> <p>11-14. 《冬季集中同期型》PBL 班活動</p> <p>15. 《冬季集中同期型》PBL 発表会</p>					
<p>成績評価の方法</p> <p>評価: 試験 0%・レポート 30%・その他 70%(授業内演習 30%, PBL への取組等 40%)</p> <p>再評価: 無</p> <p>授業内演習とPBLの活動状況、期末レポートを総合して成績評価を行う。授業内演習の提出状況、PBL活動への取り組み具合により授業への参加度や理解度を測る。期末試験に代えてレポートを課し、総合的な理解度を測る。</p> <p>「試験の受験資格」を満たし、かつPBL発表会に参加し、課題レポートを提出したもののみを、評価の対象とする。</p>					
<p>成績評価の基準</p> <p>「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則別表2」による</p>					
<p>準備学習等についての具体的な指示</p> <p>各回の講義スライドを授業前日までにLMSに掲載するので、できるだけ予習し、関連する数学・情報処理/情報科学の内容をよく思い出し、不明な点を整理して授業に臨むことが望ましい。</p>					
<p>試験の受験資格</p> <p>授業回数の3分の2回以上の出席、ならびに、出席回の演習課題の提出。</p>					
<p>教科書</p> <p>特に指定しない。必要な資料はLMSやウェブで配付する。</p>					
<p>参考書</p>					

数値計算／洲之内治男著,洲之内, 治男,石渡, 恵美子,:サイエンス社, 2002

初等数値解析／D.G.モースト, C.S.デュリス著 ; 村上温夫訳Moursund, David G.,村上, 温夫,Duris, Charles S.,: 共立出版, 1975

履修上の注意事項

出欠確認は, 非同期部分は LMS 上の各回の講義動画視聴記録と課題提出の確認, PBL 演習部分は遠隔授業の参加者リストとコメント提出の確認による。 第11回以降の PBL 演習は, 冬季休業中や試験期間中の集中日程で行う。日程については履修者と調整する。

連絡先(メールアドレス)

nakaguti.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

前期:水 17:30—18:30, 後期:木 12:30—14:30／電子メールによる質問等は随時受け付け

時間割番号	000400			科目ID	LA-117000-Z	
科目名	医療とAI・ビッグデータ入門			科目ID	LA-117000-Z	
担当教員						
開講時期	2022 年度前期	対象年次	1	単位数	1	
実務経験のある教員による授業						
主な講義場所						
<ul style="list-style-type: none"> ・講義および演習は、対面、オンライン(Zoom)、オンデマンド(WebClass)のいずれかの形式により受講する。 ・対面授業は感染対策および講義室の収容人数の関係から、人数を制限する場合がある。 ・受講形式および対面授業の講義場所は別途アナウンスする。 						
授業の目的、概要等						
<p>今後のデジタル社会の基礎知識として捉えられている数理・データサイエンス・AIの基礎的素養を習得する。</p> <p>なぜ、数理・データサイエンス・AIを学ぶのか、社会でどのように活用され新たな価値を生んでいるのかという全体像の把握と、健康・医療分野でのAIの活用事例を学ぶ。</p> <p>将来的に保健医療分野におけるAI技術研究を自ら進めるもしくは企業等の技術者と共同でAI技術開発を推進する機会を得た際に必要となる素養を習得する。</p>						
授業の到達目標						
<ul style="list-style-type: none"> ・社会で起きている変化を理解し、数理・データサイエンス・AIを学ぶことの意義を説明できる。 ・AIを活用した新しいビジネス/サービスを説明できる ・どんなデータが集められ、どう活用されているかを説明できる。 ・データ・AIを活用するために使われている技術を概説できる。 ・データ・AIを活用することによって、どのような価値が生まれているかを説明できる。 ・データ・AI利活用における最新動向(ビジネスモデル、テクノロジー)を説明できる。 ・データ利活用プロセスを体験し、データを解析して考察できる。 						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員	備考
1	6/6	16:30-17:15	9 番教室 2 番教室 3 番教室 物理学実験室 4 番教室	大規模データ解析と人工知能によるがんの理解を目指して	宮野 悟	講義
2	6/6	17:15-18:00	9 番教室 2 番教室 3 番教室 物理学実験室 4 番教室	「未知」を発見する人工知能	宮野 悟, 中林 潤	講義
3	6/13	16:30-17:15	9 番教室 2 番教室 3 番教室 物理学実験室 4 番教室	生物統計学概論 ～医療における意思決定のために～	高橋 邦彦	講義
4	6/13	17:15-18:00	9 番教室 2 番教室 3 番教室 物理学実験室 4 番教室	AI・データサイエンスを学んで次世代の医療を切り開こう	清水 秀幸	講義
5	6/20	16:30-17:15	9 番教室 2 番教室 3 番教室 物理学実験室 4 番教室	データ科学アルゴリズム概論	坂内 英夫	講義
6	6/20	17:15-18:00	9 番教室 2 番教室 3 番教室 物理学実験室 4 番教室	データサイエンス・AIの基礎とその活用	PARK HEEWON	講義
7	6/27	16:30-17:15	9 番教室 2 番教室 3 番教室 物理学実験室 4 番教室	Pythonの基本操作とデータ構造	宮野 悟, 中林 潤, 高橋 邦彦, 坂内 英夫, PARK HEEWON, 清水 秀幸, 角 勇樹, 檜枝 光憲, 檜	講義・グループ演習

					枝 光憲, 中口 悦史, 徳永 伸一, 越野 和樹, 井津井 康浩, 岡田 英理子, 那波 伸敏, 鹿島田 彩子, 須藤 毅頭	
8	6/27	17:15-18:00	9 番教室, 2 番教室, 3 番教室, 物理学実験室, 4 番教室	Python の基本操作とデータ構造	宮野 悟, 中林 潤, 高橋 邦彦, 坂内 英夫, PARK HEEWON, 清水 秀幸, 角 勇樹, 檜枝 光憲, 檜枝 光憲, 中口 悦史, 徳永 伸一, 越野 和樹, 井津井 康浩, 岡田 英理子, 那波 伸敏, 鹿島田 彩子, 須藤 毅頭	講義・グループ演習
9	7/4	16:30-17:15	9 番教室, 2 番教室, 3 番教室, 物理学実験室, 4 番教室	AI 解析演習-判別基礎-	PARK HEEWON	演習のための講義
10	7/4	17:15-18:00	9 番教室, 2 番教室, 3 番教室, 物理学実験室, 4 番教室	AI 解析演習-判別基礎-	宮野 悟, 中林 潤, 高橋 邦彦, 坂内 英夫, PARK HEEWON, 清水 秀幸, 角 勇樹, 檜枝 光憲, 檜枝 光憲, 中口 悦史, 徳永 伸一, 越野 和樹, 井津井 康浩, 岡田 英理子, 那波 伸敏, 鹿島田 彩子, 須藤 毅頭	講義・グループ演習
11	7/11	16:30-17:15	9 番教室, 2 番教室, 3 番教室, 物理学実験室, 4 番教室	AI 解析演習-機械学習基礎-	PARK HEEWON	演習のための講義
12	7/11	17:15-18:00	9 番教室, 2 番教室, 3 番教室, 物理学実験室, 4 番教室	AI 解析演習-機械学習基礎-	宮野 悟, 中林 潤, 高橋 邦彦, 坂内 英夫, PARK HEEWON, 清水 秀幸, 角 勇樹, 檜枝 光憲, 檜枝 光憲, 中口 悦史, 徳永 伸一, 越野 和樹, 井津井 康浩, 岡田 英理子, 那波 伸敏, 鹿島田 彩子, 須藤 毅頭	講義・グループ演習
13	7/25	16:30-17:15	9 番教室, 2 番教室, 3 番教室, 物理学実験室, 4 番教室	AI 解析演習-深層学習基礎-	PARK HEEWON	演習のための講義
14	7/25	17:15-18:00	9 番教室, 2 番教室, 3 番教室, 物理学実験室, 4 番教室	AI 解析演習-深層学習基礎-	宮野 悟, 中林 潤, 高橋 邦彦, 坂内 英夫, PARK HEEWON	講義・グループ演習

					ON, 清水 秀幸, 角 勇樹, 檜枝 光憲, 檜 枝 光憲, 中口 悦史, 徳永 伸一, 越野 和 樹, 井津井 康浩, 岡 田 英理子, 那波 伸 敏, 鹿島田 彩子, 須 藤 毅頭	
15	8/1	16:30-17:15	9 番教室, 2 番教室, 3 番教 室, 物理学実験室, 4 番教室	AI 解析演習-深層学習基 礎-	宮野 悟, 中林 潤, 高橋 邦彦, 坂内 英 夫, PARK HEEW ON, 清水 秀幸, 角 勇樹, 檜枝 光憲, 檜 枝 光憲, 中口 悦史, 徳永 伸一, 越野 和 樹, 井津井 康浩, 岡 田 英理子, 那波 伸 敏, 鹿島田 彩子, 須 藤 毅頭	講義・グループ演習
16	8/1	17:15-18:00	9 番教室, 2 番教室, 3 番教 室, 物理学実験室, 4 番教室	AI 解析概論 総合課題演 習	宮野 悟, 中林 潤, 高橋 邦彦, 坂内 英 夫, PARK HEEW ON, 清水 秀幸, 角 勇樹, 檜枝 光憲, 檜 枝 光憲, 中口 悦史, 徳永 伸一, 越野 和 樹, 井津井 康浩, 岡 田 英理子, 那波 伸 敏, 鹿島田 彩子, 須 藤 毅頭	講義・グループ演習
授業方法						
前半は講義、後半はグループによる演習を行う						
授業内容						
AI・数理・データサイエンスに関する概論講義、実習						
社会におけるデータ・AI 利活用に関する講義:						
社会に起きている変化、社会で活用されているデータ、データ・AI の活用領域、データ・AI 利活用のための技術、データ・AI 利活用の現場、データ・AI 利活用の最新動向など						
データ解析実習:						
データハンドリング、機械学習など						
成績評価の方法						
各講義後の webclass 上の課題および各演習後のプログラミング課題により成績評価を行う。						
試験は実施しない。						
成績評価の基準						
科目責任者が応用演習中に行う課題を主として判定する。						
期限を過ぎて提出された課題は、「遅延課題」として評価する。						
課題をすべて提出し、提出された成果物によりすべての課題の到達目標に達していると判断された場合は B 評価以上とする。						
準備学習等についての具体的な指示						

<p>Web Class にあげている動画教材を活用して予習・復習に役立てること</p> <p>特に演習には事前に python(Anaconda navigator)をインストールしていることが必須のため、Web Class にあげているインストールガイドを参照して準備しておくこと</p>
<p>試験の受験資格</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講義のコマは webclass 上の課題の提出をもって出席とみなす ・演習のコマは授業最後に与える課題の提出をもって出席とみなす
<p>教科書</p> <p>東京大学のデータサイエンティスト育成講座：Python で手を動かして学ぶデータ分析／中山浩太郎 監修,塚本邦尊, 山田典一, 大澤文孝 著,中山, 浩太郎,塚本, 邦尊,山田, 典一,大沢, 文孝, 1973-,.: マイナビ出版, 2019</p> <p>データサイエンスの基礎／濱田悦生著；狩野裕編,濱田, 悦生,狩野, 裕,講談社サイエンティフィク.:講談社, 2019</p>
<p>参考書</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Python3 スキルアップ教科書/辻真吾、小林秀幸、鈴木庸氏、細川康博/技術評論社 ・みんなの Python 第4版/柴田淳/SB Creative ・新しい人工知能の教科書/多田智史、石井一夫/翔泳社 ・いちばんやさしいディープラーニング入門教室/谷岡広樹、廉鑫/ソーテック社 ・医療 AI とディープラーニングシリーズ 医用画像ディープラーニング入門 /藤田広志/オーム社
<p>他科目との関連</p> <p>情報処理、数学、統計学の授業内容と密接に関わる</p>
<p>履修上の注意事項</p> <p>グループ演習および課題提出を行うので、対面授業の選択学生を含めて参加者は PC 持参を原則とする。</p>
<p>備考</p> <p>実習では 1 人 1 台のコンピュータを使用する。</p> <p>事前に WebClass の資料『事前資料』に目を通しておくこと</p> <p>特に他大学の者は『事前資料』を確認し、Anaconda Navigator のインストールまで終了していることを実習の参加条件とする。</p>

時間割番号	000923			科目ID	LA-116700-E
科目名	フィットネスマネージメント				
担当教員	山口 大輔[YAMAGUCHI DAISUKE]				
開講時期	2022 年度通年	対象年次	1	単位数	1
実務経験のある教員による授業					
<p>曜日・時間:[前期]木曜 3 限、4 限、金曜 3 限、4 限/[後期]木曜 4 限、金曜 4 限 対象学科:全学科</p> <p>科目を履修して得られる能力(コンピテンシー)</p> <p>別表:</p> <p>1-1) 言語を通じた人間の創造的営みを理解する</p> <p>1-4) 異なる空間の文化を理解する</p> <p>1-5) 人間の思考の枠組みを知り、自らの思考を振り返る</p> <p>1-7) 人間の心への理解を深める</p> <p>1-8) 自己の心と体を管理する能力を獲得する</p> <p>1-9) 市民としての倫理観を養う</p> <p>2-4) 自己問題提起・解決型の学習方法を身につける</p> <p>2-5) 自らテーマを見つけて、調べ、発展させ、論文にまとめる能力を養う</p> <p>3-3) チームの中で、自己の役割を果たす能力を身につける</p>					
<p>主な講義場所</p> <p>基本的には教養部キャンパスグラウンド、体育館、武道館のいずれかを使用予定です。 天候などにより室外・室内の変更があります。</p>					
<p>授業の目的、概要等</p> <p>本授業では「アルティメット」と呼ばれるフライングディスク競技のひとつを通じて各々の個性に合ったコミュニケーションのあり方について学ぶ事を第一の目的とします。</p> <p>医療の世界では患者の健康の維持・獲得という目標に向かって沢山の専門家と”チーム”として動いていく必要が多く出てきます。そのためにはまず各々が自分自身の個性について理解し、表現できるようになること。その上で仲間の個性を知り、それぞれの長所を活かし、それぞれの短所を補い合えるためのコミュニケーションが大切です。チーム全体の状況を把握しながら時にはチームを引っ張り(リード)、時には指示に従い(フォロー)ながらサポート役となる必要も出てきます。</p> <p>競技特性上コミュニケーションのやりとりが多く必要となる「アルティメット」を通じ、様々な状況に適応しながらそれぞれが”自分らしさ”を発揮するためにどうするのが良いか考えられる機会を作っていければと思います。</p>					
<p>授業の到達目標</p> <ul style="list-style-type: none"> - 自分自身の長所・短所について考え、知る。 - 仲間の長所・短所を知り、個性の活かし方について考える。 - 自分の意見・考えを伝えられる。 - アルティメットという競技を行う中で自分と仲間の活かし方を見出す。 					
<p>授業方法</p> <p>授業は基本的に様々な運動指導の専門を持つ 3 名の講師による実習形式で行われます。 昨今の新型コロナウイルス感染症の拡大状況によっては対面で行えるか、オンラインとなるかは都度変更されます。</p>					
授業内容					

前・後期合わせて15回、隔週実施で構成される本授業では前期初回、後期初回、最終回の3回で各個人の身体と考え方に対する理解とその変化を知るための運動評価(Koji Awareness)とアンケートが実施されます。

前期授業の主な目標:

- 自身の身体の特徴を知る
- アルティメットに必要な運動要素を知る
- 様々なリーダーシップ・フォロワーシップのあり方を知る

後期授業の主な目標:

- 前期での学びを活かして自身と仲間それぞれの成長について考える
- 自身や仲間の特徴を活かしてチームの全体の成長について考える
- アルティメットにおけるチーム力の向上のために自己を主張し、且つ他の意見を取り入れ、活かせるバランス感覚を養う

前期

1. オリエンテーション、身体操作評価(Koji Awareness)、アンケート
2. アルティメット運動要素1(可動性、走る・跳ぶ、キャッチ&スロー[ピボット&フェイク])
3. アルティメット運動要素2(身体アウェアネス、減速・方向転換、キャッチ&スロー[動きながら])
4. アルティメット運動要素3(走る・跳ぶ・方向転換[アドバンス]、タグゲーム、2on1[マーカ―or ディフェンダー])
5. アルティメット・ベーシック1(ゲーム)
6. アルティメット・ベーシック2(オフENS)
7. アルティメット・ベーシック3(ディフェンス)
8. アルティメット・ベーシック4(ゲーム)

後期

9. 身体操作評価(Koji Awareness)2、アンケート2
10. アルティメット・アドバンス1(ゲーム)
11. アルティメット・アドバンス2(オフENS)
12. アルティメット・アドバンス3(ゲーム)
13. アルティメット・アドバンス4(ディフェンス)
14. アルティメット・アドバンス5(ゲーム)
15. 身体操作評価(Koji Awareness)3、アンケート3

成績評価の方法

評価: 参加度 50%、貢献度・授業目的達成度 50%

再評価: 有 (レポート等による)

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表 2」による

準備学習等についての具体的な指示

単に授業に参加して運動等を実践するだけでなく、今後自身の生活や仕事のあり方に本授業で経験する事をどう繋げていけるかイメージを持ちながら授業に参加する事が大切になります。「勝ち・負け」「上手・下手」などの”他との比較による評価”にとらわれず、自身やクラスメイトが成長しずつでも良い方向に変わっていけるように「挑戦・トライ」していけるかどうか鍵となります。

失敗や他と違う事を恐れずに、自分が出来ること、出来そうなことにチャレンジできる空間づくりを参加者全員で目指していきましょう。

また講義初回に行う身体操作評価法に関して、あらかじめ動画を見て内容のイメージを持っておいてください。

(https://www.mext.go.jp/sports/b_menu/sports/jsa_00040.htm#001)

↑ URL 内にある「チェック動画 self-evaluation」の全11項目をざっと理解しておくことで、当日の授業をスムーズに進行できるようになります。

試験の受験資格

本授業は実習系科目のため、原則全授業の 3/4 以上の出席を受験(評価対象)の資格とします。また、最終レポートが授業目的達成度の評価となりますので、レポート提出は単位認定の最低条件です。

他科目との関連

講義系科目であるスポーツ・健康科学との有機的な連携を図ることでより効果が上がるように設計されています。

履修上の注意事項

実習の際には動きやすい服装を用意する事をお勧めします。また、天候悪化の際に急遽室内に場所を変更する可能性もあるので室内運動靴は常備しておくのがよいです。

参照ホームページ

日本フライングディスク協会

(<https://www.jfda.or.jp/>)

身体操作評価法[室伏広治先生考案セルフチェック、Koji Awareness]

(https://www.mext.go.jp/sports/b_menu/sports/jsa_00040.html#001)

連絡先(メールアドレス)

diceyamaguchi.ssc@tmd.ac.jp

時間割番号	000924																											
科目名	フィットネスマネジメント(前期 木 A)	科目ID	LA-116701-E																									
担当教員	山口 大輔[YAMAGUCHI DAISUKE]																											
開講時期	2022 年度前期	対象年次	1																									
実務経験のある教員による授業																												
<p>曜日・時間:[前期]木曜 3 限、4 限、金曜 3 限、4 限/[後期]木曜 4 限、金曜 4 限 対象学科:全学科</p> <p>科目を履修して得られる能力(コンピテンシー)</p> <p>別表:</p> <p>1-1) 言語を通じた人間の創造的営みを理解する</p> <p>1-4) 異なる空間の文化を理解する</p> <p>1-5) 人間の思考の枠組みを知り、自らの思考を振り返る</p> <p>1-7) 人間の心への理解を深める</p> <p>1-8) 自己の心と体を管理する能力を獲得する</p> <p>1-9) 市民としての倫理観を養う</p> <p>2-4) 自己問題提起・解決型の学習方法を身につける</p> <p>2-5) 自らテーマを見つけて、調べ、発展させ、論文にまとめる能力を養う</p> <p>3-3) チームの中で、自己の役割を果たす能力を身につける</p>																												
<p>主な講義場所</p> <p>基本的には教養部キャンパスグラウンド、体育館、武道館のいずれかを使用予定です。 天候などにより室外・室内の変更があります。</p>																												
<p>授業の目的、概要等</p> <p>本授業では「アルティメット」と呼ばれるフライングディスク競技のひとつを通じて各々の個性に合ったコミュニケーションのあり方について学ぶ事を第一の目的とします。</p> <p>医療の世界では患者の健康の維持・獲得という目標に向かって沢山の専門家と”チーム”として動いていく必要が多く出てきます。そのためにはまず各々が自分自身の個性について理解し、表現できるようになること。その上で仲間の個性を知り、それぞれの長所を活かし、それぞれの短所を補い合えるためのコミュニケーションが大切です。チーム全体の状況を把握しながら時にはチームを引っ張り(リード)、時には指示に従い(フォロー)ながらサポート役となる必要も出てきます。</p> <p>競技特性上コミュニケーションのやりとりが多く必要となる「アルティメット」を通じ、様々な状況に適応しながらそれぞれが”自分らしさ”を発揮するためにどうするのが良いか考えられる機会を作っていければと思います。</p>																												
<p>授業の到達目標</p> <ul style="list-style-type: none"> - 自分自身の長所・短所について考え、知る。 - 仲間の長所・短所を知り、個性の活かし方について考える。 - 自分の意見・考えを伝えられる。 - アルティメットという競技を行う中で自分と仲間の活かし方を見出す。 																												
<p>授業計画</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>講義室</th> <th>担当教員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>4/14</td> <td>13:10-14:40</td> <td></td> <td>山口 大輔</td> </tr> <tr> <td></td> <td>4/28</td> <td>13:10-14:40</td> <td></td> <td>山口 大輔</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>5/19</td> <td>13:10-14:40</td> <td></td> <td>山口 大輔</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>6/2</td> <td>13:10-14:40</td> <td></td> <td>山口 大輔</td> </tr> </tbody> </table>				回	日付	時刻	講義室	担当教員	1	4/14	13:10-14:40		山口 大輔		4/28	13:10-14:40		山口 大輔	2	5/19	13:10-14:40		山口 大輔	3	6/2	13:10-14:40		山口 大輔
回	日付	時刻	講義室	担当教員																								
1	4/14	13:10-14:40		山口 大輔																								
	4/28	13:10-14:40		山口 大輔																								
2	5/19	13:10-14:40		山口 大輔																								
3	6/2	13:10-14:40		山口 大輔																								

4	6/9	13:10-14:40		山口 大輔
5	6/16	13:10-14:40		山口 大輔
6	6/30	13:10-14:40		山口 大輔
7	7/14	13:10-14:40		山口 大輔
8	7/28	13:10-14:40		山口 大輔

授業方法

授業は基本的に様々な運動指導の専門を持つ3名の講師による実習形式で行われます。

昨今の新型コロナウイルス感染症の拡大状況によっては対面で行えるか、オンラインとなるかは都度変更されます。

授業内容

前・後期合わせて15回、隔週実施で構成される本授業では前期初回、後期初回、最終回の3回で各個人の身体と考え方に対する理解とその変化を知るための運動評価(Koji Awareness)とアンケートが実施されます。

前期授業の主な目標:

- 自身の身体の特徴を知る
- アルティメットに必要な運動要素を知る
- 様々なリーダーシップ・フォロワーシップのあり方を知る

後期授業の主な目標:

- 前期での学びを活かして自身と仲間それぞれの成長について考える
- 自身や仲間の特徴を活かしてチームの全体の成長について考える
- アルティメットにおけるチーム力の向上のために自己を主張し、且つ他の意見を取り入れ、活かせるバランス感覚を養う

前期

1. オリエンテーション、身体操作評価(Koji Awareness)、アンケート
2. アルティメット運動要素1(可動性、走る・跳ぶ、キャッチ&スロー[ピボット&フェイク])
3. アルティメット運動要素2(身体アウェアネス、減速・方向転換、キャッチ&スロー[動きながら])
4. アルティメット運動要素3(走る・跳ぶ・方向転換[アドバンス]、タグゲーム、2on1[マーカ―or ディフェンダー])
5. アルティメット・ベーシック1(ゲーム)
6. アルティメット・ベーシック2(オフエンス)
7. アルティメット・ベーシック3(ディフェンス)
8. アルティメット・ベーシック4(ゲーム)

後期

9. 身体操作評価(Koji Awareness)2、アンケート2
10. アルティメット・アドバンス1(ゲーム)
11. アルティメット・アドバンス2(オフエンス)
12. アルティメット・アドバンス3(ゲーム)
13. アルティメット・アドバンス4(ディフェンス)
14. アルティメット・アドバンス5(ゲーム)
15. 身体操作評価(Koji Awareness)3、アンケート3

成績評価の方法

評価:参加度 50%、貢献度・授業目的達成度 50%

再評価: 有 (レポート等による)

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表 2」による

準備学習等についての具体的な指示

単に授業に参加して運動等を実践するだけでなく、今後自身の生活や仕事のあり方に本授業で経験する事をどう繋げていけるかイメージを持ちながら授業に参加する事が大切になります。「勝ち・負け」「上手・下手」などの”他との比較による評価”にとらわれず、自身やクラスメイトが成長少しずつでも良い方向に変わっていけるように「挑戦・トライ」していけるかどうか鍵となります。失敗や他と違う事を恐れずに、自分が出来ること、出来るようにチャレンジできる空間づくりを参加者全員で目指していきましょう。

また講義初回に行う身体操作評価法に関して、あらかじめ動画を見て内容のイメージを持っておいください。

(https://www.mext.go.jp/sports/b_menu/sports/jsa_00040.htm#001)

↑ URL 内にある「チェック動画 self-evaluation」の全11項目をざっと理解しておくことで、当日の授業をスムーズに進行できるようになります。

試験の受験資格

本授業は実習系科目のため、原則全授業の 3/4 以上の出席を受験(評価対象)の資格とします。また、最終レポートが授業目的達成度の評価となりますので、レポート提出は単位認定の最低条件です。

他科目との関連

講義系科目であるスポーツ・健康科学との有機的な連携を図ることでより効果が上がるように設計されています。

履修上の注意事項

実習の際には動きやすい服装を用意する事をお勧めします。また、天候悪化の際に急遽室内に場所を変更する可能性もあるので室内運動靴は常備しておくのがよいです。

参照ホームページ

日本フライングディスク協会

(<https://www.jfda.or.jp/>)

身体操作評価法[室伏広治先生考案セルフチェック、Koji Awareness]

(https://www.mext.go.jp/sports/b_menu/sports/jsa_00040.htm#001)

連絡先(メールアドレス)

diceyamaguchi.ssc@tmd.ac.jp

時間割番号	000925																											
科目名	フィットネスマネージメント(前期 木B)	科目ID	LA-116702-E																									
担当教員	山口 大輔[YAMAGUCHI DAISUKE]																											
開講時期	2022 年度前期	対象年次	1																									
実務経験のある教員による授業																												
<p>曜日・時間:[前期]木曜 3 限、4 限、金曜 3 限、4 限/[後期]木曜 4 限、金曜 4 限 対象学科:全学科</p> <p>科目を履修して得られる能力(コンピテンシー)</p> <p>別表:</p> <p>1-1) 言語を通じた人間の創造的営みを理解する</p> <p>1-4) 異なる空間の文化を理解する</p> <p>1-5) 人間の思考の枠組みを知り、自らの思考を振り返る</p> <p>1-7) 人間の心への理解を深める</p> <p>1-8) 自己の心と体を管理する能力を獲得する</p> <p>1-9) 市民としての倫理観を養う</p> <p>2-4) 自己問題提起・解決型の学習方法を身につける</p> <p>2-5) 自らテーマを見つけて、調べ、発展させ、論文にまとめる能力を養う</p> <p>3-3) チームの中で、自己の役割を果たす能力を身につける</p>																												
<p>主な講義場所</p> <p>基本的には教養部キャンパスグラウンド、体育館、武道館のいずれかを使用予定です。 天候などにより室外・室内の変更があります。</p>																												
<p>授業の目的、概要等</p> <p>本授業では「アルティメット」と呼ばれるフライングディスク競技のひとつを通じて各々の個性に合ったコミュニケーションのあり方について学ぶ事を第一の目的とします。</p> <p>医療の世界では患者の健康の維持・獲得という目標に向かって沢山の専門家と”チーム”として動いていく必要が多く出てきます。そのためにはまず各々が自分自身の個性について理解し、表現できるようになること。その上で仲間の個性を知り、それぞれの長所を活かし、それぞれの短所を補い合えるためのコミュニケーションが大切です。チーム全体の状況を把握しながら時にはチームを引っ張り(リード)、時には指示に従い(フォロー)ながらサポート役となる必要も出てきます。</p> <p>競技特性上コミュニケーションのやりとりが多く必要となる「アルティメット」を通じ、様々な状況に適応しながらそれぞれが”自分らしさ”を発揮するためにどうするのが良いか考えられる機会を作っていければと思います。</p>																												
<p>授業の到達目標</p> <ul style="list-style-type: none"> - 自分自身の長所・短所について考え、知る。 - 仲間の長所・短所を知り、個性の活かし方について考える。 - 自分の意見・考えを伝えられる。 - アルティメットという競技を行う中で自分と仲間の活かし方を見出す。 																												
<p>授業計画</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>講義室</th> <th>担当教員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>4/14</td> <td>14:50-16:20</td> <td></td> <td>山口 大輔</td> </tr> <tr> <td></td> <td>4/28</td> <td>14:50-16:20</td> <td></td> <td>山口 大輔</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>5/19</td> <td>14:50-16:20</td> <td></td> <td>山口 大輔</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>6/2</td> <td>14:50-16:20</td> <td></td> <td>山口 大輔</td> </tr> </tbody> </table>				回	日付	時刻	講義室	担当教員	1	4/14	14:50-16:20		山口 大輔		4/28	14:50-16:20		山口 大輔	2	5/19	14:50-16:20		山口 大輔	3	6/2	14:50-16:20		山口 大輔
回	日付	時刻	講義室	担当教員																								
1	4/14	14:50-16:20		山口 大輔																								
	4/28	14:50-16:20		山口 大輔																								
2	5/19	14:50-16:20		山口 大輔																								
3	6/2	14:50-16:20		山口 大輔																								

4	6/9	14:50-16:20		山口 大輔
5	6/16	14:50-16:20		山口 大輔
6	6/30	14:50-16:20		山口 大輔
7	7/14	14:50-16:20		山口 大輔
8	7/28	14:50-16:20		山口 大輔

授業方法

授業は基本的に様々な運動指導の専門を持つ3名の講師による実習形式で行われます。

昨今の新型コロナウイルス感染症の拡大状況によっては対面で行えるか、オンラインとなるかは都度変更されます。

授業内容

前・後期合わせて15回、隔週実施で構成される本授業では前期初回、後期初回、最終回の3回で各個人の身体と考え方に対する理解とその変化を知るための運動評価(Koji Awareness)とアンケートが実施されます。

前期授業の主な目標:

- 自身の身体の特徴を知る
- アルティメットに必要な運動要素を知る
- 様々なリーダーシップ・フォロワーシップのあり方を知る

後期授業の主な目標:

- 前期での学びを活かして自身と仲間それぞれの成長について考える
- 自身や仲間の特徴を活かしてチームの全体の成長について考える
- アルティメットにおけるチーム力の向上のために自己を主張し、且つ他の意見を取り入れ、活かせるバランス感覚を養う

前期

1. オリエンテーション、身体操作評価(Koji Awareness)、アンケート
2. アルティメット運動要素1(可動性、走る・跳ぶ、キャッチ&スロー[ピボット&フェイク])
3. アルティメット運動要素2(身体アウェアネス、減速・方向転換、キャッチ&スロー[動きながら])
4. アルティメット運動要素3(走る・跳ぶ・方向転換[アドバンス]、タグゲーム、2on1[マーカ―or ディフェンダー])
5. アルティメット・ベーシック1(ゲーム)
6. アルティメット・ベーシック2(オフエンス)
7. アルティメット・ベーシック3(ディフェンス)
8. アルティメット・ベーシック4(ゲーム)

後期

9. 身体操作評価(Koji Awareness)2、アンケート2
10. アルティメット・アドバンス1(ゲーム)
11. アルティメット・アドバンス2(オフエンス)
12. アルティメット・アドバンス3(ゲーム)
13. アルティメット・アドバンス4(ディフェンス)
14. アルティメット・アドバンス5(ゲーム)
15. 身体操作評価(Koji Awareness)3、アンケート3

成績評価の方法

評価: 参加度 50%、貢献度・授業目的達成度 50%

再評価: 有 (レポート等による)

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表 2」による

準備学習等についての具体的な指示

単に授業に参加して運動等を実践するだけでなく、今後自身の生活や仕事のあり方に本授業で経験する事をどう繋げていけるかイメージを持ちながら授業に参加する事が大切になります。「勝ち・負け」「上手・下手」などの”他との比較による評価”にとらわれず、自身やクラスメイトが成長少しずつでも良い方向に変わっていけるように「挑戦・トライ」していけるかどうか鍵となります。失敗や他と違う事を恐れずに、自分が出来ること、出来るようにチャレンジできる空間づくりを参加者全員で目指していきましょう。

また講義初回に行う身体操作評価法に関して、あらかじめ動画を見て内容のイメージを持っておいください。

(https://www.mext.go.jp/sports/b_menu/sports/jsa_00040.htm#001)

↑ URL 内にある「チェック動画 self-evaluation」の全11項目をざっと理解しておくことで、当日の授業をスムーズに進行できるようになります。

試験の受験資格

本授業は実習系科目のため、原則全授業の 3/4 以上の出席を受験(評価対象)の資格とします。また、最終レポートが授業目的達成度の評価となりますので、レポート提出は単位認定の最低条件です。

他科目との関連

講義系科目であるスポーツ・健康科学との有機的な連携を図ることでより効果が上がるように設計されています。

履修上の注意事項

実習の際には動きやすい服装を用意する事をお勧めします。また、天候悪化の際に急遽室内に場所を変更する可能性もあるので室内運動靴は常備しておくのがよいです。

参照ホームページ

日本フライングディスク協会

(<https://www.jfda.or.jp/>)

身体操作評価法[室伏広治先生考案セルフチェック、Koji Awareness]

(https://www.mext.go.jp/sports/b_menu/sports/jsa_00040.htm#001)

連絡先(メールアドレス)

diceyamaguchi.ssc@tmd.ac.jp

時間割番号	000926																											
科目名	フィットネスマネージメント(前期 金A)	科目ID	LA-116703-E																									
担当教員	山口 大輔[YAMAGUCHI DAISUKE]																											
開講時期	2022 年度前期	対象年次	1																									
実務経験のある教員による授業																												
<p>曜日・時間:[前期]木曜 3 限、4 限、金曜 3 限、4 限/[後期]木曜 4 限、金曜 4 限 対象学科:全学科</p> <p>科目を履修して得られる能力(コンピテンシー)</p> <p>別表:</p> <p>1-1) 言語を通じた人間の創造的営みを理解する</p> <p>1-4) 異なる空間の文化を理解する</p> <p>1-5) 人間の思考の枠組みを知り、自らの思考を振り返る</p> <p>1-7) 人間の心への理解を深める</p> <p>1-8) 自己の心と体を管理する能力を獲得する</p> <p>1-9) 市民としての倫理観を養う</p> <p>2-4) 自己問題提起・解決型の学習方法を身につける</p> <p>2-5) 自らテーマを見つけて、調べ、発展させ、論文にまとめる能力を養う</p> <p>3-3) チームの中で、自己の役割を果たす能力を身につける</p>																												
<p>主な講義場所</p> <p>基本的には教養部キャンパスグラウンド、体育館、武道館のいずれかを使用予定です。 天候などにより室外・室内の変更があります。</p>																												
<p>授業の目的、概要等</p> <p>本授業では「アルティメット」と呼ばれるフライングディスク競技のひとつを通じて各々の個性に合ったコミュニケーションのあり方について学ぶ事を第一の目的とします。</p> <p>医療の世界では患者の健康の維持・獲得という目標に向かって沢山の専門家と”チーム”として動いていく必要が多く出てきます。そのためにはまず各々が自分自身の個性について理解し、表現できるようになること。その上で仲間の個性を知り、それぞれの長所を活かし、それぞれの短所を補い合わせるためのコミュニケーションが大切です。チーム全体の状況を把握しながら時にはチームを引っ張り(リード)、時には指示に従い(フォロー)ながらサポート役となる必要も出てきます。</p> <p>競技特性上コミュニケーションのやりとりが多く必要となる「アルティメット」を通じ、様々な状況に適応しながらそれぞれが”自分らしさ”を発揮するためにどうするのが良いか考えられる機会を作っていければと思います。</p>																												
<p>授業の到達目標</p> <ul style="list-style-type: none"> - 自分自身の長所・短所について考え、知る。 - 仲間の長所・短所を知り、個性の活かし方について考える。 - 自分の意見・考えを伝えられる。 - アルティメットという競技を行う中で自分と仲間の活かし方を見出す。 																												
<p>授業計画</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>講義室</th> <th>担当教員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>4/15</td> <td>13:10-14:40</td> <td></td> <td>山口 大輔</td> </tr> <tr> <td></td> <td>5/6</td> <td>13:10-14:40</td> <td></td> <td>山口 大輔</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>5/20</td> <td>13:10-14:40</td> <td></td> <td>山口 大輔</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>6/3</td> <td>13:10-14:40</td> <td></td> <td>山口 大輔</td> </tr> </tbody> </table>				回	日付	時刻	講義室	担当教員	1	4/15	13:10-14:40		山口 大輔		5/6	13:10-14:40		山口 大輔	2	5/20	13:10-14:40		山口 大輔	3	6/3	13:10-14:40		山口 大輔
回	日付	時刻	講義室	担当教員																								
1	4/15	13:10-14:40		山口 大輔																								
	5/6	13:10-14:40		山口 大輔																								
2	5/20	13:10-14:40		山口 大輔																								
3	6/3	13:10-14:40		山口 大輔																								

4	6/10	13:10-14:40		山口 大輔
5	6/17	13:10-14:40		山口 大輔
6	7/1	13:10-14:40		山口 大輔
7	7/15	13:10-14:40		山口 大輔
8	7/29	13:10-14:40		山口 大輔

授業方法

授業は基本的に様々な運動指導の専門を持つ3名の講師による実習形式で行われます。

昨今の新型コロナウイルス感染症の拡大状況によっては対面で行えるか、オンラインとなるかは都度変更されます。

授業内容

前・後期合わせて15回、隔週実施で構成される本授業では前期初回、後期初回、最終回の3回で各個人の身体と考え方に対する理解とその変化を知るための運動評価(Koji Awareness)とアンケートが実施されます。

前期授業の主な目標:

- 自身の身体の特徴を知る
- アルティメットに必要な運動要素を知る
- 様々なリーダーシップ・フォロワーシップのあり方を知る

後期授業の主な目標:

- 前期での学びを活かして自身と仲間それぞれの成長について考える
- 自身や仲間の特徴を活かしてチームの全体の成長について考える
- アルティメットにおけるチーム力の向上のために自己を主張し、且つ他の意見を取り入れ、活かせるバランス感覚を養う

前期

1. オリエンテーション、身体操作評価(Koji Awareness)、アンケート
2. アルティメット運動要素1(可動性、走る・跳ぶ、キャッチ&スロー[ピボット&フェイク])
3. アルティメット運動要素2(身体アウェアネス、減速・方向転換、キャッチ&スロー[動きながら])
4. アルティメット運動要素3(走る・跳ぶ・方向転換[アドバンス]、タグゲーム、2on1[マーカ―or ディフェンダー])
5. アルティメット・ベーシック1(ゲーム)
6. アルティメット・ベーシック2(オフエンス)
7. アルティメット・ベーシック3(ディフェンス)
8. アルティメット・ベーシック4(ゲーム)

後期

9. 身体操作評価(Koji Awareness)2、アンケート2
10. アルティメット・アドバンス1(ゲーム)
11. アルティメット・アドバンス2(オフエンス)
12. アルティメット・アドバンス3(ゲーム)
13. アルティメット・アドバンス4(ディフェンス)
14. アルティメット・アドバンス5(ゲーム)
15. 身体操作評価(Koji Awareness)3、アンケート3

成績評価の方法

評価: 参加度 50%、貢献度・授業目的達成度 50%

再評価: 有 (レポート等による)

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表 2」による

準備学習等についての具体的な指示

単に授業に参加して運動等を実践するだけでなく、今後自身の生活や仕事のあり方に本授業で経験する事をどう繋げていけるかイメージを持ちながら授業に参加する事が大切になります。「勝ち・負け」「上手・下手」などの”他との比較による評価”にとらわれず、自身やクラスメイトが成長少しずつでも良い方向に変わっていけるように「挑戦・トライ」していけるかどうか鍵となります。失敗や他と違う事を恐れずに、自分が出来ること、出来そうなことにチャレンジできる空間づくりを参加者全員で目指していきましょう。

また講義初回に行う身体操作評価法に関して、あらかじめ動画を見て内容のイメージを持っておいください。

(https://www.mext.go.jp/sports/b_menu/sports/jsa_00040.htm#001)

↑ URL 内にある「チェック動画 self-evaluation」の全11項目をざっと理解しておくことで、当日の授業をスムーズに進行できるようになります。

試験の受験資格

本授業は実習系科目のため、原則全授業の 3/4 以上の出席を受験(評価対象)の資格とします。また、最終レポートが授業目的達成度の評価となりますので、レポート提出は単位認定の最低条件です。

他科目との関連

講義系科目であるスポーツ・健康科学との有機的な連携を図ることでより効果が上がるように設計されています。

履修上の注意事項

実習の際には動きやすい服装を用意する事をお勧めします。また、天候悪化の際に急遽室内に場所を変更する可能性もあるので室内運動靴は常備しておくのがよいです。

参照ホームページ

日本フライングディスク協会

(<https://www.jfda.or.jp/>)

身体操作評価法[室伏広治先生考案セルフチェック、Koji Awareness]

(https://www.mext.go.jp/sports/b_menu/sports/jsa_00040.htm#001)

連絡先(メールアドレス)

diceyamaguchi.ssc@tmd.ac.jp

時間割番号	000927																											
科目名	フィットネスマネージメント(前期 金B)	科目ID	LA-116704-E																									
担当教員	山口 大輔[YAMAGUCHI DAISUKE]																											
開講時期	2022 年度前期	対象年次	1																									
実務経験のある教員による授業																												
<p>曜日・時間:[前期]木曜 3 限、4 限、金曜 3 限、4 限/[後期]木曜 4 限、金曜 4 限 対象学科:全学科</p> <p>科目を履修して得られる能力(コンピテンシー)</p> <p>別表:</p> <p>1-1) 言語を通じた人間の創造的営みを理解する</p> <p>1-4) 異なる空間の文化を理解する</p> <p>1-5) 人間の思考の枠組みを知り、自らの思考を振り返る</p> <p>1-7) 人間の心への理解を深める</p> <p>1-8) 自己の心と体を管理する能力を獲得する</p> <p>1-9) 市民としての倫理観を養う</p> <p>2-4) 自己問題提起・解決型の学習方法を身につける</p> <p>2-5) 自らテーマを見つけて、調べ、発展させ、論文にまとめる能力を養う</p> <p>3-3) チームの中で、自己の役割を果たす能力を身につける</p>																												
<p>主な講義場所</p> <p>基本的には教養部キャンパスグラウンド、体育館、武道館のいずれかを使用予定です。 天候などにより室外・室内の変更があります。</p>																												
<p>授業の目的、概要等</p> <p>本授業では「アルティメット」と呼ばれるフライングディスク競技のひとつを通じて各々の個性に合ったコミュニケーションのあり方について学ぶ事を第一の目的とします。</p> <p>医療の世界では患者の健康の維持・獲得という目標に向かって沢山の専門家と”チーム”として動いていく必要が多く出てきます。そのためにはまず各々が自分自身の個性について理解し、表現できるようになること。その上で仲間の個性を知り、それぞれの長所を活かし、それぞれの短所を補い合えるためのコミュニケーションが大切です。チーム全体の状況を把握しながら時にはチームを引っ張り(リード)、時には指示に従い(フォロー)ながらサポート役となる必要も出てきます。</p> <p>競技特性上コミュニケーションのやりとりが多く必要となる「アルティメット」を通じ、様々な状況に適応しながらそれぞれが”自分らしさ”を発揮するためにどうするのが良いか考えられる機会を作っていければと思います。</p>																												
<p>授業の到達目標</p> <ul style="list-style-type: none"> - 自分自身の長所・短所について考え、知る。 - 仲間の長所・短所を知り、個性の活かし方について考える。 - 自分の意見・考えを伝えられる。 - アルティメットという競技を行う中で自分と仲間の活かし方を見出す。 																												
<p>授業計画</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>講義室</th> <th>担当教員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>4/15</td> <td>14:50-16:20</td> <td></td> <td>山口 大輔</td> </tr> <tr> <td></td> <td>5/6</td> <td>14:50-16:20</td> <td></td> <td>山口 大輔</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>5/20</td> <td>14:50-16:20</td> <td></td> <td>山口 大輔</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>6/3</td> <td>14:50-16:20</td> <td></td> <td>山口 大輔</td> </tr> </tbody> </table>				回	日付	時刻	講義室	担当教員	1	4/15	14:50-16:20		山口 大輔		5/6	14:50-16:20		山口 大輔	2	5/20	14:50-16:20		山口 大輔	3	6/3	14:50-16:20		山口 大輔
回	日付	時刻	講義室	担当教員																								
1	4/15	14:50-16:20		山口 大輔																								
	5/6	14:50-16:20		山口 大輔																								
2	5/20	14:50-16:20		山口 大輔																								
3	6/3	14:50-16:20		山口 大輔																								

4	6/10	14:50-16:20		山口 大輔
5	6/17	14:50-16:20		山口 大輔
6	7/1	14:50-16:20		山口 大輔
7	7/15	14:50-16:20		山口 大輔
8	7/29	14:50-16:20		山口 大輔

授業方法

授業は基本的に様々な運動指導の専門を持つ3名の講師による実習形式で行われます。

昨今の新型コロナウイルス感染症の拡大状況によっては対面で行えるか、オンラインとなるかは都度変更されます。

授業内容

前・後期合わせて15回、隔週実施で構成される本授業では前期初回、後期初回、最終回の3回で各個人の身体と考え方に対する理解とその変化を知るための運動評価(Koji Awareness)とアンケートが実施されます。

前期授業の主な目標:

- 自身の身体の特徴を知る
- アルティメットに必要な運動要素を知る
- 様々なリーダーシップ・フォロワーシップのあり方を知る

後期授業の主な目標:

- 前期での学びを活かして自身と仲間それぞれの成長について考える
- 自身や仲間の特徴を活かしてチームの全体の成長について考える
- アルティメットにおけるチーム力の向上のために自己を主張し、且つ他の意見を取り入れ、活かせるバランス感覚を養う

前期

1. オリエンテーション、身体操作評価(Koji Awareness)、アンケート
2. アルティメット運動要素1(可動性、走る・跳ぶ、キャッチ&スロー[ピボット&フェイク])
3. アルティメット運動要素2(身体アウェアネス、減速・方向転換、キャッチ&スロー[動きながら])
4. アルティメット運動要素3(走る・跳ぶ・方向転換[アドバンス]、タグゲーム、2on1[マーカ―or ディフェンダー])
5. アルティメット・ベーシック1(ゲーム)
6. アルティメット・ベーシック2(オフエンス)
7. アルティメット・ベーシック3(ディフェンス)
8. アルティメット・ベーシック4(ゲーム)

後期

9. 身体操作評価(Koji Awareness)2、アンケート2
10. アルティメット・アドバンス1(ゲーム)
11. アルティメット・アドバンス2(オフエンス)
12. アルティメット・アドバンス3(ゲーム)
13. アルティメット・アドバンス4(ディフェンス)
14. アルティメット・アドバンス5(ゲーム)
15. 身体操作評価(Koji Awareness)3、アンケート3

成績評価の方法

評価: 参加度 50%、貢献度・授業目的達成度 50%

再評価: 有 (レポート等による)

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表 2」による

準備学習等についての具体的な指示

単に授業に参加して運動等を実践するだけでなく、今後自身の生活や仕事のあり方に本授業で経験する事をどう繋げていけるかイメージを持ちながら授業に参加する事が大切になります。「勝ち・負け」「上手・下手」などの”他との比較による評価”にとらわれず、自身やクラスメイトが成長少しずつでも良い方向に変わっていけるように「挑戦・トライ」していけるかどうか鍵となります。失敗や他と違う事を恐れずに、自分が出来ること、出来るようにチャレンジできる空間づくりを参加者全員で目指していきましょう。

また講義初回に行う身体操作評価法に関して、あらかじめ動画を見て内容のイメージを持っておいください。

(https://www.mext.go.jp/sports/b_menu/sports/jsa_00040.htm#001)

↑ URL 内にある「チェック動画 self-evaluation」の全11項目をざっと理解しておくことで、当日の授業をスムーズに進行できるようになります。

試験の受験資格

本授業は実習系科目のため、原則全授業の 3/4 以上の出席を受験(評価対象)の資格とします。また、最終レポートが授業目的達成度の評価となりますので、レポート提出は単位認定の最低条件です。

他科目との関連

講義系科目であるスポーツ・健康科学との有機的な連携を図ることでより効果が上がるように設計されています。

履修上の注意事項

実習の際には動きやすい服装を用意する事をお勧めします。また、天候悪化の際に急遽室内に場所を変更する可能性もあるので室内運動靴は常備しておくのがよいです。

参照ホームページ

日本フライングディスク協会

(<https://www.jfda.or.jp/>)

身体操作評価法[室伏広治先生考案セルフチェック、Koji Awareness]

(https://www.mext.go.jp/sports/b_menu/sports/jsa_00040.htm#001)

連絡先(メールアドレス)

diceyamaguchi.ssc@tmd.ac.jp

時間割番号	000928																											
科目名	フィットネスマネージメント(後期 木 A)	科目ID	LA-116705-E																									
担当教員	山口 大輔[YAMAGUCHI DAISUKE]																											
開講時期	2022 年度後期	対象年次	1																									
実務経験のある教員による授業																												
<p>曜日・時間:[前期]木曜 3 限、4 限、金曜 3 限、4 限/[後期]木曜 4 限、金曜 4 限 対象学科:全学科</p> <p>科目を履修して得られる能力(コンピテンシー)</p> <p>別表:</p> <p>1-1) 言語を通じた人間の創造的営みを理解する</p> <p>1-4) 異なる空間の文化を理解する</p> <p>1-5) 人間の思考の枠組みを知り、自らの思考を振り返る</p> <p>1-7) 人間の心への理解を深める</p> <p>1-8) 自己の心と体を管理する能力を獲得する</p> <p>1-9) 市民としての倫理観を養う</p> <p>2-4) 自己問題提起・解決型の学習方法を身につける</p> <p>2-5) 自らテーマを見つけて、調べ、発展させ、論文にまとめる能力を養う</p> <p>3-3) チームの中で、自己の役割を果たす能力を身につける</p>																												
<p>主な講義場所</p> <p>基本的には教養部キャンパスグラウンド、体育館、武道館のいずれかを使用予定です。 天候などにより室外・室内の変更があります。</p>																												
<p>授業の目的、概要等</p> <p>本授業では「アルティメット」と呼ばれるフライングディスク競技のひとつを通じて各々の個性に合ったコミュニケーションのあり方について学ぶ事を第一の目的とします。</p> <p>医療の世界では患者の健康の維持・獲得という目標に向かって沢山の専門家と”チーム”として動いていく必要が多く出てきます。そのためにはまず各々が自分自身の個性について理解し、表現できるようになること。その上で仲間の個性を知り、それぞれの長所を活かし、それぞれの短所を補い合わせるためのコミュニケーションが大切です。チーム全体の状況を把握しながら時にはチームを引っ張り(リード)、時には指示に従い(フォロー)ながらサポート役となる必要も出てきます。</p> <p>競技特性上コミュニケーションのやりとりが多く必要となる「アルティメット」を通じ、様々な状況に適応しながらそれぞれが”自分らしさ”を発揮するためにどうするのが良いか考えられる機会を作っていければと思います。</p>																												
<p>授業の到達目標</p> <ul style="list-style-type: none"> - 自分自身の長所・短所について考え、知る。 - 仲間の長所・短所を知り、個性の活かし方について考える。 - 自分の意見・考えを伝えられる。 - アルティメットという競技を行う中で自分と仲間の活かし方を見出す。 																												
<p>授業計画</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>講義室</th> <th>担当教員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>10/13</td> <td>13:10-14:40</td> <td></td> <td>山口 大輔</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>10/27</td> <td>13:10-14:40</td> <td></td> <td>山口 大輔</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>11/17</td> <td>13:10-14:40</td> <td></td> <td>山口 大輔</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>12/1</td> <td>13:10-14:40</td> <td></td> <td>山口 大輔</td> </tr> </tbody> </table>				回	日付	時刻	講義室	担当教員	1	10/13	13:10-14:40		山口 大輔	2	10/27	13:10-14:40		山口 大輔	3	11/17	13:10-14:40		山口 大輔	4	12/1	13:10-14:40		山口 大輔
回	日付	時刻	講義室	担当教員																								
1	10/13	13:10-14:40		山口 大輔																								
2	10/27	13:10-14:40		山口 大輔																								
3	11/17	13:10-14:40		山口 大輔																								
4	12/1	13:10-14:40		山口 大輔																								

5	12/15	13:10-14:40		山口 大輔
6	1/5	13:10-14:40		山口 大輔
7	1/19	13:10-14:40		山口 大輔

授業方法

授業は基本的に様々な運動指導の専門を持つ3名の講師による実習形式で行われます。

昨今の新型コロナウイルス感染症の拡大状況によっては対面で行えるか、オンラインとなるかは都度変更されます。

授業内容

前・後期合わせて15回、隔週実施で構成される本授業では前期初回、後期初回、最終回の3回で各個人の身体と考え方に対する理解とその変化を知るための運動評価(Koji Awareness)とアンケートが実施されます。

前期授業の主な目標:

- 自身の身体の特徴を知る
- アルティメットに必要な運動要素を知る
- 様々なリーダーシップ・フォロワーシップのあり方を知る

後期授業の主な目標:

- 前期での学びを活かして自身と仲間それぞれの成長について考える
- 自身や仲間の特徴を活かしてチームの全体の成長について考える
- アルティメットにおけるチーム力の向上のために自己を主張し、且つ他の意見を取り入れ、活かせるバランス感覚を養う

前期

1. オリエンテーション、身体操作評価(Koji Awareness)、アンケート
2. アルティメット運動要素1(可動性、走る・跳ぶ、キャッチ&スロー[ピボット&フェイク])
3. アルティメット運動要素2(身体アウェアネス、減速・方向転換、キャッチ&スロー[動きながら])
4. アルティメット運動要素3(走る・跳ぶ・方向転換[アドバンス]、タグゲーム、2on1[マーカ―or ディフェンダー])
5. アルティメット・ベーシック1(ゲーム)
6. アルティメット・ベーシック2(オフENS)
7. アルティメット・ベーシック3(ディフェンス)
8. アルティメット・ベーシック4(ゲーム)

後期

9. 身体操作評価(Koji Awareness)2、アンケート2
10. アルティメット・アドバンス1(ゲーム)
11. アルティメット・アドバンス2(オフENS)
12. アルティメット・アドバンス3(ゲーム)
13. アルティメット・アドバンス4(ディフェンス)
14. アルティメット・アドバンス5(ゲーム)
15. 身体操作評価(Koji Awareness)3、アンケート3

成績評価の方法

評価:参加度50%、貢献度・授業目的達成度50%

再評価:有(レポート等による)

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習等についての具体的な指示

単に授業に参加して運動等を実践するだけでなく、今後自身の生活や仕事のあり方に本授業で経験する事をどう繋げていけるかイメ

ージを持ちながら授業に参加する事が大切になります。「勝ち・負け」「上手・下手」などの”他との比較による評価”にとらわれず、自身やクラスメイトが成長少しずつでも良い方向に変わっていけるように「挑戦・トライ」していけるかどうかが鍵となります。失敗や他と違う事を恐れずに、自分が出来ること、出来そうなことにチャレンジできる空間づくりを参加者全員で目指していきましょう。

また講義初回に行う身体操作評価法に関して、あらかじめ動画を見て内容のイメージを持っておいてください。

(https://www.mext.go.jp/sports/b_menu/sports/jsa_00040.html#001)

↑ URL 内にある「チェック動画 self-evaluation」の全11項目をざっと理解しておくことで、当日の授業をスムーズに進行できるようになります。

試験の受験資格

本授業は実習系科目のため、原則全授業の 3/4 以上の出席を受験(評価対象)の資格とします。また、最終レポートが授業目的達成度の評価となりますので、レポート提出は単位認定の最低条件です。

他科目との関連

講義系科目であるスポーツ・健康科学との有機的な連携を図ることでより効果が上がるように設計されています。

履修上の注意事項

実習の際には動きやすい服装を用意する事をお勧めします。また、天候悪化の際に急遽室内に場所を変更する可能性もあるので室内運動靴は常備しておくのがよいです。

参照ホームページ

日本フライングディスク協会

(<https://www.jfda.or.jp/>)

身体操作評価法[室伏広治先生考案セルフチェック、Koji Awareness]

(https://www.mext.go.jp/sports/b_menu/sports/jsa_00040.html#001)

連絡先(メールアドレス)

diceyamaguchi.ssc@tmd.ac.jp

時間割番号	000929																											
科目名	フィットネスマネージメント(後期 木B)	科目ID	LA-116706-E																									
担当教員	山口 大輔[YAMAGUCHI DAISUKE]																											
開講時期	2022 年度後期	対象年次	1																									
実務経験のある教員による授業																												
<p>曜日・時間:[前期]木曜 3 限、4 限、金曜 3 限、4 限/[後期]木曜 4 限、金曜 4 限 対象学科:全学科</p> <p>科目を履修して得られる能力(コンピテンシー)</p> <p>別表:</p> <p>1-1) 言語を通じた人間の創造的営みを理解する</p> <p>1-4) 異なる空間の文化を理解する</p> <p>1-5) 人間の思考の枠組みを知り、自らの思考を振り返る</p> <p>1-7) 人間の心への理解を深める</p> <p>1-8) 自己の心と体を管理する能力を獲得する</p> <p>1-9) 市民としての倫理観を養う</p> <p>2-4) 自己問題提起・解決型の学習方法を身につける</p> <p>2-5) 自らテーマを見つけて、調べ、発展させ、論文にまとめる能力を養う</p> <p>3-3) チームの中で、自己の役割を果たす能力を身につける</p>																												
<p>主な講義場所</p> <p>基本的には教養部キャンパスグラウンド、体育館、武道館のいずれかを使用予定です。 天候などにより室外・室内の変更があります。</p>																												
<p>授業の目的、概要等</p> <p>本授業では「アルティメット」と呼ばれるフライングディスク競技のひとつを通じて各々の個性に合ったコミュニケーションのあり方について学ぶ事を第一の目的とします。</p> <p>医療の世界では患者の健康の維持・獲得という目標に向かって沢山の専門家と”チーム”として動いていく必要が多く出てきます。そのためにはまず各々が自分自身の個性について理解し、表現できるようになること。その上で仲間の個性を知り、それぞれの長所を活かし、それぞれの短所を補い合えるためのコミュニケーションが大切です。チーム全体の状況を把握しながら時にはチームを引っ張り(リード)、時には指示に従い(フォロー)ながらサポート役となる必要も出てきます。</p> <p>競技特性上コミュニケーションのやりとりが多く必要となる「アルティメット」を通じ、様々な状況に適応しながらそれぞれが”自分らしさ”を発揮するためにどうするのが良いか考えられる機会を作っていければと思います。</p>																												
<p>授業の到達目標</p> <ul style="list-style-type: none"> - 自分自身の長所・短所について考え、知る。 - 仲間の長所・短所を知り、個性の活かし方について考える。 - 自分の意見・考えを伝えられる。 - アルティメットという競技を行う中で自分と仲間の活かし方を見出す。 																												
<p>授業計画</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>講義室</th> <th>担当教員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>10/13</td> <td>14:50-16:20</td> <td></td> <td>山口 大輔</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>10/27</td> <td>14:50-16:20</td> <td></td> <td>山口 大輔</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>11/17</td> <td>14:50-16:20</td> <td></td> <td>山口 大輔</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>12/1</td> <td>14:50-16:20</td> <td></td> <td>山口 大輔</td> </tr> </tbody> </table>				回	日付	時刻	講義室	担当教員	1	10/13	14:50-16:20		山口 大輔	2	10/27	14:50-16:20		山口 大輔	3	11/17	14:50-16:20		山口 大輔	4	12/1	14:50-16:20		山口 大輔
回	日付	時刻	講義室	担当教員																								
1	10/13	14:50-16:20		山口 大輔																								
2	10/27	14:50-16:20		山口 大輔																								
3	11/17	14:50-16:20		山口 大輔																								
4	12/1	14:50-16:20		山口 大輔																								

5	12/15	14:50-16:20		山口 大輔
6	1/5	14:50-16:20		山口 大輔
7	1/19	14:50-16:20		山口 大輔
8	1/26	14:50-16:20		山口 大輔

授業方法
授業は基本的に様々な運動指導の専門を持つ3名の講師による実習形式で行われます。
昨今の新型コロナウイルス感染症の拡大状況によっては対面で行えるか、オンラインとなるかは都度変更されます。

授業内容
前・後期合わせて15回、隔週実施で構成される本授業では前期初回、後期初回、最終回の3回で各個人の身体と考え方に対する理解とその変化を知るための運動評価(Koji Awareness)とアンケートが実施されます。

前期授業の主な目標:
- 自身の身体の特徴を知る
- アルティメットに必要な運動要素を知る
- 様々なリーダーシップ・フォロワーシップのあり方を知る

後期授業の主な目標:
- 前期での学びを活かして自身と仲間それぞれの成長について考える
- 自身や仲間の特徴を活かしてチームの全体の成長について考える
- アルティメットにおけるチーム力の向上のために自己を主張し、且つ他の意見を取り入れ、活かせるバランス感覚を養う

前期

1. オリエンテーション、身体操作評価(Koji Awareness)、アンケート
2. アルティメット運動要素1(可動性、走る・跳ぶ、キャッチ&スロー[ピボット&フェイク])
3. アルティメット運動要素2(身体アウェアネス、減速・方向転換、キャッチ&スロー[動きながら])
4. アルティメット運動要素3(走る・跳ぶ・方向転換[アドバンス]、タグゲーム、2on1[マーカ- or ディフェンダー])
5. アルティメット・ベーシック1(ゲーム)
6. アルティメット・ベーシック2(オフENS)
7. アルティメット・ベーシック3(ディフェンス)
8. アルティメット・ベーシック4(ゲーム)

後期

9. 身体操作評価(Koji Awareness)2、アンケート2
10. アルティメット・アドバンス1(ゲーム)
11. アルティメット・アドバンス2(オフENS)
12. アルティメット・アドバンス3(ゲーム)
13. アルティメット・アドバンス4(ディフェンス)
14. アルティメット・アドバンス5(ゲーム)
15. 身体操作評価(Koji Awareness)3、アンケート3

成績評価の方法
評価:参加度 50%、貢献度・授業目的達成度 50%
再評価: 有 (レポート等による)

成績評価の基準
「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表 2」による

準備学習等についての具体的な指示

単に授業に参加して運動等を実践するだけでなく、今後自身の生活や仕事のあり方に本授業で経験する事をどう繋げていけるかイメージを持ちながら授業に参加する事が大切になります。「勝ち・負け」「上手・下手」などの”他との比較による評価”にとらわれず、自身やクラスメイトが成長少しずつでも良い方向に変わっていきけるように「挑戦・トライ」していきけるかどうかが鍵となります。失敗や他と違う事を恐れずに、自分が出来ること、出来そうなことにチャレンジできる空間づくりを参加者全員で目指していきましょう。

また講義初回に行う身体操作評価法に関して、あらかじめ動画を見て内容のイメージを持っておいてください。

(https://www.mext.go.jp/sports/b_menu/sports/jsa_00040.html#001)

↑ URL 内にある「チェック動画 self-evaluation」の全11項目をざっと理解しておくことで、当日の授業をスムーズに進行できるようになります。

試験の受験資格

本授業は実習系科目のため、原則全授業の 3/4 以上の出席を受験(評価対象)の資格とします。また、最終レポートが授業目的達成度の評価となりますので、レポート提出は単位認定の最低条件です。

他科目との関連

講義系科目であるスポーツ・健康科学との有機的な連携を図ることでより効果が上がるように設計されています。

履修上の注意事項

実習の際には動きやすい服装を用意する事をお勧めします。また、天候悪化の際に急遽室内に場所を変更する可能性もあるので室内運動靴は常備しておくのがよいです。

参照ホームページ

日本フライングディスク協会

(<https://www.jfda.or.jp/>)

身体操作評価法[室伏広治先生考案セルフチェック、Koji Awareness]

(https://www.mext.go.jp/sports/b_menu/sports/jsa_00040.html#001)

連絡先(メールアドレス)

diceyamaguchi.ssc@tmd.ac.jp

時間割番号	000930																											
科目名	フィットネスマネージメント(後期 金 A)	科目ID	LA-116707-E																									
担当教員	山口 大輔[YAMAGUCHI DAISUKE]																											
開講時期	2022 年度後期	対象年次	1																									
実務経験のある教員による授業																												
<p>曜日・時間:[前期]木曜 3 限、4 限、金曜 3 限、4 限/[後期]木曜 4 限、金曜 4 限 対象学科:全学科</p> <p>科目を履修して得られる能力(コンピテンシー)</p> <p>別表:</p> <p>1-1) 言語を通じた人間の創造的営みを理解する</p> <p>1-4) 異なる空間の文化を理解する</p> <p>1-5) 人間の思考の枠組みを知り、自らの思考を振り返る</p> <p>1-7) 人間の心への理解を深める</p> <p>1-8) 自己の心と体を管理する能力を獲得する</p> <p>1-9) 市民としての倫理観を養う</p> <p>2-4) 自己問題提起・解決型の学習方法を身につける</p> <p>2-5) 自らテーマを見つけて、調べ、発展させ、論文にまとめる能力を養う</p> <p>3-3) チームの中で、自己の役割を果たす能力を身につける</p>																												
<p>主な講義場所</p> <p>基本的には教養部キャンパスグラウンド、体育館、武道館のいずれかを使用予定です。 天候などにより室外・室内の変更があります。</p>																												
<p>授業の目的、概要等</p> <p>本授業では「アルティメット」と呼ばれるフライングディスク競技のひとつを通じて各々の個性に合ったコミュニケーションのあり方について学ぶ事を第一の目的とします。</p> <p>医療の世界では患者の健康の維持・獲得という目標に向かって沢山の専門家と”チーム”として動いていく必要が多く出てきます。そのためにはまず各々が自分自身の個性について理解し、表現できるようになること。その上で仲間の個性を知り、それぞれの長所を活かし、それぞれの短所を補い合えるためのコミュニケーションが大切です。チーム全体の状況を把握しながら時にはチームを引っ張り(リード)、時には指示に従い(フォロー)ながらサポート役となる必要も出てきます。</p> <p>競技特性上コミュニケーションのやりとりが多く必要となる「アルティメット」を通じ、様々な状況に適応しながらそれぞれが”自分らしさ”を発揮するためにどうするのが良いか考えられる機会を作っていければと思います。</p>																												
<p>授業の到達目標</p> <ul style="list-style-type: none"> - 自分自身の長所・短所について考え、知る。 - 仲間の長所・短所を知り、個性の活かし方について考える。 - 自分の意見・考えを伝えられる。 - アルティメットという競技を行う中で自分と仲間の活かし方を見出す。 																												
<p>授業計画</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>講義室</th> <th>担当教員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>10/14</td> <td>13:10-14:40</td> <td></td> <td>山口 大輔</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>10/28</td> <td>13:10-14:40</td> <td></td> <td>山口 大輔</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>11/11</td> <td>13:10-14:40</td> <td></td> <td>山口 大輔</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>11/25</td> <td>13:10-14:40</td> <td></td> <td>山口 大輔</td> </tr> </tbody> </table>				回	日付	時刻	講義室	担当教員	1	10/14	13:10-14:40		山口 大輔	2	10/28	13:10-14:40		山口 大輔	3	11/11	13:10-14:40		山口 大輔	4	11/25	13:10-14:40		山口 大輔
回	日付	時刻	講義室	担当教員																								
1	10/14	13:10-14:40		山口 大輔																								
2	10/28	13:10-14:40		山口 大輔																								
3	11/11	13:10-14:40		山口 大輔																								
4	11/25	13:10-14:40		山口 大輔																								

5	12/9	13:10-14:40		山口 大輔
6	1/6	13:10-14:40		山口 大輔
7	1/20	13:10-14:40		山口 大輔

授業方法

授業は基本的に様々な運動指導の専門を持つ3名の講師による実習形式で行われます。

昨今の新型コロナウイルス感染症の拡大状況によっては対面で行えるか、オンラインとなるかは都度変更されます。

授業内容

前・後期合わせて15回、隔週実施で構成される本授業では前期初回、後期初回、最終回の3回で各個人の身体と考え方に対する理解とその変化を知るための運動評価(Koji Awareness)とアンケートが実施されます。

前期授業の主な目標:

- 自身の身体の特徴を知る
- アルティメットに必要な運動要素を知る
- 様々なリーダーシップ・フォロワーシップのあり方を知る

後期授業の主な目標:

- 前期での学びを活かして自身と仲間それぞれの成長について考える
- 自身や仲間の特徴を活かしてチームの全体の成長について考える
- アルティメットにおけるチーム力の向上のために自己を主張し、且つ他の意見を取り入れ、活かせるバランス感覚を養う

前期

1. オリエンテーション、身体操作評価(Koji Awareness)、アンケート
2. アルティメット運動要素1(可動性、走る・跳ぶ、キャッチ&スロー[ピボット&フェイク])
3. アルティメット運動要素2(身体アウェアネス、減速・方向転換、キャッチ&スロー[動きながら])
4. アルティメット運動要素3(走る・跳ぶ・方向転換[アドバンス]、タグゲーム、2on1[マーカ―or ディフェンダー])
5. アルティメット・ベーシック1(ゲーム)
6. アルティメット・ベーシック2(オフense)
7. アルティメット・ベーシック3(ディフェンス)
8. アルティメット・ベーシック4(ゲーム)

後期

9. 身体操作評価(Koji Awareness)2、アンケート2
10. アルティメット・アドバンス1(ゲーム)
11. アルティメット・アドバンス2(オフense)
12. アルティメット・アドバンス3(ゲーム)
13. アルティメット・アドバンス4(ディフェンス)
14. アルティメット・アドバンス5(ゲーム)
15. 身体操作評価(Koji Awareness)3、アンケート3

成績評価の方法

評価:参加度50%、貢献度・授業目的達成度50%

再評価: 有 (レポート等による)

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習等についての具体的な指示

単に授業に参加して運動等を実践するだけでなく、今後自身の生活や仕事のあり方に本授業で経験する事をどう繋げていけるかイメ

ージを持ちながら授業に参加する事が大切になります。「勝ち・負け」「上手・下手」などの”他との比較による評価”にとらわれず、自身やクラスメイトが成長少しずつでも良い方向に変わっていけるように「挑戦・トライ」していけるかどうかが鍵となります。失敗や他と違う事を恐れずに、自分が出来ること、出来そうなことにチャレンジできる空間づくりを参加者全員で目指していきましょう。

また講義初回に行う身体操作評価法に関して、あらかじめ動画を見て内容のイメージを持っておいてください。

(https://www.mext.go.jp/sports/b_menu/sports/jsa_00040.htm#001)

↑ URL 内にある「チェック動画 self-evaluation」の全11項目をざっと理解しておくことで、当日の授業をスムーズに進行できるようになります。

試験の受験資格

本授業は実習系科目のため、原則全授業の 3/4 以上の出席を受験(評価対象)の資格とします。また、最終レポートが授業目的達成度の評価となりますので、レポート提出は単位認定の最低条件です。

他科目との関連

講義系科目であるスポーツ・健康科学との有機的な連携を図ることでより効果が上がるように設計されています。

履修上の注意事項

実習の際には動きやすい服装を用意する事をお勧めします。また、天候悪化の際に急遽室内に場所を変更する可能性もあるので室内運動靴は常備しておくのがよいです。

参照ホームページ

日本フライングディスク協会

(<https://www.jfda.or.jp/>)

身体操作評価法[室伏広治先生考案セルフチェック、Koji Awareness]

(https://www.mext.go.jp/sports/b_menu/sports/jsa_00040.htm#001)

連絡先(メールアドレス)

diceyamaguchi.ssc@tmd.ac.jp

時間割番号	000931																											
科目名	フィットネスマネージメント(後期 金B)	科目ID	LA-116708-E																									
担当教員	山口 大輔[YAMAGUCHI DAISUKE]																											
開講時期	2022 年度後期	対象年次	1																									
実務経験のある教員による授業																												
<p>曜日・時間:[前期]木曜 3 限、4 限、金曜 3 限、4 限/[後期]木曜 4 限、金曜 4 限 対象学科:全学科</p> <p>科目を履修して得られる能力(コンピテンシー)</p> <p>別表:</p> <p>1-1) 言語を通じた人間の創造的営みを理解する</p> <p>1-4) 異なる空間の文化を理解する</p> <p>1-5) 人間の思考の枠組みを知り、自らの思考を振り返る</p> <p>1-7) 人間の心への理解を深める</p> <p>1-8) 自己の心と体を管理する能力を獲得する</p> <p>1-9) 市民としての倫理観を養う</p> <p>2-4) 自己問題提起・解決型の学習方法を身につける</p> <p>2-5) 自らテーマを見つけて、調べ、発展させ、論文にまとめる能力を養う</p> <p>3-3) チームの中で、自己の役割を果たす能力を身につける</p>																												
<p>主な講義場所</p> <p>基本的には教養部キャンパスグラウンド、体育館、武道館のいずれかを使用予定です。 天候などにより室外・室内の変更があります。</p>																												
<p>授業の目的、概要等</p> <p>本授業では「アルティメット」と呼ばれるフライングディスク競技のひとつを通じて各々の個性に合ったコミュニケーションのあり方について学ぶ事を第一の目的とします。</p> <p>医療の世界では患者の健康の維持・獲得という目標に向かって沢山の専門家と”チーム”として動いていく必要が多く出てきます。そのためにはまず各々が自分自身の個性について理解し、表現できるようになること。その上で仲間の個性を知り、それぞれの長所を活かし、それぞれの短所を補い合えるためのコミュニケーションが大切です。チーム全体の状況を把握しながら時にはチームを引っ張り(リード)、時には指示に従い(フォロー)ながらサポート役となる必要も出てきます。</p> <p>競技特性上コミュニケーションのやりとりが多く必要となる「アルティメット」を通じ、様々な状況に適応しながらそれぞれが”自分らしさ”を発揮するためにどうするのが良いか考えられる機会を作っていければと思います。</p>																												
<p>授業の到達目標</p> <ul style="list-style-type: none"> - 自分自身の長所・短所について考え、知る。 - 仲間の長所・短所を知り、個性の活かし方について考える。 - 自分の意見・考えを伝えられる。 - アルティメットという競技を行う中で自分と仲間の活かし方を見出す。 																												
<p>授業計画</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>講義室</th> <th>担当教員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>10/14</td> <td>14:50-16:20</td> <td></td> <td>山口 大輔</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>10/28</td> <td>14:50-16:20</td> <td></td> <td>山口 大輔</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>11/11</td> <td>14:50-16:20</td> <td></td> <td>山口 大輔</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>11/25</td> <td>14:50-16:20</td> <td></td> <td>山口 大輔</td> </tr> </tbody> </table>				回	日付	時刻	講義室	担当教員	1	10/14	14:50-16:20		山口 大輔	2	10/28	14:50-16:20		山口 大輔	3	11/11	14:50-16:20		山口 大輔	4	11/25	14:50-16:20		山口 大輔
回	日付	時刻	講義室	担当教員																								
1	10/14	14:50-16:20		山口 大輔																								
2	10/28	14:50-16:20		山口 大輔																								
3	11/11	14:50-16:20		山口 大輔																								
4	11/25	14:50-16:20		山口 大輔																								

5	12/9	14:50-16:20		山口 大輔
6	1/6	14:50-16:20		山口 大輔
7	1/20	14:50-16:20		山口 大輔

授業方法

授業は基本的に様々な運動指導の専門を持つ3名の講師による実習形式で行われます。

昨今の新型コロナウイルス感染症の拡大状況によっては対面で行えるか、オンラインとなるかは都度変更されます。

授業内容

前・後期合わせて15回、隔週実施で構成される本授業では前期初回、後期初回、最終回の3回で各個人の身体と考え方に対する理解とその変化を知るための運動評価(Koji Awareness)とアンケートが実施されます。

前期授業の主な目標:

- 自身の身体の特徴を知る
- アルティメットに必要な運動要素を知る
- 様々なリーダーシップ・フォロワーシップのあり方を知る

後期授業の主な目標:

- 前期での学びを活かして自身と仲間それぞれの成長について考える
- 自身や仲間の特徴を活かしてチームの全体の成長について考える
- アルティメットにおけるチーム力の向上のために自己を主張し、且つ他の意見を取り入れ、活かせるバランス感覚を養う

前期

1. オリエンテーション、身体操作評価(Koji Awareness)、アンケート
2. アルティメット運動要素1(可動性、走る・跳ぶ、キャッチ&スロー[ピボット&フェイク])
3. アルティメット運動要素2(身体アウェアネス、減速・方向転換、キャッチ&スロー[動きながら])
4. アルティメット運動要素3(走る・跳ぶ・方向転換[アドバンス]、タグゲーム、2on1[マーカ―or ディフェンダー])
5. アルティメット・ベーシック1(ゲーム)
6. アルティメット・ベーシック2(オフENS)
7. アルティメット・ベーシック3(ディフェンス)
8. アルティメット・ベーシック4(ゲーム)

後期

9. 身体操作評価(Koji Awareness)2、アンケート2
10. アルティメット・アドバンス1(ゲーム)
11. アルティメット・アドバンス2(オフENS)
12. アルティメット・アドバンス3(ゲーム)
13. アルティメット・アドバンス4(ディフェンス)
14. アルティメット・アドバンス5(ゲーム)
15. 身体操作評価(Koji Awareness)3、アンケート3

成績評価の方法

評価: 参加度 50%、貢献度・授業目的達成度 50%

再評価: 有 (レポート等による)

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表 2」による

準備学習等についての具体的な指示

単に授業に参加して運動等を実践するだけでなく、今後自身の生活や仕事のあり方に本授業で経験する事をどう繋げていけるかイメ

ージを持ちながら授業に参加する事が大切になります。「勝ち・負け」「上手・下手」などの”他との比較による評価”にとらわれず、自身やクラスメイトが成長少しずつでも良い方向に変わっていけるように「挑戦・トライ」していけるかどうかが鍵となります。失敗や他と違う事を恐れずに、自分が出来ること、出来そうなことにチャレンジできる空間づくりを参加者全員で目指していきましょう。

また講義初回に行う身体操作評価法に関して、あらかじめ動画を見て内容のイメージを持っておいてください。

(https://www.mext.go.jp/sports/b_menu/sports/jsa_00040.htm#001)

↑ URL 内にある「チェック動画 self-evaluation」の全11項目をざっと理解しておくことで、当日の授業をスムーズに進行できるようになります。

試験の受験資格

本授業は実習系科目のため、原則全授業の 3/4 以上の出席を受験(評価対象)の資格とします。また、最終レポートが授業目的達成度の評価となりますので、レポート提出は単位認定の最低条件です。

他科目との関連

講義系科目であるスポーツ・健康科学との有機的な連携を図ることでより効果が上がるように設計されています。

履修上の注意事項

実習の際には動きやすい服装を用意する事をお勧めします。また、天候悪化の際に急遽室内に場所を変更する可能性もあるので室内運動靴は常備しておくのがよいです。

参照ホームページ

日本フライングディスク協会

(<https://www.jfda.or.jp/>)

身体操作評価法[室伏広治先生考案セルフチェック、Koji Awareness]

(https://www.mext.go.jp/sports/b_menu/sports/jsa_00040.htm#001)

連絡先(メールアドレス)

diceyamaguchi.ssc@tmd.ac.jp